昭和女子大学

2008

平成20年度

学生便覧

Student's Manual


開講の詞

夜が明けようとしてゐる。
五年と云ふながい間、世界の空は陰惨な雲に掩はれて、人々は暗い檻の中に押し込められて、身動きも出来なかった。けれど、今や、一道の光明が空の彼方から仄めき出して、新らしい文化の夜が明けようとしてゐる。人々は檻の中から這ひ出し、閉ぢ込められた心を押し開いて、文化の素晴らしい光を迎へようとしてゐる。

夜が明けようとしてゐる。
海の彼方の空にも、わが邦の上にも、新らしい思想の光が、ながい間漂うてゐたくろ雲を押し破って、眩しいばかり輝き出そうとしてゐる。それを迎へて叫ぶ人々の声をきけ。霊の底まで鳴りひびく声を、力強いその叫びをきけ。既に目ざめた人々は、文化の朝を迎へる可く、身にも心にも、仕度が十分調ってゐる。

夜が明けようとしてゐる。
われ等の友よ。その愛らしき眼をとじたまま、逸楽の夢をむさぼる時はもう既に去った。
われ等は、まさに来る文化の朝を迎へるために、身支度をとり急がねばならぬ。正しき道に歩み出すために、糧を十分にとらねばならぬ。そして、目ざめたる婦人として、正しき婦人として、思慮ある力強き婦人として、文化の道を歩み出すべく、互ひに研き合はなければならない時が来たのである。

大正九年九月十日

日本女子高等学院

世の光となろう

学園目標

校　訓

清き気品
篤き至誠
高き識見

平成20年度学生便覧■目　次

Ⅰ 昭和女子大学の概要

1 昭和女子大学の沿革
1 大学の沿革 …… 6
2 学園の創立と発展に尽くされた先生方 …… 8

2 昭和女子大学の組織
1 大学の組織 …… 10
2 大学役職員 …… 12
3 クラス主任・各委員 …… 12

3 学則
1 大学院 …… 14
2 学部 …… 19
3 短期大学部 …… 25
4 学費 …… 32

Ⅱ 大学生活

1 クラス主任制・委員会活動・学生部会
1 クラス主任制 …… 36
2 委員会活動 …… 36
3 学生部会 …… 37
4 クラブ活動（クラブ・サークル細則） …… 41

2 学生寮・学寮研修
1 全寮制の意義 …… 44
2 学生寮 …… 44
3 学寮研修 …… 45

Ⅲ 教育課程

1 教育課程
1 カリキュラム編成の基本方針 …… 52
2 履修規程 …… 54
3 カリキュラムの構成 …… 55
4 卒業の要件 …… 57
5 履修 …… 59
6 授業 …… 61
7 試験・成績評価 …… 62
8 文化講座 …… 63
9 修業年限・休学・退学 …… 65
10 卒業論文 …… 66
11 褒賞 …… 66
12 コンピュータ教育 …… 67
13 科目等履修生 …… 67
14 昭和女子大学オープンカレッジ …… 69
15 昭和ボストン …… 70
16 ボストン・サマーセッション …… 71
17 春の 15 週間ボストン留学プログラム …… 72
18 協定校 …… 72
19 海外研修旅行 …… 72

2 学内進学
1 大学院 …… 73
2 学部編入学 …… 74
3 短大専攻科 …… 75
4 文化創造学科の転コース …… 75

3 諸資格の取得
取得資格一覧 …… 76
1 教育職員免許状 …… 78
2 博物館学芸員 …… 111
3 栄養士・管理栄養士 …… 114
4 食品衛生監視員及び管理者資格 …… 117
5 司書・司書教諭 …… 118
6 日本語教員 …… 119
7 建築士等，インテリアプランナー、JABEE に関する資格 …… 120
8 商業施設士等に関する資格 …… 121
9 二級建築士，インテリアプランナー等に関する資格 …… 122
10 社会福祉主事 …… 124
11 社会福祉士 …… 125
12 衣料管理士 …… 125
13 臨床心理士 …… 126

14 保育士 …… 127
15 学校心理士・学校心理士補 …… 129
16 精神保健福祉士 …… 129
17 臨床発達心理士 …… 130
18 社会調査士 …… 130
19 人間工学準専門家 …… 131

4 開設授業科目・授業概要一覧

1 カリキュラム表の見方 …… 134
2 一般教養科目・外国語科目他 …… 136
3 日本語日本文学科 …… 195
4 英語コミュニケーション学科 …… 218
5 歴史文化学科 …… 245
6 心理学科 …… 261
7 福祉環境学科 …… 277
8 現代教養学科 …… 301
9 初等教育学科 …… 338
10 生活環境学科 …… 358
11 生活科学科 …… 379
12 文化創造学科・文化創造学科第二部 …… 405
13 食物科学科 …… 449
14 子ども教育学科 …… 456
15 短期大学部専攻科 …… 463
国語国文学専攻 …… 463
英語英文学専攻 …… 465
生活文化学専攻 …… 468
食物科学専攻 …… 472
保育学専攻 …… 475
16 大学院 …… 480
文学研究科
日本文学専攻／英米文学専攻／言語教育・コミュニケーション専攻
生活機構研究科
生活機構学専攻
生活文化研究専攻／心理学専攻／生活科学研究専攻
福祉社会研究専攻／環境デザイン研究専攻
／人間教育学専攻

Ⅳ 附録

1 昭和女子大学オープンカレッジ …… 540
2 個人情報保護に関する取り組みについて …… 542

2008昭和女子大学学生便覧

I

昭和女子大学の概要



Student's Manual

1. 昭和女子大学の沿革

1. 大学の沿革

私立学校の特性は，学校を構築した人々の理想や信念に基づく建学の精神と、その人柄や言行などによって形成された伝統や校風を原点とした教育を実践することにあります。昭和女子大学は、単に知識の充実にとどまることなく、「善き個人」であると同時に「善き社会人」としての自覚のもとに、魅力的な女性を育てるための教育を行っています。

昭和女子大学の前身

昭和女子大学の歴史は、大正９年(1920) に始まります。斬新華麗な詩風を以って知られた詩人人見圓吉は、トルストイが理想とした“愛と理解と調和”に教育の理想を見出し、緑夫人とともに女子教育の道を歩み始めました。

折しも第一次世界大戦終結の年に当たり、４千万人の人々が大戦の影響を受けて、不幸な状況に遭遇していました。創立者の平和への願いが、自己の進路を見失わない女性、すすんで世のため人のために自己の力を役立てようとする女性を育てあげたいという信念となり、本学の前身「日本女子高等学院」創立となったのです。

創立者が理想としたロシアの文豪トルストイは、西暦1859 年、公職を退いてヤースナヤ・ポリャーナに塾のような学校を建てました。午前中は授業、午後は生徒達と近隣の病めるもの、傷つけるもの、貧しきもの、老いたものなど、他の者の愛なくしては生活できない人々の家を訪ねて、食を与え、衣を取替え、看病し、掃除し、洗濯するなどの養護に当たりました。人々はこれを感謝して迎えました。夕食後に生徒達は、トルストイを中心として語り合い、次の学修の課題を求めて励んだということです。

大正７年、女子教育への高い理想を抱く人々と、婦人としての充実と向上を希求する若い女性とが「文化懇談会」と称した集いをはじめ、教育問題、婦人問題、一般文化問題などについて、日頃抱く考えをお互いに語り合い、疑問とするところを論じ合いました。

中心メンバーは、人見圓吉・緑夫人、松本赳、加治いつ、坂本由五郎の５名で、小石川区高田若葉町の人見宅を本拠とし、例会を開いていました。発足当初は 20 数人の小さな会合でした。伝え聴いて参加する者が日毎に増え、回を重ねていくにつれて、このような意義のある会合は、もっと広く若い女性にも開放してはどうかという意見が多くなりました。

大正８年４月には従来の「文化懇談会」をいっそう組織化して、「日本婦人協会」を結成しました。女学校の家事作法教師の経験もあり、指導メンバーの最年長者でもあった加治いつを会長に推して、いよいよ組織的に毎月１回の公開講演会と研究会を開くようになりました。

大正９年９月、未だ女性の高等教育や社会的進出が拒み続けられていた時流の中で、創立者の人見圓吉は、先生と生徒が生活を共にして学ぶトルストイの学校にならって、「愛と理解と調和を旨とする新しい女性を育む学校を設立したい」という希望を持った５名の同士と共に、「日本女子高等学院」を創設しました。小石川区西江戸川町（現文京区水道橋４－28）の小石川幼稚園に間借りし、教師５人と受講生８人が真剣に討論しあう、ゼミナール形式の授業によって始まりました。戦争で傷つき、暗雲におおわれた世界を救い、新しい世界を切り拓くには、ぜひとも女性独自の文化を創造していかなければならない、「愛と理解と調和」を旨とする婦人の力によって、女性による新たな世界改造をはからなければならないという情熱がつくりあげた学校、それが昭和女子大学の前身である「日本女子高等学院」でした。この精神は、創立当時に記された「開講の詞」に高らかに謳いあげられています。

創設時代

「日本女子高等学院」は、大正 11 年１月、各種学校としての認可を東京府から受けました。人見圓吉も緑夫人の協力に支えられながら、詩人としてのペンを置いて、生きた女性の心の中に、生きた言葉をもって、信ずるところの真・善・美を描いていこうと決心しました。続いて３月には校舎を東中野に移し、「専門部」と並んで「女学部」を付設するにいたりました。学校の経営は赤字続きの細々とした財政ながらも、校舎の中では、常に教師と学生の熱のこもった教育活動が行われ、その校風を慕って入学してくる学生の数も年とともに増えていきました。

大正 14 年４月には、東京府豊多摩郡野方町上高田 39 番地（現中野区上高田１－39）に新校舎を建設、この地で現在の昭和女子大学の基礎を育みました。しかし、第二次世界大戦が勃発し、戦災により東京が焦土と化したときに、本校の校舎や寮舎も全焼し、その４ヵ月後に漸く戦争が終了したのです。

昭和女子大学の設立

敗戦を迎え、国民の意気が沈退してしまったとき、創立者人見圓吉はこう述べています。

「国既に敗れて何の学問ぞ、何の教育ぞ。理解してくれる人、迎えてくれる人があってこその学問であり、教育ではないか。今日を限り８千万国民は全部奴隷だ。奴隷に必要なのは労力だけだ。むしろ学問や教育は無用であると考えて、私は絶望の淵に陥った。

敗戦５日目の朝、苦悶に苦悶を重ねて悄然と丘の上の校舎の焼跡に立っていると、見るかげもなく焼け失せた大都会の空はるか東端から、いつものように太陽がもくもく昇りはじめ、新鮮な光を放ったあたりが生き生きとして輝いた。その時、－そうだ、学問はまさにこの太陽である。どんな人にも、どんな所にも、太陽が必要なように、

学問は敗戦国民にも必要だ。それを伝えるのが教育だ、やろう、やらねばならぬ。－とその瞬間、総身に力が湧き上がってぴちぴちとした元気が出た。青年のように希望がかがやいた。その日から夜に日を継ぎ、精進に精進を重ねて、ぐいぐいとまっしぐらに進んで来た。国家とともに学園の新生の記念日であった。」

この決意を実現するため、旧東部第 12 部隊（近衛野砲連隊）跡地である現在の世田谷区太子堂に移転したのが、昭和 20 年（1945）11 月 9 日のことでした。

この地で「日本女子高等学院」は昭和 21 年に「日本女子専門学校」となり、24 年には新学制による大学として、「昭和女子大学」に移行し、昭和中学校、昭和高等学校を併設し、翌 25 年に短期大学部を設立しました。

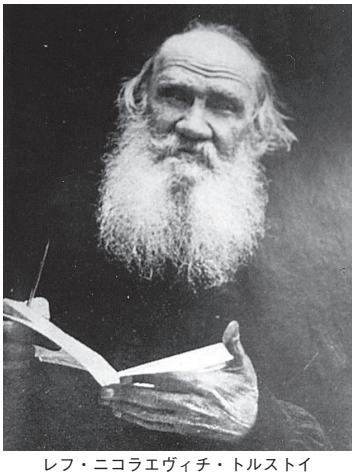
さらに、昭和 26 年に昭和幼稚園、昭和 28 年に昭和小学校を併設し、昭和 49 年に大学院修士課程、平成元年に博士課程、生涯学習機関としてのオープンカレッジを設置して、完全な一貫教育体系を整えました。また、海外研修機関としてのボストン昭和女子大学を、昭和 63 年に開設しました。その後学部・学科の新設改編をへて、現在は次の構成になっています。大学院は、文学研究科に日本文学専攻、英米文学専攻、言語教育・コミュニケーション専攻、生活機構研究科に生活機構学専攻、生活文化研究専攻、生活科学研究専攻、環境デザイン研究専攻、心理学専攻、福祉社会研究専攻、人間教育学専攻、女性文化研究所、近代文化研究所、国際文化研究所、生活心理研究所、学部は人間文化学部に日本語日本文学科・英語コミュニケーション学科・歴史文化学科、人間社会学部に心理学科・福祉環境学科・現代教養学科・初等教育学科、生活科学部に生活環境学科・生活科学科、短期大学部は文化創造学科（昼間主・夜間主コース）・食物科学科、子ども教育学科と専攻科が設置されています。

建学の精神

いかなる困難にあっても常に新たな道を切り拓き、一歩一歩着実に向上発展することが昭和女子大学の特性であり、その進取の精神と着実性は、学生の気風となっています。

本学の教育目標は「上品で礼儀正しく、清純で規律を守り、堅実で心豊かな智徳兼備の女性を育てる」ことにあり、校訓三則「清き気品　篤き至誠　高き識見」に示されています。この校訓を基礎とし、大学生としての学問研究に徹し、国際化時代、情報化時代、文化創造の時代に活躍できる人間味にあふれた役立つ人材の育成に情熱をそそぎます。「世の光になろう」の一言で示す建学の精神は、時代を超えて生き続ける本学の心として、先輩から受け継がれた大切な生活指標です。

志を立てて本学の一員となった学生の皆さんには、この創立以来の伝統を受けつぎ、自信と勇気と情熱とをもって、社会のより良い明日を建設するために、常に努力をして欲しいと願っています。



レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ

レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ（1828 ～ 1910）

トルストイは、「戦争と平和」や「アンナ・カレーニナ」「復活」などの小説で世界的文豪として知られていますが、哲学、宗教、芸術、教育の面でも様々な実践を行いました。

教育者として、出身地であるロシア中部のヤースナヤ・ポリャーナに学校を開き、村の子供たちに「愛と理解と調和」に立脚する真の人間教育を施しました。詰め込みではなく、子供たちと寝食を共にして奉仕活動を行い、子供たちと共に考え、一人一人の個性を重んじる教育は、今またロシアで復活し、各地に「トルストイ学校」が創られています。

人見圓吉・緑夫妻はこのような精神に深く共鳴して、1920 年に本学の前身である「日本女子高等学院」を創設しました。また、人見楠郎前理事長は、1996 年、日本の教育・研究者らと共に「日本トルストイ協会」を設立、会長に推されて本学トルストイ室にその事務局を置き、トルストイの研究・教育思想の普及に努め、トルストイが学校で使った教科書「トルストイのアーズブカ」を日本語に翻訳して、全国の小学校に無償配布するなどの活動を展開しました。本学の創立 80 周年には大規模なトルストイ展を開き、建学の精神の象徴として高さ 2.5 メートルにも及ぶトルストイ像を創立者記念講堂の前に建立しました。本学を中心に組織される「トルストイを訪ねる旅」はこれまで 9 回を数え、関係する書籍を集めた「トルストイ文庫」は現在 858 冊になっています。図書館に足を運び「トルストイ文庫」をひもといてみましょう。

2. 学園の創立と発展に尽くされた先生方

創立の父　人見圓吉

20 歳の時、雑誌「文庫」に 2 篇の詩が掲載され、詩人としての人生を歩みはじめました。当初は東村というペンネームを用いていましたが、22 歳以降は、東明を主に、清浦青鳥、清浦明人、アキトなどの雅号も合わせて用いました。

「読売新聞」に詩・随想・批評・小説などが相次いで掲載されるようになり、それを契機に 29 歳で同社へ入社、文芸欄の編集を担当するようになりました。

31 歳で緑夫人と結婚、33 歳の春、東京女子商業学校支援のために無給講師として教壇に立ったのが、教育の世界に足を踏み入れる大きな契機となりました。

その頃に熱心に開催していた「文化懇談会」は、「日本婦人協会」、さらに女子の専門教育の場へと変貌してゆきました。

しかし、第一次世界大戦後の社会情勢をうけ、さらに第二次世界大戦の激動の時代の押し寄せてくる経済的困難は筆舌に尽くせぬものであったのですが、ひたすら世の役に立つ婦人を育むことを最も重要な任務と心得て、40 歳以降は総ての心と時間とエネルギーを注いで、社会に役立つ女性育成のために専念し続けました。

この間にも、教育文化の推進を願って自ら編集にあたった研究紀要「学苑」は、昭和 9 年以来現在まで刊行され続け、多数の研究者を育てあげ、貴重な研究を世に提供し続けてきました。

そして、学生の研究論文を補強して、55 歳の 10 月に刊行した『文学遺跡巡礼』は、その後『近代文学研究叢書』として継続刊行され、平成 13 年に全 77 巻（別巻「人見東明」を含む）が完結しました。その間、菊池寛賞を受賞、ハーバード大学東方研究所から特別研究費の助成などを受けています。

71 歳の 10 月から「学苑」誌上に 29 回連載した「口語詩の発達」「口語詩の設立とその過程」、77 歳の 5 月に「国文学」誌上に発表した「新体詩の誕生」、85 歳から 5 年間 51 回連載の「明治詩歌集覧」等は、自己の所論を展開すると同時に、詩人として活躍した多くの人々の業績の顕揚に努めました。

また 86 歳の 10 月に、「日本近代詩論研究会」の代表者となり、文部省学術局から科学研究費の助成を受けて『日本近代詩論の研究』ならびに『昭和詩論の研究』を出版しました。さらに、従来の研究の総括である『口語詩の史的研究』（昭和50年3月出版）を完成するため、昭和 49 年2月に逝去する 4 ヶ月前まで、夕食後には必ず近代文庫事務室の一隅に置かれた小さな机に向かって研究に励んでいました。



創立者　人見圓吉と緑夫人

創立の母　緑夫人　創立者人見圓吉夫人。新時代の女子教育機関の創立をうながし、その充実と発展に力を注いだ学園の母。「目覚めたる婦人」「正しき婦人」「思慮ある力強き婦人」をモットーに、自ら教壇に立ちながら、学寮において学生と寝食を共にし、身をもって女性の範を示しました。世の光となる女性の育成を目ざした本学の学風は、この学母の教育方針から生まれたといっても過言ではありません。



学園の発展に尽くされた人見楠郎第2代理事長

創立者と共に幾多の災難を乗り越え、創立者亡き後は、その遺志を引き継ぎ学園の発展に大いに貢献されました。全人教育施設としての研修学寮、創立者記念講堂を建設、教育課程改革では、中高・大一貫教育（5修生制度）の完成、ボストン昭和女子大学の開設など、その行動力と独創性によって、現在の昭和学園の発展がもたらされたといっても過言ではありません。



人見楷子第３代理事長

本学の歩み

大正 9 年 9 月	日本女子高等学院創設（現文京区水道） 初代院長加治いつ
大正 11 年 3 月	中野区東中野に移転
大正 11 年 4 月	附属女学部を付設
大正 15 年 4 月	中野区上高田に新校舎完成
昭和 2 年 4 月	財団法人日本女子高等学院設立。初代理事長人見圓吉。附属女学部を昭和高等女学校に改称
昭和 20 年 4 月	戦災により全校舎焼失
5 月	戦災により寮舎焼失
11 月	世田谷区太子堂（現在地）に移転
昭和 21 年 4 月	財団法人東邦学園を設立し,日本女子専門学校を設置,（日本女子高等学院の課程を引き継ぐ） 初代校長松平俊子就任
昭和 22 年 4 月	昭和中学校を併設
昭和 23 年 4 月	昭和高等女学校を昭和高等学校に改称
昭和 24 年 4 月	日本女子専門学校を昭和女子大学に改組･改称 初代学長金子健二就任
昭和 25 年 4 月	昭和女子大学短期大学部を設置
昭和 26 年 3 月	財団法人東邦学園を学校法人昭和女子大学,財団法人日本女子高等学院を学校法人昭和高等学校に改称
昭和 26 年 4 月	短期大学部第二部を併設 昭和幼稚園を付設
昭和 28 年 4 月	昭和小学校を付設
昭和 31 年 6 月	児童教育研究所を付設
昭和 37 年 1 月	第2代学長玉井幸助就任
昭和 38 年 4 月	学校法人昭和女子大学に学校法人昭和高等学校を併合
昭和 44 年 1 月	第3代学長河鰭実英就任
昭和 45 年 4 月	近代文化研究所を設置
昭和 49 年 2 月	初代理事長人見圓吉逝去 第2代理事長人見楠郎就任
昭和 49 年 4 月	大学院文学研究科修士課程を設置
昭和 53 年 4 月	文家政学部を文学部と家政学部に分離
昭和 55 年 2 月	創立者記念講堂を開設
昭和 55 年 4 月	第4代学長坂本由五郎就任
昭和 57 年 4 月	第5代学長人見楠郎就任
昭和 61 年 4 月	大学院家政学研究科修士課程を設置 短期大学部に専攻科併置
5 月	女性文化研究所を設置
昭和 63 年 4 月	ボストン昭和女子大学を開設
平成 元 年 4 月	大学院文学研究科に博士課程を設置 大学院生活機構研究科博士課程を設置 オープンカレッジを設置
平成 4 年 4 月	文学部に心理学科･日本文化史学科を設置
5 月	国際文化研究所を設置
平成 5 年 4 月	大学院生活機構研究科に修士課程を設置
平成 6 年 4 月	短期大学部学長福場博保就任 家政学部を生活科学部に改称 研究館･光葉博物館を開設
平成 7 年 4 月	生活心理研究所を設置
平成 10 年 4 月	生活科学部生活美学科を生活環境学科に改称
平成 12 年 11 月	第2代理事長人見楠郎逝去 第3代理事長に人見楷子就任 第6代学長福場博保就任
平成 14 年 4 月	生活科学科食物学専攻を食物健康学専攻に改称 専攻科人間教育学専攻を設置
平成 15 年 4 月	第7代学長平井聖就任 人間社会学部（心理学科･福祉環境学科･現代教養学科）を設置 文学部を人間文化学部,日本文学科を日本語日本文学科,英米文学科を英語コミュニケーション学科,日本文化史学科を歴史文化学科に改称 短期大学部に人間文化学科･同第二部を設置
平成 16 年 4 月	短期大学部学長島田淳子就任
平成 17 年 4 月	大学院文学研究科に言語教育コミュニケーション専攻,大学院生活機構研究科に心理学専攻を設置
平成 18 年 4 月	人間社会学部に初等教育学科,短期大学部に文化創造学科,同二部を設置,短期大学部初等教育学科を子ども教育学科に改称
平成 19 年 4 月	第8代学長坂東眞理子就任 大学院生活機構研究科に環境デザイン研究専攻を設置 短期大学部に文化創造学科（昼間主コース･夜間主コース）を設置
平成 20 年 4 月	短期大学部学長坂東眞理子就任 大学院生活機構研究科に人間教育学専攻を設置

学寮の歩み

大正 11 年 4 月	校内寮を開設（東中野）	中野区所在
大正 14 年 4 月	葵寮（校外寮第1号）を開設	中野区所在
昭和 3 年 4 月	若葉寮を開設	中野区所在
昭和 5 年 4 月	校内寮再開（上高田）	中野区所在
昭和 8 年 4 月	桜寮を開設	中野区所在
昭和 14 年 3 月	橘寮を開設	中野区所在
昭和 16 年 9 月	桂寮を開設	中野区所在
昭和 20 年 5 月	戦災により寮舎焼失	中野区所在
昭和 20 年 11 月	校内寮開設（世田谷）	太子堂校地所在
昭和 22 年 4 月	葵寮･富士寮･敷島寮開設	太子堂校地所在
昭和 25 年 9 月	橘寮を再開	太子堂校地所在
昭和 27 年 4 月	桜寮を再開	太子堂校地所在
昭和 28 年 4 月	桂寮を再開	太子堂校地所在
昭和 29 年 4 月	若葉寮を再開（30年焼失）	太子堂校地所在
昭和 31 年 4 月	桂寮を開設	太子堂校地所在
昭和 33 年 4 月	楓寮を開設	太子堂校地所在
5 月	藤寮･茜寮を開設	太子堂校地所在
昭和 35 年 4 月	弥生･芙蓉寮を開設	太子堂校地所在
昭和 43 年 4 月	椿寮を開設	太子堂校地所在
昭和 47 年 4 月	ときわ寮を開設	弦巻所在
昭和 52 年 4 月	校外寮「緑声舎（葵･藤･茜･桜･橘･桂･楓寮が合併）」新設	弦巻所在
平成元年 4 月	ときわ寮を建て替え、若葉寮として新発足	弦巻所在
平成 3 年 4 月	椿寮を再開	弦巻所在
昭和 52 年 4 月	研修学寮東明学林を開設	
昭和 61 年 3 月	研修学寮望秀海浜学寮を開設	
昭和 62 年 7 月	会津キャンプ村を開設	
平成 20 年 4 月	若葉寮を閉寮	

2. 昭和女子大学の組織

1. 大学の組織

目的・使命

昭和女子大学は、女子最高の教育機関として、また学術文化の研究機関としての使命に鑑み、善を尚び、美を愛し、真を究めて、文化の創造と社会の福祉に貢献する婦人を育成することを目的としています。

女性は、社会において男性と協力して学術文化の向上、社会生活の充実発展に貢献し、また家庭においては、子女を育成し、清新な生命を次代に伝える使命を有していることを忘れてはなりません。

さらに、先輩諸姉が已れのことのみにとらわれることなく、広く社会全般に心を配り、総ての人々の生活が平和で豊かなものになるように努めることにより、女性としての重要な任務を果たそうと努めてきたその遺風を、今後とも尊重したいものです。

そのような建学以来の大目標を達成し、かつ重要な使命を遂行する道として、本学においては各専門科目の充実は勿論のこと人文科学・社会科学・自然科学の３つに分類される教養科目を、他大学に類を見ないほど豊富に取り揃え、実りある学生生活の実現に意を注いでいます。

組　織

●学校法人

昭和女子大学は、「学校法人昭和女子大学」が運営管理する教育と研究の機関であります。学校法人の管理運営等に関する重要事項は、理事会と評議員会で審議します。理事、監事、評議員は、学長・教職員・卒業生及び学識経験者から選任されます。

学校法人は昭和女子大学、同短期大学部のほか、オープンカレッジ、高等学校、中学校、小学校、幼稚園などを運営しています。

●大学院

昭和女子大学に大学院を置き、次の研究科にそれぞれの専攻並びに修士課程・博士課程を設けています。

研究科名	専攻名	課程の区分及び学位
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程 博士後期課程
	英米文学専攻	
	言語教育・コミュニケーション専攻	博士前期課程
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程
	心理学専攻	
	福祉社会研究専攻	
	環境デザイン研究専攻	
	生活科学研究専攻	
	人間教育学専攻	
	生活機構学専攻	博士後期課程

●学　部

昭和女子大学に人間文化学部日本語日本文学科、人間文化学部英語コミュニケーション学科、人間文化学部歴史文化学科、人間社会学部心理学科、人間社会学部福祉環境学科、人間社会学部現代教養学科、人間社会学部初等教育学科、生活科学部生活環境学科、生活科学部生活科学科を置き、修業年限は４か年で、最長在学年は6か年です。

●短期大学部

昭和女子大学短期大学部に文化創造学科（人間文化学科、生活文化学科）、食物科学科、(子ども教育学科）を置き、修業年限は2か年で、最長在学年限は４か年です。いずれも（　　）書きの学科は在学生の卒業を待って廃止となる。

●専攻科

短期大学部を卒業した後に、各専門科目のより深遠な研究の向上を図るため、１年課程の専攻科として国語国文学専攻、英語英文学専攻、生活文化学専攻、食物科学専攻、保育学専攻の５専攻、を置いています。(2 年課程の人間教育学専攻は在学生の修了を待って廃止。)

国語国文学専攻、英語英文学専攻、生活文化学専攻、食物科学専攻及び人間教育学専攻は、学位授与機構の定める要件を満たす専攻科として認定されています。

●教育組織

大学に学長、短期大学部学長、副学長、大学院委員会委員長、大学院研究科長及び専攻主任、教務部長及び同次長、学生部長及び同次長、アドミッション部長及び同次長各学部長、短期大学部長、各学科長、研究所所長、図書館長、博物館長、研究館施設長を置いています。

1. 学長は、大学院文学研究科、大学院生活機構研究科、人間文化学部、人間社会学部及び生活科学部の教育又は研究に関する学務を統括する。
2. 短期大学部学長は、短期大学部の教育又は研究に関する学務を統括する。
3. 大学院委員会委員長は、大学院の教育・研究に関する学務を統理する。
4. 副学長は、学務の運営に当たり、学長及び短大学長に事故あるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。
5. 大学院研究科長は、当該研究科の科務を統理する。
6. 学部長･短期大学部長は、当該学部の部務を統理する。
7. 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
8. 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
9. 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
10. 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
11. アドミッション部長は、学生募集の推進に当たる。
12. アドミッション部次長は、アドミッション部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
13. 学科長・専攻主任は、当該学科・専攻の科務を処理する。

本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。

1）教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
2）准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
3）講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
4）助教は、教授及び准教授、講師に準ずる職務に従事する。
5）助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
6）事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

14. 大学院生活機構研究科に近代文化研究所、女性文化研究所、国際文化研究所並びに生活心理研究所を付設する。
15. 本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。
16. 本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

●大学部局長会

大学部局長会は、学長、短期大学部学長、副学長、図書館長、大学院研究科長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、アドミッション部長、総合教育センター長で構成する。大学の基本的問題、予算、大学院及び学部並びに短期大学部間の教育・研究、運営上の連絡並びに調整、教育課程、学生の履修及び研修、研究施設及び設備、教授会及び部科長会から報告される事項並びに大学教育、学生生活上の重要事項などを協議する。

●大学院委員会

大学院委員会は、学長、副学長、研究科長、学部長、教務部長、学生部長及び各専攻主任で構成する。大学院の学則及び諸規程の制定や各研究科教授会から報告された事項、各研究科に共通する事項などを審議する。
重要決議事項は、大学部局長会と協議する。

●大学院研究科教授会

当該研究科の授業科目を担当する専任教授及び助教授をもって構成し、研究科の教育課程、学生の研究･厚生等、入学・退学・転学・修了・学位授与及び賞罰に関する事項などを協議する。

協議事項は、大学院委員会に報告し審議を経る。

●教授会（学部教授会及び短大教授会）

教授会は、学長、短期大学部学長、副学長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、図書館長、博物館長、教授をもって構成し、原則として昭和女子大学人間文化学部、人間社会学部、生活科学部及び昭和女子大学短期大学部合同開催とする。
学科目、講義題目、授業時数、授業担任及び教育課程に関する基本事項、学生の試験及び課程修了の認定並びに卒業に関する基本事項などを協議する。

協議の結果は、大学部局長会に上申する。

●学部部科長会

学部部科長会は、学部長、当該学部所属学科長をもって構成し、学部ごとに開催する。

学部の基本問題、所属学科の向上及び発展、所属学科間の教育、研究及び運営上の連絡及び調整、教育課程、学生の履修及び研修、学生の入学･退学･休学･復学･転学･除籍･転科及び賞罰に関する基本事項､研究施設及び設備、学部の教育、研究及び学生生活上の重要事項などを協議する。

協議の結果は、大学部局長会に上申する。

●学部部会（人間文化学部会、人間社会学部会、生活科学部会及び短期大学部会）

各学部部会は、学部長、所属学科の教授、准教授、専任講師及び助教で構成する。

各学部所属学科の向上及び発展、教育、研究及び運営上の連絡及び調整、教科課程、学生の履修及び研修、学生指導、研究施設及び設備に関する事項などを審議し、重要決議事項は、教授会に稟議する。

●教育会議

教育会議は、学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長、図書館長、学部長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長、アドミッション部長、同次長、大学院専攻主任、学科長、常勤教員、教育支援センター長、進路支援センター長、事務担当部長、事務担当次長、女性文化研究所代表職員、近代文化研究所代表職員、国際文化研究所代表職員、生活心理研究所代表職員、図書館代表職員、光葉博物館代表職員、学園本部各部長、事務センター長、人見記念講堂事務長及び部長代理で構成する。

教学及び学生指導全般に関する事項の連絡調整を旨として協議する。

●教務部委員会

教務部委員会は、教務部長及び同次長、各学科及び総合教育センター、並びに大学院各研究科から選出された委員で構成する。

授業運営、カリキュラムの構成など教務運営に必要な事項を協議する。

協議事項は、大学部局長会に報告する。

●学生部委員会

学生部委員会は、学生部長及び同次長、各学科及び大学院各研究科から選出された委員で構成する。

学生の生活支援、学級管理、全学的行事、課外活動、学生の就職、学生相談室など、学生生活支援上必要な事項を協議する。

協議事項は、大学部局長会に報告する。

●アドミッション部委員会

アドミッション部委員会は、アドミッション部長、同次長及び学長が指名した各学科の委員で構成する。

学生募集に関する企画戦略の実施を中心に活動する。

2. 大学役職員

昭和女子大学長	坂東眞理子
昭和女子大学短期大学部学長(兼任)	坂東眞理子
副学長(総務担当)	金子朝子
副学長(学務担当)	小原奈津子

大学院

大学院委員会委員長	坂東眞理子
文学研究科長	池上嘉彦
日本文学専攻主任	齋藤彰
英米文学専攻主任	小川浩
言語教育・コミュニケーション専攻主任	池上嘉彦
生活機構研究科長	伊藤セツ
生活機構学専攻主任	矢野眞和
生活文化研究専攻主任	増田勝彦
心理学専攻主任	三浦香苗
福祉社会研究専攻主任	秋山智久
環境デザイン研究専攻主任	安宅信行
生活科学研究専攻主任	森高初恵
人間教育学専攻主任	押谷由夫
教務部長	鵜養啓子
教務部次長	井原奉明
学生部長	安蔵裕子
学生部次長	渡辺剛
〃(学生寮担当)	比護和子
学寮長	由比ヨシ子
アドミッション部長	金尾朗
アドミッション部次長	柏木厚子

学部

人間文化学部長	山本博也
日本語日本文学科長	茅場康雄
英語コミュニケーション学科長	増澤史子
歴史文化学科長	内田啓一
人間社会学部長	森ます美
心理学科長	島谷まき子
福祉環境学科長	永山誠
現代教養学科長	志摩園子
初等教育学科長	木間英子
生活科学部長	芦川智
生活環境学科長	猪又美栄子
生活科学科長	髙尾哲也
総合教育センター長	松浪未知世

短期大学部

短期大学部長	太田鈴子
文化創造学科長	木村信之
食物科学科長	田中伸子
子ども教育学科長(兼任)	木間英子
第二部科長(兼任)	木村信之
女性文化研究所長(兼任)	坂東眞理子
近代文化研究所長	竹田喜美子
国際文化研究所長(兼任)	金子朝子
生活心理研究所長	藤崎春代
図書館長	大串夏身
光葉博物館長	増田勝彦
研究支援機器センター長	中津川研一
研修学寮運営委員長	人見楷子

3. クラス主任・各委員

●大学院

研究科	専攻	主任	教務主任	教務部委員	学生部委員	アドミッション部委員
文学研究科	日本文学専攻	齋藤(彰)	吉田	吉田	平井(法)	前期:太田 後期:小林(多)
	英米文学専攻	小川(浩)	島田(太)			
	言語教育・コミュニケーション専攻	池上	遠藤			
生活機構研究科	生活機構学専攻	矢野	大森	山本(暉)	大森	森高
	生活文化研究専攻	増田	山本(暉)			
	生活科学研究専攻	森高	飯野			
	心理学専攻	三浦	今城			
	福祉社会研究専攻	秋山(智)	天野			
	環境デザイン研究専攻	安宅	角田			
	人間教育学専攻	押谷	小川(哲)			

● 総合教育センター

科目群	センター長	主任
一般教養	松浪	瀬沼 (副主任:尾崎)
外国語		佐藤(喜)
教職		田中(善)

●人間文化学部・人間社会学部・生活科学部

学部	学科	学科長	クラス主任（　　）は副主任または学年付																
			1年				2年				3年				4年				5年
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
人間文化学部	日本語日本文学科	茅場	田熊	福田(委)	西川		槍田	笛木	伊藤(博)		胡	廣瀬	大島		烏谷	升田	市川		猪熊
			(徳永)				(山田)				(大倉)				(岸田)				
	英語コミュニケーション学科	増澤	島崎	丹羽	岸山	高味	鈴木(博)	杉橋	金子(弥)	井原	小川(喜)	相原	森本	ドゥブラヴチッチ	金徳	マーク	李(淑)	コージー	
			(川畑)				(中村)				(ライアン)								
	歴史文化学科	内田	関口	江中			武田	渡辺(伸)			田畑	菊池			千葉	木下			千葉
			(山本(暉))				(小泉)				(大谷津)				(掛川)				
人間社会学部	心理学科	島谷	松野	松永			田中(知)	松澤			田中(奈)	渡邊(佳)			古川				上村
															(今城)				
	福祉環境学科	永山	北本	根本			伊藤(純)	高橋(学)			尾崎	天野			月田	高橋(久)			月田 高橋(久)
	現代教養学科	志摩	下川	粕谷			小林(多)				鶴田				木下(武)				澁澤
			(高橋(秀))				(フフバートル)												
	初等教育学科	木間	豊田	今井(美)			石井(正)				爾				永岡				
							(岸田)												
生活科学部	生活環境学科	猪又	下村	森部	李(守)		桑原	金子(友)	田村		杉浦	堀内	細田	角田	友田	安宅	桃園	谷井	竹田
	生活科学科	高尾	海老沢	志賀	石井(幸)		渡辺(睦)	大木	福島		柴田	中津川	山崎		飯野	白川	池田		飯野

学部	学科	各委員会				
		教務部委員	学生部委員	学生相談室委員	キャリア支援委員	アドミッション部委員
人間文化学部	日本語日本文学科	山本(晶)	嶺田	市川	廣瀬	西川
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	高野	佐藤(洋)	丹羽	前期:中村　後期:高味	岸山
	歴史文化学科	大谷津	小泉	掛川	菊池	千葉
人間社会学部	心理学科	清水(裕)	山崎(洋)	田中(奈)	松永	藤島
	福祉環境学科	伊藤(純)	渡辺(剛)	高橋(学)	月田	高橋(学)
	現代教養学科	常喜	福田	高橋(秀)	木下(武)	鶴田
	初等教育学科	鈴木(円)	横山	石井(正)	平野	清水(満)
生活科学部	生活環境学科	石垣	中山	佐野	友田	桃園
	生活科学科	小川(睦)	大橋	池田	不破	中津川

●短期大学部

学部	学科	学科長	クラス主任　※下段(　)内は副主任								
			1年次				2年次				3年次・専攻科
			A	B	C	D	A	B	C	D	
短期大学部	文化創造学科	木村(信)	早田	礒野 (菊地)	原田		大津	片岡 (番場)	ロブソン (平井)	スナイダー (赤堀)	国文英文専攻:久下 生文専攻:熊澤
	同第二部 (夜間主コース)	木村(信)	元吉 (太田)				高木 (木村(信))				
	食物科学科	田中(伸)	竹山	曽田	黒崎		蔵楽	横塚	秋山(久)		比護
	子ども教育学科	木間					松本(淳)	中村(徳)			駒谷

		各委員会				
		教務部委員	学生部委員	学生相談室委員	キャリア支援委員	アドミッション部委員
短期大学部	文化創造学科	中西	菊地	上野	佐藤(道)	田中(均)
	同 第二部(夜間コース)	元吉	高木	(昼間主コースと統合)		
	食物科学科	蕨迫	横塚	黒崎	曽田	竹山
	子ども教育学科	駒谷	富本	石井(正)	平野	清水(満)

3. 学則

1．大学院

第１章　総　則

第１条　本大学院は、建学の精神に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

第２条　本大学院は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行う。

2. 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。

第３条　本大学院の課程は、修士課程及び博士課程とする。ただし博士課程は、前期２年及び後期３年の課程に区分し、前期２年の課程は博士前期課程とし、後期３年の課程は博士後期課程とする。

2. 博士前期課程及び修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力を養うものとする。

3. 博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

第４条　博士前期課程及び修士課程の標準修業年限は２年とし、その最長年限を４年とする。

2. 博士後期課程の標準修業年限は３年とし、その最長年限を６年とする。

3. 長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）の修業年限は、修士課程及び博士前期課程にあっては４年とし、その最長年限を６年とする。また、博士後期課程にあっては６年とし、その最長年限を８年とする。

第５条　本大学院に次の研究科を置く。それぞれの研究科に置く専攻と専攻の目的は次のとおりである。

文学研究科

(1) 日本文学専攻博士前期課程は、日本文学及び日本語学において広い視野と豊かな学識を培い、専門領域における優れた研究能力を養うことにより、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する分野で活躍し得る有為な人材の育成を目的とし、博士後期課程は、日本文学及び日本語学における広い視野と深い学識とを踏まえ、さらに高度な専門的研究を深化発展させる能力を涵養し、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する諸関連分野で社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

(2) 英米文学専攻博士前期課程は、イギリス文学、アメリカ文学、英語学（言語学、英語史）を中心とする英語の言語文化の諸分野について、幅広い視野に立って教育指導を行い、研究者あるいはその他の専門的職業人にふさわしい高度の能力の基礎を養い育てることを目的とし、博士後期課程は、前期課程における教育を踏まえ、上記３分野について一層専門的な立場から教育指導を行い、自立した研究者や専門的職業人を養成し、そのために必要な一層深い学識や高度の専門的能力を養うことを目的とする。

(3) 言語教育・コミュニケーション専攻博士前期課程は、日本人に英語を教える教師、または日本語非母語話者に日本語を教える教師を目指す日本人学生・留学生・現職の日本語・英語教師を主な対象とし、日本語教育・英語教育の実践の場で活躍しうる有能な人材の育成を目的とする。さらに博士後期課程での学習、実習経験を踏まえ、それぞれの分野で指導的な役割を担うことのできる専門家の育成を目的とした教育を行う。

生活機構研究科

(1) 生活文化研究専攻（修士課程）は、多岐にわたる生活文化に関して高度で知的な素養を持ち、研究、教育および社会的活動を通して、知識基盤社会を多様に支える人材の養成を目的とする。

(2) 心理学専攻（修士課程）は、心理学諸領域（認知・発達・社会・臨床など）に関わる専門的知識と技能を修得した人材の養成を目的とする。

(3) 人間教育学専攻（修士課程）は、人格的豊かさをもち、社会や子どもの変化に的確に対応できる専門的知識と技能を修得し、高度の実践的指導力を身につけた人材の養成を目的とする。

(4) 福祉社会研究専攻（修士課程）は、現代社会の諸課題を解明すると共に、より良い福祉社会を創っていくために必要な価値観・理論・実践力を修得した人材の養成を目的とする。

(5) 環境デザイン研究専攻（修士課程）は、工学から芸術・人文系に至る幅広い学問体系を有する専攻として、服飾・インテリア・建築等生活に関わる広い環境を対象としたデザインの分野で研究・実践する人材の養成を目的とする。

(6) 生活科学研究専攻（修士課程）は、ヒトの生命の営みを、生活を取り巻く食環境とそのライフステージとの関連から解明し、食行動と健康増進に関連するテーマを多角的に研究する人材の養成を目的とする。

(7) 生活機構学専攻（博士後期課程）は、幅広い分野における人間の生活に関する総合科学の研究を自律的に行うことのできる高度の研究者・専門職の人材養成を目的とする。

2. 各研究科の修士課程、博士課程の別は、次

の表の右欄に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	課程の区分
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程 博士後期課程
	英米文学専攻	
	言語教育・コミュニケーション専攻	
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程
	心理学専攻	
	人間教育学専攻	
	生活科学研究専攻	
	環境デザイン研究専攻	
	福祉社会研究専攻	
	生活機構学専攻	博士後期課程

第 6 条　各研究科、各専攻の学生入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	入学定員			収容定員		
		修士課程	博士課程	合　計	修士課程	博士課程	合　計
文学研究科	日本文学専攻	5 名	3 名	8 名	10 名	9 名	19 名
	英米文学専攻	5 名	3 名	8 名	10 名	9 名	19 名
	言語教育・コミュニケーション専攻	10 名	3 名	13 名	20 名	9 名	29 名
	計	20 名	9 名	29 名	40 名	27 名	67 名
生活機構研究科	生活文化研究専攻	10 名	−	10 名	20 名	−	20 名
	心理学専攻	20 名	−	20 名	40 名	−	40 名
	人間教育学専攻	10 名	−	10 名	20 名	−	20 名
	生活科学研究専攻	5 名	−	5 名	10 名	−	10 名
	環境デザイン研究専攻	5 名	−	5 名	10 名	−	10 名
	福祉社会研究専攻	5 名	−	5 名	10 名	−	10 名
	生活機構学専攻	−	5 名	5 名	−	15 名	15 名
	計	55 名	5 名	60 名	110 名	15 名	125 名
合　計		75 名	14 名	89 名	150 名	42 名	192 名

第 2 章　教育方法及び授業科目の履修方法

第 7 条　本大学院の教育は、建学の精神に則り、授業科目の授業及び学位論文の作成等に関する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

第 8 条　各研究科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第 9 条　各研究科の学位論文の作成等に関する研究指導は、各研究科教授会において定める。

第 10 条　各研究科の授業科目の単位の計算方法は、昭和女子大学学則を準用する。

第 11 条　学生は、各自の研究分野を定め、その目的に適するように指導教員の指導により授業科目を履修するものとする。

第 12 条　各研究科において教育研究上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て昭和女子大学及び本大学院の他の研究科又は他大学の大学院とあらかじめ協議のうえ、昭和女子大学及び本大学院並びに他大学の大学院の授業科目を履修させることができる。

2. 前項の規定により履修した授業科目の単位は、10 単位を超えない範囲で、本大学院において修得したものとみなすことができる。

第 13 条　授業科目を履修した者に対しては、考査のうえ、その合格者に所定の単位を与える。

第 14 条　各研究科において教育上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、他大学の大学院及び当該大学院付置研究所とあらかじめ協議のうえ、博士課程及び修士課程の学生が、当該研究所、当該大学院において必要な研究指導を受けることができる。ただし、修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は 1 年を超えないものとする。

第 15 条　各研究科において教育上特別の必要があると認められるときは、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

第 16 条　本大学院は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第 3 章　課程の修了要件及び学位

第 17 条　修士課程及び博士前期課程の修了要件は、本大学院に 2 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については大学院に 1 年以上在学すれば足りるものとする。

2. 前項の場合において、当該修士課程及び博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。なお、当該審査に関する審査方法は、第 17 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 18 条　修士論文の審査及び最終試験は、各研究科教授会の定める審査委員がこれを行う。

2. 前項の審査は、指導教員のほか、当該専攻の授業科目を担当する専任教員 1 名以上を加える。

3. 審査委員は、論文審査及び最終試験実施のうえ、その評価に関する意見を記載した審査報告書を各研究科教授会に提出しなければならない。

4. 各研究科教授会は、各審査委員から提出された審査報告書に基づいて協議のうえ、審査の結果を大学院委員会に報告するものとする。

5. 大学院委員会は、各研究科教授会から提出された修士論文の審査及び最終試験の結果に基づいて総合審査を行い、合格、不合格を決定する。

第 19 条　博士課程の修了要件は、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては、本大学院に 5 年（博士前期課程を修了した者にあっては、当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学し、本学則に定める授業科目について、50 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（博士前期課程を修了した者にあっては当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2. 生活機構研究科博士後期課程にあっては、本大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、16 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。なお、前項の在学期間のただし書はこれを準用する。

3. 第 17 条第 1 項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程及び博士前期課程を修了した者の博士課程の修了の要件は、大学院の修士課程及び博士前期課程における在学期間に 3 年を加えた期間以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては 50 単位以上、また、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 46 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（修士課程及び博士前期課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4. 本条第 1 項から第 3 項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第 70 条の 2 の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究科日本文学専攻及び英米文学専攻にあっては 20 単位以上、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 16 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

5. 本大学院において教育上有益と認めるときは、本大学院に入学する前に大学院において修得した単位を、10 単位を超えない範囲で本大学院において修得したものとみなすことができる。

第 20 条　博士論文の審査及び最終試験は、第 18 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 21 条　学位は、博士及び修士とする。

2. 本大学院において学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、本大学名を付記するものとする。

3. 第 19 条の規定によらないで、本大学院に論文を提出して博士の学位を請求し、所定の審査及び試験に合格した者に博士（文学）、博士（学術）の学位を授与する。

4. 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第 22 条　高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状の所要資格を有する者で、当該免許教科に係る高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2. 本大学院各研究科修士課程及び博士前期課程において、当該所要資格を取得できる高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の免許教科は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	免許教科の種類	
		中専免	高専免
文学研究科	日本文学専攻	国語	国語
	英米文学専攻	外国語(英語)	外国語(英語)
	言語教育・コミュニケーション専攻	外国語（英語）	外国語（英語）
生活機構研究科	生活文化研究専攻	社会	地理歴史
	心理学専攻	−	公民
	人間教育学専攻	幼稚園教諭	小学校教諭
	生活科学研究専攻	家庭	家庭
	福祉社会研究専攻	社会	福祉
	環境デザイン研究専攻	家庭	家庭

第 4 章　学年、学期及び休業日

第 23 条　本大学院の学年・学期及び休業日は、昭和女子大学学則を準用する。

第 5 章　入学、休学、退学及びその他

第 24 条　入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第 25 条　本大学院修士課程及び博士前期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法第 52 条に定める大学を卒業した者

(2) 学校教育法施行規則第 70 条第 1 項により

大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの
(3) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

第26条　本大学院博士後期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。
(1) 修士の学位を有する者
(2) 学校教育法施行規則第70条の2に定める修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

第27条　入学志願者は、次の書類に別表(2)に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。
(1) 本大学院所定の入学願書
(2) 出身大学長の発行する調査書及び卒業証明書(又は卒業見込み証明書)、博士後期課程入学志願者は出身大学院の学長の発行する調査書及び修了証明書(又は修了見込み証明書)
(3) 最近3か月以内の写真

第28条　入学を許可する者は、本大学院の実施する入学選抜考査に合格した者とする。
2. 前項の入学選抜考査の時期及び方法は、その都度定める。

第29条　入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書を別表(2)に定める入学金を添えて、所定の期日までに提出しなければならない。

第30条　保証人に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第31条　外国人の入学に関する事項は、別にこれを定める。

第32条　本大学院の開設する1授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者を科目等履修生とする。
2. 科目等履修生として聴講を志望できる者は、第25条、第26条に規定する大学院入学資格を有する者とする。
3. 科目等履修生の許可は研究科教授会で協議し、大学院委員会の議を経て学長が決定する。
4. 科目等履修生の聴講料は、昭和女子大学学則を準用する。
5. 科目等履修生に対しては、本条に規定するもののほか本学則の各条を準用する。ただし、第4条、第17条から第22条までの規定は、準用しない。

第33条　疾病その他、やむを得ない理由で学業を続けることができないときは、その理由を詳記し願い出て、休学することができる。
2. 休学の期間は、1か年以内とする。特にやむを得ない事情のある者には、休学の継続を許可することがある。ただし、その期間は3か年以内とする。
3. 休学の理由が止んだ時は、復学願を提出しなければならない。
4. 休学者は、学期の始めに復学することができる。
5. 休学の期間は、在学年数に通算しない。

第34条　退学したい者は、その事由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第35条　正当の理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り、審査のうえこれを許可することがある。

第36条　他の大学院に転学しようとするときは、保証人連署のうえ、指導教員を経て学長の許可を得るものとする。

第37条　他の大学院生が本大学院に転学を希望するときは、学生収容定員に余裕のある場合に限り選考のうえこれを許可することがある。

第38条　長期履修学生に関し必要な事項は、別に定める。
2. 長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

第6章　賞　罰

第39条　本章に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第7章　授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第40条　学生の納入金は、授業料及びその他とする。
2. 各納入金の額は、別表(2)のとおりとする。
3. 各納入金は、次の2期に分納する。
前期：4月15日まで
後期：10月15日まで
4. 納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納入日の翌月末日を超えない範囲とする。
5. 滞納が3か月以上におよぶときは、除籍する。
6. 休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。

第41条　学業優秀にして、志操堅固な者には、一定の学資を給付又は貸与することがある。
2. 学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。

第42条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

大学院研究生に関する内規

目　的

第１条　この内規は、大学院博士後期課程を修了した者 (単位満了退学者を含む)、又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者に、大学院研究生の資格を与えることにより、その研究の継続を助成することを目的とする。

資　格

第２条　研究生となることのできる者は、大学院博士後期課程を修了した者 (単位満了退学者を含む)、又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者であって、指導教員の承認を得、研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、学長の許可を得た者とする。

期　間

第３条　研究生の期間は原則として、１年間とする。ただし博士後期課程修了者 (単位満了退学者を含む) にあたっては２回、博士前期課程修了者及び修士課程修了者は１回に限り、更新を願い出ることができる。

待　遇

第４条　研究生は、担当教員の許可を得て聴講願を提出し学長の許可を得たうえで大学院の授業を受けることができる。

2. 研究生は、大学院生に認められた大学の研究施設を利用することができる。

在籍料

第５条　研究生に係わる検定料、入学金及び在籍料等については別途定める。

監　督

第６条　研究生に対する監督は、研究科教授会で定めた教員がこれに当たるものとする。

女性文化研究所研究生に関する内規

目　的

第１条　当研究所は、大学院博士課程生活機構研究科の基礎として位置づけられ、学術研究機関としての活動が期待されている。従って、その一環として、研究生の採用を行い、研究者として指導育成することを目的としてこの規定を定める。

資　格

第２条　研究生となることのできる者は、女性文化に関する研究計画を有し、それを遂行し得る能力を有する者（原則として、大学を卒業した者及びそれと同等以上の学力があると認められる者）とする。

採用の願い出

第３条　研究生採用を願い出る者は、採用願 (本学規定の用紙) に、次の書類を添え前年度の２月末までに願い出るものとする。

1. 出身学校の卒業・修了証明書、又は見込み証明書
2. 成績証明書 (修了見込みの者は過年度のもの)
3. 健康診断書

採用の決定

第４条　研究生の採用の可否は、運営委員会に置く選考委員会において審議し、その答申に基づき、学長が決定する。

研修期間

第５条　研究生の研修期間は、各年度初めから１か年とする。ただし研究計画の進度により、さらに研究を継続しようとする者は、研究継続願を提出しなければならない。その期限は1年限りとする。

待　遇

第６条　研究生は、指導教員の担当授業科目の聴講を希望するときは、同教員の許可を受けて聴講願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

2. 研究生は、本学図書館を利用することができる。

監　督

第７条　研究生に対する監督は、指導教員がこれに当たるものとする。

在籍料

第８条　研究生に係わる検定料、入学金及び在籍料等については別途定める。

学部五修生の大学院修士課程開設科目の履修及び大学院入学後の既修得単位の認定について

本大学院への入学を希望する学部５年次生の、大学院修士課程開設授業科目の受講を下記のとおり取り扱う。

(受講者の条件)

第１条　４年次までの成績が所属学科の３分の１以上で、かつ所属学科の学科長が推薦する者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し大学院研究科長が適当と認めた者は、受講者とすることができる。

第２条　４年次までに卒業論文を提出し、成績優秀な者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し、大学院研究科長が適当と認めた者は受講者とすることができる。

（単位の認定）

第３条　５年次に相当する期間において、大学院修士課程開設の科目を受講し、その科目の試験に合格した場合、所属学科の専門科目の単位として認定することができる。

（既修得単位の認定）

第４条　本大学院へ正式に入学した場合、第３条により修得した授業科目の単位のうち、10 単位を超えない範囲で、大学院修士課程において修得したものとみなすことができる。

注：　なお、成績優秀な者については、「大学院設置基準第 16 条」並びに「大学院学則第 17 条」を活用し、在学期間を短縮することができる。

2. 学部

第１章　総　則

第１条　本学は、建学の精神に則り、高等教育機関として、また、学術文化の研究機関としての使命に鑑み、善を尚び美を愛し真を究めて、文化の創造と人類の福祉に貢献する女性を育成することを目的とする。

2. 本学は各学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2. 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。

第３条　本学は、昭和女子大学と称する。

第４条　本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目７番57号に設置する。

第５条　本学は、次の学部、学科及び専攻を設け、修業年限を４年とし、最長在学年限は６年とする。

人間文化学部
　日本語日本文学科
　英語コミュニケーション学科
　歴史文化学科
人間社会学部
　心理学科
　福祉環境学科
　現代教養学科
　初等教育学科
生活科学部
　生活環境学科
　生活科学科
　　食物健康学専攻
　　管理栄養士専攻

第６条　各学部、各学科及び各専攻の入学定員並びに収容定員は、次の表のとおりとする。

学部・学科・専攻	入学定員	収容定員
人間文化学部	355名	1,420名
日本語日本文学科	120名	480名
英語コミュニケーション学科	160名	640名
歴史文化学科	75名	300名
人間社会学部	300名	1,200名
心理学科	60名	240名
福祉環境学科	60名	240名
現代教養学科	80名	320名
初等教育学科	100名	400名
生活科学部	297名	1,204名
(3年次編入学定員)	8名	
生活環境学科	180名	720名
生活科学科	117名	484名
食物健康学専攻	45名	180名
管理栄養士専攻	72名	304名
(3年次編入定員)	8名	

第２章　教育課程

第７条　各学部、各学科及び各専攻の授業科目を、必修及び選択に分ける。

第８条　各学部、各学科及び各専攻の授業科目並びに単位数は、別表（1）のとおりとする。

第３章　履修、卒業及び学位

第９条　学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第10条　学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。

第11条　履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格点とする。

第12条　疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。

第13条　各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(4) 芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

(5) 第1号から第4号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められ

る場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

2. 前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。

3 第1項の授業は、第12章に定める公開講座として開講することがある。

第14条 本学を卒業するには、学生は4年以上在学し、第8条別表(1)に定めた授業科目につき、各学科共通科目から48単位以上(教養科目36単位以上、外国語科目12単位以上(生活科学部生活科学科は8単位以上))、専門教育科目は76単位以上、文化講座8単位を含み計132単位以上修得しなければならない。ただし、生活科学部生活科学科の専門教育科目の履修方法は、別に定める。

2. 外国人留学生は、前項の規定にかかわらず、教養科目36単位のうち16単位まで、また、外国語科目12単位のうち8単位までを、日本語科目及び日本事情に関する授業科目の単位でそれぞれ代えることができる。

3. 本学において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。

4. 前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定することができる。

5. 本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。

6. 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、第4項により認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

7. 卒業要件として修得すべき132単位のうち、第13条第2項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

8. 第4項及び第6項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。

9. 大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学したときは、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の2分の1を超えない範囲で、在学期間として認定することがある。

10. 学校教育法第55条の3に規定する早期卒業の認定については、別に定める。

第15条 教育職員免許状の授与の所要資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2. 各学科において取得できる免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科	免許状の種類	免許教科
日本語日本文学科	中学校教諭 一種免許状	国語	高等学校教諭 一種免許状	国語・書道
英語コミュニケーション学科	同上	外国語(英語)	同上	外国語(英語)
歴史文化学科	同上	社会	同上	地理歴史
心理学科	同上	社会	同上	公民
福祉環境学科	−	−	同上	福祉
現代教養学科	中学校教諭 一種免許状	社会 外国語(英語)	同上	公民 外国語(英語)
初等教育学科	幼稚園教諭一種免許状		小学校教諭一種免許状	
生活環境学科	中学校教諭 一種免許状	家庭	高等学校教諭 一種免許状	家庭
生活科学科 (食物健康学専攻)	同上	家庭・保健	同上	家庭・保健
生活科学科 (管理栄養士専攻)	栄養教諭二種 栄養教諭一種			

第16条 福祉環境学科の学生で社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2. 福祉環境学科の学生で2級建築士、インテリアプランナー及び木造建築士の受験資格を取得しようとする者は、福祉建築コースを選択し、第14条の規定によるほか、別に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

3. 福祉環境学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第17条 初等教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第18条 生活環境学科の学生で1、2級建築士、インテリアプランナー、木造建築士及び設備士の受験資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、別に定める授業科目の単位を修得しなければならない。なお、1級建築士、インテリアプランナー及び設備士を受験するには、定められた実務経験が必要となる。

2. 生活環境学科の学生で1級衣料管理士の資格を取得しようとする者は、第14条の

規定によるほか、衣料管理士認定規定に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 19 条　生活科学科食物健康学専攻の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2. 生活科学科管理栄養士専攻の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

3. 前項に定める要件を満たした者は、管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができる。

第 20 条　学芸員の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第 8 条別表（1）教育課程中博物館学関係科目は、第 14 条の専門教育科目の単位に含むものとする。

第 21 条　図書館司書の資格を取得しようとする者は、昭和女子大学短期大学部学則第 20 条に規定する授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第 14 条第 4 項に定める 60 単位の内数として修得するものとする。

第 22 条　学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、教育職員免許状の授与の所要資格を取得したうえで、第 14 条の規定によるほか、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 23 条　第 14 条の規定による所要単位数を修得した者の卒業については、教授会の議を経て学長が認定する。また、昭和女子大学短期大学部を卒業後、同短期大学部専攻科のうち大学評価・学位授与機構が認定した専攻科を修了し、かつ学位申請に必要なすべての単位を本学で修得して大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者については、教授会の議を経て学長が本学を卒業したものとみなすことができる。

2. 卒業を認定された者には、学士の学位を授与する。

3. 学位の授与区分は、次の表のとおりとする。

学　部	学　科	学　位
人間文化学部	日本語日本文学科 英語コミュニケーション学科 歴史文化学科	学士 （人間文化学）
人間社会学部	心理学科・福祉環境学科 現代教養学科	学士 （人間社会学）
	初等教育学科	学士 （教育学）
生活科学部	生活環境学科・生活科学科	学士 （生活科学）

4. 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第 4 章　学年、学期及び休業日

第 24 条　学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 25 条　学年を分けて次の 2 学期とし、各学期の授業期間は原則として 15 週にわたるものとする。

前期　/　4 月 1 日から 9 月 30 日まで
後期　/　10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

第 26 条　休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

（1）国民の祝日に関する法律に規定する休日
（2）日曜日
（3）創立記念日　5 月 2 日
（4）夏季休業日　8 月 1 日から 9 月 30 日まで
（5）冬季休業日　12 月 23 日から翌年 1 月 8 日まで
（6）春季休業日　3 月 11 日から 3 月 31 日まで

第 5 章　入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

第 27 条　入学の時期は、学期の始めとする。

第 28 条　入学を許可される者は、女子にして次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

（1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
（2）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
（3）外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5）文部科学大臣の指定した者
（6）高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18 歳に達したもの
（7）本学において、個別の学力審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(8) 学校教育法第56条第2項の規定により、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（飛び入学）
(9) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（編入学）
(10) 短期大学を卒業した者（編入学）
(11) 学士の学位を有する者（学士入学）
(12) 第9号から11号の入学志願者については、定員に余裕のある場合に選考のうえ入学させる。

第29条 入学志願者は、次の書類に別表(2)に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。
(1) 入学志願書
(2) 出身学校長の発行する調査書
(3) 最近の写真（本学所定の大きさ）

第30条 入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第31条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表(2)に定める入学金を添えて提出しなければならない。

第32条 保証人は、父母またはこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。

第33条 保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。

第34条 保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

第35条 退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第36条 疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。

第37条 休学期間は、1か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

第38条 休学期間は、在学年数に通算しない。
2. 休学者は、学期の始めに復学することができる。

第39条 国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。
2. 留学に関する取扱いは、別に定める。

第40条 学生が他の学科に転じることを願い出たときは、選考のうえこれを許可することがある。

第41条 本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。

第42条 転入学、学士入学若しくは編入学又は転科した者については、すでに他の専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定又は換算することができる。

第43条 正当な理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。

第44条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。
(1) 在学6年にして卒業できない者
(2) 学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
(3) 正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

第6章 賞 罰

第45条 本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。

第46条 本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

第47条 次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。
(1) 性行不良で改善の見込みがない者
(2) 成績不良で成業の見込みがない者
(3) 正当な理由なく出席常でない者
(4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第7章 授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第48条 学生の納入金は、授業料及びその他とする。
(1) 各納入金の額は、別表(2)のとおりとする。
(2) 各納入金は、次の2期に分納する。
前期 / 4月15日まで
後期 / 10月15日まで
(3) 納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
(4) 休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。

第49条 学業優秀にして、志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。

第 50 条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第 8 章　教職員組織及び教授会

第 51 条　本学に学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長及び同次長を置く。
(1) 学長は、教育研究に関する学務を統括する。
(2) 副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故あるときは、その職務を代行する。
(3) 学部長は、当該学部の部務を統理する。
(4) 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
(5) 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
(6) 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
(7) 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
2. 各学科の科務を処理するため、学科長を各 1 名置く。
3. 学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。

第 52 条　本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。
(1) 教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
(2) 准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
(3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
(4) 助教は、教授及び准教授、講師に準ずる職務に従事する。
(5) 助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
(6) 事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

第 53 条　各学部に、学部の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。
2. 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第 54 条　本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。
2. 大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第 9 章　委託生、外国人留学生及び科目等履修生

第 55 条　委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。

第 56 条　官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。

第 57 条　外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。

第 58 条　本学の開設する授業科目のうち、1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。

第 59 条　科目等履修生として許可される者は、第 27 条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。

第 60 条　科目等履修生は毎学期初めに、その学期中に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。

第 61 条　単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。

第 62 条　科目等履修生の聴講料は、各学期 1 科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、前記登録料、聴講料の支払いを免除する。

第 63 条　委託生､外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。

第 64 条　委託生､外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、本条を適用しない。

第 65 条　委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。

附　則　この学則は平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

別表（1）

人間文化学部	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科	
	日本語日本文学科は、日本の言語文化について、日本語学・日本文学・日本語教育の三分野から学ぶことにより、広い視野と豊かな教養を培い、文化的創造及び社会の発展に寄与し得る人材の育成を目的とする。	英語コミュニケーション学科は、英語の運用能力を基礎として、文学・文化、言語学、コミュニケーション・メディアの専門的知識を高め、英語を使って、日本のみならず広く国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする。	歴史文化学科は、歴史をはじめ、考古、美術、伝統文化、地域文化、および文化財の諸分野にわたり段階的な教育を通して、歴史と文化に対する広い視野と高い識見を備えた人材の育成を目的とする。	
人間社会学部	心理学科	福祉環境学科	現代教養学科	初等教育学科
	心理学科は、「健康な人格の形成と保持に資する心理学の活用」という時代の要求に応え、人の心を幅広く理解する心理学の視点を持ち、現実の問題に実践的に対応できる援助能力を身につけた人材の育成を目的とする。	福祉環境学科は、人間の尊厳を重視した自立と共生、平等にもとづく福祉社会の理念を追求する。人間と環境の関係を科学的に探求し、生活の維持・向上のための課題を解決できる専門的知識・技術と価値観を培い、学際的な視野をもつ人材の育成を目的とする。	現代教養学科は、自身の考えを的確に表現伝達する能力を育成するとともに、時代の要請に応え社会に貢献できる人材を育むことを目標におき、さまざまな角度から物事を把握する力を育て、“生きる力”を身につけた人材の育成を目的とする。	初等教育学科は、基礎教育から専門教育への連続性を踏まえた体系的教育課程を編成・実施し、子どもの望ましい心身の発達と成長を期待し、一人一人の個性や能力を引き出し、その豊かな人格の形成を指導・援助できる人材の育成を目的とする。
生活科学部	生活環境学科	生活科学科　食物健康学専攻	生活科学科　管理栄養士専攻	
	生活環境学科は、機能的で美しい建築やインテリアのデザイン、生活プロダクトのデザイン、衣服のデザインなど、私たちの生活空間がいかにあるべきかを考え、どのようにプロデュースするかを理論と技術の両面から学び、総合力を身につけた専門家としての人材の育成を目的とする。	生活科学科食物健康学専攻は、食を通して、健康の増進と生活の質の向上に資する人材の養成を目的とする。栄養・食品・調理に関する学術的な根拠に基づいた理論を展開できる能力を育み、社会に貢献する人材を育成する。	生活科学科管理栄養士専攻は、医療、福祉、学校等、現場を支える管理栄養士として、社会に貢献する人材の養成を目的とする。人と社会や環境との関わりを学び、人体の構造とその機能に関する深い理解を基に、様々な状況の中で人の栄養に適切に対処できる人材を育成する。	

昭和女子大学学位規則

（目的）

第１条　本学位規則は、学位規則（平成３年６月３日文部省令第 27 号）第 13 条の規定に基づき本学において授与する学位、学位論文審査及び最終試験の方法その他学位に関して必要な事項を定めるものとする。

（学位）

第２条　本学において授与する学位は次のとおりとする。

学士・修士・博士

（学位授与の要件）

第３条　学士の学位は、本大学学則の定めるところにより所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

第４条　修士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより修士課程または博士前期課程所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

第５条　博士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

2. 博士の学位は前項に規定する者のほか、本学大学院博士後期課程を経ない者であっても学位論文を提出し、その審査及び試験に合格し、かつ前項に該当する者と同等以上の学力が認められる者に授与することができ

る。
（学位論文提出による学位の授与）
第６条　第５条第２項により、博士の学位論文を提出した者については、この規則の定めるところにより、審査の上学位を授与することができる。
2. 前項に規定する者が博士の学位論文を提出するときは、学位申請書に学位論文５部、参考論文のあるときは当該参考論文、研究業績書、履歴書及び審査料を添えて、学長に提出するものとする。ただし、審査料は学位論文の受理が決定してから納入するものとする。
3. 学位論文の受理は研究科教授会並びに大学院委員会の議を経て学長が決定する。
4. 学位論文を受理したときは、学位論文の審査のほか、本学大学院の博士課程において所定の単位を修得した者と同等以上の学力を有することを認めるための試験を行うものとする。
5. 前項の試験は口答又は筆答により行う。
6. 第５条第２項により、学位論文を提出した者が本学大学院の博士課程において、所定の単位を修得した者であるときは、前第４項の試験は免除するものとする。
7. 前項に該当する者が、本学を退学後３年以内の場合、第５条第１項に規定する者と同様に扱う。
8. 学位論文の審査は本学大学院学則第 16 条及び第 18 条を準用する。
9. 審査委員は、学位論文審査のため必要があるときは、学位論文提出者に対して当該学位論文の参考資料等の提出を求めることができる。
10. 学位論文の審査は、受理してから１年以内に終了するものとする。
（学位論文の公表）
第 14 条　博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を受けた日から１年以内に、その学位論文を印刷公表するものとする。ただし、学位の授与を受ける前にすでに印刷公表したときはこの限りでない。
2. 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者でやむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該学位論文の全文に代えてその内容を要約したものを印刷公表することができる。この場合、大学はその学位論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
（学位の名称の使用）
第 15 条　学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「学士（昭和女子大学）」、「修士（昭和女子大学）」、「博士（昭和女子大学）」のように附記するものとする。
2. 学位記の様式は別表第１から別表第３の通りとする（別表略）
第 16 条　学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は教授会、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て学位の授与を取消すことがある。

付則　この規則は平成 20 年４月１日から施行する。

3. 短期大学部

第１章　総　則

第１条　本学は、建学の精神に則り、高い教養と文化創造学、食物科学及び子ども教育学に関する専門の学芸を教授研究し、職業又は実際生活に必要な能力を養い、社会に貢献しうる有為な女性を育成することを目的とする。
2. 本学は各学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。
第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。
2. 前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。
第３条　本学は、昭和女子大学短期大学部と称する。
第４条　本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目７番 57 号に設置する。
第５条　本学は、次の学科を設け、修業年限を２年とし、最長在学年限を４年とする。ただし、短期大学設置基準第 16 条の２に規定する長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）については、既に在学した期間を含め修業年限を４年とし、最長在学年限を６年とする。
文化創造学科・食物科学科・子ども教育学科
2. 長期履修学生は、学期を単位に２年まで修業年限を短縮することができる。
3. 文化創造学科は、昼夜開講制により授業を行う。
第６条　各学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

学　科	入学定員	収容定員
文化創造学科	150 名	300 名
食物科学科	120 名	240 名
計	320 名	640 名

第２章　教育課程

第７条　各学科の授業科目を、必修及び選択に分ける。

第８条　各学科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第３章　履修及び課程修了

第９条　学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第 10 条　学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。

第 11 条　履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は 100 点をもって満点とし、60 点以上を合格点とする。

第 12 条　疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。

第 13 条　各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（1）講義については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

（2）演習については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

（3）実験、実習及び実技については、45 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

（4）芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって 1 単位とすることができる。

（5）第 1 号から第 4 号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

2. 前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。
3. 第 1 項の授業は、第 12 章に定める公開講座として開講することがある。

第 14 条　本学を卒業するには、学生は 2 年以上在学し、第 8 条別表（1）に定めた授業科目につき、教養科目は 8 単位以上、外国語科目は 4 単位以上、専門教育科目は 28 単位以上、余裕単位 6 単位以上、体育実技 1 単位、文化講座 4 単位を含み計 66 単位以上修得しなければならない。ただし、昼夜開講制を実施している学科で夜間の時間帯の授業を主として履修する学生の外国語科目及び保健体育科目並びに文化講座の履修については、別に定める。余裕単位は、学科の定めるところによって、教養科目及び専門教育科目に配分することができる。

2. 外国人留学生は、前項の規定にかかわらず、教養科目 8 単位のうち 4 単位まで、また、学科の定める余裕単位を教養科目に配分した場合は 12 単位まで、外国語科目 4 単位のうち 2 単位までを、日本語科目及び日本事情に関する授業科目の単位でそれぞれ代えることができる。
3. 本学において教育上有益と認めるときは、大学部局長会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。
4. 前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、30 単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定することができる。
5. 本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。
6. 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、第 4 項により認定する単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。
7. 卒業要件として修得すべき 66 単位のうち、第 13 条第 2 項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、30 単位を超えないものとする。
8. 第 4 項及び第 6 項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。
9. 大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学した場合は、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の 2 分の 1 を超えない範囲で、在学期間として認定することがある。

第 15 条　教育職員免許状の授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2. 各学科において取得できる免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科
文化創造学科	中学校教諭二種免許状	国語・外国語（英語）・家庭
食物科学科	同上	家庭
	栄養教諭二種免許状	

第 16 条　食物科学科の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 17 条　文化創造学科の学生で 2 級衣料管理士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、衣料管理士認定規定に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2. 文化創造学科の学生で 2 級建築士及び木造建築士の受験資格を取得しようとする者は、別に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 18 条　子ども教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、第 74 条に定める専攻科保育学専攻に入学のうえ、児童福祉法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 19 条　学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、教育職員免許状の授与の所要資格を取得したうえで、第 14 条の規定によるほか、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 20 条　図書館司書の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 21 条　第 14 条に規定する所要単位数を修得した者の卒業については、大学部局長会の議を経て学長が認定する。

2. 卒業を認定された者には短期大学士の学位を授与する。

3. 短期大学士の授与区分を次のとおりとする。

学科	学位
文化創造学科	短期大学士（文化創造）
食物科学科	短期大学士（食物科学）
子ども教育学科	短期大学士（教育学）

4. 学位授与に必要な事項は、昭和女子大学短期大学部学位規則に定める。

第４章　学年、学期及び休業日

第 22 条　学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 23 条　学年を分けて次の 2 学期とし、各学期の授業期間は原則として 15 週にわたるものとする。

前期／ 4 月 1 日から 9 月 30 日まで
後期／ 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

第 24 条　休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
(2) 日曜日
(3) 創立記念日／ 5 月 2 日
(4) 夏季休業日／ 8 月 1 日から 9 月 30 日まで
(5) 冬季休業日／ 12 月 23 日から翌年 1 月 8 日まで
(6) 春季休業日／ 3 月 11 日から 3 月 31 日まで

第５章　入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

第 25 条　入学の時期は、学期の始めとする。

第 26 条　入学を許可される者は、女子にして、次の各号のいずれかに該当するものでなければならない。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18 歳に達したもの
(7) 本学において、個別の学力審査により、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

第 27 条　入学志願者は、次の書類に別表 (2) に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。

(1) 入学志願書
(2) 出身学校長の発行する調査書
(3) 最近の写真（本学所定の大きさ）

第 28 条　入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第 29 条　入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表（2）に定める入学金を添えて提出しなければならない。
第 30 条　保証人は、父母又はこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。
第 31 条　保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。
第 32 条　保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。
第 33 条　退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。
第 34 条　疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。
第 35 条　休学期間は 1 か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。
第 36 条　休学期間は、在学年数に通算しない。
2. 休学者は、学期の始めに復学することができる。
第 37 条　国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。
2. 留学に関する取扱いは、別に定める。
第 38 条　学生が他の学科に転じることを願い出た場合は、選考のうえこれを許可することがある。
第 39 条　本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。
第 40 条　転入学、転部及び転科した者については、すでに他の大学、短期大学、専修学校専門課程又は学科において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定又は換算することができる。
第 41 条　正当な理由で退学した者が、再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。
第 42 条　次の各号のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て学長が除籍する。
（1）在学 4 年にして卒業できない者。ただし、長期履修学生については在学 6 年とする。
（2）学費の滞納が 3 か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
（3）正当な理由なく、無届で 3 か月以上連続欠席した者

第 6 章　賞　罰

第 43 条　本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。
第 44 条　本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。
第 45 条　次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。
（1）性行不良で改善の見込みがない者
（2）成績不良で成業の見込みがない者
（3）正当な理由なく出席常でない者
（4）学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 7 章　授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第 46 条　学生の納入金は、授業料及びその他とする。
（1）各納入金の額は、別表（2）のとおりとする。
（2）各納入金は、次の 2 期に分納する。
前期／4 月 15 日まで
後期／10 月 15 日まで
（3）2 期に分納できないときは、事情を勘案のうえ、月納等支払方法を考慮することがある。
（4）納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
（5）休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。
第 47 条　学業優秀にして志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。
第 48 条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第 8 章　教職員組織及び教授会

第 49 条　本学に学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長及び同次長を置く。
（1）学長は、教育研究に関する学務を統括する。
（2）副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故があるときは、その職務を代行する。
（3）短期大学部長は、短期大学部の部務を統理する。
（4）教務部長は、教務の企画運営に当たる。
（5）教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。

(6) 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
(7) 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
2. 各学科の科務を処理するため、学科長各1名を置く。
3. 学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。

第 50 条　本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。
(1) 教授は、学生の研究と教育を指導し、また研究に従事する。
(2) 准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
(3) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
(4) 助教は、教授及び准教授、講師に準ずる職務に従事する。
(5) 助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
(6) 事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

第 51 条　本学の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。
2. 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

第 52 条　本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。
2. 大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第９章　委託生、外国人留学生、科目等履修生及び長期履修学生

第 53 条　委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。

第 54 条　官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。

第 55 条　外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。

第 56 条　本学の開設する授業科目のうち、1授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。

第 57 条　科目等履修生として許可される者は、第26条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。

第 58 条　科目等履修生は、毎学期始めにその学期中に履修する科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。

第 59 条　単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。

第 60 条　科目等履修生の聴講料は、各学期1科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、上記登録料、聴講料の支払いを免除する。

第 61 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。

第 62 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については本条を適用しない。

第 63 条　委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。
ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。

第 64 条　長期履修学生に関する取扱規程は、別に定める。
2. 長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

（中　略）

第 14 章　専攻科

第 72 条　短期大学の課程を修了した者に、更に深い専門の学芸と国語国文学、英語英文学、生活文化学、食物科学及び保育学に関する職業又は実際生活に必要な能力を育成することを目的として、修業年限1年及び2年の専攻科を置く。
2. 入学資格は、短期大学の課程を修了した者並びに相当年齢に達し、これと同等の学力があると認められた者。

第 73 条　専攻科に次の6専攻を設け、各専攻の修業年限、入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

専攻名	修業年限	入学定員	収容定員
国語国文学専攻	1年	10名	10名
英語英文学専攻	1年	20名	20名
生活文化学専攻	1年	10名	10名
食物科学専攻	1年	10名	10名
保育学専攻	1年	30名	30名
計		80名	80名

第 74 条　各専攻の教育課程は、別表（3）のとおりとする。

第 75 条　各専攻の課程を修了するには、学生は 1 年以上在学し、第 74 条別表（3）に定めた授業科目について 30 単位以上を修得しなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、人間教育学専攻の課程を修了するには、学生は 2 年以上在学し、第 74 条別表（3）に定めた授業科目について 46 単位以上を修得しなければならない。

第 76 条　小学校教諭 1 種免許状、幼稚園教諭 1 種免許状の授与の所要資格を取得しようとする者は、第 75 条第 2 項の規定によるほか、学士の学位を有し、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

第 77 条　第 75 条の規定による各専攻の課程修了者の認定は、大学部局長会の議を経て学長が行う。修了を認定された者には修了証書を授与する。

第 78 条　各専攻の学生については、本章に規定するほか、本学則の各章の規定を準用する。

附　則　この学則は平成 20 年 4 月 1 日から施行する。（文化創造学科入学定員を 150 名に変更。子ども教育学科は平成 20 年度から募集を停止し、在学生がいなくなるのを待って廃止。各学科人材の育成に関する目的その他教育研究上の目的）。別表アの子ども教育学科「人材の育成に関する目的その他教育研究上の目的」は、在学生がいる間適用する。

別表ア

	文化創造学科	食物科学科	子ども教育学科
短期大学部	文化創造学科は昼間主コースと夜間主コースで構成し、時代の要請に応える幅広い教養と専門領域に関わる基礎を学び、自ら進路を決め、自己表現ができる人材の育成を目的とする。それに加え、夜間主コースは、幅広い年代の社会人に、生涯学習の一助として、学び直しの場を提供する。	食物科学科は、幅広い教養と専門的知識・技能を教授することにより、学生に職業や実生活に必要な能力を付与するとともに、豊かな人間性を養い、自らの将来の課題を探求し、健全な社会の形成に貢献できる有能な人材の育成を目的とする。	子ども教育学科は、幼稚園教諭と小学校教諭の二種免許状を取得可能な教育課程を編成実施し、初等教育について幅広い教養と実践力のある教員の養成、人間性豊かな人材の育成を目的とする。

昭和女子大学短期大学部学位規則

（目的）
第１条　本学位規則は、学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 13 条の規定に基づき本学において授与する学位について必要な事項を定めるものである。
（学位）
第２条　本学において授与する学位は次のとおりとする。
　　短期大学士
（学位授与の要件）
第３条　短期大学士の学位は、本学学則の定めるところにより本学に 2 年以上在学し、各学科の所定の課程修了を認定された者に授与する。
（学位の授与）
第４条　教授会は、本学学則の定めるところにより、それぞれの課程の修了について総合審査するとし、その結果について学長に報告するものとする。
　2.　学長は、前項の報告に基づき、学位を授与し、学位記を交付するものとする。
（学位の名称の使用）
第５条　学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「短期大学士（昭和女子大学短期大学部）」のように附記するものとする。
（学位授与の取消）
第６条　学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位を受けた事実が判明したときは、学長は教授会の議を経て学位の授与を取消すことがある。
（学位記の再交付）
第７条　学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を具し学長に願い出なければならない。

附　則　この規則は平成18年3月8日から施行する。

昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部間の単位互換に伴う「履修できる授業科目の範囲」（内規）

第１条　昭和女子大学学則第 14 条第 4 項に基づいて、昭和女子大学短期大学部（以下短期大学という）との単位の互換制度を協約する。
第２条　昭和女子大学の学部学生が、短期大学に開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。
　1. 学部に開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。
　2. 原則として、講義科目に限るものとする。（演習、実験、実習は許可しない）
　3. 学年指定のある科目の場合履修学生の制限は当該学年を優先する。
　4. 卒業要件の単位として履修できる単位は 60 単位までとする。
第３条　短期大学の学生が、昭和女子大学の学部に開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。
　1. 短期大学に開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。その他は前条第 2 号、第 3 号に準ずる。
　2. 卒業要件の単位として履修できる単位は 30 単位までとする。

付　則　この規定は平成12年4月1日から施行する。

4. 学費

1. 大学院

○大学院の学費（半年分）

（単位／円）

大学院・専攻 ＼ 項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学納金合計
文学研究科	日本文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	言語教育･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	英米文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
生活機構研究科	生活機構学専攻	9,000	403,800	9,000	2,500	424,300
	生活文化研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	心理学専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	生活科学研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	環境デザイン研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	福祉社会研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	人間教育学専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800

上記の表以外の納入金

・光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）ただし本学卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

2. 学部

○人間文化学部・人間社会学部・生活科学部の学費（半年分）

平成 20 年度入学者

（単位／円）

学部・学科 ＼ 項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
人間文化学部	日本語日本文学科	85,000	397,800	5,000	40,000	1,200	529,000
	英語コミュニケーション学科	85,000	397,800	10,000	40,000	1,200	534,000
	歴史文化学科	85,000	412,800	15,000	40,000	1,200	554,000
人間社会学部	心理学科	85,000	427,800	30,000	40,000	1,200	584,000
	福祉環境学科	85,000	412,800	30,000	40,000	1,200	569,000
	現代教養学科	85,000	407,800	15,000	40,000	1,200	549,000
	初等教育学科	85,000	407,800	15,000	40,000	1,200	549,000
生活科学部	生活環境学科	85,000	412,800	30,000	40,000	1,200	569,000
	生活科学科	85,000	427,800	30,000	40,000	1,200	584,000

上記の表以外の納入金

1. 光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）ただし、本学短期大学部からの編入生で以前に会費を納入済みの者は免除

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

平成 19 年度入学者　（単位／円）

学部・学科＼項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
人間文化学部	日本語日本文学科	85,000	397,800	5,000	37,000	1,200	526,000
	英語コミュニケーション学科	85,000	397,800	10,000	37,000	1,200	531,000
	歴史文化学科	85,000	412,800	15,000	37,000	1,200	551,000
人間社会学部	心理学科	85,000	427,800	30,000	37,000	1,200	581,000
	福祉環境学科	85,000	412,800	30,000	37,000	1,200	566,000
	現代教養学科	85,000	407,800	15,000	37,000	1,200	546,000
	初等教育学科	85,000	407,800	15,000	37,000	1,200	546,000
生活科学部	生活環境学科	85,000	412,800	15,000	37,000	1,200	551,000
	生活科学科	85,000	427,800	30,000	37,000	1,200	581,000

上記の表以外の納入金

1. 光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）ただし、本学短期大学部からの編入生で以前に会費を納入済みの者は免除

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

平成 18 年度以前入学者　（単位／円）

学部・学科＼項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
人間文化学部	日本語日本文学科	74,000	397,800	5,000	37,000	1,200	515,000
	英語コミュニケーション学科	74,000	397,800	10,000	37,000	1,200	520,000
	歴史文化学科	74,000	412,800	15,000	37,000	1,200	540,000
人間社会学部	心理学科	74,000	427,800	30,000	37,000	1,200	570,000
	福祉環境学科	74,000	412,800	30,000	37,000	1,200	555,000
	現代教養学科	74,000	407,800	15,000	37,000	1,200	535,000
	初等教育学科	74,000	407,800	15,000	37,000	1,200	535,000
生活科学部	生活環境学科	74,000	412,800	15,000	37,000	1,200	540,000
	生活科学科	74,000	427,800	30,000	37,000	1,200	570,000

上記の表以外の納入金

1. 光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）ただし、本学短期大学部からの編入生で以前に会費を納入済みの者は免除

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

3. 短期大学部

○短期大学部の学費（半年分）

平成 20 年度入学者　（単位／円）

学部・学科＼項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
短期大学部	文化創造学科（昼間主コース）	85,000	397,800	25,000	40,000	1,200	549,000
	文化創造学科（夜間主コース）	30,000	308,000	12,500	13,500	600	364,600
	食物科学科	85,000	427,800	30,000	40,000	1,200	584,000

上記の表以外の納入金

1．光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

平成 19 年度入学者　　（単位／円）

学部・学科＼項目		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
短期大学部	文化創造学科(昼間主コース)	85,000	397,800	15,000	37,000	1,200	536,000
	文化創造学科(夜間主コース)	30,000	308,000	10,000	12,500	600	361,100
	食物科学科	85,000	427,800	30,000	37,000	1,200	581,000
	子ども教育学科	85,000	403,800	15,000	37,000	1,200	542,000

上記の表以外の納入金

1．光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

○専攻科の学費（半年分）

（単位／円）

専攻＼項目	施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学生部会費	学納金合計
国語国文学専攻	85,000	397,800	5,000	40,000	1,200	529,000
英語英文学専攻	85,000	397,800	10,000	40,000	1,200	534,000
生活文化学専攻	85,000	412,800	15,000	40,000	1,200	554,000
食物科学専攻	85,000	427,800	30,000	40,000	1,200	584,000
保育学専攻	85,000	403,800	15,000	40,000	1,200	545,000

上記の表以外の納入金

1．光葉同窓会費（卒業年次後期：３万円）ただし、本学短期大学部卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除

＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については、「Ⅲ-3. 諸資格の取得」を参照

2008昭和女子大学学生便覧

II

大学生活



Student's Manual

1．クラス主任制･委員会活動･学生部会

1．クラス主任制

意　　義

クラスとは，同一年度に入学した学生（入学試験を受けて入学を許可された学生，授業参加学生、推薦入学生、留学生など）を学科毎にクラス主任の指導上適切な人数に分けて構成し、教育活動の基礎単位として位置づけられているものです。

一人ひとりの学生が生活体としてのクラスを構成し、一つひとつのクラスが集まって本学の理想を実現します。クラスとは本学の学生生活の基礎単位であり、同時に本学を支える土台でもあるのです。

●目　　的

1. 本学の学生生活を充実・推進し、進んで建学の精神の具現化を図るために最も有効な拠点とする。
2. クラス主任と学生相互間の協調と協力のもとに、学問研究・人格形成の実を挙げる。
3. クラス主任の指導により教育研修上の連絡・伝達・調整・出欠記録の徹底をはかる。
4. 学内生活の円滑化のため、生活環境の整備・美化をはかる。

クラスルームの時間

上記の目的を達成するために、本学では、毎週1回原則として水曜日の第3講時終了後と、各学期の始業日および終業日にクラスルームの時間を設定しています。授業および行事と同様学生は必ず出席して学生生活の充実と円滑化をはかるよう心がけてください。

2. 委員会活動

クラス委員会

第１章　総則

1. 学生生活の充実向上と、学園生活の円滑化をはかるために、クラスごとに代表2名をおき、クラス委員とする。
2. クラス委員はクラスの代表であると同時に、クラス主任を補佐してクラスの指導と管理に当たる。
3. クラス委員は、学生部長が主催するクラス委員会に出席して、全学的機構の一員として協議に参加し、その決定事項についてはクラス全員に正確に連絡する。

   また、学科・学年ごとのクラス委員会に出席して、他のクラス委員との連携を密にし、共通理解にたって問題の処理に当たる。
4. クラス委員は、クラスの管理に関連する施設・設備の問題、健康管理上および修学上の問題改善について、クラス主任に進言することができる。
5. クラス委員は、学生部会の機構組織としてのクラス学生委員を兼ねることができない。

第２章　選出方法・任命

1. クラス委員の選挙は、クラス員の意思が公正に反映されるように、複式選挙の方法による。
2. 複式選挙の方法では、選出するクラス委員2名を連記して第1次選挙を行い、即時開票、得点順に定員の倍数の4名の候補者を定め、その4名について再び2名連記で投票し、上位2名を当選者としてきめる。
3. 選挙は、原則として毎学期始めに行う。
4. クラス委員の任命は、選挙の結果とクラス主任の推薦に基づき、学生部長が行う。

   ただし、1年次の前期においては、クラス主任から指名を受け任命された者がその任務を担当する。
5. クラス委員の任期は一学期間であるが、重任することができる。

第３章　任務

1. クラス員相互の協力と親和をはかり、クラス主任との連絡を密にしてクラスの向上と生活目標の達成に努める。
2. クラスの毎日の授業が、清潔でかつ静粛な中で行われ、常に快適な勉学が行えるよう、全体的な配慮とその推進に努める。
3. 担当箇所の清潔整頓、備品の管理に努める。
4. クラス委員会に参加して、協議事項等についてクラスのメンバーに連絡し生活の充実と向上をはかる。
5. クラス主任の行う校務の補助に当たる。
   (1) 大学からの伝達、クラス主任および関係指導者からの連絡や指示事項の周知徹底
   (2) クラス備品の保管・調査点検
   (3) クラス日誌の管理
6. クラス委員はその任務遂行のため、必要に応じて他の係を設定して協力を求めることができる。

第４章　各種委員会の組織

1. 学園生活の向上発展、学生中心の諸行事の円滑化をはかるため、クラス委員会の中に総務委員会、学報委員会、ボランティア委員会、エコロジー委員会を置く。

   各種委員会は、各学科1名（合計12名）によって構成し、委員長1名、副委員長2名（学部・短大各1名）を置く。

   委員会の任務、任期等は、次の通り。

   (1) 総務委員会
   イ．各学科の代表で構成し、任期は任命された期間中とする。
   ロ．学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
   ハ．委員会の正・副委員長は、クラス委員会の正・副議長となり、クラス委員会の運営、進行に当たる。
   ニ．委員会の主な活動としては、校章着用の実態調査、服装調査、生活指導標語の作成・掲示およびその徹底などがある。

(2)　学報委員会
イ. 月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
ロ. 前期に選出された委員の任期は、1年とする。短大1年次クラス委員の中から、いずれかの学科1名の委員が補助として追加されることもある。
(3)　ボランティア委員会
イ. 各学科の代表と、ボランティアに関心のある有志の学生で構成される。任期は特に定めない。
ロ. 世田谷ボランティア協会他と協力し、活動を推進している。
(4)　エコロジー委員会
イ. 各学科の代表及び有志で構成し、環境保全活動を行う。
ロ. 学園の環境保全活動と連携して活動する。
2. 各種委員会に顧問を置く。顧問は学生部委員があたる。

3. 学生部会

学生部会

●目　的

学生部会は、学生の自治と団結によって学生相互の研鑽・親和をはかり、大学生の向上発展を願って設立されている。

この会は昭和女子大学全学年で組織され、クラブ・サークル活動、秋桜祭、ボランティアの推進分野での活動が活発に行われている。

●各機関

学生部会は、会長・副会長（いずれも学生のなかから選出）のもとに、以下の機関が設置されている。

クラス学生会、学部学生委員会、短大学生委員会、
体育系クラブ委員会、文化系クラブ委員会、
クラブ連合委員会
中央学生委員会、選挙管理委員会、学生総会

会長1名・副会長2名は、クラス学生委員に挙げられた候補者のうち全学生の投票によって選出される。

会長は、会を代表して会務を統括し、副会長は会長を補佐する。また、会長・副会長とも任期は半年間とするが重任は妨げない。

細部については学生部会規約を参照すること。

学生部会規約

第１章　総　　則

第１条　本会は昭和女子大学学生部会と称し、学生部会室を本学内に置く。
第２条　本会は昭和女子大学全学生を以て組織する。
第３条　本会は昭和女子大学の建学の精神に則り、学生の自治と団結によって学生相互の研学・修徳・親和をはかり、併せて学生の総意を反映・実現し学園生活の向上発展に資することを目的とする。
第４条　本会に会長、副会長を置き、学生の中から選出された代表者が、これにあたる。
第５条　本会においては学生が必要と認めた場合にのみ顧問を委嘱する。
第６条　本会の経費は会費、その他の収入を以てこれにあてる。会費の増減が必要な場合は、会員の同意を経たのち、会長の承認を得るものとする。
第７条　この規約を変更するには、学生総会の議決を経て、同数の教職員と学生とで構成された学生問題協議会の承認を必要とする。

第２章　組　　織

第８条　本会の会員は下記の学生によって構成される。
1. 昭和女子大学人間文化学部・人間社会学部・生活科学部全学生
2. 昭和女子大学短期大学部全学生
以下人間文化学部・人間社会学部・生活科学部を学部、短期大学部を短大と略称する。

第９条　本会は前章第3条の目的を達成するために下記の機関を置く。
1. クラス学生会　7. 文化系クラブ委員会
2. 学部学生委員会　8. 体育系クラブ委員会
3. 短大学生委員会　9. クラブ連合委員会
4. 中央学生委員会　10. 会計監査委員会
5. 学生総会　11. 選挙管理委員会
6. 執行委員会

第10条　前条の各機関については細則を以てこれを定める。

第３章　会長・副会長

第11条　本会に会長1名、副会長2名（学部・短大各1名）を置く。
会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その任務を代行する。
第12条　会長・副会長の任期は半年とする。ただし重任を妨げない。なお任期中に改任のあった時は、その任期は前任者の残任期間とする。

第４章　会　　計

第13条　本会の会計は、執行委員会が管理の責任を負い、会計事務は教育支援センターに委託する。
第14条　会員は会費を授業料納入と同時に納入しなければならない。
第15条　本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。
第16条　予算の決定は、中央学生委員会の審議を経た後、学生総会の議決を得なければならない。
第17条　中央学生委員会は、会計年度終了後の総会において、決算の承認を得なければならない。

付　則

この規約は昭和48年4月1日から実施する。

学生部会規約細則

第１章　クラス学生会

第１条　クラス学生会は、クラス員全員で組織し、次の事項について協議する。

1. クラス員から提案された事項
2. 学部・短大学生委員会に提案する事項
3. 学部･短大学生委員会から付議された事項
4. 中央学生委員会から付議された事項
5. 各学生委員会で決定された事項の報告・連絡

第２条　クラス学生会に下記の委員を置く。

1. 正・副学生委員　　各1名
2. 選挙監理委員　　1名

第3条　クラス学生会の運営は、正・副学生委員がこれにあたる。

第２章　学部・短大学生委員会

第４条　学部学生委員会､短大学生委員会は下記の事項について協議し､決定事項の執行にあたる。

1. クラス学生会から提案された事項
2. クラス学生会に付議する事項
3. 中央学生委員会に提案する事項
4. 中央学生委員会から付議された事項
5. 執行委員会から付議された事項
6. その他,協議を必要とする領域内の諸問題

第５条　本委員会は、学部・短大それぞれのクラス学生会で選出された正・副学生委員を以て組織する。

第６条　本委員会には、委員会内の互選により下記の役員を置く。

1. 議　長　1名　本委員会を代表し、会務を統括する。
2. 副議長　2名　議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書　記　3名
4. 会　計　2名

第７条　本委員会を分けて、定例学生委員会と臨時学生委員会とする。

定例学生委員会は、原則として毎月1回これを開く。ただし8月は休会とする。

臨時学生委員会は、次の場合に開くことができる。

1. 議長が必要と認めた場合
2. 構成員の3分の1以上の要請があった場合

第８条　本委員会は議長がこれを召集し、その議事を整理する。

第９条　本委員会は必要に応じて専門部会を置くことができる。

第3章　中央学生委員会

第10条　中央学生委員会は､学生総会に次ぐ決議機関で､下記の事項について審議し決定する。

1. 次の各機関から提案された事項
   イ. 学部・短大学生委員会
   ロ. 執行委員会
   ハ. クラブ連合委員会
2. 次の各機関に付議する事項
   イ. 学部・短大学生委員会
   ロ. 執行委員会
   ハ. クラブ連合委員会
3. 学生総会から回された事項
4. 会計監査委員会､選挙管理委員会から報告または提案のあった事項
5. 学生問題協議会へ提案する事項
6. 学生問題協議会の協議及び決議事項の報告
7. その他､本委員会の審議を必要とする全学的な問題

第11条　本委員会は､下記の委員会を以て組織する。

1. 各クラスの正学生委員
2. クラブ連合委員会から選出された文化系・体育系各2名の代表

第12条　本委員会には委員会内の互選により下記の役員を置く。

1. 議　長　1名　本委員会を代表し､会務を統括する。
2. 副議長　2名　議長を補佐し､議長に事故ある時は､その任務を代行する。
3. 書　記　3名
4. 会　計　2名

第13条　本委員会を分けて､定例中央学生委員会と臨時中央学生委員会とする。

定例中央学生委員会は､原則として毎月1回これを開く。

ただし､8月は休会とする。

臨時中央委員会は､次の場合に開くものとする。

1. 議長が必要と認めた場合
2. 構成員の3分の1以上の要請があった場合

第14条　本委員会は議長がこれを召集し､その議事を整理する。

第４章　学生総会

第15条　学生総会（以下総会と略称）は､本会の最高決議機関で､全学生を以て組織し､下記の重要事項を決定する。

1. 中央学生委員会から提案された事項
2. 予算及び決算
3. 規約案及び同改正案

第16条　総会には、下記の役員を置き、中央学生委員会において互選する。
ただし議長、副議長については中央学生委員会で選出されたあと、投票により全学生の過半数の承認を得なければならない。

1. 議　長　1名　学生総会を代表し、議事を整理し、会務を統括する。
2. 副議長　2名　議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書　記　3名

第17条　総会を分けて、定例総会と、臨時総会とする。

1. 定例総会は、前期・後期各1回これを開く。
2. 臨時総会は次の場合開くものとする。
   イ. 中央学生委員会が必要と認めた場合
   ロ. 全学生の3分の1以上の要請があった場合

第18条　総会の議長と、中央学生委員会の議長とを兼任することはできない。

第19条　総会は会長がこれを召集する。

第20条　総会の開会及び議事内容は7日前に、また緊急の場合であっても、1日前までにはこれを公示しなければならない。

第21条　総会は下記の場合成立する。

1. 全学生の3分の2以上の出席があった場合
2. 議題についての全学投票の有効投票数が全学生の3分の2以上あった場合

第22条　総会の議決は下記のとおりとする。

1. 前条第1項の場合出席者の過半数
2. 前条第2項の場合有効投票数の過半数

ただし、規約改正の場合のみ3分の2以上とする。

第５章　執行委員会

第23条　執行委員会は、下記の事項を行う。

1. 総会または、中央学生委員会で議決した事項
2. 中央学生委員会への提案
3. 各機関の連絡と調整に関する事項
4. その他全学生に対する公示、報告、調査等執行機関としての任務に関する事項

第24条　本委員会は、執行委員13名を以て組織し、下記の役員を置く。

1. 委員長1名会長を以てこれにあてる。
   委員長は本委員会を代表し、これを統括する。
2. 副委員長2名副会長を以てこれにあてる。
   副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 執行委員10名学部・短大両学生委員会から互選された委員各5名を以てこれにあてる。うち2名を書記、4名を会計担当とし、その他必要に応じて専門担当部門を設けることができる。

第25条　本委員会は、必要に応じ、委員長の召集によって随時開くものとする。

第26条　本委員会は、会務執行上必要と認めた場合、中央学生委員会の承認を経て専門委員または実行委員を委嘱することができる。

第27条　本委員会の委員は、中央学生委員会に出席し、議長の指名により、質問に答え、また意見を述べることができるが、票決に加わることはできない。

第28条　本委員会の委員は、正・副いずれの学生委員をも兼ねることができない。
前項による学生委員の欠員は、遅滞なく補充するものとする。

第６章　文化系・体育系クラブ委員会

第29条　文化系クラブ委員会・体育系クラブ委員会はそれぞれの委員会に所属するクラブ・サークル間の連絡及び調整をはかる。

第30条　それぞれのクラブ委員は所属するクラブの代表者各1名を以て組織する。なおサークルの代表者はオブザーバーとして、それぞれのクラブ委員会に出席することができる。

第31条　それぞれのクラブ委員会は下記の事項を協議する。

1. 所属する各クラブから提案された事項
2. クラブ連合委員会に提案する事項
3. クラブ連合委員会から付議された事項
4. 中央学生委員会から付議された事項

第32条　それぞれのクラブ委員会には、委員会内の互選により下記の役員を置く。

1. 議　長　1名　本委員会を代表し、会務を統括する。
2. 副議長　1名　議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書　記　2名
4. 会　計　1名

第33条　それぞれの委員会は議長がこれを召集し、議事を整理する。

第7章　クラブ連合委員会

第34条　クラブ連合委員会は文化系クラブ、体育系クラブを統括する。

第35条　本委員会は文化系クラブ委員会・体育系クラブ委員会において定められている各5名の役員を以て補佐する。

第36条　本委員会には委員会内の互選により文化系クラブ2名、体育系クラブ2名によって構成された下記の役員を置く。

1. 議　長　1名　本委員会を代表し、会務を統括する。
2. 副議長　1名　議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書　記　1名
4. 会　計　1名

役員はクラブ連合委員会の代表として中央学生委員となる。

第37条　本委員会は、下記の事項について協議する。

1. 文化系クラブ委員会・体育系クラブ委員会から提案された事項
2. 各クラブ委員会に付議する事項
3. 中央学生委員会に提案する事項
4. 中央学生委員会から付議された事項
5. 執行委員会に提案する事項
6. 執行委員会から付議された事項

第38条　クラブ連合委員会は議長がこれを召集し、その議事を整理する。

第39条　本委員会は必要に応じ、クラブ及びサークルの代表者を、オブザーバーとして出席させることができる。

第８章　会計監査委員会

第40条　会計監査委員会は下記の任務を行う。

1. 本会の会計に関する経理全般についての監査
2. 学生部会費を使用する各機関及びクラブの会計監査
3. その他本会の予算を伴なう事業に関する監査

第41条　本委員会は中央学生委員会から選出された会計監査委員5名を以て組織する。

第42条　本委員会には委員会内の互選により、下記の役員を置く。

1. 委員長　1名　本委員会を代表し、会務を統括する。
2. 副委員長　1名　委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その任務を代行する。

第43条　本委員会の定例監査は年2回（前期・後期各1回）とする。その他必要に応じて下記の場合、臨時監査を行う。

1. 中央学生委員会から要請があった場合
2. 執行委員会から要請があった場合
3. クラブ連合委員会から要請があった場合
4. その他本委員会が必要と認めた場合

第44条　本委員会は、会計年度終了後の中央学生委員会及び学生総会において監査報告をしなければならない。

第45条　本委員会内の委員は学生部会費を管理する会計との兼任はできないものとする。

第46条　本委員会は委員長がこれを召集する。

第９章　選挙管理委員会

第47条　選挙管理委員会は他のすべての機関から独立し、会長・副会長および下記の諸機関に関する選挙及び投票についての一切の管理を行う。

1. 学部学生委員会　5. 執行委員会
2. 短大学生委員会　6. クラブ連合委員会
3. 中央学生委員会　7. 会計監査委員会
4. 学生総会

第48条　本委員会は各クラスから選出された選挙管理委員各1名を以て組織する。

第49条　本委員会の互選により下記の役員を置く。

1. 委員長　1名　本委員会を代表し、会務を統括する。
2. 副委員長　1名　委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その任務を代行する。

第50条　本委員会の委員は、第47条に記載した諸機関の役員・委員を兼ねることができない。

第51条　本委員会の委員の任期は1年間とする。ただし重任を妨げない。

第52条　本委員会は委員長がこれを召集する。

第10章　通　　則

第53条　学生総会及び中央学生委員会の議決事項は、公示によりその効力を発する。

第54条　本会のすべての会議は公開を建て前とし、会員に限り議長の許可を得て傍聴することができる。

第55条　本会のすべての会議は構成員の3分の2以上の出席を以て成立し、議決は出席者の過半数とする。

第56条　本会のすべての会議は委任状による出席を原則として認めない。ただし、止むを得ない事情の場合に限り、議長は前条に規定する定足数の4分の1までの委任状を認めることがある。

第57条　この細則に規定する役員及び委員の任期は、選挙監理委員を除き半年とし、重任を妨げない。

第58条　この細則に規定する役員及び委員の補欠者の任期は前任期間とする。

第59条　この細則に規定する各機関の役員または委員の不信任による解任は次の場合に成立する。

1. 役員、委員の選出母体の構成員の3分の1以上の要請があり、その構成員の3分の2以上の同意があった場合
2. 役員、委員を選出した機関の会議で不信任の動機が2分の1以上の支持でとりあ

げられ、3分の2以上の賛成を以て議決された場合

第60条　この細則に規定する各機関の役員の選出方法は、すべて複式選挙とする。

第61条　本会の会長・副会長は、正・副学生委員の中から挙げられた候補者について、全学生の投票によって選出される。

第62条　本委員会の各機関におけるオブザーバーは、議長の指名により質問に答え意見を述べることができるが、裁決に加わることはできない。

第63条　学生部会の会費は全学生に公平に還元されることを原則とする。

第64条　この規約に規定する各機関は必要に応じ、中央学生委員会の議決を経て、施行細則を設けることができる。

第65条　この細則を変更するには、学生総会の議決を経て、同数の教職員と学生とによって構成された学生問題協議会の承認を必要とする。

付　　則

この細則は昭和48年4月1日から施行する。

学生問題協議会規程

1. 本会は学生問題協議会と称する。
2. 本会は、本学の学生生活に関する重要事項について、教職員および学生相互の協力関係を緊密にすることをもって目的とする。
3. 本会は学長が委嘱する教職員および学生の代表者たる委員各6名をもって構成する。
4. 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。委員の在任中に解任のあったときは、その任期は前任者の在任期間とする。
5. 本会に委員長1名、副委員長1名を置く。委員長は教職員委員の互選によって選出し、本会を代表する。副委員長は学生委員の互選によって選出し、委員長を補佐する。
6. 協議会委員長および副委員長から要請があったときに随時開催する。協議会の成立は全委員の参加が必要である。

   ただし委任状の行使は、教職員および学生のいずれも、委員数の3分の1を越えてはならない。
7. 協議会の議長には委員長があたる。協議会の議事は全員の賛成を得て決することを原則とする。ただしやむを得ぬときは過半数を以て決することができるが、その場合も教職員および学生の、双方の委員の過半数が共に賛成することを必要とする。
8. 本規程は昭和47年3月14日から実施する。

4. クラブ活動（クラブ･サークル細則）

クラブ・サークルへの加入

クラブ活動は本学の教育の一環として位置づけられています。

クラブ・サークルは、学年・学科の区別なく、志や目的を同じくした本学学生がメンバーとなって、自主的に活動する任意加入団体です。

クラブ・サークルの紹介はオリエンテーション期間に行います。

クラブ活動では健全な趣味や豊かな情操を育て、友情を深め、ともに共通の目的のために努力してお互いを磨きあってください。単なる余暇の集まりにとどめることなく、自己啓発のための積極的な活動を望みます。

本学学生が他大学のクラブ・サークルと活動、もしくは共演する場合は顧問および教育支援センター学生担当に相談してください。





●文化系、体育系あわせて、40以上ものクラブ・サークル

（文化系クラブ）
▶芸　術
裏千家茶道部
池坊華道部
愛茗流煎茶道サークル
イラストレーション同好会
書道部
美術絵画クラブ
演劇部
着つけサークル葵
建築サークル
▶音　楽
生田流箏曲部
山田流箏曲部
軽音部
マンドリン・ギター
Sing Song Society（アカペラ）
ウインドアンサンブル（吹奏楽）
▶文　化
SFアニメ研究会
漢詩朗唱会
国際文化研究同好会
囲碁サークル
文芸部
民俗学研究会
日中交遊会
国際貢献クラブ
手話の輪
アーズブカ研究会
写真同好会
▶語　学
E.S.S
韓国語研究会
▶人文社会等
放送研究会
エコークライス
▶科　学
Food Factory
紅茶を飲む会

（体育系クラブ）
▶球　技
硬式テニス部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
卓球同好会
ゲートボール同好会
フット・サル
ゴルフ同好会
ソフトボール同好会
▶野　外
スケート同好会
ワンダーフォーゲル部
スキー部
スイミングクラブ
▶武道・舞踊
合気道部
剣道部
競技ダンス部
モダンダンス部
ソングリーディング同好会

クラブ・サークルの新設

クラブ・サークルを新設しようとする場合には、発起人は、本学専任教員の中から顧問を依頼しなければなりません。団体の設立、運営について、顧問の助言を受けて設立願を学長に提出します。学長の許可を受けてからクラブ活動を行ってください。

大学でのクラブ活動は全人教育の場としての意義、学生生活の活性化という点から、きわめて重要です。従って単なるレジャー、娯楽的なものは設立、活動は認められない場合があります。

クラブ・サークルに関する規程

第１章　総　　則

クラブ・サークル（同好会）は学生が適性と希望に応じて自由に加入できる大学公認の任意団体で、学生部会の組織に含まれる。

研究・教養・趣味などのクラブ・サークルは、文化系クラブ委員会に、体育・スポーツなどのクラブ・サークルは体育系クラブ委員会に属し、両分野ともクラブ連合委員会に統括される。

第１条　クラブ・サークルは学生部会規約第3条に定められている目的の範囲内で、それぞれ独自の目的、部規約、組織を設けることができる。

第２章　成　　員

第２条　クラブ・サークルの成員の資格は本学学生部会会員に限る。

第３条　クラブ・サークルに加入し、クラブ連合委員会に登録した時点から3か月を経過したものを正式部員として取り扱う。

第４条　やむを得ない事情による転部・退部は部長または主将の承認を得なければならない。なお、責任者は、その都度クラブ連合委員会に届け出なければならない。

第3章　役　　員

第５条　各クラブ・サークルは次の役員をおかなければならない。
1. 部長または主将　1名
　部を代表し責任者となる。
2. 副部長または主務　1名
　部の責任者を補佐し、部の庶務を担当する。
3. 会計　1名
　部の会計を担当する。

第６条　役員の任期は、部独自に設けた役員を含め、すべて1年間とする。交代期は学生部会の学生委員の交代期に準ずるものとし、その引き継ぎを確実にし、前任者が後任者を援助しなければならない。

第４章　顧問および技術指導者（コーチ）

第７条　クラブ・サークル活動の円滑な推進と発展のためには、顧問の助言と援助を必要とするので、各クラブ・サークルは、それぞれ顧問を本学の専任教員の中から依頼しなければならない。
1. 部の顧問は部の運営に対して助言を行い、部会に出席して発言することができる。ただし、議決に参加することはできない。
2. 顧問の任期は1か年とし、その年の4月1日から翌年3月末日までとする。ただし、部の要請があればこの限りではない。

第８条　クラブ・サークルが学外から技術指導者（コーチ）を委嘱したい時は、顧問の承認を受け、履歴書、技術経歴、写真を添え、指導者委嘱願を学生部長を経由して学長に提出し、許可を受け、かつクラブ連合委員会に登録しなければならない。

第5章　活　　動

第９条　クラブ・サークルがその目的達成のために会を開催し、発表および参加者を募る場合は、その計画を予め文化系クラブ委員会あるいは体育系クラブ委員会（以下各クラブ委員会とする）

を経て、教育支援センター及びクラブ連合委員会に提出し、許可を受けなければならない。

第10条　クラブ・サークルがその目的達成のために合宿を行う場合は、その計画を予めクラブ連合委員会に連絡し、教育支援センターに願書を提出し許可を受ける。

第11条　クラブ・サークルが目的達成のための必要上、学外の同種団体に加盟したり、または他大学との合同行事に参加する場合は、予め顧問の承認を受け、顧問と責任者連署の許可願に参考書類を添えて教育支援センター並びにクラブ連合委員会に提出して許可を得るとともに、中央学生委員会の承認を得なければならない。

第12条　クラブ・サークルがその目的を逸脱して、特定の団体の政治活動、営利活動、宗教宣伝活動に加担したり、または利用されたりしてはならない。

第６章　新設、昇格、廃部

第13条　10名以上の同好者があった時はサークルを新設することができる。

第14条　サークルを新設する時は、学内団体設立願に次の事項を列記して顧問と発起人代表者2名の連署をもって学生部長を経由して学長に提出し許可を受けなければならない。

1. 目的　2. 趣旨　3. 綱領または部規約
4. 年度活動計画　5. 財政計画
6. 発起人及び加入者の所属と氏名

許可を受けたならば、ただちに上記の書類を添えてクラブ連合委員会に登録する。

第15条　サークルが設立から3年以上にわたって活発な活動を続け、学生部会の会員に対して貢献度の高い業績を挙げた場合、願出によりクラブに昇格することができる。

第16条　クラブ昇格願は活動の実績を示す資料を添え、顧問と代表者2名の連署をもって教育支援センターとクラブ連合委員会に提出し、許可されたのち中央学生委員会の承認を得なければならない。

第17条　第5章第12条に該当する事実が認められた場合、クラブ連合委員会は、警告を与え是正をはかるとともに、実状に応じ、教育支援センター及び中央学生委員会に解散処置を要請するものとする。

第18条　クラブが2年連続して基準の成員を割り、9名以下になったり、活動状況が著しく停滞している場合、クラブ連合委員会の要請により、中央学生委員会の議を経てサークルに格下げするものとする。

第19条　サークルが年度の当初から、または年度の途中で成員に不足を生じ、次年度においても補充の見込みのない時、クラブ連合委員会は廃部願を学生部長を経由して学長宛に提出させ承認を受けた後、中央学生委員会によって解散を求めるものとする。

第７章　会　　計

第20条　クラブの活動費の部は一定の基準によって学生部会費から支出されるが、サークルの経費はすべて自費とする。

第21条　クラブ・サークルは部員の合意と顧問の助言のもとに適正と思われる額を決めて、部費を徴収することができる。ただしその額は所属クラブ委員会に登録しなければならない。

第22条　クラブ・サークルがその目的達成のために会を開催し、入場料または一般参加者から会費を徴収する場合は、その計画書を予め学生部長を経由して学長に提出し許可を受け、中央学生委員会の承認を得なければならない。
なお、終了後10日以内に結果の概況と、収支の明細についてクラブ連合委員会に報告しなければならない。

第８章　提出書類

第23条　各クラブ・サークルは、次の事項をクラブ連合委員会に登録しておかなければならない。

1. 設立当初の目的・趣旨
2. 綱領または部規約
3. 組織・機構
4. 顧問
5. 技術指導者（コーチ・師範）
6. 部費
7. 備品表
8. 加盟団体規約及び組織表

第24条　各クラブ・サークルは年度ごとに次の書類を各々2部作成してクラブ連合委員会に提出しなければならない。

イ．5月15日を提出期限とするもの。
1. 組織表
2. 部員名簿
3. 本年度活動計画
4. 本年度会計予算書

ロ．3月15日を提出期限とするもの。
1. 本年度活動報告
2. 本年度会計決算書（クラブ）
3. 会計年度報告（サークル）
4. 部室使用願

第25条　各クラブ・サークルは必ず次の書類を備えておくものとする。

1. クラブ連合委員会に登録した事項の控
2. クラブ連合委員会に報告した書類の控
3. 部員現住所録、同帰省先住所録
4. 活動記録簿
5. 会計簿及び領収書、見積書、納入書等の会計証拠書類
6. 備品台帳

第９章　その他

第26条　以上のほか、クラブまたはサークルの全般にわたる運営上の細目については、クラブ連合委員会の定めるところによる。部室使用規定については別に定める。

2. 学生寮・学寮研修

1. 全寮制の意義

全　寮　制

本学では、創立以来「世の光となろう」を目標にして、学問の研究と自己の研鑽にいそしんできました。その実現のためには、日々の生活における学生個々の自覚と精進が必要であることはいうまでもありません。しかし、それとともに集団生活を通して目標の達成を図ることも本学創立以来の伝統です。教職員と学生とが寝食をともにするという集団生活のなかで、相互理解を深めながら共に励まし合い、助け合って研究に取り組み、また労作奉仕を実践することによって充実した人間形成に務めることは、将来社会に貢献しうる女性としての資質を養ううえで重要な教育活動と位置づけています。

このような意図に基づいて、本学では校外の研修学寮と、寮生のための学生寮とを設置していますが、この2つの施設での生活を総合して全寮制といい、当初の目的を達成するために努力しています。

2. 学生寮

学生寮の概要

本学は、自宅からの通学が容易でない遠隔地居住の学生及び希望の学生に対し、最低1年間は寮生活ができるように学生寮　緑声舎を設けています。

寮での共同生活では、学生相互の友情や社会性が育まれ、規律正しい、充実した楽しい寮生活が繰り広げられています。

また寮内では、茶道・華道・箏曲等、幅広い教養を身につけ、生活を豊かにするためのクラブ活動があります。

緑声舎……〒154-0016
東京都世田谷区弦巻5-7-1
Tel （03）3427-2325（代）

昭和女子大学学生寮　緑 声 舎　案内図

LOCATION



ACCESS



緑声舎／〒154-0016 東京都世田谷区弦巻5-7-1
TEL.03-3427-2325
※渋谷駅から東急田園都市線で4つ目「桜新町」下車、徒歩約10分。

3. 学寮研修

本学では、昭和13年から武蔵野や湘南の地に田園学寮を設け、研修生活を行ってきました。この学寮研修は雄大な自然の中で、教員と学生が寝食を共にし、友情や信頼を深め、人格の陶冶をはかることを目的としています。建学以来の理想である「生活教育」の場として、この学寮研修は大きな役割を果たしてきました。

このような伝統のもと昭和52年3月には、神奈川県足柄上郡大井町に東明学林が開設されました。創立者の雅号「東明」にちなんで名付けられたこの学寮は、富士、箱根の山なみや相模の海が一望できる12万平方メートルの樹林に囲まれた丘陵に位置しています。教室、ホール、食堂、宿泊施設からスポーツ施設までを完備した研修施設です。

さらに昭和61年3月、千葉県館山市の海を臨む景勝の地に望秀海浜学寮が開設されました。この学寮も東明学林同様に充実した設備を整えた研修施設です。望秀は、房州にちなんだ名称であり、秀にはたかいという意味があることから、「たかき理想を望みつつ励む」の意味がこめられています。

東明学林、望秀海浜学寮、二つの研修学寮は、毎年1回、研修生活を体験する場です。

授業・労作奉仕・レクリエーション等が雄大な自然のなかで展開されます。自主・自律・親和を旨とする学寮生活は、全学生にとって青春の貴重な1ページとなるでしょう。

●研修の意義と目標

1. 昭和女子大学の建学の精神、教育方針の理解を深め、その体得に努める。
2. 教員と学生そして学生相互が、規律ある充実した団体生活を営むことにより、人間的な触れ合いをいっそう深め、自主性、協調性、責任感、相互信頼、思いやり、奉仕の精神などの社会性の体得と向上をはかる。
3. 教員・学生が寝食を共にする生活の中で真剣に自己を磨き、学生生活を豊かで意義のあるものにする。
4. 周辺地域への奉仕を通じて「世の光となろう」という学園目標を実践し、人々に感謝の心を表わす。

学寮研修時の留意事項

1. 学部は1年、2年、3年、卒業年次、短期大学部は1年、2年、3年、それぞれ1回ずつ研修学寮で、共同生活を行う。
2. いつでも集団の一員であることを自覚し、秩序を守り、自分本位の個人行動はあくまでも慎むこと。特に他人の睡眠を妨げることのないように注意する。
3. 多人数の集団であるから、時間を厳守し、行動は敏速を旨とすること。
4. 飲酒・喫煙はしないこと。
5. 所用のため外出する場合には、クラス主任に申し出て、許可を得ること。
6. 常に自然に親しみ、自然の愛護育成に努めること。
7. 地域の人々や来客に対する態度・言葉づかいやマナーに気をつけ、他人に不快な思いを与えないようにし、あわせて自己の品性の向上に努めること。
8. 見学・参観などの場合にはマナーを守り、その目的が十分達成できるように努めること。
9. 健康状態に異常がある時や、事故が生じた場合には小さなことであってもクラス主任に速やかに届け、適切な処置をすること。
10. 快適な研修生活ができるように参加前から健康管理に充分留意すること。
11. 病気その他やむを得ない理由であっても、所定の日程の研修に参加できなかった場合は、休暇中に実施する特別研修に必ず参加すること。

●研修学寮生活の組織・運営

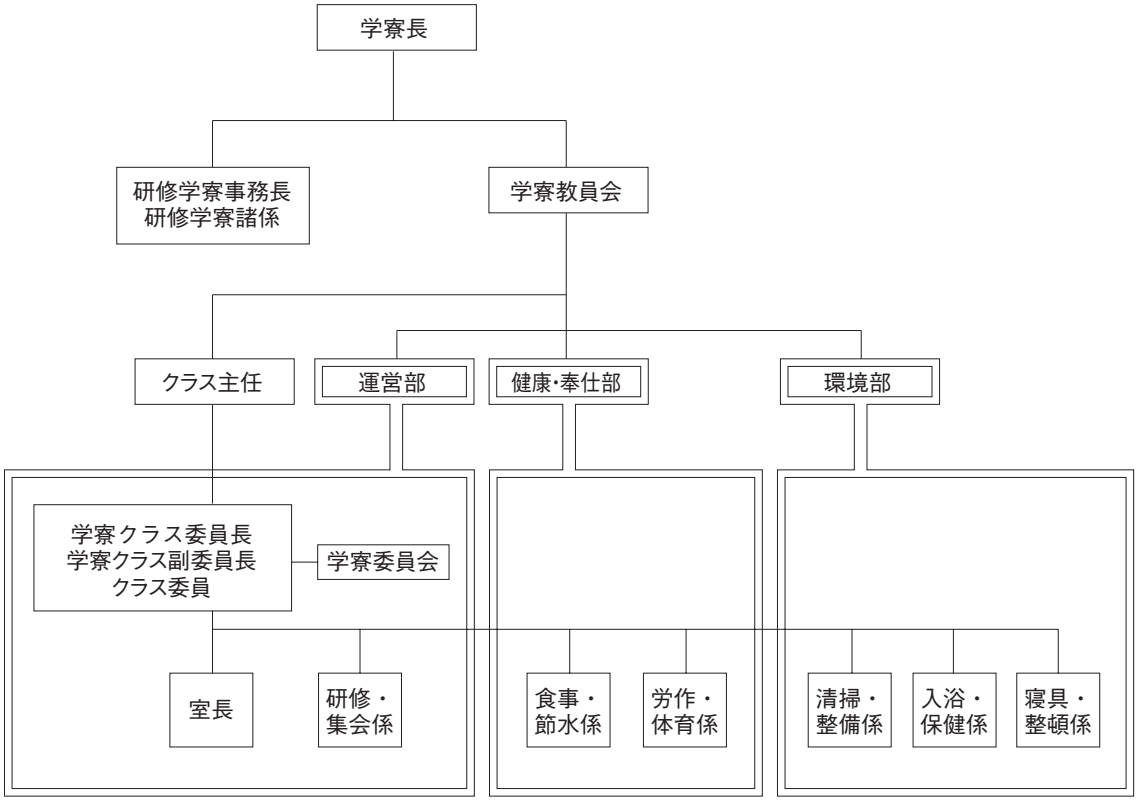
研修学寮は本学の教育の一環として､学科長およびクラス主任の指導のもとで､学生の自主的な運営が行われています。

学科長が「学寮長」として全体を掌握し、学寮生活の責任者となります。

クラス委員から学寮クラス委員長、学寮クラス副委員長を選出します。各室に7つの係を置き、各係にクラスの代表を決め、さらに代表の中から全体のチーフと副チーフを決めます。

学寮クラス委員会、係チーフ・副チーフ・室長が集まるチーフ会は毎日最低1回は開くこととします。

学生全員が何らかの係に携わり、協力して学寮生活を推進します。



生活スケジュール

第 1 日		第 2 日		第 3 日		第 4 日	
		6：30	起床 洗面 清掃	6：30	起床 洗面 清掃	6：30	起床 洗面
		7：20	朝の集い 朝食準備	7：20	朝の集い 朝食準備	7：20	朝の集い 朝食準備
		7：45	朝食	7：45	朝食	7：45	朝食
8：40	大学出発（望秀）	8：40	各学科特別カリキュラム	8：40	各学科特別カリキュラム	8：40	クラスルーム
10：00	大学出発（東明）					10：00	室内整頓 全構内清掃
						11：20	昼食
		11：50	昼食準備	11：50	昼食準備		
	野外研修					12：10	閉寮式
	昼食	12：20	昼食	12：20	昼食		
						12：30	学寮出発
		13：30	労作奉仕	13：30	各学科特別カリキュラム		
						14：00	大学帰着（東明）
15：00	着寮			15：00	自習		
15：30	開寮式 導入集会 避難訓練 各科の計画					16：20	大学帰着（望秀）
17：00	夕食準備	17：00	夕食準備	17：00	夕食準備		
17：30	夕食	17：30	夕食	17：30	夕食		
19：00	各科の計画	19：00	灯火の集い	19：00	反省会		
22：00	就寝準備	22：00	就寝準備	22：00	就寝準備		
22：20	点呼	22：20	点呼	22：20	点呼		
22：30	就寝	22：30	就寝	22：30	就寝		
23：00	完全消灯	23：00	完全消灯	23：00	完全消灯		

★生活スケジュールは標準的な研修例であるので、学寮研修の意義と目的および各科の独自性を生かしてカリキュラムを自由に立てることができる。

★なお、食事時間を動かすことは難しいが、入浴時間については、研修学寮事務長と相談のうえ時間を決めることができる。

運営部

学寮クラス委員会

学寮クラス委員長　1名
(クラス委員の中から選出する)
(学生の代表責任者)

事前	期間中
①組織表の作成と、その任務についての周知をはかる ②学寮長の指示に従い、準備会議を開く ③「学寮生活のしおり」の作成の中心となる	①各クラス委員と連絡を密にし、各係の活動の指導と統括にあたる ②室長・各係チーフの仕事の監督 ③開寮式、閉寮式での挨拶 ④全体集合の場合の統制、引率指揮、または係への助言 ⑤チーフ会の司会進行

学寮クラス副委員長　1名
（クラス委員の中から選出する）

事前	期間中
①学寮クラス委員長の補佐をする ②開寮式、閉寮式の順序、整列方法、時間配当などについて細案を作る	①学寮クラス委員長の任務の補佐 ②開寮式、閉寮式の司会進行

クラス委員

事前	期間中
①「学寮生活のしおり」の作成にあたる ②クラスの部屋割を中心となってまとめる ③学寮掲示用の生活日程表を作成する ④灯の集いのテーマをクラスで話し合い、決める	①クラスの集合、点呼、引率 ②学寮クラス委員長と室長との連絡および相談 ③クラス内の生活指導 ④クラス会の招集 ⑤灯の集いの司会進行

室長

事前	期間中
①各室のメンバー表と名札の作成 ②輸送について乗車計画諸注意・座席割当作成 ③歌唱リーダーの依頼・プログラムの選択	①各室の連絡会の司会をする ②予定の確認および移動、集合の際の引率、指揮をする ③点呼の際の私語を注意し、整列などの指揮をとる ④入浴・保健係と共に客室員の健康管理に気を配る ⑤清掃整備と共に戸締まりの確認をする ⑥部屋の鍵および歌集の管理をする ⑦「思い出の集」編集係と協力し、クラスの短歌等を集める ⑧バスの乗車。下車の指示と必要な荷物の積み下ろし

研修・集会係

事前	期間中
①導入集会の計画 ②朝の集いの計画 ③灯の集いの立案	①導入集会の司会進行 ②灯の集いの運営と片付け ③朝の集いの進行

学寮研修係組織図

学寮長（学科長）

健康・奉仕部

食事・節水係

事前	期間中
①配膳当番を決める ②座席割当表作成 ③先生方の名札の作成 ④食事の際の司会・伴奏者の決定 ⑤食後の感話の割当 ⑥食事献立一覧表の作成（学寮掲示用） ⑦掲示用「節水・節電についての注意」作成	①食事の際の座席の割当および配膳、後片付けについての指示と指揮 ②食事のマナーについての食前食後の注意 ③学寮食事担当者との連絡および交渉 ④節水・節電についての注意の徹底 ⑤水道蛇口水漏れの点検

労作・体育係

事前	期間中
①労作内容の把握 ②スポーツ大会等の計画 ③体育関係備品の確認	①労作を円滑に進行させるための指示 ②体育関係備品の整頓、整備

環境部

清掃・整備係

事前	期間中
①清掃の割当と分担表の作成 ②清掃見回り責任者割当 ③清掃用具数の確認	①清掃状態の管理、見回り ②清掃用具の整備、整頓 ③ごみ処理の指導

入浴・保健係

事前	期間中
①「入浴についての注意」作成、入浴順序配当表作成 ②入浴の責任者割当	①休養者、または疾病者の世話 ②入浴時間の連絡や指示 ③浴室の後始末や用具の整頓状態の点検

寝具・整頓係

事前	期間中
①ベッド使用上の注意の作成 ②非常口の場所の確認 ③戸締まり見回り責任者の配当	①寝具の必要量の確認と連絡 ②シーツ、枕カバー等の配分および回収について指示と出納の監督 ③戸締まり、電灯、電源などの点検 ④帰寮時のベッドの整頓、寮室内の整備整頓の見回り ⑤寮室内備品の確認

携　行　品

●服装関係

1. 学寮での服装は通常の通学服に準じる。
2. 労作奉仕、野外活動、運動のための運動着（漆（うるし）、櫨（はぜ）などのかぶれ、虫ささされ、草や木の枝による負傷を防ぐため、作業着は長袖が望ましい）
3. エプロン2枚（配膳用と清掃用）、三角巾（配膳、後片づけ時に用いる）
4. 下着類、パジャマ

●履　　物

1. 靴は、外出、見学などに併用するのでヒールの低い履きなれたものが望ましい。
2. 運動靴（野外における作業、運動用）
3. 室内履（スリッパ不可）
4. その他…ビーチサンダル（望秀学寮海岸散歩用）

●生活用品

1. 洗面用具、タオル、バスタオル
2. ティッシュ、ハンカチ、
3. 衛生生理用品
4. 持薬
5. 裁縫道具
6. 雨具
7. 帽子
8. その他、身だしなみ用品（最小限のもの）

●学習関係

1. 筆記用具
2. 事前に指示があったもの。

●その他

1. キャンパスガイド・学生証
2. 学寮のしおり
3. 健康保険証

●携帯品についての注意

1. 持ち物には記名すること。
2. 貴重品、高価な指輪などの装身具は持参しないこと。
3. 現金は多く持たないこと。



●東明学林



●望秀海浜学寮

2008昭和女子大学学生便覧

III

教育課程



Student's Manual

1. 教育課程

1. カリキュラム編成の基本方針

カリキュラムの組織と構成

昭和女子大学で、どの科目をいつ学べるかを示したものがカリキュラム表です。学部・短大で開設している多数の科目には、横の系列（領域・範囲）と縦の系列（学修の順序）があります。カリキュラム（教育課程）は、教育目的を達成するために用意された授業科目です。

その内容をみると、まず、本学の建学の精神を学ぶための科目や、教養を身につけるための科目があります。この科目は一般教育と呼ばれ、基礎的な科目や外国語、国際的、学際的な学問研究の分野なども含み、各学科共通のものとして開設されています。

次が学部・短大の各学科に用意された科目で、学科別に配列されています。各学生の専攻分野を修得するための専門教育科目であり、必修と選択の科目に大別されます。

さらに仕事や実際生活で必要な実力を養うための科目や、資格を取得するための職業教育科目も豊富に準備してあります。

21世紀は、どのような時代であり、いかなる可能性と問題を持っているのでしょうか。われわれは、新しい時代の特徴を、国際化と情報化が進み、社会の成熟が一層進展する時代としてとらえています。そして、この未来からの挑戦に柔軟に対応できる判断力と豊かな人間性をもち輝ける女性の育成を目指し、本学のカリキュラムは編成されてきました。

このように教養教育、専門教育、職業教育の3つでカリキュラムは構成されていますが、学生からみると、学科共通の科目群、各学科ごとに開設される専門教育科目群、さらに諸資格を取得するために必要な科目群の3つに大別されます。

その構成をまとめると次のようになります。

1. 学科共通の開設科目
   - ① 一般教養科目（必修または選択必修）
     将来、学問や文化を担う者として必要な知識や実力を身につけるとともに、人間としての豊かさを養う科目
     「実践倫理」・「日本語基礎」の2科目4単位については、必修となります。
     体育実技については、必修か選択必修であるかは学科によって異なるのでカリキュラム表を確認してください。
   - ② 外国語科目（選択必修）
     国際化時代に必要な基盤を確立するための科目で、外国語の理解力と応用能力を養う科目
2. 各学科別の開設科目
   - ① 専門教育科目
     - イ 必修科目
       専門領域を学ぶために必ず履修する科目
     - ロ 選択必修科目
       専門科目の科目のなかから、指定された数の科目を必修として履修する科目
     - ハ 選択科目
       専門の領域を深く研究するために、どの科目を履修するかは学生の自由意思に任されている科目
   - ② 専門関連科目（指定内選択）
     専門教育の基礎となる科目、または、専攻する学問領域、卒業論文・研究に密接に関連しているものとして学科が指定した科目。願い出て許可された場合は、1の①の一般教養科目としても登録できる。
3. 諸資格（または受験資格）を取得するための専門教育科目（「Ⅲ-3.諸資格の取得」参照）

学生は、この専門教育科目と各学科共通の科目を組み合わせて、学修のプログラム（時間割）を作りますが、必修科目以外の専門教育科目・専門関連科目・一般教養科目等は、将来の志望や進路に応じてバランスのとれた選択をしてください。その場合、科目の組み合わせ方や、学年の進行によってどのような科目を履修するかについては教務部委員、またはクラス主任と相談し、慎重に選ぶことが大切です。

専門教育の充実への対応

学校教育法は、大学の目的について、次のように規定しています。

「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする」

また、短期大学については、同法の中で、上記の目的に代えて

「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は実際生活に必要な能力を育成することを主な目的とする」大学として規定しています。

これらの規定にある「深く専門の学芸を教授研究し…」が、学部、短大が専門教育をカリキュラムの中心におく法的根拠なのです。これからの社会が要求する人材を育成し、学問研究の発展に即応するための学部、短大の役割の重要さは、いうまでもないことです。私どもは本学のカリキュラム編成に当たって、学部、学科の専攻にかかわる専門教育科目の充実に全力を注いできました。

また、本学が修士課程、博士課程の大学院を設置したのも、大学院所属の教員が学部教育を担当しているのも、専門教育を深化させ充実させるためにほかなりません。

短大での「職業又は実際生活に必要な能力を育成する」ことについても、十分な配慮を行っています。文化創造学科で、語学力をつけるために英語を母国語とする外

国人教員を多数配置したり、職業や資格に関連する科目を開設したりしているのは、その一例です。さらに、短大卒業生のために修業年限1年の専攻科を設置しているのも同じ理由からです。

このほか、学問の高度化、国際化に備え、図書館の蔵書に海外最新の学術図書、雑誌はもちろん実験研究のために最先端の施設、設備、機器を備え、国際的水準の研究を可能にする条件を整えています。

人間性育成への配慮（教養教育）

学部・短大の教養教育は、ますます細分化していく専門教育の短所を補い、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を養うための重要な役割があります。大学教育の目的は、専門の学芸を教え研究することにもありますが、それと同時に、社会が求めている豊かな教養をもった社会人を育成するという使命があります。この課題に応えて設けたのが教養教育の科目です。

本学では、かねてから教養教育の充実に力をいれ、学部、短大ともに約160科目にわたる一般教養科目が用意されています。それに加えて、諸資格を取得するための科目のなかから、教養教育として役立つ科目を開放しています。

一般教養科目は人文、社会、自然などの系列に分けられています。卒業の要件としては系列にこだわることはありませんが、なるべく各系列の科目をバランスよく履修することをお薦めします。学部では36単位以上、短大では8単位以上を選択してください。

また、理論学習で学んだ成果を公共の社会の発展のために役立てながら学ぶコミュニティサービスラーニングも開始されています。

このほか、学部と短大の間にあるカリキュラムの垣根をある程度取り払い、学部の学生は短大に開設されている科目を、短大の学生は学部に開設されている科目を一定の制限内（学部は60単位、短大は30単位まで）で自由に選択することができます。この仕組みを単位互換制度といいますが、本学ほど、同一キャンパス内での単位互換を大胆に実施している大学はないでしょう。

次に各学科のカリキュラム表をみると「他学科生履修可」の◎印がついている科目があります。担当教員の許可を得て履修することにより、この科目を「卒業要件の単位」に含めることができます。

大学での人間形成については、本学はかねてから全寮制度（学生寮と研修学寮の併用）を採用し、優れた成果を挙げてきました。学生寮での教員と学生、先輩と後輩との交流の効果はいうまでもなく、特に研修学寮では、ヨーロッパの教育にみられたような師弟同行の労作奉仕もあり、教員と学生が教室の授業で接触するだけでなく、野外活動、懇談、討論、交歓を通して、全人教育の成果を挙げています。

さらに、世界一流の音楽家、学者、文化・芸術家等を本学に招いての文化講座が数多く開かれています。多感な青春時代に優れた芸術、文化に接することは、情操豊かな心や爽やかで温かみに富む人間を創る上で大きな効果があります。

国際化時代への対応

衛星放送やインターネットの普及に伴い地球の隅から隅まで情報が行きかう時代になりました。国際情勢もめまぐるしく変化しています。こうした時代に対応できるように世界についての幅広い知識や理解力を身につける必要があります。同時に日本の政治、経済、文化を世界へ発信できる説明力を養う必要もあります。このため本学では、一般教養科目と専門教育科目に文化や経済に関連した科目を多数開設しています。

また、外国人に日本語を教える優秀な人材を育成するために「日本語教育コース」を日本語日本文学科に開設しています。コースを構成する科目のすべては「他学科生履修可」の科目として全学生に開放していますので、いずれの学科の学生も日本語教員として学識と能力を身につけることが可能です。規定単位（主専攻45単位以上、副専攻26単位以上）を修得した学生には「修了証」が授与されます。大学院日本文学専攻（博士前期・後期課程）及び言語教育・コミュニケーション専攻（博士前期課程）においては、引き続き学究的に日本語教育を学ぶことができます。

本学は1988年にアメリカ東部の学術都市ボストンにShowa Boston Institute for Language and Culture（昭和ボストン）を開校し、アメリカの社会と文化に直接触れながら豊かな英語力と国際的教養を培うための拠点を築きました。周到な計画のもと学生寮と教室を併せ持つ教育施設を海外に設置し、毎年数百人に及ぶ学生を留学させる試みは日本では初めてのことで、以後、その実を挙げるにつれて本学のカリキュラムの中核を成すようになりました。現在では英語コミュニケーション学科は、少なくとも1セメスターの研修を受けることが卒業の必須条件となっています。さらに大学１年次の後期から３セメスターの研修に参加できるBoston Long-term Intensive Program（BLIP）という制度もあります。また現代教養学科では１ヶ月のボストン研修を実施しています。その他学科においても夏季休暇を利用した１ヶ月のサマーセッションを実施しているほか、独自の短期研修プログラムも展開しており、それぞれ現地での学修が単位として認定されます。

昭和ボストンの充実した施設設備及び教育プログラムは開校以来ほぼ20年を経てなお先駆的なものであり、本学のほかにも国内外教育機関の留学拠点として頻繁に活用されています。2000年にはキャ

ンパス内にブリティッシュスクールを誘致し、同校の生徒と本学の学生とが交流を深めるようになりました。昭和ボストンは21世紀を迎えた今、昭和女子大学の海外研修施設から、世界の教育拠点、International Campus Bostonとして大きく変貌を遂げようとしています。

2. 履修規程

履修の方法

カリキュラム表を見ましょう。最初に表の見方の説明があります。授業科目によってはローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）が付いていますが、説明を読むと、Ⅰ＝初級・基礎段階、Ⅱ＝中級・発展段階、Ⅲ上級・応用段階とされ、それぞれ難易度を表していることがわかります。次の欄は授業を担当する先生の名前です。その次は整理番号で、授業概要一覧から、目的の授業科目を探すときの索引に使えます。

このあとに、授業科目ごとに修得できる単位の一覧表があり、前期、後期の別に修得できる単位を表す数字が並んでいます。②や④のように○印で囲んだものは選択、無印のものは必修です。表を見てすぐ分かるように一般教養科目では、人文科学系の「実践倫理」「日本語基礎」を除くと全部が選択科目です。つまり、本学のカリキュラムの特徴は履修科目を最大限、自由選択にしていることです。

たくさん用意されている科目のなかから、一人ひとりの学生が自分の専攻、進路、生涯の目標に従って主体的、自主的に賢い選択をすることは難しいことですが、どうか、知恵をめぐらせて自由選択制を生かしてください。

さて、それでは賢い選び方とは、どのようなことでしょうか。

第1は、自分の学力に合わせた選択をすることです。学習には、易しいことから、難しいところに段階を踏んで、進むという原則があります。そのときに注意してほしいのが、先に見たローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲです。この表示は、各学科ともに段階を踏んで学習する講義や演習に付けられています。自分の能力、学力を過信しないで、慎重に自己診断して選択し、受講してください。

第2は、自分の進路を見定めて履修する科目を選択することです。専門の学問をもっと深く追求し、大学院に進んで研究者になる道を選ぶか、専門の学問はほどほどにして、広い教養を積極的に吸収し、学習の基礎を身につけるか、あるいは、学部、短大に用意された資格を取得するコースを選んで、教職などの専門職の道を進むか、主専攻のほかに、さらにもう一つか二つの副専攻を修得して、全く新しい領域を開拓するかなど、自分の将来の目標をしっかり決めてから選んで欲しいものです。

本学がカリキュラムの自由選択制を導入したのは、社会の複雑多様なニーズに合わせて学生自身が自由に進路を選択できるようにするためです。この制度を十分に活用して下さい。

セメスター制

本学は、学部・短大ともにセメスター制（1年2学期制度）を採用しています。1年を前期（4月から9月まで）、後期（10月から3月まで）に区切り、各々独立した学期として取り扱い、成績を評価しています。セメスター制での授業には、いくつかの種類があります。

① 前期は基礎、基本を教え、後期は前期に引き続いて、より高度の発展した授業をするもの。
② 前期と後期で、同じ内容の授業をするもの。これには、カリキュラム表に★印がついているので、区別できます。
③ 前期と後期で、授業の分野が異なっているもの。

従って、学期の始めに、その種類をよく確かめておく必要があります。いずれにしても、前期と後期の成績は、それぞれ独立したものとして別個に判定されます。前期に欠点をとったので、後期に挽回し、前後期を平均して及第点をもらうことができる「通年制」とは、基本的に異なっているのです。

次に本学のセメスター制の性格と約束事を書いておきます。

① 基礎、基本を教える前期だけで後期の授業を続けて受けない学生は、前期だけの単位を修得できます。その科目の後期をたとえば1年後に履修して、期末試験に合格すれば後期だけの単位が修得できます。
② レベル別の授業の場合、たとえば、「Ⅰ」を飛び越え、「Ⅱ」の履修を希望する学生には、前期分の学習能力を身につけているか、遅れて学習するハンデを自分で克服する約束をした場合にだけ履修が認められます。
③ 成績の評価は、たとえば前期2単位、後期2単位で「合計4単位」として計算し「通年4単位」とはしません。ただし、資格取得のためなどで4単位が必要であるとする特別指定を学長から受けているものが、別に存在していることも承知しておいてください。

単位の計算

単位は、講義・演習・実験・実習・実技など各授業方法ごとに決められた授業時間を基礎に算定したもので、学習成果の評価を受けて与えられ、学則に定められた単位を修得すれば、卒業資格に結び付くものです。しかも、大学の単位は、他大学との単位互換制度が設けられていることで明らかなように、どの大学でも通用する普遍性をもった公的な性格を有するもので、大学教育の根幹をなすものです。

各授業方法ごとの1単位当たりの授業時間は次のとおりです。

●講義

毎週1時間（45分）の講義の15週分を1単位とします。つまり、毎週1時間の講義（15時間）を1単位と計算するの

で、毎週2時間（90分）の講義は15週（30時間）で2単位になります。

なお、大学では、2時間の授業を1コマ、1時間の授業を半コマといい、1セメスターは15週と計算しています。ただし教育効果を考える必要がある場合は、22時間半、または30時間の講義を1単位とすることがあります。

●演習

毎週2時間（90分）の演習の15週分を1単位とします。講義の半分に計算されることになります。

●実験・実習

毎週3時間の実験・実習の15週分を1単位とします。講義の3分の1に計算されます。この場合の授業は、すべて実験・実習室で行われるものとします。

●授業科目の種類と単位

半コマの講義	=45分×15週=1単位
1コマの講義	=90分×15週=2単位
1コマの演習	=90分×15週=1単位
1コマ半の実験・実習	=135分×15週=1単位

ただし、演習、実験の単位については教育効果を考慮して当該学科の判断によって単位数を定めることがあります。

●各学期に履修する単位数

履修登録に際しては、自分の目標をしっかりと見定め、学部は8学期、短大は4学期の在学期間中の履修科目数のバランス、科目毎に定められた履修可能範囲等を考慮し、学力に合った無理のない計画を立ててください。

○　学部生・短大生ともに毎学期の履修登録単位数は、卒業要件に含むことができる単位（文化講座を除く）を対象として、22単位を上限とし、少なくとも15単位以上は履修するよう計画してください。この条件に外れて履修する場合は、所属学科の許可を得てください。

　履修計画を立てる前に必ず所属学科のガイダンス及びクラス主任の指導を受け、また、2履修規程・3カリキュラムの構成、学期始めに配布される諸規則等をよく読んで、登録ミスのないように注意してください。

○　授業参加学生は修得した単位のうち学部40単位、短大30単位までを卒業要件単位として認定されます。なお、文化講座の単位は必修としますが、卒業要件単位には含まれません。

●進級・留年について

学部生が3年次に進級する目安として、2年次終了までに卒業要件単位を概ね60単位以上修得することとします。

3. カリキュラムの構成

一般教養科目

本学の一般教養科目は、他の多くの大学と異なって、学部・短大とも大学教育の重要な部分として位置づけられています。したがって、一般教養科目を上手に履修することによって、本学に学ぶ者としての特権が大いに生かされることになります。

科目の種類には、総合教育センターが開設したものと、各学科で開設したものとがあります。各学科が開設したものは、各学科の開設科目のうち他学科の学生のために、一般教養科目として開放しているものです。

したがって、本学の一般教養科目は、①一般教養科目カリキュラム表の科目を中核として、②専門教育科目の中の一般教養科目への開放科目が裾野となって広がっているということになります。

①は、一般教養科目カリキュラム表に示すとおり多様で広い範囲の科目を開設しています。

②は、各学科カリキュラム表の「履修可能範囲」欄に「◎」が付されているものです。開設学科以外の学科の学生が履修すると、一般教養科目になります（同系統学科の学生は専門教育科目になります）。

このような本学独自の一般教養カリキュラムの仕組みをよく理解していれば、たとえば心理学科以外の学生で、主専攻のほかに心理学を副専攻的に勉強したい場合、「こころの科学」「社会心理」「幼児の心理」などをうまく組み合わせて履修することによって、独自のニーズに対応する学習プログラムが立てられます。

また、学芸員、図書館司書、栄養士、建築士等の資格取得希望者、あるいは卒業後、管理栄養士、社会福祉士等の国家試験受験予定者で、将来、その資格を職業として活用したいと希望する者は、通例、公務員試験等を受け合格した者の中からさらに専門職として採用されることになっています。公務員試験は専門分野の学識のほか、広範囲の、教養知識を要求しています。一般教養科目の中から、法学、政治学、経済学、社会学、社会福祉学、情報学、歴史学、あるいは自然科学分野の科目をより多く履修し、専門教科以外の知識を修得するとよいでしょう。

体育実技

体育実技は、適切な運動体験を通じて、生涯スポーツの基礎を養うことを目的としています。身体の発育・発達の完成期にある大学生にとって、体力をより充実させ、健康的な生活を送るためにも、計画的な身体運動の実践が必要となります。

そこで本学では、テニス、ゴルフ、バドミントン、フットサル、バスケットボール、バレーボール、エクササイズといった多様な種目の授業を用意し、これにオープンカレッジのフィットネス講座を加えて、自由に選択できるようにしています。積極的に履修して、体力の向上、健康の維持・増進に役立ててください。

平成19年度入学生から、体育実技の履修方法が変わりました。初等教育学科、生活科学科、食物科学科、子ども教育学科の4学科は1単位必修、その他の

学科は完全選択制です。また、すべての学科について、上限2単位まで卒業要件の単位に含められます。修得した単位は、一般教養科目の単位として計算されます。

専門教育科目

専門教育科目は、学部、短大の学科の教育目標に従って設けられています。学科の設置目的によって、学問の基礎研究、職業生活または実際生活に必要な能力の養成などの相違がありますが、それぞれ修得する最低基準が設けられています。最低基準は、学部76単位、短大は30単位（各学科によって、多少の違いがある）です。
専門教育科目には、必修と選択必修、選択の別があり、次の例のようにカリキュラム表に明示されています。

例

単位数の表示の無印は必修
○印は選択
選択必修は、「備考」に指示がある

必修は、所属する学科の学生は誰でも受講しなければならない科目です。選択と選択必修は、学生の専攻によって変わってきます。指導教員の指示に従って、どの科目を選ぶか決める必要があります。この選び方を誤ると、途中で軌道修正する必要が出てきますから慎重に選んでください。

また、専門教育科目には、カリキュラム表の備考欄に履修可能範囲の表示がありますから注意してください。記号を見ると、同系統学科の学生が履修でき、専門教育科目（選択科目）として認定され、卒業の要件になる科目、同系統学科以外の学生も履修でき、願い出て許可された場合に一般教養科目の単位になる科目の別が分かります。このほか専門関連科目は、その学科の専攻と密接に関連するか、あるいは専攻の学問領域の基礎となる科目となるものです。専門関連科目は、一般教養科目に加えることも可能ですので、履修登録時に、どちらの単位にするのか決める必要があります。後で変更することはできませんので慎重に検討してください。

これらによって、学生は専門教育の幅を広げ、奥行きを深めることができるでしょう。学問の境界領域や学際分野が絶えず形成され、変化するので、こうした措置をとることにしました。

外国語科目

●8ヵ国語を開講

情報化時代、国際化時代を迎えて本学では、外国語をしっかり身につけるための十分な科目を用意し、学生の選択を待っています。本学が開講している外国語は、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・中国語・韓国語の8カ国語にのぼります。外国語を基礎から学びはじめて、ゆるやかにレベルをあげるよう工夫されています。また、外国語を耳から学ぶためにネイティブの教員による会話を中心にしたクラスも用意してあります。

●2ヵ国語の履修が望ましい

卒業までに少なくとも2つ、あるいはそれ以上の外国語を学べるように入学時に計画をたてましょう。ひとつのメインとなる外国語をできるだけ深く学習するとともに、サブとなるもう一つの外国語は、たとえ十分とは言えないまでも、基礎だけはみっちり教えようというのが本学の方針です。国際化が進展する現代の社会では、英語以外の外国語の知識をもとめる企業が増えていますし、将来、研究者を目指す者は、二つ、ないし三つの外国語の修得は最低条件なのです。

努力次第では高いレベルまで達することができるという実例があります。例えば、フランス語では準1級、ドイツ語では2級の検定試験に合格した学生がいます。中国語では、研究クラス（最上級クラス）終了後、通訳をめざして勉強している人、中国語会話の本を出版した人、中国語を武器に商社や航空会社に就職した人などがいます。スペイン語に魅せられてグラナダ大学に留学した人もいます。
若い大学生時代から、できるかぎり多くの外国語に接触し、将来の学習の足がかりを築いておくことは素晴しい経験です。本学のシステムを活用して、多彩な社会的活動の可能性を培ってください。

●外国語の基本単位

・学部

上記開設語学8カ国語の中から、特定の外国語を選び、最低12単位（生活科学科は最低8単位）修得することが必要です。そのうち6単位（英語コミュニケーション学科、現代教養学科は8単位）は「基本単位」として、同一外国語でなければなりません。週1回90分の授業を1セメスター（一期）履修して1単位、週2回ですと2単位修得できます。

基本単位以外は、同じ外国語を履修してもよいし、別の外国語を選択することもできます。

※英語コミュニケーション学科、現代教養学科の特例

外国語科目として英語を履修することはできませんが、専門教育科目として修得した単位のなかから4単位を、基本単位以外の外国語科目の単位に充当できます。

・短大（文化創造学科夜間主コースを除く）

最低4単位修得することが必要で、そのうち2単位以上は同一外国語でなければなりません。週1回90分の授業を1セメスター（一期）履修すると1単位修得できます。

留学生は母語を外国語科目として履修できません。

●文化創造学科夜間主コースの外国語

外国語は必修ではありませんが、時代の趨勢を考えて、進んで履修するよう心がけましょう。英語、ドイツ語、中国語の3カ国語のなかから、一つまたは二つの外国語を選んで、修得することができます。

●その他

別掲のボストンでのサマー・セッション（夏季語学研修）を修了した学生で、条件を満たせば外国語「英語」の単位として2単位が認定されることになっています。

副専攻制度（仮称）について

すでに触れていますように、本学では自分が所属する学科の専門科目を主専攻とし、その他自分の興味や関心、ニーズに基づき、専門科目以外の科目を副専攻的に履修することができる、柔軟かつ多様なカリキュラム編成となっています。

これまでは、副専攻的な履修は皆さんの判断に任せていましたが、本年度から学校として正式に「副専攻制度」（仮称）を設けます。対象となるのは本年度入学生からとなります。詳細については4月以降のガイダンスで連絡します。

「英検」「TOEIC」「漢検」取得者の単位認定

●英検およびTOEICについて

本学の「外国語教育の英語」では実用的な英語の運用能力を高めることが目標の1つになっており、英検（実用英語技能検定）の資格とTOEIC（IPテストを含む）のスコアを非英語系の学生を対象に外国語科目の卒業要件単位として、認定しています。認定される単位数は以下のとおりとします。

英検　　2級＝TOEIC450点以上→2単位
英検　準1級＝TOEIC650点以上→4単位
英検　　1級＝TOEIC850点以上→6単位

ただし、認定される単位は最高6単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。

英検とTOEICの両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とします。

●漢検について

本学での高いレベルの講義を理解し、常識人として社会に貢献できる人間を育成するため、かねてから「漢字」修得能力を重視しており、文部科学省認定の日本漢字能力検定（漢検）の資格を単位認定しています。これは、卒業要件の単位には含まれませんが、認定単位として成績証明書に記載されるので、就職時に有利な材料となるでしょう。また、就職試験につきものの「小論文」対策にもなります。

認定される単位は漢検2級2単位、準1級3単位、1級4単位です。下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。

●単位認定の申請について

「英検」「漢検」ともに単位認定の申請は、随時教育支援センター（教務担当）で受け付けます。

なお、他大学からの編入学生も同様の手続きにより単位認定を受けることができます。

4. 卒業の要件

卒業の要件

●学部

学部に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、大学部局長会の議を経て、学長が卒業の認定をします。卒業を認定された者には学位記が授与され、次のとおりの学位が授与されます。

人間文化学部…日本語日本文学科・英語コミュニケーション学科・歴史文化学科『学士（人間文化学）』
人間社会学部…心理学科・福祉環境学科・現代教養学科『学士（人間社会学）』
初等教育学科『学士（教育学）』
生活科学部…生活環境学科・生活科学科『学士（生活科学）』

卒業に必要な修得単位数は次のとおりです。

学部＼項目	一般教養科目	外国語科目	専門教育科目（専門関連科目を含む）	文化講座	合計
人間文化学部・人間社会学部・生活科学部生活環境学科	36以上	12以上	76以上	8	132以上
生活科学部生活科学科		8以上			

1. 卒業に必要な最低単位数は、文化講座を含み132単位とする。（4年次編入学生は126単位、3年次編入学生は128単位、2年次編入学生は130単位）
ただし、教職に関する専門科目（初等教育学科を除く）および図書館学関係科目の単位は、卒業の要件に含むことはできない。なお、一部教職に関する専門科目で卒業の要件に含むことができるものがある。各学科に問い合わせること。
2. 文化講座は、女性教養・文化研究・特殊研究とする。特殊研究を除く各講座1単位を毎年次履修し、卒業までに合計8単位を修得する。（4年次編入学生は2単位、3年次編入学生は4単位、2年次編入学生は6単位）
3. 外国語科目は、同一の外国語6単位を含み12単位以上選択必修とする。平成14年度以降入学の生活科学科の学生に限っては、同一の外国語6単位を含み8単位以上選択必修とする。ただし、英語コミュニケーション学科、現代教養学科の学生は、英語を除く他の同一外国語を8単位以上修得することとし、残り4単位は専門教育科目から振り替えることができる。なお、現代教養学科平成20年度以降入学者には、適用されません。
4. 上記単位の他、毎年次学寮研修を修了する。

5. 「ボストン昭和女子大学」研修学生の学寮研修と文化講座の取扱いについては別に定める。
6. 生活科学科における専門教育科目の履修方法は、学科の指導を受けるものとする。
7. 英語コミュニケーション学科は「ボストン昭和女子大学」に留学すること。

●短大

短大に2年以上在学し、所定の単位を修得した者には、大学部局長会の議を経て、学長が卒業の認定をします。卒業を認定された者には、卒業証書が授与され短期大学士の称号が与えられます。

卒業に必要な最低修得単位数は次のとおりです。

項目 / 学部	一般教養科目	外国語科目	余裕単位	専門教育科目（専門関連科目を含む）	文化講座	合計
文化創造学科	8	4	14	36	4	66
同・夜間主		−	14	40	−	62
食物科学科		4	18	32	4	66
子ども教育学科		4	17	33	4	66

1. 卒業に必要な最低単位数は、文化講座を含み66単位（夜間主は62単位）とする。ただし、教職に関する専門科目（子ども教育学科を除く）、図書館学関係科目（*文化創造学科を除く）、博物館学芸員補必修科目（*文化創造学科を除く）は、卒業の要件に含むことはできない。なお、一部教職に関する専門科目で、卒業要件に含むことができるものがあるので、詳細は各学年に問い合わせること。*文化創造学科の学生は学科の指導を受けること。
2. 文化講座は、女性教養・文化研究・特殊研究とする。特殊研究を除く各講座1単位を毎年次履修し、卒業までに合計4単位を修得する。
3. 外国語科目は、同一の外国語2単位を含み4単位以上選択必修とする。また、夜間主の外国語科目として開設される科目は、英語、ドイツ語、中国語で、希望者はこの中から選択履修する。
4. 上記単位の他、毎年次学寮研修を修了する。
5. 「ボストン昭和女子大学」への留学期間の学寮研修と文化講座の取扱いについては別に定める。
6. 余裕単位は、各学科の定めるところにより選択履修する。

早期卒業の規程

第1条（趣旨・目的）

この規程は、昭和女子大学学則第14条第10項の規定に基づき、昭和女子大学における早期卒業に関し必要な事項を定める。

第2条（対象者）

本学に3年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。ただし、次のものは該当しない。

1.編入学したもの
2.本学学則第14条第9項の適用を受けて入学したもの
3.再入学または学士入学、転入学した者で、本学入学前の在学期間に本内規の施行日前の期間が含まれているもの

第3条（早期卒業の登録）

早期卒業を希望する者は,所属学科の学科長に申し出るものとする。

1.登録時期：2年次終了時
2.登録基準：卒業要件単位90単位以上かつ席次が当該学科学年の上位約5％以内の者
3.審査：登録の申出があったときは、学科の審議を経たうえ大学部局長会において前項の基準に基づき審査し、学長に報告する。

第4条（学習指導）

1.学科は、早期卒業希望者の3年次学習指導について、適切に実施する。
2.希望登録した学生は、3年次から卒業論文指導を受けることができる。
3.学生は3年次前期終了時に学習状況報告書を所属学科学科長に提出する。

第5条（早期卒業の認定）

卒業するためには次の要件をすべて充たさなければならない。

1.必要単位：卒業要件単位132単位以上を修得（4年目文化講座2単位を免除）
2.成績：卒業要件単位の成績（平均点）の席次が当該学科学年の上位約5％以内
3.卒業論文：評価が優以上（必修の場合）

第6条（卒業認定審査）

大学部局長会は前条の要件について審査のうえ、学長が認定する。

第7条（卒業の時期）

早期卒業の時期は、3年終了時又は4年前期終了時とする。

第8条

この内規に定めるもののほか、早期卒業に関し必要な事項は、各学科において別に定めることができる。

第9条（本学入学前の既修得単位を認定された者に関する特例）

第3条第2号及び第5条の規定にかかわらず、本学学則第14条第5項の適用を受けて、本学入学以前に修得した単位を30単位以上本学において修得したものと認められた者については、早期卒業の登録基準および早期卒業の認定要件を次のとおりとする。

登録基準：卒業要件単位120単位以上かつ平均点80点以上

早期卒業の認定

1.必要単位：卒業要件単位132単位以上を修得（4年目文化講座2単位を免除）

2.成績：卒業要件単位の平均点が80点以上

なお、早期卒業の登録基準および卒業認定要件における成績は、学生の申請した既修得単位（2年次120単位および3年次132単位以上）で平均点を算出することができるものとする。

附　則　この内規は、平成16年4月入学者から適用する。

5. 履修

履修計画

本学の履修登録は1授業科目毎に行います。従って正規授業の始まる前に、綿密な履修計画が必要となります。

履修計画は、学科別に行う履修ガイダンスで教務委員から指導がありますので時間割や学生便覧・シラバスなどを参考にして各自で立ててください。また、正規授業開始前には、クラス主任の指導を受けるようにしてください。

履修計画を立てる際には、次の原則に従ってください。

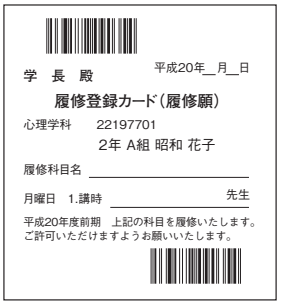
1. 専門教育科目・一般教養科目・外国語科目・諸資格に必要な専門科目の必修・選択科目合わせて年間34単位（文化講座を含まない）以上の履修が望ましいでしょう。
2. カリキュラム表に「他学科生履修可」の表示がある科目のみ、他学部・他学科の専門教育科目を履修することが認められます。この場合、同系統学科の学生は専門科目として認定され、それ以外の学生は一般教養科目となりますが、取り扱いが異なる科目もあるので注意してください。
3. 学部の学生が短大の科目を履修できるのは、在学中を通じて60単位まで（図書館司書関係科目を含む）、短大の学生が学部の科目を同様に履修できるのは30単位までとなっています。
4. 履修を途中で放棄することは望ましいことではありません。やむを得ず放棄しようとする場合は、『履修科目放棄願』の提出が必要です。詳しくは、後述します。

履修登録の方法

●履修登録カード

各個人毎の学籍番号をバーコードにした履修登録カードを毎学期始めに学生個々に配布します。このカードを履修する科目の授業時間に担当教員に提出することによって、その科目の履修登録とします。履修登録カードが履修願となりますので、大切に取り扱いましょう。また、バーコード部分に汚れがついたり、極端に折り目がつくと読み取り不可能となりますので注意してください。

以下、履修登録の方法を詳しく説明しますので、よく読んで間違いのないようにしてください。


学　長　殿　　平成20年__月__日

履修登録カード（履修願）

心理学科　22197701

2年 A組 昭和 花子

履修科目名 _____

月曜日　1.講時 _____ 先生

平成20年度前期　上記の科目を履修いたします。
ご許可いただけますようお願いいたします。

●導入授業（授業開始第1週）

履修計画を立てる際の重要なポイントとして、導入授業があります。導入授業は、1講時の中で40分授業を2度繰り返して行うもので授業開始後約1週間がそれにあたります。履修ガイダンス・授業概要およびキーワード等でチェックし、興味をもった科目については必ず出席しましょう。

導入授業に出席し、講義を聴いてみて、実際に履修するかどうかの判断材料にしてください。

また、履修制限をする科目については、導入授業時にレポート等の提出を課し、履修者を決定する場合があります。少しでも興味をもった科目については、できるだけ導入授業に出席することが望ましいでしょう。

一部、必修科目などについては第1週目から正規授業になりますので、注意してください。

●履修登録授業（正規授業第1回目）

導入授業に出席し、担当教員から履修を許可された場合、正規授業開始の第1回目に『履修登録カード』を担当教員に提出します。当日履修登録カードを忘れた場合は必ず授業開始前に教育支援センターで代わりのカードを受けとり、登録を済ませてください。第2回目以降及び授業時間外に提出することはできませんので注意してください。これで、その授業科目についての履修登録は終了です。

導入授業に出席しなかったが、その授業科目を履修したい時には担当教員の許可が出た場合にのみ『履修登録カード』を提出することができます。ただし、この場合も他の科目の導入授業で履修制限を受けた場合に限ります。

正規授業第1回目に、欠席した場合は原則としてその授業科目の履修ができないことになりますので注意してください。

●履修登録の確認（正規授業第2回目以降）

履修登録をした科目については第2回目の授業時から、担当教員に出席簿が配布されますので、確認してください。

●個人別履修登録確認票

全授業科目の履修登録が済んだ時点（5月下旬・10月下旬）で、個人別履修登録確認票が配布されます。エラーメッセージ等がある場合、諸手続きについてのプリントが同時に配布されますので、必ず確認して、手続きをし

てください。

●実践倫理の履修

1年生（授業参加学生含）は一括で登録されますので履修登録カードを提出する必要はありません。

ただし、学部編入学生（併設短大出身者を除く）や再履修の学生は履修登録が必要になりますので、期限内に必ず教育支援センターに履修登録カードを提出して座席の指定を受けてください。提出期限はプリントや放送等で別途連絡します。

履修登録カード以外で登録する場合

●履修登録が不要な場合

次にあげる科目については、履修登録（履修登録カードの提出）の必要がありません。該当する学生全員が履修することになります。

1. 1年次（授業参加学生を含む）の『実践倫理』『日本語基礎』
2. 学部生及び短大生（専攻科を除く）の『女性教養講座』『文化研究講座』

●その他特殊なケース

『資格課程の専門科目』等の再履修など、特殊なケースは必ず教育支援センターに相談してください。

特別履修

授業科目の履修は、カリキュラム表に示してある履修可能範囲内の学科に所属し、かつ、開設学年以上の学生のみ履修が許されています。原則としてそれ以外の学生は履修できません。ただし、特別な理由のある場合のみ、対象外の学生でも該当科目に対して特別履修願を提出すれば、履修登録ができます。

特別な理由とは次のような場合を指します。

●理由

イ） 卒業年次生で卒業要件および諸資格の取得に必要な単位数が満たない場合。

ロ） 英語コミュニケーション学科および文化創造学科の学生で、ボストン留学のため特別措置が必要と認められた場合。

ハ） 所属学科教務部委員が必要と認めた場合。

ニ） 書道、外国語について、担当教員が上級レベルの履修が可能と認めた場合。

●手続き

1. 所属学科教務委員に上記理由に当たるかどうかの判断を仰ぎ、許可された後、履修登録授業時に履修登録カードを担当教員に提出し、教育支援センターで『特別履修願』を受け取ってください。
2. 教育支援センター所定の『特別履修願』に、授業担当教員、特別履修科目開設学科および所属学科の教務部委員ならびに、クラス主任の承認を得た後に教育支援センター窓口に提出します。
3. 前期に特別履修を許可された科目を後期に続けて履修する場合も、再度特別履修の手続きが必要です。

●注意事項

1. 理由イ）により特別履修を希望する場合は、まずクラス主任の指導を受け、所属学科教務部委員の承認を得たうえで、授業担当教員の了承を得る必要があります。
2. 外国語の履修については、それぞれ担当学科外国語担当者の了承を得る必要があります。直接各教授室を訪ね、問い合わせてください。

〈英語〉

学部生が短大生主対象の科目を履修する場合:英語コミュニケーション学科の外国語担当者

短大生が学部生主対象の科目を履修する場合:文化創造学科の外国語担当者

〈英語以外の外国語〉

学部生が短大生主対象の科目を履修する場合、又はその逆の場合:総合教育センター外国語担当の教務部委員、あるいは科目担当者

3. すでに履修登録カードを提出していて特別履修願を出さなかった者、提出期限に間に合わなかった者は、履修放棄願と提出してください。放置しておくと失格等の対象となります。

聴　講

『聴講』とは、単位修得を必要とせず、知識の修得・資質の向上を目的として受講を希望する場合をいいます。従って、授業には出席できますが単位の認定はされません。卒業論文等の関連科目を受講する場合や既修得科目の再度の受講の場合などです。

●手続き

1. 聴講科目の導入授業時に、聴講希望である旨を担当教員に伝え、聴講許可がでた場合にのみ、履修登録授業時に、履修登録カードを提出します。
2. 教育支援センター所定の『聴講願』に、担当教員の承認を得た後に、教育支援センター窓口に提出します。
3. 前期に聴講を許可された科目を後期に続けて聴講する場合も、再度聴講願の手続きが必要です。

●注意事項

聴講願を期限内に提出しないと通常の履修扱いとなります。

履修登録後の科目放棄

履修登録後やむを得ない理由で、履修を放棄する場合、教育支援センター所定の『履修科目放棄願』に担当教員・クラス主任の承認を得た後、教育支援センター窓口に提出してください。また、個人別履修登録確認票にエラーメッセージがある科目は履修できませんので、その場合も必ず放棄の手続きをしてください。手続きを怠ると、失格等の対象となります。提出期限は、前期は5月中旬、後期は10月下旬です。

6. 授業

授　業

学期は前期（4月1日から9月30日まで）、後期（10月1日から3月31日まで）の2セメスター制とし、各セメスターは原則として15週とします。

授業の時間帯は以下のとおりです。

1講時	9:00～10:30
2講時	10:40～12:10
3講時	13:10～14:40
4講時	14:50～16:20
5講時	16:30～18:00
夜間主	
★5講時	16:30～18:00
6講時	18:10～19:40
7講時	19:45～21:15

※ひとつの講時を前半と後半に分けることがあります。

★印の講時は特別選択科目の開講時間。

ひとつの授業科目で同時に授業を受けられる学生数は、教育効果を十分にあげられるように一般教養を除き80人を上限としています。履修登録の学生が、この数を超える場合は、次の基準によって優先順位を決定します。

① 開講中心年次の学生を優先する。
② 履修可能範囲の制限に従う（学部の学生を主対象として開設された科目の場合は学部の学生に優先権がある。短大の場合も同じ）
③ 学科の専門科目で他学科の学生も履修できるものは、その科目を開設した学科の学生に優先権がある。
④ 優先権が同じ学生の場合は、授業担当教員が、テスト、レポートなど適当な方法によって履修できる学生を選考する。

座　席

師弟間の親密化、教育成果の向上、授業の効率をはかるために、授業の際の座席は個別に指定してあります。指導上の見地から教員が定期的に変更させる場合もありますが、講義ごとに学生が勝手に移動することはできません。座席確定後、座席表を作成し、授業担当の教員はそれによって出欠調査、平常成績の記録をします。

休講・補講

担当の教員がやむを得ない理由で授業を休む場合、その授業は休講となります。このような場合には事前に80年館インフォメーションルームに休講連絡を掲示し、ホームページにも掲載します。

なお、授業時間になっても担当の教員が教室に見えない場合は、教育支援センターへ連絡をとり、指示を受けてください。

休講は原則として補講を行います。この場合も掲示をしますので見落とさないように注意してください。

出席・欠席・遅刻

毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業担当教員の責任において出席簿に記録されます。

当該科目の欠席時数が4分の1（週1回授業の場合には1セメスターで4回）を超えると失格となり、定期試験の受験資格が与えられず、単位は認定されません。

10分を超えた遅刻は欠席として取り扱われます。10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とします。（60分以内の授業の場合は10分を5分に読み替えます）

以下のような場合に、願い書を提出すると欠席扱いにはなりません。

1. 忌引（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）
2. 教育実習ならびに介護等体験（教職課程に関する内規参照）および校外実習期間
3. 卒業年次の就職活動及び進路活動のための欠席で、クラス主任が認めたもの（通算6日以内）
4. クラブの代表として、関東地区大会規模以上の公式試合（予選を含む）に出場および公演に参加する場合。ただし、原則として1クラブ、年2回を限度とする。（サークルは不可）
5. 感染症に罹患し、医師の診断により出校停止となった場合。（診断書添付）
6. ボストン研修のビザ取得にかかわるアメリカ大使館のインタビュー。
7. インターンシップ。
8. その他大学が必要と認めたもの。

公欠願（1～6）は2種類の用紙に記入し、クラス主任と授業担当の教員へ提出することが必要です。（但し4は、教育支援センターを経由する）

公欠願は3日前までに提出。ただし、1.3.5.の場合はクラス主任の証明で事後に提出しても有効です。

事後の場合は7日以内に提出することとし、それ以降は原則として認めません。

なお、資格関連科目の公欠については資格の監督官庁の定めによることとします。

●緊急時の授業の取扱について

JR山の手線、東京メトロ、東急田園都市線のいずれかが「ストライキ」あるいは「災害」等によって全面運休した場合の授業の取扱は下表のとおりとする。

運休時間	授業の取扱
昼間部	
当日午前6時までに運転開始	平常どおり行う
当日午前9時までに運転開始	午前中休講
当日午前9時を過ぎても運転中止	終日休講
短大二部	
当日午後1時までに運転開始	平常どおり行う
当日午後3時までに運転開始	5時限目休講
当日午後3時を過ぎても運転中止	終日休講

上記の原則によるほか、教務部長・学生部長及び教育支援センター長の協議に基づき、学長が学生の登校並びに下校に困難と危険が伴うと判断した場合は休講とする。

なお、事故等で鉄道が一時運休し授業出席に支障をきたした場合は、所定の公欠届け出用紙に記入し、クラス主任押印のうえ遅延証明書とともに授業担当者へ提出すること。自宅から大学までの通学途中の地域に、自然災害による警報が発令されている場合等、同様の手続きで公欠を認める場合がある。

●大震法に基づく警戒宣言が発令された場合の授業の取扱について

首都圏を中心とする大規模な地震発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づく「警戒宣言」が発令された場合の授業等の取扱は以下のとおりとする。

○　「警戒宣言」が発令された場合、直ちに全学休講とする。
大学にいる時に「警戒宣言」が発令された場合は、校内放送あるいは掲示等によって指示を行うのでその指示に従うこと。また、通学途中で「警戒宣言」が発令された場合は、直ちに帰宅するなど適切な措置をとること。

○　「警戒宣言」が解除されたときは、緊急時の授業の取扱についての場合に準じる。

授業改善アンケート

本学では授業最終週に、授業内容の改善を目的としたアンケートを行います（ただし授業によっては最終週以外の週に実施することもあります）。このアンケートは原則として受講学生数10名以上の授業を対象とします。受講した科目の理解度や教員の教え方、施設設備などについて、学生のみなさんの意見や感想を回答してください。

回答結果は大学や個々の教員が今後よりよい授業を展開していくための資料とします。また結果の概要はホームページに公開していきますのでそちらも確認してください。

大学の授業の改善のために、是非皆さんの率直な意見を聞かせてください。

7. 試験・成績評価

単位の認定・試験

●試験

試験は原則として前期、後期授業の最終週の1週間前及び最終週に実施します。合同試験の時間割は、別途80年館インフォメーションルームに掲示します。学生はその学期に履修している全科目について受験しなければなりません。各科目の評価は出席点、平常点（レポート、作品、実技、実験等の評価が加味されます）、試験点を合わせて100点満点とします。結果は秀（90点以上）、優（80点以上89点以下）、良（70点以上79点以下）、可（60点以上69点以下）、不可（59点以下）で表わし、可以上が単位認定されます。成績は、1セメスターごとに保証人に通知します。なお、再試験は行いません。（後期の成績は、始業式当日学生本人に手渡し）

試験実施中、不正行為のあった者についてはその日までの全受験科目を無効とし、以後の受験を停止します。

不受験、失格（欠席オーバー）、と表記された科目のの取り扱いについて、不受験科目は出席点、平常点の合計点が、失格科目（欠席オーバー）は0点がそれぞれ成績となります。

●受験資格

以下にあげる項目に該当する学生には受験資格が与えられません。

1. 履修登録していない者
2. 授業料等納入金を期日までに納入していない者
3. 受験する授業科目の欠席が4分の1（1セメスターで4回）を超える者
4. 本学発行の学生証を所持していない者
5. 所要時間を半分過ぎた遅刻者
6. その他受験資格に欠格があると認められた者

受験の心得

1. 試験開始3分前には入室着席を済ませ、監督者の入室を待つ。
2. 筆記用具（鉛筆、消しゴム、万年筆、ボールペン、定規等）以外は机中に納める。
3. 監督者が入室、教壇に立ったら起立、礼をする。
4. 配布された問題は、監督者の指示があるまで裏返しのままにしておく。
5. 監督者の指示があったら、解答用紙に所属学科、学年、クラス、学籍番号、氏名等を記入し、同時に問題枚数とその印刷について確認をする。
6. 試験中に私語をしたときは退出させる。
7. 所要時間を半分過ぎた遅刻者は、入室できない。
8. 解答のできた者は、所要時間の半分経過後退出できる。
ただし、再入室は認めない。
9. 監督者の「解答終わり」の指示により、各列の最後尾から答案を前の方へ順送りし、最前列の者がまとめて監督者に提出する。
10. 提出が終了したら起立、礼をする。

追試験の実施

追試験（試験を受験しなかった者に対する試験）については、次の規定によります。

1. 忌引き、電車の遅延、学外研修（教育実習等）、就職活動（会社の証明必要、但し、合同セミナーは対象外とする）、資格試験及び編入学試験等（事前に申し出ること）及びその他やむを得ない場合には証明す

る書類を添付のうえ、申請し許可されれば追試料金は無料とする。
2. 理由を問わず受験可能とし、理由を証明する書類等は不要とする。
追試料金徴収は、1科目5、000円とする。

特別試験の実施

特別試験については、次の規定によります。
1. 特別試験は、卒業年次生で以下の者を対象とする。卒業要件に充たない者で卒業年次成績査定会で承認を得た者並びに資格取得単位に充たない者。
2. 特別試験は2科目を限度とする。
3. 特別試験対象科目は不可科目、不受験科目のいずれかとし、履修年度は問わない。（1科目2,000円徴収）
4. 特別試験の結果は合否のいずれかとし、合格の場合は単位認定の最低点60点とする。
5. 卒業要件に充たない者のうち特別試験で合格になった場合は、教務部長、学部長、副学長、学長の承認を得て卒業認定する。
6. 3月期卒業の特別試験合格者については3月末日に学位記並びに卒業証書を授与する。ただし、卒業年月日は3月の卒業式の日とする。
7. 9月期卒業の特別試験合格者については9月末日に学位記並びに卒業証書を授与する。卒業年月日も同日とする。

8. 文化講座

学園創立60周年の記念事業として開設された文化講座は、学問・文化の専門領域における学外の一流の学者・文化人・芸術家による、講演会、音楽会などを創立者記念講堂で開催し、これを年間カリキュラムの中に組み込んだものです。特殊研究講座、女性教養講座、文化研究講座の3講座で構成されています。特殊研究講座以外は、それぞれ1単位ずつ、合計2単位を毎年必ず修得することになっています。

年度始めに受講希望の調査を行い、それを元に女性教養講座、文化研究講座入場券（チケット）の引換券を配布します。

詳細は、年度始めに配布するプリントを見てください。

●入場券（チケット）引換

入場券（チケット）の引換は、文化講座窓口で行います。引換には、学生証が必要となります。引換は本人に限ります。

引換期間又は講座当日が実習等で重なった場合は、引換期間開始前に文化講座窓口まで申し出てください。

引換有効期間を過ぎたものは無効となりますので注意してください。

引換有効期間内に交換されなかった入場券（チケット）は、受講希望者に文化講座窓口で追加配券として抽選・配布します。

●留学生の入場券（チケット）

留学生の入場券（チケット）は、大学がその料金を負担しますので無料となります。申し込みは一般学生と同様です。

●追加配券

登録した講座以外の講座を受講したい、又は登録した講座に出席できない場合は、追加配券の手続きをして申し込んでください。

●入場券（チケット）取り扱い窓口・時間

取り扱い窓口：文化講座窓口

取り扱い時間：平日9:30～17:00（土・日・祝日休み）

文化講座窓口で扱う入場券（チケット）は、学生・留学生・教職員・学内関係者家族・友人用です。卒業生は同窓会で申し込みをしてください。

●入場券（チケット）再発行

いかなる理由があっても再発行はいたしません。

●女性教養講座・文化研究講座　聴講申し込みについて

単位取得を目的としないで、聴講を希望する場合は座席に余裕のある講座に限り聴講することができます。引換期間終了後に文化講座窓口で申し込んでください。

※以上、文化講座入場券（チケット）の配券手続きについては、必ず『キャンパスガイド』の“文化講座”を見てください。

＊文化講座窓口は、大学1号館1階教育支援センター内にあります。

特殊研究講座

学科の指示に従ってください。

女性教養講座

学問の分野にこだわらず、広い領域で活躍している著名な人を選び、「女性の心を育む」ことを目的とした講演をお願いしています。年間5回以上出席し、レポートの評価により1単位として認定します。

●女性教養講座の入場券（チケット）

女性教養講座の入場券（チケット）は、教育支援センターから配布される引換券と文化講座窓口で交換して受け取ります。

文化研究講座

情操豊かな女性を育成するため、内外一流の芸術家を招いています。年間5回以上出席し、レポートの評価により1単位として認定します。

●文化研究講座の入場券（チケット）

文化研究講座の入場券（チケット）は、教育支援センターから配布される入場券（チケット）の引換券と交換で購入します。

●一度購入した入場券（チケット）の払い戻し

一度購入した入場券（チケット）は、いかなる理由が

あっても払い戻しはいたしません。やむを得ない理由で受講できない場合は、他の学生に譲り、文化講座窓口で、追加配券申し込みをしてください。

文化講座の出席登録

●特殊研究講座の出席登録

学科の指示に従ってください。

●女性教養講座・文化研究講座の出席登録

女性教養講座・文化研究講座の出席登録は、学生証を使用します。

入場時に学籍番号・氏名を記入した（鉛筆は不可）「入場券・出席確認票」を提示し、ICリーダーに学生証をタッチしてください。講座終了後、退場時にもう一度ICリーダーに学生証をタッチしてください。他人名義の学生証の使用は無効です。

〈本学主催〉

入退場時に、ICリーダーに学生証をタッチしてください。

〈外部主催〉

入場時のみ、ICリーダーに学生証をタッチしてください。

入退場の場所は講堂正面入口ですが、外部主催の文化研究講座の場合、学生専用の入口は、講堂正面の右端となります。入口をまちがえると出席登録できませんので十分注意してください。

なお開場時間は通常30分前となっています。開演時間後の入場は欠席となりますので5分前には着席完了するよう心掛けてください。

レポートについては、翌日以降、クラス主任の指示する方法で提出してください。

●文化講座出席の心得

1. 入場着席は開講・開演5分前に完了すること。
2. 入場後のマナーについては、次の事項を遵守すること。
   ① 座席指定がない場合は、空席を作ることなく前から順に着席すること。また、友人の座席確保のため席をふさぐような行為はしないこと。
   ② 座席指定がある場合は、指定された座席に着席すること。
   ③ ホール内でのおしゃべり・居眠りなどを慎み、演者・他の聴衆に対して不快感を与えるような行為はしないこと。（場合によっては退場を指示することがある。）
3. 講師・出演者への面会、サイン依頼などについては、講座担当責任者の了解があった場合に限る。
4. ホール内では、休憩時間中といえども、靴音をたてて歩いたり（小走りに歩くことを含む）、必要以上の声で話したり、飲食したりすることを慎み、文化の殿堂にふさわしい静けさと気品を保つこと。（他の聴衆はその道の専門家や、高額な入場券を購入して来場している愛好家で、絶対の静けさを求める人ばかりです。）
5. 演奏中は、私語・居眠り・ノート記録・咳などによる雑音をたてたり、テープレコーダの録音・写真撮影などをしてはいけません。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。咳やくしゃみをする時は、ハンカチなどで口を強くふさいで音をころすことが通常のマナーです。
6. 演奏中の退出または移動は厳に慎むこと。
   体調が悪くなり、やむなく退出するときは、演奏者、指揮者、他の聴衆にそれとさとられぬ時機を選んで、背を低くして足音をたてずに退出する。（退出時に小走りに歩いたり足音をたてることは、いかなる場合にも厳に慎むこと。）
   特にドアの開閉時の音に注意して、退席の旨を1階ロビーに待機している本学係員に申し出ること。
7. クラシック・コンサートの場合、各楽章間での拍手はしてはいけません。一曲の演奏が終わった時点で大きな拍手を送ってください。ただし、バレエ等の舞踊公演については、素晴らしい演技に対して、途中で拍手を送ってもかまいません。
8. 演奏後、アンコールのある場合は退席することなく、また、カーテンコール終了まで席にとどまり、心から感謝の意を表するように熱心な拍手を送ることが、演奏者へのマナーです。

短大夜間主・第二部学生の履修

夜間主・第二部においては、文化講座の単位修得を卒業の要件としませんが、所定の講座を履修した学生には以下の規定により単位が認定されます。

1. 女性教養講座は年間5回以上出席し、レポートを提出して、その評価により1単位として認定されます。
2. 文化研究講座は年間5回以上出席し、レポートを提出して、その評価により1単位として認定されます。
3. 他学科の特殊研究講座に出席した場合は、女性教養講座の1回に振り替えることができます。その回数は2回までとします。

●短大夜間主・第二部学生の文化講座入場券

1. 文化研究講座
   各クラスに配布するスケジュール表の引換券有効期間内に窓口又は、第二部事務室で受け付けます（販売時間9：30～20：00）。引換券は配布しませんので、直接窓口又は、第二部事務室に申し込んでください。入場券は１講座につき１人１枚本人のみとします。
   また、入場券の枚数に限りがありますので、売り切れる場合もあります。スケジュール表で販売日（引換券有効期間と同じ）を確認のうえ、早めに購入してください。
2. 女性教養講座
   クラス主任に希望する講座日を申し出てください（セメスター毎にまとめて）。

9. 修業年限・休学・退学

修業年限と在学年限

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間をいい、在学年限とは、これに対して本学において学生の身分を有している期間のことをいいます。

学部の修業年限を4年、短大は2年（長期履修学生は4年）、最長在学年限は休学を除きそれぞれ6年、4年（長期履修学生は6年）とします。退学、休学、復学など学籍に関することは、願い出て学長の許可を得なければなりません。

長期履修学生の規程

（趣旨）

第1条　昭和女子大学短期大学部学則第64条の規程に基づき、長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という。）に関する取扱いについては、この規則の定めるところによる。

（資格）

第2条　長期履修学生として申請できる者は、入学試験に合格した者（以下「入学予定者」という。）及び在学生で職業等を有している等の事情にある者とする。

（学科所属）

第3条　長期履修学生の所属する学年、クラスについては、当該学生の単位の修得状況及び履修計画に基づき、所属学科が決める。

（授業料等）

第4条　長期履修学生の1学期分の授業料等の額は、標準修業年限（2年）の場合の授業料等の1学期分の半額とする。ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（4年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める在籍料及び聴講料を徴収する。

	昼間主	夜間主	備　考
在籍料	85,000円	30,000円	学期ごと徴収
聴講料	30,000円	30,000円	1科目当りの単価。履修科目数に乗じて徴収

2　長期履修学生がその修業年限を短縮して卒業しようとするときは、長期履修学生の標準修業年限（4年）の間に納入する授業料等の額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入するものとする。

3　在学中に授業料が改定されたときは、改定時から新授業料を適用する。

（申請手続等）

第5条　長期履修学生として履修を希望する者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1) 長期履修学生申請書
(2) 長期履修を希望する理由書
(3) その他本学が必要と認める書類

2　申請書等の提出期限は、次のとおりとする。
(1) 入学予定者は、入学手続時
(2) 在学生で後期から長期履修学生を希望する場合は6月末日、前期から希望する場合は前年度の12月15日

（修業年限の変更等）

第6条　長期履修学生が修業年限を短縮して卒業しようとするときは、次に掲げる書類を、6月末日又は12月15日までに、学長に提出しなければならない。
(1) 修業年限短縮申請書
(2) その他本学が必要と認める書類

2　期間の変更は学期単位とする。

（身分）

第7条　長期履修学生の身分に関する事項は、教授会の議を経て学長が決める。

（その他）

第8条　この規則に定めるほか、長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

附　則

この規則は、平成19年４月１日から施行する。ただし、平成18年度以前に入学した者については昼間主を第一部、夜間主を第二部と読替えて適用する。

休　学

病気その他やむを得ない理由で引き続き各学期授業総時間の1/4以上欠席する場合は、保証人連署で願い出て、学長の許可を得て休学することができます。休学しようとするときは、休学願をクラス主任に提出してください。また、病気の場合は医師の診断書を添付してください。休学期間は1年以内としますが、特別な事情のある者には引き続き休学を許可することがあります。

休学期間は、修業年限に算入しないものとします。休学期間中の学費は、在籍登録料として授業料の半額を納入することになっています。ただし、学期途中で休学する場合は、その期の学費を納入していないと許可されません。

復　学

休学の理由が解消して復学しようとする学生は、復学願を保証人連署でクラス主任を通して提出し、学長の許可を得なければなりません。ただし、学期途中の復学はできないものとします。

病気を理由に休学していた学生が復学する場合、医師の診断書が必要となります。

退　学

退学しようとする学生は、その理由を記入した退学願を保証人連署でクラス主任へ提出し、学長の許可を得なければなりません。授業料・寮費などが未納のままで退学することはできません。退学を願い出るときは、同時に学生証と校章を返却してください。
願い出によらない退学は、除籍扱いとなります。

除　籍

除籍とは、本学に在籍していた事実から、その人の名前を除くことを指します。従って証明書等を請求しても、いっさい発行できないことになります。このことから退学願等の処理は、規定通りに手続きをしておく必要があります。

10. 卒業論文

卒業論文

本学では、卒業論文・卒業研究等の単位修得を卒業の要件にしている学科があります。
卒業年次の前年になると、卒業論文の題目についてクラス主任に相談し、選定しなければなりません。そして指導教員の承認を受け、「卒業論文題目及概要届」を各学科が定めた期日までにクラス主任に提出してください。なお一度定めた題目の変更は原則として認められませんから、選定の際には十分検討してください。
履修登録は論文提出年度の前期に行い、放棄願の手続きは他の科目と同様となります。
論文作成に当たっては、努めて指導教員の指導を多く受け、その都度「卒業論文指導カード」を先生に提出して、認可を受けてください。

●提出について

1. 論文の提出日時は、冬季休暇終了日の翌日の午前10時から午後4時（その日が土曜日の場合は午後2時）の間です。「卒業論文提出届」及び「卒業論文指導カード」は、論文とともに、学部は教育支援センター（提出先は掲示で確認してください）、短大はクラス主任に提出してください。
2. 不慮の事故等で期日に持参できない場合は、教育支援センター教務担当宛に送付してください。
送付については下記に留意してください。
（ア）郵送
封筒の裏に必ず学部・学科・クラス・氏名を明記し、書留速達で郵送してください。また、郵便局で「引受時刻証明」を購入し、書留受領証と理由を証明する書類とともに、登校の際必ずクラス主任に提出してください。ただし、局受付日時が規定日時以降のものは無効なります。
（イ）宅配
封筒の裏に必ず学部・学科・クラス・氏名を明記し、宅配の取扱店に依頼してください。また支払い時刻の明記されたレシートを受領（時刻の証明のできないものは無効）し、宅配の本人控と理由を証明する書類とともに、登校の際必ずクラス主任に提出してください。
ただし、受付日時が規定日時以降のものは無効となります。
※個人商店で宅配便の受付業務を行っている場合、レシートが発行されない場合があるので、必ず時刻の証明ができるコンビニエンスストア等に依頼してください。
3. 交通機関の遅延等で提出が遅れる場合は、駅長又は交通機関の発行する遅延証明書を持参しなければなりません。
4. 2・3により定められた日時に持参提出できない場合は、必ずクラス主任に期限以前に電話でその旨を連絡してください。

なお、前期（9月末日）卒業見込学生の論文提出日時は、前期授業終了日の午前10時から午後4時（その日が土曜日の場合は午後2時）とします。また、提出先については、事前に教育支援センターに問い合わせてください。

11. 褒　賞

学長賞・恪勤賞・その他の賞

学則第45条(短期大学部43条)、「本学学生で学業優秀または善行、美事をなした者を賞することがある」の項に基づいて次の賞を設けています。

1. 学長賞
卒業時に、各学科から、在籍100名につき1名の者を大学部局長会に推薦します。全履修科目の成績平均点が80点以上、卒業論文などを課している学科の場合、その成績が「優」以上とします。その場合の欠席許容時数は、出席すべき総時数の $\frac{2}{100}$ を超えない範囲とし、人物などを勘案して決定されます。
2. 恪勤賞
出席良好で、欠席時数が出席すべき総時数の $\frac{3}{1000}$ までの者とします。
3. その他
栄養士養成施設協会会長表彰
生活科学部生活科学科両専攻、短期大学部食物科学科、短期大学部専攻科食物科学専攻の学業優秀な学生各1名が推薦の上決定されます。
空気調和・衛生工学会振興賞
生活科学部生活環境学科の学業優秀な学生1名が推薦の上決定されます。
日本衣料管理協会会長表彰
生活科学部生活環境学科衣料管理士課程の学

業優秀者で、資格が生かせる職場に就職が決まった学生1名が推薦の上決定されます。

フードスペシャリスト協会会長表彰

生活科学部生活科学科食物健康学専攻、短期大学部食物科学科、専攻科食物科学専攻の成績優秀な学生各1名が推薦の上決定されます。

12. コンピュータ教育

本学では、コンピュータを使用した授業と学生の自習環境の充実を目的としてコンピュータ教室を設置しています。

授業の空き時間を利用してコンピュータ教室を使用できます。また、自習環境充実を目的に80年館1階学生ホール内カウンタ・図書館・学生食堂ソフィア内カウンタからの学内ネットワークへのアクセスサービスも実施しています。

コンピュータ教室

1. 目的

コンピュータを使用した授業と予習・復習・自習環境の充実を目的としています。

2. 場所

80年館6階にあります。A～H,Jまで9教室・計230台のパソコンがあります。

コンピュータ事務室も同階にあります。

3. 利用時間

月曜日～金曜日　8:30～19:00
土曜日　8:30～16:30
長期休暇期間　8:30～16:30

※ 大学行事等で教室を使用不可にする場合は、コンピュータ事務室前掲示板、学生WEBでお知らせします。

4. 利用可能なソフト等

・基本OS:WindowsXP
・ソフト:インターネットブラウザ、電子メール、マイクロソフトOffice製品等
・周辺機器:カラープリンタ、モノクロプリンタ、スキャナ、ヘッドフォン等

※ 詳しくは、コンピュータ事務室前掲示板や学生用ホームページ（学生WEB）でお知らせします。

5. 自習利用方法

「利用にあたっての遵守事項」をよく読み理解したうえで利用してください。

① 空き時間の確認
・教室の出入り口に掲示してある授業時間割で空き時間を確認してください。

② ログオン
・パソコンの電源投入後、ユーザー名とパスワードを入力してからパソコンの利用を開始します。
（これを[ログオン]といいます。）

③ 電子メールの使用
・つぎのURLから電子メールの利用ができます。
https://webmail.swu.ac.jp/
・利用にあたってユーザーIDの申請・取得が必要です。(受付:コンピュータ事務室)

④ 印刷
・用紙は各自で用意してください。カフェテリア・ソフィアで販売しています。

⑤ シャットダウン
・使い終わったらWindowsを終了後、モニターと周辺機器の電源を切ります。

⑥ 消灯
・最後に教室を出る人は、教室の電気・空調・プリンタの電源も消してください。

6. 利用にあたっての遵守事項

・教室内での飲食および携帯電話での通話は禁止します。
・私語は謹みましょう。
・教室内のいかなる物も外への持ち出しを禁止します。
・大学ノート等での印刷は紙詰まりの原因になります。印刷用紙を使用してください。
・パソコンの設定変更およびソフトのインストールはしないでください。
・貴重品は個人で管理してください。
・自習利用で各教室の利用者が少ない場合、節電等の理由で一つの教室に移動していただくことがあります。予めご了承ください。

7. その他サービス

・学生ホールと図書館、カフェテリア・ソフィアからのインターネット利用（自分のパソコンを持込み使用します。）無料

※ 詳しくはコンピュータ事務室にお問い合わせください。

8. 学生用ホームページ

つぎのURLからコンピュータ教室の利用方法・利用時間帯の詳細を確認できます。

http://www.swu.ac.jp/student/cproom/

9. 昭和女子大学コミュニティ

つぎのURLで生涯メールアドレス、パスワードを入力し、ログインします。

https://net.swu.ac.jp/

・表示された画面右上端「情報WEB」の「学生」をクリックすると学生生活、授業、資格、就職、進学、コンピュータ教室の情報を閲覧できます。

13. 科目等履修生

本学の開設する授業科目のうち、1ないし数授業科目を選択履修することを許可された者を科目等履修生といいます。科目等履修生に関する取り決めを、次のようにします。

① 出願資格

高等学校卒業以上（学芸員資格取得課程は、学士の学位を有する者及び取得見込みの者）

② 出願期間
前期 3月26日から3月31日まで（日・祝日除く）
後期 9月25日から9月末日まで（日・祝日除く）

③ 履修範囲
当該科目の受講学生に余裕のある場合にのみ受け入れるものとし、授業担当教員と開設する当該学科長の承認を必要とします。

④ 資格課程
学芸員、図書館司書、学芸員（補）の資格を取得しようとする者は、許可された場合当該課程の必修科目及び選択必修科目が一括で登録されます。

⑤ 単位認定
履修した科目のうち、単位の修得を必要とする場合は、前期末・後期末の試験を受験し、評価のうえ単位の認定をします。

⑥ 出席・欠席
毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業の担当の教員の責任において出席簿に記録されます。当該科目の欠席時数が4分の1（週1回授業の場合には1セメスターで4回）を超えると失格となり、試験の受験資格が与えられず、単位は認定されません。
10分を超えた遅刻は欠席として取り扱われます。10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とします。（60分以内の授業の場合は10分を5分に読み替えます）
以下の場合に、願い書を提出すると欠席扱いにはなりません。
1. 忌引（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）
2. 教育実習並びに介護等体験
3. その他大学が必要と認めたもの。
公欠願は2種類の用紙に記入し、教育支援センターと授業担当者の教員へ提出することが必要です。（用紙は教育支援センター窓口にあります。）
公欠願は3日前までに提出。ただし、1の場合は教育支援センターの証明で事後に提出しても有効です。事後の場合は7日以内に提出することとし、それ以降は原則として認めません。

⑦ 履修料

a.各学期１科目につき	登録料	10,000円
	聴講料	20,000円
b.一括料金	登録料	10,000円
	履修料	200,000円
	＊実習費は別途徴収	

★ 備 考
① 資格課程（図書館司書、学芸員）の履修料は、a.b.のいずれかを選択することができます。
② 本学の卒業生の場合、上記履修料は半額となります。

14. 昭和女子大学オープンカレッジ

「昭和女子大学オープンカレッジ」は、大学のトップインテリジェンスを広く一般に開放している生涯学習施設です。

「昭和女子大学オープンカレッジ」で開設している講座のうち一定の条件を充たす講座を本学の学生が履修した場合、卒業の要件単位（一般教養科目、外国語、体育実技）として認定されます。履修の取扱いは次のとおりとなります。

1. 欠席時数が規定回数の4分の1を超えた場合、評価の対象とならない。
2. 講座の終了時には、評価のためテスト（実技テストを含む）を実施する。
3. 学部・短大の学校行事で講座に出席できない場合は公欠扱いとする。公欠に関する規定は「学生便覧（出席・欠席・遅刻）」の規定に準ずる。公欠の場合でも、受講料は返金しない。
4. 履修した講座は、本学の一般教養科目・外国語・体育実技の分野に換算して単位を認定する。
5. 履修の上限は、学則第14条に準ずる。
6. 講座の入会金は免除する。

・対象講座と本学該当科目一覧は、その都度掲示発表する。

★キャリアアップ講座（資格試験対策講座）

就職にむけてキャリアアップを目的とした資格取得をバックアップする講座を開設しています。

在学中にキャリアアップ講座を受講し、一定の条件を満たすと一般教養の単位として認定されます。オープンカレッジ開設の一般教養科目単位認定講座につきましては、134頁をご参照下さい。

オープンカレッジ開講の一般教養科目単位認定講座

科　名　目	単位
国内旅行業務取扱管理者対策講座	3
総合旅行業務取扱管理者対策講座	5
色彩能力検定３・２級対策講座	2
秘書技能検定準１級対策講座	1
秘書技能検定２級対策講座	1
日商簿記３・２級対策講座	2
カラーコーディネーター２級対策講座	1
金融知力３級対策講座	1
公務員試験対策講座	4
福祉住環境コーディネーター3･2級対策講座	1
初級システムアドミニストレータ対策講座	2

（注意）

・受講料が必要です。
・受講人数が少ない場合、開講しないことがあります。
・開講時期については、オープンカレッジのパンフレットや学内掲示板（80年館）で発表されます。
・詳細は直接オープンカレッジの窓口に問い合わせください。
TEL. 03-3411-5100



15. 昭和ボストン

本学は創立以来、独創的なビジョンを掲げて教育の実践に努力してきましたが、1988年４月、アメリカ随一の学園都市ボストンに、豊かな語学力と国際的な教養を培い世界に通用する人材を育成する目的でShowa Boston Institute for Language and Culture（昭和ボストン）を開校しました。太平洋を越えて大西洋に及ぶ視野で東洋と相対する西欧の文化に触れながら21世紀の世界創造を模索する拠点を構築できたことは「女性文化の帆をはりて海路はるけく漕ぎでたり」の精神を貫き、弛まぬ前進を続けた本学の歴史に画期的な１ページを加えたといえます。

ボストン校の授業はすべて現地のアメリカ人教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われます。また、授業科目の一つとしてキャンパス内においてボランティア活動に参加したり、歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行いアメリカの文化を実際に目で見て学んだりするなど、豊かな生活体験がプログラムに盛り込まれているのが特長です。

特に留学が卒業要件となっている学部英語コミュニケーション学科や、短大文化創造学科のうち３ヶ月半の研修を選択した学生は、1999年から始まったCCP（College Connection Program）を通してボストン市内の６大学のコンソーシアムと連繋して昭和の学生が現地の大学生と出会い、彼らのクラスを訪ね、アメリカの大学生活を実体験する機会が得られます。学部現代教養学科では１ヶ月の留学プログラムを実施しているほか、その他学科についても夏季休暇を利用したサマーセッションや独自の短期留学を展開しています。いずれも授業において一定レベルに達した場合は本学正規の修得単位として認定されます。

課外生活体験としては、地元のアメリカ人がカンバセーションパートナーとして日頃から本学学生と交流を深めたり、フェスティバルに地域の人を招待して茶室や日本庭園でお茶会を開いたりしています。さらに寮ではRA（Resident Assistant）として現地大学院生や本学学生と同世代の社会人が同居し、昭和の学生のBig Sisterとして目常生活や勉学のサポートにあたっています。

MOSS HILL宣言

モス・ヒルという名のこの丘に立って、広い世界を見渡し、この丘でアメリカを学び、この丘で日本の未来を探り、この丘で東洋と西洋、日本と世界の新しい融合点を発見するような人材となり、進んで人類の向上発展に貢献するような女性となりなさい。

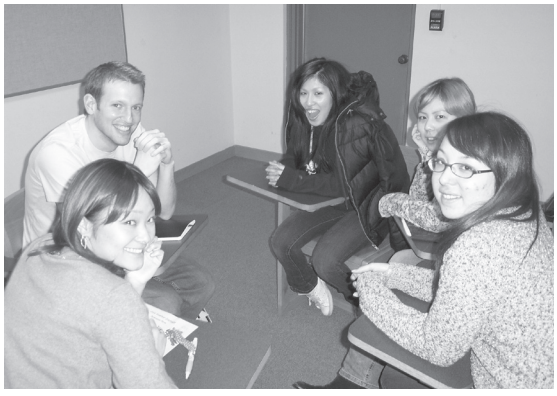
一九八八年四月三日

ボストン昭和女子大学
学長　人見　楠郎

Standing on this rise, Moss Hill,
we have a view of the wide world.
On this hill,
we will learn about this land, America.
On this hill,
we will strive for the future of Japan,
On this hill,
we will use our human potential
to join East and West, Japan and the world
Become women who dedicate yourselves gladly
to the progress of humankind.

April 3, 1988

Kusuo Hitomi
President of Showa Women's Institute Boston



16. ボストン・サマーセッション

国際化が進みさまざまな場面で海外交流が活発に行われるようになった昨今では、単に英語の習得にとどまらず、英語で自己発信し社会に貢献することが求められるようになりました。こうした時代の流れを早くから察知して約20年も前に昭和ボストン（ボストン校）を開設、同所を拠点に体験型海外留学を展開したプログラムが、全学生対象の「ボストン・サマーセッション」です。

夏季休暇中に実施されるサマーセッションは、学部・短大全学科の各分野に基づいた7つのプログラムから構成されており、学生は自分の専門もしくは興味に合ったものを選択します。東京校で学んだ専門知識を英語で表現することを学ぶと同時に、身につけた技術を学外見学・実習の場で現地コミュニティの一員として社会に還元することが求められます。

例えば、午前中はキャンパス内のアメリカ人教員による少人数クラスの授業で、各分野の専門用語を織り交ぜた、きめ細やかなスピーキング、ライティング、リスニングの指導が行われます。午後は主に、プログラムごとの学外フィールドワークに充てられており、午前の授業で身に着けた知識と英語力を駆使して、訪問先の病院、福祉施設、教育機関などで自己表現をしながら実際に活動に携わるなどして英語を自分の専門に生かす技能を体得していきます。

一方東京校では、ボストンでの経験のブラッシュアップと、国際時代に即応しうる社会人の輩出を目的とした実務英語や英語による専門科目の授業が各学科に開設されており、サマーセッションと学科のカリキュラムが横断的かつ有機的に結びついています。

なお、ボストン・サマーセッションの概要は次のとおりです。

1. 指導教員は昭和ボストンのアメリカ人教員で、いずれも日本人を対象とする英語教育の経験が豊かなベテランぞろいです。
2. 教育効果をあげるため、少人数のクラスで、学生それぞれの語学力に応じた授業をします。
3. 授業時間割は午前が主に語学のトレーニングで、授業は話したり、聞いたりすることが中心です。午後の時間は授業に関連した見学・実習などに充てられます。
4. 授業の一環としてボストン近郊の旧跡見学、ニューヨーク旅行やその他オプショナルツアーなどが組まれます。
5. カリキュラムは昭和女子大学東京本校との連携が図られ、サマーセッションの研修を修了した学生に対しては外国語科目（英語）2単位、一般教養科目または該当教科専門科目2単位の計4単位が評価のうえ認定されます。詳細は下記表で確認して下さい。
6. 参加学生の募集は毎年4 - 5月に行われます。

7. 単位

7つのプログラム（アメリカ文化、ボランティア、アメリカ食文化、ミュージアム、教育、心理学、ビジネス英語）から1つ選択します。学科別、プログラムごとの修得可能な単位は以下のとおりです。

	学科＼プログラム・単位	アメリカ文化		ボランティア		アメリカ食文化		ミュージアム		教　育		心理学		ビジネス英語	
		外国語（英語）2単位	一般教養2単位	外国語（英語）2単位	一般教養／専門2単位	外国語（英語）2単位	一般教養／専門2単位	外国語（英語）2単位	一般教養／専門2単位	外国語（英語）2単位	一般教養／専門2単位	外国語（英語）2単位	一般教養／専門2単位	外国語（英語）／専門2単位	一般教養2単位
学部	日本語日本文学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語コミュニケーション学科	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	★	○
	歴史文化学科	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○
	心理学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○
	福祉環境学科	○	○	○	○/★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現代教養学科	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	★	○
	初等教育学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○
	生活環境学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活科学科	○	○	○	○	○	○/★	○	○	○	○	○	○	○	○
短期大学部	文化創造学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食物科学科	○	○	○	○	○	○/★	○	○	○	○	○	○	○	○
	子ども教育学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○

★：専門科目，◎：卒業要件外，○/★：一般教養科目もしくは専門科目として選択可

17. 春の15週間ボストン留学プログラム

学部学生を対象とした体験型留学プログラムで、参加者は4月の中旬から15週間ボストン・キャンパスで学びます。午前中はボストン・キャンパス内でアメリカ人教員による少人数クラスの英語の授業を受け、午後は病院、福祉施設、教育機関などでの活動を通じて英語を使い、アメリカ社会を体験します。

対象：　学部学生を対象とし（英語コミュニケーション学科、および短大の学生を除く）、２年次以降に履修することを原則とします。
選考：　履修にあたり面接を行って選考します（英語力の評価、及び長期の集団生活に適しているかの人物判断などを所属学科と協力の上、行います）。また、このプログラムに参加することにより卒業単位の履修に支障をきたさないことを条件とします。
期間：　４月中旬から15週間
申込先：　国際協力室（参加学生の募集は毎年10月に行われます）

単位：　16単位

	学部全学科 （現代教養学科を除く）	現代教養学科
Listening/Speaking	2単位（外国語英語）	2単位（専門）
Reading/Vocabulary	2単位（外国語英語）	2単位（専門）
Writing/Grammar	2単位（外国語英語）	2単位（専門）
Extensive Reading	1単位（外国語英語）	1単位（専門）
Pronunciation	1単位（外国語英語）	1単位（専門）
American Current Topics	2単位 （外国語英語、または一般教養）	2単位 （専門、または一般教養）
Field Trips	2単位（一般教養）	2単位（一般教養）
Community Service	4単位（一般教養）	4単位（一般教養）

注　留学中の学寮研修、文化講座は原則として免除とする

18. 協定校

本学では、海外の大学との間で単位互換を前提として、交流協定を締結しています。

プログラムの内容は、1年間の交換留学から、2週間の短期研修まで、各協定校ごとに異なります。詳しい内容は、国際協力室に問い合わせてください。

上海交通大学（中国）
ソウル女子大学（韓国）
漢陽女子大学（韓国）
オーストラリア国立大学（オーストラリア）
ハノイ国立大学（ベトナム）
プノンペン王立大学（カンボジア）

19. 海外研修旅行

ヨーロッパ研修旅行

春期休暇中に実施されるヨーロッパ研修旅行では、ウィーンのお菓子作りの講習に参加します。

この研修に参加するには、明確な目的意識と、訪問地についての知識・理解が必要です。従って、参加する学生は、全員事前研修を行い、現地で充実した時間を過ごせるよう、企画運営されています。

帰国後は、学報、秋桜祭等でその成果を発表し、他の在学生に対する啓蒙に努めています。

対　象／全学科　ただし、生活科学科、食物科学科優先
単　位／２単位（一般教養科目）
定　員／30名
期　間／３月中旬から約13日間
訪問国／オーストリア・ドイツ・フランスなど
申込先／国際協力室

ソウル女子大学 語学集中講座

協定校のソウル女子大学にて行われる3週間の韓国語集中講座です。

大学の外国語教育院韓国語教育部にて韓国語と韓国文化に関心のある人を対象にしているプログラムで、各自のレベルにあったクラス編成により、ソウル女子大学内で寮生活をしながら週5日の授業と週1日の文化体験及び実習（校外学習、韓国料理実習など）を行います。帰国後、本学韓国語教員による面接試問等により単位を認定します。

対　象／全学科
単　位／２単位（外国語科目：韓国語）
期　間／８月初旬から３週間
申込先／国際協力室

2. 学内進学

1. 大学院

本学には、学部卒業生(卒業見込みの者を含む)を対象に、さらに精深な学術理論とその専攻分野における研究能力または高度の専門的職業に必要な能力を養うことを目的とする大学院の課程があります。

なお、学部3年次修了者の大学院受験資格に関しては、『大学3年次修了者の大学院修士課程(博士前期課程を含む)受験資格に関する内規』を参照してください。

学内推薦

1. 趣旨

本学の大学院修士課程の入学を熱心に希望する学部4年次学生に対し、在籍学科長の推薦によって出願を受け付け、大学院において研究実績及び研究計画等（心理学専攻には簡単な論述が加わる）を審査の上、入学を許可する。

2. 推薦基準

出願の条件

当該年度卒業見込みの者で、次の(1)または(2)に該当する者。

(1) 前年度までの通算成績が、在籍学科同年次の学生の中で、文学研究科においては上位2分の1以内、生活機構研究科においては上位3分の1以内。

(2) 前年度の在籍学科の成績が、同年次の学生の中で、文学研究科においては上位2分の1以内、生活機構研究科においては上位3分の1以内。

(3) 早期卒業の登録者

＊但し、編入学生については、(1)は適用しない。

3. 日程

出願期間…… 4月17日（木）～24日（木）
面接試問…… 5月10日（土）
合格発表…… 5月20日（火）
※心理学専攻の論述試験は面接と同日に行う。

一般入学

1. 受験資格

A 博士前期課程・修士課程の受験資格

・学士の称号をもつ者（卒業見込みの者も含む）。
・学校教育法施行規則第70条により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
外国における16年の課程を修了した者。
・大学3年次修了者の大学院修士課程（博士前期課程を含む）受験資格に関する内規により、受験資格を与えられた者。

B 博士後期課程

・修士の学位をもつ者（修了見込みの者も含む）。
・学校教育法施行規則第70条の2に定める修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

2. 募集人員

文学研究科	日本文学専攻	（博士前期）	5名
〃	英米文学専攻	（博士前期）	5名
〃	言語教育・コミュニケーション専攻	（博士前期）	10名
〃	日本文学専攻	（博士後期）	3名
〃	英米文学専攻	（博士後期）	3名
〃	言語教育・コミュニケーション専攻	（博士後期課程）	3名
生活機構研究科	生活文化研究専攻	（修士）	10名
	心理学専攻	（修士）	20名
	福祉社会研究専攻	（修士）	5名
	人間教育学専攻	（修士）	10名
	環境デザイン研究専攻	（修士）	5名
	生活科学研究専攻	（修士）	5名
	生活機構学専攻	（博士後期）	5名

3. 試験日程

A 7月期(博士前期・修士・博士後期課程)
出願期間　6月16日（月）～6月27日（金）
試 験 日　7月11日（金）
生活機構学専攻（博士後期）のみ
7月12日（土）上記以外の専攻
合格発表　7月22日（火）

B 10月期（文学研究科　博士前期・後期課程）
出願期間　９月22日（月）～10月３日（金）
試 験 日　10月18日（土）
合格発表　10月28日（火）

C 2月期（博士前期・修士・博士後期課程）
出願期間　平成21年1月8日（木）～2月2日（月）
試 験 日　平成21年2月13日（金）
生活機構学専攻（博士後期）のみ
平成21年2月14日（土）上記以外の専攻
合格発表　平成21年2月24日（火）

〔大学３年次修了者の大学院修士課程（博士前期課程を含む）受験資格に関する内規〕

第１条　本内規は『学校教育法施行規則』の一部改正（大学院入学資格の一部改正）に準拠し、定めるものである。

第２条　文学研究科にあっては、次のとおり定める。
一）３年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は96単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。
二）第一号に示す単位の内、専攻しようとする分野の専門科目を52単位以上修得していること、その成績の基準は平均80点以上とする。

第３条　生活機構研究科生活文化研究専攻、心理学専攻、環境デザイン研究専攻および福祉社会研究専攻にあっては、次のとおり定める。

一）3年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は96単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。

二）第一号に示す単位の内、専攻しようとする分野の専門科目を52単位以上修得していること、その成績の基準は平均80点以上とする。

第４条　生活機構研究科生活科学研究専攻にあっては、次のとおり定める。

一）3年次修了時の修得見込みを含め、全修得単位数は105単位以上であること、その成績の基準は平均80点以上とする。ただし本学学生は他に文化講座6単位を加えるものとする。

二）第一号に示す単位の内、専門科目は62単位以上とする、その成績の基準は平均80点以上とする。

2. 学部編入学

本学には、学部へ編入学できる制度があります。編入学制度のあらましは、次のとおりです。

学内推薦編入学

A　3年次編入学

1.　趣旨

本学の教育方針をよく理解し、学部編入学を熱心に希望する本学短大2年次（3年次・専攻科を含む）の学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、学部編入学を許可する。

2.　推薦基準

1年次の成績順位が、在籍者の上位3分の1以上の当該年度卒業見込みの者で、人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。

3.　日程

出願期間・・・４月17日（木）～４月24日（木）
面接試問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５月10日（土）
合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５月16日（金）

B　4年次編入学

1.　趣旨

本学の教育方針をよく理解し、学部編入学を熱心に希望する本学短大専攻科（学位授与機構認定専攻科）の学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、学部4年次への編入学を許可する。

2.　推薦基準

学部の4年次への編入学が可能な単位を修得見込みの当該年度修了見込みの者で人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。

3.　日程

出願期間　6月９日（月）～6月16日（月）
面接試問……　7月５日（土）
合格発表……　7月11日（金）

一般編入学

1.　受験資格

次のいずれかを満たす女子で、編入を希望する者。

・短期大学の卒業者（卒業見込みの者を含む）

・専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ総授業時間数が1700時間以上の課程であること）の修了者（修了見込の者を含む）

2.　試験日程

出願期間　9月16日（火）～9月26日（金）
試験日……　10月４日（土）
合格発表……　10月10日（金）

●編入学後の履修について

編入学後、短大で修得した単位は学部で修得したものとして認定されます。編入学後の修得単位数については、各学科ごとの内規に従ってください。教職を希望する者は、「教科に関する専門科目」は14単位まで、「教職に関する専門科目」は19単位まで、学部の単位として認定できます。また、学芸員履修者の「教育原理」については認定できます。

参考までに、学則の条文を掲載します。

第41条　学則により転入学、学士入学及び編入学並びに転科した者については、すでに他の専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定又は換算することができる。

●編入学が許可される学科

◆2年次編入　○3年次編入　◎4年次編入

	人間文化学部			人間社会学部				生活科学部	
	日本語日本文学科 *1	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科 *3	心理学科 *4	福祉環境学科 *5	現代教養学科 *5	初等教養学科	生活環境学科 *1	生活科学科 *6
文化創造学科	○	◆*2	○	◆	○	○	◆	○	○
食物科学科		◆	○	◆	○	○	◆		○
子ども教育学科	◆	◆	○	◆	○	○	○		○
国語国文学専攻	◎	◆	○	◆	○	○	◆		○
英語英文学専攻		◎	○	◆	○	○	◆		○
生活文化学専攻		◆	○	◆	○	○	◆	◎	○
食物科学専攻		◆	○	◆	○	○	◆		○
保育学専攻		◆	○	◆	○	○	○		○

＊1 別途指示する一定の条件を満たす者。
＊2 ボストン研修を終了している者は、3年次編入となる。
＊3 専門科目として認定される科目につき20単位以上修得もしくは修得予定であること。
＊4 心理学科が心理学に深く関連していると認定した科目を2年前期終了までに4単位以上修得していること。
＊5 個々の履修状況により2年次編入になることもある。
＊6 個々の履修状況により卒業までに2年以上を要する場合もある
※その他不明な点については、志望学科に問い合わせること。

3. 短大専攻科

短期大学部を卒業した者を対象に、更に深い国語国文学・英語英文学・生活文化学・食物科学・保育学・人間教育学を学ぶ課程として専攻科があります。専攻科入学制度のあらましは、次のとおりです。

募集定員（推薦・一般）

国語国文学専攻　10名
英語英文学専攻　20名
生活文化学専攻　10名
食物科学専攻　10名
保育学専攻　30名

学内推薦入学

1. 趣旨
　本学の教育方針をよく理解し、専攻科入学を熱心に希望する短大2年次学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、専攻科入学を許可する。
2. 推薦基準
　1年次の成績順位が、在籍者の上位2分の1以上の当該年度卒業見込みの者で、人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。
3. 日程
　出願期間……4月17日（木）～4月24日（木）
　面接試問…… 5月10日（土）
　合格発表…… 5月16日（金）

一般入学

1. 受験資格
　・短期大学部卒業の者(卒業見込みの者を含む)
　・相当の年齢に達し、短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
2. 試験日程
　A　保育学専攻
　出願期間……9月16日（火）～9月26日（金）
　試 験 日…… 10月４日（土）
　合格発表…… 10月10日（金）
　B　食物科学専攻
　出願期間……11月28日（金）～12月８日（月）
　試 験 日…… 12月20日（土）
　合格発表…… 12月24日（水）
　C　国語国文・英語英文・生活文化学専攻
　出願期間…… 1月5日（月）～2月12日（木）
　試 験 日……2月21日（土）
　合格発表……2月27日（水）

4. 文化創造学科の転コース

本学には、短期大学部文化創造学科の昼間主コース、夜間主コース相互に転コースできる制度があります。転コース制度のあらましは、次のとおりです。

1. 受験資格
　学業・人物に優れ、出席・健康とも良好な者。
　文化創造学科1年次修了予定者で、希望コース指定の科目、単位を修得している者。
　在籍コースの推薦が得られる者。
2. 募集定員　若干名
3. 試験日程　1年次後期末に試験を行う。
　出願期間、試験日等は公示する。

3．諸資格の取得

【取得資格一覧】

資格種類	単位認定分野	文学研究科			生活機構研究科						人間文化学部			人間社会学部			
	学科	日本文学専攻	英米文学専攻	言語教育・コミュニケーション専攻	生活文化研究専攻	生活科学研究専攻	心理学専攻	福祉社会研究専攻	環境デザイン研究専攻	人間教育学専攻	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科	心理学科	福祉環境学科	現代教養学科	初等教育学科
教育職員免許状 高（専修）	専門	○	○	○	○	○	○	○	○								
教育職員免許状 高（一種）	専門										○	○	○	○	○	○	
教育職員免許状 中（専修）	専門	○	○	○	○	○	○	○	○								
教育職員免許状 中（一種）	専門										○	○	○	○		○	
教育職員免許状 中（二種）	専門																
教育職員免許状 小（専修）	専門									○							
教育職員免許状 小（一種）	専門																○
教育職員免許状 小（二種）	専門																
教育職員免許状 幼（専修）	専門									○							
教育職員免許状 幼（一種）	専門																○
教育職員免許状 幼（二種）	専門																
栄養（一種）	専門																
栄養（二種）	専門																
博物館学芸員	教養その他										○	○	○	○	○	○	○
	専門												○				
博物館学芸員（補）	教養その他																
	専門																
栄養士	専門																
管理栄養士	専門																
食品衛生監視員食品衛生管理者	専門																
フードスペシャリスト	専門																
サプリメントアドバイザー	専門																
司書	その他										○	○	○	○	○	○	○
	専門															◎	
司書教諭	その他										○	○	○	○	○	○	○
一級建築士	専門																
二級建築士	専門														★		
設備士	専門																
インテリアプランナー	専門														☆		
日本語教員	教養その他										○	○	○	○	○	○	○
	専門										○						
社会福祉士	専門														★		
精神保健福祉士	専門														★		
社会福祉主事	教養										△	△	△	△	△	△	△
	専門														△		
一級衣料管理士	専門																
二級衣料管理士	専門																
臨床心理士	専門						※										
保育士	専門														○		○
児童指導員	専門													△	△		△
児童福祉司	専門													▲	△		▲
認定心理士	専門						○							○			
産業カウンセラー	専門													★			
シニア産業カウンセラー	専門						★							★			
学校心理士（補）	専門						□										
臨床発達心理士	専門						□										
商業施設士	専門																
児童厚生二級指導員	専門																○
レクリエーションインストラクター	専門														○		○
キャンプインストラクター	専門														○		○
認定ベビーシッター	専門																○
JABEE ※1	専門																
社会調査士	専門													○	○	○	○

〔備考〕

① ○印は取得資格並びに単位認定分野を示す。
② ★印は当該資格の受験資格を示す。
③ ☆印は実務経験を経た後に、当該資格の受験資格を示す。
④ 大学院の教免資格は,学部においての教員免許取得を前提とする。
⑤ 司書教諭については,教員免許取得を前提とする。
⑥ ※印は指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。
⑦ ◎印については、現代教養学科カリキュラム表を参照のこと。
⑧ インテリアプランナーについては、後出のインテリアプランナー資格について（116〜119頁）を参照のこと。
⑨ △印は任用資格を示す。「任用資格」とは、公務員に採用された後,特定の業務に任用されるのに必要となるものです。資格のみを取得することはできませんが,特定の科目を履修した者だけが就くことができる職務です。
⑩ ■印は短期大学部における幼稚園教諭二種免許取得を前提とする。
⑪ ▲印は、卒業後、厚生労働省で定める施設での1年以上の実務経験が必要な任用資格。
⑫ 児童福祉司の資格取得は、1.社会福祉士となる資格があれば、卒業後、任用資格の条件を満たす。2.上記、資格のないものは、厚生労働省で定める施設での1年以上の実務経験が必要。
⑬ 養成施設外からの生活科学科3年次管理栄養士専攻編入学生は、食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取ることはできない。
⑭ □学校心理士（補）については、後出の学校心理士・学校心理士（補）の項を参照のこと。臨床発達心理士については、後出の臨床発達心理士の項（130頁）を参照のこと。
⑮ ●印は、日本サプリメントアドバイザー認定機構の学校登録申請校に該当する。（詳細はガイダンスにて確認のこと。）

資格種類	単位認定分野	学部	生活科学部			短期大学部				専攻科				
		学科	生活環境学科	生活科学科 食物健康学専攻	生活科学科 管理栄養士専攻	文化創造学科	食物科学科	子ども教育学科	文化創造学科夜間主	国語国文学専攻	英語英文学専攻	食物科学専攻	生活文化学専攻	保育学専攻
教育職員免許状	高（専修）	専門												
	高（一種）	専門	○	○										
	中（専修）	専門												
	中（一種）	専門	○	○										
	中（二種）	専門				○	○		○					
	小（専修）	専門												
	小（一種）	専門												
	小（二種）	専門						○						
	幼（専修）	専門												
	幼（一種）	専門												
	幼（二種）	専門						○						
栄養教諭（一種）		専門			○									
栄養教諭（二種）		専門		○			○							
博物館学芸員		教養その他	○	○	○									
		専門												
博物館学芸員（補）		教養その他				○	○	○	○					
		専門				○			○					
栄養士		専門		○	○		○							
管理栄養士		専門		☆	★		☆					☆		
食品衛生監視員・食品衛生管理者		専門			○									
フードスペシャリスト		専門		★			★					★		
サプリメントアドバイザー		専門		●	●		●					●		
司書		その他	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		専門				○			○					
司書教諭		その他	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
一級建築士		専門	☆											
二級建築士		専門	★			★			★				★	
設備士		専門	☆											
インテリアプランナー		専門	☆			☆			☆		☆			
日本語教員		教養その他	○	○	○	○	○	○	○					
		専門												
社会福祉士		専門												
精神保健福祉士		専門												
社会福祉主事		教養	△	△	△	△	△	△	△					
		専門												
一級衣料管理士		専門	○											
二級衣料管理士		専門				○			○					
臨床心理士		専門												
保育士		専門												■
児童指導員		専門												
児童福祉司		専門												
認定心理士		専門												
産業カウンセラー		専門												
シニア産業カウンセラー		専門												
学校心理士（補）		専門												
臨床発達心理士		専門												
商業施設士		専門	★			☆			☆					
児童厚生二級指導員		専門												○
レクリエーションインストラクター		専門												
キャンプインストラクター		専門												
認定ベビーシッター		専門												○
JABEE※1		専門	○											
人間工学準専門家		専門	○											

※1　平成22年に取得予定。平成19年度以降入学者対応。

1　教育職員免許状

A 大学院・学部

①大学院で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

●専修免許状取得希望者は、同一学校種同一教科の一種免許状に係る単位を修得していなければならない。

専攻＼事項	免許状の種類	免許教科	教科または教職に関する科目	基礎資格
日本文学専攻	高等学校専修 中学校専修	国語	24	修士の学位を有すること
英米文学専攻	同上	外国語（英語）	24	
言語教育・コミュニケーション専攻（英語教育コース）	同上	外国語（英語）	24	
生活文化研究専攻	高等学校専修	地理・歴史	24	
	中学校専修	社会	24	
心理学専攻	高等学校専修	公民	24	
人間教育学専攻	小学校専修		30	
	幼稚園専修		30	
生活科学研究専攻	高等学校専修 中学校専修	家庭	24	
福祉社会研究専攻	中学校専修	社会	24	
	高等学校専修	福祉・社会	24	
環境デザイン研究専攻	高等学校専修 中学校専修	家庭	24	

**履修の仕方については、別途ガイダンスで配布のカリキュラム表によること。

②人間文化学部・人間社会学部・生活科学部で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

学科＼事項	免許状の種類	免許教科	教科に関する科目	教職に関する科目	その他必要な科目				介護等の体験	基礎資格
					体育	日本国憲法	外国語コミュニケーション	情報機器の操作		
日本語日本文学科	高等学校一種	国語	28	31	2	2	2	2	不要	学士の学位を有すること
	中学校一種	国語	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	書道	28	31	2	2	2	2	不要	
英語コミュニケーション学科	高等学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	要	
歴史文化学科	高等学校一種	地理歴史	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
心理学科	高等学校一種	公民	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
福祉環境学科	高等学校一種	福祉	28	31	2	2	2	2	不要	
現代教養学科	高等学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	公民	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
初等教育学科	小学校一種		8	41	2	2	2	2	要	
			10							
	幼稚園一種		6	35	2	2	2	2	不要	
			10							
生活環境学科	高等学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	要	
生活科学科食物健康学専攻	高等学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	保健	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	保健	28	31	2	2	2	2	要	
	栄養教諭二種		2	24	2	2	2	2	不要	・同上 ・栄養士
生活科学科管理栄養士専攻	栄養教諭一種		4	24	2	2	2	2	不要	・同上 ・管理栄養士

②履修のしかた

◆教職に関する科目（中学校一種：高等学校一種）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備考
科目	各項目に含める必要事項	中学校一種	高等学校一種	授業科目名	単位数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修,服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教職概論	2★	
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	○教育原理	*2★	
	・幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教育心理学	*2★	
	・教育に関する社会的,制度的又は経営的事項			教育行政学 教育法規	2 2	2単位以上選択必修
				比較教育制度論	2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	12	12	○教育課程論	2	
	・各教科の指導法			国語科教育法 書道科教育法 英語科教育法 公民科教育法 社会科教育法 地理歴史科教育法 家庭科教育法 保健科教育法 福祉科教育法	**4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4	取得する免許教科の教科教育法を選択必修
	・道徳の指導法			○道徳教育の研究	2	
	・特別活動の指導法			○特別活動の研究	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			○教育工学	2★	
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	4	○生徒指導･進路指導の研究	2★	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2★	心理学科以外
				○臨床心理地域援助	2	心理学科用
総合演習		2	2	○総合演習	*2★	
教育実習		5	5	○教育実習の指導 ○教育実習	1★ 4★	
その他				教職課程特講 介護等体験の指導	2 1	
計		31	31		31	

注 1）○は，必修科目。
注 2）★は，編入学生が短大等で修得した教職に関する科目の単位のうち，学部で認定できる単位。
注 3）*の3科目は，一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。
　　なお，心理学科は，「教育心理学」の代わりに，「道徳教育の研究」の単位を数える。
注 4）**の科目は，取得する免許教科の教科教育法を選択する。
　　この科目は，専門科目の卒業要件単位の中に含めることができる。（学科により異なるので，学科の指示に従うこと。）
注 5）介護等の体験を行う年度に、「介護等体験の指導」の授業を受けること。

◆教職に関する科目（栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備考
科目	各項目に含める必要事項	栄養教諭一種	栄養教諭二種	授業科目名	単位数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修,服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教職概論	2	
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2	○教育原理	*2	
	・幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教育心理学	*2	
	・教育に関する社会的,制度的又は経営的事項			教育行政学 教育制度論	2 2	2単位以上選択必修
				比較教育制度論	2	
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	4	2	○教育課程論	2	
	・道徳及び特別活動に関する内容			○道徳教育の研究	2	
				○特別活動の研究	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			○教育工学	2	
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	4	2	○生徒指導の研究	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2	
総合演習		2	2	○総合演習	*2	
栄養教育実習		2	2	○栄養教育実習事前事後の指導 ○栄養教育実習	1 1	

注 1）○は，必修科目。
注 2）*の3科目は，一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。

◆教科に関する科目

国　語（中学校）〔日本語日本文学科〕（平成19年4月以降入学者対象）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数	
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論（4） 言語学 文語文法の基礎	日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ （日本語学Ⅱ（データ収集と分析）を除く）
国文学（国文学史を含む）	10	○日本文学入門（4） 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB 古典文学Ⅱ	近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論（4） 漢文の基礎	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	4	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ	書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。	

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

国　語（中学校）〔日本語日本文学科〕（平成19年3月以前入学者対象）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数	
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論（4） 日本語史 言語学 文語文法の基礎	日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ （日本語学Ⅱ（データ収集と分析）を除く）
国文学（国文学史を含む）	10	○日本文学入門（4） 日本文学史A～F 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB	古典文学Ⅱ 近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論（4） 漢文の基礎	中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	4	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ	書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。	

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

国　語（高等学校）〔日本語日本文学科〕（平成19年4月以降入学者対象）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論(4) 言語学 文語文法の基礎 日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ （日本語学Ⅱ（データ収集と分析）を除く）
国文学（国文学史を含む）	12	○日本文学入門（4） 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB 古典文学Ⅱ 近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論(4) 漢文の基礎 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	2	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

書　道（高等学校）〔日本語日本文学科〕（高等学校一種の国語と併せて、書道を取得する場合）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目
書道（書写を含む）	10	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
書道史	4	書道史
「書論，鑑賞」	4	日本の書芸
「国文学,漢文学」	10	上記,国語教免の国文学・漢文学10単位をもって充当する。
計	28	

（注）編入学生は、「国文学、漢文学」も含んだ全ての単位を編入学後に履修する必要がある。

国　語（高等学校）〔日本語日本文学科〕（平成19年3月以前入学者対象）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論（4） 日本語史 言語学 文語文法の基礎 日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ （日本語学Ⅱ（データ収集と分析）を除く）
国文学（国文学史を含む）	12	○日本文学入門（4） 日本文学史A～F 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB 古典文学Ⅱ 近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論（4） 漢文の基礎 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	2	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

書　道（高等学校）〔日本語日本文学科〕（高等学校一種の国語と併せて、書道を取得する場合）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目
書道（書写を含む）	10	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
書道史	4	書道史
「書論，鑑賞」	4	日本の書芸
「国文学,漢文学」	10	上記,国語教免の国文学･漢文学10単位をもって充当する。
計	28	

（注）編入学生は、「国文学、漢文学」も含んだ全ての単位を編入学後に履修する必要がある。

英　語〔英語コミュニケーション学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	○言語入門(2)＊1 第二言語習得 実践英語音声学 現代英文法A(重要構文に慣れる) 現代英文法B 現代英文法C(英語感覚トレーニング) 英語と日本語(発想と表現の好みの違い) 英語音声学 学習者言語の特徴 社会とことばA 社会とことばB 社会言語学(言葉と場面) 心理言語学 英語の歴史A 英語の歴史B 英語の歴史C 英語の歴史D 英語分析とコンピュータ
英文文学	1	1	英米児童文学 18･19世紀イギリスロマン派の詩 20世紀イギリス小説A（フェミニズムの視点） 20世紀イギリス小説B（異文化の視点） 20世紀アメリカ小説A 20世紀アメリカ小説B 20世紀アメリカ小説C 20世紀アメリカ小説D
英語コミュニケーション	1	1	○コミュニケーション入門(2)＊1 ○Oral Communication(4)＊2 ○Reading & Writing(6)＊3 スピーチ･コミュニケーションA スピーチ･コミュニケーションB スピーチ･コミュニケーションC スピーチ･コミュニケーションD スピーチ･コミュニケーションE スピーチ･コミュニケーションF
異文化理解	1	1	異文化コミュニケーション 異文化コミュニケーションⅡ イギリス研究(伝統と風習) アメリカ研究(人種と宗教) イギリス文化概論A イギリス文化概論B アメリカ文化概論A アメリカ文化概論B ○文化入門(2)＊1
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

［BLIP参加学生の「該当専門教育科目」について］

＊1）各入門については下記のとおりボストン科目を「該当専門教育科目」として認める。
- ・言語入門→「Introduction to Linguistics（2単位）」
- ・コミュニケーション入門→「Introduction to Communication（2単位）」
- ・文化入門→「Introduction to Culture（2単位）」

＊2）Oral Communicationについては、1年次前期履修の2単位に加え、ボストン科目「Listening/SpeakingⅥ（2単位）」を「該当専門教育科目」として認める。

＊3）Reading & Writingについては、1年次前期履修の3単位に加え、ボストン科目「Reading/WritingⅤ（2単位）」を「該当専門教育科目」として認める。

「社会」（中学校）〔歴史文化学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	8	○日本史通論(2)　○世界史通論(2) ○歴史学概論(2)　古代オリエント文化史 日本古代史　西洋中･近世史 日本中世史　東洋史概説 日本近世史 日本近現代史
*地理学（地誌を含む）	8	○人文地理学概論(2)　○地誌通論A(2) ○自然地理学概論(2)　○地誌通論B(2) 地理学持論
「法律学,政治学」	2	法学概論(国際法を含む)　現代政治論
「社会学,経済学」	2	○「経済学概論」又は「社会学概論」(2)　日本女性史 比較女性史論　文化人類学概論
「哲学,倫理学,宗教学」	4	○「倫理学概論」又は「宗教学概論」(2)　キリスト教文化史 日本思想史　禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から,○印を含んで28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

(注) 編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「地理・歴史」（高等学校）〔歴史文化学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史	4	○日本史通論(2)　日本近世史 日本古代史　日本近現代史 日本中世史
外国史	4	○世界史通論(2)　西洋中･近世史 ○歴史学概論(2)　東洋史概説 古代オリエント文化史
人文地理学及び自然地理学	8	○人文地理学概論(2)　地理学持論 ○自然地理学概論(2)
地誌	4	○地誌通論A(2)　○地誌通論B(2)
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から,○印を含んで28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

(注) 編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「公民」（高等学校）〔心理学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目
「法律学（国際法を含む），政治学（国際政治を含む）	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論
「社会学，経済学（国際経済を含む）」	2	国際関係論＊　現代社会論 ○社会学　マスコミュニケーションの社会心理学
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	2	△哲学概論　△倫理学概論 心理学概説　思考心理学 発達心理学　対人関係論 社会心理学　精神分析理論 臨床心理学　犯罪心理学 認知心理学　家族葛藤の心理学 家族心理学　少年非行の心理＊ 人格心理学　比較行動学（心理） 乳幼児心理学　家族療法＊ 青年心理学
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「社会」（中学校）〔心理学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	2	○日本史通論（2）　日本近代史 歴史学概論　○世界史通論（2） 日本中世史　東洋史概説 日本近世史＊　古代オリエント文化史
地理学（地誌を含む）	2	○人文地理学概論（4）　○地誌通論A（2） ○自然地理学概論（4）　○地誌通論B（2）
「法律学，政治学」	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論
「社会学，経済学」	2	○社会学（2）　日本女性史＊ 比較女性史論　文化人類学概論 現代社会論
「哲学，倫理学，宗教学」	2	△倫理学概論　キリスト教文化史 △哲学概論　禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

＊今年度開講しない科目

福　祉（高等学校）〔福祉環境学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
社会福祉学（職業指導を含む）	1	○社会福祉原論（4） 福祉文化論 福祉社会と社会政策 地域福祉論 社会保障論 公的扶助論 国際福祉論 社会福祉の歴史
高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	1	○児童福祉論（2） ○老人福祉論（2） ○障害者福祉論（2） 家族福祉論 養護原理 児童･家族ソーシャルワーク 高齢者福祉と衣服 食生活と福祉
社会福祉援助技術	1	△社会福祉援助技術論Ａ1またはＡ2（2） ○社会福祉援助技術論Ｂ1およびＢ2（4） レクリエーション援助法 福祉デザインⅠ 福祉デザインⅡ 地域施設マネジメント論 医療福祉論 社会福祉援助技術演習Ａ 社会福祉援助技術演習Ｂ
介護理論及び介護技術	1	○介護概論（2） ○介護技術（2） リハビリテーション論
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む）	1	○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ（2） ○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ（1） 社会福祉援助技術現場実習
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。ただし，何ら課程認定をうけていない短大からの編入生に限る。

「公民」（高等学校）〔現代教養学科〕 平成17･18･19年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
「法律学（国際法を含む），政治学（国際政治を含む）	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論
「社会学，経済学（国際経済を含む）」	2	○社会を見る目（4） ○経済を見る目（4） ○世界を見る目（4） 現代社会論 社会問題概観 地域と国際関係 時事経済（世界と日本） 現代社会と労働 ○社会学（2）
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	2	△心理学概説（2） 社会心理学 現代カウンセリング理論 マスメディアと現代社会 △哲学概論（2） △倫理学概論（2）
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「社会」（中学校）〔現代教養学科〕 平成17･18･19年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	2	○日本史通論（2） 歴史学概論 日本中世史 日本近世史 日本近代史 ○世界史通論（2） 古代オリエント文化史 東洋史概説
地理学（地誌を含む）	2	○人文地理学概論（4） ○自然地理学概論（4） ○地誌通論A（2） ○地誌通論B（2）
「法律学，政治学」	2	現代政治論　法学概論（国際法を含む）
「社会学，経済学」	2	○社会を見る目（4） ○経済を見る目（4） ○世界を見る目（4） 現代社会論 社会問題概観 地域と国際関係 時事経済（世界と日本） 現代社会と労働 ○社会学（2） 比較女性史論 日本女性史 文化人類学概論
「哲学，倫理学，宗教学」	2	△倫理学概論（2） △哲学概論（2） キリスト教文化史 禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「公民」（高等学校）〔現代教養学科〕 平成20年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
「法律学（国際法を含む），政治学（国際政治を含む）	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論 国際政治研究
「社会学，経済学（国際経済を含む）」	2	○社会をみる目（4）　現代経済（世界と日本） ○経済をみる目（4）　現代社会と労働 ○世界をみる目（4）　○社会学（2） 現代社会論 社会問題概観
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	2	△心理学概説（2）　△哲学概論（2） 社会心理学　△倫理学概論（2） ことばと心 マスメディアと現代社会
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

「社会」（中学校）〔現代教養学科〕 平成20年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	2	○日本史通論（2）　日本近代史 歴史学概論　○世界史通論（2） 日本中世史　古代オリエント文化史 日本近世史　東洋史概説
地理学（地誌を含む）	2	○人文地理学概論（4）　○地誌通論A（2） ○自然地理学概論（4）　○地誌通論B（2）
「法律学，政治学」	2	現代政治論　法学概論（国際法を含む）
「社会学，経済学」	2	○社会をみる目（4）　時事経済（世界と日本） ○経済をみる目（4）　現代社会と労働 ○世界をみる目（4）　○社会学（2） 現代社会論　比較女性史論 社会問題概観　日本女性史 地域と国際関係　文化人類学概論
「哲学，倫理学，宗教学」	2	△倫理学概論（2）　キリスト教文化史 △哲学概論（2）　禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

英　語〔現代教養学科〕平成17･18年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	○英語観察術（翻訳の世界）（2）　第二言語習得 英語の歴史A　学習者言語の特徴 実践英語音声学
英米文学	1	1	英米児童文学　聖書入門 ○イギリス文化概論A（2）　○アメリカ文化概論A（2） 「喪失の世代」のアメリカ
英語コミュニケーション	1	1	○Current Issues Ⅰ（4） ○Current Issues Ⅱ（4） ○Current Issues Ⅲ（4） Seminar A Seminar B Seminar C ○Intensive Listening（2） ○Oral Expression（2） ○Critical Reading Ⅰ（2） ○Critical Reading Ⅱ（2） ○Current Topics for Writing Ⅰ（2） ○Current Topics for Writing Ⅱ（2）
異文化理解	1	1	○イギリス文化史（2） ○現代文化論（映画から見るアメリカ文化）（2） イギリス研究A（伝統と風習） イギリス研究B（伝統と風習）
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

英　語〔現代教養学科〕平成19年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	○英語観察術（翻訳の世界）（2）　第二言語習得 英語の歴史A　学習者言語の特徴 実践英語音声学
英米文学	1	1	英米児童文学　聖書入門 ○イギリス文化概論A（2）　○アメリカ文化概論A（2） 「喪失の世代」のアメリカ
英語コミュニケーション	1	1	○Current Topics Ⅰ（2） ○Current Topics Ⅱ（2） ○Current Topics Ⅲ（2） ○Current Topics Ⅳ（2） ○Current Reading & Writing Ⅰ（2） ○Current Reading & Writing Ⅱ（2） ○Intensive Reading Ⅰ（1） ○Intensive Reading Ⅱ（1） ○Oral Expression Ⅰ（1） ○Oral Expression Ⅱ（1）
異文化理解	1	1	○現代英国文化論（2） ○現代アメリカ文化論（2） 異文化間コミュニケーション（2）
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

英　語〔現代教養学科〕平成20年度入学者用

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	○英語観察術（翻訳の世界）（2）　第二言語習得 英語の歴史A　学習者言語の特徴 実践英語音声学
英米文学	1	1	英米児童文学　聖書入門 ○イギリス文化概論A（2）　○アメリカ文化概論A（2） 「喪失の世代」のアメリカ
英語コミュニケーション	1	1	○Current Topics Ⅰ（2） ○Current Topics Ⅱ（2） ○Current Topics for Reading Ⅰ（2） ○Current Topics for Reading Ⅱ（2） Advanced Research on Current Topics Ⅰ（2） Advanced Research on Current Topics Ⅱ（2） Advanced Discussion on Current Topics Ⅰ（2） Advanced Discussion on Current Topics Ⅱ（2）
異文化理解	1	1	○現代英国文化論（2） ○現代アメリカ文化論（2） 異文化間コミュニケーション（2）
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

家　庭〔生活環境学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目	備考
	中学校一種	高等学校一種		
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	4	4	家庭経営学　家族関係論 ○生活科学概論（前期のみ）	「教科に関する科目」欄に記載の条件を満足するように履修すること。
被服学（被服製作実習を含む）（注1）	4	4	被服学概論　被服整理学 被服構成学　造形デザイン演習Ⅰ1（モード） アパレル企画論　造形デザイン演習Ⅱ1（モード） 材料学B　被服整理学実験 被服材料学　造形材料学実験 造形デザイン演習I2（モード）　服飾デザイン 服飾史Ⅰ　染色理論 服飾史Ⅱ　造形デザイン演習Ⅱ2（モード） デザイン画描法　染色加工実験 衣料鑑別実験　造形デザイン演習Ⅲ（モード） 繊維加工学　被服造形科学 被服衛生学　被服学実習－教職－	
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む）（注1）	4	4	食物学概論（栄養学を含む） ○調理実習	
住居学（製図を含む）（注1）	2	2	住居学概論　材料学C 建築史（日本）　設計製図－教職－ 住生活学　建築史（西洋） インテリア計画　住居計画 設計製図Ⅰ1　建築構造Ⅰ 設計製図Ⅰ2　デザイン概論 環境心理学　建築材料学 設計製図Ⅱ1　設計製図Ⅲ 設計製図Ⅱ2　建築設備 材料学A　製図基礎	
保育学（実習及び家庭看護を含む）	2	2	○保育学（実習を含む）	
家庭電気・機械及び情報処理		4	○家庭機械及び家庭電気　○情報論同演習	
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目を最低28単位以上を修得しなければならない。 （生活科学科の専門教育科目をあてることもある。）	

○必修科目

注1）被服製作実習，食品学及び調理実習，製図を必ず含むこと。「被服製作実習」に該当する科目は，造形デザイン演習Ⅰ～Ⅲ（モード），被服学実習－教職－，「製図」に該当する科目は，設計製図－教職－，製図基礎，設計製図Ⅰ～Ⅲ

注2）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目の単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

注3）家庭電気・機械及び情報処理は中学校一種の必要単位にはならない。

平成19年度以降入学者用

家　庭〔生活科学科（食物健康学専攻）〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	1	1	生活科学概論　○家庭経済学A (2)　○家族関係論 (2) ○家庭経営学 (2)　家庭経済学B
被服学（被服製作実習を含む）（注1）	1	1	○被服学A (2)　○被服学B (2) ○被服学及び実習 (1または2)
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む）（注1）	1	1	○栄養と健康 (2)　フードサプリメント論 応用栄養学　○調理学実習A (2) 栄養指導論総論　調理とおいしさの科学A 栄養指導論各論　食品の開発 ○食品学 (2)　食品素材の科学 食品と加工　調理とおいしさの科学演習 食品の科学演習
住居学（製図を含む）（注1）	1	1	△住居学A (2)　○住居学演習A (1) △住居学B (2)
保育学（実習及び家庭看護を含む）	1	1	○保育学（実習を含む）(2)
家庭電気・機械及び情報処理		1	○家庭機械及び家庭電気(2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。 （一部生活環境学科の専門教育科目をあてることもある）

○必修科目
△選択必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

保　健〔生活科学科（食物健康学専攻）〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
生理学 栄養学 微生物学 解剖学	1	1	人体の構造と機能ＩA (2)　○食品と加工 (2) ○人体の構造と機能ＩB (2)　食品･栄養を学ぶための微生物学 生化学　ライフサイエンス実験 生化学・解剖生理学実験 ○栄養と健康 (2) 応用栄養学 公衆栄養学
衛生学及び公衆衛生学	1	1	○公衆衛生学 (2) 食品学 ○食品衛生学 (2) 食品科学実験
学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む）	1	1	○学校保健A (2) ○学校保健B (2) ○学校保健C (2) ○健康管理概論 (2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

栄養〔生活科学科（食物健康学専攻・管理栄養士専攻）〕

免許法に基づく科目区分	免許法に基づく必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	栄養一種	栄養二種	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	2	○学校栄養教育論Ⅰ（2）
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
食生活に関する歴史的及び文化的事項			
食に関する指導の方法に関する事項			○学校栄養教育論Ⅱ（2）

○必修科目

平成18年度以前入学者用

家　庭〔生活科学科（食物健康学専攻）〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	1	1	生活科学概論　○家庭経済学A　(2)　○家族関係論　(2) ○家庭経営学　(2)　家庭経済学B
被服学（被服製作実習を含む）（注1）	1	1	○被服学A　(2)　○被服学B　(2) ○被服学及び実習　(1または2)
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む）（注1）	1	1	○栄養と健康（総論）　(2)　食品成分の科学 栄養学　食品の生理機能 栄養指導論総論　○調理実習　(2) 栄養指導論各論　調理とおいしさの科学 ○食品と衛生（総論）　(2)　調理とおいしさの科学（実験） 食品と加工　食品成分の科学（実験）
住居学（製図を含む）（注1）	1	1	△住居学A　(2)　○住居学演習A　(1) △住居学B　(2)
保育学（実習及び家庭看護を含む）	1	1	○保育学（実習を含む）（2）
家庭電気・機械及び情報処理		1	○家庭機械及び家庭電気（2）
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。 （一部生活環境学科の専門教育科目をあてることもある）

○必修科目
△選択必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

保　健〔生活科学科（食物健康学専攻）〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
生理学 栄養学 微生物学 解剖学	1	1	人体の構造と機能（総論）　○食品と加工　(2) ○解剖と生理　(2)　微生物の科学 生化学　バイオテクノロジー入門（実験） 生化学・解剖生理学実験 ○栄養と健康（総論）　(2) 栄養学 公衆栄養学
衛生学及び公衆衛生学	1	1	○公衆衛生学　(2) 食品と衛生（総論） ○食品衛生学　(2) 食品学・食品衛生学・食品加工学実験
学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む）	1	1	○学校保健A　(2) ○学校保健B　(2) ○学校保健C　(2) ○健康管理概論　(2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目
（注）編入学生は，短大時に修得した教科に関する科目単位のうち，最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

栄養〔生活科学科（食物健康学専攻・管理栄養士専攻）〕

免許法に基づく科目区分	免許法に基づく必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	栄養一種	栄養二種	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	2	○学校栄養教育論Ⅰ(2)
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
食生活に関する歴史的及び文化的事項			
食に関する指導の方法に関する事項			○学校栄養教育論Ⅱ(2)

○必修科目

幼稚園教諭一種・小学校教諭一種免許状取得のための最低修得単位数〔初等教育学科〕

◆教科に関する科目

規定科目	最低修得単位数		該当専門教育科目 （　）内は単位数
	幼稚園教諭一種	小学校教諭一種	
国語（書写を含む）	国語,算数,生活,音楽,図画工作及び体育のうち3以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）,社会,算数,理科,生活,音楽,図画工作,家庭及び体育のうち4以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）(2)
社会			社会(2)
算数			算数(2)
理科			理科(2)
生活			生活(2)
音楽			音楽(2)
図画工作			図画工作(2)
家庭			家庭(2)
体育			体育(2)
計	6	8	

単位履修の方法は，初等教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

◆教職に関する科目〔初等教育学科〕

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低修得単位数		該当専門科目	
科目	各科目に含める必要事項	小学校一種	幼稚園一種	授業科目名	単位数
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	教職概論	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教育原理	2
				保育原理Ⅰ	2
				保育原理Ⅱ	2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び学習の過程を含む）			教育心理学Ⅰ	2
				教育心理学Ⅱ	2
				発達心理学	2
				乳幼児心理学	2
				特別支援教育論	2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教育法規	2
				教育行政学	2
				学級経営研究	2
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成方法	22		小学校教育課程論	2
	・各教科の指導法			国語科教育法	2
				社会科教育法	2
				算数科教育法	2
				理科教育法	2
				生活科教育法	2
				音楽科教育法	2
				図工科教育法	2
				家庭科教育法	2
				体育科教育法	2
				国語科教育法演習	1
				社会科教育法演習	1
				算数科教育法演習	1
				理科教育法演習	1
				生活科教育法演習	1
				音楽科教育法演習	1
				図工科教育法演習	1
				家庭科教育法演習	1
				体育科教育法演習	1
	・道徳の指導法			道徳教育研究	2
				道徳教育演習	1
	・特別活動の指導法			特別活動研究	2
				特別活動演習	1
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）			教育の方法と技術	2
				教育評価	2
				教育統計基礎	2
	・教育課程の意義及び編成方法		18	幼稚園教育課程論	2
	・各領域の指導法			人間関係指導法	2
				環境指導法	2
				健康指導法	2
				言葉指導法	2
				表現指導法	2
				人間関係指導法演習	1
				環境指導法演習	1
				健康指導法演習	1
				言葉指導法演習	1
				表現指導法演習	1
				保育内容総論	2
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4		生徒・進路指導の研究	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法		2	教育相談の研究	2
	・幼児理解の理論及び方法	2		幼児理解の研究	2
総合演習		2	2	総合演習	2
教育実習		5	5	教育実習の指導Ⅰ	1
				教育実習Ⅰ	1
				教育実習の指導Ⅱ	1
				教育実習ⅡA	4
				教育実習ⅡB	2

注1）上記のほか，体育，法学（憲法），外国語コミュニケーション，情報機器の操作・各2単位の修得が必要

注2）小学校教諭免許取得希望者は，7日間の介護等体験を行う。

注3）単位履修の方法は，初等教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

◆その他必要な科目

○体育

「体育実技」2単位を修得する。

＊初等教育学科は学科の指示に従うこと

○日本国憲法

一般教養科目で開設されている法学の科目のうち、法学（憲法）を2単位以上修得する。

＊初等教育学科は学科の指示に従うこと

○外国語コミュニケーション

外国語科目で開設されている外国語のうち、日本語を除き2単位以上修得する。

○情報機器の操作

各学科の該当科目を2単位以上修得する。

学科		該当科目	単位数
日本語日本文学科		日本文学研究とコンピュータ	2
		日本語研究とコンピュータ	2
		パソコン日本語学入門A	2
		パソコン日本語学入門B	2
		日本語学Ⅱ（データ収集と分析）	2
英語コミュニケーション学科		コンピュータ・リテラシィA	1
		コンピュータ・リテラシィB	1
		コンピュータ・リテラシィC	1
歴史文化学科		視聴覚教育メディア論	2
心理学科		データ解析実習	2
福祉環境学科		コンピュータ概論及び演習	2
現代教養学科		コンピュータ基礎	1
		情報検索	1
初等教育学科		情報機器の操作I	2
生活環境学科		コンピュータ概論及び演習A,B	1
		CADⅠ	1
		CADⅡ	1
		CADプレゼンテーション	1
		CG（2D）	1
		CG（3D）	1または2
		ファッションコンピュータ演習I	1
		ファッションコンピュータ演習Ⅱ	2
生活科学科	18年度以前入学者用	生活情報処理A	2
		生活情報処理B	2
	19年度以降入学者用	食品・栄養を学ぶための統計情報処理演習	2

※体育、日本国憲法、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の単位は、それぞれ、一般教養科目、外国語科目、各学科の専門教育科目の単位としても数える。

B 短期大学部

①短期大学部で取得できる教員免許状の種類と必要単位数

事項／学科	免許状の種類	免許教科	教科に関する科目	教職に関する科目	その他必要な科目				介護等の体験
					体育	日本国憲法	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	
文化創造学科	中学校二種	国語	12	23	2	2	2	2	要
	同上	家庭	12	23	2	2	2	2	要
	同上	外国語(英語)	12	23	2	2	2	2	要
食物科学科	同上	家庭	12	23	2	2	2	2	要
	栄養教諭二種		2	20	2	2	2	2	不要
子ども教育学科	小学校二種		4	33	2	2	2	2	要
	幼稚園二種		4	27	2	2	2	2	不要

・平成17年度入学者は，入学時の便覧を参照すること。

②履修のしかた

◆教職に関する科目（中学校二種）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数	該当専門教育科目		備考
科目	各項目に含める必要事項	中学校二種	授業科目名	単位数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	○教職概論	2	
教育の基礎理論に関する科目	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程を含む。）	4	○教育心理学	*2	
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項		比較教育制度論	2	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		○教育原理	*2	
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項				
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	4			
	・各教科の指導法		国語科教育法 英語科教育法 家庭科教育法	**2 **2 **2	取得する免許教科の教科教育法を選択必修
	・道徳の指導法		○道徳教育の研究	1	
	・特別活動の指導法		○特別活動の研究	1	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		○教育工学	2	
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	○生徒指導･進路指導の研究	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談の研究	2	
総合演習		2	○総合演習	*2	
教育実習		5	○教育実習の指導 ○教育実習	1 4	
その他			介護等体験の指導	1	
合計		21		23	

注1）○は，必修科目。
注2）*の３科目は，一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。
　　ただし，教職課程の履修を取りやめた場合は，含めることができなくなるので注意すること。
注3）**の３科目は，取得する免許教科の教科教育法を選択する。
　　この科目は，専門科目の卒業要件単位の中に含めることができる。
注4）介護等の体験を行う年度に，「介護体験の指導」の授業を受けること。

◆教職に関する科目（栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数	該当専門教育科目	
科　目	各項目に含める必要事項	栄養教諭二種	授業科目名	単位数
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	○教　職　概　論	2
教育の基礎理論に関する科目	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程を含む。）	2	○教 育 心 理 学	*2
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		○教　育　原　理	*2
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項		比較教育制度論	2
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	2	○教 育 課 程 論	2
	・道徳及び特別活動に関する内容		○道徳教育の研究	1
			○特別活動の研究	1
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		○教　育　工　学	2
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	2	○生徒指導の研究	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談の研究	2
総　合　演　習		2	○総　合　演　習	*2
栄養教育実習		2	○栄養教育実習事前事後の指導 ○栄 養 教 育 実 習	1 1

注1）○は，必修科目。
注2）*の３科目は，一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。
　　ただし，教職課程の履修を取りやめた場合は，含めることができなくなるので注意すること。

◆教科に関する科目

国　語〔文化創造学科昼間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	2	○日本語学概論 日本語力講座A ○日本語力講座B
国文学（国文学史を含む）	2	○日本文学史 日本文学A 日本文学B 日本文学C
漢文学	2	○中国文学(2)
書道（書写を中心とする）	2	○伝統文化実習B※(2) 毛筆書道中級※ 硬筆書道初級 硬筆書道中級
計	12	上記専門教育科目のうち，○印を含んで，最低12単位以上修得しなければならない。

○必修科目
注）※これら２科目を履修する場合、通年で２単位取得すること。

国　語〔文化創造学科夜間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	2	○日本語学概論(2) 日本語力講座A 日本語力講座B
国文学（国文学史を含む）	2	○日本文学史(前期)(2) 日本文学史(後期) 和歌の世界 平安文学を読む 日本文学への招待D 日本文学への招待E 日本文学への招待F
漢文学	2	○外国文学E(中国)
書道（書写を中心とする）	2	○毛筆書道基礎(1) ○毛筆書道(1) 硬筆書道基礎 硬筆書道
計	12	上記専門教育科目のうち，○印を含んで，最低12単位以上を修得しなければならない。

○必修科目

英　語〔文化創造学科昼間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
英語学	2	○英語学概論（2） ことばと社会
英米文学	3	○英米文学史（2） イギリス文学A イギリス文学B
英語コミュニケーション	3	○Listening & Speaking Ⅰ（2）　Reading Fluency Writing & Reading　Listening in Context English Communication A　Public Speaking/Pronunciation
異文化理解	1	○アメリカ文化（2） ○イギリス文化（2） 異文化間コミュニケーション
計	12	上記の専門教育科目の○印を含んで，各分野の必要単位数を超えて，最低12単位以上修得しなければならない

○必修科目

英　語〔文化創造学科夜間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
英語学	3	英文添削　考える英文法 英語でメール　小説・映画から見る英米文化 英語学概論　Grammar for Communication ⅡA 〃　ⅡB
英米文学	2	英米文学史　外国文学B（イギリス） 外国文学C（アメリカ）
英語コミュニケーション	3	○観光英語（1）　生活英語 Speaking ⅠB　オフィス英語 ショートスピーチ　English Communication Ⅰ SpeakingⅡB　〃　Ⅱ
異文化理解	1	アメリカ文化 ○イギリス文化（2）
計	12	上記の専門教育科目の○印を含んで，各分野の必要単位数を超えて最低12単位以上修得しなければならない

○必修科目

家　庭〔文化創造学科昼間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	2	家庭経営学
被服学（被服製作実習を含む）	3	「被服学」又は「テキスタイル・インテリア材料」と 「衣服管理学」 「被服構成学及び実習」又は「ファッションクリエーション」
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む）	3	食品学I 調理学実習I
住居学	2	住生活概論
保育学（実習を含む）	2	保育学（実習を含む）
計	12	上記専門教育科目の12単位以上を修得しなければならない。

家　庭〔文化創造学科夜間主コース〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	2	家庭経営学
被服学（被服製作実習を含む）	3	被服構成学及び実習　　被服学
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む）	3	食品学I 調理学実習I
住居学	2	住居学概論
保育学（実習を含む）	2	保育学（実習を含む）
計	12	上記専門教育科目の12単位以上を修得しなければならない。

○必修科目

家　庭〔食物科学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	2	家庭経営学(家族関係を含む)（2）
被服学（被服製作実習を含む）	3	○被服学　(2) ○被服構成学及び実習　(1)
食物学（栄養学,食品学及び調理実習を含む）	3	○栄養学Ⅱ（応用栄養学：ライフステージと栄養）(2) ○公衆栄養学（概論）(2) ○食品学Ⅰ（食品成分の科学）(2) ○食品衛生学 (2) ○栄養指導論Ⅰ（総論）(2) ○調理学実習Ⅰ（日常食）(1) ○調理学実習Ⅱ（日常食・供応食）(1)
住居学	2	○住居学Ⅰ　(2)
保育学（実習を含む）	2	保育学（実習を含む）　(2)
計	12	上記専門教育科目の○印を含んで最低12単位以上を修得しなければならない。

○必修科目

栄養〔食物科学科〕

免許法に基づく科目区分	免許法に基づく必要単位数 栄養二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	2	○学校栄養教育論（2）
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
食生活に関する歴史的及び文化的事項		
食に関する指導の方法に関する事項		

○必修科目

幼稚園教諭二種・小学校教諭二種免許状取得のための最低修得単位数〔子ども教育学科〕

◆教科に関する科目

規定科目	最低修得単位数		該当専門教育科目
	幼稚園教諭二種	小学校教諭二種	
国語（書写を含む）	国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育のうち2以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育のうち2以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）、国語表現法、書写、児童文学
社会			社会
算数			算数
理科			理科
生活			生活
音楽			音楽、音楽基礎、音楽実技
図画工作			図画工作、造形基礎
家庭			家庭
体育			体育、幼児体育
計	4	4	

単位履修の方法は、子ども教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

◆教職に関する科目

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低修得単位数		該当専門教育科目
科目	各科目に含める必要事項	幼稚園二種	小学校二種	授業科目名
教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割 (2)教員の職務内容(研修,服務及び身分保障等を含む) (3)進路選択に資する各種の機械の提供等	2	2	教職概論
教育の基礎理論に関する科目	(1)教育理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	4	教育原理Ⅰ 教育原理Ⅱ 保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ
	(2)幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程 (障害のある幼児,児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程を含む。)			教育心理学Ⅰ 教育心理学Ⅱ 発達心理学 乳幼児心理学 特別支援教育
	(3)教育に関する社会的,制度的又は経営的事項			教育法規
教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成方法		14	小学校教育課程論
	(2)各教科の指導法			国語科教育法 社会科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 音楽科教育法 図工科教育法 家庭科教育法 体育科教育法
	(3)道徳の指導法			道徳教育の研究
	(4)特別活動の指導法			特別活動の研究
	(5)教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育の方法と技術
	(1)教育課程の意義及び編成方法	12		幼稚園教育課程論
	(2)保育内容の指導法			人間関係指導法 環境指導法 健康指導法 言葉指導法 表現指導法
	(3)教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			保育内容総論 教育の方法と技術
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法 (2)教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 (3)進路指導の理論及び方法		4	生徒・進路指導の研究 教育相談の研究
	(1)幼児理解の理論及び方法 (2)教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2		幼児理解の研究
総合演習		2	2	総合演習
教育実習		5	5	教育実習Ⅰ 教育実習ⅡA・ⅡB 教育実習の指導Ⅰ 教育実習の指導Ⅱ

注１）教育実習Ⅱは幼・小いずれか3単位

注２）上記のほか，法学（憲法），体育，外国語コミュニケーション，情報機器の操作・各2単位の修得が必要

注３）小学校教諭免許取得希望者は，7日間の介護等体験を行う。

注４）単位履修の方法は，子ども教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

◆その他必要な科目

○体育

＊文化創造学科、食物科学科は、次の①、②いずれかの方法で単位を修得する。

①「体育実技」2単位を履修する。

②「体育実技」1単位と、一般教養の講義科目（「スポーツを考える」または「身体と運動」）2単位の、計3単位を履修する。

＊文化創造学科夜間主コースは、「体育実技」1単位と「体育講義」2単位の、計3単位を修得する。

＊子ども教育学科は学科の指示に従うこと。

○日本国憲法

一般教養科目で開設されている法学の科目のうち、法学（憲法）を2単位以上修得する。

＊子ども教育学科は、学科の指示に従うこと。

○外国語コミュニケーション

外国語科目で開設されている外国語のうち、日本語を除き2単位以上修得する。

○情報機器の操作

各学科の該当科目を2単位以上修得する。

学　科	該　当　科　目	単位数
文化創造学科（昼間主コース）	CG入門	1
	ベーシック・コンピュータ・スキル	1
	テキスタイルデザイン（CG）	1
	ファッションプレゼンテーション（CG）	1
	イメージ編集A	1
	イメージ編集B	1
	CADⅠ（コンピュータ製図）	1
	CADⅡ（平面から立体へ）	1
	コンピュータ・リテラシーA（パソコン検定）	1
	コンピュータ・リテラシーB（Microsoft Office Specialise）	1
（夜間主コース）	ベーシック・コンピュータ・スキル	1
	CADⅠ（コンピュータ製図）	1
	CADⅡ（平面から立体へ）	1
	情報処理A	2
	情報処理B	2
食物科学科	応用栄養学実習	1
	栄養指導論実習（方法論）	1
子ども教育学科	情報機器の操作	2

※体育、日本国憲法、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の単位は、それぞれ、一般教養科目、外国語科目、各学科の専門教育科目の単位として数える。

教職課程に関する内規

教育職員免許状の取得を希望する学生は、卒業要件の単位を修得するのと同時に「教職に関する科目」の単位を修得し、社会福祉施設及び特別支援学校で行う介護等体験、さらに卒業年次には教育実習を行わなければなりません。また教員の養成並びに、それに伴う学生の資質の向上を目的として定められた、「教職課程に関する内規」を熟読し、臨んでください。

教職課程費

教職課程費は、次の2期に分納するものとします。教職課程履修学生を対象とした事務連絡会で配布する本学指定の銀行振込用紙により納入してください。

第1期: 教職課程履修登録時（一律15, 000円）

第2期: 教育実習実施年度

●教育実習を途中辞退した場合の実習費について

教職課程を途中で辞退しても、第1期分は返金されません。

教育実習校へ謝礼が支払われいる場合、第2期分は返金されません。

介護等の体験

小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生は、最低7日間の介護等の体験が必要となります。

詳細については、事務連絡会を行いますので、必ず出席してください。

1. 体験の年度は、原則として学部は第2年次、短大は第1年次とする。
2. 体験期間は、社会福祉施設で5日間以上、及び特別支援学校で2日間以上とする。

また、体験を行う年度に、「介護等体験の指導」（教職に関する科目）の授業を必ず履修する。

教育実習の履修資格

教育実習は第4年次(短大は第2年次)に4週間、全国の公私立高等学校及び中学校、小学校、幼稚園の協力を得て行われます。

教育実習を履修することのできる者は、次のとおりとします。

●大学院

①将来教職に就くことに関して、確固とした意志のある者。

②専攻主任が適当と認め研究科委員長の承認を得た者。

③教職専門科目を教育実習履修年度の前年度までに履修し終わること。

●学　部

①将来教職に就くことに関して、確固とした意志のある者。

②第3年次までに教職に関する科目(教職概論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教科教育法、教育行政学・教育法規（教育制度論）、教育工学)を履修し終わった者。

③第2年次終了までに願い出た学科開設の専門教育科目に成績不良（申し合わせとして69点以下）が5科目以内で全履修科目の平均点70点以上の者。

④前②項・③項の規定にかかわらず、当該学科の科会議、並びに教職に関する科目担当者が適当と認め、学部長が承認した者。

⑤ただし、第3年次編入学生は、前②③項は適用しない。

●短　大

①将来教職に就くことに関して、確固とした意志のある者。

②第1年次に開設された教職に関する科目を履修し終わった者。

③第1年次終了までに履修した学科開設の専門教育科目に成績不良（申し合わせとして69点以下）が4科目以内で全履修科目の平均点が70点以上の者。

④前②項・③項の規定にかかわらず、当該学科の科会議、並びに教職に関する科目担当者が適当と認め、学長が承認した者。

●科目等履修生

①原則として、教職に必ず就く本学卒業生とする。

②在学中の成績が本学内規（教育実習の履修資格）学部第③項、短大第③項に抵触しない者。

③人物等について出身学科並びに教職に関する科目担当者が適当と認め、学長が承認した者。

※原則として、科目等履修生として在籍した2年目に実習を行います。

教育実習の登録および実習校への依頼

実習校への依頼は原則として個人で行うものとします。

1. 実習の前年度の事務連絡会で配布する教育実習希望者登録に記入し、提出してください。
2. 5月連休前に行う学部は第3年次生、短大は第1年次生を対象とした、事務連絡会で「教育実習内諾依頼用紙」及び「教育実習内定届用紙」を配布します。
3. 「教育実習内諾依頼用紙」は、出身校等に実習の受け入れをお願いする時に必要になります。内諾を得るには、先方の学校長、教頭、教務主任等、関係の先生に面接をお願いする事になりますので、その際必要事項を記入の上必ず持参してください。出身校等で受け入れてもらえなかった場合は、教育支援センター教務担当窓口に相談してください。

なお、東京都内公立学校、本学附属及び一部地域

指定の都道府県（具体的には、教育支援センター教務担当窓口に問い合わせてください）へは教育支援センターから一括して実習の依頼をしますので、個人交渉はしないでください。また、初等教育学科並びに子ども教育学科の学生については，当該学科から別途指示があります。

4. 内諾を得た学生は「教育実習内定届用紙」に必要事項を記入し、クラス主任及び教育支援センター教務担当窓口へそれぞれ提出してください。内定届に基づき学長名の正式依頼書を教育支援センターから実習内定校に発送します。
5. 教育実習内定届提出後、教育実習を放棄することは原則として認めません。病気、休学等やむを得ない理由がある場合は、直ちにクラス主任及び教育支援センターへ連絡して指示を受けてください。
6. 短大から編入した学生が高等学校の教育職員免許状を取得しようとする場合、短大で修得した「教職に関する科目」については19単位、「教科に関する科目」については14単位を限度として、1種免許状に係る単位として取り扱うことができます。ただし、免許教科によっては、その限りではありません。詳しくは、各教科の「履修のしかた」を参照してください。
7. 教育実習の指導は、各学科所属の教授、准教授、または講師が担当します。

教育実習の実施期間

1. 教育実習の期間は連続して4週間を基本とします。
   ただし、各都道府県教育委員会の指示によって3週間の場合もあります。
   初等教育学科並びに子ども教育学科は連続して3週間とします。
2. 教育実習期間中の授業は公欠扱いとします。
3. 実習のため帰郷を必要とする場合、その往復日数の欠席についても公欠扱いとします。
4. 事前打ち合わせ（新任挨拶を含む）、離任挨拶のための欠席は、両者を含めてその所要日数の2日以内を公欠とすることもできます。

教育職員免許状授与申請

教育職員免許状は、本人が居住地の都道府県教育委員会に授与の申請をするものですが、本学では3月の卒業時に免許状を必要とする学生のために東京都へ一括申請を行っています。この場合、免許状は卒業式当日に授与します。

東京都教育委員会に一括申請することのできる者は、次のとおりです。

（イ）人間文化学部・人間社会学部・生活科学部にあっては、
① 必要な教職に関する科目の単位を全て修得した者。
② 3年次及び4年次前期までに履修した専門教育科目に成績不良科目(申し合わせとして69点以下)が5科目以内の者。
③ 3年次及び4年次前期までの全履修科目の平均点が72点以上である者。
④ 前②項・③項の規定にかかわらず、当該学科の科会議において教員としての資格が適当と認められ、学長が承認した者。

（ロ）短期大学部にあっては、
① 必要な教職に関する科目の単位を全て修得した者。
② 2年次前期に履修した専門教育科目に成績不良科目（申し合わせとして69点以下）が4科目以内の者。
③ 2年次前期の全履修科目の平均点が72点以上である者。
④ 前②項・③項の規定にかかわらず、当該学科の科会議において教員としての資格が適当と認められ、学長が承認した者。

一括申請を希望する学生は、以下の手続きを期日までに終了してください。

1. 7月中に行われる事務連絡会で、申請申込書に記入してもらいますので、必ず出席してください。
2. 一括申請の費用は1件につき3，800円（東京都への手数料3，300円、単位証明料500円）で、教職課程費第2期に含まれています。

教職課程履修に関する事務連絡会等の日程

対象	日　程	主な内容	掲示
1年次	4月上旬	履修ガイダンス	無
学2年次 短1年次	4月上旬	介護等体験事務連絡会（短1・教職課程履修ガイダンス含む）	有
学1年次	2月・3月	教職課程履修事務連絡会（介護等体験説明含む）	有
実習前年度	4月中旬	教育実習履修登録・実習校への内諾依頼について	有
	7月	東京都公立学校実習希望者申し込み	有
	7月末まで	内定届提出	無
実習年度	4月中旬	教育実習事前事務連絡会	有
	5月中旬	教育実習関係書類配布（附属中高部実習生除く）	有
	実習終了後2週間以内	教育実習録提出	無
卒業年次	7月下旬	教育職員免許状一括申請申し込み	有
	12月・1月	教育職員免許状一括申請授与申請書記載事項の確認、署名捺印	有

＊初等教育学科・子ども教育学科の学生の教育実習については、当該学科から別途指示があります。

問い合わせ先及び書類等提出先
教育実習・介護等体験・教育職員免許状一括申請
教育支援センター窓口（大学1号館）

＊なお、大学院生の教職課程履修者(各実習含む)は、個別に教育支援センターに問い合わせてください。

2. 博物館学芸員

（人間文化学部・人間社会学部・生活科学部）

卒業時に博物館学芸員の資格を取得するためには、下記(1)、(2)について指定の科目を履修し、規定の単位を修得することが必要です。

履修は1年次又は2年次から開始することを原則とし、4月始めに行われる履修ガイダンスに必ず出席してください。（ガイダンス日時は掲示で告知）

(1) 必修科目

授業科目	単位		開設学科	備　考
	前期	後期		
博物館学A	2		歴文	
博物館学B	2		〃	
博物館学C		2	〃	
教育学概論	2	2	〃	前・後期いずれか
生涯学習概論		2	〃	
視聴覚教育メディア論	2	2	〃	前・後期いずれか
博物館実習Ⅰ	1		〃	
博物館実習Ⅱ		1	〃	
博物館実習Ⅲ	1		〃	
文化財保存学	2	2	〃	
館務実習	1		〃	外部実習

(注1) 同時に教職課程を履修する者は、「教育原理」を修得することにより、「教育学概論」を修得したものとみなす。
(注2) 上記科目を履修する他に、研修旅行に参加しなければならない。

(2) 選択必修科目

次の選択必修A・Bのいずれの条件も満たすよう選択履修する。

＜選択必修A＞

授業科目名	単位		開設学科	備　考
	前期	後期		
日本史A		2	一般教養	この中から8単位を選択する。
日本史B		2	〃	
西洋史	2	2	〃	
東洋史概説	2	2	歴文	
考古学概論	2	2	歴文	
考古学	2	2	一般教養	
日本美術史概説	2	2	歴文	
西洋美術史概論	2	2	〃	
東洋美術史概説	2	2	〃	
民俗学概論	2	2	〃	
日本民俗学	2	2	日文	

(注1) 必ずしも通年の履修でなくても可。
(注2) 生活環境学科学生は、学科専門科目で読み替えられる科目がある。別途指示する。

＜選択必修B＞
90分の授業を半期履修した場合を1コマとして4コマを選択する。

授業科目	コマ数		開設学科	備　考
	前期	後期		
測量	2		環境	この中から4コマを選択する。
設計製図　－教職－	1		〃	
史料解読	1	1	歴文・日文	
古文書解読	1	1	歴文	
服飾史資料基礎	1	1	〃	
考古学実習	1	1	〃	
日本美術史基礎	1	1	〃	
西洋美術史基礎	1	1	〃	
日本芸能史基礎		1	〃	
民俗調査法	1		〃	
文化財保存修復学基礎	1	1	〃	

（注1）必ずしも通年の履修でなくても可。
（注2）生活環境学科学生は、学科専門科目で読み替えられる科目がある。別途指示する。

IIII

（短期大学部）

卒業時に博物館学芸員（補）の資格を取得するためには、下記の科目を履修し、規定の単位を修得することが必要です。

＝資格取得の最低修得単位数＝

履修すべき授業科目、修得すべき単位数は以下の通りとする。

授業科目		単位数	備考
必修科目 注1	博物館学A	2	
	博物館学B	2	
	博物館学C	2	
	生涯学習概論	2	
	視聴覚教育メディア論	2	
	教育学概論	2	
	博物館実習	3	
	館務実習	1	
選択必修科目 注2	日本文化C 日本文化D 日本文化E 日本文化F 日本文化G	8	開設授業科目一覧に■印のあるものから選択し，通年で2科目（各4単位）以上を履修のこと。

注1.　必修科目の単位は、卒業要件には含まれないので注意すること。（文化創造学科を除く）

注2.　選択必修科目については、文化創造学科に開設されている該当科目の中から、指導に従って履修すること。

IIIIII 短期大学部博物館学芸員課程の履修に関する内規 IIIIII

（目的）

1.　本内規は、学芸員の資質の向上と学芸員課程の履修に関わる費用の納入とについて定める。

（履修の条件）

2.　館務実習を履修することができる者は、①2年次前期までに開設される博物館学関係科目のうち必修科目並びに選択必修科目の単位を修得し、それらの科目の合計平均点が70点以上であること、及び、②2年次前期までの全履修科目の平均点が70点以上であることを要件とする。

3.　前項の規定にかかわらず科会議を経由して、博物館学関係科目担当主任が適当と認めた場合は、館務実習を履修することができる。

（登録料の納入）

4.　履修学生は、登録料として10，000円を納入する。納入方法については別途指示する。

（館務実習に関する費用の納入）

5.　館務実習に関する費用は、受講時に納入する。平成19年度の納入額は、10,500円である。

なお、希望する者は、将来、学芸員となる資格を取得する道が開かれています。

学芸員となる資格を取得するためには、次の条件を必要とします。

①博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得する。

②卒業後「学芸員補の職に相当する職」にあって、3年以上の実務を経験する。

3. 栄養士・管理栄養士

●栄養士免許（生活科学科食物健康学専攻および食物科学科）

生活科学部生活科学科食物健康学専攻および短期大学部食物科学科において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定(各学科のカリキュラム参照)に基づき、栄養士法施行規則に定める教育内容に関する各科の所定の科目(下表)について単位を取得することが必要です。なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し、生活科学科食物健康学専攻を卒業した者については、実務経験1年以上、専攻科食物科学専攻を修了した者は実務経験2年以上、食物科学科を卒業した者については実務経験3年以上積んだ後、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

生活科学科食物健康学専攻（平成19年度以降入学者用）

内　容	科　目　名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	社会福祉概論	2	
	公衆衛生学	2	
人体の構造と機能	人体の構造と機能ＩＡ	2	
	人体の構造と機能ＩＢ	2	
	生化学	2	
	病理・疾病	2	
	生化学・解剖生理学実験		2
食品と衛生	食品学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	食品科学実験		2
栄養と健康	栄養と健康	2	
	応用栄養学	2	
	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論	2	
	栄養学実習		2
	臨床栄養学実習		2
栄養の指導	栄養指導論総論	2	
	栄養指導論各論	2	
	公衆栄養学	2	
	栄養指導論実習		2
給食の運営	給食運営総論	2	
	給食実務論・大量調理の食事計画	2	
	調理学実習Ａ		2
	給食実務論実習		2
	校外実習		1
	校外実習事前事後の指導	1	

生活科学科食物健康学専攻（平成18年度以前入学者用）

内　容	科　目　名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	社会福祉概論	2	
	公衆衛生学	2	
人体の構造と機能	人体の構造と機能（総論）	2	
	解剖と生理	2	
	生化学	2	
	病理・疾病	2	
	生化学・解剖生理学実験		2
食品と衛生	食品と衛生（総論）	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	食品学・食品衛生学・食品加工学実験		2
栄養と健康	栄養と健康（総論）	2	
	栄養学	2	
	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論	2	
	栄養学実習		2
	臨床栄養学実習		2
栄養の指導	栄養指導論総論	2	
	栄養指導論各論	2	
	公衆栄養学	2	
	栄養指導論実習		2
給食の運営	給食運営総論	2	
	給食実務論・大量調理の食事計画	2	
	調理実習		2
	給食実務論実習		2
	校外実習		1

食物科学科

内　容	科　目　名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	公衆衛生学	2	
	社会福祉概論	2	
人体の構造と機能	解剖学	2	
	生理学	2	
	運動生理学	2	
	生化学	2	
	生化学実験		1
	解剖生理学実験		1
食品と衛生	食品学Ⅰ（食品成分の科学）	2	
	食品学Ⅱ（食品の機能）	2	
	食品学Ⅲ（食品の加工及び貯蔵）	2	
	食品衛生学	2	
	基礎実験		1
	食品学実験		1
	食品衛生学実験		1
	食品加工学実習		1
栄養と健康	栄養学Ⅰ（基礎栄養学）	2	
	栄養学Ⅱ（応用栄養学：ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞと栄養）	2	
	臨床栄養学（概論）	2	
	臨床栄養学（各論）	2	
	応用栄養学実習		1
	臨床栄養学実習		1
栄養の指導	栄養指導論Ⅰ（総論）	2	
	栄養指導論Ⅱ（各論）	2	
	公衆栄養学（概論）	2	
	献立論	2	
	栄養指導論実習（方法論）		1
給食の運営	調理学	2	
	給食計画論	2	
	給食実務論	2	
	基礎調理		1
	調理学実習Ⅰ（日常食）		1
	調理学実習Ⅱ（日常食・供応食）		1
	給食経営管理及び実習		2
	校外実習総合演習	1	
	給食経営管理校外実習		2

●栄養士免許（生活科学科管理栄養士専攻）

生活科学部生活科学科管理栄養士専攻において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定に基づき、栄養士法施行規則に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については生活科学科管理栄養士専攻のカリキュラムを参照してください。

なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し本専攻を卒業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

生活科学科管理栄養士専攻（平成19年度以降入学者用）

内　容	科　目　名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会・環境と健康	人間と社会生活	2	
	社会環境と福祉	2	
	健康管理概論	2	
人体の構造と機能疾病の成り立ち	人体の構造と機能A（総論）	2	
	人体の構造と機能B（解剖学）	2	
	人体の構造と機能C（生理学）	2	
	生化学	2	
	栄養生化学	2	
	臨床医学総論（病理も含む）	2	
	臨床医学各論（病理と遺伝子、遺伝子治療含む）	2	
	生化学実験		2
	解剖生理学実験A（人体の構造と生理）		2
	解剖生理学実験B（人体の生理と分子医学）		2
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）	2	
	食品素材の科学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	調理科学	2	
	食品学実験		2
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	調理学実習		2
基礎栄養学	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
応用栄養学	応用栄養学A（母性・乳幼児）	2	
	応用栄養学B（学童期～高齢期）	2	
	応用栄養学C（特殊環境）	2	
	応用栄養学実習		1
栄養教育論	栄養教育論総論	2	
	栄養教育論各論	2	
	カウンセリング論	2	
	栄養教育論実習Ⅰ		1
臨床栄養学	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論A	2	
	臨床栄養学各論B	2	
	食事介助と在宅医療	2	
	臨床栄養学実習		2
	臨床療法調理学実習		2
公衆栄養学	公衆栄養学総論	2	
	公衆栄養学各論	2	
	公衆栄養学実習		1
給食経営管理論	給食管理論	2	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習		2
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習	1	
	臨地実習事前事後集中講義	2	
臨地実習	臨地実習（校外実習）		4

生活科学科管理栄養士専攻（平成18年度以前入学者用）

内　容	科　目　名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習
社会・環境と健康	人間と社会生活	2	
	社会環境と福祉	2	
	健康管理概論	2	
人体の構造と機能疾病の成り立ち	人体の構造と機能（総論）	2	
	解剖と生理	2	
	生理学	2	
	生化学	2	
	栄養生化学	2	
	臨床医学総論（病理も含む）	2	
	臨床医学各論	2	
	生化学実験		2
	解剖生理学実験A（人体構造）		2
	解剖生理学実験B（生理機能）		2
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	調理学	2	
	食品学実験		2
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	調理実習		2
基礎栄養学	基礎栄養学（総論）	2	
	基礎栄養学実習		1
応用栄養学	栄養学各論A（母性・乳幼児）	2	
	栄養学各論B（学童期～高齢期）	2	
	栄養学各論C（特殊環境）	2	
	応用栄養学実習		1
栄養教育論	栄養教育論総論	2	
	栄養教育論各論	2	
	カウンセリング論	2	
	栄養教育論実習		1
臨床栄養学	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論A	2	
	臨床栄養学各論B	2	
	食事介助と在宅医療	2	
	臨床栄養学実習		2
公衆栄養学	公衆栄養学総論	2	
	公衆栄養学各論	2	
	公衆栄養学実習		1
給食経営管理論	給食管理論	2	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習		2
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習	1	
	臨地実習事前事後集中講義	1	
臨地実習	臨地実習（校外実習）		4

4. 食品衛生監視員及び管理者資格（生活科学科管理栄養士専攻）

生活科学部生活科学科管理栄養士専攻において食品衛生監視員及び食品衛生管理者の資格を取得するためには、食品衛生法に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については生活科学科管理栄養士専攻のカリキュラムを参照してください。

平成19年度入学者用

内　容	科目名(必修のみ記載)	単位数	
		講義又は演習	実験又は演習
A群　化学関係	食品･栄養を学ぶための化学A	2	
	食品･栄養を学ぶための化学B	2	
B群　生物化学関係	生化学	2	
	生化学実験		2
	栄養生化学	2	
	人体の構造と機能C(生理学)	2	
	食べ物と健康(総論)	2	
	食品学実験		2
C群　微生物学関係	食品と加工	2	
	食品･栄養を学ぶための微生物学	2	
	食品･栄養を学ぶための微生物学実験		2
D群　公衆衛生学関係	食品衛生学	2	
	食品衛生学･食品加工学実験		2
	人間と社会生活	2	
E群　その他関連科目	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
	応用栄養学A(母性･乳幼児)	2	
	応用栄養学B(学童期～高齢期)	2	
	応用栄養学C(特殊環境)	2	
	応用栄養学実習		1
	臨床医学総論(病理も含む)	2	
	解剖生理学実験A(人体の構造と生理)		2
	解剖生理学実験B(人体の生理と分子医学)		2
	人体の構造と機能B(解剖学)	2	

平成18年度以前入学者用

内　容	科目名(必修のみ記載)	単位数	
		講義又は演習	実験又は演習
A群　化学関係	基礎化学B	2	
B群　生物化学関係	生化学	2	
	生化学実験		2
	栄養生化学	2	
	生理学	2	
	食べ物と健康(総論)	2	
	食品学実験		2
C群　微生物学関係	食品と加工	2	
D群　公衆衛生学関係	食品衛生学	2	
	食品衛生学･食品加工学実験		2
	人間と社会生活	2	
E群　その他関連科目	基礎栄養学(総論)	2	
	基礎栄養学実習		1
	栄養学各論A(母性･乳幼児)	2	
	栄養学各論B(学童期～高齢期)	2	
	栄養学各論C(特殊環境)	2	
	応用栄養学実習		1
	臨床医学総論(病理も含む)	2	
	解剖生理学実験A(人体構造)		2
	解剖生理学実験B(生理機能)		2
	解剖と生理	2	

5. 司書・司書教諭

図書館学課程は、大学・専門・公共図書館の専門職員である「司書」の資格と、小・中・高等学校図書館のメディア専門職である、「司書教諭」の資格を取得するために、短期大学に開設されています。

現代の高度情報化社会では、情報リテラシー能力が重視されています。当課程では、メディア専門職としての知識と技術を体系的に学習でき、図書館だけでなく、様々な公共機関や学校、企業の資料室や調査部門などで幅広く活躍できる能力を身につけることができます。

資格取得を希望する学生は、所定の単位を取得しなければなりません。

学部の学生が単位修得する場合、当課程は短大開設なので、学則第14条第４項に定める60単位の内数として、履修するものとします。

当課程によって修得した単位は、原則として卒業要件になりません。

当課程は、受講科目の履修順序がありますので（履修順序を守らないと履修出来ない科目があります。）、履修を開始する場合は、年度初めに行われる「図書館学課程（司書・司書教諭）ガイダンス」に、必ず出席してください。

履修を希望する学生（科目等履修生を含む）は、当課程の登録料として、10,000円を納入しなければなりません。納入方法については、別途連絡します。

次の受講生が資格取得を希望する場合は、下記のことに注意してください。

○専攻科の学生が、「司書」及び、「司書教諭」の資格取得を希望する場合
　⇒図書館学課程担当教員に相談してください。

○院生が、「司書」及び、「司書教諭」の資格取得を希望する場合
　⇒所定の手続きを取り、「科目等履修生」として履修してください。

なお、専門科目と時間割が重なった等の理由により、他大学で単位を修得し、本学で資格を取得する場合は、当課程に「単位修得証明書」を提出してください。

●司　書

司書の資格は、図書館法（1950年）に規定されています。司書講習は、図書館法で定められている（同法第５条第１項）、司書資格授与のための講習です。

次の表の必修科目18単位、選択科目２単位（２科目２単位を選択）合計20単位を修得しなければなりません。

	科　目　名	単位
必修科目	生涯学習概論	1
	図書館概論	2
	図書館サービス論	2
	情報サービス概説	2
	図書館資料論	2
	資料組織概説	2
	図書館経営論	1
	専門資料論	1
	児童サービス論	1
	レファレンスサービス演習	1
	情報検索演習	1
	資料組織演習Ａ	1
	資料組織演習Ｂ	1
選択科目	図書及び図書館史	1
	資料特論	1
	コミュニケーション論	1
	情報機器論	1
	図書館特論	1
合計	必修科目18単位　　選択科目2単位	

●司書教諭

司書教諭の資格は、学校図書館法（1953年）に規定されています。司書教諭講習は、学校図書館法に定められている（同法第５条第３項）司書教諭資格授与のための講習です。

資格取得を希望する学生は、小学校、中学校、高等学校いずれかの教育職員免許を取得し、かつ下表にある所定の単位を、修得しなければなりません。

科　目　名	単位
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
合計　　10単位	

○当課程に関する情報は、次の掲示板を必ず見るようにしてください。
　・大学3号館　1階
　・80年館　1階　インフォメーションルーム
○当課程に関する不明な点は、文化創造学科・図書館学課程担当教員（大学3号館4階4T01）まで、問い合わせてください。

6. 日本語教員

日本語教育の現場は、海外の大学・高校・小学校等の教育機関、国内の大学・専門学校、日本語学校、インターナショナルスクール、公立の小中高校、地域のボランティア団体など様々です。これら多様な学習者のニーズに適合した教育プログラムを行っていくために、日本語教員には幅広い専門的な知識、能力が要求されています。

本学日本語日本文学科では、日本語教員の養成のための「日本語教育科目」が開設されています。平成12年に示された『日本語教育のための教員養成について』（文化庁日本語教員養成に関する調査研究協力者会議）における「日本語教員養成において必要とされる教育内容」を参照して科目を示すと右図のようになります。

関心のある学生はそれぞれの専門性を意識しながら日本語教育科目を位置づけ、履修計画をたててください。各区分から所定の単位数を修め、必要な手続きを取った者に対して本学日本語教育科目の「主専攻（45単位）「副専攻（26単位）」の認定証を発行しています。

日本語教育科目は全学科の学生の受講が可能ですが、単位の認定にあたって学科別の取り決め事項があります。年度初めに行われる「日本語教育ガイダンス」に必ず出席して履修のシステムをよく理解してください。また、不明な点は日本語日本文学科の担当教員に問い合わせてください。

現在、日本語を教える教員のための免許制度はありません。就職にあたっては、各教育機関が独自の採用基準を設けています。現在一般的には、「大学および大学院で日本語教育に関する科目を主専攻程度の単位数履修した者」あるいは「副専攻程度単位数を履修し、『日本語教育能力検定試験』(財団法人日本国際教育支援協会実施)に合格した者」で、かつ「現場での実務能力があると認められる者」という基準が最も重視されるようです。

本学大学院には、日本語教師としての専門性をさらに高め、海外の高等教育機関でも教えられるような人材を育成するために、文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻に「日本語教育講座」が開設されています。

授業科目			担当者	学年 1年次 単位	2年次 単位	3年次 単位	4年次 単位	開講中心年次	履修可能範囲
日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	遠藤	②	②			1	◎
		言語政策論Ⅰ	西川(寿)		②	②	②	3	◎
		言語政策論Ⅱ	李			②	②	3	◎
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	恩村	②	②	②		1	◎
		異文化間コミュニケーションⅡ	恩村		②	②		1	◎
		社会言語学	伊藤(博)		②		②	2	◎
	言語と心理	第二言語教育概説	西川(寿)	②	②	②		2	◎
		第二言語習得論	西川(寿)		②		②	2	◎
	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ			②	②		1	×
		日本語教育学ⅠA(音声)	伊藤(博)	②		②	②	2	◎
		日本語教育学ⅠB(書写)	戸田			②	②	2	◎
		日本語教育学ⅠC(文法)	戸田	②	②	②	②	2	◎
		日本語教育学ⅡA(聴解・会話)	遠藤			②	②	3	◎
		日本語教育学ⅡB(作文・読解)	伊藤(博)			②	②	3	◎
		日本語教育学ⅡC(教材・教具)	戸田			②	②	2	◎
		コースデザイン・評価論				②	②	3	×
		日本語教育指導方法論	西川(寿)		②	②	②	2	◎
		日本語教育実習Ⅰ(教壇08)	恩村			②	①	3	◎
		日本語教育実習Ⅱ(教壇08)	恩村				①	3	◎
		日本語教育実習(個別08)	西川(寿) 伊藤(博)				①	3	◎
		日本語教育実習(海外08)	西川(寿) 他			①	①	3	◎
	言語	日本語教育言語分析法研究	伊藤(博)	②	②	②		2	◎
		日本語文法論	池田(悠)	②	②	②	②	2	◎
		日本語表現法	伊藤(博)		②	②		2	◎
		日英対照研究	西川(寿)			②	②	3	◎
		日韓対照研究	李		②	②		3	◎
		日中対照研究	ﾌｧﾊﾞｰﾙ			②	②	3	◎

7. 建築士等、インテリアプランナー、JABEEに関する資格

1）一、二級建築士、木造建築士及び設備士

生活科学部生活環境学科に所属し、下記の表に示される科目のうち定められた単位数を修得すると、卒業後に受験資格が得られます。ただし、受験申請時に、生活環境学科建築学コースの卒業証明書（教育支援センターで発行）を添付する必要があります。また、受験するためにはそれぞれ下記の年限の実務経験が必要とされますので、受験申請説明書を良く検討する必要があります。

一級建築士、設備士：2年　二級建築士、木造建築士：実務経験は不要

建築士等の受験資格取得のための条件

授業科目	単位数	必要単位数
住生活史	2	2単位選択必修
建築史（日本）	2	
建築史（西洋）	2	
住生活学	4	12単位選択必修
住居計画	4	
インテリア計画	4	
建築計画Ⅰ，Ⅱ	4	
建築構造Ⅰ	2	4単位選択必修
建築構造Ⅱ	4	
構造力学Ⅰ及び演習	3	3単位
環境工学	4	4単位
設計製図Ⅰ～Ⅲ	10	8単位選択必修
建築法規	2	2単位必修
建築材料学	2	2単位
材料学A，B，C	2	2単位選択必修
建築設備	4	4単位
建築学実験A,B,C,D	2	2単位選択必修
測量	2	
構法・施工A，B	2	2単位選択必修
構造力学Ⅱ及び演習	3	
建築デザイン論	4	
環境心理学	4	
都市デザイン論	2	
造園	2	
合計		53単位

2）インテリアプランナー

資格取得のためには、以下の条件を満たす必要があります。

受験資格：満20歳以上

登録条件：試験を合格（登録は合格後5年以内）
生活環境学科建築学コース卒業
実務経験2年以上

1），2）の資格についての詳細は、財）建築技術教育普及センターのホームページを参照してください。

http://www.jaeic.or.jp

3）JABEEプログラム（平成19年度以降入学者対応）

生活環境学科建築学コース建築デザイングループは2010年度に申請・審査を受ける予定で、これが認定されれば2007年度入学生からJABEEの認定を受けることになります。

JABEEとは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education／設立1999年11月19日）の略で、国際的に通用する技術者教育のために、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかを審査・認定を行う非政府団体です。

建築学コース建築デザイングループに所属し、JABEE履修科目チェック表（生活環境学科ホームページよりダウンロード可）に従って所定の単位を修得して卒業すると、認定を受けることができます。希望者は４月初めのガイダンスに必ず出席してください。

◆プログラム名：建築デザイナー養成プログラム（Education Program for Architectural Design）

◆学習・教育目標の特色

建築は個人から集団までの人間生活のすべてに関わります。それは、文系的な側面と理系的な側面を同時に併せ持つということです。このプログラムでは、その両方を統合的に習得して、よりよい建築、都市、環境作りを創造できるような人材を育成することを目標にしています。

建築デザイナー養成プログラムの学習・教育目標は、包括的な専門知識・能力の習得、および本大学が独自に設定する生活とデザイン領域に関するより専門的知識・能力の習得のために設定しています。また、本大学の伝統を継承し、建築学へ活用、展開するような個性的なプログラムの目標を掲げるようにしました。そして本大学の生活環境学科が持つ特色を生かしたデザインを使ったコミュニケーション能力を涵養することを重視しています。

本プログラムの持つ特色は、以下の５項目に整理できます。

１．異なる文化、歴史、芸術を通しての多様な価値観を理解し、それをもとに物事を倫理的に判断する能力。（多様な価値観）

２．社会的環境の観察、分析、考察から、豊かで魅力ある生活環境を提供し、自然と人間社会の共生や地域文化に寄与するような現実味のある提案を創出する能力。（生活環境の提案）

３．社会の単位であるコミュニケーションを生活の中で把握し実践でき、人間生活と社会の向上のための方策を考えられる人間の育成。日常場面での英語

による口頭コミュニケーションができる能力。（社会交流）
４．包括的な建築学の専門領域の学習・教育目標を掲げる。（包括的な専門領域）
５．建築デザイン領域において広い視野と技術を習得し、独創的な提案を創出し、表現者や表現行為に関わる者を志す人材を育成する。（デザインと独創性）

◆学習・教育目標
(A) 豊かな感性と広い教養と外国語の習得
芸術、文化、歴史に触れ、また法律や経済などの社会や人間活動の幅広い知識の習得。また、技術理解に必要な外国語の知識の習得。
(B) 生活デザインの知識と能力
生活、デザインの基礎を学び、社会に対する分析力、想像力、総合力により、確固とした価値観に基づいた個人から身の回りそして国際レベルまでの総合的な考え方の行える能力の育成。
(C) 理系教養の知識と能力
理系教養の基本的知識と建築や社会にどのように応用されているかまで判断できる理解力、応用力の育成。
(D) コンピューターの知識と能力
情報技術に関する基本的な知識と技量を修得し、それらを活用できる能力。
(E) 建築学の基礎学力の習得
建築学の基礎学力を修得し、それを生活空間の現実的な事象として把握できる。
(F) 建築学専門知識の発展と応用
建築学の知識・技術を利用してより社会や地域の歴史的、文化的、地理的な要求を建築の専門的に解決・構築するための能力の育成。
(G) 建築デザイン領域の専門知識の習得
建築デザイン領域に関する専門的知識と生活者の視点からの識見を持ち、生活環境の形成と維持、改善、解決する能力の育成。時代の動向を踏まえた教育の展開を目指す。
(H) 建築設計とデザインの能力
建築の幅広い知識を総合し、説得力のある建築的提案を創出する能力。デジタルメディアの活用により多角的な表現ができる。
(1) コミュニケーションの能力
自らの制作した成果物を口頭による発表により、相手とコミュニケーションできる能力の育成。
(J) 自学・自習能力
自主的にあるいは協同して学習や研究を継続的にできる能力。

8. 商業施設士等に関する資格

商業施設士はあらゆる商業施設の運営・管理システムや、店舗の構成・デザインなどを総合的に計画して監理まで行う専門資格です。
生活科学部生活環境学科に所属し、在学中に下記の表に示される科目を履修し、定められた単位を修得すると、商業施設士および商業施設士補の受験資格が得られます。ただし、申請時に生活環境学科建築学コース卒業の証明書を添付する必要があります。
卒業後一年以上の実務経験の後、商業施設士を受験することができます。
商業施設士補は、単位習得後在学中でも受験可能です。商業施設士補の資格を有すると、卒業後直ちに商業施設士の第二次試験が受験可となります（一次試験免除)。

授業科目	単位数	必要単位数
デザイン概論	4	4単位以上
建築史（日本）	2	
建築史（西洋）	2	
建築デザイン論	4	
都市デザイン論	2	
建築計画Ⅰ	2	10単位以上
建築計画Ⅱ	2	
建築法規	2	
建築構造Ⅰ	2	
建築構造Ⅱ	4	
インテリア計画	4	
家具デザイン	2	
建築材料学	2	4単位以上
材料学A	2	
材料学B	2	
材料学C	2	
建築設備	4	
構法・施工A	2	
構法・施工B	2	
空間企画論	2	
デザイン基礎	2	12単位以上
CAD Ⅰ	1	
CAD Ⅱ	1	
CG（2D）	1	
CG（3D）	1または2	
設計製図Ⅰ	4	
設計製図Ⅱ	4	
設計製図Ⅲ	2	

9. 二級建築士、インテリアプランナー等に関する資格

◆人間社会学部福祉環境学科

人間社会学部福祉環境学科に所属し、学部学則第16条2項に規定されている「別に定める授業科目」（下表の資格必修科目を含み、専門科目を49単位以上）を修得した者は、二級建築士、木造建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士、木造建築士：実務経験は不要。ただし、受験申請時に福祉環境学科福祉建築コース卒業の証明書（教育支援センターで発行）を添付する必要があります。（インテリアプランナー試験の受験資格は，20歳以上になると得ることができます。インテリアプランナー試験合格後、証明書が発行されます。）

平成17年度　平成18年度入学

授業科目	単位数	必要単位数
建築史（住生活史を含む）	2	2単位必修
住生活と福祉	4	8単位必修
福祉のインテリア計画	2	
建築計画	2	
建築構造	4	4単位必修
構造力学及び演習	3	3単位必修
環境工学	4	4単位必修
設計製図Ⅰ～Ⅱ	8	8単位必修
建築法規	2	2単位必修
建築材料学	4	4単位必修
建築設備	2	2単位必修
建築学実験	2	2単位選択必修
測量	2	
構法・施工	2	2単位必修
建築積算	2	2単位必修
建築デザイン論	4	6単位選択必修
環境心理学	4	
都市デザイン論	2	
環境デザイン論	2	
福祉デザインⅠ，Ⅱ	4	
プロダクトデザイン論	4	
合計		49単位以上

平成19年度　平成20年度入学

授業科目	単位数	必要単位数
建築史（住生活史を含む）	2	2単位必修
住生活と福祉	4	8単位必修
福祉のインテリア計画	2	
建築計画	2	
建築構造	4	4単位必修
構造力学	2	2単位必修
構造力学演習	1	1単位必修
環境工学	4	4単位必修
設計製図Ⅰ～Ⅱ	8	8単位必修
建築法規	2	2単位必修
建築材料学	4	4単位必修
建築設備	2	2単位必修
建築学実験	2	2単位選択必修
測量	2	
構法・施工	2	2単位必修
建築積算	2	2単位必修
建築デザイン論	4	6単位選択必修
環境心理学	4	
都市デザイン論	2	
環境デザイン論	2	
福祉デザインⅠ，Ⅱ	4	
プロダクトデザイン論	4	
合計		49単位以上

◆短期大学部文化創造学科

短期大学部文化創造学科に所属し、住環境学コースで資格必修科目を26単位以上修得した者は、二級建築士試験・木造建築士試験の受験資格が得られます。
受験するためには、下記の年限の実務経験が必要です。

二級建築士：実務2年　　木造建築士：実務2年

同上の資格を取得した者が、さらに専攻科生活文化学専攻で所定の建築系の単位を取得して卒業すれば、実務経験は不要となります。

二級建築士：実務0年　　木造建築士：実務0年

住環境学コース（修業年限2年、実務経験2年）

	授業科目	単位数	備考
建築計画	建築計画	2	必修
構造力学	構造力学	2	必修
一般構造	一般構造Ⅰ	2	必修
施工	施工法	2	必修
建築法規	建築法規	2	必修
設計製図	設計製図Ⅰ	4	必修
	設計製図Ⅱ	4	必修
環境工学	環境工学	4	必修
建築設備	環境工学に含む		
材料	材料学	2	必修
実験	環境・材料実験Bまたは建築実験	2	いずれか
測量	測量	2	選択必修
	上記の必修科目26単位		

また、文化創造学科に所属し、建築コースで資格必修科目を含み資格科目51単位以上を修得したものは、実務経験0年で二級建築士試験・木造建築士試験の受験資格が得られます。

建築コース（修業年限2年、実務経験0年）

	授業科目	単位数	備考
建築計画	建築計画	2	必修
	住居計画	2	必修
	地域環境計画	2	必修
	建築学特講（建築と職能）A	2	必修
	建築学特講（建築と職能）B	2	必修
	西洋建築史	2	いずれか選択必修
	日本建築史	2	
	環境心理学	2	選択
	建築デザイン論	4	選択
	空間計画	2	選択
	住生活概論	2	選択
	バリアフリー建築論	2	選択
	環境共生論	2	選択
設計製図	設計製図Ⅰ	4	必修
	設計製図Ⅱ	4	必修
	建築学演習	2	必修
	CADⅠ	1	必修
	CADⅡ	1	選択
環境工学	環境工学	4	必修
建築設備	建築設備	2	必修
構造力学	構造力学	2	必修
	構造力学演習	1	必修
建築一般構造	一般構造Ⅰ	2	必修
	一般構造Ⅱ	2	必修
建築材料	材料学	2	必修
建築施工	施工法	2	必修
建築積算	建築積算	2	必修
建築材料実験	環境・材料実験Bまたは建築実験	2	いずれか選択必修
測量実習	測量	2	
建築法規	建築法規	2	必修
	合計	63	
	上記の科目のうち51単位以上		

短期大学部文化創造学科に所属し、住環境学コースで資格必修科目を含み、専門教育科目を24単位以上修得した者は、20歳以上でインテリアプランナー試験の受験ができます。試験合格後を含めて通算で4年の実務を経たときに同資格の登録ができます。

インテリアプランナー受験資格

授業科目	単位数	備考
カラーデザインB	2	いずれか選択必修
基礎デザイン論B	2	
意匠学（デザインの基礎知識）	2	
日本住居史（住居の形と住まい方）	2	いずれか選択必修
西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	2	
環境工学（快適性と省エネルギー）前期	2	いずれか選択必修
環境工学（快適性と省エネルギー）後期	2	
上記の選択必修科目6単位以上		
住生活概論	2	必修
設計製図Ⅰ1	2	必修
一般構造Ⅰ（建物のパーツを知る）	2	必修
材料学（建築材料の特徴を知る）	2	必修
空間計画（インテリアの考え方）	2	必修
インテリア・パース演習Ⅰ	1	必修
設計製図Ⅰ2	2	必修
一般構造Ⅱ（構造のデザインを考える）	2	必修
インテリア・パース演習Ⅱ	1	必修
建築法規	2	必修
上記の必修科目18単位以上		
インテリアプランナー　合計24単位以上		

◆　商業施設士（補）

短期大学部文化創造学科に所属し、住環境学コースで資格必修科目を含み、専門教育科目を24単位以上修得し所定の講習を受けた者は、商業施設士補の称号が与えられ、商業施設士試験の一次試験が免除されます。

商業施設士受験資格

授業科目	単位数	備考
生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	2	4単位選択必修
住生活概論	2	
消費生活論（消費者問題の解決）	2	
マーケティング論	2	
基礎デザイン論B	2	2単位選択必修
カラーデザインB	2	
意匠学	2	
空間計画（インテリアの考え方）	2	必修
インテリア計画	2	必修
地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	2	4単位選択必修
西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	2	
環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）	2	
建築計画（人間のための空間づくり）	2	必修
材料学（建築材料の特徴を知る）	2	必修
建築法規（安全で快適な街をつくるルール）	2	必修
施工法（建物の造り方を考える）	2	必修
設計製図Ⅰ1	2	必修
設計製図Ⅰ2	2	必修
設計製図Ⅱ1	2	必修
設計製図Ⅱ2	2	必修
インテリア・パース演習Ⅰ	1	
インテリア・パース演習Ⅱ	1	
CADⅠ（コンピュータ製図）	1	
CADⅡ（平面から立体へ）	1	
上記の科目のうち34単位以上		

◆　施工管理技師

短期大学部文化創造学科に所属し、建築コースで資格必修科目を含み、専門教育科目を24単位以上修得した者は、建築施工技術、造園施工技術などの施工管理技術検定が受験できます。施工管理技術検定1級は実務5年、施工管理技術検定2級は実務2年で受験できます。

施工管理技術検定受験資格

授業科目	単位数	備考
ベーシック・コンピュータ・スキル	1	選択
基礎の数学	2	選択
基礎の力学	2	必修
建築計画	2	必修
住居計画	2	選択
空間計画	2	選択
地域環境計画	2	選択
西洋建築史	2	選択
日本建築史	2	選択
環境心理学	2	選択
建築デザイン論	4	選択
住生活概論	2	選択
環境共生論	2	選択
バリアフリー建築論	2	選択
建築学特講（建築と職能）A・B	2	選択
建築学演習	2	選択
設計製図Ⅰ	4	必修
設計製図Ⅱ	4	選択
CADⅠ	1	選択
CADⅡ	1	選択
環境工学	4	必修
建築設備	2	選択
構造力学	2	必修
構造力学演習	1	選択
一般構造Ⅰ	2	必修
一般構造Ⅱ	2	必修
材料学	2	必修
施工法	2	必修
建築積算	2	選択
環境・材料実験Bまたは建築実験	2	いずれか選択必修
測量	2	
建築法規	2	必修
卒業研究	4	選択
上記の科目のうち38単位以上		

10. 社会福祉主事

〔社会福祉主事任用資格〕

◆　社会福祉主事は社会福祉法第4章に基づく任用資格で、厚生労働省告示による指定科目のうち、3科目以上を履修すると取得できます。取得者は社会福祉関連の事業所に就職した場合、有資格者として次の職名が得られます。

①　福祉事務所の社会福祉主事
②　各種福祉施設の生活指導員・児童指導員・福祉指導員
③　社会福祉協議会の福祉活動指導員

◆　社会福祉主事の資格に関する指定科目（厚生労働省）

区分	旧科目	新科目
社会福祉基礎科目	社会福祉概論 社会福祉事業史 社会福祉事業方法論 社会調査統計 社会福祉施設経営論 社会福祉行政	社会福祉概論 社会福祉事業史 社会福祉援助技術論 社会福祉調査論 社会福祉施設経営論 社会福祉行政論
分野別福祉各論	公的扶助論 児童福祉論 保育理論 身体障害者福祉論 知的障害者福祉論 老人福祉論 医療社会事業論 地域福祉論	公的扶助論 児童福祉論 保育理論 身体障害者福祉論 知的障害者福祉論 精神障害者保健福祉論 老人福祉論 医療社会事業論 地域福祉論 家庭福祉論
関連分野論	協同組合論 社会政策 経済政策 社会保障論 刑事政策	（削除） 社会政策 経済政策 社会保障論 （削除） 民法 行政法
隣接分野各論	生理衛生学 公衆衛生学 精神衛生学 看護学 栄養学	（削除） 公衆衛生学 （削除） 看護学 栄養学 介護概論 リハビリテーション論 家政学
一般科目	法律学 経済学 心理学 社会学 教育学 犯罪学 倫理学 医学知識	法学 経済学 心理学 社会学 教育学 （削除） 倫理学 医学一般
	計　32科目	計　34科目

（注）下線のある科目は、名称変更あるいは増設されたものである。

平成13年度から、指定科目が改正されました（左表参照）。

平成12年度以前に入学した学生は、旧科目・新科目のいずれでも適用できますが、平成13年度以降に入学した学生は、新科目のみの適用となりますので、左表を参考にして、履修するようにしてください。

また、「障害者福祉論」など、読み替えによって左表のいずれかに認められる科目があります。詳細は教育支援センターに問い合わせてください。

11. 社会福祉士

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」の第2章に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次の通りです。

指定科目を修めて大学（福祉環境学科）を卒業し、社会福祉士試験（国家試験）に合格すること。

資格を取得することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につく上で有利になります。

就職に有利となる主な職種は、次のとおりです。

①社会福祉施設の相談援助専門職、児童指導専門職
②福祉事務所や更生相談所のケースワーカー
③児童相談所の相談援助専門職
④社会福祉協議会の福祉活動専門職

◆ 社会福祉士国家試験受験の要件となる指定科目（福祉環境学科）

厚生労働省指定科目	学科開設科目	単位数
社会福祉原論	社会福祉原論	4
老人福祉論	老人福祉論	2
障害者福祉論	障害者福祉論	2
児童福祉論	児童福祉論	2
社会保障論	社会保障論	4
公的扶助論	公的扶助論	2
地域福祉論	地域福祉論	2
社会福祉援助技術論	社会福祉援助技術論A1	2
	社会福祉援助技術論A2	2
	社会福祉援助技術論B1	2
	社会福祉援助技術論B2	2
社会福祉援助技術演習	社会福祉援助技術演習A	2
	社会福祉援助技術演習B	2
社会福祉援助技術現場実習	社会福祉援助技術現場実習	4
社会福祉援助技術現場実習指導	社会福祉援助技術現場実習指導I	2
	社会福祉援助技術現場実習指導II	1
心理学	心理学	2
社会学	社会学	2
法学	法学	2
医学一般	医学一般	2
介護概論	介護概論	2

備考：社会保障論、公的扶助論、地域福祉論の中から１科目を選択必修。
心理学、社会学、法学の中から１科目を選択必修。

12. 衣料管理士

◆ 一級衣料管理士の資格を取得するためには、以下の科目を履修しなければなりません。以下の科目はすべて生活環境学科服飾デザインマネジメントコース（造形デザインコース服飾グループ）の専門教育科目として開設されています。（条件が改定されることがあります。改定された場合は学科の指示に従うこと）

衣料管理士　認定科目

グループ	必修科目(A) 科目	単位	必修科目(B) 科目	単位
材料	材料学B	2	繊維製品試験法	2
	被服材料学	2	機器測定法	2
	衣料鑑別実験	2	統計学	2
	造形材料学実験	2		
	単位小計	(8)		
加工・整理	被服整理学	2	繊維加工学	2
	染色理論	2	造形デザイン演習Ⅰ（テキスタイル）	1
	被服整理学実験	1		
	染色加工実験	1		
	単位小計	(6)		
企画・造形	アパレル企画論	2	被服造形科学	2
	被服構成学	2	色彩学	2
	造形デザイン演習Ⅰ-1（モード）	2		
	服飾デザイン	2		
	単位小計	(8)		
流通・消費・環境	消費科学	2	消費者経済学	2
	消費生活論	2		
	衣料管理実習	1		
	マーケティング論	2		
	ファッション商品論	2		
	被服衛生学	2		
	単位小計	(11)		
単位合計		A:33単位	B：15単位から10単位以上履修のこと	

◆ 二級衣料管理士の資格を取得するためには、以下の科目を履修しなければなりません。これらは文化創造学科専門科目として開設されています。

	授業科目	単位
二級衣料管理士必修科目	基礎デザイン論A	2
	カラーデザインA	2
	ファッションデザイン	2
	インテリアコーディネート演習※	1
	アパレル企画論	2
	ファッション造形論	2
	ファッションクリエーション	2
	テキスタイル・インテリア材料	2
	テキスタイル実験	2
	染色学	2
	染色実験	2
	衣服管理学	2
	衣服管理実験	1
	衣環境論	2
	消費生活論	2
	販売論	2
	消費者調査	1

※平成19年度以前の入学者はデザイン表現C（インテリア）Ⅰを履修のこと。

13. 臨床心理士

臨床心理士は、日本臨床心理士資格認定協会が定める資格です。本学における資格取得方法は、以下のようになっています。

指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。なお、これらに該当する学生は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については別途指示します。

授業科目	単位	備考
臨床心理学特論Ⅰ	2	必修
臨床心理学特論Ⅱ	2	必修
臨床心理面接特論Ⅰ	2	必修
臨床心理面接特論Ⅱ	2	必修
臨床心理査定演習Ⅰ	2	必修
臨床心理査定演習Ⅱ	2	必修
臨床心理基礎実習Ⅰ	1	必修
臨床心理基礎実習Ⅱ	1	必修
臨床心理実習Ⅰ	1	必修
臨床心理実習Ⅱ	1	必修
心理学統計法	2	2単位以上選択必修
心理学研究法	2	
人格心理学研究Ⅰ	2	2単位以上選択必修
人格心理学研究Ⅱ	2	
人格臨床心理学研究	2	
教育心理学研究Ⅰ	2	
心理査定研究	2	
発達心理学研究Ⅰ	2	
発達心理学研究Ⅱ	2	
発達心理学研究Ⅲ	2	
発達臨床心理学研究	2	
認知心理学研究Ⅰ	2	
認知心理学研究Ⅱ	2	
認知心理学研究Ⅲ	2	
実験心理学研究Ⅰ	2	
実験心理学研究Ⅱ	2	
社会心理学研究Ⅰ	2	2単位以上選択必修
社会心理学研究Ⅱ	2	
社会心理学研究Ⅲ	2	
社会心理学研究Ⅳ	2	
社会心理学研究Ⅴ	2	
社会情報論研究Ⅰ	2	
社会情報論研究Ⅱ	2	
家族心理学研究	2	
犯罪心理学研究	2	
精神医学研究Ⅰ	2	2単位以上選択必修
精神医学研究Ⅱ	2	
発達支援論研究	2	
障害児心理学研究	2	
精神分析学研究	2	2単位以上選択必修
家族療法研究	2	
グループ・アプローチ特論	2	
学校臨床心理学研究	2	
コミュニティ・アプローチ研究	2	
発達臨床実習Ⅰ	2	
発達臨床実習Ⅱ	2	
臨床心理査定特論Ⅰ	2	

14. 保育士

人間社会学部福祉環境学科、初等教育学科および短期大学部専攻科保育学専攻において保育士の資格を取得するためには、本学の学則に定まる規程（各学科のカリキュラム参照）に基づき、児童福祉法施行規則に定める教育内容に関する各学科が定める科目（下表）について単位を修得し、当該学科・専攻を卒業することが必要です。

なお、保育士資格取得について指定を受けている人数は、福祉環境学科60名、初等教育学部50名、保育学専攻30名となっています。なお、福祉環境学科、初等教育学科へ編入後、保育士資格取得を希望する場合は、定員の範囲内とします。

また、専攻科保育学専攻において保育士の資格を取得するには、本学短期大学部子ども教育学科および専攻科保育学専攻の計3年間で所定の科目（下表）を修得すること。保育実習は、休業期間中（夏季・春季休暇）に行う場合があります。

福祉環境学科　平成17年度　平成18年度入学者

	系列	該当専門教育科目　（　）内は、単位	科目別必要単位数	必要単位数
教養科目		外国語	2	8
		スポーツを考える	1	
		体育実技	1	
		その他	4	
最低単位取得数				8
専門必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論　(4)	2	50
		社会福祉援助技術演習B　(2)	2	
		児童福祉論　(2)	2	
		保育原理　(4)	4	
		養護原理　(2)	2	
		教育原理　(2)	2	
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学　(2)	2	
		教育心理学　(2)	2	
		小児保健Ⅰ　(4)	5	
		小児保健Ⅱ　(1)		
		小児栄養　(2)	2	
		精神保健　(2)	2	
		家族援助論　(2)	2	
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容総論　(2)	2	
		保育内容－表現　(2)	6（5領域にわたって1単位以上合計6単位履修すること）	
		保育内容－健康　(2)		
		保育内容－言葉　(2)		
		子どもと環境　(2)		
		対人コミュニケーション　(2)		
		乳児保育　(2)	2	
		障害児保育　(1)	1	
		養護内容　(1)	1	
	基礎技能	音楽実技　(1)	4	
		幼児体育　(2)		
		アート基礎　(1)		
	保育実習	保育実習Ia　(1)	5	
		保育実習Ib　(2)		
		保育実習Ic　(2)		
	総合演習	総合演習　(2)	2	
専門選択必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	児童福祉論　(2)	8	10
		福祉文化論　(2)		
		地域福祉論　(2)		
		心理学　(2)		
		社会学　(2)		
		国際福祉論　(2)		
		福祉環境マネジメント論　(2)		
		地域施設マネジメント論　(2)		
		労働とジェンダー　(2)		
	保育の対象の理解に関する科目	臨床心理学　(2)		
		障害者福祉論　(2)		
		家族福祉論　(2)		
		児童・家庭ソーシャルワーク　(2)		
		保育ソーシャルワーク　(2)		
	保育の内容・方法の理解に関する科目	リハビリテーション論　(2)		
		レクリエーション援助法　(2)		
		福祉環境とボランティア　(2)		
		海外ボランティア演習　(2)		
	基礎技能	アート基礎　(1)		
		音楽実技　(1)		
	保育実習	保育実習Ⅱ　(2)	2	
		保育実習Ⅲ　(2)		
専門最低単位取得数				60

福祉環境学科　平成19年度入学者　平成20年度入学者

	系列	該当専門教育科目　（　）内は、単位	科目別必要単位数	必要単位数
教養科目		外国語	2	8
		スポーツを考える	1	
		体育実技	1	
		その他	4	
最低単位取得数				8
専門必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論　(4)	2	50
		社会福祉援助技術演習B　(2)	2	
		児童福祉論　(2)	2	
		保育原理　(4)	4	
		養護原理　(2)	2	
		教育原理　(2)	2	
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学　(2)	2	
		教育心理学　(2)	2	
		小児保健Ⅰ　(4)	5	
		小児保健Ⅱ　(1)		
		小児栄養　(2)	2	
		精神保健　(2)	2	
		家族援助論　(2)	2	
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容総論　(2)	2	
		保育内容－表現　(2)	6（5領域にわたって1単位以上合計6単位履修すること）	
		保育内容－健康　(2)		
		保育内容－言葉　(2)		
		子どもと環境　(2)		
		対人コミュニケーション　(2)		
		乳児保育　(2)	2	
		障害児保育　(1)	1	
		養護内容　(1)	1	
	基礎技能	音楽実技　(1)	4	
		幼児体育　(2)		
		アート基礎　(1)		
	保育実習	保育実習Ia　(1)	5	
		保育実習Ib　(2)		
		保育実習Ic　(2)		
	総合演習	総合演習　(2)	2	
専門選択必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	地域福祉論　(2)	8	10
		心理学　(2)		
		社会学　(2)		
		国際福祉論　(2)		
		福祉環境マネジメント論　(2)		
		地域施設マネジメント論　(2)		
		労働とジェンダー　(2)		
	保育の対象の理解に関する科目	臨床心理学　(2)		
		障害者福祉論　(2)		
		家族福祉論　(2)		
		児童・家庭ソーシャルワーク　(2)		
		保育ソーシャルワーク　(2)		
	保育の内容・方法の理解に関する科目	リハビリテーション論　(2)		
		レクリエーション援助法　(2)		
		福祉環境とボランティア　(2)		
		海外ボランティア演習　(2)		
	基礎技能	アート基礎　(1)		
		音楽実技　(1)		
	保育実習	保育実習Ⅱ　(2)	2	
		保育実習Ⅲ　(2)		
専門最低単位取得数				60

学部初等教育学科

系列		科目名(　)内は単位		履修必要単位
教養科目		外国語		2
		スポーツと健康 スポーツを考える 身体と運動		1
		体育実技		1
		その他一般教養科目		4
最低単位取得数				8
専門必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論	(2)	2
		社会福祉援助技術	(2)	2
		児童福祉論	(2)	2
		保育原理Ⅰ	(2)	2
		保育原理Ⅱ	(2)	2
		養護原理	(2)	2
		教育原理	(2)	2
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	(2)	2
		教育心理学Ⅰ	(2)	2
		小児保健Ⅰ	(4)	4
		小児保健Ⅱ	(1)	1
		小児栄養	(2)	2
		精神保健	(2)	2
		児童・家庭ソーシャルワーク	(2)	2
	保育の内容・方法の理解に関する科目	人間関係指導法	(2)	2
		環境指導法	(2)	2
		健康指導法	(2)	2
		言葉指導法	(2)	2
		表現指導法	(2)	2
		保育内容総論	(2)	2
		乳児保育	(2)	2
		障害児保育	(1)	1
		養護内容	(1)	1
	基礎技能	音楽基礎B(ソルフェージュ)	(2)	2
		音楽基礎C(実技)	(2)	
		造形基礎	(2)	1
		幼児体育	(2)	1
	保育実習	保育実習の指導IA	(1)	1
		保育実習の指導IB	(1)	1
		保育実習IA(保育所)	(2)	2
		保育実習IB(施設)	(2)	2
	総合演習	総合演習	(2)	2
最低単位取得数				57
選択科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	家族福祉論	(2)	12
		地域福祉論	(2)	
		地域施設マネジメント論	(2)	
		保育行政論	(2)	
		保育環境論	(2)	
		児童館の機能と運営	(2)	
	保育の対象の理解に関する科目	教育心理学Ⅱ	(2)	
		乳幼児心理学	(2)	
		臨床心理学	(2)	
		対人コミュニケーション	(2)	
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育実践研究	(2)	
		保育ソーシャルワーク	(2)	
		病児保育研究	(2)	
		在宅保育研究	(2)	
		レクリエーション理論	(2)	
		レクリエーション援助法	(2)	
	基礎技能	幼児音楽A	(2)	
		幼児音楽B	(2)	
		幼児造形	(2)	
	保育実習	保育実習Ⅱ(保育所)	(2)	2
		保育実習Ⅲ(施設)	(2)	
最低単位取得数				14
総履修単位取得数				79

子ども教育学科・専攻科保育学専攻

系列		科目名(　)内は単位		履修必要単位	開　設
教養科目		外国語		2	
		スポーツと健康 スポーツを考える 身体と運動		1	
		体育実技		1	子ども
		その他一般教養科目		4	
最低単位取得数				8	
必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論	(2)	2	保専
		社会福祉援助技術	(2)	2	保専
		児童福祉論	(2)	2	保専
		保育原理Ⅰ	(2)	2	子ども
		保育原理Ⅱ	(2)	2	子ども
		養護原理	(2)	2	子ども
		教育原理Ⅱ	(2)	2	子ども
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	(2)	2	子ども
		教育心理学Ⅰ	(2)	2	子ども
		小児保健Ⅰ	(2)	4	保専
		小児保健Ⅱ	(1)	1	保専
		小児栄養	(2)	2	保専
		精神保健	(2)	2	保専
		児童・家庭ソーシャルワーク	(2)	2	保専
	保育の内容・方法の理解に関する科目	人間関係指導法	(2)	2	子ども
		環境指導法	(2)	2	子ども
		表現指導法	(2)	2	子ども
		健康指導法	(2)	2	子ども
		言葉指導法	(2)	2	子ども
		保育内容総論	(2)	2	子ども
		乳児保育	(2)	2	子ども
		障害児保育	(1)	1	保専
		養護内容	(1)	1	保専
	基礎技能	音楽基礎	(2)	2	子ども
		音楽実技	(2)		子ども
		幼児体育	(2)	1	子ども
		造形基礎	(2)	1	子ども
	保育実習	保育実習の指導IA	(1)	1	子ども
		保育実習IA(保育所)	(2)	2	子ども
		保育実習の指導IB	(1)	1	保専
		保育実習IB(施設)	(2)	2	保専
	総合演習	総合演習	(2)	2	子ども
最低単位取得数				57	
選択必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	家族福祉論	(2)	20	保専
		地域福祉論	(2)		保専
		地域施設マネジメント論	(2)		保専
		保育行政論	(2)		保専
		保育環境論	(2)		保専
		世界の保育	(2)		保専
		児童館の機能と運営	(2)		保専
		児童の健全育成と福祉	(2)		保専
	保育の対象の理解に関する科目	教育心理学Ⅱ	(2)		子ども
		乳幼児心理学	(2)		子ども
		臨床心理学	(2)		保専
		対人コミュニケーション	(2)		保専
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育実践研究	(2)		保専
		保育ソーシャルワーク	(2)		保専
		在宅保育研究	(2)		保専
		病児保育研究	(2)		保専
		レクリエーション援助法	(2)		保専
	基礎技能	幼児音楽演習A	(2)		保専
		幼児音楽演習B	(2)		保専
		幼児造形演習	(2)		保専
	保育実習	保育実習Ⅱ(保育所)	(2)	2	保専
		保育実習Ⅲ(施設)	(2)		保専
最低単位取得数				22	
総履修単位取得数				87	

15. 学校心理士・学校心理士補

学校心理士は、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本発達心理学会、日本LD学会の5学会が共同・連合して設立した、学校心理士認定運営機構が定める資格です。本学では、大学院修士課程において、学校心理学に関する所定7科目14単位以上を修得し、1年以上の学校心理学に関する専門的実務経験を有する人が申請できます。ただし、実務経験が不十分な場合に限り、学校心理士補を申請することができます。

学校心理学に関する所定7科目は以下の通りになります。具体的な授業名については、心理学科教授室に問い合せて下さい。

教育心理学に関する科目
発達心理学に関する科目
臨床心理学に関する科目
障害児の教育と心理に関する科目
生徒指導・進路指導（実習含む）に関する科目
教育評価・心理検査（実習含む）に関する科目
学校カウンセリング（実習含む）に関する科目

16. 精神保健福祉士

精神保健福祉士は「精神保健福祉士法」に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次の通りです。

指定科目を修めて大学（福祉環境学科）を卒業し、精神保健福祉士試験（国家試験）に合格すること。

◆　精神保健福祉士国家試験受験要件となる指定科目

学科開設科目	単位数	備　考
社会福祉原論	2	
社会保障論	2	3科目のうち1科目選択必修
公的扶助論	2	
地域福祉論	2	
医学一般	2	
心理学	2	3科目のうち1科目選択必修
社会学	2	
法学	2	
精神医学	2	
精神保健学	2	
精神科リハビリテーション学	2	
精神保健福祉論	2	
精神保健福祉援助技術総論	2	
精神保健福祉援助技術各論	2	
精神保健福祉援助演習	2	
精神保健福祉援助実習	4	

資格を取得することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につく上で有利になります。

就職に有利となる主な職場は、次のとおりです。
①精神病院、診療所、クリニック
②精神保健センター、保健所（センター）
③援護寮、授産施設、作業所等の社会復帰施設

17. 臨床発達心理士

臨床発達心理士は、日本発達心理学会・日本感情心理学会・日本教育心理学会・日本パーソナリティ心理学会の４学会が共同・連合して設立した、「臨床発達心理士」認定運営機構が定める資格です。発達心理学関連諸科学の修士課程在学生、あるいは修了者は、以下の３条件に合致すれば、＜基本タイプ＞として申請することが出来ます（基本タイプのほかには、現職者タイプがあります）。基本タイプの申請条件と審査の概要は以下の通りです。

(1) 基本タイプの申請条件

①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）。

②以下の５つの指定科目（１科目４単位：計20単位）すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で取得している。

臨床発達心理学の基礎に関する科目
認知発達とその支援に関する科目
社会・情動とその支援に関する科目
言語発達とその支援に関する科目
育児・保育現場での発達とその支援に関する科目

③200時間以上の臨床実習の経験を有する。

(2) 基本タイプの審査概要

A．一次審査

１）書類審査

①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）ことを確認

②５つの指定科目すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で取得していることを確認

③事例報告書（原稿用紙30枚程度）により、臨床実習経験を確認

２）筆記試験

多肢選択問題と記述問題

B．二次審査

臨床発達心理士としての資質に関する20分程度の口述審査

本学心理学専攻は、申請条件①に合致します。

また、申請条件②の科目のうち、20年度は、16単位取得可能です。具体的な授業名と指定科目のどれに該当するかは、心理学科教授室に問い合わせてください。

申請条件③の、臨床実習についての指導と事例報告書作成についての指導は、「発達臨床実習」で行います。

18. 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する『調査の専門家』のことです。

激しく変化する社会の現状を把握し、複雑な社会問題の解決を図るためには、社会調査の方法を身につけることが不可欠です。ところが、その重要性が高まっているにも関わらず、調査の担い手となる専門的人材の育成システムはまだ未整備な状態にあります。その重要性と必要性を鑑みて、三つの学会（教育社会学会、行動計量学会、社会学会）の連携協力により、平成15年11月に『社会調査士資格認定機構』が創設されました。この『機構』の事業の一つが「社会調査士」の資格認定です。

１）＜取得方法＞

認定機構が定めた「標準カリキュラム」に準拠した科目と設置している資格制度参加校（大学）で取得することができます（本学は、平成20年度から参加することになりました）。調査に関する５科目と実習１科目の単位を取得することで、学部卒業時に資格が交付されます。また、上記科目を三科目以上取得、２科目以上履修中であることを条件に、在学時、就職活動等に活用できる社会調査士（取得見込み）証明書が発行されます。

２）＜社会調査士の能力＞

社会調査士は、調査企画から報告書の作成までの社会調査の全過程を体験することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘する能力を修得します。

３）＜認定された本学の社会調査士科目＞

平成20年度から本学も社会調査士の科目認定を受け、資格制度に参加することになりました。社会調査士の標準カリキュラムは、次のAからGまでの７科目になっていますが、EとFは、選択制で、二つのどちらかの科目単位を取得すればよいことになっています。

A：社会調査の基本的事項に関する科目（90分×15週）
B：調査設計と実施方法に関する科目（90分×15週）
C：基本的な資料とデータの分析に関する科目（90分×15週）
D：社会調査に必要な統計学に関する科目（90分×15週）
E：量的データの解析の方法に関する科目（90分×15週）（E／Fは選択制）
F：質的な分析の方法に関する科目（90分×15週）（E／Fは選択制）
G：社会調査の実習を中心とする科目（90分×30週）

以上の標準カリキュラムに準拠した本学の開設科目は次のようになっています。

C／D／Gについては、複数の科目が設置されています。複数の科目のうち一つを取得すればよいのですが、基本的に所属している学科の科目を履修してください。

履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目

を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。F科目は履修順序に関係なく履修することができます。

ただし、平成20年度時点の3・4年生に限っては、A～G科目を上記の規定に関わらず履修することを認めます。

	授業科目名	期	開設学科	単位
A	「社会科学と社会調査」	前	全学科	2
B	「社会調査の理論と方法」	前	全学科	2
C	「統計分析基礎」	前	現代・福祉	2
	「情報機器の操作とデータ分析」	後	初教	1
	「データ解析実習」	前	心理	2
D	「社会経済統計I」	前	現代・福祉	2
	「教育統計基礎」	後	初教	1
	「心理統計法」	後	心理	2
E	「社会経済統計II」	後	全学科	2
F	「フィールドワークと質的分析」	後	全学科	2
G	「社会調査実習I」「社会調査実習II」	前・後	現代・福祉・初教	4
	「質問紙調査法実習」	前	心理	4

＊例外

平成19年度の心理学科のC科目「データ解析実習」、D科目「心理統計法」、および、平成18年度のD科目「心理統計法」を履修した学生は、社会調査士の資格科目として遡って認められます。

上記以外の科目については、前年度までに遡ることはできません。

19. 人間工学準専門家

人間工学の実践は、企業でのモノ作りにおいて欠かせないステップであり、その人材も常に産業界から求められています。国際的に通用する日本人間工学会認定人間工学専門家の下位資格、日本人間工学会認定人間工学準専門家資格は、大学卒業と同時に取得可能であり、モノ作り業界で働く希望を持つ学生は取得する価値がある資格です。

下記に示した科目のうち12単位以上を修得すると、専門教育3年経過以降に受験資格が得られます。資格の申請は書類審査のみですので、各自が日本人間工学会のサイト（http://www.ergonomics.jp/cpe/index.html）より書式を取り寄せ、申請してください。

1. 応募資格

1）学歴：大卒以上で人間工学専門教育3年以上（受験は在学中でも可能。ただし資格は卒業後に認定される）
2）実務経験：不要
3）必要な単位：人間工学に関する専門科目12単位以上

2. 必要書類

1）認定試験受験申込書（書式有）
2）経歴書（書式有）
3）専門教育受講歴、取得学位及び関連単位取得表（書式有）
4）その他
・シラバス等（科目の内容を証明できるもので、講義要目・授業概要等を含む）
・卒業（見込み）証明書
・成績証明書（修得科目名がわかるものであれば、単位修得証明書でも可）

人間工学準専門家資格に関する専門科目

授業科目	単位数	人間工学の内容分類
色彩学	2	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
人体表現基礎	2	Ⅱ　人間特性
色彩学演習	1	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
人間工学	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価 Ⅴ　人間工学の応用 Ⅵ　人間工学評価
環境工学	4	Ⅳ　環境特性
インテリア計画	4	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
ユニバーサルデザイン	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅴ　人間工学の応用
生体環境論	2	Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価
ヒューマンセンタードデザイン	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価 Ⅴ　人間工学の応用 Ⅵ　人間工学評価
環境心理学	4	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
居住福祉論	2	Ⅳ　環境特性
被服人間工学演習*	2	人間工学に関連するテーマ
エルゴデザイン演習*	2	人間工学に関連するテーマ
卒業論文*	6	人間工学に関連するテーマ
卒業制作*	6	人間工学に関連するテーマ
卒業設計*	6	人間工学に関連するテーマ

注1）上記単位のうち12単位以上履修のこと。
注2）*印の科目は、人間工学に関連するテーマのみ単位として認められる。
注3）人間工学的要素が含まれる演習系は、シラバスの他に授業内容資料を提出することで認められることもある。

4. 開設授業科目・授業概要一覧

1. カリキュラム表の見方

a 授業科目		担当者	b 整理番号	c 学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	d 開講中心年次	e1 履修可能範囲等	備考
	実践倫理	坂東 他	201001	1	1							1	1					1		
	日本語基礎	本学教員	201002	1	1							1	1					1		
	倫理学	掛川	201003			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	哲学概論	飯塚	201004	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	同	(心理・現代)
	現代哲学	井原	201005		②		②		②				②		②			1		
	日本精神史	関口	201006	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	アジアの思想	早田	201007	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	こころの科学A	清水(裕)	201008	②		②						②		②				1		心理の学生を除く
	こころの科学B	田中(知)	201009	②		②						②		②				1		A～Eは同一内容科目
	こころの科学C	中江	201010		②		②						②		②			1		複数履修は不可
	こころの科学D	松澤	201011		②		②						②		②			1	同	(福祉：心理学)
	こころの科学E	藤島	201012	②		②						②		②				1		
	社会心理	中江	201013			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★	心理の学生を除く
	家		201014				②		②						②		②	2		
						②		②						②		②		2		
												②	②	②	②			1		

一般教養科目　カリキュラム表

a 授業科目			担当者	b 整理番号	c 学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	d 開講中心年次	e2 履修可能範囲等	備考
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	古川	223001	②		②						1･2	同	
		心理学概説ⅡⅠ	藤崎	223002		②		②					1･2	同	
		社会心理学	藤島	223003		②		②					1･2	同	
		社会福祉の歴史	月田	223004	②	②	②	②					1･2	同	(心理・福祉・初教)
		福祉環境とボランティア	興梠	223005	②	②	②	②					1･2	同★	
		人間形成原論	桑原	223006	②		②						1･2	同	
		教育哲学	宮寺	223007		②		②					1･2	同	
現		社会を見る目	澁澤	223009･223010	2	2							1	同×	(心理・福祉・初教)
		経済を見る目	小島	223011･223012	2	2							1	同×	(心理・福祉・初教)
				223014			2	2					2	×	
													2	×	

専門教育科目　カリキュラム表（例：現代教養学科）

ａ開設授業科目の表示について

授業科目に付してあるⅠ、Ⅱ、Ⅲ等の数字やアルファベットA、B、C等は、次のような性格を表わします。

1. 数字……Ⅰ＝初級・基礎段階、Ⅱ＝中級・発展段階、Ⅲ＝上級・応用段階と、グレード（難易度）を表わします。
2. アルファベット

各々の段階内における科目別の種類または、担当教員が異なっていることを表わします。

ｂ整理番号について

各科目ごとに付した授業概要索引用の番号です。

ｃ開設単位について

1. 単位の無印は必修科目
2. 単位の○印は選択科目
3. 前期、または後期に記載してあるものはその期のみ開設される授業科目
4. 前期、後期ともに記載してあるものは、それぞれに異なる内容を取り扱う授業科目

ｄ開講中心年次について

その欄に指定してある学年を中心に授業が行われることを意味します。従って、中心年次が下になるほど基礎的な、しかも平易な科目が多いはずです。一般に授業は、易しいものから難しいものへ、基礎から応用へと段階的に進めていきます。この場合、いきなり1年次生が、4年次生を中心として開設された科目を履修することは無理でしょう。しかし、特別の事情から、学生が上級の中心年次に指定されている科目を履修する必要がある場合や、上級の段階の履修能力を有することが明確なときは、特別履修願を提出することにより履修を許可されます。上級の学生が下の年次に指定されている科目を履修することが可能な制度になってはいますが、余程の事情がない限りは、2年も3年も跳んで下の段階の科目を選ぶことは、好ましいことではありません。なお、教室の広さなどで、履修が制限されるときは、開講中心年次の学年に優先権が与えられます。

ｅ履修可能範囲について

1．無印は当該学科学生のみ履修可能（一般教養科目・外国語科目は除く）
2．他学科の学生が履修できる科目があり、次の記号で示してあります。
   1）◎印は特別の指定がない限り学部、短大にいずれの学科でも履修できる科目ですが、同系統学科以外の学生は一般教養科目（卒業要件）の単位となります。ただし、＃印が付してある場合は、一般教養科目（卒業要件）の単位となりません。

同系統とみなされるのは次の通りです。

人間社会学部初等教育学科⇔短期大学部子ども教育学科（初等教育学科） 生活科学部生活科学科⇔短期大学部食物科学科

   2）□印は同系統学科間（上表を参照）のみ履修できる科目で、専門科目として認定され、卒業要件の単位（選択科目）となります。
   3）同印は同時開設科目（曜日・講時・教員が同一の科目）を示します。また、備考覧には同時開設学科が示されていますので参照してください。
3．★印は前期，後期とも同一内容の授業科目
4．×印は本年度開講していない科目
5．上記以外の記載内容については、各学科毎の備考欄や欄外の指示に従ってください。

●単位換算について

学部学生（昭和女子大学）と短期大学部（昭和女子大学短期大学部）が同系統学科で相互に修得した単位は、学則第14条に基づいて、学部で60単位、短大で30単位までの範囲で認定されます。

キーワード

授業概要についているキーワードは、授業内容を具体的なテーマで表したもの、授業内容のポイントを示したものです。従って、あるテーマについて多角的に学修・研究したい場合、どの科目を選択すればよいか、またどの科目の担当教員を訪ねて教えを乞えばよいかを検索するのに便利です。大いに活用してください。

キーワードは  印で表示しています。

2.① 一般教養科目

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
人文科学	実践倫理	坂東 他	201001	1	1							1	1					1		
	日本語基礎	本学教員	201002	1	1							1	1					1		
	倫理学	掛川	201003			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	哲学概論	飯塚	201004	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	同	(心理・現代)
	現代哲学	井原	201005		②		②		②				②		②			1		
	日本精神史	関口	201006	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	アジアの思想	早田	201007	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	こころの科学A	清水(裕)	201008	②		②						②		②				1		心理の学生を除く
	こころの科学B	田中(知)	201009	②		②						②		②				1		A～Eは同一内容科目
	こころの科学C	中江	201010		②		②						②		②			1		複数履修は不可
	こころの科学D	松澤	201011		②		②						②		②			1	同	(福祉：心理学)
	こころの科学E	藤島	201012	②		②						②		②				1		
	社会心理	中江	201013			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★	心理の学生を除く
	家庭生活の心理	奥山	201014				②		②						②		②	2		
	子どもの不適応と非行	奥山	201015			②		②						②		②		2		
	幼児の心理	横山(文)	201016	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生理と心理	本多	201017		②		②						②		②			2		
	日本史概説	山本(博)	201018	②		②						②		②				1		
	日本史A(前近代)	山本(博)	201019		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
	日本史B(近現代)	千葉	201020		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
	西洋史		201021	②	②	②	②					②	②	②	②			1	×	
	日本美術通史	川瀬	201022	②	②	②	②					②	②	②	②			2		
	現代日本文学概論	太田	201023		②		②						②		②			2		
	日本近代文学概論(昭和の文学)		201024	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	×	
	日本近代文学概論(幻想小説)	福田(淳)	201025	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	日本の話芸	松浪	201026	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		
	源氏物語(絵巻から読む)	胡	201027			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★	
	英米文学概論(ポストモダンと多文化主義)	上野	201028	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	ドイツ文学概論	廣瀬	201029	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		
	フランス文学概論	江中	201030		②		②		②				②		②		②	2		
	フランス詩とシャンソン	松浪	201031		②		②		②				②		②		②	1		
	イギリス女性文学論	平井(法)	201032	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1	×	
	ドイツ文学に描かれた女性達(ゲーテを中心に)	桑原(草)	201033	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	アメリカ文学の女性像	上野	201034	②		②		②				②		②				2		
	児童文学(外国)	内藤	201035	②	②	②	②					②	②	②	②			1		日文の学生を除く
	中国文学入門(漢詩講読)	胡	201036			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	伝承文学(中国の女性伝)	尾崎	201037	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	現代中国文学	尾崎	201038	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
人文科学	比較文学・比較文化	森本	201039	②		②		②				②		②				1		
	風土と文学	元吉	201040	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	実用言語学	岸山	201041	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	ことばの世界	海崎	201042	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			2		
	音声学入門	佐藤（喜）	201043		②		②		②				②		②			1		
	漢字の誕生と変遷	尾﨑	201044	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	文章論講義	澁澤	201045	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	国語力養成A	豊田	201046	②		②						②		②				1		人数制限あり
	国語力養成B	平野	201047	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	人数制限あり
	書道（毛筆）	承	201048	①	①	①	①					①	①	①	①			1		人数制限あり
	外国人の見た日本	相原 他	201049	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	2	★	オムニバス形式
	西洋演劇史概論A	下川	201050	②		②		②				②		②		②		1		
	西洋演劇史概論B	下川	201051		②		②		②				②		②		②	1	×	
	音楽・世界のうた	伊藤（紗）	201052	①	①	①	①	①	①			①	①	①	①	①	①	1		
	音楽・日本のうた	伊藤（紗）	201053		①		①		①				①		①		①	2		
	「聴く」ための音楽概論	永岡	201054		②		②						②		②			1		
	西洋音楽史	永岡	201055	②		②						②		②				1	×	
	アメリカ文化研究	昭和ボストン教員	201056	②		②		②		②		②		②		②		–		ボストン・サマーセッション参加学生対象
	ヨーロッパ食文化	本学教員	201057	②		②		②		②		②		②		②		–		春期ヨーロッパ研修参加学生対象
	大和の歴史文化	畿央大学教員	201058	②		②		②		②		②		②		②		–		畿央大学との交流授業夏期休暇期間に実施
	東京考現学	本学教員	201059																	畿央大学用（本学学生は履修できない）
地域文化論	イギリス文化論	原田	201060	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	フランス文化論A	松浪	201061	②		②		②				②		②				2		
	フランス文化論B	江口（雄）	201062		②		②		②				②		②			1		
	ドイツ文化論	片岡	201063		②		②		②				②		②			1		
	スペイン文化論	木下（亮）	201064	②		②		②				②		②				1		
	ロシア文化論	油家	201065	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	東・中欧文化論	志摩	201066	②		②		②				②		②				1	×	
	アメリカ文化論	上野	201067		②		②		②				②		②			1		
	ラテンアメリカ文化論	下川	201068		②		②		②				②		②			1		
	東南アジア文化論	菊池（誠）	201069	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	インド文化論	早田	201070	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	中国文化論A	佐藤（喜）	201071	②		②		②				②		②				1		
	中国文化論B	フフバートル	201072		②		②		②				②		②			1		
社会科学	法学概論	高佐	201073	②		②		②		②		②		②		②		3・4	同	（歴文・心理・現代）
	法学A（憲法）	和田	201074	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		教職資格科目を兼ねる
	法学B（憲法）	入澤	201075	②		②		②				②		②				1・2		教職資格科目を兼ねる
	法学C（憲法）	中園	201076	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		教職資格科目を兼ねる

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	専攻科 単位 前期	専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
社会科学	法学D（憲法）	高佐	201077	②		②		②				②		②				1		教職資格科目を兼ねる
	法学E（憲法）	佐原	201078	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		教職資格科目を兼ねる
	法学F（憲法）	武藤	201079	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		教職資格科目を兼ねる
	法学G（くらしと法律）	大西	201080	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	法学H（日常生活における法）	富田	201081	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	政治学	佐藤（高）	201082	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	国と社会の仕組み	坂東	201083	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	入門経済学	牧内	201084	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	経済学概論	河合	201085	②		②		②				②		②				1	同	（歴文）
	西洋経済史	河合	201086		②		②						②		②			1		
	日本経済史	山崎（澄）	201087	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	時事経済論A	小島	201088			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		学部学生主対象
	時事経済論B	牧内	201089			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		学部学生主対象
	現代企業論（組織と戦略）	小島 他	201090			②		②		②				②		②		3・4	同	（現代） 人数制限あり
	現代金融ビジネス入門Ⅰ	小島 他	201170			②		②		②				②		②		2	同	（現代） 朝日生命寄付講座
	現代金融ビジネス入門Ⅱ	小島 他	201171				②		②		②				②		②	2	同	（現代） 朝日生命寄付講座
	女性と経済	松田	201091	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	2	★	
	家庭経済学A	伊藤（セ）	201092			②		②		②				②		②		2		
	家庭経済学B	伊藤（セ）	201093				②		②		②				②		②	2		
	海外教育事情	松本（淳）	201094		②		②		②				②		②			1		
	社会学	金子（晃）	201095	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1	★	
	現代日本社会A（会社と仕事）	木下（武）	201096	②		②						②		②				1		現代教養の学生を除く
	現代日本社会B（階層、家族、ジェンダー）	木下（武）	201097		②		②						②		②			1		現代教養の学生を除く
	国際関係史	志摩	201098	②	②	②	②					②	②	②	②			1	×	
	現代社会学	西脇	201099	②		②						②		②				2		
	家族社会論	西脇	201100		②		②						②		②			1		
	NGO概論	片岡	201101			②		②		②				②		②		2		
	日本事情	西川 他	201102	②		②		②		②		②		②				1		留学生に限定 オムニバス形式
	情報社会論	大串	201103	②		②						②		②				1		
	情報と社会生活Ⅰ	後藤（涼）	201104	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	情報機器操作関連科目(基礎)
	情報と社会生活Ⅱ	鶴田・後藤（涼）	201105			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3	★	情報機器操作関連科目(応用)
	メディア文化論	澁澤	201106	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2	★	
	ジャーナリズム論	今村	201107			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		
	放送論	今村	201108			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		
	都市論	鶴田	201109	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	考古学（日本の遺跡）	小泉（玲）	201110	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	民族と文化	田畑	201111	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	民俗と芸能	渡辺（伸）	201112	②	②	②	②					②	②	②	②	②	②	1		
	宗教文化論	阿部（美）	201113	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	快適環境論	佐野・永山	201114		②		②						②		②			1		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
社会科学	住居学	竹田	201115		②		②		②				②		②			1		
	住まいの歴史	磯野	201116	②		②		②				②		②				1		
	住まいの家族学	竹田	201117		②		②						②		②			1		
	アジアの住居史	内海	201118	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生活と色彩	谷井	201119	②		②		②				②		②				1		環境の学生を除く
	景観と町並み保存	内海	201120	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	世界遺産の建築学	堀内	201121				②		②						②		②	2		
	西洋館の文化史	堀内	201122		②		②		②				②		②		②	2	同	(歴文)
	コミュニティとまちづくり	瀬沼	201123	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	建築と福祉	木村(信)	201124	②		②		②				②		②				1		
	福祉住環境論	瀬沼	201125		②		②		②				②		②			1		環境の学生を除く
	社会福祉概論	梶原	201126	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	ボランティア論	興梠	201127	②		②		②				②		②				1		
	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論A)	興梠	201128		②		②		②		②		②		②		②	−		地域GP関連講座(受講条件あり　※1)
	コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論B)	山崎(洋)・藤島・鵜養	201129	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	−	★	地域GP関連講座(受講条件あり　※2)
	英語で地域貢献	伊藤(純)・高味	201130	②		②		②		②		②		②		②		−		英語GP関連講座(人数制限あり)
就職支援	現代社会事情	村野	201131					②	②									3		人数制限あり
	現代社会事情概説(女性記者の視点から)	首藤 他	201132	②		②		②		②		②		②		②		2・3		毎日新聞社との提携講座 オムニバス形式
	小論文の書き方A	小畑	201133			②	②	②	②			②	②	②	②			学3短2	★	人数制限あり
	小論文の書き方B	阿部(紘)	201134			②	②	②	②			②	②	②	②			学3短2	★	人数制限あり
	小論文の書き方C	三浦(正)	201135			②	②	②	②			②	②	②	②			学3短2	★	人数制限あり
	自己表現とコミュニケーション	野沢	201136				②	②	②				②	②	②			学3短2	★	人数制限あり
	基礎力養成講座A	常喜・尾崎	201137			②	②	②	②				②	②	②			学3短2	★	
	基礎力養成講座B	瀬沼　他	201138						②									3		現代の学生を除く 人数制限あり
	インターンシップ	首藤 他	201139	②		②		②		②		②		②		②		学2・3短2		進路支援センターで担当
自然科学	科学文化史	藤岡	201140	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1		
	数学A(数学の基礎)	松原	201141	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	数学B(統計学の基礎)	松原	201142			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	数学C(形とパターンの数学)	岡	201143	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	基礎化学	中山	201144		②		②		②		②		②		②		②	1		科学・食物の学生を除く
	情報処理	佐藤(豊)	201145			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	天文学	福島(登)	201146	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生命科学と社会	青野	201147			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★	
	比較行動学	常喜	201148			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	人間と環境	常喜	201149	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	自然保護論	常喜	201150	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	森林と環境	中山	201151		②		②		②				②		②		②	2		
	エネルギー資源	佐藤(豊)	201152			②	②	②	②					②	②	②	②	2		

開講中心年次　履修可能範囲等　備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目		担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
自然科学	色の科学	大津	201153		②		②		②				②		②			1	×	
	香りの科学	相坂	201154	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1・2	★	
	感覚の科学	佐藤（豊）	201155		②		②						②		②			1		
	生活用品の科学	角田	201156	②		②						②		②				1		
	家庭の医学A	戸谷	201157	②		②		②				②		②				1		
	家庭の医学B	藤岡	201158	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	食の科学	竹山	201159	②		②						②		②				1・2		
	栄養科学（食卓で見る科学）	小川（睦）	201160		②		②						②		②			1		科学・食物の学生を除く
	栄養科学（台所の科学入門）	横塚	201161	②		②						②		②				1		科学・食物の学生を除く
	食と生活	秋山（久）	201162	②		②		②				②		②				1		
	食生活と調理	関本	201163	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	食生活と食品の安全性	福島（正）	201164	②		②		②				②		②		②		1・2		
保健体育	スポーツを考える	渡辺（剛）	201165	②	②	②	②					②	②	②	②			1		教職資格科目を兼ねる（短大）
	身体と運動	白川（哉）	201166	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	教職資格科目を兼ねる（短大）
	トレーニングと栄養	渡辺（剛）	201167		②		②						②		②			1		
	舞踊と身体（世界の舞踊）	白川（哉）	201168		②		②						②		②			1		
	体育実技	白川・渡辺　他	201169	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	−		履修については ※3 を参照

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※1　「コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論A）」の受講条件：　一般教養科目の「ボランティア論」または人間社会学部専門科目の「福祉環境とボランティア」の単位を取得済みであること。

※2　「コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論B）」の受講条件：　心理学科学生または教職課程履修者に限る。一般教養科目の「ボランティア論」または人間社会学部専門科目の「福祉環境とボランティア」を履修済みまたは履修中であること。

※3　「体育実技」の履修について：　平成19年度入学生から、科学・初教・食物・子ども教育の4学科は1単位必修、その他の学科は選択。2単位まで履修可能。取得単位は一般教養科目の単位に含められる。

オープンカレッジ開講の一般教養科目単位認定講座

平成20年度、オープンカレッジで開講される講座のうち、以下の科目が一般教養科目（演習）として単位認定されます。

科目名	単位数	担当教員	コーディネーター
国内旅行業務取扱管理者対策講座	3	（外部講師）	相原由美子
総合旅行業務取扱管理者対策講座	5	（外部講師）	相原由美子
色彩能力検定3・2級対策講座	2	（外部講師）	谷井　淑子
秘書技能検定準1級対策講座	1	（外部講師）	丹羽　正子
秘書技能検定2級対策講座	1	（外部講師）	丹羽　正子
日商簿記3・2級対策講座	2	（外部講師）	小島　　徹
カラーコーディネーター2級対策講座	1	（外部講師）	谷井　淑子
金融知力3級対策講座	1	引間雅史	−
公務員試験対策講座	4	（外部講師）	井原　奉明
福祉住環境コーディネーター3・2級対策講座	1	（外部講師）	竹田喜美子
初級システムアドミニストレータ対策講座	2	（外部講師）	田中　　均

・受講料が必要です。　・受講人数が少ない場合、開講しないことがあります。
・開講時期については、オープンカレッジのパンフレットや学内掲示（80年館）等で発表されます。
・詳細は直接オープンカレッジの窓口に問い合わせて下さい。　TEL. 03-3411-5100

一般教養科目として履修できる各学科専門科目

※他学科学生が履修すると、一般教養科目として単位認定されます。（ただし、学部・短大の同系列学科間を除く）
※科目によって、他学科生の人数制限や受講条件があります。履修を希望する場合は、必ず該当学科の担当教員に相談してください。
※科目の詳細については、各学科のカリキュラム表及びシラバスを参照してください。

日本語日本文学科

漢文の基礎	パソコン日本語学入門A	中国文学Ⅰ（詩文）	中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）	日本語教育実習Ⅰ（教壇０８）
ことばと社会	パソコン日本語学入門B	中国文学Ⅰ（史伝・思想）	日本語教育概論Ⅰ	日本語教育実習Ⅱ（教壇０８）
有職故実	古典文学ⅠA（古事記）	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	言語政策論Ⅰ	日本語教育実習（個別０８）
史料解読	古典文学ⅠA（万葉集）	日本語学Ⅱ（こゝろ）	言語政策論Ⅱ	日本語教育実習（海外０８）
近代詩歌	古典文学ⅠA（更級日記）	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	異文化間コミュニケーションⅠ	日本語教育言語分析法研究
外からみた日本文学	古典文学ⅠA（源氏物語）	古典文学Ⅱ（枕草子）	異文化間コミュニケーションⅡ	日本語文法論
日本漢文	古典文学ⅠA（古今集）	古典文学Ⅱ（伊勢物語）	社会言語学	日本語表現法
日本の演劇	古典文学ⅠB（宇治拾遺物語）	古典文学Ⅱ（隠者文学）	第二言語教育概説	日英対照研究
言語学	古典文学ⅠB（江戸の旅）	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	第二言語習得論	日韓対照研究
書誌学	古典文学ⅠB（江戸の恋）	古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	日本語教育学ⅠA（音声）	日中対照研究
日本民俗学	近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	近代文学Ⅱ（川端康成）	日本語教育学ⅠB（書写）	書道史
日本思想史	近代文学Ⅰ（子どもの風景）	近代文学Ⅱ（比較文学）	日本語教育学ⅠC（文法）	日本の書芸
日本語学Ⅰ（現代語文法）	近代文学Ⅰ（遠藤周作）	近代文学Ⅱ（現代小説）	日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	
日本語学Ⅰ（音声と音韻）	近代文学Ⅰ（映像でよむ文学の近代）	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	日本語教育学ⅡB（作文・読解）	
日本語学Ⅰ（中世語文法史）	児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	児童文学Ⅱ（外国）	日本語教育学ⅡC（教材・教具）	
日本語学Ⅰ（日本語史）	児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	中国文学Ⅱ（白氏文集）	日本語教育指導方法論	

英語コミュニケーション学科

20 世紀アメリカ小説 C	イギリス文化概論 B	英語を通して見える世界（コトバと文化）	ことばの成り立ちと仕組み	
20 世紀アメリカ小説 D	英語観察術（翻訳の世界）	現代英文法A（重要構文に慣れる）	児童英語実践指導法	
アメリカ文化概論 B	英語の語源学・言葉の誕生を知る	現代英文法 C（英語感覚トレーニング）		

歴史文化学科

アジア考古学	古文書解読	地誌通論A－日本地誌－	日本生活文化史概論	文化財保存修復学A
映画史	茶道史・茶道演習	地誌通論B－世界地誌－	日本美術史概説	文化財保存修復学B
演劇文化論	自然地理学概論	地理学特論－地理学の諸問題－	日本美術史基礎	文化財保存修復学基礎
北アジア文化特論	実験考古学	伝統文化の現場	日本美術史特論A－江戸絵画－	文化財保存修復学実習
教育学概論	宗教学概論	東洋史概説	日本服飾史	文化人類学概論
キリスト教文化史	史料解読	東洋美術史概説	ヒエログリフ・テキスト解読	民俗学概論
近代女性史文献講読	人文地理学概論	日本近現代史史料解読	ヒエログリフ入門	民俗学特論A－地域と祭り－
経済学概論	西洋館の文化史	日本近現代史特論	比較女性史論	民俗学特論B－民俗と民具－
現代美術論	西洋中・近世史	日本芸能史	東シナ海文化交流史	民俗調査法
工芸史	西洋美術史概論	日本芸能史基礎－調査法－	服飾史資料基礎	有職故実
考古学概論	西洋美術史特論－スペイン美術－	日本建築史	仏教文化史	ヨーロッパ建築史
考古学実習A	西洋服飾史	日本考古学特論A－縄文－	仏教文献講読基礎	歴史文化特論－寺社縁起の世界－
考古学実習B	禅と日本文化	日本考古学特論B－弥生・古墳－	フランス文化概説	
古代エジプト史	地域文化概論	日本考古学特論C－中世・近世－	ヨーロッパ近代文化－ベルエポックのパリ－	
古代オリエント文化史	地域文化特論－東北・北海道の近代化－	日本思想史	文化財の材料－にせ物発見－	

心理学科

家族葛藤の心理学	児童心理学	対人関係論	災害の社会心理学	
家族心理学	人格心理学	比較行動学（心理）	精神分析理論	
教育心理学	青年心理学	マスコミュニケーションの社会心理学	犯罪心理学	

福祉環境学科

コミュニティ・サービスラーニング（福祉環境とボランティア）	建築計画	女性福祉論	労働とジェンダー	児童・家庭ソーシャルワーク
医療福祉論	高齢者の生活と福祉	地域福祉論	雇用・労働と社会政策	保育ソーシャルワーク
海外ボランティア演習	児童福祉論	福祉デザインⅠ	国際福祉論	
家族援助論	社会福祉哲学	福祉とライフマネジメント	福祉ジェンダー統計論	
家族福祉論	障害者福祉論	老人福祉論	地域施設マネジメント論	
環境デザイン論	食生活と福祉	福祉社会と社会政策	福祉 NPO マネジメント	

現代教養学科

アート・マネージメントⅠ	企業と広報	現代社会論	地域研究（北アジア）	
アート・マネージメントII	現代アメリカ文化論	現代都市事情	通訳・翻訳研究	
日本語表現（話し方／ナレーション）	現代英国文化論	現代都市論	哲学入門	
環境の社会学	現代企業論（組織と戦略）	国際理解入門	東アジア言語社会研究	

初等教育学科

人間形成言論	教育社会学	多文化共生教育	地域社会教育	児童文学
自己形成史分析	教育経営	人権教育	特別支援教育	児童文化
教育哲学	メディア教育	環境教育	現代保育論	病児保育研究
教育史				

生活環境学科

アパレル企画論	建築史（日本）	生活科学概論	被服学概論	保育学（実習を含む）
家族関係論	消費者経済学	生体環境論	被服構成学	
家庭機械及び家庭電気	消費生活論	設計製図－教職－	服飾史Ⅰ	
家庭経営学	食物学概論（栄養学を含む）	デザイン画描法	服飾史Ⅱ	

生活科学科

アメリカ食生活研究コース	家庭経営学（家族と家庭経営）	家庭経済学B（外部経済と家計）	生活科学概論	被服学B（被服設計）
家庭機械及び家庭電気	家庭経済学A（家計経済）	住居学A（住生活）	被服学A（被服材料）	

文化創造学科　（昼間主コース）

ＩＴ概論	カラーデザインＢ	コンピュータ・リテラシーB（Microsoft Office Specialist）	デジタル編集Ｂ	博物館実習Ⅰ
ＷＥＢデザインＡ	環境共生論（地球にやさしいくらし方）	住居計画（住居を考えるポイント）	デッサン	博物館実習Ⅱ
ＷＥＢデザインＢ	環境とくらし	住生活概論	伝統文化実習Ａ（茶の湯の文化）	バリアフリー建築論（空間のバリアフリー）
アメリカ文化	環境と人間	食と安全	伝統文化実習Ｂ（毛筆書道入門）	販売論
アメリカ文学（ニューイングランド文学）	館務実習	食の文化（食べ物をめぐる人類の知恵）	日本建築史（古建築の形）	被服学
イギリス文化	基礎デザイン論Ｂ	新聞を読む	日本語学概論	被服構成学及び実習
イギリス文学Ａ（児童文学）	基礎の数学	数理基礎力講座（SPI 準備）	日本語スピーチ／アナウンス	ファッションブランド研究
イギリス文学Ｂ（ゴシック小説）	基礎の力学	西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	日本住居史（住居の形と住まい方）	文学と映画
イギリス文学Ｃ（ヴィクトリア朝小説）	教育学概論	生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	日本の古典文学を読む	文学入門（世界の文学）
意匠学	近代文化論	西洋建築史（世界遺産への招待）	日本仏教文化	文化研究入門
異文化間コミュニケーション	空間計画（インテリアの考え方）	西洋美術を見る目	日本文化Ｃ（日本の芸能）	ベーシック・コンピュータ・スキル
イメージ編集Ａ	くらしとＮＰＯ（市民にできる社会貢献）	西洋文化実習（プロトコル）	日本文化Ｅ（モードとファッション）	ポップカルチャー
インテリアコーディネート	芸術文化実習Ａ（アート）	短歌創作	日本文化Ｆ（建築）	メディア概論
英語学概論	芸術文化実習Ｂ（ダンス）	地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	日本文化Ｇ（考古学）	メディアリテラシーＡ（テレビ）
英語で小説を読む	建築学特講（建築と職能）Ａ	中国文化	日本文学Ａ（和歌）	メディアリテラシーＢ（映画）
映像メディア概論（映画・映像の基礎知識）	建築学特講（建築と職能）Ｂ	中国文学（唐詩）	日本文学Ｂ（物語）	メディアリテラシーＣ（広告）
英米文学史	建築計画（人間のための空間づくり）	テキスタイル造形演習（織・編）	日本文学Ｃ（現代小説）	メディアリテラシーＤ（ＩＴ）
栄養と健康（食とコミュニケーション）	硬筆書道初級	テキスタイル造形演習（染）	日本文学史	毛筆書道中級
オフキャンパススタディＡ（能）	硬筆書道中級	デザイン基礎技法Ａ（平面）	博物館学Ａ	脚本論
オフキャンパススタディＢ（文学散歩）	ことばと社会	デザイン基礎技法Ｂ（立体）	博物館学Ｂ	脚本創作
家庭経営学	コンピュータ・リテラシーＡ（パソコン検定）	デジタル編集Ａ	博物館学Ｃ	テキスタイル文化論

文化創造学科　（夜間主コース）

English Communication Ⅰ	英語で読む小説Ⅱ	空間計画（インテリアの考え方）	生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	文芸創作（自分史）
English Communication Ⅱ	英文添削（ジャーナルを書く）	建築学特講（建築と職能）Ａ	西洋建築史（世界遺産への招待）	ベーシック・コンピュータ・スキル
ＩＴ概論	英米文学史	建築計画（人間のための空間づくり）	短歌創作	メディア概論
アメリカ文化	栄養と健康（食とコミュニケーション）	硬筆書道（書写検定対策）	地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	メディアリテラシーＤ（ＩＴ）
イギリス文化	オフィス英語	硬筆書道基礎（書写検定対策）	中国文化	毛筆書道（書写検定対策）
意匠学	オフキャンパススタディＢ（文学散歩）	ことばと社会	デザイン基礎技法Ｂ（立体）	毛筆書道基礎（書写検定対策）
インターネット英語	外国文学Ｅ（中国）	住居学概論	伝統文化実習Ａ（茶の湯の文化）	保育学（実習を含む）
英語学概論	考える英文法（コミュニケーションに使える英文法）	住居計画（住居を考えるポイント）	日本語概論	食と安全
英語でメール	観光英語	小説・映画から見る英米文化	日本の古典文学を読む	食品学Ⅰ
英語で読む雑誌・新聞	基礎の数学	ショートスピーチ	日本文学史	調理学実習Ⅰ
英語で読む小説Ⅰ	近代文化論	生活英語	日本文化の源流	衣の文化史

食物科学科

家庭経営学（家族関係を含む）	食情報とマーケティング	微生物学	フードコーディネート論	
健康管理概論	食品鑑別論（演習）	被服学	フードスペシャリスト論	
住居学Ⅰ	食料経済（食品の流通と消費）	被服構成学及び実習	保育学（実習を含む）	

子ども教育学科

児童文学	特別支援教育	病児保育研究		

2. ② 教職に関する専門科目

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	専攻科 単位 前期	専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
教職に関する専門教育科目	教育原理	小池・西尾	204001	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	教育心理学A	古川	204002			②	②	②	②									2	★	
	教育心理学B	木下（芳）	204003			②		②										2		
	教育心理学C	木下（芳）	204004										②		②			1		
	教育行政学	西尾	204005			②	②	②	②									2	★	
	教育課程論	小池	204006			②	②	②	②			②	②	②	②			3・2	★	
	教職概論	田中（康）・小池	204007	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	教育法規	入澤	204008			②	②	②	②									2	★	
	教育制度論	入澤	204009			②	②	②	②									2	★	栄養教諭免許履修者対象
	教育工学	田中（康）・坂谷内	204010			②	②	②	②			②	②	②	②			2・1	★	
	比較教育制度論	松本（淳）	204011		②		②		②				②		②			1		
	教職課程特講A	石橋	204012					②	②	②								3・4		
	教職課程特講B	小池	204013					②	②	②								3・4		
	教職課程特講C	石橋	204014					②	②	②								3・4		
	教職課程特講D	西尾	204015					②	②	②								3・4		
	国語科教育法A	中村（敦）	204016			④	④	④	④									3	★	週4時間
	国語科教育法B	久下	204017									②	②	②	②			1		
	書道科教育法	横山（淳）	204018			②	②	②	②									3		
	英語科教育法A	金子（朝）・緑川	204019			④	④	④	④									3	★	週4時間
	英語科教育法B	小林（多）	204020									②		②				2		
	公民科教育法	渥美	204021			②	②	②	②									3		
	地理歴史科教育法	田畑・小川（浩）	204022			②	②	②	②									3		
	社会科教育法	峯岸	204023			②	②	②	②									3		
	家庭科教育法A	由比	204025			②	②	②	②									3		
	家庭科教育法B	今井	204026										②		②			1		
	保健科教育法	熊澤	204027			②	②	②	②									3		
	福祉科教育法	月田	204028			②	②	②	②									3		
	道徳教育の研究A	押谷	204029			②	②	②	②									3	★	
	道徳教育の研究B	佐藤（道幸）	204030									①	①	①	①			2	★	
	特別活動の研究A	田中（康）	204031	②	②	②	②	②	②									2	★	
	特別活動の研究B	佐藤（道幸）	204032									①	①	①	①			1	★	
	生徒指導・進路指導の研究A	佐藤（道幸）	204033			②	②	②	②									2	★	
	生徒指導・進路指導の研究B	佐藤（道幸）	204034										②		②			1		
	生徒指導の研究	田中（康）	204035			②		②				②		②				2		栄養教諭免許履修者対象
	教育相談の研究	山崎（洋）	204036			②	②	②	②				②	②	②			2	★	
	総合演習	小池	204037			②	②	②	②					②	②			2	★	いずれか2単位を履修
	総合演習	尾﨑	204038			②	②	②	②					②	②			2	★	
	総合演習	田中（康）	204039				②		②						②			2		
	教育実習の指導	田中（康）	204040					①	①	①			①	①				3・2	★	
	介護等体験の指導A	宮下	204041			①		①										2		体験実施の年に履修
	介護等体験の指導B	爾	204042									①		①				1		体験実施の年に履修
	教育実習		204043							④				④						

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

2. ③ 図書館に関する科目

授業科目		担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	開講中心年次 学部	開講中心年次 短大	履修可能範囲等	備考
司書必修科目 甲群	生涯学習概論	田中(均)	205001	①	①	①	①	①	①			①	①			2	1	★#	〔1〕
	図書館概論	大串	205002	②	②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館サービス論	大串	205003	②	②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	情報サービス概説	中西	205004		②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館資料論	中西	205005			②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	資料組織概説	田中(均)	205006		②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館経営論	大串・田中(均)	205007				①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	〔1〕
	専門資料論	中西	205008			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	〔1〕
	児童サービス論	大串	205009		①	①	①	①	①			①	①	①	①	2	1	★#	〔1〕
	レファレンスサービス演習	中西	205010			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
	情報検索演習	大串・中西	205011			①	①	①	①	①	①			①	①	3	2	★#	
	資料組織演習A	田中(均)	205012			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
	資料組織演習B	田中(均)	205013			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
司書選択科目 乙群	図書及び図書館史	中西	205014			①		①		①		①		①		3	2	#	〔1〕 2科目2単位選択必修
	資料特論	中西	205015				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
	コミュニケーション論	中西	205016			①		①		①				①		3	2	#	〔1〕
	情報機器論	田中(均)	205017				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
	図書館特論	植田	205018				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
司書教諭科目	学校経営と学校図書館	菅田	205019	②		②		②		②		②		②		3	2	#	
	学習指導と学校図書館	菅田	205020	②		②		②		②		②		②		3	2	#	
	学校図書館メディアの構成	菅田	205021		②		②		②		②		②		②	3	2	#	
	読書と豊かな人間性	村越(正)	205022		②		②		②		②		②		②	3	2	#	
	情報メディアの活用	田中(均)	205023		②		②		②		②		②		②	3	2	#	

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦#印は一般教養にならない

注:司書、司書教諭の資格取得を希望する者は、「Ⅲ－3. 諸資格の取得」の「5. 司書・司書教諭」の項を、必ず参照すること。

2. ④ 外国語科目（学部）

授業科目		担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	専攻科 単位 前期	専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	英語 U-AIA（ベーシック・イングリッシュⅠA）	原田（慎）他	202001	①														1		〔2×2〕U-AⅠAとU－AⅠBはペア
	英語 U-AIB（ベーシック・イングリッシュⅠB）	小川（厚）他	202002	①														1		
	英語 U-AIIA（ベーシック・イングリッシュⅡA）	夏苅他	202003		①													1		〔2×2〕U-AⅡAとU－AⅡBはペア
	英語 U-AIIB（ベーシック・イングリッシュⅡB）	奈古他	202004		①													1		
	英語 U-AS（基礎英語・1年生対象）	金子（朝）	202005		①													1		2月集中クラス
	英語 U-BI（エッセンシャル・イングリッシュⅠ）	石塚他	202006			①		①		①								2		
	英語 U-BⅡ（エッセンシャル・イングリッシュⅡ）	菅原他	202007				①		①		①							2		
	英語 U-C（ジェネラル・イングリッシュ）	奈古他	202008			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-D（トラベル英語）	藤守他	202009			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-DS（旅行業務英語）	小川（厚）他	202010			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-E（ビジネス英語）	大内田他	202011			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-F（メディア英語）	マディーン他	202012			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-G（デジタル英語）	笠井他	202013			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-H（TOEIC・英検対策英語）	久保他	202014			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-HS（TOEIC・英検対策英語・上級）	杉森他	202015			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-I（アカデミック・リーディング）	原田（慎）	202016			①		①		①								2		
	英語 U-IS（アカデミック・ライティング）	増澤	202017				①		①		①							2		
	英語 U-J（異文化理解）	永田他	202018			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-K（文学）	森本他	202019			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-L（プレゼンテーション）	マディーン他	202020			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-MIA（科学英語ⅠA）	鈴木他	202021			①		①		①								2		
	英語 U-MIB（科学英語ⅠB）	清水他	202022			①		①		①								2		
	英語 U-MⅡA（科学英語ⅡA）	笠井他	202023				①		①		①							2		
	英語 U-MⅡB（科学英語ⅡB）	高味他	202024				①		①		①							2		
	英語 U-N（専門英語：学科別）	石塚他	202025			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-O（文法トレーニング）	鈴木他	202026			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-P（児童文学）	古東他	202027			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-Q（発信型）	小川（喜）他	202028			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-R（海外で学ぶための英語）	フルマー他	202029			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語 U-S（基礎英語・2・3年生対象）	高味	202030				①		①		①							2		2月集中クラス
	英語 U-T（ポップカルチャー英語）	榊原他	202031				①		①		①							2		
	英語 U-XⅠA（アドバンストイングリッシュⅠA）	マディーン	202032	①		①		①		①								1		
	英語 U-XⅠB（アドバンストイングリッシュⅠB）	小川（厚）	202033	①		①		①		①								1		
	英語 U-XⅡA（アドバンストイングリッシュⅡA）	マディーン	202034		①		①		①		①							1		
	英語 U-XⅡB（アドバンストイングリッシュⅡB）	石塚	202035		①		①		①		①							1		
	ドイツ語（入門A・B）	廣瀬他	202036	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	ドイツ語（初級A・B）	廣瀬他	202037		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	ドイツ語（入門A・B） sクラス	桑原他	202038		②								②					1		〔2×2〕 ※② 後期開講
	ドイツ語（初級A・B） sクラス	桑原他	202039			②								②				2		〔2×2〕 ※② 前期開講
	ドイツ語（グリムを読むA）	廣瀬	202040			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語（絵本からインターネットまでA）	廣瀬	202041			①		①		①				①		①		2		

開講単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※②　週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	専攻科 単位 前期	専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	ドイツ語(検定対策A)	寺島	202042			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(歌曲に親しもうA)	桑原	202043			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(やさしい会話C)	岡山	202044			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(もっと話そうB)	岡山	202045			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(ウィーン物語A)	岩田	202046			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(旅行のドイツ語A)	寺島	202047			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(ドイツ最新事情)	片岡	202048			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語(グリムを読むB)	廣瀬	202049				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(絵本からインターネットまでB)	廣瀬	202050				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(検定対策B)	寺島	202051				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(歌曲に親しもうB)	桑原	202052				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(ウィーン物語B)	岩田	202053				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(やさしい会話D)	岡山	202054				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語(旅行のドイツ語B)	寺島	202055				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(入門A・B)	後藤他	202056	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	フランス語(初級A・B)	江中他	202057		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	フランス語(入門A・B) sクラス	大野他	202058		②								②					1		〔2×2〕 ※② 後期開講
	フランス語(初級A・B) sクラス	大野他	202059			②								②				2		〔2×2〕 ※② 前期開講
	フランス語(二年目のフランス語A)	松浪	202060			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(物語を読もうF)	江中	202061			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(フランス現代文化探訪A)	大野	202062			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(検定試験対策E)	大野	202063			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(絵本を読もうC)	後藤	202064			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(やさしい会話E)	ベルフロワ	202065			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(話してみようE)	イトウ	202066			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(いろいろな文章を読もうA)	松浪	202067			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(やさしい読物)	田戸	202068			①		①		①				①		①		2		
	フランス語(二年目のフランス語B)	松浪	202069				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(物語を読もうG)	江中	202070				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(検定試験対策F)	大野	202071				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(やさしい会話F)	ベルフロワ	202072				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(話してみようF)	イトウ	202073				①		①		①				①		①	2		
	フランス語(いろいろな文章を読もうB)	松浪	202074				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語(入門A・B)	三浦他	202075	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	スペイン語(初級A・B)	下川他	202076		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	スペイン語(入門A・B) sクラス	稲森他	202077		②								②					1		〔2×2〕 ※② 後期開講
	スペイン語(初級A・B) sクラス	稲森他	202078			②								②				2		〔2×2〕 ※② 前期開講
	スペイン語(短編を読むC)	三浦	202079			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語(検定準備D)	廣田	202080			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語(検定準備B)	廣澤	202081			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語(文法総仕上げA)	泉水	202082			①		①		①				①		①		2		

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

※②　週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	スペイン語（スペイン語で読む日本A）	泉水	202083			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（スペイン語文献講読）	稲森	202084			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（やさしい会話E）	シミズ	202085			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（楽しい会話E）	ガリード	202086			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（映画で学ぶスペイン語）	三浦	202087			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（短編を読むD）	三浦	202088				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（検定準備E）	廣田	202089				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（旅行のスペイン語A）	泉水	202090				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（やさしい会話F）	シミズ	202091				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（楽しい会話F）	ガリード	202092				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（作文練習）	三浦	202093				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語（入門A・B）	山崎他	202094	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	イタリア語（初級A・B）	山崎他	202095		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	イタリア語（楽しい会話G）	ブッチ	202096			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語（イタリア語で読もうG）	山崎	202097			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語（講読E）	萱野	202098			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語（楽しい会話H）	ブッチ	202099				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語（イタリア語で読もうH）	山崎	202100				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語（講読F）	ブッチ	202101				①		①		①				①		①	2		
	ロシア語（入門A・B）	油家	202102	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	ロシア語（初級A・B）	油家	202103		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	ロシア語（やさしい実践会話A）	油家	202104			①		①		①				①		①		2		
	ロシア語（やさしい実践会話B）	油家	202105				①		①		①				①		①	2		
	中国語（入門A・B）	フフバートル他	202106	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	中国語（初級A・B）	佐藤他	202107		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	中国語（入門A・B） sクラス	佐藤他	202108		②								②					1		〔2×2〕 ※② 後期開講
	中国語（初級A・B） sクラス	マイリーサ他	202109			②								②				2		〔2×2〕 ※② 前期開講
	中国語（やさしい小説を読むA）	承	202110			①		①		①				①		①		2		
	中国語（中国語で読む小説A）	胡	202111			①		①		①				①		①		2	×	隔年開講
	中国語（コミュニケーションA）	マイリーサ	202112			①		①		①				①		①		2		
	中国語（時事A）	佐藤	202113			①		①		①				①		①		2		
	中国語（精読A）	フスレ	202114			①		①		①				①		①		2		
	中国語（検定試験準備A）	章	202115			①		①		①				①		①		2		
	中国語（読解A）	波多野	202116			①		①		①				①		①		2		
	中国語（会話A）	マイリーサ	202117			①		①		①				①		①		2		
	中国語（やさしい会話A）	承	202118			①		①		①				①		①		2		
	中国語（楽しい会話A）	章	202119			①		①		①				①		①		2		
	中国語（読む中国語）	フスレ	202120			①		①		①				①		①		2		
	中国語（話す中国語）	フスレ	202121			①		①		①				①		①		2		
	中国語（文法A）	佐藤	202122			①		①		①				①		①		2		
	中国語（講読A）	市川	202123			①		①		①				①		①		2		

開講単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※②　週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	中国語(漢詩を読むA)	胡	202124			①		①		①				①		①		2		隔年開講
	中国語(学び続ける中国語)	小原	202125			①		①		①				①		①		2		
	中国語(暮らしの会話A)	張	202126			①		①		①				①		①		2		
	中国語(検定試験対策)	フスレ	202127			①		①		①				①		①		2		
	中国語(文法B)	佐藤	202128				①		①		①				①		①	2		
	中国語(暮らしの会話B)	張	202129				①		①		①				①		①	2		
	中国語(やさしい小説を読むB)	承	202130				①		①		①				①		①	2		
	中国語(中国語で読む小説B)	胡	202131				①		①		①				①		①	2	×	隔年開講
	中国語(コミュニケーションB)	マイリーサ	202132				①		①		①				①		①	2		
	中国語(時事B)	佐藤	202133				①		①		①				①		①	2		
	中国語(検定試験準備B)	章	202134				①		①		①				①		①	2		
	中国語(読解B)	波多野	202135				①		①		①				①		①	2		
	中国語(精読B)	フスレ	202136				①		①		①				①		①	2		
	中国語(会話B)	マイリーサ	202137				①		①		①				①		①	2		
	中国語(たのしい会話B)	章	202138				①		①		①				①		①	2		
	中国語(やさしい会話B)	承	202139				①		①		①				①		①	2		
	中国語(講読B)	市川	202140				①		①		①				①		①	2		
	中国語(漢詩を読むB)	胡	202141				①		①		①				①		①	2		隔年開講
	中国語(中国語研究C)	フフバートル	202142	①		①		①		①		①		①		①		-		
	中国語(中国語研究D)	フフバートル	202143		①		①		①		①		①		①		①	-		
	韓国語(入門A・B)	李(守)他	202145	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	韓国語(初級A・B)	李(守)他	202146		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	韓国語(入門A・B) sクラス	李(守)他	202147		②								②					1		〔2×2〕 ※② 後期開講
	韓国語(初級A・B) sクラス	李(守)他	202148			②								②				2		〔2×2〕 ※② 前期開講
	韓国語(講読A)	八重樫	202149			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(IT韓国語A)	李(淑)	202150			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(作文)	李(守)	202151			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(文法)	李(守)	202152			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(会話C)	李(淑)	202153			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(聴解・文法A)	高橋	202154			①		①		①				①		①		2		
	韓国語(聴解・文法B)	高橋	202155				①		①		①				①		①	2		
	韓国語(時事韓国語)	李(守)	202156				①		①		①				①		①	2		
	韓国語(講読B)	八重樫	202157				①		①		①				①		①	2		
	韓国語(会話D)	李(淑)	202158				①		①		①				①		①	2		
	韓国語(IT韓国語B)	李(淑)	202159				①		①		①				①		①	2		

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※②　週2回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

2. ④ 外国語科目（短大）

	授業科目	担当者	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	英語Ｊ-Ａ　（総合英語Ⅰ）	井原他	202160									①		①		①				
	英語Ｊ-Ｂ　（総合英語Ⅱ）	榊原他	202161										①		①		①			
	英語Ｊ-Ｃ　（編入対策英語）	笠井	202162									①		①		①				
	英語Ｊ-Ｅ　（発音トレーニング）	ナイト	202163									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｆ　（児童英語）	丹羽	202164									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｇ（アクティブ･リーディング）	榊原他	202165									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｈ（アクティブ･ライティング）	佐藤（道）他	202166									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｊ　（英検２級対策）	丹羽	202167										①		①		①			
	英語Ｊ-Ｋ　（ＴＯＥＩＣ対策）	原田（俊）他	202168									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｍ（ネットワーク英語）	笠井他	202169									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｎ　（生活英語）	フルマー他	202170									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｏ（アクティブ･リスニング）	岡田他	202171									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｐ　（時事英語）	笠井	202172									①		①		①				
	英語Ｊ-Ｑ　（観光英語）	古東他	202173									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｒ（コミュニケーション英語Ⅰ）	ナイト	202174									①		①		①				
	英語Ｊ-ＲＸ（コミュニケーション英語Ⅱ）	ナイト	202175										①		①		①			
	英語Ｊ-Ｓ　（日本文化紹介）	佐藤（道）	202176									①		①		①				
	英語Ｊ-Ｔ　（ポップ･カルチャー英語）	榊原他	202177									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｕ　（スクリーン英語Ⅰ）	古東他	202178									①		①		①				
	英語Ｊ-ＵＸ（スクリーン英語Ⅱ）	藤守他	202179										①		①		①			
	英語Ｊ-Ｖ（童話で学ぶ英語）	小川（厚）他	202180									①	①	①	①	①	①		★	
	英語Ｊ-Ｗ（音とリズムの英語）	古東他	202181									①	①	①	①	①	①		★	
	ドイツ語（入門Ａ）	片岡他	202182	①								①		①		①		1		
	ドイツ語（入門Ｂ）	岩田	202183		①								①		①		①	1		
	フランス語（入門Ａ）	江中他	202184	①								①		①		①		1		
	フランス語（入門Ｂ）	田戸他	202185		①								①		①		①	1		
	スペイン語（入門Ａ）	廣澤他	202186	①	①							①	①	①	①	①	①	1	★	
	スペイン語（入門Ｂ）	廣澤	202187		①								①		①		①	1		
	中国語（入門Ａ）	章他	202188	①								①		①		①		1		
	中国語（入門Ｂ）	章他	202189		①								①		①		①	1		
	韓国語（入門Ａ）	申他	202190	①								①		①		①		1		
	韓国語（入門Ｂ）	申他	202191		①								①		①		①	1		

備考
開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※短大外国語「英語」の開講年次は、短大1・2・3・専の全学年とする
※同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

2. ④ 外国語科目（留学生）

授業科目		担当者	整理番号	学部								短期大学部						開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		1年次		2年次		専攻科				
				単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
外国語	日本語ⅠA	戸田	202192	①		①		①		①		①		①		①				開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
	日本語ⅠB	戸田	202193	①		①		①		①		①		①		①				
	日本語ⅠC	戸田	202194		①		①		①		①		①		①		①			
	日本語ⅠD	戸田	202195		①		①		①		①		①		①		①			
	日本語ⅡA	戸田	202196	①		①		①		①		①		①		①				
	日本語ⅡB	戸田	202197	①		①		①		①		①		①		①				
	日本語ⅡC	戸田	202198		①		①		①		①		①		①		①			
	日本語ⅡD	戸田	202199		①		①		①		①		①		①		①			
	日本語ⅢA	伊藤	202200	①		①		①		①		①		①		①				
	日本語ⅢB		202201	①		①		①		①		①		①		①			×	
	日本語ⅢC	伊藤	202202		①		①		①		①		①		①		①		×	
	日本語ⅢD		202203		①		①		①		①		①		①		①		×	
	日本語総合A	西川	202204	①		①		①		①		①		①		①				
	日本語総合B		202205	①		①		①		①		①		①		①			×	
	日本語総合C	西川	202206		①		①		①		①		①		①		①			
	日本語総合D		202207		①		①		①		①		①		①		①		×	

2. ⑤ 夜間主コース
一般教養·教職に関する科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
											開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲** ①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③◎印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤×印は本年度開講せず ⑥★印は前・後期同一内容
一般教養科目	人文科学系列	実践倫理	坂東他	530001	2				1		旧名称　倫理学
		女性と文学	高木	530002		②		②	−		
		日本文化散歩	元吉	530003		②		②	−		
		日本文学を知る	槍田	530004	②		②		−		
		文化と心理学	西脇	530005	②		②		−	×	＊隔年開講
		日本の風土と文学	元吉	530006	②		②		−		
	社会科学系列	日本国憲法	佐原	530007	②		②		−	△	
		社会学入門	西脇	530008	②		②		−		旧名称　社会学A
		現代社会論	西脇	530009		②		②	−		旧名称　社会学B
		家族社会学	西脇	530010		②		②	−	×	＊隔年開講
		生活と家族マンガ	西脇	530011		②		②	−		＊隔年開講
		歴史学A（日本史）		530012		②		②	−	×	＊隔年開講
		歴史学B（西洋史）	非常勤	530013		②		②	−		＊隔年開講
		女性学	熊澤	530014		②		②	−	×	＊隔年開講
		社会福祉の入門	西脇	530015	②		②		−		
	自然科学系列	自然科学概論A（自然現象）	秋山	530016		②		②	−	×	＊隔年開講
		自然科学概論B（生活の科学）	秋山	530017	②		②		−		＊隔年開講
		食と生活	秋山	530018	②		②		−		＊隔年開講
		栄養学概論	熊澤	530019	②		②		−		＊隔年開講
		人間と環境	常喜	530020	②	②	②	②	−	同	一般教養
		情報処理A	松本（淳）	530021	②		②		−	同	福祉環境
		情報処理B	松本（淳）	530022		②		②	−	同	福祉環境
	保健体育科目	体育実技A（生涯スポーツ実習·バドミントン）	渡辺（剛）	530023	①		①		−	△×	＊隔年開講　教職希望者は、実技・講義を各1単位以上履修する
		体育実技B（生涯スポーツ実習·ゴルフ）	渡辺（剛）	530024	①		①		−	△	＊隔年開講
		体育講義（健康と運動）	渡辺（剛）	530025		②		②	−	△	
	外国語科目	英語A（リーディング）	光野	530026	①		①		1		教職希望者は外国語科目2単位以上を履修する
		英語B（リーディング）	光野	530027		①		①	1		
		英語C（実用英語）	佐藤（道子）	530028			①		2		
		英語D（実用英語）	佐藤（道子）	530029				①	2		
		英語S（資格検定）	海崎	530030	①		①		−		
		英語T（資格検定）	海崎	530031		①		①	−		
		入門ドイツ語A	片岡	530032	①		①		1		
		入門ドイツ語B	片岡	530033		①		①	1		
		初級ドイツ語A	片岡	530034			①		2		
		初級ドイツ語B	片岡	530035				①	2		
		入門中国語A	承	530036	①		①		1		
		入門中国語B	承	530037		①		①	1		
		初級中国語A	承	530038			①		2		
		初級中国語B	承	530039				①	2		

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
										開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲** ①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③◎印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤×印は本年度開講せず ⑥★印は前・後期同一内容
教職に関する専門科目	教職概論	西尾	530040	②				1		中学校一種、高等学校一種教職科目；同時
	教育心理学	青木	530041		②			1		中学校一種、高等学校一種教職科目；同時
	教育原理	松本（淳）	530042			②		2		
	国語科教育法	久下	530043	②	②			1	同★	
	英語科教育法	小林（多）	530044	②				1	同	
	家庭科教育法	今井	530045		②			1	同	
	道徳教育の研究		530046	①		①		−	×	／ ＊隔年開講
	特別活動の研究	佐藤（道幸）	530047		①			1		／
	教育工学	坂谷内	530048	②				1		／ 中学校一種、高等学校一種教職科目；同時
	生徒指導・進路指導の研究		530049	②		②		−	×	／ 中学校一種、高等学校一種教職科目；同時＊隔年開講
	教育相談の研究	青木	530050	②		②		−		／ 中学校一種、高等学校一種教職科目；同時＊隔年開講
	総合演習	西尾	530051	②		②		−		／ 中学校一種、高等学校一種教職科目；同時＊隔年開講
	教育実習の指導	西尾	530052		①			1		／ 中学校一種、高等学校一種教職科目；同時
	教育実習		530053			④		2		

注　△教職必修科目　　／集中講義科目

授業概要

201001 実践倫理

教授　坂東　眞理子

21 世紀の事実上の責任者となる女性の在り方を追求しながら、私立の女子大学の真髄と、国際化時代に貢献できる女性像を実際的に検討し、進んで世の光となるために励む決意を養いたい。

①私立学校の使命　②昭和女子大学の使命　③社会への貢献　④昭和で学ぶ

201002 日本語基礎

本学教員

日本語表現の基礎を学習し、文章表現能力の向上を目指す。日本語の変遷や特質を学び、わかりやすい文章、良い文章を書くための知識、技術を習得する。

①言葉を知る　②漢字を知る　③敬語表現　④手紙の書き方　⑤さまざまな文章　⑥文章の理解

201003 倫理学

教授　掛川　典子

西洋倫理学の流れを概観しながら、よく生きるという人間の課題をめぐって、倫理学上の様々な論点に現代の視点から考察を加える。環境倫理学や生命倫理学など、複雑な現代倫理学の諸問題も紹介する。

①ギリシア思想　②キリスト教　③啓蒙思想　④市民社会　⑤実存倫理　⑥生命倫理学

201004 哲学概論

非常勤講師　文学博士　飯塚　勝久

この講義は、西洋哲学の本質を精神史的視点から考察する。したがって、システムとしての哲学理論の説明にとどまらず、それらの理論を育んだそれぞれの時代の「精神的境位」の解明をも目的とする。前期は古代・中世・近世の、後期は近・現代の哲学課題を取り上げる。

①根源への問い　②哲学と信仰　③古典主義的精神　④啓蒙思想とその克服　⑤歴史哲学　⑥現代の思想的状況

201005 現代哲学

教授　井原　奉明

現代社会に生きる人間は、ひとつの学問分野では解決することが難しい複合的な問題や悩みを抱えている。この講義では、20 世紀哲学思潮の中から代表的なものを選び、こういった問題を柔軟かつ強靱に考え抜くことのできる論理的な力を養うことを目標とする。

①経験　②時間　③無限

201006 日本精神史

教授　関口　靜雄

「近ごろの日本人は、日本の心、日本人としての精神を失ってしまった」などといわれる。本当だろうか。そもそも〈日本の心〉とか〈日本人の精神〉とはどのようなものなのだろうか。身近なことを手がかりにしてあれこれ考えてみたい。

①ふるさと　②人生　③神と仏

201007 アジアの思想

准教授　哲学博士　早田　啓子

本講座は前後期通年で、主としてインド思想と仏教を中心とした思想を扱う。仏教はインドに起こり、中央アジア・東南アジア・中国・日本へと伝搬しながら独自の展開をしていく。ここでは思想と同時にその思想がもたらした文化についても言及する。

①インド文明の曙　②インド思想　③インド仏教と文化　④ヒンドゥ教

201008 こころの科学 A

准教授　清水　裕

心理学を初めて学ぶ者に基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。A ～ E は共通のテキストを使用し、講義内容は基本的に同一である。他の心理学関係科目を履修しようとする者は、できるだけ本科目を履修済みであることが望ましい。

①種としての人間　②他者との関わり　③人それぞれの違い

201009 こころの科学 B

講師　田中　知恵

心理学を初めて学ぶ者に基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。A ～ E は共通のテキストを使用し、講義内容は基本的に同一である。他の心理学関係科目を履修しようとする者は、できるだけ本科目を履修済みであることが望ましい。

①種としての人間　②他人との関わり　③人それぞれの違い

201010 こころの科学 C

非常勤講師　中江　須美子

心理学を初めて学ぶ者に基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。A ～ E は共通のテキストを使用し、講義内容は基本的に同一である。他の心理学関係科目を履修しようとする者は、できるだけ本科目を履修済みであることが望ましい。

①種としての人間　②他者との関わり　③人それぞれの違い

201011 こころの科学 D

准教授　博士（文学）　松澤　正子

心理学を初めて学ぶ者に、基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。A ～ E は共通のテキストを使用し、講義内容は基本的に同一である。他の心理学関係科目を履修しようとする者は、できるだけ本科目を履修済みであることが望ましい。

①種としての人間　②他人との関わり　③人それぞれの違い

201012 こころの科学 E

准教授　藤島　喜嗣

心理学を初めて学ぶ者に基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。A ～ E は共通のテキストを使用し、講義内容は基本的に同一である。他の心理学関係科目を履修しようとする者は、できるだけ本科目を履修済みであることが望ましい。

①種としての人間　②他人との関わり　③人それぞれの違い

201013 社会心理

非常勤講師　中江　須美子

私たちは毎日、多くの人々との様々な相互作用を通して社会生活を営んでいる。普段、何気なく行っているこれらの対人行動にはどのような法則性があるのだろうか。本講義では、対人魅力や説得といった日常生活と関連が深いトピックスを取り上げ、解説を行う。

①自己と他者　②社会的適応　③認知的な歪み

201014 家庭生活の心理

非常勤講師　奥山　淳一

家族は人の心を育むものであるが、家族の形態や機能が多様化し変化している現在、一人ひとりが自分なりの家族観を持つことが求められている。本講義では、家族観形成の参考となるよう、家族を取り巻く社会の現状を踏まえながら、家族関係の心理的な側面について考えていく。

①夫婦の関係　②家族の発達課題　③家族の統合

201015 子どもの不適応と非行

非常勤講師　奥山　淳一

乳幼児期から思春期ころまでの子どもにみられる不適応状態とその現れとしての心身の症状や非行などの困った行動を取り上げ、背景にある子どもの心と養育者との関係について考えていく。

①分離不安　②心理的外傷　③非行

201016 幼児の心理

教授　横山　文樹

幼稚園や保育所といった保育現場および家庭での子どもの実際の姿を通して、幼児の心理的特質、発達課題、子どもの見方･とらえ方などを明らかにし、幼児期の「心の教育」のあり方について学ぶ。

①幼児の心理的特質　②発達課題　③幼児理解の方法

201017 生理と心理

非常勤講師　本多　麻子

心と身体には密接な関係がある．生理心理学とは，行動の心理的側面と生理的側面の対応を検討することによって，心と身体の因果関係を解明する研究領域である．生理指標の特徴や基本的な測定方法を踏まえたうえで，身近な事例から具体的な研究例および臨床場面への応用例を紹介する．

①心　②身体　③脳

201018 日本史概説

教授　山本　博也

日本史上の基本的な事象を整理すると同時に、古代から現代に至る歴史の大きな流れを理解するようつとめたい。（高校時代に日本史を履修しなかった学生を受講生として想定している）

①律令制　②朝廷と幕府　③近代化

201019 日本史 A （前近代）

教授　山本　博也

この授業は、通史を講じるのではなく、前近代史の中から興味深いテーマを選んで解説していく。本年度は、中世の鎌倉を舞台にくりひろげられたさまざまな出来事について考える。

①鎌倉　②鎌倉幕府　③鎌倉新仏教

201020 日本史 B （近現代）

准教授　博士（文学）　千葉　功

幕末から現代までの通史を授業するが、時間の関係上、ある時代ないし特定のテーマにしぼって講義を行う。内容は年によって異なる。本年度は、太平洋戦争後の日本外交の歴史を講義したい。ビデオ使用。

①安保条約　②日ソ国交回復　③沖縄返還

201022 日本美術通史

非常勤講師　川瀬　由照

飛鳥時代から現代までの代表的美術作品（主に絵画と彫刻･書跡）を取り上げ、「いろ」「かたち」「せん（線）」などの造型とその表現について講述する。図版を中心に、各時代・各分野の特徴・背景などをみていく。日本美術史の基礎事項についても詳しく解説し、現在の日本美術史や博物館・美術館の現状についても紹介する。

①法隆寺と東大寺　②東寺と平等院　③運慶と快慶　④雪舟と宗達　⑤北斎と広重　⑥由一と大観

201023 現代日本文学概論

教授　太田　鈴子

1980 年代以降に作品を書き始めた作家の作品を鑑賞しながら、現代とはどのような社会なのか、何が問題となっているのかを考えていく。

①家族　②少女　③自分と自己

201025 日本近代文学概論（幻想小説）

准教授　福田　淳子

日本の近代文学作家による短編小説を取り上げる。現実と非現実との境界が曖昧に描かれる幻想小説の作品読解を中心に、映像作品との比較なども取り入れながら、小説を読む楽しさを学ぶ。

①空間　②夢　③記憶　④時間　⑤視点移動　⑥発想の転換

201026 日本の話芸

教授　松浪　未知世

落語を中心とした日本の語り芸についての講座です。荒唐無稽でありながら現実の生活の中にも現れうる状況を読み・聴き・観ながら、「話す」とはどういうことなのかを考えていきます。外部講師による口演もおこないます。

①落語　②笑い　③コミュニケーション

201027 源氏物語　（絵巻から読む）

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

単に物語の筋を追うのではなく、絵巻や挿絵の鑑賞を通し、王朝貴族の婚姻制度、宗教、衣服、住居調度などの文化を物語の中から探っていく。言葉とともに視覚的映像によって源氏物語に対する理解を深め、物語と絵画との関係についても考えたい。

①源氏絵巻　②源氏挿絵　③文学と絵画　④物語の受容　⑤情景の選択　⑥王朝の美意識

201028 英米文学概論（ポストモダンと多文化主義）

教授　上野　和子

20世紀後半以降、急速に変化した文化的・芸術的な視点を考慮にいれ、英米文学の思潮を辿りながら、主要な作品を鑑賞する。前期はイギリス中心に、ルネサンス、ロマン主義運動、ヴィクトリア朝、実験主義などの流れをたどり、後期はアメリカのゴシックロマンス、写実主義、自然主義、ロストジェネレーションなどを取り上げる。

①シェイクスピア　②嵐が丘　③意識の流れ　④ピューリタニズム　⑤南北戦争　⑥嵐のような 60 年代

201029 ドイツ文学概論

准教授　廣瀬　伸良

ドイツ語圏の物語や小説などの具体的な読み解きを通して、個々の作品を愉しみ、ドイツ文学のおおよその流れを掴む。同時に、例えば、歴史記述と物語とは何処がどう違うのかなどといった物語一般についても考える。

①テクスト　②言語　③物語　④メールヒェン　⑤幻想小説　⑥ロマン主義

201030 フランス文学概論

教授　江中　里子

17 世紀から 19 世紀にかけて、フランス文学に見られる「恋愛心理小説」は、フランス文学の特徴とさえいわれるジャンルです。文学の主題として、恋愛心理はどのように描かれているでしょうか。原則として文庫本で読める翻訳を使い、代表的な作品を解読します。

①古典主義　②ロマン主義　③心理小説

201031 フランス詩とシャンソン

教授　松浪　未知世

フランス詩の歴史をたどりつつ、その中にシャンソンがどのように現れてくるかを検証します。フランス語が解る必要はないが、フランスの歴史・文化に対する関心が要求されます。講読する作品についての各自の解釈・感想も求められるでしょう。

①抒情　②２０世紀

201033 ドイツ文学に描かれた女性達　（ゲーテを中心に）

教授　桑原　草子

ドイツ文学の中に描かれた女性たち、とりわけゲーテの小説や戯曲に登場する女性たちに照明をあて、各々の女性の生き方や運命について考えてみたいと思います。　さらに、それらの女性像に籠められた作者の女性観にも触れたいと思います。

①ゲーテ　②作者の女性観　③永遠に女性的なるもの

201034 アメリカ文学の女性像

教授　上野　和子

植民地時代以降 19 世紀の女性は、社会的に女神・天使・魔女の役割をあたえられた。しかし、強烈な自我と独立心を持つ「大地の女」の系譜は連綿と続く。近代産業社会の孤独に流される神経症の女性をもあわせて、自立するアメリカ女性のイメージを探る。

①ポカホンタス　②『風と共に去りぬ』　③『欲望という名の電車』

201035 児童文学　（外国）

非常勤講師　内藤　貴子

イギリス地図を片手に児童文学の旅にでかける。カントリーサイドからロンドンまで、各土地の風土・文化を知り、そのなかで生まれた作品のなりたち、子どもの文学としての特性、時代背景、児童文学史的意義を学ぶ。

①伝承文学と創作児童文学　②子どもの目の高さから見えるもの　③風土と文学

201036 中国文学入門　（漢詩講読）

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

漢詩は志であり、和歌は心である。李白、杜甫、白居易など、中国を代表する詩人の生涯を辿り、ビデオ鑑賞と共にその作品を読み解いていく。また、中国の“閨怨詩”と日本の“恋歌”と比較しながら、志の文学と心の文学との根本的な相違点を探りたい。

①漢詩と和歌　②詩人の生涯　③詩の役割　④和歌的情緒　⑤中国的叙情　⑥志と心

201037 伝承文学　（中国の女性伝）

教授　尾﨑　保子

中国の歴史や文学の中に登場する女性達について、その人物像を探り、その存在のもつ中国女性史的意義について考える。また我国の女性史とも比較してみる。前期は宋の時代から明代までの人物について、後期は清時代から現代までの人物について考察する。

①李清照　②朱淑真　③梁紅玉　④岳母　⑤唐蕙仙　⑥管道昇

201038 現代中国文学

教授　尾﨑　保子

中国の近・現代史は、近代化への遅滞から、外国による侵略の事態を招き、民族的危機感に苦悩することから始まった。これに対して魯迅に代表される文学をもって民族に警鐘を鳴らす気運が澎湃として起こった。ここでは、文学と時代との関係性について考察する。

①「天演論」 ②「新青年」の風 ③「狂人日記」 ④魯迅と日本 ⑤「駱駝祥子」 ⑥老舎と中国

201039 比較文学・比較文化

教授　森本　真一

まずわが国と西欧の思想について比較文化的な観点から考察し、次いでアメリカと日本の文芸さらには社会事象一般を対比的に分析することを通じて近代の意味と現代が進みつつある方向を探る。

①西欧 ②日本 ③近代

201040 風土と文学

教授　元吉　進

文学作品はそれを生んだ風土に深く根ざしている。日本の古典文学を中心に、作品とその成立環境である都の風土との関わりを講義する。また、日本人の季節観や言語観にもふれ、現代にも通じる古人の心を探ってみたい。

①平安京 ②四神相応 ③王朝文学 ④王朝人の季節観 ⑤言霊 ⑥都と鄙

201041 実用言語学

准教授　岸山　睦

この授業では、いかにしたら英語を始めとしたヨーロッパ語を速く身につけることができるかという方法論を勉強する。言語学を夢につなぎ、楽しく実用化してゆく。

① personal talk ② cultural talk ③ linguistic talk ④ social talk

201042 ことばの世界

講師　海崎　隆次

私たちの意思の交流（コミュニケーション）には、ことばの使い方が大きな役割を担っていると言われている。前期は発信する側について、誤解や偏見、差別につながったり、逆に安心の原因になることばや話し方について考察する。後期は受信する側が気をつけることについて考察していく。

①話し手と聞き手の共同作業 / 両面交通 ②誤解と理解 ③知覚と理解

201043 音声学入門

准教授　佐藤　喜之

言語音声の発音と聴き取りの訓練を通じて、音声の特徴・原理を理解する。一般的な言語音声について理解、訓練したあと、フランス語、中国語など個々の言語音声についての理解を深めていく。授業の性格上、受講人数の制限をする。

①調音音声学 ②国際音声字母 ③音韻論

201044 漢字の誕生と変遷

教授　尾﨑　保子

わが国の漢字教育は、覚えることが重視され、字形の成り立ちなどについて分析されることはありません。しかし、漢字には、中国人の哲学が内包されているのです。ここでは、そうした観点から漢字の誕生と変遷を見てゆきます。

①甲骨文字 ②金文 ③篆書 ④隷書 ⑤楷書 ⑥簡体字

201045 文章論講義

教授　澁澤　重和

文章は自分の意思や考えを他者に伝えるために書くものです。ですから書き手と読み手との間に意思を通じさせるための約束事があります。この授業ではそうした約束事、つまり文章作法を１年間にわたって講義の形式でお話します。

①区切り符号の使い方 ②書き出しと結び ③漢字と辞書 ④ひらがなとカタカナ ⑤漢字表記の世界 ⑥文章の構成

201046 国語力養成 A

講師　豊田　千明

日本語の表現様式は、多様である。主に書くことの基礎力を見直し、身につけるべき基本技について学ぶ。また、国際的な人間となるために必要不可欠な「自国」の伝統文化について理解し、また実践することができる力を養う。

①伝統文化の実践と継承 ②和歌・俳句 ③いろいろな文章 ④表現するということ

201047 国語力養成B

講師　平野　晶子

考えるにも表現するにも、使うのは母国語つまり国語です。国語力が足りなければ、すべての学習や仕事がどこかで行き詰まりをみることになります。この授業では、国語をかたちづくっている日本文化や日本文学を視野に入れながら、講義と演習によって基礎的な国語力を養います。

①日本文化・文学と国語 ②読解力 ③「正しい」日本語とは

201048 書道 （毛筆）

非常勤講師　承　春先

漢字、かな書道の用筆法から毛筆書道の基礎を学びます。漢字、仮名の結構をやさしく解説し、文房四宝の知識、日中書道史にも触れ、基礎知識を学習します。書道の楽しさを知りながら端正な文字を書けることを目的とします。

①漢字、仮名の結構 ②文房四宝 ③楷書の基礎

201049 外国人の見た日本

教授　相原　由美子 他

毎時間、異なった分野の専門家が、それぞれの分野に関係する外国人が日本をどう見ているか、紹介するオムニバス形式の講座である。外国人による日本の評価を知ることは、これからの日本人にとって不可欠の作業である。資料は各担当者が用意する。

①顔の見えない日本　②日本の特殊性　③国際理解

201050 西洋演劇史概論 A

教授　下川　恵美子

西洋演劇の流れの中からいくつかの時代をとりあげ、どのような劇空間で、どのような作品が、どのように舞台化されたかを見ていきたい。ギリシャ悲劇からバロック時代の演劇までを概観する。ビデオ･スライド使用。

①劇場　②俳優　③観客

201052 音楽・世界のうた

非常勤講師　伊藤　紗津貴

世界の歌の数々を原語でうたう声楽中心の授業。それぞれの歌の背景にある文化、成り立ちを考察しながら、前期は女性の教養としての名曲、後期は民謡を中心に独唱、重唱、輪唱、合唱等うたの世界を拡げていく。

①腹式呼吸　②子守唄　③オペラ・ミュージカル　④発声法　⑤民謡の特性　⑥歌唱における発音

201053 音楽・日本のうた

非常勤講師　伊藤　紗津貴

歌い継がれてきた美しい日本のうた、これからも残していきたい新しい歌を、作詞・作曲家の時代的背景、意図を考察し、発声法と共に歌唱における日本語の発音、響きを研究しながら、独唱・重唱・合唱曲等を歌う。

①抒情歌　②小学唱歌　③ポピュラー曲

201054 「聴く」ための音楽概論

教授　永岡　都

クラシック、ポピュラー、民族音楽など現在の日本には様々な音楽が溢れている。本授業では、音楽という現象を社会や時代のコンテクストからダイナミックに捉え、音楽をより深く楽しむための新しい視座を提供したい。

①音楽史　②創造の最前線　③新しい聴取

201056 アメリカ文化研究

昭和ボストン教員

夏期休暇期間中に実施されるボストン・サマーセッションに参加し、選択したプログラムごとに、英語による講義のほかに旧跡や文化施設、教育機関の見学などの研修を受けることによって、外国語（英語）の単位以外に一般教養科目の２単位が与えられます。学科によっては専門科目の単位となりますので注意してください。

①ボストン・サマーセッション　②旧跡・文化施設見学　③アメリカ人の生活

201057 ヨーロッパ食文化

本学教員

長い伝統に支えられたヨーロッパの食と文化に触れ、現代社会が求めている国際理解と豊かな教養を身につけることを目的とする。本研修では、ヨーロッパ菓子の原点であるウィーン菓子の作り方や伝統を、権威あるマイスターから直接ご教授いただくとともに、オーストリア、ドイツ、フランス（パリ）を旅し、建築物や絵画・彫刻などの芸術を堪能する。

①ヨーロッパの歴史　②ヨーロッパの芸術　③ヨーロッパの食文化

201058 大和の歴史文化

畿央大学教員

昭和女子大学と奈良県の畿央大学との交流授業として、毎年夏季休暇中に奈良県明日香村で実施している４泊５日の研修です。午前中は講義、午後は大和の歴史文化を訪ねて回る臨地研修を行います。

①大和の歴史文化　②遺跡　③古墳

201060 イギリス文化論

講師　原田　俊明

極端を嫌うバランス感覚で知られる英国人も、一方では時代の最先端を行く斬新さや柔軟性も持ち合わせている。この授業ではイギリス英語に触れながらイギリスらしさを一緒に考える。但し、語学の授業ではなく日本語を用いた一般教養の講義なので学生に語学的な質問をすることはない。

①国民性　②社会問題　③背景説明

201061 フランス文化論A

教授　松浪　未知世

一つの国の文化は一朝一夕になるものではありません。長い歴史につちかわれて、現在のその国の文化があるのです。日本と比較しながらフランス的なるものとは何かを探ろうと思います。自分の興味対象を深く掘り下げるための下準備となれば幸いです。

①日本との比較　②文化　③歴史

201062 フランス文化論 B

教授　江口　雄輔

フランス人は、日本で常識的に知られている文化的側面はもちろん、それ以外の面でも幅広く奥行きのある文化を育ててきました。講義では、受講生にとって身近な切り口から出発して、フランス文化を概観します。

①西欧世界　②フランスらしさ　③比較文化的思考

201063 ドイツ文化論

准教授　片岡　慎泰

ごく身近な衣食住の領域から、音楽や文学などの芸術や政治、歴史の分野まで、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）を理解するために、いくつかトピックを選び講義する。

①ドイツと文化　②文化と文明　③ドイツとヨーロッパ

201064 スペイン文化論

教授　木下　亮

スペインの地理と歴史を理解した上で、スペインの芸術について論じる。さらにヨーロッパにおいて、スペインがどのようなイメージでとらえられていたかを、小説、オペラ、絵画、映画を通して考察する。

①カルメン　②ドン・フアン　③ドン・カルロス

201065 ロシア文化論

非常勤講師　油家　みゆき

ロシア文化にかかわる様々なテーマを取り上げる。ロシア文化の基本を紹介することによって、異文化理解を高める。

①文化　②国際コミュニケーション

201067 アメリカ文化論

教授　上野　和子

ディズニーランドからカフェまでアメリカ文化の影響はさまざまに私たちの生活を彩っています。現代生活の視点から、アメリカ文化を考えてみたいと思います。１９２０年代に始まったアメリカの大衆消費社会の成り立ちを中心に授業を進めます。BBC 制作のヴィデオや、映画、写真などに親しみます。

①フォードＴ型車と車社会　②フラッパーと風俗革命　③シカゴの町と禁酒運動

201068 ラテンアメリカ文化論

教授　下川　恵美子

「ラテンアメリカ」からは古代遺跡、ラテンポップス、日系移民、日本企業の進出といったトピックが連想されるだろうが、そうした事象の歴史的背景を概観しながら、現代のラテンアメリカに見られるさまざまな文化の成り立ちと特質を考える。

①古代文明　②混血文化　③地域　④先住民　⑤移民

201069 東南アジア文化論

教授　博士（学術）　菊池　誠一

多様な東南アジア世界を自然・生業・民族・歴史・海域交易などからみることにする。おもに、カンボジア・ベトナム・ラオス・タイ・インドネシア・フィリピンなどの世界遺産を紹介しながら、上記のことを考える。

①自然　②少数民族　③海域交易　④アンコール遺跡　⑤ホイアン　⑥世界遺産

201070 インド文化論

准教授　哲学博士　早田　啓子

本講座は前後期通年で、インド文化の源から説き起こし、インド人の宗教生活や宗教文化についてインド本国や周辺の国々の文化とも関連させながらインド文化を講じていく。また、インド思想の基本にあるアジア的な発想についても言及する。

①インド文化の曙　②インド思想の源　③ヒンドゥ教とその文化

201071 中国文化論Ａ

准教授　佐藤　喜之

中国は一つの国ではあるが、東西南北で風土、文化が異なる。まずは中国を含めた東アジアの地理を把握したあと、言語・文字・少数民族・現代史などについて詳しくみていく。実際の生活の様子などは映像により理解を深める。

①中国の言語・文字　②少数民族　③現代史

201072 中国文化論 Ｂ

准教授　博士（社会学）　フフバートル

経済発展が著しい中国「東部」に対する「西部」の意義を考える。国土の 71%を占める「西部」は基本的に少数民族地域からなっている。現代中国で「民族」がどのように扱われてきたのか、その流れを見ながら少数民族地域の生活文化について学ぶ。

①多民族国家　②民族政策　③西部大開発

201073 法学概論

非常勤講師　髙佐　智美

「法」というと自分たちの生活とはかけ離れたものというイメージがあるかもしれません。しかし実際には、「法」は私たちの日常生活に密接に関連しています。本講では、現在社会で問題となっている事件や事柄を通じて、「法」とは、「人権」とは何かを学習することを目的としています。

①リーガルマインド　②人権　③時事問題

201074 法学Ａ（憲法）

非常勤講師　和田　寛伸

この講義では日本の法律の中心にある「憲法」を軸にして、法律学の基礎を講述します。法律の世界やそれを学ぶ法律学は「融通のきかない堅苦しいもの」とみなされがちですが、法律の世界や法律学は決してとっつき難い堅苦しいだけのものではありません。むしろ社会における人間の強さと弱さ、意思と理性、理想と現実、豊かさと貧しさ、完成と未熟、闘争と平穏、非常時と平常時、平等と差別、自由と不自由、といった人間くさい諸問題と真正面から向き合う、実に人間味あふれた世界であり学問なのです。

201075 法学Ｂ（憲法）

非常勤講師　入澤　充

日本国憲法は平和で文化的な民主国家を形成することを理念とし、さらに基本的人権の尊重をうたっている。本講義は、憲法の構造を理解し、その上で具体的な事件・判例を通して自由と責任の意義について学ぶものである。

①基本的人権　②民主主義　③法の下の平等

201076 法学C（憲法）

非常勤講師　中園　繁克

通年で、憲法を概観しながら、自ら主体的に生活し行動するために、家族、地域、職場、国、国際などの社会の基本的な枠組みとルールを、日常の事柄を通じて身につけ、そして、これを有効に活用して創造的に行動することを、自らの全心身を活性化して体得する.

①社会ルール　②主体的　③活用　④心身の活性化　⑤共創・共献　⑥体得

201077 法学D（憲法）

非常勤講師　髙佐　智美

私たちは「日本国憲法」なるものを普段の暮らしの中で意識することはほとんどありませんが、実は憲法は私たちの生活の様々な場面に密接に関連しています。本講は日本国憲法について基礎的な知識と理論を学んだ上で、実際の様々な社会問題を憲法の理念に照らして考察していくことを目的としています。

①基本的人権　②国民主権　③立憲主義

201078 法学E（憲法）

非常勤講師　佐原　専二

自由主義，民主主義，平和主義，個人の尊重等，何となく聞いたことはあるが，はっきりとは把握できない言葉が頻出する。そのため，憲法の勉強は抽象的になりがちであるが，具体例や裁判例を引用し，具体的なイメージを持てるようにしつつ，基本的な視点を学ぶ。細かなところは気にせずに，憲法とはどういうものなのか，どういうふうに考えたら良いのかといった考え方，視点を把握してもらいたい。

①自由主義　②民主主義　③福祉主義

201079 法学F（憲法）

非常勤講師　武藤　健一

日本国憲法の解釈論はほとんど扱わず、「ジェンダー憲法学」原論としての人権論を展開します。そのために前段階として、近代が誕生させた社会構造とそれと連結している人権の構造を明らかにします。200 年ほど前に近代が誕生させた人権が、本当は人（個人）の人権ではなかったということを明らかにします（家族単位主義的人権）。そしてそのことを踏まえて、現代日本における家族単位主義的人権がもたらしている問題を取り上げ、最後に、日本国憲法はそれを克服する構造（個人単位主義的人権の採用）を有していることを指摘します（この箇所だけがいわゆる解釈論を含みます）。

①人権論　②ジェンダー　③女性の人権　④近代家族　⑤性別役割分業　⑥日本国憲法

201080 法学G（くらしと法律）

非常勤講師　大西　幸男

人はどの様な人生を歩もうとも必ず法と関りを持つ。女性が幸福な人生を送るために生涯に亘り直面する可能性の高い結婚･離婚、少年事件、悪徳商法、借地･借家、相続、裁判、犯罪等の基礎的な法知識を具体例と共にわかり易く学ぶ。

①法的な関係の成立　②経済生活と法　③家庭と法

201081 法学H（日常生活における法）

非常勤講師　富田　美栄子

現役弁護士の立場から、一般市民が社会生活を営むために必要とされる基本的法知識として､民法(契約法、親族・相続法等)、労働法及び調停・訴訟等の手続について講義する。

①基本的法知識　②家庭と法　③市民生活と法

201082 政治学

非常勤講師　佐藤　高尚

本講義の目的は、政治についての基本的な見方を学ぶことにあります。政治学の基本的な概念を踏まえた上で､それを用いた政治現象の分析･検討をおこないます。みなさんの理解度や習熟度により、弾力的に授業を運営していく予定でいます。

①デモクラシー　②国家　③権力

201083 国と社会の仕組み

教授　坂東　眞理子

日本の国会、内閣、各省庁などの仕事について学び、現代の政治や行政についての一般的な良識を身に着ける。

①内閣　②中央省庁　③国会

201084 入門経済学

非常勤講師　牧内　岩夫

ファッションや買い物など、大学生にとって身近なことから、経済・産業界で起きている現象をとらえ、経済学的なものの見方を学ぶ。経済理論や知識の修得より、現代経済への感度を高め、センスを磨くことに重点を置く。

①市場　②企業家精神　③格差

201085 経済学概論

非常勤講師　河合　康夫

お金や仕事、格差といった現代経済のトピックスを手がかりに、経済の仕組みと歴史を解説する。

①経済学　②経済政策　③経済史

201086 西洋経済史

非常勤講師　河合　康夫

今日、世界経済の中心をなしている欧米諸国の経済と、それを軸とする世界経済の体制がどのように形成されてきたのかを、資本主義形成期から第二次世界大戦後あたりまでを軸に概観する。

①西洋　②経済史　③世界経済

201087 日本経済史

非常勤講師　山崎　澄江

20 世紀初頭からバブル経済崩壊までの日本経済の歩みを概観する。産業構造、経済政策、財政金融、労使関係、企業経営などに注目しつつ、現在に繋がる日本経済の特徴が歴史的にどのように形成されてきたかを明らかにする。併せて基本的な経済用語についても説明する。

①経済　②日本経済　②経済史　④経済政策

201088 時事経済論A

教授　小島　徹

新聞、雑誌、テレビで日々報じられる最新の経済ニュースを材料に、日本経済と世界経済を論じる。マーケットの見方を学び、社会に出て行くに当たって必要最低限の経済知識を身につける。

①株式市場　②ビッグ・バン　③中国経済　④東アジア経済　⑤米国経済　⑥EU

201089 時事経済論 B

非常勤講師　牧内　岩夫

マスコミで日々報じられる最新の経済ニュースを材料に、日本経済と世界経済を論じる。マーケットの見方を学び、社会に出て行くに当たって必要最低限の経済知識を身につける。

①市場　②景気　③競争

201090 現代企業論　（組織と戦略）

教授　小島　徹　他

現代は企業社会である。大半の国民が企業を職場として人生の多くの時間を過ごす。企業とは何か?どのような仕組みで成り立ち、活動しているのか?「企業は組織と人で動く」「商品（サービス）をつくり、売る」「利益を出す」という 3 点から企業活動の本質に迫る。また、戦後日本経済の躍進を象徴するソニー、本田技研の成功要因を探るとともに、失敗企業の敗因を研究する。導入とまとめの部分を除き、毎回大企業ビジネスマンをゲストとして招き、生きた経済を学ぶ。

①井深大と本田宗一郎　②商品開発戦略　③損益計算書

201170 現代金融ビジネス入門Ⅰ・Ⅱ
201171

教授　小島　徹　他

現代の経済活動は、ヒト、モノ、カネの 3 要素が複雑に絡み合って展開されている。その中でお金、正確には「信用」に関わるビジネスが金融である。その活動分野は、銀行、保険、証券と多岐にわたっている。この授業では金融ビジネスの基本的な仕組みやその分野で活躍している企業の役割について分かりやすく解説する。毎回、金融界で活躍中の第一線ビジネスマンを招き、最新の金融事情を学ぶ。

201091 女性と経済

非常勤講師　松田　宣子

経済活動の過去について、女性の視点から捉え直して、現代や近未来につながる問題を探る。その方法として童話や民話、小説なども引用する。少女や高齢女性の問題も含め、経済社会とのかかわりを広い視野から講義する。

①魔女の視点　②工業社会・消費社会　③企業活動・高齢社会

201092 家庭経済学A

教授　経済学博士　伊藤　セツ

家庭経済・生活経済の基礎となる世帯・家族、消費と人間、労働と収入、家計消費統計をとりあげる。すべてジェンダー視点から検討し、環境問題を考慮し、変化に対応する家庭経済の諸問題を分析する。

①家計統計　②生活経済と家庭経済　③消費とジェンダー

201093 家庭経済学B

教授　経済学博士　伊藤　セツ

消費者物価指数関連統計資料を使って、家計が消費する生活手段やサービスの種類、体系と変遷を見る。続いて無償労働（アンペイドワーク）の問題をとりあげる。最後に国際的な貧困問題や、持続可能な消費と生活様式を考える。

①生活手段とサービス　②アンペイドワーク　③持続可能な生活様式

201094 海外教育事情

准教授　松本　淳

様々な国の教育事情を知ることを通して、日本の教育をより良いものにしていくためにはどうしたらよいのかを考える。また、世界の困難な状況を抱えた子どもたちに対して私たちは何ができるのかを考える。留学生などにその国の教育事情を取材するプロジェクトも行う。

①世界の教育　②国際貢献　③教育制度

201095 社会学

非常勤講師　博士（社会学）　金子　晃之

現代社会の身近な問題を考察しながら、私たちが直面している問題と生きる上での課題について考え、社会学の基礎を学んでいきます。同時に卒業後に必要な「社会人として、そして大人としての洞察力、判断力、想像力」を養うことを目的とします。

①下流社会　②動物化　③自己実現

201096 現代日本社会 A （会社と仕事）

教授　木下　武男

女性が何らかの形で一生、仕事と関わって生きていくことが当たり前の時代になってきた。社会性をもった職業人として自己を確立するために必要な一般的な知識を習得することを講義目的とする。

①日本型雇用と年功賃金　②若者雇用　③女性労働とジェンダー

201097 現代日本社会 B（階層，家族，ジェンダー）

教授　木下　武男

現代的教養を身につけた職業人として成長するために必要な現代社会の価値観と知識を修得することを講義の目的とする。現代社会の成立を理解した上で、企業中心の現代日本社会の諸相とグローバリゼーションによる今日のその変容を解明する。

①資本制と近代家族　②グローバル化　③かくさ企業中心社会　④男女共同参画社会　⑤グローバリゼーション

201099 現代社会学

教授　西脇　和彦

戦後の日本社会を対象とした現代社会学を展開する。復興・高度成長（前半・後半）・安定成長・バブル・平成不況の各時期における社会と人間との関連を具体的資料を用いて考察する。そして近未来への指針を導く。

① Populuxe　②隙間産業　③ Re 系の時代

201100 家族社会論

教授　西脇　和彦

家族を社会学的に考察する。家族は普遍的に存在するものの、その形態や機能は時代によって大きく変容してきた。こうした中で、家族の本質的機能や維持原則を考え、また今日的諸問題も考察し、近未来への指針を導く。

①核家族　②機能の外部化　③家族の諸関係

201101 ＮＧＯ概論

准教授　片岡　慎泰

最近注目を浴びる非営利セクターのなかでも、主に海外を活動対象にしていることで独特な領域を形成するＮＧＯについて、その活動の意義や歴史的経緯について講義する。

① NGO　②市民と国民　③グローバリゼーション

201102 日本事情

准教授　西川　寿美　他

留学生が日本文化・日本社会の諸側面について、理解を深めることを目的とする。毎時、ひとつのトピックについて学内の専門教員が講義を行う。視聴覚的な教材の使用、体験、話し合いを積極的に取り入れ、トピックについて分かりやすく提示し、留学生の理解を促進することに努める。（日本人学生聴講可）

①日本文化　②文化比較　③日本の生活

201103 情報社会論

教授　大串　夏身

高度情報通信ネットワーク社会が出現しつつある。現在日本では政府を中心に主要法規の改正、光ファイバーの敷設、情報リテラシー教育を組織的に進めている。そうした状況をふまえて理論・歴史から現状・未来を論じる。また、情報活用の道具としてのコンピュータ、通信ネットワークについて論じる。映像を教材にして情報探索、情報倫理について検討する。

① IT 革命　②高度情報通信ネットワーク社会　③情報リテラシー

201104 情報と社会生活Ⅰ

非常勤講師　後藤　涼子

初心者を対象として情報リテラシーの基礎を身につけることを目標として演習を行う。コンピュータの活用方法だけでなく、社会生活を営むうえで欠かせない情報倫理、情報社会への理解も合わせて学ぶ。

① WORD（文書作成）　② EXCEL（表計算）　③インターネット

201105 情報と社会生活Ⅱ

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子
非常勤講師　後藤　涼子

コンピュータを活用した情報の収集・検索発信についての演習を行う。POWERPOINT のアプリケーションの基本操作を体系的に学び、効果的なプレゼンテーションテクニックを実習を通じて学ぶ。

①プレゼンテーション　② POWERPOINT

201106 メディア文化論

教授　澁澤　重和

現代の人間は新聞やテレビなどのマスメディアとかかわることなく社会生活を営むことはできない。マスメディアは社会のありようや人々の価値観に大きな影響力を及ぼしている。マスメディアの実情を知り、その問題点を考える。

①やらせ　②報道と人権　③マルチメディア

201107 ジャーナリズム論

非常勤講師　今村　庸一

前期はアメリカ大統領、後期は阪神大震災について、テレビ報道を中心に、ジャーナリズムの問題を考える。選挙や災害などの出来事が、テレビでどのように伝えられ、何が記録されるのか、歴史的観点から分析していく。

201108 放送論

非常勤講師　今村　庸一

前期は日本の放送の歴史を中心に学習する。ラジオ放送の開始、戦争への道、戦後復興、テレビ放送の開始の流れを追う。後期はテレビ番組の中から、特に日本のテレビドラマについて、個々の作品を通して、その時代性や社会性を考察する。

201109 都市論

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

一都市民として生活するために、都市とは何かを知る。歴史、文化の異なる世界の都市を知るとともに身近な東京について街の魅力を体験する。現代の環境問題や防災等、今後の快適な都市生活を様々な角度から考える。

①世界の都市　②三軒茶屋　③東京　④水辺　⑤パブリックスペース　⑥環境問題

201110 考古学　（日本の遺跡）

准教授　小泉　玲子

日本列島の代表的な遺跡を取り上げ、その遺跡の発見･調査から明らかにされた古代の人々の生活について概説を行い、日本考古学の研究の歩みについて理解を深める。毎回スライド使用。

①遺物　②遺構　③遺跡　④考古学の方法　⑤発掘　⑥編年

201111 民族と文化

教授　博士（文学）　田畑　久夫

民族とは何か。文化とは何かを具体例をまじえて解説する。その後、日本文化および日本民族の起源と源流に関して、「第２次世界大戦後人文科学上最大の学問業績」と称された照葉樹林文化論をとりあげ解説する。少数民族や旅行好きな学生希望。

①民族と民族問題　②文化と文化論　③日本文化の基礎構造　④照葉樹林　⑤稲作の起源　⑥日本文化の形成

201112 民俗と芸能

教授　渡辺　伸夫

日本各地に伝存する民俗芸能をとりあげ、民俗学や芸能史・宗教史・国文学などと関連させながら、伝承資料としての民俗芸能の特色と価値を検討する。また芸能表現の背後にある日本人の心意を探る。

①伎楽・舞楽・散楽　②神楽　③田楽　④獅子舞　⑤盆踊・念仏踊　⑥沖縄の芸能

201113 宗教文化論

非常勤講師　博士（学術）　阿部　美香

現代にも生きる神仏への信仰はどのようにしてはじまって展開し、それが日本の文化をいかにかたちづくってきたか、神や仏があらわれる祭祀や芸能、神話や物語、仏像や絵画を通して探り、日本の文化の特色を考える。

①神と仏　②聖徳太子　③女性と仏教　④昔話と神仏　⑤観音信仰　⑥社寺参詣曼荼羅

201114 快適環境論

教授　博士（工学）　佐野　武仁
教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

高齢者と若者、田舎と都会の住み分けが続く中で、省エネルギー・省資源・地球環境に配慮した「コミュ二ティー性のある快適な住まいかた」について講義する。

①太陽と地球　②住まいと人間　③エネルギー　④田舎と都会　⑤健康　⑥移動と人間の活動　⑦ゴミ　⑧都市の仕事・田舎の仕事

201115 住居学

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居を単なる建築物としてではなく、「人間生活の容器」として、また個人単位ではなく「地域社会の構成単位」という視点から把握する。住居のインテリアから地域の共用空間にいたるまで、各々の諸問題を生活デザインの立場から論じていく。

①生活エレメント　②住まい方　③集住スタイル

201116 住まいの歴史

准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

本講座では、日本の住まいについて、建物の平面構成や空間の利用方法、室内意匠などを取り上げ、古代から近世までの変化を紹介する。

①木と紙と布　②架構　③しつらえ　④障壁画

201117 住まいの家族学

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

変容する家族関係や家族生活を、住宅や地域という空間を通して把握する。多発する家族問題を世帯主･主婦･子ども・老人という家族の立場から論じる。さまざまな事象から「家族とは何か?」を理解する。

①家族とマイホーム　②高齢者と介護　③少年事件と間取り

201118 アジアの住居史

非常勤講師　博士（学術）　内海　佐和子

前期は日本と中国の住居を、後期は韓国とベトナムの住居を中心に、それらの特徴や類似点などを見ながら、世界の中のアジアの住居について考える。さらに、世界遺産の町並みをとり上げ、住居から町並みまで総合的に理解していく。

①世界遺産　②住文化　③気候風土　④歴史　⑤町並み　⑥観光

201119 生活と色彩

教授　谷井　淑子

色彩は私達の生活と密接な関わりを持っており、その活用領域は多岐にわたっている。色彩の役割、機能、色の見え方の変化など、生活の中での身近な色の話題を取り上げ、色彩調和や配色法など、演習を交えて色彩の基礎知識を学ぶ。

①色と光　②色彩調和　③配色法

201120 景観と町並み保存

非常勤講師　博士（学術）　内海　佐和子

景観まちづくりと町並み保存について建築、文化、観光、制度といった様々な視点から見る。前期は日本の事例を、後期は外国の事例と世界遺産の町並みをとり上げ、景観まちづくりと町並み保存を基礎から理解していく。

①世界遺産　②観光　③景観の見方　④景観のコントロール　⑤景観の変化　⑥修景

201121 世界遺産の建築学

教授　工学博士　堀内　正昭

ヨーロッパの世界文化遺産を取り上げる。インターネットによる情報（主として英語）を随時活用しながら、これらの文化遺産の登録基準から各建物の特質ならびに普遍的価値を理解していく作業を行う。

①ユネスコ世界遺産　②インターネット　③普遍的価値

201122 西洋館の文化史

教授　工学博士　堀内　正昭

幕末・明治時代のわが国では、欧米の建築デザインと技術を導入して西洋館が建てられた。大工棟梁による見よう見まねの段階から、お雇い外国人建築家、そして日本人建築家による西洋館まで、１９世紀を中心に日欧の交渉史の観点から論じる。

①擬洋風　②お雇い外国人　③建築家

201123 コミュニティとまちづくり

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

私たちの生活とコミュニティとの関係は不可欠である。人々が共に支えあい安心して生活できる豊かなコミュニティの形成，さらに今日的課題である環境問題も視野に入れて，コミュニティとまちづくりとの関係やまちづくりの実践方法，住民の主体的関わり等について、具体例を通じて考えていく。

①コミュニティ　②まちづくり　③住民主体

201124 建築と福祉

教授　木村　信之

建築は「国民の生命、健康及び財産の保護を計り、もって公共の福祉の増進に資する」ためにある。福祉における建築の役割、建築における福祉の考え方を、住まい、施設、街並みを取り上げて考えていく。

①建築　②福祉　③ノーマライゼーション

201125 福祉住環境論

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

生活の基盤である住まい（建物とそこでの生活）から、まち（居住地域）までを住環境と捉え，高齢社会の進展や共生社会の形成の中で求められている，「福祉の視点」からの住環境整備のあり方を考えていく。福祉住環境コーディネーター３級程度の住まいに関する知識を身に付けていくことを目標とする。

①福祉住環境　②住宅改修・介護費用の軽減　③介護保険制度

201126 社会福祉概論

非常勤講師　梶原　洋生

近年、社会福祉に関する話題が大変目をひくようになって来た。高齢者のこと、障がい者のこと、低所得者のことなどである。これらを知りながら、私たちの関心事としての社会福祉を深める。そして次には、私たちの出来事としての社会福祉を考えてみたい。現代社会福祉の特徴とその問題を学ぶ。なるべく丁寧にその現状を示して、全体の理解が行き渡るように工夫する。

①現代社会　②社会福祉の全体像　③福祉分野の内容　④社会福祉とは

201127 ボランティア論

非常勤講師　興梠　寛

21 世紀は「ボランティアの世紀」といわれています。本講義は、グローバルな視野から、ボランティア・市民社会の理念や社会システムについて論じるとともに、未来の社会を育む“ボランティア・ネットワーキング”の可能性、それを支援するための社会政策や環境づくりなどを、多様な視点から学ぶことを目標にします。授業では、講義にとどまらず、話しあいや協働作業などをとおしたワークショップ、映像による実践の世界を探訪するなどの“参画型学習”を展開していきます。

①ボランティアの世紀　②市民社会　③ワークショップ　④参画型学習　⑤ネットワーキング

201128 コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論A）

非常勤講師　興梠　寛

「共生知」の世界にようこそ！ 本講は、講義『福祉環境とボランティア』や『ボランティア論』を実証的に探求するために、理論学習で学んだ成果を公共の社会の発展のために役立てながら学ぶことを目的にした社会貢献型体験学習です。コミュニティサービスラーニングとは、教室で学んだ理論学習の成果を地域社会の課題に置き換えながら実践的に学ぶ教科学習方法です。学生が地域社会におけるニーズや課題を発見し、自分に可能な社会貢献活動をしながら問題を共有するとともにその成果と反省を理論学習にフィードバックさせることを目標にしています。学習は①オリエンテーション、②事前学習、③コミュニティサービスラーニングの実践、④総括学習の４つの学習プロセスによって構成されています。

①コミュニティ・サービスラーニング　②共生知　③実証的考察　④社会貢献型体験学習　⑤問題の共有

201129 コミュニティ・サービスラーニング （ボランティア論 B）

教授　鵜養　啓子
准教授　山崎　洋史
准教授　藤島　喜嗣

一般教養科目『ボランティア論』、福祉環境学科専門科目『福祉環境とボランティア』を受講中または既習の学生のために、学校教育現場で特別支援教育対象児童生徒への援助を中心に、ボランティア活動を行う。特別支援教育について理解するとともに、心理学・教職課程などで履修したことを現場で活かしさらに理解を深めていくための実習を行う。

①ボランティア ②特別支援教育 ③サービスラーニング

201130 英語で地域貢献

准教授　伊藤　純
准教授　高味　み鈴

英語を通して NPO やボランティア活動の意義や役割、リスクマネジメントを実践的に学ぶ。世田谷区を中心にボランティア団体と提携し、英語を用いてイベントの案内やパンフレットの翻訳、日本に住む外国人のボランティア活動の補助を行いながら、専門分野の仕事で生かせる英語力を養うための環境に慣れる。卒業後の生涯学習、社会参加への扉を開くことにもつなげたい。

①英語　②地域貢献　③ボランティア

201131 現代社会事情

非常勤講師　村野　坦

私たちは目まぐるしく動く時代の流れの中にいます。国の内外で今起きている事象から主なものを選び、背景や経緯を読み解きながら、その意味を考えます。社会への関心領域を広げることによって他科目の学習の素地を作り社会生活への歩みを確かなものにしたい。

①現代　②社会　③時事問題

201132 現代社会事情概説 （女性記者の視点から）

非常勤講師　首藤　宣弘　他

さまざまなフィールドで活躍する女性記者が、取材活動を通してみた「現代社会」を報告する。情報は現代社会を生きるキーワードのひとつである。女性が変化の激しい時代を読み解き、自己の考えを整理し発信するヒントを提供するのが今講座の目的である。

①情報力　②分析力　③発信力

201133 小論文の書き方A

非常勤講師　小畑　和彦

メッセージ力ある文章を目標に、その書き方を指導する。文章は内容が優れていても、書く人の主張、気持ちが読者に伝わらなくては意味がない。独りよがりではなく、分かりやすく書く必要がある。講義では毎週1回、題について 60 分、800 字以内で原稿を書き、添削して翌週、それを学生に返す。これを繰り返し、まず書く楽しさとシンプルな文章を身につけ、社会に通用すると同時に就職試験の小論文に役立つようにする。

①構成力のある文章　②シンプルな文章　③文は人なり

201134 小論文の書き方 B

非常勤講師　阿部　紘久

講師の長年のビジネス経験、国際経験を生かした指導をする。理論篇は、『明快な文章』をテキストとする。３週間に1度、ワープロで作成した課題小論文をメールで提出し、詳細な添削シートを次週に受け取る。授業中に、原文と添削シートを比較しながら、手書きで再度全体を書き直す。その段階で個人指導を行なう。

①簡潔・明瞭で　②読む人に思いやりのある　③美しい文章

201135 小論文の書き方 C

非常勤講師　三浦　正己

文章って何だろう。自分の思っていること、言いたいことを、どうしたら的確に文字で表現できるのか――。それを、みんなで考え、一人ひとりの文章力を高めていきたい。そのために、課題に沿った小論文を書き、添削を受け、互いに作品を講評し合うスタイルで、授業は進められる。やがて、文章を書くことは難しくないんだと、実感できるはずだ。

①素直で飾らない　②簡潔で分かりやすい　③読む人の立場に立って書く

201136 自己表現とコミュニケーション

非常勤講師　野沢　聡子

この授業では「コミュニケーション」についての理論と実践を学びます。理論編では、「コミュニケーション」を難しくしているさまざまな諸要因についての理解を深め、実践編では、協調的な話し合いのための「コミュニケーション」スキルを学びます。この授業で学ぶ「コミュニケーション」の理論とスキルは、社会人となったときさまざまな場面で役立つ実践的なものです。

①コンフリクト　②競合と協調　③自己変革

201137 基礎力養成講座A

教授　理学博士　常喜　豊
教授　尾﨑　保子

企業の採用試験等で広く用いられる総合適性検査「SPI」に主眼を置いた、就職試験対策講座である。言語能力、および数学を中心とする非言語能力の頻出問題について、解説と演習を行う。

① SPI　②言語能力問題　③計算と図形問題

201138 基礎力養成講座B

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

卒業後に一般企業に就職を希望する学部３年次学生を対象とする。まず就職活動への心構えをつくり，重要なエントリーシートや履歴書の書き方，活動時に留意すべきマナー，一般社会常識、面接対策等について習得する。特に就活のプロによるノウハウで即実践力を身に付けていく。毎回のレポート提出や遅刻・欠席調査は厳しく行う。

①就職活動　②エントリーシート　③面接対策

201139 インターンシップ

非常勤講師　首藤　宣弘

夏期休暇など他の授業に支障のない期間を利用して、企業その他で2週間から3週間の就業体験をする。働くことの意味を理解し、自分の能力や資質がどんな仕事に向いているかを学んでもらう。単位認定希望者には事前のセミナー、マナー講座、事後のレポート提出と報告会出席などを義務付ける。最低5日以上の実習が条件。単位申請は報告会出席時に実習修了者が申し出る。

①キャリアデザイン　②就業体験　③自分探しの旅

201140 科学文化史

非常勤講師　博士（医学）　藤岡　彰

人類の歴史の生成過程において、科学は重要な役割を担ってきた。科学は文化に影響を与え、逆に文化があってこそまた科学の生育もあったといえる。そこで、科学が成立していく歴史を西欧中心にはなるが、それ以外の様々な地域についても学ぶことで、科学と文化が各国、各時代でどのように変遷していったか考えてみたい。特に古代や中世の科学観が大きく変わり、現代の科学や文化、文明に大きな影響を及ぼした17世紀のヨーロッパにおきた科学革命と呼ばれる現象と20世紀の量子力学と分子生物学が我々に与えた影響に力点を置いて論じてみたい。

①科学　②科学者　③科学革命　④江戸期の科学　⑤20世紀の科学

201141 数学A　（数学の基礎）

非常勤講師　理学博士　松原　望

就職試験用数学（SPI）のうち代数の部分（因数分解や方程式）をすませてから、行列と行列式など大学基礎数学（高校から大学1,2年）に進み、あとは苦手の人が多いと言われる「確率」に進む。中途で、数学の経済や経営など、日常への応用として「ゲーム理論」を紹介し、数学を楽しむ。数学の「苦手」の人を「好き」にするよう工夫する。易しく、実例で教える。

①SPI　②数の種類　③方程式　④行列と行列式　⑤確率・期待値

201142 数学B　（統計学の基礎）

非常勤講師　理学博士　松原　望

エクセルで楽しむ数学/エクセルで今度こそ好きになる数学/経営でバリバリ使って頼られる数学エクセルの基礎算法：できない人が意外と多い。これでは将来の資格試験にも不安が残る。以下の計算原理を説明、あとはエクセルに慣れれば基礎はできあがり。不安も消える。四則（加減乗除）、√、対数、数列、グラフ、図形と方程式、簡単な統計計算 etc.

①等比数列　②対数　③2次元グラフ　④平均と分散　⑤エクセル

201143 数学C　（形とパターンの数学）

非常勤講師　理学博士　岡　伸篤

実験が困難な現象にたいして、モデルを考えそれを微分方程式で表現し解析することによって、そのメカニズムを理解しようとすることが広く行われている。ここでは、その一部分を紹介する。併せて、その基礎である微分積分学を学ぶ。

①微分積分学　②微分方程式　③数理モデル　④力学系

201144 基礎化学

教授　博士（農学）　中山　栄子

大学教育過程における自然科学分野の基礎として、「化学」を高校課程で選択しなかった学生にも充分理解できるレベルから始めて、私たちの身近にある「化学」に対する関心を深め、基礎的概念と知識の理解と修得を目指す。

①暮らしの化学　②物質と化学　③基礎理論

201145 情報処理

教授　工学博士　佐藤　豊

工業社会に次ぐ第4の社会として情報社会が、社会システムに大きな変革をもたらしつつある現状を考察する。前期はデジタル情報の社会的影響とコンピュータシステムが現代社会に及ぼしている効果を検討し、後期はインターネットの社会的役割と人工生命（人工知能）などについて考察する。

①デジタルとアナログ　②ノイマン型コンピュータ　③情報社会

201146 天文学

非常勤講師　理学博士　福島　登志夫

前期は、宇宙の美しさと不思議について、太陽系・星・銀河などを例に、ビジュアル教材を駆使して学習する。後期は、宇宙を支配する重力に関するケプラーからアインシュタインまでの科学者の努力について解説する。

①太陽系　②星　③宇宙　④重力　⑤科学者　⑥科学史

201147 生命科学と社会

非常勤講師　青野　由利

21世紀は生命科学の時代といわれる。クローン技術、生殖補助医療、遺伝子診断や遺伝子治療、再生医療といった先端生命科学は私たちの社会にどのような影響を与えるのか。現在進行中の事例を題材に、技術の中身や規制のあり方、生命倫理問題などを身近なテーマとして考える。メディアリテラシーの向上もめざす。

①生命科学　②生命倫理　③科学リテラシー

201148 比較行動学

教授　理学博士　常喜　豊

動物行動学の中心課題は「比較」である。本講義ではこの「比較」を重視し、ヒトを他の動物と並列に置いて諸行動を比較・分析することにより、動物行動の中にある生物学的特性を探ってゆく。

①エソロジー　②生得的解発機構　③学習と刷り込み ④配偶行動 ⑤コミュニケーション ⑥行動と文化

201149 人間と環境

教授　理学博士　常喜　豊

今日、最も重大な関心事の１つである環境問題を基礎から理解してもらうことを目的とする。人間が、自らを取りまく森林や水などの自然環境とどのように接し、どう変えてきたのかを生態学の視点でとらえてゆく。

①生態学（エコロジー）②森林伐採 ③水質汚濁 ④大気汚染 ⑤土壌汚染 ⑥有害物質

201150 自然保護論

教授　理学博士　常喜　豊

自然保護とは生物の多様性を守ることだ、と言われる。その「多様性」を遺伝子、種、生態系、景観という４つのレベルで考え、それぞれにおける自然保護の理念、保護活動の現状や問題点などについて考える。

①生物の多様性　②自然保護活動　③国際条約

201151 森林と環境

教授　博士（農学）　中山　栄子

現在、最も関心を集めている問題の一つである「環境問題」に関して、森林を手がかりに考察する。持続可能な循環型社会に変えるために、どのように考えどのように行動すべきか、地球的視野で議論できるよう理解を深めたい。

①環境問題　②循環型社会　③森林の役割

201152 エネルギー資源

教授　工学博士　佐藤　豊

現代社会は地球環境問題を抱えながら、生活をしている。この問題には、エネルギーの消費が大きく関わっている。ここでは工業社会の成立に大きな役割を果たした物理学の持つ意味を考察する。

①地球環境問題　②エネルギー　③物理学

201154 香りの科学

非常勤講師　相坂　浩子

生活にうるおいを与え、食物のおいしさの要因でもある「香り」とはどのようなモノであるか、その正体を科学的にとらえることを目的とする。香りの歴史を概観した後、花、果物、スパイス、茶などについて具体的に解説し、授業時に実際に香りをかぐ。

①香料　②フレーバー　③スパイス

201155 感覚の科学

教授　工学博士　佐藤　豊

人間は五感という感覚により、周囲の外界情報を入手して、脳で処理して生活をしている。すなわち、体全体で手に入れた、外界情報の処理機能について考察する。感覚は脳で、感性として快適性その他の心的動作へとつながって行く。

①感性　②五感　③脳の情報処理

201156 生活用品の科学

教授　博士（学術）　角田　由美子

生活用品とは私たちの日常生活において多種多様なニーズを満たし、生活に潤いを与える製品と定義されている。本講義では各種の生活用品をとりあげ、その材料的特性、規格、製造方法、取り扱い方法等について消費科学的な観点から考察する。

①皮革　②毛皮　③はきもの

201157 家庭の医学A

教授　医学博士　戸谷　誠之

人間の体の仕組みについて、１つの視点として、健康や病気の仕組みについて学ぶ。元気な人が突然に病気に罹ったり、同じ生活をしていても病気になる人とならない人がいるのは何故であろうか。日常的な幾つかの病気について体の仕組みと、病気の経過や、診断、治療などの概要を学んでみたい。

①健康とは何か　②体の仕組みと病気　③病気のなぞ

201158 家庭の医学B

非常勤講師　博士（医学）　藤岡　彰

日本は諸外国に比べ医療が充実されているといわれるが、医学不信が突出して高い。その大きな原因として、標準的国民やマスコミにおける、医学を含む科学的素養の低さが指摘されることがある。しかし医学に対する正しい知識と認識は、健康な人生を歩むために必携のものといえる。そこで医学における基礎的知識を学び、さらにマスコミで最近話題にされる疾患を通じて、基礎知識が全くなくても、現代の医学への一定以上の理解を得ることを目的とする。

①日本の医療 ②医学の基礎 ③最近話題の疾患

201159 食の科学

准教授　博士（学術）　竹山　恵美子

食とは人が生命を維持し、活動していく上で欠かせないものである。ここではまずその基本となる食事のあり方について学ぶ。また、加工食品や調理済食品を含む食品表示の見方や取り扱い方の他、いくつかの食材については基礎から利用方法・機能を解説する等、“食”をめぐる種々の話題を取り上げて考察する。

①食環境と食育　②食品と表示　③食品の科学

201160 栄養科学 （食卓で見る科学）

准教授　博士（学術）　小川　睦美

食べるという行為は本能的である。しかし，だからこそ，そこにはその人の人格や教養が見えてしまうのであろう。ここでは健やかな女性となるべく，正しい食の営み，すなわち栄養について学ぶ。

①健康と栄養　②ビタミンとミネラル　③女性の生理

201161 栄養科学 （台所の科学入門）

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

食生活が複雑化し、大量の健康情報が溢れている。健康維持・増進の基本となる「食べる」ことに着目し、食に関する基礎知識を学ぶ。家庭、特に台所で見られる現象を、科学的な視点から捉え、考察する。

①生活習慣病　②栄養素　③食生活

201162 食と生活

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食は栄養摂取のためだけでなく、生活の中での楽しみ、潤い、コミュニケーションの手段として重要な位置を占めている。食と生活のかかわりについて広く学んでいく。

①食事マナー　②食環境　③嗜好

201163 食生活と調理

非常勤講師　関本　美貴

調理は人が長い歴史の中で作り上げ、現代に受け継がれてきた食体験の積み重ねであり、未来に伝承すべき文化である。また現在その必要性が叫ばれている食育にとって重要な意義を持っている。調理の文化的側面を踏まえて、現代の食生活における問題点、食育等について解説する。

①食文化　②嗜好性　③現代の食生活　④食育

201164 食生活と食品の安全性

教授　博士（学術）　福島　正子

近年食品の流通は多様化し、国際化する傾向にあるが、食に関するトラブルも多く発生している。健康な食生活を維持するには安全な食品を科学的に見分ける力が必要である。そこで食品についての基礎的知識を身につけ、近代農産物や新しく作られた加工食品の利点と問題点について考察する。

①健康な生活　②三大栄養素　③食品包装と保存

201165 スポーツを考える

准教授　渡辺　剛

前期は、「健康」スポーツを中心に心身の成長・健康への貢献・生活の質的向上について解説する。後期は、「競技」スポーツを中心に、勝つためにアスリートが「心・技・体」をどのように高めていくか解説する。

①生活習慣病　②ウォーキング　③ストレッチング　④トレーニング　⑤モチベーション　⑥コーチング

201166 身体と運動

准教授　博士（学術）　白川　哉子

「健康的な身体」について学習し、運動に関する深い理解と適切な実践を目指す。自分自身の生活習慣を見直し、健全な精神と身体の保持・増進を図りながら、美しく歩く方法や美しい姿勢についても考察する。

①健康な身体　②身体活動　③健康関連体力

201167 トレーニングと栄養

准教授　渡辺　剛

スポーツの競技特性や練習量などによって食事の内容は変わってくる。どのような食事の内容が、トレーニングや競技力向上に効果があるのかを中心に解説する。日々のトレーニングの中で実践し，確かめていってほしい。

①パワーアップ　②持久力アップ　③スポーツ栄養

201168 舞踊と身体 （世界の舞踊）

准教授　博士（学術）　白川　哉子

体を媒体とした表現方法としての舞踊（ダンス）について、その魅力を解明する。広義的に舞踊を解釈し、映像による鑑賞をもとに、それぞれにおける身体および身体運動の特徴とその発生の背景について考察する。

①世界の伝統舞踊　②芸術舞踊　③身体および身体運動

201169 体育実技 （エクササイズ）

准教授　博士（学術）　白川　哉子

自分に適した身体活動の内容・量を把握し、基礎代謝向上を図る。身体を引き締めるとともに姿勢つくりをはかる。特に持久力アップのための有酸素運動を継続的に行い、運動習慣を身につけるとともに、豊かなライフスタイルが形成できる能力を高める。

①持久力　②柔軟性　③筋力

201169 体育実技 （ゴルフ）

非常勤講師　平澤　和子

ゴルフは健康増進に役立つ生涯スポーツである。この授業ではゴルフの基本的な技術、ショットの習熟を目指すと共にルールやマナーについても学習していく。初心者向けであるスナッグゴルフの用具も併用する。

①ゴルフ　②スイングづくり　③簡易ゲーム

201169 体育実技 （ゴルフ）

非常勤講師　山里　哲史

ゴルフを中心とした身体活動を通して、技術の向上とともに体力面や神経機能により良い刺激を与え、健康の保持増進をめざしていく。また体調の維持など自己をコントロールする能力を身につけ、生涯にわたり豊かなライフスタイルが形成できる能力を高めることを目的とする。

①スポーツ　②ゴルフ　③健康

201169 体育実技 （テニス）

准教授 渡辺 剛

テニスは、生涯スポーツとして幅広く親しまれている。授業では、テニスマシーンを使って基本的なストロークを練習したり、簡易ゲームを楽しんだりしながら、最終的には、ダブルスゲームが楽しめるようになればと思う。

Key ①テニス ②各種ストローク ③ダブルスゲーム

201169 体育実技 （バドミントン）

非常勤講師 加藤 譲

バドミントンの基本的なストロークとルールを学習し、ゲームを中心に授業を進めていく。特に、後半はペアを決め、総当りリーグ戦を行なう。日頃の運動不足とストレス解消のため、シャトルを打ち合いましょう。

Key ①バドミントン ②各種ストローク ③ダブルスのゲーム

201169 体育実技 （バレーボール）

准教授 富本 靖

健康や体力の保持増進を目的とする身体活動の機会をあたえるとともに、選択したスポーツ種目の技能を身につけさせる。そして、生活の中にスポーツを取り入れ、豊かなライフスタイルが形成できる能力を高める。

Key ①バレーボール

201169 体育実技 （フットサル）

非常勤講師 水野 浩幸

ここ数年女子のフットサル人口は増加しており、女子にとってもフットサルは身近なスポーツになりつつあります。この授業ではまずフットサルのルールを理解し、基礎技術の習得に重点を置き、安全性に配慮しながらフットサルの面白さを体験できるように展開します。

Key ①ルール ②基礎技術

201169 体育実技 （フィットネス）

准教授 渡辺 剛

ハタ・ヨーガ（月）、ピラティス（水）、ハタ・ヨーガ呼吸法（木）。いずれも 17:30 ～ 18:30 の時間帯、オープンカレッジのフィットネス・スタジオで。種目は自分で選べます。心地よい汗をかいて、心身ともにリフレッシュしましょう。

Key ①フィットネス講座 ②ハタ・ヨーガ ③ピラティス

教職に関する専門教育科目

204001 教育原理

教授　小池　俊夫
准教授　西尾　克明

日本の教育は、今、大きな変革の渦の中にある。学校の存在も、教師の在り方も変化が求められ、子どもたちも親も変容している。従来の教育学の定説や通念だけに依存することでは、十分な対応をすることが困難になっている。そうした時に最も必要なのが、原理・原則を正しく見つめることである。生涯学習社会における学校教育の基本領域を網羅して検討し、「教育とは何か、なぜ必要なのか」を、自分の言葉で表現できるように、丹念に考究する。

①「ヒト」から「ひと」へ　②生涯学習社会　③選ばれる学校

204002 教育心理学A

教授　古川　真人

成長と発達、学習、学級集団、測定と評価など教育心理学としての必須の項目を、心理学それ自身の発展や時代の教育思潮の変化に即応させ、あらゆる教育活動の根底をなす心理学的基礎の理解を深めることを目的とする。

①発達　②学習意欲　③教授・学習過程

204003 教育心理学B

非常勤講師　木下　芳子

教育心理学における基礎的な知識を身につけ、学校教育における基本的な問題についての実践的資質を養うことを目指す。主な内容は、発達、学習、学習指導と教育評価であり、子どものニーズに応じて適切な教育支援ができるよう学ぶ。

①発達と学習　②学習指導 ③教育評価

204004 教育心理学C

非常勤講師　木下　芳子

教育心理学における基礎的な知識を身につけ、学校教育における基本的な問題についての実践的資質を養うことを目指す。主な内容は、発達、学習、学習指導と教育評価であり、子どものニーズに応じて適切な教育支援ができるよう、発達の障害についても学ぶ。

①発達と学習　②学習指導　③教育評価

204005 教育行政学

准教授　西尾　克明

教職科目として「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」について学習し、現代の教育行財政の基本原理について理解を深める。特に、複雑な教育関係の法令を系統的に整理して理解しながら、行政が構築する教育制度の役割や教育に対する文部科学省や教育委員会の機能（働き）・権限（法に基づく仕事）の内容を理解する。

①教育行財政　②教育法規　③教育制度

204006 教育課程論

教授　小池　俊夫

学校における教育課程（カリキュラム）とは、学校が意図的・組織的に編成した、あらゆる教育活動のプログラムのことであり、子どもの学習体験の総体である。教科・科目の配置や時間数・単位数などだけに目を奪われることが多いが、学校教育の本来的な使命を果たし、今日的な教育課題と子どもの現実に対応するカリキュラムの創造こそが重要である。そのための方途を、基礎知識を学びつつ考究する。

①カリキュラム　②学習指導要領　③学力低下・人間力低下

204007 教職概論

教授　田中　康善
教授　小池　俊夫

今、どこから見てもこの国の教育と子どもは歪められている。それでも国民は、心底では学校教育に強い期待を寄せ、教育愛に満ちて人間力の卓越した教師を切望している。「子どもが好き」「先生への憧れ」の思いをベースに、単なる知の伝達者に留まらない、品格のある人間存在としての教師のための資質と誇りある使命感とを熱く探究する。

①教師の使命　②教員養成・採用・研修　③恩師

204008 教育法規

非常勤講師　入澤　充

本講義は、子どもの未来のために教育の果たす役割と法律の関係がどのように法整備されてきているかを学び、さらにいじめ、体罰裁判等々を考察しながら教職員の法的責任について理解を深めるものとする。

①教育を受ける権利　②学校教育法　③教師の法的責任

204009 教育制度論

非常勤講師　入澤　充

本授業は、日本の教育制度がどのように形成され、今、変わろうとしているのかについて理解を深めるものである。また進行する規制緩和の下、教育の自由化について探究する。

①教育の理念と教育行政　②教育行政と公権力　③規制緩和と教育の自由化

204010 教育工学

教授　田中　康善
非常勤講師　坂谷内　勝

教育の方法と技術に関して、教育工学的アプローチで講義する。具体的には、教育方法に関する理論を踏まえ、授業研究、教材の活用及び情報機器について解説する。

①教育方法　②教材開発　③情報機器

204011 比較教育制度論

准教授　松本　淳

様々な国の教育を知ることを通して、日本の教育をより良いものにしていくためにはどうしたらよいのかを考える。また、世界の困難な状況を抱えた子どもたちに対して私たちは何ができるのかを考える。留学生などにその国の教育事情を取材するプロジェクトも行う。

①世界の教育　②国際貢献　③教育制度

204012 教職課程特講 A

非常勤講師　石橋　昭

教員を目指す学生に、社会の多様な変化に対応でき、教員としての資質を身に付けるために教育課題の捉え方と指導方法等を講義し、教育論文の書き方、個人面接、集団討論、指導計画の作成、学習指導案を作成し、教員採用試験の合格を目指す。

①教育課題　②教員の資質向上　③教育論文　④学習指導案　⑤模擬授業　⑥個人面接・集団討論

204013 教職課程特講 B

教授　小池　俊夫

これまでの教職科目の学びを想起し、丹念に確認しながら、教員採用試験への具体的な対応として、問題演習的学習を中心に据えながら、今日的・時事的な課題への理解も含めて、教育学的に学びの再構成を図る。「教職教養」の実力を確実なレベルにまで高めることを目的とする。

①教職教養　②教育原理・教育心理　③教育時事

204014 教職課程特講 C

非常勤講師　石橋　昭

教員採用試験を目指す学生について、実践的な講義と演習を行う。専門教科の学習指導要領の検討、学習指導案の作成、教育論文の作成、個人面接・集団討論の目的と趣旨を学び実践演習を行う。

①テクニカルターム（教職専門述語）　②教員採用試験　③学習指導案　④模擬授業　⑤教育論文作成　⑥個人面接・集団討論

204015 教職課程特講D

准教授　西尾　克明

教員採用試験対策の演習授業である。今日の採用試験では、即戦力としての優れた実践的な指導力をみる。特に、論作文と場面指導・模擬授業を重視し、教員としての適性をみる。これは、適切な受験準備をして臨めば対応できる。この授業では、その対応力をつける。

①法規・答申　②教職専門述語　③教育的思考

204016 国語科教育法A

非常勤講師　中村　敦雄

中学校・高等学校の国語科教師にとって基礎的な知識・技能の体得を目的とする。臨床的アプローチを採用し、教材研究・模擬授業・リフレクションのプロセスを受講者が実際に経験することによる学びを提供したい。

①教師教育　②国語科教育　③臨床的アプローチ

204017 国語科教育法B

教授　久下　裕利

中学校国語科教育に於ける教師たるべき姿勢と教授方法について講義する。具体的に教材研究のあり方や学習指導案の作成などを体得させる。

①学習指導要領　②教材研究法　③学習指導案

204018 書道科教育法

非常勤講師　横山　淳一

新学習指導要領の内容の解説と指導の方法に対処する。今回の改訂で「漢字仮名交じりの書」が主役となった。明治時代以来続いてきた指導法を見直し、受講生とともに改善、工夫し、新しい指導者を育成する。

①常用漢字の筆順　②講義ノート（毛筆・和綴）　③新学習指導要領　④教科書研究　⑤日本・中国の名筆の漢字仮名交じりの書　⑥自詠書（創作）

204019 英語科教育法A

教授　博士（教育学）　金子　朝子
教授　緑川　日出子

様々な角度から英語の習得について検討し、どのようにそれを時代のニーズに応じた英語教育に応用するかを考える。また、教育指導案の作成とモデル授業を行い、教育実習に備える。

① teaching methods　② teaching plan　③ 学習指導要領

204020 英語科教育法B

准教授　小林　多佳子

英語を教える上での問題点や、注意事項について考察すると共に、効果的な授業形態について研究する。また教育実習に備えて、指導教案の作成、模擬授業も行なう。

①指導教案　②模擬授業　③教育実習

204021 公民科教育法

非常勤講師　渥美　利文

前期は公民科の基本的な特質のその指導の在り方について講義する。その際「政治・経済」「倫理」「現代社会」の各科目の目標とその内容を中心に理解する。また政治教育、経済教育、法教育の現代における新しい動きを、子どもたちの実態や社会の変化等の関係から理解する。これらは後期の模擬授業等に活かすことをねらっている。

①公民科　②公民的資質　③社会認識　④公民教育　⑤模擬授業

204022 地理歴史科教育法

教授　博士（文学）　田畑　久夫
非常勤講師　小川　浩

学習指導要領を理解した上で、授業構成を研究し、教材研究を行う。受講生各自の授業テーマで学習指導案を作成する。

①学習指導要領　②教材研究　③学習指導案

204023 社会科教育法 （歴文・心理）

非常勤講師　峯岸　誠

前期は、中学校社会科の指導に関わる学習指導要領と教材研究、評価等について理解する。また、地理的分野の講義、演習を行い、各自が夏期休業中の課題として学習指導案を作成する。後期は、地理的分野の学習指導案の発表、歴史・公民的分野の内容についての講義、演習、模擬授業を行う。学習指導要領の改訂の概要も取り上げる。

①学習指導要領　②指導と評価　③教材研究法　④学習指導案　⑤模擬授業

204025 家庭科教育法A

特任教授　由比　ヨシ子

自立した生活者育成という家庭科教育の目標を理解し、中学校技術・家庭及び高等学校家庭科の指導力を養う。具体的には、学習指導計画作成、教材研究、評価法等の基礎的知識の修得と、指導技術を学ぶ。

①自立した生活者の育成　②家庭科教育の目標　③学習指導法　④教育実習の意義　⑤各領域の課題研究　⑥評価法

204026 家庭科教育法 B

講師　今井　美樹

自立した生活者の育成という家庭科教育の目標を理解し、中学校技術・家庭の指導力を養う。具体的には、学習指導計画作成、教材研究・評価法等の基礎的知識の修得と、模擬授業を通し、指導法の技術と実践法を学ぶ。

①自立した生活者の育成　②家庭科教育の目標　③学習指導法

204027 保健科教育法

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

学習指導要領を理解し保健学習の目標と内容、学習の形態、学習指導計画、学習指導案を作成する。さらに教育方法の実践的な訓練（模擬授業）を行い、指導法と技術を学ぶ。

①学習指導要領　②保健学習の内容　③学習指導案

204028 福祉科教育法

教授　社会学博士　月田　みづえ

高等学校の福祉科の教員免許状取得を希望する学生に、福祉科教育の目的、方法、教授に必要な指導技術の基本を体得することをめざす。授業の工夫や教材の検討、視聴覚教材による授業分析など望ましい授業のありかたを考える。

①教材　②教育方法　③授業展開　④ワークショップ　⑤模擬授業　⑥資料づくり

204029 道徳教育の研究A

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

道徳教育とは何かについて明らかにし、中学校・高等学校において道徳教育がどのように規定され実施されているのかを見ていく。特に道徳の時間を中心として、どのように指導していけばいいのかを、実践例を取り上げながら、主体的に考えられるようにする。

①人間としての在り方や生き方　②道徳的価値の学習　③自己の探求

204030 道徳教育の研究B （後半）

非常勤講師　佐藤　道幸

学校教育の重要な課題である道徳教育について、中学校の実態を踏まえながら、基礎的な考え方や内容・方法などについて理解を深める。特に道徳性の育成のため「道徳の時間」を中心に、教師としての実践力を身に付ける。

①道徳的価値　②道徳の時間　③人間としての生き方

204031 特別活動の研究A

教授　田中　康善

教職科目として「HR 活動」「生徒会活動」「学校行事」の1年間を概観して学校生活を把握し，学校の構成員として，教科指導の他に分掌する特別活動を積極的に指導するための基礎を身につける。

①リーダーシップ　②集団活動　③集団の風土

204032 特別活動の研究B （前半）

非常勤講師　佐藤　道幸

学習指導要領のねらいである「生きる力」の育成には、自ら考え自ら行動する特別活動が重要である。関連の深い「総合的な学習の時間」等を踏まえながら、特別活動の意義や内容、方法等について具体的な指導の在り方を研究する。

①学校生活への適応　②望ましい集団活動　③自主的実践的態度

204033 生徒指導・進路指導の研究A

非常勤講師　佐藤　道幸

社会環境が大きく変化する中で、中・高校生の意識や行動等も変容し、指導の在り方が様々に問われている。いじめ問題や不登校、ニートや引きこもりの問題、進路選択の悩みなど、学校における生徒指導・進路指導の具体的課題について研究する。

①規範意識　②いじめ・不登校　③主体的な進路選択

204034 生徒指導・進路指導の研究B

非常勤講師　佐藤　道幸

中学校では、いじめ問題や不登校、望ましい勤労観・職業観の育成など生徒に関わる様々な課題が山積している。一人一人の生徒が充実した学校生活を送ることができるよう生徒指導・進路指導の具体的課題について研究する。

①生徒理解　②いじめ・不登校　③勤労観・職業観の育成

204035 生徒指導の研究

教授　田中　康善

「児童・生徒の実態把握」「保護者への対応」「教育相談」について概観し，現代における生徒指導の重要性について理解を深める。また学ぶ者を支える学級経営の展開のために留意すべき事柄とその対応策を考える。

①児童・生徒理解　②保護者会　③教育相談

204036 教育相談の研究

准教授　山崎　洋史

今日、いじめや不登校など、子どもの学校教育上の問題はきわめて深刻な事態にある。教育現場におけるその解決を目指し、教師が教育相談の理論や技法に基づいて、生徒や親、教師に相談・援助していくプロセスを学んでいく。

①教育相談　②カウンセリングの技法　③カウンセリングの理論

204037 総合演習

教授　小池　俊夫

現在、政治経済、国際関係から環境、メディア、文化や生命など人類が抱える諸問題は、細分化された専門的知見だけでなく、「総合的知性」「教養的知見」をもたなければ解決できない。こうした総合性の求められるテーマを設定し、グループ研究を中心に結論を導き、報告・発表することを通して、学習指導要領の「総合的な学習の時間」での卓越した指導力を培う。

①総合的知性　②問題解決能力　③グループ研究

204038 総合演習

教授　尾﨑　保子

「学習指導要領」に沿って行われる教師としての指導力や技術を身につけるための授業である。世界から個人にいたるまで、われわれを取り巻く政治・経済・文化・教育などの諸問題について、他との協調の中にこれを包括的に理解し、より良い方向に練り上げてゆく過程について学ぶ。グループに分かれ、テーマを決め、研究、発表、討論し、最後にレポートにまとめて提出する。

①グループ研究　②発表と討論　③報告書作成

204039 総合演習

教授　田中　康善

政治・経済・情報・環境・文化・教育など、わたくしたちを取り巻く諸問題について、少人数に分かれた学生グループが各々の学習テーマを決めて研究を進める。結果をレポートにまとめ、発表・討論を行う過程で、教師としての指導力や技術を身につける。

①グループ研究　②発表・討論　③指導力の育成

204040 教育実習の指導

教授　田中　康善

教育実習は授業実習を中心に行われる「教師の実務の実習」である。教科指導を中心とするが、多様な生徒の姿に直に接して、その対応を体験することは、実習を通して自己陶冶する機会となる。この授業では学校現場の実態の概略と実習生の心得を学ぶ。

①実習の意義　②プロトコールの分析　③指導案作成と模擬授業

204041 介護等体験の指導A

非常勤講師　宮下　安彦

平成 10 年に「介護等体験特例法」が施行されてから 9 年になる。教職を希望する多くの学生が障害児・者や高齢者等の理解を深めるために、貴重な体験を通して大きな成果を上げてきた。この講義では、介護等体験の意義や障害の理解とともに、盲・聾・養護学校等における実際の教育現場での具体的な指導内容・方法等の理解を深め、介護等体験をより意義あるものにする。

①社会福祉　②介護体験　③社会福祉施設

204042 介護等体験の指導B

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

教職免許状取得に伴い、法律で義務づけられた介護等体験の実習をするのに必要な基礎力を養う。社会福祉の目的や施設の役割、施設利用者また、養護学校の機能と生徒などについて理解し、実習に対する心構えやその方法と内容について説明する。

①介護体験　②社会福祉施設　③養護学校

図書館に関する科目

205001 生涯学習概論

准教授　田中　均

生涯学習の意義を理解し、高度情報化社会との関連を踏まえつつ図書館との関わりを学習する。家庭・学校・社会教育との関連、図書館・博物館・公民館など各種社会教育施設と専門職員、それら施設の情報提供のあり方を解説する。司書資格取得希望者は最初に履修する科目である。

①生涯学習　②社会教育　③社会教育施設

205002 図書館概論

教授　大串　夏身

図書館の基本理念・歴史、図書館を取り巻く法制度、図書館の現状と課題、図書館をとりまく状況、これからの図書館のあり方など全般を論じる。生涯学習概論とともに司書資格取得希望者が最初に履修する科目である。

①図書館の基本理念　②図書館政策と関係法令　③図書館の社会的役割

205003 図書館サービス論

教授　大串　夏身

図書館サービスの全般を論じる。図書館サービスは、資料の貸出、情報サービス、レファレンスサービス、読書相談、児童サービス、障害者サービスなど広い範囲に及ぶ。それらを社会的な意義をも視野に入れて論じる。

①図書館サービスの種類　②図書館ネットワーク　③サービスの社会的意義

205004 情報サービス概説

教授　中西　裕

図書館における情報サービス提供の意義、利用者の情報要求と探索行動を説明した上で、図書館の提供するレファレンス・サービス、利用する基本的参考図書について解説する。また例をあげて情報探索の方法を紹介する。

①レファレンスサービス　②情報サービス　③参考図書

205005 図書館資料論

教授　中西　裕

図書館資料の種類と特質、資料の選択、収集、受入、保存、管理など、基礎的なことがらを学習する。図書館資料の選択とコレクションの構築がどのように行なわれているかについても学ぶ。さらに出版流通の仕組みについても考察する。

①図書館資料　②資料選択　③保存

205006 資料組織概説

准教授　田中　均

図書館資料を組織化するとは、資料を主題などによって配列し、著者名、タイトル、主題等からのアクセスを可能として図書館で利用できるようにすることである。そのために必要な分類法、目録法について学ぶ。ネットワーク時代の図書館に必要な書誌ユーティリティーの知識についても、その概要を説明する。

①資料組織法　②分類法・目録法　③書誌ユーティリティー

205007 図書館経営論

准教授　田中　均

図書館は情報資源であるコレクションと職員、施設が一体となって運営されその機能を発揮する。公共図書館の場合は、当該自治体の図書館政策・振興計画と密接な関係を持つ。経営組織としての図書館の自治体内での位置づけ、経営の理念・考え方、経営計画、経営資源と管理・保存・職員・人事・ネットワーク、利用者サービス、経営評価などの問題を概説する。

①図書館組織　②経営計画　③図書館評価

205008 専門資料論

教授　中西　裕

人文科学、社会科学、自然科学の各分野につき、それぞれの領域に関わる情報の特性、資料の種類についてとりあげる。次いで一次資料、二次資料の概念を理解して、各々代表的なものを解題して、資料に即した学習を目指す。

①学術情報　②一次資料　③二次資料

205009 児童サービス論

教授　大串　夏身

児童サービスは、子どもの読書活動推進法の制定、それに基づく推進基本計画の策定など、国の読書推進施策を背景に、一層の発展が望まれている。サービスの概要を論じる。特に資料の評価に時間を割きたい。

①児童資料　②子どもの読書活動推進　③ブックトーク

205010 レファレンスサービス演習

教授　中西　裕

主に参考図書を使ってレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用のしかたを学ぶ。また各自の設定したテーマに関する文献を集めて書誌を作成する実習を行う。実践的な能力の習得をめざす。

①レファレンスサービス　②書誌　③参考図書

205011 情報検索演習

教授　大串　夏身
教授　中西　裕

図書館で活用するデジタル情報源の検索を行う。主にインターネット上のデータベースを対象とする。総合的な検索エンジンの活用、書誌データベース、事実データベースに分けて行う。課題は電子メールで提出する。

①総合的な検索エンジン　②書誌データベース　③事実データベース

205012 資料組織演習A

准教授　田中　均

「資料組織概説」で学んだ理論を元に実際に目録を作成する。カード目録作成の他、CD-ROM　J-BISC 教材版、及び、各種オンラインデータベース等を用いてパソコンによる実習も行う。また、ネットワークによる共同目録の利用についても学習する。この授業を履修するためには「資料組織概説」を単位修得していることが必要である。

①目録作成　②共同目録　③目録規則

205013 資料組織演習B

准教授　田中　均

「資料組織概説」で学んだ理論を元に、主題分析、分類作業、件名作業を実習する。分類法はNDC9版を用い、演習を通して「日本十進分類法」の主題体系、補助表、分類基準等を理解し、実際の使い方を学習する。件名標目法としては「基本件名標目表 BSH4版」によって資料の主題を表す適切なキーワード（件名）を付与する演習を行う。この授業を履修するためには「資料組織概説」を単位修得していることが必要である。

①主題分析　②分類　③件名

205014 図書及び図書館史

教授　中西　裕

文字の発明から図書・ニューメディアにいたるまでの歴史の概観と、時代と共に発展してきた書物と図書館の歴史を解説する。図書館や図書資料について、できるだけ画や実物を見ながら学習を進めてゆきたい。

①図書資料　②図書館　③書誌学

205015 資料特論

教授　中西　裕

地域に関する資料及び官庁刊行の資料について、その情報や資料の種類、収集とそれを提供する意義と方法などを今日的な視点からとりあげる。身近な公立図書館の調査を行なう。

①地域資料　②官庁資料　③情報発信

205016 コミュニケーション論

教授　中西　裕

コミュニケーションは図書館業務においても基本的なものである。人と人との間のコミュニケーションを中心に取り扱い、その重要性や難しさについて学ぶ。広報･サインなどを通しての図書館利用者とのコミュニケーションについても理解を深めたい。

①コミュニケーション　②図書館　③広報・サイン

205017 情報機器論

准教授　田中　均

インターネットの急速な発展、電子コンテンツの普及など高度情報化の進展に伴い、図書館は電子図書館、ネットワーク系情報資源、電子媒体情報等の各種情報メディア活用が求められることとなった。新しい図書館における多彩な情報メディアについて、その社会的意義を確認し、それをふまえて意義と目的を理解する。また、情報検索の指導に必要な各種概念・知識を身につける。

①情報機器　②情報特性　③電子資料　④情報検索指導

205018 図書館特論

非常勤講師　植田　康夫

図書館と深い関わりのある出版物および出版をめぐる様々な事象をとりあげ、出版についての認識が深められるようにする。

①出版　②編集　③書物・雑誌

205019 学校経営と学校図書館

非常勤講師　菅田　明子

学校図書館の理念・発展過程と課題、学校図書館経営のあり方などの基本的な理解を目指す。そして、司書教諭の任務と役割、学校図書館のメディア、学校図書館活動、他の館種とのネットワーク等について理解を深める。

①学校図書館経営　②司書教諭の任務・役割　③学校図書館メディア

205021 学校図書館メディアの構成

非常勤講師　菅田　明子

学校図書館メディアの意義、特性を述べ、学校図書館メディアの構築のプロセス、維持・管理・発展の実際を解説するとともに、メディア組織化のための分類法及び目録法の基礎的な知識理解を図る。

①学校図書館メディアの意義・特性・基礎知識　②学校図書館メディアの形成　③分類法と目録法

205022 読書と豊かな人間性

非常勤講師　村越　正則

子どもの発達や生活実態に即した読書教育の理念、及び現代社会の実情と読書資料についての理解を深める。また、子どもと図書館資料を結び付け、読書の習慣化を図る方法を解明し、このことを通して豊かな精神生活と人間性の涵養に関する方途を探る。

①読書資料　②読書指導計画　③個別・集団指導

205023 情報メディアの活用

准教授　田中　均

学習センター、メディアセンターの機能を統合した新しい学校図書館における多彩な情報メディアについて、その社会的意義を確認し、それをふまえて司書教諭にとって、また学校図書館にとっての情報メディアの意義と目的を理解する。各種のデータベースやインターネットを利用した情報検索、Ｗｅｂ上での情報発信、著作権に関しても学習する。

①学校図書館　②司書教諭　③情報メディア

▶外国語科目（大学）

202001 英語U−AIA（ベーシックイングリッシュ1～22）

非常勤講師　原田　慎一 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この English Shower では、スピーキングとリーディング活動を中心に英語のスキルの向上と共に、英語の基本的な語彙力や文法力養成に重点をおく。

①基礎力強化　②英語力向上　③英語のスキル

202001 英語U−AIA（ベーシックイングリッシュ23～26）

非常勤講師　岡田　優子 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この English Shower では、スピーキング活動と TOEIC 教材を通して、英語の基本的な語彙力や文法力養成に重点をおき、1年次終了時には TOEIC400 点以上の習得を目標とする。

①基礎力強化　②英語力向上　③ TOEIC400 点

202002 英語U−AIB（ベーシックイングリッシュ1～22）

非常勤講師　小川　厚子 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この TOEIC Prep. では、TOEIC 教材を通して語彙や文法力を高める共に、TOEIC への意識付けを行なう。1年次終了時には TOEIC 400 点以上の習得を目標とする。

①語彙　②文法　③ TOEIC400 点

202002 英語U−AIB（ベーシックイングリッシュ23～26）

非常勤講師　榊原　益子 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この Reading Drill では、科学科の専門性を重視し、科学や健康に関する内容を英語で学ぶ。科学科の学生が国際社会でコミュニケーションしたり、自分の意見を発表したりする際に必要な英語の基礎的専門語彙や読解力を獲得することを目指す。

①科学英語　②健康と食物　③基礎的語彙

202003 英語U−AIIA（ベーシックイングリッシュ1～22）

非常勤講師　夏苅　佐宜 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この English Shower では、スピーキングとリーディング活動を中心に英語のスキルの向上と共に、英語の基本的な語彙力や文法力養成に重点をおく。

①基礎力強化　②英語力向上　③英語のスキル

202003 英語U−AIIA（ベーシックイングリッシュ23～26）

非常勤講師　夏苅　佐宜 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この English Shower では、スピーキング活動と TOEIC 教材を通して、英語の基本的な語彙力や文法力養成に重点をおき、1年次終了時には TOEIC400 点以上の習得を目標とする。

①語彙　②文法　③ TOEIC400 点

202004 英語U−AIIB（ベーシックイングリッシュ1～22）

非常勤講師　奈古　明子 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この TOEIC Prep. では、TOEIC 教材を通して語彙や文法力を高める共に、TOEIC への意識付けを行なう。1年次終了時には TOEIC 400 点以上の習得を目標とする。

①語彙　②文法　③ TOEIC400 点

202004 英語U−AIIB（ベーシックイングリッシュ23～26）

非常勤講師　笠井　逸子 他

高等学校までに学んだ英語を復習し、英語運用能力の基礎を身に付けることを目指す。この Reading Drill では、科学科の専門性を重視し、科学や健康に関する内容を英語で学ぶ。科学科の学生が国際社会でコミュニケーションしたり、自分の意見を発表したりする際に必要な英語の基礎的専門語彙や読解力を獲得することを目指す。

①科学英語　②健康と食物　③基礎的語彙

202005 英語U−AS（基礎英語・1年生対象）

教授　博士（教育学）　金子　朝子

外国語を履修している学部1年生の基礎力増強を目的とした補習的授業である。英語の文法や単語を基礎から見直し、今後の英語学習に向けての更なる基盤補強に取り組む。開講時期は後期授業終了直後（2月中旬）とし、開講期間は5日間とする。

①基礎力増強　②短期集中　③1年生対象

202006 英語U−BI（エッセンシャルイングリッシュ）

非常勤講師　石塚　美佳 他

英語の基礎的知識を再確認し、確実に身につけることを目的とする。単なる文法事項の復習ばかりではなく、平易な英語で書かれた文章にできるだけ多く触れることで、効果的な英語学習の仕方も身につける。

①基礎力養成　②英語を楽しむ　③学習方法

202007 英語U−BII（エッセンシャルイングリッシュ）

非常勤講師　菅原　大一太 他

英語の基礎的知識を再確認し、確実に身につけることを目的とする。単なる文法事項の復習ばかりではなく、平易な英語で書かれた文章にできるだけ多く触れることで、効果的な英語学習の仕方も身につける。

①基礎力養成　②英語を楽しむ　③学習方法

202008 英語U−C（ジェネラル・イングリッシュ）

非常勤講師　奈古　明子 他

英語基礎力の増強を目的とし、総合的に英語力を伸ばしたい学生を対象としたクラスである。コンピュータソフトとリーディングの自学プログラムを使った活動を導入し、各自のペースで定められた目標に向かい学習する。課題を計画的に行うことが義務づけられる。

①基礎力強化　② e- ラーニング　③計画的学習

202009 英語U－D （トラベル英語）

非常勤講師 藤守 義光 他

海外旅行やホームステイで頻繁に使われる英語表現を学び、コミュニケーション能力を身につける。旅行で遭遇する英語を学び、様々な場面で対応できる語学力を養う。

①国際交流 ②コミュニケーション能力養成 ③海外旅行・ホームステイ

202010 英語U－DS （旅行業務英語）

非常勤講師 小川 厚子 他

将来旅行業界で働きたいと希望している学生を対象としている。旅行業で必要とされる語彙、表現の習得を目指す。また接客の場面で必要となるコミュニケーション能力も養成していく。

①旅行業界 ②業務英語 ③コミュニケーション能力養成

202011 英語U－E （ビジネス英語）

非常勤講師 大内田 優子 他

基本的なビジネス英語、つまり英語で仕事をするための基礎を学ぶ。基本的なビジネス用語を習得し、ビジネス英会話（電話の受け答え、商談の進め方など）や、英文ビジネスレター（email、履歴書、注文書など）の書き方を学ぶ。

①ビジネス用語 ②ビジネス英会話 ③英文ビジネスレター

202012 英語U－F （メディア英語）

非常勤講師 マディーン，エリック 他

英語メディアから発信された最近の情報を教材とする。それぞれの教材に出てくる語彙や専門用語等の説明に加え、歴史的・文化的背景の解説も行なう。タイムリーな英語に触れつつ、自分の意見も英語で発信できるような練習を取り入れる。

①メディア情報 ②語彙増強 ③自己発信

202013 英語U－G （デジタル英語）

非常勤講師 笠井 逸子 他

「英語」と「コンピュータ」という２つのスキルを同時に身につけることを目標とする。コンピュータの基本的な使い方を学び、コンピュータソフトを用いた英語学習を行う。また英語でのｅメールのやり取りを行う。

①コンピュータ操作 ②英文作成 ③ｅメール・コミュニケーション

202014 英語U－H （TOEIC・英検対策英語）

非常勤講師 久保 恭子 他

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、語彙、文法、読解、リスニングなどの力を養成すると共に、正解へ至るためのテクニックを身につける。TOEIC450 点・英検 2 級以上の取得を目標とする。

① TOEIC ②英検 ③テクニックの習得

202015 英語U－HS （TOEIC・英検対策英語・上級）

非常勤講師 杉森 建太郎 他

既に TOEIC 450 点・英検 2 級以上を履修している学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、語彙、文法、読解、リスニングなどの英語力を高め、正解へ至るためのテクニックを身につける。各学生が更なる高いレベルに到達することを目標とする。

①上級 ②資格試験 ③スコアアップ

202016 英語U－I （アカデミック・リーディング）

非常勤講師 原田 慎一

文系・理系を問わず、ほとんどの大学院では、長文英文読解を入学試験に課している。過去の出題例等を取り上げながら、英文の内容を正確に把握する能力を養う。解釈のポイントとなる文法事項等の確認も随時行なう。

①長文読解力の強化②文法事項の確認③入試対策法

202017 英語U－IS （アカデミック・ライティング）

教授 増澤 史子

将来大学院に進学したいと希望している文系、理系の両方の学生を対象としている。大学院にて必要となる英語のサマリーや論文の書き方を学ぶ。また、同時に大学院生に求められる英語力も身につけることを目的としている。

①大学院準備②英語力強化③英文サマリー

202018 英語U－J （異文化理解）

非常勤講師 永田 喜文 他

英語圏の文化や社会に関するトピックについて、様々なメディア（例えば雑誌、新聞、Internet 等）から発信される英文を通して、自分たちの文化と比較対照し、異文化理解を深める。

①異文化理解 ②社会と文化 ③文化比較

202019 英語U－K （文学）

教授 森本 真一 他

英語で書かれた文学作品を、楽しみながら読むクラスである。逐語訳をやめ、英語が速く読めるようになることを第一の目標とする。文化、歴史、社会背景などにも触れながら、読解力の向上を目指す。

①短編小説 ②速読法 ③楽しい読書習慣

202020 英語U－L （プレゼンテーション）

非常勤講師 マディーン，エリック 他

自分の言いたいことを英語でまとめて発表するクラスである。日常的なことから始め、興味を持っていることや専門について、口頭で発表する。この練習を通して、プレゼンテーション能力を養成する。

①プレゼンテーション ②話す技術 ③発表能力の養成

202021 英語U－ＭＩＡ　（科学英語１～４）
准教授　鈴木　博雄 他
この授業は、科学科の学生を対象としたもので、科学科の学生が将来国際社会で英語を用いてコミュニケーションをする際に必要な語彙や表現を習得するためにある。授業の目的は、健康や食物に関する英語の新聞記事やニュース等を十分に理解できるようになることである。
①科学英語　②健康と食物　③読解力

202022 英語U－ＭＩＢ　（科学英語１～４）
非常勤講師　清水　みち 他
この授業は、科学科の学生を対象としたもので、科学科の学生が将来国際社会で英語を用いてコミュニケーションをする際に必要な語彙や表現を習得するためにある。授業の目的は、健康や食物に関する英語の新聞記事やニュース等を十分に理解できるようになることである。
①科学英語　②健康と食物　③読解力

202023 英語U－ＭⅡＡ　（科学英語１～４）
非常勤講師　笠井　逸子 他
この授業は、科学科の学生を対象としたもので、科学科の学生が将来国際社会で英語を用いてコミュニケーションをする際に必要な語彙や表現を習得するためにある。授業の目的は、健康や食物に関する英語の新聞記事やニュース等を十分に理解できるようになることである。
①科学英語　②健康と食物　③読解力

202024 英語U－ＭⅡＢ　（科学英語１～４）
准教授　高味　み鈴 他
この授業は、科学科の学生を対象としたもので、科学科の学生が将来国際社会で英語を用いてコミュニケーションをする際に必要な語彙や表現を習得するためにある。授業の目的は、健康や食物に関する英語の新聞記事やニュース等を十分に理解できるようになることである。
①科学英語　②健康と食物　③読解力

202025 英語U－Ｎ　（専門英語：学科別）
非常勤講師　石塚　美佳　他
それぞれの学科の専門に沿った内容を扱う。専門の基礎知識を英語で学びながら、英語力の向上を目指す。
①語彙力増強　②英語運用力　③専門知識

202026 英語U－Ｏ　（文法トレーニング）
准教授　鈴木　博雄 他
語彙を増強しながら、高校までに修得した文法力を実践的にさらに高めることを目指す。さまざまな場面を想定しながら、会話と文章の両面からアプローチする。
①文法　②語彙　③読解力

202027 英語U－Ｐ　（児童文学）
非常勤講師　古東　祐美子 他
子供向けに書かれた英語のお話や物語を用いて、作品の持つ背景にも目を向けつつ内容を理解する。また、読解力を身につけるとともに、自らが声を出す「読み聞かせ」の活動もとり入れて、実践的な英語力も身につける。
①児童文学　②読解力　③読み聞かせ

202028 英語U－Ｑ　（発信型）
教授　小川　喜正 他
実社会で必要とされている英語やその表現を学ぶと共に、翻訳や通訳などの実践的な作業を通して、各個人が自ら英語で発信する楽しさを学ぶ。
①実践　②発信　③自主性

202029 英語U－Ｒ　（海外で学ぶための英語）
非常勤講師　フルマー，パトリック 他
この授業は、ボストン校での研修プログラムや学外の留学プログラムを利用して海外留学を希望する学生を対象とし、海外で学習・生活する際に必要な語彙やコミュニケーション・スキルの修得を目指す。
①海外留学②海外生活③コミュニケーション・スキル

202030 英語U－Ｓ　（基礎英語２・３年生対象）
准教授　高味　み鈴
この授業は、外国語英語を履修している学部２・３年生の基礎力増強を目的とした補修的授業である。英語の文法や単語を中学レベルの基礎から見直し、今後の英語学習に向けての更なる基盤補強に取り組む。開講時期は後期授業終了直後（２月中旬）、開講期間は５日間である。
①基礎力増強　②短期集中　③２･３年生対象

202031 英語U－Ｔ　（ポップカルチャー英語）
非常勤講師　榊原　益子 他
この授業は、人気テレビ番組、映画のビデオ、音楽等の英語圏の pop culture を通して、日常生活で用いられる英会話表現を学ぶことを目的としている。楽しく、カジュアルで実用的な語彙やイディオムを習得し、日常的な英会話ができるようになることを目指す。
① Pop Culture　②実用的な表現　③英会話

202032 英語U－ＸＩＡ（アドバンストイングリッシュＩＡ）
非常勤講師　マディーン，エリック
既に TOEIC500 点または英検 2 級以上を取得している学生を対象としたクラスで、より実践的な英語活動を通して、数多く英語にふれることにより更に英語運用力を高め、最終的には TOEIC スコア 650 点以上の取得を目指す。
①上級　②英語運用力　③ TOEIC 650 点

202033 英語U−XⅠB（アドバンストイングリッシュⅠB）
非常勤講師　小川　厚子
既に TOEIC500 点または英検 2 級以上を取得している学生を対象としたクラスで、より実践的な英語活動を通して、数多く英語にふれることにより更に英語運用力を高め、最終的には TOEIC スコア 650 点以上の取得を目指す。
①上級　②英語運用力　③ TOEIC 650 点

202034 英語U−XⅡA（アドバンストイングリッシュⅡA）
非常勤講師　マディーン，エリック 他
既に TOEIC500 点または英検 2 級以上を取得している学生を対象としたクラスで、より実践的な英語活動を通して、数多く英語にふれることにより更に英語運用力を高め、最終的には TOEIC スコア 650 点以上の取得を目指す。
①上級　②英語運用力　③ TOEIC 650 点

202035 英語U−XⅡB（アドバンストイングリッシュⅡB）
非常勤講師　石塚　美佳
既に TOEIC500 点または英検 2 級以上を取得している学生を対象としたクラスで、より実践的な英語活動を通して、数多く英語にふれることにより更に英語運用力を高め、最終的には TOEIC スコア 650 点以上の取得を目指す。
①上級　②英語運用力　③ TOEIC 650 点

202036 ドイツ語（入門 A・B）　1 ～ 6
准教授　廣瀬　伸良 他
ドイツ語にはじめて触れる学部学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

202037 ドイツ語（初級 A・B）　1 ～ 6
准教授　廣瀬　伸良 他
ドイツ語にはじめて触れる学部学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

202038 ドイツ語（入門 A・B）　s
准教授　廣瀬　伸良 他
ドイツ語にはじめて触れる学部学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

202039 ドイツ語（初級 A・B）　s
准教授　廣瀬　伸良 他
ドイツ語にはじめて触れる学部学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

202040 ドイツ語（グリムを読む A）
准教授　廣瀬　伸良
入門・初級を修了した学生を対象とします。やさしいリライトされたグリムの伝説などを手はじめに、徐々に物語を読む力を養い、一年をかけて最終的にはオリジナルのグリム童話が読めるようになることを目標にします。
①辞書の活用　②音読　③口承文芸と活字文学　④昔話と伝説

202041 ドイツ語(絵本からインターネットまで A)
准教授　廣瀬　伸良
入門・初級を修了した学生を対象とします。この授業では、1年目で学んだ文法を実践的に活用しながら、辞書を大いに使いこなして、やさしくて短いテクスト読みます。ドイツ語に親しみ、ドイツ語を楽しむことをモットーにしたい。
①辞書の使い方に習熟する　②動詞に習熟する　③音読　④文脈

202042 ドイツ語（検定対策 A）
非常勤講師　寺島　政子
初級修了者対象に、ドイツ語検定試験（独検）4級に合格できる力をつけることを目標にする。独検のための問題集や過去の試験問題を解きながら、初級文法の復習をしていく。また合格に不可欠な語彙も増やしていく。
①独検　②語彙　③文法

202043 ドイツ語（歌曲に親しもう A）
教授　桑原　草子
『野ばら』『ローレライ』『菩提樹』シューベルトやモーツアルトの『子守歌』など、わが国で古くから親しまれてきたドイツ歌曲は少なくない。いくつかの歌曲を選び、ドイツ語歌詞を精読して、そこに歌われ、籠められた人々の生活や感情に思いをいたしたい。一年間ドイツ語を学んだ者であれば、二年次以降何年次でも履修可。
①ドイツ語の響きの美しさ　②歌に籠められた人々の想い

202044 ドイツ語（やさしい会話 C）

非常勤講師　岡山　具隆

入門・初級修了者を対象に、基本的なドイツ語会話の習得を目指します。文法にとらわれ過ぎずに、ドイツ語をたくさん「聞き」、「話す」ことに重点をおきながら、旅行に関する様々な会話表現をドイツ語圏の文化的背景と共に学んでいきます。

①旅　②話す・聞く　③比較文化的視点

202045 ドイツ語（もっと話そう B）

非常勤講師　岡山　具隆

入門・初級修了者を対象に、基本的なドイツ語会話の習得を目指します。文法にとらわれ過ぎずに、ドイツ語をたくさん「聞き」、「話す」ことに重点をおきながら、日常の様々な会話表現をドイツ語圏の文化的背景と共に学んでいきます。

①日常会話　②話す・聞く　③比較文化的視点

202046 ドイツ語（ウィーン物語 A）

非常勤講師　岩田　正之

ウィーンという町の名前は、よく知られているけれど、オーストリアという国自体について知っていますか?この授業では、オーストリア・ウィーンの、町や文化を紹介しながら、ウィーンを舞台に設定した様々なシチュエーションでの会話練習を中心に、1年次で学習したドイツ語の基礎を復習していきます。

①ウィーン　②オーストリア　③ドイツ語　④文化

202047 ドイツ語（旅行のドイツ語 A）

非常勤講師　寺島　政子

初級修了者を対象に、ドイツ語圏の生活・文化・習慣を紹介しながら、旅行をする際のさまざまな状況を設定し、その場に必要なドイツ語の表現を学んでいく。積極的にドイツ語を聞き、話す姿勢を養うため、パートナーおよび教師との会話練習に力を入れる。

①旅　②話す　③聞く

202048 ドイツ語（ドイツ最新事情）

准教授　片岡　慎泰

ドイツ最新事情を取り上げたテキストを読む。折にふれて新聞、雑誌、映画、インターネット配信記事なども用いる。

202049 ドイツ語（グリムを読む B）

准教授　廣瀬　伸良

入門・初級を修了した学生を対象とします。やさしいリライトされたグリムの伝説などを手はじめに、徐々に物語を読む力を養い、一年をかけて最終的にはオリジナルのグリム童話が読めるようになることを目標にします。

①辞書の活用　②音読　③口承文芸と活字文学　④昔話と伝説

202050 ドイツ語(絵本からインターネットまで B)

准教授　廣瀬　伸良

入門・初級を修了した学生を対象とします。この授業では、1年目で学んだ文法を実践的に活用しながら、辞書を大いに使いこなして、やさしくて短いテクスト読みます。ドイツ語に親しみ、ドイツ語を楽しむことをモットーにしたい。

①辞書の使い方に習熟する　②動詞に習熟する　③音読　④文脈

202051 ドイツ語（検定対策 B）

非常勤講師　寺島　政子

初級修了者対象に、ドイツ語検定試験（独検）3級の問題を紹介していく。独検のための問題集や過去の試験問題を解きながら、初級文法の復習をしていく。また合格に不可欠な語彙も増やしていく。

①独検　②語彙　③文法

202052 ドイツ語（歌曲に親しもう B）

教授　桑原　草子

『野ばら』『ローレライ』『菩提樹』シューベルトやモーツアルトの『子守歌』など、わが国で古くから親しまれてきたドイツ歌曲は少なくない。いくつかの歌曲を選び、ドイツ語歌詞を精読して、そこに歌われ、籠められた人々の生活や感情に思いをいたしたい。一年間ドイツ語を学んだ者であれば、二年次以降、何年次でも履修可。

①ドイツ語の響きの美しさ　②歌に籠められた人々の想い

202053 ドイツ語（ウィーン物語 B）

非常勤講師　岩田　正之

ウィーンという町の名前は、よく知られているけれど、オーストリアという国自体について知っていますか?この授業では、オーストリア・ウィーンの、町や文化を紹介しながら、ウィーンを舞台に設定した様々なシチュエーションでの会話練習を中心に、1年次で学習したドイツ語の基礎を復習していきます。

①ウィーン　②オーストリア　③ドイツ語　④文化

202054 ドイツ語（やさしい会話 D）

非常勤講師　岡山　具隆

入門・初級修了者を対象に、基本的なドイツ語会話の習得を目指します。文法にとらわれ過ぎずに、ドイツ語をたくさん「聞き」、「話す」ことに重点をおきながら、旅行に関する様々な会話表現を、ドイツ語圏の文化的背景と共に学んでいきます。

①旅　②話す・聞く　③比較文化的視点

202055 ドイツ語（旅行のドイツ語 B）

非常勤講師　寺島　政子

初級修了者を対象に、ドイツ語圏の生活・文化・習慣を紹介しながら、旅行をする際のさまざまな状況を設定し、その場に必要なドイツ語の表現を学んでいく。積極的にドイツ語を聞き、話す姿勢を養うため、パートナーおよび教師との会話練習に力を入れる。

①旅　②話す　③聞く

202056 フランス語（入門 A・B） 1～6

非常勤講師 後藤 美和子 他

フランス語の基礎を学びます。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現からはじめ、文法の初歩を学んで、簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202057 フランス語（初級 A・B） 1～6

非常勤講師 後藤 美和子 他

フランス語の基礎を学びます。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現からはじめ、文法の初歩を学んで、簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202058 フランス語（入門 A・B） s

非常勤講師 文学博士（DL） 大野 英士 他

フランス語の基礎を学びます。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現からはじめ、文法の初歩を学んで、簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202059 フランス語（初級 A・B） s

非常勤講師 文学博士（DL） 大野 英士 他

フランス語の基礎を学びます。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現からはじめ、文法の初歩を学んで、簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202060 フランス語（二年目のフランス語 A）

教授 松浪 未知世

入門・初級フランス語で学んだ文法事項を補足しながら、読解力の養成が目標です。さまざまな平易な文章をテキストに用い、辞書をひきこなす練習をします。1年間フランス語を学習した学生が主対象です。

①文法 ②辞書の活用

202061 フランス語（物語を読もう F）

教授 江中 里子

フランス語を 4 単位履修した学生が対象です。入門・初級クラスで学んだ知識を使って、こども向けの物語を読みます。同時に 1 年でやり残した文法事項も習得し、基礎文法の体系を一応完成させたいと思います。

202062 フランス語（フランス現代文化探訪 A）

非常勤講師 文学博士（DL） 大野 英士

基礎的なフランス語の文法知識を復習しながら、平易なフランス語で書かれたテクストの読解を通じて、現代フランス人の生活のさまざまな側面（社会・文化・レジャー・食物・等）について学びます。英コミの3年生が主要対象クラスです。

①時事フランス語 ②フランス人 ③生活 ④社会 ⑤文化

202063 フランス語（検定試験対策 E）

非常勤講師 文学博士（DL） 大野 英士

1年（4単位）以上フランス語を勉強した方を対象に、フランス語の基礎的な学力を拡充すると共に、毎年6月と11月に実施される文部科学省認定実用フランス語検定試験合格に向けて、実践的な問題演習を通じて合格に必要な学力の錬成をはかります。目標はとりあえず4級の合格ですが、実力のある人には3級にも挑戦してもらいます。

①仏検 ②問題演習 ③基礎文法力拡充

202064 フランス語（絵本を読もう C）

非常勤講師 後藤 美和子

初級文法を1年間学んだ学生を対象とする。これまでの復習をしながら、フランス語のやさしい本（絵本）を読む。また、少しずつ、新しい文法も学び、次のステップへの準備をする。

202065 フランス語（やさしい会話 E）

非常勤講師 ベルフロア, ダニエル 他

入門・初級の 4 単位を履修した学生が、さらにフランス語に慣れるためのクラスです。正確に発音できるよう、簡単なコミュニケーションができるように指導します。またフランス文化の一端に触れられるように授業を進めます。

202066 フランス語（話してみよう E）

非常勤講師 伊東 イザベル 他

アルファベティックスという日本人の大学生のリアルなレベルに合わせて作られた教科書とビデオを使って、簡単なフランス語でコミュニケーションを取る。ユーモラスなメソッドを使って楽しくフランス語を聞き、話してみる。

①コミュニケーション

202067 フランス語（いろいろな文章を読もう A）

教授 松浪 未知世

雑誌記事・小説・インターネット記事などいろいろな文章を読みながら、フランス語の読解力の精度を高めます。フランス語の文法事項を一通り掌握し、どんな文章に接しても不分明な個所をなるべく少なくできるようにすることが努力目標です。フランス語を1年半以上学習した学生が主対象です。

①構文把握 ②動詞

202068 フランス語（やさしい読物）

非常勤講師 田戸 カンナ

やさしい読み物を教材に、これまでに学んだ初級文法を復習しつつ、新しい表現、文法を身につけていく。

202069 フランス語（二年目のフランス語 B）
教授　松浪　未知世
入門・初級フランス語で学んだ文法事項を補足しながら、読解力の養成が目標です。さまざまな平易な文章をテキストに用い、辞書をひきこなす練習をします。1年半フランス語を学習した学生が主対象です。
①文法　②辞書の活用

202070 フランス語（物語を読もう G）
教授　江中　里子
フランス語を４単位履修した学生が対象です。入門・初級クラスで学んだ知識を使って、こども向けの物語を読みます。同時に１年でやり残した文法事項も習得し、基礎文法の体系を一応完成させたいと思います。

202071 フランス語（検定試験対策 F）
非常勤講師 文学博士（DL）　大野　英士
1年（４単位）以上フランス語を勉強した方を対象に、フランス語の基礎的な学力を拡充すると共に、毎年６月と１１月に実施される文部科学省認定実用フランス語検定試験合格に向けて、実践的な問題演習を通じて合格に必要な学力の錬成をはかります。目標は４級全員合格。４級に合格した学生は、さらに３級にも挑戦してもらいます。
①仏検　②問題演習　③基礎力拡充

202072 フランス語（やさしい会話 F）
非常勤講師　ベルフロア, ダニエル 他
フランス語を５単位を履修した学生が、さらにフランス語に慣れるためのクラスです。正確に発音できるよう、簡単なコミュニケーションができるように指導します。またフランス文化の一端に触れられるように授業を進めます。

202073 フランス語（話してみよう F）
非常勤講師　伊東　イザベル
アルファベティックスという日本人の大学生のリアルなレベルに合わせて作られた教科書とビデオを使って、簡単なフランス語でコミュニケーションを取る。ユーモラスなメソッドを使って、楽しくフランス語を聞き、話してみる。前期よりレベルアップした内容。
①コミュニケーション

202074 フランス語（いろいろな文章を読もう B）
教授　松浪　未知世
雑誌記事・文学作品・インターネット記事などいろいろな文章を読みながら、フランス語の読解力の精度を高めます。フランス語の文法事項を一通り掌握し、どんな文章に接しても不分明な個所をなるべく少なくできるようにすることが努力目標です。フランス語を１年半以上学習した学生が主対象です。
①構文把握　②動詞

202075 スペイン語（入門 A・B）　1 ～ 6
非常勤講師　松田　健児 他
文法の系統的学習と、文法に連動する講読を通してスペイン語の基礎を学ぶ。日常生活で使われる平易な表現を学ぶなかで、話す・聞く・読む・書くことの初歩的能力を養う。言葉の背景にある文化や生活についても随時ふれる。

202076 スペイン語（初級 A・B）　1 ～ 6
非常勤講師　松田　健児 他
文法の系統的学習と、文法に連動する講読を通してスペイン語の基礎を学ぶ。日常生活で使われる平易な表現を学ぶなかで、話す・聞く・読む・書くことの初歩的能力を養う。言葉の背景にある文化や生活についても随時ふれる。

202077 スペイン語（入門 A・B）　s
非常勤講師　稲森　広朋 他
文法の系統的学習と、文法に連動する講読を通してスペイン語の基礎を学ぶ。日常生活で使われる平易な表現を学ぶなかで、話す・聞く・読む・書くことの初歩的能力を養う。言葉の背景にある文化や生活についても随時ふれる。

202078 スペイン語（初級 A・B）　s
非常勤講師　稲森　広朋 他
文法の系統的学習と、文法に連動する講読を通してスペイン語の基礎を学ぶ。日常生活で使われる平易な表現を学ぶなかで、話す・聞く・読む・書くことの初歩的能力を養う。言葉の背景にある文化や生活についても随時ふれる。

202079 スペイン語（短編を読む C）
非常勤講師　三浦　麻衣子
初級スペイン語に続くクラス。これまでに学んだ文法事項を確認しながら、それを発展させて、平易なスペイン語で書かれた読み物を読んでいきます。話の内容を理解しながら、スペイン語独特の表現に慣れ、自然な日本語に訳す練習をしていきます。

202080 スペイン語（検定準備 D）
非常勤講師　廣田　拓
本科目の目的は、「スペイン語技能検定」に必要な総合的なスペイン語力（文法、リスニング、簡単な会話表現や作文）の向上です。プリントやテクストを用いて練習問題に取り組み、適宜、重要文法事項を解説します。対象は、検定を目指す学生やスペイン語力を向上させたい学生などです。

202081 スペイン語（検定準備B）

非常勤講師師　廣澤　明彦

この講座は「スペイン語技能検定」（毎年６月と10月に実施）の受験に必要な、実力の養成を目標としています。使用する予定の教科書､『スペイン語実力問題集』に学生はじっくり取り組み、適宜文法事項の確認を行います。このＢクラスは６級(現在形)レベルから５級(直説法全て）レベルぐらいまでの実力養成を視野に入れています。頑張って予習、復習に励んでください。

202082 スペイン語（文法総仕上げA）

非常勤講師　泉水　浩隆

この授業では、１年次で学んだ各項目のうち、特に不安を感じているだろうことがらを重点的に復習すると同時に、必要に応じてやや細かい点にまで踏み込んで、文法の基礎固めを行います。

202083 スペイン語（スペイン語で読む日本A）

非常勤講師　泉水　浩隆

NHK の国際放送ラジオジャパンのスペイン語ニュースや International Press の新聞記事などの中から比較的取り組みやすいものを選び、現代の日本がスペイン語でどのように伝えられているか見ていきます。

202084 スペイン語（スペイン語文献講読）

非常勤講師　稲森　広朋

これまで学習してきたスペイン語を駆使して文章に挑み、文章を通じてスペインの社会や文化に触れる。

202085 スペイン語（やさしい会話E）

非常勤講師　清水　エステラ 他

一人一人の学生のヒアリングと表現の力を伸ばすことに主眼をおく。既習の文法事項を使って、ラテンアメリカの歴史や文化、あるいは日常的なテーマを取上げて会話の練習をする。

①会話　②ビデオを通して文化を学ぶ

202086 スペイン語（楽しい会話E）

非常勤講師　ガリード，カルロス 他

既習の文法知識を復習しながら，日常的なコミュニケーション能力を養う。スペインの文化，生活，習慣などについても随時ふれる。発音および慣用表現はスペインのスペイン語に従う。積極的な授業参加を望む。

202087 スペイン語（映画で学ぶスペイン語）

非常勤講師　三浦　麻衣子

初級スペイン語に続くクラス。スペイン語の映画を題材に、スクリプトを使用しながら自然な会話を練習していきます。文法事項の確認とともに映画作品の文化的背景についても学んでいきます。

202088 スペイン語（短編を読む D）

非常勤講師　三浦　麻衣子

初級スペイン語に続くクラス。これまでに学んだ文法事項を確認しながら、それを発展させて、平易なスペイン語で書かれた読み物を読んでいきます。話の内容を理解しながら、スペイン語独特の表現に慣れ、自然な日本語に訳す練習をしていきます。

202089 スペイン語（検定準備 E）

非常勤講師　廣田　拓

本科目の目的は、「スペイン語技能検定」に必要な総合的なスペイン語力（文法、リスニング、簡単な会話表現や作文）の向上です。プリントやテクストを用いて練習問題に取り組み、適宜、重要文法事項を解説します。対象は、検定を目指す学生やスペイン語力を向上させたい学生などです。

202090 スペイン語（旅行のスペイン語 A）

非常勤講師　泉水　浩隆

この授業では「旅行」をテーマに、旅行中必要になる各種文書の読解を行ったり、旅行の時によく使われる決まり表現や語彙を用いて簡単な会話をしてみましょう。

202091 スペイン語（やさしい会話 F）

非常勤講師　清水　エステラ 他

一人一人の学生のヒアリングと表現の力を伸ばすことに主眼をおく。既習の文法事項を使って、ラテンアメリカの歴史や文化、あるいは日常的なテーマを取上げて会話の練習をする。

①会話　②ビデオを通して文化を学ぶ

202092 スペイン語（楽しい会話 F）

非常勤講師　ガリード，カルロス 他

既習の文法知識を復習しながら、日常的なコミュニケーション能力を養う。スペインの文化、生活、習慣などに付いても随時ふれる。発音および慣用表現はスペインのスペイン語に従う。積極的な授業参加を望む。

202093 スペイン語（作文練習）

非常勤講師　三浦　麻衣子

初級スペイン語に続くクラス。これまでに学んだ文法を基礎に、それを発展させて複雑な内容をスペイン語で表現できるようにします。テキストに沿って、日本語をより自然なスペイン語に訳す練習を行います。

202094 イタリア語（入門 A・B）１～３

非常勤講師　ブッチ，コンチェッティーナ 他

このクラスでは、綴りと発音、挨拶や自己紹介、お店やレストランでのやりとり、友達とのおしゃべりなど日常会話を中心に、イタリア語の基礎を学ぶ。あわせて基礎文法も補完的に反復練習する

202095 イタリア語（初級 A・B）1 ～ 3
非常勤講師　ブッチ，コンチェッティーナ 他
このクラスでは、綴りと発音、挨拶や自己紹介、お店やレストランでのやりとり、友達とのおしゃべりなど日常会話を中心に、イタリア語の基礎を学ぶ。あわせて基礎文法も補完的に反復練習する

202096 イタリア語（楽しい会話 G）
非常勤講師　ブッチ，コンチェッティーナ 他
生きた会話表現を学びます。ロールプレイ・言葉のゲーム・即興劇を使い、多様な場面で話す練習をし、会話能力を高めます。イタリア文化についてミニ講座も行います。
①会話　②聞き取り　③ロールプレイ

202097 イタリア語（イタリア語で読もう G）
非常勤講師　山崎　俊明
辞書を使用しながら、絵本などの簡単な読みものを読んでいく。

202098 イタリア語（講読 E）
非常勤講師　萱野　有美
初級文法の復習にくわえ、より高度なイタリア語表現を学ぶ。イタリアの代表的な文学作品に触れながら、文化、芸術、思想などへの興味、理解を深めることを目的とする。

202099 イタリア語（楽しい会話 H）
非常勤講師　ブッチ，コンチェッティーナ
生きた会話表現を学びます。ロールプレイ・言葉のゲーム・即興劇を使い、多様な場面で話す練習をし、会話能力を高めます。イタリア文化についてミニ講座も行います
①会話　②聞き取り　③ロールプレイ

202100 イタリア語（イタリア語で読もう H）
非常勤講師　山崎　俊明
前期同様、辞書を使用しながら、絵本などの簡単な読みものを読んでいきます。

202101 イタリア語（講読 F）
非常勤講師　萱野　有美
おもにイタリアの文学作品を取り上げる。初級文法を確実なものとし、中級文法の習得をめざす。

202102 ロシア語（入門 A・B）
非常勤講師　油家　みゆき 他
初級者に話す能力・聞く能力・読む能力・書く能力を育成すること。ロシア語の音声、アルファベット。語彙の入門（テーマによる単語、辞書の引き方）、文型の導入（変化問題）、簡単な構文。会話、独話。説明は全部日本語で行なう。
①ロシア語の基礎

202103 ロシア語（初級 A・B）
非常勤講師　油家　みゆき 他
初級者に話す能力・聞く能力・読む能力・書く能力を育成すること。ロシア語の音声、アルファベット。語彙の入門（テーマによる単語、辞書の引き方）、文型の導入（変化問題）、簡単な構文。会話、独話。説明は全部日本語で行なう。
①ロシア語の基礎

202104 ロシア語（やさしい実践会話 A）
非常勤講師　油家　みゆき
すでに習得された文法の復習、ロシア語の知識を生かしながら、新しいロシア語の文法を体系的、かつ段階的に学び、会話と並行してとにかく楽しくロシア語を話すための「会話のクラス」です。ロシア語のきれいな発音、イントネーション、様々なシチュエーションに合った自然な表現にチャレンジしましょう。
①ロシア語を楽しく話す

202105 ロシア語（やさしい実践会話 B）
非常勤講師　油家　みゆき
すでに習得された文法の復習、ロシア語の知識を生かしながら、新しいロシア語の文法を体系的、かつ段階的に学び、会話と並行してとにかく楽しくロシア語を話すための「会話のクラス」です。ロシア語のきれいな発音、イントネーション、様々なシチュエーションに合った自然な表現にチャレンジしましょう。
①ロシア語を楽しく話す

202106 中国語（入門 A・B）　1 ～ 9
非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ 他
中国語を初めて学ぶ学部学生を対象とし、ピンイン（中国語表音ローマ字）、簡体字（中国で使われている漢字）、基本文法を学び、〈読み・書き・話し・聞く〉能力をバランスよく養う。ことばの背景にある文化にも触れていく。
①ピンイン　②声調　③簡体字

202107 中国語（初級 A・B）　1 ～ 9
非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ 他
入門中国語履修者か同レベルの学部学生を対象とし、中国語の構造に対する理解を深めていく。〈読み・書き・話し・聞く〉訓練を通して中国語の基礎力を確かなものにする。ことばの背景にある文化にも触れていく。
①声調　②発音　③文法

202108 中国語（入門 A・B）　s
非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ 他
中国語を初めて学ぶ学部学生を対象とし、ピンイン（中国語表音ローマ字）、簡体字（中国で使われている漢字）、基本文法を学び、〈読み・書き・話し・聞く〉能力をバランスよく養う。ことばの背景にある文化にも触れていく。
①ピンイン　②声調　③簡体字

202109 中国語（初級 A・B） s

非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ 他

入門中国語履修者か同レベルの学部学生を対象とし、中国語の構造に対する理解を深めていく。〈読み・書き・話し・聞く〉訓練を通して中国語の基礎力を確かなものにする。ことばの背景にある文化にも触れていく。

①声調　②発音　③文法

202110 中国語（やさしい小説を読む A）

非常勤講師　承　春先

小説の中では、現在の中国の人々の生活、習慣、風俗、流行、気風、ものの考え方などが簡潔な言葉で印象深く描かれている。これらの小説を読むことによって初級学習時に習得した基礎的能力を更に進展させ、中国語の総合的学力を涵養する。

①テキストの熟読　②成語の理解　③時代背景

202112 中国語（コミュニケーション A）

非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ

1年以上中国語を学んだ人を対象とする。初級で学んだ文法事項を復習しながらも、中国語によるコミュニケーションに主眼を置く。対話練習、暗誦を課すので、積極的に授業に参加することを求める。

①声調　②発音　③会話

202113 中国語（時事 A）

准教授　佐藤　喜之

中国語を1年以上学んだ人を対象とする。既習の文法事項を再点検しながら、様々な文章を読んでいく。履修者のレベルに合わせて授業をするが、出来るだけ早い段階で中国の雑誌・新聞に取り組みたい。

202114 中国語（精読 A）

非常勤講師　博士（学術）　フスレ

初級で学んだ語彙と文法を基礎に、文構造を分析し、中国語テキストを精読する。中国のテレビ番組を見ながら、中国文化や社会背景を考えつつ、中国語の読解力を高めると共に、表現力を身につける。

①精読　②表現　③活用

202115 中国語（検定試験準備 A）

非常勤講師　章　欣

中国語の入門が終え、あるいはそのレベルに準する学生を対象とし、音読の練習により、特に中国語の発音を定着してもらいます。検定試験の希望者に問題集の指導をします。

①声調　②発音　③テキストの熟読　④検定試験問題集

202116 中国語（読解 A）

非常勤講師　波多野　眞矢

一年次に学んだ語彙や中国語文法を基礎に、中国文化についての知識を深めながら、中国語の読解能力を養います。

①中国語

202117 中国語（会話 A）

非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ

一年以上中国語を学んだ学生を対象とする。発音と四声をしっかり身につけるよう指導し、口頭によるコミュニケーションができるよう会話文の訓練をさせる。構文と文法上の要点をつかみ、読解力を高め、総合的学力を養成する。

①声調　②発音　③会話

202118 中国語（やさしい会話 A）

非常勤講師　承　春先

初級学習時に習得した発音や、聴、話、読、書の基礎的能力を更に進展させ、自己の力で応用力を身につけるようにする。日常生活会話を通した学習と共に、目で見、手で書き、実際の場面で応用する訓練を重ね、中国語の話す力を強める。

①日常生活会話、慣用表現　②語彙の理解　③文法

202119 中国語（楽しい会話 A）

非常勤講師　章　欣

入門が終え、あるいはそのレベルに準する学生を対象とし、音読の練習により、特に中国語の発音を身につけてもらいます。

①音読　②発音　③和文中訳

202120 中国語（読む中国語）

非常勤講師　博士（学術）　フスレ

入門中国語と初級中国語で学んだ基本語彙と文法知識をもとに、テキストを読む。中国文化にも触れつつ、さらにレベルの高い中国語の理解を目指す。読むことを中心に、中国語の応用能力を養う。

①読む　②声調　③慣用表現

202121 中国語（話す中国語）

非常勤講師　博士（学術）　フスレ

中国語を一年以上学んだ学生を対象とする。テキストを活用し、蓄積してきた知識をいかに活用するか工夫し、会話を行う。指定したテキスト以外に、視聴覚教材も利用する。実用性を重視し、楽しみながら、中国語が話せるよう指導する。

①声調　②発音　③会話

202122 中国語（文法 A）

准教授　佐藤　喜之

初級の中国語を1年から1年半程度は学んだ人を対象とし、初級の文法を復習すると同時に、新しい文法事項を学習していく。

202123 中国語（講読 A）

准教授　市川　清史

中国語初級を学び終えた者を対象とする。基本的な文法事項を復習しながら、中級レベルの文章を読み、読解力の基礎を身につけてもらう。

①読解　②語彙　③文法

202124 中国語（漢詩を読む A）

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

これまでに習得した知識を最大限に活用できる学習の場を作り、中国語、中国文化に、中国文学に対する関心を高めながら、聴く、話す、読む、書く能力を継続的に身につけさせる。代表的な漢詩を講読しつつ、発音の練習や漢詩の構成などについても学びながら、中国語の総合的力を高めていく。

①漢詩講読　②平仄　③押韻

202125 中国語（学び続ける中国語）

非常勤講師　小原　江里香

中国語初級を学び終えた者を対象としています。発音の復習から始め、中国の社会や時事問題を扱った例文を中心に読みながら、中級レベルの表現を学んでいきます。

①会話力　②読解力　③時事中国語

202126 中国語（暮らしの会話 A）

非常勤講師　張　娜麗

本講座では、初歩的な中国語をマスターした学生に対し、中国語に関するより深い知識を得させ、慣用表現や正確な語法、また実用的な生活に役立つ語学力を養わせる。

①ピンイン　②四声　③簡体字

202127 中国語（検定試験対策）

非常勤講師　博士（学術）　フスレ

中国語初級レベルが有する学生を対象に、4 級から 3 級へと、必要な文法事項や慣用表現を重点的に学ぶ。実用性を重視し、検定試験の問題を系統的に分析し、徹底対策を講じる。中国語の読解力・応用能力を身につけさせると同時に、中国語検定試験の合格をめざす。

①中国語検定試験　②対策　③応用能力

202128 中国語（文法 B）

准教授　佐藤　喜之

初級の中国語を1年から1年半程度は学んだ人を対象とし、初級の文法を復習すると同時に、新しい文法事項を学習していく。

202129 中国語（暮らしの会話 B）

非常勤講師　張　娜麗

本講座では、初歩的な中国語をマスターした学生に対し、中国語に関するより深い知識を得させ、慣用表現や正確な語法、また実用的な生活に役立つ語学力を養わせる。

①語法　②慣用句　③会話

202130 中国語（やさしい小説を読む B）

非常勤講師　承　春先

小説の中では、現在の中国の人々の生活、習慣、風俗、流行、気風、ものの考え方などが簡潔な言葉で印象深く描かれている。これらの小説を読むことによって初級学習時に習得した基礎的能力を更に進展させ、中国語の総合的学力を涵養する。

①テキストの熟読　②成語の理解　③時代背景

202132 中国語（コミュニケーション B）

非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ

1 年以上中国語を学んだ人を対象とする。初級で学んだ文法事項を復習しながらも、中国語によるコミュニケーションに主眼を置く。対話練習、暗誦を課すので、積極的に授業に参加することを求める。

①声調　②発音　③会話

202133 中国語（時事 B）

准教授　佐藤　喜之

中国語を 1 年以上学んだ人を対象とする。既習の文法事項を再点検しながら、様々な文章を読んでいく。履修者のレベルに合わせて授業をするが、出来るだけ早い段階で中国の雑誌・新聞に取り組みたい。

202134 中国語（検定試験準備 B）

非常勤講師　章　欣

入門が終え、あるいはそのレベルに準する学生を対象とし、音読の練習により、特に中国語の発音を身につけてもらいます。後半、簡単な自己紹介の練習をします。希望者に検定試験の問題集の練習を指導します。

①声調　②発音　③音読　③簡単な自己紹介　④和文中訳

202135 中国語（読解 B）

非常勤講師　波多野　眞矢

一年次に学んだ語彙や中国語文法を基礎に、中国文化についての知識を深めながら、中国語の読解能力を養います。

①中国語

202136 中国語（精読 B）

非常勤講師　博士（学術）　フスレ

初級で学んだ語彙と文法を基礎に、基本文構造を分析し、中国語テキストを精読する。中国のテレビ番組を見ながら、中国文化や社会背景を考えつつ、中国語テキストを精読する。中国語の読解力を高めると共に、表現力を身につける。

①精読　②表現　③活用

202137 中国語（会話 B）

非常勤講師　博士（社会学）　マイリーサ

一年以上中国語を学んだ学生を対象とする。発音と四声をしっかり身につけるよう指導し、口頭によるコミュニケーションができるよう会話文の訓練をさせる。構文と文法上の要点をつかみ、読解力を高め、総合的学力を養成する。

①声調　②発音　③会話

202138 中国語（楽しい会話 B）

非常勤講師　章　欣

中国語を初めて学ぶ学部学生を対象とし、復習しながら、音読の練習により、中国語の中国語の発音を身につけてもらいます。そのほか、簡単な日常会話ができるように練習させます。

①声調　②発音　③音読　④和文中訳　⑤簡単な自己紹介

202139 中国語（やさしい会話 B）

非常勤講師　承　春先

初級学習時に習得した発音や、聴、話、読、書の基礎的能力を更に進展させ、自己の力で応用力を身につけるようにする。日常生活会話を通した学習と共に、目で見、手で書き、実際の場面で応用する訓練を重ね、中国語の話す力を強める。

①日常生活会話、慣用表現　②語彙の理解　③文法

202140 中国語（講読 B）

准教授　市川　清史

中国語初級を学び終えた者を対象とする。基本的な文法事項を復習しながら、中級レベルの文章を読み、読解力の基礎を身につけてもらう。

①発音　②語彙　③文法

202141 中国語（漢詩を読む B）

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

これまでに習得した知識を最大限に活用できる学習の場を作り、中国語、中国文化、中国文学に対する関心を高めながら、聴く、話す、読む、書く能力を継続的に身につけさせる。代表的な漢詩を講読しつつ、発音の練習や漢詩の構成などについて勉強しながら、中国語の総合的力を高めていく。

①自然風景　②起承転結　③対句

202142 中国語（中国語研究 C）

准教授　博士（社会学）　フフバートル

受講生は中国留学経験者を中心とするが、中国語の学習に特に意欲を示す学生を対象に、中国語の読解力、聴解力の向上を目指す。中国語研究の視点から中国語の文献を講読する。現代中国の各分野について卒業論文を作成する受講生をサポートする。

①中国語　②普通話　③ことばの変化　③中国社会

202143 中国語（中国語研究 D）

准教授　博士（社会学）　フフバートル

受講生は中国留学経験者を中心とするが、中国語の学習に特に意欲を示す学生を対象に、中国語の読解力、聴解力の向上を目指す。中国語研究の視点から中国語の文献を講読する。現代中国の各分野について卒業論文を作成する受講生をサポートする。

①中国語　②普通話　③ことばの変化　④中国社会

202145 韓国語（入門 A・B）　1 ～ 6

准教授　李　淑炫 他

はじめて韓国語をまなぶ学部学生を対象とする。表音文字であるハングルと、そのつづり方のしくみを、基本的な会話表現を練習しながらおぼえ、文法を説明する。

①ハングル　②助詞　③活用

202146 韓国語（初級 A・B）　1 ～ 6

准教授　李　守 他

はじめて韓国語をまなぶ学部学生を対象とする。表音文字であるハングルと、そのつづり方のしくみを、基本的な会話表現を練習しながらおぼえ、文法を説明する。

①ハングル　②助詞　③活用

202147 韓国語（入門 A・B）s

准教授　李　淑炫 他

はじめて韓国語をまなぶ学部学生を対象とする。表音文字であるハングルと、そのつづり方のしくみを、基本的な会話表現を練習しながらおぼえ、文法を説明する。

①ハングル　②助詞　③活用

202148 韓国語（初級 A・B）s

准教授　李　淑炫 他

はじめて韓国語をまなぶ学部学生を対象とする。表音文字であるハングルと、そのつづり方のしくみを、基本的な会話表現を練習しながらおぼえ、文法を説明する。

①ハングル　②助詞　③活用

202149 韓国語（講読 A）

非常勤講師　八重樫　愛子

やさしい実用文の和訳から始め、徐々に複雑な文節や語彙が理解できるよう、講読文に連動した作文力も同時に養っていく。韓日・日韓辞書を使用するので常備すること。

202150 韓国語（IT 韓国語 A）

准教授　李　淑炫 他

今まで勉強した韓国語をパソコンで文を作成したり、韓国の社会や文化はもちろん情報全般を韓国語で検索でき、映像を通して韓国により理解を深めることをめざす。

①ハングルキーボード ②メール　③韓国情報検索

202151 韓国語（作文）

准教授　李　守

入門・初級でまなんだ知識を作文をとおして確固としたものにする．日本語の基本的な表現形式に対応する韓国語の表現形式を多数の用例から学習し，韓国語で作文できるための基礎力をつける。

202152 韓国語（文法）

准教授　李　守

入門・初級でまなんだ文法事項を読解，作文するとき，どのように活用すればよいかについて解説する．あわせて語彙をふやし、発音指導もおこなう。

①語彙　②活用　③正書法

202153 韓国語（会話 C）

准教授　李　淑炫

入門、初級で学んだ会話や文法を復習し、日常に使える会話を練習する。新しい表現を覚え、読む練習や発表を通して自然な韓国語がすぐに使えることをめざす。

①話す　②読む　③語彙

202154 韓国語（聴解・文法 A）

非常勤講師　高橋　秀明

1. 四技能のうちインプット（受信）の技能、特に聞いて理解する能力を養うことを主眼とする。
2. 発話内容を正確に聴き取るために、語法・文法事項をきちんと積み上げていく。
3.「ハングル能力検定試験」の5級・4級に合格するレベルを目指す。

①ナマの韓国語を聴き取る

202155 韓国語（聴解・文法 B）

非常勤講師　高橋　秀明

1. 四技能のうちインプット（受信）の技能、特に聞いて理解する能力を養うことを主眼とする。
2. 発話内容を正確に聴き取るために、語法・文法事項をきちんと積み上げていく。
3.「韓国語能力検定試験」の初級に合格するレベルを目指す。

①ナマの韓国語を聴き取る

202156 韓国語（時事韓国語）

准教授　李　守

韓国の新聞・雑誌にかかれた記事，テレビ・ラジオでながされるニュースを分野別に読み，聞き，見ることで，韓国語をまなぶ．

202157 韓国語（講読 B）

非常勤講師　八重樫　愛子

講読Aからややレベルアップさせた内容の文章に取り組む。意訳よりも原文に即して読むことを通し、その言葉とその背景を探ることまで広げていきたい。そしてそれが韓国人の考え方文化を知る糸口になるよう進めていきたい。

①韓国人の発想と思考

202158 韓国語（会話 D）

准教授　李　淑炫

自己紹介や簡単な日常会話を復習する。新しい表現から話したい内容を応用し、豊かな表現を学習する。自然な韓国語の発音や表現に慣れることをめざす。

①話す　②読む　③慣用句

202159 韓国語（IT 韓国語 B）

准教授　李　淑炫

今まで勉強した韓国語をパソコンで文を作成したり、韓国社会や文化はもちろん情報全般を韓国語で検索でき、映像を通して韓国により理解を深めることをめざす。

①ハングルキーボード ②メール　③韓国情報検索

202160 英語Ｊ－Ａ　（総合英語Ⅰ）

教授　井原　奉明 他

英語の基礎力を総合的に伸ばすことを目標とする。高校までの学習課程の総復習も兼ねて、基礎力養成を目指す学生向きのクラスである。基本的な教材を使用し、英文読解力を身につけるとともに、文法力の向上も図る。

①基礎力養成　②文法復習　③読解力

202161 英語Ｊ－Ｂ　（総合英語Ⅱ）

非常勤講師　榊原　益子 他

基礎的英語力を既に身に付けている学生を対象とし、一歩進んだ英語運用能力の養成を目指す。英語の4技能の応用力を総合的につけたい学生向けのクラスである。英語特有の文章構造を理解し、英文作成の基本的知識に加えて実用的英語能力の習得も目標とする。

①応用力養成　②内容把握　③英文の組み立て

202162 英語Ｊ－Ｃ　（編入対策英語）

非常勤講師　笠井　逸子

学部への編入学を目指す学生を対象とし、英語の運用能力の増強を図る。英文読解力を養うとともに、文法、必須単語・熟語、慣用表現などにも習熟させ、編入試験に向けた英語力をつけることを目標とする。

①読解力強化　②文法復習　③語彙養成

202163 英語Ｊ－Ｅ　（発音トレーニング）

非常勤講師　ナイト，ジェームズ

英語の発音を基本から学び、母音と子音の発音、日本語にはない独特な発音などの反復練習をして、スムーズな自然な発音を身に付ける。

①母音と子音　②反復練習　③自然な英語

202164 英語Ｊ－Ｆ　（児童英語）

教授　丹羽　正子

本講座は児童英語の教授理論、あるいはその実践方法を扱うものではないが、英語で書かれた絵本、あるいは nursery rhymes、英語の歌、ゲーム、主要な児童文学作品などを通して多面的なアプローチをする予定である。

①英語に親しむ　②児童と英語でコミュニケーション　③英語の歌

202165 英語Ｊ－Ｇ （アクティブ・リーディング）
非常勤講師 榊原 益子 他
平易な英語で書かれた文章をできるだけ多く読み、文の構成や話の流れに注意しながら内容を把握する力を身に付けることを目的とする。様々なタイプの英文を教材にして、英語読解力の一層の向上を目指す。
①読解 ②多読 ③前後関係

202166 英語Ｊ－Ｈ （アクティブ・ライティング）
准教授 佐藤 道子 他
英語の基本的なライティングの手法を体系的に学び、英語の発想や理論的展開を理解し、「英語らしい英語」が書けるようにすることを目的とする。また、基本表現を使って英語で文章を書く力を伸ばすことを目指す。
①英語の構造 ②パラグラフ ③一貫性

202167 英語Ｊ－Ｊ （英検２級対策）
教授 丹羽 正子
実用英語検定試験２級の模擬試験問題を数多くこなし、問題を解くスキルを学びながら同試験の合格を目指す。英文読解、文法、熟語、慣用表現及びリスニング、面接対策などを中心に指導する。
①必須単語 ②読解力要請 ③慣用表現

202168 英語Ｊ－Ｋ （TOEIC 対策）
講師 原田 俊明 他
国際コミュニケーション英語能力テストであるTOEICの受験対策を行なう。リスニング、文法、リーディングのそれぞれの領域の力を養成すると共に、TOEICの出題傾向に慣れるよう豊富な演習問題をこなす。
①リスニング能力養成 ②速読速解力 ③イディオム

202169 英語Ｊ－Ｍ （ネットワーク英語）
非常勤講師 笠井 逸子 他
英文電子メール（E-mail）を実際に書き、またインターネットを通しての情報収集の楽しさを経験するインターネットの入門講座。この授業を履修するためにはパソコンの基本操作（特にワープロの操作）はある程度習得していることが必要である。
①情報検索 ② E-mail ③体験する

202170 英語Ｊ－Ｎ （生活英語）
非常勤講師 フルマー，パトリック 他
買い物、海外滞在、キャンパスライフなど、日常生活や学生生活に役立つ実用的で、自然な英語に触れ、初歩的な会話の習得を目指す。英米文化の慣習、マナー、思考パターンを理解することも重要な目的の一つである。
①日常英語会話 ②自然な表現 ③英語圏の生活

202171 英語Ｊ－Ｏ（アクティブ・リスニング）
非常勤講師 岡田 優子 他
ダイアローグ、物語、ニュース、歌など、さまざまな英語に接することにより自然なスピードの英語に耳を慣らし、内容を理解することを目的とする。授業はできるだけ英語で行ない、会話の練習も併せておこなう。
①楽しんで聞く ②多様で自然な英語 ③内容理解

202172 英語Ｊ－Ｐ（時事英語）
非常勤講師 笠井 逸子
Asahi Weekly などの記事を教材の一部として使用し、国際・国内ニュース全般に関する関心を高めることを目的とする。ニュースの背景的知識にも言及し、時事英語のもつ語彙、文体、構造上の特徴なども学ぶ。
①大意把握 ②時事英語のスタイル ③内容理解

202173 英語Ｊ－Ｑ（観光英語）
非常勤講師 古東 祐美子 他
ホテル･飛行機の予約､空港での入国審査､出国手続き､荷物の受け取り、税関での遣り取り、申告書の書き方､ショッピング、観光、トラブル処理など、個人で海外旅行を行なう際に必要な英語表現の習得を目指す。
①地球の歩き方 ②口語表現 ③ロール・プレイ

202174 英語Ｊ－Ｒ（コミュニケーション英語Ⅰ）
非常勤講師 ナイト，ジェームズ
The students in this course will experience a variety of communicative activities in which they are encouraged to converse in English. The emphasis will be on practicing everyday conversational English, and developing confidence.
① communicative activities ② conversational English ③ confidence

202175 英語Ｊ－ＲＸ（コミュニケーション英語Ⅱ）
非常勤講師 ナイト，ジェームズ
This course is for the students who want to continue learning how to communicate in English. The emphasis will be placed on further developing the students' abilities to converse in English in everyday situations. Active participation is required. コミュニケーション英語Ⅰを履修していなくても、このクラスの履修は可能。
① communication ② everyday situations ③ active participation

202176 英語Ｊ－Ｓ（日本文化紹介）
准教授 佐藤 道子
本講では国際的視点から日本社会を考えることを目標に、日本文化を英語で表現することを試みる。これにより、異文化間に存在しうるギャップに気づき、ひいては日本社会についての理解を深めることを目的とする。
①伝統文化 ②国際交流 ③異文化理解

202177 英語Ｊ－Ｔ（ポップ・カルチャー英語）
非常勤講師　榊原　益子 他
ポピュラー音楽あるいはコマーシャル、メディア等に使用されている英語を通して、現代のアメリカ文化にアプローチする。popular culture を通して、アメリカ人の価値観についても認識を深めることを目標とする。
①大衆文化　②メッセージ　③多様性

202178 英語Ｊ－Ｕ（スクリーン英語Ⅰ）
非常勤講師　古東　祐美子 他
映画や、テレビドラマ、インタビューなどを教材に使い、話の流れを追いながら聞き取りで内容を理解する練習をする。またスクリプトを通して自然な現代の英語の表現を学び、英米の文化への理解を深めることを目的とする。
①映画・ドラマ　②内容理解　③文化背景

202179 英語Ｊ－ＵＸ（スクリーン英語Ⅱ）
非常勤講師　藤守　義光 他
スクリーン英語Ⅰと内容、目的は同じだが、さらに映画･ドラマなどを通して英語を学びたい学生のためのクラス。スクリーン英語Ⅰを履修していなくても、このクラスの履修は可能。
①映画・ドラマ　②内容理解　③文化背景

202180 英語Ｊ－Ｖ（童話で学ぶ英語）
非常勤講師　小川　厚子 他
平易な英語で書かれた童話をできるだけ多く読み、話の流れに注意しながら内容を理解する力を身につけることを目的とする。また英語の童話の朗読を聞き、音読をすることによって英語独特の音やリズムに対する感覚を養っていく。
①楽しんで読む　②内容理解　③朗読・音読

202181 英語Ｊ－Ｗ（音とリズムの英語）
非常勤講師　古東　祐美子 他
英語の音のしくみ（母音と子音の調音、強勢、リズム、イントネーション）を理解し、また LL 教室などで練習をすることにより英語らしい発音の修得を目的とする。英語の歌、詩、nursery rhymes なども教材に使いリスニングの演習も併せておこなう。
①音とリズム　②英語らしさ　③リスニング

202182 ドイツ語（入門 A）
非常勤講師　岩田　正之 他
アルファベートの読み方、基本的な発音、挨拶の仕方を学び、さらにドイツ語理解にかかせない、主語に応じた動詞の語尾変化や、文の中でのはたらきを示す冠詞の格変化をマスターする。

202183 ドイツ語（入門 B）
非常勤講師　岩田　正之
アルファベートの読み方、基本的な発音、挨拶の仕方を学び、さらにドイツ語理解にかかせない、主語に応じた動詞の語尾変化や、文の中でのはたらきを示す冠詞の格変化をマスターする。

202184 フランス語（入門 A）
教授　江口　雄輔 他
フランス語の基礎を習得します。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現といった基本からはじめ、文法の初歩を学んで簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202185 フランス語（入門 B）
教授　江口　雄輔 他
フランス語の基礎を習得します。アルファベ、綴り字の読み方、発音、あいさつ表現といった基本からはじめ、文法の初歩を学んで簡単なフランス語文の聞きとり、読み書き、発音を練習します。

202186 スペイン語（入門 A）
非常勤講師　廣澤　明彦 他
スペイン語の第一歩を学習する。辞書を上手に引くコツ、正しい発音、挨拶の表現を学ぶ。更に名詞や形容詞にみられるスペイン語独特の規則や動詞の直説法現在活用を中心に、読む・書く・聞くの初歩を学ぶ。

202187 スペイン語（入門 B）
非常勤講師　廣澤　明彦
スペイン語の第一歩を学習する。辞書を上手に引くコツ、正しい発音、挨拶の表現を学ぶ。更に名詞や形容詞にみられるスペイン語独特の規則や動詞の直説法現在活用を中心に、読む・書く・聞くの初歩を学ぶ。

202188 中国語（入門 A）
非常勤講師　張　娜麗 他
中国語を初めて学ぶ学生を対象とした講座である。発音の学習を進めながら、文章を読む基礎力を養い、また、中国語での簡単な自己紹介ができるように指導する。
①ピンイン　②声調　③簡体字

202189 中国語（入門 B）
非常勤講師　張　娜麗 他
入門中国語Aを受講したか、あるいは同レベルの学生を対象とし、中国語文法の学習を進め、＜読み･書き･話し･聞く＞訓練を通して基礎力を高める。また、ことばの背景にある中国の文化にも触れていく。
①声調　②発音　③文法

202190 韓国語（入門 A）

非常勤講師　八重樫　愛子 他

はじめて韓国語を学ぶ短大学生を対象とする。文字(ハングル）と発音、つづり方のしくみを基本的な表現をおぼえながら練習し、会話と読解の基礎を習得する。韓国社会についても折にふれ解説する。

①ハングル　②語彙　③活用

202191 韓国語（入門 B）

非常勤講師　八重樫　愛子 他

はじめて韓国語を学ぶ短大学生を対象とする。文字(ハングル）と発音、つづり方のしくみを基本的な表現をおぼえながら練習し、会話と読解の基礎を習得する。韓国社会についても折にふれ解説する。

①ハングル　②語彙　③活用

202192 日本語ⅠA

非常勤講師　戸田　佐和

ドキュメンタリー番組を見ながら、聴解力と語彙力を養い、文字に頼りがちな漢字系学習者の弱点を補う。また、番組内容の要約も試みる。自分の興味のないテーマであっても、積極的に授業に参加してほしい。

①ドキュメンタリーやニュースを見て聴解力ならびに語彙力を養う

202193 日本語ⅠB

非常勤講師　戸田　佐和

前半は日本語のざまざまな慣用表現を取り上げ、各自の日本語表現の幅を広げていく。後半はテーマに基づき、ディスカッションを行う。ディスカッションのテーマ･質問事項等は受講生が考える。自分の意見を的確に伝える表現を学んでほしい。

①機能語といわれるもの　②文末表現

202194 日本語ⅠC

非常勤講師　戸田　佐和

前期と同様ドキュメンタリーやニュース番組を通して聴解力と語彙力を養う。後期は、番組の内容の要約、感想をまとめるなど書く練習をする。

①ドキュメンタリーやニュースを通して聴解力・語彙力を養う

202195 日本語ⅠD

非常勤講師　戸田　佐和

受講生それぞれの国の文化を紹介し、互いの文化を理解する授業である。

①自国の文化を紹介する

202196 日本語ⅡA

非常勤講師　戸田　佐和

今まで学んできた日本語の文法をもう一度整理して、不明な点を明らかにしていく。大学で必要な幅の広い、正確な日本語の習得を目指す。また、同時に日本語能力試験一級合格を目標にする。

①文法の復習

202197 日本語ⅡB

非常勤講師　戸田　佐和

比較的読みやすい記事を取りあげ、新聞で使用されている漢字・語彙・文末表現・慣用表現を学ぶ。特に常用漢字の習得を目指す。毎月一回こちらで指定した内容に関する小テストを行う。

①新聞に慣れる　②漢字をマスターする

202198 日本語ⅡC

非常勤講師　戸田　佐和

前期に引き続き、日本語能力試験一級を目指すが、後期は、前期使用した教科書だけではなく、過去問題（特に読解問題）を解いて行く。12 月以降は敬語を中心に授業を行う。

①文法事項のまとめ　②能力試験問題　③敬語

202199 日本語ⅡD

非常勤講師　戸田　佐和

前期と同様新聞記事を読み進めていく。後期は受講生自身にも日本の新聞から興味ある記事を選び、その内容を発表してもらう。

①新聞に慣れる　②漢字語彙を習得する　③文末表現を学ぶ

202200 日本語Ⅲ A

准教授　伊藤　博文

この授業では、日本語音声の正確な聞き取りと、特殊拍･高低アクセントに重点をおいた発音全般の矯正と練習を行う。具体的には、ニュース、ドラマ等のビデオの音声の聞き取りと、その模倣による練習を行う。

①日本語音声　②発音矯正　③発音練習

202204 日本語総合A

准教授　西川　寿美

日本語の総合力、とりわけ書く力を伸ばすことを目指す。前期は、作文のための基礎的な練習を行い、短い課題作文を書く。

①書き言葉の特徴　②文章の構成　③レポートの体裁と構成

202206 日本語総合 C

准教授　西川　寿美

後期は、ビジネス日本語能力テスト受験を目指した模試と対策を中心に授業を展開する。ビジネス用語と基本的な知識を身につけることを目標とする。毎時､語句･表現の習得確認のための小テストを行う。日能試1級程度の日本語能力が身についていることが望ましい。

①ビジネス日本語　②ビジネス知識　③ＢＪＴ日本語能力テスト

文化創造学科
一般教養・教職に関する専門科目

530001 実践倫理

本学役職者

本学の役職に就かれている先生方からオムニバス方式により、私立女子大学の真髄と併せて国際化の時代に適合した人間形成という視点から、実践的な倫理学が展開される。本学授業科目の根幹に位置する性格から必修科目となっている。

①建学の精神　②校訓三則　③女性文化

530002 女性と文学

准教授　高木　佳子

更級日記を講読し、作者菅原孝標女の晩年の心境ならびに執筆意図、構想等を探っていく。影印本により、変体仮名に習熟するとともに古文の読みにも慣れるようにしたい。

①菅原孝標女　②物語憧憬　③仏道帰依

530003 日本文化散歩

教授　元吉　進

百人一首かるたで遊ぶのは今も変わらぬ日本のお正月の風物詩であろう。百人一首は日本文化とって大きな存在である。ゆかりの名所をＤＶＤやスライド等で紹介しながら、バーチャル文化散歩を楽しんでみたい。

①小倉百人一首　②歌かるた　③ゆかりの地

530004 日本文学を知る

教授　槍田　良枝

日本の近・現代文学の流れを概論する。明治・大正期の文学を簡潔に説明したのち、昭和期の文芸思潮を詳細に解説し、具体的に各流派の代表的な作品を読み解きながら、昭和期の文学の特質を明らかにする

①モダニズム文学　②プロレタリア文学　③新感覚派　④新興芸術派　⑤横光利一と川端康成　⑥梶井基次郎

530006 日本の風土と文学

教授　元吉　進

千年以上の長きにわたり読み継がれてきた日本の古典文学は、古人の心を知るものであり、又、現代に生きる私達の心を照らし出す鏡である。古典作品に接することで現代にも流れ続ける古人の心を探ってみたい。

①王朝文化　②ふるさと　③季節観

530007 日本国憲法

非常勤講師　佐原　専二

自由主義，民主主義，平和主義，個人の尊重等，何となく聞いたことはあるが，はっきりとは把握できない言葉が頻出する。そのため，憲法の勉強は抽象的になりがちであるが，具体例や裁判例を引用し，具体的なイメージを持てるようにしつつ，基本的な視点を学ぶ。細かなところは気にせずに，憲法とはどういうものなのか，どういうふうに考えたら良いのかといった考え方，視点を把握してもらいたい。

①自由主義　②民主主義　③福祉主義

530008 社会学入門

教授　西脇　和彦

社会学は、社会と個人、全体と部分、これらの調和を目的とする方法論的性格をもっている。その基本的フレームを理解し、実生活に応用出来る社会学的知見の習得を目的とする。そして社会学の有用性を説く。

①社会化　②適応と変革　③集団類型

530009 現代社会論

教授　西脇　和彦

戦後の日本社会を対象とした現代社会論を講義する。随時ビデオも使用し、復興･高度成長･安定成長･バブル･平成不況、各時期における社会と生活者との関連を具体的に考察し、近未来への指針を導く。

①電化の三種の神器　②3C の時代　③利便性

530011 生活と家族マンガ

教授　西脇　和彦

日常化したメディアであるマンガやコミックスの中から、家庭生活を主テーマとした作品をとりあげ、ある時代、ある社会における家庭生活の諸相をカルチャースタディの視点から考察する。これらの作品はすぐれて社会的、文化的資料ということができる。

①家庭生活　②コミックス　③生活資料

530013 歴史学Ｂ　（西洋史）

教員未定

★

530015 社会福祉の入門

教授　西脇　和彦

現代の生活者として、社会福祉に関する知見を習得することは必要不可欠といえる。先ず、憲法第 13 条・第 25 条を手がかりに、社会に対する関心をたかめ、社会福祉の目的･対象･方法、諸問題などを考察していく。

①ノーマライゼーションとホロン　②公的扶助　③社会保険

530017 自然科学概論Ｂ　（生活の科学）

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

科学に関係した事物があふれている現代では、その原理や内容を知ることによって、さらに充実した安全な生活を営むことができる。科学が苦手な学生も科学的な見方や考え方ができるように展開する。

①単位　②ｐＨ　③電池

530018 食と生活

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食は栄養摂取のためだけでなく、生活の中での楽しみ、潤い、コミュニケーションの手段として重要な位置を占めている。食と生活のかかわりについて広く学んでいく。

①食事マナー　②食環境　③嗜好

530019 栄養学概論

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

健康を維持・増進するための栄養を考える。日常どのような食生活および栄養摂取が必要かを学び、さらに現代の食生活がかかえる問題点と現状を理解する。

①健康の保持・増進　②栄養素　③バランス

530020 人間と環境

教授　理学博士　常喜　豊

今日、最も重大な関心事の1つである環境問題を基礎から理解してもらうことを目的とする。人間が、自らを取りまく森林や水などの自然環境とどのように接し、どう変えてきたのかを生態学の視点でとらえてゆく。

①生態学（エコロジー）　②森林伐採　③水質汚濁　④大気汚染　⑤土壌汚染　⑥有害物質

530021 情報処理A

准教授　松本　淳

情報化時代と言われる現代では、パソコンは学校・オフィス・家庭などでの生活の一部になってきている。ＩＴ時代を生き抜く私たちが学習や仕事でパソコンを使いこなせるようになるための基礎を学ぶ。

①ＩＴ　②情報リテラシー　③インターネット

530022 情報処理B

准教授　松本　淳

情報処理Ａでは主に「文字情報」を扱ったが、情報処理Ｂでは「画像情報」も扱う。必要な情報を収集して、その情報を活用できるようにする技術の修得を目指す。卒論やレポート作成時に役立てられる情報処理の技術を学ぶ。

①文書作成　②画像処理　③情報リテラシー

530024 体育実技Ｂ（生涯スポーツ実習・ゴルフ）

准教授　渡辺　剛

ゴルフは、老若男女をとわず、生涯にわたって楽しむことができるスポーツである。この授業では、ゴルフの基本的な技術・ショットの習熟を目指すとともに、ゴルフにおけるルールやマナーについても学習していく。

①ゴルフ　②スイングづくり　③簡易ゲーム

530025 体育講義　（健康と運動）

准教授　渡辺　剛

生活習慣病を中心とした健康問題の動向と運動の効果について解説する。特に、健康度を高め、最適な健康を得るために「食べ方」「運動の仕方」「心の使い方」をどう変えていけばよいか、わかりやすく解説する。

①生活習慣病　②ウォーキング　③ストレッチング

530026 英語Ａ　（リーディング）

非常勤講師　光野　昭雄

５文型を中心にして基本的な英文の構造が理解できるように、基礎から徹底的に学習する。単文、重文、複文をできるだけ多く読み、辞書を引きながら自分で簡単な英文の意味が理解できるように指導する。

①主語　②動詞　③意味

530027 英語Ｂ　（リーディング）

非常勤講師　光野　昭雄

関係代名詞、準動詞を中心に重要な文法事項を理解し、それらの知識に基づいて正確に基本的な英文が読めるように指導する。

①文　②関係　③理解

530028 英語Ｃ　（実用英語）

准教授　佐藤　道子

基礎的英語力を身につけた学生を対象として、平易な英文読解力を養いながら、英語の運用力を高めることを目的とする。練習問題にも取り組むことにより、英語の基本的表現の定着を目ざす。

①読解　②文法　③構文

530029 英語Ｄ　（実用英語）

准教授　佐藤　道子

基礎的英語力を身につけた学生を対象として、平易な英文読解力を養いながら、英語の運用力を高めることを目的とする。練習問題にも取り組むことにより、英語の基本的表現の定着を目ざす。

①読解　②文法　③構文

530030 英語Ｓ　（資格検定）

講師　海崎　隆次

TOEIC の模擬試験問題を数多くこなし、問題を解くスキルを学びながら、同試験の得点力向上を目指す。リスニング、語彙、語法・文法、英文読解等を中心に演習を行い、指導する。

①リスニング　②語法・文法　③英文読解

530031 英語Ｔ　（資格検定）

講師　海崎　隆次

TOEIC の模擬試験問題を数多くこなし、問題を解くスキルを学びながら、同試験の得点力向上を目指す。リスニング、語彙、語法・文法、英文読解等を中心に演習を行い、指導する。

①リスニング　②語法・文法　③英文読解

530032 入門ドイツ語A

准教授　片岡　慎泰

ドイツ語にはじめて触れる学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

①ドイツ語の発音　②ドイツ語の仕組み

530033 入門ドイツ語B

准教授　片岡　慎泰

ドイツ語に少し触れた学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

①ドイツ語の語順　②よく使われる表現

530034 初級ドイツ語A

准教授　片岡　慎泰

1年間ドイツ語に触れた学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

①ドイツ語の語順　②前置詞　③接続詞

530035 初級ドイツ語B

准教授　片岡　慎泰

ドイツ語に1年間以上触れた学生を対象にします。発音、綴りの読み方、基礎文法を学ぶとともに、実際にドイツ語を読んだり書いたり、話したり聞いたりする練習を通じて、ドイツ語に慣れ親しんでいきます。

①助動詞の用い方

530036 入門中国語A

非常勤講師　承　春先

正確な発音と基礎的な語法を学び、現代中国語学習への入門を果たす。また重要語句や基本構文及び日常生活に関する簡単な慣用表現を学び、初歩的な読み、書き、聞き、話す能力を身につける。

①発音と声調　②ピンインの書き読み　③挨拶ことば

530037 入門中国語B

非常勤講師　承　春先

正確な発音と基礎的な語法を学び、現代中国語学習への入門を果たす。また重要語句や基本構文及び日常生活に関する簡単な慣用表現を学び、初歩的な読み、書き、聞き、話す能力を身につける。

①基本構文　②疑問文　③正確な発音

530038 初級中国語A

非常勤講師　承　春先

初級で学んだ知識を復習しながら、徐々に中国語の会話力、文章力、理解力を深めていく。語彙の増加、文法の修得、通訳・翻訳の基礎訓練を中心とする授業を進め、テキストに合わせて随時に中国の伝統風習、文化、社会事情を紹介する。

①基本文法　②簡単な作文　③ヒヤリング

530039 初級中国語B

非常勤講師　承　春先

初級で学んだ知識を復習しながら、徐々に中国語の会話力、文章力、理解力を深めていく。語彙の増加、文法の修得、通訳・翻訳の基礎訓練を中心とする授業を進め、テキストに合わせて随時に中国の伝統風習、文化、社会事情を紹介する。

①基本文法　②簡単な作文　③ヒヤリング

530040 教職概論

准教授　西尾　克明

教育は、子どもが自分の生きていく社会に適応できるよう支援する作用である。親・地域の大人・学校の教師が、それぞれに担う作用である。しかし、今日では親や地域の教育機能が低下していると指摘される。教師は、親や地域の教育力の回復にも力添えを求められている。こうした時代社会の変容の中で教師に求められる多様な資質・力量とは何かを学び、考えていく。

①教職の専門職性　②教員研修　③教職の倫理

530041 教育心理学

非常勤講師　青木　智子

教育心理学の基本的な知識習得を目的とする。主な内容は、成長と発達、学習、教育評価、パーソナリティ、集団である。教師として学校現場において多様な生徒の力を十分に発揮させるべく、適切な行動理解および働きかけの枠組みを具体例をふまえて学んでいく。

①発達　②学習　③人格

530042 教育原理

准教授　松本　淳

「教育とは何か」「何のために勉強するのか」など、「教育」の根本的な事柄を追究する。また、人間に内在するすばらしい可能性を引き出す良き縁（教師）となるためには何が必要かなどを探究する。

①教育の目的　②愛情　③絆の恢復

530043 国語科教育法

教授　久下　裕利

中学校国語科教育に於ける教師たるべき姿勢と教授方法について講義する。具体的に教材研究のあり方や学習指導案の作成などを体得させる。

①学習指導要領　②教材研究法　③学習指導案

530044 英語科教育法

准教授　小林　多佳子

英語を教える上での問題点や、注意事項について考察すると共に、効果的な授業形態について研究する。また教育実習に備えて、指導教案の作成、模擬授業も行なう。

①指導教案　②模擬授業　③教育実習

530045 家庭科教育法

講師　今井　美樹

自立した生活者の育成という家庭科教育の目標を理解し、中学校技術・家庭の指導力を養う。具体的には、学習指導計画作成、教材研究・評価法等の基礎的知識の修得と、模擬授業を通し、指導法の技術と実践法を学ぶ。

①自立した生活者の育成　②家庭科教育の目標　③学習指導法

530047 特別活動の研究

非常勤講師　佐藤　道幸

学習指導要領のねらいである「生きる力」の育成には、自ら考え自ら行動する特別活動が重要である。関連の深い「総合的な学習の時間」等を踏まえながら、特別活動の意義や内容、方法等について具体的な指導の在り方を研究する。

①学校生活への適応　②望ましい集団活動　③自主的実践的態度

530048 教育工学

非常勤講師　坂谷内　勝

教育の方法及び技術に関して、教育工学的アプローチで講義する。具体的には、教育方法に関する理論を踏まえ、授業研究、教材の活用及び情報機器について解説する。

①教育方法　②教材開発　③情報機器

530050 教育相談の研究

非常勤講師　青木　智子

今日、いじめや不登校など、子どもの学校教育上の問題はきわめて深刻な事態にある。教育現場におけるその解決を目指し、教師が教育相談の理論や技法に基づいて、生徒や親、教師に相談・援助していくプロセスを学んでいく。

①教育相談　②カウンセリングの技法　③カウンセリングの理論

530051 総合演習

准教授　西尾　克明

教職・教育を取り巻く諸問題について、個々人がテーマを設定し、類似テーマの者が研究班(3～5人)を作って、各自のテーマが包括されたグループの大テーマを決め(各自のテーマがグループテーマの部分となる形)、各自がテーマの研究を進める。各自が研究をレポートにまとめ、発表・討論を行う。この過程を通して、教師としての指導力・技法を学ぶ。

①学習過程・研究過程　②研究のまとめ方・発表・討論　③グループワーク指導

530052 教育実習の指導

准教授　西尾　克明

教育実習は授業実習を中心に行われる「教師の実務の実習」である。教科指導を中心とするが、多様な生徒の姿に直に接して、その対応を体験することは、実習を通して自己陶冶する機会となる。この授業では学校現場の実態の概略と実習生の心得を学ぶ。

① Scientist Practitioner　②教師の実務　③熱意と品性

3. 日本語日本文学科（平成19年度以降入学者用）

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
					単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印 必修 ②○印 選択 履修可能範囲等：①無印 本学科学生のみ ②◎ 他学科生履修可 ③□ 同系統学生のみ ④同 他学科同時開設科目 ⑤★ 前・後期同一内容 ⑥× 本年度開講せず ⑦# 一般教養にならない
基幹科目	日本文学入門		烏谷・吉田	211001,2	2	2							1		
	日本語学概論		嶺田・山田（潔）	211003			2	2					2		☆ 12単位必修
	中国文学概論		田熊・市川（清）	211004,5					2	2			3		☆印 文化創造学科生履修可
基礎・スキル科目	基礎演習		山本（晶）他	211006	2	2							1	★	
	日本文学研究とコンピュータ		福田（委）	211007		②		②					1		「情報機器の操作」対象科目
	日本語研究とコンピュータ		嶺田	211008	②		②						1		「情報機器の操作」対象科目
	実践的文章論		桐畑	211009	②	②	②	②					2	★	「日本語学Ⅰ（実践的文章論）」同一科目。「基礎・スキル科目」「日本語学」どちらか一方でのみ履修可
	社会人としての日本語表現		桐畑	211010					②	②	②	②	3	★	「日本語学Ⅱ（社会人としての日本語表現）」同一科目。「基礎・スキル科目」「日本語学」どちらか一方でのみ履修可
	古典のとびら		茅場	211011	②		②						1		
	文字から入る古典		茅場	211012		②		②					1		4単位以上選択必修
	文語文法の基礎		山田（潔）	211013	②	②	②	②					1		
	漢文の基礎		市川（清）	211014	②	②	②	②					1	◎	
総合科目	古典と昔語り			211015			②	②	②	②			2	×	専
	歌ことば歌ごころ		齋藤	211016				②		②			2		専
	俳句（作句の試み）			211017	②	②	②	②	②	②	②	②	2	×	
	ことばと社会		高田	211018			②	②	②	②			2	◎	専 4単位以上選択必修
	有職故実		久保	211019	②	②	②	②					1	◎同	（歴文）
	史料解読		山本（博）	211020			②	②	②	②			2	◎同	（歴文）専
	近代詩歌		市川（浩）	211021	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	外からみた日本文学		胡	211022			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	日本漢文		田熊	211023			②		②		②		3	◎	専
	日本の演劇		山本（晶）	211024			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	言語学		徳永	211025			②	②	②	②	②	②	3	◎	専 4単位以上選択必修
	書誌学		久保	211026					②	②	②	②	3	◎	専
	日本民俗学		渡辺	211027					②	②	②	②	3	◎	専
	日本思想史		米井	211028			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（歴文）専
専門Ⅰ群科目	日本語学	日本語学Ⅰ（現代語文法）	小林（茂）	211029	②	②	②	②					1	◎	
		日本語学Ⅰ（音声と音韻）	嶺田	211030	②	②	②	②					2	◎	
		日本語学Ⅰ（実践的文章論）	桐畑	211031	②	②	②	②					2	★	4単位以上選択必修
		日本語学Ⅰ（中世語文法史）	小林（茂）	211032	②	②	②	②	②	②			2	◎同	（専国）国語学特殊講義B
		日本語学Ⅰ（日本語史）	坂梨	211033	②	②	②	②	②	②			1.2	◎	
		パソコン日本語学入門A	伊藤（雅）	211034	②	②	②	②					2	◎	A、B、どちらか一方のみ履修可
		パソコン日本語学入門B	伊藤（雅）	211035	②	②	②	②					2	◎	「情報機器の操作」対象科目
	古典文学	古典文学ⅠA（古事記）	烏谷	211036	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠA（万葉集）	升田	211037	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠA（更級日記）	胡	211038	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修
		古典文学ⅠA（源氏物語）	茅場	211039			②	②	②	②			2	◎	
		古典文学ⅠA（古今集）	河地	211040			②	②	②	②			2	◎	
		古典文学ⅠB（平家物語）	岸田	211041	②	②	②	②					1		
		古典文学ⅠB（宇治拾遺物語）	山本（晶）	211042	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠB（おとぎ草子）		211043	②	②	②	②					2	×	4単位以上選択必修
		古典文学ⅠB（江戸の旅）	大島	211044	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠB（江戸の恋）	大島	211045	②	②	②	②					1	◎	

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
															開設単位： ①無印　必修 ②○印　選択 履修可能範囲等： ①無印　本学科学生のみ ②◎　他学科生履修可 ③□　同系統学生のみ ④同　他学科同時開設科目 ⑤★　前・後期同一内容 ⑥×　本年度開講せず ⑦#　一般教養にならない
専門Ⅰ群科目	近代文学	近代文学Ⅰ（夏目漱石）		211046	②	②	②	②					1	×	4単位以上選択必修
		近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	猪熊	211047	②	②	②	②					1	◎	
		近代文学Ⅰ（子どもの風景）	笛木	211048	②	②	②	②					1	◎	
		近代文学Ⅰ（遠藤周作）	笛木	211049	②	②	②	②					2	◎	
		近代文学Ⅰ（映像でよむ文学の近代）	市川（浩）	211050	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	児童文学	児童文学Ⅰ（子どもと文学）	石井（直）	211051	②	②	②	②	②	②			1		
		児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	福田（委）	211052	②	②	②	②					2	◎	
		児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	石井（直）	211053	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	中国文学	中国文学Ⅰ（詩文）	市川（清）	211054	②	②	②	②					1.2	◎	
		中国文学Ⅰ（史伝・思想）	田熊	211055		②		②		②			2.3	◎	
専門Ⅱ群科目	日本語学	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	高田	211056			②	②	②	②	②	②	3	◎	8単位以上選択必修 （但し、卒業論文を書く分野を4単位以上含む） ※児童文学、中国文学、日本語教育の卒業論文を書く者は除く
		日本語学Ⅱ（データ収集と分析）	嶺田	211057						②		②	3		「情報機器の操作」対象科目
		日本語学Ⅱ（こゝろ）	坂梨	211058					②	②	②	②	3	◎同	（専国）国語学特殊講義A
		日本語学Ⅱ（社会人としての日本語表現）	桐畑	211059					②	②	②	②	3	★	
	古典文学	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	升田・烏谷	211060,1					②	②	②	②	3	◎	
	中古文学	古典文学Ⅱ（枕草子）	浜口	211062					②	②	②	②	3	◎	
		古典文学Ⅱ（伊勢物語）	河地	211063					②	②	②	②	4	◎	
	中世文学	古典文学Ⅱ（室町小歌）		211064					②	②	②	②	3	×	
		古典文学Ⅱ（隠者文学）	岸田	211065			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）国文学特殊講義E
	近世文学	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	大島	211066			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	井上	211067			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近代文学	近代文学Ⅱ（芥川龍之介）	中村（友）	211068			②	②	②	②	②	②	3		
		近代文学Ⅱ（川端康成）	山田（吉）	211069			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		近代文学Ⅱ（比較文学）	市川（浩）	211070			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）比較文学特殊講義
		近代文学Ⅱ（現代小説）	太田（鈴）	211071			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	児童文学	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	福田（委）	211072			②	②	②	②	②	②	3	◎	児童文学、中国文学の卒業論文を書く者はその分野を4単位以上選択必修、更に専門Ⅱ群から4単位以上選択必修
		児童文学Ⅱ（外国）	内藤	211073					②	②	②	②	4	◎	
	中国文学	中国文学Ⅱ（白氏文集）	市川（清）	211074				②		②		②	2.3	◎	
		中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）	市川（清）	211075			②		②		②		3.4	◎	
日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	遠藤	211076	②		②						1	◎	
		言語政策論Ⅰ	西川（寿）	211077			②		②		②		3	◎	
		言語政策論Ⅱ	李（守）	211078				②		②		②	3	◎同	（英コミ）言語政策論
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	恩村	211079	②		②		②				1	◎	
		異文化間コミュニケーションⅡ	恩村	211080		②		②		②			1	◎	
		社会言語学	伊藤（博）	211081		②		②		②		②	2	◎	
	言語と心理	第二言語教育概説	西川（寿）	211082	②		②		②				2	◎	日本語教育の卒業論文を書く者は、8単位以上選択必修
		第二言語習得論	西川（寿）	211083		②		②		②			2	◎	
	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ		211084		②		②					1	×	
		日本語教育学ⅠA（音声）	伊藤（博）	211085	②		②		②				2	◎	
		日本語教育学ⅠB（書写）	戸田	211086			②		②				2	◎	
		日本語教育学ⅠC（文法）	戸田	211087	②	②	②	②	②	②			2	◎	
		日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	遠藤	211088				②		②		②	3	◎	
		日本語教育学ⅡB（作文・読解）	伊藤（博）	211089			②	②	②	②			3	◎	

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
日本語教育	言語と教育	日本語教育学ⅡC（教材・教具）	戸田	211090				②		②			2	◎	日本語教育の卒業論文を書く者は、8単位以上選択必修
		コースデザイン・評価論		211091				②		②		②	3	×	
		日本語教育指導方法論	西川（寿）	211092			②	②	②	②			2	◎	
		日本語教育実習Ⅰ（教壇08）	恩村	211093					①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習Ⅱ（教壇08）	恩村	211094					①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習（個別08）	西川（寿）・伊藤（博）	211095			①	①	①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習（海外08）	西川（寿）他	211096			①	①	①	①	①	①	3	◎	
	言語	日本語教育言語分析法研究	伊藤（博）	211097	②		②		②		②		2	◎	
		日本語文法論	池田（悠）	211098	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
		日本語表現法	伊藤（博）	211099		②		②		②			2	◎	
		日英対照研究	西川	211100				②		②		②	3	◎	
		日韓対照研究	李（守）	211101			②		②		②		3	◎	
		日中対照研究	フフバートル	211102				②		②		②	3	◎	
書道		書道史	那須	211103	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
		日本の書芸	那須	211104	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
		書道実習Ⅰ	槍田・鈴木・板橋	211105～7	①	①	①	①					1	同	（文化創造）毛筆書道入門 伝統文化実習B（毛筆書道入門）
		書道実習Ⅱ	横山・鈴木・板橋	211108～10	①	①	①	①					2	同	（文化創造）毛筆書道中級
		書道実習Ⅲ	横山	211111					①	①	①	①	3		中学校の国語免許状取得の者はⅠ、Ⅱ、高等学校の国語免許状取得の者はⅠ、高等学校の国語・書道取得の者はⅠ～Ⅵを順次履修。原則として同一科目を通年で履修。
		書道実習Ⅳ	横山	211112					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅴ	槍田	211113					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅵ	槍田	211114					①	①	①	①	4		
国語教育		国語科教育法A	中村（敦）	211115			④	④	④	④			3	★	（教養）教職資格取得を目指す者のみ履修を認める。
		国語教育教材研究	福田（淳）	211116			②	②	②	②	②	②	2		
		表現法（原理と指導法）		211117	②	②	②	②	②	②			2	×	
演習Ⅰ		日本文学演習ⅠAa	升田	211118			①	①					2	★	Aから1単位以上、Bから1単位以上、選択必修
		日本文学演習ⅠAb	烏谷	211119			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAc	胡	211120			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAd	茅場	211121			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAe	山本（晶）	211122			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAf	大島	211123			①	①					2	★	
		日本語学演習ⅠBa	嶺田	211124			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBb	笛木	211125			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBc	中村（友）	211126			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBd	猪熊	211127			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBe	福田（委）	211128			①	①					2	★	
		中国文学演習ⅠBf	市川（清）	211129			①	①					2	★	
		日本語教育演習ⅠBg	伊藤（博）・西川（寿）	211130、1			①	①					2		
演習Ⅱ	日本語学 上代	日本語学演習ⅡA（古典語研究）	山田（潔）	211132					①	①			3		2単位以上選択必修
	日本語学	日本語学演習ⅡB（現代語研究）	嶺田	211133					①	①			3		
	上代	日本文学演習ⅡC（万葉集・記紀）	烏谷	211134					①	①			3		
	中古	日本文学演習ⅡD（堤中納言物語）	大倉	211135					①	①			3		
		日本文学演習ⅡE（源氏物語）	茅場	211136					①	①			3		

開設単位：
①無印　必修
②○印　選択

履修可能範囲等：
①無印　本学科学生のみ
②◎　他学科生履修可
③□　同系統学生のみ
④同　他学科同時開設科目
⑤★　前・後期同一内容
⑥×　本年度開講せず
⑦#　一般教養にならない

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
演習Ⅱ	中世	日本文学演習ⅡF（とはずがたり）	岸田	211137					①	①			3		2単位以上選択必修
		日本文学演習ⅡG（中世芸能文学）	山本（晶）	211138					①	①			3		
	近世	日本文学演習ⅡH（町人の小説）	大島	211139					①	①			3		
	近代	日本文学演習ⅡI（明治大正の小説）	吉田	211140					①	①			3		
		日本文学演習ⅡJ（芥川龍之介）	猪熊	211141					①	①			3		
		日本文学演習ⅡK（昭和の小説）	槍田	211142					①	①			3		
		日本文学演習ⅡL（小説読解の試み）	笛木	211143					①	①			3		
	児童	日本文学演習ⅡM（児童文学の作家と作品）	福田（委）	211144					①	①			3		
	中国	中国文学演習ⅡN（唐詩）	市川（清）	211145					①	①			3		
	日本語教育	日本語教育演習ⅡO	伊藤（博）	211146					①	①			3		
		日本語教育演習ⅡP	西川（寿）	211147					①	①			3		
演習Ⅲ	日本語学	日本語学演習ⅢA	山田（潔）	211148							①	①	4		2単位以上選択必修
		日本語学演習ⅢB	嶺田	211149							①	①	4		
	上代	日本文学演習ⅢC	烏谷	211150							①	①	4		
	中古	日本文学演習ⅢD	大倉	211151							①	①	4		
		日本文学演習ⅢE	茅場	211152							①	①	4		
	中世	日本文学演習ⅢF	岸田	211153							①	①	4		
		日本文学演習ⅢG	山本（晶）	211154							①	①	4		
	近世	日本文学演習ⅢH	大島	211155							①	①	4		
	近代	日本文学演習ⅢI	吉田	211156							①	①	4		
		日本文学演習ⅢJ	猪熊	211157							①	①	4		
		日本文学演習ⅢK	槍田	211158							①	①	4		
		日本文学演習ⅢL	笛木	211159							①	①	4		
	児童	日本文学演習ⅢM	福田（委）	211160							①	①	4		
	中国	中国文学演習ⅢN	市川（清）	211161							①	①	4		
	日本語教育	日本語教育演習ⅢO	伊藤（博）	211162							①	①	4		
		日本語教育演習ⅢP	西川（寿）	211163							①	①	4		
卒業論文				211164							8		4		8単位必修

開設単位：①無印 必修 ②○印 選択
履修可能範囲等：①無印 本学科学生のみ ②◎ 他学科生履修可 ③□ 同系統学生のみ ④同 他学科同時開設科目 ⑤★ 前・後期同一内容 ⑥× 本年度開講せず ⑦# 一般教養にならない

※上記の科目の他に、平成18年度以前入学者用カリキュラム表の「日本文学史A～F」の6科目も、専門科目として履修することができる。

専:国語国文学専攻科学生修了要件科目

3. 日本語日本文学科（平成18年度以前入学者用）

	授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
基幹科目	日本文学入門		鳥谷・吉田	211001,2	2	2							1		☆ 12単位必修
	日本語学概論		嶺田・山田（潔）	211003			2	2					2		☆ 12単位必修
	中国文学概論		田熊・市川（清）	211004,5					2	2			3		☆ 12単位必修
	日本語史		坂梨	211165	②	②	②	②	②	②			1.2	◎	☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史A（上代）		升田	211166		②		②		②			1.2		☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史B（中古）		大倉	211167	②	②	②	②	②	②			1.2	★	☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史C（中世）		齋藤	211168	②		②		②				1.2	★	☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史D（近世）		井上	211169	②	②	②	②	②	②			1.2	★	☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史E（近代）		笛木	211170		②		②		②			1.2		☆ 6単位以上選択必修
	日本文学史F（現代）		猪熊	211171	②	②	②	②	②	②			1.2	★	☆ 6単位以上選択必修 ☆印　文化創造学科生履修可
総合科目	ガイダンス科目	古典のとびら	茅場	211011	②		②						1		Ⅰ
		文語文法の基礎	山田（潔）	211013	②	②	②	②					1		Ⅰ
		文字から入る古典	茅場	211012		②		②					1		Ⅰ
		漢文の基礎	市川（清）	211014	②	②	②	②					1	◎	Ⅰ
		日本文学研究とコンピュータ	福田（委）	211007		②		②					1		Ⅰ「情報機器の操作」対象科目
		日本語研究とコンピュータ	嶺田	211008	②		②						1		Ⅰ「情報機器の操作」対象科目
		実践的文章論	桐畑	211009	②	②	②	②					2	★	Ⅰ「日本語学Ⅰ（実践的文章論）」同一科目。「総合科目」・「日本語学」どちらか一方でのみ履修可
	日本語・日本文学の諸相	古典と昔語り		211015			②	②	②	②			2	×	Ⅰ 専
		歌ことば歌ごころ	齋藤	211016				②		②			2		Ⅰ 専
		俳句（作句の試み）		211017	②	②	②	②	②	②	②	②	2	×	Ⅰ
		近代詩歌	市川（浩）	211021	②	②	②	②	②	②			2	◎	Ⅰ Ⅰから4単位以上、Ⅱから4単位以上、選択必修
		ことばと社会	高田	211018			②	②	②	②			2	◎	Ⅰ 専
		日本漢文	田熊	211023			②		②		②		3	◎	Ⅱ 専
		日本の演劇	山本（晶）	211024			②	②	②	②	②	②	3	◎	Ⅱ 専
		外からみた日本文学	胡	211022			②	②	②	②	②	②	3	◎	Ⅱ 専
		言語学	徳永	211025			②	②	②	②	②	②	3	◎	Ⅱ 専
		社会人としての日本語表現	桐畑	211010					②	②	②	②	3	★	Ⅱ「日本語学Ⅱ（社会人としての日本語表現）」同一科目。「総合科目」・「日本語学」どちらか一方でのみ履修可
	関連科目	有職故実	久保	211019	②	②	②	②					1	◎同	Ⅰ（歴文）
		史料解読	山本（博）	211020			②	②	②	②			2	◎同	Ⅰ（歴文）専
		書誌学	久保	211026					②	②	②	②	3	◎	Ⅱ 専
		日本民俗学	渡辺	211027					②	②	②	②	3	◎	Ⅱ 専
		日本思想史	米井	211028			②	②	②	②	②	②	3	◎同	Ⅱ（歴文）専
専門Ⅰ群科目	日本語学	日本語学Ⅰ（現代語文法）	小林（茂）	211029	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修
		日本語学Ⅰ（音声と音韻）	嶺田	211030	②	②	②	②					2	◎	4単位以上選択必修
		日本語学Ⅰ（実践的文章論）	桐畑	211031	②	②	②	②					2	★	4単位以上選択必修
		日本語学Ⅰ（中世語文法史）	小林（茂）	211032	②	②	②	②	②	②			2	◎同	4単位以上選択必修 （専国）国語学特殊講義B
		パソコン日本語学入門A	伊藤（雅）	211034	②	②	②	②					2	◎	A、B、どちらか一方のみ履修可 「情報機器の操作」対象科目
		パソコン日本語学入門B	伊藤（雅）	211035	②	②	②	②					2	◎	A、B、どちらか一方のみ履修可 「情報機器の操作」対象科目
	古典文学A	古典文学IA（古事記）	鳥谷	211036	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修
		古典文学IA（万葉集）	升田	211037	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修
		古典文学IA（更級日記）	胡	211038	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修
		古典文学IA（源氏物語）	茅場	211039			②	②	②	②			2	◎	4単位以上選択必修
		古典文学IA（古今集）	河地	211040			②	②	②	②			2	◎	4単位以上選択必修

開設単位：
①無印　必修
②○印　選択

履修可能範囲等：
①無印　本学科学生のみ
②◎　他学科生履修可
③□　同系統学生のみ
④同　他学科同時開設科目
⑤★　前・後期同一内容
⑥×　本年度開講せず
⑦#　一般教養にならない

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
															開設単位： ①無印　必修 ②○印　選択 履修可能範囲等： ①無印　本学科学生のみ ②◎　他学科生履修可 ③□　同系統学生のみ ④同　他学科同時開設科目 ⑤★　前・後期同一内容 ⑥×　本年度開講せず ⑦#　一般教養にならない
専門Ⅰ群科目	古典文学B	古典文学ⅠB（平家物語）	岸田	211041	②	②	②	②					1		４単位以上選択必修
		古典文学ⅠB（宇治拾遺物語）	山本（晶）	211042	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠB（おとぎ草子）		211043	②	②	②	②					2	×	
		古典文学ⅠB（江戸の旅）	大島	211044	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学ⅠB（江戸の恋）	大島	211045	②	②	②	②					1	◎	
	近代文学	近代文学Ⅰ（夏目漱石）		211046	②	②	②	②					1	×	４単位以上選択必修
		近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	猪熊	211047	②	②	②	②					1	◎	
		近代文学Ⅰ（子どもの風景）	笛木	211048	②	②	②	②					1	◎	
		近代文学Ⅰ（遠藤周作）	笛木	211049	②	②	②	②					2	◎	
		近代文学Ⅰ（映像でよむ文学の近代）	市川（浩）	211050	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	児童文学	児童文学Ⅰ（子どもと文学）	石井（直）	211051	②	②	②	②	②	②			1		
		児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	福田（委）	211052	②	②	②	②					2	◎	
		児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	石井（直）	211053	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	中国文学	中国文学Ⅰ（詩文）	市川（清）	211054	②	②	②	②					1.2	◎	
		中国文学Ⅰ（史伝・思想）	田熊	211055		②		②		②			2.3	◎	
専門Ⅱ群科目	日本語学	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	高田	211056			②	②	②	②	②	②	3	◎	日本語学の卒業論文を書く者は4単位以上選択必修
		日本語学Ⅱ（データ収集と分析）	嶺田	211057						②		②	3		「情報機器の操作」対象科目
		日本語学Ⅱ（こゝろ）	坂梨	211058					②	②	②	②	3	◎同	（専国）国語学特殊講義Ａ
		日本語学Ⅱ（社会人としての日本語表現）	桐畑	211059					②	②	②	②	3	★	
	上代文学	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	升田・烏谷	211060,1					②	②	②	②	3	◎	上代文学の卒業論文を書く者は4単位以上選択必修
	中古文学	古典文学Ⅱ（枕草子）	浜口	211062					②	②	②	②	3	◎	中古文学の卒業論文を書く者は４単位以上選択必修
		古典文学Ⅱ（伊勢物語）	河地	211063					②	②	②	②	4	◎	
	中世文学	古典文学Ⅱ（室町小歌）		211064					②	②	②	②	3	×	中世文学の卒業論文を書く者は4単位以上選択必修
		古典文学Ⅱ（隠者文学）	岸田	211065			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）国文学特殊講義Ｅ
	近世文学	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	大島	211066			②	②	②	②	②	②	3	◎	近世文学の卒業論文を書く者は４単位以上選択必修
		古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	井上	211067			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近代文学	近代文学Ⅱ（芥川龍之介）	中村（友）	211068			②	②	②	②	②	②	3		近代文学の卒業論文を書く者は4単位以上選択必修
		近代文学Ⅱ（川端康成）	山田（吉）	211069			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		近代文学Ⅱ（比較文学）	市川（浩）	211070			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）比較文学特殊講義
		近代文学Ⅱ（現代小説）	太田（鈴）	211071			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	児童文学	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	福田（委）	211072			②	②	②	②	②	②	3	◎	児童文学の卒業論文を書く者は４単位以上選択必修
		児童文学Ⅱ（外国）	内藤	211073					②	②	②	②	4	◎	
	中国文学	中国文学Ⅱ（白氏文集）	市川（清）	211074				②		②		②	2.3	◎	中国文学の卒業論文を書く者は４単位以上選択必修
		中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）	市川（清）	211075			②		②		②		3.4	◎	
日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	遠藤	211076	②		②						1	◎	
		言語政策論Ⅰ	西川（寿）	211077			②		②		②		3	◎	
		言語政策論Ⅱ	李（守）	211078				②		②		②	3	◎同	（英コミ）言語政策論
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	恩村	211079	②		②		②				1	◎	日本語教育の卒業論文を書く者は４単位以上選択必修
		異文化間コミュニケーションⅡ	恩村	211080		②		②		②			1	◎	
		社会言語学	伊藤（博）	211081		②		②		②		②	2	◎	
	言語と心理	第二言語教育概説	西川（寿）	211082	②		②		②				2	◎	
		第二言語習得論	西川（寿）	211083		②		②		②			2	◎	

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
日本語教育	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ		211084		②		②					1	×	日本語教育の卒業論文を書く者は4単位以上選択必修
		日本語教育学ⅠA（音声）	伊藤（博）	211085	②		②		②				2	◎	
		日本語教育学ⅠB（書写）	戸田	211086			②		②				2	◎	
		日本語教育学ⅠC（文法）	戸田	211087	②	②	②	②	②	②			2	◎	
		日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	遠藤	211088				②		②		②	3	◎	
		日本語教育学ⅡB（作文・読解）	伊藤（博）	211089			②	②	②	②			3	◎	
		日本語教育学ⅡC（教材・教具）	戸田	211090				②		②			2	◎	
		コースデザイン・評価論		211091				②		②		②	3	×	
		日本語教育指導方法論	西川（寿）	211092			②	②	②	②			2	◎	
		日本語教育実習Ⅰ（教壇08）	恩村	211093					①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習Ⅱ（教壇08）	恩村	211094					①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習（個別08）	西川（寿）・伊藤（博）	211095			①	①	①	①	①	①	3	◎	
		日本語教育実習（海外08）	西川（寿）他	211096			①	①	①	①	①	①	3	◎	
	言語	日本語教育言語分析法研究	伊藤（博）	211097	②		②		②		②		2	◎	
		日本語文法論	池田（悠）	211098	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
		日本語表現法	伊藤（博）	211099		②		②		②			2	◎	
		日英対照研究	西川	211100				②		②		②	3	◎	
		日韓対照研究	李（守）	211101			②		②		②		3	◎	
		日中対照研究	フフバートル	211102				②		②		②	3	◎	
書道		書道史	那須	211103	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
		日本の書芸	那須	211104	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
		書道実習Ⅰ	槍田・鈴木・板橋	211105～7	①	①	①	①					1	同	（文化創造）毛筆書道入門 伝統文化実習B（毛筆書道入門）
		書道実習Ⅱ	横山・鈴木・板橋	211108～10	①	①	①	①					2	同	（文化創造）毛筆書道中級
		書道実習Ⅲ	横山	211111					①	①	①	①	3		中学校の国語免許状取得の者はⅠ、Ⅱ、高等学校の国語免許状取得の者はⅠ、高等学校の国語・書道取得の者はⅠ～Ⅵを順次履修。原則として同一科目を通年で履修。
		書道実習Ⅳ	横山	211112					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅴ	槍田	211113					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅵ	槍田	211114					①	①	①	①	4		
国語教育		国語科教育法A	中村（敦）	211115			④	④	④	④			3	★	（教養）教職資格取得を目指す者のみ履修を認める。
		国語教育教材研究	福田（淳）	211116			②	②	②	②	②	②	2		
		表現法（原理と指導法）		211117	②	②	②	②	②	②			2	×	
演習Ⅰ		日本文学演習ⅠAa	升田	211118			①	①					2	★	Aから1単位以上、Bから1単位以上選択必修
		日本文学演習ⅠAb	烏谷	211119			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAc	胡	211120			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAd	茅場	211121			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAe	山本（晶）	211122			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAf	大島	211123			①	①					2	★	
		日本語学演習ⅠBa	嶺田	211124			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBb	笛木	211125			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBc	中村（友）	211126			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBd	猪熊	211127			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBe	福田（委）	211128			①	①					2	★	
		中国文学演習ⅠBf	市川（清）	211129			①	①					2	★	
		日本語教育演習ⅠBg	伊藤（博）・西川（寿）	211130,1			①	①					2		

開設単位：
①無印　必修
②○印　選択
履修可能範囲等：
①無印　本学科学生のみ
②◎　他学科生履修可
③□　同系統学生のみ
④同　他学科同時開設科目
⑤★　前・後期同一内容
⑥×　本年度開講せず
⑦#　一般教養にならない

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
演習Ⅱ	日本語学	日本語学演習ⅡA（古典語研究）	山田（潔）	211132					①	①			3		2単位以上選択必修
		日本語学演習ⅡB（現代語研究）	嶺田	211133					①	①			3		
	上代	日本文学演習ⅡC（万葉集・記紀）	烏谷	211134					①	①			3		
	中古	日本文学演習ⅡD（堤中納言物語）	大倉	211135					①	①			3		
		日本文学演習ⅡE（源氏物語）	茅場	211136					①	①			3		
	中世	日本文学演習ⅡF（とはずがたり）	岸田	211137					①	①			3		
		日本文学演習ⅡG（中世芸能文学）	山本（晶）	211138					①	①			3		
	近世	日本文学演習ⅡH（町人の小説）	大島	211139					①	①			3		
	近代	日本文学演習ⅡI（明治大正の小説）	吉田	211140					①	①			3		
		日本文学演習ⅡJ（芥川龍之介）	猪熊	211141					①	①			3		
		日本文学演習ⅡK（昭和の小説）	槍田	211142					①	①			3		
		日本文学演習ⅡL（小説読解の試み）	笛木	211143					①	①			3		
	児童	日本文学演習ⅡM（児童文学の作家と作品）	福田（委）	211144					①	①			3		
	中国	中国文学演習ⅡN（唐詩）	市川（清）	211145					①	①			3		
	日本語教育	日本語教育演習ⅡO	伊藤（博）	211146					①	①			3		
		日本語教育演習ⅡP	西川（寿）	211147					①	①			3		
演習Ⅲ	日本語学	日本語学演習ⅢA	山田（潔）	211148							①	①	4		2単位以上選択必修
		日本語学演習ⅢB	嶺田	211149							①	①	4		
	上代	日本文学演習ⅢC	烏谷	211150							①	①	4		
	中古	日本文学演習ⅢD	大倉	211151							①	①	4		
		日本文学演習ⅢE	茅場	211152							①	①	4		
	中世	日本文学演習ⅢF	岸田	211153							①	①	4		
		日本文学演習ⅢG	山本（晶）	211154							①	①	4		
	近世	日本文学演習ⅢH	大島	211155							①	①	4		
	近代	日本文学演習ⅢI	吉田	211156							①	①	4		
		日本文学演習ⅢJ	猪熊	211157							①	①	4		
		日本文学演習ⅢK	槍田	211158							①	①	4		
		日本文学演習ⅢL	笛木	211159							①	①	4		
	児童	日本文学演習ⅢM	福田（委）	211160							①	①	4		
	中国	中国文学演習ⅢN	市川（清）	211161							①	①	4		
	日本語教育	日本語教育演習ⅢO	伊藤（博）	211162							①	①	4		
		日本語教育演習ⅢP	西川（寿）	211163							①	①	4		
卒業論文				211164							8		4		8単位必修

開設単位：
①無印　必修
②○印　選択

履修可能範囲等：
①無印　本学科学生のみ
②◎　他学科生履修可
③□　同系統学生のみ
④同　他学科同時開設科目
⑤★　前・後期同一内容
⑥×　本年度開講せず
⑦#　一般教養にならない

専：国語国文学専攻科学生修了要件科目

授業概要

211001 日本文学入門

准教授　烏谷　知子

漢字に接し、言葉を文字に託そうとした上代。仮名文字が発達し、日本独自の文学が開花した中古。幽玄・無常などの日本的観念が確立した中世。出版文化の普及により、庶民も文学を担った近世。奈良時代から江戸時代の文学の流れを概観する。

①古典文学の世界　②日本文学の歴史　③言葉と表現

211002 日本文学入門

教授　吉田　昌志

日本の文学の歴史のうち、明治以降、現代にいたる作家・作品・文芸思潮について、時代・社会と文学との関係を探り、文学の本質とその魅力を考える。

①「文学」という言葉　②韻文と散文　③文学と社会

211003 日本語学概論

教授　博士（文学）　山田　潔
准教授　嶺田　明美

山田・嶺田が前・後期を分けて担当する。山田は日本語史を中心に、音韻史、文法史、文法などを、嶺田は現代語の音声音韻、語彙、方言を担当する。日本語学の対象領域は多岐に亘る。その中から古典の読解や現代語の理解に必要不可欠な項目を精選し、詳しく説明したい。

①音韻史　②文法史　③文法　④調音　⑤語と意味　⑥方言

211004 中国文学概論

教授　田熊　信之

特異な書写言語“漢字”を生み育てた中国の人々は、これを用いて、その特性を生かしたさまざまなあやどりの世界を築き上げている。本講では、これら中国文学の表現世界が、どのような領域をもち、どのような形式を備え、どのような特色をもっているかを概説する。

①漢字と中国語　②神話と卜辞　③思想と歴史　④文学と政治　⑤雅と俗　⑥韻文と散文

211005 中国文学概論

准教授　市川　清史

詩經から始まり魯迅に至る、二千数百年の歴史を持つ中国文學の世界を概観します。中國文學は、世界のどの地域にもない独自の特徴を持ち、また、日本の文学にも長期にわたって常に刺激を与えてきました。その文學の展開を追いながら、中国文学の表現世界が、どのような領域をもち、どのような形式を備え、どのような特色をもっているかを概説していきます。

①漢字と中国語　②文言と白話　③典故と対句　④文学と政治　⑤文学と思想　⑥韻文と散文

211006 基礎演習

准教授　山本　晶子　他

大学で学ぶための技法を習得することを目的とする。講義を聴く、ノートを取る、文章を書く、など、大学教育を受ける上での基本的な技能を実践を通して身につけ、自立学習へ結びつける。

①とらえる　②まとめる　③あらわす

211007 日本文学研究とコンピュータ

講師　福田　委千代

日本文学研究においてコンピュータをどのように活用するのか、近代文学研究を中心に実践的に学ぶ。コンピュータの基本的な操作（ワープロ・インターネット）ができる者を対象とする。

①情報の形態　②データベース　③情報検索

211008 日本語研究とコンピュータ

准教授　嶺田　明美

日本語の特徴を、データベスソフトを使って観察し、結果を各自が発表する。コンピュータを日本語研究の一手段とする上での基礎的なリテラシーを修得する。

①語数　②仮説　③グラフ

211009 実践的文章論

非常勤講師　桐畑　寿太郎

マスコミの文章を基本に、どのような職場であれ必要な、正確で、読みやすく、簡潔な文章のあり方を様々な角度から講義。文章論というと、とかく表現法や技術に重きが置かれやすいが、誤りなくこちらの意思を伝えるという伝達性に力点を置いた実用文のあり方を追求する。

①正確　②簡潔性　③読みやすさ　④音読　⑤聞き上手

211010 社会人としての日本語表現

非常勤講師　桐畑　寿太郎

学生であっても社会人であっても、話すのは同じ日本語である。だが、前後2、3歳しか異ならない同世代の会話と18歳から70歳以上の人々と同じ目的を持って共に仕事をして行く実社会でのコミュニケーションの実態はあまりにも異なる。知識も経験も立場も異なるからである。ここに「社会言語学」なる分野も生まれる。言葉づかいや態度、基本的なマナーなどにも敷衍する。電話の受け答え、対面して話を聞く場合の注意。気配り、心遣いの言葉を磨くなどについて体験者として社会的な助言をしたい。

①常識　②礼儀　③丁寧語と敬語　④気配り　⑤好奇心と感性

211011 古典のとびら

教授　茅場　康雄

この授業は、日本の古典に親しむことを目的にしている。古典文学は、時代を超えて、語り継がれ、読み継がれてきたものである。その古典文学の中に息づく女性たちという視点で作品を選び、そこに登場する女性たちのあり様を中心に作品を読み、鑑賞してみたい。

①古典に親しむ　②鑑賞　③女性像

211012 文字から入る古典

教授　茅場　康雄

日本語を表記する文字について学習し、変体仮名の文章を読むための基礎を養う。同時に古典を学ぶために必要な基礎的な知識を学ぶ。

①古典の基礎　②変体仮名　③仮名文字

211013 文語文法の基礎

教授　博士（文学）　山田　潔

文語文法の知識は、実際の文章から遊離しがちである。また、文法書の用例は断片的で理解しにくい。その二点を考慮し、用例は主として『古今和歌集』の歌に基づき、その中に含まれる様々な文法事項を取り上げる。

①品詞分類法　②用言の特質　③陳述　④詞と辞　⑤助動詞の用法　⑥助詞の分類法

211014 漢文の基礎

准教授　市川　清史

漢文は中国の古典であると同時に日本の言語・文化を育んできた日本の古典でもある。この授業では日本人に馴染みの深いよく知られた作品を選び、できるだけ多くの漢文に触れ、漢文訓読の基本を習得することを目指す。

①音読　②故事成語　③漢詩　④漢詩　⑤十八史略　⑥文

211016 歌ことば歌ごころ

教授　博士（文学）　齋藤　彰

和歌文学とは何か。主に中世の二条派和歌の分析・鑑賞を通して、〈歌ことば〉の表現史の諸相を概観したい。

①和歌の本質　②和歌の表現　③詠法

211018 ことばと社会

非常勤講師　高田　智和

ことばに関わるさまざまな現象を手がかりに，現代の言語生活について考えます。前期は、地域・性別・世代などによることばの差を取り上げます。後期は、漢字を中心に、教育・マスメディア・コンピュータの文字について解説します。

①ことば　②漢字　③地域差　④男女差　⑤世代差　⑥情報化社会

211019 有職故実

非常勤講師　博士（文学）　久保　貴子

有職故実が学として成立するのは江戸時代といっても過言ではないが、その起源は平安時代にまで遡る。授業では、制度・儀式・装束などの歴史的変遷と、その復活再興の動きに着目する。史料講読の機会もできればつくりたい。

①大内裏　②内裏　③官位　④服飾　⑤儀式典礼　⑥年中行事

211020 史料解読

教授　山本　博也

過去の出来事について知ることができるのは、今にのこる痕跡（史料）によってである。この授業は、日本の前近代の社会や文化を研究しようとする人たちのために、文献史料の読解力を養成することを目的とする。

①和様漢文　②読み下し　③異体字　④吾妻鏡　⑤古文書　⑥古記録

211021 近代詩歌

非常勤講師　市川　浩昭

江戸時代まで詩は漢詩をさし、歌は和歌だった。現在の詩の形態は明治時代には新体詩と呼ばれ、西洋詩から発想され新たに成立しました。本講座では近代以降の詩歌の世界を取り上げ、前期には近代の詩歌を紹介し、後期はその世界の展開を考察します。

①新体詩　②翻訳詩　③近代短歌と俳句　④抒情詩と象徴詩　⑤近代詩史　⑥歌謡曲の世界

211022 外からみた日本文学

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

日本文学の代表的な古典作品の英語訳と中国語訳を多く紹介し、海外での研究動向を踏まえつつ、日本文学の特質と価値をグローバルな視点から捉え、特に和歌、物語、日記の三大ジャンルを通して、日本文学独自の美意識を探りたい。

①グローバルな視点　②古典の翻訳　③作品の批評　④日本的美意識　⑤花鳥風月　⑥もののあはれ

211023 日本漢文

教授　田熊　信之

日本の人々は、古くから異国の書写言語である漢字を取り入れ、自らの表現世界を築き上げて来た。本講座では、こうした中で作り残された漢詩文の姿を理解するため、中日文学の交渉などにも注意を払いながら、主要な資料、作品を読み進めてゆく。

①日本漢文と漢文訓読　②金石遺文　③懐風藻　④私撰　勅撰の詩文集　⑤五山文学　⑥文人の詩文

211024 日本の演劇

准教授　山本　晶子

日本の古典演劇である能・狂言の世界を伝書と作品の両面から捉え、中世演劇の特質を明らかにする。前期は能、後期は狂言を中心に、室町期に成立した猿楽が現代までどのように演じられてきたのか、その変遷をたどる。

①猿楽　②世阿弥　③花　④大蔵虎明　⑤式楽　⑥流派意識

211025 言語学

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

ことばは、およそあらゆる人間の精神的・社会的活動を支えている源である。このコースでは、言語のさまざまな側面を概観し、言語のしくみを学ぶ。主に、日本語と英語を比較対照し、言語の分析を行い、そのしくみを分かりやすく説明する。

①言語知識　②言語の構造　③認知　④文の形式　⑤意味・語用　⑥言語習得

211026 書誌学

非常勤講師　博士（文学）　久保　貴子

和書について和紙の材質から、各種の書型・装丁・構成要素などを学んでもらう。さらに古代・中世の文芸作品の写本の奥書から、その転写過程を読み取り、近世の板本からは当該期の出版の実状を学んでいく。

①紙　②写本　③板本　④装丁　⑤奥書　⑥書肆

211027 日本民俗学

教授　渡辺　伸夫

日本民俗学の学問的成果を紹介しながら、日本人と日本の民俗文化について考える。具体的には、信仰伝承・芸能伝承や様々な儀礼（農耕儀礼・人生儀礼・年中行事）などをとりあげる。

①菅江真澄　②柳田国男・折口信夫　③宮本常一　④冠婚葬祭　⑤若衆組　⑥先祖供養

211028 日本思想史

非常勤講師　文学博士　米井　輝圭

本講義のテーマは、「怪異現象の思想史」である。主に古代・中世を対象として、怪異現象はどのようにしてとらえられ、表現されてきたかをふりかえって、わが国の文化の重要な一端を考察していきたい。

①災難の解釈　②陰陽師　③怨霊と祟り　④怪奇現象の流行

211029 日本語学Ⅰ（現代語文法）

非常勤講師　小林　茂之

現代日本語の文法について、前期・後期で解説する。前期では、興味深いトピックを取り上げ言語研究の導入を行い 、後期では、言語研究の基本的な考え方・方法論を取り上げ、分析の基本を解説する。

①文法　②複合名詞　③連濁　④敬語　⑤活用表

211030 日本語学Ⅰ（音声と音韻）

准教授　嶺田　明美

日本語の音声と音韻について考察する。発声のしくみ、日本語の音の特徴、歴史的・地理的な諸相について概説するが、各自の内省や観察に重点を置き、音を客観的にとらえる耳を養う。

①発声器官　②調音点と調音法　③音声と音韻　④アクセント　⑤イントネーション　⑥音韻史

211031 日本語学Ⅰ（実践的文章論）

非常勤講師　桐畑　寿太郎

マスコミの文章を基本に、どのような職場であれ必要な、正確で、読みやすく、簡潔な文章のあり方を様々な角度から講義。文章論というと、とかく表現法や技術に重きが置かれやすいが、誤りなくこちらの意思を伝えるという伝達性に力点を置いた実用文のあり方を追求する。

①正確　②簡潔性　③読みやすさ　④音読　⑤聞き上手

211032 日本語学Ⅰ（中世語文法史）

非常勤講師　小林　茂之

『今昔物語集』の本朝部の読解を行なう。内容的になじみやすい巻二十六以降を読み進める。中世説話文学の先駆的作品を通して、前代の平安和文の言語を基準とした古典文法を意識しつつ、古代語から中世語への進展した位相を主に文法面を中心に取り上げる。

①中世日本語　②漢文訓読語　③和語　④陳述副詞　⑤助詞

211033 日本語学Ⅰ（日本語史）

非常勤講師　坂梨　隆三

日本語の音韻・表記・語彙・文法等について、近世（江戸時代）以降を概観する。今年度は、明治から江戸へと、さかのぼるかたちで見ていきたい。

①音韻　②文法　③語彙

211034 パソコン日本語学入門Ａ

非常勤講師　伊藤　雅光

前期はＪ－ｐｏｐ（松任谷由実など）で使われている単語の語種を分析することを通して、パソコンの日本語研究への利用の仕方について指導していきます。パソコンの初心者向けの内容となっていますので、気軽に参加してみてください。後期は近代文学を対象とします。

①パソコン入門　②語種調査　③Ｊ－ｐｏｐ　④語彙表

211035 パソコン日本語学入門Ｂ

非常勤講師　伊藤　雅光

前期は、近代小説（夏目漱石、宮沢賢治など）の語彙・文体を分析することを通して、パソコンの日本語研究への利用の仕方について指導していきます。パソコンの初心者向けの内容となっていますので、気軽に参加してみてください。後期はＪ－ｐｏｐを対象とします。

①パソコン入門　②近代文学　③品詞調査　④文体分析

211036 古典文学ＩＡ（古事記）

准教授　烏谷　知子

古事記の神話・説話から数条を抜粋して読む。上巻（神代）と中・下巻（人の世）の内容を理解し、天皇を中心に語られた歴史・思想書の立場と、人間の苦悩を描く物語の性格を併せ持つ古事記の特徴を捉える。

①神婚と豊饒　②異郷訪問説話　③死と復活の思想　④穀霊信仰　⑤反乱伝承　⑥貴種流離譚

211037 古典文学ＩＡ（万葉集）

教授　升田　淑子

前期は万葉第Ⅰ期・Ⅱ期の作品を取り上げ、伝統的な宮廷儀礼歌からゆるやかに叙景・抒情を生む、言葉の動きをとらえ、柿本人麻呂の芸術的詩境の歌に及ぶ。後期は中国文学や仏教思想の影響を受けた文学がどのように展開しながら文芸美を生み出して行くのか、また庶民達の歌はどのようであったかを見る。

①万葉集　②額田王　③柿本人麻呂　④山上憶良　⑤大伴家持　⑥民謡

211038 古典文学ＩＡ（更級日記）

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

京に上る道中から宮仕え、結婚生活、夫との死別が綴られた更級日記の作者孝標女の生涯を辿り、特に源氏物語への執着と憧れや無信仰に過ごした前半生への悔恨などの心理描写に注目し、平安女流日記文学を読み解く面白さを発見したい。

①紀行文　②物語への憧れ　③浮舟思慕　④理想と現実　⑤信仰生活　⑥事実と虚構

211039 古典文学ＩＡ（源氏物語）

教授　茅場　康雄

源氏物語桐壺の巻。作品の読解を通して、源氏物語への理解をうながし、中古の物語に対する認識を深めたい。物語の背景や語釈などにも留意しながら読み進めるつもりである。

①中古の物語　②源氏物語　③桐壺の巻　④長編的性格　⑤短編的性格

211040 古典文学ＩＡ（古今集）

非常勤講師　河地　修

わが国初の「勅撰和歌集」である『古今和歌集』について、多角的な観点から考察を試みる。「序」の分析や「部立」の検討を行なうとともに、歌集内部の構造、排列、歌語に注意しつつ、丁寧に読み解きたい。

①やまとうた　②天皇の歌集　③部立

211041 古典文学ＩＢ（平家物語）

教授　岸田　依子

中世の軍記物語の代表作である『平家物語』は、平家一門の興亡を記録した〈史記〉であるとともに、史実を超えて人間の内的世界の真実を探求しようとした〈物語〉でもある。その歴史物語としての作品の特質を、多面的に考察していきたい。

①史実と虚構　②琵琶と〈語り〉　③平清盛　④源平の合戦　⑤武士と〈あはれ〉　⑥死生観

211042 古典文学ＩＢ（宇治拾遺物語）

准教授　山本　晶子

鎌倉時代の代表的な説話集『宇治拾遺物語』を読む。幅広く集められた説話の素材や表現に着目して各話の主題を探り、『宇治拾遺物語』の特質を明らかにする。関連のある説話や絵巻・芸能も取り上げて、理解を深める。

①説話　②編纂意識　③語り　④言語遊戯　⑤芸能　⑥絵巻

211044 古典文学ＩＢ（江戸の旅）

教授　大島　富朗

芭蕉41歳、亡母の墓参を兼ねた約9ヶ月の長旅を文章と発句で綴った作品が『野ざらし紀行』である。旅の途次名古屋で巻いた五歌仙は芭蕉にとって記念碑となる。新しき俳諧の誕生であった。

①俳諧　②蕉風　③道の記　④旅　⑤俳枕　⑥歌仙

211045 古典文学ＩＢ（江戸の恋）

教授　大島　富朗

西鶴作品『好色五人女』を扱う。厳しい儒教道徳の下、江戸時代の恋は自由と無縁であった。そうした世相でも自らの意志で恋の成就を願う女がいた。女性の恋物語の行く方は如何。

①浮世　②好色　③恋　④不義密通　⑤女大学

211047 近代文学Ⅰ（梶井基次郎）

教授　猪熊　雄治

梶井基次郎の作品をいくつか読む。生の意味を独特の表現で掘り下げた梶井の文学活動を辿り、作品に表出されたイメージと魅力を考察する。没後の評価の高さ、影響の広さなど梶井文学が愛読されている理由を考えたい。

①同人雑誌「青空」　②旅情と美意識　③「檸檬」　④「城のある町にて」　⑤「冬の蠅」　⑥「のんきな患者」

211048 近代文学Ⅰ（子どもの風景）

講師　笛木　美佳

作家が子どもを素材として、いかなる作品〈風景〉を作り出しているか、時代や作家の個性に留意しつつ、読み解いていく。前期は昭和の作家の作品（「泥の河」ほか）を、後期は明治･大正の作家の作品（「たけくらべ」ほか）を扱う。

①作家の生い立ち　②時代背景　③作品における子どもの役割　④個性の表し方　⑤短編の味わい　⑥語り口

211049 近代文学Ⅰ（遠藤周作）

講師　笛木　美佳

前期は「わたしが・棄てた・女」を、後期は短編集『哀歌』から数作品を読む。キリスト教の〈愛〉に根ざした作者独特の人生観がどのように展開されているのか読み解き、遠藤文学の魅力を探っていきたい。

①遠藤周作とは　②〈お人好し〉と〈聖女〉　③痕跡　④強者と弱者　⑤同伴者　⑥『哀歌』の意味

211050 近代文学Ⅰ（映像でよむ文学の近代）

非常勤講師　市川　浩昭

文学の近代化は西洋の社会と人間に対する認識の変化によってもたらされた。日本の近代文学は西洋の近代文学を学び成立した。そこで文学の近代的特徴を映像化されたテキストを通じ受け止め、近代文学の本質を理解するのが本講座の目的である。

①リアリズム　②ノベルの成立　③内面の発見　④社会　⑤差別　⑥批評意識

211051 児童文学Ⅰ（子どもと文学）

非常勤講師　石井　直人

児童文学の基本的な発想（子どもの論理、幸福の約束など）にふれたあと、前期は童話やＹＡ文学などの具体例から「子ども観」を読みとることをめざす。後期は「絵本」をあつかう。主に１９６０年代以後の日本の作品をとりあげることにする。なお、絵本というメディアの性質上、直に見える範囲の人数に制限を行う。

①児童文学　②童話　③絵本　④子ども観　⑤読み聞かせ

211052 児童文学Ⅰ（近代の児童文学）

講師　福田　委千代

前期は明治から昭和前期にかけての少女雑誌と少女小説の展開を中心に、小説のテーマがいかに変遷してゆくかを追う。後期は昭和初期の「少年倶楽部」掲載の長篇小説を中心に、時代と子どもたちの関わりを考える。

①少女小説のテーマ　②女学生　③吉屋信子　④「面白くてためになる」　⑤子どもとヒーロー　⑥子どもの捉えられ方

211053 児童文学Ⅰ（現代の児童文学）

非常勤講師　石井　直人

児童文学史の現代。前期は、リアリズム、ファンタジー、ナンセンスの三つにわけて、それぞれの「新しい波」の特徴を考える。後期は、昔話、エンターテインメント、探偵小説などの「もう一つの児童文学」をあつかう。

①児童文学　②リアリズム　③ファンタジー　④ナンセンス　⑤探偵小説　⑥エンターテインメント

211054 中国文学Ⅰ（詩文）

准教授　市川　清史

古代から唐代に至るまでの詩の流れを追っていく。中国古典詩の頂点は唐詩であり、中国文学の中で唐詩ほど日本人に馴染みのあるものはない。唐以前の詩の歴史は、唐詩に至るまでの準備期間と見ることができる。前期は唐詩以前の発展過程を追い、後期は唐詩の展開を中心に見ていく。

①先秦・漢代の詩　②魏晋南北朝の詩　③初唐の詩　④近体詩　⑤初盛唐の詩　⑥中晩唐の詩

211055 中国文学Ⅰ（史伝・思想）

教授　田熊　信之

黄河、長江流域を中心とした広大な大地に発達した中国の文化の中から、独自な思想、宗教、文学が醸成された。この各々は、それぞれに相互に関連し合いながら発展して来た。本講では、漢字文化の一面の粋である文章表現の実例、殊にその散文表記の各種のもの、たとえば、古代以来中国の人々が綴り留めた歴史記録や人物評伝、思想表現を選読し、歴史と伝記と思想に係わる中国文学の世界を把握する。

①人物譚と地理説　②高僧伝と神仙伝　③経典と釈文

211056 日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）

非常勤講師　高田　智和

語彙や表記に関する先行研究で採用された調査方法、資料、分析法の解説を通して、現代日本語の語彙・表記の調査・研究の基礎を具体的に学ぶことを目的とします。

①語彙　②表記　③計量言語学　④語史　⑤書き分け　⑥ゆれ

211057 日本語学Ⅱ（データ収集と分析）

准教授　嶺田　明美

雑誌や新聞、日常会話などから日本語を観察する上で資料となるものを収集し、各自の観点でとらえてまとめる。資料の整理の方法や分析の方法を実習を通して体得する。

①語誌　②コーパス　③資料

211058 日本語学Ⅱ（こゝろ）

非常勤講師　坂梨　隆三

夏目漱石の『こゝろ』（大正三年 [1914]4 ～ 8 月）を読みながら、近代の日本語について考える。漱石自筆の原稿、初出の朝日新聞、初版本、原稿の全集本や文庫本等を比較しながら、日本語のさまざまな事象について見ていきたい。

①近代語　②文字表記　③語彙　④翻訳　⑤自筆原稿

211059 日本語学Ⅱ（社会人としての日本語表現）

非常勤講師　桐畑　寿太郎

学生であっても社会人であっても、話すのは同じ日本語である。だが、前後2、3歳しか異ならない同世代の会話と18歳から70歳以上の人々と同じ目的を持って共に仕事をして行く実社会でのコミュニケーションの実態はあまりにも異なる。知識も経験も立場も異なるからである。ここに「社会言語学」なる分野も生まれる。言葉づかいや態度、基本的なマナーなどにも敷衍する。電話の受け答え、対面して話を聞く場合の注意。気配り、心遣いの言葉を磨くなどについて体験者として社会的な助言をしたい。

①常識　②礼儀　③丁寧語と敬語　④気配り　⑤好奇心と感性

211060 古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）

准教授　烏谷　知子

古代の人々の生活や信仰から生まれた神話や説話を読み、上代人が抱いた世界観や想像力にふれる。古代の習俗や話形が、記紀・風土記に取り入れられてどのような文学性を獲得しているかも見ていきたい。

①歌垣　②神語り　③浦嶼子伝承

211061 古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）

教授　升田　淑子

日本文学は「ウタ」に始まったといってもよいであろう。上代文学の歌謡・和歌はその意味で、文学の始点に立ち原点に触れることになる。歌謡・和歌の発生から発展へ、そして、それぞれの文芸的特性を明らかにしながら、「古代和歌」とは何であるかを考えていく。

①歌謡・和歌　②記紀・万葉　③寄物陳思と序　④抒情歌　⑤叙景歌

211062 古典文学Ⅱ（枕草子）

非常勤講師　浜口　俊裕

自然や人事を軽妙洒脱な筆致で綴った『枕草子』の主要な章段を読む。作者の鋭い観察眼や洗練された美的感覚に触れるとともに、『枕草子』の重層的な表現構造にも理解を深め、平安朝における斬新な作品の文学史的意義を考える。

①古歌　②秀句　③機知　④一条天皇　⑤皇后定　⑥中関白家

211063 古典文学Ⅱ（伊勢物語）

非常勤講師　河地　修

『伊勢物語』の主要章段を対象として、作品論的読解を試みる。専門的にはきわめて難解で複雑な問題を有する作品だが、現在残されているものを素直に直視することから始めたい。この物語の正確で厳密な読解を実践する。

①在原業平　②いろごのみ　③ものがたり　④没落貴族

211065 古典文学Ⅱ（隠者文学）

教授　岸田　依子

中世は、俗世間を離れ、修行や思索にふける隠遁への志向の強い時代であった。前期は、隠者文学の代表作である鴨長明の『方丈記』、後期は吉田兼好の『徒然草』をテキストとし、作者の生き方や心のあり方、世間に対する考え方などを探求しつつ読み解いていきたい。

①数寄　②人と住まい　③遁世　④閑居　⑤都と世間　⑥無常

211066 古典文学Ⅱ（江戸の芝居）

教授　大島　富朗

近世演劇の豊穣な世界のひとつである「義経物」を取り上げる。英雄物語『義経記』は謡曲・浄瑠璃・歌舞伎に数多くの作品を提供してきた。時間の推移の中がどのように展開したかを具体的に検討してゆく。

①義経・実像　②義経・虚像　③貴種流離　④歌舞伎　⑤判官贔屓

211067 古典文学Ⅱ（江戸の怪談）

非常勤講師　井上　泰至

江戸時代は、娯楽小説のジャンルの一つとして怪談が流行しました。『雨月物語』は、そのなかの傑作で、芥川･谷崎･三島も小説のお手本とこれを仰ぎました。なぜ、江戸時代には怪談が流行したのか、なぜ『雨月物語』は、単なる娯楽を超えた文学になりえたのか。これらの問いを中心にすえ、作品を読んでいきたいと思います。

①怪談の社会的意味　②中古・中世文学の近世的受容　③心の闇の物語

211068 近代文学Ⅱ（芥川龍之介）

非常勤講師　中村　友

前期は「魔術」「杜子春」を読み、後期は「じゆりあの･吉助」「往生絵巻」をとりあげる。先行文学の摂取の他、人間あるいは神聖なる愚人を芥川がいかに理解し、表現しようとしていたかを学ぶ。なお、文献収集のための、実習を組み入れていく。

①芥川龍之介　②「魔術」　③「杜子春」　④「じゆりあの・吉助」　⑤「往生絵巻」　⑥神聖なる愚人

211069 近代文学Ⅱ（川端康成）

非常勤講師　博士（文学）　山田　吉郎

川端康成の生涯をたどりながら、『伊豆の踊子』『雪国』『千羽鶴』『山の音』『古都』などの主要作品を読み解き、あわせて新感覚派、心理主義等それぞれの時代の文芸思潮に論及する。

①新感覚派　②川端文学と伊豆　③『雪国』　④伝統への回帰　⑤『山の音』と『千羽鶴』　⑥美の探求者

211070 近代文学Ⅱ（比較文学）

非常勤講師　市川　浩昭

比較文学とは民族・風土・言語などを異にする異文化間を横断する文学現象の関係性を考察する学問です。今回はスターリングノース作「ラスカル」と日本でアニメ化された「あらいぐまラスカル」の比較を例に話します。（受講者には通年での受講を義務付ける。）

①比較とは　②文学とアニメ　③環境　④自然　⑤翻訳　⑥日本と西洋

211071 近代文学Ⅱ（現代小説）

教授　太田　鈴子

日本の近現代文学の作品を、意見交換をしながら読みを深めていく。その際、解釈に必要な、他分野の文献、資料を用い、知識をひろげる。

①家族　②自己と他者　③バーチャル

211072 児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）

講師　福田　委千代

児童文学における詩の領域を考える。前期は「赤い鳥」を中心に、近代童謡の始まりと展開を見る。後期は少年少女詩を中心に見る他、あるテーマに従って受講生全員で詞華集（アンソロジー）を1冊編む。

①近代童謡　②「赤い鳥」　③大正期の児童観　④宮沢賢治　⑤少年少女詩　⑥詞華集

211073 児童文学Ⅱ（外国）

非常勤講師　内藤　貴子

ファンタジーの主なサブジャンルの特性を学びながら、イギリス、アメリカ、北欧、ドイツ、オセアニアを中心に、児童文学のファンタジー作品を読む。作品のなりたち、児童文学史的意義、作家の生い立ちやファンタジー論にもふれながら、物語のテーマやモチーフの分析力向上をめざす。

①現実と空想　②冒険物語と成長　③シンボルを読み解く

211074 中国文学Ⅱ（白氏文集）

准教授　市川　清史

白氏文集は日本の古典を学ぶにあたって欠くことのできないものである。ここでは、女性を描いた作品を読んでいきながら、漢詩読解の基礎や白居易の詩の特色などを学んでいきたい。

①閨怨詩　②長恨歌　③妻への詩

211075 中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）

准教授　市川　清史

怪を志し、奇を伝えるのが志怪小説・伝奇小説である。幽霊が人に騙され、生前仲を引き裂かれた男女が死後に奇跡を起し、死者が愛の力で蘇る。人が虎に化け、別世界に紛れ込んだ男達が故郷へ帰ってみると時代が変わっていた、などといった不可思議な話ばかりである。日本でも古くから読まれ、上古の物語から近世近代の小説まで影響を与えている。長い漢文を読むことになるが、興味を持ってもらえれば、漢文の読解力向上にも有益であると思われる。

①捜神記　②捜神後記　③人虎記

211076 日本語教育概論Ⅰ

准教授　遠藤　藍子

日本語教育に関わる主な事象をとりあげ、それぞれの概要とポイントを解説していく。日本語教育関連の基礎知識の習得ならびに日本語教育のおおよその全体像の把握を目標とする。

①教育事情　②教授法　③言語習得

211077 言語政策論Ⅰ

准教授　西川　寿美

言語教育を社会との関わりの中で捉えることを目指す。在日外国人問題、占領地の日本語教育、外国人の子どもの教育、英語帝国主義、手話等をトピックとして、言語と力の問題について考えたい。

①同化主義　②多元主義　③バイリンガリズム

211078 言語政策論Ⅱ

准教授　李　守

明治維新以降，日本語が近代化の過程で，国家の言語＝国語として整備されていく歴史を諸外国における言語政策と比較しながら説明する。

①国語国字問題　②正書法　③方言

211079 異文化間コミュニケーションⅠ

非常勤講師　恩村　由香子

文化の多様性の尊重は呼びかけるのは簡単だが、実践するのは難しい。本講座では、異文化接触論の基礎を理解し、異文化相互理解に対する積極的態度や柔軟な多元的視野を持つことを目的とする。

①多様性　②異文化接触　③文化リテラシー

211080 異文化間コミュニケーションⅡ

非常勤講師　恩村　由香子

異文化間コミュニケーションの基本概念を理解し、実際のコミュニケーションで何が起こっているのかを考えていく。文化・個人・ことば等をコミュニケーションにおいて捉えることにより、自分自身と異文化コミュニケーションについて見つめなおすことを目的とする。

①コミュニケーションの仕組み　②ことばとコミュニケーション　③非言語コミュニケーション

211081 社会言語学

准教授　伊藤　博文

言語は文化・社会に密着し、そこで生み出され、変化していく。さらには、発話の場面にも影響を受ける。本講義では、言語と社会的環境との関係の原理を概観し、日本語での表現形式を検討する。

①変種　②社会方言　③場面

211082 第二言語教育概説

准教授　西川　寿美

様々な外国語教授法の指導理念と具体的な教授活動を概観することによってそれぞれの教授法が背景に持つ言語観・言語学習観を理解し、受講生各自が自分なりの言語教育観を意識することを目指す。講義の他に受講生による簡単な授業も行う。

①外国語教授法　②言語観　③言語学習観

211083 第二言語習得論

准教授　西川　寿美

第二言語習得に関するいくつかのトピックについて、理論的研究、実証的研究を概観する。これを通じて、第二言語の習得過程および学習者の発話を分析する観点を養うことを目標とする。

①中間言語　②母語の影響　③個人差

211085 日本語教育学Ⅰ A（音声）

准教授　伊藤　博文

日本語教育のための「日本語の音声」の基礎知識と、音声的な特徴を解説する。また、外国人学習者にとっての学習困難点を解説し、合理的な指導方法を考える。

①日本語の音声　②発音の仕組み　③発音矯正

211086 日本語教育学Ⅰ B（書写）

非常勤講師　戸田　佐和

教師が身につけておくべき文字の知識、教授法を講義していく。授業は日常ににおける表記の具体例をもとに、なぜそうなのかを考えていく形式をとる。この授業を通じて、日本語表記の歴史、規則、ゆれ、教え方等を学び、日本語表記を客観的に見る姿勢を養う。

①漢字　②ひらがな　③カタカナ

211087 日本語教育学Ⅰ C（文法）

非常勤講師　戸田　佐和

私たちが中学・高校で学んだ学校文法と日本語教育におけるそれは同じなのか。初級の学習者が学ぶ文法事項とは何か。実際に使われている日本語の教科書を使い、外国語としての日本語という観点から、外国人にとってどんな点が難しいのかを考える。

①教科書における文法の扱い方　②学校文法と日本語教育における文法　③各品詞の用法　④テンス

211088 日本語教育学Ⅱ A（聴解・会話）

准教授　遠藤　藍子

リスニングならびにスピーキングを指導していく上で必要となる基本的な知識と指導ポイントを抑え、実践力に結びつく力を養う。

①スキャニング・スキミング　②タスク　③コンテクスト

211089 日本語教育学Ⅱ B（作文・読解）

准教授　伊藤　博文

前期では、日本語の表記法と作文の具体的な練習方法を示し、さらに学習者の誤用、問題点、添削の方法、評価などについて検討する。後期では、読解授業のいくつかの方法と内容を検討し、最終的に教材を作成する。

①表記法　②作文の添削　③作文の評価　④オーディオリンガル　⑤コミュニカティブ・アプローチ　⑥教材作成

211090 日本語教育学Ⅱ C（教材・教具）

非常勤講師　戸田　佐和

多様化する日本語学習者を指導していく上で、学習者に相応しい教科書を選ぶのは難しく、責任の思い作業である。この授業ではさまざまな対象とアプローチから編集された教科書にできるだけ多く触れ、教科書の特徴を分析していく。受講生の発表が中心の授業である。

①ニーズ分析　②シラバス　③教科書分析④副教材

211092 日本語教育指導方法論

准教授　西川　寿美

前期は初級学習者のための文型を中心とした授業、後期は読解を中心とした中級学習者のための授業を考える。前後期とも実習授業を中心として、日本語指導に関わるさまざまな問題を意識していきたい。

①学習項目の分析　②指導案　③教材作成　④実習　⑤授業観察　⑥授業評価

211093 日本語教育実習Ⅰ（教壇 08）

非常勤講師　恩村　由香子

本講座では、教室運営についての理論を実践的に探っていく。外国人の方々に学習者として参加してもらい、学生は交代で実習授業を受け持つ。日本語教育実習Ⅰ、Ⅱは通して受講しなければならない。

①教室運営　②教室活動と教授法　③教育技術

211094 日本語教育実習Ⅱ（教壇 08）

非常勤講師　恩村　由香子

本講座では、教室運営についての理論を実践的に探っていく。外国人の方々に学習者として参加してもらい、学生は交代で実習授業を受け持つ。日本語教育実習Ⅰ、Ⅱは通して受講しなければならない。

①教室運営　②教室活動と教授法　③教育技術

211095 日本語教育実習（個別 08）

准教授　西川　寿美

学内の留学生および外部夜間中学生等を対象とした一対一の個別実習を行う。ニーズの分析・教材の選定といったコースデザインの段階から始める。日本語教育の基礎知識と誠実な受講態度を持つ学生の参加を望む。

①ニーズ分析　②教材の選定　③実習　④授業評価　⑤報告書

211096 日本語教育実習（海外 08）

准教授　西川　寿美

9月と3月の休暇期間中に海外の日本語教育機関で二週間程度の実習を行う。事前指導と報告書の作成を日本で行い、現地での指導は現地担当者に委ねる。今年度は、韓国漢陽女子大学とボストン昭和、ハノイ国立大学での実習を予定している。詳細は年度初めのガイダンスで説明する。

①現地の日本語教育事情　②教材分析　③授業見学　④教壇実習　⑤報告書

211097 日本語教育言語分析法研究

准教授　伊藤　博文

ここでは、実際の会話の談話分析を通して、①社会言語学的要素、②表現意図、③コミュニケーション・ストラテジー、④談話展開、の観点を考察する。受講の前提として、各自の発話の文字化資料作成が課題となる。

①社会言語学　②談話分析　③文の機能

211098 日本語文法論

非常勤講師　池田　悠子

日本語教育に役立つ文法を形態論を中心にしてとらえ、日本語教育の現場での活用表の作り方、テンス・アスペクト・受身形・使役形・自動詞他動詞などの基本的な考え方を学習する。

①活用　②テンス・アスペクト　③ヴォイス　④動詞の自他の周辺　⑤助詞　⑥連体修飾節　⑦モダリティー

211099 日本語表現法

准教授　伊藤　博文

ここでは通論として、なるべく広く日本語の様々な表現法を概観し、それに関わる諸問題について考えたい。扱う事柄は、日本語教師の基礎知識となり、または、日本語研究のきっかけとなるようなものにしたい。

①タブー表現　②差別表現　③待遇表現

211100 日英対照研究

准教授　西川　寿美

日本語と英語の対照を音声、語彙･意味、文法、表現、言語行動の観点から行う。学習者の発話に現れる誤用を分析したり、習得上の困難点を予想する等、日本語教育の現場を意識した内容としたい。

①音声　②文法　③言語行動

211101 日韓対照研究

准教授　李　守

日本語と韓国語の音・語彙・文法を対照する。韓国語と日本語をくらべる（対照）ことによって見えてくる両言語の特徴について解説する。韓国語の基礎を知っている学生がのぞましい。

①音声と音素　②統語論　③漢字

211102 日中対照研究

准教授　博士（社会学）　フフバートル

日本語と中国語の音韻、漢字、漢語語彙、文法を中国語の習得･運用及び日本語教育の視点から対照する。中国語の基礎がわかる学生の履修を望む。

①音声と音韻　②漢字と漢字語　③文の構造

211103 書道史

非常勤講師　那須　隆吉

漢字は世界で唯一古代から今日まで一貫して使用されている文字です。更に鑑賞に堪え得る奥深い芸術にまで高められたのも漢字だけです。時代と共に変遷していく、書体・書風の跡をたどり、書の美の歴史をみてゆきます。

①文字の発生　②篆書　③隷書　④草書の完成　⑤楷書　⑥印の歴史

211104 日本の書芸

非常勤講師　那須　隆吉

中国、韓国から伝来した漢字は、日本独自の美しい和様書道、雅びな仮名書道に発達した。各時代のため息が出るような美しい水茎の跡を鑑賞し乍ら、その背景や人物を考え、伝統ある日本の書芸について理解を深めたい。

①三筆・三跡　②仮名の書の完成　③墨跡　④古筆　⑤和様の書・唐様の書　⑥近・現代の書

211105 書道実習Ⅰ

非常勤講師　板橋　聡美

書道の入門として、書の基本技法を習得する。まず基本点画の練習から始め、楷書の基本的な筆使いを習熟し、更に行書・かなの基礎も学ぶ。代表的な古典を鑑賞・臨書した上で、日常の生活書、易しい創作へと応用面も加える。

①書の基本と美　②執筆法　③楷書・行書・かな　④鑑賞と臨書　⑤実用書（葉書・手紙）　⑥創作

211106 書道実習Ⅰ

非常勤講師　鈴木　晴彦

実技を通して漢字書の初歩的な技法を体得する。前期はまず基本点画によって楷書の基礎を学び、つぎに楷書と行書の作品事例によって字形の原理や気脈の貫通などを学ぶ。後期は楷書と行書の代表的な古典臨書によって漢字の造形表現を高めたい。

①漢字書　②基本点画　③古典臨書

211107 書道実習Ⅰ

教授　槍田　良枝

前期は楷書、後期は行書を学ぶ。楷書の基本点画の練習から始め、中国の古筆の臨書を通して、基本的な筆使いの技法や造型法を習得する。そのうえで創作を試みる。

①楷書の基本点画と特徴　②行書の特徴　③執筆法　④造型法　⑤臨書　⑥創作

211108 書道実習Ⅱ

非常勤講師　板橋　聡美

書の基礎を習得した上で、中国・日本の代表的な古典を鑑賞・臨書し、臨書の重要性と役割を学びとる。更に創作の諸形式を学び、書美に対する理解と表現力を深める。「漢字仮名交じりの書」の美しさを追求し、現代の生活に生かす。書を通して豊かな感性を養い、書の実用性、芸術性の両面を習得する。

①臨書（漢字・仮名）　②漢字仮名交じりの書　③造形美　④創作（漢字・仮名）　⑤雅印を作る　⑥実用書（葉書・手紙）

211109 書道実習Ⅱ

非常勤講師　鈴木　晴彦

篆書・隷書・楷書・行書・草書・かなの代表的な古典の臨書学習を通して各書体の基本的用筆法を学び、リズミカルな運筆の習得を目指す。更に漢字とかなの調和（漢字かな交じり書）を工夫し、日常書式に生かす。

①古典臨書　②基本用筆　③運筆

211110 書道実習Ⅱ

非常勤講師　横山　淳一

高等学校芸術科書道の学習指導要領の主役「漢字仮名交じりの書」を学ぶ。この授業では、漢字と最も融合する行書を学び、「行書仮名交じりの書」に挑む。行書は中国を代表する「蘭亭序」を中心に、この古典と日本を代表する「関戸本古今集」のいろは帖を融合させようと考えている。修得度により内容を少しかえることもある。

①蘭亭序　②関戸本古今集　③自詠短歌の書　④いろは帖　⑤雅印

211111 書道実習Ⅲ

非常勤講師　横山　淳一

草書・隷書・篆書の名筆を臨書する。その名筆の読み下し文を「草書・隷書・篆書仮名交じりの書」として学ぶ。こうして体得した筆意で漢詩や自詠を書き、さらに創作に挑む。

①名筆の草・隷・篆書仮名交じりの書　②漢詩の草・隷・篆書の仮名交じりの書　③自詠書（草・隷・篆書仮名交じりの書）　④雅印制作

211112 書道実習Ⅳ

非常勤講師　横山　淳一

前期は仮名、後期は仮名及び漢字仮名交じり書を学ぶ。仮名の基本的な筆使いを練習したのちに、古筆の臨書を通して仮名独特の用筆法、形、リズムの美しさなどを習得する。漢字仮名交じりの書の作品化を試み、鑑賞と創作をおこなう。

①仮名の基礎　②連綿　③変体仮名　④仮名のリズム　⑤散らし書き　⑥漢字と仮名の調和　⑦臨書と創作

211113 書道実習Ⅴ

教授　槍田　良枝

書道実習の総まとめ（1）漢字・仮名の古典の臨書を通して体得した用筆法、造型法を創作に生かす。前期は仮名と漢字仮名交じり書、後期は漢字の楷行草および隷書の臨書と創作を行う。自由課題による卒業作品制作を試みる。

①意臨と背臨　②創作　③漢字と仮名の調和　④手紙（巻紙）　⑤落款作製　⑥作品鑑賞

211114 書道実習Ⅵ

教授　槍田　良枝

書道実習の総まとめ（2）漢字・仮名の古典の臨書を通して体得した用筆法、造型法を創作に生かす。前期は仮名と漢字仮名交じり書、後期は漢字の楷・草・隷書の背臨と創作を行う。自由課題による卒業作品制作を試みる。

①背臨　②創作　③漢字と仮名の調和　④短冊　⑤色紙　⑥作品鑑賞

211115 国語科教育法 A

非常勤講師　中村　敦雄

中学校・高等学校の国語科教師にとって基礎的な知識・技能の体得を目的とする。臨床的アプローチを採用し、教材研究・模擬授業・リフレクションのプロセスを受講者が実際に経験することによる学びを提供したい。

①教師教育　②国語科教育　③臨床的アプローチ

211116 国語教育教材研究

准教授　福田　淳子

教材として扱われている事実的文章・文学的文章の両分野から作品を選び、読解力・分析力を養う。また、実際に授業を行う場合、どのようなことが要求されるのか、指導案を作成して模擬授業を行い、ディスカッションを通して検討しあう。

①読解　②分析　③表現　④指導案　⑤模擬授業　⑥ディスカッション

211118 日本文学演習Ⅰ Aa

教授　升田　淑子

大伴坂上郎女の作品を題材として、日本文学の研究を進めてゆくために基礎となる研究方法を初歩から学ぶ。問題の発見、資料の収集、文献の解読の上に自論を固めていく手順を体得する。

①大伴坂上郎女　②文献調査　③文献収集・整理　④研究報告

211119 日本文学演習Ⅰ Ab

准教授　烏谷　知子

日本語日本文学科で専門の研究を進めていくための基礎となる研究方法、研究態度を初歩から学ぶ。問題を発見し、資料を広く集め、思考を深めながら自論を固めて行く手順を体得する。研究の成果をわかりやすく発表することなどに習熟してほしい。

①文献調査・収集　②整理　③研究報告

211120 日本文学演習Ⅰ Ac

准教授　博士（文学）　胡　秀敏

『源氏物語』が書かれてから約一世紀の後に国宝「源氏物語絵巻」が制作された。現存する十九図が成立当初の四分の一にしか当たらないが、王朝の貴族生活について豊かな資料を提供してくれている。絵巻を通して王朝貴族の美的センスを捉え、『源氏物語』に秘められたさまざまな謎を読み解いてみる。

①引目鉤鼻　②吹抜屋台　③心象風景　④美的情趣　⑤つくり絵　⑥段落式絵巻

211121 日本文学演習Ⅰ Ad

教授　茅場　康雄

日本語日本文学科で専門の研究を進めてゆくための基礎となる研究方法、研究態度を初歩から学ぶ。文献を読解し、問題を発見し、資料を広く集め、思考を深めながら自論を固めてゆく手順を体得する。研究の成果をわかりやすく発表することなどに習熟して欲しい。

①文献調査　②文献収集・整理　③研究報告

211122 日本文学演習Ⅰ Ae

准教授　山本　晶子

日本語日本文学科で専門の研究を進めていくための基礎となる研究方法・研究態度を初歩から学ぶ。文献を読解し、問題を発見し、資料を広く集め、思考を深めながら自論を固めていく手順を体得する。研究の成果をわかりやすく発表することなどに習熟してほしい。

①文献調査　②文献収集・整理　③研究報告

211123 日本文学演習Ⅰ Af

教授　大島　富朗

社会基盤の整備が進み、人々の興味が地縁共同体の外へ向くにつれ、未知なる土地・名所旧蹟を紹介歴訪する地誌を生む。観光案内書の先駆、『名所図会』を通して近世の京・大阪・江戸を旅してみる。

①浮世　②名所記　③絵画

211124 日本語学演習Ⅰ Ba

准教授　嶺田　明美

日本語学を研究するための基礎的な方法を初歩から学ぶ。各自が問題の発見、先行研究操作、資料の収集と分析、発表を行い、研究の基礎を体得する。

①日本語　②発表　③資料

211125 日本文学演習Ⅰ Bb

講師　笛木　美佳

森鷗外作品を教材として、専門の研究を進めていくための基礎となる研究方法、研究態度を初歩から学ぶ。文献を読解し、問題を発見し、資料を広く集め、思考を深めながら自論を固めていく手順を体得する。研究の成果をわかりやすく発表することなどに習熟してほしい。

①研究の基礎作業　②読解　③報告

211126 日本文学演習Ⅰ Bc

非常勤講師　中村　友

研究を進めていくための基礎として、資料収集から論述までの過程を、体験的に学ぶ。研究対象は志賀直哉。作家・作品について、学生の発表を中心に据えた授業となる。

①志賀直哉　②白樺　③研究史

211127 日本文学演習Ⅰ Bd

教授　猪熊　雄治

日本語日本文学科で専門の研究を進めていくための基礎となる研究方法、研究態度を初歩から学ぶ。文献を読解し、問題を発見し、資料を広く集め、思考を深めながら自論を固めていく手順を体得する。研究の成果をわかりやすく発表することなどに習熟してほしい。

①文献調査　②文献収集・整理　③研究報告

211128 日本文学演習Ⅰ Be

講師　福田　委千代

日本近現代の童話作品を読む。文学研究のための基礎的な方法を学んだ後、全体で作品についての読みを深めつつ、担当者から作家や作品背景についての研究報告をしてもらう。まずは多くの児童文学作品に触れてほしい。

①テーマを読み解く　②研究報告　③討論

211129 中国文学演習Ⅰ Bf

准教授　市川　清史

一口に中国文学といっても、その領域は多岐にわたり、すべてを網羅することは不可能である。ここでは唐詩を読む。日本で口語訳の出ていない作品を選び、独力で解釈する方法を身につけることを目標とする。

①漢詩のリズム　②近体詩　③劉長卿

211130 日本語教育演習Ⅰ Bg

准教授　伊藤　博文

日本語教育学の入門として、様々な領域（教授法、社会言語学、コミュニケーション、日本語学、会話分析、等）の研究を紹介し、調査法、資料収集法、分析法を検討した上で、自主研究を進める。

①日本語学　②社会言語学　③会話分析

211131 日本語教育演習Ⅰ Bg

准教授　西川　寿美

日本語教育学の入門として、後期は特に第二言語習得（学習者言語の研究）、異文化コミュニケーション、バイリンガリズム、言語教育に関する研究を紹介する。研究の広がりや具体的なトピックを知ると同時に、論文の読み方、調査の方法、口頭発表の仕方、レポートの書き方についても学ぶ。

①第二言語習得・バイリンガリズム　②異文化コミュニケーション　③言語教育の方法

211132 日本語学演習Ⅱ A（古典語研究）

教授　博士（文学）　山田　潔

日本語の表現は室町期に大きく変化する。『天草本平家物語』の複製本により、そのローマ字表記から当時の音韻体系を、『百二十句本』の詞章との比較から文法体系の変化を、それぞれ明らかにして行きたい。

①分綴法　②開合　③四つ仮名　④複合辞　⑤近代語　⑥記述文法

211133 日本語学演習Ⅱ B（現代語研究）

准教授　嶺田　明美

現代の言語生活の中からテーマを選び、実際に調査や観察を行いながら、日本語に対する知識と理解を深める。調査内容や結果の報告と討論を通して、日本語学的な研究方法を学び、主体的な研究の姿勢を築く。

①変遷　②地域語の実態　③調査方法　④用例の収集　⑤分析　⑥問題の発見

211134 日本文学演習Ⅱ C（万葉集・記紀）

准教授　烏谷　知子

記紀や万葉集研究における基礎知識を身につける。記紀の編纂意識の相違に留意しながら、神話や説話の特色を考える。また、万葉歌人や万葉歌によまれる景物に着目し、歌の表現の特徴を見ていきたい。

①神話と祭式　②物語と歌謡　③長歌と反歌　④抒情の表出

211135 日本文学演習Ⅱ D（堤中納言物語）

教授　大倉　比呂志

平安末期から鎌倉時代にかけて成立したと考えられている10編の短編物語の特性を中心に、それ以前の物語文学の流れに注意を払いながら、丹念に読み解いていく。

①短編物語　②「をかし」の文学　③六条斎院ばいし内親王家物語歌合

211136 日本文学演習Ⅱ E（源氏物語）

教授　茅場　康雄

源氏物語柏木の巻。近現代の注釈書と共に古注釈を参考にして読解を中心に源氏物語の注釈をこころみる。テキストには源氏物語大成校異篇を使用し、演習形式で行う。また随時レポートを課す。

①中古の物語　②源氏物語　③柏木の巻　④古注釈　⑤校異

211137 日本文学演習Ⅱ F（とはずがたり）

教授　岸田　依子

鎌倉時代後期に成立した『とはずがたり』は、宮廷の上臈女房であった後深草院二条が、波瀾の多いみずからの人生を回想して綴った自伝的作品である。調査・分析・考察する作業を通して、作品を深く読解する力を養うとともに、研究の方法と態度をも習得する演習としたい。

①鎌倉の宮廷社会　②日記と虚構　③〈衣装〉の意味　④『源氏物語』の投影　⑤回想と贖罪　⑥出家と旅

211138 日本文学演習Ⅱ G（中世芸能文学）

准教授　山本　晶子

中世芸能と関わりの深い作品の読解を通して、古典文学研究の基礎を学ぶ。特に資料の読み方・扱い方や多角的な分析方法を自ら習得し、各自の問題意識を深めて、実践していく力を養う。

①能・狂言　②本説　③古注釈　④文献資料　⑤絵画資料

211139 日本文学演習Ⅱ H（町人の小説）

教授　大島　富朗

仮名草子「竹斎」を扱う。藪医者竹斎と下男にらみの介が京を逃れ東下りをする滑稽遍歴談であり、途次、名所・旧蹟・歌枕を訪れ下手な狂歌を読む。名古屋で藪医者の名に恥じない失敗を繰り返す。弥次喜多の先輩でもある。

①パロディー　②シテとアド　③旅　④狂歌　⑤仮名草子

211140 日本文学演習Ⅱ I（明治大正の小説）

教授　吉田　昌志

森鴎外の、いわゆる「豊熟の時代」（明治四十年代）の諸作品を中心に読解する。各自の発表・討議を通して、近代文学の作家・作品を研究するための基本的な方法を学び、自分の研究テーマ・対象を選ぶ手がかりとする。

①作者はどこにいるか？　②語り手と登場人物　③文体　④リアリズムとリアリティ　⑤イメージ

211141 日本文学演習ⅡJ（芥川龍之介）

教授　猪熊　雄治

芥川龍之介の大正15年から昭和2年の作品に着目、数編作品の読解を通して、研究方法を学んでいく。先行研究の検討、問題点の確認などの過程から、作品研究、作家研究の進め方を学び、近代文学研究の基礎を習得する。

①芥川の文学的位置　②「玄鶴山房」　③「蜃気楼」　④「河童」　⑤「歯車」　⑥「或阿呆の一生」

211142 日本文学演習ⅡK（昭和の小説）

教授　槍田　良枝

昭和の小説の中で、今回は太宰治の小説を用いて受講生による研究発表を行う。作品の読解、研究発表を通して、論文の組み立て方、先行論文の整理検討、論点の把握、作品の読解などの近代文学研究方法の基礎を学ぶ。

①テーマの選び方　②論文の構成　③文献収集　④作品の読解　⑤人物造形　⑥文体

211143 日本文学演習ⅡL（小説読解の試み）

講師　笛木　美佳

前期は夏目漱石「それから」を取り上げ、先行研究の扱い方や作品読解の様々な手法を学ぶ。後期は幸田露伴「五重塔」を読み、明治期文語作品を味読する力を養う。一年を通して作品の主体的な評価の姿勢を体得させたい。

①文献の収集と整理　②高等遊民　③〈頭〉と〈自然〉　④文体の力　⑤人物像の把握　⑥感動から評価へ

211144 日本文学演習ⅡM（児童文学の作家と作品）

講師　福田　委千代

児童文学研究のための基礎を学ぶ。大正期に発表された童話を用い、先行研究の収集・整理および作品の読解を深める。前期は討論を中心に作品を読解することに主眼を置き、後期は前期に学んだことをふまえて、各人が主体的に研究発表してもらう。

①児童文学史　②研究方法　③口頭発表

211145 中国文学演習ⅡN（唐詩）

准教授　市川　清史

中唐詩人の作品の中から訳のないものを読むことによって、漢詩の読み方や特色を学んでいく。学生が発表する形で進めていくが、その中から研究のきっかけとなる問題の発見やその深化の方法について考えていきたい。中国文学演習Ⅰを履修していることが望ましい。

①テーマの発見　②資料収集　③先行論文　④唐詩　⑤大暦十才子　⑥李益

211146 日本語教育演習ⅡO

准教授　伊藤　博文

日本語教育関係のテーマを設定し、実際の調査、分析、を行う。そこから研究方法に検討を加え、各自の研究テーマに生かすことにする。

①研究テーマ　②調査法　③分析法

211147 日本語教育演習ⅡP

准教授　西川　寿美

前期は、受講生の関心をもとに各自でテーマを設定し、先行研究を読み進める。文献の収集、調査の方法論、論文の構成・書き方についても意識する。後期は、さらにテーマを絞り込み、卒業論文を意識する。

①学習者言語　②バイリンガリズム　③異文化コミュニケーション　④文献収集　⑤調査方法　⑥論文の書き方

211148 日本語学演習ⅢA

教授　博士（文学）　山田　潔

卒業論文に向けての各自の研究テーマの発表を中心に授業を進める。テーマも多様で、扱う領域も多岐に亘るが、資料の収集と吟味、用例の取り扱い方、比較研究の方法など共通する課題について討議し理解を深める。

①日本語学の領域と課題　②資料の種類　③用例の採集法　④比較と分析　⑤論証と結論　⑥執筆法

211149 日本語学演習ⅢB

准教授　嶺田　明美

卒業論文に向けて、各自のテーマを中心に、着眼点、資料の扱い、調査・観察・分析の方法などの研究過程とその結果について討議する。受講者間の活発な討論を期待する。

①問題の発見　②仮説　③研究方法　④調査　⑤考察　⑥先行研究

211150 日本文学演習ⅢC

准教授　烏谷　知子

万葉集・記紀を中心に上代文学の表現と手法を学ぶ。記紀の神話・説話や系譜・氏族伝承を中心に、上代の人々の考え方にふれる。各自の発表が研究に役立つように授業を進める。

①テーマの設定　②文献調査　③資料の収集と整理　④分析　⑤論文の構成　⑥論証の方法

211151 日本文学演習ⅢD

教授　大倉　比呂志

影印本を使って、変体仮名の読み方を学習し、簡単な字は読めるようにする。テキストは当方で用意する。

①影印本　②変体仮名

211152 日本文学演習ⅢE

教授　茅場　康雄

源氏物語若菜下の巻。近現代の注釈書と共に古注釈を参考にして読解を中心に源氏物語の注釈をこころみる。テキストには源氏物語大成校異篇を使用し、演習形式で行う。また随時レポートを課す。

①中古の物語　②源氏物語　③若菜下の巻　④古注釈　⑤校異

211153 日本文学演習Ⅲ F

教授　岸田　依子

卒業論文の制作にあたり、書誌学、源泉と影響、論証の方法、資料の収集と扱い方など、中世文学の研究方法を実践的に学ぶ。各自の研究経過の報告と討論をかさねるなかで、個々の問題意識を深め、主体的な研究姿勢を培う場としたい。

①基礎的研究の方法　②文献調査　③新しい視点の可能性　④周辺領域の学問　⑤論点と考察　⑥論証の方法

211154 日本文学演習Ⅲ G

准教授　山本　晶子

受講生各自の研究報告を通し、古典文学研究の具体的な方法を学び、自主的な研究態度を養う。問題設定の視点、調査･研究方法、資料の扱い方、分析について、学生間の批評・討議を重ね、各自の研究を深めていきたい。

①問題意識　②研究テーマ　③資料の収集・整理　④分析　⑤論の構成・展開　⑥研究報告

211155 日本文学演習Ⅲ H

教授　大島　富朗

近世文学研究に必要な方法論を指導する。受講者各自の研究テーマに基づく発表を中心とし相互理解を深めると共に論文作成の要領等の個別指導を行う。

①文献　②収集　③検討　④整理　⑤構成　⑥注付

211156 日本文学演習Ⅲ I

教授　吉田　昌志

各自のテーマにそった報告とともに、調査と思考の徹底をはかることによって、日本の近代文学の作家・作品を解明する方法の確立をめざす。

①本文の確定　②資料の収集と整理　③研究史の把握

211157 日本文学演習Ⅲ J

教授　猪熊　雄治

受講者が研究課題をすすめていく上で、どのような方法が考えられるのか、その可能性を考察する。問題点の設定、テーマの確定などのプロセスを報告し、その成果を批評しあうことにより、論文作成の実際を学んでいく。

①文献目録の作成　②研究テーマの設定　③作家論と作品論　④主題の把握　⑤作品の評価　⑥論文の構成

211158 日本文学演習Ⅲ K

教授　槍田　良枝

各学生が設定した作家および作品研究の中間発表をおこない、卒業論文としてまとめさせる。発表を通してテーマの設定、仮説や論証の方法などを習得させ、質疑応答によって相互の研究テーマに関心を持ち、啓発しあうようにしたい。

①作家・作品研究　②研究テーマの設定　③作品分析　④仮説と論証　⑤論文の構成　⑥文献調査

211159 日本文学演習Ⅲ L

講師　笛木　美佳

各自が設定した研究テーマを、独創的かつ堅固な卒業論文として発展・結実させるための研究方法や論文作成技術を体得する。中間発表・質疑応答を通して、安易に資料に頼らず、主体的に持論を展開する力を養いたい。

①研究テーマの設定　②研究の基礎作業の確認　③立論（視点と切り口）　④論証の方法　⑤論文の構成　⑥論文の執筆法

211160 日本文学演習Ⅲ M

講師　福田　委千代

各自が選択した作家作品またはテーマについての、主体的な研究方法および論文作成の技術を学ぶ。定期的な下書きの提出と中間研究報告をしてもらい、質疑応答を通して読解を深め、各々の卒業論文に反映させることを主眼とする。

①論文テーマと研究目的の確認　②論文の構成　③中間報告と推敲

211161 中国文学演習Ⅲ N

准教授　市川　清史

各自の選んだテーマに従って研究報告をしてもらう。その中から、研究や資料収集の不足しているところを補い、また問題の所在や論点を明確にしていく。一人が発表するだけでなく、全員に意見を求め、研究方法を共有しながら授業を進めていく。

①資料収集　②先行論文　③問題の発見　④テーマの明確化　⑤論の立て方　⑥構成と展開

211162 日本語教育演習Ⅲ O

准教授　伊藤　博文

卒業論文のために必要な資料の収集、調査、分析などについて討議しつつ、各自の研究を深めていきたい。授業は、各自の研究発表と討議を主体的に行うことが中心となる。

①論文の構成　②調査法　③分析法

211163 日本語教育演習Ⅲ P

准教授　西川　寿美

卒業論文作成に向けて、各自が研究計画をたて、主体的に調査を進める。授業時間は研究成果の発表、検討の場となる。前期は、卒業論文のための調査計画、実施、後期は、調査結果の分析と考察を行う。

①先行研究　②観点の設定　③データ収集　④データ分析　⑤論文の構成　⑥論文の執筆

211165 日本語史

非常勤講師　坂梨　隆三

日本語の音韻・表記・語彙・文法等について、近世（江戸時代）以降を概観する。今年度は、明治から江戸へと、さかのぼるかたちで見ていきたい。

①音韻　②文法　③語彙

211166 日本文学史 A（上代）

教授　升田　淑子

文学史の最も古いところに位置する上代文学は、集団と個、口承と記載、神と人間、文字の獲得と言語の発達といった、文学の発生と発展に関わる諸相を見せている。それらを、作品を通して解説していく。

①文学の発生　②歌と語り　③宮廷歌人の誕生　③恋歌の発生　④記紀

211167 日本文学史 B（中古）

教授　大倉　比呂志

物語がどのように発生し、それがいかに継承されていったのかを、竹取物語・伊勢物語・源氏物語（特に桐壺巻）の主要部分を取り上げて、主人公の条件や話型を中心に分析していく。

①後宮と王権　②好色者と色好み　③貴種流離

211168 日本文学史 C（中世）

教授　博士（文学）　齋藤　彰

文学史のあり方や使命について考え、中世文学史の特質と文学史的意義について論じたい。特に、新古今歌風の形成や能楽に焦点をあて、具体的かつ多角的に作品を分析して、中世文学の性格を追究したい。

①文学史の使命　②定家の詠法　③世阿弥の方法

211169 日本文学史 D（近世）

非常勤講師　井上　泰至

江戸時代の文学の流れを概観します。文学の担い手・読者・作品の内容が現実的になり、大衆化した点がこの時代の特徴ですが、具体的に作品を読みながら、この問題を考えていきます。

①出版　②都市文化　③世俗化

211170 日本文学史 E（近代）

講師　笛木　美佳

明治から大正までの文学史を、小説を中心にたどる。それぞれの作家および作品の位置や背景をおさえ、日本文学研究に活かしていくための基礎知識の習得をめざす。なるべく多くの作品に触れる機会を設けたい。

①浪漫主義まで　②自然主義と反自然主義　③大正期の文学

211171 日本文学史 F（現代）

教授　猪熊　雄治

1920 年代から 40 年代前半までの文学史をたどる。新しい文学の台頭、政治によって干渉される文学、都市化と文学、戦争と文学等のいくつかのテーマを、個々の文学者の試みに着目しながら概説していく。

①モダニズム　②プロレタリア文学　③ナショナリズムと文学

4. 英語コミュニケーション学科（平成20年度入学者　必修科目）

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
スキル科目		Oral Communication Ⅰa	ライアン他	212001	1								1		
		Oral Communication Ⅰb	マッケープ他	212002	1								1		
		Oral Communication Ⅱa	ライアン他	212003		1							1		
		Oral Communication Ⅱb	マッケープ他	212004		1							1		
		Reading & Writing ⅠA	島崎他	212005	1								1		
		Reading & Writing ⅡA	島崎他	212006		1							1		
		Reading & Writing ⅠB	川畑他	212007	2								1		〔2×2〕
		Reading & Writing ⅡB	ドゥブラヴチッチ他	212008		2							1		〔2×2〕
		Computer Skills	中村	212009	1								1		
		基礎ゼミ	杉橋他	212010	1	1							1		
		Intensive Review（R&W）	金徳	212011		1							1		受講者は学科で選定する
		Intensive Review（S&L）	コージー	212012		1							1		受講者は学科で選定する
		BLIP Skills	コージー ドゥブラヴチッチ	212013	1								1		BLIP のみ
		Intermediate Reading & Writing	ドゥブラヴチッチ他	212014			2						2		〔2×2〕
		Intermediate Speaking & Listening (a)	ライアン他	212015			1						2		
		Intermediate Speaking & Listening (b)	ドゥブラヴチッチ他	212016			1						2		
入門科目		文化入門	佐藤・清水・相原 金子（弥）・川畑	212017	2	2							1	★	→ オムニバス形式
		言語入門	小川（喜）・岸山 鈴木	212018	2	2							1	★	1年前期もしくは1年後期の
		コミュニケーション入門	金徳・杉橋	212019	2	2							1	★	いずれかで履修すること
		ニューイングランド文化	佐藤・川畑	212020	2		2						2		1年次は BLIP のみ必修
		ボストン・スタディーズ（University）	金子（弥）	212021			1						2		
		ボストン・スタディーズ（BLIP）	高味	212022	1								1		1年次は BLIP のみ必修
ボストン・キャンパス科目	ユニバーシティ	ジャンプスタート	Pronunciation/Listening/Speaking	ボストン教員	212023			2					2		
		ジャンプスタート	Reading/Vocabulary	ボストン教員	212024			2					2		
		ジャンプスタート	Grammar/Writing	ボストン教員	212025			2					2		
		レギュラープログラム	Listening/Speaking	ボストン教員	212026			2					2		
		レギュラープログラム	Reading	ボストン教員	212027			2					2		
		レギュラープログラム	Writing	ボストン教員	212028			2					2		
		レギュラープログラム	TOEIC Preparation	ボストン教員	212029			2					2		
		レギュラープログラム	Field Trip Class	ボストン教員	212030			2					2		
		レギュラープログラム	Skill Elective	ボストン教員	212031			2					2		
		レギュラープログラム	Discussions on American Issues	ボストン教員	212032			2					2		一般教養科目として履修
		レギュラープログラム	Culture Elective	ボストン教員	212033			4					2		一般教養科目として履修
		インターセッション	Conversation; Structure/Speaking Practice	ボストン教員	212034			1					2		
		インターセッション	American Idioms; Reading/Writing	ボストン教員	212035			1					2		
		ユニバーシティアドバンスト	Listening/Speaking Ⅳ	ボストン教員	212036				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Listening/Speaking Ⅴ	ボストン教員	212037				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Reading/Writing Ⅳ	ボストン教員	212038				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Boston Neighborhoods	ボストン教員	212039				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Directed Independent Studies	ボストン教員	212040				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Culture Elective	ボストン教員	212041				4				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	College Course	ボストン教員	212042				2				3		延長プログラム参加学生必修

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
ボストン・キャンパス科目	BLIP	ジャンプスタート	Pronunciation/Listening/Speaking	ボストン教員	212043		2							1		
			Reading/Vocabulary	ボストン教員	212044		2							1		
			Grammar/Writing	ボストン教員	212045		2							1		
		ファーストセメスター	Listening/Speaking	ボストン教員	212046		2							1		
			Reading	ボストン教員	212047		2							1		
			Writing	ボストン教員	212048		2							1		
			Field Trip Class	ボストン教員	212049		2							1		
			Discussions on American Issues	ボストン教員	212050		2							1		一般教養科目として履修
			Culture Elective A	ボストン教員	212051		4							1		一般教養科目として履修
			Language A	ボストン教員	212052		2							1		外国語科目として履修
		セカンドセメスター	Listening/Speaking Ⅳ	ボストン教員	212053			2						2		
			Listening/Speaking Ⅴ	ボストン教員	212054			2						2		
			Reading/Writing Ⅳ	ボストン教員	212055			2						2		
			College Course A	ボストン教員	212056			2						2		
			Directed Independent Studies	ボストン教員	212057			2						2		
			Business English Project	ボストン教員	212058			2						2		
			TOEIC Practice	ボストン教員	212059			2						2		
			Study Trips	ボストン教員	212060			1						2		
			Boston Neighborhoods	ボストン教員	212061			2						2		一般教養科目として履修
			Culture Elective B	ボストン教員	212062			4						2		一般教養科目として履修
			Language B	ボストン教員	212063			2						2		外国語科目として履修
		サードセメスター	Reading/Writing Ⅴ	ボストン教員	212064				2					2		
			Listening/Speaking Ⅵ	ボストン教員	212065				2					2		
			College Course B	ボストン教員	212066				2					2		
			TOEIC Preparation	ボストン教員	212067				2					2		
			Directed Research Project	ボストン教員	212068				2					2		
			Introduction to Culture	ボストン教員	212069				2					2		※3
			Introduction to Linguistics	ボストン教員	212070				2					2		※3
			Introduction to Communication	ボストン教員	212071				2					2		※3
			Volunteer Activity	ボストン教員	212072				2					2		一般教養科目として履修
			Culture Elective C	ボストン教員	212073				4					2		一般教養科目として履修
			Language C	ボストン教員	212074				2					2		外国語科目として履修

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※1　BLIP・Universityともに文化講座の代替となるコンサート・講演等をボストンで受講する
※2　BLIPは1年次後期にボストンで「実践倫理」および「美しい日本語」を受講する
※3　BLIPは「Introduction to Culture」、「Introduction to Linguistics」、「Introductrion to Communication」を履修し、「文化入門」、「言語入門」、「コミュニケーション入門」の代替とする。

4. 英語コミュニケーション学科（平成19年度入学者　必修科目）

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
スキル科目		Oral Communication Ⅰa	ライアン他	212001	1								1	×	
		Oral Communication Ⅰb	マッケープ他	212002	1								1	×	
		Oral Communication Ⅱa	ライアン他	212003		1							1	×	
		Oral Communication Ⅱb	ライアン他	212004		1							1	×	
		Reading & Writing ⅠA	増澤他	212005	1								1	×	
		Reading & Writing ⅡA	高野他	212006		1							1	×	
		Reading & Writing ⅠB	ドゥブラヴチッチ他	212007	2								1	×	〔2×2〕
		Reading & Writing ⅡB	ドゥブラヴチッチ他	212008		2							1	×	〔2×2〕
		Computer Skills	高味他	212009	1								1	×	
		基礎ゼミ	杉橋他	212010	1	1							1	×	
		Intensive Review（R&W）	杉橋	212011		1							1	×	受講者は学科で選定する
		Intensive Review（S&L）	コージー	212012		1							1	×	受講者は学科で選定する
		BLIP Skills	グリフィス ドゥブラヴチッチ	212013	1								1	×	BLIP のみ
		Intermediate Reading & Writing	ドゥブラヴチッチ他	212014			2						2		〔2×2〕
		Intermediate Speaking & Listening (a)	ライアン他	212015			1						2		
		Intermediate Speaking & Listening (b)	コージー他	212016			1						2		
入門科目		文化入門	佐藤・清水・金子（弥）・川畑	212017		2	2						1・2	★	→オムニバス形式
		言語入門	小川（喜）・岸山	212018		2	2						1・2	★	1年後期もしくは2年前期のいずれかに履修する
		コミュニケーション入門	金徳・杉橋	212019		2	2						1・2	★	1年後期もしくは2年前期のいずれかに履修する
		ニューイングランド文化	佐藤・川畑	212020	2		2						2		1年次は BLIP のみ必修
		ボストン・スタディーズ（University）	金子（弥）	212021			1						2		
		ボストン・スタディーズ（BLIP）	金徳	212022	1								1	×	1年次は BLIP のみ必修
ボストン・キャンパス科目	ユニバーシティ	ジャンプスタート	Pronunciation/Listening/Speaking	ボストン教員	212023			2					2		
		ジャンプスタート	Reading/Vocabulary	ボストン教員	212024			2					2		
		ジャンプスタート	Grammar/Writing	ボストン教員	212025			2					2		
		レギュラープログラム	Listening/Speaking	ボストン教員	212026			2					2		
		レギュラープログラム	Reading	ボストン教員	212027			2					2		
		レギュラープログラム	Writing	ボストン教員	212028			2					2		
		レギュラープログラム	TOEIC Preparation	ボストン教員	212029			2					2		
		レギュラープログラム	Field Trip Class	ボストン教員	212030			2					2		
		レギュラープログラム	Skill Elective	ボストン教員	212031			2					2		
		レギュラープログラム	Discussions on American Issues	ボストン教員	212032			2					2		一般教養科目への振り替え可
		レギュラープログラム	Culture Elective	ボストン教員	212033			4					2		一般教養科目への振り替え可
		インターセッション	Conversation; Structure/Speaking Practice	ボストン教員	212034			1					2		
		インターセッション	American Idioms; Reading/Writing	ボストン教員	212035			1					2		
		ユニバーシティアドバンスト	Listening/Speaking Ⅳ	ボストン教員	212036				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Listening/Speaking Ⅴ	ボストン教員	212037				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Reading/Writing Ⅳ	ボストン教員	212038				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Boston Neighborhoods	ボストン教員	212039				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Directed Independent Studies	ボストン教員	212040				2				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	Culture Elective	ボストン教員	212041				4				3		延長プログラム参加学生必修
		ユニバーシティアドバンスト	College Course	ボストン教員	212042				2				3		延長プログラム参加学生必修

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
ボストン・キャンパス科目	BLIP	ジャンプスタート	Pronunciation/Listening/Speaking	ボストン教員	212043		2							1	×	
			Reading/Vocabulary	ボストン教員	212044		2							1	×	
			Grammar/Writing	ボストン教員	212045		2							1	×	
		ファーストセメスター	Listening/Speaking	ボストン教員	212046		2							1	×	
			Reading	ボストン教員	212047		2							1	×	
			Writing	ボストン教員	212048		2							1	×	
			Field Trip Class	ボストン教員	212049		2							1	×	
			Discussions on American Issues	ボストン教員	212050		2							1	×	一般教養科目として履修
			Culture Elective A	ボストン教員	212051		4							1	×	一般教養科目として履修
			Language A	ボストン教員	212052		2							1	×	外国語科目として履修
		セカンドセメスター	Listening/Speaking Ⅳ	ボストン教員	212053			2						2		
			Listening/Speaking Ⅴ	ボストン教員	212054			2						2		
			Reading/Writing Ⅳ	ボストン教員	212055			2						2		
			College Course A	ボストン教員	212056			2						2		
			Directed Independent Studies	ボストン教員	212057			2						2		
			Business English Project	ボストン教員	212058			2						2		
			TOEIC Practice	ボストン教員	212059			2						2		
			Study Trips	ボストン教員	212060			1						2		
			Boston Neighborhoods	ボストン教員	212061			2						2		一般教養科目として履修
			Culture Elective B	ボストン教員	212062			4						2		一般教養科目として履修
			Language B	ボストン教員	212063			2						2		外国語科目として履修
		サードセメスター	Reading/Writing Ⅴ	ボストン教員	212064				2					2		
			Listening/Speaking Ⅵ	ボストン教員	212065				2					2		
			College Course B	ボストン教員	212066				2					2		
			TOEIC Preparation	ボストン教員	212067				2					2		
			Directed Research Project	ボストン教員	212068				2					2		
			Introduction to Culture	ボストン教員	212069				2					2		※3
			Introduction to Linguistics	ボストン教員	212070				2					2		※3
			Introduction to Communication	ボストン教員	212071				2					2		※3
			Volunteer Activity	ボストン教員	212072				2					2		一般教養科目として履修
			Culture Elective C	ボストン教員	212073				4					2		一般教養科目として履修
			Language C	ボストン教員	212074				2					2		外国語科目として履修

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※1　BLIP・Universityともに文化講座の代替となるコンサート・講演等をボストンで受講する
※2　BLIPは1年次後期にボストンで「実践倫理」および「美しい日本語」を受講する
※3　BLIPは「Introduction to Culture」、「Introduction to Linguistics」、「Introductrion to Communication」を履修し、「文化入門」、「言語入門」、「コミュニケーション入門」の代替とする。

4. 英語コミュニケーション学科　（全学年共通　選択科目）

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
資格検定科目	資格検定ＡⅠ（英検）	岸山	212075					①		①		3・4		
	資格検定ＡⅡ（英検）	岸山	212076						①		①	3・4		
	資格検定ＢⅠ（TOEIC 初級）	高野	212077					①		①		3・4		
	資格検定ＢⅡ（TOEIC 初級）	高野	212078						①		①	3・4		
	資格検定ＣⅠ（TOEIC 中級）	森本	212079					①		①		3・4		
	資格検定ＣⅡ（TOEIC 中級）	森本	212080						①		①	3・4		
	資格検定ＤⅠ（TOEIC 上級）	杉橋	212081					①		①		3・4		
	資格検定ＤⅡ（TOEIC 上級）	杉橋	212082						①		①	3・4		
	TOEIC Preparation Ⅰ	クレイグ	212083					①		①		3	同	（現代教養学科）
	TOEIC Preparation Ⅱ	クレイグ	212084						①		①	3	同	（現代教養学科）
	TOEFL Preparation Ⅰ	ハリントン	212085					①		①		3	同	（現代教養学科）
	TOEFL Preparation Ⅱ	ハリントン	212086						①		①	3	同	（現代教養学科）
	ボキャブラリービルディングⅠ	古澤	212087					①		①		3・4		
	ボキャブラリービルディングⅡ	ゴドレー	212088						①		①	3・4		
文化コース 選択科目	イギリス文化概論Ａ		212089			②		②		②		3	×	（現代教養学科）
	イギリス文化概論Ｂ	金子（弥）	212090						②		②	3	◎□	
	アメリカ文化概論Ａ	島田	212091					②		②		3	□同	（現代教養学科）
	アメリカ文化概論Ｂ	森本	212092						②		②	3	◎□	
	イギリス研究（伝統と風習）	マッケーブ	212093						②		②	3	□同	（☆）（現代教養学科）
	アメリカ研究（人種と宗教）	川畑	212094					②		②		3	□	
	英米児童文学	相原	212095			②		②	②	②	②	3	□★同	（現代教養学科・英文専攻科（前期のみ））
	イギリス文化と女性	清水	212096			②		②		②		3	□★	
	アメリカ文化と女性	川畑	212097						②		②	3	□★	
	聖書入門	増井	212098					②		②		3	□同	（現代教養学科）
	中世文学の愉しみ	島崎	212099						②		②	3	□	
	イギリス文化の常識		212100						②		②	3	×	
	16・17 世紀イギリス演劇（シェイクスピア）	中村	212101					②		②		3	□	
	18・19 世紀イギリスロマン派の詩	島崎	212102						②		②	3	□	
	19 世紀イギリス小説（ヴィクトリア朝の肖像）	金子（弥）	212103			②		②	②	②	②	3	□★	
	20 世紀イギリス小説Ａ（フェミニズムの視点）	相原	212104						②		②	3	□	
	20 世紀イギリス小説Ｂ（異文化の視点）	清水	212105						②		②	3	□	
	19 世紀アメリカ小説	島田	212106						②		②	3	□	
	20 世紀アメリカ小説Ａ	島田	212107			②		②		②		3	□	
	20 世紀アメリカ小説Ｂ	島田	212108						②		②	3	□	
	20 世紀アメリカ小説Ｃ	森本	212109			②		②		②		3	◎□	
	20 世紀アメリカ小説Ｄ	森本	212110						②		②	3	◎□	
	「喪失の世代」のアメリカ	佐藤	212111					②		②		3	□同	（現代教養学科）
	米文学と映画	佐藤	212112						②		②	3	□	（☆）
	Creative Writing	コージー	212113						②		②	3		（☆☆）
	聖書研究	増井	212114					②		②		3	□	
	イギリス詩Ａ		212115			②		②		②		3	×	

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
文化コース	選択科目	イギリス詩 B		212116						②		②	3	×	
		イギリス文化批評		212117						②		②	3	×	
		近代イギリスのアートフォーム	平井（法）	212118						②		②	3	□	
		現代英国文化論	平井（法）	212119			②		②				3	□同	（現代教養学科）
		英文学思潮	丹羽	212213					②		②		3	□	
		イギリス文学研究Ⅰ	丹羽	212214						②			3	□同	（英文専攻科）
		イギリス文学研究Ⅲ	平井（法）	212120					②				3	□同	（英文専攻科）
	特別演習	イギリス文学（ファンタジー）	相原	212121						①	①	①	3・4		
		19 世紀とイギリス小説	金子（弥）	212122						①	①	①	3・4		
		アメリカ文化（人種とジェンダー）	川畑	212123						①	①	①	3・4		
		20 世紀初頭のアメリカ	佐藤	212124						①	①	①	3・4		
		シェイクスピア	中村	212125						①	①	①	3・4	×	
		20 世紀イギリス小説	丹羽	212215						①	①	①	3・4		
		アメリカ文化・比較文学	森本	212126						①	①	①	3・4		
言語コース	選択科目	英語の歴史 A	島崎	212127			②		②		②		3	□同	（現代教養学科）
		英語の歴史 B		212128						②		②	3	×	
		英語の歴史 C	小川（浩）	212129					②		②		3	□	
		英語の歴史 D	小川（浩）	212130						②		②	3	□	
		英語音声学	小川（喜）	212131			②		②		②		3	□	
		社会とことば A	増澤	212132					②		②		3	□	（☆）日本語教育関連科目
		社会とことば B	井原	212133						②		②	3		（☆☆）
		社会言語学研究	井原	212134					②		②		3		（英文専攻科）
		社会言語学（言葉と場面）	小川（喜）	212135						②		②	3	□	（☆）日本語教育関連科目
		心理言語学	ロブソン	212136					②		②		3	□	（☆☆）日本語教育関連科目
		言語政策論	李（守）	212216						②		②	3	同	（日本語日本文学科）日本語教育関連科目
		ことばの意味のしくみ（語と辞書）	池上	212137					②		②		3	□	日本語教育関連科目
		ことばの意味のしくみ（文からコミュニケーションへ）	池上	212138						②		②	3	□	日本語教育関連科目
		英語と日本語（発想と表現の好みの違い）		212139					②		②		3	×	日本語教育関連科目
		子どものことばから詩の言葉まで		212140						②		②	3	×	日本語教育関連科目
		英語を通して見える世界（コトバと文化）	鈴木	212141						②		②	3	◎□	
		英語観察術（翻訳の世界）	鈴木	212142						②		②	3	◎□同	（現代教養学科）
		児童英語実践指導法	小泉	212143					①	①	①	①	3	◎★同	（初等教育学科）
		英語科教育法 A	金子（朝）・緑川	212144					④	④			3		〔2×2〕教職資格取得を目指す者のみ履修を認める
		実践英語音声学		212145			②		②	②	②	②	3	×	
		文の仕組みと捉え方	高野	212146						②		②	3	□	
		ことばの成り立ちと仕組み	高野	212147						②		②	3	◎□	
		Communicative Grammar of English	ドゥブラヴチッチ	212148						②		②	3	□	（☆）
		Teaching English to Preschool Children	ドゥブラヴチッチ	212217						②		②	3	□	（☆）
		英語の未来		212149						②		②	3	×	
		英語教授法	緑川	212150					①		①		3	□	
		幼児・児童への英語指導と教材開発	高味	212151						①		①	3	□	（初等教育学科）
		英語分析とコンピュータ	金子（朝）	212152						②		②	3	□	
		現代英文法 A（重要構文に慣れる）	鈴木	212153					②		②		3	◎□	
		現代英文法 B（基本動詞、前置詞、冠詞に強くなる）		212154					②		②		3	×	
		現代英文法 C（英語感覚トレーニング）	岸山	212155						②		②	3	◎□	
		第二言語習得	緑川	212156					②		②		3	□同	（☆☆）（現代教養学科）

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
															開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
言語コース	選択科目	学習者言語の特徴	金子（朝）	212157						②		②	3	□同	(☆☆)(現代教養学科)
		英語の語源学・言葉の誕生を知る	岸山	212158					②		②		3	◎□同	(英文専攻科)
		初期英語の作品研究 A	小川（浩）	212159					②		②		3	□	
		初期英語の作品研究 B	小川（浩）	212160						②		②	3	□	
	特別演習	ことばと思考	井原	212161						①	①	①	3・4		
		音声学・社会言語学	小川（喜）	212162						①	①	①	3・4		
		英語の語源研究	岸山	212163						①	①	①	3・4		
		英語の歴史	島崎	212164						①	①	①	3・4		
		言語と文化（現代英語から見る英語文化）	鈴木	212165						①	①	①	3・4		
		ことばの形と意味	高野	212166						①	①	①	3・4		
		子どもたちへの英語教育	高味	212167						①	①	①	3・4		
		Foreign Language Teaching and Learning	ドゥブラヴチッチ	212168						①	①	①	3・4		
		社会言語学・語用論	増澤	212169						①	①	①	3・4		
		第二言語習得・英語教育	緑川	212170						①	①	①	3・4		
		Methodology in Language Teaching	ロブソン	212171						①	①	①	3・4		
コミュニケーション・メディアコース	選択科目	異文化コミュニケーションⅠ	杉橋	212172			②		②		②		3	□	(☆☆) 日本語教育関連科目
		異文化コミュニケーションⅡ	マルボック	212173						②		②	3	□	(☆☆) 日本語教育関連科目
		スピーチ・コミュニケーション A	小川（喜）	212174					②		②		3	□	(☆)
		スピーチ・コミュニケーション B	杉橋	212175						②		②	3	□	(☆)
		スピーチ・コミュニケーション C	高味	212176					②		②		3	□	(☆)
		スピーチ・コミュニケーション D		212177						②		②	3	×	(☆)
		スピーチ・コミュニケーション E	ペック	212178						②		②	3	□	(☆)
		スピーチ・コミュニケーション F		212179						②		②	3	×	(☆)
		日英文化比較	マッケーブ	212181			②		②		②		3	□	(☆)
		日米文化比較		212182			②		②	②	②	②	3	×	
		秘書英語講座A	宮島	212183					②		②		3	□	
		秘書英語講座B	宮島	212184						②		②	3	□	
		ビジネスコミュニケーションA	増澤	212185					②		②		3	□同	(☆☆)(現代教養学科)
		ビジネスコミュニケーションB	増澤	212186						②		②	3	□同	(☆☆)(現代教養学科)
		異文化トレーニング		212187						②		②	3	×	
		オーラル・インタープリテーション		212188			②		②	②	②	②	3	×	
		Stage Performance	ゴドレー	212189					②		②		3		(☆)
		Introduction to Journalism		212190						②		②	3	×	
		通訳法	杉橋	212191					②		②		3		
		通訳ガイド	古澤	212192						②		②	3		
		テクニカルライティング	金徳	212193					②	②	②	②	3	□	
		Critical Thinking	井原	212194						②		②	3		(☆☆)
		Arts in English	コージー	212195					②		②		3		(☆☆)
		Alternatives in Life	コージー	212196						②		②	3		(☆☆)
		ニューズ英語 A	原田	212197			②		②		②		3		

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
コミュニケーション・メディアコース	選択科目	ニューズ英語 B	原田	212198						②		②	3		
		コンピュータ・リテラシィ A	中村	212199					①	①	①	①	3	★	平成20年度後期開講せず
		コンピュータ・リテラシィ B	ライアン	212200						①		①	3		(☆)
		コンピュータ・リテラシィ C	ライアン	212201					①		①		3		(☆)
		マルチメディア・コミュニケーション	ライアン	212202						②		②	3		(☆☆)
		Computers and Communication		212203					②		②		3	×	
		ラジオ・プロダクション	コージー	212204			②		②	②	②	②	3		(☆)
		ビデオ・プロダクション	ライアン	212205						②		②	3		(☆)
		Popular Culture (Media) A	ベック	212206			②		②		②		3		(☆)
		Popular Culture (Media) B	ベック	212207						②		②	3		(☆)
		Film Studies	川畑	212208						②		②	3		
		広告の英語		212209					②		②		3	×	
		Seminar A	バトラー	212210					①	①	①	①	3	同	(現代教養学科)
		Seminar B		212211					①		①		3	×	(現代教養学科)
		Seminar C	ハリントン	212212					①	①	①	①	3	同	(現代教養学科)
		Grammar Workshop Ⅰ	バトラー	212218			①		①		①		2	同	(現代教養学科)
		Grammar Workshop Ⅱ	バトラー	212219						①		①	3	同	(現代教養学科)
		Intensive Listening Ⅰ	柏木	212220			①		①		①		2	同	(現代教養学科)
		Intensive Listening Ⅱ	柏木	212221						①		①	3	同	(現代教養学科)
		通訳・翻訳研究	柏木	212222					②	②	②	②	3	同	(現代教養学科)
		NGO/NPO の歴史	ホルバート	212223			②		②		②		3	同	(現代教養学科)
		異文化間コミュニケーション	ホルバート	212224						②		②	2	同	(現代教養学科)
		ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム	ボストン教員	212225	②		②		②		②		3・4		ボストン・サマーセッション参加学生対象
	特別演習	テクニカル・コミュニケーション	金徳	212226						①	①	①	3・4		
		Modern Short Fiction/Modern Social Problems	コージー	212227						①	①	①	3・4		
		異文化コミュニケーション	杉橋	212228						①	①	①	3・4		
		Information Technology	ライアン	212229						①	①	①	3・4		
卒業論文												⑧	4		

開設単位：
①無印は必修科目
②◯印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

1. Content Course (English Only Course) について
備考欄の☆印はレベルを表わす。
(☆)　⇒　General level course
(☆☆)　⇒　Advanced level course

2. 外国語の単位について
外国語12単位のうち、4単位は英語コミュニケーション学科選択科目でおきかえることができる。

3. 卒業論文について
卒業論文を書かない場合には、その分の8単位を選択科目から履修する。また、特別演習は3年後期（1単位）のみ履修し、4年前期・後期の特別演習分としてさらにもう2単位を選択科目から履修する。
（卒業論文を書かない学生は3年次の末に申し出る。）

4. 日本語教育関連科目について
(1) 英語コミュニケーション学科開設選択科目の中で「日本語教育関連科目」の表示がある科目は日本語教育専攻に必要な科目として読み替えること（ダブルカウント）ができる。但し、読み替えが認められるのは1科目（1セメスター分）のみ。
(2) 日本語日本文学科開設科目の「異文化間コミュニケーション」、「社会言語学」、「第二言語教育概説」、「第二言語習得論」の4科目は英語コミュニケーション学科の科目にダブルカウントできる（日本語日本文学科のカリキュラム参照のこと）。
なお、詳細については日本語日本文学科に問い合わせること。

◎英検および TOEIC について◎

本学科では英検（実用英語技能検定）の資格と TOEIC（IP テストを含む）のスコアを専門科目の卒業要件単位として認定しています。認定される単位数は以下のとおりとします。

英検	TOEIC	単位
−	650 点以上	1 単位
準 1 級	730 点以上	2 単位
1 級	850 点以上	4 単位

注 1: 認定される単位は最高 4 単位までとし、下位の単位認定を受けたものがさらに上位の「級」または「スコア」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算される。
注 2: 英検と TOEIC の両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とする。

授業概要

212001 Oral Communication Ⅰa

准教授　ライアン，ケビン
非常勤講師　ペック，ブライアン
非常勤講師　森脇　エレン

This class gives students an opportunity to gain confidence and skill in understanding and speaking English in an academic setting. Students learn and practice strategies to understand native-speaker English. Students discover speaking in English in a variety of formats—dialogs, discussions, presentations and debates. We focus on academic topics to increase student world knowledge.

① speaking　② listening　③ world knowledge

212002 Oral Communication Ⅰb

非常勤講師　マッケーブ，ショーン
非常勤講師　ペック，ブライアン
非常勤講師　クレイグ，ジェームズ

Speaking English in a variety of different ways (discussions, presentations, debates, etc.), students will gain the confidence and skill necessary for them to cope with even authentic English. In speaking about a variety of topics students will also increase their world knowledge.

① listening　② speaking　③ world knowledge

212003 Oral Communication Ⅱa

准教授　ライアン，ケビン
非常勤講師　ペック，ブライアン
非常勤講師　マルボック，マーク
非常勤講師　森脇　エレン

The goal of this class is to prepare students for academic success by helping them gain confidence and make their English more natural and automatic. Students will build upon skills and language learned in the first semester to increase their use of English, both understanding and speaking, in an English academic environment.

212004 Oral Communication Ⅱb

非常勤講師　マッケーブ，ショーン
非常勤講師　ペック，ブライアン
非常勤講師　クレイグ，ジェームズ

Speaking English in a variety of different ways (discussions, presentations, debates, etc.), students will gain the confidence and skill necessary for them to cope with even authentic English. In speaking about a variety of topics students will also increase their world knowledge.

① listening　② speaking　③ world knowledge

212005 Reading & Writing Ⅰ A

准教授　博士（文学）　島崎　里子
教授　相原　由美子
教授　佐藤　洋
准教授　鈴木　博雄
非常勤講師　清水　みち

このクラスでは基本的な文法の知識を、主にリーディングとライティングのアクティビティを通して、復習・補強する。同時に語彙力の増強を図る。単なる知識習得にとどまらず、コミュニケーションに役立つ文法・語彙を身につけることを目標とする。

① Grammar　② Vocabulary　③ Communication

212006 Reading & Writing Ⅱ A

准教授　博士（文学）　島崎　里子
教授　相原　由美子
教授　佐藤　洋
准教授　鈴木　博雄
非常勤講師　清水　みち

このクラスでは基本的な文法の知識を、主にリーディングとライティングのアクティビティを通して、復習・補強する。同時に語彙力の増強を図る。単なる知識習得にとどまらず、コミュニケーションに役立つ文法・語彙を身につけることを目標とする。

① Grammar　② Vocabulary　③ Communication

212007 Reading & Writing Ⅰ B

准教授　Ed.D.　川畑　由美
教授　増澤　史子
教授　小川　喜正
教授　金徳　多恵子
教授　井原　奉明

The purpose of this course is to provide students with practice in intensive and extensive reading leading to writing paragraphs. Additional work will include increasing vocabulary knowledge and improving writing accuracy and fluency.

① intensive reading　② extensive reading　③ paragraph writing

212008 Reading & Writing Ⅱ B

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ
教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン
准教授　コージー，ディヴィッド
准教授　ライアン，ケビン
教授　スナイダー，マイケル

The purpose of this course is to provide students with further practice in intensive and extensive reading as well as writing paragraphs and summaries. Additional work will include increasing vocabulary knowledge and improving writing accuracy and fluency.

① intensive reading　② extensive reading　③ paragraph writing

212009 Computer Skills

教授　中村　豪

Windows パソコンの使い方の基礎から、ワープロソフトによる英語／日本語文書入力と表計算ソフトによるデータ入力法までを習得する。また、日常生活で必要な Email とインターネットの利用法に慣れる。Word と Excel を円滑に操作できる知識と技術を身につけることが目標である。

① Windows の基礎　② Word　processing　③ Spread sheet

212010 基礎ゼミ

講師　杉橋　朝子
教授　相原由美子
教授　小川　喜正
教授　金徳多恵子
准教授　博士（文学）　金子　弥生

大学での学び方について学生に「大学４年間の生き方」のヒントを与え、アカデミックサポートとして、スタディスキルを身につけさせる。

①スタディスキル　②基本的知識　③ preparation

212011 Intensive Review（R & W）

教授　金徳　多恵子

本授業の目標は基本的な英語力の向上である。特に、Reading による input と Writing による output を中心として、ボストン留学に不可欠な英語力をつけるための学習をする。

①基本英語の復習　②英文理解の文法　③使う英語の基本原則

212012 Intensive Review（S & L）

准教授　コージー，ディヴィッド

The purpose of this class is to help students activate the passive knowledge they have of English and to review the English they need to be successful in their futures at Showa and beyond.

① Speaking & Listening　② Activating Knowledge　③ Review

212013 BLIP Skills　B

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ

In this course students will practice using English in a variety of situations that they will encounter in Boston. Although the emphasis will be on developing speaking skills and strategies, all four skils will be integrated in class activities. The additional course work will include giving presentations about relevant topics.

① situational English　② four skills　③ oral presentations

212014 Intermediate Reading & Writing

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ
教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン
准教授　チャン，マーク
教授　スナイダー，マイケル
非常勤講師　フルマー，パトリック

This course is designed to prepare students for academic reading and writing. Students will do intensive and extensive reading to improve reading skills and fluency. The writing component of the class will focus on writing paragraphs, essays and summaries as well as improving fluency and acurracy. Additional course work will include increasing vocabulary knowledge and acquiring reading and writing metalanguage.

① intensive reading　② extensive reading　③ process writing

212015 Intermediate Speaking & Listening (a)

准教授　ライアン，ケビン
准教授　コージー，ディヴィッド
准教授　チャン，マーク

Students further refine the skills and strategies they developed as freshmen to prepare them for their academic work in Boston. Students will continue practice in speaking and listening in a variety of situations and will learn to respond to more challenging interactions.

① speaking　② listening　③ world knowledge

212016 Intermediate Speaking & Listening (b)

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ
非常勤講師　マルボック，マーク
非常勤講師　フルマー，パトリック

Students will, in preparation for academic work in Boston, further refine the skills they developed and the strategies they learned as freshmen. They will practice speaking in a variety of situations, and will learn to respond to more challenging listening materials.

① listening　② speaking　③ world knowledge

212017 文化入門

教授　相原　由美子
教授　佐藤　洋
准教授　博士（文学）　金子　弥生
准教授　Ed.D.　川畑　由美
非常勤講師　清水　みち

文化を研究するとはどういうことか。文明の成り立ちという概念から文学作品や映像その他を通してアメリカとイギリスの文化を研究する道を開く。オムニバス形式で授業を進める。

①文明　②歴史　③宗教　④芸術　⑤思想

212018 言語入門

教授 小川 喜正
准教授 岸山 睦
准教授 鈴木 博雄

英語言語学の基礎知識を身に付けることを目的とする。すべての英語言語学系コースの準備として、言語学の各分野の重要項目を少しずつ紹介する。取り上げる主な分野は、世界の英語、英語の歴史、音声学･音韻論、統語論、意味論、心理言語学、社会言語学、文化･思想･言語などである。

① lingua franca ② the history of English ③ phonetics

212019 コミュニケーション入門

教授 金徳 多恵子
講師 杉橋 朝子

コミュニケーションとは何か。一般的なコミュニケーション論を紹介し、コミュニケーションモデル、言語メッセージ、非言語メッセージを研究する。

① communication theory ② verbal-communication ③ non-verbal communication

212020 ニューイングランド文化

教授 佐藤 洋
准教授 Ed.D. 川畑 由美

This course is designed for students who will go to study at Boston, who are interested in American and New England history and/or who will be exposed to various cross-cultural interactions, traditional values and religious beliefs. The study of this historical and cultural background will give students a key to open the door to understanding what they are going to experience in Boston life.

① The discovery of America ② Immigration to America ③ The development of New England ④ The Declaration of Independence ⑤ American Civil War

212021 ボストン・スタディーズ (University)

准教授 博士(文学) 金子 弥生

ボストン研修のための準備コース。ボストンを中心としたアメリカの政治、歴史、文化、風俗習慣について学習し、国際マナーと集団生活の心構えを養う。

①ボストンの歴史 ②アメリカの文化 ③アメリカ人の生活様式

212022 ボストン・スタディーズ (BLIP)

准教授 高味 み鈴

ボストン研修のための準備コース。ボストンを中心としたアメリカの政治、歴史、文化、風俗習慣について学習し、国際マナーと集団生活の心構えを養う。

①ボストンの歴史 ②アメリカの文化 ③アメリカ人の生活様式

212023 Pronunciation/Listening/Speaking (University)

ボストン教員

This course provides an intensive review of the English sound system, stressing areas of difficulty for Japanese speakers and emphasizing the original production of speech. It is organized around functions such as Asking for Information, Making Requests and Giving Opinions.

212024 Reading/Vocabulary (University)

ボストン教員

This class provides a concentrated review and sharpening of specific reading skills (scanning, skimming, predicting, inferring), a strong focus on vocabulary development, reading selections on topics of interest and an introduction to student participatory discussion.

212025 Grammar/Writing (University)

ボストン教員

In the grammar portion, students review basic grammar forms and practice using them accurately in short writing assignments. In the writing portion, they review paragraph form in preparation for composing essays, as well as basic writing mechanics.

212026 Listening/Speaking (University)

ボストン教員

This course is primarily task-based and trains students to engage with native speakers. Students take part in pair work, small groups, role-plays and other activities that let them practice their speaking and listening skills. Other activities include free conversation, presentations, audio journals, guest speakers and the use of the Listening Lab.

212027 Reading (University)

ボストン教員

This course is designed to develop students' ability to read more complex material and to read more efficiently. New skills include identifying organization patterns, making inferences, skimming, scanning, and doing timed readings. As students grow more proficient in skills, they apply them with short texts on social issues.

212028 Writing (University)

ボストン教員

The Writing course develops students' ability to write correct and fluent English, building from paragraph level to that of formal essays. The objective is for each student to produce essays, using such rhetorical modes as descriptive, narrative, comparative and argumentative. They learn the component parts of an essay.

212029 TOEIC Preparation （University）
ボストン教員

The goals of this course are to teach strategies for test taking and to reinforce the areas of proficiency (in grammar, vocabulary, listening and reading comprehension) needed for success. Since the TOEIC texts are related to business, it includes much business terminology. There are repeated practice tests, which familiarize students with their areas of weakness.

212030 Field Trip Class （University）
ボストン教員

Students visit historical places in the New England area to develop an understanding of the history and cultural growth of this region. Students will also develop an appreciation for fine museums and other cultural resources of New England. The class meets one period a week plus one day for the field trip.

212031 Skill Elective （University）
ボストン教員

These courses offer advanced work and various skills. Some are straight extensions of a skill area (Advanced Grammar, More Pronunciation, Idioms and Slang), some are organized around a theme (Business English, Travel English), and some are task-based (Newspaper Production, Public Speaking, Let's Debate, Creative Writing).

212032 Discussions on American Issues （University）
ボストン教員

This course introduces basic American values and traditions, including immigration patterns, ethnic diversity and assimilation, as well as educational and political practices. Historical information is accompanied by readings in current sources such as newspapers and magazines dealing with current cultural issues in American life.

212033 Culture Elective (University)
ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices include Art History, American Theater, Community Service, Children's Literature, Teaching about Japan and Teaching Japanese. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

212034 Conversation; Structure/Speaking Practice (Intersession)
ボストン教員

Students attend courses at outside institutions. They will earn one credit for the combination of these two courses.

212035 American Idioms; Reading/Writing (Intersession)
ボストン教員

Students attend courses at outside institutions. They will earn one credit for the combination of these two courses.

212036 Listening/Speaking Ⅳ （UA）
ボストン教員

In this course, students will build their fluency through a variety of class activities and interviews with native speakers. The class will incorporate authentic listening materials such as radio broadcasts and TV news and will include speaking activities such as debates and impromptu presentations.

212037 Listening/Speaking Ⅴ （UA）
ボストン教員

This class will cover current events, academic topics, and connections between the two, requiring discussions at a deeper level than previous Listening/Speaking courses. Students will listen to newscasts and taped lectures and will engage in free conversation and debate.

212038 Reading/Writing Ⅳ （UA）
ボストン教員

Students will read authentic texts from various genres, including short stories, poetry and non-fiction. The class will emphasize critical thinking skills, which students will exercise through group discussion and written work.

212039 Boston Neighborhoods （UA）
ボストン教員

Students in this course will learn about the history and culture of different parts of Boston. Walking tours are planned during regular class meetings.

212040 Directed Independent Studies （UA）
ボストン教員

Students choose a topic of interest to them and do research, interview people and collect information about it. At the end of the term, each student makes a presentation about the topic.

212041 Culture Elective （UA）
ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices include Ethnicity in America, Newspapers in America, History of English, Teaching Japanese and Introduction to Translation. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

212042 College Course （UA）

ボストン教員

Students will attend a course at a local college. Showa teachers will assist students in these courses as tutors and will give assignments. Final grades will be given by the Showa faculty.

212043 Pronunciation/Listening/Speaking （BLIP08:1st）

ボストン教員

This course provides an intensive review of the English sound system, stressing areas of difficulty for Japanese speakers and emphasizing the original production of speech. It is organized around functions such as Asking for Information, Making Requests and Giving Opinions.

212044 Reading/Vocabulary （BLIP08:1st）

ボストン教員

This class provides a concentrated review and sharpening of specific reading skills (scanning, skimming, predicting, inferring), a strong focus on vocabulary development, reading selections on topics of interest and an introduction to student participatory discussion.

212045 Grammar/Writing （BLIP08:1st）

ボストン教員

In the grammar portion, students review basic grammar forms and practice using them accurately in short writing assignments. In the writing portion, they review paragraph form in preparation for composing essays, as well as basic writing mechanics.

212046 Listening/Speaking （BLIP08:1st）

ボストン教員

This course is primarily task-based and trains students to engage with native speakers. Students take part in pair work, small groups, role-plays and other activities that let them practice their speaking and listening skills. Other activities include free conversation, presentations, audio journals, guest speakers and the use of the Listening Lab.

212047 Reading （BLIP08:1st）

ボストン教員

This course is designed to develop students' ability to read more complex material and to read more efficiently. New skills include identifying organization patterns, making inferences, skimming, scanning and doing timed readings. As students grow more proficient in skills, they apply them with short texts on social issues.

212048 Writing （BLIP08:1st）

ボストン教員

The Writing course develops students' ability to write correct and fluent English, building from paragraph level to that of formal essays. The objective is for each student to produce essays, using such rhetorical modes as descriptive, narrative, comparative and argumentative. They learn the component parts of an essay.

212049 Field Trip Class （BLIP08:1st）

ボストン教員

Students visit historical places in the New England area to develop an understanding of the history and cultural growth of this region. Students will also develop an appreciation for fine museums and other cultural resources of New England. The class meets one period a week plus one day for the field trip.

212050 Discussions on American Issues （BLIP08:1st）

ボストン教員

This course introduces basic American values and traditions, including immigration patterns, ethnic diversity and assimilation, as well as educational and political practices. Historical information is accompanied by readings in current sources such as newspapers and magazines dealing with current cultural issues in American life.

212051 Culture Elective A （BLIP08:1st）

ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices include Art History, American Theater, American Culture through Movies, Children's Literature and Teaching about Japan. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

212052 Language A （BLIP08:1st）

ボストン教員

Students will continue the foreign language that they began studying in Tokyo, at the beginning level.

212053 Listening/Speaking Ⅳ （BLIP07:2nd）

ボストン教員

In this course, students will build their fluency through a variety of class activities and interviews with native speakers. The class will incorporate authentic listening materials such as radio broadcasts and TV news and will include speaking activities such as debates and impromptu presentations.

212054 Listening/Speaking Ⅴ (BLIP07:2nd)
ボストン教員

This class will cover current events, academic topics and connections between the two, requiring discussions at a deeper level than previous Listening/Speaking courses. Students will listen to newscasts and taped lectures and will engage in free conversation and debate.

212055 Reading/Writing Ⅳ (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students will read authentic texts from various genres, including short stories, poetry and non-fiction. The class will emphasize critical thinking skills, which students will exercise through group discussion and written work.

212056 College Course A (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students will attend a course at a local college. Showa teachers will assist students in these courses as tutors and will give assignments. Final grades will be given by the Showa faculty.

212057 Directed Independent Studies (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students choose a topic of interest to them and do research, interview people and collect information about it. At the end of the term, each student makes a presentation about the topic.

212058 Business English Project (BLIP07:2nd)
ボストン教員

This course helps students to understand American business and business communications. It includes a simulated launch of a small business.

212059 TOEIC Practice (BLIP07:2nd)
ボストン教員

The class will give students valuable practice in taking the TOEIC and will help them to recognize and correct their errors. Instructors will explain mistakes and provide lessons on grammar and business-related vocabulary. The course will also focus on test-taking strategies.

212060 Study Trips (BLIP07:2nd)
ボストン教員

This course will deepen students' experience and understanding of Boston's historical and architectural sites. They will prepare in greater depth, make repeated visits to a site of their choice and present their findings.

212061 Boston Neighborhoods (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students in this course will learn about the history and culture of different parts of Boston. Walking tours are planned during regular class meetings.

212062 Culture Elective B (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices include Ethnicity in America, Newspapers in America, History of English, Teaching Japanese and Introduction to Translation. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

212063 Language B (BLIP07:2nd)
ボストン教員

Students will continue the foreign language that they began studying in Tokyo, at the intermediate level.

212064 Reading/Writing Ⅴ (BLIP07:3rd)
ボストン教員

Students will read authentic texts, including a novel, short stories, poetry and non-fiction. The class will cover literary themes, and students will explain their own interpretations of texts through written work and group discussion.

212065 Listening/Speaking Ⅵ (BLIP07:3rd)
ボストン教員

This course develops, at an advanced level, the listening and speaking skills needed in academic settings. Students listen to recordings of college-level lectures to learn lecture format and advanced vocabulary. They respond to the content (economics, globalization, anthropology, etc.) with discussions and presentations.

212066 College Course B (BLIP07:3rd)
ボストン教員

Students will attend a course at a local college. To the extent possible, they will complete the coursework assigned by the off-campus professor. Final grades will be given by the Showa faculty.

212067 TOEIC Preparation (BLIP07:3rd)
ボストン教員

The goals of this course are to teach strategies for test taking and to reinforce the areas of proficiency (in grammar, vocabulary, listening and reading comprehension) needed for success. Since the TOEIC texts are related to business, it includes much business terminology. There are repeated practice tests, which familiarize students with their areas of weakness.

212068 Directed Research Project （BLIP07:3rd）
ボストン教員

Students choose a topic that interests them and, over the semester, research the topic and complete a research paper. They gather information, using library and Internet databases, cite the sources of their information and make a complete bibliography. In addition, they create a portfolio detailing their academic and cultural experiences.

212069 Introduction to Culture （BLIP07:3rd）
ボストン教員

This course will examine the Anglo-American cultural tradition through texts from literature, history and media. It will identify the common elements in the US and UK and look at areas of difference. Connections will be made between British and American values and the era of globalization.

212070 Introduction to Linguistics （BLIP07:3rd）
ボストン教員

This course will introduce the themes of linguistics with special reference to the English which students are learning in Boston. It will look at the uniqueness of human language, at phonology and at issues of grammar and meaning. It will also trace the history of English, including its rise as an international language.

212071 Introduction to Communication （BLIP07:3rd）
ボストン教員

This course will combine theoretical concepts with practical exercises using English. It will examine different modes of communication such as two-person, small group, media and intercultural. The course will also cover the importance of non-verbal communication, comparing and contrasting its use in Japan and the US.

212072 Volunteer Activity （BLIP07:3rd）
ボストン教員

Students are placed in local institutions to provide volunteer help. These may include nonprofit agencies, daycare centers, hospitals and nursing homes, elementary schools, museums or theaters.

212073 Culture Elective C （BLIP07:3rd）
ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices include Understanding Disabilities, American Colleges, American Politics and American Women of Today. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

212074 Language C （BLIP07:3rd）
ボストン教員

Students will continue the foreign language that they began studying in Tokyo, at the intermediate level.

212075 資格検定 A Ⅰ（英検）
准教授　岸山　睦

実用英語技能検定（英検）等を受験する学生を対象とし、語彙、文法、読解力の強化といった総合的な英語力をつけることが目標。

① contexts ② analogies ③ knowledge

212076 資格検定 A Ⅱ（英検）
准教授　岸山　睦

実用英語技能検定（英検）等を受験する学生を対象とし、語彙、文法、読解力の強化といった総合的な英語力をつけることが目標。

① contexts ② analogies ③ knowledge

212077 資格検定 B Ⅰ（TOEIC 初級）
准教授　高野　恵美子

TOEIC テストのスコアアップを目指し、問題の対処法、勉強法を再確認する。この授業ではリスニングセクションの徹底的な攻略法を解説する。同時に語彙力の増強を目指す。

① TOEIC 対策 ②リスニングセクション対策 ③語彙力増強

212078 資格検定 B Ⅱ（TOEIC 初級）
准教授　高野　恵美子

TOEIC テストのスコアアップを目指し、問題の対処法、勉強法を再確認する。この授業ではリーディングセクションの徹底的な攻略法を解説する。同時に語彙力の増強を目指す。

① TOEIC 対策 ②リーディングセクション対策 ③語彙力増強

212079 資格検定 C Ⅰ（TOEIC 中級）
教授　森本　真一

TOEIC で問われる英語の聞き取りと読解の力をバランスよく身に着けていただくよう工夫しながら幾分長さのある文章を使って文法その他を解説する時間も作り、受講者の総合的な英語力向上の助長を目指す。

①聞き取り ②読解 ③文法

212080 資格検定 C Ⅱ（TOEIC 中級）
教授　森本　真一

この講座では様々な題材を扱った英文を極力幅広く読みながら TOEIC に対処できる語彙の拡充や聞き取りの力の養成を目論む。

①単語 ②聞き取り ③読解

212081 資格検定ＤⅠ（TOEIC 上級）

講師　杉橋　朝子

既に TOEIC650 点を取得している学生を対象に、スコア・アップを目指し、練習問題を解きつつ出題の傾向を把握し、文法や語彙の学習ポイントを指摘し受験への対処法を解説する。また、効果的な受験技術の説明も取り入れる。

① TOEIC 対策　②出題傾向　③受験対処法

212082 資格検定ＤⅡ（TOEIC 上級）

講師　杉橋　朝子

既に TOEIC650 点を取得している学生を対象に、スコア・アップを目指し、練習問題を解きつつ出題の傾向を把握する。リスニングとリーディングのそれぞれのセクションの対策を解説し、受験対処法を習得する。

① TOEIC 対策　②セクション対策　③受験対処法

212083 TOEFL Preparation Ⅰ

非常勤講師　ハリントン　デビット　グレン

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Reading skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEFL スコア向上のためのテクニックを習得する。

① TOEFL　②基礎力強化　③テクニックの習得

212084 TOEFL Preparation Ⅱ

非常勤講師　ハリントン　デビット　グレン

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Readng skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEFL スコア向上のためのテクニックを習得する。

① TOEFL　②基礎力強化　③テクニックの習得

212085 TOEIC Preparation Ⅰ

非常勤講師　クレイグ，ジェームズ

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Reaidng skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEIC スコア向上のためのテクニックを習得する。

① TOEIC　②基礎力強化　③テクニックの習得

212086 TOEIC Preparation Ⅱ

非常勤講師　クレイグ，ジェームズ

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Reaidng skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEIC スコア向上のためのテクニックを習得する。

① TOEIC　②基礎力強化　③テクニックの習得

212087 ボキャブラリービルディングⅠ

非常勤講師　古澤　寛行

This course aims at helping students acquire the basic vocabulary they need for communicative and academic purposes. It also provides information about derivatives of the words they learn in meaningful context.

① Etymology　② Usage　③ Definition

212088 ボキャブラリービルディングⅡ

非常勤講師　ゴドレー，ジェムス

A review of 600 basic words in specialized contexts that are often used in the TOEIC tests. The new words taught are not specialized words. They are general vocabulary words used in a variety of contexts. Recognition of grammatical forms, word families, and how to make ones own personal dictionary are skills taught.

① recognition　② analysis　③ memorization

212090 イギリス文化概論 B

准教授　博士（文学）　金子　弥生

18 世紀から 20 世紀までのイギリスを概観し、その歴史的背景や風土を考察する。映画・テープ等を適宜使用しながらイギリスの文化的背景を探る。

①時代背景　②国民性　③散文

212091 アメリカ文化概論 A

特任教授　島田　太郎

アメリカ文化の特質を日本文化との対比を念頭におきつつ考察する

①多文化主義　②広大な土地　③歴史の新しい人工的国家

212092 アメリカ文化概論 B

教授　森本　真一

主として 19 世紀中盤ごろから最近までにアメリカで書かれた評論、随想その他を極力緻密に分析し、南北戦争と近代化の意味、アメリカ人のヨーロッパ観、画一化する社会での文学や芸術などについて考えることを目論む。

①ピューリタニズム　②鍍金時代　③比較文化

212093 イギリス研究（伝統と風習）

非常勤講師　マッケーブ，ショーン

An overall look at life, culture and customs in England and some other English speaking countries. The lectures will be delivered supported by many props enabling students to have a hands-on experience.

① see　② believe　③ understand

212094 アメリカ研究（人種と宗教）

准教授　Ed.D.　川畑　由美

多文化国家であるアメリカは民族や宗教の違いによって様々な軋轢が生じている。現在アメリカが抱えている問題の多くは、宗教と民族をぬきにして考えることはできない。この授業ではアメリカの宗教情勢を読み解き、アメリカ人のアイデンティィや価値観について考察し、宗教や人種とかかわる政治的な諸問題について論じる。英文資料と短編の精読によって英語の読解力の向上も目指す。

①ユダヤ人　②アーミッシュ　③アメリカにおける同化と回避

212095 英米児童文学

教授　相原　由美子

この授業の到達目標は二つである。一つは Reading, Writing の英語力の向上をめざし、二つ目は児童文学の知識と楽しみを得ることである。アメリカからはリアリズムの作品を一つ選び、イギリスからはファンタジーの作品を一つ選んで多彩な児童文学の世界を検証する。

①リアリズム　②ファンタジー　③ Reading/Writing

212096 イギリス文化と女性

非常勤講師　清水　みち

19 世紀末から 20 世紀にかけてのイギリス文化の変遷と女性像との関連性を探る。文学や絵画、映画などに描かれた女性像は、大きく変貌した。女性の地位の変化に伴って、変わっていく女性の服装、教育制度、労働状況や社会思想について学ぶ。

①身分制度　②教育　③戦争と労働

212097 アメリカ文化と女性

准教授　Ed.D.　川畑　由美

植民地時代から 20 世紀初頭までの文学や映画に描かれたアメリカ女性像を紹介し、女性のライフスタイルを市場経済・社会思想・宗教・人種問題と関連づけフェミニズムの視点で考察する。英文資料と Little Women の抜粋を精読することで読解力の向上を目指す。

①ライフスタイル　②フェミニズム　③階級問題

212098 聖書入門

非常勤講師　PhD　増井　志津代

聖書を文学として学ぶ。旧約聖書を中心に、構成、歴史背景、地理、文学的ジャンルについて解説講義する。入門的クラスなので、聖書に親しみ、歴史背景や主要な物語を基礎知識として身につけることを目的とする。

①天地創造　②契約　③モーセ

212099 中世文学の愉しみ

准教授　博士（文学）　島崎　里子

イギリス中世とはどのような時代であったのか。人々の暮らしや思想、宗教、社会の様相を、当時の代表的な文学作品を通して考察する。中英語の原文で読むことにも挑戦する。

①『カンタベリー物語』　②『ガウェイン卿と緑の騎士』　③『アーサー王物語』

212101 16・17 世紀イギリス演劇（シェイクスピア）

教授　中村　豪

シェイクスピアのロマンティックな悲劇 Romeo and Juliet を読む。登場人物の性格の面白さ、プロットの展開の巧妙さ、随所にみられるユーモア等を味わいながらことばの意味を精査しつつ授業を進める。

①シェイクスピアの生涯　②時代背景　③シェイクスピアの文法

212102 18・19 世紀イギリスロマン派の詩

准教授　博士（文学）　島崎　里子

イギリスロマン派の詩の中から代表的な作品を読み、当時のイギリス社会や思想的背景について考察する。詩と絵画との関係や medievalism にも触れる。英詩を初めて学ぶ学生へのイントロダクションとなるように配慮する。

①ブレイク　②ワーズワース　③キーツ

212103 19 世紀イギリス小説（ヴィクトリア朝の肖像）

准教授　博士（文学）　金子　弥生

チャールズ・ディケンズの『クリスマス・キャロル』を読む。この小説を通して、19 世紀の生活様式、社会制度を考察しながら、人間として生きる意味を考える。必要に応じて映像テープを使用する。

①産業革命　②キリスト教　③家族

212104 20 世紀イギリス小説 A（フェミニズムの視点）

教授　相原　由美子

20 世紀イギリス文学の多様性を紹介することになる。D .H.Lawrence の作品には女性運動家が登場し、彼自身も進歩的な女性たちに取り巻かれている。そこに描かれた女性及周囲の女性たちの思想を取りあげて作品を紹介する。また D.Lessing の作品を読み女性問題を討議する。

① 20 世紀イギリス小説　②フェミニズム　③女流作家

212105 20 世紀イギリス小説 B（異文化の視点）

非常勤講師　清水　みち

日本生まれのイギリス作家 Kazuo Ishiguro の作品の中から、代表作 “The Remains of the Day” を読む。最もイギリス的な職業と言われる執事の回想の中から、自己を偽って生きた主人公の罪の意識、告白出来なかった愛、作りかえられた過去について考える。

①英国文化　②隠蔽された過去　③ミステリー性

212106 19 世紀アメリカ小説

特任教授　島田　太郎

19 世紀末の短編の名手 Ambrose Bierce の短編を読む

①極限状況の人間　②意外なプロット　③サスペンス

212107 20 世紀アメリカ小説 A

特任教授　島田　太郎

20 世紀後半に活躍したユダヤ系の代表的な小説家 Bernard Malamud の作品を読む

①ユダヤ人とは　② Humanism　③幻想

212108 20 世紀アメリカ小説 B

特任教授　島田　太郎

20 世紀後半に活躍したユダヤ系の代表的な小説家 Bernard Malamud の作品を読む

① J ユダヤ人とは　② Humanism ③幻想

212109 20 世紀アメリカ小説 C

教授　森本　真一

20 世紀アメリカの小説を錯綜し複雑化する時節の所産として捉え、語りや構成上の意匠の分析を通じて文章表現の可能性と限界について考えるとともに、創作と批評の理論も学ぶ。

①現実　②虚構　③齟齬

212110 20 世紀アメリカ小説 D

教授　森本　真一

本講座ではめまぐるしい社会情勢の変化と価値観の動揺を反映したアメリカの小説をできるだけ幅広く取り扱いながら作家の評伝や研究書の講読をも手掛ける。

①狂乱の '20 年代　②途上　③理由なき反抗

212111 「喪失の世代」のアメリカ

教授　佐藤　洋

1920 年代のアメリカを知ることは、現在のこの国の姿を理解する大きな手がかりとなる。「狂乱の 20 年代」と呼ばれた時代とはどのようなもので、「喪失の世代」はどうしてそのような国を後にしたのだろうか。その時代と文化をつなげて、アメリカ文化の本質に迫る。

①第1次世界大戦　②大衆文化の普及　③アメリカ文学の確立

212112 米文学と映画

教授　佐藤　洋

You will study the beginning of the movies at first. The development of cinematic techiques tells the role of the movies. Then you will study the reason that American movies had been becoming popular through 1920s to 30s. American novelists would help the movies to become more interesting and more artistic during those years.
Who are those writers helping them? What part are they playing?
This research will be useful to comprehend these two novels," Of Mice and Men" and " Breakfast at Tiffany's" dealt with in this course. Finally you will find it interesting to read novels and to watch the movies through this class experience.

① The beginning of the movies and its possibility ② The develpment of American movies ③ Imaginative similarity and difference between novels and the movies

212113 Creative Writing

准教授　コージー，ディヴィッド

To write good stories one must first read good stories. Thus in this class students will first read and discuss short stories, and then, applying what they have learned, write their own short stories.

① reading　② discussion　③ writing

212114 聖書研究

非常勤講師　PhD　増井　志津代

イエス・キリストの生涯を中心に新約聖書を講読する。キリスト誕生から、初代教会の成立までの歴史と共に、新約聖書特有の文学的な修辞についても学びたい。聖書やキリスト教に関する基本的な用語を紹介し、キリスト教文化を学ぶ為の基礎的な知識を身につける。

①福音書　②十二使徒　③初代教会

212118 近代イギリスのアートフォーム

教授　平井　法

英国の日常生活に深く根を下ろしている英国特有の美の様式とその歴史を、近代から現代に的を絞って学ぶ。英国人の美意識を通し、私たちの学ぶべき生き方を探るのが目的である。出来る限り実物や写真、映像などに触れたい。

①英国人の暮らし　②博物館　③美術工芸

212119 現代英国文化論

教授　平井　法

今日のイギリス社会を映した映像から、現代社会におけるさまざまな問題を掬い上げ、その背後にある深い歴史を学ぶ。〈英国の現状〉と〈歴史〉から、私たち日本人が学ぶべきことは何かを、討議を通して探って行きたい。

①英国の歴史　②英国の文化　③階級社会

212213 英文学思潮

教授　丹羽　正子

イギリス文学の初期から現代までの流れを、社会背景とともに展望する。各時代を代表する作家の作品の一部を、原書と翻訳で読む。特にヴィクトリア朝、18、19世紀　現代までの学生に関心のありそうな小説を紹介し、ビデオも併用しながら作品が生み出された時代の思潮を視覚的、立体的にとらえる。各学生は1作品について1回のプレゼンテーションをする。

①時代思潮　②作家と作品　③作品鑑賞

212214 イギリス文学研究Ⅰ

教授　丹羽　正子

イギリスの短編小説をいくつか取り上げ（①Katherine Mansfield　②Suzan Hill　③ Doris Lessing）、子ども観を探る。作品の生み出された時代背景を考えながら作者の子ども観を掘り下げるとともに、現代の子どもたちとの比較を試みる。　原書を読む愉しみを味わってほしい。

①階級　②思春期　③成長

212120 イギリス文学研究Ⅲ

教授　平井　法

日本生まれの英国人作家、カズオ・イシグロの映画化された代表作、『日の名残り』をテクストに、イギリスの貴族制度などの社会背景を学び、小説の翻訳、あるいは映画化が抱える問題、クロス・カルチャーについて考える。

①クロス・カルチャー　②小説と映像　③英国文化

212121 特別演習（イギリス文学（ファンタジー））

教授　相原　由美子

主として英米のファンタジー文学に関するテーマを選定させ、そのテーマについて調査、研究を指導するとともに、文章と文体、ワープロ・ソフトなど具体的な卒業論文の書き方を指導する。各人のテーマについて定期的にゼミ内で発表、討議する。

①ファンタジー文学　②論文の書き方　③ワープロ・ソフト

212122 特別演習（19 世紀とイギリス小説）

准教授　博士（文学）　金子　弥生

19 世紀のイギリスの文化と小説を中心に、各人が卒論で取り扱いたいテーマを追究し、研究報告を行うと共に、論文作成の方法を具体的に学ぶ。定期的に卒論を前提としたレポートを課す。

①テーマ　②論文の構成　③ヴィクトリア朝時代

212123 特別演習（アメリカ文化（人種とジェンダー））

准教授　Ed.D.　川畑　由美

人種、階級、地域、宗教においてあらゆる差異がうずまくアメリカ社会で男女の性差はどのような意味をもつのであろうか。映像やアメリカ女性の歴史が論じられている論文を通して幅広く研究する。

① Gender　② Multiculturalism　③ Class

212124 特別演習（20 世紀初頭のアメリカ）

教授　佐藤　洋

授業の中心は、卒論のテーマを決めること。そのテーマをどう展開させるか、そして仮説の設定の仕方などを面談を通じて、具体的に発展させていく。そして、その内容には、どのような文献、資料、データが必要かなどを討論する。また、資料などの探し方を指導する。

①卒論のテーマ　②テーマの発展のさせ方　③資料の探し方

212215 特別演習（20 世紀イギリス小説）

教授　丹羽　正子

現代イギリスの二人の作家 Doris Lessing, Margaret Forster の二つの作品" The Fifth Child"" Mothers's boys" を読み、現代イギリスの女性の実状、結婚観、家族観などに焦点を当てて考える。できるだけ原書で読み進める予定である。

①母性　②階級意識　③家族とは

212126 特別演習（アメリカ文化・比較文学）

教授　森本　真一

超大国への道を急速に歩んだアメリカと長い鎖国の後にわかに西欧文明の流入を見た明治以後の日本の文学や思想を、比較文学もしくは比較文化的な方法を用いて研究する。

①近代　②二元論　③キリスト教

212127 英語の歴史 A

准教授　博士（文学）　島崎　里子

かつて、ゲルマン語の一方言であった「英語」は、政治・経済・文化の様々な局面で長年にわたって異文化接触を繰り返し、今日の国際語としての地位を獲得した。古英語から現代英語に至るまで、各時代の文献や映像資料も参照しながら、英語という言語がたどってきた変化の過程を、言語と社会の関係に注目しながら解き明かす。

①英語はどこから来たのか？　②異文化接触　③標準化と多様化

212129 英語の歴史 C

特任教授　文学博士　小川　浩

英語の歴史をまず現代に近い時代（「近代英語」とよばれる）から学ぶ。ルネッサンス（大体シェイクスピアの時代）に始まり、17-8 世紀のつづり改革や文法書・辞書の時代を経て、やがて世界言語になるにいたったその歴史を概観する。

①ルネッサンス時代　②言語規範の確立　③世界言語

212130 英語の歴史 D

特任教授　文学博士　　小川　浩

前期に近代から始めた英語の歴史を、さらに古い時代（古英語・中英語）にさかのぼって理解を深める。いまのドイツ語と同じような言語であった英語が、フランス語などの影響を受けつつ、どのようにして現在の姿に近づいていったかを概観する。

①語尾変化の消失　②外国語の影響　③ノルマン征服

212131 英語音声学

教授　　小川　喜正

英語音声学・音韻論の基本的な理論を把握し、専門用語やIPAの記号に慣れ親しむ。主なトピックは母音・子音、アスピレーション、リズム、ストレス、イントネーション、同化、韻律音韻論、音素配列論、基本母音など。理論だけではなく、実用的な発音練習にも重点をおく。

① vowel and consonant　② rhythm　③ assimilation

212132 社会とことば A

教授　　増澤　史子

英語が社会でいかに使用されているかを様々な面からみていく。また同じ状況で日本語はどのように使われているかも比較してみる。身の周りにある英語に focus していく。

①社会　②状況　③広告

212133 社会とことば B

教授　　井原　奉明

英語は世界の様々な地域で使われ、地域ごとの変種も多様である。「英語」は、標準英語も含めて単数概念でなく複数概念であるという考え方に基づいて、世界各地の英語およびそれが使用されている地域について理解を深める。

①変種　②標準英語　③ Englishes

212134 社会言語学研究

教授　　井原　奉明

今年度は「土着化した英語」をテーマに、日本に根づいた英語に関する理解と考察を深める。日本の場合、アジアの他地域とどこが異なるのか、なぜそうなのか、といった問題意識を持って学ぶことによって新たな視点から日本語と英語を捉え直したい。

①外来語　②和製英語　③装飾的用法

212135 社会言語学（言葉と場面）

教授　　小川　喜正

社会言語学全般にわたる基礎知識を身につける。主な課題は文体、言語使用域、言語と方言、社会階級方言、多言語併用、多方言併用、言語と性、民族と言語、言語接触など。 講義、デイスカッション、発表は原則として英語で行なう。毎週 2 ～ 4 項目程度の重要なポイントに的をしぼり、英語で group discussion を行なった後、グループの代表者が英語で発表する。カバーしきれないその他の項目は、担当教員が講義する。

① style　② register　③ code-switching

212136 心理言語学

教授　Ed.D.　　ロブソン，ゴードン

As an introduction to the major areas of psycholinguistics, this course will cover such topics as first language acquisition and its stages as well as the theories supporting the innateness of linguistic knowledge. We will also look at the distinctions between linguistic knowledge and linguistic performance, the comprehension of what is said or what we hear, and the grammaticality of sentences. Language loss and the case of Genie will be examined to see how language is organized in the brain. Finally we will look at SLA.

① Acquisition　② Production & Comprehension　③ Language　Loss

212216 言語政策論

准教授　　李　守

明治維新以降，日本語が近代化の過程で，国家の言語＝国語として整備されていく歴史を諸外国における言語政策と比較しながら説明する .

①国語国字問題　②正書法　③方言

212137 ことばの意味のしくみ（語と辞書）

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

ことばについて勉強したいと思う人たちのための導入的な授業。日常の生活の中でのことばの意味についてのさまざまな経験から出発し、それらが学問的にどのように扱われるかを学ぶ。前期は下記テキストによって、語と語彙に関係する事項（第 1 章～第 5 章）を扱う：池上嘉彦『意味の世界』日本放送出版協会 . 目次内容はシラバスの授業内容を参照。

①言語　②意味　③文化

212138 ことばの意味のしくみ（文からコミュニケーションへ）

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

ことばについて勉強したいと思う人たちのための導入的な授業。日常の生活の中でのことばの意味についてのさまざまな経験から出発し、それらが学問的にどのように扱われるかを学ぶ。後期は下記テキストによって、文からコミュニケーションにわたる分野を扱う：池上嘉彦『＜英文法＞を考える』（筑摩学芸文庫）. 目次内容はシラバスを参照。

①言語　②意味　③文化

212141 英語を通して見える世界（コトバと文化）

准教授　鈴木　博雄

英語学（の研究）史において、重要かつ有益な発想法いくつか取り出し、その長短について講義する。この授業では、①語の意味構造の分析による異文化理解の方法（言語文化論）、②日常の経験的知識がいかに言語表現に反映しているのか?（認知文法論）について考える。卒論作成のためのヒントを提供したい。

①サピア＝ウォーフの仮説 ②成分分析 ③メタファー

212142 英語観察術（翻訳の世界）

准教授　鈴木　博雄

E. Nidaの翻訳理論に基づいて、翻訳論のあり方について、講義した後、英語から日本語への翻訳および日本語から英語への翻訳の楽しさを味わうため、さまざまなジャンルの文章を教材としながら、実践的な翻訳を行う。

①翻訳 ②表現の省略と補足 ③文法から文体へ

212143 児童英語実践指導法

非常勤講師　小泉　清裕

小学校英語教育についての歴史的概要の認識と現状把握を行い、今後、公立小学校で実施される外国語活動に生かせる実践的な授業を行う。指導者に求められる基本的な指導法や指導技術を紹介し、その習得を目指す。さらに授業案の作成を行い、その授業案に基づいた活動を附属小学校または幼稚園で実践する。

①小学校英語 ②指導法 ③授業案

212144 英語科教育法 A ※

教授　博士（教育学）　金子　朝子

様々な角度から英語の習得について検討し、どのようにそれを時代のニーズに応じた英語教育に応用するかを研究する。また、教育指導案の作成とモデル授業を行い、教育実習に備える。

① teaching methods ② teaching plan ③ 指導要領

212144 英語科教育法 A ※

教授　緑川　日出子

英語教授法、指導技術、学習指導要領、教材研究、評価、ティーム・ティーチング等について広く学び、英語教員の資格取得に必要な知識と技術を学ぶ。授業には、教授法と指導理論に関する発表、授業実演、公開授業を含む授業研究会参加が含まれる。

①学習指導要領 ②授業指導法 ③第二言語習得

212146 文の仕組みと捉え方

准教授　高野　恵美子

基本的な文の仕組み（structure）を復習し、実際に使われている英語を用例として、コンテクストによりどのような文法の選択（choice）がなされているかを理解する。形が違えば、捉え方（construal）すなわち意味が違うことを確認する。

① Grammar as structure ② Grammar as choice ③ Grammar and construal

212147 ことばの成り立ちと仕組み

准教授　高野　恵美子

ことばの仕組み（the internal structure of words）を分析し、ことばの成り立ちの過程（word-formation processes）を理解する。さらにことばの意味関係についても考える。英語だけでなく日本語の例も取り扱いながら、ことばを形と意味の両面から捉える。

① Structure of words ② Word-formation processes ③ Sense relations

212148 Communicative Grammar of English

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ

This course will focus on the use of grammar in everyday speech and writing. Learning about communicative aspects of particular grammatical structures will help students become more accurate, effective, and confident when communicating in English.

① Communication ② Accuracy ③ Confidence

212217 Teaching English to Preschool Children

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ

This course will introduce students to teaching English to children aged 3 - 6. It will provide an overview of key characteristics, needs and strengths of this age group of learners as well as some practical ideas for class activities.

① Preschool children ② Learner characteristics ③ Fun activities

212150 英語教授法

教授　緑川　日出子

この授業は、教員採用試験受験を考えている学生と、今年度教育授業参加学生を対象に、ビデオによる授業法の研究とマイクロ・ティーチング実践を中心に行なう。授業法理論の復習と教室英語の用い方等を体験を通して学ぶ。

① TESOL ② Methodology ③ Classroom English ④ Micro-teaching

212151 幼児・児童への英語指導と教材開発

准教授　高味　み鈴

この授業では、幼少期の子どもたちの特徴を把握し、英語に対するモーティベーションを高めることを目的とした教材・活動作りや授業運営に関連する事項を学び、学期末には子どもたちを教える実習を行なう。

① Creativity ② Motivation ③ Fun

212152 英語分析とコンピュータ

教授　博士（教育学）　金子　朝子

新聞や映画を利用して各自がコーパスを作成し、「意味」と「言語の使用」について研究する。さらに、コンピューターを利用した英語分析ツールを使って、初歩的な英語使用の分析とリサーチに取り組みたい。

① WordSmith ② frequency ③ collocation

212153 現代英文法 A（重要構文に慣れる）

准教授　鈴木　博雄

英語の代表的な構文をいくつか取り上げ、なぜそのような構文が使われるのか、ということについて意味論的、語用論的な側面から考察する。理解を深めるために、必要に応じて、日本語の場合との比較も行う。

①文の情報構造　②意味論的根拠　③経験的基盤

212155 現代英文法 C（英語感覚トレーニング）

准教授　岸山　睦

日本人英語学習者の英語に対する感覚と英語母語話者の感覚の間に存在する類似性及び異質性を、主として認知言語学の立場から指摘する。その際、受講者の日本語についての意識を確認するための簡単な和文英訳練習を行うことで、日英語間の文法的、意味論的な違いを印象づけることに留意した授業を展開する。

①英語の感覚　②日英語対照分析　③認知言語学の可能性

212156 第二言語習得

教授　緑川　日出子

このコースでは、第二言語習得に関する理論を読み、主に母語習得と第二言語習得の共通点と相違点、第二言語習得、学習者の中間言語について学ぶ。授業には、講義、輪読と討議に加え、第二言語習得に関する実験や調査が含まれる。将来英語教師を志す学生、英語の教育実習を予定している学生、さらにひとはどのように外国語を学習するか学びたい学生に役立つコースである。

① First/Second language acquisition　② Learner language　③ Classroom research

212157 学習者言語の特徴

教授　博士（教育学）　金子　朝子

SLA（第二言語習得）研究に関する最近の研究や基本的な理論（仮説）を理解する。学習者の個人差、中間言語、教室内の言語習得を理解し、学習者言語の特徴について学ぶ。また、教室内の言語習得過程に影響を与えるさまざまな要因を考察する。

① individual differences　② interlanguage　③ feedback

212158 英語の語源学・言葉の誕生を知る

准教授　岸山　睦

この授業の全体的テーマは英語の語源学の分析的方法とその考え方とを学ぶ。まず、印欧語の説明に始まり、英語史に触れ、最終的には vocabulary building にまで進み、実学としての語源学の側面も学んでゆく。なお、日本語の語源についても英語との関連で、随時解説する。なお、ギリシャ神話については毎回少しずつパワーポイントで説明する。

① Greek　② Latin　③ Sanskrit

212159 初期英語の作品研究 A

特任教授　文学博士　小川　浩

マロリー(Thomas Malory)の『アーサー王物語』(1470年頃）を原作で読む。15 世紀末の作品というとずいぶん難しそうに聞こえるかも知れないが、実際は現代英語とそれほど大きくは違わない。とくに授業では現代英語の綴り字に直した版を用いるので、あまり違和感はないと思う。辞書を丹念に引きながら、「英語の古文」の面白さ、物語の面白さを味わってもらいたい。毎年『アーサー王物語』の有名な部分を読んでいるが、今年度前期は「聖杯探求の物語」を読む。

①英語の古文②中世英文学　③アーサー王物語

212160 初期英語の作品研究 B

特任教授　文学博士　小川　浩

前期に引き続いて、マロリーの『アーサー王物語』(1470年頃）を原作で読む。後期はランスロットを主人公とする「荷車の騎士」の部分を講読する。

①英語の古文　②中世英文学　③アーサー王物語

212161 特別演習（ことばと思考）

教授　井原　奉明

ことばは、人々がモノを創り、伝え、つながる基盤となるばかりか、ひとりひとりのアイデンティティとして機能する。人間におけることばの存在の大きさを学び、ことばに関する理解を深めることを目的とする。

①言語機能　②意味　③思考

212162 特別演習（音声学・社会言語学）

教授　小川　喜正

卒論作成のための学生個人の研究・調査と中間報告を中心に授業を進める。関連した参考文献などに基づくディスカッションやデータ処理の演習も併せて行う。

① research design　② qualitative research　③ quantitative research

212163 特別演習（英語の語源研究）

准教授　岸山　睦

英語学の、特に語源に関する論文を読み、その発想と技法を学んでゆく。英語の語源辞書の調べ方とよい論文の書き方を学ぶ。

①言語変化　②言語接触　③言語分類

212164 特別演習（英語の歴史）

准教授　博士（文学）　島崎　里子

英語に関する様々な問題を歴史的な視点から考察する。各人が卒論で扱いたいテーマや研究成果について定期的な報告を行い、相互批評やレポート作成を重ねながら卒論作成の具体的な方法を学ぶ。

①意味の変遷　②統語の発達　③借用語の受容

212165 特別演習（言語と文化（現代英語から見る英語文化））

准教授　鈴木　博雄

小説、時事英語、諺などの生きた英語から現代英語を実証的に考察することにより、英米文化の特質や英米人の発想法を探る。日英語の比較、談話分析、発話行為論、語の意味論などの領域で卒論を作成しようとする学生を対象。具体的な方法論は、「英語観察術」「現代英文法A」で詳述する。

① 言語文化論　② 言語構造論　③ 言語使用論　④ 文献の探し方

212166 特別演習（ことばの形と意味）

准教授　高野　恵美子

ことばの形と意味を、語・文・テクストのそれぞれのレベルで分析することにより、両者の関係を理解する。文化的背景も考慮に入れた日英語の対照研究を行い、その相違点、ならびに共通点について考察する。研究テーマに関連する論文を読む。

① 意味関係　② 構造と捉え方　③ 言語と文化

212167 特別演習（子どもたちへの英語教育）

准教授　高味　み鈴

第二言語習得並びにその効果的な教授法に関する研究を進めていく。幼少期の学習者を主なる研究対象と定め考察を行ない、卒論執筆に向けてのリサーチを展開する。

① Young Language Learners　② Language Acquisition　③ Teaching Technique

212168 特別演習（Foreign Language Teaching and Learning）

准教授　ドゥブラヴチッチ，ヤスナ

This seminar is designed to help students become more successful language learners as they study about different issues related to learning and teaching foreign languages. The course work will also include practice in note-taking, paraphrasing, summarizing, and writing a short research paper.

① language learning　② learning strategies　③ successful learners

212169 特別演習（社会言語学・語用論）

教授　増澤　史子

社会言語学や語用論やコミュニケーションの面からから会話や言語を分析していく。また卒論の基礎となるレポートの書き方も学ぶ

① Sociolinguisitcs　② Pragmatics　③ Communication

212170 特別演習（第二言語習得・英語教育）

教授　緑川　日出子

このコースは、外国語習得理論と効果的な教授法に関する理論と研究データを手掛かりに、第二言語習得について実験研究したいこと、日本の英語教育改善のために貢献できること等をテーマとして、卒論研究と卒論完成を行うまでのセミナーである。コースには、講義、輪読、討議、発表、研究大会参加が含まれる。将来英語教育に関わっていきたいと希望する学生のためのコースである。

① Second language acquisition　② TESOL　③ Classroom techniques

212171 特別演習（Methodology in Language Teaching）

教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン

This course will be a continuation of the previous semester with weekly topics and summary writing. In addition, students will begin writing their theses.

① Teaching　② Methodology　③ Thesis

212172 異文化コミュニケーションⅠ

講師　杉橋　朝子

人は異文化に触れることによって、初めて自分の価値観や物の見方が他と異なることを知る。授業では様々な文化的指標を用いて異なる文化への理解を深め、異文化的背景を持つ人々との違いを比較しながら異文化コミュニケーションについて考える。

① Communication　② Cultural constructs　③ Perception

212173 異文化コミュニケーションⅡ

非常勤講師　マルボック，マーク

We will review some major concepts of Intercultural Communication such as ethnocentrism, stereotyping and culture shock. Students will read about and discuss some current issues in intercultural communication. Paper or oral report, in English, is required.

① assumptions　② values　③ multiculturalism

212174 スピーチ・コミュニケーションA

教授　小川　喜正

【English Expressions in Movies】This course provides ELC students with opportunities to learn useful English expressions and communicative skills and strategy. The class will appreciate a number of famous scenses of distinguished American movies. After the movie viewing session, the students will engage in small-group discussions, which are concluded by an oral report by each group's representative.

① idioms　② discussion　③ presentation　④ comprehension

212175 スピーチ・コミュニケーション B

講師　杉橋　朝子

【Oral Presentations】This is a lower level course for speaking in public. Students will study various types of public speaking and how to improve presentation skills.

① delivery ② voice ③ style

212176 スピーチ・コミュニケーション C

准教授　高味　み鈴

【Classroom English】この授業では、英語を教える際に教室にてよく使用される英語表現を学習する。毎週多くの表現を紹介し、その意味、使用場面、関連表現等の解説や発音練習を行なう。英語の授業に使えるゲームや歌も紹介する。

① Classroom English ②英語活動 ③英語のゲームと歌

212178 スピーチ・コミュニケーション E

非常勤講師　ペック，ブライアン

【Speaking Out】This course is designed to develop presentation skills. Each student will prepare and present 4 original speeches to the class. The speeches will not be read from notes. Classmates are encouraged to ask questions after each speech.

① Brainstorm ② Prepare ③ Present

212181 日英文化比較

非常勤講師　マッケーブ，ショーン

This course looks at various aspects of traditional Japanese culture making where possible comparisons with similar items in British culture.

① glean ② absorb ② assimilate

212183 秘書英語講座 A

非常勤講師　宮島　瑞穂

社会に出てから不可欠な秘書としてのオフィス会話、ビジネス会話を中心に即戦力・実践力を養うことを目標とする。また英字新聞や Newsweek も教材に使用しながら求人広告の読み方、プレゼンテーションスキルの向上も目指す。

① Telephone calls ② Classifies Ads. ③ Resume

212184 秘書英語講座 B

非常勤講師　宮島　瑞穂

社会に出てから不可欠な秘書としてのオフィス会話、ビジネス会話を中心に即戦力・実践力を養うことを目標とする。また英字新聞や Newsweek も教材に使用しながら求人広告の読み方、プレゼンテーションスキルの向上も目指す。

① Business Letters ② Presentation ③ Interview

212185 ビジネスコミュニケーション A

教授　増澤　史子

ビジネスに使用される英語を様々な側面から学ぶ。Listening, Speaking, Reading,Vocabulary Building に Focus する。英文履歴書の書き方や短いプレゼンも行う。授業は全て英語で行う。TOEIC の試験や社会にでてからの英語に役立つ。

① advertising ② marketing ③ presentation

212186 ビジネスコミュニケーション B

教授　増澤　史子

Ｅメールやビジネスレターに焦点をあてる。ビジネスの交渉や社交に必要なやりとりなど例をあげて説明する。

①交渉 ②社交 ③あいさつ

212189 Stage Performance

非常勤講師　ゴドレー，ジェムス

Theory and practice of the fundamentals skills of scene work; analysis of The Glass Menagerie by Tennessee Williams and its social background. In pairs, students practice short scenes from the play selected.

① plot ② theme ③ character

212191 通訳法

講師　杉橋　朝子

通訳とは話し手と聴き手の間の言語的・文化的橋渡しという役目を持つ。より良い Communicator としてのスキルを学びながら、Presentation の効果的な方法も身につけられるよう、通訳の基礎訓練を行なう。

① Effective communicator ② Summarizing ③ Note-taking

212192 通訳ガイド

非常勤講師　古澤　寛行

This course aims at helping students increase their understanding of Japanese culture, history, geography, religion, values, political and legal system. All handouts will be prepared in English.

① Culture ② Customs ③ Values

212193 テクニカルライティング

教授　金徳　多恵子

大学で学んできた英語を実社会で「使える英語」にするためのコミュニケーション技術を修得することを目的とする。実用英語において不可欠な論理性を中心とした文章構成法及び卒論を書くために基本的な構成やサマリーの書き方を指導する。

①文章構成法 ②対象分析 ③説得法

212194 Critical Thinking

教授　井原　奉明

クリティカルシンキングによって身につける力とは、議論が信頼できる情報源と正確なデータに基づいているか、論理的な推論・適切な推測に従って有効な結論を提示しているかを分析する思考力である。この授業では、英語を使ってこの能力の育成を図る。

①推論と推測　②データの信頼性　③反論

212195 Arts in English

准教授　コージー，ディヴィッド

Students will examine a variety of artworks including music, film, poetry, fiction, painting. They will learn how to discuss and write about art critically and intelligently in English.

① art　② discussion　③ criticism

212196 Alternatives in Life

准教授　コージー，ディヴィッド

In this class students will think about, discuss, write about, and give presentations about alternatives to various aspects of life and society which we often unthinkingly refer to as normal. They will consider these alternatives to the ways we normally act and think. The class will be conducted entirely in English.

① discussion　② presentation　③ alternatives

212197 ニューズ英語 A

非常勤講師　原田　慎一

「CBS Evening News」のトピック毎のリーディング・リスニングを通して、政治・経済・国際関係等の受信力を高める。教科書と併用して、比較的平易な国内英字新聞（Daily Yomiuri 等）を読み、重要な文法事項を確認する。毎週、「ニューズ英語」の受発信に必要な4000 語の単語テストを行う。

①時事英語　②基本語彙 4000 語　③スラッシュリーディング

212198 ニューズ英語 B

非常勤講師　原田　慎一

「CBS Evening News」のトピック毎のリーディング・リスニングを通して、政治・経済・国際関係等の受信力を高める。教科書と併用して、比較的平易な国内英字新聞（Daily Yomiuri 等）を読み、重要な文法事項を確認する。毎週、「ニューズ英語」の受発信に必要な4000 語の単語テストを行う。

①時事英語　②基本語彙 4000 語　③シャドーイング

212199 コンピュータ・リテラシィ A

教授　中村　豪

初めに、ファイルの扱い方やトラブル・シューティングも含めて Windows の基礎を確認する。次に、Word と Excel を使用して、日英混在文書や画像・表の入った文書作成法を学ぶ。その後、段組の方法も扱い、DTP 的ファイルの入力法を習得する。

① Windows の基礎　② Word　③ Excel

212200 コンピュータ・リテラシィ B

准教授　ライアン，ケビン

Computers and Thinking. Students explore and try out different ways of thinking that computer users often need. We focus on new web-based activities (called Web 2.0) such as social software (English versions of Mixi), tagging (organizing your knowledge online), using online software to be more productive (word processors, spreadsheets and presentation software), using media to learn English (using and making podcasts, video and slide shows).

① Web 2.0　② online　③ virtual groups

212201 コンピュータ・リテラシィ C

准教授　ライアン，ケビン

Managing Groups with Technology. This class focuses on using PowerPoint and other software for advanced presentations, keeping records of individual progress with Excel spreadsheets, and organizing a group (or class) online using Group Management Software.

① Power Point　② Course Management　③ CALL

212202 マルチメディア・コミュニケーション

准教授　ライアン，ケビン

Blogs, Wikis and Podcasts are all tools to communicate on the Internet these days. We learn how to read, listen, and make all of these. We explore writing a class blog (similar to Mixi) in English. We work together to show the world a little about ourselves and our thinking in an organized way (wiki). We record interviews to make a podcast (Internet radio show) about what we think and feel. We explore the uses of video online and how to edit and make a video to put online.

① Simulation　② Game Theory　③ Learning

212204 ラジオ・プロダクション

准教授　コージー，ディヴィット

In this class students will write and record radio programs which will be broadcast on a real radio station, FM Setagaya. Students must be available on Thursday evenings after class (until about 7:00). That's when we record the programs.

① Radio ② Speaking ③ Writing

212205 ビデオ・プロダクション

准教授　ライアン，ケビン

Students learn visual vocabulary of human interaction through watching short informational, documentary or advertising videos for the first three weeks. Then, in teams, students follow a typical video production process of ideas, scripting, storyboarding, planning, filming, editing, and distributing to make a short video for the final project.

① production ② editing ③ video

212206 Popular Culture (Media) A

非常勤講師　ペック，ブライアン

In this class we will study the development of mass media, from radio to television. We will look at examples to see how times have changed in the world of broadcasting. Students who take this class will have priority for Popular Culture (Media) B.

① History ② Technology ③ Culture

212207 Popular Culture (Media) B

非常勤講師　ペック，ブライアン

In this class we will study current trends in mass media, particularly TV. Advertising and Reality TV will be given special attention. Students who took Popular Culture (Media) A will have an advantage in this class.

① Humor ② Reality ③ Marketing

212208 Film Studies

准教授　Ed.D.　川畑　由美

アメリカ文化を反映するハリウッドの映画をフェミニズム、多文化主義の視点から分析する。映像世界を通じて、アメリカの様々な文化的背景を考察し異文化への広い関心を持つことで、多元的な視点を養うことを目的とする。英文資料を精読することで読解力の向上を目指す。

① Hollywood ② Gender ③ Body Image

212210 Seminar A

非常勤講師　バトラー，クリスタベル

In this class we will develop skills for self expression and being able to communicate ideas. We will use topics about human behavior to develop communication skills and vocabulary.

① human behavior ② human relationships ③ social issues

212212 Seminar C

非常勤講師　ハリントン　デビット　グレン

We are defined by our ideas. The ability to communicate those ideas clearly, effectively and persuasively is an essential skill for future success. The purpose of this course is to help students be better able to systematically express their ideas in a formal situation, specifically a presentation. Students will be asked to make several oral presentations and to participate in a number of group presentation projects.

① Presentation ② Discussion ③ Public Speaking

212218 Grammar Workshop Ⅰ

非常勤講師　バトラー，クリスタベル

The purpose of this course is to review and practice using basic grammar forms that are necessary for effective communication. We will use writing, classroom tasks and games to improve skills for understanding structures and patterns of structures of language.

① grammar ② patterns ③ effective communication

212219 Grammar Workshop Ⅱ

非常勤講師　バトラー，クリスタベル

The purpose of this course is to review and practice using basic grammar forms that are necessary for effective communication. We will use writing, classroom tasks and games to improve skills for understanding structures and patterns of structures of language.

① grammar ② patterns ③ effective communication

212220 Intensive Listening Ⅰ

教授　柏木　厚子

The purpose of this course is to develop students' listening abilities through exposure to a wide range of listening materials. A variety of exercises will be used to have students develop both bottom-up and top-down listening strategies.

① bottom-up ② top-down ③ listening strategies

212221 Intensive Listening Ⅱ

教授　柏木　厚子

The purpose of this course is to further develop students' listening abilities through exposure to a wide range of listening materials. A variety of exercises will be used to have students develop both bottom-up and top-down listening strategies.

① bottom-up　② top-down　③ listening strategies

212222 通訳・翻訳研究

教授　柏木　厚子

実際の通訳者の訓練で使われる基礎トレーニング（note-taking、retention、paraphrasing、summarizing、etc.）を使いながら通訳技術の習得のみではなく、英語力一般の増強も図る。翻訳のプロセスも経験し２つの言語の橋渡しの難しさ、楽しさを体験する。

①原文の理解　②再創造　③訳文の自立性

212223 NGO/NPO の歴史

非常勤講師　ホルバート，アンドリュー

How were NGOs created? How do they work? Who gives them financial support? Who goes to work for an NGO? What is the relationship between an NGO and an NPO (non-profit organization)? Which country is most NGO friendly, and which countries oppose them? This course will cover the history and mission of NGOs and NPOs. It is designed as a survey course on the non-profit sector and the place NGOs occupy in it.

① NGO/NPO　②歴史　③現状

212224 異文化間コミュニケーション

非常勤講師　ホルバート，アンドリュー

This course will survey not only the standard literature on cross-cultural communication but will also discuss such issues as the nature of race prejudice and strategies for improving relations between members of majority and minority groups. Finally, the course will deal with communication on a transnational level, such as has taken place recently between Japanese and Koreans seeking to promote better relations with each other.

① Culture　② Identity　③ Communication

212225 ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム

常勤　ボストン教員

ボストンサマーセッションでビジネス英語を集中的に学習する。午前はビジネス英語を中心にビジネス会話や履歴書の書き方などを学ぶ。午後は会社訪問を行なったり、店を経営している人をインタビューしたりする。スケジュールが合えば、ハーバードビジネススクールを見学に行くこともある。

① Business　② Management　③ Resume

212226 特別演習（テクニカル・コミュニケーション）

教授　金徳　多恵子

実社会に出て役に立つ英語コミュニケーション技術の習得と研究を目的とする。広範囲なコミュニケーション活動に注目しながらも、英米等の authentic English をデータとして、特に、Written Communication に焦点をあてた調査研究をする。

① purpose　② audience　③ rhetoric

212227 特別演習（Modern Short Fiction/Modern Social Problems）

准教授　コージー，ディヴィット

Students will decide on the topics of their theses and work closely with the instructor to establish clear claims. They will do the reading and research necessary to support their claims and, under the instructor's supervision, begin writing

① thesis　② writing　③ research

212228 特別演習（異文化コミュニケーション）

講師　杉橋　朝子

異文化から男女の性差、ジェネレーションギャップまで、違いについて発見、考え、共生について学びます。リサーチの仕方と論文の書き方について学習します。

① Consciousness Raising　② Cultural Awareness　③ Language Usage

212229 特別演習（Information Technology）

准教授　ライアン，ケビン

Information Technology is changing the way we communicate and interact. We study how technology is changing our lives and language. Students learn how to write a long paper in English by going through the process of writing a short research paper. Special effort is spent on collecting and analyzing information, plagiarism and citing references. Students can choose the topic of their paper if it relates to IT or language learning.

5. 歴史文化学科

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
必修	歴史学概論	山本（博）	213001	2								1		
	文化論	田畑	213002		2							1		
	文化財学概論	増田	213003			2						2		
	ジェンダー論	掛川	213004				2					2		
	日本史通論	千葉	213005					2				3		
	世界史通論	吉成	213006						2			3		
	歴史文化論A	関口	213007							2		4		
	歴史文化論B	山本（博）	213008								2	4		
歴史・考古	史料解読	山本（博）	213009	②	②	②	②					1	◎同	（日文）　※※ T1
	古文書解読	久保	213010			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近代女性史文献講読	掛川	213011	②	②	②	②					1	◎	※※ T2
	日本近現代史史料解読	千葉	213012	②	②	②	②					2	◎	※※ T3
	日本古代史	中村	213013	②	②	②	②	②	②			1	×	
	日本古代史特論	中村	213014	②	②	②	②	②	②	②	②	2		
	日本中世史	山本（博）	213015	②	②	②	②	②	②			2		（心理・現代）
	日本近世史	太田	213016	②	②	②	②	②	②			1	×	（心理・現代）
	日本近世史特論	太田	213017	②	②	②	②	②	②	②	②	2		
	日本近現代史	千葉	213018	②	②	②	②	②	②	②	②	2		
	日本近現代史特論	岩城	213019	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	日本女性史	児島	213020	②	②	②	②	②	②			2	×	（心理・現代）
	日本女性史特論	児島	213021	②	②	②	②	②	②	②	②	3	×	
	比較女性史論	掛川	213022	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	日本思想史	米井	213023			②	②	②	②	②	②	2	◎同	（日文）
	有職故実	久保	213024	②	②	②	②	②	②			2	◎同	（日文）
	ヒエログリフ入門	吉成	213025	②	②	②	②					1	◎	※※ T4
	ヒエログリフ・テキスト解読	吉成	213026			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	古代エジプト史	吉成	213027	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	古代オリエント文化史	吉成	213028	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	西洋中・近世史	三森	213029	②	②	②	②	②	②			1	◎	
	キリスト教文化史	掛川	213030	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	東洋史概説	田熊	213031	②	②	②	②	②	②			1	◎	（心理・現代）
	東シナ海文化交流史	菊池（誠）	213032	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	考古学概論	山本（暉）	213033	②	②	②	②	②	②			2	◎	学部生のみ可　※ S1
	考古学基礎	小泉	213034	②	②	②	②					1		※※ T5
	実験考古学	御堂島	213035	②		②		②		②		2	◎	
	考古学実習A	山本（暉）	213036	①		①		①		①		2	◎	
	考古学実習B	小泉	213037		①		①		①		①	2	◎	
	日本考古学特論A－縄文－	山本（暉）	213038			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	日本考古学特論B－弥生・古墳－	小泉	213039			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	日本考古学特論C－中世・近世－	小野（正）	213040			②		②		②		2	◎	
	アジア考古学	菊池（誠）	213041	②	②	②	②					2	◎	
	アジア考古学特論	菊池（誠）	213042			②	②	②	②	②	②	3		

※S1～S7の中から4単位以上選択必修　※※T1～T14の中から4単位以上選択必修

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
美術・伝統文化	日本美術史概説	内田	213043	②	②	②	②					1	◎	※S2
	日本美術史基礎	内田	213044	②	②	②	②					1	◎	※※T6
	日本美術史特論A－江戸絵画－	内田	213045				②		②		②	2	◎	隔年開講
	日本美術史特論B－鎌倉美術－	内田	213046			②	②	②	②	②	②	2	×	隔年開講
	工芸史	竹内	213047	②		②		②				2	◎	
	東洋美術史概説	川瀬	213048			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	西洋美術史基礎	木下	213049	②	②	②	②	②	②			1		※※T7
	西洋美術史概論	木下	213050	②	②	②	②	②	②			1	◎同	※S3
	西洋美術史特論－スペイン美術－	木下	213051			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	現代美術論	遠藤（望）	213052	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	日本建築史	平井	213053	②	②	②	②	②	②			1	◎同	（文化）「日本文化F（建築）」
	ヨーロッパ建築史	堀内	213054	②		②		②				2	◎	
	西洋館の文化史	堀内	213055		②		②		②			2	◎同	（一般）
	日本芸能史	大谷津	213056	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	
	日本芸能史基礎－調査法－	大谷津	213057		②		②		②		②	1	◎	※※T8
	日本芸能史特論	大谷津	213058			②	②	②	②	②	②	3	×	隔年開講
	演劇文化論	大谷津	213059			②	②	②	②	②	②	3	◎	隔年開講
	映画史	野島	213060	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	日本服飾史	安蔵	213061	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	服飾史資料基礎	神埜	213062	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	※※T9
	西洋服飾史	神埜	213063	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	染織工芸論	安蔵・谷井・下村	213064	②	②	②	②	②	②	②	②	2	×	
	仏教文献講読基礎	関口	213065	②	②	②	②	②	②			2	◎	※※T10
	仏教文化史	関口	213066	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	
	歴史文化特論－寺社縁起の世界－	阿部（美）	213067	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	禅と日本文化	田熊	213068	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	伝統文化の現場	歴史文化学科教員	213069	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	茶道史・茶道演習	戸川	213070	②	①	②	①	②	①	②	①	3	◎	
地域と民族の文化	日本生活文化史概論	大谷津	213071	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	※S4
	民俗学概論	渡辺（伸）	213072	②	②	②	②					1	◎	※S5
	民俗調査法	大谷津	213073	②		②		②		②		1	◎	※※T11
	民俗学特論A－地域と祭り－	渡辺（伸）	213074			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	民俗学特論B－民俗と民具－	小川（浩）	213075		②		②		②		②	2	◎	
	人文地理学概論	田畑	213076	②	②	②	②	②	②			1	◎	※S6
	自然地理学概論	大山	213077	②	②	②	②	②	②			1	◎	（心理・現代）
	地域調査法－ﾌｨｰﾙﾄﾞｻｰｳﾞｪｲ入門－	田畑	213078	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×	※※T12　隔年開講
	地理学特論－地理学の諸問題－	田畑	213079			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	地誌通論A－日本地誌－	福島（義）	213080	②		②		②				2	◎	（心理・現代）
	地誌通論B－世界地誌－	福島（義）	213081		②		②		②			2	◎	（心理・現代）
	地域文化概論	田畑	213082	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	隔年開講
	地域文化特論－東北・北海道の近代化－	遠藤（由）	213083			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	文化人類学概論	スチュアート	213084	②		②						1	◎	※S7　夏季集中講義　（心理・現代）

※S1～S7の中から4単位以上選択必修　※※T1～T14の中から4単位以上選択必修

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
地域と民族の文化	北アジア文化特論	フフバートル	213085	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(現代)「地域研究(北アジア)」(前)「東アジア言語社会研究」(後)
	フランス文化概説	江中	213086	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	ヨーロッパ近代文化－ベルエポックのパリ－	江中	213087	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	宗教学概論	米井	213088	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	倫理学概論	掛川	213089	②	②	②	②	②	②	②	②	3		
	経済学概論	河合	213090	②		②		②				1	◎同	(一般)
	社会学概論	西脇	213091				②		②		②	3		
	法学概論(国際法を含む)	高佐	213092	②		②		②		②		3	同	(一般)
	現代政治論	村野	213093			②	②	②	②			2	同	(現代)
	地理歴史科教育法	小川(浩)・田畑	213094			②	②	②	②			3	同	(一般)
文化財・博物館学	文化財の材料－にせ物発見－	武田・赤沼	213095	②	②	②	②	②	②			2	◎	※※ T13
	文化財保存学	増田	213096	②	②	②	②					2	◎#	
	文化財保存修復学基礎	武田・増田	213097	②	②	②	②					1	◎	※※ T14
	文化財保存修復学A	増田	213098			②		②		②		2	◎	
	文化財保存修復学B	武田	213099				②		②		②	2	◎	
	文化財保存修復学実習	武田	213100			①	①	①	①	①	①	2	◎	
	博物館学A－博物館学概論－	武田	213101	②		②		②				1	◎同#	(文化)「博物館学A」
	博物館学B－博物館資料論－	増田	213102			②		②		②		2	◎#	
	博物館学C－博物館経営論・情報論－	武田・増田・赤沼	213103				②		②		②	2	◎同#	(文化)「博物館学C」
	教育学概論	松本(淳)	213104	②	②	②	②						◎同★#	(文化)
	生涯学習概論	松本(淳)	213105		②		②		②			2	◎同#	(文化)
	視聴覚教育メディア論	大明	213106	②	②	②	②	②	②			3	◎同★#	(文化)
	博物館実習Ⅰ	安蔵・内田	213107					①				3	◎#	
	博物館実習Ⅱ	小泉・内田	213108						①			3	◎#	
	博物館実習Ⅲ	武田・内田	213109							①		4	◎#	
	館務実習		213110								①	4	◎#	短期集中
	ボストン・ミュージアムプログラム	内田	213111	②		②		②		②		2	◎	
演習	日本史演習A	山本(博)	213112					①	①			3		この中から2単位以上選択必修
	日本史演習B	千葉	213113					①	①			3		
	比較女性史論演習	掛川	213114					①	①			3		
	オリエント史演習	吉成	213115					①	①			3		
	東アジア文化史演習	田熊	213116					①	①			3		
	日本考古学演習A	山本(暉)	213117					①	①			3		
	日本考古学演習B	小泉	213118					①	①			3		
	アジア考古学演習	菊池(誠)	213119					①	①			3		
	日本美術史演習	内田	213120					①	①			3		
	西洋美術史演習	木下	213121					①	①			3		
	日本芸能史演習	大谷津	213122					①	①			3		
	服飾文化史演習	安蔵	213123					①	①			3		
	仏教文化史演習	関口	213124					①	①			3		
	民俗学演習	渡辺(伸)	213125					①	①			3		
	地域文化演習	田畑	213126					①	①			3		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※S1～S7の中から4単位以上選択必修　※※T1～T14の中から4単位以上選択必修

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
演習	東アジア言語社会演習	フフバートル	213127					①	①			3		(現代)「言語社会演習」(3年後期)
	フランス文化演習	江中	213128					①	①			3		この中から2単位以上選択必修
	文化財保存学演習	増田	213129					①	①			3		
	文化財保存修復学演習	武田	213130					①	①			3		
	歴史文化演習A	山本(博)	213131							①	①	4		この中から2単位以上選択必修
	歴史文化演習B	千葉	213132							①	①	4		
	歴史文化演習C	掛川	213133							①	①	4		
	歴史文化演習D	吉成	213134							①	①	4		
	歴史文化演習E	田熊	213135							①	①	4		
	歴史文化演習F	山本(暉)	213136							①	①	4		
	歴史文化演習G	小泉	213137							①	①	4		
	歴史文化演習H	菊池(誠)	213138							①	①	4		
	歴史文化演習I	内田	213139							①	①	4		
	歴史文化演習J	木下	213140							①	①	4		
	歴史文化演習K	大谷津	213141							①	①	4		
	歴史文化演習L	安蔵	213142							①	①	4		
	歴史文化演習M	関口	213143							①	①	4		
	歴史文化演習N	渡辺(伸)	213144							①	①	4		
	歴史文化演習O	田畑	213145							①	①	4		
	歴史文化演習P	フフバートル	213146							①	①	4		(現代)「言語社会演習」(4年)
	歴史文化演習Q	江中	213147							①	①	4		
	歴史文化演習R	増田	213148							①	①	4		
	歴史文化演習S	武田	213149							①	①	4		
卒業論文			213150							8				

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※S1～S7の中から4単位以上選択必修　※※T1～T14の中から4単位以上選択必修

授業概要

213001 歴史学概論

教授　山本　博也

歴史とは何か、過去の出来事をいかにして知ることができるか、歴史がわかるとはどういうことかなど、歴史をめぐっての、あるいは歴史を研究することをめぐってのさまざまな問題について考察したい。

①歴史と歴史像　②史料批判　③時代区分

213002 文化論

教授　博士（文学）　田畑　久夫

我々が住む日本列島には固有の文化が存在するだろうか。存在するとすればその文化はどのような過程で成立したのであろうか。本講義では、日本文化の成立を日本民族の起源との関係で解明していく。

①基層文化　②日本文化の成立　③日本民族の起源

213003 文化財学概論

教授　増田　勝彦

文化財とは何か。身近な品々が文化財と認められるまでの道すじ。文化財保護の歴史と文化財保護法を踏まえ、文化財の概括的理解を得る。この後続いて履修する文化財関連講義の予習に当たる。

①文化財・文化遺産　②地域文化財　③文化財保護の体系

213004 ジェンダー論

教授　掛川　典子

男女共同参画社会において、有意義な生き方を創造していくために、ジェンダーという概念を用いながら、様々な社会状況の理解につとめる。歴史学における概念装置としてのジェンダーの意義についても論じる。

①ジェンダー　②男女共同参画社会　③男性学

213005 日本史通論

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本列島に住む人々は、どのように「歴史」を認識し、また「歴史書」をつむいできたのか。従来、このような学問は「史学史」と呼ばれて来たが、それはそれ、歴史書・歴史学と社会との関係を歴史的に見て行きたい。

①史学史　②歴史書　③歴史意識

213006 世界史通論

教授　吉成　薫

世界史は各国史の寄せ集めではなく、独自の視点に基づいて把握された総合的歴史であるべきと考え、世界史の成立史をたどることで、こうした問題点を認識したのちに、世界史の再構成を目ざす。

①世界史の成立　②世界史の構造・意味　③現代歴史学の課題

213007 歴史文化論 A

教授　関口　靜雄

わが国の歴史と文化について、とくにその独自な特色について身近な例をもとに概説する。

①事実と真実　②陰の文化　③王法と仏法

213008 歴史文化論 B

教授　山本　博也

文化を歴史の位相でとらえたとき、そこにはどのような問題が見えてくるであろうか。文化の発生・発展・衰退、継承・伝播・変容といった問題について、種々考察したい。

①歴史　②文化　③伝播と変容

213009 史料解読

教授　山本　博也

過去の出来事について知ることができるのは、今にのこる痕跡（史料）によってである。この授業は、日本の前近代の社会や文化を研究しようとする人たちのために、文献史料の読解力を養成することを目的とする。

①和様漢文　②読み下し　③異体字　④吾妻鏡　⑤古文書　⑥古記録

213010 古文書解読

非常勤講師　博士（文学）　久保　貴子

近世文書を対象とする。おもに武士の残した文書や庶民が手にした印刷物などを取り上げて近世社会を考える機会としたい。また随時、各時代の文書の様式論とその歴史的変遷についても学ぶ機会をつくりたい。

①御家流　②変体仮名　③異体字　④文書形式　⑤武家文書　⑥地方文書

213011 近代女性史文献講読

教授　掛川　典子

日本の近代女性思想史を考察する上で重要な文献をテキストに読解をおこなう。特に『青鞜』における平塚らいてうや伊藤野枝の文章は丁寧に読み解く。欧米の女性論の受容という視点からも考察する。

①青鞜　②新しい女　③自己と表現　④恋愛結婚　⑤経済的自立　⑥セクシュアリティ

213012 日本近現代史料解読

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本近現代史の研究書(場合によっては史料) を用いて、研究書の基本的読解方法をマスターすることが目的である。テキストは平易で、日本近現代を俯瞰できるものを取り上げるつもりである。

①日本近現代史　②研究書　③要約　④コメント　⑤史料批判　⑥歴史解釈

213014 日本古代史特論

非常勤講師　中村　順昭

日本古代、特に7世紀の政治や社会・文化について考える。代表的な人物を素材にして、その事績をたどりながら政治の変化やその背景、社会・文化との関係などについて講義する。

①氏姓制　②官司制　③対外関係　④律令　⑤女帝　⑥仏教

213015 日本中世史

教授　山本　博也

日本における中世とよばれる時代、12 世紀頃から 16 世紀頃までの歴史に関して、その時代・社会の特質について、史料にふれながら、具体的に考えていく。

①鎌倉幕府　②南北朝の動乱　③室町幕府　④戦国大名　⑤中世の都市と惣村　⑥中世の文化

213018 日本近現代史

准教授　博士（文学）　千葉　功

幕末から現代までの通史を授業するが、時間の関係上、ある時代ないし特定のテーマにしぼって講義を行う。内容はその年によって異なる。本年度は、前期は憲法発布から大正期にかけてを、後期は昭和戦前期を講義したい。

①憲法発布　②日露戦争　③第 1 次世界大戦　④憲政の常道　⑤満州事変　⑥日中戦争

213019 日本近現代史特論

非常勤講師　岩城　紀子

幕末の開国を契機とした西洋文明の流入は、日本の社会生活や文化、人々の意識に多大な影響を及ぼした。この講義では、主に明治期において新しい文化的なインパクトを受けた時、人々の言動や意識にいかなる変化がおきるのか、そしてそれが日常化・常識化していく過程を、文献史料、絵画史料など、さまざまな形態の史料を通して分析し、考察する。

①「画像」史料　②文明開化　③秩序　④環境　⑤イメージ

213022 比較女性史論

教授　掛川　典子

18 世紀末の市民革命の時代のリベラル・フェミニズムの古典から現代にいたる女性論の流れをたどる。日本の近代における欧米の女性論の受容と影響に関しても論じる。現在の女性の状況をよりよく理解する一助になるであろう。

①ルソー　②ウルストンクラフト　③ミル　④エレン・ケイ　⑤『青鞜』　⑥ボーヴォワール

213023 日本思想史

非常勤講師　文学博士　米井　輝圭

本講義のテーマは、「怪異現象の思想史」である。主に古代・中世を対象として、怪異現象はどのようにしてとらえられ、表現されてきたかをふりかえって、わが国の文化の重要な一端を考察していきたい。

①災難の解釈　②陰陽師　③怨霊と祟り　④怪奇現象の流行

213024 有職故実

非常勤講師　博士（文学）　久保　貴子

有職故実が学として成立するのは江戸時代といっても過言ではないが、その起源は平安時代にまで遡る。授業では、制度・儀式・装束などの歴史的変遷と、その復活再興の動きに着目する。史料講読の機会もできればつくりたい。

①大内裏　②内裏　③官位　④服飾　⑤儀式典礼　⑥年中行事

213025 ヒエログリフ入門

教授　吉成　薫

古代エジプトの象形文字ヒエログリフの手ほどきを行う。解読の歴史から始め、文字の性質を説明し、碑文などを読みながら文法の基礎が身につくよう指導する。エジプト文明・古代文字に興味のある学生の参加を望む。

①古代エジプト　②シャンポリオン　③表意文字と表音文字　④決定詞　⑤壁画と碑文　⑥死者の書

213026 ヒエログリフ・テキスト解読

教授　吉成　薫

主にヒエログリフ入門を履修した学生を対象に、実際のヒエログリフのテキストを精読することで、学んだ文法事項を整理し、活用できるように身につけさせることを目指す。テキストは受講生の実力と興味に対応するものをその都度選ぶことにする・

①碑文　②史料　③文学作品　④神官文字　⑤中エジプト語と新エジプト語　⑥死者の書

213027 古代エジプト史

教授　吉成　薫

三千年にわたる古代エジプトの歴史を講じる。各時代に特徴的な事象をとりあげ、エジプト文化の特質を探る。同時にエジプト学研究の現状と課題についても触れ、各時代の問題点を浮き彫りにする。

①エジプト文明の成立　②最初のファラオ　③ピラミッドの時代　④帝国の成立　⑤アマルナ宗教改革　⑥衰退と滅亡

213028 古代オリエント文化史

教授　吉成　薫

独力で人類最初の文明を築いた古代オリエントでは、政治、経済、社会、宗教など文明のあらゆる分野において、様々な可能性が試された。前期は社会、後期は宗教・思想関連の文化現象を、主に文字資料をもとに概観する。

①ヒエログリフ・楔形文字　②王権と神々　③女性・奴隷　④死後の世界　⑤世界観　⑥科学の萌芽

213029 西洋中・近世史

非常勤講師　三森　のぞみ

中・近世ヨーロッパの文化と社会を基礎づけたものとして、前期はキリスト教、後期は都市をテーマに取り上げ、考察します。

①ヨーロッパ　②中世　③近世　④キリスト教　⑤都市　⑥イタリア

213030 キリスト教文化史

教授　掛川　典子

キリスト教の聖書としての旧約聖書と新約聖書の成立史や概要を解説した後、主に西方教会の流れに沿って、キリスト教思想と文化の発展を辿る。宗教改革を経て、近代社会成立以降のキリスト教文化の問題点も概観する。

①旧約・新約聖書　②教父　③宗教改革　④救済史と進化論　⑤ニーチェと神の死　⑥内村鑑三

213031 東洋史概説

教授　田熊　信之

広大な地域にわたる東洋世界の中で、独自な文明を築き上げ、これを広く長く展開して来たのは、中国である。本講では、まず中国の地理的、歴史的環境を確認し、新発見の考古資料等を用いて、長江、黄河の両地方に誕生した文明を鳥瞰する。ついでこのもとに興亡した、漢民族と非漢民族の王朝の歴史を省察し、政治、経済、宗教、文化の各面を含めて、中国を中心とした東アジアの歴史がどのように推移して来たかを、具体的に概観する。

①長江文明と黄河文明　②王朝と国家　③秦漢帝国　④農耕漢族と遊牧胡族　⑤律令制と官僚機構　⑥儒、仏、道教

213032 東シナ海文化交流史

教授　博士（学術）　菊池　誠一

アジアの海をめぐる人、物、情報の交流を中心にみていく。前期は、東南アジアの神話・昔話を素材として中国・朝鮮・日本のそれと比較し、異質性や同質性、また伝播の様相などを探る。後期は日本やベトナムの陶磁器に焦点をあてその文化交流を探る。

①東南アジアの神話と昔話　②伝播　③陶磁貿易　④ベトナム　⑤アジアの海

213033 考古学概論

教授　博士（文学）　山本　暉久

考古学がどのような学問か、その目的・方法論・学史・考古学の現状等について概説し、あわせて、日本列島における旧石器時代から近現代にいたるまでの最新の考古学的成果について解説する。パワーポイント使用。

①考古学の目的　②学史　③方法論・理論　④技術　⑤日本の考古学　⑥世界の考古学

213034 考古学基礎

准教授　小泉　玲子

考古学は過去の人々が残した考古資料をもとに研究を行う。その考古資料についての基礎知識を習得することを目的とし、資料の特質、名称について解説する。また、資料理解のために土器の施文・勾玉製作実習を行う。

①石器　②土器　③施文法　④土製品　⑤石製品　⑥金属製品

213035 実験考古学

非常勤講師　博士（文学）　御堂島　正

実験考古学は、考古資料と過去の人間行動とを架橋する中範囲理論の主要な研究領域である。石器の製作や使用、廃棄等の実験を通して、考古資料から過去の人々の技術や文化に接近する理論や方法について理解を深める。

①中範囲理論　②痕跡研究　③実験　④石器　⑤遺跡形成論

213036 考古学実習 A

教授　博士（文学）　山本　暉久

遺跡の発掘調査によって出土した遺物の図面作成・トレース技術を習得する。とくに石器を中心とした図面作成技術について実習する。

①石器実測　②トレース　③図版の作成

213037 考古学実習 B

准教授　小泉　玲子

遺跡の発掘調査によって出土した遺物の図面作成、トレース技術を習得する。前期では石器を中心とした図面作成技術について実習する。後期では土器を中心に実習を行う

①石器実測　②トレース　③遺物撮影　④拓本　⑤土器実測　⑥版組

213038 日本考古学特論 A　－縄文－

教授　博士（文学）　山本　暉久

日本列島に栄えた「縄文時代文化」と呼んでいる独特な石器時代文化について、最新の調査研究成果にもとづいて、研究の目的、学史等について触れ、あわせてその生成から終末に至る文化変遷の特徴を明らかにさせる。

①時代区分・時期区分・時代観　②縄文土器型式　③縄を撚る　④廃屋墓　⑤埋甕　⑥石造遺構

213039 日本考古学特論 B　－弥生・古墳－

准教授　小泉　玲子

日本の弥生時代・古墳時代を中心とした概論。近年の研究動向・発掘調査成果の紹介を通して、社会の変化と特性の理解を目的とする。また、遺物を理解するために馬具・銅鏡を模倣製作する。

①水田稲作　②金属　③前方後円墳　④副葬品　⑤武器・武具　⑥埴輪

213040 日本考古学特論 C　－中世・近世－

非常勤講師　小野　正敏

考古学から描く中世。考古学の最新情報をもとに、中世社会の特徴を考察する。中世の考古学研究は、文献史学、民俗学、建築史など、周辺諸科学との学際的連携が最も進んでいる分野でもある。発掘情報の羅列ではなく、「遺跡から何が見えるか」「アジアの中の列島」をキーワードに、考古学の成果を軸に多視点から論点を広げてみる。

①中世考古学　②都市　③生活文化　④生産と流通　⑤アジアの交流

213041 アジア考古学

教授　博士（学術）　菊池　誠一

東・東南アジアの大学や博物館における考古学活動をパワーポイントを使用しながら紹介するとともに、当該地域の考古学の基礎的な知識を修得するための講義をおこなう。また、戦前から現在にいたる日本人のこの地域における考古学調査活動の成果と課題を明らかにする。

①東アジア　②東南アジア　③考古学活動　④博物館活動　⑤ホイアン日本町　⑥アンコール遺跡

213042 アジア考古学特論

教授　博士（学術）　菊池　誠一

前期は東南アジア大陸部の旧石器時代から歴史時代までを概観する。土器や農耕の発生、チャンパ王国の成立、カンボジアのアンコール遺跡、窯業などを主要な問題とする。後期は島嶼部を概観し、また陶磁器を通して東西交流の歴史を概観する。

①地理と自然　②旧石器　③農耕の開始　④土器・陶磁器　⑤古代文明　⑥東西交流

213043 日本美術史概説

教授　博士（文学）　内田　啓一

我が国の美術史全体を論じる。仏像、絵巻、平安仏画、そして水墨画、障壁画、風俗画、浮世絵とさまざまに展開する日本美術の流れを時代をおって講ずる。

①仏像　②絵巻　③仏画

213044 日本美術史基礎

教授　博士（文学）　内田　啓一

日本美術を理解するための基礎知識を習得する。国宝・重要文化財等の意義、美術作品の形式と特質、各専門用語と名称等を解説する。また、作品の主題（画題）や様式についても論じ、美術作品を視る「眼」を養いたい。スライド使用。

①国宝と重文　②屏風と掛軸　③絵巻と画帖　④肉筆と版画　⑤下絵と本画　⑥一木造と寄木造

213045 日本美術史特論 A　－江戸絵画－

教授　博士（文学）　内田　啓一

江戸時代の絵画・版画について作者や画派に沿いながら講義をすすめる。スライドや映像機器をもちいたビジュアルな内容とする。

①絹本着色　②錦絵　③粉本

213047 工芸史

非常勤講師　竹内　奈美子

まず工芸という定義を再考し、その領域や分類について確認する。その上で美術史の流れに沿ってわが国にどのような工芸品が残されているのかを紹介し、日本美術における工芸の占める割合や重要性を説きたい。

①工芸　②日本美術史　③名品　④材質　⑤技法

213048 東洋美術史概説

非常勤講師　川瀬　由照

インド・中国・朝鮮半島・日本を含む東アジア地域の美術の成り立ちと展開について、彫刻・図像を中心として多くの作品を鑑賞しながら概観する。東アジア各地域の時代のトレンド・思想・民族等についてさまざまな角度から通観していく。

①東洋美術　②仏教美術　③木彫　④肖像　⑤神像　⑥動物の美術

213049 西洋美術史基礎

教授　木下　亮

西洋美術史研究において美術作品をより正確に記述、分類、解釈できるように、基礎的な知識を得ることを目的とする。さらに設定されたテーマにそって、文献資料や図版の集め方とその整理の方法などを具体的に学ぶ。

①ジャンル　②図像　③作品記述　④図版と文献　⑤研究史　⑥メディア

213050 西洋美術史概論

教授　木下　亮

ヨーロッパ美術における各様式上の特徴を理解し、時間的・空間的コンテクストを視野に入れた作品解釈ができるようになることを目指す。芸術家と社会、作品の受容などの問題についても合わせて考察したい。

①様式　②教会　③宮廷　④サロン　⑤アカデミー　⑥前衛芸術

213051 西洋美術史特論　－スペイン美術－

教授　木下　亮

スペイン美術について歴史的背景や都市空間を視野に入れながら講じる。前期は王室や修道会による芸術擁護のもとで活躍した画家について、後期はカタルーニャ地方を中心に近現代美術の展開について考察する。

①エル・グレコ　②ベラスケス　③ゴヤ　④ガウディ　⑤ピカソ　⑥ダリ

213052 現代美術論

非常勤講師　遠藤　望

私たちの現代生活において、いかに美術に接しこれを楽しむかをテーマとする講座です。前期は、美術を楽しむ基本的「装置」としての美術館について、美術館の現場を学びます。後期は画廊・アートスペース、パブリックアート、美術ボランティアなどより広範囲なテーマにつて学びます。授業は、担当講師による講義＋演習＋受講生による発表を1セットとして進める予定です。

①美術館　②展覧会　③美術館教育普及

213053 日本建築史

特任教授　工学博士　平井　聖

日本の建築を歴史的にとらえ、建てられた当時の姿を考えると共に、建てられた事情を当時の文化の中で評価することを試みる。時代的には、先史時代から近代までとする。

①建築様式　②建築技術　③機能

213054 ヨーロッパ建築史

教授　工学博士　堀内　正昭

西洋建築とは、オーダーによるプロポーションと組積造による構法に裏付けられた建物であった。本講義では、様式史の時代区分に従って、古代からバロック・ロココ建築までの各様式の概念と代表的建築物を詳説していく。

①古典建築　②ロマネスク・ゴシック　③ルネサンス・バロック

213055 西洋館の文化史

教授　工学博士　堀内　正昭

幕末・明治時代のわが国では、欧米の建築デザインと技術を導入して西洋館が建てられた。大工棟梁による見よう見まねの段階から、お雇い外国人建築家、そして日本人建築家による西洋館まで、１９世紀を中心に日欧の交渉史の観点から論じる。

①擬洋風　②お雇い外国人　③建築家

213056 日本芸能史

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

日本の各時代の代表的芸能について、その特色とそれらの芸能を育んだ社会背景を中心に話す。日本芸能の特徴、価値についても考える。前期は神楽、外来芸能、田楽、猿楽、能･狂言を、後期は風流踊、人形浄瑠璃、歌舞伎、西洋演劇をとりあげる。

①祭り　②神楽　③田楽　④能・狂言　⑤風流踊　⑥歌舞伎と人形浄瑠璃

213057 日本芸能史基礎　－調査法－

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

芸能資料の調べ方・考え方を勉強する。芸能資料を有形資料と無形資料に大別して考える。教材として、有形資料は、芸能関係の文献、人形、仮面等をとりあげ説明する。無形資料は、観劇やビデオ教材を通し、勉強していく。

①文献資料　②民俗芸能　③芸能用具

213059 演劇文化論

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

演劇はいろいろな国の文化の特徴や民族性を知る上で重要な存在といえる。その演劇とはいかなるものか、また、演劇文化と人間との関係について、演劇作品や芸論・創作論を通して考えていく。ビデオ教材使用。

①芸能と演劇　②俳優･観客･脚本･劇場　③教化性･芸術性・娯楽性　④総合芸術　⑤風姿花伝　⑥世界の中の日本演劇

213060 映画史

非常勤講師　野島　孝一

20 世紀を代表する文化テクノロジーである映画は第７芸術とも呼ばれている。日本でも早期から独自の文化に基づく名画が数多く作られてきた。世界の映画の足跡をたどり、技術にも触れていく。

①映画とは何か　②活動写真時代　③トーキーとカラー　④モンタージュ論　⑤戦後映画黄金時代　⑥小津・溝口・黒澤

213061 日本服飾史

教授　安蔵　裕子

日本における装いの歴史を概観する。服飾には人々の生き方や態度、心情が託されて、様々な形や表現が生まれる。その時代的･社会的特質と変遷の様相を美術･工芸・記述資料等を通してたどる。

①装身意志　②形態的変遷　③服飾描写　④文様・色彩　⑤服制　⑥流行

213062 服飾史資料基礎

非常勤講師　神埜　正子

歴史上の服飾を研究するための資料には、実物、図像、文献などがある。それぞれの資料には時代による特質があり、時代によって意味合いを異にする。日本服飾史の基本的資料を具体的に検討しながら、資料の扱い方・考え方を学ぶ。

①時代様式　②意匠　③形態　④色彩　⑤文様　⑥生活文化

213063 西洋服飾史

非常勤講師　神埜　正子

西洋における服飾の歴史を概観する。服飾には人々の生活態度や心情などが託され、様々な表現をみせている。その時代や社会の特質と服飾変遷の様相を実物遺品、図像、文献資料などを検討しながら考える。

①様式　②形態表現　③服飾描写　④色彩　⑤文様　⑥流行

213065 仏教文献講読基礎

教授　関口　靜雄

庶民仏教関係の文献を講読する。前期は「くずし字入門」として庶民に親しまれた絵入りの霊場霊験記を講読し、後期は高僧の絵入りの一代記を講読しながら、文書の調査と整理法を学ぶ。

①くずし字　②読解　③翻刻

213066 仏教文化史

教授　関口　靜雄

仏教文化の歴史を、寺院資料を実際に手にとって整理･調査することを通して学び、併せて時には、寺院を訪問して法会や僧侶の生活を体験的に理解する。

①寺院資料　②法会　③僧俗

213067 歴史文化特論　－寺社縁起の世界－

非常勤講師　博士（学術）　阿部　美香

日本人が神仏への信仰とともに築き上げてきた歴史や文化の記憶は、寺社のはじまりを語るテクストのなかに秘められている。それらを多角的に読み解いてみることから、日本の歴史文化の特色を考えよう。

①釈迦信仰　②女人と仏教　③本地物語　④生身の仏　⑤二河白道　⑥祖師信仰

213068 禅と日本文化

教授　田熊　信之

六朝の梁代、南天竺の菩提達磨によって中国に齎されたという禅の思想は、その後中国に於いて新たな展開を遂げ、自己の実践行為の下に仏陀と等質の悟りを体現しようとする宗教となった。この流れの中から生まれた臨済、曹洞の門流が日本に伝えられている。本講では、中国、日本の禅の歴史を顧みながら、六祖慧能下の流れを受けて成った日本の禅とその影響下に生まれた文化の種々相について、諸資料を用いて概観する。

①禅那・静慮・と只管打坐　②不立文字と以心伝心　③菩提達磨と六祖慧能　④清規と行履　⑤語録、詩偈、愛語　⑥頂相、作庭、喫茶

213069 伝統文化の現場

常勤　歴史文化学科教員

美術、服飾、芸能、民俗、仏教文化のなどのいわば伝統文化の現場で、現在活躍中の制作者や演者の方々を招き、実演をまじえてそれぞれの専門について具体的に講じてもらう。各講師、2 週ずつの講義を予定している。

①技術・表現手法の習得（身に付ける）②匠の技 ③伝統の継承（受け継ぐ）

213070 茶道史・茶道演習

非常勤講師　戸川　晴代

日本の文化を支えてきた茶道文化の総合理解を深めるため、前期は茶道の渡来から日本の茶道の起こり、茶祖達の教訓、日常生活との密着性等について講述。後期は茶道に関する諸道具（掛軸・箱類・漆器・焼物）について講述すると共に陶芸の実技指導も行う。

①達磨大師　②茶経　③茶人達　④表装　⑤茶入　⑥茶碗

213071 日本生活文化史概論

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

幸せな生活をするにはどうしたらよいか。この問題を考えるために、先祖はどのような生活をし、どんな文化をつくり育てて来たか、何がそれを妨げたか、そのことを先祖の生活文化の歴史を通し考えてみたい。

①生活文化と文化生活　②農耕文化　③外来文化　④貴族と武家　⑤庶民文化　⑥都市と農村

213072 民俗学概論

教授　渡辺　伸夫

日本各地の民俗伝承、とくに年中行事･人生儀礼･信仰･祭礼・芸能など具体的な事例をとりあげ、民俗学の基礎知識を解説しながら、伝承の背後にある日本人の心意を探る。

①ハレとケ　②正月と盆　③小正月　④誕生　⑤成人式　⑥葬送

213073 民俗調査法

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

民俗資料の調べ方・考え方を勉強する。民俗資料を有形民俗資料と無形民俗資料に大別して考える。教材として有形民俗資料は民俗生活を書いた文献、人形、仮面等をとりあげ説明する。無形民俗資料はビデオ検証、実地見学等を通し勉強する。

①有形資料と民俗　②無形資料と民俗　③記録と民俗

213074 民俗学特論Ａ　－地域と祭り－

教授　渡辺　伸夫

祭りは、ハレの世界、非日常的な世界であり、日本人の生活と地域に密接に結びついている。日本の祭りをいくつかとりあげ、民俗学の視点から地域と祭りについて考える。

①祭と芸能　②神輿　③山車・屋台　④宮座　⑤当屋　⑥若者組

213075 民俗学特論Ｂ　－民俗と民具－

非常勤講師　小川　浩

民俗事象を理解するために、民具を通して民俗生活を分析する。本年度は食に関する膳椀と宴会の分析を行う。

①民具　②食儀礼　③宴会

213076 人文地理学概論

教授　博士（文学）　田畑　久夫

地域とそこに住む人びとの関係を具体的に考えるのが地理学の主要分野である人文地理学です。本年度は、人文地理学では人間をどのようにとらえてきたかを分かりやすく解説する。事例を日本だけでなく、世界各地からとるので、旅行の好きな学生には最適。学習を深めるため、夏季に研修旅行も実施の予定。

①自然地理学　②環境論と可能論　③都市の生活　④村の生活　⑤エクメーネの拡大　⑥旅の楽しみ

213077 自然地理学概論

非常勤講師　文学博士　大山　正雄

人間の活動と歴史は置かれている自然環境を舞台に展開しています。本授業は自然の姿と現象を水を縦糸にして、目にする風景がなにゆえそのような姿をし、人間生活とどう関わっているのかを知り、理解することを意図しています。

①地形　②河川　③平野　④海　⑤気候　⑥野外巡検

213079 地理学特論　ー地理学の諸問題ー

教授　博士（文学）　田畑　久夫

60億人を越える人びとが地球上に住んでいる。その中でも特に人口が少ない集団は少数民族と呼ばれている。本年度は、主として東アジアに住む少数民族について、文化地理学的な側面から分析・解説を行なう。具体的には、少数民族の衣・食・住を中心とする物質文化の比較を予定。旅行好きの学生、教職希望者で「地理」を履修していない学生には最適。

①自然と人間　②文化人類学　③民族問題　④少数民族　⑤ミャオ族　⑥ヤオ族

213080 地誌通論 A　ー日本地誌ー

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

213081 地誌通論 B　ー世界地誌ー

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

213082 地域文化概論

教授　博士（文学）　田畑　久夫

各地域は、地域性と呼ばれる、他地域とは異なる特色がみられる。地域文化はこの地域性を解明しようとするもの。具体的には、地域性がみられる理由を探ると共に、各地域の地域文化について検討していく。「民族と文化」コースの基礎科目である。

①文化　②地域性　③文化同圏論　④東日本と西日本　⑤琉球王国　⑥東アジアの中の日本

213083 地域文化特論　ー東北・北海道の近代化ー

非常勤講師　博士（学術）　遠藤　由紀子

近代国家形成期（幕末から明治期）、人々はどう生きたのか。北海道・東北地方における開拓地の歴史を中心に、村落の形成過程を多角的な視点から探り、歴史と地域・文化の関係について講義する。前期は、幕末の歴史を通して、近代化への時代背景を探り、地域の文化創造へ知識を伸ばす。

①歴史地理学　②近代国家　③士族授産　④近代開拓村　⑤アイデンティティ　⑥地域性と文化

213084 文化人類学概論

非常勤講師　本多　俊和

文化人類学（民族学）の視点から、世界各地の民族の生活と社会を事例にして、一般的な先入観と偏見を暴きながら私たちが生きている現在の世界を知って堪能する。受講に際して、本多俊和ほか編『人類の歴史・地球の現在』（放送大学教育振興会、2007）を読んでおくこと。

①学問を楽しむ　②文化・社会　③理論　④進化主義　⑤異文化　⑥民族・人種

213085 北アジア文化特論

准教授　博士（社会学）　フフバートル

モンゴル語の文字（モンゴル文字とキリル文字＝ロシア文字）にこだわらずローマ字でモンゴル語を習う。北アジアの民族、自然、文化について、モンゴル遊牧民の衣食住など伝統文化を中心に、人間と家畜との関係から学ぶ。

①モンゴル語　②北アジア　③遊牧民

213086 フランス文化概説

教授　江中　里子

地域や時代の文化にはそれぞれアイデンティティがあります。フランスの17世紀から19世紀にかけて、文学や美術、建築や音楽など、芸術一般にわたって認められる思想の潮流をたどり、代表的な作品をとりあげて解説します。

①ロマネスクとゴチック　②古典主義　③バロック　④ロココ　⑤ロマン主義

213087 ヨーロッパ近代文化　ーベルエポックのパリー

教授　江中　里子

第二帝政期から第1次世界大戦まで、ヨーロッパ全体で「ベル・エポック」と呼ばれた豊かな時代をはさむ半世紀あまりの時代について、音楽、文学、美術、工芸などのジャンルと作品をとりあげて、時代背景とともにその意味を考えてみたいと思う。

①第二帝政　②第三共和政　③印象主義　④象徴主義　⑤ジャポニスム

213088 宗教学概論

非常勤講師　文学博士　米井　輝圭

まず導入として、多元的に併存する諸宗教を客観的に考察するための視点を整理する。次に世界の主要な諸宗教の概略と歴史について触れてゆく。教科書は特に定めないが、参考図書についてはそのつど指定する。

①比較宗教学　②外在的客観的な考察　③諸宗教の特色と多様性

213089 倫理学概論

教授　掛川　典子

西洋倫理学の流れを概観しながら、よく生きるという人間の課題をめぐって、代表的な思想家の説を解説する。倫理学上の様々な論点に、現代の視点から考察を加えると同時に、複雑な現代倫理学の諸問題も紹介する。

①プラトン　②アリストテレス　③カント　④功利主義　⑤実存倫理　⑥生命倫理学

213090 経済学概論

非常勤講師　河合　康夫

お金や仕事、格差といった現代経済のトピックスを手がかりに、経済の仕組みと歴史を解説する。

①経済学　②経済政策　③経済史

213091 社会学概論

教授　西脇　和彦

社会学の性格、その目的・対象・方法から社会諸集団、現代社会の文化や人間諸関係について概説する。社会学的思考の有用性を学習する。

①社会化　②適応と変革　③社会集団

213092 法学概論（国際法を含む）

非常勤講師　髙佐　智美

「法」というと自分たちの生活とはかけ離れたものというイメージがあるかもしれません。しかし実際には、「法」は私たちの日常生活に密接に関連しています。本講では、現在社会で問題となっている事件や事柄を通じて、「法」とは、「人権」とは何かを学習することを目的としています。

①リーガルマインド　②人権　③時事問題

213093 現代政治論

非常勤講師　村野　坦

政治の基本的枠組みを概説した前期の知識を踏まえ、いま実際に国の内外で起きている政治的事象や政策課題について、その意味や背景を学ぶ。そこから政治とどう向き合うかを考える。前期に扱った事柄でも、その後の進展を加え、改めて取り上げることがある。

①政治　②現代　③時事問題

213094 地理歴史科教育法

非常勤講師　小川　浩
教授　博士（文学）　田畑　久夫

学習指導要領を理解した上で、授業構成を研究し、教材研究を行う。受講生各自の授業テーマで学習指導案を作成する。

①学習指導要領　②教材研究　③学習指導案

213095 文化財の材料　ーにせ物発見ー

教授　武田　昭子
非常勤講師　博士（学術）　赤沼　英男

文化財が携えている過去のメッセージを紐解き、後世に永く保存するために必要とする自然科学的方法についての基礎知識を、実物資料の調査実習と具体的調査・保存処理事例に基づく理論をとおして習得する。その中から「にせ物」についての知識を得て、文化財理解の一助とする。

①文化財科学　②絵画の材料　③彫刻、工芸品の材料　④民俗、考古遺物の材料　⑤自然科学的調査⑥にせ物発見方法

213096 文化財保存学

教授　増田　勝彦

博物館が扱う文化財の展示、保存、活用に関係の深い基礎知識を自然科学を中心に、理論とともに小実験を交えて学ぶ。

①温度　②湿度　③含水率　④汚染空気　⑤光　⑥生物被害

213097 文化財保存修復学基礎

教授　増田　勝彦
教授　武田　昭子

文化財の理解と保存修復の基礎的技法の知識を概観し、実技によって具体的見識を得ることを目的とする。日本画の模写を通して顔料、和紙、膠などの扱い方制作技法などを学び、日本画の見識を得る。また日本の代表的な伝統工芸品である漆芸品を、下地、上塗り、加飾の一連の製作技法と素材の扱いおよび特長を体験的に学ぶ中から理解する。

①日本画制作技法　②日本画模写　③顔料と媒材　④漆工品の制作技法　⑤漆工品模造　⑥和紙・漆

213098 文化財保存修復学 A

教授　増田　勝彦

理念の基づき行われるべき文化財の保存・修復について考え、伝統的な保存・修復技術と材料を中心に解説し、文化財保存・修復の実情を概観する。

①文化財保存　②修復の倫理　③文書などの保存修復

213099 文化財保存修復学 B

教授　武田　昭子

理念に基づいて行われるべき文化財の保存・修復について考え、伝統的な保存修復技術と材料については、文書・仏像の保存修復を中心に、科学的な保存修復技術と材料については、考古遺物の保存修復を中心に説明し、文化財保存修復の実情を概観する。

①文化財保存・修復の倫理　②仏像・考古遺物の保存修復　③文書などの保存修復

213100 文化財保存修復学実習

教授　武田　昭子

考古資料の漆製品について、材料、製作技術を理解し、修復作業に必要な基礎的な知識を実習をとおして得ることを目的とする。具体的には、漆製品の材料と製作技術の変遷、本堅地漆器製作および加飾等基礎的な技術を学び、出土漆製品の理解に導く。

①漆製品　②保存修復　③技術の変遷　④材料　⑤加飾　⑥蒔絵

213101 博物館学 A　ー博物館学概論ー

教授　武田　昭子

博物館とは何か、博物館法に基づき博物館の目的と、学芸員の任務と役割について詳述していく。また、博物館の歴史を概観し、文化財保護と博物館の関わり、現代社会の中での博物館の役割、現状、課題についても触れ博物館学を学ぶための導入とする。

①博物館の目的と社会的使命　②博物館法　③博物館の現状と課題

213102 博物館学 B　ー博物館資料論ー

教授　増田　勝彦

博物館資料とは何か、について考え、博物館が扱っている資料の種類など、実例に則して考える。

①博物館資料　②保存・修復　③展示

213103 博物館学 C　ー博物館経営論・情報論ー

教授　武田　昭子
教授　増田　勝彦
非常勤講師　博士（学術）　赤沼　英男

生涯学習が定着し、社会教育ならびに学校教育との連携が重要視される今日、博物館が果たすべき役割を整理し、それを実現するための運営形態、施設設備、および情報収集・発信機能について学ぶ。

①博物館活動　②企画・運営　③情報化

213104 教育学概論

准教授　松本　淳

「教育とは何か」「何のために勉強するのか」など、「教育」の根本的な事柄を追究していく。また、学校教育だけではなく、「人生」というながめにおいて、人間の成長をどうサポートできるかを考える。

①教育の目的　②愛情　③絆の恢復

213105 生涯学習概論

准教授　松本　淳

人生を深く生きるためにはどうしたらよいのか。人生の本当の仕事はどうやったら見つかるのか。人生かけても惜しくない仕事を探すために、またその志を成就するために生涯学習は何が出来るのか等を探求する。

①人生の設計図　②社会貢献　③ 21 世紀の生涯学習

213106 視聴覚教育メディア論

非常勤講師　大明　敦

視聴覚教育の意義や目的を明らかにした上で、さまざまな視聴覚メディアの特徴や博物館・学校等における利用方法について論じる。また、マルチメディアやインターネット等の普及に伴い博物館や学校が直面しているさまざまな問題についても取り上げていきたい。

①経験の円錐　②ＩＣＴ教育　③メディアミックス

213107 博物館実習Ⅰ

教授　安蔵　裕子
教授　博士（文学）　内田　啓一

博物館学で学んだ博物館の役割、学芸員の任務等を踏まえ、学芸員の基本的な姿勢、態度を養うため、資料の取り扱いに必要とされる分類・整理について実習する。資料整理では、服飾・民具資料を用いて実測し、台帳作成を行う。

①分類・整理　②実測　③資料台帳

213108 博物館実習Ⅱ

准教授　小泉　玲子
教授　博士（文学）　内田　啓一

学芸員に要求される基本的な諸技術、知識および心構えも含めて指導する。主要な茶道具を含めた器物、掛け軸、額類、色紙、短冊などの取り扱いと、考古資料の取り扱い、記録方法を学ぶ。

①巻子と表具　②茶道具の取り扱い　③拓本・梱包・修復

213109 博物館実習Ⅲ

教授　武田　昭子
教授　博士（文学）　内田　啓一

企画展示の具体的な進め方について学ぶ。展覧会の企画書作り、展示計画、ポスター・ちらし・カタログの作り方、広報・教育活動の進め方等を、実習をとおして学んでいく。また、光葉博物館の施設・設備を使用し、実資料を用いながら資料の搬入方法から展示、梱包、資料保存まで実習を行う。

①展覧会の企画運営　②展示活動　③資料管理

213112 日本史演習A

教授　山本　博也

史料を丹念に読み解き、関係論文を合わせ読みながら、日本の前近代社会の種々相を考察する。

①律令制　②鎌倉幕府　③大名　④幕藩体制　⑤鎖国　⑥日本文化

213113 日本史演習B

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本近現代史の研究書（場合によっては史料）を用いて、研究方法に習熟することを目的とする。テキストの内容を理解できる読解力を高めるとともに、研究書を通じて、来年度に行う卒業論文のテーマ選択のきっかけとしてもらいたい。

①日本近現代史　②史料批判　③仮説設定　④先行研究　⑤論証性　⑥卒業論文

213114 比較女性史論演習

教授　掛川　典子

近・現代の女性史・女性論あるいは欧米の倫理思想を対象として、最新の研究成果をおさめたテキストを読む。文献収集や読解の方法を導入的に学ぶ。各自のテーマにそって研究を発展させ、順次発表し、質疑応答を重ねることで、討議の仕方に習熟する。

①ジェンダー　②文化論　③近・現代女性論　④母性と主婦　⑤優生思想　⑥環境倫理

213115 オリエント史演習

教授　吉成　薫

オリエントおよびそれに関連した古代史・古代文化を専攻しようとする学生を対象とする。学生各自のテーマに基づく発表と文献講読（洋書を含む）を交互に行い、生の興味を学問的レベルに移し、卒業論文へと結びつけ、同時に研究の態度や方法・技術も指導する。

①考古学　②原史学　③歴史学

213116 東アジア文化史演習

教授　田熊　信之

東アジアの漢字文化圏内で制作された刻石の銘文、画像の読解を通して、各時代 、各地域に興起した文化の諸相、殊に儒、仏、道に係わる各々の思想や制度を具体的に把握し、併せて東アジア史上に於ける中国古代文化の位相を省察する。

①中国の刻石と東アジアの刻石　②形制と伝拓　③撰文と刻字　④法制と墓制　⑤儒、仏、道思想　⑥石経と刻経

213117 日本考古学演習A

教授　博士（文学）　山本　暉久

日本考古学に関わる諸問題、とくに方法論を中心に学習する。教材は『考古学への案内』（佐原真著・岩波書店）を使用。後期は卒論テーマに沿った研究の進め方についても指導行う。

①日本考古学の特質　②型式論　③層位論　④年代論

213118 日本考古学演習B

准教授　小泉　玲子

日本の弥生時代・古墳時代について研究動向を紹介すると共に、いくつかのテーマを設定し、代表的な論文の講読、受講生各自の下調べによる発表を行う。また、卒業論文のテーマの選定、進め方についても指導する。

①流通　②生産　③地域圏　④埋葬　⑤集落　⑥副葬品

213119 アジア考古学演習

教授　博士（学術）　菊池　誠一

おもに東南アジアの考古学・歴史やアジアの海をめぐる文化交流史を専攻しようとする学生を対象とする。前期は考古学や歴史、文化交流史に関する基本的な論文を精読する。後期は、各自が関心のあるテーマに沿った研究発表をおこなう。また、夏季に東南アジアの研修旅行を予定。

①歴史考古学　②陶磁貿易　③文化交流　④研究史　⑤論文

213120 日本美術史演習

教授　博士（文学）　内田　啓一

日本美術に関する各時代の代表的な基本史料を講読し、実作品と対照させながら理解を深める。特に彫刻、絵画及び仏師、画師の史料を中心として、各時代において、どのような認識があり、また、どのような評価であったのかを探る。

①諸寺縁起　②等伯画説　③古画備考　④図像抄　⑤君台観左右帳記　⑥本朝画史

213121 西洋美術史演習

教授　木下　亮

資料・図版収集や文献資料解読の方法、作品解釈の多様性について確認したのち、受講生が各自のテーマにそって研究発表をおこなう。それぞれの研究における課題と問題点を自覚することがこの演習の主眼となる。

①カタログ・レゾネ　②文献資料と図版資料　③研究史　④受容史　⑥論文構成

213122 日本芸能史演習

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

『役者論語』『風姿花伝』を輪読し、それを通し芸能とはどういうものかを考える。また、すぐれた論文、著書を各人それぞれ精読発表し、それを通して、論文の書き方、まとめ方などを勉強する。

①坂田藤十郎・芳沢あやめ　②世阿弥　③秘伝書　④近松門左衛門　⑤虚実皮膜論　⑥役者評判記

213123 服飾文化史演習

教授　安蔵　裕子

服飾に関わる基本的文献や論考等の講読、あるいは造形手法の体験実習を通して、服飾研究の方法を検討する。各自の発表形式で、資料の扱い方や整理法、論点の構成、まとめ方を考えてゆく。

①服飾史資料　②調査研究　③復元考察

213124 仏教文化史演習

教授　関口　靜雄

僧侶の絵入り伝記（僧伝絵）を読みながら、仏教が我が国の、とくに中世・近世の民衆の生活にふかく関わり、広範囲に影響を及ぼしている様相を具体的に知り、仏教文化の機能と特質を考察する。

①絵伝　②修行　③布教

213125 民俗学演習

教授　渡辺　伸夫

民俗学を理解するために、民間信仰・年中行事・祭礼・芸能などをとりあげ、その調査法・研究法を具体的に検討する。

①研究史　②文献と伝承　③民俗調査　④比較と分析　⑤伝播　⑥変容

213126 地域文化演習

教授　博士（文学）　田畑　久夫

各地域には地域性と呼ばれる固有の特色が存在する。本演習では、食などに関する伝統文化、西陣織などの地場産業、観光開発、少数民族の生活など、各地域の特色を解明するための技術を修得すると共に、各人が調査を行い発表する。対象地域は、日本列島中心であるが、中国・朝鮮半島、シベリアなど東アジア全域とする。なお、地理的思想も学習するので、旅行好きの学生や高校で地理を学習していない教職希望者に最適。

①地域と文化　②旅行の楽しみ　③フィールドサーヴェイ　④資料と史料　⑤文化地理学的分析　⑥研究発表の技術

213127 東アジア言語社会演習

准教授　博士（社会学）　フフバートル

東アジア諸国や地域のことばとその歴史、社会、文化、政治にかかわる諸問題を中心に、中国語の文献をはじめ、文献資料の講読や分析などをする。中国、モンゴルなど東アジアの近現代社会、歴史、文化についても学び、現地での調査や研修も行なう。

①ことばと社会　②言語問題　③モンゴル　④近現代中国

213128 フランス文化演習

教授　江中　里子

前期は 17 世紀から 18 世紀にかけての宮廷文化、後期は 19 世紀から第一次世界大戦までの時代をとりあげて、古典主義からロココへ、他方はロマン主義、象徴主義および印象主義について、日本語で読める基本的な文献を読むことから始めたいと思います。

①古典主義　②ロココ　③ロマン主義　④象徴主義　⑤印象主義

213129 文化財保存学演習

教授　増田　勝彦

修復のための保存科学的調査の基礎（重さ、体積を量る、濃度を量る、大きさを測る）を習得する。予防的保存についての考え方、また修復についての基礎技術を体験する。

①修復調査　②測定　③予防的保存　④保存処置

213130 文化財保存修復学演習

教授　武田　昭子

考古資料や民俗資料の技法調査、保存修復時に、科学的調査として簡便で有用な手法として行われている光学顕微鏡を用いた断面観察法分析を試みる。また、考古資料、民俗資料、漆工品等の製作技法や保存・修理に関する報告書や研究書を読み合わせする中から、研究方法や記述方法を理解し、卒論テーマの設定へと進める。

①光学顕微鏡　②塗膜構造　③断面観察法　④漆製品　⑤技法調査　⑥修理報告書

213131 歴史文化演習A

教授　山本　博也

卒業論文作成に向けて、史料の収集・整理の方法、史料解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行なう。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213132 歴史文化演習B

准教授　博士（文学）　千葉　功

卒業論文完成に向けて、各自が自由発表を行い、教員ないし他の参加者がコメントをつける。厳密な史料読解から仮説設定・自論展開につなげる方法を学び、一歩一歩卒業論文を作成していくようにする。

①日本近現代史　②史料批判　③仮説設定　④先行研究　⑤論証性　⑥卒業論文

213133 歴史文化演習C

教授　掛川　典子

３年次に「比較女性史論演習」を履修した者を対象にして、卒業論文作成を念頭に置いた研究発表を行う。論文の執筆形式や口頭発表の仕方も厳格に指導する。

①文献検索　②テーマ設定　③先行研究　④卒業論文　⑤レジュメ　⑥口頭発表

213134 歴史文化演習 D

教授　吉成　薫

古代オリエント史および西洋古代史に関する卒業論文を書く学生を対象に、論文作製の具体的な方法や技術を指導する。各自の研究の進展状況を発表させ、適切な参考文献の紹介など具体的アドバイスを行い、水準以上の論文完成を目ざす。

①レポートと論文　②トピックの選定　③史料・文献の読み方

213135 歴史文化演習 E

教授　田熊　信之

中国の歴史、文化を素材とする卒業論文の作成に向けて、資料及び史料の収集、整理、批判、解読、論述にわたる具体的な方法についての指導を重点的に行なう。

①卒業論文　②研究史　③資料と史料　④仮説　⑤論証　⑥引用と施注

213136 歴史文化演習 F

教授　博士（文学）　山本　暉久

卒業論文作成に向けて、資料収集・整理・分析・解釈・論述の仕方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③資料収集　④分析　⑤考察　⑥引用と注

213137 歴史文化演習 G

准教授　小泉　玲子

古墳時代の講義と共に、卒業論文作成に向けて、資料収集・資料整理・資料批判・資料解釈・論述の仕方についての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③資料　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213138 歴史文化演習 H

教授　博士（学術）　菊池　誠一

東南アジアの考古学・歴史やアジアの海をめぐる文化交流史で卒業論文を書く学生を対象とする。卒業論文作成にむけて、文献収集や史（資）料批判、解釈、論述の仕方などについて指導を重点的におこなう。

①卒業論文　②研究史　③史料（資料）　④論文の書き方　⑤引用と註

213139 歴史文化演習 I

教授　博士（文学）　内田　啓一

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213140 歴史文化演習 J

教授　木下　亮

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213141 歴史文化演習 K

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213142 歴史文化演習 L

教授　安蔵　裕子

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述方法などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213143 歴史文化演習 M

教授　関口　靜雄

卒業論文の作成に必須の方法について具体的に指導する。

①回顧と展望　②仮説　③実証

213144 歴史文化演習 N

教授　渡辺　伸夫

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213145 歴史文化演習 O

教授　博士（文学）　田畑　久夫

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。夏季に短期間の研修旅行を実施する。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

213146 歴史文化演習 P

准教授　博士（社会学）　フフバートル

卒業論文の作成に向けて、資料の収集、選択、利用の方法や記述と論述のし方などを重点に指導を行う。

①卒業論文　②現地調査　③資料分析　④記述　⑤論述

213147 歴史文化演習 Q

教授　江中　里子

卒業論文の作成に向けて、資料の収集、整理・分析、解釈、論証などの段階を追って実際的な指導を行う。

①卒業論文　②先行研究　③分析　④解釈　⑤論証

213148 歴史文化演習 R

教授　増田　勝彦

学生による調査結果の発表、論文作成経過報告と関連事項の講義。

①製紙技術史　②絵画・文書文化財修復

213149 歴史文化演習 S

教授　武田　昭子

卒業論文作成に向けて、資料（史料）の収集・整理の方法、史料（資料）解釈のあり方や論述のし方などについての指導を重点的に行う。

①卒業論文　②研究史　③史料批判　④仮説　⑤論証　⑥引用と注

6. 心理学科　平成20年度以降入学者用

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	澁澤	221001	②		②						1	同	現代教養分野※
		社会をみる目Ⅱ	澁澤	221002		②		②					1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅰ	小島	221003	②		②						1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅱ	小島	221004		②		②					1	同	現代教養分野※
		社会福祉の歴史	月田	221005	②	②	②	②					1	同	福祉環境分野※
		福祉環境とボランティア	興梠	221006	②	②	②	②					1	同★	福祉環境分野※
		人間形成原論	桑原	221007	②		②						1	同	初等教育分野※
		教育哲学	宮寺	221008		②		②					1	同	初等教育分野※
															（現代・福祉・初教）※少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修
総論	心理学概説Ⅰ		古川	221009	2								1	同	（現代教養・福祉環境・初等教育）
	心理学概説Ⅱ		藤崎	221010		2							1	同	（現代教養・福祉環境・初等教育）
	発達心理学		松永	221011	2								1		
	社会心理学		今城	221012		2							1		
	臨床心理学		山崎	221013			2						2	×	
研究法	心理基礎実験		松野・田中（奈）・藤島 松澤・平田・番場	221014	2								1		〔4〕
	心理統計法		松野	221015		2							1		社会調査士D
	データ解析実習Ⅰ		松澤・日向野	221016			2						2	×	社会調査士C
	データ解析実習Ⅱ		藤島・田中（知）	221017				2					2	×	社会調査士E
	心理学研究法		松澤・田中（知）	221018				2					2	×	
	心理臨床面接実習		鵜養・島谷	221019					②		②		3		〔4〕
	心理実験法実習		松野	221020					②		②		3		〔4〕 4単位以上選択必修
	質問紙調査法実習A		今城・藤島・田中（知）						②		②		3	×	〔4〕 社会調査士G
	質問紙調査法実習B		清水							②		②	3	×	〔4〕 社会調査士G
	心理査定法実習		田中（奈）・松永	221023						②		②	3		〔4〕
各論	アメリカ心理学事情（ボストンサマーセッション）		心理学科教員	221024	②		②		②		②		−		
	児童心理学		三浦	221025		②		②		②		②	1	◎	
	青年心理学		渡邊	221026		②		②		②		②	1	◎	
	乳幼児心理学		松澤	221027		②		②		②		②	1		
	学習心理学		大芦	221028				②		②		②	2		
	家族心理学		野末	221029			②		②		②		2	◎	
	家族葛藤の心理学		奥山	221030				②		②		②	2	◎	
	感情心理学		田村	221031				②		②		②	2		
	教育心理学		木下	221032				②		②		②	2	◎	
	思考心理学		松野	221033				②		②		②	2		
	集団の社会心理学		清水	221034			②		②		②		2	×	
	人格心理学		長塚	221035			②		②		②		2	◎	
	精神医学		倉林	221036			②	②	②	②	②	②	2		
	比較行動学（心理）		常喜	221037			②		②		②		2	◎	
															＊注1 20単位以上選択必修

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

＊注1　必修および選択必修の最低単位数以外にさらに10単位の履修が必要。
教職免許か社会調査士取得を目指さない者は各論からさらに10単位分を履修することが望ましい。

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
各論	生理心理学	本多	221038				②		②		②	2		
	対人関係論	藤島	221039				②		②		②	2	◎	
	認知心理学	上村	221040			②		②		②		2		
	発達臨床心理学	松永	221041				②		②		②	2		
	非行臨床心理学	渡邊	221042				②		②		②	2		
	マスコミュニケーションの社会心理学	田中（淳）	221043			②		②		②		2	◎	
	災害の社会心理学	田中（淳）	221044				②		②		②	2	◎	
	産業組織心理学	田中（知）	221045			②		②		②		2		
	広告と消費の心理学	田中（知）	221046				②		②		②	2		
	臨床心理地域援助	鵜養	221047				②		②		②	2		
	臨床心理面接	島谷	221048				②		②		②	2	×	
	観光心理学	小口	221049					②		②		3		
	健康心理学	北村	221050					②		②		3		
	心理アセスメント	田中（奈）	221051					②		②		3		
	心理学外書講読	上村	221052					②		②		3		
	精神分析理論	西河	221053						②		②	3	◎	
	犯罪心理学	藤田	221054						②		②	3	◎	
演習	心理学入門演習	三浦・今城・清水・松澤	221055			2						2	×	2単位必修
	心理学基礎演習	心理学科教員	221056					2	2			3		4単位必修
	臨床心理学演習A	鵜養	221057							②	②	4		4単位以上選択必修
	臨床心理学演習B	田中（奈）	221058							②	②	4		
	臨床心理学演習C	島谷	221059							②	②	4		
	臨床心理学演習D	渡邊	221060							②	②	4		
	臨床心理学演習E	山崎	221061							②	②	4		
	社会心理学演習A	田中（知）	221062							②	②	4		
	社会心理学演習B	清水	221063							②	②	4		
	社会心理学演習C	藤島	221064							②	②	4		
	社会心理学演習D	今城	221065							②	②	4		
	発達心理学演習A	松永	221066							②	②	4		
	発達心理学演習B	松澤	221067							②	②	4		
	発達心理学演習C	三浦	221068							②	②	4		
	発達心理学演習D	藤崎	221069							②	②	4		
	認知心理学演習A	古川	221070							②	②	4		
	認知心理学演習B	松野	221071							②	②	4		
	認知心理学演習C	上村	221072							②	②	4		
卒業論文			221073							8		4		

＊注1　必修および選択必修の最低単位数以外にさらに10単位の履修が必要。
教職免許か社会調査士取得を目指さない者は各論からさらに10単位分を履修することが望ましい。

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
教科専門科目	法学概論（国際法を含む）	高佐	221074	②		②		②		②		3	同	（歴史文化）
	現代政治論	村野	221075			②	②	②	②			2	同	（現代教養）
	社会学	金子	221076	②	②	②	②					1	同★	（一般教養）
	現代社会論	木下	221077			②	②	②	②			2	同	（現代教養）
	哲学概論	飯塚	221078			②	②	②	②	②	②	2	同	（一般教養）
	倫理学概論	掛川	221079	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	歴史学概論	山本（博）	221080	②		②		②				1	同	（歴史文化）
	日本史通論	千葉	221081			②		②		②		2・3	同	（歴史文化）
	世界史通論	吉成	221082				②		②		②	2・3	同	（歴史文化）
	日本中世史	山本（博）	221083	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴史文化）
	日本近世史	太田	221084	②	②	②	②	②	②			1	×	（歴史文化）
	日本近代史	千葉	221085	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（現代教養）
	古代オリエント文化史	吉成	221086	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	東洋史概説	田熊	221087	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	人文地理学概論	田畑	221088	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	自然地理学概論	大山	221089	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	地誌通論A－日本地誌－	福島	221090	②		②		②				2	同	（歴史文化）
	地誌通論B－世界地誌－	福島	221091		②		②		②			2	同	（歴史文化）
	日本女性史	児島	221092	②	②	②	②	②	②			2	×	（歴史文化）
	比較女性史論	掛川	221093	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	文化人類学概論	スチュアート	221094	②		②						1	同	（歴史文化）夏期集中講義
	キリスト教文化史	掛川	221095	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	禅と日本文化	田熊	221096	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴史文化）
社会調査士	社会科学と社会調査	矢野	221097			②		②				2・3	同	社会調査士A
	社会調査の理論と方法	大多和	221098			②		②				2・3	同	社会調査士B
	フィールドワークと質的分析	教員未定	221099				②		②			2・3	同	社会調査士F

＊注1　必修および選択必修の最低単位数以外にさらに10単位の履修が必要。
教職免許か社会調査士取得を目指さない者は各論からさらに10単位分を履修することが望ましい。

6. 心理学科　平成19年度以前入学者用

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	澁澤	221001	②		②						1	同	現代教養分野※
		社会をみる目Ⅱ	澁澤	221002		②		②					1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅰ	小島	221003	②		②						1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅱ	小島	221004		②		②					1	同	現代教養分野※
		社会福祉の歴史	月田	221005	②	②	②	②					1	同	福祉環境分野※
		福祉環境とボランティア	興梠	221006	②	②	②	②					1	同★	福祉環境分野※
		人間形成原論	桑原	221007	②		②						1	同	初等教育分野※
		教育哲学	宮寺	221008		②		②					1	同	初等教育分野※
															（現代・福祉・初教）※少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修
研究法	心理基礎実験		松野・田中（奈）・藤島 松澤・平田・番場	221014	2								1		〔4〕
	心理統計法		松野	221015		2							1		社会調査士D
	データ解析実習		松澤・日向野	221016			2						2		社会調査士C
	心理学研究法		清水・松澤	221018				2					2		
	心理査定法実習		田中（奈）・松永	221023						②		②	3		〔4〕
	心理臨床面接実習		鵜養・島谷	221019					②		②		3		〔4〕
	心理実験法実習		松野	221020					②		②		3		〔4〕
	心理特殊実験A		古川・松野	221100						②		②	3		〔4〕
	質問紙調査法実習		清水・田中（知）	221021					②		②		3		〔4〕 社会調査士G
	心理特殊実験B		清水・藤島・田中（知）	221101						②		②	3		〔4〕
															4単位以上選択必修
総論	心理学概説		古川・藤崎		2	2							1	同	（現代教養・福祉環境・初等教育）
	発達心理学		松永	221011	2								1		
	社会心理学		清水・藤島	221012			2	2					2		
	臨床心理学		鵜養・山崎	221013			2	2					2		
各論	アメリカ心理学事情(ボストンサマーセッション)		心理学科教員	221024		②		②		②		②	–		
	児童心理学		三浦	221025				②		②		②	2	◎	
	乳幼児心理学		松澤	221027				②		②		②	2		
	認知心理学		上村	221040			②		②		②		2		
	人格心理学		長塚	221035			②		②		②		2	◎	
	思考心理学		松野	221033				②		②		②	2		
	生理心理学		本多	221038				②		②		②	2		
	比較行動学（心理）		常喜	221037			②		②		②		2	◎	
	教育心理学		木下	221032			②	②	②	②	②	②	2	×（前期）◎	
	青年心理学		渡邊	221026				②		②		②	2	◎	
	災害の社会心理学		田中（淳）	221044				②		②		②	2	◎	
	マスコミュニケーションと世論		田中（淳）	221102				②		②		②	2	×	
	マスコミュニケーションの社会心理学		田中（淳）	221043			②		②		②		2	◎	
	学習心理学		大芦	221028				②		②		②	2		
	感情心理学		田村	221031				②		②		②	2		
															＊注1
															28単位以上選択必修
															前期開講せず

開講中心年次：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③同印は同時開設科目
④★印は前・後期同一内容
⑤×印は本年度開講せず

＊注1　教職課程履修者は、18単位以上選択必修

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				1年次 単位		2年次 単位		3年次 単位		4年次 単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③同印は同時開設科目 ④★印は前・後期同一内容 ⑤×印は本年度開講せず
各論	家族心理学	野末	221029			②		②		②		2	◎	
	家族葛藤の心理学	奥山	221030				②		②		②	2	◎	科目名変更「家族葛藤の心理」
	少年非行の心理		221103				②		②		②	2	×	
	非行臨床心理学	渡邊	221042				②		②		②	2		
	発達臨床心理学	松永	221041				②		②		②	2		
	対人関係論	藤島	221039						②		②	3	◎	
	産業組織心理学	田中（知）	221045					②		②		3		
	広告と消費の心理学	田中（知）	221046				②		②		②	2		
	精神医学	倉林	221036			②	②	②	②	②	②	2		
	臨床心理面接	島谷	221048						②		②	3		
	臨床心理地域援助	鵜養	221047						②		②	3		
	健康心理学	北村	221050					②		②		3		
	観光心理学	小口	221049					②		②		3		科目名変更「応用社会心理学」
	犯罪心理学	藤田	221054					②	②	②	②	3	×（前期）◎	前期開講せず
	精神分析理論	西河	221053						②		②	3	◎	
	家族療法		221104					②		②		3	×	
	心理アセスメント	田中（奈）	221051					②		②		3		
	心理学外書講読	上村	221052					②		②		3		
	社会科学と社会調査	矢野	221097			②		②				2・3	同	社会調査士A
	社会調査の理論と方法	大多和	221098			②		②				2・3	同	社会調査士B
	社会経済統計Ⅱ	矢野	221105						②		②	3・4	同	社会調査士E
	フィールドワークと質的分析	教員未定	221099				②		②			2・3	同	社会調査士F
演習	心理学基礎演習	心理学科教員	221056					2	2			3		
	臨床心理学演習A	鵜養	221057							②	②	4		4単位以上選択必修
	臨床心理学演習B	田中（奈）	221058							②	②	4		
	臨床心理学演習C	島谷	221059							②	②	4		
	臨床心理学演習D	渡邊	221060							②	②	4		
	臨床心理学演習E	山崎	221061							②	②	4		
	社会心理学演習A	田中（知）	221062							②	②	4		
	社会心理学演習B	清水	221063							②	②	4		
	社会心理学演習C	藤島	221064							②	②	4		
	社会心理学演習D	今城	221065							②	②	4		
	発達心理学演習A	松永	221066							②	②	4		
	発達心理学演習B	松澤	221067							②	②	4		
	発達心理学演習C	三浦	221068							②	②	4		
	発達心理学演習D	藤崎	221069							②	②	4		
	認知心理学演習A	古川	221070							②	②	4		
	認知心理学演習B	松野	221071							②	②	4		
	認知心理学演習C	上村	221072							②	②	4		
卒業論文		専任教員全員	221073							8		4		

＊注1　教職課程履修者は、18単位以上選択必修

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
教科専門科目	法学概論（国際法を含む）	高佐	221074	②		②		②		②		3	同	（歴史文化）
	現代政治論	村野	221075			②	②	②	②			2	同	（現代教養）
	社会学	金子	221076	②	②	②	②					1	同★	（一般教養）
	現代社会論	木下	221077			②	②	②	②			2	同	（現代教養）
	哲学概論	飯塚	221078			②	②	②	②	②	②	2	同	（一般教養）
	倫理学概論	掛川	221079	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	歴史学概論	山本（博）	221080	②		②		②				1	同	（歴史文化）
	日本史通論	千葉	221081			②		②		②		2・3	同	（歴史文化）
	世界史通論	吉成	221082				②		②		②	2・3	同	（歴史文化）
	日本中世史	山本（博）	221083	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴史文化）
	日本近世史	太田	221084	②	②	②	②	②	②			1	×	（歴史文化）
	日本近代史	千葉	221085	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（現代教養）
	古代オリエント文化史	吉成	221086	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	東洋史概説	田熊	221087	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	人文地理学概論	田畑	221088	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	自然地理学概論	大山	221089	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴史文化）
	地誌通論A－日本地誌－	福島	221090	②		②		②				2	同	（歴史文化）
	地誌通論B－世界地誌－	福島	221091		②		②		②			2	同	（歴史文化）
	日本女性史	児島	221092	②	②	②	②	②	②			2	×	（歴史文化）
	比較女性史論	掛川	221093	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	文化人類学概論	スチュアート	221094	②		②						1	同	（歴史文化）夏期集中講義
	キリスト教文化史	掛川	221095	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴史文化）
	禅と日本文化	田熊	221096	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴史文化）

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③同印は同時開設科目
④★印は前・後期同一内容
⑤×印は本年度開講せず

＊注1　教職課程履修者は、18単位以上選択必修

○社会調査士について　（心理学科）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、ＥとＦはどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、Ｃ・Ｄ科目を履修した後にＥ科目を履修してください。また、Ｇ科目の履修にあたっては、Ａ・Ｂ科目を履修済みであることが望ましく、少なくとも同時に履修中であるようにして下さい。Ｆは履修順序に関係なく履修することができます。
ただし、平成１９年度以前入学生は、上記の規定に関わらず履修することを認めます。
各科目が資格取得に有効であるのは、平成 20 年度以降に履修した分に限ります。ただし、データ解析実習は平成 19 年度分、心理統計法は平成 18 年度分・平成 19 年度分も資格取得に有効です。

平成20年度以降入学者

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	２・３年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	２・３年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	データ解析実習Ⅰ	２年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	心理統計法	１年　後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	データ解析実習Ⅱ＊	２年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	２・３年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	質問紙調査法実習Ａ＊ どちらか	３・４年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	質問紙調査法実習Ｂ＊ どちらか	３・４年　後期	

＊申請予定

平成 19 年度以前入学者

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	２・３年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	２・３年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	データ解析実習またはデータ解析実習Ⅰ	２年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	心理統計法	１年　後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	３・４年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	２・３年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	質問紙調査法実習	３・４年　前期	社会調査の実習を中心とする科目

授業概要

221001 社会をみる目Ⅰ　c

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①社会　②変革　③進歩　④時代　⑤人間　⑥価値観

221002 社会をみる目Ⅱ　c

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①社会　②変革　③進歩　④時代　⑤人間　⑥価値観

221003 経済をみる目Ⅰ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

221004 経済をみる目Ⅱ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

221005 社会福祉の歴史

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

グローバル化は、国境を越えた人々の移動や経済、文化の交流を活発にしている。しかし、一方で、南北の経済格差は広がり、文明の発展した諸国、経済の発展途上にある諸国は、それぞれ異なった福祉的課題をかかえている。社会福祉の歴史に学び、未来を見据える。視聴覚教材を用いる。

①慈善事業　②社会事業　③社会福祉　④社会保障　⑤相互扶助　⑥社会福祉の権利

221006 福祉環境とボランティア

非常勤講師　興梠　寛

21世紀は「ボランティアの世紀」といわれています。本講義は、グローバルな視野から、ボランティア・市民社会の理念や社会システムについて論じるとともに、未来の社会を育む“ボランティア・ネットワーキング”の可能性、それを支援するための社会政策や環境づくりなどを、多様な視点から学ぶことを目標にします。授業では、講義にとどまらず、話しあいや協働作業などをとおしたワークショップ、映像による実践の世界を探訪するなどの“参画型学習”を展開していきます。

①ボランティアの世紀　②市民社会　③ワークショップ　④参画型学習　⑤ネットワーキング

221007 人間形成原論

特任教授　桑原　敏明

教育学の基礎として、人間性・教育・学校教育の構造原理について講義する。

①人間　②教育　③生きる力　④脳科学

221008 教育哲学

非常勤講師　宮寺　晃夫

現代教育の分析を通して、教育の課題と本質を解明することを目的とする。そのさい、できるだけ最近の教育問題や政策課題を素材にしていく。今後の学校教育のあり方について自分自身の考え方を抱けるようにしていく。

①教育とは何か、という問い　②教育問題の分析　③教育資源の分配　④公正な教育

221009 心理学概説Ⅰ

教授　古川　真人

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める。

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

221010 心理学概説Ⅱ

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める。

①発達　②言語　③動機づけ　④パーソナリティ　⑤適応　⑥集団

221011 発達心理学

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ

人間は、誕生から老年期にいたるまで連続性を持ちながら身体的にも心理的にも変化し続けている。生涯にわたるこの変化のプロセスを発達的に理解することを目的とする。それぞれの発達期に特徴的にみられる現象を取り上げ、そのメカニズムを理解し、成長のための発達課題について考える。

①生涯発達　②発達課題　③遺伝と環境

221012 社会心理学

教授　博士（文学）　今城　周造
准教授　清水　裕
准教授　藤島　喜嗣

社会心理学の研究領域および現代的課題について概説するとともに、研究方法も解説していく。また、各論として個人レベルから集団レベルまでの問題をとりあげながら、概念用語と理論を詳述する。

①自己　②対人認知　③対人関係　④対人相互作用　⑤集団行動　⑥集合行動

221013 臨床心理学

教授　鵜養　啓子
准教授　山崎　洋史

臨床事例を考察し、状態の査定、病理、治療技法の有効性、クライエントの成長、さらにクライエントの周囲への援助についての基礎的な理解を進める臨床心理学の基礎講義である。心理臨床家の倫理や態度についても学ぶ。

①病理　②査定　③技法　④地域援助　⑤倫理

221014 心理基礎実験

准教授　松野　隆則
准教授　田中奈緒子
准教授　藤島　喜嗣
准教授　松澤　正子
助教　平田万理子
非常勤講師　木村あやの

感覚・記憶・学習・動機づけなどの実験法の基礎や、知能・性格などの検査法の基礎を学生みずから体験的に学ぶ。目的にしたがって実験を行なって認知や行動を測定したり、心理検査を実施してそこに表われた結果を判断したりするプロセスを経験することと、それらをレポートとしてまとめる作業を通じて、基本的な心理学研究の技法と態度を習得する。

①実験　②測定　③心理検査

221015 心理統計法

准教授　松野　隆則

実験・観察・調査などの実証的方法によって測定された数値データから、研究対象の性質を客観的に読み取り、一般化の可能性を公平に見積る数学的方法が統計法である。講義時間中の解説と時間外の受講生自身による教科書の読解・課題演習を通して、心理学を学ぶ上で必須となる統計法について理解させる。

①確率分布　②母集団と標本　③統計的仮説検定

221016 データ解析実習

准教授　博士（文学）　松澤　正子
非常勤講師　日向野智子

調査や実験の報告や論文を読みとったり、実施して結果をまとめたりするのに必要な統計の基礎知識と分析方法を学ぶことを目的とする。量的データに対しては、度数分布や平均、標準偏差などの記述統計の理解と、パソコンを用いた計算、グラフの作成などを行う。またグループ間の平均値の差の検定、２つのデータの関連を表す相関係数、因果関係と相関関係の違いを理解する。質的データは、コーディングされたデータの集計について学び、変数間の関連性の検定を行う。

①統計分析　②パソコン　③グラフ作成

221018 心理学研究法

准教授　清水　裕
准教授　博士（文学）　松澤　正子

心理学の領域において実証的な研究を行うにあたり、必要となる基本的な知識と技術の習得を目的とする。また、単に講義を受けるだけではなく、習得した知識と技術を用いて自ら研究を進める実習的な時間も設け、研究法の理解を確実なものにさせる。

①研究過程　②調査方法　③実験方法

221019 心理臨床面接実習

教授　鵜養　啓子
教授　島谷　まき子

面接のロールプレイング・絵画療法・サイコドラマなど技法の体験実習を通じて心理臨床家の態度や技法を修得するとともに、事例研究報告の検討等を通じて、事例の適切な理解や対応について体験的に学習する。

①面接　②心理療法　③事例研究

221020 心理実験法実習

准教授　松野　隆則

基礎的な心理学の研究では、研究者が設定した様々な条件下での人間の行動を測定し、因果関係を明らかにする実験的方法の使用が不可欠である。知覚・記憶・学習・思考の各分野から代表的な実験パラダイムを選んで追試し、心理学実験の基礎的方法を習得する。実験を準備・実施・分析・報告する中で、実験のなりたちを体得的に理解すると共に、自らの実験を企画・実施する素養を培う。

①条件統制　②独立変数の操作　③従属変数の測定

221100 心理特殊実験Ａ

教授　古川　真人
准教授　松野　隆則

受講生と相談の上決定した研究テーマについて、先行研究の文献の検索から、文献の講読、実験の計画、実施、統計処理までを一通り経験し、心理学実験の実際的方法を学ぶ。卒論執筆の訓練を兼ねて、学期末までに論文としてまとめさせる。進行状況や最終成果のプレゼンテーションの機会を設定し、発表能力の向上を目指すとともに他の報告から様々な問題点への対処方法を学ぶ経験を持たせたい。

①文献検索　②実験計画　③論文作成

221021 質問紙調査法実習

准教授　清水　裕
講師　田中　知恵

社会心理学の方法論、特に質問紙調査法のもつ意義・内容を講義した後、各受講生に社会心理学の領域中で興味・関心のあるテーマを選定してもらい、質問紙調査用紙の作成方法、データの分析方法、結果のまとめ方までを体験しながら習得してもらう。

①心理学研究法　②心理学調査法　③心理学分析法

221101 心理特殊実験B

准教授　清水　裕
准教授　藤島　喜嗣
講師　田中　知恵

受講生が興味・関心のあるテーマを探し、テーマの類似した受講生でグループを形成する。実験計画・調査計画を立案し、全体で討論を行った上で、実験・調査を実施する。研究を実際に実行することにより、研究過程を理解・習得し、また、グループで実施することにより、相互に助け合い、理解が深まることを期待する。講義時間外での予習や実習が莫大なものになることを理解した上で受講されたい。

①実験計画法　②データ収集　③統計解析

221023 心理査定法実習

准教授　田中　奈緒子
准教授　松永　しのぶ

個別式知能テストのほか、質問紙法、投映法など臨床場面で用いる代表的なパーソナリティテストを実施し、レポートとしてまとめる作業を通して、心理査定について体験的に学ぶ。また、結果レポートのほか、自己分析レポートを記すことを通して、自己理解を深める。

①心理アセスメント　②心理測定　③心理検査

221025 児童心理学

教授　三浦　香苗

学習目標

1) 人間の発達の様相についての基礎的知識を得る
2) 発達という現象に関わる諸要因から、子どものよりよい発達のためにおとながなすべきことについて考える。

①社会の中での発達　②認知発達　②社会性の発達　④人格の発達

221026 青年心理学

教授　渡邊　佳明

最初に、自己および心の概念について話し合う。次いで、青年期の自我、情緒、思考の発達、向社会化・反（非）社会化、性格形成等の理論の解説をする。あわせて、若い作家の文学作品を素材に青年心理の特徴にじかに触れる経験（直感的理解）の演習を行なう。

①自己と心　②向社会化・反（非）社会化　③直感的理解

221027 乳幼児心理学

准教授　博士（文学）　松澤　正子

発達は、生物学的に規定される遺伝要因と、生後の物理的ならびに社会文化的な環境要因の両者の影響を受けて進んでいく。乳幼児期は、身体の発育や神経系の成熟など遺伝要因による変化が著しいが、そのような変化を基礎として、環境要因の影響を受けながら精神発達を遂げる。この授業では、発達障害の問題を参照しながら、乳幼児期の精神機能の発達メカニズムについて理解する。

①乳幼児　②認知　③神経

221028 学習心理学

非常勤講師　大芦　治

一般に学習心理学と呼ばれている領域全般について講義します。学習心理学の領域に含まれるものとしては条件づけを中心とした行動心理学とその応用、動機づけ、認知心理学の中の記憶研究、教授心理学の一部、学習の生理心理学的な研究などが含まれます。

①学習　②条件づけ　③記憶　④動機づけ　⑤教授学習　⑥脳・神経系

221029 家族心理学

非常勤講師　野末　武義

家族心理学および家族療法の基礎理論を学び、現代社会におけるさまざまな家族の問題を理解し、その援助方法を知る。家族というシステムの複雑さ、難しさ、病理性と健康性、リソースについて理解を深め、問題を抱えた家族が持っている力、一見問題がない家族の深層について理解を深め、家族をより多面的に理解できるようになることを目標とする。

①家族ライフサイクル　②カップル（夫婦）　③アサーション

221030 家族葛藤の心理学

非常勤講師　奥山　淳一

社会の価値観の多様化などに伴い、家族のあり方が変化の速度を増してきており、家族の危機を指摘する声も多い。この講義では、親子やきょうだい、あるいは夫婦の間に生じやすい葛藤や対立について事例を参照しながら検討し、今日の家族問題に対する理解を深めることを目指す。

①同朋葛藤　②児童虐待　③離婚紛争

221031 感情心理学

非常勤講師　田村　亮

感情に関する心理学の諸理論を学ぶ。感情は、認知、神経科学、発達、臨床、進化など様々な観点から研究されているが、本講義に参加することで、感情が現在どのように取り扱われているかを理解することができる。

①生理的反応　②主観的経験　③表出

221032 教育心理学

非常勤講師　木下　芳子

子どもの学習の過程を理解し、効果的な教育的働きかけをし得るよう、に教育心理学の基本的考え方を提示する。

①学習と理解　②知識獲得　③概念獲得　④教科の学習

221033 思考心理学

准教授　松野　隆則

問題解決、推論、意思決定、概念などの人間の高次の認知過程に関する心理学的研究は、認知科学の興隆と共に近年飛躍的に発展しつつある。授業では、各トピックについて、代表的理論と主な経験的知見を紹介する。

①問題解決　②推論　③意思決定

221035 人格心理学

非常勤講師　長塚　恭一

人格とは何かについて、人格の主要理論を通じて考察したのち、人格がどのように形成され、成熟してゆくのかについて、発達上の視点、適応・不適応論、ライフサイクル、文化比較上の観点等から解説する。

①人格理論　②適応障害　③ライフサイクル

221036 精神医学

非常勤講師　倉林　るみい

統合失調症（精神分裂病）、うつ病など精神医学で扱う様々な疾患の概念を平易に解説するとともに、疾患の分類、精神医療に関係する法律の基礎知識についても学ぶ。現代社会における精神医学的な諸問題にも触れる。

①精神障害　②精神保健　③社会精神医学

221037 比較行動学（心理）

教授　理学博士　常喜　豊

行動学は人間を他の動物と並列に置き、諸行動を比較・分析する点が心理学と異なる。この点を明確にしながら、行動学の基本概念と研究例を紹介する。教養科目の比較行動学よりも人間に関する話題を多く取り入れる。

①エソロジー　②生得的解発機構　③学習と刷り込み

221038 生理心理学

非常勤講師　本多　麻子

心と身体には密接な関係がある。生理心理学とは、行動の心理的側面と生理的側面の対応を検討することによって、心と身体の因果関係を解明する研究領域である。生理指標の特徴や基本的な測定方法を踏まえたうえで、身近な事例から具体的な研究例および臨床場面への応用例を紹介する。

①心　②身体　③脳

221039 対人関係論

准教授　藤島　喜嗣

この講義では、社会心理学、特に社会的認知とよばれる分野の知見をもとに、対人関係におけるトラブルの基盤となる心理過程を検討する。できるだけ最新の知見をもとに進める予定である。また、対人関係を社会心理学的に研究するときの技法を、具体的事例をまじえて紹介する。

①対人関係　②相互作用　③社会的認知

221040 認知心理学

教授　博士（文学）　上村　保子

人間が環境を認識し、行動を制御するはたらきについて、主として視覚による感覚・知覚の成立と空間の認知の問題をとりあげる。次いで、記憶、課題解決などの問題にも目を向ける。それらの諸現象と研究方法を解説し、得られた知見を概観する。

①知覚　②視覚　③記憶

221041 発達臨床心理学

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ

発達心理学の観点から、発達のつまづきや障害について理解することを通し、人間の発達に対する理解を深めることを目的とする。特に発達期に生じやすい発達的問題や発達障害をとりあげ、基本的な知識と発達支援の概略を学ぶ。

①発達　②臨床心理学　③発達障害　④発達支援

221042 非行臨床心理学

教授　渡邊　佳明

非行の定義、非行の研究方法、非行に関連する司法機関の概説をする。非行の心性について、非行少年の作文を通して解説する。実際の非行事例に基づいて非行発生の社会的、文化的背景要因の解説をする。

①非行原理　②少年司法　③事例分析

221043 マスコミュニケーションの社会心理学

非常勤講師　田中　淳

マスコミュニケーション研究は、社会心理学研究の一分野を形成してきた。その中で、実験社会心理学との接点を持つ効果研究に焦点を当て、マスコミュニケーションの機能と社会的役割を論じていきたい。

①マスコミュニケーション　②効果研究　③説得的コミュニケーション

221044 災害の社会心理学

非常勤講師　田中　淳

災害は皆さんから遠い世界にあるかもしれない。しかし、2つの側面で近い世界にある。ひとつは、個人として。関東大震災の再来は皆さんが年老いてからのことかもしれないが、首都直下で起こる地震は切迫していると地震学者は見ている。もうひとつは、心理学として。最近の防災研究の中では、地震学や耐震工学に加えて、社会心理学や心理学・社会学への期待が大きくなってきている。皆さんが、災害を知り、被災者の心を支援する力となって貰えればと願います。

①ボランテイア動機　②心のケア　③意志決定

221045 産業組織心理学

講師　田中　知恵

産業・組織場面での人間行動を、心理学的アプローチにより明らかにする。リーダーシップ、組織における葛藤（コンフリクト）などのテーマについて、研究論文や資料を基にその理論と成果を紹介する。

①産業・組織　②個人・集団の心理　③組織内のコミュニケーション

221046 広告と消費の心理学

講師　田中　知恵

消費者の心理過程や態度変容、広告表現における技法について、社会心理学の視点から理解する。また購買意思決定におけるバイアスについて知る。

①広告メッセージ処理　②説得　③意思決定のバイアス

221047 臨床心理地域援助

教授　鵜養　啓子

心理臨床専門業務のうちの臨床心理地域援助についてその基本概念を学ぶ。学校コミュニティへの援助および学校教育相談への援助を材料としながら概念についての実際例を解説し、心理臨床家によるコミュニティ援助の実際を学ぶとともに、学校臨床心理学・学校教育相談についても理解する。

①コミュニティ心理学　②学校臨床心理学　③学校教育相談

221048 臨床心理面接

教授　島谷　まき子

臨床心理面接の基本的事項の理解を深めるとともに、心理面接の過程でクライエントとの関係で生じる心理的現象の理解と対応の基本原則を学ぶ。各論として、さまざまな心理臨床の理論と技法のうち代表的なものを学ぶ。

①治療契約　②抵抗と転移　③体験過程とフォーカシング

221049 観光心理学

非常勤講師　博士（社会学）　小口　孝司

お金と時間があったら何をしますか?そのとき、必ずあげられるものとして旅行あるいは観光があげられるでしょう。観光は、多くの人が好む活動であるだけでなく、２１世紀の最大の産業でもあるのです。この観光について、心理学や隣接諸科学はどのように捉えているのかをを、テキストを用いながら、考えていきます。特に、社会心理学の視点から検討します。

①観光　②社会心理学

221050 健康心理学

非常勤講師　北村　文昭

“ストレス社会”と呼ばれる現代社会では、メンタルヘルスを主体的に予防的に考えることが重要である。発達的観点も交えて、社会的環境での心理臨床の技法と心構えの予防的応用などを紹介しながら考察を深める。

①メンタルヘルス　②ストレス　③予防

221051 心理アセスメント

准教授　田中　奈緒子

心理アセスメントの際の参照枠となる心理的異常について概観する。また、知能・パーソナリティ・発達検査等の多様な心理検査を活用できるよう、得点の解釈、信頼性、妥当性など心理検査の理論を学ぶ。

①心理アセスメント　②心理的異常　③心理検査理論

221052 心理学外書講読

教授　博士（文学）　上村　保子

心理学の英文文献を購読する。広い領域にわたる心理学の基礎に対する英語読解力を養い、各自の研究に必要な英文文献を理解することを目標とする。

①心理学の基礎　②専門用語　③英文文献

221053 精神分析理論

非常勤講師　西河　正行

こころの仕組み、精神病理について、精神分析理論の観点から解説する。具体的には、経済論、構造論、発達論、防衛論、自己愛論、対象関係論モデルなどについて学ぶ。またその観点から、神経症を中心に、症状形成について説明する。さらに自己理解・他者理解を促進するために、交流分析を紹介する。

①こころの仕組み　②こころの病　③自己理解・他者理解

221054 犯罪心理学

非常勤講師　藤田　宗和

犯罪心理学の総論として、犯罪の概念規定や犯罪観の系譜を概観し、主として犯罪原因論について、環境・文化的要因（犯罪副次文化、潜在価値等）からの接近と、個体的要因（心理力動、心理発達等）からの接近とに分けて解説。

①犯罪・非行の概念規定　②犯罪観の変遷　③犯罪原因論

221056 心理学基礎演習

心理学科教員

前期は発達・臨床・社会・認知に焦点を当てつつ、研究テーマ設定、その展開・研究法について理解する。後期は各自のテーマを具体的に論文として展開していく。毎回発表・質疑・討論を繰り返して研究を深める。

①心理学　②研究法　③討論

221057 臨床心理学演習A

教授　鵜養　啓子

前期は発達・臨床・パーソナリティ理解に焦点を当てつつ、研究テーマ設定、その展開・研究法について理解する。後期は各自のテーマを具体的に論文として展開していく。毎回発表・質疑・討論を繰り返して研究を深める。

①臨床心理学　②研究法　③討論

221058 臨床心理学演習B

准教授　田中　奈緒子

主として臨床領域における文献研究を通して、研究課題の発見、研究方法の選択について理解を深める。併せて、各自の研究テーマに沿って、研究計画・経過を互いに発表・報告し、討論を行いながら研究を進めていく。

①文献研究　②研究計画　③論文作成

221059 臨床心理学演習C

教授　島谷　まき子

各自の研究テーマに関連する先行研究の動向・論点、方法について理解を深め、研究テーマを絞り込み、研究計画を立てる。研究を実施し、結果の分析を行い、考察する。口頭発表とディスカッションによって進める。

①先行研究のレビュー　②研究計画の立案　③研究論文の作成

221060 臨床心理学演習D

教授　渡邊　佳明

各自の研究課題に応じた演習のほか、小説、詩などの作品を題材にして、購読し（直感的に読む）、作者、登場人物についての理解を深め、その心理や行動について、社会文化的要因との関連で捉える。

①研究方法　②先行研究　③直感分析

221061 臨床心理学演習E

准教授　山崎　洋史

臨床心理学領域の文献研究を、前期に実施。毎回、発表・議論・検討を行う。その過程において各自研究テーマを設定し、後期、論文作成に必要な技術を修得しつつ、心理学論文の作成を目指す。

①研究方法　②文献購読　③研究論文

221062 社会心理学演習A

講師　田中　知恵

社会心理学の領域において、実験や調査による実証的データを扱う演習である。受講生は先行研究に基づいてテーマを設定し、実験および調査の実施、データの統計分析を行う。さらに得られた結果について論考し、科学論文にまとめることを目標とする。

①先行研究　②研究計画　③実験　④統計分析　⑤論文作成

221063 社会心理学演習B

准教授　清水　裕

社会心理学の領域において実証的な研究を行っていく上で必要となる知識を習得しながら、各自で設定した研究テーマに関して実際にデータをとり、研究を進めていく。最終的には科学論文が書けるようになることを目指す。

①文献研究　②研究計画　③論文作成

221064 社会心理学演習C

准教授　藤島　喜嗣

社会心理学の実証的研究に関する演習である。各受講生は、自らテーマを設定し、先行研究を理解した上で研究計画を作成、データ採取、分析を行う。研究経過について討議、助言を行いながら科学論文の作成を目指す。

①先行研究　②研究計画　③実験　④統計解析　⑤科学論文の作成

221065 社会心理学演習D

教授　博士（文学）　今城　周造

自分の関心事は、学術的にはどのような「問い」になるのか、その答えを知るにはどんな研究をすればよいのか、得た「答え」あるいは「さらなる問い」をどのように人に伝えるか―これらを社会心理学の領域で、受講者と一緒に考えて行く。

①先行研究　②研究設問　③研究計画　④データの収集と分析　⑤論文作成

221066 発達心理学演習A

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ

人間の心の発達に関する各自の関心、問題意識を整理し、実証的に検討していくことを通して、自分の考えを他者と共有するための基本的な心得を学ぶ。併せて各自の人間理解を深める機会として欲しい。前半は、仲間との討論や文献研究などから課題を設定し、論証するための研究計画の立案が課題となる。

①問題意識の整理　②討論　③研究計画　④論文作成

221067 発達心理学演習B

准教授　博士（文学）　松澤　正子

前・後期を通じて、発達心理学の研究法についての指導を受けつつ、各自の関心に基づいた研究を遂行するための計画を立案する。さらに、その計画に基づきデータ収集、および分析を行い、研究論文を執筆する。

①研究計画　②データ収集　③論文執筆

221068 発達心理学演習C

教授　三浦　香苗

人間の発達についての受講生の個人的考えを整理し、実証的に検討していく。この経験を通して、生きた形での心理学的発想と手法が身につくことを期待する。前期は、自己の考えの社会化・客観化に重きを置く。後期は、問題意識の整理、入手資料の分析・検討、まとめ方に重点をおく。

①問題意識の整理　②心理学的発想　③結果の分析・検討　④論文作成　⑤発表の仕方

221069 発達心理学演習D

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

人間・発達についての各自の問題関心を明確にした上で、それを実証していくための作業を行う。文献検討・研究計画立案・資料収集・分析のプロセスを経て、研究論文を作成する。

①問題意識の整理　②討論　③研究計画　④論文作成

221070 認知心理学演習A

教授　古川　真人

受講者の定めた研究テーマに関して、実証的論文を完成できるよう指導する。先行研究文献の読解を重視しつつ、各自のオリジナリティを最大の課題とする。先行研究の読解に始まり、各自の研究テーマに関する研究論文を紹介し、自分自身の研究計画の吟味と報告を行ない、分析方法の検討、結果報告を通じて研究論文を仕上げるところまで指導する。

①研究計画　②文献研究　③論文作成

221071 認知心理学演習B

准教授　松野　隆則

認知心理学を学ぶ者が、各自の研究を行なう過程での経験を、同じ関心を持つ仲間と共有する。具体的には、先行研究文献の読解、研究計画の提示、予備実験・調査の結果など、研究の準備状況と成果を報告し討議する。

①先行研究　②研究計画　③口頭発表

221072 認知心理学演習C

教授　博士（文学）　上村　保子

受講者の定めた研究テーマに関して、実証的論文を完成できるよう指導する。具体的には、先行研究文献の精査、研究計画の立案と検討、予備実験実施と結果の考察、本実験の実施・結果の分析・考察などについて報告と討議を行い、研究論文を作成する。

①先行研究　②研究計画　③研究論文

221074 法学概論（国際法を含む）

非常勤講師　髙佐　智美

「法」というと自分たちの生活とはかけ離れたものというイメージがあるかもしれません。しかし実際には、「法」は私たちの日常生活に密接に関連しています。本講では、現在社会で問題となっている事件や事柄を通じて、「法」とは、「人権」とは何かを学習することを目的としています。

①リーガルマインド　②人権　③時事問題

221075 現代政治論

非常勤講師　村野　坦

私たちの日常から政治は遠いものに見える。だが現実の社会で人々の日常は政治と無関係ではあり得ない。国民・有権者として政治を見つめ、政治に参加する責任もある。身近な政治事象から主なものを取り上げ、背景や経緯を読み解きながら、その意味を考える。

①現代　②政治　③時事問題

221076 社会学

非常勤講師　博士（社会学）　金子　晃之

現代社会の身近な問題を考察しながら、私たちが直面している問題と生きる上での課題について考え、社会学の基礎を学んでいきます。同時に卒業後に必要な「社会人として、そして大人としての洞察力、判断力、想像力」を養うことを目的とします。

①下流社会　②動物化　③自己実現

221077 現代社会論

教授　木下　武男

現代的教養を身につけた職業人として成長するために必要な現代社会の価値観と知識を修得することを講義の目的とする。近代社会の基本的構造を理解した上で日本における企業中心社会の諸相とその変化、とくに格差社会の深まりについて解明する。さらに日本社会に大きな変化を促している男女共同参画社会の施策や少子化、グローバル化といったテーマについても検討する。

①資本制　②ジェンダー　③グローバリゼーション　④格差社会　⑤男女共同参画社会

221078 哲学概論

非常勤講師 文学博士　飯塚　勝久

この講義は、西洋哲学の本質を精神史的視点から考察する。したがって、システムとしての哲学理論の説明にとどまらず、それらの理論を育んだそれぞれの時代の「精神的境位」の解明をも目的とする。前期は古代・中世・近世の、後期は近・現代の哲学課題を取り上げる。

①根源への問い　②哲学と信仰　③古典主義的精神　④啓蒙思想とその克服　⑤歴史哲学　⑥現代の思想的状況

221079 倫理学概論

教授　掛川　典子

西洋倫理学の流れを概観しながら、よく生きるという人間の課題をめぐって、代表的な思想家の説を解説する。倫理学上の様々な論点に、現代の視点から考察を加えると同時に、複雑な現代倫理学の諸問題も紹介する。

①プラトン　②アリストテレス　③カント　④功利主義　⑤実存倫理　⑥生命倫理学

221080 歴史学概論

教授　山本　博也

歴史とは何か、過去の出来事をいかにして知ることができるか、歴史がわかるとはどういうことかなど、歴史をめぐっての、あるいは歴史を研究することをめぐってのさまざまな問題について考察したい。

①歴史と歴史像　②史料批判　③時代区分

221081 日本史通論

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本列島に住む人々は、どのように「歴史」を認識し、また「歴史書」をつむいできたのか。従来、このような学問は「史学史」と呼ばれて来たが、それはそれ、歴史書・歴史学と社会との関係を歴史的に見て行きたい。

①史学史　②歴史書　③歴史意識

221082 世界史通論

教授　吉成　薫

「社会」（中学校）の教員免許を取得しようとする者を対象とする。世界史は各国史の寄せ集めではなく、独自の視点に基いて把握された総合的歴史であるべきと考え、世界史の成立史をたどることで、こうした問題点を認識したのちに、世界史の再構成を目ざす。

①世界史の成立　②世界史の構造・意味　③現代歴史学の課題

221083 日本中世史

教授　山本　博也

日本における中世とよばれる時代、12 世紀頃から 16 世紀頃までの歴史に関して、その時代・社会の特質について、史料にふれながら、具体的に考えていく。

①鎌倉幕府　②南北朝の動乱　③室町幕府　④戦国大名　⑤中世の都市と惣村　⑥中世の文化

221085 日本近代史

准教授　博士（文学）　千葉　功

幕末から現代までの通史を授業するが、時間の関係上、ある時代ないし特定のテーマにしぼって講義を行う。内容はその年によって異なる。本年度は、前期は憲法発布から大正期にかけてを、後期は昭和戦前期を講義したい。

①憲法発布　②日露戦争　③第 1 次世界大戦　④憲政の常道　⑤満州事変　⑥日中戦争

221086 古代オリエント文化史

教授　吉成　薫

独力で人類最初の文明を築いた古代オリエントでは、政治・経済・社会・宗教など文明のあらゆる分野において、様々な可能性が試された。前期は社会、後期は宗教・思想関連の文化現象を、主に文字資料をもとに概観する。

①ヒエログリフ・楔形文字　②王権と神々　③女性・奴隷

221087 東洋史概説

教授　田熊　信之

広大な地域にわたる東洋世界の中で、独自な文明を築き上げ、これを広く長く展開して来たのは、中国である。本講では、まず中国の地理的、歴史的環境を確認し、新発見の考古資料等を用いて、長江、黄河の両地方に誕生した文明を鳥瞰する。ついでこのもとに興亡した、漢民族と非漢民族の王朝の歴史を省察し、政治、経済、宗教、文化の各面を含めて、中国を中心とした東アジアの歴史がどのように推移して来たかを、具体的に概観する。

①長江文明と黄河文明　②王朝と国家　③秦漢帝国　④農耕漢族と遊牧胡族　⑤律令制と官僚機構　⑥儒、仏、道教

221088 人文地理学概論

教授　博士（文学）　田畑　久夫

地域とそこに住む人びとの関係を具体的に考えるのが地理学の主要分野である人文地理学です。本年度は、人文地理学では人間をどのようにとらえてきたかを分かりやすく解説する。事例を日本だけでなく、世界各地からとるので、旅行の好きな学生には最適。学習を深めるため、夏季に研修旅行も実施の予定。

①自然地理学　②環境論と可能論　③都市の生活　④村の生活　⑤エクメーネの拡大　⑥旅の楽しみ

221089 自然地理学概論

非常勤講師　文学博士　大山　正雄

人間の活動と歴史は置かれている自然環境を舞台に展開しています。本授業は自然の姿と現象を水を縦糸にして、目にする風景がなにゆえそのような姿をし、人間生活とどう関わっているのかを知り、理解することを意図しています。

①地形　②河川　③平野　④海　⑤気候　⑥野外巡検

221090 地誌通論 A （日本地誌）

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

221091 地誌通論 B （世界地誌）

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

221093 比較女性史論

教授　掛川　典子

18 世紀末の市民革命の時代のリベラル・フェミニズムの古典から現代にいたる女性論の流れをたどる。日本の近代における欧米の女性論の受容と影響に関しても論じる。現在の女性の状況をよりよく理解する一助になるであろう。

①ルソー　②ウルストンクラフト　③ミル　④エレン・ケイ　⑤『青鞜』　⑥ボーヴォワール

221094 文化人類学概論

非常勤講師　本多　俊和

文化人類学（民族学）の視点から、北方民族を中心に、世界各地の民族の生活と社会を事例にして私たちが生きている現在の世界を多角的に考える。受講に際して、米山俊直、谷 泰 編『文化人類学を学ぶ』（世界思想社、1991）を読んでおくこと。

①人類発達史　②文化・社会　③理論　④進化主義　⑤異文化　⑥民族・人種

221095 キリスト教文化史

教授　掛川　典子

キリスト教の聖書としての旧約聖書と新約聖書の成立史や概要を解説した後、主に西方教会の流れに沿って、キリスト教思想と文化の発展を辿る。宗教改革を経て、近代社会成立以降のキリスト教文化の問題点も概観する。

①旧約・新約聖書　②教父　③宗教改革　④救済史と進化論　⑤ニーチェと神の死　⑥内村鑑三

221096 禅と日本文化

教授　田熊　信之

六朝の梁代、南天竺の菩提達磨によって中国に齎されたという禅の思想は、その後中国に於いて新たな展開を遂げ、自己の実践行為の下に仏陀と等質の悟りを体現しようとする宗教となった。この流れの中から生まれた臨済、曹洞の門流が日本に伝えられている。本講では、中国、日本の禅の歴史を顧みながら、六祖慧能下の流れを受けて成った日本の禅とその影響下に生まれた文化の種々相について、諸資料を用いて概観する。

①禅那・静慮・と只管打坐　②不立文字と以心伝心　③菩提達磨と六祖慧能　④清規と行履　⑤語録、詩偈、愛語　⑥頂相、作庭、喫茶

221097 社会科学と社会調査

教授　工学博士　矢野　眞和

社会現象を説明する科学としての社会科学を位置づけ、現象を説明するために必要な「理論とデータ」の関係を踏まえて、社会調査の意義と方法を学習する。

①社会科学②社会調査③量的分析④質的分析

221098 社会調査の理論と方法

非常勤講師　大多和　直樹

社会学における数量的調査の手法を学ぶ。卒論などで、自分で調査を設計し分析できることを目指し、その基礎をつくる。調査設計および実施方法に力点を置き講義を行う。調査の理論を実践の調査時の思考・感覚にむすびつけられるよう、ミニ演習（既存調査の再分析）を設ける。

①サンプリング　②ワーディング　③仮説検証

221099 フィールドワークと質的分析

非常勤講師　講師未定

フィールドワークと質的調査の基礎を学ぶ。観察法、フィールドノートのとり方、インタビューの技術、ライフヒストリー、理論的サンプリングといった個別技法を学び、調査計画を立案できる知識・技法を見につけることを目指す。

①質的調査　②フィールドワーク　③社会調査士資格

221105 社会経済統計Ⅱ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会経済統計における基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。

7. 福祉環境学科（平成19年度以降入学者用）

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
					1年次 単位		2年次 単位		3年次 単位		4年次 単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	澁澤	222001	②		②						1・2	同	現代教養分野※
		社会をみる目Ⅱ	澁澤	222002		②		②					1・2	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅰ	小島	222003	②		②						1・2	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅱ	小島	222004		②		②					1・2	同	現代教養分野※
		心理学概説Ⅰ	古川	222005	②		②						1・2	同	心理分野※
		心理学概説Ⅱ	藤崎	222006		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会心理学	藤島	222007		②		②					1・2	同	心理分野※
		人間形成原論	桑原	222008	②		②						1・2	同	初等教育分野※
		教育哲学	宮寺	222009		②		②					1・2	同	初等教育分野※
専門基礎科目		福祉環境総論	福祉環境学科教員	222010		2							1		
		社会福祉原論	月田・秋山	222011	2	2							1	同（前期）	[▼] [◆] [●] [■]（初教）（子ども）
		社会福祉の歴史	月田	222012	②	②	②	②	②	②	②	②	1		[◇]（現代・心理・初教）
		福祉環境とボランティア	興梠	222013	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同★	[○1]（現代・心理・初教）
		コミュニティ・サービスラーニング（福祉環境とボランティア）	興梠	222014		②		②		②		②	1	◎	※受講条件：「福祉環境とボランティア」または（総合「ボランティア論」）の単位を取得済みのこと
		保育原理	爾	222015	②	②	②	②	②	②	②	②	1		[●]
		教育原理	岸田	222016		②		②		②		②	1	同	[●]
		対人コミュニケーション	北本・陳	222017	②		②		②		②		1		[○3]
		法学	梶原	222018		②		②		②		②	1		[▽2] [□1]
		心理学	松澤	222019		②		②		②		②	1	同	[▽2] [○1] [□1]（総合「こころの科学D」）
		社会学	金子（晃之）	222020		②		②		②		②	1		[▽2] [○1] [□1]
		生態環境論	常喜	222021	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同	（現代）
		食生活と福祉	伊藤（純）	222022		②		②		②		②	1	◎	[◇]
		ユニバーサルデザイン	猪又	222023	②		②		②		②		1	同	（環境）
		バリアフリーデザイン	木村	222024				②		②		②	2・3	同	（文化「バリアフリー建築論」）
		社会福祉哲学	秋山	222025			②		②		②		2	◎同	（環境「生活福祉概論」）
		社会調査法基礎Ⅰ	矢野	222026	②		②		②				1	同×	（現代・心理・初教）H20年度開講せず
		社会調査法基礎Ⅱ	矢野	222027		②		②		②			1	同×	（現代・心理・初教）H20年度開講せず
専門分野基幹科目	社会福祉士等関連科目	家族福祉論	天野	222028	②		②		②		②		1	◎同	[◇] [○1]（子ども）
		児童福祉論	月田	222029		②		②		②		②	1	◎同	[▼] [◆] [●] [○1]（初教）（子ども）
		障害者福祉論	根本	222030	②		②		②		②		1	◎	[▼] [◆] [○1]
		高齢者の生活と福祉	伊藤（純）	222031	②		②		②		②		1	◎同	（食物「社会福祉特論」）
		老人福祉論	伊藤（純）	222032		②		②		②		②	1	◎	[▼] [◆]
		女性福祉論	森	222033			②		②		②		2	◎	
		地域福祉論	永山	222034	②		②		②		②		1・2	◎同	[▽1] [◇] [○1] [□2]（初教）（子ども）
		社会保障論	宮本	222035			②	②	②	②	②	②	2		[▽1] [◇] [□2]
		公的扶助論	梶原	222036			②		②		②		2		[▽1] [◇] [□2]
		居住福祉論	竹田	222037						②		②	3・4	同	
		医療福祉論	高橋（学）	222038			②		②		②		2	◎	[◇]
		精神医学	教員未定	222039			②		②		②		2		[■]
		医学一般	渡邉（啓）・他	222040				②		②		②	2		[▼] [■]

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
					1年次 単位		2年次 単位		3年次 単位		4年次 単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
専門分野基幹科目	社会福祉士等関連科目	介護概論	海老原	222041			②		②		②		2		[▼] [◆]
		介護技術	海老原	222042				②		②		②	2		[◆]
		社会福祉援助技術論A1	高橋（学）	222043			②		②		②		2		[▼] [◇1]
		社会福祉援助技術論A2	北本	222044				②		②		②	2・3		[▼] [◇1]
		社会福祉援助技術論B1	北島	222045			②		②		②		2		[▼] [◆]
		社会福祉援助技術論B2	永山	222046				②		②		②	3		[▼] [◆]
		社会福祉援助技術演習A	北本・高橋（久）・高橋（学）・根本	222047				②		②			2		[▼] [◇]
		社会福祉援助技術演習B	北本・高橋（久）・高橋（学）・根本	222048					①	①	①	①	3		[▼] [◇] [●]
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	福祉環境学科教員・辰巳・関根	222049					②		②		3		[▼] [◆]
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	福祉環境学科教員・辰巳・関根	222050						①		①	3		[▼] [◆]
		社会福祉援助技術現場実習	福祉環境学科教員	222051						④		④	3		[▼] [◇]
		社会福祉総合講座Ⅰ	秋山・月田・高橋（学）・永山・伊藤（純）・北本・高橋（久雄）・根本	222052						①	①		3		社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は履修することが望ましい
		社会福祉総合講座Ⅱ	秋山・月田・高橋（学）・永山・伊藤（純）・北本・高橋（久雄）・根本	222053								①	①	4	
	保育士等関連科目	保育内容総論	鈴木（み）	222054	②		②						1		[●]
		保育内容-言葉	石川	222055	①	①	①	①	①	①	①	①	1		[○3]
		保育内容-健康	堂本	222056		①		①		①		①	1		[○3]
		保育内容-表現	山口	222057	①	①	①	①	①	①	①	①	1・2	★	[○3]
		子どもと環境	横山	222058		②		②		②		②	1	同	[○3]（子ども「環境指導法」）
		音楽実技	伊藤（紗津貴）・木岡・永岡・藤田・渡辺（厚）・木田・白川・　紫田・三森	222059	①	①	①	①	①	①	①	①	1	同	[●] [○1]（初教「音楽基礎C」） 三森講師のクラスは後期のみ開講（180分、2単位）
		アート基礎	稲田	222060	①	①	①	①	①	①	①	①	1		[●] [○1]
		教育心理学	石井	222061		②		②		②		②	1	同	[●]（初教）（子ども）
		発達心理学	中村	222062			②		②		②		2		[●]
		臨床心理学	石井	222063				②		②		②	2	同	[○1]（初教）（子ども）
		養護原理	高橋（久雄）	222064			②		②		②		2		[◇] [●]
		養護内容	高橋（久雄）	222065			②		②		②		2		[●]
		家族援助論	高橋（学）	222066			②		②		②		2	◎	[●]
		乳児保育	鈴木（み）	222067				②		②		②	2		[●]
		障害児保育	石井	222068				①		①		①	2		[●]
		小児栄養	田中（伸子）	222069			②		②		②		2		[●]
		精神保健	河合	222070			②		②		②		2		[●]
		幼児体育	渡辺（剛）	222071			①	①	①	①	①	①	2		[●]
		野外活動論	渡辺（剛）・高橋（久雄）	222072			②		②		②		2		
		小児保健Ⅰ	戸谷	222073			②	②	②	②	②	②	2		[●]
		小児保健Ⅱ	渡邉（啓太）	222074						①		①	3		[●]
		保育実習Ⅰa	高橋（久雄）	222075				①		①			2		[●]
		保育実習Ⅰb	高橋（久雄）・北本・佐藤	222076				②		②			2		[●]
		保育実習Ⅰc	高橋（久雄）・北本・佐藤	222077				②		②			2		[●]
		保育実習Ⅱ	佐藤	222078								②	4		[○2]
		保育実習Ⅲ	高橋（久雄）・北本	222079								②	4		[○2]
		総合演習	月田・伊藤（純）・高橋（久雄）・渡辺・佐藤	222080							①	①	4		[●]

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
専門分野基幹科目	二級建築士等関連科目	設計製図Ⅰ-1	礒野	222081	②		②		②		②		1	同	[▲](文化「設計製図Ⅰ-1」)
		設計製図Ⅰ-2	礒野	222082		②		②		②		②	1	同	[▲](文化「設計製図Ⅰ-2」)
		建築計画	木村	222083		②		②		②		②	1・2	◎同	[△1](文化「建築計画」)
		住生活と福祉	竹田	222084			②	②	②	②	②	②	2	同	[△1]前期(科学「住居学A」)、後期(総合「住まいを学ぶ」)
		環境工学	堤	222085			②	②	②	②	②	②	2・3	同	[▲](文化)
		建築史(住生活史を含む)	堀内	222086				②		②		②	2・3	同	[▲](文化「西洋建築史」)
		設計製図Ⅱ-1	中澤	222087			②		②		②		2・3		[▲]H20年度(福祉「設計製図Ⅱ」)、(文化「設計製図Ⅱ-1」)
		設計製図Ⅱ-2	中澤	222088				②		②		②	2・3		[▲]H20年度(福祉「設計製図Ⅱ」)、(文化「設計製図Ⅱ-2」)
		構法・施工	小粥	222089			②		②		②		2・3・4	同	[▲](環境「構法・施工B」)
		構造力学	鈴木(俊)	222090		②		②		②			1・2・3		[▲]H20年度(福祉「構造力学及び演習」)(文化「構造力学」)
		構造力学演習	鈴木(俊)	222091			①		①		①		2・3・4		[▲]H20年度(福祉「構造力学及び演習」)(文化「構造力学演習」)
		福祉デザインⅠ	木村	222092					②		②		3・4	◎	[◇][△3]
		福祉とライフマネジメント	大村	222093				②		②		②	2・3・4	◎	[◇][△3] ※臨床ソーシャルワーク群科目「福祉デザインⅡ」から名称変更
		環境心理学	友田	222094					②	②	②	②	3・4	同	[△3](環境)
		福祉のインテリア計画	仙田・中山(豊)	222095				②		②		②	2・3・4		[△1]
		建築法規	寺本	222096			②		②		②		2・3・4	同	[▲](文化)
		建築構造	鈴木(俊)	222097					②	②	②	②	3・4	同	[▲](文化「一般構造Ⅰ」、「一般構造Ⅱ」)
		建築材料学	鈴木(俊)	222098			②	②	②	②	②	②	2・3・4		[▲]
		建築設備	佐野	222099					②		②		3・4		[▲]
		建築積算	高橋(照男)	222100						②		②	3・4	同	[▲](文化)(環境「積算」)
		建築学実験	中山(榮子)	222101					②		②		3・4	同	[△2](文化)
		測量	藤沼	222102						②		②	3・4	同	[△2](文化)(歴文)
		環境デザイン論	教員未定	222103			②		②		②		2・3・4	×	[△3]※子どもソーシャルワーク群科目 H20年度開講せず
		都市デザイン論	金尾	222104					②		②		3・4	同	[△3](環境)
		建築デザイン論	芦川	222105					②	②	②	②	3・4	同	[△3](環境)
		プロダクトデザイン論	村越	222106					②	②	②	②	3・4		[△3]
	社会調査士科目	社会科学と社会調査	矢野	222107			②		②				2・3	同	(現代・心理・初教) 社会調査士A「社会調査法基礎Ⅰ」から名称変更
		社会経済統計Ⅰ	矢野	222108					②		②		3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士D「社会調査法基礎Ⅱ」から名称変更
		社会調査の理論と方法	大多和	222109			②		②				2・3	同	(現代・心理・初教) 社会調査士B
		統計分析基礎	鶴田	222110			②		②				2・3	同	(現代) 社会調査士C
		社会経済統計Ⅱ	矢野	222111						②		②	3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士E
		フィールドワークと質的分析	教員未定	222112				②		②			2・3	同	(現代・心理・初教) 社会調査士F
		社会調査実習Ⅰ	濱中	222113					②		②		3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士G 社会調査実習Ⅱも履修のこと
		社会調査実習Ⅱ	濱中	222114						②		②	3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士G 社会調査実習Ⅰも履修のこと
	その他科目	海外ボランティア演習	月田	222115		②		②		②		②	—	◎	[○1] ボストン研修
		福祉科教育法	月田	222116					②	②	②	②	3	同	(一般) 教職資格の取得を目指す者のみ
		高齢者福祉と衣服	猪又	222117						②		②	3・4	同×	[◇](環境) H20年度開講せず
		コンピューター概論及び演習	松本(淳)	222118	②		②		②		②		1	同	(文化「情報処理A」又は「情報処理B」教職希望者のみ)
専門演習科目		基礎演習	天野・伊藤セツ・月田・永山・渡辺	222119	1								1		
		専門演習Ⅰ	福祉環境学科教員	222120					1	1			3	×	H20年度開講せず
		専門演習Ⅱ	福祉環境学科教員	222121							1	1	4	×	H20年度開講せず　卒業論文関連演習科目
卒業論文			福祉環境学科教員	222122							4		4	×	H20年度開講せず

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
専門群領域科目	子どもソーシャルワーク群科目	児童・家庭ソーシャルワーク	池上	222123					②		②		3・4	同	[◇] [○1] （初教）（子ども）
		保育ソーシャルワーク	高橋（紘）	222124						②		②	3・4	同	[○1] （初教）（子ども）
		レクリエーション理論	渡辺（剛）	222125						②		②	3・4	×	[●] H20 年度開講せず
		レクリエーション援助法Ⅰ	渡辺（剛）	222126					①		①		3・4	×	[●] H20 年度開講せず
		レクリエーション援助法Ⅱ	渡辺（剛）	222127						①		①	3・4	×	[●] H20 年度開講せず
		環境デザイン論	教員未定	222128			②		②		②		2・3・4	×	[△ 3] H20 年度開講せず
		福祉NPOマネジメント論	興梠	222129					②		②		3・4		
	臨床ソーシャルワーク群科目	臨床ソーシャルワーク論	高橋（学）	222130					②		②		3・4	×	H20 年度開講せず
		医療ソーシャルワーク論	高橋（学）	222131						②		②	3・4	×	H20 年度開講せず
		福祉とライフマネジメント	大村	222132				②		②		②	2・3・4	◎	〔◇〕[△3] 「福祉デザインⅡ」から名称変更
		精神科リハビリテーション学	高橋（学）・松本	222133					②		②		3・4		[■]
		精神保健福祉論	高橋（学）	222134					②		②		3・4		[■]
		精神保健福祉援助技術総論	高橋（学）	222135					②		②		3・4		[■]
		精神保健福祉援助技術各論	高橋（学）	222136						②		②	3・4		[■]
		精神保健福祉援助演習	岡田（澄恵）	222137					②		②		3・4		[■]
		精神保健福祉援助実習	高橋（学）	222138							④		3・4		[■]
		精神保健学	河合	222139					②		②		3・4		[■]
		高齢者支援実践論	伊藤（純）	222140						②		②	3・4	×	H20 年度開講せず
		障害者支援実践論	根本	222141						②		②	3・4	×	H20 年度開講せず
		リハビリテーション論	教員未定	222142					②		②		3・4	×	[○1] H20 年度開講せず
		施設ソーシャルワーク論	秋山	222143					②		②		3・4	×	H20 年度開講せず
	福祉社会群科目	福祉社会と社会政策	伊藤（セツ）	222144					②		②		3・4	◎	[◇]
		労働とジェンダー	森	222145					②		②		3・4	◎	[○1]
		雇用・労働と社会政策	森	222146						②		②	3・4	◎	
		国際福祉論	沈	222147					②		②		3・4	◎	[◇] [○1]
		福祉環境マネジメント論	阿部	222148					②		②		3		[○1]
		地域施設マネジメント論	高橋（久雄）	222149					②		②		3・4	同	[◇] [○1]（初教）（子ども）
		福祉ジェンダー統計論	伊藤（セツ）	222150				②		②		②	2・3・4	◎	
		中山間地域福祉論	永山	222151						②		②	3・4	×	H20 年度開講せず

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず

1. 福祉環境学科の学生は、卒業要件を満たすために、学部共通科目、専門基礎科目、専門分野基幹科目、専門演習科目、専門群領域科目から下記の要件に従い、合計で76単位以上の専門科目を履修しなければならない。
   ① 学部共通科目の中から、少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上履修すること。
   ② 専門基礎科目の中から、合計で14単位以上履修すること。
   ただし「福祉環境総論」、「社会福祉原論」の合計6単位を履修すること。
   ③ 専門分野基幹科目の中から41単位以上履修すること。また、社会福祉士を受験する者は、「社会福祉総合講座Ⅰ・Ⅱ」を履修することが望ましい。
   ④ 専門演習科目の「基礎演習」、「専門演習Ⅰ」、「専門演習Ⅱ」及び「卒業論文」はすべて必修である。従って合計で９単位履修しなければならない。
   また、これらの科目は原則1年次からの積み上げ指定科目である。
   ⑤ ３年次４月に、「子どもソーシャルワーク群」「臨床ソーシャルワーク群」「福祉社会群」のいずれか一つを選択し、登録する（必須）。登録した群の途中変更は認められない。
   ⑥ 選択した専門群領域科目から合計8単位以上履修しなければならない。
2. 社会福祉士受験資格、教育職員免許（福祉）、2級建築士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士、社会福祉主事、社会調査士の各資格取得については、諸資格の記載を参照。
3. 社会福祉士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ▼印専門科目は必修。
   ② ▽1印専門科目の中から1科目以上を履修すること。但し、「社会保障論」は4単位で1科目とする。
   ③ ▽2印専門科目の中から1科目以上を履修すること。
4. 教育職員免許（福祉）を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ◆印専門科目は必修。
   ② ◆印専門科目と、◇印専門科目の中から、合計で28単位以上を履修すること。
   ③ 「教職に関する科目」、「その他必要な科目」の必要単位数については、諸資格の記載を参照。
5. 保育士資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ●印専門科目は必修。
   ② ○1印専門科目の中から、8単位以上履修すること。
   ただし「家族福祉論」、「児童・家庭ソーシャルワーク」、「保育ソーシャルワーク」の中から2単位以上履修することを含む。
   ③ ○2印専門科目の中から、2単位以上履修すること。
   ④ ○3印専門科目は全て履修すること。但し、「保育内容－表現」「保育内容－言葉」「保育内容－健康」は1単位でもよい。
   ⑤ 科目別の必要単位数については、諸資格の記載を参照。
6. 2級建築士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ▲印専門科目は必修。
   ② △1印専門科目の中から、8単位以上履修すること。
   ③ △2印専門科目の中から、2単位以上履修すること。
   ④ △3印専門科目の中から、6単位以上履修すること。
7 精神保健福祉士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと
   ① ■印専門科目は必修。
   ② □1印専門科目の中から、1科目2単位以上履修すること。
   ③ □2印専門科目の中から、1科目2単位以上履修すること。
8. 社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士資格の取得を希望する学生は、1年次6月に登録をする。
9. 社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できる。ただし、EとFはどちらかひとつを選択すること。
   なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修すること。Fは履修順序に関係なく履修することができる。
   ただし、3・4年生（平成20年度時点）に限っては、A～G科目を上記の規定に関わらず履修することを認める。

	科　目　名	開講年次・学期	備　考
A	社会科学と社会調査	2・3年　後期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　後期	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	2・3年　後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	3・4年　前期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　後期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年　前期	

7. 福祉環境学科（平成18年度入学者用）

（平成 17 年度入学者については入学年次の便覧および学科の指示に従うこと）

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
					単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	澁澤	222001	②		②						1・2	同	現代教養分野※
		社会をみる目Ⅱ	澁澤	222002		②		②					1・2	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅰ	小島	222003	②		②						1・2	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅱ	小島	222004		②		②					1・2	同	現代教養分野※
		心理学概説Ⅰ	古川	222005	②		②						1・2	同	心理分野※
		心理学概説Ⅱ	藤崎	222006		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会心理学	藤島	222007		②		②					1・2	同	心理分野※
		人間形成原論	桑原	222008	②		②						1・2	同	初等教育分野※
		教育哲学	宮寺	222009		②		②					1・2	同	初等教育分野※ （現代・心理・初教）※少なくとも2分野から各2単位以上、合計4単位以上選択必修
基礎科目Ⅰ		福祉環境総論	福祉環境学科教員	222010		2							1		
		社会福祉と生活問題	福祉環境学科教員	222152		2							1	×	H20年度開講せず
		生態環境論	常喜	222021	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同	（現代）
		社会福祉の歴史	月田	222012	②	②	②	②	②	②	②	②	1		[◇]（現代・心理・初教）
		福祉環境とボランティア	興梠	222013	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同★	[○1]（現代・心理・初教）
		コミュニティ・サービスラーニング（福祉環境とボランティア）	興梠	222014		②		②		②		②	1	◎	※受講条件：「福祉環境とボランティア」または一般教養科目「ボランティア論」の単位を取得済みのこと
		社会調査法基礎Ⅰ	矢野	222026	②		②		②		②		1	同×	（現代・心理・初教）H20年度前期開講せず
		社会調査法基礎Ⅱ	矢野	222027		②		②		②		②	1	同×	（現代・心理・初教）H20年度後期開講せず
		社会学	金子（晃之）	222020	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×（前期）	[▽2] [○1] [□1] H20年度前期開講せず
		法学	梶原	222018			②	②	②	②	②	②	2	×（前期）	[▽2] [□1] H20年度開講せず
		心理学	松澤	222019			②	②	②	②	②	②	2	×（前期）同（後期）	[▽2] [○1] [□1] H20年度開講せず 後期（総合「こころの科学D」）
		福祉文化論	教員未定	222153			②		②		②		2・3	×	[◇] [○1]（文化）H20年度開講せず
		バリアフリーデザイン	木村	222024				②		②		②	2	同	（文化「バリアフリー建築論」）
		ユニバーサルデザイン	猪又	222023			②		②		②		2	同	（環境）
		住生活と福祉	竹田	222084			②	②	②	②	②	②	2	同	[△1]（前期（科学）「住居学A」、後期（総合）「住まいを学ぶ」）
		食生活と福祉	伊藤（純）	222022				②		②		②	2	◎	[◇]
		社会福祉哲学	秋山	222025			②		②		②		2	◎同	（環境）
		社会福祉原論	月田・秋山	222011					2	2			3	同（前期）	[▼] [◆] [●] [■]（初教）（子ども）
基礎科目Ⅱ		地域福祉論	永山	222034	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同（前期）×（後期）	[▽1] [◇] [○1] [□2]（初教）（子ども）H20年度後期開講せず
		児童福祉論	月田	222029	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×（前期）	[▼] [◆] [●] [○1] H20年度前期開講せず
		障害者福祉論	根本	222030	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎（前期）×（後期）	[▼] [◆] [○1] H20年度後期開講せず
		老人福祉論	伊藤（純）	222032	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×（前期）◎（後期）	[▼] [◆] H20年度前期開講せず
		家族福祉論	天野	222028	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎同（前期）×（後期）	[◇] [○1]（子ども）H20年度後期開講せず
		女性福祉論	森	222033	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎（前期）×（後期）	H20年度後期開講せず
		高齢者の生活と福祉	伊藤（純）	222031	②		②		②		②		1	◎	（食物「社会福祉特論」）
		公的扶助論	梶原	222036			②	②	②	②	②	②	2	×（後期）	[▽1] [◇] [□2] H20年度後期開講せず
		社会保障論	宮本	222035			②	②	②	②	②	②	2		[▽1] [◇] [□2]
		福祉社会と社会政策	伊藤（セツ）	222144			②		②		②		2	◎	[◇]
		介護概論	海老原	222041			②		②		②		2		[▼] [◆]
		介護技術	海老原	222042				②		②		②	2		[◆]
		医学一般	渡邉（啓）・他	222040					②	②	②	②	3	×（前期）	[▼] [■] H20年度前期開講せず
		対人コミュニケーション	北本・陳	222017	②		②		②		②		1		[○3]

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				**開設単位：** ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
基礎科目Ⅱ	社会福祉援助技術論A1	高橋(学)	222043			②	②	②	②	②	②	2	×(後期)	[▼] [◇1] H20年度後期開講せず
	社会福祉援助技術論A2	北本	222044				②		②		②	2・3	×(前期)	[▼] [◇1] H20年度前期開講せず
	社会福祉援助技術論B1	北島	222045			②		②		②		2		[▼] [◆]
	社会福祉援助技術論B2	永山	222046				②		②		②	3		[▼] [◆]
	養護原理	高橋(久雄)	222064	②		②		②		②		1		[◇] [●]
	リハビリテーション論	教員未定	222142					②		②		3・4	×	[◇] [○1] H20年度開講せず
	福祉用具論	教員未定	222154				②		②		②	2・3	×	H20年度開講せず
	レクリエーション援助法	渡辺(剛)	222126	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×(前期)	[◇] [○1] H20年度前期開講せず
	子どもと環境	横山	222058		②		②		②		②	1		[○3]
	乳児保育	鈴木(み)	222067				②		②		②	2		[●]
	障害児保育	石井	222068				①		①		①	2	同	[●]
	高齢者福祉と衣服	猪又	222117						②		②	3	×	[◇](環境) H20年度開講せず
	福祉デザインⅠ	木村	222092					②		②		3	◎	[◇] [△3]
	居住福祉論	竹田	222037						②		②	3		
	環境デザイン論	教員未定	222103			②		②		②		2・3	×	[△3](文化) H20年度開講せず
	コンピュータ概論及び演習	伊藤(純)	222118	②		②		②		②		1	同	(文化「情報処理A」又は「情報処理B」教職希望者のみ)
	海外ボランティア演習	月田	222115	②		②		②		②		-	◎	[○1] ボストン研修
展開科目	福祉環境マネジメント論	阿部	222148					②		②		3		[○1]
	地域施設マネジメント論	高橋(久雄)	222149					②		②		3	◎同(前期) ×(後期)	[◇] [○1](初教)(子ども) H20年度後期開講せず
	福祉NPOマネジメント論	興梠	222129					②		②		3	◎	
	国際福祉論	沈	222147			②		②		②		2	◎	[◇] [○1]
	家族援助論	高橋(学)	222066			②		②		②		2	◎	**【●】**
	児童・家庭ソーシャルワーク	池上	222123			②		②		②		2	◎同	[◇] [○1](初教)(子ども)
	保育ソーシャルワーク	高橋(紘)	222124				②		②		②	2	◎同	[○1](初教)(子ども)
	小児保健Ⅰ	戸谷	222073			②	②	②	②	②	②	2		[●]
	幼児体育	渡辺(剛)	222071			①	①	①	①	①	①	2		[●]
	発達心理学	中村	222062			②		②		②		2		[●]
	養護内容	高橋(久雄)	222065			②		②		②		2		[●]
	医療福祉論	高橋(学)	222038					②	②	②	②	3	◎(前期)	[◇]
	労働とジェンダー	森	222145					②		②		3	◎	[○1]
	雇用・労働と社会政策	森	222146						②		②	3	◎	
	福祉ジェンダー統計論	伊藤(セツ)	222150				②		②		②	2・3・4	◎	
	福祉とライフマネジメント	大村	222093				②		②		②	2・3・4	◎	[◇] [△3]「福祉デザインⅡ」から名称変更
	福祉のインテリア計画	仙田・中山(豊)	222095				②		②		②	2・3	同	[△1]
	環境心理学	友田	222094							②	②	4	同	[△3](環境)
	福祉科教育法	月田	222116					②	②	②	②	3	同	(一般) 教職資格の取得を目指す者のみ
	社会福祉援助技術演習A	北本・高橋(久雄)・高橋(学)・根本	222047				②		②			2		
	社会福祉援助技術演習B	北本・高橋(久雄)・高橋(学)・根本	222048					①	①	①	①	3		[▼] [◇] [●]
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	福祉環境学科教員・辰巳・関根	222049					②		②		3		[▼] [◆]
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	福祉環境学科教員・辰巳・関根	222050						①		①	3		[▼] [◆]
	社会福祉援助技術現場実習	福祉環境学科教員	222051					④		④		3		[▼] [◇]

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
展開科目	特別実習	高橋（学）	222155							④		4		
	福祉文化演習	教員未定	222156						①	①		3・4	×	卒業論文関連演習科目 H20 年度開講せず
	児童福祉演習	月田	222157						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	児童養護演習	高橋（久雄）	222158						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	児童・家庭ソーシャルワーク演習	高橋（利一）	222159						①	①		3・4	×	卒業論文関連演習科目 H20 年度開講せず
	医療ソーシャルワーク演習	高橋（学）	222160						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	地域福祉演習	永山	222161						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	社会政策演習	伊藤（セツ）	222162						①	①		3・4	x（後期）	卒業論文関連演習科目 H20 年度後期開講せず
	社会福祉原論演習	秋山	222163						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目 「社会福祉哲学演習」から名称変更
	障害者福祉演習	根本	222164						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	女性労働・福祉演習	森	222165						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	家族福祉演習	天野	222167						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	生活福祉演習	伊藤（純）	222168						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	ユニバーサルデザイン演習	猪又	222169						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	居住福祉演習	竹田	222170						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	対人コミュニケーション演習	北本	222171						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	健康発達演習	渡辺（剛）	222172						①	①		3・4		卒業論文関連演習科目
	卒業論文	福祉環境学科教員	222122							⑧		4		
その他資格関連科目	社会福祉総合講座Ⅰ	秋山・月田・永山・高橋（学）・北本・高橋（久雄）・伊藤（純）・根本	222052					①	①			3		社会福祉士国家試験受験者は履修することが望ましい
	社会福祉総合講座Ⅱ	秋山・月田・永山・高橋（学）・北本・高橋（久雄）・伊藤（純）・根本	222053							①	①	4		
	教育原理	岸田	222016		②		②		②		②	1	同	[●]
	保育原理	爾	222015			②	②	②	②	②	②	2		[●]
	教育心理学	石井	222061		②		②		②		②	1	同	[●]（初教）（子ども）
	音楽実技	伊藤（渉津貴）・木岡・永岡・藍田・渡辺（厚）・木田・白川・菊田・三森	222059	①	①	①	①	①	①	①	①	1	同	[●] [○ 1]（初教「音楽基礎C」）三森講師のクラスは後期のみ開講（180分、2単位）
	アート基礎	稲田	222060			①	①	①	①	①	①	2	同	[●] [○ 1]
	保育内容総論	鈴木（み）	222054	②		②						1		[●]
	保育内容-表現	山口	222057	①	①	①	①	①	①	①	①	1・2	★	[○ 3]
	保育内容-言葉	石川	222055	①	①	①	①	①	①	①	①	1		[○ 3]
	保育内容-健康	堂本	222056		①		①		①		①	1		[○ 3]
	小児保健Ⅱ	渡邉（啓太）	222074						①		①	3		[●]
	小児栄養	田中（伸子）	222069			②		②		②		2		[●]
	臨床心理学	石井	222063				②		②		②	2	同	[○ 1]（初教）（子ども）
	保育実習Ⅰa	高橋（久雄）	222075			①		①				2		[●]
	保育実習Ⅰb	高橋（久雄）・北本・佐藤	222076			②		②				2		[●]
	保育実習Ⅰc	高橋（久雄）・北本・佐藤	222077			②		②				2		[●]
	精神保健	河合	222070					②		②		3		[●]
	保育実習Ⅱ	佐藤	222078							②		4		[○ 2]
	保育実習Ⅲ	高橋（久雄）・北本	222079							②		4		[○ 2]
	総合演習	高橋（久雄）・月田・伊藤（純）・渡辺・佐藤	222080							①	①	4		[●]
	社会科学と社会調査	矢野	222107			②		②				2・3	同	（現代・心理・初教）社会調査士A
	社会経済統計Ⅰ	矢野	222108					②		②		3・4	同	（現代・心理・初教）社会調査士D

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
その他資格関連科目	統計分析基礎	鶴田	222110			②		②				2・3	同	(現代) 社会調査士C
	社会調査の理論と方法	大多和	222109			②		②				2・3	同	(現代・心理・初教) 社会調査士B
	社会経済統計Ⅱ	矢野	222111						②		②	3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士E
	フィールドワークと質的分析	教員未定	222112				②		②			2・3	同	(現代・心理・初教) 社会調査士F
	社会調査実習Ⅰ	濱中	222113					②		②		3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士G 社会調査実習Ⅱも履修のこと
	社会調査実習Ⅱ	濱中	222114						②		②	3・4	同	(現代・心理・初教) 社会調査士G 社会調査実習Ⅰも履修のこと
	建築史(住生活史を含む)	堀内	222086				②		②		②	2・3	同	[▲](文化)
	建築計画	木村	222083						②		②	3・4		[△1]
	環境工学	堤	222085			②	②	②	②	②	②	2・3・4	同	[▲](文化)
	設計製図Ⅰ	礒野	222081	②	②	②	②	②	②	②	②	1		[▲] H19年度(福祉「設計製図Ⅰ-1」「設計製図Ⅰ-2」)
	設計製図Ⅱ	中澤	222082			②	②	②	②	②	②	2		[▲]
	建築構造	鈴木(俊)	222097					②	②	②	②	3・4		[▲]
	構造力学及び演習	鈴木(俊)	222091				①	②	①	②		2・3		[▲]
	建築法規	寺本	222096			②		②				2・3	同	[▲](文化)
	建築材料学	鈴木(俊)	222098			②	②	②	②			2・3		[▲]
	建築設備	佐野	222099					②		②		3・4		[▲]
	構法・施工	小粥	222089					②		②		3・4	同	[▲](環境「構法・施工B」)
	建築積算	高橋(照男)	222100						②		②	3・4	同	[▲](文化) (環境「積算」)
	建築学実験	中山(榮子)	222101					②		②		3・4	同	[△2](文化)
	測量	藤沼	222102						②		②	3・4	同	[△2](文化) (歴文)
	都市デザイン論	金尾	222104					②		②		3・4	同	[△3](環境)
	建築デザイン論	芦川	222105					②	②	②	②	3・4	同	[△3](環境)
	プロダクトデザイン論	村越	222106					②	②	②	②	3・4		[△3]
	精神医学	教員未定	222039			②		②		②		2		[■]
	精神保健福祉論	高橋(学)	222134					②		②		3・4		[■]
	精神科リハビリテーション学	高橋(学)・松本	222133					②		②		3・4		[■]
	精神保健福祉援助技術総論	高橋(学)	222135					②		②		3・4		[■]
	精神保健福祉援助技術各論	高橋(学)	222136						②		②	3・4		[■]
	精神保健福祉援助演習	岡田(澄恵)	222137					②		②		3・4		[■]
	精神保健福祉援助実習	高橋(学)	222138							④		3・4		[■]
	精神保健学	河合	222139					②		②		3・4		[■]

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず

1. 福祉環境学科の学生は、卒業要件を満たすために、学部共通科目、基礎科目Ⅰ、基礎科目Ⅱ、展開科目、その他資格関連科目から下記の要件に従い、合計で76単位以上の専門科目を履修しなければならない。
   ① 学部共通科目（A・B印専門科目）の中から、少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上履修すること。
   ② 基礎科目Ⅰ（C印専門科目）の中から、合計で14単位以上履修すること。
   ただし「福祉環境総論」、「社会福祉と生活問題」、「社会福祉原論」の8単位を履修することを含む。
   ③ 基礎科目Ⅰ・基礎科目Ⅱ（D印専門科目）の中から、合計で32単位以上履修すること。
   ④ 展開科目（E印専門科目）の中から、合計で18単位以上履修すること。
2. 社会福祉士受験資格、教育職員免許（福祉）、2級建築士受験資格、保育士、精神保健福祉士受験資格、社会福祉主事、社会調査士の各資格取得については、諸資格の記載を参照。
3. 社会福祉士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ▼印専門科目は必修。
   ② ▽1印専門科目の中から1科目2単位以上を履修すること。但し「社会保障論」は4単位で1科目とする。
   ③ ▽2印専門科目の中から1科目2単位以上を履修すること。
4. 教育職員免許（福祉）を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ◆印専門科目は必修。
   ② ◆印専門科目と、◇印専門科目の中から、合計で28単位以上を履修すること。
   ③ 「教職に関する科目」、「その他必要な科目」の必要単位数については、諸資格の記載を参照。
5. 保育士資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ●印専門科目は必修。
   ② ○1印専門科目の中から、8単位以上履修すること。
   ただし「家族福祉論」、「児童・家庭ソーシャルワーク」、「保育ソーシャルワーク」の中から2単位以上履修することを含む。
   ③ ○2印専門科目の中から、2単位以上履修すること。
   ④ ○3印専門科目の中から、各科目前後期履修計2単位で、合計6単位以上履修すること。
   ⑤ 科目別の必要単位数については、諸資格の記載を参照。
6. 2級建築士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ▲印専門科目は必修。
   ② △1印専門科目の中から、8単位以上履修すること。
   ③ △2印専門科目の中から、2単位以上履修すること。
   ④ △3印専門科目の中から、6単位以上履修すること。
7. 精神保健福祉士受験資格を取得する場合は、下記の要件に従うこと。
   ① ■印専門科目は必修
   ② □1印専門科目の中から、1科目2単位以上履修すること。
   ③ □2印専門科目の中から、1科目2単位以上履修すること。
8. 社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士資格、の取得を希望する学生は、1年次6月に登録をする。
9. 「卒業論文」を履修する場合には、「卒業論文関連演習科目」から2単位以上履修すること。
   なお、卒業論文提出〆切日は卒業年次の11月最終週の水曜日17時までとする。早期卒業者の卒業論文提出〆切日は別途定める。
10. 社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できる。ただし、EとFはどちらかひとつを選択すること。
    なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修すること。Fは履修順序に関係なく履修することができる。
    ただし、3・4年生（平成20年度時点）に限っては、A～G科目を上記の規定に関わらず履修することを認める。

	科　目　名	開講年次・学期	備　考
A	社会科学と社会調査	2・3年　後期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　後期	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	2・3年　後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	3・4年　前期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　後期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年　前期	

授業概要

222001 社会をみる目Ⅰ

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①社会　②変革　③進歩　④時代　⑤人間　⑥価値観

222002 社会をみる目Ⅱ

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①時代　②人間　③価値観

222003 経済をみる目Ⅰ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

222004 経済をみる目Ⅱ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

222005 心理学概説Ⅰ

教授　古川　真人

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

222006 心理学概説Ⅱ

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める。

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

222007 社会心理学

准教授　藤島　喜嗣

社会心理学の研究領域および現代的課題について概説するとともに、研究方法も解説していく。また、各論として個人レベルから集団レベルまでの問題をとりあげながら、概念用語と理論を詳述する。

①自己　②対人認知　③対人関係　④対人相互作用　⑤集団行動　⑥集合行動

222008 人間形成原論

特任教授　桑原　敏明

教育学の基礎として、人間性・教育・学校教育の構造原理について講義する。

①人間　②教育　③生きる力　④脳科学

222009 教育哲学

非常勤講師　宮寺　晃夫

現代教育の分析を通して、教育の課題と本質を解明することを目的とする。そのさい、できるだけ最近の教育問題や政策課題を素材にしていく。今後の学校教育のあり方について自分自身の考え方を抱けるようにしていく。

①教育とは何か、という問い　②教育問題の分析　③教育資源の分配　④公正な教育

222010 福祉環境総論

常勤　福祉環境学科教員

人間社会は人間の生活ニーズと環境資源バランスの中で構成され、時間と空間の変化の中で微妙な変容を遂げる生態学的な有機体である。その意味では、人間と環境は相互依存的な関係である。社会福祉の対象となる生活問題の発生はこうした人間と環境の不適合から生ずると考えられる。本講では、生活問題発生のメカニズムを環境という側面から解題し、福祉のあり方を論ずるものである。（オムニバス）

①福祉環境　②生活問題　③福祉思想

222011 社会福祉原論

教授　博士（社会学）　月田 みづえ
教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

現代社会における社会福祉の理念と意義、社会福祉サービス体系と対象理解、援助の方法、福祉関係法制や財政、費用負担、諸外国の動向や専門職の内容と専門性について学ぶ。

①憲法 25 条　②人権尊重と権利擁護　③自立支援

222012 社会福祉の歴史

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

グローバル化は、国境を越えた人々の移動や経済、文化の交流を活発にしている。しかし、一方で、南北の経済格差は広がり、文明の発展した諸国、経済の発展途上にある諸国は、それぞれ異なった福祉的課題をかかえている。社会福祉の歴史に学び、未来を見据える。視聴覚教材を用いる。

①慈善事業　②社会事業　③社会福祉　④社会保障　⑤相互扶助　⑥社会福祉の権利

222013 福祉環境とボランティア

非常勤講師　興梠　寛

21世紀は「ボランティアの世紀」といわれています。本講義は、グローバルな視野から、ボランティア・市民社会の理念や社会システムについて論じるとともに、未来の社会を育む“ボランティア・ネットワーキング”の可能性、それを支援するための社会政策や環境づくりなどを、多様な視点から学ぶことを目標にします。授業では、講義にとどまらず、話しあいや協働作業などをとおしたワークショップ、映像による実践の世界を探訪するなどの“参画型学習”を展開していきます。

①ボランティアの世紀　②市民社会　③ワークショップ　④参画型学習　⑤ネットワーキング

222014 コミュニティ・サービスラーニング（福祉環境とボランティア）

非常勤講師　興梠　寛

「共生知」の世界にようこそ！　コミュニティサービスラーニング『福祉環境とボランティア論』は、講義『福祉環境とボランティア論』を実証的に探求するために、理論学習で学んだ成果を公共の社会の発展のために役立てながら学ぶことを目的にした社会貢献型体験学習です。コミュニティサービスラーニングとは、教室で学んだ理論学習の成果を地域社会の課題に置き換えながら実践的に学ぶ教科学習方法です。学生が地域社会におけるニーズや課題を発見し、自分に可能な社会貢献活動をしながら問題を共有するとともにその成果と反省を理論学習にフィードバックさせることを目標にしています。学習は、①オリエンテーション、②事前学習、③コミュニティサービスラーニングの実践、④総括学習の4つの学習プロセスによって構成されています。

①コミュニティサービスラーニング　②共生知　③実証的考察　④社会貢献型体験学習　⑤問題の共有

222015 保育原理

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

保育の基本は、子どもを育てることである。そのために子どもを発達や社会環境などの様々な視点から見て、子どもを理解していかなければならない。当講義においては、子ども理解に視点をおき、現代社会の保育について考察する。

①保育　②保育士　③子育て

222016 教育原理

准教授　岸田　幸弘

教育の意義・目的、児童福祉との関係、教育の理論、教育法規、教育行政、教育の実践等について基礎的理解を図り、今日の生涯学習社会における教育の在り方について考えを深められるようにする。また、現代の教育問題と社会福祉とのかかわりをも取り上げる。

①人間教育の在り方　②生涯学習社会　③学校教育と児童福祉

222017 対人コミュニケーション

准教授　博士（人間学）　北本　佳子
非常勤講師　陳　銀玉

ソーシャルワークにおいては、クライエントとソーシャルワーカーの信頼関係が重要である。良いコミュニケーションは、信頼関係を構築する。コミュニケーションの方法であるバーバルコミュニケーション、ノンバーバルコミュニケーションに焦点を当てる。自己覚知、ロールプレイ等を通じて、コミュニケーションの意義、効果について学ぶ。

①信頼関係　②自己覚知　③ロールプレイ

222018 法学

非常勤講師　梶原　洋生

本講義では、法学の基礎概念及び各法の構成運用を学びながら、より実態的な考察の窓口を作りたい。さらに、福祉と法の出会いを深めながら、共感の人権論を探って行きたい。

①社会福祉士　②法の基礎②関連法規③福祉法制

222019 心理学（こころの科学D）

准教授　博士（文学）　松澤　正子

心理学を初めて学ぶ者に、基本的な考え方、事実をわかりやすく講義する。一般教養科目「こころの科学D」と同時開設である。また、人間社会学総論「心理学概説」と同一のテキストを使用するため、内容が重なることを了解の上で受講すること。

①種としての人間　②他人との関わり　③人それぞれの違い

222020 社会学

非常勤講師　博士（社会学）　金子　晃之

社会学の基礎を学びながら、ソーシャルワーカーとしての実践的思考力（社会問題の原因・背景を分析する力）の養成を目的とします。

①家族アイデンティティ　②格差社会　③ジェンダー

222021 生態環境論

教授　理学博士　常喜　豊

自分と周囲の環境との関わりを考え、環境に配慮する生態学の視点は、福祉を学ぶ上でも非常に重要である。本講義では、生態系の構造と機能、個体群動態など生態学の基本概念を学び、種々の環境問題についても考える。

①生態学（エコロジー）　②生態系　③食物連鎖と物質循環　④個体数の変動　⑤人口問題と食糧問題　⑥自然保護

222022 食生活と福祉

准教授・博士（学術）　伊藤　純

食生活は人間の心身の健康を維持していく上で重要な営みである。本講義では在宅・施設福祉において提供される食事を「社会化された食」と捉え、文献・統計・実例等から利用者と提供者との望ましい相互関連を考える。

①食生活　②生活の社会化　③食事サービス

222023 ユニバーサルデザイン

教授　学術博士　猪又　美栄子

ユニバーサルデザインとは年齢や能力にかかわりなく、すべてのひとに適合するデザインをいいます。障害者の利便を考えたバリアフリーデザインの概念を一歩すすめた、障害のあるなしを問わず多様なニーズに対応するデザインです。使用者の心身の機能とデザインについて考えます。

①身体機能　②使いやすさ　③人間工学

222024 バリアフリーデザイン

教授　木村　信之

住環境について、高齢者、障害者など、様々な人々が自ら望む生活が実現できるようにサポートするために必要な建築面からのサポートを住宅を中心に、福祉住環境コーディネーターに必要な専門性に即して考える。

①バリアフリー　②ユニバーサルデザイン　③福祉住環境コーディネーター

222025 社会福祉哲学

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

社会福祉実践における価値・倫理・人間観を考察し、人に関わっていく視点を学び、人間の痛みを知る。また幸福と不幸、愛、人間尊重、自己実現、自己決定、ノーマライゼーションなどの主要な概念を明確にする。

①幸福と不幸　②価値と倫理　③実践における愛と痛み

222028 家族福祉論

教授　博士（学術）　天野　寛子

現代の日本社会において、子どもをもつ家族がどのような問題に直面しているか、家族理解を深める。日常生活のなかでの家族支援のためのどのような資源があるのかについての基本的理解をはかる。

①家族　②家族福祉　③保育支援

222029 児童福祉論

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

現代社会における児童福祉の理念や意義と児童の成長・発達、生活実態について理解する。児童福祉関係法とサービス体系について学び、社会的背景や歴史から児童福祉の必要性を考える。

①子どもの権利に関する条約　②子育て家庭支援　③社会的養護　④自立支援

222030 障害者福祉論

講師　根本　治代

障害の概念と定義、障害者福祉の歴史、理念、障害者福祉の制度とサービス体系、障害者をめぐる環境などのテーマを通して、障害者福祉の現状について学び、今後の障害児・者福祉のあり方について考えていく。

①障害者福祉の理念　②障害の概念　③地域生活支援

222031 高齢者の生活と福祉

准教授　博士（学術）　伊藤　純

本講義では少子高齢化と社会的問題、高齢者の生活の現状と福祉ニーズ、高齢者福祉の歴史、サービス提供組織、地域ケアと家族介護者支援並びに高齢者の生活環境について学ぶ。

①少子高齢化　②高齢者の生活と福祉ニーズ　③地域ケア

222032 老人福祉論

准教授　博士（学術）　伊藤　純

高齢者保健福祉制度の体系及び法を扱う。特に介護保険制度下における保健・医療・福祉サービス及び関連諸施策と高齢者・家族に対する援助の展開方法を示す。

①高齢者問題　②高齢者保健福祉諸施策　③高齢者の人権　④非営利民間活動　⑤自立支援　⑥ケアマネジメント

222033 女性福祉論

教授　博士（経済学）　森　ます美

現代社会における女性の福祉問題を、女性の人権・自立・ジェンダーの視点から、社会福祉・家族・労働政策と関連させて実証的に学ぶ。これを通して女性と男性の平等な生活と労働を保障する社会福祉システムのあり方を考える。

①ジェンダー　②母子世帯・父子世帯　③ドメスティック・バイオレンス

222034 地域福祉論

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

地域福祉は21世紀社会福祉の基本領域となる。講義では、法律、制度、サービス、システム等の面からその基本を学び、加えて、在宅福祉サービス、住民参加、社会福祉協議会、地域福祉活動等の具体的内容を理解する。

①地域福祉　②住民参加　③福祉コミュニティ　④社会福祉協議会

222035 社会保障論

非常勤講師　博士（経済学）　宮本　悟

本講義では、資本制社会における社会保障の基礎理論と、社会保障に関するわが国の実態について考察を深めていくことを通じて、わが国の社会保障政策を批判的に分析する能力の獲得を目指す。

①生存権　②年金保険　③医療保険　④雇用保険　⑤生活保護　⑥介護保障

222036 公的扶助論

非常勤講師　梶原　洋生

誰もが明日に不安を感じるものだ。しかし、それでも結局は突然に起こる事実たちがある。私たちの生活においてそれらとどう向き合い、工夫すべきか。このヒントを公的なセーフティネットのアプローチから考える。可及的に実務の姿から、「福祉とは」へと辿る考究の経路を築きたい。

①社会福祉士　②生活保護　③セーフティネット　④スティグマ　⑤援助活動

222037 居住福祉論

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居は、生命の安全と健康を守り、自立と生活を支える人間生存の基本的基盤であり、福祉の基礎単位でもある。社会的弱者である高齢者・子ども・障害者を取り巻く居住環境を生活福祉の視点から明らかにし、ユニバーサルデザイン時代の居住福祉環境の醸成を追求する。

①居住支援　②在宅福祉　③居住施設　④環境特性

222038 医療福祉論

教授　高橋　学

医療ソーシャルワークの実践は、個人と環境間の交流関係の側面に介入する。そこで本講義では、医療施策・病院システム・病気がもたらす患者への影響を中心に論ずる。

①医療福祉　②医療政策・制度　③医療組織　④チーム医療　⑤患者

222039 精神医学

教員未定

精神症状の見方、診断学、など精神医学の基礎をDSM-Ⅳという精神疾患の診断基準をもとに講義していく。講義の後半は、症例問題を演習形式で行い、治療論についても若干触れていく。

① DSM-Ⅳ　②症候学　③診断学　④症例演習

222040 医学一般

非常勤講師　渡邉 啓太 他

福祉と医療とは境界なく、連携し、援助を行っていかなければならない。福祉領域で必要な医学的知識を学ぶだけでなく、医療の考え方を理解することを通して、医療と福祉の壁を乗り越え、援助する姿勢を培う。

①医学知識　②医療の考え方　③リハビリ　④医療と福祉の壁　⑤連携

222041 介護概論

非常勤講師　海老原　光子

介護の対象は、人間とその生活全般である。したがって生活体としての人間とかかわるためには広範囲な理論的基盤が必要である。本講義では、介護に必要な専門的な知識や技術を学習し、実践するための基礎を学ぶ。

① ADL　② QOL　③アセスメント

222042 介護技術

非常勤講師　海老原　光子

人間の自立的な日常生活を援助するために必要な介護技術を学習する。介護技術は、人間の精神・身体・社会生活の各側面からのアプローチを通して、総合的に学ぶ。なお、学習形態は演習を中心とする。

①介護の専門性　② ADL　③ QOL

222043 社会福祉援助技術論 A1

教授　高橋　学

人を援助するということは、遠い過去から現代社会に至るまで行われてきた。その援助の専門家が産声を上げるのは、１９００年前後のアメリカという大地においてである。その専門援助において、ある人を理解し、かかわるとはどのようなことを意味するかを、ここでは考える。「個人」の理解とかかわり方における専門性としての”ソーシャルワーク”について、できるだけ具体例を通して、みなさんと一緒に理解していきたい。

①社会福祉援助技術　②社会福祉実践　③ソーシャルワーク　④ソーシャルワーカー　⑤倫理綱領

222044 社会福祉援助技術論 A2

准教授　博士（人間学）　北本　佳子

グループワークは社会福祉援助技術の方法の一つであり、それは集団内での相互作用を意図的に援助者（グループワーカー）が活用して、個人や集団の課題解決をはかる方法である。授業では、社会福祉や関連領域におけるさまざまな集団を援助する方法を論理的に学習する。

①グループワーク　②集団力学　③社会福祉援助技術

222045 社会福祉援助技術論 B1

非常勤講師　北島　英治

地域社会における地域住民の「ウェルビーイング」をめざす福祉を実現するために必要な地域特性把握、ニーズ分析、福祉の計画化等にかかわる地域福祉調査の基礎知識、方法、手順等の技術を学ぶ。

①ソーシャルワーク　②地域分析　③自立援助　④地域ニーズ　⑤統計調査　⑥事例調査

222046 社会福祉援助技術論 B2

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

地域社会における住民の「ウェルビーイング」をめざす福祉を実現するために必要な地域特性把握、ニーズ分析、福祉の計画化等にかかわる基礎知識、方法、手順等の技術を学ぶ。

①地域社会分析　②地域福祉計画　③社会福祉運営管理　④社会活動

222047 社会福祉援助技術演習 A

准教授　博士（人間学）　北本　佳子
教授　高橋　学
准教授　高橋　久雄
講師　根本　治代

社会福祉援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、社会福祉援助技術を演習形態により具体的に学ぶ。特に、この授業では、個別指導ならびに集団指導をとおして、自己理解や各福祉分野ごとの特質に配慮した援助技術の基礎を学ぶ。

①ロールプレイ　②自己覚知　③権利擁護　④福祉分野別援助技術

222048 社会福祉援助技術演習 B

准教授　博士（人間学）　北本　佳子
教授　高橋　学
准教授　高橋　久雄
講師　根本　治代

実技指導を中心とする演習形態により、現場実習と関連させながら、演習Ａで学んだ内容の理解を深めていく。具体的には、実習で必要な観察・面接・記録等の技法の習得のほか、個別指導ならびに集団指導を活用したロールプレイや事例研究を行う。特に、事例研究では各分野ごとの事例検討を行いつつ学生の主体的学習態度を養う。

①関係形成　②事例研究　③スーパービジョン④ロールプレイ

222049 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ

教授・准教授・非常勤講師　福祉環境学科教員
非常勤講師　辰巳　礼子
非常勤講師　関根　麻美

社会福祉援助技術現場実習の目的や意義を理解し、実践の場である施設・機関等の理解を深める。現場実習に必要な知識や技術の習得を目指すとともに、自己の福祉専門職としての資質や課題について理解を深める。

①実習オリエンテーション ②現場体験学習 ③実習計画

222050 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ

教授・准教授・非常勤講師　福祉環境学科教員
非常勤講師　辰巳　礼子
非常勤講師　関根　麻美

社会福祉援助技術現場実習の目的や意義を理解し、実践の場である施設・機関等の理解を深める。現場実習に必要な知識や技術の習得を目指すとともに、自己の福祉専門職としての資質や課題について理解を深める。

①実習計画・目標②配属実習③自己覚知

222051 社会福祉援助技術現場実習

常勤　福祉環境学科教員

社会福祉専門職として仕事をするうえで必要な専門的知識・技術を深め、それらの専門的知識・技術を実際に活用して相談援助業務に必要となる資質・能力・技術を習得を目的に社会福祉実践現場への配属実習を実施する。

①社会福祉援助技術　②配属実習　③実習記録　④職業倫理　⑤援助活動と援助技術理論の体系化

222052 社会福祉総合講座Ⅰ

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久
教授　博士（学術・福祉）　永山　誠
教授　博士（社会学）　月田　みづえ
准教授　高橋　久雄
教授　高橋　学

社会福祉専門職の中心である社会福祉士に必要な価値・理論・実践について、具体的に学ぶ。

①社会福祉士　②社会福祉専門職

222053 社会福祉総合講座Ⅱ

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久
教授　博士（学術・福祉）　永山　誠
教授　博士（社会学）　月田　みづえ
准教授　高橋　久雄
教授　高橋　学

前期からの続き

①前期と同様

222054 保育内容総論

非常勤講師　鈴木　みゆき

「保育内容」の基礎的な知識及び保育実践に即した様々な視点から総合的に保育を捉えること、そして事例を通して考察を深め、子どもの姿から「保育内容」を構成する姿勢を学ぶことを目的とします。

①保育内容　②保育計画　③保育所保育指針

222055 保育内容 - 言葉

非常勤講師　石川　清明

言葉の発達過程を保育指針を軸にして追いながら、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深める。また、保育者としてどの様に関わり、言語環境を整え、教材を扱ったらよいのか、保育者の役割と援助について実践的に学ぶ。

①保育指針と領域「言葉」　②言葉の発達　③言葉と保育環境　④言語活動と保育士の援助　⑤「言葉」の指導計画　⑥配慮を要する子どもの保育

222056 保育内容 - 健康

非常勤講師　堂本　真実子

乳幼児期は生涯にわたる心身の健康の基礎を養い、自ら安全に生活しようとする意欲を培う大切な時期です。そのためにも保育者は、乳幼児一人ひとりの発達・発育状態を把握し、その健やかな成長を育む保育計画を立てることが重要です。これらのことから授業では、乳幼児の発達理解及び具体的な保育援助の方法について学びます。

①保育　②発達　③遊び　④保育計画　⑤乳幼児

222057 保育内容 - 表現

非常勤講師　山口　亮子

子どもの遊びは日常活動そのものである。保育者として子供の遊びを理解し、一緒に動ける体づくりや身体運動表現を体験することにより豊かな感性やリズム感を身につけ、子供の手本となる表現力を養う。

①身体各部位の認識と拡大　②運動の三要素　③ことばと身体運動表現　④リズムダンス　⑤創作ダンス

222058 子どもと環境

教授　横山　文樹

保育所保育指針の意義や目的について理解する。そのうえで、子どもが自主的、主体的に「身近な環境にかかわり、生活に取り入れていこうとする態度を養う」ための環境の構成や保育者の役割などについて学ぶ。

①領域「環境」の意義　①領域「環境」の意義　②子どもの発達と環境　③保育者の役割と援助

222059 音楽実技

教授　博士（学術）　木間　英子　他

声楽及びピアノの実技能力を養う。各々の受講生の能力に応じて、グループまたは個人レッスンで指導を行う。

①発声法　②歌詞解釈と発音　③メロディーと伴奏　④フレージング　⑤フィンガリング　⑥音色

222060 アート基礎

非常勤講師　稲田　大祐

多様な造形表現の基礎を学び、造形活動における実践的な表現力を身につけることを目的とする。平面・立体表現、美術・デザイン的な表現などの製作を通し、表現する喜びを味わい、造形表現の知識と技能を習得する。

①造形表現　②子どもの表現　③材料・用具・技法　④色や形の表現　⑤構成力

222061 教育心理学

講師　石井　正子

保育現場における教育心理学の基本的事項を理解し、より効果的な保育を展開することを目的とする。生涯発達的観点から保育と教育の関連を理解し、一人ひとりの豊かな発達を促すための教育的対応と支援の能力を養成する。また自閉症や注意欠陥／多動性障害など、障害児心理学についての知識を深めるとともに、障害児の心身の発達について学ぶ。

①発達　②学習　③障害児教育

222062 発達心理学

講師　博士（心理学）　中村　徳子

教育や保育は子どもがよき大人に発達するように援助する営みである。人間の受精から死までの発達を生涯発達的な観点からとらえ、各発達期の特徴を理解する。

①発達理論　②愛着　③対人関係

222063 臨床心理学

講師　石井　正子

臨床心理学とは「こころの病」に取り組む学問である。「こころの病」は人間であればたいてい身体の病気になったり、怪我をしたりすることがあるのと同じように誰にでも起こりうる。まずは学生が自分自身の「こころの健康」について関心を持ち、身体とこころの密接な関係に気づき、総合的な人間の見方ができるようにしたい。さらに、どのような場合にどのような悩みやこころの問題に直面することになるのかを理解し、こころの健康の維持と回復を支える方法について学ぶ。

①心理療法　②心理査定　③不適応行動

222064 養護原理

准教授　高橋　久雄

今日、社会的養護は、要保護児童対策としてのみならず家族をもった児童をも対象として展開される必要に迫られている。その背景には、家族と児童をめぐる複雑な問題がある。本講義では、現代社会における子育て支援、自立支援の方法としての新たな児童養護を考える。

①子どもの権利擁護　②自立支援　③児童虐待

222065 養護内容

准教授　高橋　久雄

施設養護の内容について基本的理解をしビデオ等による施設養護の実際や事例により、援助の実際、ケース検討、養護計画、記録等を体験的に学ぶ。また、施設と学校や地域、関係機関、隣接領域との連携の仕方について理解する。授業全体を通し児童観と養護観を養う。

①親子関係　②子どもの成長発達　③治療的援助

222066 家族援助論

教授　高橋　学

社会変動に対して、家族は過剰適応や不適応を余儀なくされている。家族がその機能不全の状態から主体性を回復するための手だてを考える。

①家族ソーシャルワーク　②機能不全家族　③家族支援

222067 乳児保育

非常勤講師　鈴木　みゆき

この授業では、１歳未満児の乳児期及び３歳未満児である低年齢児に対する保育を広く「乳児保育」とし、人間の一生において最も発達の著しい時期である大切な乳幼児の時代をあずかる保育者として必要な知識を学び、さらにその援助技術を修得するところにその目的があります。内容としては、乳児保育の意義とその歴史、乳児期および幼児期前期の発達、乳児保育の内容、家庭に対する子育て支援の必要性を学びます。

①乳児　②保育　③援助　④家庭　⑤子育て支援

222068 障害児保育

講師　石井　正子

児童期における様々な心身の障害に関する基本的な知識と、障害児保育を支える理念について学習する。近年「障害児」に対する様々な概念は急速に変化している。特に世界的なノーマライゼーションの推進という潮流の中で、保育の世界でもインクルーシブな保育を行うことが一般的になってきている。障害や発達の遅れを持っている場合でも、さまざまな個性を持った一人の子どもとして理解し、はば広い視野から保育的支援をすることが障害児保育の基本であるということを具体的な保育場面に即して学んでいく。

①障害　②保育　③ノーマライゼーション

222069 小児栄養

教授　博士（学術）　田中　伸子

小児期の特徴である「発育発達」に食生活は大きな影響を及ぼしている。しかも、その人間の将来にわたる長期的かつ多面的な影響因子の1つである。この小児期の栄養に関する基本的理論を体系的に講義し、実践的な事例を通してその理解を深める。

①栄養素と食事摂取基準　②乳汁栄養と離乳　③食教育

222070 精神保健

非常勤講師　河合　眞

福祉、医療の現場ではグループを対象として「音楽療法」を始めとする様々なセラピーやワークが実践されています。そこで発せられる言葉の背景に在る無意識の流れや感情の動きを理屈ぬきで実感してもらいます。そして、その背景にあるダイナミクスの意味を探っていくことを目指します。

①グループダイナミクス　②チーム医療　③即戦力　④音楽と言葉

222071 幼児体育

准教授　渡辺　剛

幼児期の発育・発達の特性をふまえながら、「運動あそび」に視点をおき、技術的な指導法や援助法について学習していく。また、隔週で附属幼稚部の子どもたちとの「ふれあい授業」も展開していく。

①基本の運動　②鬼遊び　③ボール遊び　④小型遊具で遊ぶ　⑤大型遊具で遊ぶ　⑥伝承遊び

222072 野外活動論

准教授　渡辺　剛
准教授　高橋　久雄

野外活動とは、日常生活から離れて大自然の中で自然の諸条件に対処しながら活動するものである。本授業では、野外活動のプログラムを立案し、実際に運営することを通して、指導者として必要な自然や野外での学習支援のあり方を体験的に学ぶことを目的とする。

①野外活動　②プログラムの立案・実施・評価　③野外での学習支援のあり方

222073 小児保健Ⅰ

教授　医学博士　戸谷　誠之

小児福祉や保育などの専門家になることを目指す人々が、こどもの発育発達と健康や疾病の関わりについて学ぶことを目的とする。

①こどもの生活　②子どものからだ　③母子情報

222074 小児保健Ⅱ

客員教授　渡邉　啓太

222075 保育実習Ⅰａ

准教授　高橋　久雄

保育実習への導入プログラムとして、保育実習に必要な知識・技術を習得し、実習目標・課題を明確化する。また、実習に対する学生の不安感や円滑に進めるための配慮として、実習に臨むにあたっての留意点や準備すること等を確認する。実習終了後、実習をふりかえるとともに、グループ学習等により実習中に理解できなかったことがらや不十分であった内容について気づきや学習を行い今後の学習目標の資料とする。

①実習目標　②スーパービジョン　③記録

222076 保育実習Ⅰｂ

准教授　高橋　久雄
准教授　博士（人間学）　北本　佳子
助教　佐藤　千晶

保育所で乳幼児の生活や活動に触れ、子どもに対する理解を深めるとともに保育士の役割や仕事を体験的に理解する。また、保育所の機能、地域社会との関係について知るための基礎的な実習を行う。

①保育所　②乳幼児の発達　③健康・安全　④遊び

222077 保育実習Ⅰｃ

准教授　博士（人間学）　北本　佳子
准教授　高橋　久雄
助教　佐藤　千晶

居住型児童福祉施設の機能と役割及び施設利用児童とその家族状況の理解を目的に10日間の現場実習を行う。本実習をとおして保育士として必要な専門的知識及び技術についての理解を得ると共に，保育専門職としての自覚と動機づけを促す。特に，保育専門職としての職業倫理と児童の最善の利益を追求しることの意味を考える。

①児童の最善の利益　②職業倫理　③保育専門職　④居住型児童福祉施設

222078 保育実習Ⅱ

助教　佐藤　千晶

保育所における10日間の実習を中心として事前・事後指導を行う。保育実習Ⅱは保育実習Ⅰbを発展させ、保育現場にて部分実習・責任実習の指導計画の立案・実施などを主体的に行い、保育者としての実践力を身につける。また保育士としての倫理観や価値観を学び、現代社会が求める保育所の役割機能について理解を深める。

①保育所保育指針　②子育て支援　③保育士倫理綱領　④指導計画　⑤保育実技

222079 保育実習Ⅲ

准教授　博士（人間学）　北本　佳子
准教授　高橋　久雄
助教　佐藤　千晶

児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の養護を体験し、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を図る。また、家庭と地域の生活実態にふれ、子ども家庭福祉ニーズへの理解力や子育て支援に必要な能力を養う。

①児童福祉施設　②社会福祉施設　③養護　④子ども家庭福祉ニーズ

222080 総合演習

准教授　高橋　久雄
教授　博士（社会学）　月田　みづえ
准教授　渡辺　剛
准教授　博士（学術）　伊藤　純
助教　佐藤　千晶

保育と養護、子育て支援等に関する科目横断的な学習能力を習得させると共に、児童家庭福祉に関する現代的課題について、問題等の現状分析・検討、そして、問題解決のための対応策と方法等について企画、実践させる。

①子育て支援　②児童家庭福祉ネットワーク　③食育　④保育・養護技術

222081 設計製図Ⅰ-1

准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

製図の基礎技術を学びながら立体としての動作空間、物品寸法を踏まえた空間の把握力を養う。木造小住宅の図面コピー及び平屋建て木造小住宅の設計を中心に、設計図を読み取る能力、作図の表現力の習得及びバリアフリーの観点からの住居の空間構成の考え方を学ぶ。

①設計図　②木造　③建築

222082 設計製図Ⅰ-2

准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

製図の基礎技術を学びながら立体としての動作空間、物品寸法を踏まえた空間の把握力を養う。トレース課題、有名住宅建築の模型制作及び500㎡程度の規模の福祉施設の設計を行い、立体把握能力、設計能力のスキルアップを図る。

①設計図　②模型　③木造　④鉄筋コンクリート造

222083 建築計画

教授　木村　信之

人体寸法、動作空間の大きさと生活に必要な空間の大きさ、人間の視覚や聴覚などの感覚と対応した空間の大きさ、機能と対応した空間、空間の構成やデザイン手法など、住居や地域施設の空間設計にかかわる基礎を学ぶ。

①機能　②空間　③人間工学

222084 住生活と福祉

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住宅や地域という空間から生活デザインを軸にした生活様式を学び、また同様の視点から家族を核にした生活福祉を探求する。

①インテリア　②住まい方　③コミュニティ　④家族とマイホーム　⑤少年事件と間取り⑥高齢者とバリアフリー

222085 環境工学

非常勤講師　博士（工学）　堤　仁美

省エネルギー・地球環境保護を考慮し、かつ、人間（居住者）にとって健康的で快適な建築環境について講義する。人間と環境、熱環境、光環境、空気環境、音環境、建築における省エネルギーなどに関して学ぶ。

①熱環境　②光環境　③空気環境　④音環境　⑤快適性　⑥省エネルギー

222086 建築史（住生活史を含む）

教授　工学博士　堀内　正昭

西洋建築とは、オーダーによるプロポーションと組積造による構法に裏付けられた建物であった。本講義では、様式史の時代区分に従って、古代からバロック・ロココ建築までの各様式の概念と代表的建築物を詳説していく。

①古典建築　ロマネスク・ゴシック　ルネサンス・バロック

222087 設計製図Ⅱ-1

非常勤講師　中澤　昭

鉄筋コンクリート造における一般的な構造形式であるラーメン構造物の部分実測、トレース、スケルトン模型の製作等を通して、構造方式が設計に与える影響、空間のスケール、コミュニケーション手段としての図面作成（製図）の作法を学ぶ。

①スケール　②三次元　③コミュニケーション

222088 設計製図Ⅱ-2

非常勤講師　中澤　昭

意匠設計の役割には、構造、機械設備、電気設備、法規、ノーマライゼーション等を統合調整することも含まれる。 演習を通して、多くの条件や可能性の中から最適解を見つけ出し、その解を分かりやすく伝える（表現する）方法を学ぶ。

①統合　②バリアフリー　③プレゼンテーション

222089 構法・施工

非常勤講師　工学博士　　小粥　庸夫

建築は芸術性と機能性に満ちており、大昔から人間の際立った創造物であった。構法と施工法は創造過程の基本技術であり、社会的背景、自然科学の進歩、材料特性などによって変化、発展してきた。これらのことに関して、一般的なことを平易に、具体的に解説する。

①構造体に作用する力の流れ　②構造材料別構法　③鉄筋コンクリート工事

222090 構造力学

非常勤講師　工学博士　　鈴木　俊男

建築構造物は、自重を含む様々な外力に対しても過度な変形をすることなく、また破壊することなく安全でなければならない。本論では、そのような安全性を確保するために、力の釣り合いや静定構造物の応用などについて基本的な考え方をわかり易く解説する。

①力の釣り合い　②建築構造物に働く力　③静定構造物

222091 構造力学及び演習

非常勤講師　工学博士　　鈴木　俊男

本論では、「構造力学及び演習」で修得した知識を基にして、種々の静定構造物の応力および変形並びに不静定構造物について演習を中心に進める。

①構造物の応力度　②変形　③座屈　④不静定構造物

222092 福祉デザインⅠ

教授　　木村　信之

我々の地域生活環境について地域福祉施設、住宅などを取り上げ、高齢者、障害者、児童など、様々な人々が自ら望む生活の実現できる環境造りについて、ノーマライゼーションの観点から、事例をまじえて考えていく。

①ノーマライゼーション　②地域福祉施設　③バリアフリー

222094 環境心理学

教授　工学博士　　友田　博通

機能からさらに快適性・文化性の問題に踏み込み、日常生活における　様々な人間行動について、人間と人間の心理・人間と空間の心理・深層心理・流行現象といった環境心理学の立場から分析し、住居を中心とする様々な生活環境の在り方を提案していく。

①住環境　②人間と人間の心理　③人間と空間の心理　④人間特性

222095 福祉のインテリア計画

非常勤講師　　仙田　考・中山　豊

インテリアデザインを人間にための環境デザインとして取り上げ、日本における住環境の歴史にさかのぼってその流れを学ぶ。材料や、色彩、光、空間のしつらえなどの基本要素を学び、シックハウスの問題やバリアフリー／ユニバーサルデザインなどの現代的課題について考える。

①環境デザインとしてのインテリア　②バリアフリーとユニバーサルデザイン　③福祉環境としてのインテリア

222096 建築法規

非常勤講師　　寺本　晰子

実務との接点であること、人の暮らしに始まり建築や都市計画に関連する分野が横断的に関連すること、時代の動きが反映されることを視点において、法規を学ぶとともに建築や都市への理解を深めることをめざす。

①集団規定と単位規定　②性能規定と仕様規定　③建築確認制度

222097 建築構造

非常勤講師　工学博士　　鈴木　俊男

建築構造は建築物の形を成立させる方法であり、建築設計にとっては必須である。主構造をして、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造の構成方法を述べる。また、建築物の外観と内観を形成する外部仕上げ構造と内部仕上げ構造についても説明する。

①建築一般構造　②木構造　③ RC 構造　④鉄骨構造

222098 建築材料学

非常勤講師　工学博士　　鈴木　俊男

建築の設計を行う場合、建築材料の知識は必須である。建建築物を構成する構造材料、木材、コンクリート、鋼材の種類、特徴、基本性能について述べる。また仕上げ材料について、その要求性能、選択基準、基本的物性について説明する。つぎに福祉、住環境面からみた社会と建築材料とのかかわりについて述べる。

①構造材料　②仕上げ材料　③規格　④住環境　⑤材料実験

222099 建築設備

教授　博士（工学）　　佐野　武仁

建物が完成し使用が始まると、建築設備の良し悪しによって使用時の快適感は変わる。本講では、水を主体とした給排水衛生設備および空調設備、電気設備の概要について講義する。

①設備のシステムデザイン　②給排水・給湯・衛生器具　③空気環境　④電気設備　⑤照明と光環境　⑥情報通信技術

222100 建築積算

非常勤講師　高橋　照男

建築士としてはコストを知らなければならないので、その最低の知識と素養が身につけられるようにする。具体的な積算手法の基礎を学ぶ

①工事請負契約　②建築数量積算　③建築工事内訳書

222101 建築学実験

教授　博士（農学）　中山　栄子

木材をはじめとする建築材料の物理的・力学的特性を知るために、材料実験を行う。実験を通して、実験を計画しすること、協力して実験を行うこと、パソコンを利用して実験報告書を作成することも学ぶ。なおこの科目は建築士受験資格選択必修科目である。

①構造材料　②強度試験　③要求性能の評価

222102 測量

非常勤講師　藤沼　俊行

本講義に於いては、理論よりも実際の作業を重視する。屋外で測量器材を操作することにより、卒業後の実務に支障のない様指導する。

①正確　②丁寧　③緻密

222104 都市デザイン論

教授　博士（工学）　金尾　朗

現代における都市空間及びそこにおけるデザイン行為、計画、様々な議論等について紹介、考察し、現在の都市における多様な状況、環境等について考えていく

①建築と都市　②都市空間　③分析

222105 建築デザイン論

教授　工学博士　芦川　智

建築の造形表現の変遷を概観した上で、空間一般における事象の造形的表現を方法論として考えてゆく。現代の架構方法を建物種別毎に概観し、現代を支えている近代からの流れ、さらには建築史の流れの中にその源を探ってゆく。

①空間形態　②架構　③建築史　④空間造形　⑤造形表現　⑥様式史

222106 プロダクトデザイン論

非常勤講師　村越　愛策

建築やモードも含めて、我々が使うあらゆるモノはデザインされた製品が多い。製品の形状や使い易さ、他に情報など「モノづくり」には多くの技術や様々な条件が伴う。プロダクトされたモノを使う立場から考えてみる。

①道具　②形態　③機能

222107 社会科学と社会調査

教授　工学博士　矢野　眞和

社会現象を説明する科学としての社会科学を位置づけ、現象を説明するために必要な「理論とデータ」の関係を踏まえて、社会調査の意義と方法を学習する。

222108 社会経済統計Ⅰ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会および経済現象をデータを用いて分析するために必要な基礎の統計学的知識を学習する。

①サンプリング　②記述統計　③相関係数　④回帰分析　⑤信頼区間

222109 社会調査の理論と方法

非常勤講師　大多和　直樹

社会学における数量的調査の手法を学ぶ。卒論などで、自分で調査を設計し分析できることを目指し、その基礎をつくる。調査設計および実施方法に力点を置き講義を行う。調査の理論を実践の調査時の思考・感覚にむすびつけられるよう、ミニ演習（既存調査の再分析）を設ける。

①サンプリング　②ワーディング　③仮説検証

222110 統計分析基礎

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

表計算ソフトMicrosoft Excelを利用し、データを処理、分析する手法の基礎を身につける。データを分析する視点や統計資料の読み方、整理の仕方、演習課題を通して各種データの分析手法を学ぶ。

①データ分析　②グラフ作成　③Microsoft　Excel

222111 社会経済統計Ⅱ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会経済統計における基礎的な多変量解析法について、その基本的考え方と主要な計量モデルを解説する。

222112 フィールドワークと質的分析

教員未定

フィールドワークと質的調査の基礎を学ぶ。観察法、フィールドノートのとり方、インタビューの技術、ライフヒストリー、理論的サンプリングといった個別技法を学び、調査計画を立案できる知識・技法を見につけることを目指す。

①質的調査　②フィールドワーク　③社会調査士資格

222113 社会調査実習Ⅰ

非常勤講師　博士（教育学）　濱中　淳子

社会調査のために必要な仮説構成、調査設計、データベース作成、分析手法、報告書作成などを実践的かつ総合的に学ぶ実習である。授業への参加を通じて、調査方法や社会学的な考え方のみならず、プロジェクトの運営方法、社会調査上の倫理問題を修得してほしい。

①社会調査　②社会統計　③教育　④家族　⑤友人関係　⑥キャリア

222114 社会調査実習Ⅱ

非常勤講師　博士（教育学）　濱中　淳子

社会調査のために必要な仮説構成、調査設計、データベース作成、分析手法、報告書作成などを実践的かつ総合的に学ぶ実習である。授業への参加を通じて、調査方法や社会学的な考え方のみならず、プロジェクトの運営方法、社会調査上の倫理問題を修得してほしい。

①社会調査　②社会統計　③教育　④家族　⑤友人関係　⑥キャリア

222115 海外ボランティア演習

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

アメリカ合衆国マサチューセッツ州にある昭和女子大学ボストン校に宿泊し、夏季休暇中に4週間行う。午前中は英会話、アメリカ文化等について学び、午後はボストンの老人ホーム、障害者施設、レジャー施設等におけるボランティア活動を行いながら、アメリカン・ボランタリズムの精神を学ぶ。

①友愛訪問　②自発的行為　③社会的貢献

222119 基礎演習

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠
教授　博士（学術）　天野　寛子
教授　経済学博士　伊藤　セツ
教授　博士（社会学）　月田　みづえ
准教授　渡辺　剛

福祉環境学科で4年間勉強するための動機付けと、勉学上の基礎的なスキルを習得することを目指す。とくに大学での勉強の仕方を身につける。

①仲間　②見る　③調べる　④考える　⑤伝える　⑥創る

222124 保育ソーシャルワーク

非常勤講師　高橋　紘

子育て支援を必要とする家庭への対応、および機関連携のあり方について理解する。保育とソーシャルワークとは、元来別な専門性に基づいており、保育ソーシャルワークとしてはまだ学問体系として確立してはいない。しかし、子育て環境が大きく変化し、育児不安を持つ母親、さらに子どもの問題の発見、問題を抱える親への支援活動が期待されるようになってきて、新たな保育士業務に位置づけられた。本講座では、「保育所で行なうソーシャルワーク」としてとらえ、保育所を中心とした育児に関連する個別相談に対する助言、指導、家庭支援のあり方、及びグループワークについて学習をしたい。また地域ネットワークの中で保育所がどのような役割を担うのかも学びたい。

①保育相談　②児童虐待　③子育て家庭支援

222126 福祉科教育法

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

高等学校の福祉科の教員免許状取得を希望する学生に、福祉科教育の目的、方法、教授に必要な指導技術の基本を体得することをめざす。授業の工夫や教材の検討、視聴覚教材による授業分析など望ましい授業のありかたを考える。

①教材　②教育方法　③福祉教育の意味

222129 福祉 NPO マネジメント論

非常勤講師　興梠　寛

21世紀の“共生社会”を築く社会力として、現代社会の多様な課題を解決し、社会を活性化するNPOの社会的役割は、行政や企業の社会力とは行動原理を異にする“第3の市民力”として、大きな役割を果たしています。本講義では、講義とワークショップをとおして多様なNPO活動の魅力と活動の世界を探るとともに、組織マネージメントの方法や法的制度等について学んでいきます。

①市民社会②第3の社会力③NPOマネージメント④地球市民⑤共生社会の創造

222132 福祉とライフマネジメント

非常勤講師　大村　洋永

［福祉］という言葉は、広義に捉えれば“幸福”と同意語。英語でいえばＨａｐｐｙというよりはＷｅｌｌ－ｂｅｉｎｇに近い用語である。人生の節々(青春･子育て･親の介護･老い…など）において良く生きるとは?その準備やリスクへの対応を考える。

①ライフサイクルとライフマネジメント　②生老病死　③自己実現

222133 精神科リハビリテーション学

教授　高橋　学
非常勤講師　松本　安代

現在、精神科病院勤務の作業療法士が観た、現場での出来事などをふまえて実践などをしながら、授業を進めていく。

①作業療法　②アプローチ　③地域

222134 精神保健福祉論

教授　高橋　学

1. 精神障害者の人権について理解する
2. 精神保健福祉士の理念、意義、対象について理解する
3. 精神障害者に対する相談援助活動を理解する。
4. 精神保健福祉法に関する法律の意義と内容を理解する。
5. 精神保健福祉施策の概要について理解する。

①精神保健福祉法　②精神保健福祉士

222135 精神保健福祉援助技術総論

教授　高橋　学

1. 精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動について理解する。
2. 精神障害者を中心とした社会福祉援助活動の目的･価値などを具体的事例を用いて理解する。
3. 社会福祉援助活動における専門的援助技術の体型について理解する。
4. 精神保健福祉士と専門的援助活動について理解する。

①精神保健福祉士　②ソーシャルワーク

222136 精神保健福祉援助技術各論

教授　高橋　学

1．精神障害者の疾病及び傷害に配慮した個別援助技術について具体的事例に基づき理解する。
2．精神障害者の疾病及び傷害に配慮した集団援助技術について具体的な事例に基づき理解する。
3．精神障害者ケアマネジメントについて具体的な事例に基づき理解する。

精神障害者を対象とした地域援助技術について具体的な事例に基づき理解する

①ケースワーク　②グループワーク　③コミュニティワーク　④ケアマネジメント

222137 精神保健福祉援助演習

非常勤講師　岡田　澄恵

体験学習により理論に基づく精神保健福祉士としての現実的実践能力を養成する。

①体験学習　②理論に基づく実践　③事例　④ロールプレイ　⑤実践現場

222138 精神保健福祉援助実習

教授　高橋　学

精神保健福祉士の資格取得を目指すための実習である。精神保健福祉援助実習を通じて、クライアントシステム、精神保健福祉システム、ソーシャルワークを理解する。

①配属実習　②ソーシャルワーク　③コンピテンス　④スーパービジョン

222139 精神保健学

非常勤講師　河合　眞

福祉、医療の現場ではグループを対象として「音楽療法」を始めとする様々なセラピーやワークが実践されています。そこで発せられる言葉の背景に在る無意識の流れや感情の動きを理屈ぬきで実感してもらいます。そして、その背景にあるダイナミクスの意味を探っていくことを目指します。

①グループダイナミクス　②チーム医療　③即戦力　④音楽と言葉

222144 福祉社会と社会政策

教授　経済学博士　伊藤　セツ

従来、社会政策は国家・政府の政策とされてきたが、今日では社会政策の主体もニーズをもつ人々もこうした変化の中で捉え返されている。この講義では、福祉社会のなかでの人々の多様なニーズに応える社会福祉の創造と・供給に関わる社会政策の考え方を学ぶ。

①福祉社会　②社会政策　③社会福祉

222145 労働とジェンダー

教授　博士（経済学）　森　ます美

社会的・文化的・歴史的に形成された性差である「ジェンダー」が、現代の雇用・労働領域にどのような性差別と男女間格差構造をもたらしているかを労働市場、職種・職務、賃金、キャリア形成などをテーマに実証的に分析する。関連科目として後期開講の「雇用・労働と社会政策」の履修が望ましい。

①雇用流動化とジェンダー　②男女間賃金格差　③企業の人事・賃金制度

222146 雇用・労働と社会政策

教授　博士（経済学）　森　ます美

今日の雇用・労働に関する社会政策に焦点を当て、その動向をグローバリゼーション、規制緩和、ジェンダー、雇用平等の視点から検討する。特に、女性が就業を継続していくために活用できる政策体系に留意して講義する。

①雇用・労働政策　②規制緩和　③雇用平等（均等待遇）

222147 国際福祉論

非常勤講師　沈　潔

授業の概要：本授業は、国際福祉の支援活動と社会福祉の国際比較について学習するものである。具体的には、まず、国際福祉における支援活動の歴史、組織、活動のあり方などを理解する。そして、各論でアメリカ、スウェーデン、デンマーク、イギリス、フランス、ドイツ、または、中国、韓国、タイ、フィリピンなどを取り上げて、国際社会における諸国の社会福祉の連携及び国際比較について考える。

①国際福祉　②南北格差　③国際協力

222148 福祉環境マネジメント論

非常勤講師　阿部　祥子

人は、個人、地域住民、社会の一員として生活を営んでいる。地域の資源を如何にマネジメントするかによって、人々の「生活の質」は変化する。社会福祉を学び、専門家となる上での「生活の質」に関わる社会資源情報とそのあり方を探求する。

①個人　②地域　③生活の質　④社会資源　⑤マネジメント

222149 地域施設マネジメント論

准教授　高橋　久雄

社会福祉施設は、制度改革の流れのなかで、経営主体の多様化、公立から民間への移行、措置から利用へとシステムの変換が進み、併せてサービスの標準化と質の向上の課題に対し、苦情解決や第三評価、情報開示等の仕組みの導入が行われている。そして、利用者サービスのみならず地域福祉へと機能の拡大が法的にも位置づけられている。本講座では児童養護施設をモデルに、従来の実践を基礎とし職員の専門性や適正、組織のあり方、財源の確保等施設の運営と経営について課題を整理し方向性を検討していく。

①施設養護　②地域福祉　③施設運営と経営

222150 福祉ジェンダー統計論

教授　経済学博士　伊藤　セツ

政府が生産する統計にはいろいろあるが、福祉に関する統計をとりあげ、ジェンダーの視点から分析する。このことによって、福祉の現状認識を深め、福祉の視点での統計の利用の仕方を知り、ユーザーとして発言することができる力を養う。

①福祉　②ジェンダー統計　③統計のユーザー

222155 特別実習

教授　高橋　学

本講義は、保健・医療機関での実習を希望する学生のものである。医療ソーシャルワーク実習を通して、患者・家族の理解、医療システムの理解、ソーシャルワーク実践について学ぶ。

①医療ソーシャルワーク　②病院実習　③チーム医療　④スーパービジョン

222157 児童福祉演習

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

児童福祉のさまざまな問題発見を通して、研究テーマを立てる。先行研究の検討や研究方法を吟味し、各自が自分の研究の進行状況を発表、ディスカッションする。

①社会問題の発見　②先行研究　③研究方法　④グループ討議

222158 児童養護演習

准教授　高橋　久雄

児童虐待に代表される家庭の養護機能や親子関係上の問題から保護が必要となった子どもの社会的養護について、里親養護と施設養護の連携、児童養護施設の実践と専門性、とりわけ児童養護施設の運営のあり方については、さまざまな機能的側面からの見直しと方向性について研究する。

①社会的養護　②地域小規模児童養護施設　③自立支援　④ソーシャルワーク　⑤施設の機能

222159 児童・家庭ソーシャルワーク

非常勤講師　池上　和子

児童と家庭を取り巻く問題を社会的養護状況に焦点を当てその現代的動向を先進諸国における子どもの時期養育環境とその後の人生に及ぼす影響および児童福祉の課題を中心に検討。そのうえでわが国における社会的養護の問題を政策や制度を超えた先進諸国共通の本質的な福祉臨床的課題という新しい視点から学ぶ

①社会的養護　②養育環境とライフ・コース③児童虐待

222160 医療ソーシャルワーク演習

教授　高橋　学

本演習では、保健・医療、精神医療などの分野におけるソーシャルワーク方法論を考察する。文献を中心に検討を進めながら、クライアントに対する対象認識を、問題の背景や生活障害を分析することによって理解する。

①ソーシャルワーク　②「病の語り」　③疾病と心理社会的理解

222161 地域福祉演習

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

21世紀の社会福祉の基本は地域福祉である。地域福祉がどのように発展してきたのかをテキストで学びながら、現実の地域福祉の実態を観察し、その意義について学習を深める。この過程で卒業論文を書き上げるための課題を追求する。

①地域の歴史　②地域生活　③ニーズの発見　④地域福祉　⑤活性化

222162 社会政策演習

教授　経済学博士　伊藤　セツ

広い意味での社会政策に関わるテーマで演習を行う．学生さんの関心を大切にし，レポート，論文，卒業論文へと徐々に進めていく．毎時プロジェクターを使ったプレゼンテーションをもとに討論する．インターネットを使用した論文の書き方をいっしょに考えたい．

①社会政策　②インターネット　③論文の書き方

222163 社会福祉原論演習

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

社会福祉実践における主要な理論および理念－愛、幸福、自己実現、関わり、痛み、差別、などを論議する。

①幸福　②愛　③価値と倫理

222164 障害者福祉演習

講師　根本　治代

障害者福祉の現状を把握するために、基本的文献の講読、調査報告書等の収集を進めるとともに、施設や団体への訪問などを学生主体で計画、準備し、障害者や関係者との交流を通して実際的な知見を広めていく。その間に、各自関心のあるテーマを見出し、レジメ作成、プレゼンテーション、ディスカッションをとおして障害者の地域生活支援のあり方を検討していく。

①障害者　②地域生活支援　②ソーシャルワーク

222165 女性労働・福祉演習

教授　博士（経済学）　森　ます美

女性労働・女性福祉に関する文献研究、官庁統計の利用法、調査の方法、論文の書き方など、卒業論文作成の方法と技術について学ぶ。ゼミは、学生が主体となり、各自のテーマに関する研究結果を報告し、討論するなかで、卒業論文の完成を目指す。

①女性　②労働　③社会福祉　④ジェンダー　⑤人権　⑥平等

222167 家族福祉演習

教授　博士（学術）　天野　寛子

学生の卒業論文のテーマにあわせて参考文献を選択し、読み、討論し、問題意識を深めさせる。

①家族　②家族支援　③子育て

222168 生活福祉演習

准教授　博士（学術）　伊藤　純

人々のニーズの多様化・高度化に伴い、福祉的環境の整備、福祉社会の創造に向けての生活研究・生活福祉研究の意義はますます高まっている。本演習では上記の視点をふまえ、卒業論文作成に必要な方法と技術とを学ぶ。

①生活福祉　②生活経営　③高齢者

222169 ユニバーサルデザイン演習

教授　学術博士　猪又　美栄子

卒業研究に必要な文献・資料収集の仕方，研究の進め方，まとめ方について学ぶ．さらに，使いやすさを判定する方法や解析方法について演習を行う．

①文献・資料　②使いやすさ　③実験計画

222170 居住福祉演習

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

居住福祉研究は”空間から生活福祉を考える”ことが基礎である。生活現象から問題を発見すると共に、要因を分析して空間的解決策を提示するために考察を行う。その過程の中で調査・分析手法、論理的思考の方法、論文作成の技術を修得する。

①既存文献　②ヒアリング調査　③対立物の統一

222171 対人コミュニケーション演習

准教授　博士（人間学）　北本　佳子

この演習では、社会福祉の分野を中心としながら、様々な分野における対人場面のコミュニケーション（言語・非言語）に関する現状や問題点などについて、学生が主体となって研究をすすめていくことができるようにすることを目的としている。

①問題意識　②文献購読　③レジュメ作成　④論文作成

222172 健康発達演習

准教授　渡辺　剛

すべての人が健康で、スポーツを楽しみ、心身ともに豊かにくらしていける社会の実現をめざす。本演習では、現場での実習や体験を大切にしつつ、文献研究、調査の方法、論文の書き方など、卒業論文作成の方法と技術について学ぶ。

①遊び　②レクリエーション　③スポーツ　④総合型地域スポーツクラブ　⑤健康づくり　⑥クオリティー・オブ・ライフ

8. 現代教養学科（平成 17・18 年度入学者用）

〔H 17・18 年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	古川	223001	②		②						1・2	同	
		心理学概説ⅠⅠ	藤崎	223002		②		②					1・2	同	心理分野　※
		社会心理学	藤島	223003		②		②					1・2	同	
		社会福祉の歴史	月田	223004	②	②	②	②					1・2	同	（心理・福祉・初教）
		福祉環境とボランティア	興梠	223005	②	②	②	②					1・2	同★	福祉環境分野　※
		人間形成原論	桑原	223006	②		②						1・2	同	
		教育哲学	宮寺	223007		②		②					1・2	同	初等教育分野　※
現代教養概論		社会を見る目	澁澤	223009・223010	2	2							1	同×	（心理・福祉・初教）
		経済を見る目	小島	223011・223012	2	2							1	同×	（心理・福祉・初教）
		世界を見る目	志摩	223014			2	2					2	×	
		文化を見る目（演劇と文化）	下川	223015	②	②	②	②					2	×	
		労働社会学	木下（武）	223095					②		②		2		「企業と社会」（前期）から名称変更
		現代社会と社会学	木下（武）	223043				②		②			2		「企業と社会」（後期）から名称変更
		環境生態学	常喜	223035	②	②	②	②	②	②			2	同	（福祉「生態環境論」）
		くらしと地球環境	常喜	223030		②		②		②			2	×	
		くらしと科学	小原	223261	②	②	②	②	②	②			2	×	隔年開講
現代教養各論		現代政治論	村野	223100			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（心理･歴文）
		現代社会論	木下（武）	223096			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（心理）
		現代カウンセリング理論	大塚	223260	②	②	②	②	②	②			2		
		マーケティング基礎理論Ⅱ	中野	223262				②		②			2	×	
		企業と広報	吉澤	223019	②		②						2	◎	「企業広報論Ⅱ」から名称変更
		情報とマーケティング	吉澤	223017		②		②					1		「企業広報論Ⅰ」から名称変更
		現代都市事情	鶴田	223037	②		②						2	◎	「現代都市論」（前期）から名称変更
		マーケティング･リサーチ入門	大沼	223024		②		②					1・2		「マーケティング･リサーチ」から名称変更
		現代都市論	鶴田	223077				②		②			2	◎	「現代都市論」（後期）から名称変更
		国際理解入門	五十嵐	223029	②		②						2	◎	
		国際交流入門	五十嵐	223263		②		②		②			2	×	専門関連科目　注1
		比較社会入門		223264			②		②				2	×	
		地域研究（北アジア）	フフバートル	223122					②		②		3	◎同	（歴文「北アジア文化特論Ⅱ」）
		東アジア言語社会研究	フフバートル	223121				②		②		②	3	◎同	（歴文「北アジア文化特論Ⅰ」）
		アート･マネージメントⅠ	美山、金子	223068			②		②				2	◎	
		アート･マネージメントⅡ	美山、金子	223069				②		②			2	◎	
		現代アメリカ文化論	スナイダー	223091				②		②			2	◎同	（英コミ）　教職（英語）履修者は必修
		現代英国文化論	平井（法）	223092			②		②				2	◎同	（英コミ）　教職（英語）履修者は必修
		フランス文化史概観	松浪	223311			②		②				2	×	
		文学と社会	福田（淳）	223070			②		②				2		「文学と音楽」から名称変更
		映像と社会	福田（淳）	223071				②		②			2		「映像文化論」から名称変更
		哲学入門	土屋	223051			②		②				2	◎	「現代哲学フォーラムⅠ」から名称変更
		哲学		223052				②		②			2	×	「現代哲学フォーラムⅡ」から名称変更
		現代の経営と経営学	高橋（秀）	223045				②		②			2		
		グローバル社会と経済	早房	223047				②		②			2・3		
		現代政治と政治学		223049			②		②				2	×	
		市民社会の法（法を考える）		223053			②		②				2	×	
		社会科学の数学	高橋（秀）	223087			②		②				2		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

〔H 17・18 年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
現代教養各論	人口動態と社会		223056			②		②				2	×	開設単位：①無印は必修科目 ②㋑印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
	ジェンダーと社会	森	223057			②		②				2		
	古典で学ぶ社会科学	木下（武）	223059			②		②				2		
	消費と経済学		223061			②		②				2	×	
	マーケティング論	中野	223063				②		②			2		「マーケティング基礎理論Ⅰ」から名称変更
	環境の経済学		223072			②		②				2	×	
	NGO/NPOの歴史	ホルバート	223074			②		②				2		
	公共政策と文化		223076			②		②				2	×	
	日本の政治（現状と課題）		223082			②		②				2・3	×	
	国際機構論		223083			②		②				2・3	×	
	日本経済と経済学（マクロ経済学）	高橋（秀）	223044			②		②				2・3		
	日本の金融と金融論	高橋（秀）	223046				②		②			2・3		
	グローバル社会の政治経済学	志摩	223050				②		②			2・3		
	国際関係史	志摩	223055			②		②				2・3		
	環境の社会学	瀬沼	223034	②		②						1・2	◎	「環境社会学」から名称変更
	新聞で知る日本と世界		223028	②		②						1・2	×◎同	
	国際社会の法	稲川	223054				②		②			2・3		
	科学と社会		223058				②		②			2・3	×	専門関連科目（注 1）
	国際協力論		223060				②		②			2・3	×	
	社会と開発		223062				②		②			2・3	×	
	ビジネス・マネジメント	吉田（耕）	223064				②		②			2・3		
	社会と経済の発展史		223066				②		②			2・3	×	
	環境政策		223073				②		②			2・3	×	
	環境問題のマネジメント		223075				②		②			2・3	×	
	文化と社会表現		223078				②		②			2・3	×	
	現代日本の政治と経済		223079				②		②			2・3	×	
	グローバル・ガバナンス論		223084				②		②			2・3	×	
	日本と世界	小粥（祐）	223081				②		②			2・3		
	行政と地方自治		223099					②		②		3・4	×	
	現代日本の国際関係	稲川	223080			②		②				2・3		
	社会経済学		223110				②		②		②	3・4	×	
	公共経済学	高橋（秀）	223112				②		②		②	3・4	×	
	国際関係外書講読	志摩	223118				②		②		②	3・4	×	
	国際協力政策		223117					②		②		3・4	×	
	多文化社会論		223093				②		②		②	3・4	×	
	地域政策		223107				②		②		②	3・4	×	
	都市社会論	鶴田	223123				②		②		②	3・4	×	
	マスコミュニケーション論		223094					②		②		3・4	×	
	公共政策		223098					②		②		3・4	×	
	産業組織論	高橋（秀）	223111					②		②		3・4	×	
	ゲームと戦略	高橋（秀）	223086			②		②				2・3		
	政策の分析と決定		223097				②		②		②	3・4	×	

〔H 17・18 年度入学者〕

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
現代教養各論	政策過程論		223101					②		②		3・4	×	
	グローバル社会の歴史		223067			②		②				2・3	×	専門関連科目　注1
	消費者の行動	大沼	223020	②		②						1・2		「消費者行動論」から名称変更
	現代金融ビジネス入門Ⅰ	小島	223501			②		②		②		2	◎同	（総合）朝日生命寄付講座
	現代金融ビジネス入門Ⅱ	小島	223502				②		②		②	2	◎同	（総合）朝日生命寄付講座
現代教養セミナー	社会問題概観	澁澤	223105					②		②		3・4		
	マスメディアと現代社会	澁澤	223104				②		②		②	3・4		
	職業とジェンダー	木下（武）	223102					②		②		3・4		
	現代社会と労働	木下（武）	223103				②		②		②	3・4		
	消費と環境	瀬沼	223106				②		②		②	3・4		「生活と環境」から名称変更
	エコロジー研究	常喜	223127				②		②		②	3・4		
	社会経済政策Ⅰ	矢野	223108					②		②		3・4		4科目8単位以上選択必修
	社会経済政策Ⅱ	矢野	223109						②		②	3・4		
	経営学研究	高橋（秀）	223114					②		②		3・4	×	
	経済学研究	高橋（秀）	223113				②		②		②	3・4	×	
	現代経済（世界と日本）	小島	223048				②		②			2・3		「時事経済（世界と日本）」から名称変更
	現代企業論（組織と戦略）	小島	223065			②		②				2・3	◎同	（総合）　人数制限あり 「現代企業論」から名称変更
	国際関係研究	志摩	223119				②		②		②	3・4		「地域と国際関係」から名称変更
	地域研究（環地中海）	鶴田	223125					②		②		3・4		「都市情報論Ⅰ」から名称変更
	地域研究（スペイン語圏）	下川	223128				②		②		②	3・4		「現代演劇の潮流」から名称変更
	都市情報論	鶴田	223124				②		②		②	3・4		「都市情報論Ⅱ」から名称変更
	異文化コミュニケーションA	ホルバート	223267			②		②				2・3	×	
	異文化間コミュニケーション	ホルバート	223085				②		②			2・3	同	（英コミ） 「異文化コミュニケーションB」から名称変更
	演劇文化研究	下川	223126					②		②		3・4		「演劇の歴史と文化」から名称変更
	国際開発研究Ⅰ		223115					②		②		3・4	×	
	国際開発研究Ⅱ		223116						②		②	3・4	×	
	地域研究（欧州）	志摩	223120					②		②		3・4		「地域研究」から名称変更
	教育社会学Ⅰ	矢野	223265			②		②				2・3	×	
	教育社会学Ⅱ	矢野	223266				②		②			2・3	×	
現代教養演習	現代マスコミュニケーション論演習	澁澤	223129						①	①	①	3・4		「現代マスコミュニケーション演習」から名称変更
	現代社会論演習	木下（武）	223130						①	①	①	3・4		
	エコロジー論演習	常喜	223141						①	①	①	3・4		「環境生態学演習」から名称変更
	地域環境デザイン論演習	瀬沼	223131						①	①	①	3・4		「環境社会学演習」から名称変更
	現代経済論演習	小島	223134						①	①	①	3・4		「日本経済論演習」から名称変更
	国際関係論演習	志摩	223137						①	①	①	3・4		
	社会表現論演習	下川	223140						①	①	①	3・4		「現代演劇論演習」から名称変更
	メディア表象論演習	福田（淳）	223132						①	①	①	3・4		卒論ゼミ・1科目（3単位）選択必修
	社会経済政策演習	矢野	223133						①	①	①	3・4		
	現代経営論演習	高橋（秀）	223135						①	①	①	3・4		
	応用言語学演習	小林	223136						①	①	①	3・4		
	言語社会論演習	フフバートル	223138						①	①	①	3・4		
	現代都市論演習	鶴田	223139						①	①	①	3・4		

〔H 17・18 年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
スキル	日本語表現（注2）	文章表現論	福田（淳）	223270	2	2							1	×	
		スピーチコミュニケーション基礎		223271			1	1					2	×	
		論理的表現法	福田（淳）	223196				②		②			2		
		日本語表現（書き方／実用）	福田（淳）	223192			②		②				2		
		日本語表現（書き方／応用）	福田（淳）	223191			②		②				2		「エッセイの書き方」から名称変更
		日本語表現（話し方／プレゼンテーション）	藤木	223193			②		②				3		「アドバンスト・スピーチコミュニケーションA（プレゼンテーション）」（前期）から名称変更
		日本語表現（話し方／ナレーション）	中里	223194			②		②				3	◎	「アドバンスト・スピーチコミュニケーションB（ナレーション）」から名称変更
		日本語表現（話し方／上級）	藤木	223195				②		②			3		「アドバンスト・スピーチコミュニケーションA（プレゼンテーション）」（後期）から名称変更
	イングリッシュ・ランゲージ・プログラム（ELP）	Current Issues Ⅰ		223312	2	2							1	×	〔2×2〕
		Current Issues Ⅱ		223313			2	2					2	×	〔2×2〕
		Current Issues Ⅲ	クレイグ、他3人	223314					2	2			3		〔2×2〕
		Seminar A	バトラー	223315					①	①	①	①	3	◎同	（英コミ）
		Seminar B		223316					①		①		3	×	（英コミ）
		Seminar C	ハリントン	223317					①	①	①	①	3	◎同	（英コミ）
		Intensive Listening			1	1							1	×	
		Oral Expression			1	1							1	×	
		Critical Reading Ⅰ		223318			2						2	×	〔2×2〕
		Critical Reading Ⅱ		223319				2					2	×	〔2×2〕
		Current Topics for Writing Ⅰ	小林、他3人	223320					2				3		〔2×2〕
		Current Topics for Writing Ⅱ	小林、他3人	223321						2			3		〔2×2〕
		TOEFL Preparation Ⅰ	ハリントン	223286			①		①		①		3	◎同	（英コミ）定員30名
		TOEFL Preparation Ⅱ	ハリントン	223287				①		①		①	3	◎同	（英コミ）定員30名
		TOEIC Preparation Ⅰ	クレイグ	223284			①		①		①		2	◎同	（英コミ）定員30名（500～650点以上の者）
		TOEIC Preparation Ⅱ	クレイグ	223285				①		①		①	2	◎同	（英コミ）定員30名（500～650点以上の者）
		通訳・翻訳研究	柏木	233188					②	②	②	②	3	◎同	（英コミ）
		ビジネスコミュニケーションA	増澤	233300					②		②		3	◎同	（英コミ）
		ビジネスコミュニケーションB	増澤	233301						②		②	3	◎同	（英コミ）
		ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム	ボストン昭和教員	233302	②		②		②		②			×	ボストン・サマーセッション参加学生対象
	情報リテラシー	情報論	大串	223198	2								1	×	
		コンピュータシステム		223322	1								1	×	
		情報検索	大串	223199		1							1	×	
		情報収集と編集	鶴田	223200				②		②			2	◎	「情報編集」から名称変更 人数制限あり
		統計分析	鶴田	223303			①		①				2	×◎	人数制限あり
		統計分析基礎	鶴田	223089			②		②				2・3	◎	人数制限あり　社会調査士　C
		情報収集と伝達	後藤	223201				②		②			2	◎	「ネットワーク」から名称変更 人数制限あり
		データベース	鶴田	223304				①		①			2	◎	人数制限あり
	調査法	社会科学と社会調査	矢野	223088			②		②				2・3	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　A
		社会調査の理論と方法	大多和	223202			②		②				2・3	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　B
		社会経済統計Ⅰ	矢野	223090			②		②		②		2・3	◎同	（福祉） 社会調査士　D
		社会経済統計Ⅱ	矢野	223203				②		②		②	3・4	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　E
		フィールドワークと質的分析	教員未定	223204				②		②			2・3	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　F
		社会調査実習Ⅰ	濱中	223205					②		②		3・4	同	（心理、福祉、初教）　社会調査実習ⅡもⅠも履修のこと 社会調査士　G
		社会調査実習Ⅱ	濱中	223206						②		②	3・4	同	（心理、福祉、初教）　社会調査実習Ⅰも履修のこと 社会調査士　G
		社会調査法基礎Ⅰ	矢野	223305			②		②				2	×同	（福祉）
		社会調査法基礎Ⅱ	矢野	223306				②		②			2	×同	（福祉）

開講単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

〔H 17・18 年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				単位		単位		単位		単位				
キャリア	職業とキャリアをみる目	志摩	223207			②		②				2		
実習	インターンシップⅠ	木下（武）	223309			②		②				2・3		
	インターンシップⅡ	木下（武）	223310				②		②			2・3		
ボストン春期	American Field Studies	ボストン昭和教員	223307				②					2	×◎	専門関連科目　注1
	American Current Issues		223308				②					2	×◎	
ボストン15週間	Listening/Speaking	ボストン昭和教員	223213					②				3	◎	〔2×2〕
	Reading/Vocabulary		223214					②				3	◎	〔2×2〕
	Writing/Grammar		223215					②				3	◎	〔2×2〕
	Extensive Reading		223216					①				3	◎	
	Pronunciation		223217					①				3	◎	
	American Current Topics		223218					②				3	◎	〔2×2〕 一般教養科目として履修
	Field Trips		223219					②				3	◎	一般教養科目
	Community Service		223220					④				3	◎	一般教養科目として履修
卒業論文		現代教養学科教員	223221							8		4		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注1　専門関連科目を一般教養科目として履修する場合には、履修登録時に申請すること。また、一般教養科目として読み替えられるのは8単位までである。
ただし教職の教科専門科目として履修する際には、必ず専門科目として履修すること。
注2　人数制限あり

○英検及び TOEIC について

本学科では実用英語技能検定（英検）および TOEIC の資格を単位として認定しています。 資格取得者に認定される単位は以下の通りとします。

認定される資格	単位
英検　準1級 TOEIC　650 点以上	2単位（専門）
英検　1級 TOEIC　850 点以上	3単位（専門）

注：英検と TOEIC の両方の単位を取っても単位の認定は1回のみとします。（最高3単位まで）
単位認定の申請手続きについては「『英検』『TOEIC』『漢検』取得者の単位認定」の項の「単位認定の申請について」を参照してください。

○社会調査士について　（現代教養学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、E と F はどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。ただし、3・4年生（平成 20 年度時点）に限っては、A ～ G 科目を上記の規定に関わらず履修することを認めます。

	科目名	開講年次・学期	備　考
A	社会科学と社会調査	2・3年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	2・3年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	3・4年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年　後期	

〔H 17・18 年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
図書館情報論	図書館サービス論	大串	223222		②	②	②	②	②			2	同★	図書館司書資格の取得を目指す者のみ履修を認めます。資格が取れなかった場合は、卒業用件の単位になりません
	情報サービス概説	中西	223223		②	②	②	②	②			2	同★	
	レファレンスサービス演習	中西	223224			①	①	①	①	①	①	3	同★	
	情報検索演習	大串・中西	223225			①	①	①	①	①	①	3	同★	
教科専門科目 公民・社会共通	法学概論（国際法を含む）	高佐	223226	②		②		②		②		3	同	（総合・歴文）
	社会学	金子	223227	②	②	②	②					1	同★	（心理）社会・公民必修
	哲学概論	飯塚	223228			②	②	②	②	②	②	2	同	（総合）社会・公民選択必修
	倫理学概論	掛川	223229			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文・心理）社会・公民選択必修
中学社会	歴史学概論	山本（博）	223230	②		②		②				1	同	（歴文）
	日本史通論	千葉	223231					②		②		3	同	（歴文・心理）社会必修
	世界史通論	吉成	223232						②		②	3	同	（歴文）社会必修
	日本中世史	山本（博）	223233	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文・心理）
	日本近世史	太田	223234	②	②	②	②	②	②			2	×同	（歴文・心理）
	日本近代史	千葉	223235	②	②	②	②	②	②			2	同	（心理）
	古代オリエント文化史	吉成	223236	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	東洋史概説	田熊	223237	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）
	人文地理学概論	田畑	223238	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
	自然地理学概論	大山	223239	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
	地誌通論A－日本地誌－	福島（義）	223240	②		②		②				2	同	（歴文） 社会必修
	地誌通論B－世界地誌－	福島（義）	223241		②		②		②			2	同	AとB合わせて履修すること
	日本女性史	児島	223242	②	②	②	②	②	②			2	同×	（歴文）
	比較女性史論	掛川	223243			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	文化人類学概論	スチュアート	223244	②		②						1	同	（歴文）夏季集中講義
	キリスト教文化史	掛川	223245	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	禅と日本文化	田熊	223246	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴文）
中学・高校英語	英語観察術（翻訳の世界）	鈴木	223247						②		②	3・4	同	（英コミ） 英語必修
	英語の歴史A	島崎	223248			②		②		②		3・4	同	（英コミ）
	実践英語音声学		223249			②	②	②	②	②	②	3・4	×同★	（英コミ）
	第二言語習得	緑川	223250					②		②		3・4	同	（英コミ）
	学習者言語の特徴	金子（朝）	223251						②		②	3・4	同	（英コミ）
	英米児童文学	相原	223252			②	②	②	②	②	②	2・3	同★	（英コミ）
	イギリス文化概論A	瀧澤	223253			②		②		②		3・4	×同	（英コミ） 英語必修
	聖書入門	増井	223254					②		②		3・4	同	（英コミ）
	アメリカ文化概論A	島田	223255					②		②		3・4	同	（英コミ）英語必修
	「喪失の世代」のアメリカ	佐藤	223256					②		②		3	同	（英コミ）
	イギリス研究A（伝統と風習）	マッケーブ	223257			②		②		②		3・4	同×	（英コミ）
	イギリス研究B（伝統と風習）	マッケーブ	223258						②		②	3・4	同	（英コミ）

開設単位：
①無印は必修科目
②㋁印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②㋁印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注）1．教科専門科目は、全て専門科目の単位になる。
2．教職（公民）履修者は、人間社会学総論の「心理学概説」、教科専門科目の「哲学概論」「倫理学概論」の中から1科目選択必修。
3．「社会学」、「哲学概論」以外の科目は、教職を希望していない学生は履修できない。

8. 現代教養学科（平成 19 年度入学者用）

〔H 19 年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	古川	223001	②		②						1・2	同	※少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修
		心理学概説Ⅱ	藤崎	223002		②		②					1・2	同	
		社会心理学	藤島	223003		②		②					1・2	同	
		社会福祉の歴史	月田	223004	②	②	②	②					1・2	同	
		福祉環境とボランティア	興梠	223005	②	②	②	②					1・2	同★	
		人間形成原論	桑原	223006	②		②						1・2	同	
		教育哲学	宮寺	223007		②		②					1・2	同	
概論		現代教養概論	現代教養学科教員	223259	2								1	×	
		社会を見る目	澁澤	223009・223010	2	2							1	同×	（心理・福祉・初教）
		経済を見る目	小島	223011・223012	2	2							1	同×	（心理・福祉・初教）
		世界を見る目	志摩	223014			2	2					2		平成20年度のみ「グローバル社会の政治経済学」「国際政治史」で振替
		文化を見る目	下川	223015			2	2					2		
各論（注1）	社会・環境	新聞で知る日本と世界		223028	②		②						1・2	×◎	
		現代政治論	村野	223100			②	②	②	②	②	②	2・3	◎同	（心理・歴文）
		現代社会論	木下（武）	223096			②	②	②	②	②	②	3・4	◎同	（心理）
		環境生態学	常喜	223035	②	②	②	②	②	②			2	同	（福祉「生態環境論」）
		環境と国際社会	志摩	223036		②		②					1・2	×	
		環境の社会学	瀬沼	223034	②		②						1・2	◎	「環境社会学」から名称変更
		現代カウンセリング理論	大塚	223260	②	②	②	②	②	②			2	◎	
		くらしと科学	小原	223261	②	②	②	②	②	②			2	×	隔年開講
		情報とコミュニケーション	中野	223016	②		②						1・2		
		情報とマーケティング	吉澤	223017		②		②					1・2		「企業広報論Ⅰ」から名称変更
		経営と情報		223018		②		②					1・2	×	
		社会貢献と企業メセナ		223025	②		②						1・2	×	
		NPOマネジメント入門	片岡	223026	②		②						1・2		
		日本の社会とビジネス		223021		②		②					1・2	×	
		現代政治と政治学		223049			②		②				2・3	×	
		人口動態と社会		223056			②		②				2・3	×	
		日本の政治（現状と課題）		223082			②		②				2・3	×	
		科学と社会		223058				②		②			2・3	×	
		環境政策		223073				②		②			2・3	×	
		環境問題のマネジメント		223075				②		②			2・3	×	
	経済・キャリア	社会経済学		223110				②		②		②	3・4	×	
		多文化社会論		223093				②		②		②	3・4	×	
		政策の分析と決定		223097				②		②		②	3・4	×	
		政策過程論		223101					②		②		3・4	×	
		現代社会と社会学	木下（武）	223043				②		②			2・3		「企業と社会」（後期）から名称変更
		マーケティング基礎理論Ⅱ	中野	223262				②		②			2	×◎	
		市民社会の法（法を考える）		223053			②		②				2・3	×	
		社会科学の数学	高橋（秀）	223087			②		②				2・3		
		ジェンダーと社会	森	223057			②		②				2・3		
		現代日本の政治と経済		223079				②		②			2・3	×	
		行政と地方自治		223099					②		②		3・4	×	
		地域政策		223107				②		②		②	3・4	×	
		マスコミュニケーション論		223094					②		②		3・4	×	

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

※心理分野（心理・福祉・初教）
※福祉環境分野
※初等教育分野

〔H 19 年度入学者〕

		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			開設単位： ①無印は必修科目 ②㋁印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
各論（注1）	経済・キャリア	労働社会学	木下（武）	223095					②		②		3・4		「企業と社会」（前期）から名称変更
		企業と広報	吉澤	223019	②		②						1・2	◎	「企業広報論Ⅱ」から名称変更
		マーケティングの経済学	高橋（秀）	223022	②		②						1・2		
		マーケティング・リサーチ入門	大沼	223024		②		②					1・2		「マーケティング・リサーチ」から名称変更
		教育・労働・経済	矢野	223031	②		②						1・2		
		人的資源の管理		223032	②		②						1・2	×	
		教育・家族・社会	矢野	223033		②		②					1・2		
		消費と経済学		223061			②		②				2・3	×	
		マーケティング論	中野	223063				②		②			2・3		「マーケティング基礎理論Ⅰ」から名称変更
		環境の経済学		223072			②		②				2・3	×	
		社会と開発		223062				②		②			2・3	×	
		ビジネス・マネジメント	吉田（耕）	223064				②		②			2・3		
		社会と経済の発展史		223066				②		②			2・3	×	
		公共経済学	高橋（秀）	223112				②		②		②	3・4	×	
		市場社会の仕組（ミクロ経済学）	高橋（秀）	223023		②		②					1・2		
		現代の経営と経営学	高橋（秀）	223045				②		②			2・3		
		グローバル社会と経済	早房	223047				②		②			2・3		
		グローバル社会の歴史		223067			②		②				2・3	×	
		日本経済と経済学（マクロ経済学）	高橋（秀）	223044			②		②				2・3		
		日本の金融と金融論	高橋（秀）	223046				②		②			2・3		
		消費者の行動	大沼	223020	②		②						1・2		「消費者行動論」から名称変更
		公共政策		223098					②		②		3・4	×	
		ゲームと戦略	高橋（秀）	223086			②		②				2・3		
		産業組織論	高橋（秀）	223111					②		②		3・4	×	
		現代金融ビジネス入門Ⅰ	小島	223501			②		②		②		2	◎同	（総合）朝日生命寄付講座
		現代金融ビジネス入門Ⅱ	小島	223502				②		②		②	2	◎同	（総合）朝日生命寄付講座
	国際・地域	現代都市事情	鶴田	223037	②		②						2	◎	「現代都市論」（前期）から名称変更
		現代都市論	鶴田	223077				②		②			2・3	◎	「現代都市論」（後期）から名称変更
		国際理解入門	五十嵐	223029	②		②						2	×◎	
		国際交流入門	五十嵐	223263		②		②		②			2	◎	
		比較社会入門		223264			②		②				2	×◎	
		国際貢献とNGO（国際協力入門）	五十嵐	223027		②		②					1・2		
		くらしと地球環境	常喜	223030		②		②		②			1・2	×	
		地域社会の活性化（農村）	瀬沼	223038	②		②						1・2		
		地域社会のデザイン（都市）	鶴田	223039		②		②					1・2	×	
		国際機構論		223083			②		②				2・3	×	
		国際協力論		223060				②		②			2・3	×	
		グローバル・ガバナンス論		223084				②		②			2・3	×	
		グローバル社会の政治経済学	志摩	223050				②		②			2・3		平成20年度のみ「世界を見る目」 振替
		国際関係史	志摩	223055			②		②				2		平成20年度のみ「世界を見る目」 振替
		国際社会の法	稲川	223054				②		②			2		
		現代日本の国際関係	稲川	223080			②		②				2・3		
		国際関係外書講読	志摩	223118				②		②		②	3・4	×	
		国際協力政策		223117					②		②		3・4	×	
		都市社会論	鶴田	223123				②		②		②	3・4	×	
	表現・コミュニケーション	アート・マネージメントⅠ	美山、金子	223068			②		②				2	◎	
		アート・マネージメントⅡ	美山、金子	223069				②		②			2	◎	
		現代アメリカ文化論	スナイダー	223091				②		②			2	◎同	（英コミ） 教職（英語）履修者は必修
		現代英国文化論	平井（法）	223092			②		②				2	◎同	（英コミ） 教職（英語）履修者は必修

〔H 19 年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
各論（注1）	文化・コミュニケーション	文学と社会	福田（淳）	223070			②		②				2		「文学と音楽」から名称変更
		映像と社会	福田（淳）	223071				②		②			2		「映像文化論」から名称変更
		ことばと社会	フフバートル	223040	②		②						1・2		
		ことばと教育	柏木	223041	②		②						1・2		
		ことばと心	小林	223042	②		②						1・2		
		哲学入門	土屋	223051			②		②				2・3	◎	「現代哲学フォーラムⅠ」から名称変更
		哲学		223052				②		②			2・3	×	「現代哲学フォーラムⅡ」から名称変更
		公共政策と文化		223076			②		②				2・3	×	
		文化と社会表現		223078				②		②			2・3	×	
セミナー	社会・環境	社会問題概観	澁澤	223105					②		②		3・4		
		マスメディアと現代社会	澁澤	223104				②		②		②	3・4		
		職業とジェンダー	木下（武）	223102					②		②		3・4		
		現代社会と労働	木下（武）	223103				②		②		②	3・4		
		消費と環境	瀬沼	223106				②		②		②	3・4		「生活と環境」から名称変更
		エコロジー研究	常喜	223127				②		②		②	2・3		
		教育社会学Ⅰ	矢野	223265			②		②				2・3	×	
		教育社会学Ⅱ	矢野	223266				②		②			2・3	×	
	経済・キャリア	社会経済政策Ⅰ	矢野	223108					②		②		3・4		
		社会経済政策Ⅱ	矢野	223109						②		②	3・4		
		現代経済（世界と日本）	小島	223048				②		②			2・3		「時事経済（世界と日本）」から名称変更
		現代企業論（組織と戦略）	小島	223065			②		②				2・3	◎同	（総合）人数制限あり 「現代企業論」から名称変更
		経営学研究	高橋（秀）	223114					②		②		3・4	×	
		経済学研究	高橋（秀）	223113				②		②		②	3・4	×	
	国際・地域	地域研究（欧州）	志摩	223120					②		②		3・4		「地域研究」から名称変更
		国際関係研究	志摩	223119				②		②		②	3・4		「地域と国際関係」から名称変更
		都市情報論	鶴田	223124				②		②		②	3・4		「都市情報論Ⅱ」から名称変更
		地域研究（環地中海）	鶴田	223125					②		②		3・4		「都市情報論Ⅰ」から名称変更
		異文化間コミュニケーション	ホルバート	223085				②		②			2・3	同	(英コミ) 「異文化コミュニケーション B」から名称変更
		異文化コミュニケーションA	ホルバート	223267			②		②				2・3	×同	（英コミ）
		NGO/NPOの歴史	ホルバート	223074			②		②				2・3		
		古典で学ぶ社会科学	木下（武）	223059			②		②				2・3		4科目8単位以上選択必修
		日本と世界	小粥（祐）	223081				②		②			2・3		卒論ゼミ担当者の2科目必修
		国際開発研究Ⅰ		223115					②		②		3・4	×	
		国際開発研究Ⅱ		223116						②		②	3・4	×	
		地域研究（北アジア）	フフバートル	223122					②		②		3・4	◎	「北アジア文化特論Ⅰ」から名称変更
		東アジア言語社会研究	フフバートル	223121				②		②		②	3・4		「北アジア文化特論Ⅱ」から名称変更
		地域研究（スペイン語圏）	下川	223128				②		②		②	3・4		「現代演劇の潮流」から名称変更
	文化	演劇文化研究	下川	223126					②		②		2・3		「演劇の歴史と文化」の名称変更
		表現文化論Ⅰ	福田	223268			②		②				2・3	×	
		表現文化論Ⅱ	福田	223269				②		②			2・3	×	
演習	社会・環境	現代マスコミュニケーション論演習	澁澤	223129						①	①	①	3・4		「現代マスコミュニケーション演習」から名称変更
		現代社会論演習	木下（武）	223130						①	①	①	3・4		
		エコロジー論演習	常喜	223141						①	①	①	3・4		「環境生態学演習」から名称変更
		地域環境デザイン論演習	瀬沼	223131						①	①	①	3・4		「環境社会学演習」から名称変更
	経済・キャリア	現代経済論演習	小島	223134						①	①	①	3・4		「日本経済論演習」から名称変更
		社会経済政策演習	矢野	223133						①	①	①	3・4		（卒論ゼミ）
		現代経営論演習	高橋（秀）	223135						①	①	①	3・4		1科目（3単位）選択必修
	国際・地域	国際関係論演習	志摩	223137						①	①	①	3・4		
		現代都市論演習	鶴田	223139						①	①	①	3・4		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

〔H 19 年度入学者〕

		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
演習	文化・コミュニケーション	社会表現論演習	下川	223140						①	①	①	3・4		「現代演劇論演習」から名称変更
		応用言語学演習	小林	223136						①	①	①	3・4		（卒論ゼミ）
		言語社会論演習	フフバートル	223138						①	①	①	3・4		1科目（3単位）選択必修
		メディア表象論演習	福田（淳）	223132						①	①	①	3・4		「表現文化論演習」から名称変更
スキル	日本語表現（注2）	文章表現論	福田（淳）	223270	2	2							1	×	
		スピーチコミュニケーション基礎	藤木	223271			2	2					2		
		論理的表現法	福田（淳）	223196				②		②			2		
		日本語表現（書き方／実用）	福田（淳）	223192			②		②				2		
		日本語表現（書き方／応用）	福田（淳）	223191			②		②				2		「エッセイの書き方」から名称変更
		日本語表現（話し方／プレゼンテーション）	藤木	223193					②				3		「アドバンスト・スピーチコミュニケーションA（プレゼンテーション）」（前期）から名称変更
		日本語表現（話し方／ナレーション）	中里	223194					②				3	◎	「アドバンスト・スピーチコミュニケーションB（ナレーション）」から名称変更
		日本語表現（話し方／上級）	藤木	223195						②			3		「アドバンスト・スピーチコミュニケーションA（プレゼンテーション）」（後期）から名称変更
	イングリッシュ・ランゲージ・プログラム（ELP）	Current Topics Ⅰ		223142	2								1	×	〔2×2〕
		Current Topics Ⅱ		223143		2							1	×	〔2×2〕
		Current Topics Ⅲ	柏木、他3人	223272			2						2		〔2×2〕
		Current Topics Ⅳ	柏木、他3人	223273				2					2		〔2×2〕
		Intensive Reading Ⅰ		223274	1								1	×	
		Intensive Reading Ⅱ		223275		1							1	×	
		Oral Expression Ⅰ		223276	1								1	×	
		Oral Expression Ⅱ		223277		1							1	×	
		Current Reading & Writing Ⅰ	クレイグ、他3人	223278			2						2		〔2×2〕
		Current Reading & Writing Ⅱ	クレイグ、他3人	223279				2					2		〔2×2〕
		Intensive Listening Ⅰ	柏木	223280	①		①		①				2	◎同	（英コミ）
		Intensive Listening Ⅱ	柏木	223281		①		①		①			2	◎同	（英コミ）
		Grammar Workshop Ⅰ	バトラー	223282	①		①		①				2	◎同	（英コミ）
		Grammar Workshop Ⅱ	バトラー	223283		①		①		①			2	◎同	（英コミ）
		TOEIC Preparation Ⅰ	クレイグ	223284			①		①		①		2	◎同	（英コミ）定員30名（500～650点以上の者）
		TOEIC Preparation Ⅱ	クレイグ	223285				①		①		①	2	◎同	（英コミ）定員30名（500～650点以上の者）
		TOEFL Preparation Ⅰ	ハリントン	223286			①		①		①		3	◎同	（英コミ）定員30名
		TOEFL Preparation Ⅱ	ハリントン	223287				①		①		①	3	◎同	（英コミ）定員30名
		Advanced Intensive Listening Ⅰ		223288					①		①		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Intensive Listening Ⅱ		223289						①		①	3	×◎同	（英コミ）
		Advanced TOEIC Preparation Ⅰ		223290					①		①		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced TOEIC Preparation Ⅱ		223291						①		①	3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Grammar Workshop Ⅰ		223292					①		①		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Grammar Workshop Ⅱ		223293						①		①	3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅰ A		223294					②		②		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅰ B		223295					②		②		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅰ C		223296					②		②		3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅱ A		223297						②		②	3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅱ B		223298						②		②	3	×◎同	（英コミ）
		Advanced Current Topics Ⅱ C		223299						②		②	3	×◎同	（英コミ）
		通訳・翻訳研究	柏木	223188					②	②	②	②	3	◎同	（英コミ）
		ビジネスコミュニケーション A	増澤	223300					②		②		3	◎同	（英コミ）
		ビジネスコミュニケーション B	増澤	223301						②		②	3	◎同	（英コミ）
		ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム	ボストン昭和教員	223302		②		②		②		②			ボストン・サマーセッション参加学生対象

〔H 19 年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
スキル	情報リテラシー	情報論	大串	223198		2							1	×	
		コンピュータ基礎	後藤	223197	1								1	×	
		情報検索	大串	223199			①		①				2	◎	人数制限あり
		情報収集と編集	鶴田	223200				②		②			2	◎	「情報編集」から名称変更 人数制限あり
		統計分析	鶴田	223303			①		①				2	×◎	人数制限あり
		統計分析基礎	鶴田	223089			②		②				2・3	◎	(福祉) 人数制限あり 社会調査士　C
		情報収集と伝達	後藤	223201				②		②			2	◎	「ネットワーク」から名称変更 人数制限あり
		データベース	鶴田	223304				①		①			2	◎	人数制限あり
	社会調査士	社会科学と社会調査	矢野	223088			②		②				2・3	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士　A
		社会調査の理論と方法	大多和	223202			②		②				2・3	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士　B
		社会経済統計Ⅰ	矢野	223090			②		②		②		2・3	同	(福祉) 社会調査士　D
		社会経済統計Ⅱ	矢野	223203				②		②		②	3・4	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士　E
		フィールドワークと質的分析	教員未定	223204				②		②			2・3	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士　F
		社会調査実習Ⅰ	濱中	223205					②		②		3・4	同	(心理、福祉、初教)　社会調査実習ⅠⅠも履修のこと 社会調査士　G
		社会調査実習Ⅱ	濱中	223206						②		②	3・4	同	(心理、福祉、初教)　社会調査実習Ⅰも履修のこと 社会調査士　G
		社会調査法基礎Ⅰ	矢野	223305			②		②				2	×同	(福祉)
		社会調査法基礎Ⅱ	矢野	223306				②		②			2	×同	(福祉)
ボストン春期		American Field Studies	ボストン昭和教員	223307				②					2	×◎	専門関連科目　注1
		American Current Issues		223308				②					2	×◎	専門関連科目　注1
ボストン15週間		Listening/Speaking	ボストン教員	223213					②				3	◎	〔2×2〕
		Reading/Vocabulary		223214					②				3	◎	〔2×2〕
		Writing/Grammar		223215					②				3	◎	〔2×2〕
		Extensive Reading		223216					①				3	◎	
		Pronunciation		223217					①				3	◎	
		American Current Topics		223218					②				3	◎	〔2×2〕 一般教養科目としても履修可
		Field Trips		223219					②				3	◎	一般教養科目
		Community Service		223220					④				3	◎	一般教養科目
キャリア		職業とキャリアをみる目	志摩	223207			②		②				2		
実習		インターンシップⅠ	木下（武）	223309			②		②				2・3		
		インターンシップⅡ	木下（武）	223310				②		②			2・3		
卒業論文			現代教養学科教員	223221							8		4		

注1・専門関連科目を一般教養科目として履修する場合には、履修登録時に申請すること。また、一般教養科目として読み替えられるのは8単位までである。
ただし教職の教科専門科目として履修する際には、必ず専門科目として履修すること。
注2・人数制限あり。

○英検及び TOEIC について

本学科では実用英語技能検定（英検）および TOEIC の資格を単位として認定しています。 資格取得者に認定される単位は以下の通りとします。

認定される資格	単位
英検　準1級 TOEIC　650 点以上	2単位（専門）
英検　1級 TOEIC　850 点以上	3単位（専門）

注：英検と TOEIC の両方の単位を取っても単位の認定は1回のみとします。（最高3単位まで）
単位認定の申請手続きについては「『英検』『TOEIC』『漢検』取得者の単位認定」の項の「単位認定の申請について」を参照してください。

○社会調査士について（現代教養学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、ＥとＦはどちらかひとつを選択してください。
なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にＥ科目を履修してください。Ｆは履修順序に関係なく履修することができます。
ただし、３・４年生（平成 20 年度時点）に限っては、Ａ～Ｇ科目を上記の規定に関わらず履修することを認めます。

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	2・3年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	2・3年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計ⅠⅠ	3・4年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習ⅠⅠ	3・4年　後期	

〔H 19 年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
図書館情報論	図書館サービス論	大串	223222		②	②	②	②	②			2	同★	開設単位： ①無印は必修科目 ②㋁印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②㋂印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
	情報サービス概説	中西	223223		②	②	②	②	②			2	同★	図書館司書資格の取得を目指す者のみ履修を認めます。資格が取れなかった場合は、卒業要件の単位になりません。
	レファレンスサービス演習	中西	223224			①	①	①	①	①	①	3	同★	
	情報検索演習	大串・中西	223225			①	①	①	①	①	①	3	同★	
教科専門科目 公民・社会共通	法学概論（国際法を含む）	高佐	223226	②		②		②		②		3	同	（総合・歴文）
	社会学	金子	223227	②	②	②	②					1	同★	（心理）社会・公民必修
	哲学概論	飯塚	223228			②	②	②	②	②	②	2	同	（総合）社会・公民選択必修
	倫理学概論	掛川	223229			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文・心理）社会・公民選択必修
中学社会	歴史学概論	山本	223230	②		②		②				1	同	（歴文）
	日本史通論	千葉	223231					②		②		3	同	（歴文・心理）社会必修
	世界史通論	吉成	223232						②		②	3	同	（歴文）社会必修
	日本中世史	山本（博）	223233	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文・心理）
	日本近世史	太田	223234	②	②	②	②	②	②			×2	同	（歴文・心理）
	日本近代史	千葉	223235	②	②	②	②	②	②			2	同	（心理）
	古代オリエント文化史	吉成	223236	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	東洋史概説	田熊	223237	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）
	人文地理学概論	田畑	223238	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）社会必修
	自然地理学概論	大山	223239	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）社会必修
	地誌通論A－日本地誌－	福島（義）	223240	②		②		②				2	同	（歴文）社会必修
	地誌通論B－世界地誌－	福島（義）	223241		②		②		②			2	同	AとB合わせて履修すること
	日本女性史	児島	223242	②	②	②	②	②	②			2	同×	（歴文）
	比較女性史論	掛川	223243			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	文化人類学概論	スチュアート	223244	②		②						1	同	（歴文）夏季集中講義
	キリスト教文化史	掛川	223245	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	禅と日本文化	田熊	223246	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴文）
中学・高校英語	英語観察術（翻訳の世界）	鈴木	223247						②		②	3・4	同	（英コミ）英語必修
	英語の歴史A	島崎	223248			②		②		②		3・4	同	（英コミ）
	実践英語音声学		223249			②	②	②	②	②	②	3・4	×同★	（英コミ）
	第二言語習得	緑川	223250					②		②		3・4	同	（英コミ）
	学習者言語の特徴	金子（朝）	223251						②		②	3・4	同	（英コミ）
	英米児童文学	相原	223252			②	②	②	②	②	②	2・3	同★	（英コミ）
	イギリス文化概論A	瀧澤	223253			②		②		②		3・4	同×	（英コミ）英語必修
	聖書入門	増井	223254					②		②		3・4	同	（英コミ）
	アメリカ文化概論A	島田	223255					②		②		3・4	同	（英コミ）英語必修
	「喪失の世代」のアメリカ	佐藤	223256					②		②		3	同	（英コミ）

注）1．教科専門科目は、全て専門科目の単位になる。
2．教職（公民）履修者は、人間社会学総論の「心理学概説」、教科専門科目の「哲学概論」「倫理学概論」の中から1科目選択必修。
3．「社会学」、「哲学概論」以外の科目は、教職を希望していない学生は履修できない。

8. 現代教養学科（平成20年度入学者用）

〔H 20年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位		単位		単位		単位				
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	古川	223001	②		②						1・2	同	開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
		心理学概説Ⅱ	藤崎	223002		②		②					1・2	同	
		社会心理学	藤島	223003		②		②					1・2	同	
		社会福祉の歴史	月田	223004	②	②	②	②					1・2	同	
		福祉環境とボランティア	興梠	223005	②	②	②	②					1・2	同★	
		人間形成原論	桑原	223006	②		②						1・2	同	
		教育哲学	宮寺	223007		②		②					1・2	同	
	学科入門科目群	現代教養入門	矢野　他4名	223008	2								1		
		社会をみる目Ⅰ	澁澤	223009	2								1	同	
		社会をみる目Ⅱ	澁澤	223010		2							1	同	
		経済をみる目Ⅰ	小島	223011	2								1	同	
		経済をみる目Ⅱ	小島	223012		2							1	同	
		環境をみる目	瀬沼	223013	2	2							1	★	
		世界をみる目	志摩	223014		2							1		
		文化をみる目	下川	223015		2							1		
関心領域科目群	情報・メディア	情報とコミュニケーション	中野	223016	②		②						1		
		情報とマーケティング	吉澤	223017		②		②					1		
		経営と情報		223018		②		②					1	×	
	広報	企業と広報	吉澤	223019	②		②						1	◎	
		消費者の行動	大沼	223020	②		②						1		
		日本の社会とビジネス		223021		②		②					1	×	
	企業とマーケティング	マーケティングの経済学	高橋（秀）	223022	②		②						1		
		市場社会の仕組み（ミクロ経済学）	高橋（秀）	223023		②		②					1		
		マーケティング・リサーチ入門	大沼	223024		②		②					1		
	社会貢献	社会貢献と企業メセナ		223025	②		②						1	×	
		NPOマネジメント入門	片岡	223026	②		②						1		
		国際貢献とNGO（国際協力入門）	五十嵐	223027		②		②					1		
	国際事情	新聞で知る日本と世界		223028	②		②						1	×	
		国際理解入門	五十嵐	223029	②		②						1	◎	
		くらしと地球環境	常喜	223030		②		②		②			1	×	
	仕事と教育	教育・労働・経済	矢野	223031	②		②						1		
		人的資源の管理		223032	②		②						1	×	
		教育・家族・社会	矢野	223033		②		②					1		
	環境	環境の社会学	瀬沼	223034	②		②						1	◎	
		環境生態学	常喜	223035	②	②	②	②	②	②			1	同	（福祉「生態環境論」）
		環境と国際社会	志摩	223036		②		②					1	×	
	地域社会	現代都市事情	鶴田	223037	②		②						1	◎	
		地域社会の活性化（農村）	瀬沼	223038	②		②						1		
		地域社会のデザイン（都市）	鶴田	223039		②		②					1	×	
	ことばと表現	ことばと社会	フフバートル	223040	②		②						1		
		ことばと教育	柏木	223041	②		②						1		
		ことばと心	小林	223042	②		②						1		

※少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修

心理分野　※（心理・福祉・初教）

福祉環境分野※

初等教育分野※

〔H 20年度入学者〕

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位： ①無印は必修科目 ②㋁印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
学科基盤科目群	現代社会と社会学	木下(武)	223043				②		②			2		
	日本経済と経済学(マクロ経済学)	高橋(秀)	223044			②		②				2		
	現代の経営と経営学	高橋(秀)	223045				②		②			2		
	日本の金融と金融論	高橋(秀)	223046				②		②			2		
	グローバル社会と経済	早房	223047				②		②			2		
	現代経済(世界と日本)	小島	223048				②		②			2		
	現代政治と政治学		223049			②		②				2	×	
	グローバル社会の政治経済学	志摩	223050				②		②			2		
	哲学入門	土屋	223051			②		②				2	◎	
	哲学		223052				②		②			2	×	
	市民社会の法(法を考える)		223053			②		②				2	×	
	国際社会の法	稲川	223054				②		②			2		
	国際関係史	志摩	223055			②		②				2		
	人口動態と社会		223056			②		②				2	×	
	ジェンダーと社会	森	223057			②		②				2		
	科学と社会		223058				②		②			2	×	
	古典で学ぶ社会科学	木下(武)	223059			②		②				2		
	国際協力論		223060				②		②			2	×	
	消費と経済学		223061			②		②				2	×	
	社会と開発		223062				②		②			2	×	
	マーケティング論	中野	223063				②		②			2		
	ビジネス・マネジメント	吉田(耕)	223064				②		②			2		
	現代企業論(組織と戦略)	小島	223065			②		②				2	◎同	(総合)
	社会と経済の発展史		223066				②		②			2	×	
	グローバル社会の歴史		223067			②		②				2	×	
	アート・マネージメントI	美山、金子	223068			②		②				2	◎	
	アート・マネージメントII	美山、金子	223069				②		②			2	◎	
	文学と社会	福田(淳)	223070			②		②				2		
	映像と社会	福田(淳)	223071				②		②			2		
	環境の経済学		223072			②		②				2	×	
	環境政策		223073				②		②			2	×	
	NGO/NPOの歴史	ホルバート	223074			②		②				2		
	環境問題のマネジメント		223075				②		②			2	×	
	公共政策と文化		223076			②		②				2	×	
	現代都市論	鶴田	223077				②		②			2	◎	
	文化と社会表現		223078				②		②			2	×	
	現代日本の政治と経済		223079				②		②			2	×	
	現代日本の国際関係	稲川	223080			②		②				2		
	日本と世界	小粥(祐)	223081				②		②			2		
	日本の政治(現状と課題)		223082			②		②				2	×	
	国際機構論		223083			②		②				2	×	
	グローバル・ガバナンス論		223084				②		②			2	×	

〔H 20年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
学科基盤科目群	異文化間コミュニケーション	ホルバート	223085				②		②			2	同	(英コミ)
	ゲームと戦略	高橋(秀)	223086			②		②				2		
	社会科学の数学	高橋(秀)	223087			②		②				2		
	社会科学と社会調査	矢野	223088			②		②				2	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士　A
	統計分析基礎	鶴田	223089			②		②				2	◎	(福祉)　人数制限あり 社会調査士　C
	社会経済統計Ⅰ	矢野	223090			②		②		②		3	同	(福祉) 社会調査士　D
	現代アメリカ文化論	スナイダー	223091				②		②			2	◎同	(英コミ) 教職(英語)履修者は必修
	現代英国文化論	平井(法)	223092			②		②				2	◎同	(英コミ)　教職(英語)履修者は必修
	現代金融ビジネス入門Ⅰ	小島	223501			②		②		②		2	◎同	(総合)　朝日生命寄付講座
	現代金融ビジネス入門Ⅱ	小島	223502				②		②		②	2	◎同	(総合)　朝日生命寄付講座
学科専門科目群 現代社会	多文化社会論		223093				②		②		②	3	×	
	マスコミュニケーション論		223094					②		②		3	×	
	労働社会学	木下(武)	223095					②		②		3		
	現代社会論	木下(武)	223096			②	②	②	②	②	②	3	◎同	(心理)
	政策の分析と決定		223097				②		②		②	3	×	
	公共政策		223098					②		②		3	×	
	行政と地方自治		223099					②		②		3	×	
	現代政治論	村野	223100			②	②	②	②	②	②	3	◎同	(心理・歴文)
	政策過程論		223101					②		②		3	×	
	職業とジェンダー	木下(武)	223102					②		②		3		セミナー
	現代社会と労働	木下(武)	223103				②		②		②	3		セミナー
	マスメディアと現代社会	澁澤	223104				②		②		②	3		セミナー
	社会問題概観	澁澤	223105					②		②		3		セミナー
	消費と環境	瀬沼	223106				②		②		②	3		セミナー
	地域政策		223107				②		②		②	3	×	
経済・ビジネス	社会経済政策Ⅰ	矢野	223108					②		②		3		セミナー
	社会経済政策Ⅱ	矢野	223109						②		②	3		セミナー
	社会経済学		223110				②		②		②	3	×	
	産業組織論	高橋(秀)	223111					②		②		3	×	
	公共経済学	高橋(秀)	223112				②		②		②	3	×	
	経済学研究	高橋(秀)	223113				②		②		②	3	×	セミナー
	経営学研究	高橋(秀)	223114					②		②		3	×	セミナー
国際社会	国際開発研究Ⅰ		223115					②		②		3	×	セミナー
	国際開発研究Ⅱ		223116						②		②	3	×	セミナー
	国際協力政策		223117					②		②		3	×	
	国際関係外書講読	志摩	223118				②		②		②	3	×	
	国際関係研究	志摩	223119				②		②		②	3		セミナー
	地域研究(欧州)	志摩	223120					②		②		3		セミナー
	東アジア言語社会研究	フフバートル	223121				②		②		②	3	◎同	セミナー　(歴文「北アジア文化特論Ⅰ」
	地域研究(北アジア)	フフバートル	223122					②		②		3	◎同	セミナー　(歴文「北アジア文化特論Ⅱ」
	都市社会論	鶴田	223123				②		②		②	3	×	
	都市情報論	鶴田	223124				②		②		②	3		セミナー
	地域研究(環地中海)	鶴田	223125					②		②		3		セミナー
	演劇文化研究	下川	223126					②		②		3		セミナー

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

〔H20年度入学者〕

		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
	国際社会	エコロジー研究	常喜	223127				②		②		②	3		セミナー
	国際社会	地域研究(スペイン語圏)	下川	223128				②		②		②	3		セミナー
卒業論文演習	現代社会	現代マスコミュニケーション論演習		223129						①	①	①	3・4		
	現代社会	現代社会論演習	木下(武)	223130						①	①	①	3・4		
	現代社会	地域環境デザイン論演習	瀬沼	223131						①	①	①	3・4		
	現代社会	メディア表象論演習	福田(淳)	223132						①	①	①	3・4		
	経済・ビジネス	社会経済政策演習	矢野	223133						①	①	①	3・4		
	経済・ビジネス	現代経済論演習	小島	223134						①	①	①	3・4		
	経済・ビジネス	現代経営論演習	高橋(秀)	223135						①	①	①	3・4		
	国際社会	応用言語学演習	小林	223136						①	①	①	3・4		
	国際社会	国際関係論演習	志摩	223137						①	①	①	3・4		
	国際社会	言語社会論演習	フフバートル	223138						①	①	①	3・4		
	国際社会	現代都市論演習	鶴田	223139						①	①	①	3・4		
	国際社会	社会表現論演習	下川	223140						①	①	①	3・4		
	国際社会	エコロジー論演習	常喜	223141						①	①	①	3・4		
外国語科目群	専門必修	Current Topics I	クレイグ、他4人	223142	2								1		〔2×2〕
	専門必修	Current Topics II	クレイグ、他4人	223143		2							1		〔2×2〕
	専門必修	Current Topics for Reading I	小林、他4人	223144	2								1		〔2×2〕
	専門必修	Current Topics for Reading II	小林、他4人	223145		2							1		〔2×2〕
	内容別英語(ELP)	Intermediate Authentic Listening Ⅰ		223146			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Authentic Listening Ⅱ		223147				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Authentic Listening Ⅲ		223148					②		②		3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Authentic Listening Ⅳ		223149						②		②	3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Intensive Reading Ⅰ		223150			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Intensive Reading Ⅱ		223151				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Intensive Reading Ⅲ		223152					②		②		3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Intensive Reading Ⅳ		223153						②		②	3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅰ		223154			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅱ		223155				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Discussion on Current Topics Ⅲ		223156					②		②		3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Discussion on Current Topics Ⅳ		223157						②		②	3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Extensive Reading Ⅰ		223158			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Extensive Reading Ⅱ		223159				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Extensive Reading Ⅲ		223160					②		②		3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Extensive Reading Ⅳ		223161						②		②	3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Grammar Workshop Ⅰ		223162			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Grammar Workshop Ⅱ		223163				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Grammar Workshop Ⅲ		223164					②		②		3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Grammar Workshop Ⅳ		223165						②		②	3	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Oral Expression Ⅰ		223166			②		②				2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate Oral Expression Ⅱ		223167				②		②			2	×	
	内容別英語(ELP)	Intermediate TOEIC Preparation Ⅰ		223168			②		②				2	×	

開設単位：
①無印は必修科目
②㋁印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②㋂印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

〔H 20年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
外国語科目群	内容別英語（ELP）	Intermediate TOEIC Preparation Ⅱ		223169				②		②			2	×	
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅲ		223170					②		②		3	×	
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅳ		223171						②		②	3	×	
		Advanced Research on Current Topics Ⅰ		223172			②						2	×	〔2×2〕
		Advanced Research on Current Topics Ⅱ		223173				②					2	×	〔2×2〕
		Advanced Research on Current Topics Ⅲ		223174					②				3	×	〔2×2〕
		Advanced Research on Current Topics Ⅳ		223175						②			3	×	〔2×2〕
		Advanced Authentic Listening Ⅰ		223176			②		②				2	×	
		Advanced Authentic Listening Ⅱ		223177				②		②			2	×	
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅰ		223178			②		②				2	×	
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅱ		223179				②		②			2	×	
		Advanced Extensive Reading Ⅰ		223180			②		②				2	×	
		Advanced Extensive Reading Ⅱ		223181				②		②			2	×	
		Advanced Extensive Reading Ⅲ		223182					②		②		3	×	
		Advanced Extensive Reading Ⅳ		223183						②		②	3	×	
		Advanced Writing on Current Topics Ⅰ		223184			②		②				2	×	
		Advanced Writing on Current Topics Ⅱ		223185				②		②			2	×	
		Advanced Writing on Current Topics Ⅲ		223186					②		②		3	×	
		Advanced Writing on Current Topics Ⅳ		223187						②		②	3	×	定員 20 名
		通訳・翻訳研究	柏木	223188					②	②	②	②	3	◎同	（英コミ）
日本語発信・表現科目群	必修	日本語表現（話し方／基礎）	中里	223189	2	2							1	★	1学年を4分割とし、前期2クラス・後期2クラス
		日本語表現（書き方／基礎）	福田（淳）	223190	2	2							1	★	1学年を4分割とし、前期2クラス・後期2クラス
	選択必修	日本語表現（書き方／応用）	福田（淳）	223191			②		②				2		
		日本語表現（書き方／実用）	福田（淳）	223192			②		②				2		
		日本語表現（話し方／プレゼンテーション）	藤木	223193			②		②				2		
		日本語表現（話し方／ナレーション）	中里	223194			②		②				2	◎	人数制限あり
	選択	日本語表現（話し方／上級）	藤木	223195				②		②			2		
		論理的表現法	福田（淳）	223196				②		②			2		
社会調査士・情報分析科目群	必修	コンピュータ基礎	後藤	223197	1								1		
		情報論	大串	223198		2							1		
	選択	情報検索	大串	223199			①		①				2・3		人数制限あり
		情報収集と編集	鶴田	223200				②		②			2		人数制限あり
		情報収集と伝達	後藤	223201				②		②			2		人数制限あり
		社会調査の理論と方法	大多和	223202			②		②				2・3	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　B
		社会経済統計Ⅱ	矢野	223203				②		②		②	3・4	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　E
		フィールドワークと質的分析	教員未定	223204				②		②			2・3	同	（心理、福祉、初教） 社会調査士　F
		社会調査実習Ⅰ	濱中	223205					②		②		3・4	同	（心理、福祉、初教）　社会調査実習Ⅱも履修のこと 社会調査士　G
		社会調査実習Ⅱ	濱中	223206						②		②	3・4	同	（心理、福祉、初教）　社会調査実習Ⅰも履修のこと 社会調査士　G
キャリア関連科目群	選択	職業とキャリアをみる目	志摩	223207			②		②				2		
		国内インターンシップ		223208				②					2・3	×	
		海外インターンシップ		223209				②					2・3	×	

〔H 20年度入学者〕

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
演習科目群	社会調査研修	国内社会調査研修1（地方＜農村＞調査）		223210			②						2・3	×	開設単位： ①無印は必修科目 ②㋁印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
		国内社会調査研修2（東京＜都市＞調査）		223211			②						2・3	×	
		国際社会調査研修（地域研究研修）		223212			②						2・3	×	
	ボストン15週間	Listening/Speaking	ボストン昭和教員	223213					②				3	◎	〔2×2〕
		Reading/Vocabulary		223214					②				3	◎	〔2×2〕
		Writing/Grammar		223215					②				3	◎	〔2×2〕
		Extensive Reading		223216					①				3	◎	
		Pronunciation		223217					①				3	◎	
		American Current Topics		223218					②				3	◎	〔2×2〕 一般教養科目として履修可
		Field Trips		223219					②				3	◎	一般教養科目
		Community Service		223220					④				3	◎	一般教養科目
卒業論文			現代教養学科教員	223221							8		4		

○英検及び TOEIC について

本学科では実用英語技能検定（英検）および TOEIC の資格を単位として認定しています。 資格取得者に認定される単位は以下の通りとします。

認定される資格	単位
英検　準1級 TOEIC　650 点以上	2単位（専門）
英検　1級 TOEIC　850 点以上	3単位（専門）

注：英検と TOEIC の両方の単位を取っても単位の認定は1回のみとします。（最高3単位まで）
　　単位認定の申請手続きについては「『英検』『TOEIC』『漢検』取得者の単位認定」の項の「単位認定の申請について」を参照してください。

○社会調査士について　（現代教養学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、ＥとＦはどちらかひとつを選択してください。
なお、履修にあたっては、A･B科目を履修した後にG科目を、C･D科目を履修した後にＥ科目を履修してください。Ｆは履修順序に関係なく履修することができます。
ただし、３・４年生（平成 20 年度時点）に限っては、Ａ～Ｇ科目を上記の規定に関わらず履修することを認めます。

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	2・3年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	2・3年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	3・4年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年　後期	

（平成 20 年度入学者用）
履修方法

専門教育科目は、学部共通科目・必修科目・選択必修科目・選択科目を 76 単位以上、履修してください。

現代教養学科の専門教育科目は、人間社会学総論、学科入門科目群、関心領域科目群、学科基盤科目群、学科専門科目群、卒業論文演習、外国語科目群、日本語発信・表現科目群、社会調査士・情報分析科目群、キャリア展開科目群、演習科目群で構成されています。

＊群・領域の区分の仕方や名称は入学年度により異なります。必ず入学年度のカリキュラ表に基づいて下さい。

履修条件

下記の科目群には、単位取得に際しての条件があります。

人間社会学総論

心理分野、福祉環境分野、初等教育分野のうち、少なくとも 2 分野から各 2 単位、合計 4 単位以上を選択必修する。

学科入門科目群

16 単位、必修。

関心領域科目群　**学科基盤科目群**　**学科専門科目群**

それぞれの科目群から 4 科目 8 単位以上ずつ、選択必修。

卒業論文演習

開設されている演習の中から必ず 1 つを選び、3 単位を履修したうえで、卒業論文を提出する。

外国語科目群

・英語

専門必修 8 単位を含み、最低 12 単位以上を履修すること。

ただし、Advanced 科目は定員 20 名とし、2 年次に Advanced Research on Current Topics Ⅰ / Ⅱ、3 年次に Advanced Research on Current Topics Ⅲ / Ⅳを履修することを条件とする。また、上級クラス履修者には 12 単位を超えて ELP 科目を履修することを奨励する。

・その他外国語（総合教育センター開設外国語）

総合教育センターで開設されている外国語（英語を除く）のうち、外国語必修 12 単位を超えて履修した場合の単位数は、専門科目とみなす（学科指定の科目に限る）。

日本語発信・表現科目群

必修科目 8 単位のほか、選択必修科目から 2 単位以上を履修する。

社会調査士・情報分析科目群

3 単位、必修。

＊履修に際しては、『学生便覧』の「**卒業要件**（学部）」と「**履修**」の頁を必ず参照する。
＊専門科目を一般教養科目として履修する場合には、履修登録時に申請する。後からの変更は認められない。また、一般教養科目として読み替えられる単位数は、8 単位までである。ただし、教職の教科専門科目として履修する際には、必ず専門科目として履修すること。
＊履修に関する詳細については、学科から配布される「履修に関するプリント」を参考にする。
＊社会調査士の取得については、別記を必ず参照すること。

〔H 20年度入学者〕

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位： ①無印は必修科目 ②㋁印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
図書館情報論	図書館サービス論	大串	223222		②	②	②	②	②			2	同★	図書館司書資格の取得を目指す者のみ履修を認めます。資格が取れなかった場合は、卒業用件の単位になりません。
	情報サービス概説	中西	223223		②	②	②	②	②			2	同★	
	レファレンスサービス演習	中西	223224			①	①	①	①	①	①	3	同★	
	情報検索演習	大串・中西	223225			①	①	①	①	①	①	3	同★	
教科専門科目 公民・社会共通	法学概論（国際法を含む）	高佐	223226	②		②		②		②		3	同	（総合・歴文）
	社会学	金子	223227	②	②	②	②					1	同★	（心理）社会・公民必修
	哲学概論	飯塚	223228			②	②	②	②	②	②	2	同	（総合）社会・公民選択必修
	倫理学概論	掛川	223229			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文・心理）社会・公民選択必修
中学社会	歴史学概論	山本（博）	223230	②		②		②				1	同	（歴文）
	日本史通論	千葉	223231					②		②		3	同	（歴文・心理）社会必修
	世界史通論	吉成	223232						②		②	3	同	（歴文）社会必修
	日本中世史	山本（博）	223233	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文・心理）
	日本近世史	太田	223234	②	②	②	②	②	②			2	×同	（歴文・心理） 隔年開講
	日本近代史	千葉	223235	②	②	②	②	②	②			2	同	（心理）
	古代オリエント文化史	吉成	223236	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	東洋史概説	田熊	223237	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）
	人文地理学概論	田畑	223238	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
	自然地理学概論	大山	223239	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
	地誌通論A－日本地誌－	福島（義）	223240	②		②		②				2	同	（歴文） 社会必修
	地誌通論B－世界地誌－	福島（義）	223241		②		②		②			2	同	AとB合わせて履修すること
	日本女性史	児島	223242	②	②	②	②	②	②			2	同×	（歴文）
	比較女性史論	掛川	223243			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	文化人類学概論	スチュアート	223244	②		②						1	同	（歴文）夏季集中講義
	キリスト教文化史	掛川	223245	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
	禅と日本文化	田熊	223246	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴文）
中学・高校英語	英語観察術（翻訳の世界）	鈴木	223247						②		②	3・4	同	（英コミ） 英語必修
	英語の歴史A	島崎	223248			②		②		②		3・4	同	（英コミ）
	実践英語音声学		223249			②	②	②	②	②	②	3・4	×同★	（英コミ）
	第二言語習得	緑川	223250					②		②		3・4	同	（英コミ）
	学習者言語の特徴	金子（朝）	223251						②		②	3・4	同	（英コミ）
	英米児童文学	相原	223252			②	②	②	②	②	②	2・3	同★	（英コミ）
	イギリス文化概論A	瀧澤	223253			②		②		②		3・4	×同	（英コミ） 英語必修
	聖書入門	増井	223254					②		②		3・4	同	（英コミ）
	アメリカ文化概論A	島田	223255					②		②		3・4	同	（英コミ）英語必修
	「喪失の世代」のアメリカ	佐藤	223256					②		②		3	同	（英コミ）
	イギリス研究A（伝統と風習）	マッケーブ	223257			②		②		②		3・4	同×	（英コミ）
	イギリス研究B（伝統と風習）	マッケーブ	223258						②		②	3・4	同	（英コミ）

注）1．教科専門科目は、全て専門科目の単位になる。
2．教職（公民）履修者は、人間社会学総論の「心理学概説」、教科専門科目の「哲学概論」「倫理学概論」の中から1科目選択必修。
3．「社会学」、「哲学概論」以外の科目は、教職を希望していない学生は履修できない。

授業概要

223001 心理学概説Ⅰ

教授　古川　真人

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

223002 心理学概説Ⅱ

教授（教育学）　藤崎　春代

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める。

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

223003 社会心理学

准教授　藤島　喜嗣

社会心理学の研究領域および現代的課題について概説するとともに、研究方法も解説していく。また、各論として個人レベルから集団レベルまでの問題をとりあげながら、概念用語と理論を詳述する。

①自己　②対人認知　③対人関係　④対人相互作用　⑤集団行動　⑥集合行動

223004 社会福祉の歴史

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

グローバル化は、国境を越えた人々の移動や経済、文化の交流を活発にしている。しかし、一方で、南北の経済格差は広がり、文明の発展した諸国、経済の発展途上にある諸国は、それぞれ異なった福祉的課題をかかえている。社会福祉の歴史に学び、未来を見据える。

①慈善事業　②社会事業　③社会福祉　④社会保障　⑤相互扶助　⑥社会福祉の権利

223005 福祉環境とボランティア

非常勤講師　興梠　寛

21世紀は「ボランティアの世紀」といわれています。本講義は、グローバルな視野から、ボランティア・市民社会の理念や社会システムについて論じるとともに、未来の社会を育む“ボランティア・ネットワーキング”の可能性、それを支援するための社会政策や環境づくりなどを、多様な視点から学ぶことを目標にします。授業では、講義にとどまらず、話しあいや協働作業などをとおしたワークショップ、映像による実践の世界を探訪するなどの“参画型学習”を展開していきます。

①ボランティアの世紀　②市民社会　③ワークショップ　④参画型学習　⑤ネットワーキング

223006 人間形成原論

特任教授　桑原　敏明

教育学の基礎として、人間性・教育・学校教育の構造原理について講義する。

①人間　②教育　③生きる力　④脳科学

223007 教育哲学

非常勤講師　宮寺　晃夫

現代教育の分析を通して、教育の課題と本質を解明することを目的とする。そのさい、できるだけ最近の教育問題や政策課題を素材にしていく。今後の学校教育のあり方について自分自身の考え方を抱けるようにしていく。

①教育とは何か、という問い　②教育問題の分析　③教育資源の分配　④公正な教育

223008 現代教養入門

教授　工学博士　矢野　眞和
教授　木下　武男
准教授　博士（学術）　鶴田　佳子
専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司
助教　博士（学術）　小粥　祐子

大学で学ぶための心構え、現代教養学科で学ぶことの意味などをセミナー形式で学ぶ。

①現代教養　②本を読む　③情報の整理

223009 社会をみる目Ⅰ
223010 社会をみる目Ⅱ

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①社会　②変革　③進歩　④時代　⑤人間　⑥価値観

223011 経済をみる目Ⅰ
223012 経済をみる目Ⅱ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

223013 環境をみる目

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

今や地球環境問題はグローバルな課題となっている。生活、企業、消費、地域、子ども、高齢者、障害者、資源、生物多様性をはじめとして、多様な事象、領域に対し「環境」視点から現状と課題を把握し、その背景にあるものを探り、今後について考えていく。

①環境の視点　②地球環境問題　③グローバルな課題

223014 世界をみる目

教授　志摩　園子

20 世紀は戦争の世紀といわれたが、21 世紀は、その幕開けから平和とはほど遠いものとなっている。現在の社会を形成してきた国際関係がいかなるものであったかを振り返りながら、現状を概観するとともに、今後の課題と展望を国際関係を構成する様々な要素から国際社会の秩序の可能性を考察していく。

①国家　②国際社会　③文化

223015 文化をみる目・文化を見る目

教授　下川　恵美子

演劇の歴史やトピックスを通して文化の成り立ちを考察する。さらに、現代の日本において文化がどのように位置づけられているのかを考えていきたい。

①社会　②文化　③地域

223016 情報とコミュニケーション

非常勤講師　中野　香織

インターネットの発展に伴い、人が処理できない量の情報があふれるようになった。そこで本講義では、情報環境が大きく変化した現代における企業と消費者のコミュニケーションについて学ぶ。具体的には、企業から消費者への情報発信、近年増加している消費者による情報発信や消費者同士のコミュニケーションなどについて理解する。

①消費者行動　②消費者の情報処理
③マーケティング・コミュニケーション

223017 情報とマーケティング

非常勤講師　吉澤　一成

企業の経営資産は、人・モノ・金、そして現在はこれに情報が加えられる。情報社会にあってはマーケティング戦略の成否は情報の質と量、それをいかに使いこなすかにかかっている。具体例を交えて紹介する。

① speed　② fair　③ intelligence

223019 企業と広報

非常勤講師　吉澤　一成

商品・サービスの良し悪しだけでなく企業イメージ・ブランド力が購買決定の要因になっている今日、企業のなかでそれを担う広報の役割が重要視されている。広報の基礎から、企業の社会的責任（CSR）、リスク広報、広報マンの心構え等を具体例を紹介し展開する。

① Open　② Fair　③ Speed

223020 消費者の行動

非常勤講師　大沼　孝司

消費者が商品の購買を意思決定するまでのプロセスは複雑だ。社会構造の変化の中で個人要因、社会要因の影響を受ける。マーケティング戦略を構築する上で消費者行動の解明は不可欠。これら諸要因を分析、行動原理の理解を目指す。

①顧客満足　②市場の構造変化　③ネット社会

223022 マーケティングの経済学

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

アプローチの多様性の観点から、経済学分野の学問である「理論的産業組織論ベースの価格戦略論」を学び、続いて、経営学分野の学問である「マーケティングベースの価格戦略論」を学ぶ。本講義の主眼は、やや特殊である。理論経済学で採用される「モデル分析」という独特の方法論の特色、一方で、特定のモデルや理論を持たない経営学的なアプローチの良さなど、知識の内容よりも、形式的な側面のプレゼンテーションに主眼がある。なお、モデル分析というアプローチは、学生諸君にとっては大学で初めて登場するアプローチなので、こちらに慣れてもらう事も期待している。

①経済学　②経営学　③価格戦略論
④マーケティング

223023 市場社会の仕組み　（ミクロ経済学）

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

市場経済についての学説を勉強する。「需要」と「供給」という市場経済を理解する上での基本概念を理解した上で、関税や補助金の効果、供給ショックなどの経済現象を理解する。学生自身が「需要」と「供給」の概念を使用して短い経済分析を実践できるようにする。市場経済の社会思想的な背景についても言及する。

①市場経済　②ミクロ経済学　③需要、供給

223024 マーケティング・リサーチ入門

非常勤講師　大沼　孝司

マーケティング・リサーチは、顧客満足を高めることを最重視し、顧客との永続的な関係強化や競争相手の分析を行い、適切な行動プラン作成を研究すること。講義ではリサーチに関係するマーケティングな基礎的知識の理解を図り、リサーチ実施の手順を解説する。

①市場細分化と消費者絞込み　②リサーチ課題（仮説）の明確化　③定量調査と定性調査

223026 NPO マネジメント入門

准教授　片岡　慎泰

社会の大きな変動の中で、税金で公益サービスを担ってきた行政や、人、モノ、サービスの移動で利益を追求してきた企業のあり方が問われている。その中で注目を浴びているＮＰＯについて特にマネジメントを実践的に講義する。

①ＮＰＯ法人　②公益　③マネジメント

223027 国際貢献とNGO（国際協力入門）

非常勤講師　五十嵐　誠一

グローバリゼーションが進み相互依存関係が深まる中で、「共生」「協生」といったキーワードがますます重要になってきている。それは21世紀の地球社会において私たちが共に協力して生きてゆかなければならないことを示唆している。そのための行動力・実践力として本講義ではNGOの活動に注目し、それらがいかにして平和的かつ安定的な地球社会の形成に寄与しうるのかを一緒に考えてみたい。

①国際協力　②地球市民　③ NGO　④グローバリゼーション

223029 国際理解入門

非常勤講師　五十嵐　誠一

一方でIT革命などによって地球の一体化が喧伝され、他方で民族紛争や環境問題などが深刻化し、地球社会には問題が山積みしている。本講義は、このような21世紀の国際社会の枠組みと主要な課題を考えることを最大のねらいとする。

①グローバリゼーション　②相互依存　③地球市民

223031 教育・労働・経済

教授　工学博士　矢野　眞和

教育が労働および経済に与えている影響を実証的に分析する理論と方法を学習する。とくに、女子と男子の違いに焦点をあて、統計資料を読む力と分析する力を身につける。

①労働経済学　②人的資本　③教育の効果

223033 教育・家族・社会

教授　工学博士　矢野　眞和

教育現象を社会学的分析する理論と方法を習得する。学校教育の社会学的分析のみならず、教育と家族、および教育と社会変動の関係を分析する方法、およびこの分野のデータを解釈する力を身につける。

①教育社会学　②文化資本　③生涯学習

223034 環境の社会学

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

環境問題について社会学の立場から、広義には地球環境の視点から、狭義には日常生活の中から捉えていく。循環型社会の形成や環境に負荷を与えない、自然と調和した社会システムやライフスタイルの形成について考えていく。

①環境社会学　②環境政策　③環境問題

223035 環境生態学

教授　理学博士　常喜　豊

生物の生活と環境との関わりを研究する生態学（エコロジー）は、我々の生活環境を考える上での基礎学問領域である。中でも特に重要となる生態系の構造と機能、個体数の増減などについて、その理論と研究例を学ぶ。

①生態学（エコロジー）　②生態系　③食物連鎖と物質循環　④個体群動態　⑤森林伐採と再生　⑥野生生物の保護

223037 現代都市事情

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

生活の器としての都市を通して、現代の社会やその背景について考えていく。三軒茶屋を歩き、観察し、三軒茶屋らしさを発見、考察する。また、宗教、文化、歴史、風土の異なる世界各地における都市についても学ぶ。

①都市　②三軒茶屋　③地域

223038 地域社会の活性化　（農村）

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

地域再生が言われて久しく、平成の市町村合併が行われた中で、今後の地域社会の活性化に向けてどのような対策を講じたらよいのかを、先行事例に学びながら考えていく。本講義では主に農村地域を対象にしていく。

①地域社会　②活性化　③持続可能な社会

223040 ことばと社会

准教授　博士（社会学）　フフバートル

ことばは社会とどういう関係があるのか。日本では敬語や方言が扱われることが多いが、多民族社会ではことばの問題は深刻な政治問題にもつながり、複雑である。民族と国家とことばの関係を中心に、言語問題について学ぶ。

①ことばと民族　②国家語　③言語問題

223041 ことばと教育

教授　柏木　厚子

この授業では第一言語習得研究、第二言語習得研究の成果を踏まえた上で、国際化する現在、日本ではどのような英語教育が求められているかを考えることを目的とする

①言語習得　②英語教育　③国際言語としての英語

223042 ことばと心

准教授　小林　多佳子

人間はどうしてことばを話し、理解できるのだろうか、という疑問に答えるためには言語学、心理学、音響学、神経学などの広い領域にまたがる学際的な研究が必要である。本講ではこの疑問に対する基本的な理論を紹介し、言語の産出のメカニズムに焦点を当て、言語とは何かを考えてゆく。

①言語獲得能力　②臨界期　③言語の起源と発達

223043 現代社会と社会学

教授　木下　武男

社会学の基礎知識を把握することによって変化する現代社会を分析することができる。そのために、近代から現代への社会変動と、さらに現代社会を大きく変化させているグローバル化という長い歴史過程を社会学はどのように解明し、また分析の概念を作り上げてきたのか、このことの検討を講義の目的とする。

①資本制と近代家族　②大衆社会　③グローバル化

223044 日本経済と経済学　（マクロ経済学）

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

この講義では、マクロ経済学の基礎部分である国の豊かさの尺度である GDP 概念や、GDP 水準の決定要因について講義する。その後で金融市場の動向がマクロ経済に与える影響についても言及する。更に、時間が許せば、失業率の決定と経済成長に関する学説を紹介したい。

①マクロ経済学　② GDP　③失業

223045 現代の経営と経営学

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

経営学について基礎的な知識を講義する。本講では、企業間の関係を扱う戦略論部分と、企業の内部組織に注目する組織論を広く扱う。

①経営学　②組織論　③戦略論

223046 日本の金融と金融論

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

貨幣・土地・株式・債権などの資産市場に関するテーマで講義を行う。一般の消費財に比べて、資産は転売が容易である。これは投機取引など、資産に固有な価格形成を生させる。また、取引に「信用」重視なケースも多く、その意味でも消費財と異なる。貨幣は最も基本的な資産である。貨幣の発行権は政府にあるために、土地・株式・債権といった貨幣以外の資産の価格も政府の意向を強く反映する傾向がある。日本全体で見てもバブル崩壊など金融市場の動向は雇用や所得といった、実物的な経済にも大きな影響を与えている。本講ではこうした金融に関する様々なテーマについて講義する。

①貨幣理論　②バブル経済　③保険

223047 グローバルな社会と経済

非常勤講師　早房　長治

国際経済の構造と、それがどのような要因によって変化するかを、実例をもって、学生が理解するように仕向ける。さらに、経済と政治（とりわけ民主主義）の関係について考えるように仕向ける。

①市場（競争・発展の場）　②市民（福祉）
③企業（経済発展のエンジン）　④国家（国益）

223048 現代経済　（世界と日本）

教授　小島　徹

経済活動は国境を越えて世界的な広がりを見せている。新聞や経済専門誌が伝える最新の経済ニュースを材料に現代経済の基礎知識を深める。東アジア、米国、欧州など各国の景気動向、株式市場や金融市場、主要産業の動き、ＷＴＯやＩＭＦといった国際機関の活躍などについて学ぶ。教師の側からの一方的な授業ではなく、演習形式で議論を深める。

①ビッグ・バン　②バブル　③ＦＴＡ

223050 グローバル社会の政治経済学

教授　志摩　園子

国際関係社会の具体的諸問題を考える上では、理論的枠組みと実証的研究を相互補完的に理解することが必要である。具体的な諸問題を考えながら、考察を進める。

①国民国家　②国際社会　③グローバル化

223051 哲学入門

非常勤講師　土屋　賢二

批判的に考える能力と議論の仕方を身につけてもらう授業。そのために、色々な問題について哲学的な考え方を解説し、考えてもらう。

①哲学　②批判　③議論

223054 国際社会の法

客員教授　稲川　照芳

一般国際教養人として、国際的事象、事件を法的に理解し、捉える力を養う。

①国際社会における法　②国際法と国内法　③平和

223055 国際関係史

教授　志摩　園子

近代西欧国家体系から始まるヨーロッパの国際関係の変遷を考察する。アメリカが国際関係の中心にあるという現実の中で、ヨーロッパの発展と現実の認識の意味を検討する。

①西欧国家体系　②バランス・オブ・パワー　③冷戦

223057 ジェンダーと社会

教授　博士（経済学）　森　ます美

ジェンダーとは「社会的・文化的に形成された性別」を指している。この講義では、「ジェンダー」というレンズをとおして、家族、企業・労働、学校、メディア、スポーツ、日常の慣習など、現代社会を総合的に捉え直し、ジェンダー平等な社会を展望する。そのなかで一人一人が「ジェンダーに敏感な視点」を磨く。

①ジェンダー　②性差別社会　③男女共同参画社会

223059 古典で学ぶ社会科学

教授　木下　武男

社会科学は、多くの先学の研究者・知識人による古典と言われる名書を蓄積することによって発展してきた。とくに、1つの時代を解明した古典は今日もなお読み継がれるべきものである。

①社会科学　②古典　③社会分析

223063 マーケティング論

非常勤講師　中野　香織

企業が消費者に商品やサービスを提供するうえで、いかにマーケティングが重要であるかを理解する。最初にマーケティングに関する身近な事例を紹介した後、マーケティングの基礎的な理論を学ぶ。製品開発、価格設定、流通の仕組み、プロモーションのやり方など、企業の幅広いマーケティング活動を扱う。

①マーケティング　②マーケティング・コミュニケーション　③消費者行動

223065 現代企業論（組織と戦略）

教授　小島　徹

現代は企業社会である。大半の国民が企業を職場として人生の多くの時間を過ごす。企業とは何か?どのような仕組みで成り立ち、活動しているのか?「企業は組織と人で動く」「商品（サービス）をつくり、売る」「利益を出す」という3点から企業活動の本質に迫る。また、戦後日本経済の躍進を象徴するソニー、本田技研の成功要因を探るとともに、失敗企業の敗因を研究する。導入とまとめの部分を除き、毎回大企業ビジネスマンをゲストとして招き、生きた経済を学ぶ。

①井深大と本田宗一郎　②商品開発戦略　③損益計算書

223068 アート・マネージメントⅠ
223069 アート・マネージメントⅡ

非常勤講師　美山　良夫
非常勤講師　金子　哲理

―高揚した気分、共感などをもとめて、人は行動します。それぞれのイメージやシンボルを、あるいは癒しをさがすために。そのさがしているものが詰まっている例がアート。＜美的・芸術的な価値＞を、どのようにマネジメントするかは、アート界ばかりか、ビジネスふくめこれゥらの社会にとって大事なテーマです。そのあらましを、実践的に企画をたてながら考えることにします。

①マネジメント　②アート　③プロデュース

223070 文学と社会

准教授　福田　淳子

“社会”と無関係な文学作品はない。この授業では、最も明確な形で時代や社会のありようを反映する、戦争・女性・家族をテーマとした作品を中心に取り上げる。作家たちが、時代をどのように捉え、文章で何を表現しようとしたのかを考察し、社会を意識した読み方の大切さを学ぶ。日本の明治以降（近現代）の作品を対象とする。

①戦争　②女性　③家族

223071 映像と社会

准教授　福田　淳子

１００年に及ぶ映画の歴史を紐解きながら、“社会”がどのように表現されてきたのかを考察し、“映像”の社会に対する影響力や映像表現の意味等を探る。映画の技術や文法の基礎を学び、映画の見方を身につけ、様々なジャンルの映画を対象に考察を進める。表現されたものを鑑賞する立場で考えるだけでなく、制作者側に立った考察も試みる。

①映画の意味　②時間と空間　③映像の力

223074 NGO/NPO の歴史

非常勤講師　ホルバート，アンドリュー

How were NGOs created? How do they work? Who gives them financial support? Who goes to work for an NGO? What is the relationship between an NGO and an NPO (non-profit organization)? Which country is most NGO friendly, and which countries oppose them? This course will cover the history and mission of NGOs and NPOs. It is designed as a survey course on the non-profit sector and the place NGOs occupy in it.

① NGO　② NPO

223077 現代都市論

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

生活の場としての都市を身近な居住環境から地球環境のレベルまで都市を切り口に多様な視点からみてゆく。都市の魅力と問題について考え、現代の動向を把握しながら都市の姿を探ってゆく。

①都市の魅力　②東京　③都市問題

223080 現代日本の国際関係

客員教授　稲川　照芳

国際社会人として、国際関係、なかんずく、日本の歴史的背景と外交関係について、国際問題も含めて考える。

①近代日本の外交　②戦後の外交　③アメリカ・アジア・日本

223081 日本と世界

助教　博士（学術）　小粥　祐子

江戸時代、日本は一部の国を除く外国との交易を絶っていた。しかし、幕末期になると外国人が開国を迫って日本にやってくるようになり、明治時代を迎える。幕末期～明治初期を中心に外国人が残した写真・日記などと日本の史料を照らし合わせながら、当時の外国人が日本のどのような物事に対して興味を持ったかをみていく。

①幕末と明治　②写真・日記　③社会と生活

223085 異文化間コミュニケーション

非常勤講師　ホルバート，アンドリュー

This course will survey not only the standard literature on cross-cultural communication but will also discuss such issues as the nature of race prejudice and strategies for improving relations between members of majority and minority groups. Finally, the course will deal with communication on a transnational level, such as has taken place recently between Japanese and Koreans seeking to promote better relations with each other.

① Culture　② Identity　③ Communication

223086 ゲームと戦略

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

人々は利益を追求して行動する。そして「自分の獲得する利益が、自分自身の行動だけでなく、他者の行動にも依存して決定される状況」という他者依存な状況を想定し、そこでの意思決定の特徴を分析するのがゲーム理論である。講義では、このゲーム理論を講義する。

①ゲーム理論　②戦略的行動　③ナッシュ均衡

223087 社会科学の数学

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

社会科学に必要な数学を勉強し、実際に、経済学、経営学、情報などの使用例を紹介する。「数学を使って社会現象を表現する」という高校レベルでは特殊な、しかし、大学レベルでは普通な表現方法に習熟したい。数式を使用した表現は、自然言語よりも明快で便利なものである。それを実感して欲しい。

①数学モデル　②高校数学　③微分

223088 社会科学と社会調査

教授　工学博士　矢野　眞和

社会現象を説明する科学としての社会科学を位置づけ、現象を説明するために必要な「理論とデータ」の関係を踏まえて、社会調査の意義と方法を学習する。

①社会科学　②社会調査　③量的分析

223089 統計分析基礎

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

表計算ソフトMicrosoft Excelを利用し、データを処理、分析する手法の基礎を身につける。データを分析する視点や統計資料の読み方、整理の仕方、演習課題を通して各種データの分析手法を学ぶ。

①データ分析　②グラフ作成　③ Microsoft　Excel

223090 社会経済統計Ⅰ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会および経済現象をデータを用いて分析するために必要な基礎の統計学的知識を学習する。

①サンプリング　②記述統計　③回帰分析

223091 現代アメリカ文化論

教授　スナイダー，マイケル

この授業ではアメリカ社会及びアメリカ文化の中のさまざまな現象をとらえたドキュメンタリーや映画を題材として、アメリカ社会における平等・自由感、開拓精神の中の神話性、男女の役割と関係、家族のあり方の変容、宗教、社会における若者の役割などを考察する。授業では講義だけではなく、受講生によるリサーチ、ディスカッションも行ない活発な意見交換を進める。語彙の勉強法も注意します。また自分の考えをまとめた小レポートの提出も求める。

① prepare　② predict　③ participate

223092 現代英国文化論

教授　平井　法

今日のイギリス社会を映した映像から、現代社会におけるさまざまな問題を掬い上げ、その背後にある深い歴史を学ぶ。〈英国の現状〉と〈歴史〉から、私たち日本人が学ぶべきことは何かを、討議を通して探って行きたい。

①英国の歴史　②英国の文化　③　階級社会

223095 労働社会学

教授　木下　武男

女性が何らかの形で一生、仕事と関わって生きていくことが当たり前の時代になってきた。社会性をもった職業人として自己を確立するために必要な一般的な知識を習得することを講義目的とする。

①日本型雇用と年功賃金　②若者雇用
③女性労働とジェンダー

223096 現代社会論

教授　木下　武男

現代的教養を身につけた職業人として成長するために必要な現代社会の価値観と知識を修得することを目的とする。近代社会の基本的構造を理解した上で日本における企業中心社会の諸相を解明し、さらに日本社会に大きな変化を促している男女共同参画社会の施策や少子化、グローバル化といったテーマについても検討する。

①市民社会　②資本制　③ジェンダー
④企業中心社会　⑤少子化　⑥グローバリゼーション

223100 現代政治論

非常勤講師　村野　坦

人間社会は常に争いが絶えず、利害がぶつかり合う。政治は、そこに調和を求め秩序を築く営みと言える。そのための制度や仕組みについて成り立ちと現実の姿を考察しつつ今、内外で起きている政治問題の背景や経緯を読み解き、意味を考える。

①政治　②現代　③時事問題

223102 職業とジェンダー

教授　木下　武男

社会人になると、誰もが「働くこと」と「男性と女性の関係性」という二つの課題を背負い込むことになる。セミナーでは、女性が生涯、仕事と関わって生きていくなかで生じる課題についてジェンダー視点から検討していきたい。

①キャリア設計　②均等法と女性処遇　③パート・派遣

223103 現代社会と労働

教授　木下　武男

現代社会で生じている多くの問題は、格差社会が深まり階層社会が形成されつつあるからである。セミナーでは､労働を軸にしながら日本における若者問題､少子･高齢社会、結婚・家族の揺らぎ、グローバル化などをテーマにしたい。

①格差社会　②若者雇用　③近代家族

223104 マスメディアと現代社会

教授　澁澤　重和

マスメディアは現代社会を生きる人たちの言動に多大な影響力を行使している。そのときそのときのテレビ番組や新聞報道を取り上げて検証することによって、改めてマスメディアが現代社会に及ぼしている影響力の大きさを浮き彫りにさせる。

①マスメディア　②情報化社会　③メディア・リテラシー

223105 社会問題概観

教授　澁澤　重和

２１世紀の社会では、新しい事象や事件がこれまで以上に発生し、人々が好むファッションや風俗も次々に変貌していく。受講生にはそうした現代社会の世相を物語る象徴的な事象や事件についての学習を通じて現代社会が抱える問題点を考えさせる。

①現代社会　②価値観　③時代をよむ

223106 消費と環境

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

人々の生活と環境との関係性を明らかにする。特に生活の多くの部分を消費行動で支える現代生活を，「環境」との関わりの中から考察する。身近な取り組み方から，グローバルな視点からの環境対策について考えていく。テーマを決め各自で調べたことを報告し，ディスカッションを行って，理解を深めていく。

①環境問題　②地球サミット　③ローカルアジェンダ21

223108・223109 社会経済政策 Ⅰ

教授　工学博士　矢野　眞和

家族と学校と会社という社会の三つの中間組織に焦点をあて、その相互作用関係から社会を分析し、社会問題を解決するための政策を実証的に解明する方法を修得する。

①中間組織　②人生　③政策　④市場　⑤福祉社会

223119 国際研究

教授　志摩　園子

19 世紀以来、国際関係の主体であった国家は、その役割を相対的に減じており、その構成要素は多様化している。そのひとつが地域の台頭である。地域は、国際社会の秩序形成において、どのような役割を果たすだろうかを考察する。

①国境　②サブ・リージョン　③海

223120 地域研究　（欧州）

教授　志摩　園子

欧州連合に象徴されるようなヨーロッパのあり方について、歴史的、文化的、政治・経済的と多様な視点から考察する。

①欧州連合　②国民国家　③帝国

223121 東アジア言語社会研究

准教授　博士（社会学）　フフバートル

伝統的なモンゴル文字でモンゴル語を習う。北アジアの民族、自然、文化について、モンゴル遊牧民の衣食住など伝統文化を中心に、人間と家畜との関係から学ぶ。

①モンゴル語　②北アジア　③遊牧民

223122 地域研究 （北アジア）

准教授 博士（社会学） フフバートル

モンゴル語の文字（モンゴル文字とキリル文字＝ロシア文字）にこだわらずローマ字でモンゴル語を習う。北アジアの民族、自然、文化について、モンゴル遊牧民の衣食住など伝統文化を中心に、人間と家畜との関係から学ぶ。

①モンゴル語 ②北アジア ③遊牧民

223124 都市情報論

准教授 博士（学術） 鶴田 佳子

多様な情報の集合体ともいえる都市をあらゆる角度から探り、都市の本質、魅力、問題点を考えてゆく。実際にまちに出て、情報収集し、特徴を整理、分析する。都市を切り口に地域をみるための情報の捉え方を習得してゆく。

①都市 ②情報 ③まちづくり

223125 地域研究 （環地中海）

准教授 博士（学術） 鶴田 佳子

長い歴史の中で地中海を媒介に多くの国や民族が交流をはかり、多彩な文化が生まれてきた。歴史や風土の影響を受けて成り立っている都市を分析することで地中海地域の特質を探っていく。

①地中海 ②都市 ③地域

223126 演劇文化研究

教授 下川 恵美子

演劇を通して社会と文化を考える。戯曲を1編取り上げ、全員で読み合わせ作業をおこなう。作品の主題や構成をみながら、作品の社会的背景などについても考察していきたい。学生には調査・報告を課す。

①戯曲分析 ②社会的背景 ③文化

223127 エコロジー研究

教授 理学博士 常喜 豊

我々の日常生活と環境問題がどう結びついているのかを、生態学（エコロジー）の視点で考える。授業に際しては、学生と教員が共に情報やデータを収集し、討論も積極的に行なうという形式をとる。

①環境問題 ②日常生活 ③生態学（エコロジー）

223128 地域研究 （スペイン語圏）

教授 下川 恵美子

1959 年のキューバ革命以降、ラテンアメリカでは地域のアイデンティティーを求める動きが多面的な広がりを見せていく。映画や演劇作品を通して、ラテンアメリカがどのような社会の実現を目指してきたのか、またその中で民衆が果たした役割を考えていきたい。

①アイデンティティー ②民衆 ③文化

223129 現代マスコミュニケーション論演習

教授 澁澤 重和

現代マスメディアに関連する研究をし、卒業論文をまとめる。

①マスメディア ②テレビ ③新聞

223130 現代社会論演習

教授 木下 武男

「労働社会学」および「現代社会論」の科目の範囲で各自のテーマを設定し、卒業論文として完成させる。

①労働社会学 ②現代社会論

223131 地域環境デザイン論演習

教授 博士（学術） 瀬沼 頼子

卒業論文を作成するために必要な基礎をゼミ形式で学んでいく。4 月の段階でテーマを考え , 研究方法と論文構成を検討し , 論文テーマを決定する（個別指導）。前半は中間発表会に向けての指導が中心となる。後半では , 夏季休暇に向けた研究計画の立案 , 文献・資料収集の実践方法（アンケート調査を実施する場合もある）を指導する。収集した資料やデータの整理方法と活用の仕方を学ぶ。学生の自主的な取り組みが大切である。

①研究テーマ ②研究方法 ③資料・データ分析

223132 メディア表象論演習

准教授 福田 淳子

人に何かを伝えるために表現されたものを対象として、表現することの意味や、社会に対する影響力などを考察し、卒論にまとめたいと考えている学生のためのゼミ。卒業論文作成のために必要な知識や方法、テーマの選び方や文献検索・資料収集の仕方など基礎的な事柄を身につけ、資料の分析方法や効果的な論述の仕方などをディスカッションしながら学んでいく。

①社会 ②表現 ③メディア

223133 社会経済政策演習

教授 工学博士 矢野 眞和

社会経済政策の視点から人生の諸問題を分析し、卒論を仕上げたいと考えている学生のためのゼミ。各自の関心あるテーマに基づいた発表形式。

①政策 ②人生設計 ③フィールドワーク

223134 現代経済論演習

教授 小島 徹

この授業は卒論ゼミです。戦後の日本経済の発展の歴史を踏まえて現代日本経済の諸相について研究する。具体的な研究テーマについては各演習参加者と相談の上に決定する。

①傾斜生産方式 ②高度経済成長 ③ニクソン・ショック ④経済摩擦 ⑤プラザ合意 ⑥バブル経済

223136 応用言語学演習

准教授　小林　多佳子

第一言語習得及び第二言語習得に関する理論を紹介し、言語習得のプロセスを探り、言語とは何かを考えてゆく。また、優れた文献の講読を通して、言語習得に影響を及ぼす心理的・個人的要因についても触れる。

①中間言語　②臨界期　③学習の個人差

223137 国際関係論演習

教授　志摩　園子

国際関係論で卒論を仕上げたい人のための卒論ゼミ、現代社会の諸問題をさまざまな角度から考えることを目指す。各自の関心のあるテーマに基づき、発表形式とする。

①安全保障　②環境　③文化

223138 言語社会論演習

准教授　博士（社会学）　フフバートル

ことばと社会との関連及び中国とモンゴルの現代社会と文化などについて卒論を仕上げたい学生のための卒論ゼミ。ことばと社会の問題を中心に、異なる視点から東アジアの社会や文化を幅広く考えることをめざす。

①卒業論文　②記述　③論述

223139 現代都市論演習

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

海外の様々な地域の都市から日本の身近な都市に至るまで、風土、歴史、宗教、文化といった都市を形成している背景を探り、環境問題や再開発、コミュニティー、都市災害など、現代都市と社会現象を捉えていく。

①都市　②地域　③情報

223140 社会表現論演習

教授　下川　恵美子

演劇を中心とする「社会表現」をテーマとするゼミ。卒業論文完成を目指して、ゼミ生が各自発表を行う。文献資料の扱いや論文の要点を随時確認する。他のゼミ生および教員のコメントを踏まえ、各人は論の展開を修正・発展させる。

①先行研究　②仮説　③論証　④結論

223141 エコロジー論演習

教授　理学博士　常喜　豊

生態学の視点で自然環境や環境問題についての卒業論文を作成する学生を対象とした、卒論支援ゼミである。3年次後期から、文献の講読や、論文作成のための文献検索・データ収集・資料解析などの指導を行う。また、卒業論文の中間発表も行う。

①卒業論文　②文献検索　③データ収集　④資料解析

223142 Current Topics Ⅰ

非常勤講師　ハリントン　デービッド　グレン
非常勤講師　クレイグ，ジェームズ
非常勤講師　マクロッホ，シャロン
非常勤講師　バトラー，クリスタベル
非常勤講師　イングリッシュ，スティーブン

The purpose of this course is to develop students' four skills through talking about topics relevant to their lives. Reading and listening skills as well as vocabulary work will receive extensive focus to equip students with necessary foundation to cope in the English-only classroom. Simple speaking exercises-explaining, describing, expressing one' s own opinions/feelings will be done to develop students' confidence in speaking and to increase fluency.

① Four Skills　② Topics Relevant to Students' Lives　③ Fluency and Accura

223143 Current Topics Ⅱ

非常勤講師　ハリントン　デビット　グレン
非常勤講師　クレイグ，ジェームズ
非常勤講師　マクロッホ，シャロン
非常勤講師　バトラー，クリスタベル
非常勤講師　イングリッシュ，スティーブン

The purpose of this course is to develop students' four skills through talking about topics relevant to their lives. Reading and listening skills as well as vocabulary work will receive extensive focus to equip students with necessary foundation to cope in the English-only classroom. Simple speaking exercises-explaining, describing,　expressing one' s own opinions/feelings will be done to develop students' confidence in speaking and to increase fluency.

① Four Skills　② Topics Relevant to Students' Lives　③ Fluency and Accuracy

223144 Current Topics for Reading Ⅰ

教授　柏木　厚子
准教授　小林　多佳子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　山口　律子

Students in this class will be asked to improve reading skills and speed as well as language appreciation by reading various materials. Reading skills focus on pre-reading, comprehension, response to readings and vocabulary development. Students use the information from readings and other sources to discuss the issues involved and have the opportunity to form and express their opinions on a variety of topics.

① Reading Skills ② Comprehension ③ Vocabulary Development

223145 Current Topics for Reading Ⅱ

教授　柏木　厚子
准教授　小林　多佳子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　山口　律子

The course is a continuation of Current Topics for Reading I and is designed to give students further reading practice in content areas not dealt with in Current Topics for Reading I.

① Reading Skills ② Comprehension ③ Vocabulary Development

223188 通訳・翻訳研究

教授　柏木　厚子

実際の通訳者の訓練で使われる基礎トレーニング（note-taking、retention、paraphrasing、summarizing、etc.）を使いながら通訳技術の習得のみではなく、英語力一般の増強も図る。翻訳のプロセスも経験し２つの言語の橋渡しの難しさ、楽しさを体験する。

①原文の理解　②再創造　③訳文の自立性

223189 日本語表現（話し方 / 基礎）

非常勤講師　中里　雅子

日常の言語生活では振り返ることの少ない「読む」「話す」「聞く」ことについての基本的な知識や力を学びながら、主体的にことばを発信し受け止めていくていくことを目的とします。より豊かなコミュニケーションをはかれるよう実習をまじえながらすすめます。

①発声・発音・呼吸　②自分　③アサーティブネス

223190 日本語表現（書き方 / 基礎）

准教授　福田　淳子

大学の授業では、高校までに表現してきた文章とは違った内容が要求される。そのために、文章表現のルールや技術を理論的に確認しなおし、自分の考えや主張が正確に伝えられる文章力を身につけていきたい。自分の欠点に気づき、学習の手がかりとするために、日本語文章能力検定を取り入れる。

①思考力　②言葉の接続　③論理的展開

223191 日本語表現（書き方 / 応用）

准教授　福田　淳子

意見文・エッセイ・コラム等、様々なジャンルの文章を書く力を磨く。日常的な事柄から政治・経済に至るまで幅広い視野をもって題材を探すことから始め、自分の考えを整理し、文章にする。論理的構成のしっかりした文章を書くことに努め、読み手の興味関心を引くための内容の展開方法や、読み手を惹きつける表現方法などを学び、表現力の向上を図る。

①言葉の力　②想像力と創造力　③個性

223192 日本語表現　（書き方 / 実用）

准教授　福田　淳子

実用的な文章の書き方を身につけるための授業である。相手の立場にたつことや、読み手のことを意識して書くことの大切さを学び、伝えたいことを正確に表現するためのトレーニングをする。ＴＰＯに合わせた文章の書き分けや方法の選択についても取り上げたい。

①コミュニケーション　②型　③社会

223193 日本語表現（話し方 / プレゼンテーション）

非常勤講師　藤木　美奈子

「スピーチコミュニケーション基礎」で培った基本的な自己表現力をもとに、国際社会で通用する論理的な考え方、効果的な情報提示の方法、説得力のある話し方などを演習方式で学び、聞き手に分かりやすく正確に届けるための発表の仕方を身に付けていく。

①プレゼンテーション　②自己表現　③聞き手

223194 日本語表現（話し方 / ナレーション）

非常勤講師　中里　雅子

話しことばを検討すると同時に、「音読・朗読・ナレーション」などの方法をかりて、自己と他者を発見していく。読み語りをとおしてのコミュニケーションを試みる実習を目標とする。

①表現　②お話会　③コミュニケーション

223195 日本語表現（話し方 / 上級）

非常勤講師　藤木　美奈子

日常の言語行動の中で、相手に「伝えた」つもりが、実際は「伝わっていない」というケースは意外に多い。話し手と聞き手の間のコミュニケーションギャップが何故起こるのか、問題点を探りながら自己点検すると共に、社会に通用する話しことばの担い手になるために必要な言語技術を磨いていく。

①自己表現　②自己発見　③自己洞察

223196 論理的表現法

准教授　福田　淳子

論理の力とは、思考を表現する力であり、また思考が表現された文章をきちんと読み解く力でもある。論理的思考のために不可欠な、言葉に対する鋭敏な感覚を養うトレーニングを行い、論理展開のしっかりした文章を書くための練習を積む。自分の意見を明確に示した、説得力のある文章を書くことを目標にする。

①論理力　②思考力　③文章力

223197 コンピュータ基礎

非常勤講師　後藤　涼子

コンピュータを活用した情報の収集･検索、整理、加工、発信についての総合演習を行う。Windows の基本操作から、インターネットの情報活用と電子メール、文書作成、表計算などの各アプリケーションの基本操作を体系的に学ぶ。

① WORD（文書作成）　② EXCEL（表計算）　③インターネット

223198 情報論

教授　大串　夏身

現代教養学科の情報関係科目の最初に位置するものである。情報の理論、コンピュータの構造、活用、情報社会の発展、高度情報通信ネットワーク社会、情報リテラシーなど全般を論じる。基本的な知識を習得する。また、映像を教材として情報探索、情報倫理等について考える。

①高度情報通信ネットワーク社会　②コンピュータの活用　③情報リテラシー

223199 情報検索

教授　大串　夏身

現代社会は高度情報通信ネットワーク社会であると言われている。そこでは、いつでも、どこでも、的確に、自分が必要とする情報を入手できることが、一人一人に求められる。本科目は、コンピュータ一人１台でインターネット上の各種情報源の検索とデータのダウンロード、編集方法について学ぶ。

①インターネット情報源　②検索エンジン　③データのダウンロードと編集

223200 情報収集と編集

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

多様な情報を整理、編集し、効果的にプレゼンテーションする方法を学ぶ。溢れる情報の中から必要な情報を選別し、的確で効率のよい情報のやりとりを可能とする形態に編集し、表現してゆく技術を身につける。

①デジタル化　②プレゼンテーション　③ Microsoft　PowerPoint

223201 情報収集と伝達

非常勤講師　後藤　涼子

情報の伝達手段として、インターネットのしくみとホームページの構造、その作成技術を体系的に学ぶ。ＨＴＭＬの記述からホームページ作成ソフトによるホームページ制作を通じて、アクセスしやすいホームページを心がけた実用的なデザインやレイアウト、コンテンツの作成などのスキルを身に付ける。

①インターネット　② WEB ページ　③ WEB デザイン　④ホームページ・ビルダー

223202 社会調査の理論と方法

非常勤講師　大多和　直樹

社会学における数量的調査の手法を学ぶ。卒論などで、自分で調査を設計し分析できることを目指し、その基礎をつくる。調査設計および実施方法に力点を置き講義を行う。調査の理論を実践の調査時の思考・感覚にむすびつけられるよう、ミニ演習（既存調査の再分析）を設ける。

①サンプリング　②ワーディング　③仮説検証

223203 社会経済統計Ⅱ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会経済統計における基礎的な多変量解析法について、その基本的考え方と主要な計量モデルを解説する。

①重回帰分析　②分散分析　③パス解析　④因子分析

223204 フィールドワークと質的分析

教員未定

フィールドワークと質的調査の基礎を学ぶ。観察法、フィールドノートのとり方、インタビューの技術、ライフヒストリー、理論的サンプリングといった個別技法を学び、調査計画を立案できる知識・技法を見につけることを目指す。

①質的調査　②フィールドワーク　③社会調査士資格

223205 社会調査実習Ⅰ
223206 社会調査実習Ⅱ

非常勤講師　博士（教育学）　濱中　淳子

社会調査のために必要な仮説構成、調査設計、データベース作成、分析手法、報告書作成などを実践的かつ総合的に学ぶ実習である。授業への参加を通じて、調査方法や社会学的な考え方のみならず、プロジェクトの運営方法、社会調査上の倫理問題を修得してほしい。

①社会調査　②社会統計　③教育　④家族　⑤友人関係　⑥キャリア

223208 国内インターンシップ

教授　木下　武男

原則として、２年生・３年生の春季休暇または夏季休暇中に２週間から３週間にわたって提携先の企業で企業内実習をさせることを通して、企業人、あるいは社会人としての基礎的な教養やマナー、心構えを会得してもらう。希望学生には事前研修を義務付けてインターンシップの意義を確認させるとともに、実習実施後は報告会を開催することにより、実習の成果を確認し合うとともに他学生を含めた共通認識とする。

①キャリア設計　②企業研修　③ビジネス・スキル

223209 海外インターンシップ

教授　木下　武男

原則として、２年生・３年生の春季休暇または夏季休暇中に２週間から３週間にわたって海外の企業で企業で企業内実習をおこなう。語学力を活用しつつ、海外の企業の組織や働き方学び、自分の就職意識を高めることを目的とする。

①海外企業　②就労意欲　③語学力

223222 図書館サービス論

教授　大串　夏身

図書館サービスの全般を論じる。図書館サービスは、資料の貸出、情報サービス、レファレンスサービス、読書相談、児童サービス、障害者サービスなど広い範囲に及ぶ。それらを社会的な意義をも視野に入れて論じる。

①図書館サービスの種類　②図書館ネットワーク　③サービスの社会的意義

223223 情報サービス概説

准教授　中西　裕

図書館における情報サービス提供の意義、利用者の情報要求と探索行動を説明した上で、図書館の提供するレファレンス・サービス、利用する基本的参考図書について解説する。また例をあげて情報探索の方法を紹介する。

①レファレンスサービス　②情報サービス　③参考図書

223224 レファレンスサービス演習

准教授　中西　裕

主に参考図書を使ってレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用のしかたを学ぶ。また各自の設定したテーマに関する文献を集めて書誌を作成する実習を行う。実践的な能力の習得をめざす。

①レファレンスサービス　②書誌　③参考図書

223225 情報検索演習

教授　大串　夏身
准教授　中西　裕

図書館で活用するデジタル情報源の検索を行う。主にインターネット上のデータベースを対象とする。総合的な検索エンジンの活用、書誌データベース、事実データベースに分けて行う。課題は電子メールで提出する。

①総合的な検索エンジン　②書誌データベース　③事実データベース

223226 法学概論（国際法を含む）

非常勤講師　高佐　智美

「法」というと自分たちの生活とはかけ離れたものというイメージがあるかもしれません。しかし実際には、「法」は私たちの日常生活に密接に関連しています。本講では、現在社会で問題となっている事件や事柄を通じて、「法」とは、「人権」とは何かを学習することを目的としています。

①リーガルマインド　②人権　③時事問題

223227 社会学

非常勤講師　博士（社会学）　金子　晃之

現代社会の身近な問題を考察しながら、私たちが直面している問題と生きる上での課題について考え、社会学の基礎を学んでいきます。同時に卒業後に必要な「社会人として、そして大人としての洞察力、判断力、想像力」を養うことを目的とします。

①下流社会　②動物化　③自己実現

223228 哲学概論

非常勤講師 文学博士　飯塚　勝久

この講義は、西洋哲学の本質を精神史的視点から考察する。したがって、システムとしての哲学理論の説明にとどまらず、それらの理論を育んだそれぞれの時代の「精神的境位」の解明をも目的とする。前期は古代・中世・近世の、後期は近・現代の哲学課題を取り上げる。

①根源への問い　②哲学と信仰　③古典主義的精神　④啓蒙思想とその克服　⑤歴史哲学　⑥現代の思想的状況

223229 倫理学概論

教授　掛川　典子

西洋倫理学の流れを概観しながら、よく生きるという人間の課題をめぐって、代表的な思想家の説を解説する。倫理学上の様々な論点に、現代の視点から考察を加えると同時に、複雑な現代倫理学の諸問題も紹介する。

①プラトン　②アリストテレス　③カント　④功利主義　⑤実存倫理　⑥生命倫理学

223230 歴史学概論

教授　山本　博也

歴史とは何か、過去の出来事をいかにして知ることができるか、歴史がわかるとはどういうことかなど、歴史をめぐっての、あるいは歴史を研究することをめぐってのさまざまな問題について考察したい。

①歴史と歴史像　②史料批判　③時代区分

223231 日本史通論

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本列島に住む人々は、どのように「歴史」を認識し、また「歴史書」をつむいできたのか。従来、このような学問は「史学史」と呼ばれて来たが、それはそれ、歴史書・歴史学と社会との関係を歴史的に見て行きたい。

①史学史　②歴史書　③歴史意識

223232 世界史通論

教授　吉成　薫

「社会」（中学校）の教員免許を取得しようとする者を対象とする。世界史は各国史の寄せ集めではなく、独自の視点に基いて把握された総合的歴史であるべきと考え、世界史の成立史をたどることで、こうした問題点を認識したのちに、世界史の再構成を目ざす。

①世界史の成立　②世界史の構造・意味　③現代歴史学の課題

223233 日本中世史

教授　山本　博也

日本における中世とよばれる時代、12 世紀頃から 16 世紀頃までの歴史に関して、その時代・社会の特質について、史料にふれながら、具体的に考えていく。

①鎌倉幕府　②南北朝の動乱　③室町幕府　④戦国大名　⑤中世の都市と惣村　⑥中世の文化

223235 日本近代史

准教授　博士（文学）　千葉　功

幕末から現代までの通史を授業するが、時間の関係上、ある時代ないし特定のテーマにしぼって講義を行う。内容はその年によって異なる。本年度は、前期は憲法発布から大正期にかけてを、後期は昭和戦前期を講義したい。

①憲法発布　②日露戦争　③第 1 次世界大戦　④憲政の常道　⑤満州事変　⑥日中戦争

223236 古代オリエント文化史

教授　吉成　薫

独力で人類最初の文明を築いた古代オリエントでは、政治・経済・社会・宗教など文明のあらゆる分野において、様々な可能性が試された。前期は社会、後期は宗教・思想関連の文化現象を、主に文字資料をもとに概観する。

①ヒエログリフ・楔形文字　②王権と神々　③女性・奴隷

223237 東洋史概説

教授　田熊　信之

広大な地域にわたる東洋世界の中で、独自な文明を築き上げ、これを広く長く展開して来たのは、中国である。本講では、まず中国の地理的、歴史的環境を確認し、新発見の考古資料等を用いて、長江、黄河の両地方に誕生した文明を鳥瞰する。ついでこのもとに興亡した、漢民族と非漢民族の王朝の歴史を省察し、政治、経済、宗教、文化の各面を含めて、中国を中心とした東アジアの歴史がどのように推移して来たかを、具体的に概観する。

①長江文明と黄河文明　②王朝と国家　③秦漢帝国　④農耕漢族と遊牧胡族　⑤律令制と官僚機構　⑥儒、仏、道教

223238 人文地理学概論

教授　博士（文学）　田畑　久夫

地域とそこに住む人びとの関係を具体的に考えるのが地理学の主要分野である人文地理学です。本年度は、人文地理学では人間をどのようにとらえてきたかを分かりやすく解説する。事例を日本だけでなく、世界各地からとるので、旅行の好きな学生には最適。学習を深めるため、夏季に研修旅行も実施の予定。

①自然地理学　②環境論と可能論　③都市の生活　④村の生活　⑤エクメーネの拡大　⑥旅の楽しみ

223239 自然地理学概論

非常勤講師　文学博士　大山　正雄

人間の活動と歴史は置かれている自然環境を舞台に展開しています。本授業は自然の姿と現象を水を縦糸にして、目にする風景がなにゆえそのような姿をし、人間生活とどう関わっているのかを知り、理解することを意図しています。

①地形　②河川　③平野　④海　⑤気候　⑥野外巡検

223240 地誌通論 A （日本地誌）

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

223241 地誌通論 B （世界地誌）

非常勤講師　福島　義和

前期は、社会地理学的立場から、日本国内で起こっている地理学的現象をグローバルな視点を重視しつつ、平易にかつ具体的に解読する。後期は、グローバリゼーションが進むなか、世界の地域をいかにダイナミックに魅力を教えられるか、かなりの難問であるが、その作業を通して学生諸君が地域のイメージ、さらには世界観の形成に少しでも有効であれば有難い。

①社会空間　②不平等　③ローカリティ　④グローバリゼーション　⑤地域イメージ　⑥世界観の形成

223243 比較女性史論

教授　掛川　典子

18 世紀末の市民革命の時代のリベラル・フェミニズムの古典から現代にいたる女性論の流れをたどる。日本の近代における欧米の女性論の受容と影響に関しても論じる。現在の女性の状況をよりよく理解する一助になるであろう。

①ルソー　②ウルストンクラフト　③ミル　④エレン・ケイ　⑤『青鞜』　⑥ボーヴォワール

223244 文化人類学概論

非常勤講師　本多　俊和

文化人類学（民族学）の視点から、北方民族を中心に、世界各地の民族の生活と社会を事例にして私たちが生きている現在の世界を多角的に考える。受講に際して、米山俊直、谷 泰 編『文化人類学を学ぶ』（世界思想社、1991）を読んでおくこと。

①人類発達史　②文化・社会　③理論　④進化主義　⑤異文化　⑥民族・人種

223245 キリスト教文化史

教授　掛川　典子

キリスト教の聖書としての旧約聖書と新約聖書の成立史や概要を解説した後、主に西方教会の流れに沿って、キリスト教思想と文化の発展を辿る。宗教改革を経て、近代社会成立以降のキリスト教文化の問題点も概観する。

①旧約・新約聖書　②教父　③宗教改革　④救済史と進化論　⑤ニーチェと神の死　⑥内村鑑三

223246 禅と日本文化

教授　田熊　信之

六朝の梁代、南天竺の菩提達磨によって中国に齎されたという禅の思想は、その後中国に於いて新たな展開を遂げ、自己の実践行為の下に仏陀と等質の悟りを体現しようとする宗教となった。この流れの中から生まれた臨済、曹洞の門流が日本に伝えられている。本講では、中国、日本の禅の歴史を顧みながら、六祖慧能下の流れを受けて成った日本の禅とその影響下に生まれた文化の種々相について、諸資料を用いて概観する。

①禅那・静慮・と只管打坐　②不立文字と以心伝心　③菩提達磨と六祖慧能　④清規と行履　⑤語録、詩偈、愛語　⑥頂相、作庭、喫茶

223247 英語観察術（翻訳の世界）

准教授　鈴木　博雄

E. Nida の翻訳理論に基づいて、翻訳論のあり方について、講義した後、英語から日本語への翻訳および日本語から英語への翻訳の楽しさを味わうため、さまざまなジャンルの文章を教材としながら、実践的な翻訳を行う。

①翻訳　②表現の省略と補足　③文法から文体へ

223248 英語の歴史A

准教授　博士（文学）　島崎　里子

かつて、ゲルマン語の一方言であった「英語」は、政治・経済・文化の様々な局面で長年にわたって異文化接触を繰り返し、今日の国際語としての地位を獲得した。古英語から現代英語に至るまで、各時代の文献や映像資料も参照しながら、英語という言語がたどってきた変化の過程を、言語と社会の関係に注目しながら解き明かす。

①英語はどこから来たのか？　②異文化接触　③標準化と多様化

223250 第二言語習得

教授　緑川　日出子

このコースでは、第二言語習得に関する理論を読み、主に母語習得と第二言語習得の共通点と相違点、第二言語習得、学習者の中間言語について学ぶ。授業には、講義、輪読と討議に加え、第二言語習得に関する実験や調査が含まれる。将来英語教師を志す学生、英語の教育実習を予定している学生、さらにひとはどのように外国語を学習するか学びたい学生に役立つコースである。

① First /Second language acquisition　② Learner language　③ Classroom research

223251 学習者言語の特徴

教授　博士（教育学）　金子　朝子

SLA（第二言語習得）研究に関する最近の研究や基本的な理論（仮説）を理解する。学習者の個人差、中間言語、教室内の言語習得などを検討し、学習者言語の特徴について学ぶ。また、基礎的な調査や実験を読み、言語習得過程に影響を与えるさまざまな要因を考察する。

① individual differences　② interlanguage　③ feedback

223252 英米児童文学

教授　相原　由美子

この授業の到達目標は二つである。一つは Reading, Writing の英語力の向上をめざし、二つ目は児童文学の知識と楽しみを得ることである。アメリカからはリアリズムの作品を一つ選び、イギリスからはファンタジーの作品を一つ選んで多彩な児童文学の世界を検証する。

①リアリズム　②ファンタジー　③ Reading/Writing

223253 イギリス文化概論A

特任教授　瀧澤　正彦

イギリスと英語、英文学と英国社会への入門講義。ヨーロッパの中でのイギリスと英語の地理的文化的位置、イギリスの地誌、歴史、英語史、文学史の概論。これから専門的に英語・英文学・イギリス史を勉強しようとする人へのイギリス案内になれば幸いである。

①イギリス　②文化　③歴史

223254 聖書入門

非常勤講師　PhD　増井　志津代

聖書を文学として学ぶ。旧約聖書を中心にその構成、歴史背景、地理、文学的ジャンルについて解説講義する。入門的クラスなので、聖書に親しみ、歴史や物語を基礎知識として身につけることを目的とする。

①天地創造　②契約　③モーセ

223255 アメリカ文化概論A

特任教授　島田　太郎

アメリカ文化の特質を日本文化との対比を念頭におきつつ考察する

①多文化主義　②広大な土地　③歴史の新しい人工的国家

223256 「喪失の世代」のアメリカ

准教授　佐藤　洋

1920年代のアメリカを知ることは、現在のこの国の姿を理解する大きな手がかりとなる。「狂乱の20年代」と呼ばれた時代とはどのようなもので、「喪失の世代」と呼ばれた人達はどうして祖国を後にしたのか、これらをキーワードにして、アメリカ文化の特質を知る。

①第1次世界大戦　②大衆文化の普及　③アメリカ文学の確立

223257 イギリス研究（伝統と風習）

非常勤講師　マッケーブ，S.

An overall look at life, culture and customs in England and some other English speaking countries. The lectures will be delivered supported by many props enabling students to have a hands-on experience.

① see　② believe　③ understand

223260 現代カウンセリング理論

非常勤講師　大塚　明子

前期はカウンセリングを学ぶ基本として、自己理解を深める方法について学ぶ。後期はカウンセリングというコミュニケーションがどういうものであるか、自己と他者とのつながりについて、ワークを通じながら実践的に学ぶ。

①カウンセリング　②自己

223271 スピーチコミュニケーション基礎

非常勤講師　藤木　美奈子

日常の言語生活の中で大きな比重を占める音声言語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。話す・聞く・読む・考える、の4つの分野のスキルを磨き、声と話しことばの豊かな使い手になるために必要な知識と技能を、講義と演習を通して総合的に学習していく。

①コミュニケーション　②音声言語　③話す　④聞く　⑤スピーチ　⑥自己表現

223272 Current Topics Ⅲ

教授　柏木　厚子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　山口　律子

The purpose of this course is to further develop students' four skills through talking about current issues. Reading and listening strategies will continue to be practiced through the use of high-interest materials. Speaking exercises will give students chances to express their own opinions well-supported by information they find. Vocabulary work and grammar exercises will also receive attention to address accuracy. Writing exercises will give students a different forum to express themselves and receive feedback.

① Four Skills ② Current Issues ③ Accuracy and Fluency

223273 Current Topics Ⅳ

教授　柏木　厚子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　山口　律子

The purpose of this course is to further develop students' four skills through talking about current issues. Reading and listening strategies will continue to be practiced through the use of high-interest materials. Speaking exercises will give students chances to express their own opinions well-supported by information they find. Vocabulary work and grammar exercises will also receive attention to address accuracy. Writing exercises will give students a different forum to express themselves and receive feedback.

① Four Skills　② Current Issues　③ Accuracy and Fluency

223278 Current Reading & Writing Ⅰ

非常勤講師　クレイグ，ジェームズ
非常勤講師　マクロッホ，シャロン
非常勤講師　バトラー，クリスタベル
非常勤講師　イングリッシュ，スティーブン

The course is intended to develop students' reading skills and increase their vocabulary to prepare them for their content-based classes. High-interest materials will be used to teach students how to read: skimming to get a general idea, predicting and guessing to improve comprehension, and more careful reading with attention to grammar and vocabulary information. Students are expected not to take in the written information passively, but to analyze the information critically.

① Developing reading skills　② Learning to read critically　③ Increasing vocabulary

223279 Current Reading & Writing Ⅱ

非常勤講師　クレイグ，ジェームズ
非常勤講師　マクロッホ，シャロン
非常勤講師　バトラー，クリスタベル
非常勤講師　イングリッシュ，スティーブン

The course is a continuation of Current Reading & Writing I and is designed to give students further reading practice in content areas not dealt with in Current Reading & Writing I.

① Developing reading skills ② Learning to read critically ③ Increasing vocabulary

223280 Intensive Listening Ⅰ
223281 Intensive Listening Ⅱ

教授　柏木　厚子

The purpose of this course is to develop students' listening abilities through exposure to a wide range of listening materials. A variety of exercises will be used to have students develop both bottom-up and top-down listening strategies.

① bottom-up ② top-down ③ listening strategies

223282 Grammar Workshop Ⅰ
223283 Grammar Workshop Ⅱ

非常勤講師　バトラー，クリスタベル

The purpose of this course is to review and practice using basic grammar forms that are necessary for effective communication. We will use writing, classroom tasks and games to improve skills for understanding structures and patterns of structures of language.

① grammar ② patterns ③ effective communication

223284 TOEIC Preparation Ⅰ
223285 TOEIC Preparation Ⅱ

非常勤講師　クレイグ，ジェームズ

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Reaidng skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEIC スコア向上のためのテクニックを習得する。

①TOEIC ②基礎力強化 ③テクニックの習得

223286 TOEFL Preparation Ⅰ
223287 TOEFL Preparation Ⅱ

非常勤講師　ハリントン　デービッド　グレン

資格試験を受験する学生を対象とし、過去の出題例や模擬試験を数多く解きながら、Listening skills, Readng skills, Grammar, Vocabulary building の上達を目指すと共に、TOEFL スコア向上のためのテクニックを習得する。

①TOEFL ②基礎力強化 ③テクニックの習得

223300 ビジネスコミュニケーション A

教授　増澤　史子

ビジネスに使用される英語を様々な側面から学ぶ。Listening, Speaking, Reading,Vocabulary Building に Focus する。英文履歴書の書き方や短いプレゼンも行う。授業は全て英語で行う。TOEIC の試験や社会にでてからの英語に役立つ。

① advertsing ② marketing ③ presentation

223301 ビジネスコミュニケーション B

教授　増澤　史子

Eメールやビジネスレターに焦点をあてる。ビジネスの交渉や社交に必要なやりとりなど例をあげて説明する。

①交渉 ②社交 ③あいさつ

223302 ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム

常勤　ボストン教員

ボストンサマーセッションでビジネス英語を集中的に学習する。午前はビジネス英語を中心にビジネス会話や、履歴書の書き方などを学ぶ。午後は会社訪問を行なったり、店を経営している人をインタビューしたりする。スケジュールが合えば、ハーバードビジネススクールを見学に行くこともある。

① Business ② Management ③ Resume

223304 データベース

准教授　博士（学術）　鶴田　佳子

多様なデータを情報として管理、活用してゆくために、データの種類、データベースの構築と操作、WWW との連携等について基礎を学習し、Microsoft Access を使いデータベースを作成してゆく。

①データの管理 ② Microsoft Access ③情報の活用

223314 Current Issues Ⅲ

非常勤講師　ハリントン　デービッド　グレン
非常勤講師　クレイグ，ジェームズ
非常勤講師　バトラー，クリスタベル
非常勤講師　イングリッシュ，スティーブン

The purpose of this course is to further develop students' four skills through talking about current issues dealt with in other Japanese courses in the program. Students will be encouraged to respond critically to materials presented in either written or spoken form and to express their own opinions well supported by information they find. Discussion and presentation skills will be practiced and developed. Students will continue to work to increase their vocabulary and improve their grammatical accuracy.

① Current Issues ② Critical Thinking ③ Accuracy and Fluency

223315 Seminar A

非常勤講師　バトラー，クリスタベル

In this class we will develop skills for self expression and being able to communicate ideas. We will use topics about human behavior to develop communication skills and vocabulary.

① human behavior ② human relationships ③ social issues

223317 Seminar C

非常勤講師　ハリントン　デービッド　グレン

We are defined by our ideas. The ability to communicate those ideas clearly, effectively and persuasively is an essential skill for future success. The purpose of this course is to help students be better able to systematically express their ideas in a formal situation, specifically a presentation. Students will be asked to make several oral presentations and to participate in a number of group presentation projects.

① Presentation ② Discussion ③ Public Speaking

223320 Current Topics For Writing Ⅰ

准教授　小林　多佳子
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　山口　律子

The purpose of this course is to have students become more aware of the organization and logical development of English with special focus on the key functions for practical writing. Students will also be encouraged to develop awareness of the reading-writing connection. Effective ways to present one's views and to support them will be discussed and practiced throughout the course, based on the topics in the reading and writing materials provided in this class.

① Developing writing skills ② Comprehension ③ Accuracy & Fluency

223321 Current Topics For Writing Ⅱ

准教授　小林　多佳子
非常勤講師　田辺　玲子
非常勤講師　難波　香
非常勤講師　山口　律子

This course is a continuation of Current Topics for Writing I and is designed to give students further opportunities to develop their reading and writing skills. Active participation in the discussion of reading and writing materials will be emphasized throughout this course, with the aim of having students think through their own ideas, organizing and expanding them on various topics. Developing accuracy as well as fluency in the functions of practical English writing will also be encouraged.

① Developing writing skills ② Comprehension ③ Accuracy & Fluency

223322 職業とキャリアをみる目

教授　志摩　園子

将来の職業選択に向けて、自分の適性を知り、業界・企業を理解し、自分の将来の展望をもつように、系統立ったプログラムを、外部講師の協力を得て進める。インターンシップや実際の就職活動に向けての具体的な指導も含む。

①企業研究 ②ライフデザイン ③自己表現

223064 ビジネス・マネジメント

非常勤講師　吉田　耕作

ビジネスの現場で現実の問題をどう解決していくかを学ぶ。

①ジョイ・オブ・ワーク ②勤労意欲 ③競争力向上 ④自己実現

223501・223502 現代金融ビジネス入門Ⅰ・Ⅱ

（朝日生命寄付講座）

教授　小島　徹

現代の経済活動は、ヒト、モノ、カネの３要素が複雑に絡み合って展開されている。その中でお金、正確には「信用」に関わるビジネスが金融である。その活動分野は、銀行、保険、証券と多岐にわたっている。この授業では金融ビジネスの基本的な仕組みやその分野で活躍している企業の役割について分かりやすく解説する。毎回、金融界で活躍中の第一線ビジネスマンを招き、最新の金融事情を学ぶ。

①信用 ②マーケット ③ビッグバン ④相互扶助

223135 現代経営論演習

専任講師　博士（経済学）　高橋　秀司

新技術や新製品の開発・企業間の競争・協調戦略などの範囲でゼミ生自身が決定したテーマで発表してもらいながら、卒業論文に向けて文献を輪読する。

①開発 ②競争 ③戦略

9. 初等教育学科

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
学部共通科目	心理学概説Ⅰ	古川	224001	②		②						1・2	同	◇		◇						選択必修4単位	◇		◇						選択必修4単位	開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③◎印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
	心理学概説Ⅱ	藤崎	224002		②		②					1・2	同		◇		◇							◇		◇						
	社会心理学	藤島	224003		②		②					1・2	同		◇		◇							◇		◇						
	社会福祉の歴史	月田	224004	②	②	②	②					1・2	同	◇	◇	◇	◇						◇	◇	◇	◇						
	福祉環境とボランティア	興梠	224005	②	②	②	②					1・2	同★	◇	◇	◇	◇						◇	◇	◇	◇						
	社会をみる目Ⅰ	澁澤	224006	②		②						1・2	同	◇		◇							◇		◇							
	社会をみる目Ⅱ	澁澤	224007		②		②					1・2	同		◇		◇							◇		◇						
	経済をみる目Ⅰ	小島	224008	②		②						1・2	同	◇		◇							◇		◇							
	経済をみる目Ⅱ	小島	224009		②		②					1・2	同		◇		◇							◇		◇						
学科共通科目 人間形成・教育教養	人間形成原論	桑原	224010	②		②		②		②		1	同◎	◇		◇		◇		◇		選択必修6単位	◇		◇		◇		◇		選択必修6単位	専門関連科目 (心理・福祉・現代)
	自己形成史分析	渡辺（康）	224011		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	教育哲学	宮寺	224012		②		②		②		②	1	同◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		(心理・福祉・現代)	
	教育史	宮寺	224013	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	教育社会学	冨江	224014	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	教育経営	西尾	224015		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
現代社会における教育教養	メディア教育	駒谷	224016		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇	選択必修6単位		◇		◇		◇		◇	選択必修6単位	
	多文化共生教育	爾	224017	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	人権教育	爾	224018	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	環境教育	内山	224019		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
	地域社会教育	井出	224020		②		②		②			1	◎		◇		◇		◇					◇		◇		◇				
	特別支援教育	岸本	224021	②		②		②		②		1	◎×	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			H20年度開講せず
	現代保育論	柴田（炤）	224022		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
基礎教養・技術	言語表現基礎	豊田	224023	①	①							1		◇	◇							必修2単位＋選択必修6単位	◇	◇							必修5単位＋選択必修6単位	
	数学基礎	及川	224024		①							1			◇									◇								
	科学基礎	小川（哲）	224025		①							1			◇									◇								
	社会基礎	鈴木（円）	224026		①							1			◇									◇								
	音楽基礎A（楽典）	永岡	224027	①								1		◇									◇									
	音楽基礎B（ソルフェージュ）	木間・伊藤（紗）	224028	①	①							1		◇	◇								◆	◆								
	音楽基礎C（実技）	永岡他	224029	①	①							1	同	◇	◇								◇	◇							(福祉・子ども：音楽実技)	
	身体表現基礎	伊藤（多）	224030	①								1		◇									◇									
	造形基礎	清水（満）・稲田	224031	①	①							1	同	◇	◇								◆	◇							(子ども)	
	情報機器の操作Ⅰ	松本（淳）・佐藤（喜）・鈴木（円）・中村・岸田	224032	②								1		◆									◆									
	情報機器の操作とデータ分析	佐藤（喜）	224033		①							1			◇									◇							社会調査士C	
	対人コミュニケーション	海野	224034			②						2	同			◇									□						(子ども)	
応用・発展	児童文学	豊田・平野	224035					①	①			3	同◎					◇	◇			選択必修4単位					◇	◇			必修1単位＋選択必修4単位	(子ども)
	児童文化	岩崎	224036						①			3	◎						◇									◇				
	身体表現	伊藤（多）	224037			①						2				◇									◇							

区分		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	備考 開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③◎印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦#印は一般教養にならない
学科共通科目	応用・発展	メディア表現	永岡	224038						①			3							◇			選択必修4単位						◇			必修1単位＋選択必修4単位	
		幼児体育	只野	224039					①	①			3						◇	◇								◆	◇				
		幼児音楽A	伊藤（紗）	224040			①						2				◇									□							
		幼児音楽B	木間	224041				①					2					◇									□						
		幼児造形	清水（満）	224042				①					2					◇									□						
		児童英語実践指導法	小泉（清）	224043					①	①			3	同★					◇	◇								◇	◇				（英コミ）
		幼児・児童への英語指導と教材開発	高味	224044						①			3	同						◇									◇				（英コミ）
		カウンセリング研究	岸田	224045								①	4									◇									◇		
		問題行動研究	岸田	224046								①	4									◇									◇		
		教育実践研究	松本（淳）	224047			①						2				◇									◇							
		保育実践研究	横山（文）	224048							①		4								◇									□			
	演習	教育学基礎演習Ⅰ	鈴木（円）他	224049	1	1							1		◆	◆							必修8単位	◆	◆							必修8単位	
		教育学基礎演習Ⅱ	鈴木（円）他	224050			1	1					2				◆	◆								◆	◆						
		教育学演習Ⅰ	豊田他	224051					1	1			3						◆	◆								◆	◆				
		教育学演習Ⅱ	清水（満）他	224052							1	1	4								◆	◆								◆	◆		
	卒論	卒業論文		224053							⑥		4								◆		必6							△			
小学校・幼稚園	教科	国語（書写を含む）	豊田	224054				②					2					◇					選択必修6単位				◇					選択必修4単位	
		社会	鈴木（円）	224055				②					2					△															
		算数	及川・根上	224056			②						2				◇									◇							
		理科	小川（哲）	224057			②						2	同			△																（子ども）
		生活	松本（忠）・鈴木（円）	224058			②						2				◇									◇							
		音楽	永岡	224059			②						2				◇									◇							
		図画工作	清水（満）	224060			②						2				◇									◇							
		家庭	今井	224061				②					2					△															
		体育	富本・白川（哉）	224062			②						2				◆						必2			◆						必2	
	教職	教職概論	鈴木（円）	224063	②								1		◆								必修10単位＋選択必修6単位	◆								必修14単位＋選択必修4単位	
		教育原理	押谷	224064	②								1		◆									◆									
		保育原理Ⅰ	駒谷	224065	②								1	同	◆									◆									（子ども）
		保育原理Ⅱ	駒谷	224066		②							1			◇									◆								
		教育法規	入澤	224067						②			3	同						◇									◇				（学部教職）
		教育行政学	桑原	224068								②	4									◆									◆		
		教育評価	岸田	224069							②		4								◇									◇			
		教育心理学Ⅰ	中村（徳）	224070		②							1			◆									◆								
		教育心理学Ⅱ	中村（徳）	224071			②						2	同			◇									□							（子ども）
		発達心理学	石井（正）	224072	②								1		◇									◆									
		乳幼児心理学	石井（正）	224073			②						2				◇									□							
		学級経営研究	岸田	224074					②				3						◇									◇					
		教育統計基礎	中村（徳）	224075		②							1			◇									◇								社会調査士D
		特別支援教育論	岸本	224076						②			3	同						◇									◇				（子ども：特別支援教育）H20年度に「心身障害教育」から名称変更

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	備考
					単位		単位		単位		単位				単位		単位		単位		単位			単位		単位		単位		単位			
小学校・幼稚園	教職	小学校教育課程論	村越	224077					②				3						◆				必修44単位									開設単位： ①無印は必修科目 ②△印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③◎印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
		国語科教育法	平野	224078					②				3						◆													
		社会科教育法	鈴木（円）	224079					②				3						◆													
		算数科教育法	廣田	224080					②				3						◆													
		理科教育法	小川（哲）	224081					②				3						◆													
		生活科教育法	松本（忠）	224082				②					2					◆														
		音楽科教育法	木間	224083				②					2					◆														
		図工科教育法	清水（満）	224084				②					2					◆														
		家庭科教育法	今井	224085				②					2					◆														
		体育科教育法	富本	224086				②					2					◆														
		道徳教育研究	押谷	224087				②					2					◆														
		特別活動研究	岸田	224088				②					2					◆														
		教育の方法と技術	駒谷	224089				②					2	同				◆								◆					必修20単位	（子ども）
		幼稚園教育課程論	駒谷	224090						②			3							◆								◆				
		人間関係指導法	丹野	224091		②							1			◆								◆								
		環境指導法	横山（文）	224092		②							1			◆								◆								
		健康指導法	熊澤	224093			②						2				◆								◆							
		言葉指導法	岩崎	224094			②						2				◆								◆							
		表現指導法	永岡・稲田	224095				②					2	同				◆									◆					（子ども）
		生徒・進路指導の研究	岸田	224096								②	4	同								◆										（子ども）
		教育相談の研究	石井（正）	224097					②				3						◆									◆				
		幼児理解の研究	石井（正）	224098			②						2				◆								◆							
		保育内容総論	近内	224099						②			4							◇			選択必修8単位							◆		
		国語科教育法演習	平野	224100						①			3							◇												
		社会科教育法演習	鈴木（円）	224101						①			3							◇												
		算数科教育法演習	及川	224102						①			3							◇												
		理科教育法演習	小川（哲）	224103						①			3							◇												
		生活科教育法演習	松本（忠）	224104					①				3						◇													
		音楽科教育法演習	木間	224105					①				3						◇													
		図工科教育法演習	清水（満）	224106					①				3						◇													
		家庭科教育法演習	今井	224107					①				3	同					◇													（子ども）
		体育科教育法演習	富本	224108					①				3						◇													
		道徳教育演習	押谷	224109					①				3						◇													
		特別活動演習	岸田	224110					①				3						◇													
		人間関係指導法演習	駒谷	224111					①				3						◇									◇				選択必修3単位	
		環境指導法演習	横山（文）	224112					①				3	同					◇									◇					（子ども）
		健康指導法演習	熊澤	224113						①			3							◇									◇				
		言葉指導法演習	岩崎	224114						①			3							◇									◇				
		表現指導法演習	永岡・稲田	224115					①				3						◇									◇					

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	小学校・幼稚園 1年次 単位 後期	小学校・幼稚園 2年次 単位 前期	小学校・幼稚園 2年次 単位 後期	小学校・幼稚園 3年次 単位 前期	小学校・幼稚園 3年次 単位 後期	小学校・幼稚園 4年次 単位 前期	小学校・幼稚園 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	幼稚園・保育士 1年次 単位 後期	幼稚園・保育士 2年次 単位 前期	幼稚園・保育士 2年次 単位 後期	幼稚園・保育士 3年次 単位 前期	幼稚園・保育士 3年次 単位 後期	幼稚園・保育士 4年次 単位 前期	幼稚園・保育士 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
保育士	必修	社会福祉原論	月田	224116	②								1	同											◆								(福祉・子ども)
		社会福祉援助技術	南野	224117		②							1													◆							
		児童福祉論	爾	224118		②							1													◆							
		養護原理	高橋（久）	224119		②							1	同												◆							(子ども)
		小児保健Ⅰ	志賀	224120	②	②							1												◆	◆							
		小児保健Ⅱ	井上（玲）	224121	①								1												◆								
		小児栄養	巌迫	224122			②						2														◆					必修23単位	
		精神保健	白坂	224123				②					2	同														◆					(子ども)
		児童・家庭ソーシャルワーク	池上	224124			②						2	同													◆						(福祉・子ども)
		乳児保育	爾	224125	②								1												◆								
		障害児保育	石井（正）	224126			①						2														◆						
		養護内容	高橋（久）	224127				①					2															◆					
	選択必修	家族福祉論	天野	224128				②					2															□					
		地域福祉論	永山	224129					②				3	同															□				(福祉・子ども)
		地域施設マネジメント論	高橋（久）	224130					②				3	同															□				(福祉・子ども)
		保育行政論	柴田（炤）	224131							②		4	×																	□		H20年度開講せず
		保育環境論	柴田（炤）	224132								②	4	×																		□	H20年度開講せず
		児童館の機能と運営	針山・澤畑	224133							②		4	×																	□		H20年度開講せず
		臨床心理学	石井（正）	224134		②							1	同												□							(福祉・子ども)
		保育ソーシャルワーク	高橋（紘）	224135				②					2	同														□					(福祉・子ども)
		児童の健全育成と福祉	澤畑	224136						②			3	同															□				(子ども)
		病児保育研究	榊原	224137						②			3	同◎															□				(子ども)〈集中〉
		在宅保育研究	爾	224138								②	4	×																		□	H20年度開講せず
		レクリエーション理論	爾	224139			②						2														□						
		レクリエーション援助法	神谷	224140				②					2															□						
社会調査士	選択	社会科学と社会調査	矢野	224141			②		②				2・3	同																			(心理・福祉・現代) 社会調査士 A
		社会調査の理論と方法	大多和	224142			②		②				2・3	同																			(心理・福祉・現代) 社会調査士 B
		社会経済統計Ⅱ	矢野	224143				②		②		②	2・3・4	同																			(心理・福祉・現代) 社会調査士 E
		フィールドワークと質的分析	教員未定	224144				②		②			2・3	同																			(心理・福祉・現代) 社会調査士 F
		社会調査実習Ⅰ	濱中	224145					②		②		3・4	同																			(福祉・現代) 社会調査実習Ⅱも履修のこと 社会調査士G
		社会調査実習Ⅱ	濱中	224146						②		②	3・4	同																			(福祉・現代) 社会調査実習Ⅰも履修のこと 社会調査士G
総合演習		総合演習	鈴木（円）他	224147				②					2				◆						必2				◆				必2	
実習		介護等体験の指導	爾	224148	①								1	同	◆								必1										〔1〕(短大教職)
		教育実習の指導Ⅰ	及川・駒谷	224149				①					2				◆						必修7単位				◆				必修7単位	
		教育実習Ⅰ	及川・駒谷	224150			①						2				◆									◆							
		教育実習の指導Ⅱ	小川（哲）・横山（文）	224151							①		4	×							◆									◆		H20年度開講せず
		教育実習ⅡA	小川（哲）・横山（文）	224152							④		4	×							◆									◆		H20年度開講せず
		教育実習ⅡB	小川（哲）・横山（文）	224153							②		4	×							△											H20年度開講せず

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②□印は同系統学生履修可
③◎印は他学科生履修可
④同印は他学科同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦※印は一般教養にならない

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	履修方法（最低単位）	備考
				単位		単位		単位		単位				単位		単位		単位		単位			単位		単位		単位		単位			開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②□印は同系統学生履修可 ③△印は他学科生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
実習	保育実習の指導ⅠA	爾	224154				①					2													◆					必修6単位	
	保育実習ⅠA(保育所)	爾	224155				②					2													◆						
	保育実習の指導ⅠB	爾	224156					①				3														◆					
	保育実習ⅠB(施設)	爾	224157					②				3														◆					
	保育実習Ⅱ(保育所)	爾	224158							②		4	×									必修2							◇		H20年度開講せず
	保育実習Ⅲ（施設）	爾	224159							②		4	×																◇		H20年度開講せず
研修・実習	アメリカ初等教育演習	押谷他	224160	②		②		②		②		1	同	△		△		△		△			△		△		△		△		（子ども）
	教育現場体験(インターンシップ)	押谷他	224161					②		②		3						△		△							△		△		

◆必修，◇選択必修，△選択，□保育士固有の選択必修

1．専門関連科目の「人間形成･教育教養」科目群、「現代社会における教育教養」科目群のうち、8 単位は一般教養科目に読み替えることができる。履修時に「専門」か「一般」かを選択すること。

2．「児童英語実践指導法」「幼児・児童への英語指導と教材開発」のどちらか 1 単位は外国語単位に読み替えることができる。履修時に「専門」か「外国語」かを選択すること。

○社会調査士について　（初等教育学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、ＥとＦはどちらかひとつを選択してください。

なお､履修にあたっては､A･B 科目を履修した後にＧ科目を､C･D 科目を履修した後にＥ科目を履修してください。Ｆは履修順序に関係なく履修することができます。

ただし、３・４年生（平成 20 年度時点）に限っては、Ａ～Ｇ科目を上記の規定に関わらず履修することを認めます。

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	2・3年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	情報機器の操作とデータ分析	1年　後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	教育統計基礎	1年　後期	社会調査に必要な統計学に関する科目　＊
E	社会経済統計Ⅱ	3・4年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年　後期	

＊「社会調査士」資格取得希望者で平成 19 年度までに D 科目の「教育統計基礎」を履修した学生は、現代教養学科の「社会経済統計Ⅰ」を履修してください。（平成 19 年度までに履修した「教育統計基礎」は社会調査士の必要単位として認められません。）

授業概要

224001 心理学概説Ⅰ

教授　古川　真人

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

224002 心理学概説Ⅱ

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

心理学の各分野をなるべく偏りなく広く概説する。主要領域である、認知・記憶・学習・思考・発達・欲求・パーソナリティ・適応・対人認知・集団等に触れ、心理学の全体像を把握できるように努める。

①認知　②記憶　③思考　④欲求　⑤パーソナリティ　⑥適応

224003 社会心理学

准教授　藤島　喜嗣

社会心理学の研究領域および現代的課題について概説するとともに、研究方法も解説していく。また、各論として個人レベルから集団レベルまでの問題をとりあげながら、概念用語と理論を詳述する。

①自己　②対人認知　③対人関係　④対人相互作用　⑤集団行動　⑥集合行動

224004 社会福祉の歴史

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

グローバル化は、国境を越えた人々の移動や経済、文化の交流を活発にしている。しかし、一方で、南北の経済格差は広がり、文明の発展した諸国、経済の発展途上にある諸国は、それぞれ異なった福祉的課題をかかえている。社会福祉の歴史に学び、未来を見据える。

①慈善事業　②社会事業　③社会福祉　④社会保障　⑤相互扶助　⑥社会福祉の権利

224005 福祉環境とボランティア

非常勤講師　興梠　寛

21世紀は「ボランティアの世紀」といわれています。本講義は、グローバルな視野から、ボランティア・市民社会の理念や社会システムについて論じるとともに、未来の社会を育む“ボランティア・ネットワーキング”の可能性、それを支援するための社会政策や環境づくりなどを、多様な視点から学ぶことを目標にします。授業では、講義にとどまらず、話しあいや協働作業などをとおしたワークショップ、映像による実践の世界を探訪するなどの“参画型学習”を展開していきます。

①ボランティアの世紀　②市民社会　③ワークショップ　④参画型学習　⑤ネットワーキング

224006 社会をみる目Ⅰ　c

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①時代　②人間　③価値観

224007 社会をみる目Ⅱ　c

教授　澁澤　重和

現代社会を理解するうえで基本的な問題を取り上げて解説する。大学で学ぶうえでの知識や考え方を養い、合わせてそのような問題が持つ意味を体系的に理解できる能力を磨いてもらうこととする。

①社会　②変革　③進歩

224008 経済をみる目Ⅰ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

224009 経済をみる目Ⅱ

教授　小島　徹

現代社会はすぐれて経済社会である。歴史的社会的な視点を重視しながら、『鳥の目』（マクロ）と『虫の目』（ミクロ）の二つの目で現代経済の実態を浮き彫りにして、経済を見る目を養う。経済の基礎知識を身につける。

①景気　②GDP　③国際収支　④比較優位　⑤財政　⑥高度経済成長

224010 人間形成原論

特任教授　桑原　敏明

教育学の基礎として、人間性・教育・学校教育の構造原理について講義する。

①人間　②教育　③生きる力　④脳科学

224011 自己形成史分析

非常勤講師　渡辺　康麿

現代日本人の自己形成を解明することを目ざしている。今、私たち日本人は、自然環境や社会制度や文化規範の激しい変化に直面し、自己評価の危機に陥っている。このような自己評価不安を克服する道を模索したい。

①自己　②交流　③不安

224012 教育哲学

非常勤講師　宮寺　晃夫

現代教育の分析を通して、教育の課題と本質を解明することを目的とする。そのさい、できるだけ最近の教育問題や政策課題を素材にしていく。今後の学校教育のあり方について自分自身の考え方を抱けるようにしていく。

①教育とは何か、という問い　②教育問題の分析　③教育資源の分配　④公正な教育

224013 教育史

非常勤講師　宮寺　晃夫

・近代に至るまでの西洋と日本の教育史と教育思想史を概説する。
・その上で、近代の代表的な教育思想家、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、デューイの代表的な著作を読んでいく。
・教育対象としての「子ども」観が、歴史とともにどのように変化してきたかをたどる。

歴史的な展望のもとで、教育の課題として現在何が求められているかを考えさせ、教育論文としてまとめさせる。

①教えるとは何か、という問い　②人間の発達と社会の進歩　③自由と平等

224014 教育社会学

非常勤講師　冨江　英俊

教育社会学は、学校や教育の実態をとらえる学問である。あるべき教育の姿や教師像、あるべき教育実践を考えるにあたって、その前提として、実態をとらえることは非常に重要だと考える。この授業では、社会学の理論を学んだり、近年の学校の実態を扱ったＶＴＲを視聴したりして、様々な角度からその実態をとらえていきたいと考えている。

①学校という組織のしくみ　②教師が持つ権力　③家庭・地域社会と学校

224015 教育経営

准教授　西尾　克明

学校経営学を中心に、授業経営、学級経営、学年経営、人事運営、校内教員研修等教師の力量・資質の向上、学校の自治などについて、学校の教育機能を向上させるための意思形成、組織運営の概要を学ぶ。

①学校経営　②リーダーシップ　③教師の資質・力量形成

224016 メディア教育

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

多メディア時代の子どもたちにはメディア･リテラシー(メディアの読み解き能力）が必要である。幼稚園や小学校の教育現場で活用できるメディア・リテラシーの基礎理解を理論と実践を通して深めていく。

①子どもとメディア　②メディア・リテラシー　③メディア教育

224017 多文化共生教育

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

人間の生活、思考、行動には、文化による影響を受けていることを理解する。人間の社会の基礎にある文化の重要性について理解する。そして、個々の人間の持つ文化的な背景を知り、国籍、人種、民族に目が向けられがちではあるが、それらよりも文化の持つ影響力の大きさを知り、文化が人間を理解することの基礎となることを知る。文化の違いを理解するのではなく、その文化の持つ価値を理解し、自分の持つ文化と異なる文化を尊重して、異なる文化と共生していくための教育のあり方について学ぶ。

①多文化　②異文化理解　③共生のための教育

224018 人権教育

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

人権思想の歴史、成立過程を理解して、その重要性・必要性を理解する。そして、人権が日常の人間生活の中での意義を理解する。人権が侵害されている具体的事例を通して、人権を守ことの大切さを理解して、人権侵害の要因について学ぶ。特に、人間がどのようにして偏見を学習するのかを理解し、対人関係場面における偏見の形成や行動の要因を理解する。そして、教育の影響を知り、教育を行う上での人権の尊重、また人権学習のあり方について学ぶ。

①基本的人権　②人権教育　③偏見　④いじめ問題

224019 環境教育

非常勤講師　内山　弘美

本講義では，環境問題を解決し、持続可能な社会を構築するための教育を、環境教育と定義する。環境教育の国際的動向及び日本の環境教育の歴史と現状を俯瞰した上で，初等教育の環境教育実践に資するべく、生活科・総合学習の内容を概観し、かつ体験学習を導入する。

①環境教育

224020 地域社会教育

非常勤講師　井出　一雄

現在の公立学校は、地域に開かれた学校が求められ、保護者・地域住民と一体となった教育活動が展開されている。学校と地域社会との連携・協力の在り方とともに、現在の学校教育で推進している保護者・地域住民との関わりを取り上げる。

①地域に開かれた学校　②保護者・地域住民　③地域社会・連携・協力

224022 現代保育論

非常勤講師　柴田　炤夫

大人の規範に縛られていない子どもの心は、宇宙の世界、いつでも輝いている。子どもと共に生活する保育者は、子どもの宇宙へのパスポートをもっている。幼児教育の世界を志望する皆さんは、子どもは未知の世界への冒険者です。保育の現場で、子どもと生活して学んださまざまな私の経験をこの授業で語り、話したい。目を輝かし、心も体もはずませて、授業に参加してください。

①子どもの輝き　②子どもの宇宙　③子どもはより子どもらしく

224023 言語表現基礎

講師　豊田　千明

日本語の表現様式は、多様である。聞く、話す、読む、書く面の基礎力を見直し、身につけるべき基本技について学ぶ。

①伝統文化の継承　②韻文　③散文　④眼を鍛える

224024 数学基礎

准教授　及川　芳子

小学校教員として必要な数学の基礎的・基本的学習内容を身につける。算数はできても嫌いな児童が多く、また、算数が実生活にはあまり関連がないと考える児童が多いという実態が国際学力調査から明らかになっているが、指導者たる教員が算数の楽しさや有用性を十分感得できるよう、初等数学に付いて学びなおす。

①数へのいざない　②論理の矛盾　③図形的センス

224025 科学基礎

教授 博士（教育学）　小川　哲男

小学校の理科教師として、必要な科学的知識の基礎や科学の方法の基本を学ぶ。具体的には、小学校理科の基礎となる物理・化学・生物・地学の基本的な内容を習得する。また児童の実態をもとに、理科における体験的な学習や問題解決的な学習の方法について具体的に習得する。その際、日常生活における科学、地球環境問題などについても幅広く扱い、学生が身近な自然事象に興味・関心をもち、科学に親しみ、学生自身が「理科好き」になれるよう指導する。

①「理科好き」　②自然の探究　③問題解決的学習

224026 社会基礎

准教授　鈴木　円

小学校社会科教諭にとって必要な社会科の地理・歴史・公民各分野の基礎的知識の定着をはかり，あわせて社会的事象に関する地図・統計・文献・インターネットその他各種の具体的資料を活用する技能を身につけることを通して，社会を見る目を養う。

①社会科の基礎知識　②社会科の基礎技能　③社会の見方・考え方

224027 音楽基礎 A （楽典）

教授　永岡　都

音程・音階・リズム・拍子・楽語など、記譜法と音楽理論に関する基本事項について、体系的に学習する。楽譜を正しく読むと同時に、楽譜に書かれたものが実際にどう鳴り響くのかをイメージする力を養い、的確な音楽解釈と幅広い音楽実践に役立つものとする。

①記譜法　②和声　③楽曲解釈

224028 音楽基礎 B （ソルフェージュ）

教授　博士（学術）　木間　英子
非常勤講師　伊藤　紗津貴

幼稚園・保育所や小学校の音楽指導に必要な基本的読譜力を養う。正しい音程、リズム、拍子の取り方を体得し、子どものうた、打楽器アンサンブルなどを通して、心身の発達に応じた実践的な子どもの音楽活動を支える力をつける

①音程　②リズム　③拍子　④伴奏法　⑤器楽アンサンブル　⑥コード法

224029 音楽基礎 C （実技）

教授　永岡　都
教授　博士（学術）　木間　英子
非常勤講師　伊藤　紗津貴
非常勤講師　藤田　厚生
非常勤講師　渡辺　厚
非常勤講師　木田　左和子
非常勤講師　白川　千香子
非常勤講師　柴田　民子

声楽及びピアノの実技能力を養う。各々の受講生の能力に応じて、グループまたは個人レッスンで指導を行う。

①発声法　②歌詞解釈と発音　③メロディーと伴奏　④フレージング　⑤フィンガリング　⑥音色

224030 身体表現基礎

非常勤講師　伊藤　多恵

心身を開放し、自由になった身体を使って遊ぶ事を覚える授業では、表現方法の範囲を拡げる為の身体トレーニングを行いながら、日常での人々の身体の観察と再現、自分の身体の癖やしぐさの再確認。このような作業の中から身体表現の種をみつける能力をつけてゆく。

①身体　②遊び　③観察

224031 造形基礎

教授　清水　満久
非常勤講師　稲田　大祐

多様な造形表現の基礎を学び、造形活動における実践的な表現力を身につけることを目的とする。平面・立体表現、美術・デザイン的な表現などの製作を通し、表現する喜びを味わい、造形表現の知識と技能を習得する。

①造形表現　②子どもの表現　③材料・用具・技法　④色や形の表現　⑤構成力

224032 情報機器の操作Ⅰ

准教授 佐藤 喜之
准教授 松本 淳
准教授 鈴木 円
准教授 岸田 幸弘
講師 博士（心理学） 中村 徳子

教育の情報化が進み，授業でコンピュータやインターネットを活用することが求められるようになった。そこで，授業で活用する視点を踏まえて，ワープロ，電子メール，インターネットの活用方法などについて学ぶ。

①情報リテラシー ②文書作成 ③インターネットの活用

224033 情報機器の操作とデータ分析

准教授 佐藤 喜之

計算ソフトであるエクセルの使い方を学習する。初等教育、特に小学校における授業運営に必要な表計算、グラフなどの作成法の習得を目標とする。近年、プレゼンテーションでは情報をビジュアル化し迅速に伝達する必要性が増している。そのために不可欠なソフトであるパワーポイントの基礎も学習する。

①情報リテラシー ②エクセル ③パワーポイント

224034 対人コミュニケーション

非常勤講師 海野 千細

コミュニケーションとは、それぞれの気持ちや考えなどを互いに伝え合い、理解し合うことである。的確なコミュニケーションは相互の信頼関係を深め、信頼関係の深まりは、相互のコミュニケーションをより豊かにする。信頼関係を深めるためには相手についての理解ばかりでなく、自分自身についての理解も必要となる。日常の自分の在り方を振り返ることによって、コミュニケーションについての理解を深めていきたい。

①信頼関係 ②自己理解・他者理解 ③受容

224035 児童文学

講師 豊田 千明
講師 平野 晶子

童謡、絵本など子どもの出発期の文学からはじまり、小学校低、高学年向けまでの児童文学の諸作品を味読して、児童文学の特性を学ぶ。やがて初等教育に携わる専門家として大切な領域である児童文学を内外から見る眼を養う。

①児童文学とはなにか ②「物語」の外にあるもの ③読み、伝えるための視点 ④ことばの幸 ⑤こころの栄養⑥美的経験

224036 児童文化

非常勤講師 岩崎 真理子

子どもを取り巻く環境そのものが児童文化である。「子ども」と「文化」をキーワードとして，自分の中の「子ども」や，今を生きている「子ども」たちへのまなざしを仲立ちとして，子どもの世界全体を，幅広く考えていく。

①子ども ②文化 ③保育 ④保育文化 ⑤児童文化財

224037 身体表現

非常勤講師 伊藤 多恵

表現方法の範囲を拡げるための身体のトレーニングを行う。遊びながらそれぞれのアプローチで身体を使った表現方法をみつけ、小作品を作り、発表する。他人の作品を鑑賞し批評を伝える。自分が興味をもつ所，それぞれの興味の違いを確認する。お互いの表現を認めた上でグループ作業を行い、作品を作って発表する。

①身体 ②遊び ③発想

224038 メディア表現

教授 永岡 都

テクノロジーの発展や国際化に伴って、音楽表現の領域やスタイルも変わりつつある。本授業では、コンピュータ支援による音楽づくりやマルチメディア作品の分析を通して、新しいメディア表現の技術と知識を音楽教育に応用し、展開する方法を研究する。

①コンピュータ・ミュージック ②マルチメディア ③音楽教育

224039 幼児体育

非常勤講師 只野 誠志

本講義は、初等教育学科の特性を考慮し、教育現場を紹介しながら、保育に役立つ実践を中心とした講義を行う。子どもの“こころ”と“からだ”を育む為の体育あそびを通して、“子ども理解と体育あそびの方法論”を学習する。

①子どもの育ちと運動 ②子どもの理解 ③子どものあそび

224040 幼児音楽 A

非常勤講師 伊藤 紗津貴

幼児の心身の発達に応じた「こどものうた」の指導法を習得する。幼児の年齢別声域・身体能力を理解し、その年齢にふさわしい曲を考察すると共に、指導法を研究する。

①年齢別のうた ②季節のうた ③行事のうた

224041 幼児音楽 B

教授 博士（学術） 木間 英子

幼児教育で行われる音楽活動の中から、主として楽器を使った活動を取り上げる。音を鳴らす、つくる、合わせるなど、楽器による音楽表現のさまざまな様態を検討する。また、指導者として習得しておくべき楽器の知識や技能、指導方法についても実践を通して学ぶ。

①楽器づくり ③器楽アンサンブル ③編曲

224042 幼児造形

教授 清水 満久

幼児の造形活動に関する理解を深めろと共に表現技能などの多様な能力を獲得することを目的とする。形や色などの構成や主体的な造形活動の内容について，講義や演習などを通して技能等の習得を図る。

①造形活動 ②遊びの中の造形 ③表現技能

224043 児童英語実践指導法

非常勤講師　小泉　清裕

小学校英語教育についての歴史的概要の認識と現状把握を行い、今後、公立小学校で実施される外国語活動に生かせる実践的な授業を行う。指導者に求められる基本的な指導法や指導技術を紹介し、その習得を目指す。さらに授業案の作成を行い、その授業案に基づいた活動を附属小学校または幼稚園で実践する。

①小学校英語　②指導法　③授業案

224044 幼児・児童への英語指導と教材開発

准教授　高味　み鈴

この授業では、幼少期の子どもたちの特徴を把握し、英語に対するモーティベーションを高めることを目的とした教材・活動作りや授業運営に関連する事項を学び、学期末には子どもたちを教える実習を行なう。

① Creativity　② Motivation　③ Fun

224045 カウンセリング研究

准教授　岸田　幸弘

カウンセリングの基礎理論と面接技法について研究する。文献研究とともに演習やグループワークを通て、カウンセリングの実際を体験する。また、学校教育への応用等について研究する。

①カウンセリング理論　②面接の技法　③グループワーク

224046 問題行動研究

准教授　岸田　幸弘

子どもの問題行動の実態やその要因，解決に向けてのプロセス等について研究する。いじめや不登校、暴力行為、性非行等の事例を通して、その指導・援助のあり方を研究する。

①子どもの問題行動　②いじめ・不登校　③指導援助の態勢

224047 教育実践研究

准教授　松本　淳

現代社会が抱える教育の問題群に果敢に立ち向かい、解決の道をつけていく実践力のある教師を多く輩出することを願って、人間理解や教育の根源的な探究を深めつつ、事態を光転させるための鍵は何かを共に探究する。

①人間理解　②自己変革　③愛情

224048 保育実践研究

教授　横山　文樹

幼稚園教育要領に示されている「環境を通して行う教育」について理解したうえで、「保育とは何か」「子どもの発達の援助とは」「保育方法はどうあるべきか」といった問いの中で保育のありかたを検証する。観念的にならず、保育現場で起こる様々な事例を通して、「幼児理解」という視点から分析する。特に、子どもの行動には家庭、友達、そこに至る経過などの背景があることを理解し、子どもの見方が偏ったものとならないようにする。

①保育の目的　②発達と援助　③幼児理解　④記録の 意味

224049 教育学基礎演習Ⅰ

准教授　鈴木　円
講師　石井　正子

学生各自の今までの被教育体験を振り返り、自己と学習の関係を考える重要性を知る。続いて、教育問題について、課題の発見と探求・解決法の調査と模索・結果の考察と表現の学習過程を通して、課題に取り組む必要性を学習する。教育学の入門的学習を重ね、未来の教育者としての能動的学びを体得していく。学生としてかつ将来の教育者として、多様な表現方法を体得するため、プレゼンテーション方式を採用する。各自課題に適した発表方法の模索・改良を行うことで、教授法の基礎を確立する。

①大学での学び　②論文の基本的作法　③スタディースキルズ　④課題の発見・追究　⑤調査研究　⑥プレゼンテーション

224050 教育学基礎演習Ⅱ

准教授　鈴木　円
講師　博士（心理学）　中村　徳子
講師　豊田　千明
講師　平野　晶子

教育学基礎演習Ⅰでの学習を基礎に、教育学の基礎理論を援用しながら、ディスカッションやレポートの作成を通して自己の被教育体験を一般化させることを学ぶ。また、教育・保育・子ども発達等に関する研究のさまざまな方法を知るとともに、それぞれの研究分野の過去の状況、現在の動向について概観する。さらに、研究の文献収集、調査、データ解析などの具体的な研究の基礎技術を学び、各自が設定する課題への取り組みに生かしていく。

①研究の方法　②研究計画　③プレゼンテーションとディスカッション

224051 教育学演習Ⅰ

講師　豊田　千明　他

卒業論文を目標に、各自の研究の方向性を定めることを目途とする。各教員の専門領域の中からグループによる指導を受ける。一般的な研究の手法を、選択した分野の研究傾向に合わせて工夫し、研究のスタイルを確立する。

①教育研究の方法　②研究テーマの設定と展開　③発表と討議

224052 教育学演習Ⅱ

教授　清水　満久　他

教育学演習Ⅰにおいて選択した分野について、継続して研究を深める。この研究を卒業論文の研究テーマとして、研究内容に則して確立した研究スタイルに基づいて進める。また、論述の書法などを学び、論文執筆に必要となる論述の能力を身に付ける。

①研究調査・資料分析　②発表・討議　③論文作成の能力

224054 国語 （書写を含む）

講師 豊田 千明

国語は、すべての教育活動の基本である。国語に関する基礎的知識を深め、現今の国語問題、国語教育について考える力、技能、態度を養う。将来初等教育に携わる者にふさわしい国語力を磨き、より文化的な言語生活を送ることを目指す。

①文字 ②語彙 ③ことば遣い

224055 社会

准教授 鈴木 円

小学校社会科の基本である「調べて考える」学習の方法を諸外国の社会科系教科の手法などを参考にしながら学ぶとともに，学習指導要領に基づく具体的な課題検討を行い，小学校教諭として必要な社会科の基礎的･基本的学習内容についての理解を深める。

①調べて考える社会科 ②社会科の学習理論 ③社会科の学習内容

224056 算数

准教授 及川 芳子
非常勤講師 根上 生也

社会が期待する算数教育のあり方や先進的な数学教育の考え方を知るとともに、算数という教科において指導すべき内容となぜそれを指導するのかという理念を理解して、その指導実践の方法を学ぶ。

①数学的考え方 ②算数的活動 ③新しい学力観

224057 理科

教授 博士（教育学） 小川 哲男

理科教育をめぐる現状や児童の実態に触れ、理科教育が人間形成に果たす役割について考える。また、小学校理科の目標と各区分の内容を構造的にとらえ、児童の自然認識の形成を図る基本的な指導法を習得する。具体的には、①学習指導要領理科の目標②小学校理科の内容の構成③各学年の理科の目標と内容④指導計画作成の配慮事項⑤視察・実験上の事故防止と安全管理・安全指導⑥学習指導の作成の方法と実際⑦授業展開の基本等について習得する。特に、事故発生時の対応についても的確に指導する。

①理科嫌い ②理科教育の目的・内容 ③自然認識

224058 生活

非常勤講師 松本 忠史
准教授 鈴木 円

生活科が創設された意義や特質を理解するとともに、具体的な活動や体験を重視した多様な学習活動のあり方、低学年児童の身近な生活環境の中からの課題選択、新しい指導観に基づく指導技術及び適切な評価のあり方等について学び実践的指導力を身に付ける。

①生活科の意義 ②子どもの学び ③新しい指導観

224059 音楽

教授 永岡 都

小学校教員として必要な音楽の基礎知識を身につけるとともに、教育現場で必要とされる様々な実技能力や創作表現の力も養う。音楽史や楽器学の基本事項を体系的に学習する他、簡単な楽器の制作、音環境の調査など実践的な活動にも取り組む。

①音楽史 ②楽器学 ③音環境

224060 図画工作

教授 清水 満久

小学校図画工作の内容について、学習指導要領や教科書等に基づいて、題材の設定及び表現内容等に基づく材料・用具等の選択方法などについて具体的に学ぶことを目的とする。児童の造形表現の特性及び題材の具体的内容について題材例や材料に基づいた実践的な表現活動などをとおして理解する。

①子供の表現特性 ②題材設定 ③造形活動の材料・用具

224061 家庭

講師 今井 美樹

生命とエネルギーの再生産の場である家庭は、人間生活を支える多様な機能を持っている。時代の変遷とともに機能も変化してきたが、基本的な家庭の機能について考察を行い家庭生活運営の能力を養う。

①家庭の機能 ②人間形成 ③家庭生活の運営

224062 体育

准教授 博士（学術） 白川 哉子

小学校あるいは幼稚園の体育を指導していくために必要な実技能力と体育全般の幅広い知識を身につける。特に、小学校の学習内容として構成されている運動領域について、基礎的な実技能力の習得に主眼をおき指導する。

①基本の運動 ②水泳 ③体つくり運動 ④ゲーム ⑤ボール運動 ⑥陸上運動

224063 教職概論

准教授 鈴木 円

教職の意義、教員の役割、職務内容等に関する理解を深めることを通じ、教員を志願するものが教職に対する自らの適性を考察するとともに、教職への意欲や一体感の形成を促す観点から、指導・助言・援助を行う。具体的には、①社会の変化の中で求められる教師の資質能力②教師に求められる社会性･人間性③幼児･児童を育てる教育経営･実践的指導力④幼稚園･学校･家庭・地域との連携⑤教員としての職務内容及び服装等について、習得する。

①教職の意義 ②教員の職務内容 ③教員の在り方

224064 教育原理

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

教育の意義・目的、教育の理論、教育法規、教育行政、教育の実践等について基礎的理解を図り、今日の教育問題や学校の在り方等について考えを深められるようにする。また、現在取り組まれている教育改革の動向について、具体的な提案や取り組みを紹介しながら、諸課題に対して主体的に対応できる力を養う。さらに諸外国の教育改革の取り組みについても取り上げ、わが国の教育改革を国際的な視野から捉えられるようにする。

①人間教育の在り方　②発達と教育　③学校教育と生涯学習

224065 保育原理Ⅰ

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼児期の発達の特徴を把握し、その発達を支えるための保育方法について、幼稚園と保育者の役割を明らかにする。保育の本質を探りながら、根本となる理論や考え方を学んでいく。

①幼児の発達と理解　②保育の歴史と目的　③保育の内容

224066 保育原理Ⅱ

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼児期の発達の特徴を把握し、その発達を支えるための保育方法について、幼稚園と保育者の役割を明らかにする。保育の本質を探りながら、根本となる理論や考え方を学んでいく。

①保育の方法・環境　②保育者の専門性　③保育の今後の課題

224067 教育法規

非常勤講師　入澤　充

本講義は、子どもの未来のために教育の果たす役割と法律の関係がどのように法整備されてきているかを学び、さらにいじめ、体罰裁判等々を考察しながら教職員の法的責任について理解を深めるものとする。

①教育を受ける権利　②学校教育法　③教師の法的責任

224068 教育行政学

特任教授　桑原　敏明

現代の複雑な教育行財政の基本原理について理解を深める。特に、ジャングルのように複雑に規定されている教育関係法令を系統的に理解しながら、行政作用の結果構築される教育制度の役割や教育に対する文部科学省や教育委員会の任務を理解する。

①教育行財政　②教育法規　③教育制度

224069 教育評価

准教授　岸田　幸弘

教育評価は、教育目標と学習指導および生徒指導との三位一体の関係において成立することを研究する。その基礎理論、評価計画の作成、評価の実際、テストの作成などを実践的に研究する。

①評価理論　②評価計画と実際　③テストの作成

224070 教育心理学Ⅰ

講師　博士（心理学）　中村　徳子

保育現場における教育心理学の基本的事項を理解し、より効果的な保育を展開することを目的とする。生涯発達的観点から保育と教育の関連を理解し、一人ひとりの豊かな発達を促すための教育的対応と教育支援の能力を養成する。とくに発達と学習および動機づけについて学ぶ。

①発達　②学習　③動機づけ

224071 教育心理学Ⅱ

講師　博士（心理学）　中村　徳子

教育心理学Ⅰを踏まえて、教育現場や保育現場における心理学的法則や事実の理解を深める。一人ひとりの児童（幼児）を、身体的・知的・感情的・社会的側面から理解し、集団の中で、より効果的な個の発達・学習を促すための支援方法を育成する。

①パーソナリティー　②臨床心理学　③障害児教育

224072 発達心理学

講師　石井　正子

ヒトの誕生から死に至るまでを「発達」という視点で捉え、心身の構造や機能の変化の過程について基礎的な知識を学ぶ。また、ライフサイクルとしての発達の様相とそれぞれの発達段階ごとに達成されるべき課題、起こりうる問題の意味と対応について理解を深める。特に児童期・青年期のさまざまな体験が生涯を通じて人格発達に与え続ける影響に目を向け、人が幸福な生涯発達をとげるために必要な環境や経験、及び発達を補償する働きかけについて考える。

①発達理論　②自己概念　③対人関係

224073 乳幼児心理学

講師　石井　正子

乳幼児期は、人間の一生の中で、最も著しい成長をとげる時期であり、この時期の体験が生涯にわたって人格の形成に大きな影響を及ぼす。乳幼児は保護し、世話をする対象としてとらえがちだが、実は様々な能力を持ち、自ら環境への働きかけを積極的に行っているという事実が次々に明らかにされている。見過ごされやすい乳幼児の主体的な行動にしっかりと目を向け、人への信頼感や社会性、及び基本的生活習慣を培うために必要な保育環境や働きかけについて考えながら、この時期の発達の特徴、発達の課題について学習する。

①発達課題　②認知の発達　③社会性の発達

224074 学級経営研究

准教授　岸田　幸弘

学級は、子どもの学校生活の基盤である。そこには、学級教師の人間性が反映される。いじめ・不登校や学級崩壊等の今日的な諸問題にもふれ、望ましい学級経営の在り方を研究する。子どもが安心してすごせる学級づくりを基本とし、カウンセリングの発想を生かした教師像と学級像を研究する。

①学校生活の基盤　②学級集団のアセスメント　③カウンセリングの発想

224075 教育統計基礎

講師　博士（心理学）　中村　徳子

観察や調査などによって得られる教育に関する多くの情報を、統計的手続きを用いて的確にとらえ、そこにある問題点を見出して分析・検討を行う。個や集団の特性をいかに数学的方法で表現するかを考え、課題演習を含めながら実践的に学ぶ。

①変数と尺度水準　②記述統計　③推測統計

224076 特別支援教育論

非常勤講師　岸本　啓吉

今、心身障害教育は、特別支援教育への大きな転換期にあたり、障害のある児童・生徒のニーズに応じた適切な教育が求められている。この講義では、障害児教育の歴史や現状と課題及び具体的な指導内容について、教育現場の課題を反映させながら講義する。

①障害　②ノーマライゼーション　③個別の教育支援計画

224077 小学校教育課程論

非常勤講師　村越　正則

学校教育活動の核を成す教育課程の意義と基準を踏まえ、その編成及び実施について具体的な教育資料に基づいて究明する。また、現今の教育改革にかかわる今日的な諸課題の検討をもとに、教育課程の評価と改善の在り方を追究する。

①教育課程編成の原理　②指導計画の作成　③教育課程の評価

224078 国語科教育法

講師　平野　晶子

学習指導要領に基づき　国語科教育の方法を学ぶ。国語科の目標、各学年・各領域の目標と内容とを把握し、指導計画作成の基本方法を理解した上で、教育実習に備えた学習指導案の作成とその実践法を身につける。

①学習指導案　②教材研究　③模擬授業

224079 社会科教育法

准教授　鈴木　円

社会科教育の本質や歴史および社会科カリキュラムの現状と課題についての理解を深め，社会科の教材研究・授業開発・学習指導・評価について具体的な実践事例を通して学ぶことを通して，「自ら学び，自ら考える力」を育て，〔生きる力〕を育むための小学校社会科のあり方を考える。

①社会科教育の本質と歴史　②社会科カリキュラムの現状と課題　③社会科の授業づくり

224080 算数科教育法

非常勤講師　廣田　敬一

算数科の目標や指導内容を知らせ、その意味や意義、指導方法・評価方法などについて研究する。具体的な内容に即して、児童の思考過程を分析したり、学習上のつまずきの実態を把握してその要因を追究したりして、それに応じた指導方法について学ぶ。

①算数教育の目標と指導内容　②児童の思考過程　③つまずきと対策　④内容や実態に応じた指導法

224081 理科教育法

教授 博士（教育学）　小川　哲男

小学校理科の学習内容を理解し、児童の科学概念の形成を図る問題解決的学習や、体験的学習等の学習指導の方法とともに、観察、実験における仮説設定等の科学の方法について小学校の各区分の教材を基に習得する。具体的には学習論，教材開発、学習過程、環境の構成の工夫，評価論等である。

①科学概念の形成　②問題解決的学習　③体験的学習

224082 生活科教育法

非常勤講師　松本　忠史

児童が生活する地域環境のとらえ方や児童の発達に応じた学習活動の展開法について理解を深めるとともに、教師の役割や望ましい指導計画の作成とその計画に即した学習の指導法について修得する。

①生活科の学習　②生活科の指導計画　③生活科の評価

224083 音楽科教育法

教授　博士（学術）　木間　英子

音楽教育に関する歴史的、体系的な観点からの検討を踏まえて、現代日本の音楽科教育の目的を明らかにし、多様な音楽活動によって成り立つ学習内容の諸相を検討する。また、児童の発達段階や興味に即した教材選択、授業の構成、評価について学び、学習指導案の立案を行う。

①音楽教育思想　②音楽科カリキュラム　③表現および聴取

224084 図工科教育法

教授　清水　満久

小学校学習指導要領図画工作の理解と、それに基づいた題材開発及び具体的な学習指導方法などについて、実践的に学ぶことを目的とする。題材の開発をとおして学習指導・評価の実際について具体的に理解し、指導技術の獲得を図る。

①学習指導要領図画工作　②題材の開発　③指導計画の作成

224085 家庭科教育法

講師　今井　美樹

自立した生活者の育成を目指す家庭科教育の目標を理解し、小学校家庭科の指導力を養う。具体的には食・衣・住・環境・消費者教育等に関する基礎的な知識と技能を身につけ、よりよい家庭生活の創造性を養う。

①自立した生活者の育成　②小学校家庭科の目標　③学習指導法

224086 体育科教育法

准教授　富本　靖

目標や内容・指導計画について実際に即した具体的方策を研究する。これを基盤にして、体育科の特性に基づく授業方法を研究する。また、救急救命ライセンス取得のための講習を行う。（ライセンス取得可）

①体育科の指導計画　②教師の対応　③パソコンでのデータ処理の仕方　④教師のための医学知識

224087 道徳教育研究

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

道徳教育とは何かについて明らかにし、その重要性と今日的意義について確認する。そして、その道徳教育がわが国においてどのようになされてきたのかを、分析し、今日の道徳教育の課題と具体的取り組みについて講義する。

①人間として在り方や生き方　②道徳的価値の学習　③道徳の時間

224088 特別活動研究

准教授　岸田　幸弘

特別活動の意義や目標、実施上の課題等を考察し、その重要性を理解する。特に、各内容（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事）の特質を把握し、活動の実際例や指導案の検討、評価の在り方等を学ぶ。

①特別活動の目標　②特別活動の内容　③活動の実際例

224089 教育の方法と技術

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

学校におけるIT化が進む中で展開される学習の方法と技術について、教育メディアの活用を中心に学習を進めていく。21世紀型の「楽しくわかる授業」のあり方を探求する。

①教育の情報化　②教育メディア　③視聴覚教育・情報教育

224090 幼稚園教育課程論

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園における教育課程の意義や編成、指導計画の作成を学び、子どもの主体性を生かした保育における教育課程の在り方を探る。

①教育課程の意義　②教育課程の編成　③指導計画の作成

224091 人間関係指導法

非常勤講師　丹野　禧子

幼稚園教育要領に示された「領域」とは何かを理解する。さらに、「領域の構造」「５領域の相互の関係」について理解する。そのうえで、現代社会における人とのかかわりの希薄さということを背景に領域「人間関係」が位置づけられていることを理解する。領域「人間関係」の「ねらい」「内容」について具体的な場面を通して検討し、「人とかかわる力」を保育現場でどのように育てていくか、保育者の援助の方法はどうあるべきかを子どもの発達のプロセスとの関連から考えていく。

①現代社会と人間関係　②人間関係と発達　③人間関係と遊び

224092 環境指導法

教授　横山　文樹

幼稚園教育要領に示された「環境を通して行う教育」と領域「環境」との関連について理解する。そのうえで、学校教育の教科と幼稚園教育要領の「領域」の相違について考え、領域の意義について理解する。領域「環境」の「ねらい」「内容」を具体的な場面を通して物的環境、人的環境、自然環境という3つの視点から検討していく。特に、子どもが主体的に身近な環境にかかわり、生活に取り入れていこうとする態度を養うための環境構成のあり方や保育者の役割・援助の方法などについて事例を通して学ぶ。

①領域と環境　②子どもの発達と環境　③人的環境・物的環境

224093 健康指導法

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

基本的生活習慣の習得と子どもの健康について講義する。「心の健康と身体の健康」「安全な生活」「健康に関する諸問題」をとりあげる。健康への関心を高め、病気を予防する態度を養うための指導の実際などを解説する。

①基本的生活習慣　②健康　③安全

224094 言葉指導法

非常勤講師　岩崎　真理子

領域「言葉」を理解し、保育における望ましい「言葉」指導のあり方を学習する。まず、子どもの「言葉」の獲得の仕方を発達段階にあわせて、理解し、それにあわせた、「言葉」指導のあり方や方法を、具体的に教材を通して、学習する。

①言葉指導　②言葉の発達　③領域「言葉」

224095 表現指導法

教授　永岡　都
非常勤講師　稲田　大祐

日常生活、遊び、素材との関わりなどあらゆる場面で展開される幼児の表現活動を的確に読み取り、その育ちを支援するために、人間の様々な表現活動について理論的かつ実践的に学ぶ。想像力と創造力を高め、表現という営みをトータルな視点から捉えていく。

①総合的な活動　②幼児の表現　③表現媒体

224096 生徒・進路指導の研究

准教授　岸田　幸弘

生き方の問題を生徒指導の原理、発達的な特質、子ども理解などの面から学ぶ。特に、いじめや不登校、暴力などの問題を事例によって検討する。また、ガイダンスの機能や進路指導の在り方などについても研究する。

①生徒指導の意義　②子ども理解と問題行動

224097 教育相談の研究

講師　石井　正子

青少年が引き起こす事件や犯罪が報道されるたびに、親や教師は「なぜ」という疑問に苦しむ。不適応反応が顕在化する子どもは、発達の過程において家族や周囲の人間関係の中での何らかの葛藤をかかえてきた例が多い。カウンセリングの基礎知識を学び、事例研究や相談場面のロールプレイングを通して、悩みを抱える子どもの気持ちに気づき、「受容」し「共感」することから「なぜ」子どもたちが問題行動をとるのかを理解する。さらに、親や教師、保育者といった子どもをとりまく人々を支えるために必要な姿勢を実践的に学ぶ。

①教育相談の基本　②受容と共感　③カウンセリングの技法

224098 幼児理解の研究

講師　石井　正子

「子どもはかわいい」という固定観念だけでは、現実の子どもを理解し受容することは困難である。まずは、子どもの中にとびこみ、子どもの行動を「よく見ること」、そして子どもの発するさまざまなメッセージを「よく聴くこと」、さらに、子どもの置かれた状況からその気持ちを「よく理解すること」が大切である。ありのままの子どもの姿を、発達の主体として受けとめ、特に、遊びの中で見せる様子から、何を感じ、思考し、創造するのかをとらえることにより、子どもの内面に共感することを学ぶ。

①幼児期　②研究的態度　③体験的理解

224099 保育内容総論

非常勤講師　近内　愛子

保育の目的を達成するためには、どのような内容をどのような方法を通して行うのか、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づいて総合的に学習する。乳幼児期の特性を踏まえた幼稚園教育や保育所保育の基本について学び、保育内容とその展開、また、その際の保育者のあり方について理解する。また、保育に内容の具体化としての保育計画（教育課程）、指導計画について、その意義や実際にどのように作成するのか学ぶ。

①保育内容　②保育の基本　③保育の計画　④保育者

224100 国語科教育法演習

講師　平野　晶子

国語科教育の方法を演習形式で身につける。学習指導要領に基づき、各学年・各領域の目標と内容に沿って、実際の教材に即した教材研究、学習指導案の作成、模擬授業等を行い、指導方法を検討していく。

①国語科における新学力観　②教材研究の方法　③模擬授業

224101 社会科教育法演習

准教授　鈴木　円

小学校社会科の既存の実践事例について授業分析を試みるとともに，自らが授業者として実際に教材研究や授業開発を行い，学習指導案を具体的に立案することを通して，よりよい社会認識や公民的資質の育成の方法について考える。

①授業分析　②授業開発　③授業実践

224102 算数科教育法演習

准教授　及川　芳子

教材開発の方法、授業構想と運営、児童の反応予想と評価についての理解を深める。その際、指導案をもとに学生による模擬授業をすることにより実際の指導技術の向上を目指す。そして、実際の教材研究、発問や児童の発言の生かし方について具体的・実証的に学ぶ。

①授業構想と運営　②反省と評価　③模擬授業

224103 理科教育法演習

教授 博士（教育学）　小川　哲男

小学校理科について体験的・問題解決的な学習の指導法の基本を学ぶ。具体的には、①指導案の作成等の授業の設計、②導入・展開・まとめの基本的な授業の実施、③知識・理解等の評価などについて、実際の授業のシミュレーションなどを通して体験的に習得する。特に、児童の科学的なものの見方や考え方を重視した授業展開の方法を考えさせ児童自らが科学概念を形成できるための教材研究・開発に重点を置き、「理科好きな子ども」を育てる方途を追求させる。

①授業設計　②評価　③教材開発研究

224104 生活科教育法演習

非常勤講師　松本　忠史

生活科の学習に関わる課題を設定し、解決に向けて研究を進める。又その研究の交流を通して生活科学習のあり方をより深く理解し、教育実践への応用発展を図る。

①具体的な体験活動　②知的な気付き　③家庭・地域社会の環境

224105 音楽科教育法演習

教授　博士（学術）　木間　英子

音楽科教育法における理解をもとに、授業構成、教材の選択や開発、指導の方法について、ワークショップや模擬授業を通して体験的に学ぶ。また、現代における音楽環境の変化や文化状況に注目することを通して、子どもと音楽との多様な関わりを見出しながら、音楽教育が果たすあらたな役割についても考えていく。

①重層的な音楽活動　②音楽文化　③授業研究

224106 図工科教育法演習

教授　清水　満久

児童一人一人の表現特性に基づいて展開される図画工作の学習指導について具体的、実践的に研究する。特に、発想、構想の能力や創造的な技能について実践事例等を基にした授業分析や題材の開発などにより指導能力の向上を図る。また、図画工作教育の変遷などについても学び、造形表現の役割等の認識を深める。

①図画工作の目標と内容　②子どもの表現特性　③題材開発と指導計画の作成

224107 家庭科教育法演習

講師　今井　美樹

家庭科教育の理念は、ひとりの人間としての自立と、共に生きる力を育むことである。この教科理念の視点から、家庭科教育の各領域の課題をあげ研究考察を行う。具体的には、家族･家庭、食生活、被服、住居、保育、消費者教育、環境教育、情報処理の指導について研究考察を行う。

①人間としての自立　②共に生きる力　③家庭科の教科理念

224108 体育科教育法演習

准教授　富本　靖

新学習指導要領が目指す体育の内容についての理解を深める。小学校の体育で学習する運動内容の全てを取り上げ、種目ごとに学年に応じた研究をする。また、教師として知っておきたい病気やけがについての医学知識を深める。

①新学習指導要領について　②体育の領域　③授業の組み立て

224109 道徳教育演習

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

戦後の道徳教育の変遷を明らかにし、道徳の時間がどのように展開されてきたのかを実践例をもとに検討する。そして、今日取り組まれている道徳の授業の代表的なものを取り上げ、実際にテーマを絞って、受講生自身が多様に構想し、指導案を創って模擬授業にも取り組む。その中で、道徳の時間で効果的な指導を行うためには、学級経営や各教科での道徳教育、家庭や地域社会との連携が重要な役割を果たすことを理解し、それらを取り入れた指導計画を作成できるようにする。

①道徳教育の変遷　②道徳の授業　③心のノート

224110 特別活動演習

准教授　岸田　幸弘

特別活動の意義や目標、歴史的変遷等を考察し、学校教育における特別活動の重要性を理解する。特に、特別活動の各内容（学級活動･児童会活動･クラブ活動･学校行事）の特質を把握する。活動の実際、指導案の検討、評価の在り方などを実践的に研究する。

①特別活動の意義　②特別活動と人間関係　③各内容の特質

224111 人間関係指導法演習

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園教育要領の領域「人間関係」の意義と「ねらい」「内容」を理解する。その上で、現代社会において希薄化する「人とかかわる力」を保育現場でどのように育成するかを検討していく。

①人間関係と発達　②人間関係を見る視点　③人間関係を育成する保育者の役割

224112 環境指導法演習

教授　横山　文樹

子どもの発達を考える時、「氏か育ちか」、つまり、「遺伝か環境か」という論争は、近年、環境の影響が大きいことが明らかにされてきた。「社会」という領域が「人間関係」と「環境」に細分化された意味は、こうした社会的な背景があることを理解する。そのうえで、子どもの発達にとって環境はどのような意味をもつか、社会環境の変化は子どもの育ちにどのような影響を及ぼしているかについて学ぶ。その場合、保育現場における環境の在り方と家庭を含めた社会環境の在り方という両面から考える。

①子どもの発達と環境②園・家庭・地域のかかわり③現代における環境の課題と子どもへの影響

224113 健康指導法演習

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

生涯を通じて、健康で安全な生活を営む基盤を形成する幼児期・学童期において、自立に向けて必要な日常生活習慣の修得は大切である。このことを認識し、子どもが健康で安全な生活と活動ができるための援助ができるための演習を行う。

①心と体の健康　②幼児期・学童期　③日常生活習慣

224114 言葉指導法演習

非常勤講師　岩崎　真理子

保育における「言葉」指導の実際について学ぶ。絵本，紙芝居，言葉あそびなど，具体的な児童文化財のあれこれの知識を深め，子どもの発達に合わせた教材の活用や，教材作りについて，できるだけ多くの体験を通して学習する。

①言葉指導　②児童文化財　③教材づくり　④体験

224115 表現指導法演習

教授　永岡　都
非常勤講師　稲田　大祐

表現指導法で学んだことを下地として、ワークショップ方式で様々な表現活動に取り組む。また、それらの課題を通して見出された保育現場での表現指導の問題点や留意点についてディスカッションを重ね、問題解決の方途を探る。

①総合的な活動　②パフォーマンス　③表現力

224116 社会福祉原論

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

現代社会における社会福祉の理念と意義について事例研究や演習形式等で授業を進める。社会福祉サービス体系と対象理解、援助の方法、福祉関係法制や財政、費用負担、諸外国の動向や専門職の内容と専門性について学ぶ。

①憲法 25 条　②人権尊重と権利擁護　③自立支援

224117 社会福祉援助技術

非常勤講師　小林　奈津子

保育実践に必要な社会福祉援助技術の展開と取り組みについて、演習形態により現場実習体験と関連させながら具体的に学習する。授業を中心に個別指導や集団指導を通して、各実践分野の特質に配慮した社会福祉援助技術実践の基礎的理解と自己覚知を深めることを促す。

①社会福祉援助技術　②保育専門職　③児童の最善の利益

224118 児童福祉論

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

現代社会における児童福祉の理念や意義と児童の成長・発達、生活実態について理解する。児童福祉関係法とサービス体系について学び、社会的背景や歴史から児童福祉の必要性を考える。

①子どもの権利に関する条約　②子育て家庭支援　③社会的養護　④自立支援

224119 養護原理

准教授　高橋　久雄

今日、社会的養護は、要保護児童対策としてのみならず家族をもった児童をも対象として展開される必要に迫られている。その背景には、家族と児童をめぐる複雑な問題がある。本講義では、現代社会における子育て支援、自立支援の方法としての新たな児童養護を考える。

①子どもの権利擁護　②自立支援　③児童虐待

224120 小児保健Ⅰ

教授　志賀　清悟

小児福祉や保育など医療関連領域を目指す人々が、こどもの発育発達と健康や疾病の関わりについて学ぶことを目的とする。

①小児の特徴　②小児の発育発達　③母子保健　④こどもの病気

224121 小児保健Ⅱ

非常勤講師　井上　玲子

小児の健全な成長発達を理解するための実践能力を身につける。小児特有の疾患や不慮の事故に伴う看護・養護の技術を習得する。小児が健全な生活を送れるための援助技術を身につける。

①小児の成長発達　②養護　③援助技術

224122 小児栄養

准教授　蕨迫　栄美子

小児期の特徴である「発育発達」に食生活は大きな影響を及ぼしている。しかも、その人間の将来にわたる長期的かつ多面的な影響因子の1つである。この小児期の栄養に関する基本的理論を体系的に講義し、実践的な事例を通してその理解を深める。

①栄養素と食事摂取基準　②乳汁栄養と離乳　③食教育

224123 精神保健

非常勤講師　白坂　香弥

乳幼児期から思春期までの発達の様相を理解し、心身ともに健康な発達を促すかかわりを自分で考えることができるようにする。保育士の心の健康についても触れ、受講する学生自身が自分を振り返る機会を設けて、成長につながる内容にしたいと考えている。最近の保育の現場では、保護者への子育ての援助に携わる機会も増えてきており、保育における精神保健の意義は大きいといえる。

①心の健康　②問題行動③育児支援

224124 児童・家庭ソーシャルワーク

非常勤講師　池上　和子

児童と家庭を取り巻く問題を社会的養護状況に焦点をあててその現代的動向を先進諸国における子どもの時期の養育環境とその後の人生に及ぼす影響および児童福祉の課題を中心に検討する。それをふまえてわが国における社会的養護の問題を政策や制度を超えた先進諸国共通の本質的な福祉臨床的課題という新しい視点から学ぶ。

①社会的養護　②養育環境とライフ・コース　③児童虐待

224125 乳児保育

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

現在では乳児保育のニーズが高まってきている。乳児期は人間形成の基礎を培う時期である。従来は家庭で育てられてきた乳児が施設、集団の中でどうすごすことが望ましいのかとについて考察する。

①乳児　②保育　③家庭

224126 障害児保育

講師　石井　正子

児童期における様々な心身の障害に関する基本的な知識と、障害児保育を支える理念について学習する。近年「障害児」に対する様々な概念は急速に変化している。特に世界的なノーマライゼーションの推進という潮流の中で、保育の世界でもインクルーシブな保育を行うことが一般的になってきている。障害や遅れを持っている場合でも、さまざまな個性を持った一人の子どもとして理解し、はば広い視野から保育的援助をすることが障害児保育の基本であるということを具体的な保育場面に即して学んでいく。

①障害　②保育　③ノーマライゼーション

224127 養護内容

准教授　高橋　久雄

施設養護の内容について基本的理解をしビデオ等による施設養護の実際や事例により、援助の実際、ケース検討、養護計画、記録等を体験的に学ぶ。また、施設と学校や地域、関係機関、隣接領域との連携の仕方について理解する。授業全体を通し児童観と養護観を養う。

①親子関係　②子どもの成長発達　③治療的援助

224128 家族福祉論

教授　博士（学術）　天野　寛子

現代の日本社会において、子どもをもつ家族がどのような問題に直面しているか家族理解を深める。日常生活のなかでの家族支援のためのどのような資源があるのかについての基本的理解をはかる。

①家族　②家族福祉　③子育て支援

224129 地域福祉論

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

地域福祉は、21 世紀社会福祉の基本領域となる。講義では、法律、制度、サービス、システム等の面からその基本的内容を学び、加えて、在宅福祉サービス、住民参加、社会福祉協議会、地域福祉活動等の具体的内容を理解する。

①地域福祉　②住民参加　③福祉コミュニティ　④社会福祉協議会

224130 地域施設マネジメント論

准教授　高橋　久雄

社会福祉施設は、制度改革の流れのなかで、経営主体の多様化、公立から民間への移行、措置から利用へとシステムの変換が進み、併せてサービスの標準化と質の向上の課題に対し、苦情解決や第三評価、情報開示等の仕組みの導入が行われている。そして、利用者サービスのみならず地域福祉へと機能の拡大が法的にも位置づけられている。本講座では児童養護施設をモデルに、従来の実践を基礎とし職員の専門性や適正、組織のあり方、財源の確保等施設の運営と経営について課題を整理し方向性を検討していく。

①施設養護　②地域福祉　③施設運営と経営

224134 臨床心理学

講師　石井　正子

臨床心理学とは「こころの病」に取り組む学問である。「こころの病」は人間であればたいてい身体の病気になったり、怪我をしたりすることがあるのと同じように誰にでも起こりうる。まずは学生が自分自身の「こころの健康」について関心を持ち、身体とこころの密接な関係に気づき、総合的な人間の見方ができるようにしたい。さらに、どのような場合にどのような悩みやこころの問題に直面することになるのかを理解し、こころの健康の維持と回復を支える方法について学ぶ。

①心理療法　②心理査定　③不適応行動

224135 保育ソーシャルワーク

非常勤講師　高橋　紘

子育て支援を必要とする家庭への対応、および機関連携のあり方について理解する。保育とソーシャルワークとは、元来別な専門性に基づいており、保育ソーシャルワークとしてはまだ学問体系として確立してはいない。しかし、子育て環境が大きく変化し、育児不安を持つ母親、さらに子どもの問題の発見、問題を抱える親への支援活動が期待されるようになってきて、新たな保育士業務に位置づけられた。本講座では、「保育所で行なうソーシャルワーク」としてとらえ、保育所を中心とした育児に関連する個別相談に対する助言、指導、家庭支援のあり方、及びグループワークについて学習をしたい。また地域ネットワークの中で保育所がどのような役割を担うのかも学びたい。

①保育相談　②児童虐待　③子育て家庭支援

224136 児童の健全育成と福祉

非常勤講師　澤畑　勉

健全育成とは、誰にとって健全に育つという意味か考えてみる必要がある。すべての考えの中心に「子ども」が大切にされなければならない。「子どもの権利条約」「児童福祉法」の中に出してくる健全育成をもう一度見直す必要がある。「子どもの権利条約」の中で守りきれなかった課題が、福祉の諸問題を発生させている。私達の生活レベルの所で「子どもの成育を見つめていく大人達の健全な姿勢」が問われている。

①子どもが主役　②健全育成　③エンパワーメント

224137 病児保育研究

非常勤講師　榊原　洋一

保育の対象となる乳幼児は、常に健康であるわけではない。乳幼児に良く見られる疾患と慢性疾患についての基本的な医学的知識を学ぶ。

①乳幼児疾患　②慢性疾患　③病児

224139 レクリエーション理論

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

レクリエーション活動を行ったり、指導したりするにあたり、レクリエーションの基本的な理念や成立過程、歴史について学ぶ。現代社会における余暇の現状と課題について理解し、レクリエーションが持つ意義を理解する。その中で、レクリエーションが果たす社会的役割や意義について理解する。また、学校や福祉施設の中でのレクリエーションによる効果について理解し、レクリエーション援助法や実技と併せて、有効的な活用について理解する。

①レクリエーション　②余暇活動　③コミュニケーション

224140 レクリエーション援助法

非常勤講師　神谷　明宏

学校、生涯学習団体、社会福祉施設などのさまざまな場面でレクリエーション財を活用するためレクリエーション支援の理論と実技を学ぶ。

①レクリエーション　②アイスブレイク　③ゲーム・ソング・ダンス

224141 社会科学と社会調査

教授　工学博士　矢野　眞和

社会現象を説明する科学としての社会科学を位置づけ、現象を説明するために必要な「理論とデータ」の関係を踏まえて、社会調査の意義と方法を学習する。

①社会科学②社会調査③量的分析

224142 社会調査の理論と方法

非常勤講師　大多和　直樹

社会学における数量的調査の手法を学ぶ。卒論などで、自分で調査を設計し分析できることを目指し、その基礎をつくる。調査設計および実施方法に力点を置き講義を行う。調査の理論を実践の調査時の思考・感覚にむすびつけられるよう、ミニ演習（既存調査の再分析）を設ける。

①サンプリング　②ワーディング　③仮説検証

224143 社会経済統計Ⅱ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会経済統計における基礎的な多変量解析法について、その基本的考え方と主要な計量モデルを解説する。

224144 フィールドワークと質的分析

教員未定

フィールドワークと質的調査の基礎を学ぶ。観察法、フィールドノートのとり方、インタビューの技術、ライフヒストリー、理論的サンプリングといった個別技法を学び、調査計画を立案できる知識・技法を見につけることを目指す。

①質的調査　②フィールドワーク　③社会調査士資格

224145 社会調査実習Ⅰ

非常勤講師　博士（教育学）　濱中　淳子

社会調査のために必要な仮説構成、調査設計、データベース作成、分析手法、報告書作成などを実践的かつ総合的に学ぶ実習である。授業への参加を通じて、調査方法や社会学的な考え方のみならず、プロジェクトの運営方法、社会調査上の倫理問題を修得してほしい。

①社会調査　②社会統計　③教育　④家族　⑤友人関係　⑥キャリア

224146 社会調査実習Ⅱ

非常勤講師　博士（教育学）　濱中　淳子

社会調査のために必要な仮説構成、調査設計、データベース作成、分析手法、報告書作成などを実践的かつ総合的に学ぶ実習である。授業への参加を通じて、調査方法や社会学的な考え方のみならず、プロジェクトの運営方法、社会調査上の倫理問題を修得してほしい。

①社会調査　②社会統計　③教育　④家族　⑤友人関係　⑥キャリア

224147 総合演習

准教授　鈴木　　円
講師　豊田　千明
講師　平野　晶子

これからの社会、とくに教育に関する基本的な課題について、多角的に考察し、総合的、実践的に問題解決していく能力の育成を目指す。各自のテーマを設定・研究し、その研究成果の教育実践への応用・展開を検討する。

①問題意識　②調査・分析・考察　③教育への展開

224148 介護等体験の指導

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

教職免許状取得に伴い、法律で義務づけられた介護等体験の実習をするのに必要な基礎力を養う。社会福祉の目的や施設の役割、施設利用者、養護学校の機能と生徒などについて理解し、実習に対する心構えやその方法と内容について説明する。

①介護体験　②社会福祉施設　③養護学校

224149 教育実習の指導Ⅰ

准教授　及川　芳子
准教授　博士（学術）　駒谷　真美

教育実習の意義や心構えを理解し、実習の流れを把握する。幼稚園・小学校の指導計画の基礎を学び、指導案を作成する。教師としての役割と使命感を育てる。実習に向けて、教育実習調査書や日誌の意義と基本的な書き方を学ぶ。

①教育実習の意義と心構え　②教育実習の流れ把握　③幼稚園・小学校の指導計画

224150 教育実習Ⅰ

准教授　及川　芳子
准教授　博士（学術）　駒谷　真美

研修学寮周辺や都内の幼稚園･小学校において、幼児･児童の活動の様子や教師の指導・援助の実際を参観し、幼児･児童理解を深め教師の役割を考える。また、教育課題に対応したこれからの初等教育の方向性を考え、さらに、子供の変化や学び・遊びの連続性・時期に応じた保育者･教育者の適切な支援のあり方を学ぶ。

①観察・参加実習　②幼児児童の実態　③教師の役割

224154 保育実習の指導ⅠA

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

保育所における保育実習の事前・実習中・事後にわたって指導を行うことにより、実習が円滑かつ有意義に行われるよう指導を行う。事前指導では、実習の意義･目的・方法、実習施設の役割や機能を理解し、ならびに、実習生としての心構えやマナーを身につけ、実習中に必要と考えられる保育技能についての取得を計る。実習中は巡回指導を実施し、実習中の学生の諸課題について指導を行う。終了後は実習中の反省や、自己の目的の達成などを含めて、総括を行い、自己評価を行わせ、今後の課題を見出させる。

①保育実践　②保育所の役割と機能　③保育実習の準備

224155 保育実習ⅠA（保育所）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

保育所における実習。保育現場における乳幼児の生活に触れ、保育所の機能とその社会的役割をとおして、保育士の職務について学ぶ。保育士として乳幼児の保育を担うことに必要な知識の保育技術を習得すると共に、現代社会における保育のもつ意義について考える。また、養護と教育という２つの側面を踏まえた保育士の支援の実際を学ぶ。具体的には、保育計画の立案及び指導計画を実行するに際して必要な保育の日々の流れや子どもへの観察的関わりの中から得られる乳幼児の日常生活と成長、発達の実際についての理解を深める。

①保育所の機能と役割　②乳幼児保育のあり方　③保育士の業務と役割

224156 保育実習の指導ⅠB

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

居住型児童福祉施設における保育実習である保育実習ⅠBのための事前指導科目である。様々な種別に分かれる居住型児童福祉施設に実習を行うために必要な知識や、実習マナーや、実習記録の書き方、利用者の接し方など、実習を行うための最低限の知識や技術を学習する。

①児童福祉施設　②保育士　③実習事前指導

224157 保育実習ⅠB（施設）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

この科目は、保育士資格取得のための必修科目である保育実習の一部である。居住型児童福祉施設で実習を行い、居住型児童福祉施設の機能と役割、利用者の現状と課題、そして、施設保育士の職務や、役割について学ぶ。また、記録の書き方、保育計画についても学ぶ。

①保育実習　②居住型児童福祉施設　③保育士

224160 アメリカ初等教育演習

教授　博士（教育学）　押谷　由夫
准教授　松本　淳
准教授　博士（学術）　駒谷　真美
講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

アメリカ、マサチューセッツ州にある「ボストン昭和」（Showa Boston Institute for Language and Culture）で、４週間、語学研修を行いながら、アメリカの初等教育事情を学ぶ。具体的には、アメリカの教育制度などの講義と、「ボストン昭和」の敷地内に開校されているブリティッシュ・スクール（幼稚園から高等学校までの私立一環教育校）並びに、近郊の保育園･学童保育施設での現場体験を行う。

①国際体験　②アメリカの文化と教育　③日本の教育の再評価

224161 教育現場体験（インターンシップ）

教授　博士（教育学）　押谷　由夫
教授　博士（教育学）　小川　哲男
教授　清水　満久

小学校・幼稚園・保育所等における児童等の育成の実態を体験を通して学び、教職の重要性やその意義を感得し、指導者としての資質の基礎となる社会性や人間性を培うことを目的とする。教育現場体験の目的・内容等の事前学習、現場体験の実践、体験の報告書の作成・発表会等により研修する。

①現場体験　②子どもとの直接的ふれあい　③行いつつ学ぶ

10. 生活環境学科（平成20年度以降入学者用）

平成19年度以前入学者は、入学年次の便覧及び学科の指示に従うこと

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース 建築デザイングループ（JABEE）	建築学コース 建築インテリアグループ	プロダクトデザインコース	マネジメントコース 服飾デザイン	備考
1年次専門講義科目	生活科学概論	竹田・猪又・中山	231001	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎同	△A	△A	△A	△A	家政学の内容を含む（科学）［家］
	被服学概論	生活環境学科教員	231002	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	△A	△A	△A	△A	［家］
	住居学概論	生活環境学科教員	231003	②	②	②	②	②	②	②	②	1		△A	△A	△A	△A	［家］
	食物学概論（栄養学を含む）	中津川	231004	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	△A	△A	△A	△A	［家］教職資格希望者優先
	西洋美術史	木下	231005	②	②	②	②	②	②	②	②	1		△A	△A	△A	△A	
	生活福祉概論	秋山	231006	②								1	同	△A	△A	△A	△A	（福祉）「社会福祉哲学」
	基礎科学A（数学）	中山・田村・森部	231007	②								1		△S	△S	△S	△S	
	基礎科学B（力学）	佐藤（豊）・森部	231008		②							1		△S	△S	△S	△S	
	基礎科学C（物理学）	佐藤（豊）	231009	②								1		△S	△S	△S	△S	
	基礎科学D（化学）	中山	231010	②								1		△S	△S	△S	△S	
	基礎科学E（有機化学）	小原	231011	②		②						1		△S	△S	△S	△S	
	基礎科学F（科学一般）	中山	231012		②							1		△S	△S	△S	△S	
	住生活史	竹田・礒野	231013		②		②		②		②	1			◇	◇		
	造形美学	加藤	231014	②								1		△A	△A	△A	△A	
	デザイン概論	教員未定	231015	②	②	②	②					1	×	△A	△A	△A	△A	［家］
	人体表現基礎	細田	231016		②		②		②			1				◇		
	現代ファッション論	古賀	231017		②		②		②			1	専				◇	
	色彩学	谷井	231018	②		②		②		②		1・2		◇	◇	◇	◇	
2年次専門講義科目	統計学（実験計画法基礎）	猪又	231019				②		②		②	2				◇	◇	
	発想とイメージ	桃園	231020			②		②		②		2	同			◇	◇	（文化）
	機器測定法	中山	231021			②						2	専				◇	
	生体環境論	猪又	231022		②		②		②		②	2	◎			◇	◇	
	保育学（実習を含む）	熊沢	231023		②		②		②		②	2	◎					［家］
	家庭経営学	伊藤（純）	231024			②		②		②		2	◎同					［家］（科学）
	消費者経済学	宮坂	231025			②		②		②		2	◎			◇	◇	
	建築史（日本）	平井	231026			②		②		②		2	◎	◆	◇			［家］
	建築史（西洋）	堀内	231027				②		②		②	2		◆	◇			［家］
	住生活学	竹田	231028			②	②	②	②	②	②	2		◇	◇	◇		［家］
	キッチンデザイン	倉島	231029				②		②		②	2	同	◇	◇	◇		（文化）
	住居計画	金子（友美）	231030			②	②	②	②	②	②	2		◆	◇			［家］
	インテリア計画	杉浦	231031			②	②	②	②	②	②	2		◇	◇	◇		［家］
	建築構造Ⅰ	石川	231032			②		②		②		2		◆	◇			［家］
	構造力学Ⅰ及び演習	安宅・森部	231033			②	①	②	①	②	①	2		◆	◇	◇		
	家具デザイン	坂本	231034			②						2	同	◇	◇	◇		（文化）
	材料学A	安宅	231035				②		②		②	2・3	専	△B	◇	◇		［家］
	材料学B	小原	231036				②		②		②	2・3	専	△B	◇	◇	◇	［家］
	材料学C	中山	231037				②		②		②	2・3	専	△B	◇	◇	◇	［家］
	建築デザイン論	芦川	231038			②	②	②	②	②	②	2・3	同	◇	◇	◇		（福祉）（文化）（専生）
	環境工学	佐野	231039			②	②	②	②	②	②	2・3		◆	◇			
	建築材料学	安宅・中山	231040			②		②		②		2		◆	◇			［家］
	服飾史Ⅰ	安藏	231041			②		②		②		2	◎同			◇	◇	［家］（歴文）

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース 建築デザイングループ［AIBEE］	建築学コース 建築インテリアグループ	プロダクトデザインコース	マネジメントコース 服飾デザイン	備考
2年次専門講義科目	服飾史Ⅱ	安蔵	231042				②		②		②	2	◎同			◇	◇	［家］(歴文)
	被服材料学	小原	231043			②		②		②		2				◇	◇	［家］
	素材と製品の科学	角田	231044				②		②		②	2	専			◇	◇	
	繊維製品試験法	下村	231045				②		②		②	2・3					◇	
	被服構成学	猪又	231046	②		②		②		②		2	◎			◇	◇	［家］
	アパレル企画論	石垣	231047		②		②		②		②	2	◎			◇	◇	［家］
	被服整理学	下村	231048				②		②		②	2					◇	［家］
	テキスタイルデザイン論	下村	231049				②					2				◇	◇	
	ユニバーサルデザイン	猪又	231050			②						2	同			◇	◇	(福祉)
	被服衛生学	丸田	231051			②		②		②		2	同			◇	◇	［家］(専生)(文化「衣環境論」)
	工業デザイン論	篠崎	231052			②	②	②	②	②	②	2	同	◇	◇	◇	◇	(文化)
	デザインプロセス	河崎	231053			②						2				◇		
	デザインエレメント	桃園	231054				②		②			2				◇		
	情報デザイン論	藤田	231055				②		②		②	2・3				◇		
	視覚情報伝達論	河崎	231056				②					2				◇		
	人間工学	細田	231057			②						2	同	◇	◇	◇	◇	(文化)
	ヒューマンセンタードデザイン	細田	231058				②		②			2				◇		
	工芸デザイン論	谷井	231059				②					2	同		◇	◇	◇	(文化)
3年次専門講義科目	家庭科教育法A	由比	231060			②	②	②	②	②	②	2・3	同		◇	◇	◇	教職資格の取得を目指す者のみ(科学)
	家族関係論	竹田	231061			②		②		②		2・3	◎同	◇	◇		◇	［家］(科学)
	情報論同演習	佐藤(豊)	231062						②	②		3・4	★同		◇	◇	◇	［家］(科学「生活情報処理A,B」)
	西洋家具とインテリアの歴史	堀内	231063					②				3			◇	◇		
	環境心理学	友田	231064					②	②	②	②	3	同	◇	◇			［家］(科学「住居学B」)(福祉)(専生)
	環境計画	佐野	231065					②		②		3	専	◇	◇			
	家庭機械及び家庭電気	佐藤(豊)	231066						②		②	3	◎同					［家］(科学)
	居住福祉論	竹田	231067						②		②	3	同	◇	◇			(福祉)
	建築法規	稲垣	231068					②		②		3		◆	◇			
	構造力学Ⅱ及び演習	安宅	231069					②	①	②	①	3	専	◇	◇			
	建築構造Ⅱ	永坂	231070					②	②	②	②	3	専	◆	◇			
	構造設計	森部	231071					②	②			3	専	◇	◇			
	建築計画Ⅰ	芦川	231072					②		②		3	同	◆	◇			(専生)
	建築計画Ⅱ	金尾・木村	231073						②		②	3	同	◆	◇			(専生)
	構法・施工A	石川	231074					②		②		3	専	△C	◇			
	構法・施工B	小粥	231075					②		②		3	専同	△C	◇			(福祉)「構法・施工」
	生活プロダクツ概説	山崎	231076			②		②		②		2・3		◇	◇	◇	◇	
	空間企画論	田村	231077					②				3	専	△F	◇			
	空間・環境管理論	中林	231078						②			3	専		◇			
	都市計画	風見	231079						②			3	専	◆	◇			
	積算	高橋	231080						②			3	同	△F	◇			(福祉)「建築積算」
	構造デザイン論	安宅	231081					②				3	専	◇	◇			
	建築設備	佐野	231082					②	②	②	②	3・4	同	◆	◇			［家］(専生)

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース 建築デザイングループ（JABEE）	建築学コース 建築インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザイン・マネジメントコース	備考
3年次専門講義科目	都市デザイン論	金尾	231083					②		②		3・4	同	◇	◇			（福祉）（専生）
	染色理論	下村	231084			②		②		②		3	専			◇	◇	［家］
	繊維加工学	大津	231085						②		②	3	同			◇	◇	［家］（専生）
	ファッション商品論	柳原	231086						②		②	3				◇	◇	
	プロダクトデザイン論	加藤	231087				②		②		②	3	専			◇		
	服飾デザイン	石垣	231088					②		②		3	専				◇	［家］
	被服造形科学	角田	231089					②		②		3	同				◇	［家］（専生）
	マーケティング論	江戸	231090					②		②		3				◇	◇	
	ベーシックプレゼンテーション	桃園	231091						②			3				◇		
	デザインマネジメント	細田	231092						②			3			◇	◇	◇	
4年次専門講義科目	デザイン計画特講A	生活環境学科教員	231093					②	②	②	②	3・4	×	◇	◇	◇	◇	奇数年度開講
	デザイン計画特講B	生活環境学科教員	231094					②	②	②	②	3・4		◇	◇	◇	◇	偶数年度開講
	消費生活論	陸川	231095							②		4	◎専				◇	
	消費科学	高見	231096								②	4	専				◇	
	造園	阿部	231097							②		4	専	◇	◇	◇		
	建築史特講（日本建築の特質）	平井	231098				②		②		②	4	同		◇	◇		（専生）
	近代建築史	堀内	231099					②		②		4	同	◇	◇			（専生）
	建築士受験講座	生活環境学科教員	231100							①	①	4	同					（院科）「建築士演習」
情報論・CAD	コンピューター概論及び演習A	森部	231101	①		①						1		△E				
	コンピューター概論及び演習B	細田	231102	①		①						1		△E				
	デジタルグラフィック	風袋	231103		①							1				◇	◇	
	CAD I	金尾・金子（友美）・鶴田・田村・森部	231104		①							1		△E				
	CAD II	金尾・金子（友美）・鶴田・田村・森部	231105			①						2		△E				
	CADプレゼンテーション	友田	231106				①	①				2・3	★					
	CG概論	佐藤（豊）	231107			②		②				2・3				◇		
	CG（2D）	金子（友美）	231108	①	①	①	①					2	★					
	CG（3D）	細田	231109				②		②		②	3				◇		〔4〕
	ファッションコンピューター演習I	小林	231110			①		①		①		2・3				◇	◇	
	ファッションコンピューター演習II	石垣	231111						②		②	3					◇	〔4〕
デザイン関係演習科目	デッサンI	橋本（圭也）・武田	231112	①	①	①	①	①	①	①	①	1	★		◇	◇	◇	
	デッサンII	橋本（圭也）・武田	231113		①		①		①		①	1			◇	◇	◇	
	意匠学	橋本（圭也）	231114	①	①	①	①	①	①	①	①	1	★			◇		
	デザイン基礎	生活環境学科教員	231115	②								1						〔4〕
	造形基礎	生活環境学科教員	231116		②							1						〔4〕
	製図基礎	生活環境学科教員	231117		②							1		◆	◇			〔4〕［家］
	基礎表現	加藤	231118		①							1				◇	◇	
	被服学実習－教職－	角田	231119				②					2	同					〔4〕［家］（科学「被服学及び実習」）、服飾コース不可
	色彩学演習	谷井	231120		①		①		①		①	1・2			◇	◇	◇	
	デザイン画描法	穂積	231121			②	②	②	②	②	②	2	◎		◇	◆	◇	〔4〕［家］
	設計製図－教職－	番場	231122	①		①		①		①		2	◎同					［家］（科学「住居学演習A」）、建築学コース不可
	構造デザイン演習	安宅	231123				①					2		◇	◇			

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース 建築デザイングループ（AABEE）	建築学コース 建築インテリアグループ	プロダクトデザインコース	マネジメントコース 服飾デザイン	備考
デザイン関係演習科目	設計製図Ⅰ1	生活環境学科教員	231124			②						2		◆	◇	◇		〔4〕[家]
	設計製図Ⅰ2	生活環境学科教員	231125				②					2		◆	◇	◇		〔4〕[家]
	設計製図Ⅱ1	生活環境学科教員	231126					②				3	同	◆	◇	◇		〔4〕[家](専生)
	設計製図Ⅱ2	生活環境学科教員	231127						②			3	同	◆	◇	◇		〔4〕[家](専生)
	設計製図Ⅲ	生活環境学科教員	231128							②		4		◇				〔4〕[家]
	造形デザイン演習Ⅰ1	生活環境学科教員	231129			②		②				2			◇	◆	◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅰ2	生活環境学科教員	231130				②		②			2			◇	◆	◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅱ1	生活環境学科教員	231131					②		②		3	専		◇	◆	◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅱ2	生活環境学科教員	231132						②		②	3	専		◇	◆	◇	〔4〕[家]、注参照
	服飾DM総合演習Ⅰ	生活環境学科教員	231133				①					2					◇	集中、注参照
	服飾DM総合演習Ⅱ	生活環境学科教員	231134					①				3					◇	集中、注参照
	コミュニケーションデザイン	生活環境学科教員	231135				②		②			3				◇		〔4〕
	造形デザイン演習Ⅲ	生活環境学科教員	231136							②		4						〔4〕[家]
	プロダクトデザイン演習	加藤・河崎・藤田	231137								①	4				◇		
	デザイン演習	生活環境学科教員	231138	①		①		①		①		−		◇				研修旅行
	デザイン実務演習Ⅰ	生活環境学科教員	231139			②		②		②		2・3		◇				
実験実習科目	造形材料学実験	小原・金井	231140				②		②		②	2					◇	〔4〕[家]
	調理実習	小田	231141				②		②		②	2・3						〔4〕[家]
	衣料鑑別実験	下村	231142					②				3					◇	〔4〕[家]
	被服整理学実験	下村	231143					①				3	専				◇	[家]
	染色加工実験	下村	231144						①			3				◇	◇	[家]
	建築学実験A	佐野・山口	231145						②			3		△D	◇			〔4〕
	建築学実験B	中山	231146						②			3		△D	◇			〔4〕
	建築学実験C	教員未定	231147						②			3	×	△D	◇			〔4〕
	建築学実験D	森部	231148						②			3		△D	◇			〔4〕
	測量	藤沼	231149						②	②	②	3・4	★	△D	◇			〔4〕
	衣料管理実習	角田・下村	231150							①		4					◇	校外実習、衣料管理士希望者のみ
卒業研究関連演習科目	モードデザイン演習	石垣	231151							①	①	4			△K	△K	△K	
	被服人間工学演習	猪又	231152							①	①	4			△K	△K	△K	
	染色・整理学演習	下村	231153							①	①	4			△K	△K	△K	
	服飾造形演習	谷井	231154							①	①	4			△K	△K	△K	
	被服加工学演習	角田	231155							①	①	4			△K	△K	△K	
	繊維材料学演習	小原	231156							①	①	4			△K	△K	△K	
	造形計画演習	芦川	231157							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	空間構造演習	安宅	231158							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	都市環境学演習	金尾	231159							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	建築デザイン演習	金子（友美）	231160							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	機能図形情報学演習	佐藤（豊）	231161							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	環境計画演習	佐野	231162							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	空間デザイン演習	杉浦	231163							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	住生活学演習	竹田	231164							①	①	4		△K	△K	△K	△K	

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース 建築デザイングループ（JABEE）	建築学コース 建築インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
卒業研究関連演習科目	設計プロセス演習	田村	231165							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	環境心理学演習	友田	231166							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	材料・環境科学演習	中山	231167							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	建築歴史演習	堀内	231168							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	建築構造学演習	森部	231169							①	①	4		△K	△K	△K	△K	
	ライフデザイン演習	桃園	231170							①	①	4			△K	△K	△K	
	エルゴデザイン演習	細田	231171							①	①	4			△K	△K	△K	
	システムデザイン演習	教員未定	231172							①	①	4	×			△K		
	生活環境学演習	生活環境学科教員	231173							①	①	4			△K	△K	△K	
	卒業論文	生活環境学科教員	231174							⑥		4		□	□	□	□	
	卒業制作	生活環境学科教員	231175							⑥		4		□	□	□	□	
	卒業設計	生活環境学科教員	231176							⑥		4		□	□	□	□	

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

各コース・グループの学生は、卒業要件を満たすために専門科目の中から 76 単位以上を選択して履修しなければいけないが、選択にあたって各々のコース・グループの◆印の必修科目と選択必修科目の合計で 74 単位以上の専門科目を履修しなければならない。ただし､建築学コース建築デザイングループ(JABEE)の履修条件は JABEE 条件表を参照のこと。
選択必修条件は、◇印の選択必修科目のほかに、コース・グループごとに以下の単位を選択し履修すること。
(全コース対象)
・△Ａ印専門科目の中から 12 単位（但し 12 単位数を超えて履修した分に関しては 74 単位に含めない)、△Ｋ印専門科目の中から 2 単位、□印専門科目の中から 6 単位。以上計 20 単位を 74 単位の中に含んで履修する。
・△Ｓ印専門科目の「基礎科学Ａ～Ｆ」の中から 4 単位以上履修すること。△Ｓ印専門科目は教養科目として登録すること。建築学コースは「基礎科学Ｂ(力学)」を履修すること。
(建築学コース)
・「卒業設計」、または「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
　a.「設計製図Ⅰ」もしくは「造形デザイン演習Ⅰ」前後期 4 単位、「設計製図Ⅱ」もしくは「造形デザイン演習Ⅱ」前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
　b.「設計製図Ⅲ」あるいは「造形デザイン演習Ⅲ」のいずれかを 2 単位履修。
・ＪＡＢＥＥ認定の科目は建築学コース建築デザイングループ（JABEE）に所属し、このグループ欄の条件に従うこと。(ただし詳細は別表（技術者認定プログラム条件表）に従うこと)
　△Ｂ～△Ｆ：JABEE 条件である。技術者認定プログラム条件表参照。
(プロダクトデザインコース)
・「造形デザイン演習Ⅰ」及び「造形デザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「造形デザイン演習（プロダクトＢ)」を履修すること。
・「卒業制作」を履修する場合は、「造形デザイン演習Ⅰ（プロダクトＡ)」・「造形デザイン演習Ⅱ（プロダクトＡ)」、「造形デザイン演習Ⅲ」および「プロダクトデザイン演習」を履修すること。
(服飾デザインマネジメントコース)
・「造形デザイン演習Ⅰ」及び「造形デザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「造形デザイン演習（モード)」を含み計 2 科目以上履修すること。
・「服飾 DM 総合演習Ⅰ・Ⅱ」を履修すること。ただし、編入生に関しては編入学以降の適用とする。
・「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
　a.「造形デザイン演習Ⅰ」前後期 4 単位、「造形デザイン演習Ⅱ」前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
　b.「造形デザイン演習Ⅲ」を 2 単位履修。

・「製図基礎」・「造形基礎」を履修するためには「デザイン基礎」の知識が取得されていることを履修条件とする。
・「設計製図」、「造形デザイン演習」等のデザイン系の演習科目を履修するためには、「デッサン」「意匠学」「色彩学」「色彩学演習」に関する充分な知識が必要であり、2 年次以降はそれらのいずれかの知識があるものとして取り扱う。
・「設計製図Ⅰ」を履修するためには「製図基礎」の知識が、「造形デザイン演習Ⅰ」を履修するためには「造形基礎」の知識が取得されている（又は相当の学力が取得されている）ことを履修条件とする。
・「デザイン実務演習Ⅰ」の履修に当たっては、環境学科教務担当の指示に従うこと。
・教育職員免許、建築士、インテリアプランナー、JABEE、商業施設士、人間工学準専門家、衣料管理士については諸資格の記載を参照。
・各コースの欄の◆印は必修、◇印は選択必修。
・備考欄の〔4〕は 1 回の授業につき 4 時間（45 分／1 時間で計算）連続して行うものである。
・備考欄の [家] は教育職員免許（家庭）教科に関する専門科目。
・ 備考欄の（ ）内は同時開設している学科名及び科目名を表す。
・教職科目については、生活科学部生活科学科開設専門科目で互換できることがある。所属学科教務担当の指示に従うこと。
・学芸員資格については、人間文化学部歴史文化学科の指示に従うこと。
・「基礎科学Ａ～Ｆ」の履修・クラス分けに関しては、年度始めのガイダンスに従うこと。
・履修可能範囲の専印は短大専攻科履修可。

生活環境学科・環境デザイン研究専攻6年制カリキュラム（平成20年度以降入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	学年 5年次 単位 前期	学年 5年次 単位 後期	学年 6年次 単位 前期	学年 6年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築学コース	備考
4〜6年次専門講義科目	デザイン計画特講C	環境デザイン研究専攻教員	231177			②	②	②	②	5・6		●	
	環境デザイン特講	環境デザイン研究専攻教員	231178			②	②	②	②	5・6		◆	オムニバス講義科目
	建築計画研究IA	芦川	231179	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築計画研究IB	金尾	231180	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	居住様式研究I	竹田	231181	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	環境計画研究I	佐野	231182	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築構法材料研究I	安宅	231183	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	材料基礎研究IA	佐藤	231184	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	材料基礎研究IB	中山	231185	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	環境基礎学I	常喜	231186	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築史研究IA	平井	231187	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築史研究IB	堀内	231188	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築意匠研究IA	友田	231189	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築意匠研究IB	杉浦	231190	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
	建築意匠研究IC	阿部	231191	②	②	②	②	②	②	5・6		●	
その他科目	設計製図Ⅳ	環境デザイン研究専攻教員	231192			①	①	①	①	5・6		●	
	建築士演習	環境デザイン研究専攻教員	231193	①	①	①	①	①	①	4〜6	同	●	（環境）「建築士受験講座」
	デザイン実務演習Ⅱ	環境デザイン研究専攻教員	231194			②		②		5・6		●	
	環境科学演習I	環境デザイン研究専攻教員	231195			①	①			5		◆	
	環境科学演習Ⅱ	環境デザイン研究専攻教員	231196					①	①	6		◆	
	環境科学特別研究（修士論文）		231197					⑧		6		□	
	環境科学特別研究（修士設計）		231198					⑧		6		□	
	環境科学特別研究（修士制作）		231199					⑧		6		□	

備考
開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

6年制過程の学生は4年制の履修条件を満たし、かつ以下の履修条件を満足するよう履修しなければならない。
・所属するゼミの指導教員の研究科目を4単位履修すること。
・コースの欄の◆印は必修。□印専門科目の中から8単位履修すること。
・上記以外でコースの欄●印科目で14単位以上履修すること。

生活科学部生活環境学科建築学コースと生活機構研究科環境デザイン研究専攻 建築環境系研究コースの間での6年間一貫教育課程に関する規則

（趣旨）
第1条　この規則は、国際的な認証に耐え得る建築家の養成を目的とし、生活科学部生活環境学科建築学コースにおける4年間の教育に大学院生活機構研究科環境デザイン研究専攻環境系研究コースにおける2年間の研究を加えて実施する6年間一貫教育課程に関する取扱いについて定める。

（資格及び仮登録）
第1条　6年間一貫教育課程を履修することができる者は、生活科学部生活環境学科建築学コースに所属する者とし、2年次前期の大学が定める履修登録期限日までに所属学科長宛に6年間一貫教育課程の履修を申し出なければならない。（仮登録）

（本登録）
第2条　前条により仮登録した者は、4年次前期の大学院推薦入学に学科長の推薦により出願し、合格しなければならない。（本登録）

（卒業及び修了要件）
第3条　6年間一貫教育課程を修了するには、学部4年間の卒業要件及び大学院2年間の修了要件を満たさねばならない。

（6年間一貫教育履修の辞退）
第4条　仮登録をした者が本登録をせずに4年次で卒業するためには、大学が定める卒業論文提出日までに所定の辞退願を所属学科長宛に提出しなければならない。なお、大学を卒業するためには、学部4年間の卒業要件を満たさなければならない。

（5修生）
第5条　5修生が6年間一貫教育課程を履修場合は、2年次（大学1年目）で仮登録のうえ4年次(大学3年目)で早期卒業するか、5年次(大学4年目）に大学院の授業参加をして通常より1年間早く修了要件を満たすことが可能である。ただし、早期卒業する場合には規程に定める要件を満たさなければならない。

附則：この規程則は、平成18年度入学生から適用する。5修生は、18年度授業参加の学生から適用する。

授業概要

231001 生活科学概論

教授　博士（学術）　竹田　喜美子
教授　学術博士　猪又　美栄子
教授　博士（農学）　中山　栄子

生活とそれをとりまく環境を対象に、社会科学・自然科学の両面からあつかう。私たちの生活環境は大きく変化してきている。家族問題、環境問題、福祉の課題、地域の課題等について何を考え、何に対処し、いかなる問題解決をしていくべきかを探る。

①生活科学　②生活環境　③生活福祉

231002 被服学概論

常勤　生活環境学科教員

被服学の全容を理解することを目的に、まず被服の着用目的および機能について触れ、被服学の分野である被服の変遷、素材と着心地、色彩と配色、デザインと構成、取り扱い、染色などをわかりやすく解説し、被服の有効利用や在り方を考えていく。

①被服素材　②衣服デザイン　③被服の管理

231003 住居学概論

常勤　生活環境学科教員

住居学を学んでいくための指針となる基礎事項を整理し、住居史、住生活、住居計画、インテリア、設備、構造、材料、設計等に分かれたそれぞれの専門的内容をわかりやすく概説していく。

①住居史　②インテリア　③計画　④設備　⑤構造　⑥材料

231004 食物学概論（栄養学を含む）

教授　農学博士　中津川　研一

健康な食生活を営むためには，食物の成分と栄養素および体内における役割を理解することが必要である。食物に関する基礎的で幅広い知識を学び、今後の豊かな食生活を目指す。

①食品とその働き　②食品の分類　③食品中の一般成分

231005 西洋美術史

教授　木下　亮

ヨーロッパ美術の各様式上の特徴を理解し、時間的かつ空間的なコンテクストを視野に入れた作品解釈ができるようになることを目指す。また芸術家をとりまく社会的環境や制作の場、作品受容についても考察したい。

①様式　②教会　③宮廷　④サロン　⑤アカデミー　⑥前衛芸術

231006 生活福祉概論

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

人間の生活と人生の根本的な理念である幸福、愛、他者への関わり、差別、宗教などを探る。

①生活の質　②幸福　③愛

231007 基礎科学A（数学）

教授　博士（農学）　中山　栄子
講師　田村　圭介
講師　森部　康司

大学教育課程における自然科学分野の基礎として、高校であまり数学を履修しなかった、または非常に不得意であった者を対象とする。基礎的な計算力と、平面図形や微積分法等の重要な分野の基礎的知識を習得させる。

①方程式　②関数　③微分・積分

231008 基礎科学B（力学）

教授　工学博士　佐藤　豊
講師　森部　康司

本講義では、古典力学といわれるNewton力学から始まる運動現象について取り扱う。本講義では、三角関数・ベクトル・行列・行列式および微積分の基礎を理解していることを前提にすすめる。

①運動現象　②ニュートン運動の法則　③仕事とエネルギー

231009 基礎科学C（物理学）

教授　工学博士　佐藤　豊

高度に進歩した科学技術に取り囲まれて、私たちは暮らしている。多くの機械道具は中身のわからないブラックボックスとなっている。しかし、そこには自然科学の法則に基づいた原理で動作するものが存在している。この背景になる法則を考える。

①物理学　②エネルギー　③エントロピー

231010 基礎科学D（化学）

教授　博士（農学）　中山　栄子

大学教育課程における自然科学分野の基礎として、「化学」を高校課程で選択しなかった学生にも十分理解できるレベルから始めて、化学の基礎的概念と知識の取得に至らせたい。

①一般化学　②物質の構造と周期表　③物質の状態と化学変化

231011 基礎科学E（有機化学）

教授　工学博士　小原　奈津子

大学教育課程における自然科学分野の基礎として、有機化学の基礎的概念を理解し，有機化合物の構造と特性，反応に関する知識を習得する。

①炭化水素　②化学構造　③化学反応

231012 基礎科学F（科学一般）

教授　博士（農学）　中山　栄子

今まであまり自然科学に親しんでこなかった学生を対象とする。自然現象を総合的に理解し、それぞれの専門にアプローチができるように、基礎的概念を講述する。

①自然現象　②自然科学　③人間生活

231013 住生活史

教授　博士（学術）　竹田　喜美子
准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

先史、古代から近代に至る日本の住宅様式と、そこで用いられてきた家具や道具および室内意匠の変遷を明らかにするとともに、今後の住文化・生活様式のあり方を究明する。

①住宅様式　②道具・家具　③しつらい

231014 造形美学

客員教授　加藤　雄章

デザインを学ぶ導入門として、又グローバル化する社会に対するデザイナーとしての心構えを身につけるために、日本特有の文化を対象にその「用と美」について探求し、デザインを習得するための基礎とする。

①日本の文化　②観察と表現　③機能と形態

231016 人体表現基礎

講師　細田　彰一

人が使うもの、人が関わるもののデザインをしていく上で、人体の形状・動作の把握や、それを表現することは非常に重要な意味を持つ。本講義は、体表解剖学や身体運動学に基づいて、デザインに必要な人体の構造把握及び表現するための技術を身につけることを目的とする。

①解剖学　②人体の形　③人体の動き　④人間工学

231017 現代ファッション論

非常勤講師　古賀　令子

現代ファッションの特性とその変容を、ファッション・システムの進展や身体意識の変革、ストリート・ファッションの系譜など、複数の異なる視点から考察する。現代ファッション諸相の意味と背景の理解をすすめ、21 世紀のファッションの方向性を展望する手掛かりとしたい。

①ファッション　②現代　③ファッション・システム

231018 色彩学

教授　谷井　淑子

色彩の基礎知識を体系的に習得することを目標とする。色の特性や色彩調和の原理を理解し、生活空間に色彩を実践的に活用する能力を養う。カラーコーディネータ検定の基礎知識に対応する。

①色と光　②人間特性　③色彩調和

231019 統計学（実験計画法基礎）

教授　学術博士　猪又　美栄子

企業の品質管理室などの現場で必要とされる調査や実験計画に際しての統計的な考え方を講義する。データの種類や正規分布、平均値の差の検定、分散分析などを取り上げる。

①分布　②検定　③分析

231020 発想とイメージ

准教授　桃園　靖子

心の中に在る心像（イメージ）と創造的思考の展開により具象的造形に至るプロセスを、心・言葉・意味・図・感情・形態・空間を手がかりに考察し、ワークショップを交え、目に視えないかたちを記述するための方法を探る。

①意味をかたちにする　②想像と創造　③視点

231021 機器測定法

教授　博士（農学）　中山　栄子

機器測定法は材料の研究に欠くことのできないものであり、原理と機器と取り扱い、応用範囲を理解する必要がある。本講義では吸収スペクトル、クロマトグラフィー、熱分析等に関し解説する。なおこの科目は衣料管理士選択必修科目である。

①機器測定　②吸収スペクトル　③クロマトグラフィー

231022 生体環境論

教授　学術博士　猪又　美栄子

生体とその最も近い環境である衣服や空間との関係について探求する。身体寸法・動作などの人間の特性の測定・評価、それらの人間因子と身につける衣服や、椅子・机をはじめとした身近なものとの関係や、温熱環境の対応について取り上げる。

①環境　②人間因子　③生活　④人間工学

231023 保育学（実習を含む）

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

子どもの成長･発達の過程を学び､月齢に合わせた育児･保育について学習する。さらにビデオを通して子どもとのふれあいを学ぶ。子どもとのかかわりについての理論と実践を学習する。

①妊娠・出産　②乳幼児　③成長・発達

231024 家庭経営学

准教授　博士（学術）　伊藤　純

複雑化し、多様化する現代社会において一人ひとりが主体的に家庭経営に関わることが重要である。生活設計、家族、生活時間、家庭経済等を中心に学ぶが、家庭と地域社会との連携についても福祉環境的視点から学ぶ。

①生活設計　②家族　③家庭経済

231025 消費者経済学

非常勤講師　博士（学術）　宮坂　順子

現代日本の消費経済を生活者の視点で学習する。私たちを取り巻く社会経済の変化は、様々な生活問題と密接に関わっている。消費社会における生活環境の変化と問題点を家計や消費者問題から考える。

①消費者　②家計　③消費者問題

231026 建築史（日本）

特任教授　工学博士　平井　聖

日本の建築を、主として技術的な発展を通してとらえ、それによって成立する形式について考える。建物の種別によって、夫々の持つ機能とそれを実現するための架構等の技術的問題にも及ぶ。

①建築技術　②建築構造　③建築構法　④意匠

231027 建築史（西洋）

教授　工学博士　堀内　正昭

西洋建築とは、オーダーによるプロポーションと組積造による構法に裏付けられた建物であった。本講義では、様式史の時代区分に従って、古代からバロック・ロココ建築までの各様式の概念と代表的建築物を詳説していく。

①古典建築　②ロマネスク・ゴシック　③ルネサンス・バロック

231028 住生活学

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住生活学は住生活史と住生活論から成り立つ。明治以降の住空間や住生活の発展分化の系譜を整理して、歴史的発展法則を明らかにし、また現実の住生活を対象に生活と空間の不適応によって生じる問題を解明する。

①洋風住宅　②中廊下型住宅　③ＬＤＫ型住宅

231029 キッチンデザイン

非常勤講師　倉島　和弥

機能的であれば良いキッチンというわけではない。家族の健康を維持するだけでなく近年はその家のコンセプトを表現する場にもなっている。基本的なモデュールや機能、使い勝手を学びながら生活提案のできるキッチンデザインを考えていく。

①商品知識　②機能空間　③システムと生活提案

231030 住居計画

准教授　金子　友美

人が「住む」ための空間という視点から、自然や社会環境の違いによって生じる様々な住居形態を学習する。前期は住居を取り巻く環境を含め主に外部空間の構成について、後期は各住戸の内部空間の計画を中心に考える。

①独立住宅　②集合住宅　③アクセス方式　④単位空間　⑤ nLDK　⑥水まわり

231031 インテリア計画

教授　杉浦　久子

建築の内部空間を対象として建築の基本的構成方法を学び、環境と人の関係を考察してゆく。前期はインテリアや建築空間の実例を実際の街や空間体験を取材したものに解説をすることで各自が発見してゆく。後期は時間的変遷や文化の相違点から空間を考察し人と空間の意味を探る。

①建築　②インテリアデザイン　③環境特性　④建築意匠史　⑤空間構成　⑥空間体験

231032 建築構造Ⅰ

非常勤講師　工学博士　石川　廣三

わが国の建築技術の原点は木構造である。本講義では、木造戸建て住宅の構造を中心に、基礎、壁体、屋根、床、天井、開口部の各部位の躯体および仕上げ構造の原理と概要を解説する。

①木構造　②骨組構造　③建築各部位の構造

231033 構造力学Ⅰ及び演習

教授　工学博士　安宅　信行

講師　森部　康司

建築物は自重や、その他の自然から受ける外力に対しても安全でなければならない。ここでは構造物を安全に設計するための基本的な考え方について解説する。具体的には力の釣合だけで解ける静定構造物を対象にした問題を通して、力学の基礎から始める。これまで数学や物理になじみのない人にも十分理解できるように、できるだけ基礎的なものとその応用に力点をおいて講述する。

①力の釣合　②構造物の安定・不安定　③安全性　④静定構造物

231034 家具デザイン

非常勤講師　坂本　和正

家具デザインは人間の生活に何を及ぼしているかを解き明かすと同時に、インテリアデザインさらに建築デザインとの関係についても語り、生活文化のあり方を考える。

①手仕事と機械生産　②造形言語　③感性

231035 材料学Ａ

教授　工学博士　安宅　信行

「建築材料学」を履修し、建築構造材料の概略的な知識を持っていることを前提にして授業を進める。ここでは主に、建築の内・外装材料について、材料サンプルなどを実際に見たり、触りながら、また、ビデオを見て材料の理解を深めていく。

①仕上げ材　②仕上げ表　③標準仕様書

231036 材料学Ｂ

教授　工学博士　小原　奈津子

衣・住環境を構成する材料のなかで、主として有機材料の製法、構造、特性について解説する。講義のなかでは高分子科学の基礎的な理論についても講述し、高分子材料を扱い、その性能を評価するための基本となる概念と知識を把握させる。

①紙と木材　②プラスチックと繊維　③高分子科学

231037 材料学Ｃ

教授　博士（農学）　中山　栄子

主に居住環境に関わる材料について、製法･物性･機能･歴史・関連法規などについて講述する。あわせて新しい材料設計・シックハウス症候群・循環型社会における材料のあり方など、今日的話題を取り上げる。

①インテリア材料　②居住環境　③循環型社会における材料

231038 建築デザイン論

教授　工学博士　芦川　智

建築の造形表現の変遷を概観した上で、空間一般における事象の造形的表現を方法論として考えてゆく。現代の架構方法を建物種別毎に概観し、現代を支えている近代からの流れ、さらには建築史の流れの中にその源を探ってゆく。

①空間形態　②架構　③建築史　④空間造形　⑤造形表現　⑥様式史

231039 環境工学

教授　博士（工学）　佐野　武仁

太陽と地球（Biosphere）と住まいについて、前期は環境工学の基礎知識、快適性、日照・日射、採光・照明など、後期は換気と通風、建築伝熱、湿気・結露、建築音響など、建築と自然環境の関わりあいについて講義する。

①日照・日射　②気候・体感　③採光・照明　④換気と通風　⑤人間工学　⑥環境特性

231040 建築材料学

教授　工学博士　安宅　信行
教授　博士（農学）　中山　栄子

建築材料の知識なくして建築の設計は成り立たない。ここでは建築材料の概論的なことを講述し、後期の材料学A～Cの各論へつなげる。主に、建築物を構成する構造材料、木材、コンクリート、鋼材など種類、特徴、施工法などについて講述する。また、仕上げ材料の要求性能、選択基準、各材料の基本物性とそれらを用いた施工法についても一部解説する。

①構造材料　②仕上げ材　③規格　④RC　⑤SRC　⑥CFT

231041 服飾史Ⅰ

教授　安蔵　裕子

身近な日々の装いも、歴史的視野に立って捉えると、服飾という造形表現として把握することができる。その造形は、人々の生き方や態度に支えられながら時代的、社会的特色を表わし、様式美を生む。その変遷を、美術・工芸・記述資料を用い、主に日本について概観する。

①形態的変遷　②文様・色彩表現　③服制

231042 服飾史Ⅱ

教授　安蔵　裕子

服飾という造形表現を主に西欧における様式美の変遷から探訪する。美術資料、記述資料を用い、おしゃれの源である装身意志、歴史的な「衣」の特色と背景、現代の着装に生きる伝統や社会的規範などを把握してゆく。

①形態的変遷　②服飾描写　③流行

231043 被服材料学

教授　工学博士　小原　奈津子

「材料学B」で学習した材料のなかで、特に繊維材料の衣料材料としての応用分野を学習する。繊維、糸および布の組織・構造と性質について講義し、使用目的にあった被服材料を適材適所に使い分ける能力磨く。

①糸　②織物　③布の消費性能

231044 素材と製品の科学

教授　博士（学術）　角田　由美子

素材の特性を生かして製品がどのように製造されているのかを、まず各種の素材の特性から考察する。さらに皮革および毛皮製品をとりあげて講述する。製品としては靴、かばん、衣料等について、その加工方法と製品の取り扱い等について論じる。

①素材の特性　②皮革　③製品

231045 繊維製品試験法

准教授　博士（学術）　下村　久美子

繊維製品の苦情原因の科学的研究には、製品の品質評価が不可欠である。繊維製品に必要な特性は何かを学び、その特性を評価する試験法について、どのような考え方で、どのように測定するかを講義する。

①布の構造特性　②消費性能　③繊維製品の試験

231046 被服構成学

教授　学術博士　猪又　美栄子

おもに被服の設計に関わる問題を、既製服を購入する消費者の視点を取り入れて講義する。内容は、人の体つきと衣服の形、衣服の運動機能性、気候と衣服、着心地の良い衣服、アパレルの生産などである。

①体つき　②運動機能性　③着心地

231047 アパレル企画論

准教授　博士（学術）　石垣　理子

アパレル・ビジネスにおける商品企画の重要性や、実際に企画を進めるのに必要な基礎知識、技法についての理解を深める。市場の動向調査、資料の収集と分析、商品企画の実際などについて、演習を取り入れながら学んでいく。

①ファッション　②流通機構　③商品企画

231048 被服整理学

准教授　博士（学術）　下村　久美子

被服の汚れを除き整理することは、美的、保健衛生上また個人及び社会生活にも重要である。そこで、汚れ、水、洗剤、洗濯、増白、漂白、しみ抜き及び保存法など被服の合理的取り扱い方法や機構を科学的に解説する。

①被服の汚れ　②界面活性剤の作用　③洗剤の成分と作用

231049 テキスタイルデザイン論

准教授　博士（学術）　下村　久美子

身の回りのさまざまな分野でテキスタイルが利用されている。これらテキスタイルの歴史、地域性、機能、デザインや染織について知り、素材としての可能性を探求していく。

①テキスタイル　②染織　③デザイン

231050 ユニバーサルデザイン

教授　学術博士　猪又　美栄子

ユニバーサルデザインとは年齢や能力にかかわりなく、すべてのひとに適合するデザインをいいます。障害者の利便を考えたバリアフリーデザインの概念を一歩すすめた、障害のあるなしを問わず多様なニーズに対応するデザインです。使用者の心身の機能とデザインについて考えます。

①身体機能　②使いやすさ　③人間工学

231051 被服衛生学

非常勤講師　丸田　直美

人体－被服－環境系における被服の保健衛生的性能、被服による気候調節の要因、人体生理、環境の温熱因子などのほか、被服の快適性、健康性、機能性について述べる。

①人体生理　②衣服内気候　③温熱環境

231052 工業デザイン論

非常勤講師　篠崎　友保

経済、産業、生活と工業（製品）デザインの関わりや歴史などを概観した上で、製品デザインの多面的な要素、与条件に対する解決策･プロセス、マーケティング、知的財産権まで幅広く工業（製品）デザインに関する基礎知識を習得する。

①生活・道具・デザイン　②デザインの要素　③商品の企画・開発　④マーケティングデザイン　⑤これからの工業デザイン

231053 デザインプロセス

非常勤講師　河崎　清

さまざまな事例を元にデザインについてそのプロセスを学実際に検証，シュミレーションを行う。

①企画　②製品デザイン　③コーポレートデザイン

231054 デザインエレメント

准教授　桃園　靖子

自然物　人工物（有機質・無機質）など、かたちの特徴をデザインエレメントとして捉え、フローワークを行うことで、発想力を身につける。色、かたち、文字の意味を展開し、造形表現の可能性を図り、グラフィックデザインを学ぶ。

①色　②かたち　③文字　④素材

231055 情報デザイン論

非常勤講師　藤田　寿伸

デザインの役割と意味、人間の感受性に与える効果について、日本と海外の具体的なデザイン事例を通じて学び、適宜ワークショップ（実技）を通じてデザインとコミュニケーションの関係を考える。

①デザイン　②情報　③コミュニケーション　④コンテキスト

231056 視覚情報伝達論

非常勤講師　河崎　清

視覚情報はマスコミュニケーションの情報で印刷に始まり現在ではインターネットを使用した情報社会を作っている。これからの社会ではデジタル視覚情報を使う場も急激に増えてくる。本講義ではワード　イラストレータ　フォトショップを使用し主なデジタル視覚情報を実際に制作しその特徴を理解する。

①電子データ　②視覚伝達　③情報構築

231057 人間工学

講師　細田　彰一

我々が作る道具にとって、人間は必要不可欠かつ仕様変更のできない「部品」である。その意味でデザイン行為は、人間を中心としたシステム設計として考える必要がある。人間の機能を工学的な視点から把握し、人間中心のシステムを構築するのに必要な知識を身につける。

①エルゴデザイン　②経営工学　③人間中心設計　④人間工学

231058 ヒューマンセンタードデザイン

講師　細田　彰一

どのようにしたらユーザの欲するものをデザインできるのだろうか。近年、世の中のモノは複雑さを劇的に増大させており、デザイナーの業務である「モノを介したサービスや体験の提供」が非常に困難になってきている。そのため、デザイナーが効率的に設計する手法として、ヒューマンセンタードデザインが注目されている。本講義では、よりよいユーザ体験の創出のための最新かつ実用的なデザイン手法を学び、活用できるようになることを目的とする

①ユーザビリティ　②人間工学　③デザイン手法　④シナリオ

231059 工芸デザイン論

教授　谷井　淑子

工芸のデザイン要素を、機能性、装飾性の両面から考察し、工芸の特性を明らかにする。また、工芸館や美術館での見学を通して、各種の工芸技法への理解を深めるとともに、編組技法などの演習も試みる。

①生活造形　②用と美　③染織工芸

231060 家庭科教育法Ａ

特任教授　由比　ヨシ子

自立した生活者育成という家庭科教育の目標を理解し、中学校技術・家庭及び高等学校家庭科の指導力を養う。具体的には、学習指導計画作成、教材研究、評価法等の基礎的知識の修得と、指導技術を学ぶ。

①自立した生活者の育成　②家庭科教育の目標　③学習指導法　④教育実習の意義　⑤各領域の課題研究　⑥評価法

231061 家族関係論

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

変容する家族関係や家族生活を、住宅や地域という空間を通して把握する。多発する家族問題を世帯主・主婦・子ども・老人という家族の立場から論じる。さまざまな事象から「家族とは何か?」を理解する。

①家族とマイホーム　②高齢者と介護　③少年事件と間取り

231062 情報論同演習

教授　工学博士　佐藤　豊

現代社会はコンピュータの利用を前提としたデジタル情報が溢れている社会である。そのコンピュータはアナログ情報とデジタル情報を処理するための機械である。パソコンで情報を処理していく方法を、実習を通して検討していく。

①プログラミング　②情報処理　③情報表示技術

231063 西洋家具とインテリアの歴史

教授　工学博士　堀内　正昭

インテリアの構成要素として、家具の知識は不可欠である。ここでは、１５世紀のルネサンスから２０世紀のモダニズムまでの家具を通史として学ぶ。個々の家具の意匠的特徴を、それぞれの時代の室内意匠から把握することに力点を置く。

①家具　②インテリア　③様式

231064 環境心理学

教授　工学博士　友田　博通

機能からさらに快適性・文化性の問題に踏み込み、日常生活における　様々な人間行動について、人間と人間の心理・人間と空間の心理・深層心理・流行現象といった環境心理学の立場から分析し、住居を中心とする様々な生活環境の在り方を提案していく。

①住環境　②人間と人間の心理　③人間と空間の心理　④人間特性

231065 環境計画

教授　博士（工学）　佐野　武仁

環境工学の講義を受講した学生を対象に、建築計画原論の応用として、建築と光環境・空気環境・水環境・音環境・熱環境の関わりあいについて講義するほか、太陽と建築、樹木・植栽などと緑との関わりあいについて講義する。

①ガラス建築　②省エネルギー③光環境　④熱環境　⑤日射遮蔽

231066 家庭機械及び家庭電気

教授　工学博士　佐藤　豊

家庭生活では多くの機械を使っている。そのエネルギー源として電気が用いられている。安全に、効率良く機械を使用して生活するためには、電気・機械に関する知識だけでなく、エネルギーが環境に及ぼす影響をも考慮しなければならない。

①電気エネルギー　②機械と動作原理　③地球環境の悪化

231067 居住福祉論

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居は、生命の安全と健康を守り、自立と生活を支える人間生存の基本的基盤であり、福祉の基礎単位でもある。社会的弱者である高齢者・子ども・障害者を取り巻く居住環境を生活福祉の視点から明らかにし、ユニバーサルデザイン時代の居住福祉環境の醸成を追求する。

①ホームレス　②高齢者の居住環境　③ユニバーサルデザイン　⑤環境特性

231068 建築法規

非常勤講師　稲垣　道子

実務との接点であること、建築や都市計画に関するあらゆる分野が横断的に関連すること、時代の動きが反映されることの３点を教科の特徴ととらえ、法規を学ぶとともに建築や都市への理解、地域に対する関心を呼び起こし深めることをめざす。

①集団規定と単体規定　②建築確認制度　③まちづくり条例

231069 構造力学Ⅱ及び演習

教授　工学博士　安宅　信行

「構造力学Ⅰ及び演習」の前・後期の履修者を対象として、不静定構造物を対象とした解法、はりの曲げ変形や構造物の変形について説明し、構造物の変形と部材の断面力の関係を明らかにし、これを基にしたたわみ角法について解説し、演習を行う。

①不静定構造物　②たわみ角法　③節点方程式　④層方程式

231070 建築構造Ⅱ

非常勤講師　博士（工学）　永坂　具也

前期では建築物の受ける荷重・外力の算定方法および鉄筋コンクリート構造の構造原理と曲げモーメントに対する部材の設計法を解説する。後期では、同構造による部材一般の設計法を解説し、次いで、鉄骨構造の概要と構造設計上の要点を概説する。

①荷重・外力　②鉄筋コンクリート構造　③許容応力度設計法　④部材設計　⑤鉄骨構造　⑥接合法

231071 構造設計

講師　森部　康司

一見難しく考えがちな建物の構造設計を，その設計開始から終了までの要点のみを取り出し学ぶ事で，一つの完結した流れとして理解する事を目的とします。具体的には幾つかの事例を実際に概略計算しながら断面の算出等を行います。

①常時荷重　②地震力　③部材の設計　④在来木造

231072 建築計画Ⅰ

教授　工学博士　芦川　智

建築の種類別に、その建築を計画してゆく時の基礎的な条件を整理、把握し、設計をする場合に理解を深めるための科目である。建築の種類毎にⅠ,Ⅱに区分する。住環境に付随して計画される公共、文化、教育、商業施設等をあつかう。

①公共施設　②教育施設　③文化施設　④医療施設　⑤レクリエーション施設　⑥計画基礎

231073 建築計画Ⅱ

教授　博士（工学）　金尾　朗
教授　木村　信之

建築の種類別に、その建築を計画してゆく時の基礎的な条件を整理、把握し、設計をする場合に理解を深めるための科目である。建築の種類毎にI,II に区分する。住環境に付随して計画ざれる公共、文化、教育、商業施設等をあつかう。

①学校　②病院　③福祉施設　④劇場　⑤集合住宅　⑥計画基礎　⑦設計条件

231074 構法・施工A

非常勤講師　工学博士　石川　廣三

建築物を構成する部材の配置と組み合わせ、構法と、それを実現して行くプロセス、施工は不可分の関係にある。本講義では現場施工方式の建築物を中心に、生産全体の流れ、施工技術の共通事項、仮設、躯体・主要仕上げ部の構法と施工方法を論ずる。

①建築生産　②施工の共通事項　③建築構法・施工各論

231075 構法・施工B

非常勤講師　工学博士　小粥　庸夫

建築は芸術性と機能性に満ちており、大昔から人間の際立った創造物であった。構法と施工法は創造過程の基本技術であり、社会的背景、自然科学の進歩、材料特性などによって変化、発展してきた。これらのことに関して、一般的なことを平易に、具体的に解説する。

①構造体に作用する力の流れ　②構造材料別構法　③鉄筋コンクリート工事

231076 生活プロダクツ概説

非常勤講師　山崎　正人

日常生活はヒト、モノ、バが複雑に関わり成り立っている。授業では、主にデザインの視点から生活者とモノの関係（役割、影響）について、家電製品を中心に過去と現状の把握、将来のモノのあり方について概説する。

①ライフスタイル　②時間　③物欲

231077 空間企画論

講師　田村　圭介

建築プロジェクトの複雑化、大規模化、多様化が進み、建築行為自体が変化しつつある。設計条件の設定条件が困難になり、設計は建物の設計に止まらず、プロジェクトの実現、実現後の計画など、社会環境との相互調整が建物実現の命運を分ける。本講義では、社会環境のなかで都市空間及び建築がどのように作られていくべきかを諸事例をあげながら考察する。

①建築企画　②再生　③プロセス　④都市空間

231078 空間・環境管理論

非常勤講師　中林　由行

建築は、計画する⇒建設する⇒使用する⇒維持管理する⇒廃棄又は再生する、という流れをたどるが、地球環境への配慮という視点からこれを見直すと、後半の、維持管理・廃棄再生においても重要な課題があることがわかる。環境配慮の視点から、建築空間と計画から廃棄までのライフサイクルを通じた建築の新しい在り方を考え学ぶ。

①環境との共生②資源とエネルギー③維持管理④コミュニティの再生

231079 都市計画

非常勤講師　博士（工学）　風見　正三

本講義は、都市の起源から近代都市計画の発展過程を理解するとともに、都市の機能や役割を踏まえた上で、「持続可能な都市」の実現に向けた方策や可能性について学んでいく。なお、各回の講義では、簡単な「講義レポート」の作成し、意見交換を行うとともに、それらをとりまとめて、「期末レポート」の作成を行う。期末レポートでは、新たな都市の将来像を提示しながら、都市の抱える課題に対して、各個人がどのような行動を具体的に起こしていくことができるのかについての提案をまとめ、これからの自らの専門研究の方向性や卒業後の進路を考える指針とする。

①都市と計画の歴史と展望　②持続可能な都市　③市民参加のまちづくり

231080 積算

非常勤講師　高橋　照男

建築士としてはコストを知らなければならないので、その最低の知識と素養が身につけられるようにする。具体的な積算手法の基礎を学ぶ。

①工事請負契約　②建築数量積算　②建築工事内訳書

231081 構造デザイン論

教授　工学博士　　安宅　信行

建築は彫刻などと異なり、内部に人間が生活する空間がある。そのため、建築には内部空間を確保する技術的な方法と同時に、内部および外部から見られる造形的な美しさが求められる。この他、経済性も大きな要因として加わってくる。ここでは、人類がこれまで手に入れてきた各種架構法について、その特質を講述し、あわせて、各種模型を制作する中でその特質を体験的に理解できるようにしている。

①模型　②木造軸組　③RC構造

231082 建築設備

教授　博士（工学）　　佐野　武仁

建物が完成し使用が始まると、建築設備の内容によって建物使用時の快適性は変わる。前期は、水を主体とした給排水衛生設備および空調設備の熱負荷計算までを、後期は、空調設備のダクト以降終わりまでと、照明・動力などの電気設備について講義する。

①設備のシステムデザイン　②給排水・給湯・衛生器具　③空気環境　④電気設備　⑤照明と光環境　⑥情報通信技術

231083 都市デザイン論

教授　博士（工学）　　金尾　朗

現代における都市空間及びそこにおけるデザイン行為、計画、様々な議論等について紹介、考察し、現在の都市における多様な状況、環境等について考えていく。

①建築と都市　②都市空間　③分析

231084 染色理論

准教授　博士（学術）　　下村　久美子

衣料管理士を含む、繊維に関する専門職を目指す学生を対象に、繊維と染料の相互作用、染料の種類と特性、助剤の種類と作用、染色方法、染色堅ろう度、測色など基本的な知識を解説し応用への基礎とする。

①繊維と染料の結合力　②染色速度　③吸収スペクトル

231085 繊維加工学

教授　博士（学術）　　大津　玉子

繊維を改質し機能性を向上させて付加価値を高めるために、繊維製品には各種の加工が施されている。主な加工法とその原理、各種の加工とそれに使用される加工剤、加工による効果を中心に解説する。

①物理的加工　②化学的加工　③樹脂加工

231086 ファッション商品論

非常勤講師　　柳原　美紗子

現在では、菓子類や日用品から住居に至るまで、あらゆる商品がファッション化していると言ってよい。こうしたファッション商品の特性を、もっとも典型的なアパレル商品を中心に考察し、併せてアパレル産業や商品市場に関する基礎知識や市場特性を学び、今後の新しい視点や概念を展望する。

①ファッション　②ファッションビジネス　③商品知識

231087 プロダクトデザイン論

客員教授　　加藤　雄章

プロダクトデザインとは、生活者の視点から生活環境を観察して様々な問題点を抽出し、その解決策をより生活を快適にするべく生産者を通して社会に提案する職能であり、デザインに必要な心の姿勢と作法及び技法を学ぶ。

①観察と解析　②発想と表現　③プロセスとシステム

231088 服飾デザイン

准教授　博士（学術）　　石垣　理子

物質的に供給過剰な現代において、求められるのは心が豊かになる「プラスα」である。特にファッションにおいては、プラスαとしてのデザインの重要性は非常に高い。ここでは、一部演習も取り入れ、より付加価値の高いモノ作りの基礎となる服飾造形活動における新鮮な発想力を養う。

①基礎デザイン　②アパレルデザイン　③アクセサリーデザイン

231089 被服造形科学

教授　博士（学術）　　角田　由美子

多様化するアパレル生産においては素材の物性、体型情報、デザイン、パターン、縫製技術の関連を科学的に分析する必要がある。本講義では素材の物性を把握し、パターンメーキング、縫製に応用し、製品の客観的な評価ができることを目指す。

①素材の物性　②パターンメーキング　③可縫性

231090 マーケティング論

非常勤講師　　江戸　克栄

マーケティング及びマーケティングミックスの基本と、アパレル産業におけるマーケティング活動の実際を業界の各段階での手法を事例にして解説する。ブランド、消費者、顧客についてもふれていく。

①マーケティング　②市場環境適応　③ファッション

231091 ベーシックプレゼンテーション

准教授　　桃園　靖子

「伝えるコト」をかたちにする。表現方法の基礎を画像加工から編集デザインを通して学び、伝えることの意味と目的を考察し、プレゼンテーションの基本的スキルを習得する。

①視覚デザイン　②編集基礎　③プレゼンテーション

231092 デザインマネジメント

講師　　細田　彰一

デザインをする時の要件は無数にあるため、よいデザインの商品を世に送り出すには、高度に組織化されたデザインの管理が必要になる。本講義では、デザインの何を管理すべきか、デザイン管理にはどんな考え方・手法があるかについて講義を行う。

①マーケティング　②開発　③経営工学　④人間工学

231094 デザイン計画特講 B

生活環境学科教員

現代デザイン界において活躍中のデザイナーを数人招き、オムニバス形式でそれぞれのデザイン領域における具体的な内容を講義形式で行う。住居、建築、工芸、テキスタイル、インテリア等多種分野にわたる内容を含む。

①インテリア ②計画 ③デザイン ④空間 ⑤建築 ⑥設計

231095 消費生活論

非常勤講師 陸川 キヨシ

安全で豊かな消費生活を営むために、現代社会で発生する消費者問題について学びます。この中から消費者の権利と責任を考え、事業者活動と消費者問題、消費生活と環境問題、消費者政策などを学び、消費者問題について理解を深めることを目的とします。

①消費者の権利 ②消費者問題 ③消費者運動

231096 消費科学

非常勤講師 高見 俊一

消費科学とは何か、消費者の意識・行動、品質、クレームについての基本的な解説をすると共に、繊維産業の仕組みについては、業界で仕事をしている立場を生かし、最新の情報、トピックスを交えながら同時進行レベルで解説する。

①消費科学 ②消費者行動 ③アパレル産業

231097 造園

非常勤講師 阿部 伸太

生活環境学の目標を達成するため、環境の形成における造園学的なアプローチのための知識と考え方の習得をねらいとする。造園学の意義･目的、造園空間（庭園･公園・都市・国土）、造園の手法、そして造園計画論と設計論の一端を講義する。

①ランドスケープ ②計画・設計 ③環境形成

231098 建築史特講 （日本建築の特質）

教授 工学博士 平井 聖

日本建築に関わる様々な技術と生活様式について、それぞれヨーロッパや東洋の中国・韓国の事情と比較しながら、その特徴、成立過程、変遷を具体的に考える。

①日本建築 ②技術 ③建築図面 ④建築道具

231099 近代建築史

教授 工学博士 堀内 正昭

産業革命以後を近代として捉え、19 世紀の様式建築と技術遺産から、世紀末、20 世紀のモダニズム、そして戦後のポストモダニズムまでを取り上げて、近代建築の果たした役割と意義を問い直していく。

①歴史主義 ②モダニズム ③ポストモダニズム

231100 建築士受験講座

生活環境学科教員

建築学コースの学生が、卒業後 1、2 級建築士を受験するためにその基礎的な科目の総整理を行い、受験体制に臨むための準備を行うために設定された科目である。

①1、2 級建築士 ②インテリアプランナー ③国家試験

231101 コンピュータ概論及び演習 A

講師 森部 康司

パーソナルコンピューターの初心者・及び苦手な者を対象とする。パソコンを使用するのに必要な知識、概念を解説し、それを実際にコンピューターを用いて実習する。Word/Excel などの基礎からマルチメディア等を扱うための初歩を解説する。

231102 コンピュータ概論及び演習 B

講師 細田 彰一

昨今のデザイン表現に不可欠なソフトウェアの基礎について演習を通して体得する。なお、この演習は、コンピュータ操作の基本（マウス、キーボードの使い方等）は身についていることを前提とする。

① Adobe Illustrator ② Adobe Photoshop ② MS PowerPoint

231103 デジタルグラフィック

非常勤講師 風袋 宏幸

デジタルカメラ、プリンターなどの画像入出力装置の使い方を修得するとともに、電子的な画像処理のあり方について学ぶ。また、Photoshop 及び Illustrator を利用して、静止画像の編集、加工の実習を行う。

① illustrator ② Photoshop ③画像処理

231104 CAD Ⅰ

教授 博士（工学） 金尾 朗
准教授 金子 友美
准教授 博士（学術） 鶴田 佳子
講師 田村 圭介
講師 森部 康司

建築ＣＡＤソフトを用いた設計図面の基礎表現について、演習を通して学習する。ソフトは VectorWorks を使用する。履修者はパーソナルコンピューターに関する基礎知識を習得済であることを前提とする。また、製図基礎と平行して行うため、製図基礎履修を前提とするが、人数に余裕のある場合は、希望者も履修可。

① CAD ②レイヤー ③レンダリング

231105 CAD Ⅱ

教授 博士（工学） 金尾 朗
准教授 金子 友美
准教授 博士（学術） 鶴田 佳子
講師 田村 圭介
講師 森部 康司

建築ＣＡＤソフトを用いた設計図面の基礎表現について、演習を通して学習する。ソフトは VectorWorks を使用する。演習は CAD Ⅰ 履修済みまたはそれに相当の技術を有するものであることを前提として進める。

① CAD ②レイヤ ③レンダリング ④クラス

231106 CADプレゼンテーション

教授　工学博士　友田　博通

CADⅡ履修者を対象に、卒業設計に必要なコンピューター表現を学ぶ。VectorWorksの2次元・3次元の復習から始め、Photoshop、Illustratorも駆使し建物に背景や人間の写真を合成、さらに動画へと進む。最後にA1にレイアウトし、文字や装飾などを加え完成させる。

① CAD　②写真合成　③様々な形　④図面体裁　⑤卒業設計

231107 CG概論

教授　工学博士　佐藤　豊

IT（情報技術）の必要性が叫ばれているが、デジタル情報社会の発達は加速的であり、デジタル情報に対する技術はどんどん変化している。デジタル情報の中での画像情報（及び音声情報）について、取り上げていく。即ち、CGについて、その現状と展望を考察する。

①コンピュータグラフィックス　②デジタル—アナログ情報変換　③図形の2・3次元

231108 CG（2D）

准教授　金子　友美

モノをデザインし、その内容を効果的に伝えるためにはプレゼンテーションが必要である。表現手法のひとつとして画像の加工とドローイングを演習を通して学ぶ。コンピューターの基礎知識を習得している学生を対象とする。

①レイアウト　② Photoshop　③ Illustrator

231109 CG（3D）

講師　細田　彰一

現在、デザインの世界では、3D-CGや3D-CADを用いた開発プロセスの短縮（ラピッドプロトタイピング）が積極的に導入されている。また、手軽に実物に近い質感の画像を作成できる3DCGは、様々な分野でのプレゼンテーションに絶大な効果をもたらす。そこで、比較的安価なソフトを用い、その基本となるコンピュータを用いた3D造形を演習を通して学ぶ。（使用ソフトはShade Basic）

① 3D-CG　②モデリング　③レンダリング　④ラピッドプロトタイプ

231110 ファッションコンピューター演習Ⅰ

非常勤講師　小林　秀代

コンピュータグラフィクスの概念及び画像処理ソフトの操作を習得し、課題制作を通して、その実践的な手法を学びます。アパレル分野の企画立案段階におけるコンセプトワークを各種マップ作成として、ビジュアルに表現していきます。IT化の進むなか、画像を通してでも正確な判断ができる能力が必要とされます。この授業ではCGを表現手段としてとらえ、ファッション分野での幅広い対応を考えていきます。

① CG　②ブランド企画　③コンセプト　④ビジュアルプレゼンテーション

231111 ファッションコンピューター演習Ⅱ

准教授　博士（学術）　石垣　理子

これからのパターンナーは、パターン・メーキングの知識技能に加えて、コンピュータを自分の道具として自在に操る能力が強く求められる。ここでは、アパレルCADを用いたパターントレース、パターン・メーキングなどの一連の基本的なパターン作成方法を学ぶ。

①アパレルCAD　②パターン・メーキング　③グレーディング

231112 デッサンⅠ

非常勤講師　橋本　圭也

対象を把握する目、イメージしたものを創造する力、的確に表現する技術を養い、クリエイティブな仕事の基礎となるデッサン力を身につける。

①観察力　②想像力　③表現力

231112 デッサンⅠ

教授　武田　昭子

造形の基礎として、特にデザイン活動に向けた鉛筆デッサンの基礎を学ぶ。透視画法を使い立体を平面に表現する方法から、点、線、面、塊の関係を、また質感、空間感を石膏像を題材にして描くことから、各種実材へと段階的に学んでいく。

①透視画法　②点、線、面　③ハッチング

231113 デッサンⅡ

非常勤講師　橋本　圭也

対象を把握する目、イメージしたものを創造する力、的確に表現する技術を養い、クリエイティブな仕事の基礎となるデッサン力を身につける。

①観察力　②想像力　③表現力

231113 デッサンⅡ

教授　武田　昭子

造形の基礎として、特にデザイン活動に向けた鉛筆デッサンの基礎を学ぶ。透視画法を使い立体を平面に表現する方法から、点、線、面、塊の関係を、また質感、空間感を石膏像を題材にして描くことから、各種実材へと段階的に学んでいく。

①透視画法　②点、線、面　③ハッチング

231114 意匠学

非常勤講師　橋本　圭也

各人の造形表現の感覚向上に役立てることを目的として、平面構成を主体に、色・形・構成の観点からデザインの基本的な概念や表現技術を習得する。

①色　②形　③構成

231115 デザイン基礎

常勤　生活環境学科教員

生活環境学科の多彩な演習科目を行っていくための基礎的な段階をつくりあげる科目である。建築からはじまりプロダクト、テキスタイル、モード等のデザインの基礎となる空間表現の基礎技法を身につけていくための演習である。

①基礎技術　②デザイン手法　③空間表現　④立体構成　⑤模型

231116 造形基礎

常勤　生活環境学科教員

プロダクトや服飾分野におけるデザインの基礎を身に付ける科目。それぞれの分野に分かれて、造形表現の基礎的スキルの修得やデザインの手法の基本を学ぶ。

①基本的スキル　②造形表現　③立体造形　④表現手法　⑤デザイン手法　⑥モデリング

231117 製図基礎

常勤　生活環境学科教員

製図の基本的技術を学習する。平面図、立面図、断面図、パース等の基本的な図法の説明を行い、さらに有名建築や、木造住宅のトレースを通じて、空間を把握し、表現する能力を習得していく。建築、住居、インテリア系の学生を対象として行う。

①図法　②配置図　③平面図　④断面図　⑤パース　⑥空間表現

231118 基礎表現

客員教授　加藤　雄章

「心の畑を耕す」をテーマに、クリエイティブなデザイン活動で最も大切な、感動を伴う想像力と創造力。その感動を培い伝える観察力と発想力及び表現力等の"心の力"を鍛えると共に、本当の自分を探す演習を行う。

①観察と表現　②想像と創造　③形態と空間

231119 被服学実習　ー教職ー

教授　博士（学術）　角田　由美子

被服構成学の基礎的な知識、技術をブラウスとスカートの製作を通して習得させる。これにより着心地の良い、しかも審美性に富んだ被服を製作する技術と、消費者としてより良い被服を選択する力を養いたい。

①パターン　②被服素材　③造形技術

231120 色彩学演習

教授　谷井　淑子

あらゆる造形活動の基本となる色彩について理解を深める。色彩調和の法則性や原理などを各種色材を用いた演習を通して学び、色彩を様々な場面で活用することのできる能力を養う。

①色彩調和　②カラーシステム　③環境特性

231121 デザイン画描法

非常勤講師　穂積　和夫

各専攻により異なる課題を与えます。基礎的な練習課題からはじめて、徐々に上級技術の取得まで進みます。用紙・画材等は、各自準備すること。画材の扱い等は順次実際に使用法をデモンストレーションします。

①水彩による彩色実習（建築・インテリア）　②パステル・マーカーの表現実習（プロダクト）　③ファッション・デザイン画実習（服飾）

231122 設計製図ー教職ー

講師　博士（学術）　番場　美恵子

家庭科教職、学芸員志望者を対象とした基礎的な設計演習を行う。まず製図の基礎技術を学び、住宅図面のトレースおよび模型制作を行う。それをもとに各自のデザインへと展開し、表現する。

①住居　②図面　③空間

231123 構造デザイン演習

教授　工学博士　安宅　信行

この授業は模型制作を通して建築構造物の構造システムを学習することを目的としている。制作する模型は①在来木構造の構造模型の制作　②RC造のラーメン構造の構造模型の制作　③トラス構造とその組合わせによる大スパン架構法の創作構造模型の制作である。

①模型　②木造軸組　③RC構造

231124 設計製図Ⅰ1

常勤　生活環境学科教員

製図基礎で習得できた空間表現の技術を実際の空間設計に応用してゆく第1段階の実習を行うものである。I1（前期）で木造を中心として架構の応用を行ない、I2（後期）で鉄筋コンクリート構造架構の応用を行ってゆく。

①基礎設計　②空間　③断面　④木造　⑤鉄筋コンクリート造　⑥製図

231125 設計製図Ⅰ2

常勤　生活環境学科教員

製図基礎で習得できた空間表現の技術を実際の空間設計に応用してゆく第1段階の実習を行うものである。I1（前期）で木造を中心として架構の応用を行ない、I2（後期）で鉄筋コンクリート構造架構の応用を行ってゆく。

①基礎設計　②空間　③断面　④木造　⑤鉄筋コンクリート造　⑥製図

231126 設計製図Ⅱ1

常勤　生活環境学科教員

建築を計画するには、まず空間のイメージをつくり、それを具体的な建築に対応しうる構造的、材料的、設備的な裏づけをもった諸要素の設定を行い、図面で表現してゆくことが基本である。設計製図Iで習得した基礎技術をもとに、より発展した設計技法と表現技術をマスターしていく。建築中心の課題設定を行っていく。

①空間のイメージ　②構造と空間　③設計製図　④表現手法　⑤設計技法　⑥建築デザイン　⑦プレゼンテーション

231127 設計製図Ⅱ2

常勤　生活環境学科教員

建築を計画するには、まず空間のイメージをつくり、それを具体的な建築に対応しうる構造的、材料的、設備的な裏づけをもった諸要素の設定を行い、図面で表現してゆくことが基本である。設計製図Iで習得した基礎技術をもとに、より発展した設計技法と表現技術をマスターしていく。建築中心の課題設定を行っていく。

①空間のイメージ　②構造と空間　③設計製図　④表現手法　⑤設計技法　⑥建築デザイン　⑦プレゼンテーション

231128 設計製図Ⅲ

常勤　生活環境学科教員

設計製図の最終段階となる４年の前期であるが、卒業設計と並行して、設計趣旨の組立手法からはじまり、構法の設定の仕方、平面のプランニング手法に至る総合化の段階となる。課題設定をする複数の教員毎にテーマを決め、それを選定することによって各自のコースを設定するスタイルで履修形態を決めていく。

①設計製図　②設計技法　③表現手法　④空間計画

231129 造形デザイン演習Ⅰ1

常勤　生活環境学科教員

プロダクト、テキスタイル、モード、クラフトの４分野に区分し、それぞれのデザイン対象の基礎的事項を認識する為の第一段階の演習となるものである。各分野毎の専門家による制作実習となる。

①生活造形　②基礎デザイン　③家具　④クラフト　⑤デザイン画　⑥テキスタイル　⑦染色　⑧モード　⑨プロダクト

231130 造形デザイン演習Ⅰ2

常勤　生活環境学科教員

プロダクト、テキスタイル、モード、クラフトの４分野に区分し、それぞれのデザイン対象の基礎的事項を認識する為の第一段階の演習となるものである。各分野毎の専門家による制作実習となる。

①生活造形　②基礎デザイン　③家具　④クラフト　⑤デザイン画　⑥テキスタイル　⑦染色　⑧モード　⑨プロダクト

231131 造形デザイン演習Ⅱ1

常勤　生活環境学科教員

生活造形をクラフト、モード、テキスタイル、プロダクトに分け、そのそれぞれの分野での造形デザインの実際を学ぶ科目である。各々の分野に分かれて半期毎に各々のデザイン分野の専門家につき、制作実習を行っていく。

①生活造形　②モード　③テキスタイル　④プロダクト　⑤クラフト　⑥デザイン　⑦制作実習

231132 造形デザイン演習Ⅱ2

常勤　生活環境学科教員

生活造形をクラフト、モード、テキスタイル、プロダクトに分け、そのそれぞれの分野での造形デザインの実際を学ぶ科目である。各々の分野に分かれて半期毎に各々のデザイン分野の専門家につき、制作実習を行っていく。

①生活造形　②モード　③テキスタイル　④プロダクト　⑤クラフト　⑥デザイン　⑦制作実習

231133 服飾 DM 総合演習Ⅰ

常勤　生活環境学科教員

服飾系の総合演習としてファッションショーを行う。ファッションショーの企画、運営を通して、デザイン、マネジメント、プレゼンテーション能力を養う。

①ファッションショー　②デザイン　③マネジメント　④プレゼンテーション

231134 服飾 DM 総合演習Ⅱ

常勤　生活環境学科教員

服飾系の総合演習としてファッションショーを行う。ファッションショーの企画、運営を通して、デザイン、マネジメント、プレゼンテーション能力を養う。

①ファッションショー　②デザイン　③マネジメント　④プレゼンテーション

231135 コミュニケーションデザイン

常勤　生活環境学科教員

プロダクトにおいて、その構造をしっかり把握することやプロトタイプ（試作品）を用いたコミュニケーションスキルは必要不可欠なものである。本演習では、主に実際にプロトタイプを制作し、プロダクトの構造の把握や、それを用いたプレゼンテーションを行うことによって、プロダクトデザインに必要なコミュニケーションスキルを身につける。

①プロトタイプ　②構造　③材料

231136 造形デザイン演習Ⅲ

常勤　生活環境学科教員

造形デザイン演習Ⅱの基礎の上に、卒業制作につながる高度な制作実習を目標としている。Ⅱの段階で選定したデザイン分野にすすむ事を原則としている。それぞれを担当するのはデザインの専門家となっている。

①生活造形　②デザイン手法　③プロダクト　④テキスタイル　⑤モード　⑥クラフト

231137 プロダクトデザイン演習

客員教授　加藤　雄章
非常勤講師　河崎　清
非常勤講師　藤田　寿伸

プロダクトデザインの仕組みを実践的に学ぶ。コトを通して機能と形を結び、デザインについて徹底的に検証する。

①心　②技　③体

231138 デザイン演習

常勤　生活環境学科教員

海外と国内（アジアを含む）に分けて、都市・建築からインテリア、テキスタイルに至るデザイン状況等の視察を通して認識していく科目である。事前研修と事後まとめを含めて演習としていく。夏期の研修旅行として実施する。

①海外研修　②視察　③デザイン

231139 デザイン実務演習Ⅰ

常勤　生活環境学科教員

デザインの実務を生活環境学科各研究室あるいは、外部のデザイン関連事務所あるいは会社で、実社会に近いデザイン活動に参加することで単位を認定する。建築界で行われているオープンデスクも含む。

①オープンデスク　②デザイン活動　③研究室活動

231140 造形材料学実験

教授　工学博士　小原　奈津子
助教　金井　まゆみ

アパレルやインテリア関係の職種を目指す人に必要な基礎知識として、テキスタイル材料の組織構造の解明および性能の客観的評価のための測定手法とその原理を、実験を通して学ぶ。

①繊維、糸、布　②消費性能評価　③組織構造

231141 調理実習

教授　小田　きく子

健全な食生活を営むための基本を科学し、技能と創造性を養うために、調理の意義、献立作成、味覚と調理などについて講義し、実習する。尚、教職を希望する学生を対象とする。

①食生活の設計　②栄養のバランス　③調理操作（和・洋・中）

231142 衣料鑑別実験

准教授　博士（学術）　下村　久美子

被服を適正に管理するには、その組成を正確に知る必要がある。ここでは、繊維の化学的及び物理的特性を利用した基礎的な鑑別法と、熱分析、赤外吸収スペクトルなど、機器分析による方法を実習し、最近の高度に複合化された材料に対応できる化学的鑑別法を身につける。

①繊維の形状観察　②機器分析　③繊維の化学分析

231143 被服整理学実験

准教授　博士（学術）　下村　久美子

着用した被服が、購入当初の性能を長く保持させるには、その被服に適合した取り扱いが必要である。ここでは、繊維と汚れ、洗剤の性能、洗浄・漂白・漂白効率などの実験を通して、適正な被服の管理方法を調べる。

①洗剤の諸性能　②洗浄率の算出　③蛍光強度の測定

231144 染色加工実験

准教授　博士（学術）　下村　久美子

繊維と染料の適応性や染色状態と染色堅ろう度の関係など、実験を通して理解することを目的として、各種染料による各種繊維の染色を行う。分光光度計を用いた染着量の算出、また、染色堅ろう度の判定を行う。

①各種染料・繊維の染色　②染着率の算出　③染色堅ろう度

231145 建築学実験A

教授　博士（工学）　佐野　武仁
助教　博士（学術）　山口　温

2年次に環境工学で修得した太陽光（太陽放射）と光環境・水環境・空気環境・音環境・熱環境について、実験を通じて建物・地域環境との関係について把握する。また、実験データは、Word・Excel・CADなどによって処理するので、コンピュータの演習にもなる。

①太陽・自然環境・建築　②快適性　③材料の強さ

231146 建築学実験B

教授　博士（農学）　中山　栄子

建築材料の一般的な試験方法を理解し、構造材料の力学特性や仕上げ材料の物理的特性を明らかにするため、実験を計画し実施する。実験の手法、データの解析方法やレポートの書き方など基礎的事項も身につける。

①材料試験　②力学特性　③性能評価

231148 建築学実験D

講師　森部　康司

内容は2年次に習得した構造力学の内容を実験を通して把握することを目的としている。構造関係では建築形態の作り方、外力に対して有効なはりの形状の創造などを行う。

①構造材料　②強度試験　③最適形状

231149 測量

非常勤講師　藤沼　俊行

本講義に於いては、理論よりも実際の作業を重視する。屋外で測量器材を操作することにより、卒業後の実務に支障のない様指導する。

①正確　②丁寧　③緻密

231150 衣料管理実習

教授　博士（学術）　角田　由美子
准教授　博士（学術）　下村　久美子

実習受入先の実態に応じ、以下に示す5コースのいずれかを実習体験させる。A. 商品調査（商品の流れを通して商品の実態を認識）　B. 品質表示の調査（小売店の消費者行政関係法規の遵守状況調査）　C. 試験法実習（商品の品質認識）　D. 買物相談　E. 消費者苦情

①商品の生産　②消費者苦情　③商品調査

231151 モードデザイン演習

准教授　博士（学術）　石垣　理子

「最も身近な動く立体である人体を、いかに美しくかつ合理的に平面で包み表現するか」という視点でのデザインを目指す。ここでは卒業研究として筋道を考え整理すること、また制作・論文を効果的にまとめるための方法について演習を行う。

①卒業制作　②卒業論文　③衣服デザイン

231152 被服人間工学演習

教授　学術博士　猪又　美栄子

卒業研究に必要な文献・資料収集の仕方、研究の進め方、まとめ方について学ぶ。さらに、人体寸法・形態・運動機能性の測定方法や使い心地・着心地の良さを判定する官能検査の方法や解析について演習を行う。

①文献・資料　②人体形態　③運動機能性　④官能検査　⑤実験計画

231153 染色・整理学演習

准教授　博士（学術）　下村　久美子

テキスタイル全般に関する基礎知識を基に、卒業研究に向けて文献調査から知識を深め、研究課題に沿って展開を試み、必要に応じて実験、演習を行う。

①テキスタイル　②染織　③洗浄

231154 服飾造形演習

教授　谷井　淑子

服飾造形に関わる文献、各種資料の収集・整理及び研究手法について学ぶ。また、各種の演習を通して素材の検討、表現技法の理解、基礎技法の習得、デザイン・配色効果の検討を試みる。

①生活造形　②創造性　③素材研究　④表現技法　⑤デザイン　⑥配色効果

231155 被服加工学演習

教授　博士（学術）　角田　由美子

繊維製品および皮革製品を中心に、素材面、機能面、デザイン面から消費科学的な検討を行う。これにより、卒業論文あるいは制作に必要な知識と技術を習得させる。

①文献検索　②実験計画　③造形手法

231156 繊維材料学演習

教授　工学博士　小原　奈津子

機能性高分子材料の合成、性能評価、現代生活のなかでの各種材料の使われ方とその問題点、繊維製品の劣化とその保存環境など、材料学分野における学生各自の課題のもとに研究を進めていくなかで、実験手法、考察の進め方、論文作成法を学ぶ。

①高分子材料　②実験手法　③研究手法

231157 造形計画演習

教授　工学博士　芦川　智

住居あるいは建築を造形的に計画する場合の論理を実際の事例にそって追い、具体的にどのような方法論に対応しているかを検討するとともに、諸々の方法論の存在を確認してゆく事を目標とする演習科目である。

①造形　②計画論　③手法　④方法論　⑤論理　⑥ゼミ

231158 空間構造演習

教授　工学博士　安宅　信行

この授業は卒業研究を遂行するに当たり、様々な局面で遭遇する困難を克服するために行うものであり、各人がテーマの設定から、それらを仕上げていくための方法について、他の人にわかりやすく発表することにより、自分の問題を的確に捉えられるようにしていく。

①模型製作　②キャド　③曲面構造　④輪講

231159 都市環境学演習

教授　博士（工学）　金尾　朗

都市空間における諸現象を多角的にとらえる。様々な思考、分析、デザイン、表現行為等を考えることによって都市空間をどのように捉えうるか、どのような都市空間を新たに構想できるかについて考察する。

①都市空間　②建築　③情報　④論理　⑤表現行為　⑥映像

231160 建築デザイン演習

准教授　金子　友美

私たちの周辺環境で起こりうる様々な事象に対し、建築を志す者に望まれる事柄は多様化している。本演習では建築という枠にとらわれず、空間分析のための手法を検討し、設計・デザイン演習を行っていく。

①都市　②空間　③建築　④人　⑤空間体験　⑥分析手法

231161 機能図形情報学演習

教授　博士（工学）　佐藤　豊

情報にはアナログ情報とデジタル情報が存在する。情報社会はデジタル情報をコンピュータという道具で、処理する。この授業では、画像・音声等のマルチメディアを活用する方法を考え、工業社会の次に来る社会の可能性について検討する。

①AD 変換　② DA 変換　③ IT（情報技術）　④画像処理　⑤音声処理　⑥インターネットテレビ

231162 環境計画演習

教授　博士（工学）　佐野　武仁

環境工学の講義を受講したゼミの学生を対象に、建築計画原論の応用として、建築と光環境・空気環境・水環境・音環境・熱環境のほか、太陽と建築、緑の関わりあいについて講義する。

①太陽放射　②快適環境　③建築と自然エネルギー　④ガラス　⑤光環境・熱環境　⑥日射遮蔽

231163 空間デザイン演習

教授　杉浦　久子

都市・建築・インテリアなどの領域にとらわれず、環境を「空間」という視点から捉え直し、そこにある諸現象を観察し、そこから企画立案してゆく。実際の具体的な調査、設計、デザインプロセスを通じて指導し、空間設計の手法を確立する。

①空間デザイン　②環境と人　③デザインプロセス　④発想と展開　⑤建築デザイン　⑥都市デザイン

231164 住生活学演習

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住生活研究は“生活から空間を考える”ことが基礎である。生活現象から問題を発見すると共に、要因を分析して空間的解決策を提示するために考察を行う。その過程の中で調査・分析の手法、論理的思考の方法、論文作成の技術を修得する。

①既存文献　②ヒアリング調査　③対立物の統一

231165 設計プロセス演習

講師　田村　圭介

都市に建つ建物は、さまざまな諸力、諸事象のバランスにより構築されている。それらを調査分析し、設計に反映させ、調査と設計との間のフィードバックの繰り返しにより都市の生成プロセスの一端を掴み取ることを目指す。

①リサーチ　②フィードバック　③プロセス

231166 環境心理学演習

教授　工学博士　友田　博通

建築環境研究に不可欠な手法である生活調査・空間評価調査などの、調査実施方法とコンピュータ解析方法、資料図面の整理方法等、設計に求められる２次元･３次元 CAD を体得する。また、国際・学際的な立場での調査の実態についても学ぶ。

①住生活調査　②空間印象調査　③コンピューター解析　④卒業研究

231167 材料・環境科学演習

教授　博士（農学）　中山　栄子

主に居住空間を形造る材料に関して、変遷・特徴・評価方法を理解し、新たな材料設計を試みる。材料が関わる環境問題に関して情報を収集し、環境測定を計画する。卒業論文作成に必要な基礎的手法を修得する。

①材料設計　②機能発現　③環境測定　④実験計画　⑤コンピュータ処理　⑥情報文献検索

231168 建築歴史演習

教授　工学博士　堀内　正昭

卒業論文を支援するためのもので、建築史研究に必要な方法論の展開と分析方法を、歴史的建造物を事例に、文献ならびに実地調査を通じて学んでいく。

①論文　②方法論　③調査

231169 建築構造学演習

講師　森部　康司

日常出くわすあるいは雑誌等で眺める建築空間の構成方法，材料の使用方法などに着目し，その生成に至る背景や歴史，及び構造システムの分析を行う。

①構造材料　②構造史　③耐震設計

231170 ライフデザイン演習

准教授　桃園　靖子

生活環境においてデザインができる可能性を考察し、身近にあるモノ･人･コトに関わる意味を認識しながら、自己表現として造形デザインを行う。コースのプロダクト分野として、卒業制作につながる実習を目標とする。なお、当分野が対象とするものは、グラフィック、スペースを含む広範囲の造形であり生活に身近なものの制作を指導する。

①生活環境と発見　②目的意識　③プレゼンテーション

231171 エルゴデザイン演習

講師　細田　彰一

一般的にプロダクト開発では、「ユーザ」に関わる部分の設計は、デザイン部署に要求されることが多い。その意味で、デザイン業務従事者は、「ユーザの専門家」である必要がある。人間をよく知り、それをいかに使いやすい道具（システム）をデザインするという観点から、各種デザイン関連手法を用い、リサーチ、コンセプトメイク、デザイン展開といった一連のプロセスを行い、具体的なデザイン提案を行う。

①ユーザとデザイン　②人間工学　③ユーザビリティ手法

231173 生活環境学演習

常勤　生活環境学科教員

生活環境学科の卒業論文・卒業設計・卒業制作について生活環境学科所属専任教員以外の教員が担当する場合にこの演習科目を履修して指導教員の指導を受けるために設定させた科目である。

①卒業論文　②卒業制作　③卒業設計　④生活環境学科教員

231174 卒業論文

常勤　生活環境学科教員

4 年間の集大成として研究論文を作成することを課題とする。テーマを設定して、資料収集・調査・実験などによって目標に対してアプローチをし、その成果を論文として表現していくものである。

①論文　②目標　③評価　④発表

231175 卒業制作

常勤　生活環境学科教員

4 年間の集大成として生活に必要な対象物を設定して制作を行うものである。図面で表現するか、実物作成と図面で表現するか、実物作成と制作過程論文で表現するかのいずれかの形式による。

①制作　②実物　③プロダクト　④モード

231176 卒業設計

常勤　生活環境学科教員

4 年間の集大成として建築空間あるいは建築の装備類について、各人でテーマの設定を行って設計し、設計図面で表現するものである。

①設計　②設計趣旨　③最終作品　④図面表現

11. 生活科学科共通（平成19年度以降入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②(○)印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
専門関連科目	食品・栄養を学ぶための生物	大森	230001	②	②	②	②	②	②	②	②	1		●（管専前期、食専後期）
	食品・栄養を学ぶための化学実験	松本・小川	230002	②	②	②	②	②	②	②	②	1		●〔6〕（食専前期、管専後期）
	食品・栄養を学ぶための生物学実験	大森・中津川・渡辺(睦)	230003	②		②		②		②		1		●〔6〕
	食品・栄養を学ぶための統計・情報処理演習	渡辺(睦)	230004	②	②	②	②	②	②	②	②	1		●△■▲◇〔4〕
	食品・栄養を学ぶための基礎調理学及び実習	小田・不破・高橋(真)	230005	②	②	②	②	②	②	②	②	1		●〔4〕（食専前期、管専後期）
教職関連科目	生活科学概論	生活環境学科教員	230006	②		②		②		②		1	◎同	（環境）
	家族関係論	竹田	230007	②		②		②		②		1	同	△（環境）
	家庭経営学（家族と家庭経営）	伊藤(純)	230008			②		②		②		3	◎同	△（環境）
	家庭経済学A（家計経済）	伊藤(セ)	230009					②		②		3	◎	△
	家庭経済学B（外部経済と家計）	伊藤(セ)	230010						②		②	3	◎	
	住居学A（住生活）	竹田	230011	②		②		②		②		1	◎	（△）　教員免許希望者は1科目選択必修のこと
	住居学B（環境心理）	友田	230012	②		②		②		②		1	□同	（△）（環境：環境心理学）
	住居学演習A（基礎）	番場	230013	①		①		①		①		2	□同	△（環境：設計製図－教職－）
	被服学A（被服材料）	角田	230014	②		②		②		②		1	◎	△
	被服学B（被服設計）	石垣	230015		②		②		②		②	1	◎	△
	被服学及び実習	角田	230016				②		②		②	3	□同	△〔4〕（環境：被服学実習－教職－）
	家庭機械及び家庭電気	佐藤	230017						②		②	3	◎同	△（環境）
	保育学（実習を含む）	熊澤	230018				②		②		②	3	同	△（食物）
	学校保健A	熊澤	230019			②		②		②		2・3	×	■（隔年開講：奇数年）
	学校保健B	熊澤	230020					②		②		3・4		■（隔年開講：偶数年）
	学校保健C	熊澤	230021						②		②	3・4		■（隔年開講：偶数年）
両専攻共通科目	科学科概論	生活科学科教員	230022	②		②		②		②		1		
	特別演習A（外書講読）	卒業研究担当教員	230023							①		4	×	
	特別演習B（輪講）	卒業研究担当教員	230024								①	4	×	
	アメリカ栄養士体験コース		230025			②		②		②		3・4	×	
	アメリカ食生活研究コース		230026	②		②						1・2	◎	ボストンサマーセッション
	文化講座C（特殊研究）		230027										×	
	卒業研究		230028							8		4	×	
	特別研究		230029							⑧		5	×	
	国家試験対策講座（社会・環境と健康〔公衆衛生学〕）		230030								②	4	×	
	国家試験対策講座（解剖生理学）		230031								①	4	×	
	国家試験対策講座（生化学）		230032							①	①	4	×	
	国家試験対策講座（臨床医学）		230033								①	4	×	
	国家試験対策講座（食品学）		230034							①	①	4	×	
	国家試験対策講座（衛生学）		230035							①	①	4	×	
	国家試験対策講座（食品加工学）		230036							①	①	4	×	
	国家試験対策講座（調理学）		230037							①	①	4	×	
	国家試験対策講座（基礎栄養学）		230038							①	①	4	×	

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
両専攻共通科目	国家試験対策講座(応用栄養学)		230039							①	①	4	×	
	国家試験対策講座(栄養教育論)		230040							①	①	4	×	
	国家試験対策講座(臨床栄養学)		230041							②	②	4	×	
	国家試験対策講座(公衆栄養学)		230042							①	①	4	×	
	国家試験対策講座(給食経営管理論)		230043							①	①	4	×	
	国家試験対策講座(応用力試験)		230044								②	4	×	

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の△印は家庭科教員免許必修科目。■印は保健科教員免許必修科目。◇印はフードスペシャリスト必修科目。
備考欄の〔3〕は 135 分授業を、〔4〕は 180 分授業を、〔6〕は 270 分授業を示す。

生活科学科共通（平成18年度以前入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
専門関連科目	基礎科学A		230045	②	②	②	②	②	②	②	②	1	×	●（食専前期、管専後期）
	基礎科学C		230046	②		②		②		②		1	×	●
	基礎科学D		230047	②		②		②		②		1	×	●
	基礎科学E		230048	①		①		①		①		1	×	●管専の学生は必ず履修のこと
	基礎科学F		230049		①		①		①		①	1	×	●〈◇〉フードスペシャリスト希望者は基礎科学F・基礎科学実験Fのどちらかを必ず履修のこと
	基礎科学実験A		230050	②		②		②		②		1	×	●〔6〕
	基礎科学実験B		230051	②		②		②		②		1	×	●〔6〕
	基礎科学実験C		230052		①		①		①		①	1	×	●〔3〕
	基礎科学実験D		230053		①		①		①		①	1	×	●〔3〕
	微生物学実験（基礎科学実験E）		230054		①		①		①		①	1	×	●〔3〕 管専の学生は必ず履修のこと
	基礎科学実験F		230055		①		①		①		①	1	×	●〈◇〉〔3〕フードスペシャリスト希望者は基礎科学F・基礎科学実験Fのどちらかを必ず履修のこと
教職関連科目	生活科学概論	生活環境学科教員	230006	②		②		②		②		1	◎同	（環境）
	家族関係論	竹田	230007	②		②		②		②		1	同	△（環境）
	家庭経営学（家族と家庭経営）	伊藤（純）	230008			②		②		②		3	◎同	△（環境）
	家庭経済学A（家計経済）	伊藤（セ）	230009					②		②		3	◎	△
	家庭経済学B（外部経済と家計）	伊藤（セ）	230010						②		②	3	◎	
	住居学A（住生活）	竹田	230011	②		②		②		②		1	◎	（△）　教員免許希望者は1科目選択必修のこと
	住居学B（環境心理）	友田	230012	②		②		②		②		1	□同	（△）（環境：環境心理学）　教員免許希望者は1科目選択必修のこと
	住居学演習A（基礎）	番場	230013	①		①		①		①		2	□同	△（環境：設計製図－教職－）
	被服学A（被服材料）	角田	230014	②		②		②		②		1	◎	△
	被服学B（被服設計）	石垣	230015		②		②		②		②	1	◎	△
	被服学及び実習	角田	230016				②		②		②	3	□同	△〔4〕（環境：被服学実習－教職－）
	家庭機械及び家庭電気	佐藤	230017						②		②	3	◎同	△（環境）
	保育学（実習を含む）	熊澤	230018				②		②		②	3	同	△（食物）
	生活情報処理A	佐藤	230056							②		4	□★同	（△）（環境：情報論同演習）　教員免許希望者はA、Bいずれか1科目選択必修のこと
	生活情報処理B	佐藤	230057						②		②	4	□★同	（△）（環境：情報論同演習）　教員免許希望者はA、Bいずれか1科目選択必修のこと
両専攻共通科目	特別演習Ⅰ（外書講読）	卒業研究担当教員	230023							①		4		
	特別演習Ⅱ（輪講）	卒業研究担当教員	230024								①	4		
	アメリカ栄養士体験コース		230025			②		②		②		3・4		
	アメリカ食生活研究コース		230026	②		②						1・2	◎	ボストンサマーセッション
	文化講座C（特殊研究）		230027										×	
	卒業研究		230028							8		4		
	特別研究		230029							⑧		〈4〉		
	国家試験対策講座（社会・環境と健康（公衆衛生学））	戸谷	230030								②	4		
	国家試験対策講座（解剖生理学）	志賀	230031							①		4		
	国家試験対策講座（生化学）	中津川・松本	230032							①	①	4		
	国家試験対策講座（臨床医学）	志賀	230033							①		4		
	国家試験対策講座（食品学）	森高	230034							①	①	4		

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
両専攻共通科目	国家試験対策講座(衛生学)	福島	230035							①	①	4		
	国家試験対策講座(食品加工学)		230036							①	①	4	×	
	国家試験対策講座(調理学)	小田	230037							①	①	4		
	国家試験対策講座(基礎栄養学)	小川	230038							①	①	4		
	国家試験対策講座(応用栄養学)	池田・海老沢	230039							①	①	4		
	国家試験対策講座(栄養教育論)	石井	230040							①	①	4		
	国家試験対策講座(臨床栄養学)	山﨑・海老沢	230041							②	②	4		
	国家試験対策講座(公衆栄養学)	大木	230042							①	①	4		
	国家試験対策講座(給食経営管理論)	柴田	230043							①	①	4		
	国家試験対策講座(応用力試験)	海老沢　他	230044								②	4		

備考
開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の△印は家庭科教員免許必修科目。■印は保健科教員免許必修科目。◇印はフードスペシャリスト必修科目。
備考欄の〔3〕は 135 分授業を、〔4〕は 180 分授業を、〔6〕は 270 分授業を示す。

食物健康学専攻（平成19年度以降入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②◯印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
専門関連	食品・栄養を学ぶための化学A	松本	232001	②		②		②		②		1		●
	食品・栄養を学ぶための化学B	福島	232002		②		②		②		②	1		●
	食品・栄養を学ぶための微生物学	飯野	232003		②		②		②		②	1		●
	食品・栄養を学ぶための微生物学実験	飯野	232004			②		②		②		2		●〔6〕
社会生活と健康	社会福祉概論	西脇	232005				②		②		②	2		☆
	公衆衛生学		232006					②		②		3	×	☆■
	健康管理概論	熊澤	232007			②		②		②		2		■
人体の構造と機能	人体の構造と機能ⅠA	渡辺（豊）	232008		②		②		②		②	1		☆
	人体の構造と機能ⅠB	志賀	232009			②		②		②		2		☆■
	人体の構造と機能Ⅱ		232010						②		②	3	×	
	生化学	中津川	232011		②		②		②		②	1		☆
	栄養生化学（分子生化学を含む）		232012							②		4	×	
	病理・疾病	志賀	232013				②		②		②	2		☆
	生化学・解剖生理学実験	志賀・渡辺（睦）	232014				②		②		②	2		☆〔6〕
	ライフサイエンス（分子生物学を含む）		232015						②		②	3	×	
	ライフサイエンス実験（分子生物学を含む）		232016					①		①		3	×	〔4〕集中講義
食品と衛生	食品学	福島	232017		②		②		②		②	1		☆△
	食品素材の科学	福島	232018			②		②		②		2		◇
	食品と加工		232019						②		②	3	×	☆■◇
	食品の開発		232020							②		4	×	
	食品衛生学	福島	232021			②		②		②		2		☆■◇
	食品科学実験		232022						②		②	3	×	☆◇〔6〕
	食品の科学演習		232023							②		4	×	◇〔4〕
栄養と健康	栄養と健康	小川	232024		②		②		②		②	1		☆△■◇
	応用栄養学	渡辺（満）	232025			②		②		②		2		☆
	臨床栄養学総論	戸谷・山崎	232026				②		②		②	2		☆
	臨床栄養学各論		232027					②		②		3	×	☆
	栄養学実習	池田	232028				②		②		②	2		☆〔6〕
	臨床栄養学実習		232029						②		②	3	×	☆〔6〕
栄養の指導	栄養指導論総論	石井	232030			②		②		②		2		☆
	栄養指導論各論	石井・池田	232031				②		②		②	2		☆
	公衆栄養学		232032					②		②		3	×	☆
	栄養指導論実習		232033					②		②		3	×	☆〔6〕
給食の運営	給食運営総論	不破	232034			②		②		②		2		☆
	給食実務論・大量調理の食事計画	不破	232035				②		②		②	2		☆
	調理学実習A	小田・高橋（真）	232036			②		②		②		2		☆△◇〔6〕
	給食実務論実習		232037					②		②		3	×	☆〔6〕

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
給食の運営	校外実習A-a								①			3	×	☆ 栄養士免許希望者は、1単位以上履修のこと。
	校外実習A-b								②			3	×	☆
	校外実習事前事後の指導		232040					①				3	×	☆
食物健康系	運動と健康		232041						②		②	3	×	
	スポーツと栄養		232042							②		4	×	
	スポーツと栄養と食事デザイン（演習）		232043								②	4	×	〔4〕
	フードサプリメント論（食品の生理機能を含む）		232044								②	4	×	
	こころと身体の科学		232045							②		4	×	
	カウンセリングの実際		232046								②	4	×	
	食と情報処理		232047							②		4	×	
	食と環境（食生活と環境）		232048								②	4	×	
	若さの科学		232049								②	4	×	
食生活デザイン系	調理とおいしさの科学A	大橋・島田	232050			②		②		②		2		◇
	調理とおいしさの科学B	大橋・島田	232051				②		②		②	2		
	調理とおいしさの科学演習		232052					①		①		3	×	◇〔4〕
	調理学実習B	大橋	232053				②		②		②	2		〔6〕
	応用調理学実習		232054							①		4	×	〔4〕
	世界の食文化		232055							②		4	×	
	食事のデザイン		232056							②		4	×	
	フードスペシャリスト論	小田	232057				②		②		②	2		◇
	フードコーディネート論		232058					②		②		3	×	◇
	食料経済		232059							②		4	×	◇

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の☆印は栄養士免許必修科目、△印は家庭科教員免許必修科目、■印は保健科教員免許必修科目、◇印はフードスペシャリスト免許必修科目。
栄養教諭を希望する者は、管理栄養士専攻に開設されている「学校栄養教育論Ⅰ」と「学校栄養教育論Ⅱ」を必ず受講すること。
食物健康学専攻のみに開講されている学科目については、管理栄養士専攻の学生も履修可。
備考欄の〔3〕は135分授業を、〔4〕は180分授業を、〔6〕は270分授業を示す。

食物健康学専攻（平成18年度以前入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
専門関連	基礎科学B		232060	②		②		②		②		1	×	●
社会生活と健康	社会福祉概論		232005				②		②		②	2	×	☆
	公衆衛生学	大木	232006					②		②		3		☆■
	健康管理概論		232007			②		②		②		2	×	■
人体の構造と機能	人体の構造と機能（総論）				②		②		②		②	1	×	☆
	解剖と生理		232061				②		②		②	2	×	☆■
	生化学		232011		②		②		②		②	1	×	☆
	病理・疾病		232013			②		②		②		2	×	☆
	生化学・解剖生理学実験		232014				②		②		②	2	×	☆〔6〕
食品と衛生	食品と衛生（総論）		232062		②		②		②		②	1	×	☆△
	食品と加工	高尾	232019						②		②	3		☆■◇
	食品衛生学		232021			②		②		②		2	×	☆■◇
	食品学・食品衛生学・食品加工学実験	高尾・福島・高橋（真）	232063						②		②	3		☆◇〔6〕
栄養と健康	栄養と健康（総論）		232024		②		②		②		②	1	×	☆△■◇
	栄養学		232063			②		②		②		2	×	☆
	臨床栄養学総論		232026				②		②		②	2	×	☆
	臨床栄養学各論	山﨑	232027						②		②	3		☆
	栄養学実習		232028				②		②		②	2	×	☆〔6〕
	臨床栄養学実習	山﨑	232029						②		②	3		☆〔6〕
栄養の指導	栄養指導論総論		232030			②		②		②		2	×	☆
	栄養指導論各論		232031				②		②		②	2	×	☆
	公衆栄養学	渡辺（満）	232032					②		②		3		☆
	栄養指導論実習	石井	232033					②		②		3		☆〔6〕
給食の運営	給食運営総論		232034			②		②		②		2	×	☆
	給食実務論・大量調理の食事計画		232035				②		②		②	2	×	☆
	調理実習		232036			②		②		②		2	×	☆△◇〔6〕
	給食実務論実習	柴田・不破	232037					②		②		3		☆〔6〕
	校外実習	柴田・石井	232038							①		3		☆
食物健康系	運動と健康	白川	232041						②		②	3		
	スポーツと栄養	白川	232042							②		4		
	スポーツと栄養と食事デザイン（演習）	小川・白川	232043								②	4		〔4〕
	食べ物とアレルギー	大橋 他	232064								②	4		
	こころと身体の科学	大木	232045							②		4		
	食と情報	小田 他	232065							②		4		
	食と文化	大橋 他	232066						②		②	3		
	食と環境（食生活と環境）	福島 他	232048								②	4		
	若さの科学	海老沢	232049								②	4	×	
	加齢制御栄養学	木村	232067							②		4		
	肥満制御栄養学	木村	232068								②	4		

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
生体システム系	ライフサイエンス	大森	232015						②		②	3		
	ライフサイエンス（実験）	大森	232016					①		①		3		〔4〕集中講義
食品機能系	食品成分の科学	松本	232069							②		4		◇
	食品成分の科学（実験）	松本	232070							①		4		◇〔4〕
	バイオテクノロジー入門（実験）	高尾	232071					①		①		3		〔4〕集中講義
	食品開発とバイオテクノロジー	高尾	232072							②		4		
	食品の生理機能	飯野	232073								②	4		
	微生物の科学		232074				②		②		②	2	×	
食生活デザイン系	食品素材の科学		232018			②		②		②		2	×	◇
	調理とおいしさの科学					②		②		②		2	×	◇
	調理とおいしさの科学（実験）	森高	232052					①		①		3		◇〔4〕
	世界の食文化（演習）	小田	232075								②	4		〔4〕
	おいしさの評価	大橋	232076						②		②	3		
	食事のデザイン	大橋	232056							②		4		
	フードスペシャリスト論		232057				②		②		②	2	×	◇
	フードコーディネート論	小田	232058					②		②		3		◇
	食料経済	首藤	232059							②		4		◇
健康生活実践系	カウンセリングの実際	大木	232046								②	4		
	情報科学（コンピューター演習）		232077			①		①		①		2	×	
学校保健	学校保健A	熊澤	230019			②		②		②		2・3	×	■（隔年開講：奇数年）
	学校保健B	熊澤	230020					②		②		3・4		■（隔年開講：偶数年）
	学校保健C	熊澤	230021						②		②	3・4		■（隔年開講：偶数年）

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の☆印は栄養士免許必修科目、△印は家庭科教員免許必修科目、■印は保健科教員免許必修科目、◇印はフードスペシャリスト免許必修科目。
栄養教諭を希望する者は、管理栄養士専攻に開設されている「学校栄養教育論Ⅰ」と「学校栄養教育論Ⅱ」を必ず受講すること。
食物健康学専攻のみに開講されている学科目については、管理栄養士専攻の学生も履修可。
備考欄の〔3〕は135分授業を、〔4〕は180分授業を、〔6〕は270分授業を示す。

管理栄養士専攻（平成19年度以降入学者用）

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
専門関連	食品・栄養を学ぶための化学A	松本	233001	2		2		2		2		1		●◆
	食品・栄養を学ぶための化学B	福島	233002		2		2		2		2	1		●◆
	食品・栄養を学ぶための微生物学	飯野	233003	2		2		2		2		1		●◆
	食品・栄養を学ぶための微生物学実験	飯野	233004		2		2		2		2	1		●◆〔6〕
社会・環境と健康	人間と社会生活	戸谷・石井・伊藤（純）	233005				2		2		2	2		☆◆
	社会環境と福祉	戸谷・常喜・伊藤（純）	233006				②		②		②	2		☆
	健康管理概論	熊澤	233007			②		②		②		2		☆
人体の構造と機能	人体の構造と機能A（総論）	大森	233008		②		②		②		②	1		☆
	人体の構造と機能B（解剖学）	山口	233009			2		2		2		2		☆◆
	人体の構造と機能C（生理学）	志賀	233010			2		2		2		2		☆◆
	生化学	渡辺（睦）	233011		2		2		2		2	1		☆◆
	栄養生化学	小川	233012			2		2		2		2		☆◆
	臨床医学総論（病理も含む）	志賀	233013			2		2		2		2		☆◆
	臨床医学各論(病理と遺伝子、遺伝子治療含む)	志賀	233014				②		②		②	2		☆
	生化学実験	中津川	233015				2		2		2	2		☆◆〔6〕
	解剖生理学実験A（人体の構造と生理）	渡辺（豊）	233016			2	2	2	2	2	2	2		☆◆〔6〕
	解剖生理学実験B（人体の生理と分子医学）	海老沢・渡辺（睦）	233017			2	2	2	2	2	2	2		☆◆〔6〕
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）	森高	233018		2		2		2		2	1		☆◆
	食品素材の科学	森高	233019			②		②		②		2		☆
	食品と加工		233020							2		4	×	☆◆
	食品衛生学		233021				2		2		2	2	×	☆◆
	調理科学	森高	233022			②		②		②		2		☆
	食品学実験	森高・福島・伊藤（美）	233023				2		2		2	2		☆◆〔6〕
	食品衛生学・食品加工学実験		233024							2		4	×	☆◆〔6〕
	調理学実習	大橋	233025			②		②		②		2		☆〔6〕
	調理学実験		233026						②		②	3	×	〔6〕
基礎栄養学	基礎栄養学	小川	233027		2		2		2		2	1		☆◆
	分子栄養学（分子生物学の基礎を含む）		233028								②	4	×	
	基礎栄養学実習	小川・海老沢	233029				1		1		1	2		☆◆〔3〕
応用栄養学	応用栄養学A（母性・乳幼児）	戸谷・池田	233030			2		2		2		2		☆◆
	応用栄養学B（学童期～高齢期）	海老沢	233031				2		2		2	2		☆◆
	応用栄養学C（特殊環境）		233032							2		4	×	☆◆
	応用栄養学実習	池田	233033				1		1		1	2		☆◆〔3〕
栄養教育論	栄養教育論総論	石井	233034			②		②		②		2		☆
	栄養教育論各論	石井	233035				②		②		②	2		☆
	カウンセリング論		233036					②		②		3	×	☆
	栄養教育論実習Ⅰ		233037					①		①		3	×	☆〔3〕
	栄養教育論実習Ⅱ		233038								①	4	×	〔4〕

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
				単位		単位		単位		単位				開設単位：①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲：①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
臨床栄養学	臨床栄養学総論	戸谷	233039				②		②		②	2		☆
	臨床栄養学各論A		233040					②		②		3	×	☆
	臨床栄養学各論B		233041					②		②		3	×	☆
	臨床栄養学各論C（病気と遺伝子含む）		233042							②		4	×	
	臨床栄養学特論		233043								②	4	×	
	臨床栄養学実習		233044					②		②		3	×	☆〔6〕
	臨床療法調理学実習		233045							②		4	×	☆〔6〕
	食事介助と在宅医療		233046							②		4	×	☆
公衆栄養学	公衆栄養学総論	大木	233047				②		②		②	2		☆
	公衆栄養学各論		233048					②		②		3	×	☆
	公衆栄養学実習		233049					①		①		3	×	☆〔3〕
給食経営管理論	給食管理論	柴田	233050				②		②		②	2		☆
	給食経営管理論		233051					②		②		3	×	☆
	給食経営管理実習		233052					②		②		3	×	☆〔6〕
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習		233053						①			3・4	×	☆
	栄養情報処理論（演習）		233054						①		①	3	×	
	臨地実習事前事後集中講義（総合演習Ⅰ）	大木・山﨑・清水	233055					①				2～3		☆
	臨地実習事前事後集中講義（総合演習Ⅱ）									①		4	×	☆
	臨地実習A-a（給食の運営）									①		3・4	×	☆ 栄養士免許希望者は、「給食の運営」1単位以上を含む4単位以上を履修のこと。
	臨地実習A-b（給食の運営）									②		3・4	×	☆
	臨地実習B-a（公衆栄養学）									①		3・4	×	☆
	臨地実習B-b（公衆栄養学）									②		3・4	×	☆
	臨地実習C-a（臨床栄養学）									①		3・4	×	☆
	臨地実習C-b（臨床栄養学）									②		3・4	×	☆
	臨地実習C-c（臨床栄養学）									③		3・4	×	☆
	臨地実習D（給食経営管理論）									①		3・4	×	☆
栄養教諭	学校栄養教育論Ⅰ	小田	233065				②		②		②	2		▲
	学校栄養教育論Ⅱ		233066					②		②		3	×	▲
	栄養教育実習事前事後の指導		233067							①		4	×	▲ 卒業要件単位の中に含めることができない。
	栄養教育実習		233068							①		4	×	▲

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の☆印は栄養士必修科目、◆印は食品衛生管理者・監視員必修科目、▲印は栄養教諭必修科目。
管理栄養士専攻のみに開講されている学科目は、食物学専攻の学生も履修可。
備考欄の〔3〕は135分授業を、〔4〕は180分授業を、〔6〕は270分授業を示す。
3年次編入学生は食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格をとることはできない。

管理栄養士専攻（平成18年度以前入学者用）

授業科目		担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
専門関連	基礎科学B		233069	2		2		2		2		1	×	●◆
社会・環境と健康	人間と社会生活		233005				2		2		2	2	×	☆◆
	社会環境と福祉		233006				②		②		②	2	×	☆
	健康管理概論		233007			②		②		②		2	×	☆
人体の構造と機能	人体の構造と機能（総論）				②		②		②		②	1	×	☆
	解剖と生理		233070			2		2		2		2	×	☆◆
	生理学		233071			2		2		2		2	×	☆◆
	生化学		233011		2		2		2		2	1	×	☆◆
	栄養生化学		233012			2		2		2		2	×	☆◆
	臨床医学総論（病理も含む）		233013				2		2		2	2	×	☆◆
	臨床医学各論		233014				②		②		②	2	×	☆
	生化学実験		233015				2		2		2	2	×	☆◆〔6〕
	解剖生理学実験A（人体構造）		233016			2		2		2		2	×	☆◆〔6〕
	解剖生理学実験B（生理機能）		233017				2		2		2	2	×	☆◆〔6〕
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）		233018		2		2		2		2	1	×	☆◆
	食品と加工	高尾	233020							2		4		☆◆
	食品衛生学		233021				2		2		2	2	×	☆◆
	調理学		233072			②		②		②		2	×	☆
	食品学実験		233023				2		2		2	2	×	☆◆〔6〕
	食品衛生学・食品加工学実験	福島・高尾	233024							2		4		☆◆〔6〕
	調理実習		233025			②		②		②		2	×	☆〔6〕
基礎栄養学	基礎栄養学（総論）		233027		2		2		2		2	1	×	☆◆
	基礎栄養学実習		233029				1		1		1	2	×	☆◆〔3〕
応用栄養学	栄養学各論A（母性・乳幼児）		233030			2		2		2		2	×	☆◆
	栄養学各論B（学童期～高齢期）		233031				2		2		2	2	×	☆◆
	栄養学各論C（特殊環境）	池田	233032							2		4		☆◆
	応用栄養学実習		233033				1		1		1	2	×	☆◆〔3〕
栄養教育論	栄養教育論総論		233034			②		②		②		2	×	☆
	栄養教育論各論		233035				②		②		②	2	×	☆
	カウンセリング論	大木	233036					②		②		3		☆
	栄養教育論実習	石井	233037					①		①		3		☆〔3〕
臨床栄養学	臨床栄養学総論		233039				②		②		②	2	×	☆
	臨床栄養学各論A	海老沢	233040					②		②		3		☆
	臨床栄養学各論B	山﨑	233041					②		②		3		☆
	食事介助と在宅医療	山﨑・高橋（祥）	233046							②		4		☆
	臨床栄養学実習	池田・山﨑	233044					②		②		3		☆〔6〕
公衆栄養学	公衆栄養学総論		233047				②		②		②	2	×	☆
	公衆栄養学各論	大木	233048					②		②		3		☆
	公衆栄養学実習	大木	233049					①		①		3		☆〔3〕

開設単位：
①無印は必修科目
②㋁印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②㋂印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 前期 単位	1年次 後期 単位	2年次 前期 単位	2年次 後期 単位	3年次 前期 単位	3年次 後期 単位	4年次 前期 単位	4年次 後期 単位	開講中心年次	履修可能範囲	備考
給食経営管理論	給食管理論		233050				②		②		②	2	×	☆
	給食経営管理論	柴田	233051					②		②		3		☆
	給食経営管理実習	柴田・不破	233052					②		②		3		☆〔6〕
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習	大木・山崎・清水	233053					①				3・4		☆
	臨地実習事前事後集中講義	大木・山崎・清水	233056					①				2～4		☆
	臨地実習	大木 ・山崎・清水	233057							④		3		☆
栄養教諭	学校栄養教育論Ⅰ	小田	233065				②		②		②	2	×	▲
	学校栄養教育論Ⅱ	横山	233066					②		②		3		▲
	栄養教育実習事前事後の指導	小田	233067							①		4		▲ 卒業要件単位の中に
	栄養教育実習	小田	233068							①		4		▲ 含めることができない。

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注：備考欄の●印は、生活科学科専用教養科目。もし専門科目にしたい場合は履修登録時に申請すること。
備考欄の☆印は栄養士必修科目、◆印は食品衛生管理者・監視員必修科目、▲印は栄養教諭必修科目。
管理栄養士専攻のみに開講されている学科目は、食物学専攻の学生も履修可。
備考欄の〔3〕は 135 分授業を、〔4〕は 180 分授業を、〔6〕は 270 分授業を示す。
3 年次編入学生は食品衛生管理者･食品衛生監視員の任用資格をとることはできない。

授業概要

230001 食品・栄養を学ぶための生物

教授　理学博士　大森　和子

ヒトの体の仕組みのうち、微生物の侵入に対してどのような防御機構をもつかを、皮膚の構造、血液細胞の役割、免疫のしくみを通して講義する。さらに、赤血球の役割について、呼吸と関連づけて話す予定である。

①抗原と抗体　②血液凝固　③酸素解離曲線

230002 食品・栄養を学ぶための化学実験

准教授　博士（学術）　小川　睦美
教授　理学博士　松本　孝

身近なものを題材として、基本的な実験操作の正しい習得から、科学の原理をもとにした様々な実験方法や実験過程の観察・結果の考察の仕方などを学ぶ。今後の専門課程で行われる様々な分析の基礎となる部分で、水溶液や生体成分・食品成分を試料として使用する。

①定性・定量分析の理論と方法　②機器分析　③レポートの書き方

230003 食品・栄養を学ぶための生物学実験

教授　理学博士　大森　和子
教授　農学博士　中津川　研一
講師　博士（農学）　渡辺　睦行

この実験は、生物に興味をもつようになること、人体の構造と機能の基礎を学ぶこと及び食品について生物学的視点から理解することを目的にしている。顕微鏡による実験と生体機能を調べる実験を組み合わせておこなう。

①細胞内含有物　②細胞膜と浸透圧　③組織と器官

230004 食品・栄養を学ぶための統計・情報処理演習

講師　博士（農学）　渡辺　睦行

種々のデータを処理してレポートを書いたり発表するためには、コンピューターの活用と統計処理が不可欠である。そこで食品と栄養の分野で必要とされる基礎的な統計処理の考え方と、いくつかのコンピュータソフトの基本的な操作方法を修得する。

①コンピューターの操作　②記述統計　③推測統計

230005 食品・栄養を学ぶための基礎調理学及び実習

講師　不破　眞佐子

調理の基本的な手法と技能の習得を目的として、調理操作別に実習を行う。また、食事計画や食卓作法についても講義し、食事作りに必要な基礎知識と技術を習得する。

①基本技術　②調理操作　③食事計画

230006 食品・栄養を学ぶための基礎調理学及び実習

教授　小田　きく子
助教　高橋　真美

2年次前期に開講される調理学実習に先駆け、調理の基本的な手法と技能を修得することを目的として調理操作別調理で実習を行う。また食事計画や食卓作法についても講義し、併せて調理学の基礎的理論を理解させる。

①調理操作　②食事計画　③食品成分表

230007 家族関係論

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

変容する家族関係や家族生活を、住宅や地域という空間を通して把握する。多発する家族問題を世帯主･主婦･子ども・老人という家族の立場から論じる。さまざまな事象から「家族とは何か?」を理解する。

①家族とマイホーム　②高齢者と介護　③少年事件と聞取り

230008 家庭経営学（家族と家庭経営）（家族と家庭経営）

准教授　博士（学術）　伊藤　純

複雑化し、多様化する現代社会において一人ひとりが主体的に家庭経営に関わることが重要である。生活設計、家族、生活時間、家庭経済等を中心に学ぶが、家庭と地域社会との連携についても福祉環境的視点から学ぶ。

①生活設計　②家族　③家庭経済

230009 家庭経済学A（家計経済）（家計経済）

教授　経済学博士　伊藤　セツ

家庭経済・生活経済の基礎となる世帯・家族、消費と人間、労働と収入、家計消費統計をとりあげる。すべてジェンダー視点から検討し、環境問題を考慮し、変化に対応する家庭経済の諸問題を分析する。

①家計統計　②生活経済と家庭経済　③消費とジェンダー

230010 家庭経済学B（外部経済と家計）

教授　経済学博士　伊藤　セツ

消費者物価指数関連統計資料を使って、家計が消費する生活手段やサービスの種類、体系と変遷を見る。続いて無償労働ああ（アンペイドワーク）の問題をとりあげる。最後に国際的な貧困問題や、持続可能な消費と生活様式を考える。

①生活手段とサービス　②アンペイドワーク　③持続可能な生活様式

230011 住居学A（住生活）

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居を「人間生活の容器」、「地域社会の構成単位」という視点から把握する。住居のインテリアから地域の共用空間にいたるまで、各々の諸問題を、生活・デザインの立場から論じていく。

①住まい方　②コミュニケーション　③プライバシー

230012 住居学B（環境心理）

教授　工学博士　友田　博通

機能からさらに快適性・文化性の問題に踏み込み、日常生活における 様々な人間行動について、人間と人間の心理・人間と空間の心理・深層心理・流行現象といった環境心理学の立場から分析し、住居を中心とする様々な生活環境の在り方を提案していく。

①住居環境　②人間と人間の心理　③人間と空間の心理

230013 住居学演習A（基礎）

講師　博士（学術）　番場　美恵子

家庭科教職、学芸員志望者を対象とした基礎的な設計演習を行う。まず製図の基礎技術を学び、住宅図面のトレースおよび模型制作を行う。それをもとに各自のデザインへと展開し、表現する。

①住居　②図面　③空間

230014 被服学A（被服材料）（被服材料）

教授　博士（学術）　角田　由美子

被服材料の性能を科学的に考察し、被服材料のそれぞれの特性を把握することを目的とする。各種繊維の構造、形態、性質および糸と織（編）物の組織構造について解説する。これらを総合することにより衣服の機能性への理解を深める。

①繊維、糸、布　②消費性能　③構造と形態

230015 被服学B（被服設計）（被服設計）

准教授　博士（学術）　石垣　理子

被服の設計・製作に関わることだけでなく、既製服などを購入する消費者の視点も取り入れて講義する。内容は、人の体を被うための工夫、既製服、環境に応じた衣服、着心地の良い衣服などである。

①既製服　②環境　③着心地

230016 被服学及び実習

教授　博士（学術）　角田　由美子

被服構成学の基礎的な知識、技術をブラウスとスカートの製作を通して習得させる。これにより着心地の良い、しかも審美性に富んだ被服を製作する技術と、消費者としてより良い被服を選択する力を養いたい。

①パターン　②被服素材　③造形技術

230017 家庭機械及び家庭電気

教授　工学博士　佐藤　豊

家庭生活では多くの機械を使っている。そのエネルギー源として電気が用いられている。安全に、効率良く機械を使用して生活するためには、電気・機械に関する知識だけでなく、エネルギーが環境に及ぼす影響をも考慮しなければならない。

①電気エネルギー　②機械と動作原理　③地球環境の悪化

230018 保育学　（実習を含む）

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

子どもの成長･発達の過程を学び､月齢に合わせた育児･保育について学習する。さらにビデオを通して子どもとのふれあいを学ぶ。子どもとのかかわりについての理論と実践を学習する。

①妊娠・出産　②乳幼児　③成長・発達

230020 学校保健B

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

学校保健の変遷と現状について学習し、学校保健管理とその体系（健康診断、健康観察、健康相談、学校環境衛生など）について理解を深める。さらに学校安全、救急処置について学習する。

①学校保健の変遷　②保健管理　③環境衛生

230021 学校保健C

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

学校保健における健康問題の様相は時代とともに変化し、最近では心の健康の重要性が高まっている。学校保健Cでは精神保健について考える。

①心の健康　②精神保健　③ストレス

230022 科学科概論

生活科学科教員

生活科学は食と栄養と健康、さらに人と社会をとりもつ分野である。これらの分野のイントロダクションを自然科学、社会科学両面からあつかい、私たちがこれから学んでゆく道筋と、それに必要な学問体系がいかなるものであるかを示してゆく。

①生活科学　②食　③栄養

230025 アメリカ栄養士体験コース

生活科学科教員

アメリカにおける栄養教育・健康保持のための取組み・栄養士養成大学での交換・栄養士業務の見聞等を通して、栄養教育・栄養士の社会的使命の重要性を再認識し、国際的視野を養う。

①栄養教育　②体験学習　③栄養士業務見聞

230026 アメリカ食生活研究コース

生活科学科教員

見学・研修・実習等を通して、アメリカにおける食物の生産・流通システムやアメリカ人の食生活の実態等について学び、日本人の食文化と比較する。授業を通して、健康な人間生活における食文化の重要性に対する理解を深める。また将来栄養士・管理栄養士として必要な見聞を広め、幅広い教養を身につける。

①食料の生産・流通　②食生活　③食文化

230030 国家試験対策講座※社会・環境と健康（公衆衛生学）

教授　医学博士　戸谷　誠之

公衆衛生学の最新情報と過去問題に対する解答法について学ぶ

①衛星統計　②保健行政　③労働と環境

230031 国家試験対策講座※解剖生理学

教授　博士（医学）　志賀　清悟

解剖生理学の基礎と考え方について知る
国家試験の対策としての学習法を学ぶ

230032 国家試験対策講座※生化学

教授　農学博士　中津川　研一
教授　理学博士　松本　孝

生化学の重要項目を整理・復習し、過去問題を解説し実戦力を身につける。

①復習　②過去問題　③実戦力

230033 国家試験対策講座※臨床医学

教授　博士（医学）　志賀　清悟

臨床医学の基礎と考え方について知る
国家試験の対策としての学習法を学ぶ

230034 国家試験対策講座※食品学

教授　博士（学術）　森髙　初恵

食品学全般についてまとめ、過去の国家試験問題の出題傾向について解説する。食品成分表の成分値の算出根拠や見方、栄養成分の種類や化学的性質、成分変化、植物性食品や動物性食品の成分的特徴や特殊成分などについて再確認する。

①食品成分　②植物性食品　③動物性食品　④醗酵食品

230035 国家試験対策講座※衛生学

教授　博士（学術）　福島　正子

国家試験に必要となる食品衛生学分野基礎を含め講義する

①食品衛生行政　②食虫毒　③食品の危害微生物・物質　④食品の変質と防止　⑤食品の安全性とその評価　⑥食品添加物　⑦環境と食品衛生

230037 国家試験対策講座※調理学

教授　小田　きく子

卒業後、管理栄養士国家試験合格にむけて、受験科目である調理学の復習及び補修の講義を行う。更に、過去問題の中から、講義内容ごとの実力テストを毎回実施する。

①教科の復習　②傾向と対策　③過去問題の実施と解説

230038 国家試験対策講座※基礎栄養学

准教授　博士（学術）　小川　睦美

基礎栄養学は栄養士の仕事の土台をなす学問であり，基本的ではあるが，幅広い知識が要求される。本講座では，健康の保持・増進における栄養の役割の理解ため，過去問題を中心に演習を行う。

①栄養と栄養素　②消化と吸収　③栄養素の機能

230039 国家試験対策講座※応用栄養学

講師 博士（学術）　池田　尚子

応用栄養学は例年出題数も多く、基本的ではあるが幅広い知識が要求される。そこで本講座では、ライフステージごとの食事摂取基準の算定基礎、栄養アセスメントおよび特殊環境と栄養について理解する。またこの他に、過去問題、創作問題を中心に演習し、関連事項の解説を行う。

①栄養アセスメント　②ライフステージと栄養　③特殊環境と栄養

230040 国家試験対策講座※栄養教育論

准教授　石井　幸江

卒業後の管理栄養士国家試験合格に向けて、栄養教育論の復習並びに補習、過去問題の解説等を行う。

①教科の復習　②過去問の解説　③傾向と対策

230041 国家試験対策講座※臨床栄養学

准教授　保健学博士　海老沢　秀道

この教科については臨床医学的・生理学的な内容が多くなっている。また、広く生理・生化学的な知識を問う問題も増えているため、受験生に必要な情報の提供と問題解釈のポイントについて問題練習，解説をする。

①教科の復習　②問題の解説　③傾向と対策

230042 国家試験対策講座※公衆栄養学

准教授　博士（医学）　大木　和子

公衆栄養は毎年の法律変更や統計データの更新に伴い問題も刷新されてくる。したがって、講義では卒業直後の管理栄養士国家試験合格に向けて、必要な情報の提供と問題解釈のポイントについて復習並びに補習、過去問題の解説、模擬試験の実施と評価等を行う。

①公衆栄養　②過去問の解説　③傾向と対策

230043 国家試験対策講座※給食経営管理論

准教授　柴田　由美子

管理栄養士国家試験合格に向け、過去問題を収集したテスト後、解説を行い、項目別まとめを行う。

①復習　②過去問題解説　③傾向と対策

230044 国家試験対策講座※応用力試験

准教授　保健学博士　海老沢　秀道
教授　医学博士　戸谷　誠之

応用力試験では、高度な専門知識および技能の習得、思考判断力並びにそれらに基づく問題解決能力が試される。よって複数の教科を基礎栄養系、実践栄養系、食品系に分けて、状況設定問題等を作成し応用力を養う。

①状況設定問題　②総合的思考力　③問題解決能力

230056 生活情報処理A

教授　工学博士　佐藤　豊

現代社会はコンピュータの利用を前提としたデジタル情報が溢れている社会である。そのコンピュータはアナログ情報とデジタル情報を処理するための機械である。パソコンで情報を処理していく方法を、実習を通して検討していく。

①プログラミング　②情報処理　③情報表示技術

230057 生活情報処理B

教授　工学博士　佐藤　豊

現代社会はコンピュータの利用を前提としたデジタル情報が溢れている社会である。そのコンピュータはアナログ情報とデジタル情報を処理するための機械である。パソコンで情報を処理していく方法を、実習を通して検討していく。

①プログラミング　②情報処理　③情報表示技術

232001 食品・栄養を学ぶための化学 A

教授　理学博士　松本　孝

生命は水の中から生まれ、水がないと存続できない。生物体の大部分を占めるこの水を理解するための基礎知識として、原子・分子から物質の状態や性質、溶液の性質、化学反応、化学平衡、ｐＨなど生命科学分野に必要な最低限の内容を体系的に学び、生命の科学的理解力養成を目標とする。生体を構成する水やその他の化合物を題材として扱い、多少無機化学・有機化学も学ぶが、現象を理論的に理解することが主体となる。

①原子の性質と電子配置　②水溶液の性質　③化学反応と化学平衡

232002 食品・栄養を学ぶための化学 B

教授　博士（学術）　福島　正子

栄養学や食品学といった生命に関わる物質の学問を正しく理解するためには，有機化合物の構造や性質を知る事が重要である。炭素の結合，官能基の性質から三大栄養素の化学までを解説する。

①炭素鎖　②官能基　③三大栄養素

232003 食品・栄養を学ぶための微生物学実験

教授　農学博士　飯野　久和

微生物を取り扱う手技の基本を、カビ・酵母・細菌を対象とした分離、同定を通して修得する。

①微生物　②細菌　③カビ・酵母

232004 食品・栄養を学ぶための微生物学

教授　農学博士　飯野　久和

ミクロの世界を形成する微生物の概念を知る上で重要な生理･生態を論述し、基礎的な知識の集積を目指す。

①微生物学の方法　②微生物の分類と種類　③微生物の生理と生態

232005 社会福祉概論

教授　西脇　和彦

わが国の社会保障制度はいま改革期にあるが、いつの時代においてもその基本は、人間の重層的・相互的関係における自立の助長と支援であった。本講義では、そのような諸制度の理念や対象、方法、実践の基礎を説明する。

① Normalization & Holon　②公的扶助　③社会保険

232006 公衆衛生学

准教授　博士（医学）　大木　和子

公衆衛生学は社会の仕組みと医学の関わりについての基礎的学問である。栄養士として必要な公衆衛生学の知識と問題解決法について学ぶ。

①健康の概念　②環境と健康　③衛生統計　④疫学　⑤疾病対策　⑥衛生行政

232007 健康管理概論

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

健康の定義、判定，現状（日本と諸外国），健康増進の三原則と阻害要因，健康増進の施策、健康管理の考え方と方法について解説する．そしてわが国の健康づくりを考える。

①健康の指標　②疾病構造の変化　③プライマリーケア

232008 人体の構造と機能Ｉ A

非常勤講師　医学博士　渡辺　豊

人体の働きを理解するために、総論では、体を構成している細胞、組織及び器官の概略について学ぶ。さらにホメオスタシスに欠くことのできない細胞への情報伝達の仕組みについて講義する予定。

①ヒト　②正常の形態　③正常の機能

232009 人体の構造と機能Ｉ B

教授　博士（医学）　志賀　清悟

本教科は健康や病気に関わる人体の構造と機能について学ぶ。人体の構造や機能の特徴と病気が発症するメカニズムについて学ぶ。この教科は新カリキュラムに基づく食物健康学専攻に特化する教科です。

①からだのしくみ　②からだのはたらき

232011 生化学

教授　農学博士　中津川　研一

生命を維持するために、体内でおこなわれる様々な代謝（エネルギー代謝、糖質代謝、脂質代謝、タンパク質代謝など）について学ぶ。また、免疫や遺伝についても学ぶ。

①代謝　②免疫　③遺伝

232013 病理・疾病

教授　博士（医学）　志賀　清悟

病気（病変）の種類、原因および病態像の特徴について学ぶ学問である。食物学や、栄養学の展開に必須な知識について、人体の構造や異常がどの様な仕組みで生じて病気になるかの概論について示す。

①病気の仕組み　②健康と疾患

232014 生化学・解剖生理学実験

教授　博士（医学）　志賀　清悟
講師　博士（農学）　渡辺　睦行

人体の構造と機能を学ぶことにより私たちの体のしくみを理解し、さらに生体を構成する物質の性質や生理的役割を学ぶことにより、生命を維持するために体内でおこなわれる様々な代謝について理解する。

①生体　②器官　③代謝

232015 ライフサイエンス

教授　理学博士　大森　和子

生命活動の様々な現象について、ヒトを中心にしたものをいくつか選んで講義する。本年度は、遺伝子の科学、細胞の運動、生命現象にみられる調節の仕組みについて焦点をあてる予定である。

①遺伝子の転写調節機構　②筋収縮　③細胞内輸送

232016 ライフサイエンス（実験）

教授　理学博士　大森　和子

いままでの実験、実習より少し高度な実験を行い、生命科学研究にふれてみることを目的としている。今年度は細胞生物学を中心に行い、遺伝子の単離、細胞内のATPの変動、情報伝達物質であるc AMPの検出についての実験を行う予定である。集中講義となる。

①遺伝子　② ATP　③c AMP

232017 食品学

教授　博士（学術）　福島　正子

食品の主要成分の他、色・味・香り等の嗜好成分および食品成分間の相互作用について学ぶ。また、食品の種類、各食品に含まれている成分や機能特性、経時的な成分の変化や鮮度判定方法等について学ぶ。

①食品成分　②食品成分間の相互作用　③食品の種類

232063 食品学・食品衛生学・食品加工学実験

教授　農学博士　高尾　哲也
教授　博士（学術）　福島　正子
助教　高橋　真美

我々は現在数多くの食品や食品素材を利用している。これらは国外から輸入されるものも多い。また国内で生産される食品も、生産者と消費者が密に繋がっている事は少ない。そのため、食品の品質と安全性を高めるためには、食品の成分分析、品質評価、衛生、加工の知識と技術が欠かせない。そこで食品の品質と安全性評価の基礎的な知識と技術習得を目的として、食品成分の特性を化学的に把握し、さらに身近な加工食品を実際に製造して加工の原理や工程などの理解を深め、製造に係わる環境を衛生的観点から考察する。

①食品成分の特性と評価　②食品危害の検出法と実際　③食品の製造原理及び技術

232018 食品素材の科学

教授　博士（学術）　福島　正子

植物性食品と動物性食品について、各食品に含まれる栄養成分、特殊な機能性成分や嗜好性成分等について解説し、さらに鮮度判定方法についても説明する。加えて、食べ物と健康について検討し、豊かで健康的な食生活における食品素材の役割を考察する。

①食品素材　②食品の特性　③食品の栄養性

232019 食品と加工

教授　農学博士　高尾　哲也

われわれの食生活の中で必須となっている加工食品について、食品素材の基礎的な加工方法、加工後の保蔵方法や包装方法、食品に関与する法規などを学習し、食品の保存性や多様性に富む加工食品の表示等について理解を深める。

①劣化要因　②加工技術と貯蔵方法　③包装

232021 食品衛生学

教授　博士（学術）　福島　正子

飲食物は、諸物質（微生物、化学物質）により汚染されていると言われ、これらを摂取すると健康を損なう可能性があり、必ずしも安全とはいい難い。そこで、汚染物質の把握と、安全性の確保、衛生管理について講ずる。

①食品衛生行政　②食中毒の原因物質・予防法　③食品添加物

232024 栄養と健康

准教授　保健学博士　海老沢　秀道

「健康で長寿命」の達成はそれほど難しいことではない。病気にならずに健康であり続ければよいのである。一方、ヒトも含めて生物の最大生存時間（寿命）は遺伝的に決まっているとはいえ、寿命も病気も食べ物の種類、組み合わせあるいは摂取量によって大きな影響をうけることも事実である。本講義では、健康と食べ物の関係を理解することを目的として、ヒトにおける食物の摂取および消化、栄養素の吸収、生体における栄養素の種類と機能について解説する。

①栄養と健康　②栄養素の機能と代謝　③栄養と疾病予防

232025 応用栄養学

教授　医学博士　渡辺　満利子

ライフステージ毎の成長・発達・加齢に伴う生理的変化と身体状況、栄養状態について理解させ、各年代に応じた食事摂取基準算定の基礎、および栄養アセスメント、出現しやすい病態の概要と栄養ケアのあり方を解説する。

①ライフステージ ②食事摂取基準 ③栄養アセスメント

232026 臨床栄養学実習

准教授　山﨑　大治

臨床栄養学各論の理論の実践として、代表的な治療食を取り上げ、対象に適した献立作成に基づいて食事を調整し、その評価・検討を行う。また、生活習慣病とその予防のための食生活のあり方についても解説する。

①治療食 ②栄養管理 ③生活習慣病

232027 臨床栄養学各論

准教授　山﨑　大治

病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う知識の習得、ライフステージ別や疾病別の具体的栄養管理、栄養治療法について学ぶ

①病態生理 ②栄養療法 ③食事療法 ④栄養管理

232028 栄養学実習

講師 博士（学術）　池田　尚子

食物の摂取選択、摂取した食物の消化と吸収、そして栄養素の代謝、排泄、生体への影響を実測するとともに、身体状況や生活活動内容をも調査し、栄養学の基礎を実習を通して学ぶ。また、ライフステージに応じた食事計画の立案および献立への展開を実習し、さらに栄養アセスメントの実際についても実習する。本実習によって、栄養学の基礎から食事への展開までの全過程を習得することができる。

①食事摂取基準 ②血液と尿 ③ライフステージ ④栄養アセスメント

232030 栄養指導論総論

准教授　石井　幸江

生涯に通じる健康づくりのための栄養・食生活指導の基本を修得するために、栄養指導理念、指導業務、指導の基礎理論と技術を学び、時代の要請に対応した適切な指導方法、考え方等を学習する。

①栄養指導の基礎理念 ②栄養指導関連法規 ③栄養指導の方法

232031 栄養指導論各論

准教授　石井　幸江
講師　博士（学術）　池田　尚子

対象に応じた栄養指導プログラムの作成・実施・評価を行うことのできる知識と技能を修得するため、ライフステージ、ライフサイクルに応じた栄養指導のあり方について講義を行う。さらに、食行動変容を理解するために、行動科学についての講義を行う。

①ライフステージにおける栄養指導 ②行動科学 ③食行動変容

232032 公衆栄養学

教授　医学博士　渡辺　満利子

地域社会の人々の健康・栄養のニーズを総合的に科学し、健康増進・生活習慣病予防のために栄養学を応用・実践する。栄養の知識を行動の変容につなげる実践活動が公衆栄養活動であり、管理栄養士の重要な活動の一つである。 このためには地域集団や国レベルの健康と疾病等の社会的要因との関連を中心にした総合的、実践的視野に立ち行動できる基礎学力を身につける。

①公衆栄養マネジメント ②栄養疫学 ③栄養政策

232033 栄養指導論実習

准教授　石井　幸江

栄養指導の方法論の実践としての栄養指導の効果的な話し方・有効な媒体作成および利用、調査の企画、集団指導の企画・実践、栄養指導プログラムの計画・実施・評価について実演実習を行う。

①話し方と視聴覚媒体 ②栄養指導プログラム ③集団指導法・個別指導法

232034 給食運営総論

講師　不破　眞佐子

栄養士が給食施設において給食運営を行うために必要な基礎となる理論を学ぶ。経営管理、食材管理、衛生管理、作業管理、施設設備管理などについて、事業所、学校、病院など個別の給食施設の特性、問題点を含め講義する。

①経営管理 ②食材管理 ③衛生管理

232035 給食実務論・大量調理の食事計画

講師　不破　眞佐子

給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供に関する知識を習得することを目的に、給食施設における栄養・食事計画、献立作成、大量調理の理論などを中心に講義する。

①食事計画 ②大量調理 ③食事サービス

232036 調理学実習A

教授　小田　きく子
助教　高橋　真美

健康を保持・増進するために栄養素を含む食品を摂取し、栄養として活用する必要がある。その手段である調理を理論に基づいて実習し、調理操作の特性および食品の調理性について学ぶ。あわせて、基礎的な調理技術の習得のために、和・洋・中の特徴ある技法を取り入れた実習を行う。また、供応・食卓構成および食事計画についても解説する。

①食品の調理性②調理操作③味の相互作用④供応・食卓構成

232037 給食実務論実習

准教授　柴田　由美子
講師　不破　眞佐子

給食サービス提供に関する技術と大量調理の技術を習得することを目的に、学内の施設において実習を行う。栄養管理、衛生管理、作業管理などの計画、実施、評価を繰り返すことで、食事提供サービスとそのシステムの流れを理解し、学外実習に出るための基礎力を身につける。

①大量調理　②衛生管理　③給食評価

232038 校外実習

准教授　柴田　由美子
准教授　石井　幸江

給食業務の運営の概要について理解し、給食計画を含め、給食の実務の実際について理解するために、事業所、学校など学外の特定給食施設において実習を行う。学内でのガイダンス、集中講義、反省会への出席、書類作成、レポート等の提出を要件とする。

①原価管理　②栄養管理　③衛生管理

232041 運動と健康

准教授　博士（学術）　白川　哉子

健康の保持増進と体力向上を図ることは、健康獲得のための運動不足解消と心身の健康の確保が重要な課題となっている。運動と健康の関わりを学び、現在の自分の実態把握をした上で、生涯にわたり健康的な生活を送るための知識を身につける。

①健康関連体力　②生活習慣と運動　③身体活動

232042 スポーツと栄養

准教授　博士（学術）　白川　哉子

健康づくりのための運動・スポーツと栄養と、競技スポーツのトレーニング時などに関する栄養の問題について考える。さらに、フィットネスプログラムを展開していくうえで必要な運動プログラムの要素について、栄養との関連を考慮して検討する。

①スポーツの生理学的基礎　②健康と体力　③からだづくりと栄養

232043 スポーツと栄養と食事デザイン　（演習）

准教授　博士（学術）　小川　睦美
准教授　博士（学術）　白川　哉子

スポーツ栄養の基礎を学ぶとともに、実際のスポーツ活動において役立つような，運動の基本と適切な栄養を統合的に学ぶ。

①フィットネスの要素　②コンディショニングと栄養　③栄養と運動のパフォーマンス

232045 こころと身体の科学

准教授　博士（医学）　大木　和子

こころと身体を統合的にとらえ、QOL- 全人的健康づくりに基づいた栄養ケア・マネージメントを実践するための基礎を学ぶ。食行動に及ぼす、心理面・社会・経済面など、人を取り巻く環境を幅ひろくとらえた上で、個々に応じた最適な栄養ケアを目指していく。

①こころの科学　②全人的健康づくり　③全人的栄養ケア

232046 カウンセリングの実際

准教授　博士（医学）　大木　和子

「カウンセリング」に関する理論、方法などの基本を理解し、さらに対象にあった、カウンセリングを演習等を通して体験的に学ぶ。これらの理論や演習を栄養教育に活かすことができる傾聴の技能や人間関係を円滑にするコミュニケーション能力を身につける。

①カウンセリング論　②傾聴　③受容・共感・自己一致

232047 食と情報

教授　小田　きく子

食に関して多くの情報が飛び交うなかで、最新の情報を正しく理解して日常生活を営むことが必要である。マスコミが取り上げる情報を正しく理解し、情報を分析する能力と選択する能力を養うための訓練として履修学生に最新の情報をテーマ別に収集させ、発表してもらう。

①食情報の収集と分析　②食情報の理解　③食情報の活用

232048 食と環境　（食生活と環境）

教授　博士（学術）　福島　正子　他

地球上のあらゆるところに存在する酸素は、ヒトにとって欠かせないものであるが、その存在形態によっては生体にも食品にも有害な存在となる。そこで酸素と食品および生体組織との関係について科学的に学ぶ。また光や色などの生活環境がヒトの食行動に及ぼす影響について考察する。オムニバス形式で行う。

①酸素　②食品包装　③食欲

232050 調理とおいしさの科学A

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子
特任教授　農学博士　島田　淳子

調理により食品はおいしく食べやすくなる。人はさまざまな道具を用いて加熱操作や非加熱操作を行う。各操作には必要な条件とその科学がある。調理によって起こる味・テクスチャー等の変化とおいしさとの関係、これらの科学について解説する

①調理の意義　②食事計画　③嗜好性　④調理操作　⑤食文化

232051 調理とおいしさの科学B

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子
特任教授　農学博士　島田　淳子

調理により食品はおいしくなる。おいしく仕上げるために調理にはさまざまなコツ・ポイントがある。しかし、同じ料理でもおいしい状態は国や民族により全く異なることがある。おいしさを感じる仕組みやその評価法を述べる。また、食品別にそれぞれの調理特性を科学的に解説する。

①食品の調理特性　②食品成分と組織　③おいしさと感覚評価　④テクスチャー

232052 調理とおいしさの科学（実験）

教授　博士（学術）　森高　初恵

調理学の基礎的理論に基づき、食品の調理操作による化学的･物理的性状の変化を実験を通して理解する。また、食品の調理操作による変化を検証するための調理学的実験手段を習得する。

①おいしさ　②調理　③官能評価　④風味　⑤テクスチャー

232053 調理学実習B

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子

これまでに修得した基礎的知識と技術を活用し、目的や対象に適した日常食の献立作成を実施し、実習を通して理解を深める。さらに、和・洋・中の様式別調理の特徴と食習慣食について学ぶと共に、行事および供応食が提供できる技能を養成する。

①調理技術　②供応食　③行事食　④献立構成　⑤食事計画

232056 食事のデザイン

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子

「健康で豊かな食生活」を営むための食生活のあり方の実際を考える。栄養所要量の正しい理解と運用、様々なパターンにおける食品構成の作り方および使い方を理解する。食膳の構成を基本として、実際に献立作成を実施・評価し理解を深める。

①健康と食事　②食事計画　③食品構成　④献立作成

232057 フードスペシャリスト論

教授　小田　きく子

現代の食生活は、「豊かな食生活」の一語につきる。これは多種多様な食品が簡単に入手できるからである。消費者として、また食を提供する立場にある時、充分食の現状を把握し、それを提供できる知識を身に付けてもらいたい。この授業は「フードスペシャリスト」の必須科目である。

①フードスペシャリストの仕事　②食の消費現場と食産業　③食環境

232058 フードコーディネート論

教授　小田　きく子

フードビジネスの担い手としてのフードスペシャリストの資格取得の必須科目として、栄養士資格の基本科目に加えて、食空間のコーディネイト、フードマネージメント、メニュープランなど企業で発揮できる実践力を養うための講義を行う。

①食事文化　②食空間　③食事の演出　④フードマネージメント

232059 食料経済

非常勤講師　首藤　宣弘

我が国における「食の現在」を解説する。消費者の食行為の場面を内食、中食、外食から整理した上で、食品の主要な流通経路についてその機能を論じる。さらに、代表的な食品についてその消費動向と流通構造に触れる。新しい課題として食品ロス、食品表示の問題、食品リサイクル法も取り上げる。

①消費者の変化と食生活　②食品流通と食品市場　③主要食品の流通の実際

232064 食べ物とアレルギー

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子　他

食品アレルギーについて、基礎から応用までをⅠ. 臨床、Ⅱ. 栄養化学、Ⅲ. 食品化学、Ⅳ. 調理・加工の各立場から、オムニバス形式で講義・解説する。特に乳児から児童にかけての食品アレルギーを中心に、食生活上の問題点およびその指導のあり方を考える。

①アレルギー疾患　②アレルゲン　③低アレルゲン化

232065 食と情報

教授　小田　きく子

食に関して多くの情報が飛び交うなかで、最新の情報を正しく理解して日常生活を営むことが必要である。マスコミが取り上げる情報を正しく理解し、情報を分析する能力と選択する能力を養うための訓練として履修学生に最新の情報をテーマ別に収集させ、発表してもらう。

①食情報の収集と分析　②食情報の理解　③食情報の活用

232066 食と文化

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子　他

かつて、人類は生命を維持するために食物を獲得し、摂取する営みの中で、様々な食を取り巻く環境の変化とともに「食文化」を形成し、発展させてきた。先人たちの知恵と努力によって築き上げられてきた、我が国独自の食文化についての理解を深めると共に、食を取り巻く諸外国の文化および食習慣等について、様々な角度から解説する。

①食文化　②共通性・個別性　③食習慣　④地域環境（歴史・気候風土）　⑤食文化の伝承

232067 加齢制御栄養学

特任教授　農学博士　　木村　修一

いまや、単なる長生きではなく、自立して日常生活のできる「元気で長生き」が求められている。加齢とは生まれてから死ぬまでの過程を含むものであり、健康を維持するにはこれをカバーする加齢制御の栄養学が望まれている。この課題について考察したい。

①寿命延長　②アンチエージング　③元気で長生き

232068 肥満制御栄養学

特任教授　農学博士　　木村　修一

メタボリック・シンドロームの共通のリスクが内臓脂肪型肥満である。脂肪組織が単なるエネルギー蓄積だけでないことが証明されている。何故肥るのか?どうしたら痩せられるのか?は世界中のヒトの関心事になっている。栄養学の立場から解説する。

①内臓脂肪型肥満　②メタボリックシンドローム　③肥満制御

232069 食品成分の科学

教授　理学博士　　松本　孝

三大栄養素（タンパク質・炭水化物・脂質）および、それ以外の食品成分のうち、我々の健康に欠かすことのできない成分と二次・三次機能について、やや詳しく学ぶ。

①三大栄養素　②食品の微量成分　③健康

232070 食品成分の科学（実験）

教授　理学博士　　松本　孝

食品中の主要成分の他、微量成分の分析およびその機能について、機器を利用した実験を通して理解する。

①三大栄養素　②食品の微量成分　③健康

232071 バイオテクノロジー入門（実験）　集中講義

教授　農学博士　　高尾　哲也

近年、食品・栄養分野においても、機能解析や開発に分子生物学の利用が欠かせなくなってきた。そこで分子生物学の基礎的な知識と技術習得を目的とし、食品機能の解析を培養細胞を用いた分子生物学的手法により行う。さらに近年問題視されやすい遺伝子組換え作物について、加工食品からの検出を試み、加工食品との係わりを考える。

①機能解析で利用される分子生物学　② DNA　③ RNA

232072 食品開発とバイオテクノロジー

教授　農学博士　　高尾　哲也

最近の食品加工・開発には、食品素材の特性や機能、加工技術などの他に、安全性や商品性の考えが欠かせない。そこで食品の機能性、安全性、特許、製造原理や方法等の考え方について解説する。さらに実際の食品開発に係わっている方をお招きし、開発現場の考え方などを紹介していただく。

①食品の新規な加工技術　②食品の機能性とその原理　③食品の安全性

232073 食品の生理機能

教授　農学博士　　飯野　久和

食品成分の三次機能すなわち生体調節に係わる新規食品成分のメカニズムを概説する。また、食品表示と高度健康強調表示に係わる科学的根拠に関する試験研究方法及び行政側の許可制度についても解説する。

①食品の三次機能　②生体調節　③食品表示と高度健康強調表示

232075 世界の食文化（演習）

教授　　小田　きく子

日本にいながら世界の料理を食べることができるが、その国の文化を理解し、料理の特徴を把握してその料理を食していることは少ない。この授業では各国の料理を実習するだけでなく、その国の食文化を知り、現状を理解するためにもビデオやスライドを用いて解説する。

①世界の食事マナー　②宗教と食文化　③料理の特徴

232076 おいしさの評価

准教授　博士（学術）　　大橋　きょう子
特任教授　農学博士　　島田　淳子

調理により食品はおいしくなる。おいしく仕上げるために調理にはさまざまなコツ・ポイントがある。しかし、同じ料理でも、おいしい状態は国や民族により全く異なったりする。おいしさとは一体なんだろう。おいしさを感じる仕組みやその評価法を述べる。また、食品別にそれぞれの調理のおいしさとその客観的評価を科学的に解説する。

①食品の調理特性　②食品成分と組織　③おいしさと感覚評価　④テクスチャー

233001 食品・栄養を学ぶための化学 A

教授　理学博士　　松本　孝

生命は水の中から生まれ、水がないと存続できない。生物体の大部分を占めるこの水を理解するための基礎知識として、原子・分子から物質の状態や性質、溶液の性質、化学反応、化学平衡、ｐＨなど生命科学分野に必要な最低限の内容を体系的に学び、生命の科学的理解力養成を目標とする。生体を構成する水やその他の化合物を題材として扱い、多少無機化学・有機化学も学ぶが、現象を理論的に理解することが主体となる。

①原子の性質と電子配置　②水溶液の性質　③化学反応と化学平衡

233002 食品・栄養を学ぶための化学 B

教授　博士（学術）　　福島　正子

栄養学や食品学といった生命に関わる物質の学問を正しく理解するためには，有機化合物の構造や性質を知る事が重要である。炭素の結合，官能基の性質から三大栄養素の化学までを解説する。

①炭素鎖　②官能基　③三大栄養素

233003 食品・栄養を学ぶための微生物学

教授　農学博士　飯野　久和

ミクロの世界を形成する微生物の概念を知る上で重要な生理・生態を論述し、基礎的な知識の集積を目指す。

①微生物学の方法　②微生物の分類と種類　③微生物の生理と生態

233004 食品・栄養を学ぶための微生物学実験

教授　農学博士　飯野　久和

微生物を取り扱う手技の基本を、カビ・酵母・細菌を対象とした分離、同定を通して修得する。

①微生物　②細菌　③カビ・酵母

233005 人間と社会生活

教授　医学博士　戸谷　誠之
准教授　石井　幸江
准教授　博士（学術）　伊藤　純

公衆衛生学では社会の仕組みと医学の関わりについての基礎的学問である。管理栄養士として必要な公衆衛生学の知識と問題解決法について学ぶ。

①健康の概念　②環境と健康　③衛生統計　④疫学　⑤疾病対策　⑥衛生行政

233006 社会環境と福祉

教授　医学博士　戸谷　誠之
教授　理学博士　常喜　豊
准教授　博士（学術）　伊藤　純

本講義では、社会保障・社会福祉の概念をはじめとし、国民生活の各分野での医療、保健公衆衛生について学ぶとともに、日常生活における「健康」についてライフスタイルをとおして考える。具体的に社会福祉制度、医療制度、保健施策を中心に健康で快適な人間生活に必要な環境の維持と整備を図るための取り組みをとおして学習する。

①社会福祉　②医療制度　③国民保健　④食行動　⑤生活習慣行動

233007 健康管理概論

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

健康の定義、判定，現状（日本と諸外国），健康増進の三原則と阻害要因，健康増進の施策、健康管理の考え方と方法について解説する．そしてわが国の健康づくりを考える。

①健康の指標　②疾病構造の変化　③プライマリーケア

233008 人体の構造と機能 A（総論）

教授　理学博士　大森　和子

人体の働きを理解するために、総論では、体を構成している細胞、組織及び器官の概略について学ぶ。さらにホメオスタシスに欠くことのできない細胞への情報伝達の仕組みについて講義する予定である。

①細胞内器官 ②細胞膜と膜輸送 ③ホルモンの作用機構

233009 人体の構造と機能B（解剖学）

非常勤講師　博士（医学）　山口　久美子

基本的な人体各器官の正常な位置と構造を知り、生理機能を学ぶ。さらに、各器官系あるいは各臓器に関連した疾病の成り立ちと病態について学び、健康な状態から疾病の発症するメカニズムについて解説する。

①人体の構造　②人体の機能と生理　③疾病の成り立ちと病態

233010 人体の構造と機能 C（生理学）

教授　博士（医学）　志賀　清悟

人体の構造と機能の関係について学ぶ。講義では特に循環や消化など人の基本的な営みについて組織学的な側面と細胞機能的な側面との関わりについて知ると共に、病気を理解する上で必要となる正常と異常な営みの違いについて学ぶことを目的とする。

①人体機能　②ホメオスタシス　③身体機能

233011 生化学

講師　博士（農学）　渡辺　睦行

正常な人体の仕組みを分子レベルから理解する。生体内で起こる代謝が各臓器や組織でどのように行われるか、それらの器官の機能との相関を考えながら、代謝のメカニズムとその調節、代謝のバランスが崩れた場合について講義する。

①中間代謝と生合成・異化作用　②代謝の調節機構　③遺伝子とタンパク質

233012 栄養生化学

准教授　博士（学術）　小川　睦美

栄養とは，食を営み生を養うことである。ここでは，ヒトが栄養素を吸収した後の，生体内における各種代謝反応，恒常性維持や健康を維持するためのしくみについて学ぶ。

①生体リズム　②エネルギー代謝　③恒常性の維持

233013 臨床医学総論（病理も含む）

教授　博士（医学）　志賀　清悟

病気（病変）の種類、原因および病態像の特徴について学ぶ学問である。栄養学の展開に必須な知識について、総論的に概括する。

①病理の基礎　②診断と治療

233014 臨床医学各論（病理と遺伝子・遺伝子治療含む）

教授　博士（医学）　志賀　清悟

総論に引き続き、各論では、特に栄養に関係の深い代謝性疾患を中心に、消化器、肝・胆・膵、心・血管、腎などの疾病を取り上げて、その概要を学習する。まとめとして、臨床医学における管理栄養士の役割について述べる。

①病因　②診断　③治療

233015 生化学実験

教授　農学博士　中津川　研一

栄養素や生体物質の分析方法・分析機器の取り扱いについて学ぶ。また、それらの生理的役割や性質について自らの目を通して体験的に理解することをめざす。

①基本の操作　②栄養素の消化実験　③酵素の作用

233016 解剖生理学実験A（人体の構造と生理）

非常勤講師　医学博士　渡辺　豊

正常な人体の形態について、個体を構成する細胞レベルから組織、器官レベルまでの構造を講義、実験を通して学ぶ。

①人体の形態　②組織・臓器レベルの構造と生理機能

233017 解剖生理学実験B（人体の生理と分子医学）

准教授　保健学博士　海老沢　秀道
講師　博士（農学）　渡辺　睦行

実験を通して、正常な人体の形態および生理機能を遺伝子・細胞レベルおよび組織・器官レベルで理解し、且つ分子医学の基礎を理解する。また主要臓器の生理機能について、主にラットを用いた実験を通して理解する。

①人体の形態　②組織・臓器レベルの構造と生理機能　③ラット

233018 食べ物と健康（総論）

教授　博士（学術）　森高　初恵

食品成分表の見方や成分値の算出の根拠、栄養成分の種類や化学的性質、成分変化、成分の相互作用などに関して解説する。また、嗜好成分である色・味・香りの種類と化学的性質を理解し、食べ物と健康の関係について考察する。

①栄養成分　②食品成分表　③食品と健康

233019 食品素材の科学

教授　博士（学術）　森高　初恵

植物性食品と動物性食品について、各食品に含まれる栄養成分、特殊な機能性成分や嗜好性成分等について解説し、さらに鮮度判定方法についても説明する。加えて、食べ物と健康について検討し、豊かで健康的な食生活における食品素材の役割を考察する。

①食品素材　②食品の特性　③食品の栄養性

233020 食品と加工

教授　農学博士　高尾　哲也

われわれの食生活の中で必須となっている加工食品について、食品素材の基礎的な加工方法、加工後の保蔵方法や包装方法、食品に関与する法規などを学習し、食品の保存性や多様性に富む加工食品の表示等について理解を深める。

①劣化要因　②加工技術と貯蔵方法　③包装

233022 調理科学

教授　博士（学術）　森高　初恵

調理の基礎的理論を理解するために、調理機能、調理工学、調理環境から解説する。また、文化としての調理や調理によってもたらされるおいしさについてもあわせて説明する。

①調理機能　②調理文化　③調理工学

233023 食品学実験

教授　博士（学術）　森高　初恵
教授　博士（学術）　福島　正子
助教　伊藤　美香

食品学実験の知識と技術習得を目的に、植物性食品および動物性食品に含まれる脂質の化学的特性や劣化の程度を示す特数の算出あるいは糖、無機質やたんぱく質等の定量実験を行い、食品成分の特性を化学的に把握する手法を学ぶ。

①食品成分の特性　②還元糖の定量　③無機質の定量

233024 食品衛生学・食品加工学実験

教授　農学博士　高尾　哲也
教授　博士（学術）　福島　正子

消費者が安全性の高い食品を得るためには、食品の危害分析、衛生の評価、加工の知識と技術が欠かせない。そこで食品の安全性評価の基礎的な知識と技術習得を目的として、食品に添加される成分の特性を化学的に把握すると同時に、危害微生物の検出法の理論と実際を学びぶ。さらに身近な加工食品を実際に製造して、加工の原理や工程などの理解を深め、製造に係わる環境を衛生的観点から考察する。

①食品危害の検出法と実際　②食品の製造原理及び技術

233025 調理学実習

准教授　博士（学術）　大橋　きょう子

健康を保持・増進するために栄養素を含む食品を摂取し、栄養として活用する必要がある。その手段である調理を理論に基づいて実習し、調理操作の特性および食品の調理性について学ぶ。あわせて、基礎的な調理技術の習得のために、和・洋・中の特徴ある技法を取り入れた実習を実施し、理解を深める。また、供応食および食卓作法についても解説する。

①食品の調理性　②調理操作　③献立作成　④食卓作法　⑤供応食

233027 基礎栄養学

准教授　博士（学術）　小川　睦美

栄養とは食を営み生を養うことである。ここでは，栄養を食の営みの面から捉え，食物に含まれる栄養成分の消化と吸収，生体に及ぼす影響，栄養素の機能について学ぶ。

①栄養と栄養素　②消化と吸収　③栄養素の機能

233029 基礎栄養学実習

准教授　保健学博士　海老沢　秀道
准教授　博士（学術）　小川　睦美

ヒトは絵食物を摂取・消化し、吸収した栄養素を利用して生命活動を営んでいる。本実習では、栄養素摂取量、身体活動量、尿および血液中栄養成分などを実し、身体状況や生活活動と栄養素の代謝、排泄および生体への影響との関係を理解する。本実習を通して、臨床栄養学や応用栄養学を学ぶための基礎的知識および技術を習得することができる。

①食事摂取基準　②エネルギー代謝　③血液と尿

233030 応用栄養学A（母性・乳幼児）（母性・乳幼児）

教授　医学博士　戸谷　誠之
講師　博士（学術）　池田　尚子

妊娠から出産、乳児期を経て幼児期に至るまでの過程で生じる生体の構造や機能の変化とそれに伴う栄養状態について理解させ、栄養状態の評価・判定（栄養アセスメント）に関する基本的な考え方を解説する。

①妊娠　②幼児　③栄養アセスメント

233031 応用栄養学 B（学童期～高齢期）

准教授　保健学博士　海老沢　秀道

成長・発達・加齢に伴う生理的変化と、それに応じた栄養状態や栄養アセスメントについて解説する。そしてそれぞれのライフステージに出現する病態の概要と栄養ケアの在り方を述べる。これに関連して、食事摂取基準の算定基礎および栄養アセスメントの考え方も解説する。

①ライフステージ　②食事摂取基準　③栄養アセスメントの基礎

233032 栄養学各論C（特殊環境）

講師 博士（学術）　池田　尚子

基礎栄養学の知識をより深めることを目的とし、ストレス時における栄養、特殊環境における生理状態の変化とその栄養、スポーツと栄養の意義などについて学ぶ。

①ストレス　②特殊気圧環境　③スポーツと栄養

233033 応用栄養学実習

講師　博士（学術）　池田　尚子

基礎栄養学実習で学んだことを応用し、栄養学各論A,Bの講義内容に準じたライフステージごとの特徴的な献立の作成とその実習を行う。さらに、身体状況のための測定法や臨床検査値の測定方法を理解し、実測し、議論し、栄養アセスメントを立案する実習を行う。

①ライフステージ　②栄養マネジメント　③栄養アセスメント

233034 栄養教育論総論

准教授　石井　幸江

対象者のニーズに適応して、健康や生活の質（QOL）の向上を目的とした栄養教育の基本を修得するために、栄養教育の概念（定義･歴史･目的･対象･場･法的根拠）、栄養教育プログラムの基本などについて講義を行う。

①栄養教育の概念　②栄養マネージメント　③集団指導法

233035 栄養教育論各論

准教授　石井　幸江

対象別栄養教育プログラムの立案のための栄養マネージメント（栄養アセスメント、カリキュラムの立案、教育方法、モニタリング、評価など）の知識と技能を修得するため、ライフステージ、ライフサイクルに応じた栄養教育のあり方について講義を行う。

①ライフステージにおける栄養教育　②行動科学　③食行動変容

233036 カウンセリング論

准教授　博士（医学）　大木　和子

「カウンセリング」に関する理論、方法などの基本を理解する。さらに対象にあった、カウンセリングを演習等を通して体験的に学ぶ。これらの理論や演習を栄養教育に活かすことができる傾聴の技能や人間関係を円滑にするコミュニケーション能力を身につける。

①カウンセリング論　②傾聴　③受容・共感・自己一致

233037 栄養教育論実習

准教授　石井　幸江

栄養教育の方法論の実践としての栄養指導の効果的な話し方・有効な媒体作成および利用について実演実習を行う。さらに、食行動変容と行動科学との関連性を理解するため、それらの理論とカウンセリングの方法を取り込んだ栄養マネージメントプログラムの立案、栄養教育の実施、評価の方法を実習する。

①話し方と視聴覚媒体　②栄養マネージメントプログラム　③食行動変容と行動科学

233039 臨床栄養学総論

教授　医学博士　戸谷　誠之

管理栄養士が栄養介入により病態の改善や疾病予防を目的とした行為を実行する上での基礎知識を習得する事を目的とする。単なる食事管理に限局するのではなく、食を通しての全体的な人体への影響や効果を理解し、その目的に添った状況判定が出来るようになることを目標とする。

①基礎医学　②衛生統計　③医療技術

233040 臨床栄養学各論A

准教授　保健学博士　海老沢　秀道

癌、心臓血管疾患、糖尿病など日本人の主要な死因は不適切な食事など生活習慣と深く関わっている。その一方で、糖尿病や腎不全など、食事療法が治療の柱になっている疾患も多い。本講義では、管理栄養士が扱う主要な疾患の病理および栄養療法の理論を理解するとともに臨床時における栄養管理とアセスメントについて理解する。

①栄養療法　②食品交換表　③病態時の栄養アセスメント

233041 臨床栄養学各論B

准教授　山﨑　大治

病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う知識を習得した上で、ライフステージや疾患別の具体的な栄養管理方法の習得、様々な身体状況や栄養状態に応じた栄養管理について学ぶ。

①栄養アセスメント　②栄養ケアプラン　③栄養管理方法

233044 臨床栄養学実習

講師 博士（学術）　池田　尚子

臨床栄養学各論の理論の実践として、各疾患における病態生理および食事療法の基礎を習得するため、代表的治療食を取り上げ対象に適した献立作成・食事調整とその評価･検討を行う。また栄養アセスメント、薬剤･栄養剤と食事の併用について演習し理解を深める。

①栄養療法　②治療食　③栄養管理

233046 食事介助と在宅医療

准教授　山﨑　大治
非常勤講師　高橋　祥子

疾患を複合する高齢者に対する適正な栄養管理の必要性が高まっている等、ライフステージや疾患別の具体的な栄養管理法が求められており、様々な身体状況･栄養状態に応じた栄養管理について理解を深める。

①栄養評価　②栄養管理法　③在宅介護マネジメント

233047 公衆栄養学総論

准教授　博士（医学）　大木　和子

地域社会の人々の健康・栄養のニーズを総合的に科学し、健康増進･生活習慣病予防のために栄養学を応用･実践する。栄養の知識を行動の変容につなげる実践活動が公衆栄養活動であり、栄養士の重要な活動の一つである。 このためには地域集団や国レベルの健康と疾病などの社会的要因との関連を中心にした総合的、実践的視野に立って行動できる基礎学力を身につける。

①公衆栄養学の概念　②日本・国際栄養問題　③栄養行政・施策

233048 公衆栄養学各論

准教授　博士（医学）　大木　和子

地域社会の人々の健康・栄養のニーズを総合的に科学し、健康増進･生活習慣病予防のために栄養学を応用･実践する。栄養の知識を行動の変容につなげる実践活動が公衆栄養活動であり、栄養士の重要な活動の一つである。 このためには地域集団や国レベルの健康と疾病などの社会的要因との関連を中心にした総合的、実践的視野に立って行動できる応用学力を身につける。

①栄養調査　②公衆栄養マネージメント③公衆栄養プログラム

233049 公衆栄養学実習

准教授　博士（医学）　大木　和子

地域社会の人々の健康の維持・増進をはかるための実践活動である公衆栄養活動について、その基本的手法であるマネージメントサイクルを理解し、対象特性に応じた公衆栄養プログラムの理論と実践方法を習得します。地域栄養計画における地域住民のニーズの把握、目標設定、事業計画、実施、評価の方法、栄養疫学、健康増進・生活習慣病予防のための公衆栄養の実践活動技術・技法を習得します。 さらに、国際レベルの健康と疾病などの社会的要因と関連した総合的、実践的視野に立って行動できる応用的な実践能力を習得します。

①公衆栄養評価　②栄養マネージメントサイクル　③公衆栄養プログラム

233050 給食管理論

准教授　柴田　由美子

給食の対象となる人や特定集団を把握し、具体的な栄養・食事管理を行うことを目的に、計画・生産（調理）・サービスを行うために必要な、食事計画、施設設備管理、給食の生産管理・品質管理と給食評価などについて講義する。

①特定給食施設　②栄養・食事管理　③生産・品質管理

233051 給食経営管理論

准教授　柴田　由美子

給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネージメントを行う能力を養うことを目的に、経営管理や生産管理の理論、マーケティングの原理や手法などについて講義する。

①経営管理　②マーケィング　③食品流通

233052 給食経営管理実習

准教授　柴田　由美子
講師　不破　眞佐子

給食サービス提供に関する技術の習得とマネージメント能力を養うことを目的に、学内の施設において実習を行う。栄養管理、衛生管理、作業管理などの計画、実施、評価を繰り返すことで、食事提供サービスとそのシステムの流れを体験し、学外実習に出るための基礎力を養う。

①工程管理　②衛生管理　③給食評価

233053 栄養アセスメントとマネージメント演習

准教授　博士（医学）　大木　和子
准教授　山﨑　大治
助教　博士（学術）　清水　史子

管理栄養士の基本的な知識・技能である身体状況や栄養状態に応じた栄養アセスメントとマネージメントの考え方を理解する。栄養マネージメントの基本は、アセスメント、計画、実施、モニタリング、評価、フィードバックという一連のマネージメントサイクルを習得することである。より専門的には、「栄養教育論」「臨床栄養学」「公衆栄養学」において、それぞれの専門分野に特異的な栄養マネージメントの展開を学ぶ。

①栄養アセスメント　②栄養マネージメント　③マネージメントサイクル

233055 臨地実習事前事後集中講義（総合演習Ⅰ）

准教授　博士（医学）　大木　和子
准教授　山﨑　大治
助教　博士（学術）　清水　史子

臨地実習では実践の場での課題発見・知識と技術の統合が重要視される。そのため、事前講義では実習の目的・目標を確実にするためのガイダンスを通して実習への動機付け，知識の整理，研究課題の検討等を行う。事後講義では研究課題の発表会や反省報告会を通して臨地実習と学内での学習内容をより有機的に結びつけ理解を深める。

①臨地実習　②課題発見　③管理栄養士業務

233056 臨地実習事前事後集中講義

准教授　博士（医学）　大木　和子
准教授　山﨑　大治
助教　博士（学術）　清水　史子

臨地実習では実践の場での課題発見・知識と技術の統合が重要視される。そのため、事前講義では実習の目的・目標を確実にするためのガイダンスを通して実習への動機付け，知識の整理，研究課題の検討等を行う。事後講義では研究課題の発表会や反省報告会を通して臨地実習と学内での学習内容をより有機的に結びつけ理解を深める。

①臨地実習　②課題発見　③管理栄養士業務

233057 臨地実習

准教授　博士（医学）　大木　和子
准教授　山﨑　大治
助教　博士（学術）　清水　史子

管理栄養士が専従する学外の特定給食施設や保健所等において、管理栄養士が果たすべき多様な専門領域に関する基本能力を養う。実践活動の場での課題発見･解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメント実施に必要な専門知識･技術の統合を図り、知識･技能の習得を目指す

①マネジメント　②栄養アセスメント　③給食システム　④課題発見

233065 学校栄養教育論Ⅰ

教授　小田　きく子

栄養教諭として、児童、生徒に正しい食生活を指導し、生活習慣病の予防の必要性を理解させ、心身共に健全に成長するように教育を行うと共に、必要な食文化、食教育、環境と食生活、家庭と食生活の関係について講義する。

①栄養教諭の役割　②食事文化　③地域と食生活

233066 学校栄養教育論Ⅱ

非常勤講師　横山　きよ

学校栄養教育論Ⅰに引き続き、学校給食の管理（生きた教材）を活用した食に関する指導を同時に担う為に必要な指導案作りや、教材研究について指導すると共に模擬授業を行い、評価する。

①児童・生徒の栄養教育　②授業内容と教材研究　③学校給食と食教育

233067 栄養教育実習事前事後の指導

教授　小田　きく子

栄養教諭の資格取得のための教育実習に出て、生徒・児童に対して直接指導するにあたり、その任務と職務について再認識させ、授業を進めるにあたっての教案作成、媒体作成など具体的な指導を行う。また、実習先での課題についても説明する。

①教育実習・②栄養教諭の実務内容・③実習生の心得

12. 文化創造学科（平成 20 年度入学者用）

授業科目			担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
文化創造特別科目		G P ゼ ミ I	文化創造学科教員		520001	1	1							1			
		G P ゼ ミ II	文化創造学科教員		520002			①	①					2			
		キャリアプランニング		木村	520003					②		2		2			
コア科目	ベーシック・スキル	日本語力講座A（書く）	早田	高木	520004	①	①	①	①	①		①		1	★		
		日本語力講座B（話す）	笹	笹	520005	①		①			①		①	1			
		硬筆書道初級	承		520006	①		①						1	◎		
		ベーシック・コンピュータ・スキル	後藤	高木	520007	①	①	①	①	①	①	①	①	1	◎★	◎★	
		Basic EnglishI（学び直しの英語）I		海崎	520008					①		①		1			
		Basic English（学び直しの英語）II		赤堀	520009						①		①	1			
	キャリアアップ・スキル	日本語スピーチ／アナウンス	笹		520010		①		①					1・2	◎		
		硬筆書道中級	承		520011		①		①					1・2	◎		
		コンピュータ・リテラシーA（パソコン検定）	田中（均）		520012		①		①					1・2	◎		
		コンピュータ・リテラシーB（Microsoft Office Specialist）	高野		520013	①	①	①	①					2	◎		
		数理基礎力講座（SPI 準備）	根上		520014	①	①	①	①					1・2	◎★		
	入門科目	文化研究入門	上野・丹羽		520015	②		②						1	◎		
		文化研究入門D		熊澤・元吉・高木	520016					②		②		1			［夜］2科目のうち1科目2単位選択必修
		文化研究入門E		元吉	520017						②		②	1			
		日本文化の源流		関口	520018	②		②		②		②		1・2	◎×	◎	［昼夜］隔年開講
		西洋美術を見る目	木下		520019		②		②					1	◎		
		文学入門（世界の文学）	早田 他		520020	②		②						1	◎		
		日本の古典文学を読む	久下	元吉	520021		②		②		②		②	1	◎	◎	
		英語で小説を読む	平井(法)		520022		②		②					1	◎		
		ことばと社会	赤堀		520023		②		②		②		②	1	◎	◎	
		メディア概論	植田	西脇	520024	②		②			②		②	1	◎	◎	
		新聞を読む	久下		520025	②		②						1	◎		
		映像メディア概論（映画・映像の基礎知識）	大澤		520026	②		②						1	◎		
		IT概論	加藤（治）・今泉		520027	②		②		②		②		1	◎	◎	
		テキスタイル文化論	菊地（美）		520028		②		②		②		②	1	◎		
		ファッションブランド研究	青木		520029	②		②						1	◎		
		住生活概論	瀬沼		520030	②		②		②		②		1・2	◎	◎×	［夜］隔年開講
		基礎デザイン論B	金子(武)		520031	②		②						1	◎		
		西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	堀内		520032	②		②						1	◎		
		衣の文化史		伊藤（麗）	520033						②		②	1・2		◎	［夜］隔年開講
専門領域科目	文学・文化 文化体験科目	オフキャンパススタディA（能）	齋藤		520034	②		②						1	◎		
		オフキャンパススタディB（文学散歩）	元吉		520035	②		②		②		②		2	◎	◎	＊集中講義
		伝統文化実習A（茶の湯の文化）	太田・高木	高木	520036	①	①	①	①		①		①	1	◎★	◎	
		伝統文化実習B（毛筆書道入門）	板橋		520037	①	①	①	①					1	◎同		［昼］（日文：書道実習I）
		西洋文化実習（プロトコル）	丹羽		520038		①		①					2	◎		
		芸術文化実習A（アート）	早田		520039	①	①	①	①					1	◎		
		芸術文化実習B（ダンス）	白川		520040	①	①	①	①					1	◎		
	文化	日本仏教文化	早田		520041	②		②						1	◎		
		中国文化	尾崎	尾崎	520042		②		②		②		②	1	◎	◎	

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
専門領域科目	文学・文化	文化	イギリス文化	原田	光野	520043		②		②		②		②	1・2	◎	◎	
			アメリカ文化	宮島	光野	520044	②	②	②	②	②		②		1	◎	◎	
			ポップカルチャー	上野		520045		②		②					1・2	◎		
			近代文化論	太田	西脇	520046		②		②	②		②		2 / 1・2	◎	◎	［夜］隔年開講
			環境と人間	太田・中西・早田		520047		②		②					1	◎		
			異文化間コミュニケーション	小河		520048		②		②					2	◎		
			クリティカルシンキング			520049		②		②					2	×		
		文学	日本文学A（和歌）	久下		520050	②		②						1・2	◎		
			日本文学B（物語）	久下		520051		②		②					1・2	◎		
			日本文学C（現代小説）	太田		520052	②		②						1・2	◎		
			日本文学D（伊勢物語）		元吉	520053					②		②		1			
			日本文学E（万葉集）		高木	520054					②		②		1			
			日本文学F（近代文学）		槍田	520055						②		②	1			
			和歌の世界（新古今）		高木	520056					②	②	②	②	1・2			
			日記文学を読む（土佐）		高木	520057					②		②		1・2			
			紀行文学を読む（芭蕉）		高木	520058						②		②	1・2			
			平安文学を読む（源氏物語）		元吉	520059					②	②	②	②	1・2			
			イギリス文学A（児童文学）	平井(法)		520060		②		②					1・2	◎		
			イギリス文学B（ゴシック小説）	原田		520061	②		②						1・2	◎		
			イギリス文学C（ヴィクトリア朝小説）	丹羽		520062		②		②					1・2	◎		
			アメリカ文学（ニューイングランド文学）	上野		520063	②		②						1・2	◎		
			中国文学（唐詩）	尾崎		520064	②		②						1・2	◎		
			外国文学B（イギリス）			520065						②		②	1・2		×	［夜］隔年開講
			外国文学C（アメリカ）		上野	520066						②		②	1・2			［夜］隔年開講
			外国文学E（中国）		尾崎	520067					②		②		2		◎	
			文学と映画	佐藤(道)		520068		②		②					2	◎		
			日本文学史	久下	(前) 元吉 (後) 高木	520069	②	②	②	②	②	②	②	②	1・2	◎	◎	
			英米文学史	丹羽・佐藤(道)	佐藤(道)	520070	②	②	②	②	②		②		1・2	◎★	◎	
			日本語学概論	久下	元吉	520071		②		②		②		②	1・2	◎	◎	
			英語学概論	井原	原田	520072	②		②			②		②	1・2	◎	◎	
			短歌論		高木	520073					②		②		2			
	メディア	マスメディア	メディアリテラシーA(テレビ)	太田		520074	②		②						1	◎		
			メディアリテラシーB（映画）	城殿		520075	②		②						2	◎		
			メディアリテラシーC（広告）	太田		520076		②		②					2	◎		
			メディアリテラシーD（IT）	加藤（治）		520077		②		②		②		②	1	◎	◎	
		創作	小説創作入門	平井(法)		520078	①		①						1・2			
			小説創作初級			520079		①		①					1・2	×		
			脚本論	森		520080	②		②						1・2	◎		
			脚本創作	森		520081		①		①					1・2	◎		
			短歌創作	佐藤(美)	中村	520082	①	①	①	①		①		①	1・2	◎	◎	
			文芸創作（自分史）		元吉	520083						①		①	2		◎	

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
専門領域科目	メディア	創作	毛筆書道中級	板橋		520084	①	①	①	①					2	◎同		［昼］（日文：書道実習Ⅱ）
			毛筆書道基礎（含書写検定対策）		木村（明）	520085						①		①	−		◎	
			毛筆書道（含書写検定対策）		木村（明）	520086						①		①	−		◎	
			硬筆書道基礎（含書写検定対策）		木村（明）	520087					①		①		−		◎	
			硬筆書道（含書写検定対策）		木村（明）	520088					①		①		−		◎	
		映像制作	映像メディア表現論（表現法のテクニック）	大澤		520089		②		②					1			
			映像論Ⅰ	大澤		520090	②		②						2			
			映像論Ⅱ	大澤		520091		②		②					2			
			映像制作Ⅰ	坂		520092	②		②						1			
			映像制作Ⅱ	坂		520093		②		②					1			
			映像制作Ⅲ	坂		520094			②						2			
			映像制作Ⅳ	坂		520095				①					2			
		コンピュータデザイン	WEBデザインA	後藤		520096		①		①					1・2	◎		
			WEBデザインB	風袋		520097	①	①	①	①					1・2	◎		
			イメージ編集A	風袋		520098	①		①						1・2	◎		［昼］隔年開講
			イメージ編集B			520099	①		①						1・2	◎×		［昼］隔年開講
			デジタル編集A	根上		520100	①	①	①	①					1・2	◎★		
			デジタル編集B	根上		520101	①	①	①	①					1・2	◎★		
	コミュニケーション	ベーシックスキルズ	English Foundation A	丹羽・赤堀		520102	②								1			［2×2］
			Listening & Speaking I	ｽﾅｲﾀﾞｰ・ﾅｲﾄ		520103	②								1			［2×2］
			Writing & Reading	ﾛﾌﾞｿﾝ・原田		520104	②								1			［2×2］
			英語で読む小説Ⅰ		丹羽	520105					①		①		1・2		◎	
			英語で読む小説Ⅱ		原田	520106						①		①	1・2		◎	
			観光英語		小河	520107					①		①		1・2		◎	
			生活英語		フルマー	520108					①		①		1・2		◎	
			オフィス英語		フルマー	520109						①		①	1・2		◎	
			英文添削（ジャーナルを書く）		小河	520110					①		①		1・2		◎	
			英語でメール		小河	520111						①		①	1・2		◎	
			編入対策A（英文法・作文・読解力）		井原	520112					①		①		1・2			
		アドバンストスキルズ	English Foundation B	井原		520113		①		①					1			
			Listening in Context	ナイト		520114		①		①					2			
			Public Speaking / Pronunciation	ナイト		520115		①		①					2			
			Reading Fluency	ｽﾅｲﾀﾞｰ		520116		①		①					2			
			Writing & Reading for Communication	小河		520117	①		①						2			
			考える英文法（コミュニケーションに使える英文法）		原田	520118					②		②		1・2		◎	
			小説・映画から見る英米文化		海崎	520119						②		②	1・2		◎	
			英語で読む雑誌・新聞		上野	520120					①		①		1・2		◎	
			インターネット英語		上野	520121						①		①	1・2		◎	
			ショートスピーチ		小河	520122						①		①	1・2		◎	
		コンテンツ	English Communication A	ｽﾅｲﾀﾞｰ		520123			②						2			［2×2］
			English Communication B	ナイト		520124			②						2			［2×2］
			English Communication C	ナイト		520125				②					2			［2×2］

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
専門領域科目	コミュニケーション	コンテンツ	English Communication Ⅰ		フルマー	520126					①		①		−		◎	
			English Communication Ⅱ		フルマー	520127						①		①	−		◎	
		ボストン レギュラープログラム ジャンプスタート	Pronunciation & Listening & Speaking	ボストン教員		520128		①							1			
			Reading & Vocabulary	ボストン教員		520129		①							1			
			Grammar & Writing	ボストン教員		520130		①							1			
		ボストン レギュラープログラム	Listening & Speaking Ⅱ	ボストン教員		520131		②							1			
			Writing	ボストン教員		520132		②							1			
			Reading	ボストン教員		520133		②							1			
			Discussions on American Issues	ボストン教員		520134		②							1			
			Culture Electives	ボストン教員		520135		②							1			
			Field Trip Class	ボストン教員		520136		①							1			
			TOEIC Preparation	ボストン教員		520137		②							1			
			Skill Electives	ボストン教員		520138		②							1			
		ボストン JCⅡ	Advanced Conversation	ボストン教員		520139		①							1			
			American Issues	ボストン教員		520140		①							1			
			Electives	ボストン教員		520141		①							1			
	ファッション・くらし	デザイン	ＣＧ入門	山本(恵)		520142	①	①	①	①					1	★		
			テキスタイルデザイン（ＣＧ）	山本(恵)		520143	①		①						2			
			ファッションプレゼンテーション（CG）	山本(恵)		520144		①		①					2			
			基礎デザイン論Ａ	山本(輝)		520145		②		②					1			
			カラーデザインＡ	山本(輝)		520146	②		②						1			
			ファッションデザイン	沢森		520147		②		②					2			
			インテリアコーディネート	菊地(美)		520148		②		②					1	◎		
			インテリアコーディネート演習	菊地(美)		520149			①						2			
		企画・造形	アパレル企画論	沢森		520150		②		②					1			
			ファッション造形論	石垣		520151	②		②						1			
			ファッションクリエーション	石垣		520152	②		②						1			[4]
			被服構成学及び実習	角田	原	520228	①		①			①		①	1 1・2	◎同	◎×	[3]［昼］(食物) ［夜］隔年開講
			テキスタイル造形演習（染）	大津		520153	①		①						1	◎		
			テキスタイル造形演習（織・編）	菊地(美)		520154	①		①						1	◎		
		テキスタイル	テキスタイル・インテリア材料	菊地(美)		520155	②		②						1			
			テキスタイル実験	菊地(美)		520156		②		②					1			[4]
			染色学	大津		520157			②						2			
			染色実験	大津		520158				②					2			[4]
			衣服管理学	下村		520159		②		②					1			
			衣服管理実験	下村		520160			①						2			
			衣環境論	丸田		520161			②						2	同		［昼］(環境：被服衛生学)
			被服学	大津	大津 他	520227	②		②		②		②		2	◎同		［昼］(食物)
		消費	消費生活論	大津		520162			②						2			
			販売論	川畑		520163		②		②					2	◎		
			消費者調査	猪又		520164			①						2			

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
専門領域科目	ファッション・くらし	くらし	環境とくらし	大津・菊地（美）他		520165		②		②					1	◎		
			家庭経営学	瀬沼	熊澤	520231				②	②		②		2 1・2	◎同	◎同×	[昼]（食物：家庭経営学（家族関係を含む））[夜]隔年開講（食物：家庭経営学（家族関係を含む））
			食の文化（食べ物をめぐる人類の知恵）	関本・島田		520166	②		②		②		②		1 1・2	◎	×	[夜] 隔年開講
			食と安全		秋山(久)	520167		②		②	②		②		2 1・2	◎×	◎	[夜] 隔年開講
			栄養と健康（食とコミュニケーション）	黒崎	黒崎	520168		②		②	②		②		1	◎	◎	[昼] 食物・科学は除く
			食品学Ⅰ	田中(勝)・竹山・秋山(久)	秋山(久)	520229	②		②		②		②		1	◎同	◎	[昼]（食物：食品学Ⅰ（食品成分の科学））教職（家庭科２種）取得希望学生のみ履修可
			調理学実習Ⅰ	比護・今井	秋山(久)	520230	①		①			①		①	1 1・2	◎同	同	③ [昼]（食物・調理学実習Ⅰ（旧含食））教職（家庭科２種）取得希望学生のみ履修可 ③ [夜] 調理実習（食物・調理学実習Ⅰ（旧含食））
			ホームクッキング	今井		520169		②		②					1			[4]
			保育学（実習を含む）	熊澤	熊澤	520233		②		②		②		②	2 1・2	◎同	同	[昼]（食物・科学） 教職（家庭科２種）取得希望学生のみ履修可 [夜] 隔年開講
	建築・デザイン系基礎教養科目		基礎の数学	常喜		520170	②		②		②		②		1	◎	◎	
			基礎の力学	森部		520171	②		②		②		②		1	◎	◎×	
			環境共生論（地球にやさしいくらし方）			520172	②		②			②		②	1・2	◎×	◎×	[昼夜] 隔年開講
			生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	瀬沼	番場	520173	②		②		②		②		1・2	◎	◎	[昼] 隔年開講
			住居計画（住居を考えるポイント）	金子（友）		520174	②		②		②		②		1	◎	◎	
			住居学概論		番場	520175					②		②		1		◎	
			建築計画（人間のための空間づくり）	木村(信)	芦川	520176		②		②		②		②	1	◎同	◎	[昼]（福祉：建築計画）
			カラーデザインB	小山		520177		②		②					1	◎		
			空間計画（インテリアの考え方）	杉浦		520178		②		②		②		②	1	◎	◎	
			くらしとNPO（市民にできる社会貢献）	片岡		520179		②		②					1	◎		
			日本建築史（古建築の形）			520180		②		②					1・2	◎×		[昼] 隔年開講
			日本住居史（住居の形と住まい方）	礒野		520181		②		②					1・2	◎		[昼] 隔年開講
			西洋建築史(世界遺産への招待)	堀内	堀内	520182		②		②		②		②	1 1・2	◎同	◎	[夜] 隔年開講 [昼]（福祉:建築史(住生活史を含む)）
	建築・デザイン系基礎スキル科目		デッサン	小久保		520183	①		①						1	◎		
			デザイン基礎技法A（平面）	吉崎		520184	①		①						1	◎		
			設計製図Ⅰ1	木村(信)・礒野	木村(信)	520185	②		②		②		②		1	同		[4]［昼］（福祉：設計製図Ⅰ-1） [夜] 福祉のみ可
			デザイン基礎技法B（立体）	倉島		520186		①		①		①		①	1	◎	◎	
	デザイン専門科目		意匠学	小山	小山	520187			②			②		②	2 1・2	◎	◎	[夜] 隔年開講
			家具デザイン	坂本		520188			②						2	同		[昼]（環境）
			人間工学	細田		520189			②						2	同		[昼]（環境）
			工業デザイン論	篠崎		520190			②	②					2	同		[昼]（環境）
			発想とイメージ	桃園		520191				②					2	同		[昼]（環境）
			工芸デザイン論	谷井	谷井	520192				②		②		②	2	同		[昼]（環境）
			キッチンデザイン	倉島		520193				②					2	同		[昼]（環境）
			一般構造Ⅰ（建物のパーツを知る）	小粥	永橋	520194	②		②			②		②	1			[昼夜] 福祉のみ可
			一般構造Ⅱ（構造のデザインを考える）	小粥	永橋	520195		②		②			②		1			[昼夜] 福祉のみ可
			環境工学（快適性と省エネルギー）	堤		520196	②	②	②	②	②	②	②	②	1		同	[夜]（福祉：環境工学）
			材料学(建築材料の特徴を知る)	永橋	永橋	520197		②		②	②		②		1			[昼夜] 福祉のみ可
			構造力学（力の流れを考える）	小粥	森部	520198		②		②	②		②		1			[昼夜] 福祉のみ可
			構造力学演習(力の流れを確かめる)	小粥	安宅	520199			①					①	2			[昼夜] 福祉のみ可
			建築設備（光・空気・水をデザインする）	佐野		520200			②				②		2	同	同	[昼夜]（福祉：建築設備）

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注1）受講に際しては生活環境学科のプロダクトデザインコースへ編入を希望する学生で、1年生で①デッサン②デザイン基礎技法A(平面) ③デザイン基礎技法B(立体)④デザイン表現A(平面) Ⅰを履修した学生のうち、担当教員が受講を許可した若干名に限る。

授業科目			担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
専門領域科目	建築・インテリア専門科目	建築法規（安全で快適な街をつくるルール）	寺本	寺本	520201			②					②	2	同		［昼］（福祉：建築法規） ［夜］福祉のみ可
		施工法（建物の造り方を考える）	永橋	永橋	520202			②					②	2			
		建築デザイン論	芦川		520203	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	同	［昼夜］（環境・福祉）
		バリアフリー建築論（空間のバリアフリー）	木村（信）		520204		②		②					2	◎同		［昼］（福祉：バリアフリーデザイン）
		環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）	友田		520205		②		②		②		②	2			
		地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	芦川		520206		②		②		②		②	1	◎	◎	
		インテリア計画	倉島		520207				②					2			
		建築積算（建物の値段を分析する）	高橋（照）		520208				②				②	2	同	同	［昼夜］（環境:積算、福祉:建築積算）
	デザインスキル科目	デザイン表現A（平面）Ⅰ	吉崎		520209		①		①					1			
		デザイン表現A（平面）Ⅱ	吉崎		520210			①						2			
		デザイン表現B（立体）Ⅰ	金子（武）		520211			①						2			
		デザイン表現B（立体）Ⅱ	金子（武）		520212				①					2			
	建築スキル科目	設計製図Ⅰ2	木村（信）・礒野	礒野	520213		②		②		②		②	1	同		［4］［昼］（福祉：設計製図Ⅰ-2） ［夜］福祉のみ可
		設計製図Ⅱ1	岡田・飯塚（拓）	岡田	520214			②				②		2			［4］［昼夜］福祉のみ可
		設計製図Ⅱ2	岡田・飯塚（拓）	飯塚（拓）	520215				②				②	2			［4］［昼夜］福祉のみ可
		インテリアパース演習Ⅰ	小山		520216		①		①					1			
		インテリアパース演習Ⅱ	小山		520217			①						2			
		建築実験	中山（栄）		520218			②				②		2	同	同	［4］［昼夜］（福祉:建築学実験）
		測量	藤沼		520219				②				②	2	同	同	［4］［昼夜］（福祉）
	CAD・CG	CADⅠ（コンピュータ製図）	伊藤（昭）	田村	520220		①		①		①		①	1			［昼夜］福祉のみ可
		CADⅡ（平面から立体へ）	伊藤（昭）	伊藤（昭）	520221			①				①		2			［昼夜］福祉のみ可
		CG基礎	伊藤（昭）	伊藤（昭）	520222	①		①		①		①		1			［昼夜］福祉のみ可
		CGプレゼンテーション	伊藤（昭）		520223				①					2			［昼］福祉のみ可
	実務・職能科目	建築学特講（建築と職能）A	木村（信）他	木村（信）他	520224		②		②		②		②	1・2	◎	◎	［昼夜］隔年開講
		建築学特講（建築と職能）B			520225		②		②		②		②	1・2	◎×	◎×	［昼夜］隔年開講
		建築学演習（体験的に建築を理解する）	木村（信）・礒野	木村（信）・礒野	520226			①	①			①	①	2			
卒業演習		文化創造演習	文化創造学科教員	文化創造学科教員	520234			①	①			①	①	2			通年履修
		卒業研究	文化創造学科教員	文化創造学科教員	520235			④				④		2			

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者（昼間）	担当者（夜間）	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考 開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
図書館情報学	司書必修科目 甲郡	生涯学習概論	田中(均)		520236	①	①							1	★＃		[1] 図書館司書資格の取得をめざす者のみの履修を認める
		図書館概論	大串		520237	②	②							1	★＃		
		図書館サービス論	大串		520238	②	②							1	★＃		
		情報サービス概説	中西		520239	②	②							1	★＃		
		図書館資料論	中西		520240	②	②							1	★＃		
		資料組織概説	田中(均)		520241	②	②							1	★＃		
		図書館経営論	大串・田中(均)		520242		①	①	①					2	★＃		[1]
		専門資料論	中西		520243		①	①	①					2	★＃		[1]
		児童サービス論	大串		520244	①	①	①	①					1	★＃		[1]
		レファレンスサービス演習	中西		520245		①	①	①					2	★＃		
		情報検索演習	大串・中西		520246			①	①					2	★＃		
		資料組織演習A	田中(均)		520247		①	①	①					2	★＃		
		資料組織演習B	田中(均)		520248		①	①	①					2	★＃		
	司書選択科目乙群	図書及び図書館史	中西		520249	①		①						2	＃		[1] 2科目2単位選択必修
		資料特論	中西		520250		①		①					2	＃		[1]
		コミュニケーション論	中西		520251			①						2	＃		[1]
		情報機器論	田中(均)		520252		①		①					2	＃		[1]
		図書館特論	植田		520253		①		①					2	＃		[1]
博物館学	必修科目	博物館学A	武田		520254	②								1	◎＃同		(歴文)
		博物館学B	武田		520255		②							1	◎＃		
		博物館学C	武田・赤沼・増田		520256		②							1	◎＃同		(歴文)
		教育学概論	松本(淳)		520257	②	②	②	②					1	◎★＃同		(歴文)
		生涯学習概論	松本(淳)		520258				②					2	◎＃同		(歴文)
		視聴覚教育メディア論	大明		520259				②					2	◎＃同		(歴文)
		博物館実習Ⅰ	武田		520260			②						2	◎＃		[4]
		博物館実習Ⅱ	安蔵		520261		①							1	◎＃		
		館務実習	尾崎		520262			①						2	◎＃		
	選択科目	日本文化C（日本の芸能）	大谷津		520263	②	②	②	②					1・2	◎		■短大生のみ 注1
		日本文化D（美術史）			520264	②	②	②	②					1・2	◎×		
		日本文化E（モードとファッション）	安蔵		520265	②	②	②	②					1・2	◎同		■（環境：服飾史Ⅰ・Ⅱ）
		日本文化F（建築）	平井(聖)		520266	②	②	②	②					1・2	◎同		■（歴文：日本建築史）
		日本文化G（考古学）	小泉		520267	②	②	②	②					1・2	◎		■短大生のみ

注1）学芸員資格の取得をめざす者は、■印の科目の中から通年で2科目（各4単位）以上を選択必修。

12. 文化創造学科（平成 19 年度以前入学者用）

授業科目			担当者 昼間	担当者 夜間	整理番号	昼間 学年 1年次 前期	昼間 学年 1年次 後期	昼間 学年 2年次 前期	昼間 学年 2年次 後期	夜間 学年 1年次 前期	夜間 学年 1年次 後期	夜間 学年 2年次 前期	夜間 学年 2年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
共通基礎	自己発見	文化研究入門A(異文化を見る視点)	上野・丹羽			②								1			［昼］3 科目のうち 1 科目 2 単位選択必修
		文化研究入門B（文化を学ぶ視点）	太田・中西・早田				②							1			
		文化研究入門C（くらしの文化を見る視点）				②								1	×		
		文化研究入門D		熊澤 他						②		②		1			［夜］2 科目のうち 1 科目 2 単位選択必修
		文化研究入門E		元吉							②		②	1			
		キャリアプランニング	赤堀・番場	木村				2				2		2			
		クリティカルシンキング					②		②					2	×		［昼］隔年開講
		GPゼミII	文化創造学科教員					①	①					2			
	ベーシック・スキル	日本語力講座IA（読む / 書く）	早田	高木		①	①	①	①	①		①		1	★	★	
		日本語力講座IB（話す）	笹	笹		①		①			①		①	1			
		Basic English I		海崎		①				①		①		1	×		
		Basic English II		赤堀			①				①		①	1	×		
		ベーシック・コンピュータ・スキル	後藤	高木		①	①	①	①	①	①	①	①	1	◎★	◎★	
文化を知る	ことばとこころ	文学の愉しみ	早田 他	元吉		②					②		②	1	◎	◎	
		日本文学への招待A	久下			②		②						1	◎		
		日本文学への招待B	久下				②		②					1	◎		
		日本文学への招待C	太田			②		②						1	◎		
		日本文学への招待D		元吉						②		②		1			
		日本文学への招待E		高木						②		②		1			
		日本文学への招待F		槍田							②		②	1			
		和歌の世界		高木						②	②	②	②	1・2			
		日記文学を読む		高木						②		②		1・2			
		紀行文学を読む		高木							②		②	1・2			
		平安文学を読む		元吉						②	②	②	②	1・2			
		日本文学史	久下	元吉・高木		②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	◎	
		中国文学	尾崎	尾崎		②		②		②		②		2	◎	◎	
		英米文学思潮	丹羽・佐藤（道）	佐藤（道）		②	②	②	②	②		②		2	◎★	◎	
		外国文学への招待A	原田			②		②						1	◎		
		外国文学への招待B				②		②						1	◎×		
		外国文学への招待C	平井（法）				②		②					1	◎		
		外国文学への招待D		丹羽							②		②	1・2		×	［夜］隔年開講
		外国文学への招待E		上野							②		②	1・2			［夜］隔年開講
		日本語学概論	久下	元吉			②		②		②		②	1	◎	◎	
		英語学概論	井原	原田		②		②			②		②	1	◎	◎	
		ことばと社会	赤堀				②		②		②		②	2	◎	◎	
		近代文化論（近代家族と子ども）	太田	西脇			②		②	②		②		2 / 1・2	◎	◎	［夜］隔年開講
		文学と映像	佐藤（道）				②		②					2	◎		
		異文化間コミュニケーション	小河				②		②					2	◎		
		小説入門（創作）				②		②						1	◎×		
		脚本入門（創作）					②		②					1	◎×		
		短歌論		高木		②		②		②		②		2	◎×		
		映画字幕・歌詞翻訳（ことばのセンスアップ）					②		②					1・2	◎×		［昼］隔年開講

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者 昼間	担当者 夜間	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
文化を知る	世界の文化	日本文化の源流（日本のこころ）		関口		②		②		②		②		1・2	◎×	◎	［昼夜］隔年開講
		伝統文化実習A（茶の湯の文化）		高木							①		①	1・2			
		衣の文化史		伊藤(麗)							②		②	1・2		◎	［夜］隔年開講
		日本住居史（住居の形と住まい方）	礒野				②		②					1・2	◎		［昼］隔年開講
		日本建築史（古建築の形）				②		②						2	◎×		［昼］隔年開講
		アジア文化A（中国）	尾崎	尾崎			②		②		②		②	1	◎	◎	
		アジア文化B（インド・東南アジア）	早田			②		②						1	◎		
		欧米文化A（アメリカ）	宮島	光野		②	②	②	②	②		②		1	◎	◎	
		欧米文化B（イギリス）	原田	光野			②		②		②		②	1	◎	◎	
		欧米文化C（ヨーロッパ）					②		②					1・2	×		［昼］隔年開講
		ポップカルチャー	上野				②		②					2	◎		
		西洋美術を見る目	木下				②		②					1	◎		
		西洋建築史（世界遺産への招待）	堀内	堀内			②		②		②		②	1・2	◎同	◎	［昼］(福祉：建築史（住生活史を含む)　［夜］隔年開講
		西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	堀内			②		②						1	◎		
		食の文化（食べ物をめぐる人類の知恵）	関本・島田			②		②		②		②		1・2	◎	×	［夜］隔年開講
	生活とデザイン	基礎デザイン論A	山本(輝)				②		②					1			
		基礎デザイン論B	金子(武)			②		②						1	◎		
		情報とデザイン（コンピュータの開く〈デザインの世界〉）				②		②						1	×		
		カラーデザインA	山本(輝)			②		②						1			
		カラーデザインB	小山				②		②					1	◎		
		意匠学	小山	小山				②			②		②	2・1・2	◎	◎	［夜］隔年開講
		発想とイメージ	桃園						②					2	同		（環境）注1)
		工芸デザイン論	谷井	谷井					②		②		②	2	同		（環境）注1)
		ファッションブランド研究	青木			②		②						1	◎		
	インテリア	空間計画（インテリアの考え方）	杉浦				②		②		②		②	1	◎	◎	
		インテリアコーディネート	菊地(美)				②		②					1	◎		
		家具デザイン	坂本					②						2	同		（環境）注1)
		キッチンデザイン	倉島						②					2	同		（環境）注1)
		工業デザイン論	篠崎					②	②					2	同		（環境）注1)
		人間工学	細田					②						2	同		（環境）注1)
	環境と生活	生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	瀬沼	番場		②		②		②		②		1・2	◎	◎	［昼夜］隔年開講
		家庭経営学	瀬沼						②	②		②		2・1・2	◎同	◎×同	［昼］(食物：家庭経営学（家族関係を含む)　［夜］隔年開講
		保育学（実習を含む）	熊澤	熊澤			②		②		②		②	2・1・2	◎同	◎同	［昼］(幼学・食物) 教職（家庭科2種）取得希望学生のみ履修可　［夜］隔年開講
		くらしとNPO（市民にできる社会貢献）	片岡				②		②					1	◎		
		環境共生論（地球にやさしいくらし方）				②		②			②		②	1・2	◎×	◎×	［昼夜］隔年開講
		住生活概論	瀬沼			②		②		②		②		1・2	◎	◎×	［夜］隔年開講
		住居学概論		番場						②		②		1		◎	
		高齢者の生活と住まい				②		②						1・2	◎×	◎×	
		住居計画（住居を考えるポイント）	金子（友）			②		②		②		②		1	◎	◎	
		地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	芦川				②		②		②		②	1	◎	◎	
		建築計画（人間のための空間づくり）	木村(信)	芦川			②		②		②		②	1	◎同	◎	（福祉：建築計画）
		バリアフリー建築論（空間のバリアフリー）	木村(信)				②		②					2	◎同		（福祉：バリアフリーデザイン）

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

注1）受講に際しては生活環境学科のプロダクトデザインコースへ編入を希望する学生で、1年生で①デッサン、②デザイン基礎技法A（平面）、③デザイン基礎技法B（立体）、④デザイン表現A（平面）Ⅰを履修した学生のうち、担当教員が受講を許可した若干名に限る。

		授業科目	担当者 昼間	担当者 夜間	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考 **開設単位：** ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦♯印は一般教養にならない
文化を知る	環境と生活	建築学特講（建築と職能）A	木村（信） 他	木村（信）他			②		②		②		②	1・2	◎	◎	［昼夜］隔年開講
		建築学特講（建築と職能）B					②		②		②		②	1・2	◎×	◎×	［昼夜］隔年開講
		衣環境論(衣服の機能と着心地)	丸田		520161			②						2	同		(環境：被服衛生学)
		衣生活論		菊地(美)							②		②	1・2			［夜］隔年開講
		環境とテキスタイル（衣生活と環境問題）	大津・菊地（美） 他		520286		②		②					1・2	◎		隔年開講
		テキスタイル・インテリア材料	菊地(美)			②		②						1			
		染色学（染色と色の発現）	大津		520157			②						2			
		衣服管理学（洗濯と漂白）	下村				②		②					1			
		テキスタイル実験	菊地(美)				②		②					1			[4]
		染色実験	大津						②					2			[4]
		衣服管理実験	下村					①						2			
		被服学	大津	大津 他		②		②		②		②		2	◎同		［昼］（食物）
		食と安全		秋山(久)			②		②	②		②		2 1・2	◎×	◎	［夜］隔年開講
		食品学Ⅰ	田中（伸）・竹山・秋山（久）	秋山(久)		②		②			②		②	1	◎同	◎同	［昼］（食物：食品学Ⅰ（食品成分の科学））教職（家庭科2種）取得希望学生のみ履修可
		栄養と健康（食とコミュニケーション）	黒崎	黒崎			②		②		②		②	1	◎	◎	［昼］食物・科学は除く
	生活と流通	消費生活論(消費者問題の解決)	大津		520162			②						2			
		消費者調査（消費者の実態と意識調査）	猪又		520164			①						2			
		マーケティング論							②					2	×		
		販売論	川畑				②		②					2	◎		
	映像・メディア	映像メディア概論（映画・映像の基礎知識）	大澤			②		②						1	◎		
		映像メディア表現論(表現法のテクニック)	大澤				②		②					1			
		映像メディア制作論（脚本創作）				②		②						1	×		
		ＩＴ概論（情報技術の開く社会）	加藤（治）・今泉			②		②		②		②		1	◎	◎	
		メディア概論	植田	西脇		②		②			②		②	1	◎	◎	
		メディアリテラシー入門	太田			②		②						1	◎		
		メディアリテラシーA（映像）	城殿			②		②						2	◎		
		メディアリテラシーB（広告）	太田				②		②					2	◎		
		メディアリテラシーC（IT）	加藤（治）				②		②		②		②	1	◎	◎	
文化を体験する	オフキャンパス・スタディ	オフキャンパススタディA（能・狂言）	齋藤			②		②						1	◎		
		オフキャンパススタディB（美術）					②		②					2	◎×		
		オフキャンパススタディC（ファッション）					②		②					1・2	◎×		［昼］隔年開講
		オフキャンパススタディD（建築）				①		①						1・2	◎×		［昼］隔年開講
		オフキャンパススタディE（文学散歩）		元吉						②		②		2		◎	＊集中講義
	留学研修（15weeks）	Listening & Speaking Ⅱ	ボストン教員				②							1			ボストン校にて履修
		Writing	ボストン教員				②							1			
		Reading	ボストン教員				②							1			
		Discussions on American Themes	ボストン教員				②							1			
		Culture Electives	ボストン教員				②							1			
		Field Trip	ボストン教員				②							1			
		TOEIC Preparation	ボストン教員				②							1			
		Skills Electives	ボストン教員				①							1			
		College Connection Program	ボストン教員		520293		①							1			

授業科目			担当者 昼間	担当者 夜間	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
																	開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲**： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
文化を体験する	延長プログラム	JCⅡ Advanced Conversation	ボストン教員				①							1			ボストンのJCⅡ参加者のみ履修
		JCⅡ American Issues	ボストン教員				①							1			
		JCⅡ Electives	ボストン教員				①							1			
文化を表現する	ことば・文字	文芸創作（小説を書く）	平井(法)				①	①	①					2			
		文芸創作（自分史）		元吉							①		①	2		◎	
		文芸創作（短歌を詠む）	佐藤(美)	中村		①	①	①	①		①		①	2			
		脚本創作（シナリオを描く）	坂					①						2			
		毛筆書道入門	板橋			①	①	①	①					1	◎同		（日文：書道実習Ⅰ）
		毛筆書道中級	板橋			①	①	①	①					2	◎同		（日文：書道実習Ⅱ）
		毛筆書道基礎（含書写検定対策）		木村(明)							①		①	−		◎	
		毛筆書道（含書写検定対策）		木村(明)							①		①	−		◎	
		硬筆書道初級	承			①		①						1	◎		
		硬筆書道中級	承				①		①					2	◎		
		硬筆書道基礎(含書写検定対策)		木村(明)						①		①		−		◎	
		硬筆書道（含書写検定対策）		木村(明)						①		①		−		◎	
	ファッション表現	ｱﾊﾟﾚﾙ企画論（ｱﾊﾟﾚﾙ商品の企画を学ぶ）	沢森				②		②					1			
		ファッション造形論	石垣			②		②						1			
		ファッションクリエーション	石垣			②		②						1			
		ファッションデザイン	沢森				②		②					1			
		CG入門	山本(恵)			①	①	①	①						★		
		ﾌｧｯｼｮﾝﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（CG）	山本(恵)						①					2			
		テキスタイルデザイン（CG）	山本(恵)					①						2			
		テキスタイル造形演習（染）	大津			①		①						1	◎		
		テキスタイル造形演習（織・編）	菊地(美)			①		①						1	◎		
		被服構成学及び実習	角田			①		①			①		①	1・2	◎同	×	[3]［昼］(食物)　［夜］隔年開講
	調理	調理学実習Ⅰ	比護・今井	秋山(久)		①		①			①		①	1・2	◎同	同	[3]［昼］(食物：調理学実習Ⅰ(日常食) 教職(家庭科2種) 取得希望学生のみ履修可　［夜］隔年開講
		ホームクッキング	今井				②		②					1			[4]
		シェフとパティシエに学ぶ	比護		520298				①					2			
	デザイン表現	デッサン	小久保			①		①						1	◎		
		デザイン基礎技法A（平面）	吉崎			①		①						1	◎		
		デザイン基礎技法B（立体）	倉島				①		①		①		①	1	◎	◎	
		デザイン表現A（平面）Ⅰ	吉崎				①		①					1			
		デザイン表現A（平面）Ⅱ	吉崎					①						2			
		デザイン表現B（立体）Ⅰ	金子(武)					①						2			
		デザイン表現B（立体）Ⅱ	金子(武)						①					2			
		デザイン表現C（インテリア）Ⅰ	菊地(美)		520299			①						2			
		デザイン表現C（インテリア）Ⅱ	倉島						①					2			
		インテリアパース演習Ⅰ	小山				①		①		①		①	1		×	
		インテリアパース演習Ⅱ	小山					①				①		2		×	
	建築	設計製図Ⅰ1	木村(信)・礒野	木村(信)		②		②		②		②		1	同		[4]［昼］(福祉：設計製図Ⅰ-1)　［夜］福祉のみ可
		設計製図Ⅰ2	木村(信)・礒野	礒野			②		②		②		②	1	同		[4]［昼］(福祉：設計製図Ⅰ-2)　［夜］福祉のみ可
		設計製図Ⅱ1	岡田・飯塚(拓)	岡田				②				②		2			[4]［昼夜］福祉のみ可

授業科目			担当者		整理番号	昼間				夜間				開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
						学年				学年							
						1年次		2年次		1年次		2年次					
						単位		単位		単位		単位					
			昼間	夜間		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
文化を表現する	建築	設計製図Ⅱ2	岡田・飯塚(拓)	飯塚(拓)					②				②	2			[4]［昼夜］福祉のみ可
		建築学演習（体験的に建築を理解する）	木村(信)・礒野	木村(信)・礒野				①	①			①	①	2			
		一般構造Ⅰ（建物のパーツを知る）	小粥	永橋		②		②			②		②	1			［昼夜］福祉のみ可
		一般構造Ⅱ（構造のデザインを考える）	小粥	永橋			②		②			②		1			［昼夜］福祉のみ可
		材料学(建築材料の特徴を知る)	永橋	永橋			②		②	②		②		1			［昼夜］福祉のみ可
		構造力学(力の流れを考える)	小粥	森部			②		②	②		②		1			［昼夜］福祉のみ可
		構造力学演習(力の流れを確かめる)	小粥	安宅				①					①	2			［昼夜］福祉のみ可
		環境工学（快適性と省エネルギー）	堤			②	②	②	②	②	②	②	②	1	同	同	［昼夜］（福祉：環境工学）
		建築設備（光・空気・水をデザインする）	佐野					②				②		2	同	同	［昼夜］（福祉：建築設備）
		建築法規（安全で快適な街をつくるルール）	寺本	寺本				②					②	2	同		［昼］（福祉：建築法規）［夜］福祉のみ可
		環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）	友田				②		②		②		②	2			
		建築デザイン論	芦川			②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	同	［昼夜］(環境・福祉：建築デザイン論)
		建築積算（建物の値段を分析する）	高橋（照）						②				②	2	同	同	［昼夜］（環境:積算、福祉:建築積算）
		施工法（建物の造り方を考える）	永橋	永橋				②					②	2			
		環境・材料実験（環境や材料を調べる）A						②						2	同×		[4]
		環境・材料実験（環境や材料を調べる）B	中山（栄）					②				②		2	同	同	[4]［昼夜](福祉:建築学実験)
		測量	藤沼						②				②	2	同	同	[4](福祉：測量)
		基礎の数学	常喜			②		②		②		②		1	◎	◎	
		基礎の力学	森部			②		②		②		②		1	◎	◎×	
	メディアプロダクション	映像プロデュース演習（企画からプレゼンまで）	坂			①		①						1			
		撮影演習	大澤					①						2			
		サウンドエフェクツ演習（編集）	大澤						①					2			
		ビデオ演習	坂				①		①					1			
		デジタル技術	坂				②		②					2			
		イメージ編集Ⅰ（CG／写真加工）	風袋			①		①						1	◎		［昼］隔年開講
		イメージ編集Ⅱ（CG／写真加工）	風袋			①		①						2	◎×		［昼］隔年開講
		コンピュータグラフィックス（プレゼンテーションをデザインする）						①						2	◎×		
		WEBデザインA	後藤				①		①					1	◎		
		WEBデザインB(CG/CAD)	風袋			①	①	①	①					2	◎		
		DTP編集Ⅰ	根上			①	①	①	①					1	◎★		
		DTP編集Ⅱ	根上			①	①	①	①					2	◎★		
		CADⅠ（コンピュータ製図）	伊藤(昭)	田村			①		①		①		①	1			［昼夜］福祉のみ可
		CADⅡ（平面から立体へ）	伊藤(昭)	伊藤(昭)				①				①		2			［昼夜］福祉のみ可
		CG基礎	伊藤(昭)	伊藤(昭)		①		①		①		①		1			［昼夜］福祉のみ可
		CGプレゼンテーション	伊藤(昭)						①					2			［昼］福祉のみ可
卒業演習		文化創造演習	文化創造学科教員					①	①			①	①	2			通年履修
		卒業研究	文化創造学科教員					④				④		2			
スキル	コンピュータ・スキル	情報リテラシーA(データベース)				①		①						1	◎×		
		情報リテラシーB（パソコン検定）	田中(均)				①		①					1	◎		
		情報リテラシーC（Microsoft Office Specialist）	高野			①	①	①	①					2	◎		
	日本語	日本語力講座ⅡA（読む／書く）				①		①						2	◎×		
		日本語力講座ⅡB(スピーチ／アナウンス)	笹				①		①					2	◎		

備考

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				担当者		整理番号	昼間				夜間				開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
							学年				学年							
							1年次		2年次		1年次		2年次					
							単位		単位		単位		単位					
				昼間	夜間		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
スキル	英語	ベーシック・スキルズ	English Foundation	丹羽・赤堀			②								1			[2 × 2]
			Listening & Speaking Ⅰ	ｽﾅｲﾀﾞｰ・ﾅｲﾄ			②								1			[2 × 2]
			Writing & Reading Ⅰ(Reading)	ﾛﾌﾞｿﾝ・原田			②								1			[2 × 2]
			Writing & Reading Ⅱ(Writing)				①								1	×		
			Pronunciation				①								1	×		
			Reading Ⅰ A		丹羽						①		①		1		◎	
			Reading Ⅰ B		原田							①		①	1		◎	
			Speaking Ⅰ A		小河						①		①		1		◎	
			Speaking Ⅰ B									①		①	1		◎×	
			Listening & Pronunciation Ⅰ A		フルマー						①		①		1		◎	
			Listening & Pronunciation Ⅰ B		フルマー							①		①	1		◎	
			Writing A		小河						①		①		1		◎	
			Writing B		小河							①		①	1		◎	
			Grammar for Communication Ⅰ A		原田						②		②		1		◎	
			Grammar for Communication Ⅰ B		海崎							②		②	1		◎	
		アドバンスト・スキルズ	Listening in Context	ナイト				①		①					2			
			Public Speaking / Pronunciation	ナイト				①		①					2			
			Reading Fluency	ｽﾅｲﾀﾞｰ				①		①					2			
			Writing & Reading for Communication	小河			①		①						2			
			Grammar for Communication (Reading)					①		①					2	×		
			Reading Ⅱ A		上野								①		2		◎	
			Reading Ⅱ B		上野									①	2		◎	
			Speaking Ⅱ A		小河									①	2		◎	
			Speaking Ⅱ B											①	2		◎×	
			Listening & Pronunciation Ⅱ A		フルマー								①		2		◎	
			Listening & Pronunciation Ⅱ B		フルマー									①	2		◎	
			Grammar for Communication Ⅱ A										②		2		◎×	
			Grammar for Communication Ⅱ B											②	2		◎×	
		コンテンツ	English Communication A	ｽﾅｲﾀﾞｰ					②						2			[2 × 2]
			English Communication B	ナイト					②						2			[2 × 2]
			English Communication C	ナイト						②					2			[2 × 2]
			English Communication D							②					2	×		[2 × 2]
		英語資格対策	英検２級対策					①		①					1	×		
			TOEIC Prep							①					2	×		
キャリア支援	編入支援		編入対策A(英文法・作文・読解力)	平井	井原			①		①	①		①		1			
			編入対策B(日本語論文作成)	久下			①		①						1			
			編入対策C(日本語文法)	久下				①		①					1			
	就職支援		Business English						①						2	×		
			インターンシップ					①		①					1	×		集中講義

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者 昼間	担当者 夜間	整理番号	昼間 学年 1年次 単位 前期	昼間 学年 1年次 単位 後期	昼間 学年 2年次 単位 前期	昼間 学年 2年次 単位 後期	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲（昼間）	履修可能範囲（夜間）	備考
図書館情報学	司書必修科目 甲群	生涯学習概論	田中(均)			①	①							1	★#		[1] 図書館司書資格の取得をめざす者のみの履修を認める
		図書館概論	大串			②	②							1	★#		
		図書館サービス論	大串			②	②							1	★#		
		情報サービス概説	中西			②	②							1	★#		
		図書館資料論	中西			②	②							1	★#		
		資料組織概説	田中(均)			②	②							1	★#		
		図書館経営論	大串・田中(均)				①	①	①					2	★#		[1]
		専門資料論	中西				①	①	①					2	★#		[1]
		児童サービス論	大串			①	①	①	①					1	★#		[1]
		レファレンスサービス演習	中西				①	①	①					2	★#		
		情報検索演習	大串・中西					①	①					2	★#		
		資料組織演習A	田中(均)				①	①	①					2	★#		
		資料組織演習B	田中(均)				①	①	①					2	★#		
	司書選択科目 乙群	図書及び図書館史	中西			①		①						2	#		[1] 2科目2単位選択必修
		資料特論	中西				①		①					2	#		[1]
		コミュニケーション論	中西					①						2	#		[1]
		情報機器論	田中(均)				①		①					2	#		[1]
		図書館特論	植田				①		①					2	#		[1]
博物館学	必修科目	博物館学A	武田			②								1	◎#同		(歴文)
		博物館学B	武田				②							1	◎#		
		博物館学C	武田・赤沼・増田				②							1	◎#同		(歴文)
		教育学概論	松本(淳)			②	②	②	②					1	◎★#同		(歴文)
		生涯学習概論	松本(淳)						②					2	◎#同		(歴文)
		視聴覚教育メディア論	大明						②					2	◎#同		(歴文)
		博物館実習Ⅰ	武田					②						2	◎#		[4]
		博物館実習Ⅱ	安蔵				①							1	◎#		
		館務実習	尾崎					①						2	◎#		集中講義
	選択科目	日本文化C（日本の芸能）	大谷津			②	②	②	②					1・2	◎		■短大生のみ 注1）
		日本文化D（美術史）				②	②	②	②					1・2	◎×		
		日本文化E（モードとファッション）	安蔵			②	②	②	②					1・2	◎同		■（環境：服飾史Ⅰ・Ⅱ） 注1）
		日本文化F（建築）	平井(聖)			②	②	②	②					1・2	◎同		■（歴文：日本建築史） 注1）
		日本文化G（考古学）	小泉			②	②	②	②					1・2	◎		■短大生のみ 注1）

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦#印は一般教養にならない

注1）学芸員資格の取得をめざす者は、■印の科目の中から通年で2科目（各4単位）以上を選択必修。

文化創造学科　夜間主コース（2年次生読み替え科目）

平成 20 年度授業科目	担当者	整理番号	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	2年次生読み替え科目
文化研究入門D	熊澤、元吉、高木	520016	②		②		1		文化研究入門D
文化研究入門E	元吉	520017		②		②	1		文化研究入門E
キャリアプランニング	木村	520003	②		2		2		キャリアプランニング
	井原						2	×	クリティカルシンキング
日本語力講座A（書く）	高木	520004	①		①		1		日本語力講座A（読む / 書く）
日本語力講座B（話す）	笹	520005		①		①	1		日本語力講座B（話す）
Basic English（学び直しの英語）I	海崎	520008	①		①		1		Basic English I
Basic English（学び直しの英語）II	赤堀	520009		①		①	1		Basic English II
ベーシック・コンピュータスキル	高木	520007	①	①	①	①	1	◎★	ベーシックコンピュータスキル
日本の古典文学を読む	元吉	520021		②		②	1	◎	文学の愉しみ
日本文学への招待D（伊勢物語）	元吉	520053	②		②		1		日本文学への招待D
日本文学への招待E（万葉集）	高木	520054	②		②		1		日本文学への招待E
日本文学への招待F（近代文学）	槍田	520055		②		②	1		日本文学への招待F
和歌の世界（新古今）	高木	520056	②	②	②	②	−		和歌の世界
日記文学を読む（土佐）	高木	520057	②		②		−		日記文学を読む
紀行文学を読む（芭蕉）	高木	520058		②		②	−		紀行文学を読む
平安文学を読む（源氏物語）	元吉	520059	②	②	②	②	−		平安文学を読む
日本文学史	元吉（前期）、高木（後期）	520069	②	②	②	②	2	◎	日本文学史
外国文学E（中国）	尾崎	520067	②		②		2	◎	中国文学
英米文学史	佐藤（道）	520070	②		②		2	◎	英米文学思潮
外国文学B（イギリス）	丹羽			②		②	−	×	外国文学への招待D
外国文学C（アメリカ）	上野	520066		②		②	−		外国文学への招待E
日本語学概論	元吉	520071		②		②	1	◎	日本語学概論
英語学概論（英語のしくみとはたらき）	原田	520072		②		②	1	◎	英語学概論
ことばと社会	赤堀	520023		②		②	2	◎	ことばと社会
近代文化論	西脇	520046	②		②		−	◎	近代文化論
短歌論	高木	520073	②		②		2		短歌論
日本文化の源流（日本のこころ）	関口	520018	②		②		−	◎	日本文化の源流（前期）
伝統文化実習A（茶の湯の文化）	高木	520036		①		①	−		
衣の文化史	伊藤（麗）	520033		②		②	−	◎	衣の文化史
	礒野			②		②	1	◎×	日本住居史
中国文化	尾崎	520042		②		②	1		アジア文化A（中国）
アメリカ文化	光野	520044	②		②		1	◎	欧米文化A（アメリカ）
イギリス文化	光野	520043		②		②	1	◎	欧米文化B（イギリス）
西洋建築史（世界遺産への招待）	堀内	520182		②		②	−	◎同	西洋建築史
食の文化（食べ物をめぐる人類の知恵）	秋山	520166	②		②		−	◎×	食の文化
意匠学	小山	520187		②		②	−	◎	意匠学
工芸デザイン論	谷井	520192		②		②	−		工芸デザイン論
空間計画（インテリアの考え方）	杉浦	520178		②		②	1	◎	空間計画
生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	番場	520173	②		②		−	◎	生活概論
家庭経営学	熊澤		②		②		−	◎同×	家庭経営学
保育学（実習を含む）	熊澤	520233		②		②	−	同◎	保育学

平成20年度授業科目	担当者	整理番号	夜間 学年 1年次単位 前期	夜間 学年 1年次単位 後期	夜間 学年 2年次単位 前期	夜間 学年 2年次単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	2年次生読み替え科目
環境共生論（地球にやさしいくらし方）	秋山			②		②	−	×	環境共生論
住生活概論			②		②		−	◎×	住生活概論
住居学概論	番場	520175	②		②		1	◎	住居学概論
住居計画（住居を考えるポイント）	金子（友）	520174	②		②		1	◎	住居計画
地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	芦川	520206		②		②	1	◎	地域環境計画
建築計画（人間のための空間づくり）	芦川	520176		②		②	1	◎同	建築計画
建築学特講（建築と職能）A	木村（信）他	520224		②		②	−	◎	建築学特講A
建築学特講（建築と職能）B	木村（信）他			②		②	−	◎×	建築学特講B
テキスタイル文化論	菊地	520028		②		②	−		衣生活論
被服学	大津 他	520227	②		②		−	同	被服学
食と安全	秋山	520167	②		②		−	◎	食と安全
食品学Ⅰ	秋山	520229	②		②		1	◎同	食品学Ⅰ
栄養と健康（食とコミュニケーション）	黒崎	520168	②		②		1	◎	栄養と健康
ＩＴ概論	加藤（治）・今泉	520027	②		②		1	◎	ＩＴ概論（情報技術の開く社会）
メディア概論	西脇	520024		②		②	−	◎	メディア概論
メディアリテラシーD（IT）	加藤（治）	520077		②		②	2	◎	メディアリテラシーC（IT）
オフキャンパススタディB（文学散歩）	元吉	520035	②		②		2	◎	オフキャンパススタディE（文学散歩）
文芸創作（自分史）	元吉	520083		①		①	2	◎	文芸創作（自分史）
短歌創作	中村	520082		①		①	2	◎	文芸創作（短歌を詠む）
毛筆書道基礎（含書写検定対策）	木村（明）	520085		①		①	−	◎	毛筆書道基礎（書写検定対策）
毛筆書道（含書写検定対策）	木村（明）	520086		①		①	−	◎	毛筆書道（書写検定対策）
硬筆書道基礎（含書写検定対策）	木村（明）	520087	①		①		−	◎	硬筆書道基礎（書写検定対策）
硬筆書道（含書写検定対策）	木村（明）	520088	①		①		−	◎	硬筆書道（書写検定対策）
被服構成学及び実習	原			①		①	−	同×	被服構成学および実習
調理学実習Ⅰ	秋山	520230		①		①	−	同	調理学実習Ⅰ
デザイン基礎技法B（立体）	倉島	520186		①		①	1	◎	デザイン基礎技法B（立体）
	小山			①		①	1	×	インテリアパース演習Ⅰ
	小山				①		2	×	インテリアパース演習Ⅱ
CG基礎	伊藤（昭）	520222	①		①		1		
設計製図Ⅰ1	木村（信）	520185	②		②		1	同	設計製図Ⅰ−1
設計製図Ⅰ2	礒野	520213		②		②	1	同	設計製図Ⅰ−2
設計製図Ⅱ1	岡田	520214			②		2	同	設計製図Ⅱ−1
設計製図Ⅱ2	飯塚（拓）	520215				②	2	同	設計製図Ⅱ−2
建築学演習（体験的に建築を理解する）	木村（信）・礒野	520226			①	①	2		建築学演習
一般構造Ⅰ（建物のパーツを知る）	永橋	520194		②		②	1	同	一般構造Ⅰ
一般構造Ⅱ（構造のデザインを考える）	永橋	520195			②		2	同	一般構造Ⅱ
材料学（建築材料の特徴を知る）	永橋	520197	②		②		−		材料学
構造力学（力の流れを考える）	森部	520198	②		②		−	同	構造力学
構造力学演習（力の流れを確かめる）	安宅	520199				①	2	同	構造力学演習
環境工学（快適性と省エネルギー）	堤	520196	②	②	②	②	1	同	環境工学（快適性と省エネルギー）
建築設備（光・空気・水をデザインする）	佐野	520200			②		2	同	建築設備（光・空気・水をデザインする）
建築法規（安全で快適な街をつくるルール）	寺本	520201				②	2	同	建築法規

平成 20 年度授業科目	担当者	整理番号	夜間 学年 1年次 単位 前期	夜間 学年 1年次 単位 後期	夜間 学年 2年次 単位 前期	夜間 学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	2年次生読み替え科目
環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）	友田	520205		②		②	2		環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）
建築デザイン論	芦川	520203	②	②	②	②	2	同	建築デザイン論
建築積算（建物の値段を分析する）	高橋（照）	520208				②	2	同	建築積算（建物の値段を分析する）
施工法（建物の造り方を考える）	永橋	520202				②	2		施工法
環境・材料実験 B	中山（栄）	520218			②		2	同	環境･材料実験（環境や材料を調べる）B
測量	藤沼	520219				②	2	同	測量
基礎の数学	常喜	520170	②		②		1	◎	基礎の数学
基礎の力学	佐藤（豊）		②		②		1	×◎	基礎の力学
CAD Ⅰ（コンピュータ製図）	田村	520220		①		①	1		CAD Ⅰ（コンピュータ製図）
CAD Ⅱ（平面から立体へ）	伊藤（昭）	520221			①		2		CAD Ⅱ（平面から立体へ）
文化創造演習	文化創造学科教員	520234			①	①	2		文化創造演習
卒業研究	文化創造学科教員	520235			④		2		卒業研究
英語で読む小説 Ⅰ	丹羽	520105	①		①		−	◎	Reading Ⅰ A
英語で読む小説 Ⅱ	原田	520106		①		①	−	◎	Reading Ⅰ B
観光英語	小河	520107	①		①		−	◎	Speaking Ⅰ A
				①		①	1	◎×	Speaking Ⅰ B
生活英語	フルマー	520108	①		①		−	◎	Listening & Pronunciation Ⅰ A
オフィス英語	フルマー	520109		①		①	−	◎	Listening & Pronunciation Ⅰ B
英文添削（ジャーナルを書く）	小河	520110	①		①		−	◎	Writing A
英語でメール	小河	520111		①		①	−	◎	Writing B
考える英文法（コミュニケーションに使える英文法）	原田	520118	②		②		−	◎	Grammar for Communication Ⅰ A
小説・映画から見る英米文化	海崎	520119		②		②	−	◎	Grammar for Communication Ⅰ B
英語で読む雑誌・新聞	上野	520120	①		①		−	◎	Reading Ⅱ A
インターネット英語	上野	520121		①		①	−	◎	Reading Ⅱ B
ショートスピーチ	小河	520122		①		①	−	◎	Speaking Ⅱ A
				①		①	2	◎×	Speaking Ⅱ B
English Communication Ⅰ	フルマー	520126	①		①		−	◎	Listening & Pronunciation Ⅱ A
English Communication Ⅱ	フルマー	520127		①		①	−	◎	Listening & Pronunciation Ⅱ B
					②		2	◎×	Grammar for Communication Ⅱ A
						②	2	◎×	Grammar for Communication Ⅱ B
編入対策 A（英文法・作文・読解力）	井原	520112	①		①		−		編入対策 A

文化創造学科　昼間主コース科目対照表

平成19年度までに、以下の 19 年度以前用カリキュラム科目名を履修した学生は、対照表にある 20 年度用カリキュラム科目名を履修できません。

授業科目			
		19 年度以前用カリキュラム科目名	20 年度用カリキュラム科目名
共通基礎	自己発見	文化研究入門A（異文化を見る視点）	文化研究入門
		文化研究入門B（文化を学ぶ視点）	環境と人間
		文化研究入門C（くらしの文化を見る視点）	
		キャリアプランニング	
		クリティカルシンキング	
	ベーシック・スキル	日本語力講座ⅠA（読む / 書く）	日本語力講座A（書く）
		日本語力講座ⅠB（話す）	日本語力講座B（話す）
		Basic English I	
		Basic English II	
		ベーシック・コンピュータ・スキル	
文化を知る	ことばとこころ	文学の愉しみ	文学入門（世界の文学）
		日本文学への招待A	日本文学A（和歌）
		日本文学への招待B	日本文学B（物語）
		日本文学への招待C	日本文学C（現代小説）
		日本文学史	
		中国文学	中国文学（唐詩）
		英米文学思潮	英米文学史
		外国文学への招待A	イギリス文学B（ゴシック小説）
		外国文学への招待B	
		外国文学への招待C	イギリス文学A（児童文学）
		日本語学概論	
		英語学概論	
		ことばと社会	
		近代文化論（近代家族と子ども）	近代文化論
		文学と映像	文学と映画
		異文化間コミュニケーション	
		小説入門（創作）	
		脚本入門（創作）	
		短歌論	
		映画字幕・歌詞翻訳（ことばのセンスアップ）	
	世界の文化	日本文化の源流（日本のこころ）	日本文化の源流
		衣の文化史	
		日本住居史（住居の形と住まい方）	
		日本建築史（古建築の形）	
		アジア文化A（中国）	中国文化
		アジア文化B（インド・東南アジア）	日本仏教文化
		欧米文化A（アメリカ）	アメリカ文化
		欧米文化B（イギリス）	イギリス文化
		欧米文化C（ヨーロッパ）	
		ポップカルチャー	
		西洋美術を見る目	
		西洋建築史（世界遺産への招待）	
		西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）	
		食の文化（食べ物をめぐる人類の知恵）	
	生活とデザイン	基礎デザイン論A	
		基礎デザイン論B	
		情報とデザイン（コンピュータの開くデザインの世界）	
		カラーデザインA	
		カラーデザインB	
		意匠学	
		発想とイメージ	
		工芸デザイン論	
		ファッションブランド研究	
	インテリア	空間計画（インテリアの考え方）	
		インテリアコーディネート	
		家具デザイン	
		キッチンデザイン	
		工業デザイン論	
		人間工学	
	環境と生活	生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）	
		家庭経営学	
		保育学（実習を含む）	
		くらしとＮＰＯ（市民にできる社会貢献）	
		環境共生論（地球にやさしいくらし方）	
		住生活概論	
		高齢者の生活と住まい	
		住居計画（住居を考えるポイント）	
		地域環境計画（集まってすむためのデザイン）	
		建築計画（人間のための空間づくり）	
		バリアフリー建築論（空間のバリアフリー）	
		建築学特講（建築と職能）A	
		建築学特講（建築と職能）B	
		衣環境論（衣服の機能と着心地）	衣環境論
		環境とテキスタイル（衣生活と環境問題）	環境とくらし
		テキスタイル・インテリア材料	
		染色学（染色と色の発現）	染色学
		衣服管理学（洗濯と漂白）	衣服管理学
		テキスタイル実験	
		染色実験	

授業科目				
			19年度以前用カリキュラム科目名	20年度用カリキュラム科目名
文化を知る	環境と生活		衣服管理実験	
			被服学	
			食と安全	
			食品学Ⅰ	
			栄養と健康（食とコミュニケーション）	
	生活と流通		消費生活論（消費者問題の解決）	消費生活論
			消費者調査（消費者の実態と意識調査）	消費者調査
			マーケティング論	
			販売論	
	映像・メディア		映像メディア概論（映画・映像の基礎知識）	
			映像メディア表現論（表現法のテクニック）	
			映像メディア制作論（脚本創作）	
			ＩＴ概論（情報技術の開く社会）	ＩＴ概論
			メディア概論	
			メディアリテラシー入門	メディアリテラシーA（テレビ）
			メディアリテラシーA（映像）	メディアリテラシーB（映画）
			メディアリテラシーB（広告）	メディアリテラシーC（広告）
			メディアリテラシーC（IT）	メディアリテラシーD（ＩＴ）
文化を体験する	オフキャンパス・スタディ		オフキャンパススタディA（能・狂言）	オフキャンパススタディA（能）
			オフキャンパススタディB（アジア美術）	
			オフキャンパススタディC（ファッション）	
			オフキャンパススタディD（建築）	
	留学研修（15weeks）		Listening & Speaking Ⅱ	
			Writing	
			Reading	
			Discussions on American Themes	Discussions on American Issues
			Culture Electives	
			Field Trip	Field Trip Class
			TOEIC Preparation	
			Skills Electives	Skill Electives
			College Connection Program	
	延長プログラム	JCⅡ	Advanced Conversation	
			American Issues	
			Electives	
文化を表現する	ことば・文字		文芸創作（小説を書く）	前期／小説創作入門、後期／小説創作初級
			文芸創作（短歌を詠む）	短歌創作
			脚本創作（シナリオを描く）	映像制作Ⅲ
			毛筆書道入門	伝統文化実習B（毛筆書道入門）
			毛筆書道中級	
			硬筆書道初級	
			硬筆書道中級	
	ファッション表現		アパレル企画論（アパレル商品の企画を学ぶ）	アパレル企画論
			ファッション造形論	
			ファッションクリエーション	
			ファッションデザイン	
			ＣＧ入門	
			ファッションプレゼンテーション（ＣＧ）	
			テキスタイルデザイン（ＣＧ）	
			テキスタイル造形演習（染）	
			テキスタイル造形演習（織・編）	
			被服構成学及び実習	
	調理		調理学実習Ⅰ	
			ホームクッキング	
			シェフとパティシエに学ぶ	
	デザイン表現		デッサン	
			デザイン基礎技法A（平面）	
			デザイン基礎技法B（立体）	
			デザイン表現A（平面）Ⅰ	
			デザイン表現A（平面）Ⅱ	
			デザイン表現B（立体）Ⅰ	
			デザイン表現B（立体）Ⅱ	
			デザイン表現C（インテリア）Ⅰ	インテリアコーディネート演習
			デザイン表現C（インテリア）Ⅱ	インテリア計画
			インテリアパース演習Ⅰ	
			インテリアパース演習Ⅱ	
	建築		設計製図Ⅰ1	
			設計製図Ⅰ2	
			設計製図Ⅱ1	
			設計製図Ⅱ2	
			建築学演習（体験的に建築を理解する）	
			一般構造Ⅰ（建物のパーツを知る）	
			一般構造Ⅱ（構造のデザインを考える）	
			材料学（建築材料の特徴を知る）	
			構造力学（力の流れを考える）	
			構造力学演習（力の流れを確かめる）	
			環境工学（快適性と省エネルギー）	
			建築設備（光・空気・水をデザインする）	
			建築法規（安全で快適な街をつくるルール）	
			環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）	
			建築デザイン論	
			建築積算（建物の値段を分析する）	
			施工法（建物の造り方を考える）	

授業科目				
			19年度以前用カリキュラム科目名	20年度用カリキュラム科目名
文化を表現する	建築		環境･材料実験（環境や材料を調べる）A	
			環境･材料実験（環境や材料を調べる）B	建築実験
			測量	
			基礎の数学	
			基礎の力学	
	メディアプロダクション		映像プロデュース演習（企画からプレゼンまで）	映像制作Ⅰ
			撮影演習	映像論Ⅰ
			サウンドエフェクツ演習（編集）	映像論Ⅱ
			ビデオ演習	映像制作Ⅱ
			デジタル技術	映像制作Ⅳ
			イメージ編集Ⅰ（CG／写真加工）	イメージ編集A
			イメージ編集Ⅱ（CG／写真加工）	イメージ編集B
			コンピュータグラフィックス（プレゼンテーションをデザインする）	
			WEBデザインA	
			WEBデザインB（CG／CAD）	WEBデザインB
			DTP編集Ⅰ	デジタル編集A
			DTP編集Ⅱ	デジタル編集B
			CADⅠ（コンピュータ製図）	
			CADⅡ（平面から立体へ）	
	卒業演習		文化創造演習	
			卒業研究	
スキル	コンピュータ・スキル		情報リテラシーA（データベース）	
			情報リテラシーB（パソコン検定）	コンピュータ・リテラシーA（パソコン検定）
			情報リテラシーC（Microsoft Office Specialist）	コンピュータ・リテラシーB（Microsoft Office Specialist）
	日本語		日本語力講座ⅡA（読む／書く）	
			日本語力講座ⅡB（スピーチ／アナウンス）	日本語スピーチ／アナウンス
	英語	ベーシック・スキルズ	English Foundation	English Foundation A
			Listening & Speaking Ⅰ	
			Writing & Reading Ⅰ（Reading）	Writing & Reading
			Writing & Reading Ⅱ（Writing）	
			Pronunciation	
		アドバンスト・スキルズ	Listening in Context	
			Public Speaking／Pronunciation	
			Reading Fluency	
			Writing & Reading for Communication	
			Grammar for Communication（Reading）	
		コンテンツ	English Communication A	
			English Communication B	
			English Communication C	
			English Communication D	
		英語資格対策	英検2級対策	
			TOEIC Prep	
キャリア支援	編入支援		編入対策A（英文法・作文・読解力）	英語で小説を読む
			編入対策B（日本語論文作成）	新聞を読む
			編入対策C（日本語文法）	日本の古典文学を読む
	就職支援		Business English	
			インターンシップ	
	図書館情報学	司書必修科目 甲群	生涯学習概論	
			図書館概論	
			図書館サービス論	
			情報サービス概説	
			図書館資料論	
			資料組織概説	
			図書館経営論	
			専門資料論	
			児童サービス論	
			レファレンスサービス演習	
			情報検索演習	
			資料組織演習A	
			資料組織演習B	
		司書選択科目 乙群	図書及び図書館史	
			資料特論	
			コミュニケーション論	
			情報機器論	
			図書館特論	
	博物館学	必修科目	博物館学A	
			博物館学B	
			博物館学C	
			教育学概論	
			生涯学習概論	
			視聴覚教育メディア論	
			博物館実習Ⅰ	
			博物館実習Ⅱ	
			館務実習	
		選択科目	日本文化C（日本の芸能）	
			日本文化D（美術史）	
			日本文化E（モードとファッション）	
			日本文化F（建築）	
			日本文化G（考古学）	

授業概要

520001 GPゼミⅠ

文化創造学科教員

1･2 年生合同のグループで、様々なテーマを設定し1年間の協働体験プログラムを進める。企画、調査、制作などのプロセスを体験し、最終的には成果を社会に公開し、評価を受ける。この活動を通し、集団の中で役割を持って活躍するために必要な力（社会人基礎力）を身につける。

①協働体験　②社会人基礎力　③社会に公開

520002 GPゼミⅡ

文化創造学科教員

1･2 年生合同のグループで、様々なテーマを設定し1年間の協働体験プログラムを進める。企画、調査、制作などのプロセスを体験し、最終的には成果を社会に公開し、評価を受ける。この活動を通し、集団の中で役割を持って活躍するために必要な力（社会人基礎力）を身につける。

①協働体験　②社会人基礎力　③社会に公開

520003 キャリアプランニング

講師　博士（文学）　赤堀　志子
講師　博士（学術）　番場　美恵子

文化創造学科で学んだ領域の先にはどのような職があるのか?それぞれの領域から一線で活躍する人材を招き、学生の職業意識を涵養し、戦略的なキャリア形成に役立てる。学生時代に何をしておくべきなのか、という視点から積極的に学んで欲しい。

①キャリア形成　②職業意識　③戦略

520003 キャリアプランニング

教授　木村　信之

文化創造学科で学んだ先にはどのような職や生活があるのか?先達や卒業生を招き、それぞれのキャリア形成に関る話を聞いたり、学生が自らのキャリア形成について話し合うことを通して、卒業後のキャリア形成について考える。

①ライフデザイン　②キャリア形成

520004 日本語力講座A（書く）

准教授　哲学博士　早田　啓子

今日のグローバル化する世界にあって、日本文化の基本である日本語を正しく使い、美しい日本語を表現できる力を養うことは特に重要になってきている。本講座は日本文化の基礎的知識の獲得に重点を置きながら、文章を書きそれに添削を交えながら指導する。

①文化の固有性　②日本語　③言葉と文化

520004 日本語力講座 A（書く）

准教授　高木　佳子

日本の詩歌、随筆（エッセイ）、短編小説などの作品を読み味わう。さらに、それぞれの作品についての読後感を、文の構成、表現、ことば、文字に留意して書いていく。また、作品を声に出して読むことにより、日本の文学における情緒、日本語の美しさにも気づかせたい。

①朗読　②作品鑑賞　③読書感想文

520005 日本語力講座B　（話す）

非常勤講師　笹　壽美子

話し言葉における日本語表現能力の向上を図る。発声練習やスピーチ実習などを通して「話す」能力と「聞く」能力の基礎を見直し、わかりやすく正確な表現方法の習得を目指すとともに、対人場面におけるよりよいコミュニケーションの方法を探っていく。

①音声表現力　②「話す」能力　③「聞く」能力

520006 硬筆書道初級

非常勤講師　承　春先

硬筆書道の基本点画、字形の整え方から学び、かな文字の単体、楷書の漢字かな交じり文の書き方を習得した上で、行書、草書へと進む。正しい行書のくずし方、行書の漢字かな交じり文へと、硬筆書道の初歩から段階的に学ぶ。

①筆記用具の知識　②文字の基本点画、筆順　③実用書（宛名、暑中見舞、年賀状）

520007 ベーシック・コンピュータ・スキル

非常勤講師　後藤　涼子

コンピュータを活用した情報の収集･検索、整理、加工、発信についての総合演習を行う。Windows の基本操作から、インターネットの情報活用と電子メール、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの各アプリケーションの基本操作を体系的に学ぶ。

① WORD（文書作成）　② EXCEL（表計算）　③ POWERPOINT（プレゼンテーション）

520007 ベーシック・コンピュータスキル

准教授　高木　佳子

高度情報通信ネットワーク社会の現代、コンピュータの活用は不可欠である。初心者を対象として、コンピュータ活用の基本を身につける。

①コンピュータ操作　② Word･Excel　③ Power Point

520008 Basic English Ⅰ（学び直しの英語）

講師　海崎　隆次

自分が英語に出会ったときからこれまでの過程をふりかえって、今度は誰かに教えることができるよう、英語の面白さや日本語との比較などを通して自分の知識にしていく。

①ことばを学ぶ楽しさ　②表現　③音読

520009 Basic English Ⅱ（学び直しの英語）

講師　博士（文学）　赤堀　志子

短編小説や詩、エッセイを精読しながら、リーディング力を身につけるとともに単語力のアップを目指す。また、スピーキング＆リスニングのアクティヴィティを行い、スピーキング力とリスニング力も強化する。

①リーディング　②スピーキング　③ボキャブラリー

520010 日本語スピーチ / アナウンス

非常勤講師　笹　壽美子

話し言葉による日本語表現能力の向上を目指す。インタビューや説得などの実習を通して、「聞き手」の存在を意識した効果的なコミュニケーションの方法を探っていく。またプレゼンテーションの基本を身につけるとともに、その課程で対人コミュニケーション能力を磨く。

①表現能力　②コミュニケーション　③話し方

520011 硬筆書道中級

非常勤講師　承　春先

端正な文字を書けるために、基礎の楷書をもう一度確認し、行書を更に練習してから草書、仮名漢字交じり文へと進む。また、臨書から実用書の創作を通して、各硬筆用具の使い方も学び、硬筆書道の実力を身につける。

①楷、行書の基礎　②行、草書と仮名漢字交じり文　③実用書

520012 コンピュータ・リテラシーA（パソコン検定）

准教授　田中　均

職場のパソコンリーダーとして必要な広範囲な PC スキル理解を目指す。最終授業までに、パソコンに対する能力やそのレベルを客観的に図る指標としてのパソコン検定試験を実施する。就職を考えている1年生でパソコンが得意なものは是非チャレンジして欲しい。

①コンピュータスキル　②パソコン検定　③ＩＴ活用スキル

520013 コンピュータ・リテラシー B（Microsoft Office Specialist）

非常勤講師　高野　卓美

Microsoft 認定資格である Microsoft Office Specialist 資格試験の合格を目指し、実務で求められるスキルを身につける。試験科目は「Microsoft Word2002」を取り上げ、試験対策に必要な講義と演習を行う。

①パソコン資格　② Word　③マイクロソフトオフィススペシャリスト

520014 数理基礎力講座（ＳＰＩ準備）

非常勤講師　根上　生也

企業の採用試験等で広く用いられる総合適性検査「SPI」に出題されるいわゆる非言語系の問題に対応するために、数理的・論理的問題解決力を育成する。

① SPI　②非言語　②数理的問題解決

520015 文化研究入門

教授　丹羽　正子
教授　上野　和子

文化・文学・思想の根幹をテーマ別に概説し、異文化を見る目を養う。文化を通時的・共通的に理解できる基礎能力を身につけることを狙いとする。

①文化　②文学と思想の歴史　③社会問題

520016 文化研究入門 D

教授　元吉　進
教授　熊澤　幸子
教授　木村　信之
准教授　高木　佳子

文化創造学科夜間主コースの教員が、学科の共通基礎科目として各自の専攻分野と関連づけながら講義をおこなう。日本文化系、ライフデザイン系、住居系のテーマを予定している。学生に知的好奇心をもってもらうことがその目的となっている。

①日本のことば　②暮らし　③文化

520017 文化研究入門 E

教授　元吉　進

所変われば品変わる、と言われるが、文化とその成立基盤である風土には密接な関連性がある。日本の古典文学を中心に、王朝文化と平安京の風土との関わりや、日本文化の特質について考えてゆく。

①平安京　②王朝人の自然観　③言霊

520018 日本文化の源流

教授　関口　靜雄

〈日本文化の源流〉を考えるについて、まず現在の生活文化を考察し、それを基盤として、次第に時代を遡って〈源流〉に接近して行きたい。その際、〈もの〉と〈こころ〉に着目したい。

①縁　②人生　③雪月花

520019 西洋美術を見る目

教授　木下　亮

ヨーロッパ美術における各様式上の特徴を理解し、時間的・空間的コンテクストを視野に入れた作品解釈ができるようになることを目指す。芸術家と社会、作品の受容などの問題についても合わせて考察したい。

①様式　②教会と宮殿　③アカデミーとサロン

520020 文学入門（世界の文学）

准教授　哲学博士　早田　啓子
教授　上野　和子
教授　太田　鈴子
教授　久下　裕利
准教授　丹羽　正子

人間の文化の中核をなすことば、ことばをエッセンスとした文学作品の読解は、人間の可能性に挑戦して生きることです。日本・インド・イギリス・アメリカなどの各国文学の傑作に触れることによって、豊かな世界へと道案内します。

①詩 ②物語 ③文学と絵画 ④宗教と文学 ⑤思想と社会

520021 日本の古典文学を読む

教授　久下　裕利

源氏物語五十四帖全巻を読み通すことは、何年もかかって至難のわざなのだが、古来から有名な場面として絵巻などに描かれるのは、せいぜい各巻1、2場面である。教養程度の知識として源氏物語の世界を手っ取り早く把握するには、江戸時代の絵入り版本などを基準として、そうした場面を採り上げて読むのも1つの有効な方法であろう。

①源氏物語　②有名な場面　③絵入り版本

520021 日本の古典文学を読む

教授　元吉　進

主に今昔物語集と宇治拾遺物語を通して、新聞の三面記事のようだ、とも評される説話集の世界にふれる。笑いあり、怪異譚あり、霊験譚ありという雑多な話を生み出した時代的、社会的背景を踏まえた上で、説話のおもしろさを感じとってゆく。

①説話　②今昔物語集　③宇治拾遺物語

520022 英語で小説を読む

教授　平井　法

英語学習者向きにやさしく書き直された、英国の文学作品を読みながら、読解力と音読の力を養う。また、英文の内容を的確に理解する能力を身につけるために、物語の文化的な背景、語彙についての知識を深める。

①構文　②語彙　③文化的背景

520023 ことばと社会

講師　博士（文学）　赤堀　志子

日常生活に実際に見られる、言語の多様性や機能など、言語の本質に関わる項目を中心に学んでゆく。社会の流れに伴う言語の変化や、言語使用における性差や文化差など、具体的な側面からアプローチする。

①言語と社会　②言語差　③言語と文化

520024 メディア概論

非常勤講師　植田　康夫

メディアの歴史およびメディアの機能、さらにメディアの現状、問題点および未来などについて講義し、メディアについての知識を与える。

①メディア　②コミュニケーション　③ジャーナリズム

520024 メディア概論

教授　西脇　和彦

現代社会は情報が充満した高度情報社会といえる。この情報が環境化した社会と、そこに生活するわれわれとの相互関係を考察する。オリジナル・コピー・シンボルなどを手がかりに、現代社会、文化を考察していく。

①記号　②メディア　③社会的広告

520025 新聞を読む

教授　久下　裕利

文章の有意性は何を伝え得るかの伝達性を第一義とするが、それは多分に技術面の習練で上達できる。論文とはいえ教養や人柄が溢れ、説得的な文章構成でありたい。添削指導によって文章力を身につける。

①伝達性と技術　②例示と比喩　③文のスタイル

520026 映像メディア概論（映画･映像の基礎知識）

客員教授　大澤　愼一

メディアの時代と言われる２１世紀にその中核となる映像メディアは　どのように生まれ　どこをめざすのか。他のマス・メディアの特徴やそれとの関連を見ていきながら　映像メディア制作の現場と受け手側の視点からエピソードを交えて概観する。

①人間　②創造力　③社会　④好奇心

520027 ＩＴ概論

非常勤講師　加藤　治彦
非常勤講師　今泉　純

ＩＴに関する知識を幅広い分野から学ぶ。ＷＥＢ 2.0と言われているように、インターネットは、既に社会で重要な役割を果たしている。ＩＴの現在と未来を展望し、その光と陰を学生といっしょに考える講義である。また、第一線で活躍する特別講師を招聘して、ＩＴに関する最前線の状況などを取り入れた講義を行う。

①ＩＴ　②インターネットビジネス　③携帯電話

520028 テキスタイル文化論

教授　菊地　美知子

本来，ヨーロッパの「テキスタイル文化」と日本の「染織文化」は対照的な性質を示す。しかし，今日では国際化が進み「染織文化」の盛んな交流により，「染織」の語の代わりに「テキスタイル」が用いられ，多彩な展開が期待されている。

①織の文化　②きものの文化　③伝統織物

520029 ファッションブランド研究

非常勤講師　青木　恵子

美しいものは暮らしの中から生まれます。ファッションは“時代の気分”の様なもの。自分ならどうする?何をしたい?ファッションデザインは、イメージ力・コミニュケーション力・プレゼンテーション力。様々な要素を体験し濾過させ、ファッションというフィルターを通して自分を表現し、そして、自分を見つけて下さい。

①デザインの話　②ブランドの考え方　③プレゼンの仕方

520030 住生活概論

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

住まいや住環境について幅広く学び、住まいに関する基礎力を養う。はじめに日本の住まいの特徴と現在の住まい事情、海外の特徴的な住まい事例を紹介する。現代の多様なライフスタイルにあった住まいづくりを考えていくために、家族・高齢者と住まいの関係、家事動線と住まいの関係、収納スペースを考え、最新の地球環境にやさしい住宅事例などを取り上げていく。

①住まい・住宅　②住環境　③住生活様式

520031 基礎デザイン論 B

非常勤講師　金子　武志

「デザイン」とは一体何でしょうか？私たちは日常の生活の中で「デザイン」と多くの関わりを持っています。その歴史は？社会の役割は？他分野との関係は？未来のためのデザインとは？・・・「デザイン」というものを様々なアプローチから眺め、考察し、さらに「デザイン」に興味を持っていきます。

①デザイン＝生活美学　②デザイン＝人間の叡智　③デザイン＝モノ・コト・ココロ　④デザイン＝・・・・・

520032 西欧の家具・インテリア史（西洋アンティーク）

教授　工学博士　堀内　正昭

インテリアの構成要素として、家具の知識は不可欠である。ここでは、１５世紀のルネサンスから２０世紀のモダニズムまでの家具を通史として学ぶ。個々の家具の意匠的特徴を、それぞれの時代の室内意匠から把握することに力点を置く。

①家具　②インテリア　③様式

520033 衣の文化史

非常勤講師　伊藤　麗子

服装の成り立ちや現在に至る形態的変遷を学び、人々の生活環境や社会的背景などの点から、西洋および日本を中心とした服装文化を概観する。スライド・ビデオにより視覚から理解し、衣裳から立体的形態を把握する。

①衣服の起源　②服装と人間生活　③日本の洋装

520034 オフキャンパススタディA（能）

教授　博士（文学）　齋藤　彰

能･狂言の基礎知識を概説して､代表的な能『杜若』･『歌占』の読解をした上で､『杜若』･『歌占』及び『國栖』･『項羽』を観世能楽堂で鑑賞する。

①能の基礎知識　②世阿弥

520035 オフキャンパススタディB（文学散歩）

教授　元吉　進

東京周辺の文学遺跡を訪ねて文学散歩を行う。万葉集東歌や伊勢物語、更級日記などの古典文学から、太宰治やフーテンの寅さんなど現代文学のゆかりの地を探訪する。教室での講義の後、隅田川や武蔵野などに日帰りの実地踏査を行う予定。夏期集中講義。

①武蔵野　②隅田川　③江戸

520036 伝統文化実習A（茶の湯の文化）

教授　太田　鈴子
准教授　高木　佳子

日本の文化を理解するために、室町時代から続く茶道を実際に体験する科目です。この授業を受けることによって、礼儀、マナー、物の扱い方なども学ぶことができます。

①礼儀作法　②四季の日本文化　③道具の扱い方

520036 伝統文化実習 A（茶の湯の文化）

准教授　高木　佳子

千利休に至って大成した茶道が、華道をはじめ、和菓子や陶芸、また、茶室などの建築、禅などの仏教、文学など様々な日本の文化、美術等に通じている総合文化・芸術であることを理解する。また、実際に茶碗や茶筅に触れて、抹茶を点てることにより、茶の湯を身近に楽しむことのできるものとさせたい。さらに、着物の着付けにも及びたい。

①茶の湯　②千利休　③点前

520037 伝統文化実習B（毛筆書道入門）

非常勤講師　板橋　聡美

書道の入門として、書の基本技法を習得する。まず基本点画の練習から始め、楷書の基本的な筆使いを習熟し、更に行書・かなの基礎も学ぶ。代表的な古典を鑑賞・臨書した上で、日常の生活書、易しい創作へと応用面も加える。

①書の基本と美　②執筆法　③楷書・行書・かな　④鑑賞と臨書　⑤実用書（葉書・手紙）　⑥創作

520038 西洋文化実習（プロトコル）

教授　丹羽　正子

国際的な交流がますます盛んになっていく中で、「世界標準マナー」としてのプロトコルを知識としてだけではなく、実践を交えて進める。西洋だけでなく、まず日本におけるビジネス上でのマナーやエチケットはもちろんのこと、社会人としての周りへの心遣い、立ち居振る舞いなども実践的に学ぶ。

①西洋文化　②タブー　③テーブルマナー

520039 芸術文化実習A（アート）

准教授　哲学博士　早田　啓子

本講座は前後期通年で、モノを造り出し表現することの喜びや楽しさを美術制作を通して獲得することを目的とする。対象の観察・色彩・造形・材料に対する意識を高め発想力・デザイン力・制作力を養うことをテーマとする。

①光と影　②観察　③色彩　④造形　⑤材料　⑥創作

520040 芸術文化実習B（ダンス）

准教授　博士（学術）　白川　哉子

芸術・文化の視点からダンスを考える。表現媒体を身体とする表現の可能性を探る。身体の表現技術の習得のための基本技術を身につける。芸術・文化へと発展して行くダンスの理論的理解とともに人間の心身の調和について実技を通して考える。

①基本姿勢　②ボディコントロール　③芸術

520041 日本仏教文化

准教授 哲学博士　早田　啓子

日本の仏教文化を扱う。日本文化を理解する上で、その背景をなす宗教や思想を理解することは大変重要である。仏教は日本人の生活や文化に大きな影響を与えた。仏教の考え方やその歴史、特に浄土教を中心にみていく。さらに、仏教思想を通じて、アジア的な発想についても言及する。

①日本文化の条件　②仏教思想　③日本文化と仏教　④アジア的発想

520042 中国文化

教授　尾崎　保子

わが国は歴史的に中国大陸から大きな影響を受けてきた。ここでは、陶磁器を中心に、中国文化史をたどりながら、その形と心を学び、日本における受容と変遷についてもみてゆく。

①青銅器　②唐三彩　③宋の磁器　④明の青花　⑤文様

520042 中国文化

教授　尾崎　保子

わが国は、大陸中国から大きな文化的影響を受けてきましたが、ここでは器を中心に中国の文化史を辿りながら、日本文化の受容性と独創性についてもみてゆきます。

①青銅器　②陶磁器　③文様

520043 イギリス文化

講師　原田　俊明

極端を嫌うバランス感覚で知られる英国人も、一方では時代の最先端を行く斬新さや柔軟性も持ち合わせている。この授業ではイギリス英語に触れながらイギリスらしさを一緒に考える。

①国土　②国民性　③言語

520043 イギリス文化

非常勤講師　光野　昭雄

シェイクスピアを生んだ国として有名なイギリスであるが、意外とその素顔を知る人は少ない。歴史、地理、人種、言語、宗教等の様々な面から、イギリスという国について考察したいと思う。

①階級　②人種　③伝統

520044 アメリカ文化

非常勤講師　宮島　瑞穂

アメリカの社会・文化の基本的な概念であるピューリタニズム、フロンティア・スピリット、自由主義的ラディカリズムを学びながら、アメリカの歴史と文化を考察する。「文化進出」の問題も取り上げ、ディスカッションを重ねながら授業を進める。

①国家の誕生　②多様性　③多民族文化

520044 アメリカ文化

非常勤講師　光野　昭雄

唯一の超大国として存在しているアメリカは、物質文明の頂点に位置しているが、同時に様々な問題に直面している。歴史、人種、言語、宗教、教育、政治、経済等の様々な面から、アメリカという国について考察したいと思う。

①理想　②階層　③苦悩

520045 ポップカルチャー

教授　上野　和子

アメリカ発のファッションや音楽、日本のアニメ映画といったポップカルチャーは、グローバルに受け入れられている。1920 年代以降の現代生活の変革から起こった大衆文化を、身近な生活から文化の衝突・受容・変容として考える。

①ファーストフード　②アニメ　③ジーンズ

520046 近代文化論

教授　太田　鈴子

社会や文化、人の心の中にあって、判断をしたり、決定したりする時に、一つの基準となっているジェンダーについて理解することを目的としています。

①ジェンダー　②家父長制　③プリンセス・ストーリー

520046 近代文化論

教授　西脇　和彦

くらしの中の文化を身近な現象から考察する。その一例として郊外 (Suburbia) をとりあげ、そのさまざまな側面について考察する。この現象は、欧米の影響も受けた今日的な事象で、近未来への示唆に富んでいる。

①郊外住宅地　②田園都市　③マス・サバービア

520047 環境と人間

教授　中西　裕
教授　太田　鈴子
准教授　早田　啓子

現在の人類にとって緊急に解決を要する事態となっている環境問題をとりあげる。環境思想の歴史をふりかえり、また地球環境を利用し、より快適な生活を手に入れてきた人類が今直面する問題を考える。

①環境　②エネルギー　③地球

520048 異文化間コミュニケーション

非常勤講師　小河　奈保子

異なる文化を背景に持つ人々が行なうコミュニケーションの問題点を取り上げ、どのようにしたら効果的なコミュニケーションを行なうことができるのか、基本的理論と実践の両面から考察する。

①価値観　②コミュニケーション　③英語圏と日本の文化比較

520050 日本文学A （和歌）

教授　久下　裕利

古今和歌集から新古今和歌集までの勅撰八代集を視野に入れて、その秀歌と言われる歌を選び出して、伝統的イメージの形成やその表現、詠歌方法を検討するとともに、歌壇状況についても把握したい。

①三十六歌仙　②百人一首　③歌枕

520051 日本文学B （物語）

教授　久下　裕利

平安時代の作品を取り上げて、その本文の様相を具体的に検証しながら、物語が創作時点よりも、むしろ享受に於いて、何故変容するのかを考えていきたい。対象作品は、伊勢、竹取、うつほ、源氏、狭衣などである。

①伝本　②異本　③別本

520052 日本文学C（現代小説）

教授　太田　鈴子

「昭和」の時代を反映した作品を読みながら、できるだけ作者の言葉を理解することを目標とする。その際に、補助教材を使いながら、作品の背景を把握することにもつとめる。

①宮沢賢治　②江戸川乱歩　③坂口安吾

520053 日本文学への招待 D（伊勢物語）

教授　元吉　進

伊勢物語には、男女の愛は勿論、広く人の愛情の諸相が描かれ、愛情の珠玉を連ねた作品と評される。いくつかの段を鑑賞し、王朝人の愛について考えてゆく。芸能、美術への影響にも目を配る。

①「むかし男」と在原業平　②東下り　③井筒

520054 日本文学への招待 E（万葉集）

准教授　高木　佳子

古今風、新古今風に対して、万葉風といわれる独自の歌風が認められる万葉集について概観し、歴史的背景、作歌事情等を踏まえ、万葉集の歌を解釈鑑賞し、万葉人の心、生き方に触れ、万葉集の魅力を探っていく。

①雑歌・相聞歌・挽歌　②額田王　③大津皇子

520055 日本文学への招待 F（近代文学）

教授　槍田　良枝

大正文学の花形作家・芥川龍之介の小説を読む。まず大正文学について概説したうえで、芥川の生涯を解説してその全体像を把握する。その後初期から晩年までの代表作を取り上げて詳解味読して、その文学の魅力を探る。

①大正文学　②新現実主義　③芥川と古典　④自尊心　⑤芸術至上主義　⑥狂気

520056 和歌の世界（新古今）

准教授　高木　佳子

中世和歌の出発点ともみられる新古今和歌集の成立について概観し、新古今時代を代表する歌人をとりあげ、その活動を概観するとともに、歌を解釈鑑賞し、当代の歌壇ならびに歌風の動向を探る。

①後鳥羽院　②切継　③本歌取り　④三夕の歌　⑤藤原定家　⑥式子内親王

520057 日記文学を読む（土佐）

准教授　高木　佳子

平安朝女流日記文学の先駆的役割をなす土佐日記を講読し、筆者の執筆意図、心情等を探っていく。影印本により、変体仮名に習熟するとともに古文の読みにも慣れるようにしたい。

①紀貫之　②女性仮託　③亡児追懐

520058 紀行文学を読む（芭蕉）

准教授　高木　佳子

日本人に今日なお慕われ続けている芭蕉をとりあげ、旅に生涯を終えたその生き様を探り、その作品「おくのほそ道」をとおして、旅の詩人の魅力を探っていく。

①おくのほそ道　②曽良　③平泉

520059 平安文学を読む（源氏物語）

教授　元吉　進

王朝文学の華、源氏物語は文学作品としての享受は勿論、文化史的な方面からのアプローチによっても多くのことを教えてくれる。作品の鑑賞を通じて、現代人の生活にも受け継がれる王朝の文化について考える。

①紫式部　②夕顔　③若紫　④宇治十帖　⑤薫と匂　⑥浮舟

520060 イギリス文学A（児童文学）

教授　平井　法

私たちがディズニー・アニメなどを通して日頃親しんでいる童話の原作には、映像化された作品からは知ることの出来ない、哲学や社会思想、歴史や伝承文化、地理的条件などが織り込まれている。外国童話の背景を探り、新しい視点から童話の魅力を訪ねたい。

①童話　②西欧文化　③映像と言葉

520061 イギリス文学 B（ゴシック小説）

講師　原田　俊明

産業革命期のイギリスでは技術革新と経済発展の隆盛を見るが、皮肉にも科学ゆえに引き起こされる『フランケンシュタイン』のような怪異譚が登場する。この授業では十八世紀末から十九世紀初頭にかけての社会状況と当時勃興した怪奇小説の流れを概観しながら『フランケンシュタイン』を精読する。

①産業革命　②怪奇　③近代人

520062 イギリス文学C（ヴィクトリア朝小説）

教授　丹羽　正子

ブロンテ姉妹の小説『嵐が丘』『ジェイン・エア』の一部を原書で読む。これらから窺えるヴィクトリア朝の時代的背景、社会状況、文化を学ぶ。映像でも愉しむ。

①階級　②理想の女性　③愛情表現

520063 アメリカ文学（ニューイングランド文学）

教授　上野　和子

アメリカン・ルネサンスの文化的な背景を学び、作家たちの小説や物語･スケッチを概観する。発展する共和国、辺境地の営為、移民の葛藤などの歴史的背景を理解しながら、主に短編小説に焦点をあてて文明と荒野、アメリカの景観に対する感覚の変遷を探る。

①アメリカの景観　②文明と荒野　③希薄化する都市空間

520064 中国文学（唐詩）

教授　尾崎　保子

唐詩は、中国文学の中でも最も絢爛たる感性の世界を展開しており、わが国ではこれをほとんど日本文学の一ジャンルといってよいほどに親しんできた。李・杜をはじめとする多彩な詩人達の作品を音読吟味し、中国の心を分析する。

①唐詩の興隆　②自然派詩人　③詩仙　④詩聖　⑤辺塞詩　⑥安史の乱

520066 外国文学C（アメリカ）

教授　上野　和子

本講では、19 世紀以降のアメリカ文学における女性像を概観する。女性が自己実現を望む時に社会規範から外れ異端視された時代があった。特に、ヘンリー・ジェイムズの『ある貴婦人の肖像』を中心に、社会的拘束に悩む女性たちを検証するのだが、多くの場合成功しないとしても、彼女たちの声はマイノリティへの共感や言語化へと広がりを見せると同時に新しい社会の指針となったことを理解する。

①母性のしがらみ　②自我の飛翔　③サザンベルの形式

520067 外国文学 E（中国）

教授　尾崎　保子

わが国の文化は、大陸中国から歴史的に大きな影響を受けてきましたが、ここでは唐詩を中心に、その形や心を分析し、またわが国の受容についても考えてゆきます。

①唐代の詩人達　②五言絶句と七言絶句　③辺塞詩

520068 文学と映画

准教授　佐藤　道子

文学作品と映像作品との質的違いや相関関係などを検討したうえで、小説における作者の意図、映像に託された監督のメッセージについて考察する。

①映像文化　②作者の意図　③監督の視点

520069 日本文学史

教授　久下　裕利

古代から近代までの日本文学史を的確に通覧するためには、特定の視点をもって対処することが有効な方法で、本講義では源氏物語をその基軸に据えることによって、日本文学の史的展開の全体像を明らかにしたい。

①形成史　②物語　③日記　④受容史　⑤連歌　⑥現代語訳

520069 日本文学史

教授　元吉　進

文学研究における文学史の目的と意義を概説した上で、上代文学に文学の発生と起源を見、平安文学によって王朝文化の開花と発展確立の過程を追求し、日本文学の特質を明らかにする。文化や風土的背景も考察する。

①古事記と日本書紀　②唐風文化と国風文化　③王朝文学

520069 日本文学史

准教授　高木　佳子

中世及び近世において、様々なジャンルの文学作品が生まれたが、いくつかの作品に触れて、中世及び近世の文学の特色をとらえたい。

①新古今和歌　②隠者文学　③俳諧文学

520070 英米文学史

教授　丹羽　正子
准教授　佐藤　道子

イギリス文学、アメリカ文学の初期から現代までの流れを、社会背景とともに展望する。各々の時代を代表する作家の作品に焦点を当て、学生の興味のありそうな作品を取り上げ、ビデオも併用しながら、作品が生み出された時代の思潮を視覚的、立体的にとらえる。

①時代思潮　②作家と作品　③作品鑑賞

520070 英米文学史

准教授　佐藤　道子

まず、シェイクスピア以降の主要な作家の作品に触れながら、イギリス文学を概観する。次に、アメリカ文学を植民地時代から現代にいたるまで概観する。

①時代背景　②作家と作品　③作品鑑賞

520071 日本語学概論

教授　久下　裕利

正しく美しい日本語で表現できるように、日本語史を古代から概観し、ことばの表記や意味の転変の諸相を確認しつつ、われわれの文章表現や会話に役立てることにしたい。辞書の引き方など作業を伴う場合がある。

①漢字と仮名　②字書　③敬語

520071 日本語学概論

教授　元吉　進

高校までの日本語学習をふまえ、理論的、研究史的な内容に立ち入って日本語の知識を深める。主に文法的側面から日本語の成り立ちに目を向け、日本語を体系的に把握し、ことばを正しく使う力を身につけることを目指す。

①音節といろはうた　②かなの発達　③文節

520072 英語学概論

教授　井原　奉明

英語の構造的特徴－音声・文法・意味－を概説し、英語教員を目指すものにとって必須の知識を身に付けると同時に、それを教えることのできる能力を養成する。特に構文法に関して重点を置き、「なぜそのような形式になっているのか」を深く考えながら、英語らしい統語的特徴を十分に理解する。また、英語史についても取り上げ、英語の変遷と発達、使用地域の拡大を学び、今後グローバル化が一層進む世界の中で、「地球語としての英語」が果たす役割についても検討する。

①音を考える　②文法を考える　③意味を考える

520072 英語学概論

講師　原田　俊明

最初に英語史を取り上げ、英語の変遷と発達について学ぶ。その上で世界の諸々の英語について取り上げる。また、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語法と文法、語用論、社会言語学といった言語学の諸分野について概観する。

①英語史　②世界の英語　③英語学の諸分野

520073 短歌論

准教授　高木　佳子

日本の詩歌の五七調の世界でも、長歌・旋頭歌などの歌体が衰えたのに対して、万葉・古今・新古今それぞれに歌風の変遷をみながら、今日の近代短歌に至るまで、長く日本の伝統的な詩歌の形を保ち続けてきている短歌の世界を、作品の鑑賞を通して探っていく。

①詩歌　②五七調　③短歌

520074 メディアリテラシーA（テレビ）

教授　太田　鈴子

日常生活に浸透している新聞・雑誌・テレビから受ける情報が構成されたものであることを認識し、特にテレビメディアとの関係を考え、メディア社会と積極的に関わる能力を養う。

520075 メディアリテラシー B（映画）

非常勤講師　城殿　智行

映像メディアは、写真から映画へ、映画からTVへ、そして現在はCGなどへと、比重を移してきました。しかし、映像表現の基礎は、ここ百年のうちに、映画によって形づくられたと言えます。この授業では、世界の様々な映画を見ることで、映像の見方を学びます。

①映画史　②映像の文法　③世界の映画

520076 メディアリテラシー C（広告）

教授　太田　鈴子

広告はメディアの中でも最も欲望に訴える力を持っている。多様な広告媒体、広告表現について、その種類、意味、役割を知り、主として、雑誌や新聞に掲載された広告についての批評を行う。

①広告の世紀　②広告表現　③情報と消費

520077 メディアリテラシー D（IT）

非常勤講師　加藤　治彦

身近になった「インターネットの世界」既に、メディアとしての大きな意義を持ち始めている。インターネット上に氾濫する情報の中には、種々の性格を持った情報があり、その中から必要な情報をどう探し出すか？情報の信頼性をどう評価するか？など、個々人の情報に対する意識が重要になってきた。実践的なインターネットのメディアリテラシーを学ぶ。

①インターネット　②デジタルメディア　③情報活用

520078 小説創作入門

教授　平井　法

小説創作の初心者を対象に、主題の選び方、プロットの立て方、視点の置き方、会話の書き方、タイトルのつけ方など、基礎的な創作力を養う。添削を受けながら、創作技術を磨いていく。

①小説創作　②主題　③視点　④プロット　⑤文体　⑥現代文学

520080 脚本論

非常勤講師　森　治美

映像メディア制作にあたって、その土台になるものは脚本である。その脚本がどういう形をし、どういう内容で構築されているのかを、映像（映画、テレビなど）の脚本だけではなく、舞台脚本、オーディオドラマ（ラジオ、CDなど）の脚本との比較の中で学ぶ。また、各種メディアの脚本には、ドラマもあればドキュメンタリー、バラエティなどの脚本もあるが、本授業ではドラマについての脚本を中心とする。

①映像脚本　②舞台脚本　③ドラマ

520081 脚本創作

非常勤講師　森　治美

前期の脚本論を踏まえ、企画書、プロット、箱書き、シナリオ（脚本）の書き方を実習し、15分のオリジナル脚本を各自創作執筆する。実習については進行過程の中で随時教室で発表し、合評し合っていく。また、脚本を書くということで、今という時代や自己と他者の生活や感情などを改めて思考し、複眼的なものの見方が出来るようになって欲しい。そして自身の想いを脚本という形にすることの愉しさを実感して欲しい。

①企画書・プロット　②箱書き・シナリオ　③オリジナル脚本

520082 短歌創作

非常勤講師　佐藤　美恵子

初心者を対象に、現代短歌を創作・鑑賞する。いわゆる和歌・近代短歌との相違を解明。実作を通じて、ことばの韻律、凝縮・短縮のおもしろさを味わう。若い世代の新人賞作家・最新の歌壇動向も紹介する。

①短詩型文学　②韻律（五七五七七・みそひともじ）　③千二百年　④歌語・歌ことば　⑤歌壇（結社・歌会始・新聞投稿短歌・ネット短歌）

520082 短歌創作

非常勤講師　中村　節子

日常のふとしたことで心に残ることがある。よろこびやかなしみや自然のうつくしさ、感動を五七五七七のことばに置きかえて詠うことによって、人生の一場面一場面を確認し、より深く生を実感できる。短歌を実際に作ってみる。

①実感　②五七五七七　③美しい日本語

520083 文芸創作　（自分史）

教授　元吉　進

自分史を制作することで、自己を表現する発信型能力の育成を目指すとともに、各自の人生を振り返って自己を点検確認することにより、今後の人生を積極的に展望するための一助とする。

①自己の分析　②資料の収集　③文章表現

520084 毛筆書道中級

非常勤講師　板橋　聡美

書の基礎を習得した上で、中国・日本の代表的な古典を鑑賞・臨書し、臨書の重要性と役割を学びとる。更に創作の諸形式を学び、書美に対する理解と表現力を深める。「漢字仮名交じりの書」の美しさを追求し、現代の生活に生かす。書を通して豊かな感性を養い、書の実用性、芸術性の両面を習得する。

①臨書（漢字・仮名）　②漢字仮名交じりの書　③造形美　④創作（漢字・仮名）　⑤雅印を作る　⑥実用書（葉書・手紙）

520085 毛筆書道基礎（含書写検定対策）

非常勤講師　木村　明子

楷書・行書・仮名を段階的に学習し、文字の点画や字形を正しく整えて書けるように上達を図り、公的資格の毛筆書道検定合格を目指す。古典の臨書を通して書の美を味わい日常生活に使われる毛筆文字と結びつけていく。

①楷書・行書・仮名基本　②年賀はがき・熨斗　③毛筆書写検定　合格ポイント

520086 毛筆書道（含書写検定対策）

非常勤講師　木村　明子

基本的な書写能力を伸ばし、日本や中国の書の歴史に触れ、書の表現方法を学ぶ。それらを基に毛筆書道の実用性と芸術性を理解し、公的資格である文部科学省後援書写検定に合格する能力を身につける。

①古典臨書（漢字・仮名）　②手紙・短冊や色紙　③毛筆書写検定対策

520087 硬筆書道基礎（含書写検定対策）

非常勤講師　木村　明子

日常生活では硬筆で文字が書かれることが最も多い。基本的な楷書・行書・仮名を正確に書くことに重点をおく。硬筆書写検定に即した、縦書き・横書き・早書き・掲示文等書式に合わせた書き方を実用に生かしていく。

①楷書・行書・仮名の基本　②暑中見舞い・うちわ　③硬筆書写検定　合格ポイント

520088 硬筆書道（含書写検定対策）

非常勤講師　木村　明子

漢字・仮名の基礎を固め、字形、筆意、漢字と仮名の調和など、美しい文字を手紙や諸文書など実用書で活用できるようにする。文部科学省後援書写検定に合格する実技能力と知識を身につけ有能な社会人を目指す。

①各書体の基本　②文書様式・うちわ制作　③硬筆書写検定対策

520089 映像メディア表現論（表現法のテクニック）

客員教授　大澤　愼一

映像表現を映画を中心に学んでいく。歴史に残る名画は何故名画とされたのか？その映像表現はどうか？などを映像表現の観点から　作品を鑑賞しながら学んでいく。

①映像　②意識　③思考　④独創　⑤評価

520090 映像論Ⅰ

客員教授　大澤　愼一

映像メディアを知りたい・学びたい　そして仕事として目指したい人を対象に「映像の時代」といわれる21世紀の現代人の基礎知識および基礎体験を知る。

①好奇心　②人間　③メディア

520091 映像論Ⅱ

客員教授　大澤　愼一

映像メディアを知りたい・学びたい　そして　仕事として目指した人を対象に「映像の時代」といわれる２１世紀の現代人の基礎知識および基礎体験を学び・知る。

①好奇心　②探究心　③人間

520092 映像制作Ⅰ

客員教授　坂　美佐子

映像制作の第一歩として、企画を立てるところから短い脚本を書くまでの過程を学ぶ。常日頃、娯楽として観ている映画やテレビなどの映像作品を、今度は作り手の立場から考えていく。

①映像　②意識化　③思考　④独創　⑤評価

520093 映像制作Ⅱ

客員教授　坂　美佐子

前期の「映像制作Ⅰ」で書き上げた短い脚本を元にデジタルカメラ（ムービー）を使用して撮影を行っていく。

①表現　②映像　③デジタル

520094 映像制作Ⅲ

客員教授　坂　美佐子

映像制作Ⅱで撮影したデジタルカメラの映像を編集する。タイトル入れ、音楽入れ等のさまざまな技術を学ぶ。アプリケーションは「Adobe Premiere」を使用。

①映像　②表現　③評価

520095 映像制作Ⅳ

客員教授　坂　美佐子

「映像制作ⅠⅡⅢ」で学んできたことを生かし、コンテスト等への出品も視野に入れてオリジナル映像を制作する。

①表現　②技術　③独創

520096 WEB デザイン A

非常勤講師　後藤　涼子

インターネットのしくみとホームページの構造、その作成技術を体系的に学ぶ。ＨＴＭＬの記述からホームページ作成ソフトによるホームページ制作を通じて、アクセスしやすいホームページを心がけた実用的なデザインやレイアウト、コンテンツの作成などのスキルを身に付ける。

①インターネット　②ホームページ　③ WEB デザイン　④ホームページ・ビルダー

520097 WEB デザイン B

非常勤講師　風袋　宏幸

標準的な画像処理ソフトウェアの使い方を修得していることを前提に，ウェブサイトデザインに関する基礎技術の修得を目指して実習を行う。また、ウェブサイトを活用した多様な情報伝達のあり方に関して考察する。

①ウェブサイトデザイン　②インターネット　③情報伝達

520098 イメージ編集 A

非常勤講師　風袋　宏幸

デジタルカメラ、プリンターなどの画像入出力装置の使い方を修得するとともに、電子的な画像処理のあり方について学ぶ。また、Photoshop 及び Illustrator を利用して、静止画像の編集、加工の実習を行う。

① illustrator　② Photoshop　③画像処理

520100 デジタル編集 A

非常勤講師　根上　生也

標準的なテキストエディタを用いた文章の作成・編集・管理の技法を修得し、DTP や自動組版システムの概要について知る。さらに、自動組版システム LaTeX を用いて、文書作成、編集、組版の実習を行う。

①パソコン活用　② DTP　③ LaTeX

520101 デジタル編集 B

非常勤講師　根上　生也

標準的なDTPソフトウェアであるInDesignを利用して、パソコン上で行う原稿作成から出版までの過程を体験し、DTPに関する知識と技能を習得する。特に、文字編集を中心に、本、雑誌、パンフレットなどを作成する。

①パソコン活用　② DTP　③ InDesign

520102 English Foundation A

教授　丹羽　正子
講師　博士（文学）　赤堀　志子

英語で効果的なコミュニケーションをするために必要な基礎としての文法の確認、語彙の充実に焦点が置かれる。2000語レベルの語彙習得をめざし、基本的な動詞の使い方を中心に基礎的文法の見直しをはかる。writing, reading, speakingの教科書も使用しながら授業を進める。4技能の基礎固めとして大事なクラスである。

①文法　②語彙　③正確さ

520103 Listening and Speaking Ⅰ

教授　スナイダー，マイケル
非常勤講師　ナイト，ジェームス

This course is for beginning students of English to practice basic English language functions in common situations. Although grammar is not a focus of this course, communicative grasp of verb tense and usage will be important. Topics and situations of interest and use to the students will provide the context of language use.

① participate　② communicate　③ ask

520104 Writing and Reading

教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン

Various high-interest texts including some authentic materials will be used to teach students how to read with focus on grammar and vocabulary information. Students are also required to do extensive reading on their own, and submit reaction papers. We also should strive to enjoy reading in English.

① accuracy　② fluency　③ extensive reading

520104 Writing and Reading

講師　原田　俊明

This course will help you improve reading skills by increasing the amount of vocabulary and background knowledge. You are encouraged to read a good deal of interesting stories.

① reading comprehension ② grammar ③ vocabulary

520105 英語で読む小説Ⅰ

教授　丹羽　正子

一杯のチキンスープが風邪や体力の衰えを回復させたりするのに役立つように、比較的平易な英文を読むことにより、英語力増強とともに、気分の安定、人生を力強く生き抜くための活力が湧くような挿話、実話を読む。

①単語・構文　②人生論　③自主的学習

520106 英語で読む小説Ⅱ

講師　原田　俊明

有名なシャーロック・ホームズ物から選りすぐりの短篇を楽しみながら読む。歴史、文化、社会背景にも触れながら読解力の向上を目指す。

①短篇小説　②世紀末倫敦　③推理

520107 観光英語

非常勤講師　小河　奈保子

海外旅行中の様々な場面を題材に、旅行者として、必要な聞く、話すといった基礎的な英会話のコミュニケーション能力の習得をめざす。

①海外旅行　②コミュニケーション能力　③国際理解

520108 生活英語

非常勤講師　フルマー，パトリック

This class is designed to give everyone participating a guided opportunity to build their English communication skills to enable them to handle daily conversations of special interest. Though instruction and student participation will depend on each student's interest and communication level, everyone will have a positive chance to improve their speaking and listening and gain confidence in their language ability.

① Everyday English ② Shared teaching-learning ③ Language-learning projects

520109 オフィス英語

非常勤講師　フルマー，パトリック

This course focuses on English for everyday work activities students may expect to encounter in the office. Instruction takes a student-centered approach of short lectures, exercises, controlled guidance, skit building and role-playing, as well as organizing a useful business team project and some important business letter writing.

① Everyday business ② Practical project Letter writing

520110 英文添削　（ジャーナルを書く）

非常勤講師　小河　奈保子

英語でのジャーナル（日記）を書くために必要な英語の文の組み立て（パラグラフの展開）と基本文法を学習することに焦点を置く。同時に。日記に使える構文と語彙、日常動作の表現も習得しながら、英語で日記を書く習慣をもち、英作文の上達を目標とする。

①日記　②英作文　③英語のパラグラフ展開

520111 英語でメール

非常勤講師　小河　奈保子

英語の電子メール (E-Mail) の書き方と、自分の考えを自由に表現できる英作文のスキルを養成する。電子メールで使用する特有の英語表現、略語、記号、基本形式（フォーマット）を習得することで、英語でメールをやり取りすることに慣れるよう学習していく。

① E-Mail　②英作文　③フォーマット

520112 編入対策 A　（英文法・作文・読解力）

教授　井原　奉明

編入に必要な語彙・文法能力を育成することを目的とする。長文読解を通じて基本的な事項から発展的な事項まで体系的に学ぶ。

①解釈と和訳　②文法　③語彙

520113 English Foundation B

教授　井原　奉明

英語の基本的な文法事項を復習しながら運用能力の基盤を作り、発信型の練習を積むことによってさまざまな状況において使えるコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

①英語スキルズ　②機能　③ペア＆グループワーク

520114 Listening in Context

非常勤講師　ナイト，ジェームズ

This course is designed to develop students' basic listening ability necessary for participating in English conversation. The course offers listening practice mainly through listening for accuracy and comprehension exercises for fluency. Speaking tasks are also included. Intensive listening will be promoted.

① listening ② comprehension

520115 Public Speaking/Pronunciation

非常勤講師　ナイト，ジェームズ

This course will focus on raising students' confidence in speaking before and within a group. They learn the fundamentals of organizing, writing, practicing and delivering their speeches.

① Confidence ② Clarity ③ Impact

520116 Reading Fluency

教授　スナイダー，マイケル

The aim of this course is to help students develop fluency in their English reading skills. Students will learn useful reading strategies while they are exposed to articles that are sure to stimulate their interest. Students will also be encouraged to select books to read for pleasure on an individual basis. Reports and discussions about the books they select will be required.

① reading strategies ② fluency ③ discussion

520117 Writing and Reading for Communication

非常勤講師　小河　奈保子

Particular emphasis is placed on short writing exercises focusing on various grammatical structures, but this course also covers reading, listening comprehension and oral presentations.

① educated writing ② good grammar ③ discussion

520118 考える英文法
（コミュニケーションに使える英文法）

講師　原田　俊明

国際社会で通用する英語表現力の養成を念頭に置き、英文法のおさらいを行なう。

①正しい英語　②練習問題　③作文演習

520119 小説・映画から見る英米文化

講師　海崎　隆次

英語の表現に習熟することを目標に、英語で書かれたものを日本語で表現するときとの違いを検討しながら、クラスを進めていく。

①英語のおもしろさ　②ことばを声に出してみる

520120 英語で読む雑誌・新聞

教授　上野　和子

本講は、世界のニュースを通して Reading,Listening, Speaking, Writing のバランスの取れた学習をすることを目的としている。 主に、ニューヨークタイムズ、オブザーヴァー、ワシントン・ポスト紙の記事を網羅し、多角的な英語運用能力が培われるように意図している。

① vocabulary　② idiomatic Expression　③ Q&A in English

520121 インターネット英語

教授　上野　和子

Internet 時代に対応する、真の英語力を身につけるためのテキスト・臨場感あふれる紙面構成で、ネットサーフィン気分を味わう。多様なウェブサイトからとった生きた英語で、学生の視野を広げ、英語の発信能力を養うのが目的である。

①インターネット　②ニュース　③ホームページ

520122 ショートスピーチ

非常勤講師　小河　奈保子

英語でのショートスピーチ（簡潔なすピーチ）の仕方を学習する。日常的な内容や自分の意見を、聞き手にわかりやすく、英語のスピーチの構成を意識した英文で表現できるよう、原稿をまとめ、口頭発表を行う。口頭発表に必要なスキル（アイコンタクト、ジェスチャー、視覚資料の提示）も同時に学ぶ。

①簡潔なスピーチ　②口頭発表　③英作文

520123 English Communication A

教授　スナイダー，マイケル

The purpose of this course is to develop students' four language skills through content-based learning. Students will be encouraged to respond critically to materials presented in either written or spoken form. Also, we will practice giving presentations using Power Point in English. The class also focuses on vocabulary learning through effective use of a vocabulary notebook.

① think　② enjoy　③ communicate

520124 English Communication B

非常勤講師　ナイト，ジェームズ

This course will attempt to stimulate thought and discussion through the often difficult theme of environmental concerns. Students will be expected to familiarize themselves with some of today's most pressing environmental issues and to address these through a variety of methods from both domestic and global perspectives.

① Identity　② Impact　③ Response

520125 English Communication C

非常勤講師　ナイト，ジェームズ

This course will attempt to stimulate thought and discussion through the topic of cross-cultural communication. Students will be expected to prepare for classes and take part in active discussions and presentations.

① Cross-cultural understanding　② Cultural literacy　③ Cultural comparison

520126 English Communication Ⅰ

非常勤講師　フルマー，パトリック

This course is designed to give each student a step up in communication ability. We work through a wide variety of student-interest and special-needs topic so that we all learn something useful from each other. Though the course will be intensively concentrated on building language confidence, we will also focus on relaxing and enjoying the communicative opportunity to share topics of interest.

① Shared teaching-learning　② Language-learning projects　③ Personal-interest topics

520127 English Communication Ⅱ

非常勤講師　フルマー，パトリック

This course is designed to give each student a further step up in communication ability. We continue to work through a wide variety of student-interest and special-needs topic so that we all learn something useful from each other. Though the course will be intensively concentrated on building language confidence, we will also focus on relaxing and enjoying the communicative opportunity to share topics of interest.

① Shared teaching-learning　② Language-learning projects　③ Personal-interest topics

520128 Pronunciation & Listening & Speaking

常勤　ボストン教員

This course provides an intensive review of the English sound system, stressing areas of difficulty for Japanese speakers and emphasizing the original production of speech. It is organized around functions such as Asking for Information, Making Requests and Giving Opinions.

520129 Reading & Vocabulary

常勤　ボストン教員

This class provides a concentrated review and sharpening of specific reading skills (scanning, skimming, predicting, inferring), a strong focus on vocabulary development, reading selections on topics of interest and an introduction to student participatory discussion.

520130 Grammar & Writing

常勤 ボストン教員

In the grammar portion, students review basic grammar forms and practice using them accurately in short writing assignments. In the writing portion, they review paragraph form in preparation for composing essays, as well as basic writing mechanics.

520131 Listening and Speaking Ⅱ

常勤 ボストン教員

This course is primarily task-based and trains students to engage with native speakers. Students take part in pair work, small groups, role-plays and other activities that let them practice their speaking and listening skills. Other activities include free conversation, presentations, audio journals, guest speakers, and use of the Listening Lab.

520132 Writing

常勤 ボストン教員

The Writing course develops students' ability to write correct and fluent English, building from paragraph levels to that of formal essays. The objective is for each student to produce three five-paragraph essays, using such rhetorical modes as descriptive, narrative, comparative, and argumentative. They learn the component parts of an essay.

520133 Reading

常勤 ボストン教員

This course is designed to develop students' ability to read more complex materials, and to read more efficiently. New skills include identifying organization patterns, making inferences, skimming, scanning and doing timed-readings. As students grow more proficient in skills, they apply them with short texts on social issues.

520134 Discussions on American Issues

ボストン教員

This course introduces basic American values and traditions, including immigration patterns, ethnic diversity and assimilation, as well as educational and political practices. Historical information is accompanied by readings in current sources such as newspapers and magazines dealing with current cultural issues in American life.

520135 Culture Electives

常勤 ボストン教員

Students choose from various electives to increase their understanding of American culture. Possible choices will include Art History, American Theater, Community Service, Children' s Literature, Teaching about Japan and Teaching Japanese. Many of these involve both classroom discussion and activities off campus.

520136 Field Trip Class

ボストン教員

Students visit historical places in the New England area to develop an understanding of the history and cultural growth of this region. Students will also develop an appreciation for fine museums and other cultural resources of New England. Class meets one period a week plus one full day for the field trip.

520137 TOEIC Preparation

常勤 ボストン教員

The goals of this course are to teach strategies for test taking, and to reinforce the areas of proficiency − in grammar, vocabulary, listening and reading comprehension − needed for success. Since the TOEIC texts are related to business, it includes much business terminology. There are repeated practice tests, which familiarize students with their areas of weakness.

520138 Skill Electives

ボストン教員

These courses offer advanced work & various skills. Some are straight extensions of a skill area (Advanced Grammar, More Pronunciation, Idioms and Slang), some are organized around a theme (Business Communication, English for the Travel Industry), and some task-based (Newspaper Production, Public Speaking, Let' s Debate, Creative Writing).

520139 Advanced Conversation

常勤 ボストン教員

Students participate in small-group discussions, learn and practice advanced conversational strategies, and give and listen to short presentations. Focussed listening activities help students to develop their ability to understand native English speakers and to synthesize, summarize and paraphrase information presented in English.

520140 American Issues

常勤 ボストン教員

This course is also called “Exploring the Community.” Students learn about many parts of one of Boston's neighborhoods through reading, conversations and discussions. Students participate in field trips and in conversations with people at those sites. Students make reports and presentations as part of this course.

520141 Electives

常勤　ボストン教員

This program is a four-week-course of advanced content-based electives. There is an emphasis on developing fluency, increasing vocabulary and presentation skills during on and off campus interaction.

520142 CG 入門

非常勤講師　山本　恵右

デザイン界で最も多く使用されているペイント系とドロー系の２大ＣＧソフトの基本操作方法を習得し、衣服の配色、室内の模様替えなどファッションやインテリア、グラフィックなど幅広い領域のデザインに活用できるＣＧの基礎技術を身に付ける。

① Photoshop　② Illustrator　③ CG（Computer Graphics）　④デザイン

520143 テキスタイルデザイン（CG）

非常勤講師　山本　恵右

テキスタイルデザインの基礎及びフォトショップの操作を学習後、服飾、インテリアなど用途や目的を考慮してプリント柄、チェック柄のデザインを制作。完成したCG テキスタイルデザインはインクジェット捺染機により布地上にプリントして作品に仕上げる。

①テキスタイルデザイン　②プリントデザイン　③フォトショップ

520144 ファッションプレゼンテーション（CG）

非常勤講師　山本　恵右

効果的な発表の準備と手順を学習、ソフトの操作方法を習得後、ファッションデザインの現場で使われるデザインマップを制作、パワーポイント、マルチメディアツールであるディレクターを使い、プレゼンテーションする。

①プレゼンテーション　②パワーポイント　③ディレクター

520145 基礎デザイン論 A

非常勤講師　山本　輝之

デザイン表現に共通する造形要素、デザイン要素、形態、表現形式などの具体的な考察と検証作業を通し、基礎的なデザインの知識と造形、デザインの表現力を身につける。

①デザイン表現の構造　②形の生成　③造形、デザイン表現の基礎

520146 カラーデザイン A

非常勤講師　山本　輝之

色彩は形態、素材と並んで視覚伝達表現の上で重要な役割を担っている。色彩は視感覚に直接機能するだけにデザイン効果を左右する大きな要素である。本講義は、デザインの実例と色彩の基礎理論の概説及び基本的な配色法の演習を通し、色彩の基礎知識を学ぶ。

①色の本質　②色の体系　③色の見え方　④配色の基本

520147 ファッションデザイン

非常勤講師　沢森　真弓

シルエット・色彩・素材・機能などファッションデザインの基礎を理解。さらに、ファッション商品企画に必要な市場情報・ファッション情報の収集・分析の方法を学び、ファッションデザインへの展開を知る。

①シルエット＆ライン②ファッション情報の収集・分析③ファッションイメージ

520148 インテリアコーディネート

教授　菊地　美知子

“人と物とが調和する快適な住空間” をコーディネートすることができるように、インテリアに関して基礎的な事柄を概説する。

①建物とインテリア　②インテリアエレメント　③インテリアの計画

520150 アパレル企画論

非常勤講師　沢森　真弓

ファッション産業の構造を理解し、日本のアパレル産業の現在を知る。さらにアパレル商品化プロセスの中で、商品企画の重要性を把握し、その方法を学ぶ。加えて、日本のアパレル産業の将来性を考える。

①アパレル・マーケッティング＆マーチャンダイジング②サプライチェーン・マネージメント③ファッションビジネスのグローバル化

520151 ファッション造形論

准教授　博士（学術）　石垣　理子

被服造形に関する基礎的知識を学ぶ。人体と被服との関係、パターン設計、素材の特性を知り、デザインと布地に適した縫製システムと技法について講義する。

①アパレル造形　②パターン設計　③人体形態

520152 ファッションクリエーション

准教授　博士（学術）　石垣　理子

アパレル造形論をふまえ、ブラウスやスカートの製作を通して、デザインと素材の選定、採寸、パターンメーキング、裁断、縫製、仕上げ方法の被服製作工程の基礎を学ぶ。

①衣服製作　②パターン設計　③縫製基礎

520153 テキスタイル造形演習（染）

教授　博士（学術）　大津　玉子

生活を彩るテキスタイルをデザインし、様々な染色技法の中からろうけつ染めと化学的な処理を施して模様を表すオパール加工の２つの技法を用いて作品を制作する。

①テキスタイルデザイン　②染色技法　③染色作品

520154 テキスタイル造形演習（織・編）

教授　菊地　美知子

織（ウィービング）、編（ニッティング）による表現。自己表出の手段として、テキスタイル（繊維をマテリアルとする）による造形を織・編の技法で表現する。

①フリーテクニック　②素材研究　③創作（デザイニングとテクニック）

520155 テキスタイル・インテリア材料

教授　菊地　美知子

テキスタイルは、衣料、インテリア材料に広く使われており、生活に欠くことのできない材料である。テキスタイル材料の種類、歴史、特性について学び、使用目的にあった材料の選択や実用的な取扱いができる能力を習得する。

①繊維・糸・布帛材料　②要求性能　③新素材

520156 テキスタイル実験

教授　菊地　美知子

テキスタイル・インテリア材料の講義内容の理解を深め、さらに、繊維製品の品質管理、事故原因の究明や苦情処理に対処できることを目指し、テキスタイルの基本的な試験方法を習得する。

①繊維鑑別実験　②織物に関する実験

520157 染色学 (染色と色の発現)

教授　博士 (学術)　大津　玉子

繊維製品には各種の染色加工が施されている。染料の特性、染料や染色物の色、染色理論、染色方法、染色堅ろう度、処理加工などについて学び、染色の基礎と染色物の消費性能について理解する。

①染料の特性　②色　③染色加工品の消費性能

520158 染色実験

教授　博士 (学術)　大津　玉子

染色加工に関する基礎的な知識を実験を通して習得するために、基礎実験、各種繊維の染色実験、染色堅ろう度試験を行う。特に消費生活において染色物の堅ろう性は重要であり、堅ろう度試験により堅ろうな染めとはどのようなものか理解する。

①各種繊維の染色　②測色　③染色堅ろう度試験

520159 衣服管理学

准教授　博士 (学術)　下村　久美子

衣類の品質を保持するためには適切な取り扱いが必要となる。汚れ、洗剤･漂白剤･増白剤などの成分と作用、洗浄作用、ドライクリーニング、仕上げ、保管、環境との関係などについて学ぶ。

①界面活性剤　②洗濯　③ドライクリーニング

520160 衣服管理実験

准教授　博士 (学術)　下村　久美子

各種洗剤の浸透力･表面張力などの性能、洗浄力試験、漂白剤・蛍光増白剤の特性と使用条件、それらの衣服への効果、再汚染性、しみぬきなどの実験を行なう。

①洗浄力　②漂白　③しみぬき

520161 衣環境論 (衣服の機能と着心地)

非常勤講師　丸田　直美

人体－被服－環境系における被服の保健衛生的性能、被服による気候調節の要因、人体生理、環境の温熱因子などのほか、被服の快適性、健康性、機能性について述べる。

①人体生理　②衣服内気候　③温熱環境

520162 消費生活論 (消費者問題の解決)

教授　博士 (学術)　大津　玉子

安全で質の高い消費生活を送るためには、消費者問題の現状と、それに対して行政、企業が何をなすべきかを知る必要がある。消費者問題、内外の消費者行政の状況、日本の消費者政策や消費者教育、企業の消費者対応について講義する。

①消費者問題　②消費者の権利　③消費者教育

520163 販売論

非常勤講師　川畑　洋之介

ファッションビジネスは常に変化している。その原点は消費者の意識・行動の変化である。これに対応するファッションビジネスは、品揃え知識だけでなく販売知識、情報収集や店舗運営、顧客管理などが必要で、これらについて解説する。

①ファッション小売業の構造　②販売業務内容・販売管理　③仕入・商品開発売業務内容・販売管理　③仕入・商品開発

520164 消費者調査 (消費者の実態と意識調査)

教授　学術博士　猪又　美栄子

衣料品の購買、使用、管理、廃棄に関する実態、および消費者の意識を調査できるようになることを目的に、消費者調査の留意事項、手法、企画・実査などのプロセス、および集計、解析について述べ、実際に行ってみる。

①消費者調査　②衣料実態調査　③統計処理

520165 環境とくらし

教授　博士 (学術)　大津　玉子
教授　菊地　美知子

地球環境問題は深刻の一途をたどっており、その多くは現状の生産消費形態に起因している。持続可能な消費を維持するためにわれわれの生活をどのようにしていくべきか考える。専門家によるオムニバス形式の授業と見学を行う。

①環境　②消費マインド　③リサイクル

520166 食の文化 (食べ物をめぐる人類の知恵)

非常勤講師　関本　美貴
教授　農学博士　島田　淳子

私たちが毎日何気なく食べている食べ物。そのルーツはどこ？日本へはどのように伝えられたの？色々な加工品があるけれど、発明のきっかけは何？電子レンジで'チンする'と、とても便利だけれど、誰が発明したの？等々。食べ物を巡る食の文化には、人間の知恵がいっぱい詰まっている。食べ物を巡る興味深い人類の知恵とも言える食の文化を紹介する。

①食文化　②食品　③調理・加工　④歴史

520167 食と安全

准教授　博士 (学術)　秋山　久美子

長寿の時代では、いかに健康で充実した生活を送るかが問われている。健康とは何か、それを守るために私たちの生活はどうあるべきかを食を中心に考察していく。

①食品衛生　②食中毒　③アレルギー

520168 栄養と健康 （食とコミュニケーション）
講師 博士（学術） 黒崎 瑠美子
食事は、健康維持や疾患予防に重要である。食事によって得られた栄養素が、その後どのように利用されるかを理解し、食事と健康は密接につながっていることを学ぶ。さらに、理想的な食事や栄養のあり方について理解し、自ら進んで栄養を管理する能力を養う。
①健康 ②栄養素の消化・吸収・代謝 ③生活習慣病

520169 ホームクッキング
講師 今井 美樹
日常の食生活をよりおいしく、より健康的に送るために、栄養、食品、調理の面から講義と実習を通して、理解させる。食品と料理の組み合わせ、栄養のバランス、食卓作法、食文化について学ぶ。
①調理とおいしさ ②食品成分と栄養 ③食品の組み合わせ ④調理操作

520170 基礎の数学
教授 理学博士 常喜 豊
建築士を目指す者には、芸術的センスと共に数学・物理の基礎力が要求される。本講義では特に数学が苦手な学生を対象とし、基礎的な計算力と、平面図形や微積分法等の重要な分野の基本的知識を習得させる。
①式の計算 ②平面図形 ③微分法・積分法

520171 基礎の力学
講師 森部 康司
大学での生活科学を研究していくのに必要な自然科学の知識のうち、特に物理学、数学について講義する。
①数学 ②物理学 ③計算

520173 生活概論（くらしと地域をつなぐライフスタイル）
教授 博士（学術） 瀬沼 頼子
講師 博士（学術） 番場 美恵子
現代生活や社会は、少子高齢化、個人化、高度情報化、過消費等の状況にある。生活者に求められているのは、生活を見直し、次世代に継承すべき新たなライフスタイルや生活文化を形成していくことである。その実現に向けて考え、主体的生活者としての力を養っていく。
①生活者 ②現代生活 ③ライフスタイル

520174 住居計画（住居を考えるポイント）
准教授 金子 友美
人が「住む」ための空間という視点から、自然や社会環境の違いによって生じる様々な住居形態を学習する。住居を取り巻く環境を含め外部空間の構成と、各住戸の内部空間の計画を考える。
①集合住宅 ②アクセス方式 ③単位空間

520175 住居学概論
講師 博士（学術） 番場 美恵子
住居に関する一般的知識として、概論、インテリア、住居計画を生活・デザインの視点から学ぶ。これらを通じて、快適な生活環境を創造する基礎を養成する。
①住まいと生活 ②インテリア ③住居計画

520176 建築計画（人間のための空間づくり）
教授 木村 信之
教授 工学博士 芦川 智
人体寸法、動作空間の大きさと生活に必要な空間の大きさ、人間の視覚や聴覚などの感覚と対応した空間の大きさ、機能と対応した空間、空間の構成やデザイン手法など、住居や地域施設の空間設計にかかわる基礎を学ぶ。
①機能 ②空間 ③人間工学

520177 カラーデザイン B
非常勤講師 小山 和子
色は目に直接働きかけ人間の生活に大きな影響を与える。色についての様々な要素を学びカラーデザインの目的や効果を理解する。また小作品の制作を通してカラーデザインのプロセスを体験する。
①色彩心理 ②色彩調和 ③ベースカラー ④アクセントカラー

520178 空間計画（インテリアの考え方）
教授 杉浦 久子
建築の内部空間を対象として、建築の基礎的計画手法について学ぶ。インテリアデザインや建築空間の空間実例を実際の街に出で各自が取材し発見してゆく。様々な資料を題材とし考察しながら、空間の持つ意味を探る。
①空間デザイン ②人と環境 ③建築デザイン

520179 くらしとNPO（市民にできる社会貢献）
准教授 片岡 慎泰
住民が日常的に地域や社会に対し貢献していくあたらしい組織として脚光を浴びている NPO を概観し、そのサービスの仕組みや活動の意義を解説する。実際に NPO の活動に参加することも予定している。
①非営利民間セクター ②ボランティア ③ NPO 法人

520181 日本住居史（住居の形と住まい方）
准教授 博士（学術） 礒野 さとみ
日本の住居について、建物の平面構成や空間の利用方法、室内意匠などをとりあげ、古代から近世までの変遷を紹介する。
①木と紙と布 ②架構 ③しつらえ ④寝殿造 ⑤主殿造 ⑥書院造

520182 西洋建築史（世界遺産への招待）
教授 工学博士 堀内 正昭
西洋建築とは、オーダーによるプロポーションと組積造による構法に裏付けられた建物であった。本講義では、様式史の時代区分に従って、古代からバロック・ロココ建築までの各様式の概念と代表的建築物を詳説していく。
①古典建築 ②ロマネスク・ゴシック ③ルネサンス・バロック

520183 デッサン

非常勤講師　小久保公美子

デッサンとは、対象をよく観察し、正確に把握すること。それによって物の見方やとらえ方を養い、創造的に考える能力を身につけることを目指す。

①光 (明暗)　②形 (量感)　③空間

520184 デザイン基礎技法Ａ（平面)

非常勤講師　吉崎　えり

平面的なデザインに共通する要素としての色・形・テクスチャーなどを機能的・効果的に活かしながら造形体験を行い、技法・形式などの造形力および基礎的なデザイン表現を養う。

①造形体験　②色材表現研究　③紙材表現研究

520185 設計製図Ⅰ 1

教授　木村　信之
准教授　博士 (学術)　礒野　さとみ

製図の基礎的な技術を学び、平屋建て木造住宅の設計を行う。建築物の設計図の表現方法を習得するとともに、模型を作成して、立体的に建物を捉える能力を養い、住宅の設計課題を通して住環境の様々な要素をもとに空間を構成する手法を習得する。

①木造住宅　②図面　③立体模型

520185 設計製図Ⅰ 1

教授　木村　信之

木造住宅に関する製図の基礎的な技術を学ぶ。線の引き方から、縮尺 1:100 の平面図、断面図、立面図までの書き方を習得するとともに、簡単な模型を作成して、立体的に建物を捉えていく能力を養う。

①木造住宅　②図面　③立体模型

520186 デザイン基礎技法 B (立体)

非常勤講師　倉島　和弥

すべての創造活動に重要な「構成」を軸に模型製作を通して「物作り」の姿勢を体験する。平面構成から立体空間構成へと発展させながら建築、インテリアへ結びつけていく。イメージを具現化する訓練でもある。

①構成　②立体造形　③物作り

520187 意匠学

非常勤講師　小山　和子

豊かで生き生きとした人や社会において意匠(デザイン)の役割は大きい。その本質をさぐりつつ実践に向けての力を育てたい。まずは自らの日常の中に意匠(デザイン）の種を見つけ、それを育て、表現し、発表するスキルを学ぶ。さらにグループ作業で社会に目を向けた課題に取り組み、個人的発想を社会化していくプロセスを学ぶ。

①デザインソース　②エスキース　③プレゼンテーション

520188 家具デザイン

非常勤講師　坂本　和正

家具デザインは人間の生活に何を及ぼしているかを解き明かすと同時に、インテリアデザインさらに建築デザインとの関係についても語り、生活文化のあり方を考える。

①手仕事と機械生産　②造形言語　③感性

520189 人間工学

講師　細田　彰一

我々が作る道具にとって、人間は必要不可欠かつ仕様変更のできない「部品」である。その意味でデザイン行為は、人間を中心としたシステム設計として考える必要がある。人間の機能を工学的な視点から把握し、人間中心のシステムを構築するのに必要な知識を身につける。

①エルゴデザイン　②ユーザビリティ　③人間中心設計　④経営工学

520190 工業デザイン論

非常勤講師　篠崎　友保

産業革命以来の機械製品は安価と利便性を提供したが、芸術性を失った。その回復を果たした20世紀のモダン・デザインは、新しい市民生活美学を生み出した。その成立過程・現状・今後を講義し、スライドを鑑賞する。

①機械と芸術　②装飾と機能　③モダン・デザイン　④西欧のデザイン　⑤米国のデザイン　⑥日本のデザイン

520191 発想とイメージ

准教授　桃園　靖子

心の中に在る心像（イメージ）と創造的思考の展開により具象的造形に至るプロセスを、心・言葉・意味・図・感情・形態・空間を手がかりに考察し、ワークショップを交え、目に視えないかたちを記述するための方法を探る。

①意味をかたちにする　②想像と創造　③視点

520192 工芸デザイン論

教授　谷井　淑子

各種手工芸の意匠、素材、技法等をその背景にある生活文化の視点から考察する。編み・刺しなどの基礎的な実習も交え、生活造形の意義を再確認する。

①生活造形　②創造性　③美意識

520193 キッチンデザイン

非常勤講師　倉島　和弥

機能的であれば良いキッチンというわけではない。家族の健康を維持するだけでなく近年はその家のコンセプトを表現する場にもなっている。基本的なモデュールや機能、使い勝手を学びながら生活提案のできるキッチンデザインを考えていく。

①商品知識　②機能空間　③システムと生活提案

520194 一般構造Ⅰ （建物のパーツを知る）

非常勤講師 工学博士 小粥 庸夫
非常勤講師 永橋 進

建築の専門教育を受ける人が最初に学ぶことは、構法や施工法についての初歩的知識であり、これが一般構造と呼ばれているものである。建築の主要部材の役割や構成方法について、とくに木構造を中心にして、一般的なことを平易に、具体的に解説する。

①建築の構造体 ②主要部材の役割 ③木構造

520195 一般構造Ⅱ （構造のデザインを考える）

非常勤講師 工学博士 小粥 庸夫
非常勤講師 永橋 進

一般構造Ⅱは、一般構造Ⅰに連続するものであると位置づけており、一般構造Ⅰの内容を拡張して、あるいはより詳細に解説する。木構造に加えて、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造について、一般的なことを平易に、具体的に解説する。

①構造体に作用する力の流れ ②鉄筋コンクリート構造 ③鉄骨構造

520196 環境工学 （快適性と省エネルギー）

非常勤講師 博士（工学） 堤 仁美

省エネルギー・地球環境保護を考慮し、かつ、人間（居住者）にとって健康的で快適な建築環境について講義する。人間と環境、熱環境、光環境、空気環境、音環境、建築における省エネルギーなどに関して学ぶ。

①熱環境 ②光環境 ③空気環境 ④音環境 ⑤快適性 ⑥省エネルギー

520197 材料学（建築材料の特徴を知る）

非常勤講師 永橋 進

建物を造るのに使われる材料の種類や性質を知らなければ、建物の設計やインテリアの設計はできない。建築材料には、骨組みを造る構造材料と各部位を構成し表面を仕上げる仕上材料並びに防水・防火・防音・断熱などの機能材料とがあるので、それぞれの性質・使い方を解説する。

①木材 ②コンクリート ③鋼材 ④仕上材料

520198 構造力学（力の流れを考える）

非常勤講師 工学博士 小粥 庸夫

建築構造物は、自重は勿論、様々な外力に対しても過度な変形をすることなく、破壊することなく、安全でなければならない。本論では、そのような安全を確保するために、力の釣合や静定構造物の応力などについて基本的な考え方をやさしく解説する。

①力の釣合 ②建築構造物に働らく力 ③静定構造物

520198 構造力学（力の流れを考える）

講師 森部 康司

建築物は自重や、その他の自然から受ける外力に対しても安全でなければならない。ここでは構造物を安全に設計するための基本的な考え方について解説する。具体的には力の釣合だけで解ける静定構造物を対象にした問題を通して、力学の基礎から始める。これまで数学や物理になじみのない人にも十分理解できるように、できるだけ基礎的なものとその応用に力点をおいて講述する。

①力の釣合 ②構造物の安定・不安定 ③安全性 ④静定構造物

520199 構造力学演習（力の流れを確かめる）

非常勤講師 工学博士 小粥 庸夫

本論では、「構造力学」で修得した知識を基にして、種々の静定構造物に関する問題の解法を解説する。同時に不静定構造物についても、その特徴、基本的な解法などを解説する予定である。

①静定構造物 ②不静定構造物 ③たわみ角法

520199 構造力学演習（力の流れを確かめる）

教授 工学博士 安宅 信行

本論では「構造力学」で習得した知識をもとにして、静定構造物の種々の問題の解法を解説するとともに、実例にそくした演習を行う。これにより、構造力学を理論だけでなく実務レベルでの計算に応用できるようになることを目的としている。数学や物理になじみのない人にも十分理解できるように、できるだけ基礎的なものとその応用に力点をおいて講述する。

①力の釣合 ②構造物の安定・不安定 ③静定構造物

520200 建築設備（光・空気・水をデザインする）

教授 博士（工学） 佐野 武仁

建物が完成し使用が始まると、建築設備の内容によって使用時の快適性は変わる。前期は、水を主体とした給排水衛生設備および空調設備の熱負荷計算までを、後期は、空調設備のダクト以降終わりまでと、照明・動力などの電気設備について講義する。

①設備のシステムデザイン ②給排水・給湯・衛生器具 ③空気環境 ④電気設備 ⑤照明と光環境 ⑥情報通信技術

520201 建築法規（安全で快適な街をつくるルール）

非常勤講師 寺本 晰子

実務との接点であること、人の暮らしに始まり建築や都市計画に関連する分野が横断的に関連すること、時代の動きが反映されることを視点において、法規を学ぶとともに建築や都市への理解を深めることをめざす。

①集団規定と単位規定 ②性能規定と仕様規定 ③建築確認制度

520202 施工法（建物の造り方を考える）

非常勤講師　永橋　進

設計図書に従って建築物を造る過程が施工である。鉄筋コンクリート造と鉄骨造を中心にして、いかにすれば品質のよい建物を造ることができるかを説明する。「一般構造Ⅰ・Ⅱ」と「材料学」の履修者を対象とする。

①建築生産　②躯体工事　③仕上工事

520203 建築デザイン論

教授　工学博士　芦川　智

建築の造形表現の変遷を概観した上で、空間一般における事象の造形的表現を方法論として考えてゆく。現代の架構方法を建物種別毎に概観し、現代を支えている近代からの流れ、さらには建築史の流れの中にその源を探ってゆく。

①空間形態　②架構　③建築史　④空間造形　⑤造形表現　⑥様式史

520204 バリアフリー建築論（空間のバリアフリー）

教授　木村　信之

住環境について、高齢者、障害者など、様々な人々が自ら望む生活が実現できるようにサポートするために必要な建築面からのサポートを住宅を中心に、福祉住環境コーディネーターに必要な専門性に即して考える。

①バリアフリー　②ユニバーサルデザイン　③福祉住環境コーディネーター

520205 環境心理学（心や行動を動かす空間を考える）

教授　工学博士　友田　博通

機能からさらに快適性・文化性の問題に踏み込み、日常生活における　様々な人間行動について、人間と人間の心理・人間と空間の心理・深層心理・流行現象といった環境心理学の立場から分析し、住居を中心とする様々な生活環境の在り方を提案していく。

①住居環境　②人間と人間の心理　③人間と空間の心理

520206 地域環境計画（集まってすむためのデザイン）

教授　工学博士　芦川　智

地域がまとまりをもって一つの環境を作り出していく条件をいろいろな面から考えるいく。風土・文化・民俗・宗教等が地域を形作るのにどう役割をもっているかを論じていく科目。

①集まって住む形　②風土と環境　③地域

520208 建築積算（建物の値段を分析する）

非常勤講師　高橋　照男

建築士としてはコストを知らなければならないので、その最低の知識と素養が身につけられるようにする。具体的な積算手法の基礎を学ぶ。

①工事請負契約　②建築数量積算　③建築工事内訳書

520209 デザイン表現Ａ（平面）Ⅰ

非常勤講師　吉崎　えり

デザイン表現に必要な発想及び、表現方法を学ぶ事により、幅広いビジュアル表現の可能性を探る。

①平面表現　②素材体験　③発想

520210 デザイン表現Ａ（平面）Ⅱ

非常勤講師　吉崎　えり

平面デザイン表現の中で重要な位置を占める文字と図の関係を中心に、デザインエレメント制作方法を学ぶ。

①地と図　②レタリング　③レイアウト

520211 デザイン表現Ｂ（立体）Ⅰ

非常勤講師　金子　武志

創作活動に必要な「クリエイティブな感性」と「対象を観察する眼差し」を造形素材の加工や立体作品の制作を通じて養い、モノをつくり出す経験から観察力・考察力・造形力の向上を目指します。

①素材ー環境ー表情　②素材ーテクスチュアー色彩 B4315 ③かたちと仕組み

520212 デザイン表現Ｂ（立体）Ⅱ

非常勤講師　金子　武志

デザイン･造形活動に必要な「イメージする意識力」と「経験を統合する智慧」を立体の造形デザイン作業を通じて養い、一連の制作プロセス（イメージー図化ーモデリングー仕上げ）の経験から発想力・計画力・構成力の向上を目指します。

①単位と集合　②ネガとポジ　③加工と造形　④光の効果

520213 設計製図Ⅰ　2

教授　木村　信之
准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

木造住宅の設計を通し、周辺や内外空間の関係性なども含めた住環境のデザイン能力を高め、また、環境への配慮、バリアフリーについても考える。伏図、軸組図などの構造図の作図能力を習得すると共に空間デザインと構造デザインの関係についても学ぶ。

①木造住宅　②空間デザイン　③構造デザイン

520213 設計製図Ⅰ　2

准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

木造 2 階建て住宅 (2 世帯) の図面を一式完成できる能力を養う。平面図、断面図などの一般図に加えて、伏図、軸組図などの構造図を理解できる知識を養う。第 2 課題は、模型つくりから始まり、生活に合わせて空間をデザインしていく。

①木造住宅　②伏図・軸組図　③構造模型

520214 設計製図Ⅱ 1

非常勤講師 飯塚 拓生
非常勤講師 岡田 浪平

鉄筋コンクリート (ＲＣ) 造の構造形式、図面表現法を学び、RC 造の特長を生かした生活関連施設の設計を行う。複数の課題を組み合わせ、建物に加えインテリア、外部空間を含めた全体の空間デザインを考える。

①鉄筋コンクリート造 ②インテリア ③外部空間

520215 設計製図Ⅱ 2

非常勤講師 飯塚 拓生
非常勤講師 岡田 浪平

建築の造形デザイン、機能、新たなシステム、近隣・環境との対応など、建築空間についてより深く考えるテーマを持った複数の課題から選択し、設計・プレゼンテーション能力を育てると共に建築の社会的意義を考える。

①建築 ②機能 ③プレゼンテーション

520216 インテリア・パース演習Ⅰ

非常勤講師 小山 和子

空間をプレゼンテーションする時、エスキースする時、パースは大変効果的で楽しい表現手段である。前半では立方体を中心に図法の基礎と立体感覚を繰り返しトレーニングする。後半には簡単ではあるが実践的な課題に取り組みインキング・着彩・発表を行う。

①立体感覚 ②グリットパース ③アイソメトリック

520217 インテリア・パース演習Ⅱ

非常勤講師 小山 和子

作図の知識があっても日常的に使いこなせないと効果を発揮できないのがパースである。演習Ⅰで学んだ基礎をふまえ、各自の個性を生かせる課題を選択しそれぞれの方法でプレゼンテーションを行う。マニュアルにそった作業だけではない独自の表現を引き出したい。

①インテリアコーディネート ②オリジナリティー ③コミュニケーション

520218 環境・材料実験Ｂ

教授 博士 (農学) 中山 栄子

木材をはじめとする建築材料の物理的・力学的特性を知るために、材料実験を行う。実験を通して、実験を計画しすること、協力して実験を行うこと、パソコンを利用して実験報告書を作成することも学ぶ。なおこの科目は建築士受験資格選択必修科目である。

①構造材料 ②強度試験 ③要求性能の評価方法

520219 測量

非常勤講師 藤沼 俊行

本講義に於いては、理論よりも実際の作業を重視する。屋外で測量器材を操作することにより、卒業後の実務に支障のない様指導する。

①正確 ②丁寧 ③緻密

520220 CAD Ⅰ (コンピュータ製図)

非常勤講師 伊藤 昭男

VectorWorks を利用して、線の引き方・線の修正・線の太さ・図形の登録・図形のコピー・家具の呼出・文字・寸法線の入力方法を学ぶ。平面図・立面図の作成をする。住宅の広さ・空間の大きさを理解する。

①線の引き方 ②コピーの方法 ③住宅設計

520220 CAD Ⅰ (コンピュータ製図)

講師 田村 圭介

建築ＣＡＤソフトを用いた設計図面の基礎表現について、演習を通して学習する。ソフトは VectorWorks を使用する。履修者はパーソナルコンピューターに関する基礎知識を習得済であることを前提とする。

① 3D ②レイヤー ②縮尺

520221 CAD Ⅱ (平面から立体へ)

非常勤講師 伊藤 昭男

立体図形の入力方法・平面図形から立体図形の作成方法を学び、立体図形の着色とテクスチャーの利用、照明と影を表現する。CAD Ⅰで入力した平面図を利用して立体図形を造り、住宅の外観・内観パースを着色して完成させる。外部の門・塀・植栽、内部の家具の配置。

①パース ②立体 ③色彩 ④テクスチャー

520222 CG 基礎

非常勤講師 伊藤 昭男

CG の概念と関連ソフトのあれこれ。CAD を使って CG 画像の作成を体験学習。

①コンピューターグラフィックス ②２次元・3 次元

520223 CG プレゼンテーション

非常勤講師 伊藤 昭男

画像の作成と取り込み方・画像の加工と編集個々の画像のレイアウトとテキストの挿入以上の作業を順次学習する。

① photshop ② illustrator

520224 建築学特講 A (建築と職能)

教授 木村 信之

建築にかかわる様々な分野の第一線で活躍している専門家を招き、それぞれの領域の具体的な話を聞くことを通し、住環境に関わる基本的教養を高め、それぞれの専門科目の位置づけ、相互の関係を理解すると共に、自らの建築を学ぶ目的、職業人となるために必要なこと (職能) を考える。

①建築 ②実務 ③職能

520226 建築学演習（体験的に建築を理解する）

教授　木村　信之
准教授　博士（学術）　礒野さとみ

建築学のそれぞれの専門分野での様々な調査手法と分析手法を紹介し、演習を通して習熟をはかる。また、各自が今日の生活環境について考え、建築の果たす役割にかかわる課題を持ち、課題研究を行う。

①建築学　②実務　③コンセプト

520227 被服学

教授　博士（学術）　大津　玉子

衣服について主として自然科学的な視点から解説する。具体的には気候と被服、被服の機能、被服材料の種類と性質、染色、被服の管理、被服の人体への影響、および衣生活と環境問題などについて述べる。

①被服素材　②被服衛生　③被服管理

520228 被服構成学及び実習

教授　博士（学術）　角田　由美子

被服構成学の基礎的な知識、技術をブラウスの製作を通して習得させる。これにより着心地のよい審美性に富んだ被服を製作する技術と、消費者としてより良い被服を選択する力を養い、衣生活の向上をはかる。

①パターン　②被服素材　③造形技術

520229 食品学Ⅰ

教授　博士（学術）　田中　伸子
准教授　博士（学術）　竹山恵美子

人間と食物の関わりについて、食品の歴史的・文化的変遷と食物連鎖の両面から理解するために、食品成分に関する基礎知識を修得する。さらに身近な食品群毎の成分特徴についても学ぶ。

①食文化　②食物連鎖　③微生物利用食品

520229 食品学Ⅰ

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食品の一般成分の特性を化学、栄養、物性、嗜好など多面的に解説し、豊な人間の食生活に果たす食品の機能について考察する。加工食品、新開発食品についても考察する。

①食品成分表　②食品の機能性　③嗜好成分

520230 調理学実習Ⅰ

教授　比護　和子
講師　今井　美樹

諸教科で学んだ専門知識を基に、健康増進の基礎である食生活を、科学的・文化的視点に立って運営する能力を養う。具体的には、食品特性・調理理論の理解を深め、質の高い食事が提供できることを目的とする。

①食品の特性　②調理理論　③食生活の文化

520230 調理学実習Ⅰ

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

基本料理から日本・西洋・中国料理までの実習を行う。食品の選択、取り扱い、組み合わせ、献立の立て方、調理操作等の理論と技術の習得を目的とする。

①日本料理　②西洋料理　③中国料理

520231 家庭経営学

教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

今日的課題である少子高齢化，男女共同参画，ＤＶ，ジェンダー，家族関係，消費者トラブル，IT 社会，環境問題等を視野において，家庭生活の実態と課題を把握する。多様化する生活の実態と課題にある背景，解決の方法を探り，これからの家庭経営の方向や次世代につなぐ家庭生活のあり方を考えていく。

①家庭・家族　②家庭経営（生活経営）　③ライフスタイル

520233 保育学（実習を含む）

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

子どもの成長･発達の過程を学び､月齢に合わせた育児･保育について学習する。さらにビデオを通して子どもとのふれあいを学ぶ。子どもとのかかわりについての理論と実践を学習する。

①妊娠・出産　②乳幼児　③成長・発達

520234 文化創造演習

文化創造学科教員

本演習は、履修者が関心のある分野において自ら設定したテーマ，あるいは設定されたテーマにしたがって，それぞれの研究を遂行していく科目であり、指導教員の下でゼミ形式で実施する。とくに卒業研究を希望する者の履修を推奨する。

①論文　②制作　③設計　④資料収集と整理　⑤プレゼンテーション

520235 卒業研究

文化創造学科教員

履修者は、論文、制作、設計のいずれかの形式でテーマを設定して、教員の指導のもとその成果をまとめていく。

①論文　②制作　③設計

520236 生涯学習概論

准教授　田中　均

生涯学習の意義を理解し、高度情報化社会との関連を踏まえつつ図書館との関わりを学習する。家庭・学校・社会教育との関連、図書館・博物館・公民館など各種社会教育施設と専門職員、それら施設の情報提供のあり方を解説する。司書資格取得希望者は初年度に履修することが望ましい。

①生涯学習　②社会教育　③社会教育施設

520237 図書館概論

教授　大串　夏身

図書館の基本理念・歴史、図書館を取り巻く法制度、図書館の現状と課題、図書館をとりまく状況、これからの図書館のあり方など全般を論じる。生涯学習概論とともに司書資格取得希望者が最初に履修する科目である。

①図書館の基本理念　②図書館政策と関係法令　③図書館の社会的役割

520238 図書館サービス論

教授　大串　夏身

図書館サービスの全般を論じる。図書館サービスは、資料の貸出、情報サービス、レファレンスサービス、読書相談、児童サービス、障害者サービスなど広い範囲に及ぶ。それらを社会的な意義をも視野に入れて論じる。

①図書館サービスの種類　②図書館ネットワーク　③サービスの社会的意義

520239 情報サービス概説

教授　中西　裕

図書館における情報サービス提供の意義、利用者の情報要求と探索行動を説明した上で、図書館の提供するレファレンス・サービス、利用する基本的参考図書について解説する。また例をあげて情報探索の方法を紹介する。

①レファレンスサービス　②情報サービス　③参考図書

520240 図書館資料論

教授　中西　裕

図書館資料の種類と特質、資料の選択、収集、受入、保存、管理など、基礎的なことがらを学習する。図書館資料の選択とコレクションの構築がどのように行なわれているかについても学ぶ。さらに出版流通の仕組みについても考察する。

①図書館資料　②資料構成　③保存

520241 資料組織概説

准教授　田中　均

図書館資料を組織化するとは、資料を主題などによって配列し、著者名、タイトル、主題等からのアクセスを可能として図書館で利用できるようにすることである。そのために必要な分類法、目録法について学ぶ。ネットワーク時代の図書館に必要な書誌ユーティリティーの知識についても、その概要を説明する。

①資料組織法　②分類法・目録法　③書誌ユーティリティー

520242 図書館経営論

准教授　田中　均

図書館は情報資源であるコレクションと職員、施設が一体となって運営されその機能を発揮する。公共図書館の場合は、当該自治体の図書館政策・振興計画と密接な関係を持つ。経営組織としての図書館の自治体内での位置づけ、経営の理念・考え方、経営計画、経営資源と管理・保存・職員・人事・ネットワーク、利用者サービス、経営評価などの問題を概説する。

①図書館組織　②経営計画　③図書館評価

520243 専門資料論

教授　中西　裕

人文科学、社会科学、自然科学の各領域と情報の特性、資料の種類についてとりあげる。次いで一次資料、二次資料の概念を理解して、各々代表的なものを解題。資料に即した学習を目指す。

①学術情報　②一次資料　③二次資料

520244 児童サービス論

教授　大串　夏身

児童サービスは、子どもの読書活動推進法の制定、それに基づく推進基本計画の策定など、国の読書推進施策を背景に、一層の発展が望まれている。サービスの概要を論じる。特に資料の評価に時間を割きたい。

①児童資料　②子どもの読書活動推進　③ブックトーク

520245 レファレンスサービス演習

教授　中西　裕

主に参考図書を使ってレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用のしかたを学ぶ。また各自の設定したテーマに関する文献を集めて書誌を作成する実習を行う。実践的な能力の習得をめざす。

①レファレンスサービス　②書誌　③参考図書

520246 情報検索演習

教授　大串　夏身
教授　中西　裕

図書館で活用するデジタル情報源の検索を行う。主にインターネット上のデータベースを対象とする。総合的な検索エンジンの活用、書誌データベース、事実データベースに分けて行う。課題は電子メールで提出する。

①総合的な検索エンジン　②書誌データベース　③事実データベース

520247 資料組織演習A

准教授　田中　均

「資料組織概説」で学んだ理論を元に実際に目録を作成する。カード目録作成の他、CD-ROM　J-BISC 教材版、オンラインデータベース等を用いてパソコンによる実習も行う。また、ネットワークによる共同目録の利用についても学習する。この授業を履修するためには「資料組織概説」を単位修得していることが必要である。

①目録作成　②共同目録　③目録規則

520248 資料組織演習B

准教授　田中　均

「資料組織概説」で学んだ理論を元に、主題分析、分類作業、件名作業を実習する。分類法はNDC9版を用い、演習を通して「日本十進分類法」の主題体系、補助表、分類基準等を理解し、実際の使い方を学習する。件名標目法としては「基本件名標目表BSH4版」によって資料の主題を表す適切なキーワード（件名）を付与する演習を行う。この授業を履修するためには「資料組織概説」を単位修得していることが必要である。

①主題分析　②分類　③件名

520249 図書及び図書館史

教授　中西　裕

文字の発明から図書・ニューメディアにいたるまでの歴史の概観と、時代と共に発展してきた書物と図書館の歴史を解説する。図書館や図書資料について、できるだけ画や実物を見ながら学習を進めてゆきたい。

①図書資料　②図書館　③書誌学

520250 資料特論

教授　中西　裕

地域に関する資料及び官庁刊行の資料について、その情報や資料の種類、収集とそれを提供する意義と方法などを今日的な視点からとりあげる。身近な公立図書館での実態を調査する。

①地域資料　②官庁資料　③情報発信

520251 コミュニケーション論

教授　中西　裕

コミュニケーションは図書館業務においても基本的なものである。人と人との間のコミュニケーションを中心に取り扱い、その重要性や難しさについて学ぶ。広報・サインなどを通しての図書館利用者とのコミュニケーションについても理解を深めたい。

①コミュニケーション　②図書館　③広報・サイン

520252 情報機器論

准教授　田中　均

インターネットの急速な発展、電子コンテンツの普及など高度情報化の進展に伴い、図書館は電子図書館、ネットワーク系情報資源、電子媒体情報等の各種情報メディア活用が求められることとなった。新しい図書館における多彩な情報メディアについて、その社会的意義を確認し、それをふまえて意義と目的を理解する。また、情報検索の指導に必要な各種概念・知識を身につける。

①情報機器　②情報特性　③電子資料　④情報検索指導

520253 図書館特論

非常勤講師　植田　康夫

図書館と深い関わりのある出版物および出版をめぐる様々な事象をとりあげ、出版についての認識が深められるようにする。

①出版　②編集　③書物・雑誌

520254 博物館学A

教授　武田　昭子

博物館とは何か、博物館法に基づき博物館の目的と、学芸員の任務と役割について詳述していく。また、博物館の歴史を概観し、文化財保護と博物館の関わり、現代社会の中での博物館の役割、現状、課題についても触れ博物館学を学ぶための導入とする。

①博物館の目的と社会的使命　②博物館法　③博物館の現状と課題

520255 博物館学B

教授　武田　昭子

博物館活動に欠くことが出来ない「資料」について、その種類、調査・受入れ方法、整理方法、台帳作成方法等、光葉博物館の実資料を例にとり学んでいく。また博物館活動の一つとなっている資料の保存方法について、「博物館の保存科学」としてその概要を学ぶ。

①二次資料　②資料受入れと台帳　③博物館の保存科学

520256 博物館学C

教授　増田　勝彦
教授　武田　昭子
非常勤講師　博士（学術）　赤沼　英男

生涯学習が定着し、社会教育ならびに学校教育との連携が重要視される今日、博物館が果たすべき役割を整理し、それを実現するための運営形態、施設設備、および情報収集・発信機能について学ぶ。

①博物館活動　②企画・運営　③情報化

520257 教育学概論

准教授　松本　淳

「教育とは何か」「何のために勉強するのか」など、「教育」の根本的な事柄を追究していく。また、学校教育だけではなく、「人生」というながめにおいて、人間の成長をどうサポートできるかを考える。

①教育の目的　②愛情　③絆の恢復

520258 生涯学習概論

准教授　松本　淳

人生を深く生きるためにはどうしたらよいのか。人生の本当の仕事はどうやったら見つかるのか。人生かけても惜しくない仕事を探すために、またその志を成就するために生涯学習は何が出来るのか等を探求する。

①人生の設計図　②社会貢献　③21世紀の生涯学習

520259 視聴覚教育メディア論

非常勤講師　大明　敦

視聴覚教育の意義や目的を明らかにした上で、さまざまな視聴覚メディアの特徴や博物館・学校等における利用方法について論じる。また、マルチメディアやインターネット等の普及に伴い博物館や学校が直面しているさまざまな問題についても取り上げていきたい。

①経験の円錐　②ＩＣＴ教育　③メディアミックス

520260 博物館実習Ⅰ

教授　武田　昭子

素資料から博物館資料にするまでの手順および展示活動の理論と実践を、光葉博物館の施設・設備、資料を通して学んでいく。具体的には、資料記録と台帳作成、展示・搬入・梱包および資料保存等について実習を行う。

①素資料から博物館資料へ　②台帳作成　③展示活動

520261 博物館実習Ⅱ

教授　安蔵　裕子

博物館資料を取り扱う際の初歩的な知識と技術の習得を目指す。資料の形態及び素材の特質を踏まえて実際に取り扱い、留意点を学ぶ。また体験学習を通して、教育普及活動の意義を理解し発揮されるべき態度を養う。

①資料の取り扱い　②掛け軸・巻子　③冊子

520262 館務実習

教授　尾崎　保子

主に企画業務、展示、資料の保存・管理等に関する実習を通して、博物館学芸員が担う任務についての理解を体験的に深め、館務の現場における実践能力を養う。

①学芸員の実務　②展示業務　③資料の保存管理

520263 日本文化C（日本の芸能）

准教授　博士(学術)　大谷津　早苗

日本の古典芸能の能・狂言や歌舞伎・人形浄瑠璃等各時代の代表的な芸能を取り上げ、その特色とそれらの芸能を育てた社会背景を中心に話す。ビデオによる作品鑑賞も行い、日本芸能の特質、価値についても考える。

①人形浄瑠璃　②歌舞伎　③能・狂言　④猿楽　⑤田楽　⑥祭り

520265 日本文化E（モードとファッション）

教授　安蔵　裕子

日常的な装いにも流行のスタイルにも、人々の生活態度、心情が託されて様々な形や表現が生まれ、時代的・社会的特色が現れる。それらを美術、工芸、記述資料を通して、前期は日本、後期は西欧の服飾史を概観する。

①衣服の起源論　②形態的変遷　③服制　④象徴機能　⑤時代様式　⑥服飾描写

520266 日本文化F（建築）

教授　工学博士　平井　聖

日本の建築を歴史的にとらえ、建てられた当時の姿を考えると共に、建てられた事情を当時の文化の中で評価することを試みる。時代的には、先史時代から近代までとする。

①建築様式　②建築技術　③機能

520267 日本文化G（考古学）

准教授　小泉　玲子

日本考古学の概説を行う。日本考古学の歩みと共に、考古資料を通して明らかにされた古代の人々の生活・環境について解説し、理解を深める。最新の発掘情報、埋蔵文化財の保存活用についても紹介して行く。

①遺跡　②遺物　③遺構　④土器　⑤水田稲作　⑥前方後円墳

520286 環境とテキスタイル(衣生活と環境問題)

教授　博士(学術)　大津　玉子
教授　菊地　美知子

繊維製品の生産・管理・消費における環境問題との係わりを、投入エネルギー面、材料リサイクル面などの観点に立ち、それぞれの分野の専門家により科学的に紹介するオムニバス形式の科目である。地球的視野と個人的消費の視野から一人ひとりの心がけについて考える。

①環境　②消費マインド　③リサイクル

520293 College Connection Program

常勤　ボストン教員

The College Connection Program allows students to visit Boston-area colleges in order to understand the American college experience. 2-3 Showa Students are matched with 1 student at an American college, with whom they share workshops, campus visits and discussions. Assignments include worksheets, phone and e-mail exchanges, journal entries and other written reflections.

520298 シェフとパティシエに学ぶ

教授　比護　和子

食材の旬・性質を知り、調理のこつを体得し、それを活用することで調理技術の向上を目指す。シェフとパティシエに教えて頂く機会を用意する。

①食材の旬　②調理のこつ　③シェフ&パティシエ

520299 デザイン表現C(インテリア)Ⅰ

教授　菊地　美知子

"インテリアコーディネートの講義内容を演習によって理解を深める。“人と物とが調和する快適な住空間”をテーマに、コーディネートしたインテリア空間を具体的に表現（平面レイアウト図，カラースキーム，ライティングプラン）する。さらに、プレゼンテーションで快適な住空間を提案する。"

①インテリアコーディネートボード　②平面レイアウト図　③プレゼンテーション

13. 食物科学科

		授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
栄養士養成課程専門教育科目	社会生活と健康	公衆衛生学	蔵楽	523001	2						1		※◆
		公衆衛生学(各論)	蔵楽	523002		②		②			2	×	
		社会福祉概論	伊藤(純)・根本・遠藤	523003		2					1		※
		公衆衛生学実験	蔵楽	523004			①				2	×	◇[3]
		健康管理概論	熊澤	523005		②					1	◎	
	人体の構造と機能	解剖学	志賀・渡辺(豊)	523006			2				2		※
		生理学	田中	523007				②			2		※
		運動生理学	白川	523008				②			2		※
		生化学	曽田	523009			2				2		※
		生化学実験	曽田	523010				①			2		※[3]
		解剖生理学実験	山下	523011			①	①			2	★	※[3]
		病理学特論	渡辺(豊)	523012			②				2		専攻科食物科学専攻開設科目
	食品と衛生	食品学Ⅰ(食品成分の科学)	田中・竹山・秋山	523013	2						1	◎	※◆(文化創造学科生:家庭科教職のみ可)
		食品学Ⅱ(食品の機能)	田中・竹山・秋山	523014		2					1		※◆
		食品学Ⅲ(食品の加工及び貯蔵)	高尾	523015			2				2		※◆
		食品衛生学	本郷	523016	2						1		※◆
		食品学実験	秋山	523017		1					1		※◆[3]
		食品衛生学実験	竹山	523018		1					1		※◇[3]
		食品加工学実習	高尾	523019				1			2		※◇[3]
	栄養と健康	栄養学Ⅰ(基礎栄養学)	黒崎	523020	2						1		※◆
		栄養学Ⅱ(応用栄養学:ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞと栄養)	横塚	523021		2					1		※◆
		臨床栄養学(概論)	黒崎・吉田	523022			②				2		※
		臨床栄養学(各論)	黒崎・吉田	523023				②			2		※
		応用栄養学実習	黒崎	523024				①			2		※[3]
		臨床栄養学実習	吉田	523025			①				2		※[3]
	栄養の指導	栄養指導論Ⅰ(総論)	粕谷	523026	2						1		※
		栄養指導論Ⅱ(各論)	粕谷	523027			②				2		※
		公衆栄養学(概論)	蔵楽	523028			2				2		※◆
		献立論	横塚	523029	②						1		※◇
		栄養指導論実習(方法論)	蕨迫	523030		①					1		※◇[3]
	給食の運営	調理学	比護	523031	2						1		※◆
		給食計画論	江川・笹原	523032		②					1		※◆
		給食実務論	江川・笹原	523033			②				2		※
		基礎調理	横塚・今井	523034	1						1		※[3]
		調理学実習Ⅰ(日常食)	比護・今井	523035	1						1	◎	※◆[3](文化創造学科生:家庭科教職のみ可)
		調理学実習Ⅱ(日常食・供応食)	横塚	523036		1					1		※◆[3]
		調理学実習Ⅲ(応用調理)	横塚	523037			①				2		[3]
		給食経営管理及び実習	粕谷	523038		②					1		※[4]
		校外実習総合演習	蕨迫・粕谷	523039			①		①		2・3		※[1]
		給食経営管理校外実習	蕨迫・粕谷	523040			②		②		2・3		※

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
													開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲： ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
資格関連専門教育科目	専門関連科目	基礎実験	竹山・秋山・黒崎	523041	1						1		※［3］
		基礎化学	竹山	523042	②						1		食物科教養科目（自然科学）
		基礎生物学	曽田	523043	②						1		食物科教養科目（自然科学）
	その他資格関連科目	食料経済（食品の流通と消費）	首藤	523044			②				2	◎	◆食物科教養科目（社会科学）
		フードスペシャリスト論	黒崎	523045		②		②			1	◎	◆食物科教養科目（自然科学）
		フードコーディネート論	横塚	523046			②				2	◎	◆食物科教養科目（人文科学）
		食品鑑別論（演習）	曽田	523047				①			2	◎	◆食物科教養科目（自然科学）
		調理学実験	比護・秋山	523048				①			2	◎	◆食物科教養科目（自然科学）［3］
		微生物学	本郷	523049		②					1	◎	◇食物科教養科目（自然科学）
		食情報とマーケティング	首藤	523050				②			2	◎	食物科教養科目（社会科学）
	教職関連科目	学校栄養教育論	巌迫・横山	523051			②				2		▲4月初旬の集中講義を含む
		栄養教育実習事前事後の指導	巌迫・横山	523052			①				2		▲［1］前期：週間授業、後期：集中授業
		家庭経営学（家族関係を含む）	瀬沼	523053				②			2	◎	△
		被服学	大津	523054			②				2	◎	△
		被服構成学及び実習	角田	523055	①						1	◎	△［3］
		住居学Ⅰ	竹田	523056				②			2	◎	△
		保育学（実習を含む）	熊澤	523057				②			2	◎	△
	アメリカ栄養士体験コース			523058			②		②		2		
	アメリカ食生活研究コース			523059	②		②		②		全		ボストンサマーセッション科目
	卒業研究			523060			4		4		2・3		ただし、栄養士免許必修科目以外の4単位で代替可、五修生は3年目に履修

1．授業時間数は備考欄に［ ］表示するものを除いて通常90分とする。［1］45分、［3］135分、［4］180分授業。

2．備考欄の※印は栄養士必修科目。△印は家庭科教員免許必修科目。▲印は栄養教諭免許必修科目。
◆印はフードスペシャリスト必修科目。◇印はフードスペシャリスト選択科目。

授業概要

523001 公衆衛生学

教授　蔵楽　正邦

国民の健康の確立は、公衆衛生の向上に負うところである。わが国の健康問題として、生活習慣病、環境問題等複雑であり、これらの解決は、特に急務である。食生活と疾病、疫学、生活と環境等、公衆衛生の発展に寄与できる内容を講義する

①健康　②衛生行政　③疾病予防

523003 社会福祉概論

准教授　博士（学術）　伊藤　純
講師　根本　治代
非常勤講師　遠藤　美貴

社会福祉はいま諸制度の改革期にあるが、いつの時代においてもその基本は、人間の重層的・相互的関係における自立の助長と支援であった。本講では、そのような社会福祉の理念と実践の基礎を理解していくことをねらいとする。

①自己決定　②共生　③生活の質

523005 健康管理概論

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

健康の定義、判定，現状（日本と諸外国），健康増進の三原則と阻害要因，健康増進の施策、健康管理の考え方と方法について解説する．そしてわが国の健康づくりを考える。

①健康の指標　②疾病構造の変化　③プライマリーケア

523006 解剖学

教授　志賀　清悟
非常勤講師　医学博士　渡辺　豊

人体の働きを理解するために、総論では、体を構成している細胞、組織及び器官の概略について学ぶ。さらにホメオスタシスに欠くことのできない細胞への情報伝達の仕組みについて講義する予定である。

①人体の正常と異常　②系統解剖　③人体の生理機能

523007 生理学

教授　博士（学術）　田中　伸子

健康な人間が、通常の環境のもとで営む生命活動を科学的に解説する。すなわち、人体を構成する各器官系が互いに協調し合って示す機能とその仕組みについて理解を深める。

①血液と循環　②消化と吸収　③生体機能の調節

523008 運動生理学

准教授　博士（学術）　白川　哉子

運動中における身体の反応･適応･および機能について、運動がどのような効果をおよぼすか解説する。さらに、栄養・休養とのかかわりから健康に及ぼす運動の効果等について考える。

①運動の効果　②生活習慣と運動　③運動処方

523009 生化学

准教授　農学博士　曽田　功

ヒトの生命現象に関わる化学の基本的内容を理解することを目的とする。生物の最小基本単位である細胞の構造と機能、生体構成成分の構造と性質、エネルギー代謝、代謝および代謝の調節、酵素の性質と役割について解説する。

①細胞　②栄養素　③代謝

523010 生化学実験

准教授　農学博士　曽田　功

糖質、タンパク質、脂質、ビタミン等の栄養素を中心とした生体成分の生化学的性質を基礎的な実験を行うことにより学ぶ。また、各栄養素の生体内での代謝に不可欠な酵素の性質についても体験し理解を深める。

①栄養素　②尿検査　③酵素

523011 解剖生理学実験

非常勤講師　博士（理学）　山下　晶子

血液の性状､運動や皮膚感覚､味覚などの神経系の種々な機能、心・肺機能などにつき実験を行う。必要に応じて関連臓器の組織標本観察や解剖を加え、身体の各器官の構造と機能についての理解を深める。

①血液の性状　②神経機能　③心肺機能

523012 病理学特論

非常勤講師　医学博士　渡辺　豊

病理学は病気の本体を形態学により追及する学問であり、講義では、病気を原因別に分類し、その形態学的異常を示説する。病気を正確に理解し、記載するのに不可欠な医学用語も病理学に由来するものが多く、これについても解説する。

①病因　②形態学的異常　③医学用語

523013 食品学Ⅰ（食品成分の科学）

教授　博士（学術）　田中　伸子
准教授　博士（学術）　竹山　恵美子
准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食品の一般成分の特性を化学、栄養、物性、嗜好など多面的に解説し、豊な人間の食生活に果たす食品の機能について考察する。加工食品、新開発食品についても考察する。

①食品成分表　②食品の機能性　③嗜好成分

523014 食品学Ⅱ（食品の機能）

教授　博士（学術）　田中　伸子
准教授　博士（学術）　竹山　恵美子
准教授　博士（学術）　秋山　久美子

人間と食物の関わりについて、食品の歴史的・文化的変遷と食物連鎖の両面から理解するために、食品に関する基礎知識を修得する。さらに身近な食品群毎の成分の特徴についても学ぶ。

①食文化　②食物連鎖　③微生物利用食品

523015 食品学Ⅲ（食品の加工及び貯蔵）

教授　農学博士　高尾　哲也

われわれの食生活の中で必須となっている加工食品について、食品素材の基礎的な加工方法、加工後の保蔵方法や包装方法などを学習し、食品の保存性、付加価値や嗜好性の向上など多種多様な加工商品について、新食品開発の観点ならびに消費者の観点から理解を深める。

①劣化要因　②加工技術と貯蔵方法　③包装

523016 食品衛生学

非常勤講師　本郷　泰生

食品衛生法に準じて、1. 食品衛生行政　2. 食中毒の分類、発生状況、原因物質　3. 食中毒に関与する細菌　4. 自然毒（動物性・植物性）　5. 化学物質　6. 食品添加物（天然・合成）　7. トピックなどについて講ずる。

①食品衛生行政　②食中毒の原因物質・予防法　③食品添加物

523017 食品学実験

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食品の一般成分について定量実験を中心に行い、分析技術の基本を習得するとともに、各成分の特性について理解する。また、各々の成分が食品に与える機能・意義に関して総合的に考察できる能力を育成する。

①食品成分表　②ソックスレー抽出法　③ケルダール法

523018 食品衛生学実験

准教授　博士（学術）　竹山　恵美子

食品衛生法に基づき以下の実験を行う。(1) 市販されている食品の汚染細菌の検出(一般生菌数、大腸菌群)、(2) 牛乳の理化学試験、(3) 保存料の検出、(4) 漂白剤の検出、(5) 合成着色料の検出、(6) 発色剤の測定。

①食品汚染細菌の検出　②牛乳の規格試験　③食品添加物の定量

523019 食品加工学実習

教授　農学博士　高尾　哲也

私たちの食生活の中で必須となっている食品加工の基本的な原理、製造工程、食品成分の加工中の変化などについて学習し、食料の有効利用・付加価値向上・保蔵の基礎的技術について、身近な加工食品を実際に製造することにより理解を深める。

①食品の製造原理及び技術　②食品の付加価値　③食品の製造

523020 栄養学Ⅰ（基礎栄養学）

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

健康の維持・増進、疾病予防における栄養の役割を確認し、食物の消化・吸収・代謝の機構を理解する。特に消化器系の構造や機能、三大栄養素の消化・吸収・代謝について重点的に学び、その生理的意義を理解する。

①栄養素の消化・吸収・代謝　②生理的意義　③疾病予防

523021 栄養学Ⅱ(応用栄養学:ライフステージと栄養)

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

食事摂取基準の考え方を基に身体状況や栄養状態の加齢に伴う変化に応じた栄養マネジメントについて理解を深め、各ライフステージ（成人期栄養、母性栄養、新生児・乳児期、学童期・思春期、更年期・高齢期）における栄養面の特性について教授する。

①成長・加齢　②栄養マネジメント　③栄養アセスメント・ケア

523022 臨床栄養学（概論）

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子
非常勤講師　吉田　美津子

臨床における栄養管理の意義、栄養アセスメント方法、検査値の見方と判定について述べ、栄養ケアプラン作成方法、栄養補給法、栄養教育実施方法、効果判定、チーム医療（NST）、医療・介護制度、病院給食について教授する。

①臨床栄養　②栄養アセスメント　③栄養ケア

523023 臨床栄養学（各論）

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子
非常勤講師　吉田　美津子

人体の機構と機能について理解を深め、各種疾患の原因、症状、栄養アセスメント法、栄養ケア（療法）法について解説する。具体的には、消化器疾患、代謝疾患、循環器疾患、腎疾患、血液疾患等について教授する。

①臨床栄養　②各種疾患別　③治療食

523024 応用栄養学実習

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

栄養アセスメント法を身体計測、臨床検査、食事調査、代謝測定等の実習により理解し、PC を用いてパラメーターの分析方法、栄養ケアプラン作成、実施、評価の方法を学ぶ。また、各ライフステージ（母性、乳児期、幼児期、高齢期等）における栄養ケアの方法を理解し、実習を行う。

①栄養アセスメント法　②栄養ケア法　③リスク管理

523025 臨床栄養学実習

非常勤講師　吉田　美津子

栄養療法は、治療の一環としての役割は大きく、期待も大きい。そこで、各疾病の本質の理解を深め、臨床所見や検査成績等を総合して、栄養療法が病態に即した治療に有効的に展開できる様に、具体的な実践を通して専門的知識と技術を習得する。

①疾病と栄養（食事）療法　②栄養療法のポイントと管理　③治療食の実際（調理実習）

523026 栄養指導論Ⅰ（総論）

准教授　博士（学術）　粕谷　美砂子

栄養指導の概念、重要性、歴史を理解した上で、健康や生活の質（QOL）の向上を目的として、栄養士の使命、栄養行政、食生活と栄養指導、食行動と栄養指導等栄養指導のための基礎知識を修得する。

①生涯の健康　②食生活の自己管理　③食行動変容

523027 栄養指導論Ⅱ（各論）

准教授　博士（学術）　粕谷　美砂子

近年わが国は、ライフスタイルの変化等による不適切な食生活のため、生活習慣病の増加が目立っている。「健康長寿」を目指し、ライフステージ、ライフスタイル別にその特性を把握し、栄養教育マネージメントシステムに基づき食事指導ができるよう、知識・技能を習得する。

①対象の特性　②指導目標　③食事内容の留意点

523028 公衆栄養学（概論）

教授　蔵楽　正邦

国民の健康増進を栄養学的視野から国民栄養の現状と動向を科学的に把握し、健康日本21の理解と公衆栄養活動への展開、諸外国の栄養問題や食料需給の不均衡を踏まえた公衆栄養問題を考える。

①健康と栄養　②公衆栄養プログラム　③栄養政策

523029 献立論

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

喫食者に対した献立作成は、栄養士の重要な業務の一つである。献立作成に必要な食品成分表の見方、活用の仕方、推定エネルギー必要量等の計算方法を通して習得する。

①食事摂取基準　②食品成分表　③食事計画

523030 栄養指導論実習（方法論）

准教授　蕨迫　栄美子

栄養指導の方法論に基づき、栄養指導者として最も大切な話し方の訓練、調査の企画と実施、教育媒体の作り方と用い方等を実習する。さらに個別、集団、対象別指導において有効かつ適切な方法について修得する。

①栄養教育マネジメント　②指導媒体　③栄養教室

523031 調理学

教授　比護　和子

調理は食品に手を加え、安全で消化が良く、おいしい食物にする過程において様々な変化が起きる。食品の特性を知り、調理による変化を科学的に解説するとともに、文化としても伝承させていく。

①食物のおいしさ　②食品の特性　③調理変化

523032 給食計画論

非常勤講師　江川　正雄
非常勤講師　笹原　道子

特定多数人の給食管理に必要な基礎的要件である栄養・経営・衛生安全・機器・作業等の管理、さらに大量調理の要点を学び、具体的に喫食者に対応した栄養所要量から食事への展開方法を習得し、満足の得られる食事の提供ができる力を涵養する。

①科学的管理法　②専門性　③企画・運営力

523033 給食実務論

非常勤講師　江川　正雄
非常勤講師　笹原　道子

給食の計画・運営・管理に基づいた実務の流れを，各施設（病院・学校・事業所・福祉施設・その他）別に学習し，応用展開する知識と技能・実践力を養う。

①給食の運営・管理システム　②実践・応用展開　③食事と環境

523034 基礎調理

准教授　博士（学術）　横塚　昌子
講師　今井　美樹

調理をするために必要な包丁のもち方、使い方を始め計量方法、素材や器具の基本的扱い方を習得する。また、調味率や塩分濃度と味の関係を体得し、実際の調理技術を磨く。

①基礎技術　②計量　③調味

523035 調理学実習Ⅰ（日常食）

教授　比護　和子
講師　今井　美樹

諸教科で学んだ専門知識を基に、健康増進の基礎である食生活を、科学的・文化的視点に立って運営する能力を養う。具体的には、食品特性・調理理論の理解を深め、質の高い食事が提供できることを目的とする。

①食品の特性　②調理理論　③食生活の文化

523036 調理学実習Ⅱ（日常食・供応食）

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

前期に学んだ基礎的な知識と技術を活用し、目的に応じた日常食と供応食が提供できる能力と技術を養成する。さらに、和・洋・中国式調理の特徴と各様式の食文化への理解を深める。

①日常食　②供応食　③様式別調理特性

523037 調理学実習Ⅲ

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

基礎的な知識と技術を活用し、日常食と供応食、さらに和・洋・中国式調理の特徴をふまえ、素材を生かす料理および調理法を選択し、多様化した食文化に適応する能力と技術を養成し理解を深める。

①基本技術　②供応食　③応用献立

523038 給食経営管理及び実習

准教授　博士（学術）　粕谷　美砂子

栄養・食事管理や経営管理等、給食運営の理論に基づいた基礎知識を発展させ実践性を高めることを目的とする。計画・調理・評価を含めた給食サービス提供の技術と知識を、大量調理を通して修得する。

①献立作成　②大量調理のポイント　③衛生管理

523039 校外実習総合演習

准教授　蕨迫　栄美子
准教授　博士（学術）　粕谷　美砂子

基礎として学んだ知識・技能全般を総合的・実践的に応用・展開できる能力を修得させ、給食経営管理校外実習の成果をより高めることを目的とする。校外実習の心構えの修得、実習テーマの設定、書類作成、実習のまとめ、報告会を行う。

①実習の心構え　②テーマの設定　③実習の報告

523040 給食経営管理校外実習

准教授　蕨迫　栄美子
准教授　博士（学術）　粕谷　美砂子

栄養士として具備すべき知識・技能全般を体得することを目的に、病院・学校・事業所などにおいて、給食経営管理の業務を実地にて修得する。集中講義への出席、書類の作成、課題や実習ノートの提出も行う。

①衛生管理　②栄養管理　③作業管理

523041 基礎実験

准教授　博士（学術）　竹山　恵美子
准教授　博士（学術）　秋山　久美子
講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

実験の授業を円滑に行う為の基礎的な知識と技術の修得を目的とする。機械・器具の使用法など基礎力の育成をはかる。オムニバス方式により学習する。

①器具操作　②定性分析　③ｐＨ　④中和滴定

523042 基礎化学

准教授　博士（学術）　竹山　恵美子

食品を構成している化合物や、体内での消化・吸収・代謝に関連する化学変化など、食品学や栄養学などに必要な化学の基礎を学ぶ。化学が苦手な人や不安な人は必ず受講してください。

①物質の構造　②化学反応　③高分子化合物

523043 基礎生物学

准教授　農学博士　曽田　功

身体の中で起きている種々の生命現象およびそのしくみを身近にイメージできるようになることを目的とし、生物学的な視点からわかりやすく学ぶ。特に身体の構造を中心とした基礎事項を徹底的に理解、把握する。

①心臓　②肝臓　③骨と筋肉

523044 食料経済（食品の流通と消費）

非常勤講師　首藤　宣弘

我が国における「食の現在」を解説する。消費者の食行為の場面を内食、中食、外食から整理した上で、食品の主要な流通経路についてその機能を論じる。さらに、代表的な食品についてその消費動向と流通構造に触れる。新しい課題として食品ロス、食品表示の問題、食品リサイクル法も取り上げる。

①消費者の変化と食生活　②食品流通と食品市場　③主要食品の流通の実際

523045 フードスペシャリスト論

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

食に関する幅広い専門知識を身につけ、食情報を流通業者や消費者に分かりやすく提案する能力を身につけることを目的とする。さらに「食」の専門職であるフードスペシャリストの資格取得をめざし、試験の対策を行う。

①食生活の変遷と消費　②食環境と食育　③品質規格と安全性

523046 フードコーディネート論

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

高度情報化の進展に伴い食生活の異文化融合も盛況をきわめ、安全性をはじめ多様な要素においてコーディネートが求められている。そこで、食べる側の人間の諸要因と、食物側の要因の調整について考察を行う。

①食生活文化の融合　②食と感性　③調理と食文化

523047 食品鑑別論（演習）

准教授　農学博士　曽田　功

食品の合理的かつ適正な選択能力を習得する目的で、個々の食品についての深い知識と、その品質を見抜く技能を、演習を通して身に付ける。穀類、野菜･果実類、肉類、海産物、醸造品、種々の加工品などを題材とする。

①個別食品　②鑑別

523048 調理学実験

教授　比護　和子
准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食品を選択する場合、食品に対する深い知識と、その食品の品質を見抜く能力が必要である。食品の化学的･物理的な基本的評価方法、さらに、嗜好に直接結びつく官能評価方法も合わせて学んでいく。

①化学的評価　②物理的評価　③官能評価

523049 微生物学

非常勤講師　本郷　泰生

微生物とはなにか、微生物学の歴史、微生物学の発展に寄与した人達の功績などを解説する。次いで、微生物の細胞、生育条件、種類、働きなどについて講ずる。また、我々が利用している微生物の特徴についても解説する。

①微生物　②分類・性状　③特徴・利用

523050 食情報とマーケティング

非常勤講師　首藤　宣弘

マーケティングの基本を、主として食品企業の事例を参考にしながら説明していく。マーケティングの考え方を述べた上で、市場調査を前提とする製品開発戦略、価格戦略、流通戦略、販売促進戦略など実際の現場で活用できる知識を提供する。

①マーケティングの概念　②製品・価格戦略　③流通・販売促進戦略

523051 学校栄養教育論

准教授　蕨迫　栄美子
非常勤講師　横山　きよ

生涯にわたる健康の保持増進には、成長期の児童・生徒に望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力を育成することが重要となる。栄養教諭として修得すべき、食に関する専門性と教育に関する資質を、高めるよう講述、実践する。

①食事教育の重要性　②食事と自己管理　③食事と人間関係の育成

523052 栄養教育実習事前事後の指導

准教授　蕨迫　栄美子
非常勤講師　横山　きよ

将来栄養教諭に就くことを前提とする実践的課題である栄養教育実習の意義、目的、学習指導の方法、児童生徒指導を実践例として学ぶ。また、受け入れ校の事情を推測して教育実習における心構えを充分身につけるようにする。

①栄養教育実習の心構え　②実習録のまとめ方　③実習の報告

523053 家庭経営学（家族関係を含む）

准教授　博士（学術）　瀬沼　頼子

今日的課題である少子高齢化、男女共同参画、DV、ジェンダー、家族関係、消費者トラブル、IT 社会、環境問題等を視野におき、家庭生活の実態と課題を把握する。多様化する生活の実態と問題にある背景、解決の方法を探り、これからの家庭経営の方向や次世代につなぐ生活のあり方を考えていく。

①家庭・家族　②家庭経営（生活経営）　③ライフスタイル

523054 被服学

教授　博士（学術）　大津　玉子

衣服について主として自然科学的な視点から解説する。具体的には気候と被服、被服の機能、被服材料の種類と性質、染色、被服の管理、被服の人体への影響、および衣生活と環境問題などについて述べる。

①被服素材　②被服衛生　③被服管理

523055 被服構成学及び実習

教授　博士（学術）　角田　由美子

被服構成学の基礎的な知識、技術をブラウスの製作を通して習得させる。これにより着心地のよい審美性に富んだ被服を製作する技術と、消費者としてより良い被服を選択する力を養い、衣生活の向上をはかる。

①パターン　②被服素材　③造形技術

523056 住居学Ⅰ

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居を単なる建築物としてではなく、「人間生活の容器」として、また個人単位ではなく「地域社会の構成単位」という視点から把握する。住居のインテリアから地域の共用空間にいたるまで、各々の諸問題を生活デザインの立場から論じていく。

①生活エレメント　②住まい方　③集住スタイル

523057 保育学

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

子どもの成長･発達の過程を学び､月齢に合わせた育児･保育について学習する。さらにビデオを通して子どもとのふれあいを学ぶ。子どもとのかかわりについての理論と実践を学習する。

①妊娠・出産　②乳幼児　③成長・発達

523058 アメリカ栄養士体験コース

食物科教員

アメリカにおける栄養教育・健康保持のための取組み・栄養士養成大学での交換・栄養士業務の見聞等を通して、栄養教育・栄養士の社会的使命の重要性を再認識し、国際的視野を養う。

①栄養教育　②体験学習　③栄養士業務見聞

523059 アメリカ食生活研究コース

食物科教員

見学・研修・実習等を通して、アメリカにおける食物の生産・流通システムやアメリカ人の食生活の実態等について学び、日本人の食文化と比較する。授業を通して、健康な人間生活における食文化の重要性に対する理解を深める。また将来栄養士・管理栄養士として必要な見聞を広め、幅広い教養を身につける。

①食料の生産・流通　②食生活　③食文化

14. 子ども教育学科

	授業科目	担当者	整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園（両免） 1年次 単位 前期	小学校・幼稚園（両免） 1年次 単位 後期	小学校・幼稚園（両免） 2年次 単位 前期	小学校・幼稚園（両免） 2年次 単位 後期	◇の履修方法（最低単位）	幼稚園（幼免） 1年次 単位 前期	幼稚園（幼免） 1年次 単位 後期	幼稚園（幼免） 2年次 単位 前期	幼稚園（幼免） 2年次 単位 後期	◇の履修方法（最低単位）	小学校（小免） 1年次 単位 前期	小学校（小免） 1年次 単位 後期	小学校（小免） 2年次 単位 前期	小学校（小免） 2年次 単位 後期	◇の履修方法（最低単位）	保育士（専攻科保育学専攻開設科目を除く）	備考
教科に関する科目	国語(書写を含む)	豊田	527001			②		2	×			◆		社会・理科・生活・音楽・図工・家庭の中から2科目で4単位			◇		国語・算数・生活・音楽・図工から2科目で4単位			◆		社会・理科・生活・音楽・図工・家庭の中から2科目で4単位		
	社会		527002	②		②		1	×	◇		◇			△		△			◇		◇				
	算数	及川	527003				②	2					◆					◇					◆			
	理科	小川（哲）	527004			②		2	同			◇					△					◇			（初教）
	生活		527005		②		②	1	×		◇		◇			◇		◇			◇		◇			
	音楽		527006	②		②		1	×	◇		◇			◇		◇			◇		◇				
	図画工作		527007	②		②		1	×	◇		◇			◇		◇			◇		◇				
	家庭		527008		②		②	1	×		◇		◇			△		△			◇		◇			
	体育		527009	②		②		1	×	◆					◆					◆						
	国語表現法		527010	①	①	①	①	1	×	△	△	△	△		◇	◇	◇	◇		△	△	△	△			
	書写	平野	527011			①	①	2	★			△	△				◇	◇				△	△			
	児童文学	豊田・平野	527012			①	①	2	同◎			△	△				◇	◇				△	△		（初教）	
	音楽基礎		527013	①	①	①	①	1	×	△	△	△	△		◆	◆			音楽基礎以外から5単位以上	△	△	△	△		◆◆	両免の幼稚園実習者は前後期必修
	音楽実技	木間他7名	527014	①	①	①	①	2	同	△	△	△	△		◇	◇	◇	◇		△	△	△	△		△△	（福祉・初教）
	造形基礎	清水（満）・稲田	527015	①	①	①	①	2	同	△	△	△	△		◇	◇	◇	◇		△	△	△	△		◇◇	（初教）保育士資格取得者は、「造形基礎」、「幼児体育」それぞれ1単位以上必修
	児童文化		527016		①		①	1	×		△		△			◇		◇			△		△			
	幼児体育	富本	527017			①	①	2				△	△				◇	◇				△	△		◇◇	
教職に関する科目	2欄 教職概論		527018	②		②		1	×	◆					◆				教育原理Ⅰ、教育原理Ⅱ、教育心理学Ⅱ、教育法規の中から1科目2単位	◆				1科目2単位		
	3欄 教育原理Ⅰ		527019	②		②		1	×	◆					◇					◆						
	教育原理Ⅱ		527020		②		②	1	×		△					◇					◆				◆	
	保育原理Ⅰ	駒谷	527021	②		②		2	同	◆					◆					△					◆	（初教）
	保育原理Ⅱ		527022		②		②	1	×		△					◆					△				◆	
	教育心理学Ⅰ		527023	②		②		1	×	◆					◆					◆					◆	
	教育心理学Ⅱ	中村（徳）	527024			②		2	同			△					◇					◆			◇	（初教）
	発達心理学	中村（徳）	527025			②		2				◆					◆					◆			◆	
	乳幼児心理学	中村（徳）	527026				②	2					△					◆					◇		◇	
	特別支援教育	岸本	527027				②	2	同◎				△					◇					◇			（初教：特別支援教育論）
	教育法規		527028		②			1	×		△					◇					◇					
	4欄 小学校教育課程論	桐谷	527029				②	2					◆	6科目で12単位（音楽・図工・体育の中から2科目で4単位を含む）				△					◆			
	国語科教育法		527030	②		②		1	×	◇					△					◆						両免の小学校実習者は必修
	社会科教育法		527031	②		②		1	×	◇					△					◆						
	算数科教育法		527032	②		②		1	×	◇					△					◆						
	理科教育法		527033	②		②		1	×	◇					△					◆						
	生活科教育法		527034		②		②	1	×		◇					△					◇			1科目で2単位		
	家庭科教育法		527035		②		②	1	×		◇					△					◇					
	音楽科教育法		527036		②		②	1	×		◇					△					◇			2科目で4単位		
	図工科教育法		527037		②		②	1	×		◇					△					◇					
	体育科教育法		527038		②		②	1	×		◇					△					◇					
	国語科教育法演習	平野	527039			①		2					◇	※1				△					◆			
	社会科教育法演習	鈴木（円）	527040			①		2					◇					△					◆			
	算数科教育法演習	廣田	527041			①		2					◇					△					◆			
	理科教育法演習	小川（哲）	527042			①		2					◇					△					◆			
	生活科教育法演習	松本（忠）	527043				①	2															◇	1科目で1単位		
	家庭科教育法演習	今井	527044			①		2	同				◇					△					◇			（初教）
	音楽科教育法演習	木間	527045				①	2															◇	2科目で2単位		
	図工科教育法演習	清水（満）	527046				①	2					◇					△					◇			
	体育科教育法演習	富本	527047				①	2					◇					△					◇			

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②○印は他学科生履修可
③□印は同系統学生履修可
④同印は他学科同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			担当者	整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	小学校・幼稚園（両免） 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	◇の履修方法（最低単位）	幼稚園（幼免） 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	◇の履修方法（最低単位）	小学校（小免） 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	◇の履修方法（最低単位）	保育士（専攻科保育学専攻開設科目を除く）	備考
					単位		単位				単位		単位			単位		単位			単位		単位				
教職に関する科目	4欄	道徳教育の研究	押谷	527048			②		2				◆		4科目で8単位			△					◆				
		特別活動の研究	岸田	527049			②		2				◆					△					◆				
		教育の方法と技術	駒谷	527050				②	2	同				◆					◆					◆			（初教）
		幼稚園教育課程論	駒谷	527051			②		2				◆					◆					△				
		人間関係指導法		527052	②		②		1	×	◇					◆					△					◆	両免の幼稚園実習者は必修
		環境指導法		527053	②		②		1	×	◇					◆					△					◆	
		健康指導法		527054		②		②	1	×		◇					◆					△				◆	
		言葉指導法		527055		②		②	1	×		◇					◆					△				◆	
		表現指導法	永岡・稲田	527056		②		②	2	同		◇					◆					△				◆	（初教）
		保育内容総論	近内	527057				②	2					△				◆					△			◆	
		人間関係指導法演習	駒谷	527058				①	2					◇	※2			◆					△				
		環境指導法演習	横山（文）	527059			①		2	同			◇					◆					△				（初教）
		健康指導法演習	柴田（炤）	527060			①		2				◇					◆					△				
		言葉指導法演習	平野	527061			①		2				◇					◆					△				
		表現指導法演習	永岡・稲田	527062				①	2					◇				◆					△				
		生徒・進路指導の研究	岸田	527063				②	2	同				◆				△					◆				（初教）
		教育相談の研究		527064	②		②		1	×	◆					△					◆						
		幼児理解の研究	中村（徳）	527065			②		2				◆					◆					△				
	5欄	総合演習	松本（淳）他4名	527066				②	2					◆				◆					◆			◆	
	6欄	教育実習の指導Ⅰ		527067		1		1	1	×		◆					◆					◆				
		教育実習の指導Ⅱ	富本・駒谷	527068			①		2				◆					◆					◆				
		教育実習Ⅰ		527069		1			1	×		◆					◆					◆					
		教育実習ⅡA	駒谷・富本	527070			③		2				◆					◆					◆				保育士資格取得者は、幼稚園実習必修
		教育実習ⅡB	駒谷	527071			③		2				△														
教職関連科目		法学B（憲法）	入澤	527072	②		②		1	×	◆					◆					◆						（短大教職）
		情報機器の操作		527073	②				1	×	◆					◆					◆						
介護等体験		介護等体験の指導	爾	527074	①		①		1	×	◆					△					◆						〔1〕（短大教職・初教）
その他		アメリカ初等教育演習	押谷他	527075	②		②		2	同	△		△			△		△			△		△				（初教）
保育士		養護原理	高橋（久）	527076				②	2	同																◆	（初教）
		乳児保育	爾	527077				②	2																	◆	
		保育実習の指導ⅠA	爾	527078				①	2																	◆	
		保育実習ⅠA(保育所)	駒谷・石井（正）・瀬	527079				②	2																	◆	

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科生履修可
③□印は同系統学生履修可
④同印は他学科同時開設科目
⑤★印は前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず
⑦＃印は一般教養にならない

◆必修，◇選択必修，△選択

1．◆（必修科目）、◇（選択必修科目）の最低単位数を満たした上で、原則として、◇及び△（選択科目）から5単位以上を修得する。
2．保育士資格取得のための履修方法については、「Ⅲ -3. 諸資格の取得」のなかの「14. 保育士」を参照のこと。
3．両免コースの場合は，※1と※2の科目のうち，8科目8単位を修得する。
4．「スポーツを考える」「身体と運動」のいずれかを修得する。
5．開講中心年次1年の科目は、本年度開講しません。

授業概要

527001 国語 （書写を含む）

講師 豊田 千明

国語は、すべての教育活動の基本である。国語に関する基礎的知識を身につけ、現今の国語問題、国語教育について考える力、技能、態度を養う。各自の言語生活の向上を目指し、将来教職を有する者としての国語力を磨く。

①国語・日本語 ②文字・語彙 ③方言・敬語 ④国語問題 ⑤国語教育 ⑥日本文化

527003 算数

准教授 及川 芳子

小学校教育の目的の中で算数科はどのような役割を担うのか、またそれはどのような目標として表されているかを探る。また、「よい授業とは」を常にテーマとして算数科の授業を創るポイントを具体的に追求していく。

①楽しい授業 ②数学的考え方 ③問題解決 ④評価と評定 ⑤文章題の指導 ⑥数学教育史

527004 理科

教授 博士（教育学） 小川 哲男

理科教育をめぐる現状や児童の実態に触れ、理科教育が人間形成に果たす役割について考える。また、小学校理科の目標と各区分の内容を構造的にとらえ、児童の自然認識の形成を図る基本的な指導法を習得する。具体的には、①学習指導要領理科の目標②小学校理科の内容の構成③各学年の理科の目標と内容④指導計画作成の配慮事項⑤視察・実験上の事故防止と安全管理・安全指導⑥学習指導の作成の方法と実際⑦授業展開の基本等について習得する。特に、事故発生時の対応についても的確に指導する。

①理科嫌い ②理科教育の目的・内容 ③人間形成 ④自然認識 ⑤指導法の工夫

527011 書写

講師 平野 晶子

美しく、読みやすく、丁寧に文字を書く力を養う。あわせて、書写・書道教育の基本的な理論・方法を学ぶ。芸術としての「書道」ではなく、基礎的、実践的な「書き方」に重点を置く。

①美しく、読みやすく、丁寧に書く ②鑑賞する心 ③国語科における文字・書写指導

527012 児童文学

講師 豊田 千明
講師 平野 晶子

童謡、絵本など子どもの出発期の文学からはじまり、小学校低、高学年向けまでの児童文学の諸作品を味読して、児童文学の特性を学ぶ。やがて初等教育に携わる専門家として大切な領域である児童文学を内外から見る眼を養う。

①児童文学とはなにか ②「物語」の外にあるもの ③読み、伝えるための視点 ④ことばの幸 ⑤こころの栄養⑥美的経験

527014 音楽実技

教授 永岡 都
教授 博士（学術） 木間 英子
非常勤講師 伊藤 紗津貴
非常勤講師 藤田 厚生
非常勤講師 渡辺 厚
非常勤講師 木田 左和子
非常勤講師 白川 千香子
非常勤講師 柴田 民子

声楽及びピアノの実技能力を養う。各々の受講生の能力に応じて、グループまたは個人レッスンで指導を行う。

①発声法 ②歌詞解釈と発音 ③メロディーと伴奏 ④フレージング ⑤フィンガリング ⑥音色

527015 造形基礎

教授 清水 満久
非常勤講師 稲田 大祐

多様な造形表現の基礎を学び、造形活動における実践的な表現力を身につけることを目的とする。平面・立体表現、美術・デザイン的な表現などの製作を通し、表現する喜びを味わい、造形表現の知識と技能を習得する。

①造形表現 ②子どもの表現 ③材料・用具・技法 ④色や形の表現 ⑤構成力

527017 幼児体育

准教授 富本 靖

本講義は、初等教育学科の特性を考慮し、本学付属幼稚部での子どもたちとのふれあいを中心とした生の講義を行う。子どもの“こころ”と“からだ”を育むあそびを身をもって体験し、“子ども理解と体育あそびの方法論”を学習する。

①子どもの育ちと運動 ②子どもたちとのふれあい ③子どものあそび ④運動遊びの実践

527021 保育原理Ⅰ

准教授 博士（学術） 駒谷 真美

幼児期の発達の特徴を把握し、その発達を支えるための保育方法について、幼稚園と保育者の役割を明らかにする。保育の本質を探りながら、根本となる理論や考え方を学んでいく。

①幼児の発達と理解 ②保育の歴史と目的 ③保育の内容

527024 教育心理学Ⅱ

講師 博士（心理学） 中村 徳子

教育心理学Ⅰを踏まえて、教育現場や保育現場における心理学的法則や事実の理解を深める。一人ひとりの児童（幼児）を、身体的・知的・感情的・社会的側面から理解し、集団の中で、より効果的な個の発達・学習を促すための支援方法を育成する。

①パーソナリティー ②臨床心理学 ③障害児教育

527025 発達心理学

講師　博士（心理学）　中村　徳子

教育や保育は子どもがよき大人に発達するように援助する営みである。人間の受精から死までの発達を生涯発達的な観点からとらえ、各発達期の特徴を理解する。

①発達理論　②愛着　③対人関係

527026 乳幼児心理学

講師　博士（心理学）　中村　徳子

系統発生的にもっともヒトに近縁な種であるチンパンジーを比較対象として、乳幼児期における発達について詳細に検討し、ヒトに固有の能力を理解する。

①乳幼児　②系統発生　③比較発達

527027 特別支援教育

非常勤講師　岸本　啓吉

今、障害児教育は、特別支援教育への転換期にあり、一人一人のニーズに応じた適切な教育が求められている。この講義では、特別支援教育の背景や制度とともに、小・中学校等の教育現場に求められている具体的な指導内容や方法等について講義する。

①特別支援学級　②特別支援学校　③軽度発達障害

527029 小学校教育課程論

非常勤講師　桐谷　澄男

教育課程の基準を学び、その編成及び実施について、具体的な教育資料に基づいて究明する。また、教育課程の評価と改善の在り方について追究する。更に、教育改革にかかわる今日的な基本課題を実践的に検討する。

①教育課程編成の原理　②指導計画の作成　③教育課程の評価

527039 国語科教育法演習

講師　平野　晶子

国語科教育の方法を演習形式で身につける。学習指導要領に基づき、各学年・各領域の目標と内容に沿って、実際の教材に即した教材研究、学習指導案の作成、模擬授業等を行い、指導方法を検討していく。

①国語科における新学力観　②教材研究の方法　③模擬授業

527040 社会科教育法演習

准教授　鈴木　円

小学校社会科の既存の実践事例について授業分析を試みるとともに，自らが授業者として実際に教材研究や授業開発を行い，学習指導案を具体的に立案することを通して，よりよい社会認識や公民的資質の育成の方法について考える。

①授業分析　②授業開発　③授業実践

527041 算数科教育法演習

非常勤講師　廣田　敬一

教材開発の方法、授業構想と運営、指導と評価の具体的な方法等についての理解を深める。指導案の作成、教材の作成、ワークシートの準備やノート指導の方法、評価問題の作成、板書計画等を実際に行い、それらの成果を活用した学生による模擬授業などを通して、実践的な指導技術を学ぶ。

①教材開発　②指導案作成　③評価問題の作成　④板書計画　⑤模擬授業

527042 理科教育法演習

教授 博士（教育学）　小川　哲男

小学校理科について体験的・問題解決的な学習の指導法の基本を学ぶ。具体的には、①指導案の作成等の授業の設計、②導入・展開・まとめの基本的な授業の実施、③知識・理解等の評価などについて、実際の授業のシミュレーションなどを通して体験的に習得する。特に、児童の科学的なものの見方や考え方を重視した授業展開の方法を考えさせ児童自らが科学概念を形成できるための教材研究・開発に重点を置き、「理科好きな子ども」を育てる方途を追求させる。

①授業設計　②評価　③教材開発研究

527043 生活科教育法演習

非常勤講師　松本　忠史

生活科の学習に関わる課題を設定し、解決に向けて研究を進める。又その研究の交流を通して生活科学習のあり方をより深く理解し、教育実践への応用発展を図る。

①具体的な体験活動　②知的な気付き　③家庭・地域社会の環境

527044 家庭科教育法演習

講師　今井　美樹

家庭科教育の理念は、ひとりの人間としての自立と、共に生きる力を育むことである。この教科理念の視点から、家庭科教育の各領域の課題をあげ研究考察を行う。具体的には、家族･家庭、食生活、被服、住居、保育、消費者教育、環境教育、情報処理の指導について研究考察を行う。

①人間としての自立　②共に生きる力　③家庭科の教科理念

527045 音楽科教育法演習

教授　博士（学術）　木間　英子

音楽科教育法における理解をもとに、授業構成、教材の選択や開発、指導の方法について、ワークショップや模擬授業を通して体験的に学ぶ。また、現代における音楽環境の変化や文化状況に注目することを通して、子どもと音楽との多様な関わりを見出しながら、音楽教育が果たすあらたな役割についても考えていく。

①重層的な音楽活動　②音楽文化　③授業研究

527046 図工科教育法演習

教授　清水　満久

児童一人一人の表現の思いを重視した図画工作の学習指導の在り方を具体的・実践的に演習する。特に、発想・構想の能力や創造的な技能を養う、題材の開発を通して指導能力の向上を図る。また、図画工作教育の変遷などについての認識を深める。

①図画工作の目標と内容　②題材の開発　③子供の表現特性

527047 体育科教育法演習

准教授　富本　靖

新学習指導要領が目指す体育の内容についての理解を深める。小学校の体育で学習する運動内容の全てを取り上げ、種目ごとに学年に応じた研究をする。また、教師として知っておきたい病気やけがについての医学知識を深める。

①新学習指導要領について　②体育の領域　③授業の組み立て

527048 道徳教育の研究

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

道徳教育とは何かについて明らかにし、学校において道徳教育がどのように規定され実施されているのかを見ていく。特に道徳の時間を中心として、どのように指導していけばいいのかを、実践例を取り上げながら、主体的に考えられるようにする。

①人間としての在り方や生き方　②道徳的価値の学習　③道徳の時間

527049 特別活動の研究

准教授　岸田　幸弘

特別活動の意義や目標、実施上の課題等を考察し、その重要性を理解する。特に、各内容（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事）の特質を把握し、活動の実際例や指導案の検討、評価の在り方等を学ぶ。

①特別活動の目標　②特別活動の内容　③活動の実際例

527050 教育の方法と技術

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

学校におけるIT化が進む中で展開される学習の方法と技術について、教育メディアの活用を中心に学習を進めていく。21世紀型の「楽しくわかる授業」のあり方を探求する。

①教育の情報化　②教育メディア　③視聴覚教育・情報教育

527051 幼稚園教育課程論

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園における教育課程の意義や編成、指導計画の作成を学び、子どもの主体性を生かした保育における教育課程の在り方を探る。

①教育課程の意義　②教育課程の編成　③指導計画の作成

527056 表現指導法

教授　永岡　都
非常勤講師　稲田　大祐

日常生活、遊び、素材との関わりなどあらゆる場面で展開される幼児の表現活動を的確に読み取り、その育ちを支援するために、人間の様々な表現活動について理論的かつ実践的に学ぶ。想像力と創造力を高め、表現という営みをトータルな視点から捉えていく。

①総合的な活動　②幼児の表現　③表現媒体

527057 保育内容総論

非常勤講師　近内　愛子

保育の目的を達成するためには、どのような内容をどのような方法を通して行うのか、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づいて総合的に学習する。保育の基本について理解し、保育内容、保育内容の具体化としての計画について学ぶ。

①保育内容　②保育と基本　③保育の計画　④保育者

527058 人間関係指導法演習

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園教育要領の領域「人間関係」の意義と「ねらい」「内容」を理解する。その上で、現代社会において希薄化する「人とかかわる力」を保育現場でどのように育成するかを検討していく。

①人間関係と発達　②人間関係を見る視点　③人間関係を育成する保育者の役割

527059 環境指導法演習

教授　横山　文樹

子どもの発達を考える時、「氏か育ちか」、つまり、「遺伝か環境か」という論争は、近年、環境の影響が大きいことが明らかにされてきた。「社会」という領域が「人間関係」と「環境」に細分化された意味は、こうした社会的な背景があることを理解する。そのうえで、子どもの発達にとって環境はどのような意味をもつか、社会環境の変化は子どもの育ちにどのような影響を及ぼしているかについて学ぶ。その場合、保育現場における環境の在り方と家庭を含めた社会環境の在り方という両面から考える。

527060 健康指導法演習

非常勤講師　柴田　炤夫

「子どもは子どもらしく」安全な環境のもとで子どもたちが楽しく快適に生活・活動できるための健康指導のあり方を研究する。日常、保育の現場で子どもと生活を共にしてきた私にとっては、何時の時代でも「子どもは風の子・太陽の子」です。附属の幼稚園の子どもとのふれあいを通して、子どものシャワーを浴びながら、健康と安全を配慮した子どもの活動と援助について演習を行う。

①活動豊かな子ども　②子どもらしい子ども　③子どもが育つ環境

527061 言葉指導法演習

講師　平野　晶子

幼稚園教育要領に基づき、幼児にとっての言葉の獲得とその方法について、事例によって考察する。また、ことば遊び、読み聞かせ、文字指導など、言葉指導の方法を実際に模索し、可能であれば子どもたちの前でそれを試みる。

①子どもにとってのことば　②ことばで遊ぶ　③ことばを指導するとは

527062 表現指導法演習

教授　永岡　都
非常勤講師　稲田　大祐

表現指導法で学んだことを下地として、ワークショップ方式で様々な表現活動に取り組む。また、それらの課題を通して見出された保育現場での表現指導の問題点や留意点についてディスカッションを重ね、問題解決の方途を探る。

①総合的な活動　②パフォーマンス　③表現力

527063 生徒・進路指導の研究

准教授　岸田　幸弘

生き方の問題を生徒指導の原理、発達的な特質、子ども理解などの面から学ぶ。特に、いじめや不登校、暴力などの問題を事例によって検討する。また、ガイダンスの機能や進路指導の在り方などについても研究する。

①生徒指導の意義　②子ども理解と問題行動

527065 幼児理解の研究

講師　博士（心理学）　中村　徳子

幼児を理解するためには、まずなぜ幼児がそのような行動をとるのかを理解しなければならない。その一般法則を探るために、ここでは心理学の基礎を学び、特に学習についての理解を深める。

①心理学　②学習　③行動分析

527066 総合演習

准教授　松本　淳
准教授　鈴木　円
講師　豊田　千明
講師　平野　晶子
講師　博士（心理学）　中村　徳子

人類に共通する課題又は日本の社会全体にかかわる課題について、多角的に考察し、総合的、実践的に問題解決していく能力の育成を目指す。各自のテーマを設定・研究し、その研究成果の教育実践への応用・展開を検討する。

①問題意識　②調査・分析・考察　③教育への展開

527068 教育実習の指導Ⅱ

准教授　富本　靖
准教授　博士（学術）　駒谷　真美

6,9 月の幼稚園･小教育実習に向けて、その意義と目的、服務と心得を確認する。指導案と日誌の書き方、教材の準備と指導の心構えを徹底する。実習後の報告とお礼の手紙、実習経験の生かし方について学ぶ。

①実習心得　②指導案・日誌　③実習経験

527070 教育実習ⅡA

准教授　富本　靖
准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園・小学校の現場における教育実習（6月）を通して、教師としての実践的指導力や社会性等の基本を学び、教職への志を高める。具体的には、①幼児・児童理解の方法と実際、②保育・授業の計画・実施・評価の方法と実際③幼稚園・小学校の経営の方針、④学校と家庭、地域との連携の実際等について具体的に習得する。特に社会の変化の中にある幼稚園や小学校の教育課題を把握し、それらを自らの課題として受け止め、幅広い実践的指導力の基礎を養う。

①幼児・児童理解　②保育計画・授業計画　③地域との連携

527071 教育実習ⅡB

准教授　博士（学術）　駒谷　真美

幼稚園の現場における教育実習（9月）を通して、教師としての実践的指導力や社会性等の基本を学び、教職への志を高める。具体的には、①幼児・児童理解の方法と実際、②保育・授業の計画・実施・評価の方法と実際③幼稚園･小学校の経営の方針、④学校と家庭、地域との連携の実際等について具体的に習得する。特に社会の変化の中にある幼稚園や小学校の教育課題を把握し、それらを自らの課題として受け止め、幅広い実践的指導力の基礎を養う。

①幼児・児童理解　②保育計画・授業計画　③地域との連携

527075 アメリカ初等教育演習

教授　博士（教育学）　押谷　由夫
准教授　松本　淳
講師　博士（学校教育学）　爾　寛明
准教授　博士（学術）　駒谷　真美

アメリカ、マサチューセッツ州にある「ボストン昭和　」（Showa Boston Institute for Language and Culture）で、4週間、語学研修を行いながら、アメリカの初等教育事情を学ぶ。具体的には、アメリカの教育制度などの講義と、「ボストン昭和」の敷地内に開校されているブリティッシュ・スクール（幼稚園から高等学校までの私立一環教育校）並びに、近郊の保育園･学童保育施設での現場体験を行う。

①国際体験　②アメリカの文化と教育　③日本の教育の再評価

527076 養護原理

准教授　高橋　久雄

今日、社会的養護は、要保護児童対策としてのみならず家族をもった児童をも対象として展開される必要に迫られている。その背景には、家族と児童をめぐる複雑な問題がある。本講義では、現代社会における子育て支援、自立支援の方法としての新たな児童養護を考える。

①子どもの権利擁護　②自立支援　③児童虐待

527077 乳児保育

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

現在では乳児保育のニーズが高まってきている。乳児期は人間形成の基礎を培う時期である。従来は家庭で育てられてきた乳児が施設、集団の中でどうすごすことが望ましいのかとについて考察する。

①乳児　②保育　③家庭

527078 保育実習の指導ⅠA

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

保育士資格を取得するために行う保育所実習の事前指導である。実習とはそれまで学んできた保育の知識を実践で試し、知識と技術とを統合していく場である。心構え、保育士としての職務や実践的な内容を指導する。

①保育実践　②保育所の役割と機能　③保育実習の準備

527079 保育実習ⅠA（保育所）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明
准教授　博士（学術）　駒谷　真美
講師　石井　正子

保育所における実習。保育現場における乳幼児の生活に触れ，保育所の機能とその社会的役割を通して，保育士の職務について学ぶ。保育士として乳幼児の保育を担うことに必要な知識の保育技術を習得すると共に、現代社会における保育のもつ意義について考える。また、養護と教育という2つの側面を踏まえた保育士の支援の実際を学ぶ。具体的には、保育計画の立案及び指導計画を実行するに際して必要な保育の日々の流れや子どもへの観察的関わりの中から得られる乳幼児の日常生活と成長，発達の実際についての理解を深める。

①保育所の機能と役割　②乳幼児保育のあり方　③保育士の業務と役割

15. 短期大学部専攻科カリキュラム

15-1　国語国文学専攻

授業科目	担当者	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
						開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
文学理論	久下	511001	2	2		
国語学特殊講義A	坂梨	511002	2	2	同	（日文：日本語学Ⅱ（こゝろ））
国文学特殊講義A	齋藤	511003	2	2		
国語学特殊講義B	小林（茂）	511004	②	②	同	（日文：日本語学Ⅰ（中世語文法史））
国文学特殊講義B	久下	511005	②	②	□	
国文学特殊講義C	元吉	511006	②	②		
国文学特殊講義D	高木	511007	②	②		
国文学特殊講義E	岸田	511008	②	②	同	（日文：古典文学Ⅱ（隠者文学））
比較文学特殊講義	市川（浩）	511009	②	②	同	（日文：近代文学Ⅱ（比較文学））
国語国文学研究	国語国文学専攻教員	511010	4			

＊専攻科生は修了に必要な 30 単位のうち、6 単位までを「日本語日本文学科の専門科目」の履修によって修得できる。
「日本語日本文学科の専門科目」とは、日本語日本文学科カリキュラム表の備考欄に専印を付した科目である。

＊文学理論、国語学特殊講義 A、国語学特殊講義 B、国文学特殊講義 A、国語国文学研究を除く専攻科の科目は、
人間文化学科・文化創造学科の 2 年次生が履修を希望した場合、担当教員の許可があれば履修することができる。

授業概要

511001 文学理論

教授　久下　裕利

古典から近代までの文学理論に関する著作を概観し、作品の主題や人物造型のパターンあるいはことばの織りなし機能を考えてゆくことにする。その上で事実と虚構の問題を深く掘り下げたい。

①主題　②造型　③場面　④モチーフ　⑤イメージ　⑥虚構

511002 国語学特殊講義 A

非常勤講師　坂梨　隆三

夏目漱石の『こゝろ』（大正三年 [1914]4 ～ 8 月）を読みながら、近代の日本語について考える。漱石自筆の原稿、初出の朝日新聞、初版本、原稿の全集本や文庫本等を比較しながら、日本語のさまざまな事象について見ていきたい。

①近代語　②文字表記　③語彙　④翻訳　⑤自筆原稿

511003 国文学特殊講義 A

教授　博士（文学）　齋藤　彰

『徒然草』の江戸初期の注釈書である『徒然草抄』（加藤磐齋）を読み解く。『徒然草』の理解を深めるとともに、本書の翻刻と読解の作業を通して、基本的な研究態度と方法を体得させる。

①徒然草古注　②翻刻　③出典調査

511004 国語学特殊講義 B

非常勤講師　小林　茂之

『今昔物語集』の本朝部の読解を行なう。内容的になじみやすい巻二十六以降を読み進める。中世説話文学の先駆的作品を通して、前代の平安和文の言語を基準とした古典文法を意識しつつ、古代語から中世語への進展した位相を主に文法面を中心に取り上げる。

①中世日本語　②漢文訓読語　③和語　④陳述副詞　⑤助詞

511005 国文学特殊講義 B

教授　久下　裕利

国宝源氏物語絵巻が織りなす詞書と画面図様との交響を味わいながら、原典の創意との差異に留意しつつ、その趣向と主題性について考えてゆく。源氏物語全体の内容把握はいうまでもなく、絵巻の文化性を理解したい。

①主題　②構図　③場面　④モチーフ　⑤構成　⑥詞書

511006 国文学特殊講義 C

教授　元吉　進

仮名日記の嚆矢土佐日記と、女流日記の更級日記を講読する。日記文学とは何かを解説したうえで、両作品の成立や内容にふれ、紀貫之の人間観や文学観、孝標女の夢と信仰について読み解き、王朝人の生き方を探る。

①日記と日記文学　②紀貫之　③女性仮託　④菅原孝標女　⑤物語と夢と伝説　⑥道の記

511007 国文学特殊講義 D

准教授　高木　佳子

歌人西行の、出家ならびにその生き方を探っていく。歴史的背景を踏まえながら、西行と彼をめぐる人々との交流、旅および草庵生活、西行の作風について、歌ならびに資料をとおして追究していく。

①西行　②出家　③待賢門院　④鳥羽院と崇徳院　⑤旅と草庵　⑥花と月

511008 国文学特殊講義 E

教授　岸田　依子

中世は、俗世間を離れ、修行や思索にふける隠遁への志向の強い時代であった。前期は、隠者文学の代表作である鴨長明の『方丈記』、後期は吉田兼好の『徒然草』をテキストとし、作者の生き方や心のあり方、世間に対する考え方などを探求しつつ読み解いていきたい。

①数寄　②人と住まい　③遁世　④閑居　⑤都と世間　⑥無常

511009 比較文学特殊講義

非常勤講師　市川　浩昭

比較文学とは民族・風土・言語などを異にする異文化間を横断する文学現象の関係性を考察する学問です。今回はスターリングノース「ラスカル」と日本でアニメ化された「あらいぐまラスカル」の比較を例に話します。（受講者には通年での受講を義務付ける。）

①比較とは②文学とアニメ③環境④翻訳⑤自然⑥日本と西洋

15-2 英語英文学専攻

授業科目			担当者	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
必修	スキル	Advanced Reading	原田	512001	2			[2×2]
		Advanced Writing	ロブソン	512002		2		[2×2]
選択必修		卒業研究A(文学系)	上野	512003	2	②		前期はA・Bの2科目とも履修。 後期は3科目のうち、1科目を選んで履修すること。
		卒業研究B(言語・文化系)	井原	512004	2	②		
		卒業研究C(文化系)	井原	512005		②		
選択科目	文学系	イギリス文学研究Ⅰ	丹羽	512006		②	同	(英コミ)
		イギリス文学研究Ⅱ	原田	512007		②	□	
		イギリス文学研究Ⅲ	平井	512008	②		同	(英コミ)
		アメリカ文学研究Ⅰ	上野	512009	②		□	
		アメリカ文学研究Ⅱ	佐藤	512010	②		□	
		アメリカ文学研究Ⅲ	佐藤	512011		②	□	
		英米児童文学	相原	512012	②		同	(英コミ)
	言語・文化系	応用言語学	小林	512013		②	□	
		社会言語学研究	井原	512014	②		同	(英コミ)
		英語の語源学	岸山	512015	②		同	(英コミ:英語の語源学・言葉の誕生を知る)
		コミュニケーションⅠ	小河	512016	②		□	
		コミュニケーションⅡ	小河	512017		②	□	
		Multicultural America	スナイダー	512018		②	□	

開設単位：
①無印は必修科目
②○印は選択科目

履修可能範囲：
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥×印は本年度開講せず

1. 専攻科生は、必修・選択必修・選択科目から 30 単位以上履修すること。

2. 本学の専攻科英語英文学専攻を修了した後、更に本学又は他大学の学部で科目等履修生として一定数の単位を履修・修得し、「学位授与機構」で総修得単位を認定され、論文を提出した上で審査に合格すれば文学士の学位を取得することができます。
また、本学の文化創造学科、人間文化学科または英語英文学科、および本専攻科を修了した後、更に本学で科目等履修生として一定の単位を履修・修得し、「学位授与機構」で文学士の学位を取得すれば、昭和女子大学から同様の文学士の学位が追認されます。

3. 英検および TOEIC について
本専攻科では実用英語技能検定（英検）および TOEIC の資格を単位として認定しています。
資格取得者に認定される単位は、以下の通りとします。
英検準 1 級＝TOEIC 650 点以上→ 1 単位
英検 1 級＝TOEIC 850 点以上→ 2 単位
上記の単位は専攻科の単位として認定されます。
ただし、本学の短期大学部文化創造学科（夜間主含む）・人間文化学科・英語英文学科、第二部文化創造学科・人間文化学科・英語英文学科で上記の英検および TOEICの資格を申請して認定された単位を再度申請することはできません。また、本専攻科の修了に必要な30単位には含まれません。
認定される単位は最高 2 単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。
英検と TOEIC の両方を取っても単位の認定は 1 回のみとします。
単位認定の申請手続きについては「『英検』『TOEIC』『漢検』取得者の単位認定」の項の「単位認定の申請について」を参照してください。

授業概要

512001 Advanced Reading

講師　原田　俊明

This course will help you improve reading skills by increasing the amount of vocabulary and background knowledge. You are encouraged to read a good deal of interesting stories.

① reading comprehension　② grammar　③ vocabulary

512002 Advanced Writing

教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン

This course is an opportunity for students to further develop their writing in English. Students will learn how to write a short composition with an introduction, thesis statement, a body, and conclusion.

① analyze　② understand　③ organize

512003 卒業研究 A（文学系）

教授　上野　和子

文学系・文化系・言語系の卒業研究に必要な事項を学ぶコース。前期は、分野ごとにいくつかのトピックを選び、問題の発見・調査・考察の仕方、基本的な考え方を学ぶ。後期は、各自関心のあるテーマに絞って研究計画を立て論文を完成させる。

①論理的思考　②分析　③読み　④検証

512004 卒業研究 B（言語・文化系）

教授　井原　奉明

文学系・文化系・言語系の卒業研究に必要な事項を学ぶコース。前期は、分野ごとにいくつかのトピックを選び、問題の発見・調査・考察の仕方、基本的な考え方を学ぶ。後期は、各自関心のあるテーマに絞って研究計画を立て論文を完成させる。

①論理的思考　②分析　③読み　④検証

512005 卒業研究 C（文化系）

教授　井原　奉明

文学系・文化系・言語系の卒業研究に必要な事項を学ぶコース。後期は、各自関心のあるテーマに絞って研究計画を立て論文を完成させる。

①論理的思考　②分析　③読み　④検証

512006 イギリス文学研究Ⅰ

教授　丹羽　正子

イギリスの短編小説をいくつか取り上げ（① Katherine Mansfield　② Suzan Hill　③ Doris Lessing)、子ども観を探る。作品の生み出された時代背景を考えながら作者の子ども観を掘り下げるとともに、現代の子どもたちとの比較を試みる。　原書を読む愉しみを味わってほしい。

①階級　②思春期　③成長

512007 イギリス文学研究Ⅱ

講師　原田　俊明

近代イギリスは産業革命による技術革新と経済発展の隆盛を極めるが、皮肉にも科学ゆえに引き起こされる怪異譚や、科学では説明できない幽霊譚や異界の物語や、一見不気味ながらも結局は謎が解き明かされる犯罪小説が活況を呈すことになる。この授業ではイギリス近現代の様々な怪異譚を味読する。

①近代　②怪奇　③幻想

512008 イギリス文学研究Ⅲ

教授　平井　法

日本生まれの英国人作家、カズオ・イシグロの映画化された代表作、『日の名残り』をテクストに、イギリスの貴族制度などの社会背景を学び、小説の翻訳、あるいは映画化が抱える問題、クロス・カルチャーについて考える。

①クロス・カルチャー　②小説と映像　③英国文化

512009 アメリカ文学研究Ⅰ

教授　上野　和子

８０年代・９０年代に台頭した黒人女性作家の作品を取り上げながら、フレデリック･ターナーからジェイムズ･ボールドウィンなどの黒人文学の変遷を学ぶとともに、黒人社会を扱ったトニ・モリソンの『ビラヴド』を精読する。モリソンやアリス・ウォーカーの作品の現代社会における意義を探る。

①６０年代黒人解放運動　②モダニズム　③都市問題

512010 アメリカ文学研究Ⅱ

准教授　佐藤　道子

ヘミングウェイの短編の作品鑑賞を行う。簡潔な、あるいは清澄な文章の奥に、また行間に感得される、意味深い現実の、そして人生の一側面を未読する。

①現実　②暴力と死　③少年の開眼

512011 アメリカ文学研究Ⅲ

准教授　佐藤　道子

ジョン・スタインベックの、馬と老人に対する少年の愛情を描いた「赤い小馬」を精読し、作品の魅力を味わう。

①叙情性　②少年の開眼　③象徴

512012 英米児童文学

教授　相原　由美子

この授業の到達目標は二つである。一つは Reading, Writing の英語力の向上をめざし、二つ目は児童文学の知識と楽しみを得ることである。アメリカからはリアリズムの作品を一つ選び、イギリスからはファンタジーの作品を一つ選んで多彩な児童文学の世界を検証する。

①リアリズム　②ファンタジー　③ Reading/Writing

512013 応用言語学

准教授　小林　多佳子

言語習得のプロセスを探り、言語習得理論の基礎的理解を深める。また第二言語習得に影響を及ぼす要因、学習の個人差と学習者の中間言語についても概観する。

①第一言語習得　②第二言語習得　③中間言語

512014 社会言語学研究

教授　井原　奉明

今年度は「土着化した英語」をテーマに、日本に根づいた英語に関する理解と考察を深める。日本の場合、アジアの他地域とどこが異なるのか、なぜそうなのか、といった問題意識を持って学ぶことによって新たな視点から日本語と英語を捉え直したい。

①外来語　②和製英語　③装飾的用法

512015 英語の語源学

准教授　岸山　睦

この授業の全体的テーマは英語の語源学の分析的方法とその考え方とを学ぶ。まず､印欧語の説明に始まり、英語史に触れ、最終的には vocabulary building にまで進み､実学としての語源学の側面も学んでゆく。なお、日本語の語源についても英語との関連で、随時解説する。

① Greek　② Latin　③ Sanskrit

512016 コミュニケーションⅠ

非常勤講師　小河　奈保子

異なる文化背景の人々が接する場合にコミュニケーションの過程において様々な問題が起こる。その要因を異文化間コミュニケーションの学問分野で扱うテーマから考察し、よりよいコミュニケーションをとる方法について学んでいく。

①異文化コミュニケーション　②不確実性の回避　③カルチャーショック

512017 コミュニケーションⅡ

非常勤講師　小河　奈保子

コミュニケーションを言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションに分類し、それぞれの特徴を異文化間コミュニケーションの学問に基づき考察していく。授業では、日常で無意識に行動する場面を意識化し、さらに分析する思考力を養うことに主眼をおく。

①非言語コミュニケーション　②言語コミュニケーション　③空間

512018 Multicultural America

教授　スナイダー　，マイケル

This course will present the history of the United States as the story of many different ethnic and cultural groups. The instructor will give an overview of the waves of immigration to North America that formed the present population of the United States.

① ethnic　diversity　② immigration　③ struggle for equality

15-3 生活文化学専攻

授業科目	担当者	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
						開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
デザイン表現	吉崎	513001		②		
テキスタイル・インテリア造形論	菊地（美）	513002		②		
テキスタイル・インテリア造形演習A	菊地（美）	513003	①			
テキスタイル・インテリア造形演習B	谷井	513004		①		
生体環境論	猪又	513005		②		（環境）
被服造形科学	角田	513006	②			（環境）
染色加工学	大津	513007	②			
色彩情報論	大津	513008		②		
繊維加工学	大津	513009		②	同	（環境）
マーケティング論	江戸	513010	②			（環境）
ファッションサイエンス特別演習	生活文化学専攻教員	513011	①	①		
近代建築史	堀内	513012	②		同	●（環境）
建築史特講（日本建築の特質）	平井（聖）	513013		②	同	●（環境）
住居史	礒野	513014	②	②	□	●
建築構造学	小粥	513015	②	②		●
建築計画Ⅰ	芦川	513016	②		同	●（環境）
建築計画Ⅱ	金尾･木村（信）	513017		②	同	● 20単位以上選択
都市デザイン論	金尾	513018	②		同	●（環境）
建築デザイン論	芦川	513019	②	②	同	●（環境）
建築設備	佐野	513020	②	②	同	●（環境）
環境心理学	友田	513021	②	②	同	●（環境）
インテリアデザイン及び演習	倉島	513022	②	①		●
設計演習	生活文化学専攻教員	513023	②	②	同	[4] ●（前・後期資格必修）（環境：設計製図Ⅱ）
住居史演習	礒野	513024	①	①		● 1科目選択必修
建築計画演習	木村（信）	513025	①	①		
女性と福祉・健康	熊澤	513026	②	②		
女性学演習	熊澤	513027	①	①		
特別研究	生活文化学専攻教員	513028	4			●

注　1．専攻科生は、終了に必要な 30 単位中、7 単位までを「生活環境学科の専門科目」の履修によって取得することができる。
「生活環境学科の専門科目」とは、同学科カリキュラム表の履修可能範囲欄に「専」と書かれている科目である。
2．2 級建築士･木造建築士試験受験資格(卒業後実務 2 年)を短期大学部文化創造学科で取得し、専攻科において「実務 0 年」の受験資格を得ようとする者は、●印の科目（30 単位）を取得しなければならない。

授業概要

513001 デザイン表現

非常勤講師　吉崎　えり

いろいろなデザインや造形に欠かせない視覚的、素材的な表現について、その基礎的な知識と効果、表現方法を具体的に学ぶ。

①視覚的素材感　②平面から立体、空間の生成　③オブジェ

513002 テキスタイル・インテリア造形論

教授　菊地　美知子

造形とは形を作り出すことである。そこに作り手としての自己を欠くことはできない。はじめにテキスタイル造形に関わる時代背景を考察し，現代，および将来を展望する。次に“内にある形”を見いだし，その形を作り替えることの意味を考える。さらに対になるキーワードで対概念を言語化することにより，より観念的で具体的である造形についての考察を試みる。

①テキスタイル造形　②内にある形　③対概念の言語化

513003 テキスタイル・インテリア造形演習 A

教授　菊地　美知子

自己表出の手段として、テキスタイル（主に繊維をマテリアルとする）による造形表現を学ぶ。

①テキスタイル造形　②素材研究　③インテリア・オブジェ

513004 テキスタイル・インテリア造形演習B

教授　谷井　淑子

テキスタイル・インテリア造形Bの基礎の上に、デザイン、技術面ともに応用発展させた造形作品の制作を試みる。身近な素材である布や糸による表現の可能性を模索し、発想力、表現力を高めることを目標とする。

①素材研究　②表現技法　③構成・配色

513005 生体環境論

教授　学術博士　猪又　美栄子

生体とその最も近い環境である衣服や空間との関係について探求する。身体寸法・動作などの人間の特性の測定・評価、それらの人間因子と身につける衣服や、椅子・机をはじめとした身近なものとの関係や、温熱環境との対応について取り上げる。

①環境　②人間因子　③生活

513006 被服造形科学

教授　博士（学術）　角田　由美子

多様化するアパレル生産においては素材の物性、体型情報、デザイン、パターン、縫製技術の関連を科学的に分析する必要がある。本講義では素材の物性を把握し、パターンメーキング、縫製に応用し、製品の客観的な評価ができることを目指す。

①素材の物性　②パターンメーキング　③可縫性

513007 染色加工学

教授　博士（学術）　大津　玉子

染色加工は、被服などの繊維製品の審美性を高め、品質、性能を最終的に決定する重要な技術手段である。その理論と技術を解説し紹介する。また、染色堅ろう度など消費科学的面についても取り上げ、染色加工の全容を把握する。

①繊維構造と染色性　②機能加工　③染色加工製品の消費性能

513008 色彩情報論

教授　博士（学術）　大津　玉子

アパレルやインテリアはもちろん、生活全般において視覚からの情報が増大し、色の果たす役割は益々重要になっている。色彩科学から心理まで、色に関する知識、技術について学び、価値ある色彩情報とは何かを考察する。

①色　②色彩の心理　③色彩情報

513009 繊維加工学

教授　博士（学術）　大津　玉子

繊維を改質し機能性を向上させて付加価値を高めるために、繊維製品には各種の加工が施されている。主な加工法とその原理、各種の加工とそれに使用される加工剤、加工による効果を中心に解説する。

①物理的加工　②化学的加工　③樹脂加工

513010 マーケティング論

非常勤講師　江戸　克栄

マーケティング及びマーケティングミックスの基本と、アパレル産業におけるマーケティング活動の実際を業界の各段階での手法を事例にして解説する。ブランド、消費者、顧客についてもふれていく。

①マーケティング　②市場環境適応　③ファッション

513011 ファッションサイエンス特別演習

生活文化学専攻教員

デザイン、企画・造形、テキスタイル、消費の分野に分かれ、作品制作、実験、調査などを行うために、演習を通して知識、技術を習得する。

①デザイン　②企画造形　③テキスタイル

513012 近代建築史

教授　工学博士　堀内　正昭

産業革命以後を近代として捉え、19 世紀の様式建築と技術遺産から、世紀末、20 世紀のモダニズム、そして戦後のポストモダニズムまでを取り上げて、近代建築の果たした役割と意義を問い直していく。

①モダニズム　③ポストモダニズム　④歴史主義

513013 建築史特講 （日本建築の特質）

特任教授 工学博士 平井 聖

日本建築に関わる様々な技術と生活様式について、それぞれヨーロッパや東洋の中国・韓国の事情と比較しながら、その特徴、成立過程、変遷を具体的に考える。

①日本建築 ②技術 ③建築図面 ④建築道具

513014 住居史

准教授 博士（学術） 礒野 さとみ

現在の住宅は、和室と洋室、床座と椅子座が混在した状況である。これらは明治以降、近代化・欧米化・多国籍化の中で形作られてきたといえよう。本講座では、江戸時代以降の都市住宅の変遷について考えていきたい。

①書院造り ②床の間 ③欧米化 ④住宅改良 ⑤建築家 ⑥都市住宅

513015 建築構造学

非常勤講師 工学博士 小粥 庸夫

建築の芸術性と機能性は、構造上の合理性が前提となって存在するものである。その構造上の合理性について、建築全体として総合的に論ずる。加えて、建築の材料別あるいは部位別に、構造上の特徴などについて、基本的なことを解説する。

①荷重と外力 ②構造体に作用する力の流れと応力 ③基礎構造 ④木構造 ⑤鉄筋コンクリート構造 ⑥鉄骨構造

513016 建築計画Ⅰ

教授 工学博士 芦川 智

建築の種類別に、その建築を計画してゆく時の基礎的な条件を整理、把握し、設計をする場合に理解を深めるための科目である。建築の種類毎にⅠ,Ⅱに区分する。住環境に付随して計画ざれる公共、文化、教育、商業施設等をあつかう。

①公共施設 ②教育施設 ③文化施設 ④医療施設⑤レクリエーション施設 ⑥計画基礎 ⑦設計条件

513017 建築計画Ⅱ

教授 木村 信之
教授（工学） 金尾 朗

建築の種類別に、その建築を計画してゆく時の基礎的な条件を整理、把握し、設計をする場合に理解を深めるための科目である。建築の種類毎にⅠ,Ⅱに区分する。住環境に付随して計画ざれる公共、文化、教育、商業施設等をあつかう

①学校 ②病院 ③福祉施設 ④劇場 ⑤集合住宅 ⑥計画基礎 ⑦設計条件

513018 都市デザイン論

教授 博士（工学） 金尾 朗

現代における都市空間及びそこにおけるデザイン行為、計画、様々な議論等について紹介、考察し、現在の都市における多様な状況、環境等について考えていく。

①建築と都市 ②都市空間 ③分析

513019 建築デザイン論

教授 工学博士 芦川 智

建築の造形表現の変遷を概観した上で、空間一般における事象の造形的表現を方法論として考えてゆく。現代の架構方法を建物種別毎に概観し、現代を支えている近代からの流れ、さらには建築史の流れの中にその源を探ってゆく。

①空間形態 ②架構 ③建築史 ④空間造形 ⑤造形表現 ⑥様式史

513020 建築設備

教授 博士（工学） 佐野 武仁

建物が完成し使用が始まると、建築設備の内容によって使用時の快適性は変わる。前期は、水を主体とした給排水衛生設備および空調設備の熱負荷計算までを、後期は、空調設備のダクト以降終わりまでと、照明・動力などの電気設備について講義する。

①設備のシステムデザイン ②給排水・給湯・衛生器具 ③空気環境 ④電気設備 ⑤照明と光環境 ⑥情報通信技術

513021 環境心理学

教授 工学博士 友田 博通

機能からさらに快適性・文化性の問題に踏み込み、日常生活における 様々な人間行動について、人間と人間の心理・人間と空間の心理・深層心理・流行現象といった環境心理学の立場から分析し、住居を中心とする様々な生活環境の在り方を提案していく。

①住環境 ②人間と人間の心理 ③人間と空間の心理 ④人間特性

513022 インテリアデザイン及び演習

非常勤講師 倉島 和弥

基本的なインテリア構成の方法・手法・考え方を、実例を通して学習する。素材や色の扱い方を、簡単な作業を通して習得する。（前期は講義を中心にするが、作業課題を通して実感しながら習得する）

①発想力・想像力 ②創造力・構成力 ③総合力

513023 設計演習

生活文化学専攻教員

建築を計画するには、まず空間のイメージをつくり、それを具体的な建築に対応しうる構造的、材料的、設備的な裏づけをもった諸要素の設定を行い、図面で表現してゆくことが基本である。設計製図Ⅰで習得した基礎技術をもとに、より発展した設計技法と表現技術をマスターしていく。建築中心の課題設定を行っていく。

①空間のイメージ　②構造と空間　③設計製図　④表現手法　⑤設計技法　⑥建築デザイン　⑦プレゼンテーション

513024 住居史演習

准教授　博士（学術）　礒野　さとみ

本演習は、特別研究のテーマとして日本の住居史に関する分野を選択した学生が受講する科目である。 文献購読により住居史に関する専門的知識を深める。合わせて、論文や作品提出までの進め方、参考文献及び資料収集とその分析方法などについて学んでいく。

①文献購読　②研究資料収集　③特別研究　④空間デザイン

513025 建築計画演習

教授　木村　信之

特別研究履修者を対象に建築計画における様々な調査・実験手法と分析手法を紹介し、演習を通して習熟をはかる。また、今日の生活環境について考え、建築の果たす役割にかかわる各自の研究テーマを煮つめていく。

①建築計画　②調査手法　③実験手法

513026 女性と福祉・健康

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

女性の一生にわたる変化について心身の両面から学習する。そしてライフステージの各期の健康管理を解説する。女性の「性」について理解することからスタートし、生涯にわたる健康管理と福祉の現状、女性にもたらす福祉の向上について学ぶ。女性福祉の視点で講義を展開する。

①女性の特質　②心身の変化　③健康管理と福祉

513027 女性学演習

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

本演習は女性の特質について学び、女性を取りまく環境の諸問題を文献、データ、調査から学習し討論する。女性史からはその人物の生き方を時代的・社会的な背景を理解して考察し、論文作成に取り組む。

①女性学　②女性史と事例研究　③質的研究

513028 特別研究

生活文化学専攻教員

履修者は、研究テーマを設定し、論文、制作、設計のいずれかの形式を選択して、その成果を教員の指導のもとにまとめていく。

①論文　②制作　③設計

15-4 食物科学専攻

	授業科目	担当者	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
							開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③□印は同系列学生履修可 ④同印は同時開設科目 ⑤★印前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず
専門科目	公衆衛生学特論	蔵楽	514001	②		□	
	病理学特論	渡辺（豊）	514002	2		□	食物科学科２年次生も履修可
	食物学特論Ⅰ	竹山	514003	2		□	
	食物学特論Ⅱ	秋山	514004	②		□	
	食物学特論Ⅲ	福島	514005	②			
	食品衛生学特論	本郷	514006	②		□	
	食物学特論実験	田中	514007	②		□	〔4〕＊：3科目中いずれか1科目必修
	微生物学特論演習	本郷	514008		②		〔4〕
	栄養学特論Ⅰ	黒崎	514009		2		
	栄養学特論Ⅱ	田中	514010		②	□	
	臨床栄養学特論	吉田	514011		②		
	栄養生化学特論実験	曽田	514012	②		□	〔4〕＊：3科目中いずれか1科目必修
	栄養学特論実験	黒崎	514013	②			〔4〕＊：3科目中いずれか1科目必修
	栄養教育特論	蕨迫	514014	2			
	公衆栄養学特論	蕨迫	514015		②		
	栄養教育特論演習	横山	514016		2		〔4〕
	調理学特論	横塚	514017	②			
	調理学特論演習	比護	514018		②		〔4〕
	特別研究	専任教員	514019	4			
専門関連科目	社会福祉特論	伊藤（純）	514020	②			福祉環境学科開設「高齢者の生活と福祉」で代替
	臨床心理学特論	木内	514021		2		
	情報処理演習	後藤	514022		2		
	外国文献講読演習	笠井	514023		1		
	消費者経済特論	首藤	514024		②	□	
アメリカ栄養士体験コース			514025	②			
アメリカ食生活研究コース			514026	②			ボストンサマーセッション科目

1．専攻科生は、専門科目・専門関連科目から 31 単位以上履修すること。
2．本学の食物科学科の専攻科を修了した後、更に本学又は他大学の学部等で科目等履修生として一定の単位を履修・修得し、［学位授与機構」で、総修得単位を認定され、論文を提出した上で審査に合格すれば学士（栄養学）の学位を取得することができ、昭和女子大学から学士の学位が追認されます。
3．本専攻科修了者は、修業年限３年の栄養士養成施設修了の適用を受けることができます。
4．管理栄養士国家試験の際、実務経験を２年に軽減することができます。
5．授業時間数は備考欄に［　］表示するものを除いて通常 90 分とする。［4］180 分授業。

授業概要

514001 公衆衛生学特論

教授　蔵楽　正邦

国民の健康は、公衆衛生の向上、発展により成り立つ。国民の健康問題を明らかにし、解決に拘わる理論として、疾病の疫学的アプローチ、食生活と疾病、社会生活と環境など現状と対策について講義する。

①衛生行政　②生活習慣病と食生活　③疫学

514002 病理学特論

非常勤講師　医学博士　渡辺　豊

病理学は病気の本体を形態学により追及する学問であり、講義では、病気を原因別に分類し、その形態学的異常を示説する。病気を正確に理解し、記載するのに不可欠な医学用語も病理学に由来するものが多く、これについても解説する。

①病因　②形態学的異常　③医学用語

514003 食物学特論Ⅰ

准教授　博士（学術）　竹山　恵美子

食品中の機能性成分のうち、特にダイエタリーファイバー、オリゴ糖に関するこれまでの知見について講義し、現実の食生活で食品が持つ第三次機能を科学的に考察する。

①機能性食品 ②ダイエタリーファイバー ③プレバイオティクス

514004 食物学特論Ⅱ

准教授　博士（学術）　秋山　久美子

食品の機能として、第二次機能の『嗜好』について、第三次機能の『機能性成分』について講義する。機能性成分では、特に機能性糖質について、その働き、分析方法、調製方法について説明する。

①機能性食品 ②ダイエタリーファイバー ③プレバイオティクス

514005 食物学特論Ⅲ

教授　博士（学術）　福島　正子

食品を生産および製造から流通・消費までの流れの中でとらえ，食品の保存性や安全で合理的な加工食品の流通について食品包装学的観点から学ぶ。

①食品の流通　②食品の安全性　③食品成分の変化

514006 食品衛生学特論

非常勤講師　本郷　泰生

我々が摂取している飲食物は、多種多様の微生物、化学物質に汚染されている可能性がある。さらに加工食品には、添加物が使用され必ずしも安全とは言い難い。そこで安全な食品と危険な食品の違いを把握するために、微生物汚染と化学物質汚染について講ずる。

①飲食物　②微生物汚染　③化学物質汚染

514007 食物学特論実験

教授　博士（学術）　田中　伸子

食物中の機能性成分（ポリフェノール類や脂肪酸）に注目し、その働きについて科学実験を基に解析し、食物を多角的に学習することを目標とする。さらに、機器分析をできるだけ多く取り入れ、最新の技術の習得をはかる。

①食品の機能性成分 ②クロマトグラフィー ③機器分析

514008 微生物学特論演習

非常勤講師　本郷　泰生

微生物の中から、細菌として大腸菌群（野菜から分離）・乳酸菌（乳酸菌飲料から分離）、酵母としてS. cerevisiae、黴としてA sp. oryzae の生化学的性状などを調べる。乳酸菌、酵母、黴については、発酵生成物質を利用した発酵試験を行う。

①微生物　②生化学的性状　③検索・発酵試験

514009 栄養学特論Ⅰ

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

栄養と健康の密接な関わりを広く復習し理解する。また、栄養の基本である三大栄養素の構造や消化吸収・代謝、及び微量栄養素の働きや欠乏症などについて復習する。さらに、栄養学の最新事項について講義する。

①栄養と健康　②三大栄養素　③微量栄養素　③疾病予防

514010 栄養学特論Ⅱ

教授　博士（学術）　田中　伸子

人体における栄養成分の消化・吸収・代謝の流れを、分子・細胞レベルで解説し理解を深める。特に生体の複雑な仕組みを理解するために、膜機能発現に必要とされている特定の脂質を通じて、生体膜の機能を中心に考察を加える。

①生体膜　②認識・応答・情報伝達　③構造脂質（膜脂質）

514011 臨床栄養学特論

非常勤講師　吉田　美津子

臨床栄養アセスメント、栄養ケアプランの作成・実施・評価を総合的なマネージメントについて理解を深め、疾病別、年代別等個々における栄養管理条件の把握のポイントと栄養補給法の適正な選択、さらに食品と医薬品、保健機能食品や特別用途食品等の相互作用について、又チーム医療での役割（NST も含めて）や介護制度と栄養士の役割について教授する。

①栄養教育　② EBN（Evidence Based Nutrition）　③栄養教育評価

514012 栄養生化学特論実験

准教授　農学博士　曽田　功

栄養生化学の理論を実際的により深く理解する目的で実験を行う。本実験では、生体内の複雑な代謝を秩序と合目的性をもって進行させている酵素、酵素を形成しているタンパク質をとりあげる。

①酵素　②触媒　③タンパク質

514013 栄養学特論実験

講師　博士（学術）　黒崎　瑠美子

栄養素の消化、吸収、代謝について復習し、これに関する実験を行う。さらに、栄養素代謝異常等の各病態について理解し、栄養生理実験を行う。

①栄養素　②消化吸収　③代謝　④代謝異常

514014 栄養教育特論

准教授　蕨迫　栄美子

栄養教育の原則である6段階（栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、実施、モニタリング、評価）を踏まえ、栄養・健康教育のスキルアップを目的とする。行動科学からみた食行動変容の機序、情報収集の方法、栄養教育計画・目標、学習形態、カウンセリング、問題解決型学習、ＩＴ活用、栄養教育評価法について演習も交え修得する。

①栄養教育　②教育媒体　③食行動変容

514015 公衆栄養学特論

准教授　蕨迫　栄美子

個人および集団の健康の維持増進をはかるために、健康づくりと疾病予防について栄養学的立場から考える。国民栄養の現状と動向を把握し、健康日本21の浸透啓蒙も含め、地域公衆栄養活動の展開について学習する。

①健康増進　②栄養行政　③公衆栄養プログラム

514016 栄養教育特論演習

非常勤講師　横山　きよ

生活習慣病の予防や心身の健全なライフスタイルの確立が重要であり、そのための幼児期・学童期からの基礎的な食教育も重要である。そこで、生涯にわたる食生活の現状を把握し、それぞれの施設に即した栄養教育の計画立案、実施、評価を通し、望ましい健康教育のあり方を修得する。

①食教育の重要性　②食の自己管理　③食を通した人間関係の育成

514017 調理学特論

准教授　博士（学術）　横塚　昌子

調理の役割は、食品に調理操作を加え、安全で栄養的にも優れ、嗜好性に富んだ食物を創造することである。食物の創造に欠かせない自然条件の活用や調理による食品成分、組織構造、物理的性質の変化等に関する考察を行う。

①自然条件と食品特性　②調理操作　③嗜好性

514018 調理学特論演習

教授　比護　和子

調理操作中の食品変化の現象は複雑多岐にわたっている。そこで実習を通して、調理操作中の現象変化を的確にとらえ、さらに食品の調理特性について理論的に解明していく。実習は少人数で実施し、献立作成、豊かな食卓の演出が出来るよう理論と技術を習得する。

①調理操作　②食品の変化　③食卓の演出

514020 社会福祉特論

准教授　博士（学術）　伊藤　純

本講義では少子高齢化と社会的問題、高齢者の生活の現状と福祉ニーズ、高齢者福祉の歴史、サービス提供組織、地域ケアと家族介護者支援並びに高齢者の生活環境について学ぶ。

①少子高齢化　②高齢者の生活と福祉ニーズ　③地域ケア

514021 臨床心理学特論

非常勤講師　木内　喜久江

自己理解や他者理解について学ぶとともに、各種心理的アプローチを使って自分を生き生きと発揮するための技法を習得する。また、栄養カウンセリングに必要なスキルと構えを演習を通して身につける。

①栄養カウンセリング　②傾聴　③コミュニケーション能力

514022 情報処理演習

非常勤講師　後藤　涼子

コンピュータを活用した情報の収集･検索、整理、加工、発信についての総合演習を行う。Windows の基本操作から、インターネットの情報活用と電子メール、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの各アプリケーションの基本操作を体系的に学ぶ。

①情報処理　②インターネット　③ Microsoft Office アプリケーション

514023 外国文献講読演習

非常勤講師　笠井　逸子

外国文献の購読は、専門分野における新しい知見を得る重要な手段である。栄養・食品・健康に関するテーマを中心に、英語で書かれた文献を読みこなすための演習を行う。食のスペシャリストとして現代社会のニーズに応えていける広い視野をもつことを目指す。

①原文の理解　②食に関する実用英語　③グローバルな視野

514024 消費者経済特論

非常勤講師　首藤　宣弘

食の世界は生産者主導から消費者主導に変わった。消費者のライフスタイルや嗜好の多様化に対し、カスタマー・サティスファクション（顧客満足）を提供できない企業はマーケットから消えていく。フードビジネスにおいて、売る側に求められる最低限の知識を取り上げてみたい。

①消費者と流通革命　②マネジメント　③消費者問題など

514025 アメリカ栄養士体験コース

食物科教員

アメリカにおける栄養教育・健康保持のための取組み・栄養士養成大学での交換・栄養士業務の見聞等を通して、栄養教育・栄養士の社会的使命の重要性を再認識し、国際的視野を養う。

①栄養教育　②体験学習　③栄養士業務見聞

514026 アメリカ食生活研究コース

食物科教員

見学・研修・実習等を通して、アメリカにおける食物の生産・流通システムやアメリカ人の食生活の実態等について学び、日本人の食文化と比較する。授業を通して、健康な人間生活における食文化の重要性に対する理解を深める。また将来栄養士・管理栄養士として必要な見聞を広め、幅広い教養を身につける。

①食料の生産・流通　②食生活　③食文化

15-5 保育学専攻

系列	授業科目	担当者	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	保育士資格	履修可能範囲	備考
								開設単位： ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 **履修可能範囲：** ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科生履修可 ③□印は同系統学生履修可 ④同印は他学科同時開設科目 ⑤★印は前・後期同一内容 ⑥×印は本年度開講せず ⑦＃印は一般教養にならない
保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論	月田	517001	②		◆	同	（福祉・初教）
	社会福祉援助技術	南野	517002	②		◆		
	児童福祉論	爾	517003	②		◆		
	家族福祉論	天野	517004	②		◇	同	（福祉） ※
	地域福祉論	永山	517005	②		◇	同	（福祉・初教） ※
	地域施設マネジメント論	高橋（久）	517006	②		◇	同	（福祉・初教） ※
	保育行政論	柴田（炤）	517007		②	◇		※
	保育環境論	柴田（炤）	517008	②		◇		※
	世界の保育	松本（淳）	517009	②		◇		※
	児童館の機能と運営	針山・澤畑	517010	②		◇		※
	児童の健全育成と福祉	澤畑	517011		②	◇	同	（初教） ※
保育の対象の理解に関する科目	小児保健Ⅰ	志賀	517012	②	②	◆◆		※左記18科目のほかに、子ども教育学科開設科目「教育心理学Ⅱ」「乳幼児心理学」を含めた計20科目の中から、20単位以上選択必修
	小児保健Ⅱ	井上（玲）	517013		①	◆		
	小児栄養	巌迫	517014	②		◆		
	精神保健	白坂	517015		②	◆	同	（初教）
	児童・家庭ソーシャルワーク	池上	517016	②		◆	同	（福祉・初教）
	臨床心理学	石井（正）	517017		②	◇	同	（福祉・初教） ※
	対人コミュニケーション	海野	517018	②		◇	同	（初教） ※
保育の内容・方法の理解に関する科目	障害児保育	石井（正）	517019		①	◆		
	養護内容	南野	517020	①		◆		
	保育実践研究	丹野	517021	②		◇		
	保育ソーシャルワーク	高橋（紘）	517022		②	◇	同	（福祉・初教） ※
	在宅保育研究	爾	517023		②	◇		※
	病児保育研究	榊原	517024		②	◇	同◎	（初教）〈集中〉 ※
	レクリエーション援助法	神谷	517025		②	◇		※
基礎技能	幼児音楽演習A		517026		②	◇	×	（H 20 年度開講せず） ※
	幼児音楽演習B	木間	517027	②		◇		※
	幼児造形演習	清水（満）	517028	②		◇		※
保育実習	保育実習の指導ⅠB	石井（正）	517029	①		◆		
	保育実習ⅠB（施設）	駒谷・石井（正）・爾	517030	②		◆		
	保育実習Ⅱ（保育所）	駒谷・石井（正）・爾	517031	②		◇		左記2科目の中から2単位選択必修
	保育実習Ⅲ（施設）	駒谷・石井（正）・爾	517032	②		◇		左記2科目の中から2単位選択必修

1．修了要件：保育学専攻開設科目から 30 単位以上を修得すること
2．保育士資格取得要件：子ども教育学科で幼稚園二種免許状を取得し、保育士資格取得のための要件にしたがって単位を修得すること

授業概要

517001 社会福祉原論

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

現代社会における社会福祉の理念と意義について事例研究や演習形式等で授業を進める。社会福祉サービス体系と対象理解、援助の方法、福祉関係法制や財政、費用負担、諸外国の動向や専門職の内容と専門性について学ぶ。

①福祉環境　②憲法２５条　③人権尊重と権利擁護　④自立支援

517002 社会福祉援助技術

非常勤講師　南野　奈津子

保育実践に必要な社会福祉援助技術の展開と取り組みについて、演習形態により現場実習体験と関連させながら具体的に学習する。授業を中心に個別指導や集団指導を通して、各実践分野の特質に配慮した社会福祉援助技術実践の基礎的理解と自己覚知を深めることを促す。

①社会福祉援助技術　②保育専門職　③児童の最善の利益

517003 児童福祉論

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

現代社会における児童福祉の理念や意義と児童の成長・発達、生活実態について理解する。児童福祉関係法とサービス体系について学び、社会的背景や歴史から児童福祉の必要性を考える。

①子どもの権利に関する条約　②子育て家庭支援　③社会的養護　④自立支援　⑤施設ケア　⑥地域支援ネットワーク

517004 家族福祉論

教授　博士（学術）　天野　寛子

現代の日本社会において、子どもをもつ家族がどのような問題に直面しているか、家族理解を深める。日常生活のなかでの家族支援のためのどのような資源があるのかについての基本的理解をはかる

①家族　②家族福祉　③保育支援

517005 地域福祉論

教授　永山　誠

地域福祉は、21 世紀社会福祉の基本領域となる。講義では、法律、制度、サービス、システム等の面からその基本的内容を学び、加えて、在宅福祉サービス、住民参加、社会福祉協議会、地域福祉活動等の具体的内容を理解する。

①地域福祉　②住民参加　③福祉コミュニティ　④社会福祉協議会

517006 地域施設マネジメント論

准教授　高橋　久雄

社会福祉施設は、制度改革の流れのなかで、経営主体の多様化、公立から民間への移行、措置から利用へとシステムの変換が進み、併せてサービスの標準化と質の向上の課題に対し、苦情解決や第三評価、情報開示等の仕組みの導入が行われている。そして、利用者サービスのみならず地域福祉へと機能の拡大が法的にも位置づけられている。本講座では児童養護施設をモデルに、従来の実践を基礎とし職員の専門性や適正、組織のあり方、財源の確保等施設の運営と経営について課題を整理し方向性を検討していく。

①施設養護　②地域福祉　③施設運営と経営

517007 保育行政論

非常勤講師　柴田　炤夫

乳･幼児教育の重要性とその役割と実践の研究。少子･高齢化社会を迎え、子どもが成長していく環境も大きく変わり子育てのあり方も変革していく。保育園と幼稚園の比較、新しく誕生した認定こども園の理解、保育所保育指針を通して、最新の子育て行政の情報を具体的な事例を通して考察していく。保育者の途の選択を目の前にして、現実の保育の現場の情報を提供したい。

①認定こども園の方向性　②保育所保育指針の研究　③家庭を軸とした子育て行政のあり方の課題

517008 保育環境論

非常勤講師　柴田　炤夫

乳・幼児教育の重要性とその役割と実践の研究。少子化高齢化社会を迎え、子どもの成長していく環境も大きく変わり子育てのあり方も変革していく。変わる物と、不易のものとを最新の情報と具体的な事例を通して考察していく。大人の利便性ではなく子どもの権利を優先する環境のあり方を究明していく。

①子どもの生活　②養護と教育　③幼稚園・保育所・学校・家庭の連携

517009 世界の保育

准教授　松本　淳

この授業では､以下の２つ事柄を探究する｡その1つは､世界の保育・子育てを知り、日本の保育を振り返る事柄。もう一つは、国や民族が違っても変わることのない「人間」に対する理解を深める事柄である。

①子育て　②基盤論　③異文化

517010 児童館の機能と運営

非常勤講師　針山　直幸
非常勤講師　澤畑　勉

児童館は、子ども達の居場所である。自由来館ゆえに、子どもたちに選ばれるかどうかは、職員の資質によるところが大きい。子どもの生活領域の大人と協力関係をどう作り出していくのかの視点も大切である。子どもに信頼される存在が、児童館が身近な「相談所」になり得るかが決定する。子ども時代の思い出の中に児童館がいつまでも存在できるように頑張りたいものだ。

①信頼　②いのち・人権　③ソーシャルワーク

517011 児童の健全育成と福祉

非常勤講師　澤畑　勉

健全育成とは、誰にとって健全に育つという意味か考えてみる必要がある。すべての考えの中心に「子ども」が大切にされなければならない。「子どもの権利条約」「児童福祉法」の中に出してくる健全育成をもう一度見直す必要がある。「子どもの権利条約」の中で守りきれなかった課題が、福祉の諸問題を発生させている。私達の生活レベルの所で「子どもの成育を見つめていく大人達の健全な姿勢」が問われている。

キーワード ①子どもが主役　②健全育成　③エンパワーメント

517012 小児保健Ⅰ

教授　博士（医学）　志賀　清悟

小児福祉や保育など医療関連領域を目指す人々が、こどもの発育発達と健康や疾病の関わりについて学ぶことを目的とする。

キーワード ①小児の特徴　②保育　③病児保育　④こどもの生活　⑤こどもの病気

517013 小児保健Ⅱ

非常勤講師　井上　玲子

小児の健全な成長発達を理解するための実践能力を身につける。小児特有の疾患や不慮の事故に伴う看護・養護の技術を習得する。小児が健全な生活を送れるための援助技術を身につける。

キーワード ①小児の成長発達　②養護　③援助技術

517014 小児栄養

准教授　蕨迫　栄美子

小児期の特徴である「発育発達」に食生活は大きな影響を及ぼしている。しかも、その人間の将来にわたる長期的かつ多面的な影響因子の1つである。この小児期の栄養に関する基本的理論を体系的に講義し、実践的な事例を通してその理解を深める

キーワード ①栄養素と食事摂取基準　②乳汁栄養と離乳　③食教育

517015 精神保健

非常勤講師　白坂　香弥

乳幼児期から思春期までの発達の様相を理解し、心身ともに健康な発達を促すかかわりを自分で考えることができるようにする。保育士の心の健康についても触れ、受講する学生自身が自分を振り返る機会を設けて、成長につながる内容にしたいと考えている。最近の保育の現場では、保護者への子育ての援助に携わる機会も増えてきており、保育における精神保健の意義は大きいといえる。

キーワード ①心の健康　②問題行動　③育児支援

517016 児童・家庭ソーシャルワーク

非常勤講師　池上　和子

児童と家庭を取り巻く問題を社会的養護状況に焦点をあててその現代的動向を先進諸国における子どもの時期の養育環境とその後の人生に及ぼす影響および児童福祉の課題を中心に検討する。それをふまえてわが国における社会的養護の問題を政策や制度を超えた先進諸国共通の本質的な福祉臨床的課題という新しい視点から学ぶ。

キーワード ①社会的養護　②養育環境とライフ・コース　③児童虐待

517017 臨床心理学

講師　石井　正子

臨床心理学とは「こころの病」に取り組む学問である。「こころの病」は人間であればたいてい身体の病気になったり、怪我をしたりすることがあるのと同じように誰にでも起こりうる。まずは学生が自分自身の「こころの健康」について関心を持ち、身体とこころの密接な関係に気づき、総合的な人間の見方ができるようにしたい。さらに、どのような場合にどのような悩みやこころの問題に直面することになるのかを理解し、こころの健康の維持と回復を支える方法について学ぶ。

キーワード ①心理療法　②心理査定　③不適応行動

517018 対人コミュニケーション

非常勤講師　海野　千細

コミュニケーションとは、それぞれの気持ちや考えなどを互いに伝え合い、理解し合うことである。的確なコミュニケーションは相互の信頼関係を深め、信頼関係の深まりは、相互のコミュニケーションをより豊かにする。信頼関係を深めるためには相手についての理解ばかりでなく、自分自身についての理解も必要となる。日常の自分の在り方を振り返ることによって、コミュニケーションについての理解を深めていきたい。

キーワード ①信頼関係　②自己理解・他者理解　③受容

517019 障害児保育

講師　石井　正子

児童期における様々な心身の障害に関する基本的な知識と、障害児保育を支える理念について学習する。近年「障害児」に対する様々な概念は急速に変化している。特に世界的なノーマライゼーションの推進という潮流の中で、保育の世界でもインクルーシブな保育を行うことが一般的になってきている。障害や遅れを持っている場合でも、さまざまな個性を持った一人の子どもとして理解し、はば広い視野から保育的援助をすることが障害児保育の基本であるということを具体的な保育場面に即して学んでいく。

キーワード ①障害　②保育　③ノーマライゼーション

517020 養護内容

非常勤講師　南野　奈津子

施設養護の内容について基本的理解をもとに、養護計画、記録、援助の実際、ケース検討等を体験的に学ぶ。また、施設と学校や地域、関係機関、隣接領域との連携の仕方について理解する。授業全体を通し児童観と養護観を養う。

①親子関係　②子どもの成長発達　③子どもへの支援

517021 保育実践研究

非常勤講師　丹野　禧子

保育のために必要な乳幼児発達に関する基礎知識を学びつつ、実践との関連づけを試みる。子どもたちが学ぶ喜びや知る楽しさを経験するために、また同時に保育者自身が保育する喜びや楽しさを実感するために、学問と実践の関係を学ぶ。

①発達と保育　②人間関係と遊び　③保育者の役割

517022 保育ソーシャルワーク

非常勤講師　高橋　紘

子育て支援を必要とする家庭への対応、および機関連携のあり方について理解する。保育とソーシャルワークとは、元来別な専門性に基づいており、保育ソーシャルワークとしてはまだ学問体系として確立してはいない。しかし、子育て環境が大きく変化し、育児不安を持つ母親、さらに子どもの問題の発見、問題を抱える親への支援活動が期待されるようになってきて、新たな保育士業務に位置づけられた。本講座では、「保育所で行なうソーシャルワーク」としてとらえ、保育所を中心とした育児に関連する個別相談に対する助言、指導、家庭支援のあり方、及びグループワークについて学習をしたい。また地域ネットワークの中で保育所がどのような役割を担うのかも学びたい。

①保育相談　②児童虐待　③子育て家庭支援

517023 在宅保育研究

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明

個人宅における乳幼児の個人もしくは、小集団の保育について学ぶ。在宅における保育の特殊性や在宅保育の子育て支援としての役割について、また、職業としての在宅保育と法的責任を理解する。また、1対1, 2程度の少人数の保育に対しての理解を深めると同時に、病後児保育、多胎児（双生児）保育、障害児保育、外国籍児の保育、そして産後のケアについて理解する。在宅保育におけるマナーや緊急時の対応についても理解する。

①在宅保育　②ベビーシッター　③多胎児保育

517024 病児保育研究

非常勤講師　榊原　洋一

保育の対象となる乳幼児は、常に健康であるわけではない。乳幼児に良く見られる疾患と慢性疾患についての基本的な医学的知識を学ぶ。

①乳幼児疾患　②慢性疾患　③病児

517025 レクリエーション援助法

非常勤講師　神谷　明宏

伝承あそびを中心に、その指導方法を学び、保育現場での実践に即した保育実技を、演習を中心に深める。

①保育実技　②表現演習　③児童文化

517027 幼児音楽演習B

教授　博士（学術）　木間　英子

幼児教育で行われる音楽活動の中から、主として楽器を使った活動を取り上げる。音を鳴らす、つくる、合わせるなど、楽器による音楽表現のさまざまな様態を検討する。また、指導者として習得しておくべき楽器の知識や技能、指導方法についても実践を通して学ぶ。

①音づくり　②器楽アンサンブル　③編曲

517028 幼児造形演習

教授　清水　満久

造形活動の基礎的基本的な内容について, 実践的に理解を深める。また, 幼児の造形活動に関する表現技能などの多様な能力を獲得する。形や色などの構成や主体的な造形活動の内容について, 講義や演習などを通して技能等の習得を図る。

①幼児の造形活動　②形や色の構成　③表現技能

517029 保育実習の指導ⅠB

講師　石井　正子

施設実習の事前指導として、必要な知識・技術を習得し、実習目標・課題を明確化する。また、ビデオ視聴や先輩の実習体験の情報を得ることにより、実習のイメージを作り、円滑に実習を進めるために必要な具体的準備や留意点を確認する。事後指導においては、各自の実習を省察し、お互いに話し合うことによって体験を共有し、視野を広げる。さらに実習体験のまとめと客観的な振り返りを行う過程で、自分自身の問題に目を向け、今後の学習課題と目標をつかむきっかけとする。

①児童福祉施設　②実習目標　③記録

517030 保育実習ⅠB（施設）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明
准教授　博士（学術）　駒谷　真美
講師　石井　正子

居住型児童福祉施設等の社会福祉施設における実習。居住型児童福祉施設や社会福祉施設の保育や生活支援などに参加し、子どもや利用者への理解を深めるとともに、施設の社会的役割と機能について学ぶ。また、そこにおける保育士の職務について学ぶ。子どもや利用者のニーズと養護の支援計画、職員間の連携、記録と保護者や家族とのコミュニケーション、子どもの最善の利益、利用者の人権の尊重、保育士の職業倫理などについて学ぶ。

①居住型児童福祉施設の機能と役割　②施設保育の方法　③保育士の職務

517031 保育実習Ⅱ（保育所）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明
准教授　博士（学術）　駒谷　真美
講師　石井　正子

保育所における実習。保育実習ＩＡ（保育所）において学んだことを基礎として、実際に主体的に保育所の保育を実践する。保育士の責務について理解を深め、必要な資質・能力・技術を習得する。家庭と地域の生活実態に触れて、子どもや家庭の福祉ニーズに対する理解力、判断力や支援能力、カウンセリング力を養う。子どもが抱えている子ども自身や家庭の課題を理解し、対応方法を学ぶ。子どもの最善の利益と保育士の職業倫理について学ぶ。指導保育士の助言の下、自ら指導計画を立案、実践する。

①保育計画立案　②乳幼児保育の実践　③保育士の職務

517032 保育実習Ⅲ（施設）

講師　博士（学校教育学）　爾　寛明
准教授　博士（学術）　駒谷　真美
講師　石井　正子

この科目は保育士資格取得のための保育実習Ⅲ（児童福祉施設での実習）の科目である。また、児童厚生指導員取得のためには、児童館で実習を行わなければならない。保育士という職業は、保育所だけではなく、児童福祉施設も専門性を生かせる職場である。自分の専門性を高めるために、色々な種別の施設で実習を行ったり、深い知識を身につけるために選択することが望ましい。

①保育士　②児童福祉施設　③保育実習

16. 大学院

本大学院の修士課程ならびに博士前期課程は，学部の教育課程を基礎にして，さらに深奥な学術の理論とその応用能力を広い視野に立って学び，同時に研究能力を養い，学術の発展と人類の福祉の増進に貢献することを目的とする。

課程の修了は大学院に 2 年以上在学し，（特に成績優秀な者は在学年数を 1 年とすることもある）所定の開設科目を 30 単位以上修得し，かつ必要な研究指導を受け，修士論文の審査に合格した者に修士の学位が授与される。

本大学院の博士後期課程は修士課程の教育課程を基礎にして，さらに専攻分野について研究者として自立し研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

課程の修了は各課程の定める単位数を修得し，かつ必要な研究指導を受け，博士論文の審査に合格した者に博士の学位が授与される。

※本大学院では男子学生の入学を認めているが，学部開設科目については履修を認めていないので履修にあたっては注意すること。

※平成 18 年 4 月から、「長期履修学生制度」を導入している。この制度は、職業を有している等のため、標準の修業年間（修士課程及び博士前期課程は 2 年、博士後期課程は 3 年）で修了することが困難な学生を対象に、長期の在学期間を計画的に設定して履修することができる制度である。新入生だけでなく、在学中に条件が変化した在学生も収容定員内の範囲で長期履修生に変更可能である。

申請書等の提出期限は、次のとおりとする。

(1) 入学予定者は、入学手続時

(2) 在学生で後期から長期履修学生を希望する場合は 6 月末日、前期から希望する場合は前年度の 12 月 15 日（曜日の関係で、締切日が前日等になる場合もあるので、必ず事前に締切日を教育支援センター大学院担当に確認すること。）

16-1　日本文学専攻　博士前期課程　カリキュラム

(* 本年度開講せず)

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
日本文学特別演習Ⅰ	大倉	2	2	A001		修士論文指導
日本文学特別演習Ⅱ	齋藤	2	2	A002		修士論文指導
日本文学特別演習Ⅲ	岸田	2	2	A003		修士論文指導
日本文学特別演習Ⅳ	吉田	2	2	A004		修士論文指導
日本文学特別演習Ⅴ	太田	2	2	A005		修士論文指導
日本語学特別演習	山田(潔)	2	2	A006		修士論文指導
上代文学特殊研究	神野志	2	2	A007		複数の「古代」
中古文学特殊研究	大倉	2	2	A008		『しのびね』を読む
中世文学特殊研究Ⅰ	齋藤	2	2	A009		世阿弥能楽論の研究
中世文学特殊研究Ⅱ	岸田	2	2	A010		西行とその周辺
近世文学特殊研究	延広	2	2	A011		江戸の芸能―落語
近代文学特殊研究Ⅰ	吉田	2	2	A012		泉鏡花研究
近代文学特殊研究Ⅱ	山田(有)	2	2	A013		文学史研究
近代文学特殊研究Ⅲ	山田(有)	2	2	A014		近代作品研究
日本文学特殊研究	太田	2	2	A015		現代文学研究
上代文学演習Ⅰ*	神野志	2	2	A016		『万葉集』を読む
上代文学演習Ⅱ	神野志	2	2	A017		『万葉集』を読む
中古文学演習Ⅰ*	大倉	2	2	A018		
中古文学演習Ⅱ	大倉	2	2	A019		『源氏物語(常夏・野分)』を読む
中世文学演習ⅠA*	齋藤	2	2	A020		中世和歌文学研究
中世文学演習ⅠB	齋藤			A021		中世和歌文学研究
中世文学演習ⅡA*	岸田	2	2	A022		歌合の研究
中世文学演習ⅡB	岸田	2	2	A023		中世文学評論の研究
近世文学演習Ⅰ*	延広	2	2	A024		注釈の方法
近世文学演習Ⅱ	延広	2	2	A025		注釈の方法
近代文学演習Ⅰ*	吉田	2	2	A026		短編小説の読解
近代文学演習Ⅱ	吉田	2	2	A027		近代の短編小説を読む
日本文学演習	太田	2	2	A028		現代小説を読む
日本語学特殊研究Ⅰ	山田(潔)	2	2	A029		室町時代の語彙と語法Ⅰ
日本語学特殊研究Ⅱ	山田(潔)	2	2	A030		室町時代の語彙と語法Ⅱ
日本語学演習Ⅰ	山田(潔)	2	2	A031		渡辺実「国語文法論」研究
日本語学演習Ⅱ	山田(潔)	2	2	A032		中世文法史研究
中国文学特殊研究	田熊	2	2	A033		『顔氏家訓』を読む

(履修方法)
各分野の特殊研究4科目16単位、専攻する専門分野の演習2科目8単位および特別演習4単位を必修、他は選択として合計30単位以上履修し、修士論文を提出する。

16-1　日本文学専攻　博士後期課程　カリキュラム

(* 本年度開講せず)

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
日本文学特論ⅠB	大倉	2	2	B001		博士論文指導
日本文学特論ⅡB	齋藤	2	2	B002		日本古典文学の理念
日本文学特論ⅢB	岸田	2	2	B003		中世文学研究方法論
日本文学特論ⅣB	吉田	2	2	B004		近代文学研究の方法論
日本文学特論ⅤB	太田	2	2	B005		現代文学研究
日本語学特論B	山田(潔)	2	2	B006		日本語学研究方法論
上代文学特殊研究	神野志	2	2	B007		複数の「古代」
中古文学特殊研究	大倉	2	2	B008		『しのびね』を読む
中世文学特殊研究Ⅰ	齋藤	2	2	B009		『徒然草』研究
中世文学特殊研究Ⅱ	岸田	2	2	B010		西行とその周辺
近世文学特殊研究	延広	2	2	B011		江戸の芸能―落語
近代文学特殊研究ⅠA	吉田	2	2	B012		泉鏡花研究
近代文学特殊研究ⅠB	太田	2	2	B013		川端康成研究
近代文学特殊研究Ⅱ	山田(有)	2	2	B014		文学史研究
近代文学特殊研究Ⅲ	山田(有)	2	2	B015		近代作品研究
上代文学演習Ⅰ*	神野志	2	2	B016		『万葉集』を読む
上代文学演習Ⅱ*	神野志	2	2	B017		『万葉集』を読む
上代文学演習Ⅲ	神野志	2	2	B018		『万葉集』を読む
中古文学演習Ⅰ*	大倉	2	2	B019		
中古文学演習Ⅱ*	大倉	2	2	B020		
中古文学演習Ⅲ	大倉	2	2	B021		『源氏物語(常夏・野分)』を読む
中世文学演習ⅠA*	齋藤	2	2	B022		中世和歌文学研究
中世文学演習ⅡA*	齋藤	2	2	B023		中世和歌文学研究
中世文学演習ⅢA	齋藤	2	2	B024		中世和歌文学研究
中世文学演習ⅠB*	岸田			B025		歌合の研究
中世文学演習ⅡB*	岸田			B026		歌合の研究
中世文学演習ⅢB	岸田	2	2	B027		中世文学評論の研究
近世文学演習Ⅰ*	延広	2	2	B028		注釈の方法
近世文学演習Ⅱ*	延広	2	2	B029		注釈の方法
近世文学演習Ⅲ	延広	2	2	B030		注釈の方法
近代文学演習ⅠA*	吉田	2	2	B031		近代の短編小説を読む
近代文学演習ⅡA*	吉田	2	2	B032		短編小説の読解
近代文学演習ⅢA	吉田	2	2	B033		短編小説の読解
近代文学演習ⅠB*	太田	2	2	B034		現代女性文学研究Ⅰ
近代文学演習ⅡB*	太田	2	2	B035		現代女性文学研究Ⅱ
近代文学演習ⅢB	太田	2	2	B036		現代女性文学研究Ⅲ
日本語学特殊研究Ⅰ*	山田(潔)	2	2	B037		室町時代の語彙と語法
日本語学特殊研究Ⅱ	山田(潔)	2	2	B038		中世文法史研究
日本語学演習Ⅰ*	山田(潔)	2	2	B039		「天草本平家物語」研究Ⅰ
日本語学演習Ⅱ*	山田(潔)	2	2	B040		「天草本平家物語」研究Ⅱ
日本語学演習Ⅲ	山田(潔)	2	2	B041		「天草本平家物語」研究Ⅲ

*開設授業科目の中から10科目20単位以上選択必修とする。ただし、別に特論4単位以上を履修しなければならない。
*平成19年度以前の博士後期課程の入学者で、日本語教育学を専攻する者は、言語教育・コミュニケーション専攻博士後期課程カリキュラムの開設授業科目を履修すること。

16-2　英米文学専攻　博士前期課程　カリキュラム

(* 本年度開講せず)

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
英米文学特別演習Ⅰ	瀧澤	2	2	C001		論文指導
英米文学特別演習Ⅱ	島田	2	2	C002		論文指導
英米文学特別演習Ⅲ	平井	2	2	C003		論文指導
英語学特別演習Ⅰ	池上	2	2	C004		論文指導
英語学特別演習Ⅱ	小川	2	2	C005		論文指導
英米文学特殊研究 Ia*		2		C006		イギリス詩研究
英米文学特殊研究 Ib*			2	C007		イギリス詩研究
英米文学特殊研究 IIa	深澤	2		C008		イギリス演劇研究
英米文学特殊研究 IIb	深澤		2	C009		イギリス演劇研究
英米文学特殊研究 IIIa	渡邊	2		C010		現代アメリカ文学研究
英米文学特殊研究 IIIb	渡邊		2	C011		現代アメリカ文学研究
英米文学特殊研究 IVa	沢崎	2		C012		アメリカ詩研究
英米文学特殊研究 IVb	沢崎		2	C013		アメリカ詩研究
英米文学特殊研究 Va	上坪	2		C014		シェイクスピア研究
英米文学特殊研究 Vb	上坪		2	C015		シェイクスピア研究
英米文学特殊研究 VIa	島田	2		C016		アメリカ小説研究
英米文学特殊研究 VIb	島田		2	C017		アメリカ小説研究
英米文学演習 Ia	瀧澤	2		C018		イギリス詩演習
英米文学演習 Ib	瀧澤		2	C019		イギリス詩演習
英米文学演習 IIa	深澤	2		C020		19世紀イギリス小説演習
英米文学演習 IIb	深澤		2	C021		19世紀イギリス小説演習
英米文学演習 IIIa	平井	2		C022		20世紀イギリス小説演習
英米文学演習 IIIb	平井		2	C023		20世紀イギリス小説演習
英米文学演習 IVa	渡邊	2		C024		現代アメリカ文学演習
英米文学演習 IVb	渡邊		2	C025		現代アメリカ文学演習
英米文学演習 Va	島田	2		C026		アメリカ演劇演習
英米文学演習 Vb	島田		2	C027		アメリカ演劇演習
英米文学演習 VIa*		2		C028		
英米文学演習 VIb*			2	C029		
英語学特殊研究 Ia*		2		C030		Chaucer 研究
英語学特殊研究 Ib*			2	C031		Chaucer 研究
英語学特殊研究 IIa	池上	2		C032		翻訳論
英語学特殊研究 IIb	池上		2	C033		翻訳論
英語学特殊研究 IIIa	小川	2		C034		古英語演習
英語学特殊研究 IIIb	小川		2	C035		古英語演習
英語学演習 Ia	小川	2		C036		中英語演習
英語学演習 Ib	小川		2	C037		中英語演習
英語学演習 IIa	池上	2		C038		認知文法・認知意味論
英語学演習 IIb	池上		2	C039		認知文法・認知意味論
アメリカ文化特殊研究 a	古澤	2		C040		アメリカ思想
アメリカ文化特殊研究 b	古澤		2	C041		アメリカ思想
言語学特殊講義 A*	池上	2		C042		認知言語学と文法
言語学特殊講義 B	池上		2	C043		日本語論
言語学特殊講義 C	池上	2		C044		日本語論
言語学特殊講義 D*	池上		2	C045		日本語論

1) 開設科目の中から特別演習4単位を含めて14科目30単位以上を履修し、別に修士論文を提出しなければならない。
2) 特別演習4単位は、修士論文の提出年次に履修すること。

16-2　英米文学専攻　博士後期課程　カリキュラム

(* 本年度開講せず)

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
英米文学特論Ⅰ	瀧澤	2	2	D001		イギリス文学研究
英米文学特論Ⅱ*		2	2	D002		
英米文学特論Ⅲ	渡邊	2	2	D003		アメリカ文学研究
英米文学特論Ⅳ	島田	2	2	D004		アメリカ小説・演劇研究
英米文学特殊研究 Ⅰa*		2		D005		イギリス詩研究
英米文学特殊研究 Ⅰb*			2	D006		イギリス詩研究
英米文学特殊研究 Ⅱa	深澤	2		D007		イギリス演劇研究
英米文学特殊研究 Ⅱb	深澤		2	D008		イギリス演劇研究
英米文学特殊研究 Ⅲa	渡邊	2		D009		現代アメリカ文学研究
英米文学特殊研究 Ⅲb	渡邊		2	D010		現代アメリカ文学研究
英米文学特殊研究 Ⅳa	沢崎	2		D011		アメリカ詩研究
英米文学特殊研究 Ⅳb	沢崎		2	D012		アメリカ詩研究
英米文学特殊研究 Ⅴa	上坪	2		D013		シェイクスピア研究
英米文学特殊研究 Ⅴb	上坪		2	D014		シェイクスピア研究
英米文学特殊研究 Ⅵa	島田	2		D015		アメリカ小説研究
英米文学特殊研究 Ⅵb	島田		2	D016		アメリカ小説研究
英米文学演習 Ⅰa	瀧澤	2		D017		イギリス詩演習
英米文学演習 Ⅰb	瀧澤		2	D018		イギリス詩演習
英米文学演習 Ⅱa	深澤	2		D019		19世紀イギリス小説演習
英米文学演習 Ⅱb	深澤		2	D020		19世紀イギリス小説演習
英米文学演習 Ⅲa	平井	2		D021		20世紀イギリス小説演習
英米文学演習 Ⅲb	平井		2	D022		20世紀イギリス小説演習
英米文学演習 Ⅳa	渡邊	2		D023		現代アメリカ文学演習
英米文学演習 Ⅳb	渡邊		2	D024		現代アメリカ文学演習
英米文学演習 Va	島田	2		D025		アメリカ演劇演習
英米文学演習 Ⅴb	島田		2	D026		アメリカ演劇演習
英米文学演習 Ⅵa*		2		D027		
英米文学演習 Ⅵb*			2	D028		
英語学特論Ⅰ*		2	2	D029		
英語学特論Ⅱ	池上	2	2	D030		研究指導
英語学特論Ⅲ	小川	2	2	D031		研究指導
英語学特殊研究 Ⅰa*		2		D032		Chaucer 研究
英語学特殊研究 Ⅰb*			2	D033		Chaucer 研究
英語学特殊研究 Ⅱa	池上	2		D034		翻訳論
英語学特殊研究 Ⅱb	池上		2	D035		翻訳論
英語学特殊研究 Ⅲa	小川	2		D036		古英語研究
英語学特殊研究 Ⅲb	小川		2	D037		古英語研究

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
英語学演習 Ⅰa	小川	2		D038		中英語演習
英語学演習 Ⅰb	小川		2	D039		中英語演習
英語学演習 Ⅱa	池上	2		D040		認知文法・認知意味論
英語学演習 Ⅱb	池上		2	D041		認知文法・認知意味論
アメリカ文化特殊研究a	古澤	2		D042		アメリカ思想
アメリカ文化特殊研究b	古澤		2	D043		アメリカ思想
言語学特殊講義 A*	池上	2		D044		認知言語学と文法
言語学特殊講義 B	池上		2	C045		日本語論
言語学特殊講義 C	池上	2		C046		日本語論
言語学特殊講義 D*	池上		2	D047		日本語論

1) 開設科目の中から20単位以上を履修し、別に特論4単位以上を履修しなければならない。
2) 2007年度以前の入学者は入学年度の便覧を参照すること。

16-3① 言語教育・コミュニケーション専攻（博士前期課程）カリキュラム

（* 本年度開講せず）

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
共通科目	文化間コミュニケーションA	徳永	2		E001		異文化コミュニケーションの背景と問題
	文化間コミュニケーションB	徳永		2	E002		日英語の背景文化とコミュニケーション
	言語学特殊講義 A*	池上	2		E003		認知言語学と文法（1）
	言語学特殊講義 B	池上		2	E004		認知言語学と文法（2）
	言語学特殊講義 C	池上	2		E005		日本語論（1）
	言語学特殊講義D *	池上		2	E006		日本語論（2）
	言語教授法研究	遠藤	2	2	E007		言語教授法理論の研究
	第二言語習得 A	金子	2		E008		学習者言語の研究 1
	第二言語習得 B	金子		2	E009		学習者言語の研究 2
	言語学 IA	中田	2		E010		言語学概論
	言語学 IB	中田		2	E011		言語学と言語教育学の接点
	Distinguished Lecture	Ellis	2		E012		Current Issues
日本語教育科目	日本語学 IA	井上	2		E013		日・中・韓対照日本語学
	日本語学 IB	井上		2	E014		日・中・韓対照日本語学
	日本語教育論 A	徳永	2		E015	◎	語彙・意味論
	日本語教育論 B	徳永		2	E016	◎	語用論
	日本語教育論 C	遠藤	2		E017		授業設計と教材作成
	日本語教育論 D	遠藤		2	E018		評価法とテスト作成
	日本語教育特殊講義 A	遠藤	2		E019		日本語教育事情
	日本語教育特殊講義 B	遠藤		2	E020		日本語教育学
	日本語教育特殊講義 C*		2		E021		
	日本語教育特殊講義 D*			2	E022		
	日本語教育特殊講義 E	齋藤	2		E023		日本文化
	日本語教育特殊講義 F	齋藤		2	E024		日本文化
	日本語教育演習 IA	遠藤	2	2	E025	○	日本語指導法
	日本語教育演習 IB	徳永	2	2	E026	○	日本語教育関連諸研究の検討
	日本語教育演習 IIA	遠藤	2	2	E027	○	日本語教育諸問題の研究
	日本語教育演習 IIB	徳永	2	2	E028	○	日本語・教授法研究
	日本語教育実習	遠藤	2		E029		日本語教育現場実習
	日本語教育特別演習 A	遠藤	2	2	E030		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特別演習 B	徳永	2	2	E031		研究指導、論文作成指導
英語教育科目	英語教育論 A	金子	2		E032		文法指導とフィードバック
	英語教育論 B	金子		2	E033		教師のことばと発話の引き出し方
	英語教育特殊講義 A	緑川	2		E034		英語教授法理論
	英語教育特殊講義 B	緑川		2	E035		英語教授法理論
	英語教育特殊講義 C	Robson	2		E036		Research Method
	英語教育特殊講義 D	小林		2	E037		音声指導
	英語教育演習 A	緑川	2		E038		授業改善のためのアクション・リサーチ
	英語教育演習 B	緑川		2	E039		英語教授法演習
	英語教育演習 C	投野	2		E040		コーパス研究
	英語教育演習 D	小泉	2		E041		児童英語教育
	英語教育演習 E	小林	2		E042		心理言語学
	英語教育演習 F	Robson		2	E043		教材論
	英語教育特殊研究	ボストン教員		2	E044		ボストン研修
	英語教育特別演習 A	金子	2	2	E045		研究指導、論文作成指導
	英語教育特別演習 B	緑川	2	2	E046		研究指導、論文作成指導
	英語教育特別演習 C*		2	2	E047		研究指導、論文作成指導
	英語教育特別演習 D*		2	2	E048		研究指導、論文作成指導

（履修方法）

（1）特別演習は 4 単位を必修とする。

（2）日本語教育コースの学生は、必修科目（◎のある科目）と選択必修科目（○）を含み、共通科目・日本語教育科目から合計３０単位以上履修する。他に、修士論文を提出する。

（3）英語教育コースの学生は、共通科目、英語教育のほか、文学研究科英米文学専攻博士前期課程の科目を最高 8 単位を含み、合計 30 単位以上履修する。他に修士論文を提出する。
ただし、専修免許の取得を希望する場合は、英語教育開設科目および共通科目より 24 単位以上取得すること。

16-3②　言語教育・コミュニケーション専攻（博士後期課程）カリキュラム

（* 本年度開講せず）

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
共通科目	言語学特殊講義 A*	池上	2		F001		認知言語学と文法 (1)
	言語学特殊講義 B	池上		2	F002		認知言語学と文法 (2)
	言語学特殊講義 C	池上	2		F003		日本語論（1）
	言語学特殊講義 D*	池上		2	F004		日本語論（2）
	第二言語習得 A	金子	2		F005		学習者言語の研究 1
	第二言語習得 B	金子		2	F006		学習者言語の研究 2
	言語学 Ⅱ A	中田	2		F007		言語学概論
	言語学 Ⅱ B	中田		2	F008		言語学と言語教育学の接点
	文化間コミュニケーション A	徳永	2		F009		日英語の背景文化とコミュニケーション1
	文化間コミュニケーション B	徳永		2	F010		日英語の背景文化とコミュニケーション2
	Distinguished Lecture	Ellis	2		F011		Current Issues
日本語教育科目	日本語教育特論 I	徳永	1	1	F012		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特論 Ⅱ	徳永	1	1	F013		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特論 Ⅲ	徳永	1	1	F014		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特論 Ⅳ	中田	1	1	F015		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特論 V	中田	1	1	F016		研究指導、論文作成指導
	日本語教育特論 Ⅵ	中田	1	1	F017		研究指導、論文作成指導
	日本語学 Ⅱ A	井上	2		F018		日中韓対照日本語学1
	日本語学 Ⅱ B	井上		2	F019		日中韓対照日本語学2
	日本語教育論 A	徳永	2		F020		意味論
	日本語教育論 B	徳永		2	F021		語用論
	日本語教育特殊講義 A	遠藤	2		F022		日本語教育事情
	日本語教育特殊講義 B	遠藤		2	F023		日本語教育学
	日本語教育特殊講義 C	山田	2		F024		現代日本語文法研究1
	日本語教育特殊講義 D	山田		2	F025		現代日本語文法研究 2
	日本語教育特殊講義 E	齋藤	2		F026		日本文化1
	日本語教育特殊講義 F	齋藤		2	F027		日本文化2
	日本語教育演習 I	徳永	2	2	F028		日本語の意味分析
	日本語教育演習 Ⅱ	徳永	2	2	F029		日本語の語用分析
	日本語教育演習 Ⅲ	徳永	2	2	F030		意味・語用論の言語教育への応用
	言語コミュニケーション論 A*	徳永	2		F031		言語コミュニケーションのメカニズム1
	言語コミュニケーション論 B*	徳永		2	F032		言語コミュニケーションのメカニズム2
英語教育科目	英語教育特論 I	金子	1	1	F033		研究指導、論文作成指導
	英語教育特論 Ⅱ	金子	1	1	F034		研究指導、論文作成指導
	英語教育特論 Ⅲ	金子	1	1	F035		研究指導、論文作成指導
	英語教育特論 Ⅳ	緑川	1	1	F036		研究指導、論文作成指導
	英語教育特論 V	緑川	1	1	F037		研究指導、論文作成指導
	英語教育特論 Ⅵ	緑川	1	1	F038		研究指導、論文作成指導

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
英語教育科目	英語教育論 A	金子	2		F039		文法指導とフィードバック
	英語教育論 B	金子		2	F040		教師のことばと発話の引き出し方
	英語教育特殊講義 A	緑川	2		F041		英語教授法理論
	英語教育特殊講義 B	緑川		2	F042		英語教授法理論
	英語教育演習 A	緑川	2		F043		授業改善のためのアクション・リサーチ
	英語教育演習 B	緑川		2	F044		英語教授法演習
	英語教育演習 C	投野	2		F045		コーパス研究

修了要件の20単位に加えて、博士論文の作成に関わる特論６単位を修得する。日本語教育を専門とする者は日本文学専攻（博士後期課程）、英語教育を専門とする者は英米文学専攻（博士後期課程）開設科目から４単位までを修了要件単位として履修することが出来る。

16-4　生活機構学専攻（博士後期課程）カリキュラム

（* 本年度開講せず）

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
生活文化研究大講座	生活文化史研究ⅡA	田畑	2	2	G001		地域研究上方法論的問題の研究
	生活文化史研究ⅡB	山本暉	2	2	G002		日本の基層文化を探る
	生活文化史研究ⅡC	掛川	2	2	G003		女性文化研究
	生活文化史研究ⅡD	平井	2	2	G004		生活と住居の対応
	生活文化史研究ⅡE	菊池	2	2	G005		東南アジアの考古遺産
	生活文化史研究ⅡF	渡辺(伸)	2	2	G006		民俗芸能伝承論
	生活文化史研究ⅡG	内田	2	2	G007		中近世絵画史研究
	生活文化史研究ⅡH	灰野	2	2	G008		日本美術史の諸問題
	生活文化史研究ⅡI	山本(博)	2	2	G009		鎌倉時代史研究
	生活文化史研究ⅡJ	関口	2	2	G010		中近世仏教文化史の諸問題
	文化財研究ⅡA*		2	2	G011		
	文化財研究ⅡB	増田	2	2	G012		文化財の保存修復研究
	文化財研究ⅡC	平井	2	2	G013		保護・活用の状況と問題点
	生活文化史演習Ⅱ	専任教員	1	1	G014		
	生活文化史特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G015		
	臨床心理研究ⅡA	鵜養	2	2	G016		
	臨床心理研究ⅡB	島谷	2	2	G017		
	臨床心理研究ⅡC	渡辺(佳)	2	2	G018		
	社会心理研究ⅡA	今城	2	2	G019		
	社会心理研究ⅡB	田中	2	2	G020		情報行動と集合行動の社会心理学
	発達心理研究Ⅱ	三浦	2	2	G021		教育支援と発達
	発達臨床心理研究Ⅱ	藤崎	2	2	G022		発達臨床の基礎理論
	知覚心理研究Ⅱ	上村	2	2	G023		視覚の心理物理学
	認知心理研究Ⅱ	古川	2	2	G024		ポジティヴ心理学
	生活心理演習Ⅱ	専任教員	1	1	G025		
	生活心理特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G026		
	比較生活研究Ⅱ*		2	2	G027		
	教育行政学Ⅱ*		2	2	G028		
	比較生活演習Ⅱ*		1	1	G029		
	比較生活特別研究Ⅱ*		2	2	G030		
	感性工学研究Ⅱ	佐藤		2	G031		知覚と脳の情報処理
	感性工学演習Ⅱ	専任教員	1	1	G032		
	感性工学特別研究Ⅱ	専任教員	1	1	G033		
生活素材研究大講座	材料基礎研究Ⅱ	佐藤	2		G034		現象解析と simulation 技法
	建築構法材料研究Ⅱ	安宅	2	2	G035		構造デザイン・形態の理論
	繊維材料研究Ⅱ	小原	2	2	G036		繊維材料の化学構造と物性の関連
	造形材料演習Ⅱ	専任教員	1	1	G037		
	造形材料特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G038		

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
生活素材研究大講座	食品素材研究Ⅱ	飯野	2	2	G039		有用微生物の探索とその利用
	食品材料研究Ⅱ	森高	2	2	G040		食品のレオロジーと構造と機能
	調理科学研究Ⅱ	島田	2	2	G041		調理による食品の変化と解析
	食品素材・材料演習Ⅱ	専任教員	1	1	G042		
	食品素材・材料特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G043		
生活機能研究大講座	建築計画研究Ⅱ	芦川	2	2	G044		建築・都市の計画論
	環境計画研究Ⅱ	佐野	2	2	G045		建築環境学 と省エネルギー論
	建築史研究Ⅱ	平井	2	2	G046		江戸時代の建築史
	建築意匠研究Ⅱ	友田	2	2	G047		環境心理学研究と建築デザイン論
	居住様式研究Ⅱ	竹田	2	2	G048		生活の質を高める居住様式の探求
	環境科学演習Ⅱ	専任教員	1	1	G049		
	環境科学特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G050		
	服飾意匠計画研究ⅡA	猪又	2	2	G051		着ごこちの良い衣服の設計と評価
	被服整理学研究Ⅱ*		2	2	G052		
	被服科学演習Ⅱ	専任教員	1	1	G053		
	被服科学特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G054		
	生活福祉研究Ⅱ	伊藤	2	2	G055		生活の社会化とジェンダー
	生活政策研究Ⅱ	坂東	2	2	G056		少子高齢社会の社会保障と国民生活
	社会福祉研究Ⅱ	秋山	2	2	G057		社会福祉の原理・理論・実践方法・価値観の探究
	家族福祉文化研究Ⅱ	天野	2	2	G058		家族の生活と支援
	教育社会学研究Ⅱ	矢野	2	2	G059		高等教育政策論
	福祉科学演習Ⅱ	専任教員	1	1	G060		
	福祉科学特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G061		
	栄養・生理学研究Ⅱ	木村	2	2	G062		栄養と生体調節機能
	栄養・生化学研究Ⅱ	松本	2	2	G063		栄養・食品成分の生理機能解析
	生物機能解析Ⅱ	大森	2	2	G064		
	栄養・生化学演習Ⅱ	専任教員	1	1	G065		
	栄養・生化学特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G066		
	栄養評価機能研究Ⅱ	戸谷	2	2	G067		加齢と栄養の相互性研究
	公衆栄養研究Ⅱ	渡辺(満)	2	2	G068		保健・医療・福祉の栄養ケア・栄養教育と評価
	栄養評価機能演習Ⅱ	専任教員	1	1	G069		
	栄養評価機能特別研究Ⅱ	専任教員	2	2	G070		

（履修方法）

所属する大講座の研究科目を 1 科目選択必修とし、所属する部門の演習、特別研究を必修とする。

その他は選択として合計 16 単位が必要である。

16-5　生活文化研究専攻（修士課程）カリキュラム表

（* 本年度開講せず）

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
生活文化研究ＩA	伊藤	2	2	H001		生活文化とジェンダー統計
生活文化研究ＩB	掛川	2	2	H002		近代女性文献研究
生活文化研究ＩC	平井	2	2	H003		日本近世・近代　生活文化史に関して
生活文化研究ＩD*	安蔵	2	2	H004		服飾文化研究
考古学研究ＩA	山本(暉)	2	2	H005		縄文時代文化研究の諸問題
考古学研究ＩB	山本(暉)	2	2	H006		石器時代文化研究と民族誌考古学
考古学研究ＩC	菊池	2	2	H007		東南アジア考古学研究
地域文化研究ＩA	渡辺(伸)	2	2	H008		神楽研究
地域文化研究ＩB	田畑	2	2	H009		地域研究の理論と実践
地域文化研究ＩC	大谷津	2	2	H010		人形芝居研究
地域文化研究ＩD	ﾌﾌﾊﾞｰﾄﾙ	2	2	H011		東アジア言語社会の研究
美術研究ＩA	木下	2	2	H012		西洋近代美術研究
美術研究ＩB*		2	2	H013		
美術研究ＩC	内田	2	2	H014		中近世絵画研究
美術研究ＩD*	灰野	2	2	H015		中近世工芸研究
歴史文化研究ＩA	山本(博)	2	2	H016		日本中世の武士社会
歴史文化研究ＩB	太田	2	2	H017		日本近世文化史
歴史文化研究ＩC	千葉	2	2	H018		日本近現代政治外交史
歴史文化研究ＩD	関口	2	2	H019		唐招提寺文書の研究
歴史文化研究ＩE	吉成	2	2	H020		古代エジプト研究
歴史文化研究ＩF	児島	2	2	H021		日本女性文化史研究
文化財研究（文化）ＩA*		2	2	H022		
文化財研究（文化）ＩB	斎藤・平賀	2	2	H023		文化財保護制度と国際協力
文化財研究（文化）ＩC	増田	2	2	H024		文化財修復基礎研究・文献と実技
文化財研究（文化）ＩE	堀内	2	2	H025		歴史的建造物の保存・活用
文化財研究（文化）ＩF	武田	2	2	H026		出土漆製品の技術研究
生活文化演習ＩAa	伊藤	2	2	H027		女性文化とジェンダー（1）
生活文化演習ＩAb*	伊藤	2	2	H028		女性文化とジェンダー（2）
生活文化演習ＩBa	掛川	2	2	H029		母性主義の諸問題（1）
生活文化演習ＩBb*	掛川	2	2	H030		母性主義の諸問題（2）
考古学演習ＩAa	山本(暉)	2	2	H031		日本考古学の諸問題(1)
考古学演習ＩAb*	山本(暉)	2	2	H032		日本考古学の諸問題(2)
考古学演習ＩBa	菊池	2	2	H033		ベトナム考古学の諸問題(1)
考古学演習ＩBb*	菊池	2	2	H034		ベトナム考古学の諸問題(2)
地域文化演習ＩAa	渡辺(伸)	2	2	H035		年中行事と民俗（1）
地域文化演習ＩAb*	渡辺(伸)	2	2	H036		年中行事と民俗（2）
地域文化演習ＩBa	田畑	2	2	H037		地域と文化に関する諸問題（1）
地域文化演習ＩBb*	田畑	2	2	H038		地域と文化に関する諸問題（2）
美術演習ＩAa	木下	2	2	H039		西洋近代絵画
美術演習ＩAb*	木下	2	2	H040		スペイン語圏の近代美術
美術演習ＩBa	内田	2	2	H041		日本絵画史と彫刻史
美術演習ＩBb*	内田	2	2	H042		画史をよむ
美術演習ＩCa*	灰野	2	2	H043		日本デザイン史の研究
美術演習ＩCb*	灰野	2	2	H044		日本工芸史の諸問題
歴史文化演習ＩAa	山本(博)	2	2	H045		中世武家社会の研究
歴史文化演習ＩAb*	山本(博)	2	2	H046		日本中世社会の研究
歴史文化演習ＩBa	関口	2	2	H047		中近世戒律復興の諸問題
歴史文化演習ＩBb*	関口	2	2	H048		中近世戒律文化の研究
歴史文化演習ＩCa	吉成	2	2	H049		ヒエログリフ史料解読（1）
歴史文化演習ＩCb*	吉成	2	2	H050		ヒエログリフ史料解読（2）
歴史文化演習ＩDa	千葉	2	2	H051		明治期史料の読解
歴史文化演習ＩDb*	千葉	2	2	H052		昭和期史料の読解
文化財演習ＩAa	増田	2	2	H053		文化財修復報告書講読
文化財演習ＩAb*	増田	2	2	H054		文献による修復実態の理解
文化財演習ＩBa	平井	2	2	H055		日本近世有形文化財（建築）の保存と活用
文化財演習ＩBb*	平井	2	2	H056		日本近世有形文化財（建築）の保存と活用
生活文化特定研究		2	2	H057		海外研修
生活文化特別研究Ⅰ		4	4	H058		修士論文作成指導

注意：演習のａとｂは隔年開講です。

研究科目から4単位を選択履修し、指導教授の演習を2ヵ年にわたり8単位履修する。さらに、特別研究8単位を必修として計20単位を履修する。その他、指導教授の指導により、選択履修し、合計30単位以上を履修する。

16-6 ①　心理学専攻カリキュラム（心理学講座）

（* 本年度開講せず）

授業科目	担当者	単位		整理番号	履修可能範囲	備考	副題
		前期	後期				
心理学統計法	松野	2		I001		14単位以上選択必修	
心理学研究法	三浦・平田		2	I002			
人格心理学研究Ⅰ	長塚	2		I003			人格の変化と適応
人格心理学研究Ⅱ	堀毛		2	I004	集中		コヒアランスの探求
人格臨床心理学研究	長塚		2	I005	集中		
教育心理学研究Ⅰ	三浦	2		I006			
心理査定研究	三浦	2		I007			
発達心理学研究Ⅰ	松澤	2		I008			認知の発達
発達心理学研究Ⅱ	岩立		2	I009			言語の発達
発達心理学研究Ⅲ	木下	2		I010			
発達臨床心理学研究*	藤崎	2		I011	×		
認知心理学研究Ⅰ	古川	2		I012			ポジティブサイコロジー
認知心理学研究Ⅱ	古川		2	I013			ポジティブサイコロジーの応用
認知心理学研究Ⅲ	松野		2	I014			推論の認知心理学
実験心理学研究Ⅰ	上村	2		I015			知覚・認知の実験心理学
実験心理学研究Ⅱ	上村		2	I016			知覚・認知の実験心理学
社会心理学研究Ⅰ	小口	2		I017			労働場面における感情
社会心理学研究Ⅱ	小口		2	I018			労働場面における管理
社会心理学研究Ⅲ	清水(裕)		2	I019			感情と認知および対人行動
社会心理学研究Ⅳ	藤島	2		I020			
社会心理学研究Ⅴ	今城		2	I021			
社会情報論研究Ⅰ	田中(淳)	2		I022			
社会情報論研究Ⅱ	田中(淳)		2	I023			
家族心理学研究	中釜	2		I024	集中		
犯罪心理学研究	渡邊		2	I025			
精神医学研究Ⅰ	山登	2		I026	集中		
精神医学研究Ⅱ	山登	2		I027	集中		
発達支援論研究	藤崎	2		I028			
障害児心理学研究	松永		2	I029			
グループ・アプローチ研究	島谷		2	I030			
精神分析学研究	池田		2	I031			
家族療法研究*	中釜	2		I032	×		
学校教育相談研究	鵜養		2	I033			
コミュニティ・アプローチ研究*	鵜養		2	I034	×		
臨床心理査定研究Ⅰ	渡邊	2		I035			
発達臨床実習Ⅰ	西本	2		I036			
発達臨床実習Ⅱ	西本		2	I037			
心理学演習Ⅰ	担当教員	2	2	I038		必修	
心理学演習Ⅱ	担当教員	2	2	I039		必修	
心理学特別研究Ⅰ	担当教員	4	4	I040		必修	

（履修方法）

【臨床心理学講座】

※必修は 32 単位、選択必修は5群の各群から2単位以上、合計 42 単位以上を履修する。

【心理学講座】

※必修は 16 単位、選択必修はその他から 14 単位以上、合計 30 単位以上を履修する。

16-6 ②　心理学専攻カリキュラム（臨床心理学講座）

（* 本年度開講せず）

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	履修可能範囲	備考	副題
臨床心理学特論Ⅰ	鵜養	2		I041		必修	
臨床心理学特論Ⅱ	島谷		2	I042		必修	
臨床心理面接特論Ⅰ	松永	2		I043		必修	
臨床心理面接特論Ⅱ	山崎		2	I044		必修	
臨床心理査定演習Ⅰ	渡邊・藤田・田口	2		I045		必修	
臨床心理査定演習Ⅱ	田中(奈)・藤田	2		I046		必修	
臨床心理基礎実習Ⅰ	島谷・山崎	1		I047		必修	
臨床心理基礎実習Ⅱ	鵜養・田口		1	I048		必修	
臨床心理実習Ⅰ	渡邊・藤崎	1		I049		必修	
臨床心理実習Ⅱ	田中(奈)・松永		1	I050		必修	
心理学統計法	松野	2		I051		2単位以上選択必修	
心理学研究法	三浦・平田		2	I052			
人格心理学研究Ⅰ	長塚	2		I053		2単位以上選択必修	
人格心理学研究Ⅱ	堀毛		2	I054	集中		
人格臨床心理学研究	長塚		2	I055	集中		
教育心理学研究Ⅰ	三浦	2		I056			
心理査定研究	三浦	2		I057			
発達心理学研究Ⅰ	松澤	2		I058			認知の発達
発達心理学研究Ⅱ	岩立		2	I059			言語の発達
発達心理学研究Ⅲ	木下	2		I060			
発達臨床心理学研究*	藤崎	2		I061	×		
認知心理学研究Ⅰ	古川	2		I062			ポジティブサイコロジー
認知心理学研究Ⅱ	古川		2	I063			ポジティブサイコロジーの応用
認知心理学研究Ⅲ	松野		2	I064			推論の認知心理学
実験心理学研究Ⅰ	上村	2		I065			知覚・認知の実験心理学
実験心理学研究Ⅱ	上村		2	I066			知覚・認知の実験心理学
社会心理学研究Ⅰ	小口	2		I067		2単位以上選択必修	労働場面における感情
社会心理学研究Ⅱ	小口		2	I068			労働場面における管理
社会心理学研究Ⅲ	清水(裕)		2	I069			感情と認知および対人行動
社会心理学研究Ⅳ	藤島	2		I070			
社会心理学研究Ⅴ	今城		2	I071			
社会情報論研究Ⅰ	田中(淳)	2		I072			
社会情報論研究Ⅱ	田中(淳)		2	I073			
家族心理学研究	中釜	2		I074	集中		
犯罪心理学研究	渡邊		2	I075			

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	履修可能範囲	備考	副題
☆精神医学研究Ⅰ	山登	2		I076	集中	2単位以上選択必修	
☆精神医学研究Ⅱ	山登	2		I077	集中		
☆発達支援論研究	藤崎	2		I078			
障害児心理学研究	松永		2	I079			
グループ・アプローチ特論	島谷		2	I080		2単位以上選択必修	
精神分析学研究	池田		2	I081			
家族療法研究*	中釜	2		I082	×		
学校臨床心理学研究	鵜養		2	I083			
コミュニティ・アプローチ研究*	鵜養		2	I084	×		
臨床心理査定特論Ⅰ	渡邊	2		I085			
発達臨床実習Ⅰ	西本	2		I086		選択	
発達臨床実習Ⅱ	西本		2	I087			
心理学演習Ⅰ	担当教員	2	2	I088		必修	
心理学演習Ⅱ	担当教員	2	2	I089		必修	
心理学特別研究Ⅰ	担当教員	4	4	I090		必修	

（履修方法）

【臨床心理学講座】

※必修は 32 単位、選択必修は5群の各群から2単位以上、合計 42 単位以上を履修する。

【心理学講座】

※必修は 16 単位、選択必修はその他から 14 単位以上、合計 30 単位以上を履修する。

16-7　生活科学研究専攻 カリキュラム

授業科目		担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
食品素材講座	食品素材研究Ⅰ	飯野	2	2	J001		バイオテクノロジーと新開発食品素材の生理機能評価
	調理機能開発ⅠA	島田	2	2	J002		食品の構造と調理機能
	調理機能開発B	大橋	2	2	J003		食品素材の調理機能発現メカニズム解析
	食品素材科学A	田中	2	2	J004		構造脂質と食品機能
	食品素材演習Ⅰ	専任教員	1	1	J005		
	食品素材実験Ⅰ	専任教員	1	1	J006		
	食品素材特別研究Ⅰ		4	4	J007		修士論文作成指導
食品材料講座	食品材料研究Ⅰ	森高	2	2	J008		食品の機能特性と物性評価
	食品材料機能開発	高尾	2	2	J009		食品の製造と単位操作・反応操作
	食品加工材料科学A	福島	2	2	J010		加工食品と食品添加物及び包装資材
	食品加工材料科学B	竹山	2	2	J011		食品構成成分の加工適性評価
	食品材料演習Ⅰ	専任教員	1	1	J012		
	食品材料実験Ⅰ	専任教員	1	1	J013		
	食品材料特別研究Ⅰ		4	4	J014		修士論文作成指導
栄養・生化学講座	栄養・生化学研究Ⅰ	松本	2	2	J015		酵素の活性発現と化学修飾
	応用酵素化学	曽田	2	2	J016		酵素の特性を応用的観点から講述
	栄養・生化学演習Ⅰ	専任教員	1	1	J017		
	栄養・生化学実験Ⅰ	専任教員	1	1	J018		
	栄養・生化学特別研究Ⅰ		4	4	J019		修士論文作成指導
栄養・生理学講座	栄養・生理学研究Ⅰ	木村	2	2	J020		肥満と生理・食品成分との関わり
	脂質栄養研究	中津川	2	2	J021		脂質の栄養・生理作用を中心に研究
	生物機能解析Ⅰ	大森	2	2	J022		微細藻類の分子生理
	栄養・生理学演習Ⅰ	専任教員	1	1	J023		
	栄養・生理学実験Ⅰ	専任教員	1	1	J024		
	栄養・生理学特別研究Ⅰ		4	4	J025		修士論文作成指導
栄養生理機能解析講座	生体調節・栄養生理研究A	海老沢	2	2	J026		栄養素と生体調節成分
	生体調節・栄養生理研究B	小川	2	2	J027		栄養素と食品成分の機能的関わり
	栄養生理機能解析演習Ⅰ	専任教員	1	1	J028		
	栄養生理機能解析実験Ⅰ	専任教員	1	1	J029		
	栄養生理機能解析特別研究Ⅰ		4	4	J030		修士論文作成指導
公衆栄養講座	母子栄養評価研究Ⅰ	戸谷	2	2	J031		授乳と乳児期栄養を中心に研究
	臨床栄養研究	志賀	2	2	J032		医療現場における実践栄養的アプローチ
	公衆栄養研究Ⅰ	渡辺	2	2	J033		保健・医療・福祉での栄養ケア・栄養教育・評価
	食教育評価研究A	大木	2	2	J034		健康増進を目的とした栄養教育・評価
	食教育評価研究B	熊澤	2	2	J035		食教育の開発とその評価
	公衆栄養演習Ⅰ	専任教員	1	1	J036		
	公衆栄養実験Ⅰ	専任教員	1	1	J037		
	公衆栄養特別研究Ⅰ		4	4	J038		修士論文作成指導

（履修方法）
専攻する講座の研究科目から4単位、演習と実習で4単位と必修の特別研究8単位を加えて計16単位とする。（ただし、演習と実験の履修は同一学年では行わない。）さらに、他の講座の関連科目から14単位を選択し、合計30単位を最低単位として履修する。　学位の種類：修士（学術）

16-8　福祉社会研究専攻（修士課程）カリキュラム

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
生活福祉研究Ⅰ	伊藤セツ	2	2	K001	★	福祉環境とジェンダー
社会福祉研究Ⅰ	秋山智久	2	2	K004	★	社会福祉の原理・思想・視点を実践に即して研究
社会福祉演習Ⅰ1	秋山智久	1	1	K005	★	
社会福祉演習Ⅰ2	秋山智久	1	1	K006	★	
家族福祉文化研究Ⅰ	天野寛子	2	2	K007	★	家族生活と家族支援に関する研究
家族福祉文化演習Ⅰ1	天野寛子	1	1	K008	★	
家族福祉文化演習Ⅰ2	天野寛子	1	1	K009	★	
居住福祉研究Ⅰ	竹田喜美子	2	2	K010	★	人間らしい居住を保障する方法論の探求
居住福祉演習Ⅰ1	竹田喜美子	1	1	K011	★	
居住福祉演習Ⅰ2	竹田喜美子	1	1	K012	★	
ユニバーサルデザイン評価研究Ⅰ	笹又美栄子	2	2	K013	★	ユニバーサルデザインの考え方とユニバーサルデザインの評価
ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ1	笹又美栄子	1	1	K014	★	
ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ2	笹又美栄子	1	1	K015	★	
労働とジェンダー研究Ⅰ	森ます美	2	2	K016	▲	現代の労働の態様と労働・福祉政策をジェンダー視点から考察
労働とジェンダー演習Ⅰ1	森ます美	1	1	K017	▲	
労働とジェンダー演習Ⅰ2	森ます美	1	1	K018	▲	
国際男女共同参画社会研究Ⅰ	坂東眞理子	2	2	K019	▲	差別撤廃条約、国連文書と男女共同参画社会研究
国際男女共同参画社会演習Ⅰ1	坂東眞理子	1	1	K020	▲	
国際男女共同参画社会演習Ⅰ2	坂東眞理子	1	1	K021	▲	
現代国際関係研究Ⅰ	志摩園子	2	2	K022	▲	現代の諸問題に対して広領域学として国際関係学の方法論を用いる
現代国際関係演習Ⅰ1	志摩園子	1	1	K023	▲	
現代国際関係演習Ⅰ2	志摩園子	1	1	K024	▲	
現代企業と社会研究Ⅰ	木下武男	2	2	K025	▲	「企業と社会」の関係領域と企業という社会領域を研究
現代企業と社会演習Ⅰ1	木下武男	1	1	K026	▲	
現代企業と社会演習Ⅰ2	木下武男	1	1	K027	▲	
福祉政策研究Ⅰ	永山　誠	2	2	K028	★	日本における福祉社会の構築をめざす政策展開の研究
福祉政策演習Ⅰ1	永山　誠	1	1	K029	★	
福祉政策演習Ⅰ2	永山　誠	1	1	K030	★	
社会調査研究Ⅰ	矢野眞和	2	2	K031	▲	社会調査の理論と方法
社会調査演習Ⅰ1	矢野眞和	1	1	K032	▲	
社会調査演習Ⅰ2	矢野眞和	1	1	K033	▲	
女性史研究Ⅰ	鍛川典子	2	2	K034	▲	母性主義と女性文化
現代マスコミュニケーション研究Ⅰ	澁澤重和	2	2	K035	▲	今日の社会におけるマスメディアの存在意義について
現代マスコミュニケーション演習Ⅰ1	澁澤重和	1	1	K036	▲	
現代マスコミュニケーション演習Ⅰ2	澁澤重和	1	1	K037	▲	
現代経済研究Ⅰ	小島　徹	2	2	K038	▲	製造業を中心に現代のグローバル経済を研究
現代経済演習Ⅰ1	小島　徹	1	1	K039	▲	
現代経済演習Ⅰ2	小島　徹	1	1	K040	▲	
児童福祉研究Ⅰ	月田みづえ	2	2	K041	★	子どもの福祉を人権保障の視点から探求
児童福祉演習Ⅰ1	月田みづえ	1	1	K042	★	
児童福祉演習Ⅰ2	月田みづえ	1	1	K043	★	
高齢者ソーシャルサービス研究Ⅰ	伊藤　純	2	2	K044	★	高齢者福祉・生活支援サービスについて生活経営・生活福祉の視点からの研究
高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ1	伊藤　純	1	1	K045	★	
高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ2	伊藤　純	1	1	K046	★	
言語社会学Ⅰ	フフバートル	2	2	K047	▲	中国の発展と周辺地域の言語文化の変化
言語社会学演習Ⅰ1	フフバートル	1	1	K048	▲	
言語社会学演習Ⅰ2	フフバートル	1	1	K049	▲	
地域環境計画研究Ⅰ	瀬沼頼子	2	2	K050	▲	地域計画（地域づくり）の理論と手法
地域環境計画演習Ⅰ1	瀬沼頼子	1	1	K051	▲	
地域環境計画演習Ⅰ2	瀬沼頼子	1	1	K052	▲	
医療福祉研究Ⅰ	高橋　学	2	2	K053	★	EBNに基づく、医療福祉、精神保健、在宅ケア領域の研究
ソーシャルワーク研究Ⅰ	北本佳子	2	2	K054	★	ソーシャルワークの理論と実践に関する研究
福祉社会特別研究Ⅰ	担当教員	4	4	K055		修士論文作成指導

〔履修方法〕

1. ひとつの研究科目（4単位）とその研究科目に関連する演習科目（2単位を2年間で4単位）を必修とし、合計8単位が必修科目。福祉社会特別研究Ⅰ（8単位）が修士論文のための研究としてこれに加算され、合計で16単位を必修とする。残りを関連する研究科目や他専攻の研究科目で14単位を選択科目として履修し、修了要件として合計30単位以上を必要とする。
2. 専修免許：高専免（福祉）、中専免（社会）取得に必要な条件
   1）専修免許取得に必要な最低修得単位　24単位
   2）専修免許取得に必要な学位　修士（学術）
   3）「福祉」又は「社会」の専修免許を取得する場合、「福祉」は★印、「社会」は▲印の科目から24単位を取得しなければならない。

16-9　環境デザイン研究専攻（修士課程）カリキュラム

（* 本年度開講せず）

	授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	備考	副題
衣環境系研究コース	被服整理学研究Ⅰ	下村	2	2	L001		衣服の汚れと洗浄性
	被服加工学研究ⅠA	大津	2	2	L002		染色現象と染色堅ろう性
	被服加工学研究ⅠB	角田	2	2	L003		各種素材と製品の機能性
	服飾意匠計画研究ⅠA	猪又	2	2	L004		着ごこちの良い衣服の設計と評価
	服飾意匠計画研究ⅠB	石垣	2	2	L005		機能的で美しい衣服デザインの研究
	服飾文化研究Ⅰ	谷井	2	2	L006		服飾の造形的・文化史的考察
	被服材料研究Ⅰ	小原	2	2	L007		繊維高分子の特性と化学構造
	被服科学演習Ⅰ	専任教員	1	1	L008		
	被服科学実験Ⅰ	専任教員	1	1	L009		
	被服科学特別研究Ⅰ		4	4	L010		修士論文作成指導
建築環境系研究コース	建築計画研究ⅠA	芦川	2	2	L011		建築都市の計画論を考察
	建築計画研究ⅠB	金尾	2	2	L012		都市、建築の形成における諸要素
	居住様式研究Ⅰ	竹田	2	2	L013		生活の質を高める居住空間の様式を探求
	環境計画研究Ⅰ	佐野	2	2	L014		建築環境学と省エネルギー論
	建築構法材料研究Ⅰ	安宅	2	2	L015		建築構造のシステムと構造デザイン
	材料基礎研究ⅠA	佐藤	2	2	L016		シュミレーションと材料
	材料基礎研究ⅠB	中山	2	2	L017		環境調和型の材料設計や材料選択を考察
	環境基礎学Ⅰ	常喜	2	2	L018		大学院生として学ぶ生態学と環境学
	建築史研究ⅠA	平井	2	2	L019		遺構・古図・古文書から建築の機能・技術を考察
	建築史研究ⅠB	堀内	2	2	L020		歴史的建築の保存・活用・復元に関する考察
	建築意匠研究ⅠA	友田	2	2	L021		環境心理学研究とデザイン論
	建築意匠研究ⅠB	杉浦(久)	2	2	L022		建築デザインの設計プロセスとその実践
	建築意匠研究ⅠC	阿部	2	2	L023		環境創生における造園学的視点と意匠研究
	設計演習Ⅰ	計画系教員	2	2	L024		課題による設計演習（友田・芦川・安宅・佐野・金尾・杉浦）*1
	建築士演習Ⅰ	建築系教員	1	1	L025		建築士受験講座（友田・佐野・安宅・芦川＋非常勤（永橋・寺木））
	文化財研究（科学）Ⅰ	斎藤・平賀	2	2	L026		
	意匠計画研究ⅠA	桃園	2	2	L027		デザインのことば
	意匠計画研究ⅠB	加藤	2	2	L028		デザインの意味と目的
	環境科学演習Ⅰ	専任教員	1	1	L029		
	環境科学実験Ⅰ	専任教員	1	1	L030		
	環境科学特別研究Ⅰ		4	4	L031		修士論文作成指導

（履修方法）

専攻する講座の研究科目から４単位を選択必修し、演習または実験のいずれから２単位を選択必修する。さらに特別研究８単位を必修として計14単位を履修する。その他、指導教授の指導により、他の講座の関連科目を含んで選択履修し、合計30単位以上を履修する。（ただし、演習、実験については２年間履修可能なため、２年間で16単位は選択必修となり、残り14単位以上を他の講座等から履修する形となる。）

＊1：設計演習Ⅰは学部設計製図Ⅱ２（非常勤教員担当）を代替えとできる。（履修にあたっては専攻主任あるいは教務部委員に相談のこと）

16-10　人間教育学専攻（修士課程）カリキュラム表

（* 本年度開講せず）

授業科目	担当者	単位 前期	単位 後期	整理番号	履修可能範囲等	備考
人格・道徳性形成と教育研究	押谷	2		M001		小学校専修免許の単位には認められない
道徳教育の指導と実践	押谷		2	M002		
幼児の発達と保育学研究	横山	2		M003		幼稚園専修免許の単位には認められない
幼児教育の指導と実践	横山		2	M004		
自然認識の発達と教育研究	小川	2		M005		14単位以上選択必修
自然認識教育の指導と実践	小川		2	M006		
音楽表現の創造と教育研究	永岡	2		M007		
音楽表現研究の指導と実践	永岡		2	M008		
造形表現と教育研究	清水	2		M009		
造形表現教育の指導と実践	清水		2	M010		
認識と教育工学研究	田中	2		M011		
視聴覚・コンピュータ教材の開発と学習指導	田中		2	M012		
情報教育研究	大串	2		M013		
情報活用機能の充実と学校経営	大串		2	M014		
生徒指導とカウンセリング研究	有村	2		M015		
学校・学級経営の充実と特別活動の指導	有村		2	M016		
教育経営特別演習 *	押谷・小川・清水	2		M017	×	（隔年開講：奇数年）
授業研究特別演習	押谷・小川・清水		2	M018		（隔年開講：偶数年）
教育学演習Ⅰ	専任教員	2	2	M019		必修
教育学演習Ⅱ	専任教員	2	2	M020		必修
教育学特別研究Ⅰ		4	4	M021		必修

1．履修可能範囲等の［×］は本年度開講せず。

授業概要

▶文学研究科 日本文学専攻（博士前期課程）

A001　日本文学特別演習Ⅰ　修士論文指導

教授　大倉　比呂志

中古文学を専攻しようとする学生の研究指導を行い、修士論文作成に必要な助言を与える。

①修士論文　②資料分析

A002　日本文学特別演習Ⅱ　修士論文指導

教授　博士（文学）　齋藤　彰

中世文学・和歌文学専攻の院生の研究指導を行い、修士論文作成にかかわる諸問題について、質疑を通して助言する。

①学問観　②目的と方法　③研究文献・資料収集

A003　日本文学特別演習Ⅲ　修士論文指導

教授　岸田　依子

書誌学、源泉と影響、調査と分析、論証の方法など、中世文学の研究方法を実践的に学ぶ。各自の研究テーマに沿った報告と討論を重ねるなかで、個々の問題意識を深め、主体的な研究姿勢を培う場としたい。

①基礎的研究の方法　②調査と分析　③新しい視点　④関連領域の参照　⑤解釈と考察　⑥論証の方法

A004　日本文学特別演習Ⅳ　修士論文指導

教授　吉田　昌志

近代文学・現代文学を専攻しようとする学生の研究指導を行い、修士論文作成にかかわる諸問題を討議しながら、必要な助言を与える。

①解釈の多様性　②論文のスタイル　③引用と注

A005　日本文学特別演習Ⅴ　修士論文指導

教授　太田　鈴子

各修士論文のテーマに基づいて、論文指導を行う。近代文学、現代文学を専攻する学生に対して研究指導を行い、修士論文に向けての助言を与える。

①研究テーマの検討　②資料収集と整理　③考察の方法

A006　日本語学特別演習　修士論文指導

教授　博士（文学）　山田　潔

担当者の著書・論文を資料として、修士論文作成に向けての指導を行う。

①テーマの設定　②用例の収集法　③論証の仕方　④執筆の順序・方法

A007　上代文学特殊研究　複数の「古代」

非常勤講師　神野志　隆光

歴史のなかで作りだされてゆく「古代」を見る。平安時代以後、『日本書紀』を変奏して、「古代」はつくられる。実際には、「皇代記」としてその変奏が成されること、また「皇代記」が、変奏を遂げつつ近世にいたるまで、「古代」認識の現場であり続けたことを見ていく。

①テキストにおいて成り立つ「古代」　②「皇代記」

A008　中古文学特殊研究『しのびね』を読む

教授　大倉　比呂志

中世王朝物語の中の『しのびね』を丹念に分析していくことによって、表現の背後にかくされた意味を読みとっていく。

①しのびね　②女の幸福の物語

A009　中世文学特殊研究Ⅰ　世阿弥能楽論の研究

教授　博士（文学）　齋藤　彰

世阿弥能楽論『風姿花伝』を金春家旧蔵・宝山寺蔵本（影印・注釈書）で読む。世阿弥能楽論の文学史的意義は大きく、人間の心のあり方をも教えてくれる。和歌的基盤に留意しつつ、文脈と構成意識に即して解読し、世阿弥の論理と方法を追究したい。

①風姿花伝　②世阿弥の論理　③和歌的基盤

A010　中世文学特殊研究Ⅱ　西行とその周辺

教授　岸田　依子

渡辺家本『西行物語絵巻』を詞書を中心に読む。『山家集』などの西行の歌集や、『撰集抄』『西行物語』などの説話や伝記物語などと対照させつつ、出家と遁世、旅の時空、修験道、身と心、自然と信仰など、作品に内在する諸問題について深く考察する。

①西行　②『山家集』　③西行伝説　④数寄と道心　⑤漂泊　⑥西行像の変容

A011　近世文学特殊研究　江戸の芸能ー落語

非常勤講師　延広　真治

落語の歴史。原話と現行落語との比較。

①舌耕文芸

A012　近代文学特殊研究Ⅰ　泉鏡花研究

教授　吉田　昌志

日本近代の浪漫主義の代表作家である泉鏡花について、その多様な世界の諸相を考察する。本年度は、明治三十年代までを対象としたい。

①近代と反近代　②フォークロアと美意識　③語りと文体

A013　近代文学特殊研究Ⅱ　文学史研究

非常勤講師　山田　有策

近代日本を代表する詩歌や小説・物語の解読の方法を具体的に試みると共に、それを文学・文化の歴史にどのように位置づけていくかを明らかにしていく。

①小説と物語　②詩歌　③空間　④時間　⑤語り手　⑥語り手の言葉と方向

A014　近代文学特殊研究Ⅲ　近代作品研究

非常勤講師　山田　有策

近代日本文学のさまざまなジャンル（俳句、短歌、詩、小説、物語、エッセイ、戯曲 etc.）の作品を取り上げ、その解読の方法を具体的に示し、その作品世界の構造を解明していく。

①詩歌　②小説　③物語　④エッセイ　⑤戯曲

A015 日本文学特殊研究　現代文学研究

教授　太田　鈴子

１９３０年前後の日本文学について、これまでの研究成果を整理し、主として川端康成とその周辺について詳しく考察していく

①「新思潮」 ②「文芸時代」 ③新興芸術派叢書

A017 上代文学演習Ⅱ　『万葉集』を読む

非常勤講師　神野志　隆光

万葉集の作品を読む。作品理解を深めるとともに、テキスト理解の技術・方法を修得することをめざす。

①万葉集 ②テキスト理解

A019 中古文学演習Ⅱ『源氏物語（常夏・野分）』を読む

教授　大倉　比呂志

本年度は源氏物語の常夏・篝火・野分・行幸巻を丹念に分析して、その特色を把握する。

①玉鬘 ②近江君

A021 中世文学演習ＩＢ　中世和歌文学研究

教授　博士（文学）　齋藤　彰

宮内庁書陵部蔵『草庵和歌集』を読む。作者頓阿は、二条為世門の和歌四天王（頓阿・兼好・浄弁・慶運）の一人であり、兼好の友人である。温雅･優艶な歌風で、後世に二条派の典型と仰がれる『草庵和歌集』の現代語訳・詠歌分析・歌群構成・歌壇状況他を探る。

①二条派歌風 ②頓阿 ③草庵和歌集（春上）

A023 中世文学演習ⅡＢ　中世文学評論の研究

教授　岸田　依子

鎌倉初期に成立した、現存最古の文芸評論『無名草子』を読む。源氏物語論をはじめ、平安後期物語の評論、歌集の評論、女流歌人の論評など、その評論の姿勢と特性について多面的に深く考察する。

①文芸評論 ②成立と作者 ③鏡物の形式と構成 ④物語論 ⑤女性論 ⑥批評の特性

A025 近世文学演習Ⅱ　注釈の方法

非常勤講師　延広　真治

出席者と相談の上、決めます。

①注釈 ②語彙考証

A027 近代文学演習Ⅱ　近代の短編小説を読む

教授　吉田　昌志

日本の近代文学の中心ジャンルは小説であり、その小説は短編を中心に展開してきた。本演習では明治以来、三代にわたる短編小説を読み、その多様な表現を解析する方法を学ぶ。

①ノベルとロマンス ②語りの方法 ③文体 ④視点

A028 日本文学演習 現代小説を読む

教授　太田　鈴子

現代都市生活者を描く村上春樹の作品を読んでいく。作品について調査し考察したことについての発表を基として、作品の読みを深め、研究テーマのありかたや、資料収集の方法と整理のし方を学ぶ。

①研究テーマの検討 ②資料収集と整理 ③考察の方法

A029 日本語学特殊研究Ⅰ 室町時代の語彙と語法Ⅰ

教授　博士（文学）　山田　潔

キリシタン文献・抄物を資料とする室町時代語研究の概要ならびに今後の課題について、拙著『玉塵抄の語法』をテキストにして、指導を行う。

①中性動詞 ②述定と装定 ③陳述と程度 ④推量の助動詞 ⑤主格表現 ⑥待遇表現

A030 日本語学特殊研究Ⅱ 室町時代の語彙と語法Ⅱ

教授　博士（文学）　山田　潔

キリシタン文献・抄物を資料とする室町時代語研究の概要ならびに今後の課題について、拙著『玉塵抄の語法』をテキストにして、指導を行う。

①中性動詞 ②述定と装定 ③陳述と程度 ④推量の助動詞 ⑤主格表現 ⑥待遇表現

A031 日本語学演習Ⅰ 渡辺実『国語文法論』研究

教授　博士（文学）　山田　潔

今日の学校文法の根幹をなすものは、橋本進吉の文節論による文法論であるが、他にも、山田孝雄･時枝誠 記･渡辺実の「陳述」を構文論の骨子とする文法理論がある。今年度は、渡辺実『国語文法論』をテキストにして、質疑応答の形式で渡辺文法を把握して行く。

①陳述 ②叙述 ③展叙 ④統叙 ⑤詞と辞 ⑥品詞分類

A032 日本語学演習Ⅱ　中世文法史研究

教授　博士（文学）　山田　潔

拙著『中世文法史論考』をテキストにして、中世文法史の概要を講義する。古代語から近代語への変遷の過程を、助詞･助動詞の用法を中心に明らかにして行く。受講生の発表や質問に基づき、討議形式で行う。

①中古語 ②中世語 ③近代語 ④抄物 ⑤キリシタン文献

A033 中国文学特殊研究『顔氏家訓』を読む

教授　田熊　信之

北斉の顔之推が著した『顔氏家訓』を選読する。南北朝末期の動乱の世を生きた知識人・之推がどのような思いをもっていたか。之推が児孫のために記した平明簡素で滋味豊かな文章を読み進めながら、その方寸世界を窺う。

①顔氏と顔之推 ②家訓と箴誡 ③南朝と北朝 ④学問と士大夫 ⑤見聞と逸話 ⑥文字と音韻

▶文学研究科 日本文学専攻（博士後期課程）

B001 日本文学特論ＩＢ　博士論文指導

教授　大倉　比呂志

中古文学を専攻する学生に必要な研究指導を行ない、論文作成や学会発表等の助言を与える。

①学会発表　②学会誌

B002 日本文学特論Ⅱ Ｂ 日本古典文学の理念

教授　博士（文学）　齋藤　彰

まこと・あはれ・をかし・艶・無常・幽玄・有心・無心の諸相を概観する。古典文藝作品の文脈に即して、語義を的確に理解し、それぞれの理念を明確にしつつ、日本人の心を探る。

①理念　②文脈　③心

B003 日本文学特論Ⅲ Ｂ 中世文学研究方法論

教授　岸田　依子

中世文学を専攻する学生の研究課題を中心に、より専門性の高い研究指導を行う。また、学会・研究会における発表や、学術論文作成に関する助言を行う。

①研究テーマ　②研究方法　③論文の構成　④論拠の提示　⑤論の展開と結論　⑥発表

B004 日本文学特論Ⅳ Ｂ 近代文学研究の方法論

教授　吉田　昌志

近代文学・現代文学を専攻する学生に必要な研究指導を行い、論文の作成や学会・研究会での口頭発表に関する助言を与える。

①論証　②論文の文章　③口頭発表

B005 日本文学特論Ⅴ Ｂ　現代文学研究

教授　太田　鈴子

日本近代文学の語りの構造についてみていく。「私」の語り方、「心」の語り方、「カメラ」視線など、主として、１９４０年代から現在にいたるまでの語りの方法を分析していきたい。

①「私」の語り方　②「心」の語り方　③「カメラ」の視線　④バーチャルな語り

B006 日本語学特論Ｂ　日本語学研究方法論

教授　博士（文学）　山田　潔

日本語学専攻博士後期課程学生を対象に、学生の研究課題を中心とした日本語学の研究法について指導を行う。

①日本語学の領域　②資料の種類　③用例の採集法　④比較と分析　⑤論証と結論　⑥執筆法

B007 上代文学特殊研究　複数の「古代」

非常勤講師　神野志　隆光

歴史のなかで作りだされてゆく「古代」を見る。平安時代以後、『日本書紀』を変奏して、「古代」はつくられる。実際には、「皇代記」としてその変奏が成されること、また「皇代記」が、変奏を遂げつつ近世にいたるまで、「古代」認識の現場であり続けたことを見ていく。

①テキストにおいて成り立つ「古代」　②「皇代記」

B008 中古文学特殊研究　『しのびね』を読む

教授　大倉　比呂志

中世王朝物語の中の『しのびね』を丹念に分析していくことによって、表現の背後にかくされたを意味を読みとっていく。

①しのびね　②女の幸福の物語

B009 中世文学特殊研究Ⅰ　『徒然草』研究

教授　博士（文学）　齋藤　彰

『徒然草』に載る人物について、各種辞典の解説や解題および注釈書を調査･検証して､『徒然草人名略解題』を作成する。

①歌人　②僧　③貴族　④専門家

B010 中世文学特殊研究Ⅱ　西行とその周辺

教授　岸田　依子

渡辺家本『西行物語絵巻』を詞書を中心に読む。『山家集』などの西行の歌集や､『撰集抄』『西行物語』などの説話や伝記物語などと対照させつつ、出家と遁世、旅の時空、修験道、身と心、自然と信仰など、作品に内在する諸問題について深く考察する。

①西行　②『山家集』　③西行伝説　④数寄と道心　⑤漂泊　⑥西行像の変容

B011 近世文学特殊研究　江戸の芸能ー落語

非常勤講師　延広　真治

落語の歴史。原話と現行落語との比較。

①落語　②舌耕文芸

B012 近代文学特殊研究ＩＡ　泉鏡花研究

教授　吉田　昌志

日本近代の浪漫主義の代表作家である泉鏡花について、その多様な世界の諸相を考察する。本年度は、明治三十年代までを対象としたい。

①近代と反近代　②フォークロアと美意識　③語りと文体

B013 近代文学特殊研究ＩＢ　川端康成研究

教授　太田　鈴子

平安朝末期に貴族や武士に影響を与えた明恵上人が、近代においてどのように受容されたかを見ていくことによって、日本人の美意識を考察する。

①徳富蘇峰　②近松秋江　③川端康成　④保田与重郎　⑤河合隼雄

B014 近代文学特殊研究Ⅱ　文学史研究

非常勤講師　山田　有策

近代日本を代表する詩歌や小説・物語の解読の方法を具体的に試みると共に、それを文学・文化の歴史にどのように位置づけていくのかを明らかにしていく。

①小説と物語　②詩歌　③空間　④時間　⑤語り手　⑥語りの言葉と方向

B015 近代文学特殊研究Ⅲ　近代作品研究

非常勤講師　山田　有策

近代日本文学のさまざまなジャンル（俳句、短歌、詩、小説、物語、エッセイ、戯曲 etc.）の作品を取り上げ、その解読の方法を具体的に示し、その作品世界の構造を解明していく。

①詩歌　②小説　③物語　④エッセイ　⑤戯曲

B018 上代文学演習Ⅲ　『万葉集』を読む

非常勤講師　神野志　隆光

万葉集の作品を読む。作品理解を深めるとともに、テキスト理解の技術・方法を修得することをめざす。

①万葉集　②テキスト理解

B021 中古文学演習Ⅲ『源氏物語（常夏・野分）』を読む

教授　大倉　比呂志

本年度は源氏物語の常夏・篝火・野分・行幸巻を丹念に分析して、その特色を把握する。

①玉鬘　②近江君

B024 中世文学演習ⅢA　中世和歌文学研究

教授　博士（文学）　齋藤　彰

宮内庁書陵部蔵『草庵和歌集』を読む。作者頓阿は、二条為世門の和歌四天王（頓阿・兼好・浄弁・慶運）の一人であり、兼好の友人である。温雅･優艶な歌風で、後世に二条派の典型と仰がれる『草庵和歌集』の現代語訳・詠歌分析・歌群構成・歌壇状況他を探る。

①二条派歌風　②頓阿　③草庵和歌集（春上）

B027 中世文学演習Ⅲ B 中世文学評論の研究

教授　岸田　依子

鎌倉初期に成立した、現存最古の文芸評論『無名草子』を読む。源氏物語論をはじめ、平安後期物語の評論、歌集の評論、女流歌人の論評など、その評論の姿勢と特性について多面的に深く考察する。

①文芸評論　②成立と作者　③鏡物の形式と構成　④物語論　⑤女性論　⑥批評の特性

B030 近世文学演習Ⅲ　注釈の方法

非常勤講師　延広　真治

出席者と相談の上、決めます。

①注釈　②語彙考証

B033 近代文学演習Ⅲ A　短編小説の読解

教授　吉田　昌志

日本の近代文学の中心ジャンルは小説であり、その小説は短編を中心に展開してきた。本演習では明治以来、三代にわたる短編小説を読み、その多様な表現を解析する方法を学ぶ。

①ノベルとロマンス　②語りの方法　③文体　④視点

B036 近代文学演習Ⅲ B 現代女性文学研究Ⅲ

教授　太田　鈴子

現代女性文学に表現された女性の問題を考察する。主として、独自にポップな語りを編みだし、特異な境地を表現しつづける笙野頼子の小説、評論を読んでいく。

①ジェンダー　②フェミニズム　③美醜　④社会と自分　⑤風習

B038 日本語学特殊研究Ⅱ　中世文法史研究

教授　博士（文学）　山田　潔

キリシタン文献・抄物を資料とする室町時代語研究の概要ならびに今後の課題について、拙著『中世文法史論考』をテキストにして、指導を行う。

①中性動詞　②述定と装定　③陳述と程度　④推量の助動詞　⑤主格表現　⑥待遇表現

B041 日本語学演習Ⅲ「天草本平家物語」研究Ⅲ

教授　博士（文学）　山田　潔

室町時代言語の概要を、『百二十句本平家物語』と『天草本平家物語』の本文を対照させる形で、把握する。特に、助詞・助動詞の変遷に注意を払いつつ、どのような表現形式の変化が見られるかを、詳しく見ていくこととする。

①百二十句本　②天草本　③和らげ　④用言　⑤助詞助動詞　⑥待遇表現

▶文学研究科 英米文学専攻（博士前期課程）

C001 英米文学特別演習Ⅰ　論文指導
特任教授　瀧澤　正彦
修士論文の書き方を指導する
①英文学　②英語学　③文学批評

C002 英米文学特別演習Ⅱ　論文指導
特任教授　島田　太郎
修士論文の書き方を指導する
①論文の形式　②作家研究方法　③先行論文の調べ方

C003 英米文学特別演習Ⅲ　論文指導
教授　平井　法
イギリス現代文学、もしくは19世紀以降のイギリス女性作家の作品について、学生の希望に添って、修士論文作成の指導を行う。
①イギリス文学　②現代文学　③女性作家

C004 英語学特別演習Ⅰ　論文指導
特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦
修士課程学生の研究指導

C005 英語学特別演習Ⅱ　論文指導
特任教授　文学博士　小川　浩
英語史、中世英文学などを専攻する学生の研究指導、修士論文執筆の指導を行う。
①英語史・中世英語英文学　②論文書式　③文献講読

C008 英米文学特殊研究Ⅱａ イギリス演劇研究
非常勤講師　深澤　俊
サヴォイ・オペラの代表作『ミカド』(The Mikado)を読む。
①サヴォイ・オペラ　②ジャポニスム　③言葉遊び

C009 英米文学特殊研究Ⅱｂ イギリス演劇研究
非常勤講師　深澤　俊
引き続いてサヴォイ・オペラの代表作『ミカド』を、そして出世作『軍艦ピナフォア』を読む。
①サヴォイ・オペラ　②社会風刺　③言葉遊び

C010 英米文学特殊研究Ⅲａ 現代アメリカ文学研究
特任教授　渡邊利雄
リチャード・チェイスのアメリカ文学 (小説) 論を通してアメリカの「ロマンス・ノヴェル」の特徴を再考します。
①アメリカ小説　②「ロマンス・ノヴェル」　③リチャード・チェイス

C011 英米文学特殊研究Ⅲｂ 現代アメリカ文学研究
特任教授　渡邊利雄
リチャード・チェイスのアメリカ文学 (小説) 論を通してアメリカの「ロマンス・ノヴェル」の特徴を再考します。
①アメリカ小説　②「ロマンス・ノヴェル」　③リチャード・チェイス

C012 英米文学特殊研究Ⅳａ アメリカ詩研究
特任教授　沢崎　順之助
20 世紀のアメリカ詩を読む。詩人、作品は受講生との話しあいで決めることにする。どのテキストが取り上げられるにせよ、なによりも優先されるのは、能うかぎり正確に読み解くことにある。それを実践したい。
①20世紀アメリカ詩の特性　②モダニズムの動向　③保守と前衛

C013 英米文学特殊研究Ⅳｂ アメリカ詩研究
特任教授　沢崎　順之助
20 世紀のアメリカ詩を読む。詩人、作品は受講生との話しあいで決めることにする。どのテキストが取り上げられるにせよ、なによりも優先されるのは、能うかぎり正確に読み解くことにある。それを実践したい。
①20世紀アメリカ詩の特性　②モダニズムの動向　③保守と前衛

C014 英米文学特殊研究Ⅴａ シェイクスピア研究
非常勤講師　上坪　正徳
Shakespeare の喜劇の特質を考えながら、最高傑作の1つである Twelfth Night を精読する。テキストは The New Cambridge Shakespeare 版を用いるが、他の版本の注も参照すること。日本語の注釈は、コピーして教室で配布する。
①シェイクスピア　②喜劇　③エリザベス朝

C015 英米文学特殊研究Ⅴｂ シェイクスピア研究
非常勤講師　上坪　正徳
前期に引き続いて、Shakespeare 喜劇の最高傑作の1つである Twelfth Night を精読する。テキストは The New Cambridge Shakespeare 版を用いるが、他の版本の注も参照すること。Twelfth Night 読了後は、Shakespeare の他の喜劇を読む予定である。
①シェイクスピア　②喜劇　③エリザベス朝

C016 英米文学特殊研究Ⅵａ アメリカ小説研究
特任教授　島田　太郎
20 世紀アメリカ最大の小説家 William Faulkner, "The Bear" を読む予定だが、聴講者の希望により変更することもあり得る
① Initiation　② Wilderness ③南部

C017 英米文学特殊研究Ⅵｂ アメリカ小説研究
特任教授 島田 太郎
20 世紀アメリカ最大の小説家 William Faulkner," The Bear" を読む予定だが、聴講者の希望により変更することもあり得る
① Initiation ② Wilderness ③南部

C018 英米文学演習Ⅰａ イギリス詩演習
特任教授 瀧澤 正彦
英詩演習。具体的に取り上げる作品は受講者と協議して決めるが、十六世紀から十九世紀までの比較的大きな古典的作品を選びたい。輪読し、作品解釈について討論する。
①英語 ②詩 ③古典

C019 英米文学演習Ⅰｂ イギリス詩演習
特任教授 瀧澤 正彦
英詩演習。取り上げる具体的作品については受講者と協議の上で決めるが、特に希望がなければ、前期の作品を継続して読み進めたい。輪読と、作品解釈に関する討論が中心となる。
①英語 ②詩 ③古典

C020 英米文学演習Ⅱａ 19 世紀イギリス小説演習
非常勤講師 深澤 俊
シャーロット･ブロンテの『教授』(The Professor) を読む。
①イギリス小説 ②社会・人物批評 ③語りと視点

C021 英米文学演習Ⅱｂ 19 世紀イギリス小説演習
非常勤講師 深澤 俊
引き続きシャーロット・ブロンテの『教授』を読む。
①イギリス小説 ②社会・人物批評 ③語りと視点

C022 英米文学演習Ⅲａ 20 世紀イギリス小説演習
教授 平井 法
ボルヘスに遡源するマジック・リアリズムの旗手と言われる Angela Carter の『The Magic Toyshop』(1967) を読み、脱ヴィクトリア朝的モラルを目指すフェミニズム的視点、弟子の Kazuo Ishiguro の〈表現主義〉につながる超リアリズムの手法を学ぶ
①マジック・リアリズム ②表現主義 ③フェミニズム

C023 英米文学演習Ⅲｂ 20 世紀イギリス小説演習
教授 平井 法
ボルヘスに遡源するマジック・リアリズムの旗手と言われる Angela Carter の『The Magic Toyshop』(1967) を読み、脱ヴィクトリア朝的モラルを目指すフェミニズム的視点、弟子の Kazuo Ishiguro の〈表現主義〉につながる超リアリズムの手法を学ぶ
①マジック・リアリズム ②表現主義 ③フェミニズム

C024 英米文学演習Ⅳａ 現代アメリカ文学演習
特任教授 渡邊利雄
ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ (人) とは何かという問題を考えます。
①アメリカのイメージ ②スタインベック ③エッセイ・旅行記

C025 英米文学演習Ⅳｂ 現代アメリカ文学演習
特任教授 渡邊利雄
ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ（人）とは何かという問題を考えます。
①アメリカのイメージ ②スタインベック ③エッセイ・旅行記

C026 英米文学演習Ⅴａ アメリカ演劇演習
特任教授 島田 太郎
Arthur Miller, Death of a Salesman を読む予定
① realism ② symbolism ③心理描写

C027 英米文学演習Ⅴｂ アメリカ演劇演習
特任教授 島田 太郎
Arthur Miller の作品を読み続ける予定
① realism ② symbolism ③心理描写

C032 英語学特殊研究Ⅱａ 翻訳論
特任教授 Ph.D. 池上 嘉彦
日本語から英語への翻訳（時には、同じ原典の二つ以上の翻訳）を綿密に比較検討することを通して、翻訳という営みの可能性と限界を考えると同時に、日本語と英語という言語のそれぞれの特徴的な性格を探る。今学期は次にあげる夏目漱石の『こころ』の二つの英語訳を取り上げ、比較検討する。近藤いね子訳 , Kokoro（研究社 , 1941） Edwin McClellan, tr., Kokoro (Tuttle, 1969)
①言語 ②意味 ③文化 ④翻訳

C033 英語学特殊研究Ⅱｂ 翻訳論
特任教授 Ph.D. 池上 嘉彦
日本語から英語への翻訳（時には、同じ原典の二つ以上の翻訳）を綿密に比較検討することを通して、翻訳という営みの可能性と限界を考えると同時に、日本語と英語という言語のそれぞれの特徴的な性格を探る。（前期授業の続講）
①意味 ②言語 ③認知

C034 英語学特殊研究Ⅲａ 古英語演習
特任教授 文学博士 小川 浩
古英語入門。今学期は古英語は初めての受講者を想定して、文法の基礎から始める。といっても文法ばかりを詳しくやっても余り意味はない。文法は出来るだけ簡単に済ませ、実際の作品を読む。それが、この時代の言語や文学に慣れ親しみ、また英語の歴史について関心を深める一番いい方法だと思う。
①古英語 ②古英語文学 ③英語史

C035 英語学特殊研究Ⅲｂ　古英語演習

特任教授　文学博士　　小川　浩

前期に続いて古英語の入門コース。講読する作品は未定。受講者と相談のうえ決める。前期同様、「英語の古文」としての古英語を読み解くことの面白さを味わうことが中心。そのためには何よりも精読が基本で、その中から読み手の関心に沿って色々な問題が出てくる――そんな授業を目指したい。

①古英語　②古英語文学　③英語史

C036 英語学演習Ⅰａ　中英語演習

特任教授　文学博士　　小川　浩

中英語演習。去年に続き Chaucer, The Canterbury Tales を読む。今年度前期は The Miller's Tale。所謂 fabliau の系列に属するこの話は、『カンタベリー物語』の多面的な世界の一方の極を示す。その面白さを味わいたい。そのためには何よりも作品の精読が基本で、その中から読み手の関心によって様々な問題（英語史的、文体的、文学的、等々）が生まれてくる――そんな授業を目指したい。

①チョーサー　②中世英文学　③英語史

C037 英語学演習Ⅰｂ　中英語演習

特任教授　文学博士　　小川　浩

中英語演習。Chaucer, The Canterbury Tales を読み、中世英文学の特徴や英語史の問題を考えたい。前期の続き。講読する作品は未定。

①チョーサー　②中世英文学　③英語史

C038 英語学演習Ⅱａ　認知文法・認知意味論

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

日本語と英語の対照研究のための短い教科書として、アメリカの代表的な日本語学者によって日本人学生のために書かれた次の書物をテキストとして、認知言語学の考え方の一端を学ぶ：J. Hinds: Situation vs. Person Focus (日本語らしさと英語らしさ), くろしお出版 .

①認知言語学　②文法　③意味

C039 英語学演習Ⅱｂ　認知文法・認知意味論

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

日本語と英語の対照研究を通して、認知言語学の基本的な考え方を学ぶ。（前期授業の続講）

①認知言語学　②文法　③意味

C040 アメリカ文化特殊研究ａ　アメリカ思想

非常勤講師　　古澤　寛行

世界に最も大きな影響力を持つ国は、功罪を問わず、アメリカ合衆国である。政治力、経済力、軍事力だけではない。文化、思想、科学、あらゆる面で、この国はリードしている。なぜか。その基礎となった西洋思想を概観しながら、アメリカ人の考え方や価値観を追求する。

①西洋思想概観　②ギリシャ哲学　③キリスト教

C041 アメリカ文化特殊研究ｂ　アメリカ思想

非常勤講師　　古澤　寛行

前期に引き続き、西洋における思想の流れと宗教を追う。旧約聖書および新約聖書の抜粋を読み、哲学思想の動きを考察する。特に、啓蒙思想と超越主義、プラグマティズム、キリスト教原理思想等、を扱い、今日のアメリカにつなげていきたい。

①合理思想と経験論　②超越思想　③プラグマティズム

C043 言語学特殊講義Ｂ　日本語論

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫).

①日本語　②言語　③文化

C044 言語学特殊講義Ｃ　日本語論

特任教授　Ph.D.　　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫).

①日本語　②言語　③文化

▶文学研究科 英米文学専攻（博士後期課程）

D001 英米文学特論Ⅰ　イギリス文学研究

特任教授　瀧澤　正彦

基本的には、受講者から研究の進捗状況、問題点などについての報告を受けて、研究方法を含め、討論する。対象は、15世紀以降の英文学全般とする。

①英文学　②研究方法　③文学理論

D003 英米文学特論Ⅲ　アメリカ文学研究

特任教授　渡邊利雄

博士論文執筆に向けての指導を行う。

①先行研究の確認　②論文作成の基本　③ MLA Style Sheet

D004 英米文学特論Ⅳ　アメリカ小説・演劇研究

特任教授　島田　太郎

博士論文執筆のための指導を行う

① Bibliography　② Dissertation の構成　③ MLA Style　Sheet

D007 英米文学特殊研究Ⅱａ　イギリス演劇研究

非常勤講師　深澤　俊

サヴォイ･オペラの代表作『ミカド』(The Mikado) を読む。

①サヴォイ・オペラ　②ジャポニスム　③言葉遊び

D008 英米文学特殊研究Ⅱｂ　イギリス演劇研究

非常勤講師　深澤　俊

引き続いてサヴォイ・オペラの代表作『ミカド』を、そして出世作『軍艦ピナフォア』を読む。

①サヴォイ・オペラ　②社会風刺批評　③言葉遊び

D009 英米文学特殊研究Ⅲａ　現代アメリカ文学研究

特任教授　渡邊利雄

ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ（人）とは何かという問題を考えます。

①アメリカのイメージ　②スタインベック　③エッセイ・旅行記

D010 英米文学特殊研究Ⅲｂ　現代アメリカ文学研究

特任教授　渡邊利雄

ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ（人）とは何かという問題を考えます。

①アメリカのイメージ　②スタインベック　③エッセイ・旅行記

D011 英米文学特殊研究Ⅳａ　アメリカ詩研究

特任教授　沢﨑　順之助

20 世紀のアメリカ詩を読む。詩人、作品は受講生との話しあいで決めることにする。どのテキストが取り上げられるにせよ、なによりも優先されるのは、能うかぎり正確に読み解くことにある。それを実践したい。

①20世紀アメリカ詩の特性　②モダニズムの動向　③保守と前衛

D012 英米文学特殊研究Ⅳｂ　アメリカ詩研究

特任教授　沢﨑　順之助

20 世紀のアメリカ詩を読む。詩人、作品は受講生との話しあいで決めることにする。どのテキストが取り上げられるにせよ、なによりも優先されるのは、能うかぎり正確に読み解くことにある。それを実践したい。

① 20 世紀詩の特性　②アメリカ詩の現在　③個性と伝統

D013 英米文学特殊研究Ⅴａ　シェイクスピア研究

非常勤講師　上坪　正徳

Shakespeare の喜劇の特質を考えながら、最高傑作の1つである Twelfth Night を精読する。テキストは The New Cambridge Shakespeare 版を用いるが、他の版本の注も参照すること。日本語の注釈は、コピーして教室で配布する。

①シェイクスピア　②喜劇　③エリザベス朝

D014 英米文学特殊研究Ⅴｂ　シェイクスピア研究

非常勤講師　上坪　正徳

前期に引き続いて、Shakespeare 喜劇の最高傑作の1つである Twelfth Night を精読する。テキストは The New Cambridge Shakespeare 版を用いるが、他の版本の注も参照すること。Twelfth Night 読了後は、Shakespeare の他の喜劇を読む予定である。

①シェイクスピア　②喜劇　③エリザベス朝

D015 英米文学特殊研究Ⅵａ　アメリカ小説研究

特任教授　島田　太郎

20 世紀アメリカ最大の小説家 William Faulkner, "The Bear" を読む予定だが、聴講者の希望により変更することもあり得る

① Initiation　② Wilderness ③南部

D016 英米文学特殊研究Ⅵｂ　アメリカ小説研究

特任教授　島田　太郎

20 世紀アメリカ最大の小説家 William Faulkner, "The Bear" を読む予定だが、聴講者の希望により変更することもあり得る

① Initiation　②　Willderness ③　南部

D017 英米文学演習Ⅰａ　イギリス詩演習

特任教授　瀧澤　正彦

英詩演習。具体的に取り上げる作品は受講者と協議して決めるが、十六世紀から十九世紀までの比較的大きな古典的作品を選びたい。輪読し、作品解釈について討論する。

①英語　②詩　③古典

D018　英米文学演習Ⅰb　イギリス詩演習
特任教授　瀧澤　正彦
英詩演習。取り上げる具体的作品については受講者と協議の上で決めるが、特に希望がなければ、前期の作品を継続して読み進めたい。輪読と、作品解釈に関する討論が中心となる。
①英語　②詩　③古典

D019　英米文学演習Ⅱa　19 世紀イギリス小説演習
非常勤講師　深澤　俊
シャーロット･ブロンテの『教授』(The Professor) を読む。
①イギリス小説　②社会・人物批評　③語りと視点

D020　英米文学演習Ⅱb　19 世紀イギリス小説演習
非常勤講師　深澤　俊
引き続きシャーロット・ブロンテの『教授』を読む。
①イギリス小説　②社会・人物批評　③語りと視点

D021　英米文学演習Ⅲa　20 世紀イギリス小説演習
教授　平井　法
ボルヘスに遡源するマジック・リアリズムの旗手と言われる Angela Carter の『The Magic Toyshop』(1967) を読み、脱ヴィクトリア朝的モラルを目指すフェミニズム的視点、弟子の Kazuo　Ishiguro の〈表現主義〉につながる超リアリズムの手法を学ぶ
①マジック・リアリズム　②表現主義　③フェミニズム

D022　英米文学演習Ⅲb　20 世紀イギリス小説演習
教授　平井　法
ボルヘスに遡源するマジック・リアリズムの旗手と言われる Angela Carter の『The Magic Toyshop』(1967) を読み、脱ヴィクトリア朝的モラルを目指すフェミニズム的視点、弟子の Kazuo　Ishiguro の〈表現主義〉につながる超リアリズムの手法を学ぶ
①マジック・リアリズム　②表現主義　③フェミニズム

D023　英米文学演習Ⅳa　現代アメリカ文学演習
特任教授　渡邊利雄
ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ (人) とは何かという問題を考えます。
①アメリカのイメージ　②スタインベック　③エッセイ・旅行記

D024　英米文学演習Ⅳb　現代アメリカ文学演習
特任教授　渡邊利雄
ジョン・スタインベックのアメリカ論を通して、アメリカ (人) とは何かという問題を考えます。
①アメリカのイメージ　②スタインベック　③エッセイ・旅行記

D025　英米文学演習Ⅴa　アメリカ演劇演習
教授　島田　太郎
Arthur Miller, Death of a Salesman 購読
① realism　② symbolism　③心理描写

D026　英米文学演習Ⅴb　アメリカ演劇演習
教授　島田　太郎
Arthur Miller の作品を読み続ける予定
① realism　② symbolism　③心理描写

D030　英語学特論Ⅱ　研究指導
教授　Ph.D.　池上　嘉彦
博士課程学生の研究指導

D031　英語学特論Ⅲ　研究指導
教授　文学博士　小川　浩
英語史、中世英文学などを専攻する学生の研究指導、博士論文執筆の指導を行う。
①英語史・中世英語英文学　②論文書式　③文献講読

D034　英語学特殊研究Ⅱa　翻訳論
教授　Ph.D.　池上　嘉彦
日本語から英語への翻訳（時には、同じ原典の二つ以上の翻訳）を綿密に比較検討することを通して、翻訳という営みの可能性と限界を考えると同時に、日本語と英語という言語のそれぞれの特徴的な性格を探る。今学期は次にあげる夏目漱石の『こころ』の二つの英語訳を取り上げ、比較検討する。　近藤いね子訳 , Kokoro（研究社 , 1941)　Edwin McClellan, tr., Kokoro (Tuttle, 1969)
①言語　②意味　③文化　④翻訳

D035　英語学特殊研究Ⅱb　翻訳論
教授　Ph.D.　池上　嘉彦
日本語から英語への翻訳（時には、同じ原典の二つ以上の翻訳）を綿密に比較検討することを通して、翻訳という営みの可能性と限界を考えると同時に、日本語と英語という言語のそれぞれの特徴的な性格を探る。（前期授業の続講）
①言語　②意味　③文化　④翻訳

D036　英語学特殊研究Ⅲa　古英語演習
教授　文学博士　小川　浩
古英語入門。今学期は古英語は初めての受講者を想定して、文法の基礎から始める。といっても文法ばかりを詳しくやっても余り意味はない。文法は出来るだけ簡単に済ませ、実際の作品を読む。それが、この時代の言語や文学に慣れ親しみ、また英語の歴史について関心を深める一番いい方法だと思う。
①古英語　②古英語文学　③英語史

D037 英語学特殊研究Ⅲｂ　古英語演習

特任教授　文学博士　小川　浩

前期に続いて古英語の入門コース。講読する作品は未定。受講者と相談のうえ決める。前期同様、「英語の古文」としての古英語を読み解くことの面白さを味わうことが中心。そのためには何よりも精読が基本で、その中から読み手の関心に沿って色々な問題が出てくる――そんな授業を目指したい。

①古英語　②古英語文学　③英語史

D038 英語学演習Ⅰａ　中英語演習

特任教授　文学博士　小川　浩

中英語演習。去年に続き Chaucer, The Canterbury Tales を読む。今年度前期は The Miller's Tale。所謂 fabliau の系列に属するこの話は、『カンタベリー物語』の多面的な世界の一方の極を示す。その面白さを味わいたい。そのためには何よりも作品の精読が基本で、その中から読み手の関心によって様々な問題（英語史的、文体的、文学的、等々）が生まれてくる――そんな授業を目指したい。

①チョーサー　②中世英文学　③英語史

D039 英語学演習Ⅰｂ 中英語演習

特任教授　文学博士　小川　浩

中英語演習。Chaucer, The Canterbury Tales を読み、中世英文学の特徴や英語史の問題を考えたい。前期の続き。

①チョーサー　②中世英文学　③英語史

D040 英語学演習Ⅱａ　認知文法・認知意味論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

日本語と英語の対照研究のための短い教科書として、アメリカの代表的な日本語学者によって日本人学生のために書かれた次の書物をテキストとして、認知言語学の考え方の一端を学ぶ：J. Hinds: Situation vs. Person Focus (日本語らしさと英語らしさ), くろしお出版 .

①認知言語学　②文法　③意味

D041 英語学演習Ⅱｂ　認知文法・認知意味論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

日本語と英語の対照研究を通して、認知言語学の基本的な考え方を学ぶ。（前期授業の続講）

①認知言語学　②文法　③意味

D042 アメリカ文化特殊研究ａ　アメリカ思想

非常勤講師　古澤　寛行

世界に最も大きな影響力を持つ国は、功罪を問わず、アメリカ合衆国である。政治力、経済力、軍事力だけではない。文化、思想、科学、あらゆる面で、この国はリードしている。なぜか。その基礎となった西洋思想を概観しながら、アメリカ人の考え方や価値観を追求する。

①西洋思想概観　②ギリシャ哲学　③キリスト教

D043 アメリカ文化特殊研究ｂ　アメリカ思想

非常勤講師　古澤　寛行

前期に引き続き、西洋における思想の流れと宗教を追う。旧約聖書および新約聖書の抜粋を読み、哲学思想の動きを考察する。特に、啓蒙思想と超越主義、プラグマティズム、キリスト教原理思想等、を扱い、今日のアメリカにつなげていきたい。

①合理思想と経験論　②超越思想　③プラグマティズム

D044 言語学特殊講義Ｂ　日本語論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として＜内＞から見ている場合の日本語のイメージと非母語として＜外＞から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫).

①日本語　②言語　③文化

D045 言語学特殊講義Ｃ　日本語論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として＜内＞から見ている場合の日本語のイメージと非母語として＜外＞から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式 (短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫).

①日本語　②言語　③文化

▶文学研究科 言語教育・コミュニケーション専攻(博士前期課程)

E001 文化間コミュニケーション A

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

外国語を教えるということは、言語のしくみや表現を教えるだけでなく、状況に応じ的確な語用を教えることでもある。的確な語用は同じ国に生まれ、言語を共有していても、それぞれが住む地域や所属している組織・グループによっても、伝達相手や状況に応じて異なってくる。しかし、人間としての普遍的な共通点というものもある。本コースでは、文化が異なるとはどういうことか、異文化に属する人同士のコミュニケーションに横たわる問題とは何かを考え、外国語教育の現場で何が問題となっているのか、などを理論と実際の資料から考える。

①文化　②コミュニケーション　③相互理解　④言語の役割　⑤個別性と普遍性

E002 文化間コミュニケーション B

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

前期に引き続き、文化間コミュニケーションのメカニズムを理論的に学ぶと共に、教師として日本語非母語話者に関わる上で不可欠な問題点を明らかにしていく。その上で、その解決策についても掘り下げていく。

①コミュニケーション②教師の役割　③相互理解　④言語の役割　⑤個別性と普遍性

E004 言語学特殊講義 B　認知言語学と文法

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫)

①日本語　②言語　③文化

E005 言語学特殊講義 C　日本語論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。　山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫)

①日本語　②言語　③文化

E007 言語教授法研究

准教授　遠藤　藍子

前期は近代以降の外国語教授法の流れと理論的な背景を理解すること、後期はコミュニカティブ・アプローチを中心にその理論と実践を結びつけることを主眼とするが、最終的には各自の言語教育観の構築を目指す。

①教養　②実用　③コミュニケーション　④タスク　⑤学習者　⑥自己研修

E008 第二言語習得 A　学習者言語の研究

教授　博士(教育学)　金子　朝子

SLA(第二言語習得研究)の枠組みを知り、学習者言語の誤り、発達パターン、多様性、語用論的特長について概観する。

①誤答分析　②習得の道筋

E009 第二言語習得 B　学習者言語の研究

教授　博士(教育学)　金子　朝子

第二言語習得研究の枠組みを知り、学習者言語の多様性、語用論的特長について概観する。また、この分野の研究方法について検討する。

①学習者言語の多様性　②学習者の発話行為

E010 言語学Ⅰ A

特任教授（準常勤）, Ph.D.　中田　清一

ことばの本質とその解明：日・英語統語論の基礎

①日本語　②英語　③統語　④普遍性　⑤個別性

E011 言語学Ⅰ B

特任教授（準常勤）, Ph.D.　中田　清一

言語理論と言語教育の接点について考察する。

①言語理論　②言語教育　③第二言語習得

E012 Distinguished Lecture　集中講義

客員教授　エリス，ロデリック

This seminar will investigate how language learners perform and acquire speech acts such as requests, apologies and refusals in a second language. It will examine research in these areas and the application of this research to the teaching of pragmatic competence. Participants will have the opportunity to work with samples of learner language to investigate interlanguage pragamatics.

① Speech acts　② Interactional acts　③ L2 acquisition　④ Instruction

E013 日本語学ＩＡ

非常勤講師　井上　優

日本語・中国語・韓国語を対象として、「対照言語学の思考法」「対照研究の実際」「個別言語研究と言語対照研究の関係」などに関する講義をおこなう。受講者には、自分で決めたテーマにもとづいて実際の比較対照をおこなうレポートを課す。

①対照言語学　②文法　③日本語　④中国語　⑤韓国語

E014 日本語学ＩＢ

非常勤講師　井上　優

前期の「日本語学ＩＡ」で述べたことがらをふまえて、実際に日本語・中国語・韓国語を対象とした対照研究を実践する。言語に関係することであればテーマは自由。

①対照言語学　②日本語　③中国語　④韓国語

E015 日本語教育論Ａ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

的確な音声の発声のメカニズムや文構造の知識はもとより、語彙の意味概念の把握は非常に重要である。それぞれの言語における語彙の意味概念は、辞書に載せられているような「ことば」で定義することが難しい。日本語の「椅子」は英語で「chair」と対訳されるが、それぞれの語が示す意味範囲は異なる。日本語では「スープ」は「飲む」のに、英語では「eat　食べる」と言うのは何故なのか。本コースでは、そのような言語の意味について考え、意味という概念について考え、語の意味分析の方法についても学ぶ。

①語の意味　②意味概念　③意義素　④意味分析

E016 日本語教育論Ｂ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

前期は、言語のしくみを概観し、語の意味分析の手法を学んだ。このクラスでは、意味と語用を中心に学ぶ。コミュニケーションの為の言語使用は、発話者と聞き手の共有知識や想定、発話の状況の把握が鍵となる。その状況には文脈、話者と聞き手の関係やそれぞれの意図、推測能力などの条件が含まれる。本コースでは、語彙の意味概念、会話の条件、語用規則など発話の根底にある語用条件とその理論について学ぶ

①意味・語用　②コミュニケーション　③日本語教育における語用教育

E017 日本語教育論Ｃ

准教授　遠藤　藍子

言語能力のレベル認定のガイドラインおよびコース・デザインや授業設計の理論と知識を押さえた上で、モデルコースやオリジナル・テキストの作成作業を行い、学習者のニーズやレベルに合ったコース設計や教材作成の力を養う。

①スタンダード　②コースデザイン　③授業設計

E018 日本語教育論Ｄ

准教授　遠藤　藍子

学習者の言語能力を適切に測定するために必要となる評価とテストに関する基礎知識を固めた上で、テスト作成を実践する。

①テスティング　②妥当性　③測定

E019 日本語教育特殊講義Ａ

准教授　遠藤　藍子

戦後の日本語教育の流れの中に現在を位置づけ、めざすべき日本語教育のあり方を考えていく上での基礎を養う。

①学習者の多様化　②在日外国人　③多文化共生

E020 日本語教育特殊講義Ｂ

准教授　遠藤　藍子

日本語教育を実践していく上で教師の理念的基盤となる教育・学習・習得に関連する概念や理論の理解と、今日の日本語教育界における問題の所在の把握、ならびに各自の日本語教育観の構築を図る。

①学習のメカニズム　②学習者要因　③教師の成長

E023 日本語教育特殊講義Ｅ

教授　博士（文学）　齋藤　彰

日本の伝統文化は、茶道、華道、きもの、歌舞伎などの江戸期のものが広く知られている。日本古来の宮廷音楽である雅楽や仏教音楽の声明、そして室町期に世阿弥が大成した能などはあまり知られていない。これらの日本の文化について理解を深めることを目標とする。

①雅楽　②能　③世阿弥

E024 日本語教育特殊講義Ｆ

教授　博士（文学）　齋藤　彰

日本の伝統文化について、能、狂言の基礎知識や表現研究、鑑賞を通して、理解を深めることを目標とする。

①能　②狂言　③謡の詞章

E025 日本語教育演習ＩＡ

准教授　遠藤　藍子

指導に関わる基本的な知識・情報を収集しながら、学習対象者に合わせた日本語教育を適切に実践していく力を育成する

①学習者　②シラバス　③項目分析　④授業計画　⑤教材　⑥技能別

E026 日本語教育演習ＩＢ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

日本語学・日本語教育学・日本語教授法から学生の興味に応じてトピックを選び、課題を中心に言語と言語教育について研究する。

①日本語学　②日本語教育学　③考察

E027　日本語教育演習Ⅱ A

准教授　遠藤　藍子

前期は修論作成に向け、論文の計画への過程で必要となる知識や方法論を確認していく。後期はグループ毎に日本語教育関連の研究テーマを任意に選択し、調査、研究、発表、討議を実践し、修論作成への基礎を固める。

①先行研究　②文献　③データ　④調査　⑤分析　⑥記述

E028　日本語教育演習Ⅱ B

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

修士論文作成のために必要なプロセスを段階的に指導する。学生が自分の論文作成に積極的に取り組むために、先行研究の発掘、読み込み、内容把握・考察、データ収集と分析・考察、論文執筆に関する課題を中心に進める。

①先行研究の考察　②データ収集と分析　③論文の構成

E029　日本語教育実習

准教授　遠藤　藍子

提携校の小学生および交流プログラムで来日の大学生に日本語授業に参加し、日本語指導の実践力の育成を図る。

①授業観察　②コースデザイン　③年少者への日本語教育

E030　日本語教育特別演習 A

准教授　遠藤　藍子

日本語学・日本語教育学関連の論文を作成するに当たり必要となる論理的な思考ならびに論述技術の育成を図り、修士論文の完成へ導く。

①先行研究　②データ収集　③分析　④考察　⑤論理性　⑥構成

E031　日本語教育特別演習 B

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

修士論文完成を目指して、個々の学生のトピックに添って指導するが、学生は異なるトピックにも興味をもち知識を増やすと共に、意見が求められる。そして、積極的なディスカッションへの参加が強く要求される。「日本語教育演習 IIB」を同時履修すること。

①先行研究の考察　②データ収集・分析・考察　③論文

E032　英語教育論 A　文法指導と FB

教授　博士（教育学）　金子　朝子

英語の授業でどのように教えるのが最も効果的かについて、これまで提案されている5つの考えかたに沿って文献を読む。さらに、今後の日本における英語教育のあるべき姿を検討したい。

① traditional approaches　② negotiation for meaning ③ feedback

E033　英語教育論 B　発話の引き出し方

教授　博士（教育学）　金子　朝子

日本人英語学習者への授業による指導において、どのような教師の発話が高い教育効果をもたらすのかを検討する。また、生徒の発話を効果的に引き出す方法も調査する。

① teachers' language　② elicitation technique

E034　英語教育特殊講義 A　英語教授法理論

教授　緑川　日出子

この授業では、将来外国語教育に携わることを目的とする院生を対象に、外国語教授法、スキル指導技術に関する理論を研究し、それらの理論を日本の英語教育へどのように応用できるか検討する予定である。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。

① Methodology　② Language skills　③ Professional development

E035　英語教育特殊講義 B　英語教授法理論

教授　緑川　日出子

この授業では、将来外国語教育に携わることを目的とする院生を対象に、学習者理解、教員教育の基礎理論の研究とそれらの理論を日本の英語教育へどのように応用できるか検討する予定である。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。

① Methodology　② Language skills　③ Professional development

E036　英語教育特殊講義 C

教授　Ed.D.　ロブソン，ゴードン

This course will enable students to understand the fundamental principles of research methods and design to help students understand research studies published in ES/FL journals and publications as well as help them design and develop their own studies. Additional focus will be on the use of statistical measures. Students will summarize studies on a weekly basis and critique and design a study for their final project.

① Research　② Data Collection　② Statistics

E037　英語教育特殊講義 D　音声指導

准教授　小林　多佳子

本講は、英語音声学・音韻論の基本的理論を紹介しつつ、英語教育への応用を前提とした音声研究を行うことを目的とする。また、母音、子音の単音、stress, rythm, intonation 等の分析と解説を、英語の音声研究上重要と思われる文献の講読を通して行う。

① Phonology　② Pronunciation　③ Pedagogy

E038 英語教育演習 A　授業改善のための AR

教授　緑川　日出子

第二言語習得、英語教授法の理論と教授実践の融合をモットーに、英語授業の改善を目指してアクション・リサーチ法の研究とアクション・リサーチの実践を行う。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。授業は、必要に応じて英語で行う。

① TESOL　② reflective teaching　③ action research

E039 英語教育演習 B　英語教授法演習

教授　緑川　日出子

英語科教育のうち、特に語彙指導に焦点を当て、語彙の特性、語彙指導、語彙能力測定、辞書とコーパス、教室の語彙指導等に関する文献の輪読とディスカッションを行い、効果的な語彙指導の方法について検討する。

① Vocabulary acquisition　② Vocabulary teaching　③ Vocabulary assessment

E040 英語教育演習 C　コーパス研究

非常勤講師 言語学博士　投野　由紀夫

コーパス言語学の基礎概念と，方法論としてのコーパスの英語教育における活用の具体的な方法についての講義と演習を集中講義形式で行う。

①コーパス　②コンコーダンス　③学習者コーパス

E041 英語教育演習 D　児童英語教育

非常勤講師　小泉　清裕

小学校教育において英語学習が果たす役割について考え、小学校英語教育のあるべき姿を模索する。全国各地の小学校における実践活動を映像などを通して紹介し、その活動の評価をする。また、直接児童の指導を行う立場に立って、実践的シラバスの立て方、指導方法、指導技術、教材、評価などについて検討する。

①小学校　②英語教育　③シラバス　④指導実践

E042 英語教育演習 E　心理言語学

准教授　小林　多佳子

本講ではことばと心理の関係を母語・第二言語習得を中心に研究する。心理言語学の基本的な理論を紹介している英語の文献を中心に読み進め、言語の産出のメカニズムとことばの理解についての知識を養う。

①母語・第二言語習得　②臨界期　③言語獲得能力

E043 英語教育演習 F　教材論

教授 Ed.D.　ロブソン，ゴードン

This course will focus on developmenting task based materials for junior and senior high school classes. In addition, we will focus on adapting task based and project based materials using junior and senior high school textbooks.

① Methodology　② Tasks　② Adapting

E044 英語教育特殊研究

常勤　ボストン教員

小学生や中学生が楽しく効果的に英語を学べる指導法を、第二言語習得理論に基づいて研究する。英語によるコミュニケーションの指導、４技能・語彙指導など、教室ですぐに使える指導法の研究に加えて、実際の小中学校の英語の授業参観を行う。各自の英語力をブラッシュアップする時間も加えられている。一般公開の授業なので、本学の院生以外が参加することもある。

① ES/FL　② teaching methods　③ skills

E045 英語教育特別演習A　研究指導

教授　博士（教育学）　金子　朝子

修士論文作成のための研究指導を行なう。各自の論文作成に必要な参考文献を収集し、文献の概観をまとめる。

①参考文献　②概観

E046 英語教育特別演習 B　研究指導

教授　緑川　日出子

修士論文作成と完成を目的として、総合的に演習を行う。

①論文の書き方　②研究課題の設定　③先行・文献研究　④研究の方法論

▶文学研究科 言語教育･コミュニケーション専攻(博士後期課程)

F002 言語学特殊講義 B　認知言語学と文法

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫)

①日本語　②言語　③文化

F003 言語学特殊講義 C　日本語論

特任教授　Ph.D.　池上　嘉彦

母語として<内>から見ている場合の日本語のイメージと非母語として<外>から見る場合の日本語のイメージとの間には、時として驚くほどの落差がある。そのような場合の具体的な事例を通して、日本語という言語の実像と虚像を考える。さまざまな文化圏を出自とする人たちに日本語を教えるという仕事に従事した著者がそのような折の自らの経験を話している下記の書物をテキストとして演習形式（短い各章ごとを出席者が担当し、内容についての紹介と内容についてのコメントをする）で読む。山下秀雄『日本のことばとこころ』(講談社学術文庫)

①日本語　②言語　③文化

F005 第二言語習得 A　学習者言語の研究

教授　博士 (教育学)　金子　朝子

SLA(第二言語習得研究) の枠組みを知り、学習者言語の誤り、発達パターン、多様性、語用論的特長について概観する。

①誤答分析　②習得の道筋

F006 第二言語習得 B　学習者言語の研究

教授　博士 (教育学)　金子　朝子

第二言語習得研究の枠組みを知り、学習者言語の多様性、語用論的特徴について概観する。また、この分野の研究方法について検討する。

①学習者言語の多様性　②学習者の発話行為

F007 言語学Ⅱ A

特任教授 (準常勤) , Ph.D.　中田　清一

ことばの本質とその解明 : 日・英語統語論の基礎

①日本語　②英語　③統語　④普遍性　⑤個別性

F008 言語学Ⅱ B

特任教授 (準常勤) , Ph.D.　中田　清一

言語理論と言語教育の接点について考察する。

①言語理論　②言語教育　③第二言語習得

F009 文化間コミュニケーション A

教授　Ph.D. (哲学博士 : 言語学)　徳永　美暁

外国語を教えるということは、言語のしくみや表現を教えるだけでなく、状況に応じ的確な語用を教えることでもある。適格な語用は同じ国に生まれ、言語を共有していても、それぞれが住む地域や所属している組織・グループによっても、伝達相手や状況に応じて異なってくる。しかし、人間としての普遍的な共通点というものもある。本コースでは、文化が異なるとはどういうことか、異文化に属する人同士のコミュニケーションに横たわる問題とは何かを考え、外国語教育の現場で何が問題となっているのか、などを理論と実際の資料から考える。

①文化　②コミュニケーション　③相互理解　④言語の役割　⑤個別性と普遍性

F010 文化間コミュニケーション B

教授　Ph.D. (哲学博士 : 言語学)　徳永　美暁

前期に引き続き、文化間コミュニケーションのメカニズムを理論的に学ぶと共に、教師として日本語非母語話者に関わる上で不可欠な問題点を明らかにしていく。その上で、その解決策についても掘り下げていく。

①コミュニケーション　②教師の役割　③相互理解　④言語の役割　⑤個別性と普遍性

F011 Distinguished Lecture　集中講義

客員教授　エリス, ロデリック

This seminar will investigate how language learners perform and acquire speech acts such as requests, apologies and refusals in a second language. It will examine research in these areas and the application of this research to the teaching of pragmatic competence. Participants will have the opportunity to work with samples of learner language to investigate interlanguage pragamatics.

① Speech acts　② Interactional acts　③ L2 acquisition ④ Instruction

F012 日本語教育特論Ⅰ　論文作成指導

教授　Ph. D. (哲学博士 : 言語学)　徳永　美暁

博士論文執筆のための論文指導

F013 日本語教育特論Ⅱ　論文作成指導

教授　Ph. D. (哲学博士 : 言語学)　徳永　美暁

博士論文執筆のための論文指導。

F014 日本語教育特論Ⅲ　論文作成指導

教授　Ph. D. (哲学博士 : 言語学)　徳永　美暁

博士論文完成を目指し、より密度の高い指導となる。

F015 日本語教育特論Ⅳ

特任教授（準常勤）, Ph.D.　中田　清一

博士論文の作成・提出を最終目的として、論文トピックの選定、当該分野の文献調査・先行研究の分析、分析結果の発表、討論、合評など。

①先行研究　②文献調査　③分析　④論文作成

F016 日本語教育特論Ⅴ

特任教授（準常勤）, Ph.D.　中田　清一

博士論文の作成・提出を最終目的として、論文トピックの選定、当該分野の文献調査・先行研究の分析、分析結果の発表、討論、合評など。

①先行研究　②文献調査　③分析　④論文作成

F017 日本語教育特論Ⅵ

特任教授（準常勤）, Ph.D.　中田　清一

博士論文の作成・提出を最終目的として、論文トピックの選定、当該分野の文献調査・先行研究の分析、分析結果の発表、討論、合評など。

①先行研究　②文献調査　③分析　④論文作成

F018 日本語学Ⅱ A

非常勤講師　井上　優

日本語・中国語・韓国語を対象として、「対照言語学の思考法」「対照研究の実際」「個別言語研究と言語対照研究の関係」などに関する講義をおこなう。受講者には、自分で決めたテーマにもとづいて実際の比較対照をおこなうレポートを課す。

①対照言語学　②文法　③日本語　④中国語　⑤韓国語

F019 日本語学Ⅱ B

非常勤講師　井上　優

前期の「日本語学Ⅱ A」で述べたことがらをふまえて、実際に日本語・中国語・韓国語を対象とした対照研究を実践する。言語に関係することであればテーマは自由。

①対照言語学　②日本語　③中国語　④韓国語

F020 日本語教育論 A

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

的確な音声の発声のメカニズムや文構造の知識はもとより、語彙の意味概念の把握は非常に重要である。それぞれの言語における語彙の意味概念は、辞書に載せられているような「ことば」で定義することが難しい。日本語の「椅子」は英語で「chair」と対訳されるが、それぞれの語が示す意味範囲は異なる。日本語では「スープ」は「飲む」のに、英語では「eat　食べる」と言うのは何故なのか。本コースでは、そのような言語の意味について考え、意味という概念について考え、語の意味分析の方法についても学ぶ。

①言語のしくみ　②語の意味　③意味概念　④意義素　⑤意味分析

F021 日本語教育論 B

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

前期は、言語のしくみを概観し、語の意味分析の手法を学んだ。このクラスでは、意味と語用を中心に学ぶ。コミュニケーションの為の言語使用は、発話者と聞き手の共有知識や想定、発話の状況の把握が鍵となる。その状況には文脈、話者と聞き手の関係やそれぞれの意図、推測能力などの条件が含まれる。本コースでは、語彙の意味概念、会話の条件、語用規則など発話の根底にある語用条件とその理論について学ぶ

①意味・語用　②コミュニケーション　③日本語教育における語用教育

F022 日本語教育特殊講義 A

准教授　遠藤　藍子

戦後の日本語教育の流れの中に現在を位置づけ、めざすべき日本語教育のあり方を考えていく上での基礎を養う。

①学習者の多様化　②在日外国人　③多文化共生

F023 日本語教育特殊講義 B

准教授　遠藤　藍子

日本語教育を実践していく上で教師の理念的基盤となる教育・学習・習得に関連する概念や理論の理解と、今日の日本語教育界における問題の所在の把握、ならびに各自の日本語教育観の構築を図る。

①学習のメカニズム　②学習者要因　③教師の成長

F024 日本語教育特殊講義 C

教授　博士（文学）　山田　潔

山田孝雄の「陳述」、時枝誠記の「詞と辞」、渡辺実の「叙述と陳述」、三上章の「陳述度」、芳賀綏の「述定と伝達」、南不二男の述語構造の 4 分類　などの理論を紹介することにより、現代日本語の構文論を概説する。本科目（C）では主として前半部を扱う。

①陳述　②詞と辞　③陳述度　④述定と伝達　⑤述語構造

F025 日本語教育特殊講義 D

教授　博士（文学）　山田　潔

山田孝雄の「陳述」、時枝誠記の「詞と辞」、渡辺実の「叙述と陳述」、三上章の「陳述度」、芳賀綏の「述定と伝達」、南不二男の述語構造の 4 分類　などの理論を紹介することにより、現代日本語の構文論を概説する。本科目（C）では主として前半部を扱う。

①陳述　②詞と辞　③陳述度　④述定と伝達　⑤述語構造

F026 日本語教育特殊講義 E

教授　博士（文学）　齋藤　彰

日本の伝統文化は、茶道、華道、きもの、歌舞伎などの江戸期のものが広く知られている。日本古来の宮廷音楽である雅楽や仏教音楽の声明、そして室町期に世阿弥が大成した能などはあまり知られていない。これらの日本の文化について理解を深めることを目標とする。

①雅楽　②能　③世阿弥

F027　日本語教育特殊講義 F

教授　博士（文学）　齋藤　彰

日本の伝統文化について、能、狂言の基礎知識や表現研究、鑑賞を通して、理解を深めることを目標とする。

①能　②狂言　③謡の詞章

F028　日本語教育演習Ⅰ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

先行研究を精読し知識や情報を得ると共に、言語の意味と語用機能に対する感性を高め、独自の分析・考察力を養うことを目的とする。

①先行研究の考察　②データ収集・分析・考察　③論文作成

F029　日本語教育演習Ⅱ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

先行研究を精読し知識や情報を得ると共に、言語の意味と語用機能に対する感性を高め、独自の分析・考察力を養うことを目的とする。

①先行研究の考察　②データ収集・分析・考察　③論文作成

F030　日本語教育演習Ⅲ

教授　Ph.D.（哲学博士：言語学）　徳永　美暁

先行研究を精読し知識や情報を得ると共に、言語の意味と語用機能に対する感性を高め、独自の分析・考察力を養うことを目的とする。

①先行研究の考察　②データ収集・分析・考察　③論文作成

F033　英語教育特論Ⅰ　研究指導

教授　博士（教育学）　金子　朝子

博士論文作成のための研究指導を行う。第二言語習得研究の分野の代表的な論文を読み、どのように問題を発見し、それを論文に纏めるかについて検討する。

①第二言語習得研究　②リサーチペーパーの書き方

F034　英語教育特論Ⅱ　研究指導

教授　博士（教育学）　金子　朝子

博士論文作成のための研究指導を行う。各自の論文作成に必要な参考文献を収集し、文献の概観をまとめる。

①参考文献　②概観

F035　英語教育特論Ⅲ　研究指導

教授　博士（教育学）　金子　朝子

実験計画に従いデータを収集し、結果を分析する。また、博士論文を纏めるために、論文のテーマに沿った最新の研究を検討する。

①実験計画　②データ収集　③分析　④最新の第二言語習得研究

F036　英語教育特論Ⅳ　研究指導

教授　緑川　日出子

博士論文のテーマの発見と研究に必要な文献研究、研究方法と実験の計画立案の検討を行う。特に教室の英語習得とその要因、日本の英語教育政策をテーマとした研究分野を扱う

① SLA　② Literature review　③ Research methodology

F037　英語教育特論Ⅴ　研究指導

教授　緑川　日出子

博士論文のテーマの発見と研究に必要な文献研究、研究方法と実験の計画立案の検討を行う。特に教室の英語習得とその要因、日本の英語教育政策をテーマとした研究分野を扱う

① SLA　② Literature review　③ Research methodology

F038　英語教育特論Ⅵ　研究指導

教授　緑川　日出子

博士論文のテーマの発見と研究に必要な文献研究、研究方法と実験の計画立案の検討を行う。特に教室の英語習得とその要因、日本の英語教育政策をテーマとした研究分野を扱う

① SLA　② Literature review　③ Research methodology

F039　英語教育論 A　文法指導と FB

教授　博士（教育学）　金子　朝子

英語の授業でどのように教えるのが、最も効果的かについて、これまで提案されている５つの考え方に沿って文献を読む。さらに、今後の日本における英語教育のあるべき姿を検討したい。

① traditional approaches　② negotiation for meaning　③ feedback

F040　英語教育論 B　発話の引き出し方

教授　博士（教育学）　金子　朝子

日本人英語学習者への授業による指導において、どのような教師の発話が高い教育効果をもたらすのかを検討する。また、生徒の発話を効果的に引き出す方法も調査する。

① teachers's language ② elicitation technique

F041　英語教育特殊講義 A　英語教授法理論

教授　緑川　日出子

この授業では、将来外国語教育に携わることを目的とする院生を対象に、外国語教授法、スキル指導技術に関する理論を研究し、それらの理論を日本の英語教育へどのように応用できるか検討する予定である。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。

① Methodology　② Language skills　③ Professional development

F042 英語教育特殊講義 B　英語教授法理論

教授　緑川　日出子

この授業では、将来外国語教育に携わることを目的とする院生を対象に、学習者理解、教員教育の基礎理論の研究とそれらの理論を日本の英語教育へどのように応用できるか検討する予定である。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。

① Methodology　② Language skills
③ Professional development

F043 英語教育演習 A　授業改善のための AR

教授　緑川　日出子

第二言語習得、英語教授法の理論と教授実践の融合をモットーに、英語授業の改善を目指してアクション・リサーチ法の研究とアクション・リサーチの実践を行う。この授業は現職英語教員の研修としても適切な内容を盛り込んでいる。授業は、必要に応じて英語で行う。

① TESOL　② reflective teaching
③ action research

F044 英語教育演習 B　英語教育法演習

教授　緑川　日出子

英語科教育のうち、特に語彙指導に焦点を当て、語彙の特性、語彙指導、語彙能力測定、辞書とコーパス、教室の語彙指導等に関する文献の輪読とディスカッションを行い、効果的な語彙指導の方法について検討する。

① Vocabulary acquisition　② Vocabulary teaching
③ Vocabulary assessment

F045 英語教育演習 C　コーパス研究

非常勤講師 言語学博士　投野　由紀夫

コーパス言語学の基礎概念と，方法論としてのコーパスの英語教育における活用の具体的な方法についての講義と演習を集中講義形式で行う。

①コーパス　②コンコーダンス　③学習者コーパス

▶生活機構研究科 生活機構学専攻（博士課程）

G001 生活文化史研究ⅡA

教授　博士（文学）　田畑　久夫

アナール学派とはフランスに起った歴史学の潮流である。日本の歴史学にも多大の影響を与えた。本講義ではアナール学派を創立したフェーブル,Jとブロック,Mたちの第一世代の研究を紹介する。その後、アナール学派地域研究に関する諸問題を検討する。

①新しい歴史学　②事件史と全体史　③歴史と地理
④マルク＝ブロック　⑤ブローデル　⑥ウィットフォーゲル

G002 生活文化史研究ⅡB

教授　博士（文学）　山本　暉久

日本の基層文化となった縄文時代文化について、その生活と文化を探る有効な方法と視点はなにかについて、受講生とともに考察する。

①日本文化　②縄文文化の特質　③縄文文化の生業

G003 生活文化史研究ⅡC

教授　掛川　典子

歴史における生活と文化の問題を倫理学的に取り上げる。歴史的、階層的、時間的、経済的、社会的等の多面において有限な人間の生涯にわたる活動を、文化との関わりからジェンダー視点を入れて理論化する。

①生活文化　②ジェンダー　③歴史性　④有限性
⑤生涯という視点　⑥倫理学

G004 生活文化史研究ⅡD

教授　工学博士　平井　聖

主として、歴史史料および文学作品に記録された住生活ならびに住居を中心に、生活と住居の対応関係について考察する。輪講形式もとり入れて、史料にもとづく住宅像の構築について演習を行う。

①歴史史料　②文学作品　③住生活　④住居

G005 生活文化史研究ⅡE

教授　博士（学術）　菊池　誠一

東南アジア考古学に関する諸問題について、とくにモノの生産と流通、モノを通した文化交流、国家と都市の形成、文化遺産の保存と活用の問題などを受講生とともに考察する。

①東南アジア考古学　②生産と流通　③文化交流
④文化遺産の保存と活用

G006 生活文化史研究ⅡF

教授　渡辺　伸夫

民俗芸能伝承論：民俗芸能は、今日無形民俗文化財として、保存継承が図られている。過疎化、高齢化、少子化などの社会的課題はそのまま民俗芸能の伝承に直結する緊急な課題でもある。民俗芸能をめぐる様々の諸問題を伝承という観点から考える

①伝承　②民俗芸能　③民俗行事　④民俗芸能
⑤伝承形態

G007 生活文化史研究Ⅱ G

教授　博士（文学）　内田　啓一

日本絵画史、彫刻史について研究をすすめる。問題点について、実査や史料を通じて論考を構築する。

①実査　②雑誌論文　③史料

G008 生活文化史研究Ⅱ H

教授　灰野　昭郎

博物館経験（鎌倉国宝館・京博国立博物館）三十余年をかえりみ、それをもとに文化財の実際的な調査、研究を指導する。

①博物館　②文化財　③実戦

G009 生活文化史研究Ⅱ I

教授　山本　博也

鎌倉時代史について種々の観点から考究したい。

①幕府の成立　②承久の乱　③御成敗式目　④関東申次　⑤蒙古襲来　⑥悪党

G010 生活文化史研究Ⅱ J

教授　関口　靜雄

日本仏教文化史上の中世・近世における諸問題について、寺院資料を中心に考察する。

①戒律復興　②典籍・聖教　③護符・呪符

G012 文化財研究ⅡB

教授　増田　勝彦

材質・構造・技術などを知ることが、文化財総体の中でどんな役割を果たして行けるかなど、文化財保存や修復について、現実の問題を検討しながら、出来るだけ広い視野で考究する。

①文化財保存・修復　②材質　③構造　④技術

G013 文化財研究ⅡC

特任教授　工学博士　平井　聖

建築物を中心に、各段階での指定・保護・活用の現状と問題点を話題として、文化財に対する考え方について考究する。あわせて、各種文化財の現状についても触れる。

①文化財指定　②文化財保護　③文化財活用

G014 生活文化史演習Ⅱ

教授　博士（文学）　山本　暉久

博士課程で考古学を専攻する学生を対象として受講生の研究テーマの発表と討議を行い、あわせて、博士論文作成に関する指導・助言を行う。前・後期通年授業

①博士論文の目的　②先行研究　③博士論文の内容

G016 臨床心理研究Ⅱ A

教授　鵜養　啓子

学校臨床心理学の文献購読、実践事例研究を中心とする。コミュニティ援助の観点から学校臨床心理学をとらえ、学校場面におけるアセスメント、教員コンサルテーション、学校教育相談への介入等を検討を通じスクールカウンセラーの成長過程について検討する。

①実践事例研究　②コミュニティ援助　③学校アセスメント　④教員コンサルテーション　⑤スクールカウンセラーの成長

G017 臨床心理研究Ⅱ B

教授　島谷　まき子

主として、病院臨床心理学の領域におけるいくつかの中心的テーマに関する理解を、文献の検討を通して深める。受講生はそれらのテーマに関する文献を検索・収集し、レポートにまとめて発表する。発表者以外の場合は、討論に積極的に関与し、議論を深めることが求められる。

①病院臨床心理学　②文献購読

G018 臨床心理研究ⅡC

教授　渡邊　佳明

心理査定を中心に、理論と実践面から研究する。面接、作文分析、生活史の読み、心理検査を各領域とする。併せて、実際の事例を通して、上記の関連で直感分析法の解説をし、その際現存在分析論を参照する。

①心理査定　②直感分析法　③現存在分析論

G019 社会心理研究Ⅱ A

教授　博士（文学）　今城　周造

社会的態度、説得と態度変化に関する研究動向を展望し、今後の課題を考察する。重要論文を批判的に検討し、研究計画を立案する。余力があれば、それに基づく実験・調査を実施し（共同研究）、理解を深める。

①態度　②説得　③態度変化　④説得への抵抗　⑤態度 - 行動関係　⑥健康増進

G020 社会心理研究Ⅱ B

非常勤講師　田中　淳

皆さんの知識や手法の幅を拡げることが役割だと思います。本講では、行動とその背後にある要因をおさえる社会調査法の修得を目指したいと思います。テーマは、19 年度からはじめた「良い孤独、悪い孤独」を深化させていきたいと考えています。前期は、関連研究のレビューから調査仮説、質問票の設計までをやる予定です。

①社会調査法　②自己　③孤独

G021 発達心理研究Ⅱ

教授　三浦　香苗

一定の社会的状況の中での人間の成長・発達を科学的に研究する手法は多様化・特殊化しつつある。各自の問題意識に関連する内外の話題の文献を基に、その研究手法の意義、具体的展開法について検討していく。

①成長・発達　②研究法　③具体的展開

G022 発達臨床心理研究Ⅱ

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

生涯発達心理学および発達臨床心理学に関する文献購読と、それを踏まえてのディスカッションを行う。これらの領域の研究動向を知るとともに、各人の研究テーマへの示唆を得ることを目的とする。

①生涯発達心理学　②発達臨床心理学　③文献購読

G023 知覚心理研究Ⅱ

教授　博士（文学）　上村　保子

視覚を中心とした認知過程の研究にはどのようなアプローチが可能であるかを心理学史的視点および学際領域的観点をも考慮しつつ検討し、現象・実験・理論がいかに関係づけられるかを考察する。

①視覚現象　②実験心理学　③認知科学

G024 認知心理研究Ⅱ

教授　古川　真人

「こころが変われば、すべて変わる」を検証する一貫として、Synder, Lopez (eds.)「Handbook of Positive Psychology」(2002) の中から、認知心理学に関わる主要文献（9 種類）を採り上げ、講義・検討する。

①楽観主義　②希望　③寛容　④謙遜　⑤コーピング

G025 生活心理演習Ⅱ

教授　三浦 香苗 他

各自の問題意識を科学的研究にまで高め、論文として完成させる手順を各人の問題意識に沿いつつ修得すると同時に、それらの共有化を図る。

①科学的研究　②研究論文　③研究手法の共有化

G026 生活心理特別研究Ⅱ

教授　三浦　香苗

受講者の研究課題に従い、研究論文構成に関わる指導を行う。

①研究課題　②研究計画　③実験・調査

G031 感性工学研究Ⅱ

教授　工学博士　佐藤　豊

感性と感覚は人間にとって重要な要因である。感性の機構を考察し、さらにロボットのセンサーなどのメカニズムを考え、人工知能・人工生命を探る。

①感覚②人工知能③人工生命

G034 材料基礎研究Ⅱ

教授　工学博士　佐藤　豊

生活のメカニズムを考えるにあたり , 様々な手法がある。ここでは、コンピュータを活用して、数値計算により、システム的にどのようなことが可能何かを考察する。特に、2008 年度は , センサーと人間の感覚器との相違点から、人間の情報処理について論じる。

①人間の情報処理　②感覚　③感性

G035 建築構法材料研究Ⅱ

教授　工学博士　安宅　信行

建築の架構システム、それらに関わる材料との関係について講述し、その中でも初期応力や初期ひずみを導入する構造形式と、それらにともなって新たに発生する問題点を明確にし、その処理方法などについて考える。ここでは連続体の力学、変分学、有限要素法、その他のマトリックス解析法など、特に理論面に重点を置き、構造形態の解析やシミュレーション手法を論じる。

①テンション構造　②連続体の力学　③形態の力学

G036 繊維材料研究Ⅱ

教授　工学博士　小原　奈津子

繊維化学分野の研究を進めるための知識と実力を養成する。

①繊維高分子　②機能化　③化学修飾　④劣化

G039 食品素材研究Ⅱ

教授　農学博士　飯野　久和

生態系を構成する生物群の中で、微生物は質・量とも多様性に優れているものの、科学的に充分解明されているわけではない。有史以来、ヒトと微生物は多様なかかわりを持ち、今日ではその能力を利用した発酵工業が繁栄している。本講では伝統的発酵食品に係る微生物の発行工業への応用という点から有用微生物の探索と利用、並びに最新のバイオテクノロジーへの展開について最新の研究・技術報告から解説する。

①有用微生物の探索とスクリーニング法　②微生物由来生体高分子の分取・精製

G040 食品材料研究Ⅱ

教授　博士（学術）　森髙　初恵

食品物性関連の研究を進めるため理論と研究手法を学び、課程博士論文作成のための実力を養う。

①食品の高分子成分　②テクスチャーモディファイアー　③食品物性

G041 調理科学研究Ⅱ

特任教授　農学博士　島田　淳子

調理により、食品には分子レベルの成分変化やよりマクロな組織構造の変化などが起こる。人はこれらの変化の微妙な違いを感知し、さまざまな感覚用語で評価する。調理をこのような観点から考察し、調理科学の研究の特徴、方法、論文のまとめ方などを、最近の研究を中心に述べ、考えさせる。

①食品成分　②物性　③組織構造　④相互作用

G042 食品素材・材料演習Ⅱ

専任教員

受講生の研究内容や研究の進捗状況に合わせて国内外学術論文講読をもって進める。

G044 建築計画研究Ⅱ

教授　工学博士　芦川　智

都市・地域環境から生活環境に至る広義の環境において、建築や建築に関連する諸施設空間が、いかなる機能を持ち、位置づけられるかを形態学的にアプローチする研究である。Iの基礎の上に諸研究手法の適用を行ない、その開発を目指し、研究手法の総合化を行なってゆく事を最終的な目標としてゆく。

①建築計画　②地域計画　③研究手法　④分析手法　⑤形態学　⑥調査法

G045 環境計画研究Ⅱ

教授　博士（工学）　佐野　武仁

太陽と地球と快適な建築空間を命題として、commissioning（検証）の手法を用いて環境計画に関するミクロな研究を行い環境デザインとシステム、居住快適性に関する、博士論文のテーマについて研究する。

①太陽と地球　②建築と居住快適性　③省エネルギー・ゼロエネルギー　④炭酸ガスの固定

G046 建築史研究Ⅱ

教授　工学博士　平井　聖

江戸時代の建築にかかわる指図・仕様帳・大工寄帳などの職人に関する帳簿・勘定帳および建地割等を編年的に考察し、建築を復原的にみるための演習を加える。

①江戸時代　②指図　③仕様帳　④大工寄帳　⑤建地割

G047 建築意匠研究Ⅱ

教授　工学博士　友田　博通

インテリアやエクステリア、街並みや景観などを対象として、人間のための住居を中心とした環境デザインの在り方を研究する者を対象に、その周辺の関係する既存研究・実施に必要な手法・研究の社会への公開方法・社会に与える影響等への考え方や予測方法を講義する。また、理論ばかりでなく、現実社会でそれを実践できるように、現場の紹介・実地訓練・実戦指導も行う。

①現代社会認識　②現代メディア論　③社会構造モデル　④シミュレーション

G048 居住様式研究Ⅱ

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住宅や地域という空間を生活の視点から分析し、空間を通して生活の質を高める居住様式の方向を探り、同様の視点からすべての人に人間らしい居住を保障する居住福祉のあり方を追求する。

①機能分化　②起居様式　③プライバシー　④コミュニケーション

G049 環境科学演習Ⅱ

教授　工学博士　友田　博通 他

博士研究のために必要な基礎知識・基礎技術を訓練する。内容は個々の研究による。

G051 服飾意匠計画研究ⅡA

教授　学術博士　猪又　美栄子

着心地の良い衣服の設計および評価を行うための諸問題を探求する．成長・加齢による身体形態・機能の変化と衣服，衣服着用による動作拘束などを取り上げ，衣服のデザインと機能性を追求する．

①衣服設計　②成長　③加齢　④身体機能　⑤着心地　⑥評価

G053 被服科学演習Ⅱ

教授　学術博士　猪又　美栄子

履修者の論文テーマに合わせ，研究方法，調査・実験方法，解析方法などについて検討する．

①身体形態　②身体機能　③着心地の評価

G054 被服科学特別研究Ⅱ

教授　学術博士　猪又　美栄子

博士論文の作成に向けて指導を行う。

G055 生活福祉研究Ⅱ

教授　経済学博士　伊藤　セツ

生活と福祉の問題を多面的に取り上げる。生活を歴史的、階層的、時間的、経済的、空間的にとらえ、福祉の利用者でありかつ提供者である人間の生涯にわたる活動を、福祉社会・福祉環境の創造の主体として統一的に、かつジェンダー視点を入れて理論化する。

①生活者　②福祉の利用者　③福祉社会、ジェンダー視点

G056 生活政策研究Ⅱ

教授　坂東　眞理子

少子高齢化日本の社会保障政策がどのように改革されているか医療、年金、福祉について学ぶ

①介護保険改革　②年金制度　③医療改革

G057 社会福祉研究Ⅱ

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

社会福祉の原論を主として理論・思想・価値・哲学の視点から検討する。そして社会福祉の理念・原理をを明確にし、我が国の主要な社会福祉原論を学ぶ。

①社会福祉の理論　②理念と価値　③主要な実践アプローチ

G058 家族福祉文化研究Ⅱ

教授　博士（学術）　天野　寛子

家族の生活と福祉の問題を多面的に取り上げる。生活について歴史的、階層的、時間的、経済的、空間的等多面的にとらえ、生活主体としての男性と女性が生涯、福祉的環境を創造することができるように生活を統一的、かつジェンダー視点を入れて理論化する。

①生活者の諸側面　②生活の質　③生活の困難

G059 教育社会学研究Ⅱ

教授　工学博士　矢野　眞和

履修者の関心、テーマにそって講義概要の内容を構成する。主として、教育システムと家族および経済の関係を実証的に分析するための理論と方法を学習する。

G060 福祉科学演習Ⅱ

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久　他

人間環境に中で特に福祉に着目して、その内容と課題を探究する。

①福祉環境　②社会福祉　③福祉社会　④人間の幸福

G061 福祉科学特別研究Ⅱ

教授　経済学博士　伊藤　セツ

学位提出期にある院生の論文完成のため週１度 90 分指導する。審査のプロセス毎に、訂正事項を判断し、公開発表会へ導く。効果的プレゼンテーションの指導を行う。

①論文の完成　②審査を乗り越える　③プレゼンテーション

G062 栄養・生理学研究Ⅱ

特任教授　農学博士　木村　修一

栄養学に関する先端研究を知ることが、栄養学を理解するためのひとつの方策である。境界領域を含めて、広い範囲で展開される栄養学研究を紹介し、デイスカッションをするセミナー形式の授業にする。したがって、決まったテキストの使用はない。そのつど、新しい文献を指示して、それを中心にセミナーを展開する予定である。「Nutrition Reviews」（英文誌）や Present Knowledge in Nutrition　なども使いたい。

①最新栄養学情報　②疾病と栄養　③ Nutrigenomics

G063 栄養・生化学研究Ⅱ

教授　理学博士　松本　孝

近年の生物科学分野の研究の進展は目覚ましいものがあり、研究のスピードはどんどん速くなっていると同時に、研究の進め方も異なってきている。生物科学分野のバイオテクノロジーはその最たるものである。研究手法は遺伝情報の解析、そこにおける問題点、タンパク質の高次構造が担っている情報を解明へと移ってきているが、そこでは実際のタンパク質や酵素の動作メカニズムを一分子レベルで確認しようとする試み、すなわち情報科学やナノテクノロジーが発展しつつある。これらの新技法を学術論文等から学ぶ。

①遺伝子解析　②バイオテクノロジー　③ナノテクノロジー

G064 生物機能解析Ⅱ

教授　理学博士　大森　和子

学生の研究テーマにあわせ、和文、英文文献、参考書を輪講する。

G067 栄養評価機能研究Ⅱ

教授　医学博士　戸谷　誠之

母子栄養の特徴と問題点について国際的な視点から学ぶ

①乳児の特徴　②母性栄養　③母乳保育

G068 公衆栄養研究Ⅱ

教授　医学博士　渡辺　満利子

健康人の疾病予防、医療，福祉における栄養ケアとマネジメント（Nutrition Care and Management, NCM）システム、主要疾患の臨床疫学、及び栄養アセスメントに基づく栄養ケアプランについて解説し、その有効性を測るための研究デザイン，介入試験，論文作成，文献について教授する。人の栄養問題の解決をめざし NCM の構築・運営、評価に関して、科学的論拠に基づいた知識と技術の修得は専門職としての実践活動の基盤となる。

①栄養ケア・マネジメント　②臨床疫学　③研究デザイン

G069 栄養評価機能演習Ⅱ

教授　医学博士　戸谷　誠之

保健・医療・福祉分野における食生活・栄養・健康に着目し、受講生の課題に即したテーマで研究を深めるためのプレゼンテ - ション、デイベートの力を培う。

①保健・医療・福祉　②食生活・栄養・健康　③プレゼンテ - ション　④デイベート

▶生活機構研究科 生活文化研究専攻（修士課程）

H001 生活文化研究ＩA

教授　経済学博士　伊藤　セツ

国際的に注目されているジェンダー統計を用いて、その背景にある男性と女性の社会的・文化的形成のされ方の違いを探る．ジェンダー統計論の国際的到達水準を示す最新の文献を使用し、統計数値が比較文化研究にもつ有効性と限界を検討する.

①ジェンダー　②社会統計　③文化

H002 生活文化研究ＩB

教授　掛川　典子

20 世紀初頭の欧米と日本の特色ある女性論を分析する。高度な女子教育を受けた女性たちが、自立と社会的貢献を目指して、母性主義と女性文化という重要概念をかかげて行った活動を中心に論じたい。

①青鞜②母性保護論争③母性主義④女性文化⑤結婚と自立⑥社会的貢献

H003 生活文化研究ＩC

特任教授　工学博士　平井　聖

生活文化は、住居に凝縮されている。日本の住居の先史時代から現代までの変遷を通して、生活文化と生活造形の対応を歴史的にたどる。特に、近世から現代に焦点をあてることによって、封建制からの近代化、伝統文化に対する外来文化の問題の解明に重点を置く。

①生活文化　②生活造形　③伝統文化　④外来文化

H005 考古学研究ＩA

教授　博士（文学）　山本　暉久

日本列島に栄えた独特な石器時代文化である「縄文時代文化」について多面的な視点から考察を加える。今年度は、縄文土器型式について、前期・中期・後期・晩期を中心に学習する。

①縄文土器の定義　②研究史　③縄文土器型式　④土器編年

H006 考古学研究ＩB

教授　博士（文学）　山本　暉久

独特な石器時代文化として知られる縄文時代文化をどのようにとらえるべきなのか、といった観点から、近年盛んに主張されている民族 (誌) 考古学的方法論の問題点等について考察する。

①民族考古学とは　②方法論的基盤　③実践的成果の評価

H007 考古学研究ＩC

教授　博士（学術）　菊池　誠一

ベトナム地域を対象にした、初期鉄器時代から紀元後 17 世紀ころまでの墓葬・土器・陶磁器についてのベトナム語文献・日本語文献を読みすすめる。なお、受講者は夏期に実施予定のベトナムの発掘調査に極力参加すること。

①ベトナム考古学　②墓葬　③初期鉄器時代　④歴史時代　⑤陶磁器

H008 地域文化研究ＩA

教授　渡辺　伸夫

神楽を解明するにあたっての問題点をとりあげる。前期は神楽の諸相を中心に、代表的な神楽を紹介する。後期は神楽文書（神楽歌、詞章、祭文など）をテキストとして、読み進める。随時、ビデオを使用。

①鎮魂　②採物　③巫女（神子）　④法者　⑤山人　⑥祭文

H009 地域文化研究ＩB

教授　博士（文学）　田畑　久夫

地域文化に関する研究は、フィールドサーヴェイの上になされる必要があるが、その方法論上の問題を検討する。前期は「第 2 次世界大戦後人文科学上最高の学問業績」と称された照葉樹林文化論の検討を、後期は「新しい歴史学」と称されるアナール学派の歴史学の理論を基礎から学ぶ。そのことによって、地理学・民俗学・歴史学などの分析手法を修得する。

①地域文化　②歴史学と地理学　③歴史学と民俗学　④照葉樹林帯　⑤日本文化の形成　⑥アナール学派

H010 地域文化研究ＩC

准教授　博士（学術）　大谷津　早苗

人形浄瑠璃の発展過程における問題点を探るとともに、有形・無形資料に応じた調査・研究方法を学ぶ。前期は「難波土産」「浄瑠璃譜」等の基本的な文献や論考の輪読、後期は各地の人形浄瑠璃を取り上げる予定である。

①語り物　②近松門左衛門　③民俗芸能　④かしら　⑤鉄砲ざし　⑥人形浄瑠璃文楽

H011 地域文化研究ＩD

准教授　博士（社会学）　フフバートル

自然環境及び生活文化とことばの表現との関係について考える。失われつつある北アジア乾燥地帯におけるモンゴル遊牧民独自のことばの表現を農耕文化の中国語及び魚の文化の日本語や朝鮮語と比較しながらジャンル別に講じる。

①モンゴル高原　②遊牧　③狩猟　④家畜　⑤肉食　⑥身体語彙

H012 美術研究ＩA

教授　木下　亮

18 世紀から 20 世紀前半までのスペイン美術について講じる。特にスペイン・ブルボン家の宮廷美術と 19 世紀末のカタルーニャのモデルニスモに焦点をあて、同時代のフランス美術との比較考察も試みたい。

①王宮・離宮装飾　②ハプスブルク家とブルボン家　③ゴヤ　④モデルニスモ　⑤ラモン・カザス　⑥四匹の猫

H014 美術研究ＩC

教授　博士（文学）　内田　啓一

日本美術史の中から特に中世・近世の論文や作品に焦点をあて、何が問題点であるのかを探り、どのような手法をもちいて解明していくべきか検討する。研究史をふまえた内容としたい。

①国華　②佛教藝術　③美術史　④美術全集　⑤研究者　⑥図版解説

H016 歴史文化研究ＩA

教授　山本　博也

日本中世の武士社会について、個人と個人、個人と集団、集団と集団の関係のあり方を、家訓・置文・一揆契状、その他諸種の史料を手がかりに考える。

①主従制　②一揆　③中央の儀　④武士団　⑤惣領制　⑥世間

H017 歴史文化研究ＩB

非常勤講師　太田　尚宏

日本近世史に関する史料（古文書・記録類）もしくは研究文献を読み、史料解読・解釈や研究史把握・仮設設定・立論など、近世史研究に必要な具体的方法を学ぶ。

①日本近世史 ②古文書 ③研究論文 ④視点 ⑤方法論 ⑥論理構成

H018 歴史文化研究ＩC

准教授　博士（文学）　千葉　功

日本近現代史の特に政治外交史に関する研究書や史料を用いて、先行研究を整理し、その問題点をみつけ、論文作成につなげる能力を養成する。使用する研究書・史料は、初回の打ち合わせの際に参加者と話し合って決めたい。

①日本近現代史　②史料批判　③仮説設定　④先行研究　⑤くずし字　⑥修士論文

H019 歴史文化研究ＩD

教授　関口　靜雄

佛教文化の中世的展開を法会儀礼を通して考察する。律宗戒学院文書・唐招提寺文書の整理を行ないながら、法会執行の基本テキストである次第書を考察する。

①修正会　②釈迦念仏会　③梵網会

H020 歴史文化研究ＩE

教授　吉成　薫

エジプトをはじめとする古代文明の比較分析を試みる。まず TriggerB.G.,Early Civilizations. Ancient Egypt in Context. Cairo 1993（川西宏幸訳『初期文明の比較考古学』同成社２００１）を読み、古代文明研究上の様々な視点を確認したうえで、そのなかから適切なものを選び出し、各自の研究分野への応用を目ざす。

①古代文明　②古代エジプト　③比較研究

H021 歴史文化研究ＩF

非常勤講師　博士（文学）　児島　恭子

女性をめぐる歴史と文化について考える。いわゆる女性的な文化、女神信仰、女性の霊力など、この分野における重要な論点を考察する。

①女性　②祭祀　③民俗　④文化　⑤ジェンダー

H023 文化財研究（文化）ＩB

非常勤講師　平賀　あまな
非常勤講師　斎藤　英俊

文化財の概念、日本における保護の歴史と現在の制度、国際社会における文化遺産保存の動向、世界遺産条約などを学び、重要文化財建造物の保存修復現場や重要伝統的建造物群保存地区を訪ねて、文化財保存の実際と課題を考える。

①文化財保存　②修復現場　③世界遺産条約　④重要伝統的建造物群保存地区

H024 文化財研究（文化）ＩC

教授　増田　勝彦

絵画、歴史資料、工芸品、考古遺物などに関する文化財保存報告書の記述から、文化財について具体的に理解できる知識を得るために、内外で発表されている資料の講読と実験を並行させて行なう。

①文化財　②文化財保存　③文化財修復

H025 文化財研究（文化）ＩE

教授　工学博士　堀内　正昭

本講義では、主としてわが国近代以降の歴史的建造物の保存、活用、そして復元について扱う。様々な建物を事例として取り上げ、その建築史、活用の変遷、保存のための改修工事について具体的に調べるとともに、復元された建築の意義を問うていく。

①保存　②活用　③復元

H026 文化財研究（文化）ＩF

教授　武田　昭子

美術工芸品や考古遺物を理解する場合、材質、構造、制作技法などの知識が必要となってくる。学部での授業を基礎に、発展的に保存科学的調査をとおして上記のことを具体的に学ぶ。特に、各種顕微鏡、クロスセクション法での分析調査、X 線透過撮影を主に、各種文化財を取り上げ学んでいく。

①製作技法　②漆工芸、考古資料　④保存科学的調査　⑤X 線透過撮影　⑥クロスセクション法

H027 生活文化演習Ｉ Aa

教授　経済学博士　伊藤　セツ

男性と女性の社会的・文化的形成のされ方の違いを探るため，ジェンダー統計をツールとして歴史的に考察する.

①ジェンダー　②女性文化　③ジェンダー統計の到達点

H029 生活文化演習Ⅰ Ba

教授　掛川　典子

履修者のテーマ・関心と関連させながら、近代社会における女性史上の重要な文献及び関連した研究文献を講読する演習を行う。内外の研究動向から最先端の議論を紹介し、討論したい。プレゼンテーション技術も訓練する。

①ジェンダー　②高等教育　③母性主義　④女性文化　⑤経済的自立　⑥家庭論

H031 考古学演習Ⅰ Aa

教授　博士（文学）　山本　暉久

大学院で考古学を専攻する学生を対象として、受講者の研究テーマの発表と討議を行い、あわせて、修士論文作成に関する指導・助言を行う。

①考古学の目的　②考古学の方法論　③考古学論文の執筆法

H033 考古学演習Ⅰ Ba

教授　博士（学術）　菊池　誠一

東南アジア考古学で修士論文を作成する者を対象とする。発表と討議を中心に、修士論文作成の指導・助言を実施する。

①東南アジア考古学　②ベトナム　③修士論文

H035 地域文化演習Ⅰ Aa

教授　渡辺　伸夫

年ごとに繰り返される年中行事は、長い年月を経て形成されてきたものであり、日本人の生活と深くかかわってきた。数種の年中行事を読み解きながら、年中行事の意味、性格を考察する。

①暦　②歳時記　③節会　④日記　⑤生活誌　⑥四季の行事

H037 地域文化演習Ⅰ Ba

教授　博士（文学）　田畑　久夫

本演習においては、地域史あるいは地域文化に関する諸問題に関して、院生の発表が中心となるが、そのための基本的な文献の指導および講読も行なうことがある。修士論文の作成や投稿原稿の指導も合わせて行なう。

①地域史　②研究史の整理　③資（史）料批判の方法　④文献講読　⑤口頭発表の技術　⑥論文作成

H039 美術演習Ⅰ Aa

教授　木下　亮

西洋美術史研究における履修者の研究テーマの位置づけを試みた後、最近の研究動向をふまえて研究資料の収集と文献解読をおこなう。

①研究史　②造型言語の分析　③図版資料の収集と整理

H041 美術演習Ⅰ Ba

教授　博士（文学）　内田　啓一

美術史料解読

①古画備考　②本朝画史　③図像抄

H045 歴史文化演習Ⅰ Aa

教授　山本　博也

史料を丹念に読み解き、関係論文を合わせ読みながら、日本の中世社会の種々相を考察する。

①本領安堵　②関東申次　③荘園公領制　④一揆　⑤徳政　⑥鎌倉新仏教

H047 歴史文化演習Ⅰ Ba

教授　関口　靜雄

日本佛教文化の淵源である戒律をめぐって、律宗戒学院文書・唐招堤寺所蔵文書原本の整理を行ないながら、中世南都における戒律復興と、戒律が世俗に及ぼした影響について考察する。

①唐僧鑑真　②解脱貞慶　③窮情覚盛

H049 歴史文化演習Ⅰ Ca

教授　吉成　薫

各自の研究テーマに関連するヒエログリフのテキスト（場合によってはヒエラティクのテキスト）を精読し、それを史料として活用する方法を探る。

①古代エジプト　②ヒエログリフ碑文　③史料化

H051 歴史文化演習Ⅰ Da

准教授　博士（文学）　千葉　功

主に日本近現代史で修士論文を作成する大学院生を対象に、修士論文作成のための足がかりとなることを目指す。具体的には、各自の研究過程において重要な研究書や史料を読解することで、論文作成につなげていく。使用する研究書・史料は、初回の打ち合わせの際に参加者と話し合って決めたい。

①修士論文　②日本近現代史　③史料批判　④仮説設定　⑤先行研究　⑥くずし字

H053 文化財演習Ⅰ Aa

教授　増田　勝彦

文化財の保存に関わる総合的研究を目指して、文化財制作技法、素材等についての新知見を提供できる修復技術の研究及び、歴史的修復と文化財としての活用との共存を探る。

①文化財制作技法　②文化財素材　③歴史的修復　④文化財活用

H055 文化財演習Ⅰ Ba

特任教授　工学博士　平井　聖

史跡整備について、具体的な史跡を対象に、整備、建造物の復原について、課題を設定して演習を行う。

①史跡整備　②建造物の復原

▶生活機構研究科 心理学専攻（修士課程）：心理学講座

I001 心理学統計法

准教授　松野　隆則

実験・観察・調査などの実証的方法によって測定された数値データから、研究対象の性質を客観的に読み取り、一般化の可能性を公平に見積る数学的方法が統計法である。初等統計学の知識を前提として、ユーザーの立場から修士論文研究の遂行上必要と思われる統計的手法についての理解と統計パッケージを使った分析技能の獲得を目指す。教科書未定。受講生が卒業論文で使用した統計的手法に関する報告等も求めて教材とする予定である。

①データ分析　②多変量解析　③ SPSS

I002 心理学研究法

教授　三浦　香苗
助教　平田　万理子

各人が関心のある心理学の領域の研究を具体化して行くには、どのように研究目的を具体化し、どのようなな研究手法を用いるのが適切であるかを、内外の研究論文を読んでいく中で、修得していく。

①研究目的　②研究方法　③研究論文

I003 人格心理学研究Ⅰ

非常勤講師　長塚　恭一

私たちの人格がどのように形成されるのか、変容するのかについて考えたり、悩んだりするのは、多くの場合、自分自身が自分の人生をどのように生きるのかということと深くかかわっている。自身の人生を有意義に生きるには、自分の人格をどのように活かしたらよいのかの指針を得るため著名な人格理論を構築した研究者の人格の変容・熟成の変遷について考察する。

①人格理論　②人格の発達　③人格の変容

I004 人格心理学研究Ⅱ

非常勤講師　堀毛　一也

Mischel,W.et al.(eds.)(2007) " Introduction to Personality: Toward an integration (8th.ed.)" をテキストに、受講者の関心にあわせ担当部分を決め購読を行う。内容に関する解説を基盤に、最近のパーソナリティ心理学の研究動向について論議し理解を深める。

①パーソナリティ ②パーソナリティ理論 ③社会認知論

I005 人格臨床心理学研究

非常勤講師　長塚　恭一

人格は変わるのか、変えられるのか、人格の変容について研究する。PTSD による人格変容、最近の若者による事件等について、臨床心理学的考察を試みる。

①人格理論　②人格の発達　③人格の変容

I006 教育心理学研究Ⅰ

教授　三浦　香苗

最近の教育心理学分野の研究領域及びそこでの論争点について、研究誌に掲載された論文の輪読によって、理解を深める。

①教育心理学　②研究領域　③論争点　④論文講読

I007 心理査定研究

教授　三浦　香苗

幼児期、児童期、青年期に主と問題となる精神発達一般や認知的・社会的・人格的な発達やその逸脱を、心理学ではどのように考え、測定・評価してきたかを論述するとともに、その主要な手法の習得を目指す。同時にそれらに対する介入・支援についても考察する。

①精神発達　②発達の逸脱　③心理査定　④実体験　⑤介入・支援プログラム

I008 発達心理学研究Ⅰ

准教授　博士（文学）　松澤　正子

認知発達のメカニズムとその生理学的な基礎について、学習・知覚・運動・注意・記憶をキーワードに、発達障害児の問題を参照しながら理解を深める。

①認知発達　②認知発達の生理学的基礎　③認知発達の個人差

I009 発達心理学研究Ⅱ

非常勤講師　岩立　志津夫

言語発達・言語獲得・言語病理学に関する研究について講義し、関連する内外の文献を講読します。特に発達の視点から「言語発達とその支援」について検討します。

①言語発達　②言語獲得　③言語病理学

I010 発達心理学研究Ⅲ

非常勤講師　木下　芳子

社会的認知とよばれる領域（心の理論、情動、意図など）と社会認識とよばれている領域（規則や道徳性、対人関係、社会システムなど）の理解および自己の発達について講義します。

①心の理論　②情動　③社会性　④社会システム

I012 認知心理学研究Ⅰ

教授　古川　真人

認知心理学とは、人間の心、とりわけ、知のはたらきを解明しようとする新しい科学といえる。認知心理学の立場に立った重要研究文献を資料として、実験室で見出された事実が、日常の行動場面における認知活動に、どのように関わっているのか、また役立てられているのかを検討する。

①ポジティヴ心理学　②楽観主義　③感謝

I013 認知心理学研究Ⅱ

教授　古川　真人

認知心理学とは、人間の心、とりわけ、知のはたらきを解明しようとする新しい科学といえる。認知心理学の立場に立った重要研究文献を資料として、実験室で見出された事実が、日常の行動場面における認知活動に、どのように関わっているのか、また役立てられているのかを検討する。

①ポジティヴ心理学　②楽観主義　③感謝

I014 認知心理学研究Ⅲ　推論の認知心理学

准教授　松野　隆則

思考に関する認知心理学的アプローチ、特に推論領域に関する研究を取り上げ、主要な理論を概観すると共に実証的な原著論文の講読を通じ、高次認知過程に関する認知心理学の研究の実際に触れる。また折に触れ、それらの研究を動機づける「合理性」に関するメタ理論的立場についても検討する。教室で聴講するだけではなく、文献の読解や討論への参加等、受講者の主体的な努力が求められる。

①認知心理学　②推論　③合理性

I015 実験心理学研究Ⅰ

教授　博士（文学）　上村　保子

実証科学的研究を目指す実験心理学の基本的な考え方を理解し、それを各自の研究に具体化する力を養うことを目的とする。主に知覚・認知心理学領域の研究文献を資料として用い、解説を行うとともに、受講者にも十分な授業準備と活発な討論を求める。

①実験心理学　②研究法　③知覚・認知

I016 実験心理学研究Ⅱ

教授　博士（文学）　上村　保子

知覚・認知の領域を中心に、それらの実験心理学的研究がどのように行われるのかを理解することを目的とする。主要な研究文献を紹介するとともに、それらについて受講者が検討し、ともに討論することも求める。実験心理学研究Ⅰとは異なる研究例をとりあげる。

①実験心理学　②知覚　③認知

I017 社会心理学研究Ⅰ

非常勤講師　博士（社会学）　小口　孝司

メンタルヘルスと観光との関連について検討する。よく知られているように、うつ病をはじめとするメンタルヘルスが大きな社会問題となっている。このときに心理学は、カウンセリング、研修などの心理教育によって、こうした問題に対処している。本講では、心理教育に加えて、観光を活用する可能性を、社会心理学をはじめとする心理学の研究から検討していく。

①社会心理学　②メンタルヘルス　③ツーリズム

I018 社会心理学研究Ⅱ

非常勤講師　博士（社会学）　小口　孝司

対人サービスについて、社会心理学をはじめとする心理学の観点から考察した内外の論文を取り上げ、解題していく。受講者も論文を担当して発表し、ディスカッションを通して理解を深めていく。

①サービス　②社会心理学　③ホスピタリティ

I019 社会心理学研究Ⅲ

准教授　清水　裕

感情をキーワードに、向社会的行動である援助行動およびソーシャル・サポートの問題について、心理学的社会心理学の視点から検討を加えていく。第1回目の授業時に文献リストを配布し、その中から各自が興味をもつ論文について発表し、ディスカッションをしていく。さらに発表で採り上げられた内容に関して授業担当者から解説およびコメントを行う。

①心理学的社会心理学　②向社会的行動　③感情

I020 社会心理学研究Ⅳ

准教授　藤島　喜嗣

自己－他者の認識とその乖離の問題について、社会心理学、特に社会的認知の視点から検討を加えていく。第1回目の授業時に文献ならびに文献リストを配布し、その中から各自が興味をもつ論文について発表し、批判的討論をする。さらに発表で採り上げられた内容に関して授業担当者から解説およびコメントを行う。

①社会的認知　②自己認知　③他者認知　④自己中心性バイアス

I021 社会心理学研究Ⅴ

教授　博士（文学）　今城　周造

社会的態度、説得と態度変化に関する最近の研究動向を概観する。重要論文を批判的に検討し、研究計画を立案する。余力があれば、それに基づく実験・調査を実施し（共同研究）、理解を深める。

①態度　②説得と態度変化　③態度 - 行動関係

I022 社会情報論研究Ⅰ

非常勤講師　田中　淳

皆さんの知識や手法の幅を拡げることが役割だと思います。本講では、行動とその背後にある要因をおさえる社会調査法の修得を目指したいと思います。テーマは、19年度からはじめた「良い孤独、悪い孤独」を深化させていきたいと考えています。前期は、関連研究のレビューから調査仮説、質問票の設計までをやる予定です。

①社会調査法　②自己　③孤独

I023 社会情報論研究Ⅱ

非常勤講師　田中　淳

本講では、個々人の行動に社会調査法で迫れる限界まで知恵を絞っていきたいと思います。前期のプレ調査結果を踏まえて、調査票の設計を洗練させていく予定です。

①社会調査法　②自己　③孤独

I024 家族心理学研究

非常勤講師　中釜　洋子

家族心理学は、臨床心理学と発達心理学が母胎となって生まれた比較的新しい心理学の一領域である。親密な関係（多くの場合、家族にあたる）に取り囲まれて生きる人間理解と家族を積極的に取り入れて行う心理援助の実際を知ることが授業のねらいである。

①家族臨床　②システム論的認識論　③実践的学習

I025 犯罪心理学研究

教授　渡邊　佳明

犯罪非行の概念規定 , 司法機関等の概説を行なった上で、犯罪非行原因論について、環境・文化的要因、個体的要因、及び時代的要因を解説する。また、作文分析により非行心性の原理について解説する。更に、事例に基づき最近の犯罪非行傾向の特徴にも触れる。

①犯罪非行概念　②犯罪非行の研究法　③犯罪非行の原因

I026 精神医学研究Ⅰ

非常勤講師　医学博士　東京えびすさまクリニック院長　山登　敬之

最近マスコミ等でも話題にのぼることの多くなった精神科の「病気」。精神医学および精神医療の現場で何がどのように問題になっているのか日常感覚を大切にしながら正しく学習する。講師による講義、および院生諸君による症例、文献の講読を交互に行う。Ⅰは神経症、ひきこもり編。

①神経症　②ヒステリー　③強迫神経症　④ PTSD　⑤解離性同一性障害　⑥心身症　⑦摂食障害　⑧不登校　⑨社会的ひきこもり

I027 精神医学研究Ⅱ

非常勤講師　医学博士　東京えびすさまクリニック院長　山登　敬之

精神医学研究Ⅰに続きⅡは精神病、発達障害編。

①統合失調症　②気分障害　③広汎性発達障害　④自閉症　⑤アスペルガー障害　⑥人格障害　⑦性同一性障害

I028 発達支援論研究

教授　博士 (教育学)　藤崎　春代

発達障害児・者への支援についての考え方および支援の実際について検討しつつ、発達支援のすすめ方について学ぶ。

①発達障害児・者　②支援

I029 障害児心理学研究

准教授　博士 (学術)　松永　しのぶ

認知、行動、社会性・情緒の偏りやつまづきを有する発達障害を主としてとりあげ、発達障害の行動、心理について、発達的な観点から理解し、支援につなげる視点を学ぶ。

①発達障害　②社会性・情緒の発達　③治療教育

I030 グループ・アプローチ研究

教授　島谷　まき子

集団心理療法の諸理論と技法に関する基本文献や研究論文のレポートとディスカッションを通して、集団心理療法の目的、構造、機能等の理解を深める。また、心理劇のグループ体験も取り入れ、集団と個の関わり、集団の雰囲気、リーダーのグループの進め方等について、体験的に学習する。

①集団心理療法　②集団と個　③グループリーダー

I031 精神分析学研究

非常勤講師　池田　政俊

精神分析学は、人間の、夢・失錯行為・症状など、心的現象の無意識的意味を解読する独自の解明方法であり、治療・援助技法であり、心理学的精神病理学的理論であり、芸術、文化、社会心理、思想の理解にも応用される経験的かつ仮説的なひとつの discipline である。本講義では、臨床実践につながることを最重視しつつ、その理論と実践について学ぶことを目的とする。

①精神分析　②力動精神医学　③心理療法

I033 学校教育相談研究

教授　鵜養　啓子

学校臨床心理学の場面である、学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、教員の行う教育相談の意義を検討するとともに、スクールカウンセラーと教員のコラボレーションについて実践事例研究を材料として研究する。参加者からの事例提供を求める。

①学校コミュニティ　②スクールカウンセリング　③教育相談

I035 臨床心理査定研究Ⅰ

教授　渡邊　佳明

心理査定の位置付け、意義について、基本的な点を解説する。心理査定を、①面接、生活史、課題作文 (以上、直感分析)、②心理検査の２領域に確定し、両者のもつ独自性、補完性について、理論、実践面から解説する。併せて、直感分析論について解説する。

①心理査定　②事例研究　③直感分析

I036 発達臨床実習Ⅰ

非常勤講師　西本　絹子

受講生が現在、関わっている幼児・児童・生徒の事例を中心に発達臨床の視点から検討する。最低１回の事例提供が可能な大学院生であることを原則とする。

①発達臨床　②事例検討　③集団討議

I037 発達臨床実習Ⅱ

非常勤講師　西本　絹子

受講生が現在、関わっている発達・適応上の問題を抱えている幼児・児童・生徒の事例について主として発達心理学的観点からの検討を通じて、発達臨床的理解を深めていく。原則として１回以上の事例提供が可能な大学院生であることが受講資格となる。

①発達臨床　②事例検討　③集団討議

I038 心理学演習Ⅰ

教授　担当教員

修士論文の執筆に必要な文献研究、心理テスト、社会調査について学び、科学論文としての資質を向上させる。

①科学論文　②修士論文

I039 心理学演習Ⅱ

教授　担当教員

修士論文の執筆に必要な文献研究、心理テスト、社会調査について学び、科学論文としての資質を向上させる。

①科学論文　②修士論文

I040 心理学特別研究Ⅰ

教授　担当教員

各自の研究課題を整理し、実証的研究として成立しうる研究計画を検討する。

▶生活機構研究科 心理学専攻（修士課程）：臨床心理学講座

I041 臨床心理学特論Ⅰ

教授　鵜養　啓子

臨床心理学の歴史的展開の中から、臨床心理学諸理論、心理臨床業務について概観し、臨床心理士としての心構えを学ぶ。なるべく具体的な臨床実践に触れながら、臨床心理士としての成長過程のなかで、スーパーヴィジョン、教育分析、の意味を理解する。

①理論　②心理臨床業務　③スーパービジョン

I042 臨床心理学特論Ⅱ

教授　島谷　まき子

臨床心理面接の基本事項を理解した後、代表的な臨床心理面接の理論と技法の基礎を学ぶ。その上で、各理論と技法に共通点と相違点について考察する。また、臨床心理面接のプロセスで生じる心理的現象をどのように理解し、どう対応するかについて、実際例に即しながら具体的に学ぶ。受講生は輪読形式で個々の課題を発表し、討論に参加することが求められる。

①心理面接の基本　②各理論と技法の異同　③心理面接のプロセス

I043 臨床心理面接特論Ⅰ

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ

臨床心理学を実践の科学として理解し、心理臨床の専門家としての基本的な態度と技術を学習することを目的とする。文献購読を通して、心理臨床の援助過程、援助技術についての理解を深める。

①臨床面接　②心理療法　③カウンセリング　④援助過程

I044 臨床心理面接特論Ⅱ

准教授　山崎　洋史

心理臨床研究論文やケースレポートを読み、症状や行動の特徴を理解するとともに、その心理治療過程や心理臨床的援助について考察する。

①心理療法　②カウンセリング　③ケースレポート

I045 臨床心理査定演習Ⅰ

教授　渡邊　佳明
非常勤講師　藤田　宗和
助教　田口　香代子

心理臨床の中での、心理査定の位置、意義について理解する。また、心理査定の道具としての心理テスト、特に投映法（ロールシャッハ・テスト）の実施、分析、解釈の実習を通して、心理査定における投映法の有効な使用法を学習する。また、投映法の結果を治療活動に有効に生かすための心理レポート作成についても学習する。

①心理査定　②心理レポート　③投映法　④ Rorschach-Test

I046 臨床心理査定演習Ⅱ

准教授　田中　奈緒子

心理臨床の中での、心理査定の位置、意義について理解する。また、心理査定の道具としての心理テスト、特に投映法（ＴＡＴ）の実施、分析、解釈の実習を通して、心理査定における投映法の有効な使用法を学習する。また、投映法の結果を治療活動に有効に生かすための心理レポート作成についても学習する。

①心理査定　②心理レポート　③投映法　④ Thematic　Apperception　Test

I047 臨床心理基礎実習Ⅰ

教授　島谷　まき子
准教授　山崎　洋史

心理臨床家として必要な臨床心理面接の態度や技法を修得するために、各種の体験的実習を行う。後期は、修士２年生と共に、グループスーパーヴィジョン等を通じてケース理解を深める。また、心理臨床相談室で受理したケースの担当を、スーパーヴィジョンを受けながら行う。並行して外部相談援助機関での実習を行う。

①ロールプレイング　②臨床心理面接技法　③スーパービジョン

I048 臨床心理基礎実習Ⅱ

教授　鵜養　啓子
助教　田口　香代子

心理臨床家として必要な臨床心理面接の態度や技法を修得するために、各種の体験的実習を行う。後期は、修士２年生と共に、グループスーパーヴィジョン等を通じてケース理解を深める。また、心理臨床相談室で受理したケースの担当を、スーパーヴィジョンを受けながら行う。並行して外部相談援助機関での実習を行う。

①ケース担当 ②臨床心理面接技法 ③スーパービジョン

I049 臨床心理実習Ⅰ

教授　渡邊　佳明
教授　博士（教育学）　藤崎　春代

基礎臨床心理実習より専門的な心理臨床の態度や技法を修得する。実際に事例を担当し、臨床活動を自ら体験する。スーパーヴァイズを受けながら、自らの仕方を点検修正し、また、ケースへの理解を深める経験を積む。

①スーパーヴィジョン　②相談記録　③事例研究　④外部実習

I050 臨床心理実習Ⅱ

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ
准教授　田中　奈緒子

臨床心理基礎実習よりも専門的な心理臨床の態度や技法を修得する。実際に事例を担当し、臨床活動を自ら体験する。スーパーヴァイズを受けながら、自らの仕方を点検修正し、また、ケースへの理解を深める経験を積む。

①スーパーヴィジョン　②相談記録　③事例研究　④外部実習

I051 心理学統計法

准教授　松野　隆則

実験・観察・調査などの実証的方法によって測定された数値データから、研究対象の性質を客観的に読み取り、一般化の可能性を公平に見積る数学的方法が統計法である。初等統計学の知識を前提として、ユーザーの立場から修士論文研究の遂行上必要と思われる統計的手法についての理解と統計パッケージを使った分析技能の獲得を目指す。教科書未定。受講生が卒業論文で使用した統計的手法に関する報告等も求めて教材とする予定である。

①データ分析　②多変量解析　③ＳＰＳＳ

I052 心理学研究法

教授　三浦　香苗
助教　平田　万理子

各人が関心のある心理学の領域の研究を具体化して行くには、どのように研究目的を具体化し、どのようなな研究手法を用いるのが適切であるかを、内外の研究論文を読んでいく中で、修得していく。

①研究目的　②研究方法　③研究論文

I053 人格心理学研究Ⅰ

非常勤講師　長塚　恭一

私たちの人格がどのように形成されるのか、変容するのかについて考えたり、悩んだりするのは、多くの場合、自分自身が自分の人生をどのように生きるのかということと深くかかわっている。自身の人生を有意義に生きるには、自分の人格をどのように活かしたらよいのかの指針を得るため著名な人格理論を構築した研究者の人格の変容・熟成の変遷について考察する。

①人格理論　②人格の発達　③人格の変容

I054 人格心理学研究Ⅱ

非常勤講師　堀毛　一也

Mischel,W.et al.(eds.)(2007) ” Introduction to Personality: Toward an integration (8th.ed.)” をテキストに、受講者の関心にあわせ担当部分を決め購読を行う。内容に関する解説を基盤に、最近のパーソナリティ心理学の研究動向について論議し理解を深める。

①パーソナリティ　②パーソナリティ理論　③社会認知論

I055 人格臨床心理学研究

非常勤講師　長塚　恭一

人格は変わるのか、変えられるのか、人格の変容について研究する。PTSD による人格変容、最近の若者による事件等について、臨床心理学的考察を試みる。

①人格理論　②人格の発達　③人格の変容

I056 教育心理学研究Ⅰ

教授　三浦　香苗

最近の教育心理学分野の研究領域及びそこでの論争点について、研究誌に掲載された論文の輪読によって、理解を深める。

①教育心理学　②研究領域　③論争点　④論文講読

I057 心理査定研究

教授　三浦　香苗

幼児期、児童期、青年期に主と問題となる精神発達一般や認知的・社会的・人格的な発達やその逸脱を、心理学ではどのように考え、測定・評価してきたかを論述するとともに、その主要な手法の習得を目指す。同時にそれらに対する介入・支援についても考察する。

①精神発達　②発達の逸脱　③心理査定　④実体験　⑤介入・支援プログラム

I058 発達心理学研究Ⅰ

准教授　博士（文学）　松澤　正子

認知発達のメカニズムとその生理学的な基礎について、学習・知覚・運動・注意・記憶をキーワードに、発達障害児の問題を参照しながら理解を深める。

①認知発達　②認知発達の生理学的基礎　③認知発達の個人差

I059 発達心理学研究Ⅱ

非常勤講師　岩立　志津夫

言語発達・言語獲得・言語病理学に関する研究について講義し、関連する内外の文献を講読します。特に発達の視点から「言語発達とその支援」について検討します。

①言語発達　②言語獲得　③言語病理学

I060 発達心理学研究Ⅲ

非常勤講師　木下　芳子

社会的認知とよばれる領域（心の理論、情動、意図など）と社会認識とよばれている領域（規則や道徳性、対人関係、社会システムなど）の理解および自己の発達について講義します。

①心の理論　②情動　③社会性　④社会システム

I062 認知心理学研究Ⅰ

教授　古川　真人

認知心理学とは、人間の心、とりわけ、知のはたらきを解明しようとする新しい科学といえる。認知心理学の立場に立った重要研究文献を資料として、実験室で見出された事実が、日常の行動場面における認知活動に、どのように関わっているのか、また役立てられているのかを検討する。

①ポジティヴ心理学　②楽観主義　③自己制御

I063 認知心理学研究Ⅱ

教授　古川　真人

認知心理学とは、人間の心、とりわけ、知のはたらきを解明しようとする新しい科学といえる。認知心理学の立場に立った重要研究文献を資料として、実験室で見出された事実が、日常の行動場面における認知活動に、どのように関わっているのか、また役立てられているのかを検討する。

①ポジティヴ心理学　②楽観主義　③自己制御

I064 認知心理学研究Ⅲ　推論の認知心理学

准教授　松野　隆則

思考に関する認知心理学的アプローチ、特に推論領域に関する研究を取り上げ、主要な理論を概観すると共に実証的な原著論文の講読を通じ、高次認知過程に関する認知心理学の研究の実際に触れる。また折に触れ、それらの研究を動機づける「合理性」に関するメタ理論的立場についても検討する。教室で聴講するだけではなく、文献の読解や討論への参加等、受講者の主体的な努力が求められる。

①認知心理学　②推論　③合理性

I065 実験心理学研究Ⅰ

教授　博士（文学）　上村　保子

実証科学的研究を目指す実験心理学の基本的な考え方を理解し、それを各自の研究に具体化する力を養うことを目的とする。主に知覚・認知心理学領域の研究文献を資料として用い、解説を行うとともに、受講者にも十分な授業準備と活発な討論を求める。

①実験心理学　②研究法　③知覚・認知

I066 実験心理学研究Ⅱ

教授　博士（文学）　上村　保子

知覚・認知の領域を中心に、それらの実験心理学的研究がどのように行われるのかを理解することを目的とする。主要な研究文献を紹介するとともに、それらについて受講者が検討し、ともに討論することも求める。実験心理学研究Ⅰとは異なる研究例をとりあげる。

①実験心理学　②知覚　③認知

I067 社会心理学研究Ⅰ

非常勤講師　博士（社会学）　小口　孝司

メンタルヘルスと観光との関連について検討する。よく知られているように、うつ病をはじめとするメンタルヘルスが大きな社会問題となっている。このときに心理学は、カウンセリング、研修などの心理教育によって、こうした問題に対処している。本講では、心理教育に加えて、観光を活用する可能性を、社会心理学をはじめとする心理学の研究から検討していく。

①社会心理学　②メンタルヘルス　③ツーリズム

I068 社会心理学研究Ⅱ

非常勤講師　博士（社会学）　小口　孝司

対人サービスについて、社会心理学をはじめとする心理学の観点から考察した内外の論文を取り上げ、解題していく。受講者も論文を担当して発表し、ディスカッションを通して理解を深めていく。

①サービス　②社会心理学　③ホスピタリティ

I069 社会心理学研究Ⅲ

准教授　清水　裕

感情をキーワードに、向社会的行動である援助行動およびソーシャル・サポートの問題について、心理学的社会心理学の視点から検討を加えていく。第1回目の授業時に文献リストを配布し、その中から各自が興味をもつ論文について発表し、ディスカッションをしていく。さらに発表で採り上げられた内容に関して授業担当者から解説およびコメントを行う。

①心理学的社会心理学　②向社会的行動　③感情

I070 社会心理学研究Ⅳ

准教授　藤島　喜嗣

自己－他者の認識とその乖離の問題について、社会心理学、特に社会的認知の視点から検討を加えていく。第1回目の授業時に文献ならびに文献リストを配布し、その中から各自が興味をもつ論文について発表し、批判的討論をする。さらに発表で採り上げられた内容に関して授業担当者から解説およびコメントを行う。

①社会的認知　②自己認知　③他者認知　④自己中心性バイアス

I071 社会心理学研究Ⅴ

教授　博士（文学）　今城　周造

社会的態度、説得と態度変化に関する最近の研究動向を概観する。重要論文を批判的に検討し、研究計画を立案する。余力があれば、それに基づく実験・調査を実施し（共同研究）、理解を深める。

①態度　②説得と態度変化　③態度 - 行動関係

I072 社会情報論研究Ⅰ

非常勤講師　田中　淳

皆さんの知識や手法の幅を拡げることが役割だと思います。本講では、行動とその背後にある要因をおさえる社会調査法の修得を目指したいと思います。テーマは、19年度からはじめた「良い孤独、悪い孤独」を深化させていきたいと考えています。前期は、関連研究のレビューから調査仮説、質問票の設計までをやる予定です。

①社会調査法　②自己　③孤独

I073 社会情報論研究Ⅱ

非常勤講師　田中　淳

本講では、個々人の行動に社会調査法で迫れる限界まで知恵を絞っていきたいと思います。前期のプレ調査結果を踏まえて、調査票の設計を洗練させていく予定です。

①社会調査法　②自己　③孤独

I074 家族心理学研究

非常勤講師　中釜　洋子

家族心理学は、臨床心理学と発達心理学が母胎となって生まれた比較的新しい心理学の一領域である。親密な関係（多くの場合、家族にあたる）に取り囲まれて生きる人間理解と家族を積極的に取り入れて行う心理援助の実際を知ることが授業のねらいである。

①家族臨床　②システム論的認識論　③実践的学習

I075 犯罪心理学研究

教授　渡邊　佳明

犯罪非行の概念規定，司法機関等の概説を行なった上で、犯罪非行原因論について、環境・文化的要因、個体的要因、及び時代的要因を解説する。また、作文分析により非行心性の原理について解説する。更に、事例に基づき最近の犯罪非行傾向の特徴にも触れる。

①犯罪非行概念　②犯罪非行の研究法　③犯罪非行の原因

I076 精神医学研究Ⅰ

非常勤講師　医学博士　東京えびすさまクリニック院長　山登　敬之

最近マスコミ等でも話題にのぼることの多くなった精神科の「病気」。精神医学および精神医療の現場で何がどのように問題になっているのか日常感覚を大切にしながら正しく学習する。講師による講義、および院生諸君による症例、文献の講読を交互に行う。Ⅰは神経症、ひきこもり編。

①神経症　②ヒステリー　③強迫神経症　④ PTSD　⑤解離性同一性障害　⑥心身症　⑦摂食障害　⑧不登校　⑨社会的ひきこもり

I077 精神医学研究Ⅱ

非常勤講師　医学博士　東京えびすさまクリニック院長　山登　敬之

精神医学研究Ⅰに続きⅡは精神病、発達障害編。

①統合失調症　②気分障害　③広汎性発達障害　④自閉症　⑤アスペルガー障害　⑥人格障害　⑦性同一性障害

I078 発達支援論研究

教授　博士（教育学）　藤崎　春代

発達障害児・者への支援についての考え方および支援の実際について検討しつつ、発達支援のすすめ方について学ぶ。

①発達障害児・者　②支援

I079 障害児心理学研究

准教授　博士（学術）　松永　しのぶ

認知、行動、社会性・情緒の偏りやつまづきを有する発達障害を主としてとりあげ、発達障害の行動、心理について、発達的な観点から理解し、支援につなげる視点を学ぶ。

①発達障害　②社会性・情緒の発達　③治療教育

I080 グループ・アプローチ特論

教授　島谷　まき子

集団心理療法の諸理論と技法に関する基本文献や研究論文のレポートとディスカッションを通して、集団心理療法の目的、構造、機能等の理解を深める。また、心理劇のグループ体験も取り入れ、集団と個の関わり、集団の雰囲気、リーダーのグループの進め方等について、体験的に学習する。

①集団心理療法　②集団と個　③グループリーダー

I081 精神分析学研究

非常勤講師　池田　政俊

精神分析学は、人間の、夢・失錯行為・症状など、心的現象の無意識的意味を解読する独自の解明方法であり、治療・援助技法であり、心理学的精神病理学的理論であり、芸術、文化、社会心理、思想の理解にも応用される経験的かつ仮説的なひとつのdisciplineである。本講義では、臨床実践につながることを最重視しつつ、その理論と実践について学ぶことを目的とする。

①精神分析　②力動精神医学　③心理療法

I083 学校臨床心理学研究

教授　鵜養　啓子

学校臨床心理学の場面である、学校教育の特徴と学校教育相談について理解し、スクールカウンセラーの歴史について学ぶとともに、コミュニティ援助としてのスクールカウンセリングについて実践事例研究を材料として研究する。参加者からの事例提供を求める。

①学校コミュニティ　②スクールカウンセリング　③コラボレーション

I085 臨床心理査定特論Ⅰ

教授　渡邊　佳明

心理査定の位置付け、意義について、基本的な点を解説する。心理査定を、①面接、生活史、課題作文 (以上、直感分析)、②心理検査の２領域に確定し、両者のもつ独自性、補完性について、理論、実践面から解説する。併せて、直感分析論について解説する。

①心理査定　②直感分析　③事例研究

I086 発達臨床実習Ⅰ

非常勤講師　西本　絹子

受講生が現在、関わっている幼児・児童・生徒の事例を中心に発達臨床の視点から検討する。最低１回の事例提供が可能な大学院生であることを原則とする。

①発達臨床　②事例検討　③集団討議

I087 発達臨床実習Ⅱ

非常勤講師　西本　絹子

受講生が現在、関わっている発達・適応上の問題を抱えている幼児・児童・生徒の事例について主として発達心理学的観点からの検討を通じて、発達臨床的理解を深めていく。原則として１回以上の事例提供が可能な大学院生であることが受講資格となる。

①発達臨床　②事例検討　③集団討議

I088 心理学演習Ⅰ

担当教員

修士論文の執筆に必要な文献研究、心理テスト、社会調査について学び、科学論文としての資質を向上させる。

①科学論文　②修士論文

I089 心理学演習Ⅱ

担当教員

修士論文の執筆に必要な文献研究、心理テスト、社会調査について学び、科学論文としての資質を向上させる。

①科学論文　②修士論文

I090 心理学特別研究Ⅰ

担当教員

各自の研究課題を整理し、実証的研究として成立しうる研究計画を検討する。

▶生活機構研究科 生活科学研究専攻（修士課程）

J001 食品素材研究Ⅰ　バイオテクノロジーと新開発食品素材の生理機能評価

教授　農学博士　　飯野　久和

有史以来、ヒトと微生物は多様な関わりを持ち、今日では微生物の能力を利用した発酵工業が繁栄している。しかし、ヒトと微生物との係わりとしての生態学的意味、あるいはこの点から類推される有益な微生物及びその酵素や生産物については十分に研究対象となり得たとは言い切れない。本講では「ヒトと微生物の係わり」に主眼を置き、遺伝子資源としての微生物について探求する。

①発酵食品　②有用微生物探索　③バイオテクノロジー

J002 調理機能開発ⅠA　食品の構造と調理機能

特任教授　農学博士　　島田　淳子

調理には、素材の可食化、栄養性・嗜好性の向上等さまざまな機能がある。調理機能の開発は、食品素材の化学的・物理学的・組織学的諸性質と、調理によるこれらの変化を基礎的に研究することによって達成できる。最新の研究を中心に講義し、学習させる。

①調理機能　②食品成分　③食品物性　④組織構造　⑤嗜好性

J003 調理機能開発 B　食品素材の調理機能発現メカニズム解析

准教授　博士（学術）　　大橋 きょう子

調理には、素材の可食化、栄養性・嗜好性の向上等さまざまな機能がある。調理機能の開発は、食品素材の化学的・物理学的・組織学的諸性質と、調理によるこれらの変化を基礎的に研究することによって達成できる。最新の研究を中心に講義し、学習させる。

①調理機能　②食品成分　③食品物性　④嗜好性

J004 食品素材科学 A　構造脂質と食品機能

教授　博士（学術）　　田中　伸子

生体内における脂質の機能について、生体膜を中心に細胞生物学の観点から講義する。具体的には、膜機能発現に必要とされている特定の脂質を通して、細胞間の物質輸送、シグナル伝達、細胞間の認識・応答について考察する。

①分子細胞学　②流動モザイクモデル　③膜脂質（リン脂質、糖脂質）

J005 食品素材演習Ⅰ

専任教員

受講生の研究内容や研究の進捗状況に合わせて国内外学術論文購読をもって進める。

①食品素材の先行研究　②食品素材の研究計画　③食品素材の研究方法

J006 食品素材実験Ⅰ

専任教員

研究を進める上で必要となる実験の原理を理解し、手法を習得する。

①食品素材実験法　②食品素材分析法　③食品素材検査法

J007 食品素材特別研究Ⅰ

専任教員

修士論文の指導を行う。学会誌投稿論文の書き方、国内外の学会への参加指導もあわせて行う。

①研究課題　②研究計画　③修士論文

J008 食品材料研究Ⅰ　食品の機能特性と物性評価

教授　博士（学術）　　森髙　初恵

食品のレオロジーを理解するために必要な基礎的な理論、測定手法や解析方法について、具体的な食品の事例を示しながら解説する。また、口腔内感覚と食する際のテクスチャーを表現する用語や客観的な感覚の研究方法について、関係する国内外の文献を通して学ぶ。

①レオロジー　②テクスチャー　③咀嚼　④嚥下

J009 食品材料機能開発

教授　農学博士　　高尾　哲也

近年、食品成分の生体に及ぼす機能性が注目されてきている。そこで新技術による食品素材の開発や製造、機能性解析などの文献を通して関連分野の研究を理解する。

①食品素材　②食品の機能性　③新技術の利用

J010 食品加工材料科学 A　加工食品と食品添加物及び包装資材

教授　博士（学術）　　福島　正子

加工食品はびん詰，缶詰の発明以来著しい発展を遂げてきた。現在、加工および調理済み食品は必要不可欠な存在となっている。そこで調理・加工された食品の機能性、安全性，流通性について食品科学，食品衛生学および食品包装学の点から考察する。

①食品の安全性　②食品と流通　③食品包装

J011 食品加工材料科学 B　食品構成成分の加工適性評価

准教授　博士（学術）　　竹山　恵美子

食品構成成分の加工適正を評価するために、まず食品成分の化学特性及び分析方法をを理解する。また、各成分間の相互作用、機能性に与える影響を把握する。

①食品構成成分　②分析法　③機能性

J012 食品材料演習Ⅰ

専任教員

受講生の研究内容や研究の進捗状況に合わせて国内外学術論文講読をもって進める。

①食品材料の先行研究　②食品材料の研究計画　③食品材料の研究方法

J013 食品材料実験Ⅰ

専任教員

研究テーマの遂行に当たり、他で適用されている研究方法の応用、あるいは新規手法による方法論の開発などの可能性を検討する。

①食品材料実験法　②食品材料分析法　③食品材料検査法

J014 食品材料特別研究Ⅰ

専任教員

修士論文の指導を行う。学会誌投稿原稿の書き方、国内外の学会への参加指導もあわせて行う。

①研究課題　②研究計画　③修士論文

J015 栄養・生化学研究Ⅰ

教授　理学博士　松本　孝

タンパク質や酵素の機能とその発現メカニズム、更にタンパク質の翻訳後修飾とその意義について考える。

①機能の発現　②翻訳後修飾　③シグナル

J016 応用酵素化学
酵素の特性を応用的観点から講述

准教授　農学博士　曽田　功

酵素の化学的特性が生命科学の分野でいかに応用されているかを実例を挙げながら解説する。併せて内外の文献購読を行い、応用的な研究対象としての酵素についても理解を深める。

①酵素　②タンパク質　③触媒

J017 栄養・生化学演習Ⅰ

教授　理学博士　松本　孝

研究内容や研究進捗状況に合わせて進める。

①生体中での機能　②生理活性物質　③分析操作

J018 栄養・生化学実験Ⅰ

教授　理学博士　松本　孝

研究テーマの遂行に当たり、他で適用されている研究方法の応用、あるいは新規手法による方法論の開発などの可能性を検討する。

①成分分析　②微量分析　③機能性の確認

J019 栄養・生化学特別研究Ⅰ

教授　理学博士　松本　孝

研究内容や研究進捗状況に合わせ、討論を含めた研究指導を行う。

①酵素の機能解析　②新規分析法　③文献検索

J020 栄養・生理学研究Ⅰ

特任教授　農学博士　木村　修一

栄養生理・生化学に関わる幅広い領域でのトピックスをとりあげて講義し、ディスカッションをする。栄養素を含む食品成分の生体内での機能を中心として講義し、研究の方法についても解説する。

①栄養素の生体内機能②生理活性物質　③研究の進め方

J021 脂質栄養研究
脂質の栄養・生理作用を中心に研究

教授　農学博士　中津川　研一

食品中に含まれる各種脂質について、生体内での諸機能に関する内外の学術論文の中から、適当な題目を選んで講読する。

①脂質　②機能　③講読

J022 生物機能解析Ⅰ　微細藻類の分子生理

教授　理学博士　大森　和子

食品材料となる動植物でも、それを栄養物質としてとりいれて生きていくヒトでも最も基本となるのは細胞の機能である。細胞の機能に関して食物、栄養に関係深い部分を選んで講義する。また、希望に応じてやさしい英文の購読練習もおこなう。

①遺伝子の発現調節　②組み換え DNA 技術　③細胞外分泌

J023 栄養・生理学演習Ⅰ

専任教員

研究内容や研究進捗状況に合わせて進める。

①生体中での機能　②生理活性物質　③分析操作

J024 栄養・生理学実験Ⅰ

専任教員

研究テーマの遂行に当たり、他で適用されている研究方法の応用、あるいは新規手法による方法論の開発などの可能性を検討する。

①分析法　②実験法　③検査法

J025 栄養・生理学特別研究Ⅰ

専任教員

修士論文の指導を行う。学会誌投稿原稿の書き方、国内外の学会への参加指導もあわせて行う。

①研究課題　②研究計画　③修士論文

J026 生体調節・栄養生理研究 A
栄養素と生体調節成分

准教授　保健学博士　海老沢　秀道

栄養素の生体調節機能について、英語文献の講読を通して解説し、栄養素の分子生理的な役割を理解する。この中で、代表的な受容体とリガンドとしての栄養素・栄養成分の機能についても理解する。

①栄養素　②分子栄養学　③シグナル伝達の考え方

J027 生体調節・栄養生理研究 B
栄養素と食品成分の機能的関わり

准教授　博士（学術）　小川　睦美

脂溶性ビタミンは，いずれもそれぞれ特徴的な生体内転送，代謝，機能発現機構を有する。そこで，最近の文献を通して脂溶性ビタミンの生体調節・栄養生理機能について理解する。さらに，食品や臨床分野への応用や関連項目について理解する。

①分子栄養学　②脂溶性ビタミン　③生理機能

J028 栄養生理機能解析演習Ⅰ

専任教員

研究内容や研究進捗状況に合わせて進める。

①分子栄養の先行研究　②分子栄養の研究計画　③分子栄養の研究方法

J029 栄養生理機能解析実験Ⅰ

専任教員

研究テーマの遂行に当たり、他で適用されている研究方法の応用、あるいは新規手法による方法論の開発などの可能性を検討する。

①分子栄養実験法　②分子栄養分析法　③分子栄養検査法

J030 栄養生理機能解析特別研究Ⅰ

専任教員

研究内容や研究進捗状況に合わせ、討論を含めた研究指導を行う。

①研究課題　②研究計画　③修士論文

J031 母子栄養評価研究Ⅰ
授乳と乳児期栄養を中心に研究

教授　医学博士　戸谷　誠之

母子栄養の特徴と問題点について国際的な文献を参考に学ぶ。

①乳児の特徴　②乳児栄養　③母乳哺育

J032 臨床栄養研究

教授　博士（医学）　志賀　清悟

プロバイオティクス、プレバイオティクスに関する文献、研究報告を中心に購読して、これらに関する基礎的研究手法を学ぶことを目的とする。

①プロバイオティクス　②プレバイオティクス

J033 公衆栄養研究Ⅰ

教授　医学博士　渡辺　満利子

保健、医療，福祉の分野における公衆栄養、栄養教育・食育に関する最新の研究成果やトピックスを取り上げて、講義、討論する。研究デザイン、栄養教育プログラム、調査方法、分析方法、評価方法、論文作成、プレゼンテーションについて指導する。

①科学的根拠に基づく栄養教育・食育法　②メタボリックシンドローム・糖尿病・高脂血症・思春期やせ　③病院・学校などフィルド研究

J034 食教育評価研究 A
健康増進を目的とした栄養教育・評価

准教授　博士（医学）　大木　和子

栄養教育は、食品・栄養・臨床栄養・公衆栄養等に関する全ての知識や技術、情報の収集法・評価や、行動科学・心理にまで及ぶ広範囲のアセスメントを学習したうえでの応用科目である。学部で学んだ基礎をもとに栄養教育実践でのマネジメントシステムを学ぶ。

①栄養教育マネジメント　②栄養教育の評価　③栄養教育システム

J035 食教育評価研究 B

教授　博士（学術）　熊澤　幸子

食育は、知育、徳育、体育の基礎であり、心身の成長発達に大きな影響を及ぼす。生涯にわたる食と福祉にかかわる食育を学習する。

①食育　②生活習慣病　③生涯にわたる健康

J036 公衆栄養演習Ⅰ

専任教員

研究内容や研究進捗状況に合わせて進める。

①栄養評価の先行研究　②栄養評価の研究計画　③栄養評価の研究方法

J037 公衆栄養実験Ⅰ

専任教員

研究テーマの遂行に当たり、他で適用されている研究方法の応用、あるいは新規手法による方法論の開発などの可能性を検討する。

①栄養評価実験法　②栄養評価分析法　③栄養評価検査法

J038 公衆栄養特別研究Ⅰ

専任教員

研究内容や研究進捗状況に合わせ、討論を含めた研究指導を行う。

①研究課題　②研究計画　③修士論文

▶生活機構研究科 福祉社会研究専攻（修士課程）

K001 生活福祉研究Ⅰ

教授　経済学博士　伊藤　セツ

福祉ミックス時代の、生活の社会化の進展問題を多面的に扱い、新たな生活福祉環境を創造する生活の主体形成のあり方を研究する。また自立とは何かを、生活の現実に根差して捉え、自立と共生のあり方、自立と依存の関係を考察する。生活者と生活文化、福祉環境とジェンダー・ジェンダー統計についても取り上げる。

①福祉ミックス　②生活の社会化　③生活福祉環境

K004 社会福祉研究Ⅰ

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

社会福祉の原論の基本的な要素を検討し、わが国の主要な社会福祉原論を検討する。特に社会福祉の思想・価値の視点から、三大原論を研究する。

①原論と概論の相違点　②原論の要素　③主要な原論の研究

K005 社会福祉演習Ⅰ1

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

社会福祉の原論と概論の相違点を明らかにし、わが国の主要な原論を検討する。

①社会福祉の原論と概論　②主要な原論　③社会福祉の哲学と価値

K006 社会福祉演習Ⅰ2

教授　博士（社会福祉学）　秋山　智久

1年次の続きをさらに深め、多くの主要な社会福祉原論を検討する。論文の書き方を学ぶ。

①社会福祉の理論　②論文の形式　③論文の書き方

K007 家族福祉文化研究Ⅰ

教授　博士（学術）　天野　寛子

少子高齢化という家族福祉問題は、日本の農村家族に典型的にみることができる。戦後農村の生活の変遷をたどりながら、男女共同参画社会時代の家族福祉を推進するための家族条件整備を考察する。（学生のニーズにより内容を変更する可能性がある）

①家族福祉　②家族福祉文化　③農家家族　④生活改善　⑤女性農業者の地位

K008 家族福祉文化演習Ⅰ1

教授　博士（学術）　天野　寛子

家族福祉に関する基本的文献を読み、家族福祉研究方法と結びつけ、修士論文作成に役立つように研究の基本的スキルを各自のテーマと関連させつつ理解を深める。

①テーマ　②福祉社会　③家族福祉　④家族福祉の先行研究　⑤研究方法　⑥調査方法

K009 家族福祉文化演習Ⅰ2

教授　博士（学術）　天野　寛子

「家族福祉文化演習Ⅰ1」で学んだことを基礎として、家族福祉研究論文を批判的に読み、議論し、各自の研究テーマにより接近させながら家族福祉研究を深める。

①家族福祉研究　②家族支援研究と家族支援　③家族福祉研究の発表

K010 居住福祉研究Ⅰ

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住居は、生命の安全と健康を守り、自立と生活を支える人間生存の基本的基盤であり、福祉の基礎単位でもある。社会的弱者である高齢者・子ども・障害者を取り巻く居住環境を生活福祉の視点から明らかにし、ユニバーサルデザイン時代の居住福祉環境の醸成を追求する。

①ホームレス　②高齢者の居住環境　③ユニバーサルデザイン

K011 居住福祉演習Ⅰ1

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

高齢者の居住福祉に関する先行研究を学び、そこから各自のテーマを決定し、修士論文作成のための調査・分析方法、論理的思考の方法、論文作成の技術を修得する。

①先行研究　②質的研究　③ヒアリング調査

K012 居住福祉演習Ⅰ2

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

高齢者の居住福祉に関する先行研究を学び、そこから各自のテーマを決定し、修士論文作成のための調査・分析方法、論理的思考の方法、論文作成の技術を修得する。

①独創性　②弁証法的論理思考　③現象解釈

K013 ユニバーサルデザイン評価研究Ⅰ

教授　学術博士　猪又　美栄子

ユニバーサルデザインとは年齢や能力に関わりなく，ノマライゼーション、バリアーフリーからの発展して、すべての人に適合するデザインで，その基本的理念は公平性である。ユニバーサルデザインの対象となるものは，建築やプロダクト製品だけでなくサービスや情報にも広がっている。高齢社会の日本では，衣服にもユニバーサルデザインが求められている．ユニバーサルデザインの考え方および評価について考察する。

①ユニバーサルデザイン　②ノマライゼーション　③バリアーフリー　④評価

K014 ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ1

教授　学術博士　猪又　美栄子

ユニバーサルデザインは，多様な能力を持つ人々が社会生活をできるかぎり公平に行えることを目的としたものである。この演習では，福祉利用者の身体形態・機能の測定，計測値の扱い，そこから読み取れる福祉利用者のニーズについて取り上げる。

①身体計測　②動作　③使いやすさ　④着心地　⑤評価　⑥分散分析

K015 ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ2

教授　学術博士　猪又　美栄子

この演習では，多様な福祉利用者のニーズの抽出と，個々の日用品や環境の使用手順に沿ったタスクの分析を行い，現状の日用品や環境の評価を行う。

①ユニバーサルデザイン　②ユーザー　③ニーズ　④タスク　⑤評価

K016 労働とジェンダー研究Ⅰ

教授　博士（経済学）　森　ます美

今日の労働の態様(労働市場、雇用管理、賃金等)をジェンダー視点から捉え、それに対応する現代日本の労働政策、雇用平等政策、社会保険・社会福祉政策、両立支援政策(性役割分業政策)等を、国連・ＩＬＯ・ＥＵの政策体系と比較しながら、ジェンダー構造的に検証する。

①労働のジェンダー分析　②雇用・賃金の性差別　③雇用平等政策　④同一価値労働同一賃金原則　⑤ディーセント・ワーク　⑥ＥＵ男女均等待遇政策

K017 労働とジェンダー演習Ⅰ1

教授　博士（経済学）　森　ます美

労働とジェンダー研究Ⅰの講義を踏まえ、そこに含まれる個別の課題について、文献・資料等を用いて、報告・討論するなかで、研究を深め、読解力・考察力・論理力を養う。

①労働のジェンダー分析　②雇用・賃金の性差別　③雇用平等政策　④同一価値労働同一賃金原則　⑤ディーセント・ワーク　⑥ＥＵ男女均等待遇政策

K018 労働とジェンダー演習Ⅰ2

教授　博士（経済学）　森　ます美

修士論文の作成を目的に、履修者のテーマに応じた指導を行う。履修者は、当該テーマに関する研究成果をゼミで報告し、討論する。そのなかで、論点を煮詰め、論理力・考察力・執筆力を高め、修士論文を完成する。

①労働のジェンダー分析　②雇用・賃金の性差別　③雇用平等政策　④同一価値労働同一賃金原則　⑤ディーセント・ワーク　⑥ＥＵ男女均等待遇政策

K019 国際男女共同参画社会研究Ⅰ

教授　坂東　眞理子

差別撤廃条約、北京綱領など日本の政策に影響を与えた国際文書、各国の政策を検証する

①差別撤廃条約　②フランスパリテ法　③ノルウェー女性政策

K020 国際男女共同参画社会演習Ⅰ1

教授　坂東　眞理子

差別撤廃条約など、女性関係、国際文書を原語で講読する。

①差別撤廃条約　②北京綱領　③暴力撤廃宣言

K021 国際男女共同参画社会演習Ⅰ2

教授　坂東　眞理子

差別撤廃条約など、女性関係、国際文書を原語で講読する。

①差別撤廃条約　②北京綱領　③暴力撤廃宣言

K022 現代国際関係研究Ⅰ

教授　志摩　園子

国際関係を学ぶ上で重要な文献を検討し、現代国際社会が抱えている問題の考察や課題の基盤作りとする。発表形式で行う。

①国民国家　②クロス・ボーダー　③地球規模

K023 現代国際関係演習Ⅰ1

教授　志摩　園子

学生が興味のあるテーマに関係する文献を読む。

①統合　②地域協力　③国家

K024 現代国際関係演習Ⅰ2

教授　志摩　園子

国際関係についての論文指導をおこなう。

K025 現代企業と社会研究Ⅰ

教授　木下　武男

現代における企業の領域および企業と社会の関係領域をテーマとする。専門研究としては、労働社会学と企業論、現代社会論の３つの学際的な分野である。前期は、今日の企業労働を多面的に分析し、日本的な特質を解明する。

①日本型株式会社　②日本的賃金雇用慣行　③女性労働とジェンダー

K026 現代企業と社会演習Ⅰ1

教授　木下　武男

企業労働と現代社会の変容に関連するテーマに関心をもつ院生の修士論文の指導を行う。

①若年雇用　②階層化社会　③女性労働とジェンダー　④少子化

K027 現代企業と社会演習Ⅰ2

教授　木下　武男

企業労働と現代社会の変容に関連するテーマに関心をもつ院生の修士論文の指導を行う。

①若年雇用　②階層化社会　③女性労働とジェンダー　④少子化

K028 福祉政策研究Ⅰ

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

日本における福祉社会の政策論議は、1970 年代に本格化する。したがって 1970 年代以降の政策文献・資料を材料に、福祉社会の種々の構想について検討を加え、それらの特徴を検討する。この研究の中心的な素材は、研究者の理論ではなく、実際の政策を貫いている「福祉社会」理論であり、その政策的展開を基本において検討する。

①共同体型福祉社会　②活力ある福祉社会　③日本型福祉社会

K029 福祉政策演習Ⅰ1

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

履修者の研究テーマに関連させて、福祉社会に関する研究の発表と討論を行い、あわせて論文作成指導を進める。

①福祉国家　②福祉社会　③地域福祉　④価値体系

K030 福祉政策演習Ⅰ2

教授　博士（学術・福祉）　永山　誠

履修者の研究テーマに関連させて、福祉政策に関する研究の発表と討論を行い、あわせて論文作成の指導を進める。

①福祉国家　②福祉社会　③地域福祉　④価値体系

K031 社会調査研究Ⅰ

教授　工学博士　矢野　眞和

社会調査の理論と方法を修得する。とくに、実証的な分析を行うために必要な統計的方法を中心に講義する。

①社会調査　②社会統計

K032 社会調査演習Ⅰ1

教授　工学博士　矢野　眞和

社会問題の実証的分析に関する論文の指導を行う。

K033 社会調査演習Ⅰ2

教授　工学博士　矢野　眞和

社会問題の実証的分析に関する論文の指導を行う。

K034 女性史研究Ⅰ

教授　掛川　典子

20 世紀初頭の欧米と日本の特色ある女性論を分析する。高度な女子教育を受けた女性たちが、自立と社会的貢献を目指して、母性主義と女性文化という重要概念をかかげて行った活動を中心に、優生思想も絡めて論じたい。

①青鞜　②母性保護論争　③母性主義　④女性文化　⑤結婚と自立　⑥社会的貢献

K035 現代マスコミュニケーション研究Ⅰ

教授　澁澤　重和

現代のマスメディアの思想や倫理観、人権感覚の扱い方などを検討するとともにそのあり方を研究する。

①マスメディア　②報道と人権　③ジャーナリストの倫理

K036 現代マスコミュニケーション演習Ⅰ1

教授　澁澤　重和

履修者の研究テーマに沿って、必要な文献を購読する。

①メディアの構造　②メディアの特質　③メディアの課題

K037 現代マスコミュニケーション演習Ⅰ2

教授　澁澤　重和

現代のマスコミュニケーションに関する論文指導を行う。

①メディアの構造　②メディアの特質　③メディアの課題

K038 現代経済研究Ⅰ

教授　小島　徹

プラザ合意から現在までの約20年間の日本経済に焦点を絞って現代経済の解明を意図する。バブル経済の発生と崩壊、日本版ビッグ・バンの功罪、不良債権問題、日本企業の海外工場移転と産業の空洞化問題、東アジア経済圏の台頭と東アジア共同体構想などについて学ぶ。

①バブル経済　②産業の空洞化　③不良債権

K039 現代経済演習Ⅰ1

教授　小島　徹

プラザ合意から現在までの 20 年余の日本経済の変化を中心に現代経済の解明を意図する。グローバリゼーションの急進展、東アジア経済圏の台頭、ユーロ圏の急拡大などの環境変化の激変の中で日本経済の未来を考える。

①バブル経済　②グローバリゼーション　③東アジア経済圏　④ユーロ圏

K040 現代経済演習Ⅰ2

教授　小島　徹

プラザ合意から現在までの 20 年余の日本経済の変化を中心に現代経済の先行きを考える。グローバリゼーションの進展、東アジア経済圏の台頭、ユーロ圏の急進展など時代状況の急変の中で現代経済を分析する。

①バブル経済②グローバリゼーション③東アジア経済圏④ユーロ圏

K041 児童福祉研究Ⅰ

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

グローバル化の不均等な進展で、世界は、富裕地帯と貧困地帯にわかれている。そのような状況で、子どもたちは、育つ環境によって、さまざまな福祉的課題をかかえている。貧困によるいわゆる発展途上地域の子どもの問題から北欧をはじめとする福祉先進国の子どもの福祉などに目を向けて、子どもの権利、子どもの福祉について考える。

①存在しない子どもたち　②市民としての子どもの権利

K042 児童福祉演習Ⅰ1

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

子どもの福祉に関する基本的な文献、調査などを購読・討議する。受講生の関心に沿って、テーマを立てて、論議する。子どもの市民としての権利について、家族政策と子どもの福祉の国際的な動向を含めて学習する。

①子ども時代　②個人の尊重

K043 児童福祉演習Ⅰ2

教授　博士（社会学）　月田　みづえ

子どもの福祉に関する基本的な文献、調査などを購読・討議する。受講生の関心に沿って、テーマを立てて、論議する。子どもの市民としての権利について、家族政策と子どもの福祉の国際的な動向を含めて学習する。

①子ども時代　②個人の尊厳

K044 高齢者ソーシャルサービス研究Ⅰ

准教授・博士（学術） 伊藤 純

高齢者ソーシャル・サービスとは，社会化された介護・家事労働であり，高齢者に対する福祉・介護・生活支援サービスの総称である。その進展が利用者の生活に及ぼす影響を，ジェンダーと生活福祉経営の視点から研究する。また，利用者の生活福祉経営能力及び提供者との相互関連について検討する。

①高齢者ソーシャル・サービス ②介護・家事労働の社会化 ③生活福祉経営

K045 高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ1

准教授 博士（学術） 伊藤 純

高齢者ソーシャル・サービス研究Ⅰの履修を前提とする。履修者の修士論文テーマに沿って、高齢者ソーシャル・サービス及び生活福祉経営に関する基本的文献・資料等の購読と討議を行う。あわせて、修士論文作成のために必要な方法と技術を学ぶ。

①高齢者ソーシャル・サービス ②生活福祉経営 ③研究テーマ

K046 高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ2

准教授 博士（学術） 伊藤 純

「高齢者ソーシャル・サービス演習Ⅰ1」に引き続き、履修者の修士論文のテーマに沿って、高齢者ソーシャル・サービス及び生活福祉経営に関する先行研究・関連文献・資料等の購読・討議を行っていく。あわせて修士論文の完成に向けて、指導を進める。

①高齢者ソーシャル・サービス ②生活福祉経営 ③アカデミック・ライティング

K047 言語社会学Ⅰ

准教授 博士（社会学） フフバートル

「統一した多民族国家」中国の言語政策、言語問題について講じる。中国に「国語」はあるのか。なぜ、約13億人の漢民族が「一民族一言語」なのに、少数民族は「55の民族80以上の言語」なのか。中国の「民族教育」とはなにか。「双語（バイリンガル）教育」とは何か。

①言語政策 ②言語問題 ③国語 ④民族語 ⑤民族政策 ⑥バイリンガル教育

K048 言語社会学演習Ⅰ1

准教授 博士（社会学） フフバートル

モンゴルと中国を主とする東アジアのことばと社会、ことばと文化、ことばと民族の問題及び地域研究の視点から当該地域を扱う諸問題について幅広く指導する。

①モンゴル ②中国 ③ことば ④社会 ⑤文化 ⑥民族

K049 言語社会学演習Ⅰ2

准教授 博士（社会学） フフバートル

モンゴルと中国を主とする東アジアのことばと社会、ことばと文化、ことばと民族の問題及び地域研究の視点から当該地域を扱う諸問題について幅広く指導する。

①モンゴル ②中国 ③ことば ④社会 ⑤文化 ⑥民族

K050 地域環境計画研究Ⅰ

教授 博士（学術） 瀬沼 頼子

豊かな生活と深く関わる地域について，今日的視点である「環境」を加え、持続可能な共生時代の地域環境形成に関わる理論とその計画論、具体的・実践的手法を学ぶ。福祉・地域・環境問題といった現代社会の課題を生活主体者しとて問題解決していく力を養う。

①地域 ②地域環境 ③計画論

K051 地域環境計画演習Ⅰ1

教授 博士（学術） 瀬沼 頼子

講義「地域環境計画研究Ⅰ」を同時に履修するか既履修であることがのぞましい。今日的課題である環境問題、福祉視点、人と自然とが共生する地域社会の形成やコミュニティ形成と深く関わる地域プランニングについて、実践的理論と手法を学んでいく。

①地域環境 ②共生論 ③地域と福祉

K052 地域環境計画演習Ⅰ2

教授 博士（学術） 瀬沼 頼子

受講者は演習科目（地域環境計画演習Ⅰ）を履修した上で、本演習を受講することが望ましい。演習Ⅰで学んだことを基盤に、事例を通して現代的地域課題を多方面から実証的に捉え、分析・考察を行っていく。

①地域環境 ②地域環境研究 ③地域目標と計画

K053 医療福祉研究Ⅰ

教授 高橋 学

慢性の病を抱えた患者やその家族の語る物語を中心に講読し、今日の生物医学によって軽視されがちな病の体験、語りこそが、医療やケアの中心にとらえるものであると考える。病とその語りを、質的研究方法を駆使しながら社会的プロセスとして改題する。また支援のあり方を探求する。

①社会構成主義②ナラティヴアプローチ③質的研究法④ソーシャルワーク

K054 ソーシャルワーク研究Ⅰ

准教授 博士（人間学） 北本 佳子

ソーシャルワークの理論を学ぶとともに、ソーシャルワークの実践分析に必要な事例研究法を中心に、理論と実践に関する研究の理解を図る。

①ソーシャルワーク ②ソーシャルワーク理論 ③質的研究（事例研究）

K055 福祉社会特別研究Ⅰ

担当教員

学生の修士論文の研究関心・テーマに即して、研究方法、文献、研究実践、データーの処理方法、まとめ方、プレゼンテイションの仕方までを指導する。

①研究テーマ ②研究方法 ③研究実践

▶生活機構研究科 環境デザイン研究専攻（修士課程）

L001 被服整理学研究Ⅰ
衣服と汚れと洗浄性

准教授　博士（学術）　下村　久美子

繊維製品は多様化し、その取扱い方法も複雑になってきている。洗浄系の研究分野を紹介し、汚れの種類、洗剤成分の洗浄作用、洗浄評価及び洗剤と環境について論じる。

①洗浄　②界面活性剤　③汚れ　④アルカリ　⑤酵素　⑥環境

L002 被服加工学研究ⅠA
染色現象と染色堅ろう性

教授　博士（学術）　大津　玉子

繊維の加工技術の中で、染色加工を中心に述べる。染色現象を統一的な科学として体系づけるとともに、実用性に関連した重要な課題である染色物の堅ろう性について解説する。特に染料の光退色について取り上げたい。

①染色機構　②助剤の作用　③染着状態

L003 被服加工学研究ⅠB
各種素材と製品の機能性

教授　博士（学術）　角田　由美子

授業概要 皮革、毛皮、人工皮革、天然および合成繊維の複合材料等についてその機能性および加工の基礎概念を講述する。さらにこれらを用いた靴や衣料などの製品をとりあげて素材、機能性、デザイン面から消費科学的な考察を行う。これらに関する研究論文の検索および講読により、関連分野の研究動向や実験計画、評価方法などを修得させる。

①素材　②皮革　③製品

L004 服飾意匠計画研究Ⅰ
着ごこちの良い衣服の設計と評価

教授　学術博士　猪又　美栄子

機能性と感性が調和した快適な被服の設計および評価を行なうための諸問題を探究する。着衣基体である人体の形態・運動機能・生理機能やそれらの加齢による変化を被服設計の立場から解析する。また設計された被服の着用による生体負担を着用者の感覚と生理的な反応の両面から追究し、被服のデザインと機能性について考える。

①被服設計　②人体形態　③運動機能　④体温調節　⑤着心地　⑥評価

L006 服飾文化研究Ⅰ
服飾の造形的・文化史的考察

教授　谷井　淑子

最も身近な環境である服飾について文化史および生活造形の側面から考察を試みる。服飾には人々の造形意思や美意識が反映しており、衣服の形態、意匠、装飾技法などの解析から人間と服飾とのかかわりを考察する。

①生活造形　②装飾技法　③意匠研究　④造形意思　⑤絵画資料

L007 被服材料研究Ⅰ
繊維高分子の特性と化学構造

教授　工学博士　小原　奈津子

各自の修論のテーマにそって研究を進めるための指導を行う

①修士論文　②論文の構成　③論文の発表

L008 被服科学演習Ⅰ

衣環境専任教員

各自のテーマに沿って、修士論文の作成にむけて指導する。

①先行研究　②研究方法　③研究計画

L009 被服科学実験Ⅰ

衣環境専任教員

各自のテーマに沿ってた実験を行なう

①実験方法　②解析　③考察

L011 建築計画研究ⅠA
建築都市の計画論を考察

教授　工学博士　芦川　智

建築をとりまく環境、つまり都市・地域環境から生活環境までの広義の環境を対象として、その機能性を整理し、計画条件を設定し、総合化する手法へとつなげてゆく研究である。環境の指標化と類型化につながる手法をいかに組み上げるかを目指し、建築と環境の関係より建築形態の類型化へもアプローチを試みてゆく。

①建築計画　②地域環境　③形態学　④都市計画　⑤町ちづくり　⑥パブリックスペース

L012 建築計画研究ⅠB
都市、建築の形成における諸要素

教授　博士（工学）　金尾　朗

都市や建築の形成や変化においては様々な要素が複雑にからみあっている。社会的要素、文化的な要素、周辺の空間との関連、論理性、構築性、ランダム性等について考察しながら、現代における都市空間や建築のデザインについて実例を検証しながらその可能性と問題点について論じる。

①現代建築　②都市空間　③デザイン

L013 居住様式研究Ⅰ
生活の質を高める居住空間の様式を探求

教授　博士（学術）　竹田　喜美子

住宅や地域という空間を生活の視点から分析し、空間を通して生活の質を高める居住様式の方向を探る。今後の方向を見極めるには、現代の動向を的確に掴む視野と、長い目でみる歴史的視点が不可欠である。前期は現代の動向を把握し、後期は過去の歴史を学ぶ。

①部屋論　②集住論　③地域論　④都市論

L014 環境計画研究Ⅰ
建築環境学と省エネルギー論

教授　博士（工学）　佐野　武仁

太陽と地球と快適な建築を命題とし、環境計画に関するミクロな基礎研究を行い、commissioning(検証) の手法を用いて環境デザインとシステム、居住快適性に関する課題を取り上げ研究する。

①太陽　②地球　③建築　④居住快適性　⑤ゼロエネルギー

L015 建築構法材料研究Ⅰ
建築構造のシステムと構造デザイン

教授　工学博士　安宅　信行

建築の構造と形態および架構システムなど建築の架構技術の研究について考察する。最終的には力学的合理性の上に立った形態の美しさを追求することを目的としているが、この研究を進めるために、構造形態の解析や表現をするプログラミングやシミュレーション手法を実際の演習を交えながら習得できるようにし、研究を行う上でのポテンシャルを高めるような情報と技術を提供する。

①形態の力学　②形態の創生　③ Java　④プログラミング　⑤シミュレーション

L016 材料基礎研究ⅠA
シュミレーションと材料

教授　工学博士　佐藤　豊

感性と感覚は人間にとって重要な要因である。感性の機構を考察し、さらにロボットのセンサーなどのメカニズムを考え、人工知能・人工生命を探り、機能性材料を研究するための外界情報の検知機能について検討する。

①感性　②コンピュータ　③制御理論

L017 材料基礎研究ⅠB
環境調和型の材料設計や材料選択

教授　博士（農学）　中山　栄子

材料学や環境科学の知識を元に、環境調和型の材料開発や選択ができることを最終目標に、その基礎となる情報を整理する。受講者の修士論文のテーマに沿った形で輪読やプレゼンテーションを行う。

①環境科学　②材料学　③環境調和

L018 環境基礎学Ⅰ
大学院生として学ぶ生態学と環境学

教授　理学博士　常喜　豊

大学院での研究の基礎知識として、生態学（Ecology）を学ぶことを目的とする。生活史研究、個体群動態、環境問題などのテーマについて、フィールドワークを中心とする生態学の研究方法や研究例を紹介する。また、関連する文献講読や文献紹介のゼミも行なう。

①生態学（Ecology）　②生活史研究　③個体群動態　④環境保護　⑤文献講読　⑥文献紹介ゼミ

L019 建築史研究ⅠA　遺構・古図・古文書から建築の機能・技術を考察

特任教授　工学博士　平井　聖

主として建築遺構・古図・古文書を資料として、建築の機能および関連する技術を、歴史的に考察する。特に、近世建築を対象とする。

①建築遺構　②古図　③古文書　④近世建築

L020 建築史研究ⅠB
歴史的建築の保存・活用・復元

教授　工学博士　堀内　正昭

本講義では、主としてわが国近代以降の歴史的建造物の保存、活用、そして復元について扱う。様々な建物を事例として取り上げ、その建築史、活用の変遷、保存のための改修工事について具体的に調べるとともに、復元された建築の意義を問うていく。

①保存　②活用　③復元

L021 建築意匠研究ⅠA
環境心理学研究とデザイン論

教授　工学博士　友田　博通

インテリアやエクステリア、街並みや景観などを対象として、人間のための住居を中心とした環境デザインの在り方を研究する。安全性・利便性・快適性の生活調査、ユトリ楽しさなどの環境心理分析、文化や情報と関わる深層心理分析や現象学的分析。これらを駆使して、総合的に人間と環境の対応構造を研究することは、デザイン創造への道でもある。

①環境心理　②深層心理　③現象学　④デザイン創造

L022 建築意匠研究ⅠB　建築デザインの設計プロセスとその実践

教授　杉浦　久子

都市・建築・インテリアや、アート、ランドスケープなどの領域にとらわれず、私達を取り巻く環境を「空間」あるいは「居場所」という視点から捉えなおすことで、建築デザインを考察してゆく。実際の体験や観察の中から、そこにある諸現象や空間を分析する目を養う。また、企画立案してゆくまでのプロセスを学ぶ。

①建築デザイン　②空間概念　③空間設計　④空間表現　⑤生活空間　⑥諸現象

L023 建築意匠研究ⅠC　環境創生における造園学的視点と意匠研究

非常勤講師　阿部　伸太

建築意匠を造園学的視点で捉えることをねらいとする。具体的な事例をとりあげて、空間を構造的に認識する手法を身につける。さらに概念操作（コンセプト・メーキング）と形態操作によるプロセスの方法について講義する

L024 設計演習

建築環境系専任教員

6人の講師の共同出題による設計課題の演習である。6人の合同指導と評価による演習で合同指導によって技術の向上を図ることを目的とする。

①合同指導　②建築設計　③都市建築　④複合建築　⑤課題制作

L025 建築士演習

教授　工学博士　友田　博通
非常勤講師　永橋　進
教授　博士（工学）　佐野　武仁
教授　工学博士　安宅　信行
教授　工学博士　芦川　智
非常勤講師　寺本　晰子

建築学コースの学生が、卒業後1、2級建築士を受験するためにその基礎的な科目の総整理を行い、受験体制に臨むための準備を行うために設定された科目である。

①1、2級建築士　②インテリアプランナー　③国家試験

L026 文化財研究（科学）Ⅰ

非常勤講師　斎藤　英俊
非常勤講師　平賀　あまな

文化財の概念、日本における保護の歴史と現在の制度、国際社会における文化遺産保存の動向、世界遺産条約などを学び、重要文化財建造物の保存修復現場や重要伝統的建造物群保存地区を訪ねて、文化財保存の実際と課題を考える。

①文化財保存　②修復現場　③世界遺産条約　④重要伝統的建造物群保存地区

L027 環境科学演習Ⅰ

建築環境系専任教員

修士論文・修士設計の指導

①修士論文　②修士設計

L028 環境科学実験Ⅰ

建築環境系専任教員

修士論文の指導

①修士論文　②実験計画

▶生活機構研究科 人間教育学専攻

M001 人格・道徳性形成と教育研究

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

教育は人間としての自己形成を目指す。その自己形成の根本に人格・道徳性の育成がある。本講義では、人間を人間たらしめる人格・道徳性がどのように形成されるのかを最新の研究成果を基に理論的に考察しながら、そのための教育の在り方について具体的な研究動向を踏まえて論考する。

①人格教育　②道徳性の発達　③自己形成能力

M002 道徳教育の指導と実践

教授　博士（教育学）　押谷　由夫

今日の社会の状態や子どもたちの実態からみて、道徳教育の重要性が叫ばれるが、道徳教育そのものがますます困難な状況にある。そのような中、道徳教育の研究指定校では様々な取組みがなされている。道徳教育の世界的動向や「効果のある学校」の研究成果も踏まえつつ、具体的指導と実践について考察する。

①道徳教育プログラム　②自己評価の評価　③総合単元的道徳学習

M003 幼児の発達と保育学研究

教授　横山　文樹

幼児期の発達の連続性、順序性、相互関連性など、発達の原理を理解 したうえで、幼児期の発達的特徴について様々な側面から考える。こうした発達が「保育」という営みの中で、どのように助長されていくのか。発達の構造と保育の関係性について考える。

①発達　②言葉　③遊び

M004 幼児教育の指導と実践

教授　横山　文樹

幼児教育の基本は、自発性の原理に基づき、一人一人の発達の特性に応じた指導をすることにある。この場合、指導とは「発達の援助」である。指導の形態を「個と集団」という両方の視点からとらえ、場と状況に応じた指導と実践について、具体的場面から検討する。

①幼児教育　②指導　③個と集団

M005 自然認識の発達と教育研究

教授 博士（教育学）　小川　哲男

現代の理科教授・学習論研究が依拠する「自然認識研究」のパラダイムを理解し、それを各自の研究に具体化する力を養うことを目的とする。認知論的アプローチによる「自然認識の構成」に関わる研究文献を資料として用い、解説を行うとともに、受講者に主要な文献の読解や十分な授業準備を求める。

①認知論的アプローチ　②自然認識研究　③子どもの論理構成

M006 自然認識教育の指導と実践

教授 博士（教育学） 小川　哲男

認知論的アプローチによる「自然認識研究」のパラダイムの理解を基に、新しい理科学習内容の構成や、子どもの論理構成を探る学習論を追究する。そして、それらを基盤としながら指導方法論や評価論について具体的な事例を基に実践的に分析・検討し、子どもの学びの価値付けの方途を探る。

①認知論的アプローチ　②自然認識研究　③子どもの論理構成

M007 音楽表現の創造と教育研究

教授 永岡　都

音楽が表現するもの、音楽が意味するものは、音楽文化によって様々に異なる。本講では、西欧と非西欧の音楽文化について、音楽表現の形式と理論、音楽の社会機能と表現の意味などを学び、そこから得られた知見を幼稚園での表現活動に活かし、具体的に展開する方法や、援助・指導の仕方について探究する。

①音楽文化と教育　②音楽の表現形式　③音楽の意味

M008 音楽表現教育の指導と実践

教授 永岡　都

パフォーマンス、音楽づくりなど様々な音楽表現活動について具体的な音楽実践と理論的考察の両面から学びを深め、受講者自身の音楽表現力と指導力の向上を図る。取り上げる対象は、西欧芸術音楽にとどまらず、現代音楽や非西欧音楽の理論や手法も積極的に取り入れる。

①パフォーマンス　②音楽の創作　③音楽の実践指導

M009 造形表現と教育研究

教授 清水　満久

幼児児童の造形的な創造活動の内容について、造形教育の構造の理解を基にして、子どもが絵に表す、つくりたいものをつくりだす活動過程における意味の探求や、題材の分析等を通して研究する。また、表現製作活動過程における学びの成立に関して実践的に追究する。

①造形的表現特性　②表現の主題　③美術教育

M010 造形表現教育の指導と実践

教授 清水　満久

子どもの造形活動の豊かな展開を実現させるための授業構成及び指導の在り方について追究する。基本的に授業実践の記録資料等を基に、題材開発と指導実践の実態の記録・分析を通して検証する。造形とは何か、表現するとは何かを子どもの行為から考察・研究する。

①表現の意図　②地域素材と題材開発　③授業の分析

M011 認識と教育工学研究

教授 田中　康善

教育工学的アプローチと受け手の外界の認知や行動の際の一定の様式や枠組みに於ける関係性について研究する。キャンパス内に附属学校がある地の利を活かし、最適化した情報機器を導入した教育的取り組みとその記録から方策の効果測定を複数回行い、情報機器の教育的利用の更なる可能性を探ると共に、技術的改善点を製造会社に提案する。

①効果測定　②情報機器　③認識

M012 視聴覚・コンピュータ教材の開発と学習指導

教授 田中　康善

学校種別毎の児童生徒の発達段階に合わせての視聴覚・コンピュータ教材を学習指導に即して開発する力を培う。「認識と教育工学研究」履修後に授業分析方法をマスターして受講することで、開発した教材の効果測定が可能になる。教育現場に持ち込める身近な情報機器やコンピュータの基本ソフトを最大限活用しての教材開発は、現職教員研修講座で多くの提案と示唆を与える人材を養成できる。

①コンピュータ教材作成　②マルチメディア　③ e- ラーニング

M013 情報教育研究

教授 大串　夏身

インターネット上の情報教育・情報関連の資源の全体像を把握した上で、それらの検索・収集の技術・方法、評価の方法について、さらに、著作権・情報モラルをふまえた学習・授業及び学校図書館での活用方法を検討する。

①教育関係情報源　②情報教育　③学習指導要領

M014 情報活用機能の充実と学校経営

教授 大串　夏身

収集した情報を整理・活用するため各種ソフトの活用方法とレポートのまとめ方、またそれらを教員として学習、学校経営に生かす方法について検討する。また、調べる学習賞コンクールの優秀作品を事例として、児童・生徒の情報活用、編集の実際を分析・考察する。

①情報活用機能　②情報の収集と編集　③調べ学習

M015 生徒指導とカウンセリング研究

非常勤講師 有村　久春

生徒指導とカウンセリングの基礎理論を文献等によって整理するとともに、いじめや不登校、学業不振等の生徒指導上の諸課題を研究する。その際、教育現場の事例を収集・分析し、カウンセリングの考えを生かした視点から、子どものよりよい生き方に資する自己指導能力の援助のあり方を追究する。

①カウンセリングの機能　②いじめ等の問題行動　③学校体制の充実

M016 学校・学級経営の充実と特別活動の指導

非常勤講師　有村　久春

学校における今日的な経営課題を分析・検討する。特に、学校・学級経営の中核となる「教育課程」「集団・組織」「教育環境」の観点から事例を収集・分析し、経営プランの作成等を目的とする。また、日々の学級経営や特別活動の教育実践に、これらのプランがどのように機能するかを仮説的に検討する。

①学級教師の存在　②学級経営の充実　③特別活動の課題とその追究

M018 授業研究特別演習

教授 博士（教育学）　押谷　由夫
教授 博士（教育学）　小川　哲男
教授　清水　満久

授業は理論と実践の統合が大切である。そのためには理論を学ぶとともに実際の授業を見たり行ったりすることを通して検証していくことが求められる。本演習では、優れた授業実践を導く理論と方法について、具体的な実践を基に、担当教員がそれぞれの専門的立場を生かしながら合同でかかわり、総合的に学べるようにする。現場実習や集中的に合宿演習を行うことも考えている。

①理論と実践の統合　②実践的指導力　③関連的指導

M019 教育学演習Ⅰ

常勤　人間教育学専攻専任教員

修士論文またはそれに代わるものの作成に向けて、自分の研究テーマに即して指導教員を決めて、計画的に指導を受ける。なお、全体での指導の場を設けて、論文作成に関する共通理解をはかる。さらに、各期ごとに全体の場で各自の発表を行い意見交換を行う。なお、修士論文のテーマに関して既存の研究の情報収集、意見交換も積極的に行う。

①研究目的　②焦点化　③計画性

M020 教育学演習Ⅱ

常勤　人間教育学専攻専任教員

教育学演習Ⅰの延長で行う演習である。したがって、修士論文またはそれに代わるもののテーマに沿ったより深い研究の指導が行われる。指導教官の指導を受けて取り組んだ内容について、全体の場においてさまざまな視点から指導が受けられるように、各期ごとに、発表会を行う。

①精緻化　②理論的背景　③独創性

M021 教育学特別研究Ⅰ

常勤　人間教育学専攻専任教員

指導教官より直接指導を受けて修士論文あるいはそれに代わるものを作成する。

①研究目的　②焦点化　③計画性

2008昭和女子大学学生便覧

Ⅳ

附　録



Student's Manual

1. 昭和女子大学オープンカレッジ

昭和女子大学オープンカレッジは、本学正門西隣の専用ビル（1、3～6階）にあります。

オープンカレッジは本学学則に基づく公開講座として大学のトップインテリジェンスを一般に開放し、真の生涯学習の完成を目指しています。大学での学習活動を補完するダブルスクール機能のほか、卒業生やその家族、さらには地域の人々に対しても、大学教育と密接に連携した生涯学習の場を提供しています。

また、春、夏、秋、冬期の年4期に講座を開設。各期毎に全講座を紹介した「講座案内」を発行、大学構内で配布して受講の指針としています。

開設講座

開設講座は「教養を高める」、「世界の言葉を学ぶ」、「各種検定対策」、「社会に貢献する」、「くらしに活かす」、「健康に暮らす」、「生活を楽しむ」、「こころを育む」、「親と子のための講座」、「絵画講座」、「クラフト講座」、「伝統文化を習う」、「キャリアアップ講座」などをテーマに、約250講座と多岐にわたっています。講座は原則として1期（3か月）単位で開設されますが、内容によっては2期以上通して開講される場合もあります。

また、本学学生対象講座「パワーイングリッシュ」では、レベル分けされたクラスで、ネイティブスピーカーによるレッスンが受講できます。

受講申し込みの方法

①本学学生は入会金が免除、一般講座受講料が50%割引されます（キャリアアップ講座等学生専用講座を除く）。まず、オープンカレッジ1階事務室に、直接または電話でお申し込みください。申し込みは受講希望講座の開講日から数えて7日前までに済ませてください。

②受講料等のお支払いは、窓口支払い（現金またはクレジットカード）、銀行振込のいずれかで、申込日から7日以内にご入金ください。（申込日から開講日まで7日を切っている場合は開講日まで）

③申し込み後、講座の変更やキャンセルをする場合、講座開講日から数えて、13日前からは、手数料がかかります。

④講座開講日から数えて7日前までに、受講者が一定の人数に達しない場合は.規約により講座を閉講とすることもあります。

⑤その他、不明な点がありましたら、オープンカレッジ1階事務室（会員係）まで、直接または電話等でお問い合わせください。

昭和女子大学オープンカレッジ
会員係03-3411-5100

●就職対策講座

オープンカレッジでは、キャリアアップ講座を中心に数多くの在学生が受講しています。

秘書技能検定、国内・総合旅行業務取扱管理者などの各種資格試験対策講座や国家公務員、地方公務員を目指す学生にとっての公務員試験対策講座は、就職活動の際、大きな力となるものでしょう。

コミュニケーションスキル、ビジネスマナーなど就職に役立つ基礎能力を習得する講座なども開設しています。

また、茶道、煎茶道、香道、華道など、基本的マナーを身につけるという意味で、実社会に出てからも役立つ講座も用意しています。

単位制度

受講者の学習成果に適切な評価を与えるため、開講講座の種類や授業時間数に応じて、オープンカレッジ独自の単位を設定し、開講回数の75％以上に出席すれば、所定の単位を認定して修了証を授与します。また修得単位の合計が62単位に達すると「昭和女子大学オープンカレッジ総合修了証」が授与されます。

●大学単位修得制度

大学が認定したオープンカレッジの講座を本学学生が受講し、評価（テスト）に合格すれば卒業要件単位（一般教養、外国語）を修得できる制度です。単位認定の対象となる講座は、毎期、大学から掲示で発表されますので、それにもとづいて履修手続きをしてください。

フィットネス

6階にある女性専用『フィットネス・スタジオ』では、ヒップホップダンスをはじめジャズダンス、ストリートジャズ、クラシックバレエ、エアロビクス、ヨーガ、気功、ダンベルエクササイズなど、健康を保ち、シェイプアップにも有効な約20講座を開設しています。

●体育実技振替履修制度

本学学生は、フィットネス講座を受講することにより、体育実技の単位を修得することができます。

この制度は、「代替受講申請書」を総合教育センター（体育）に提出し、承認を受けた後、指定された期間および時間内に所定回数のフィットネス講座を受講することにより、大学の体育実技を履修せずに単位が認められるものです。

この制度を利用すれば、大学の体育実技の時間に他の授業科目を履修することも可能です。まさに本学だけが提供できるトータルカリキュラムです。

受講証明書

寮生が門限を超えて受講する場合には、「受講証明書」が発行されますから安心して受講することができます。

●オープンカレッジ開設講座の概要(詳細については講座案内または〔URL〕https://www.oc.swu.ac.jp/をご覧ください。)

講座ジャンル	開　設　講　座　名
文芸・教養	●城と町並みを追って街道を行く　●東京散歩　●万葉集を読む　●源氏物語の音楽　●源氏物語 ●徒然草を読む　●名作能への誘い　●古代の天皇と氏族と神社の謎　●ヒエログリフを読もう ●茶の湯の世界　●ヨーロッパ宮廷の陶磁器と装飾芸術　●短歌実作　●童話・お話しの書き方 ●エッセイ・文章を読む　ほか
心理・子育て 朗読・手話	●すぐに使えるカウンセリング講座　●小児救急法講座　●子育て救急テクニック　●朗読　●手話 ほか
健康・食・暮らし	●アヴァターラ・カラーセラピー入門　●フラワーデザイン　●元気のツボ健康法 ●女声コーラスを楽しむ　●アロマテラピー香りの活用術　●若さと健康のデザイン ●自家製酵母でパン作り　●自然療法で幸せな自分発見　ほか
語学	●英会話(入門・初級・中級)　●ゆっくり学ぶ英会話　●きたえなおす基礎英語　●Let's Talk ●基礎英語力を伸ばすTOEIC®TEST対策　●英語で日本を伝えよう　●Enjoy Small Talk ●文法から始める英語の書き方　●本学学生対象講座「パワーイングリッシュ」　●イタリア語　●フランス語 ●スペイン語　●スウェーデン語　●フィンランド語　●中国語　●韓国語　●タイ語　ほか
実務資格・就職	●ブライダルプランナー２級対策　●「日本ハーブ検定」受験対策　●知的財産検定2級対策短期集中 ●ラッピングディレクター3級対策　●社会に出る前の必修講座　ほか
キャリアアップ講座※１	●公務員試験対策講座　●カラーコーディネーター３級対策講座　●初級システムアドミニストレータ対策 ●秘書技能検定２級受験対策　●総合旅行業務取扱管理者対策　●国内旅行業務取扱管理者対策 ●色彩能力検定３級受験対策　ほか
絵画	●油絵　●デッサン　●水彩画　●パステル画　●淡彩画　●水墨画　●一筆画　●人物画専科 ●ボタニカルアート　●光を描く透明水彩　ほか
手芸・工芸	●日本刺繍　●カリグラフィー　●ビーズジュエリーワンポイントレッスン　●シャドウボックス ●トラプントキルト　●モラ　ほか
書道	●綜合書道　●書道研鑽　●書を学ぶ　●書を楽しむ　●かな入門　●ペン習字 ●美文字に変身！筆ペン講座　●自由に墨遊び筆遊び　ほか
茶道・煎茶道 ・香道・華道	●表千家　●表千家研究科　●裏千家　●遠州流　●身近な茶の湯　●煎茶道　●香道　●広山流 ●茶花　●草月流　ほか

この表は秋・冬期講座（秋期：10～12月、冬期：1～3月)をもとに作成しました。（※1：春期講座も含みます。）
4月からは一部講座内容等が変更になりますので、新しい講座案内で確認してください。
お問合せ・資料請求　昭和女子大学オープンカレッジ　ＴＥＬ：０３－３４１１－５１００　ＵＲＬ：https://www.oc.swu.ac.jp/





2. 個人情報保護に関する取り組みについて(大学部門)

本学では建学の理念に基づく教育事業を展開するため、学生個人情報データベースを構築し、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲で活用しております。個人情報の保護に関して、法律や政令を遵守することはもとより、「個人情報の保護に関する規程」を制定し、全学的な体制で保護対策を講じております。

1. 学生個人情報データベースで管理する学生個人情報の保護について

(1)「学生個人情報」とは
本学において教育を受け、又は受けようとした者に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、顔写真その他の記述により特定の個人を識別することができるものをいいます。

(2)「学生個人情報データベース」とは
学生個人情報を含む情報の集合体であり、特定の学生個人情報をコンピュータを用いて検索することができるように体系的に構成したものをいいます。

(3)「学生個人データ」とは
学生個人情報のうちデータベースで管理する情報及びデータベースから引き出された情報をいいます。

(4) 利用目的の特定
学生個人情報は、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲に限定して利用します。

(5) 適正な取得
学生個人情報を取得するときは、適正な手段により行います。なお、思想、信条及び宗教に関する事項並びに社会的差別の原因となる事項については、特段の配慮をします。

(6) 利用目的の通知等
学生本人から直接書面等(電子媒体の様式を含む)により当該本人の学生個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対しその利用目的を明示します。利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について、本人に通知又は公表します。

(7) 管理措置
・学生個人データは、利用目的の達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の内容に保ちます。
・漏洩、滅失又は毀損の防止その他学生個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。
・学生個人データの取扱いの全部又は一部を企業等に委託する場合は、安全管理が図られるよう、委託先と機密保持に関する契約を結ぶと共に、委託先の選定にあたってもサービスの有効性はもとより個人情報保護システムが確立していることを条件とします。

(8) 開示
学生本人から当該本人が識別される学生個人データの開示を求められたときは、本人に対し遅滞なく当該個人データを開示します。ただし、開示しないことが相当であると本学が判断したときは、学生個人データの全部又は一部について開示しないことがあります。その際は、本人に対し理由を付してその旨を通知します。開示請求手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又は進路支援センター窓口に問合せてください。

(9) 訂正等
学生本人から、当該本人が識別される学生個人データの内容が事実でないという理由によって、当該学生個人データの訂正、追加又は削除を求められたときは、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、当該学生個人データの訂正等を行います。なお、学生個人データの内容の全部もしくは一部について訂正等を行わない旨の決定をしたときは、本人に対し、遅滞なく理由を付してその旨を通知します。訂正等の手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又は進路支援センター窓口に問合せてください。

2. 個人情報の利用目約について

学生及び保証人(ご父母等)の個人情報は、以下のとおり本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。利用目的を変更したときは、本人に通知又は公表します。

(1) 学生の個人情報

入学関係	入学志願者に対する選抜試験運営。入学手続(編入学、再入学を含む)。学生証交付。
教務関係	履修登録。履修相談・修学指導。研究活動支援。教職等諸資格課程登録。授業・試験運営。成績処理。単位認定。学長賞・恪勤賞・その他の賞の決定。進級・卒業判定。諸資格判定。学位記授与。単位互換協定。昭和ボストン留学。その他海外留学。短期海外研修。国際交流。 休学・復学・退学手続。転部・転科手続
学生生活関係	学生生活全般に関わる支援・助言。奨学生選考。奨学金交付・償還。定期健康診断。日常的な健康相談。課外活動支援。弔慰、災害見舞。
進路関係	進路支援。求職登録。就職斡旋。資格取得のための課外講座運営。
その他	各種連絡・通知。学納金納入状況の確認。各種証明書発行。用具・備品等の貸与。同窓会名簿の管理。キャンパスライフを紹介するための広報活動。

※卒業後も、学籍・成績関係情報を在籍記録保存、各種証明書作成・発行のために、利用します。

(2) 保証人の個人情報

学生の修学指導等に必要な連絡	各種送付物（学業成績通知書、学納金納付書、大学行事案内等）の発送。 大学関係団体（「同窓会」）の要請による保証人（ご父母等）宛送付物の発送業務

3. 個人情報の第三者提供について

本学では、教育研究の観点から学生の個人情報を以下のとおり第三者に提供することがあります。なお、これ以外に提供の必要性が生じたときには、都度、本人への意思確認の手続きをとります。

(1) 学生の学業成績を保証人に提供する
本学では、保証人（ご父母等）と連携した修学指導を教育上有用な取り組みと考えており、セメスターごとに成績が確定した段階で保証人宛に「学業成績通知書」を送付し、修学状況に関する問い合わせや相談等に応じています。学業成績を保証人に通知することはP.62「7. 試験・成績評価」に記載してあります。外国人留学生については別途意思確認を行います。

(2) 学生の個人情報をボストン昭和女子大学に提供する
ボストン昭和女子大学への留学の機会は学部・学科の全学生に用意されており、当該学生の修学措置及び安全管理のために、学生の氏名・住所・電話番号及び保証人の氏名・住所・電話番号についてボストン昭和女子大学へ提供をします。

(3) 実習（教育実習、介護等体験、博物館実習、図書館実習等）参加を希望する学生に関しては、実習先や教育委員会に個人情報所属学科､学生の氏名･住所・電話番号、成績等）を提供します。

(4) 学生生活の利便性向上を目的として、昭和女子大学が100％出資で設立した株式会社カリヨンへ個人情報（所属学科、学生の氏名・住所・電話番号、保証人の氏名・住所・電話番号）を提供します。
ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にその旨申し出てください。株式会社カリヨンに個人情報削除を依頼し、学生生活利便関係情報の提供サービスを停止します。

(5) 卒業後の本学に関わる情報提供を目的として、昭和女子大学光葉同窓会へ個人情報（所属学科、卒業年月、学生の氏名･住所・電話番号）を提供します。
ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にその旨申し出てください。昭和女子大学光葉同窓会に個人情報の削除を依頼します。

(6) 法令に基づく場合及び、人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合には、例外的に本人の個人情報を第三者に提供することがあります。あらかじめご了承ください。

Student's Manual

昭和女子大学
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57　http://www.swu.ac.jp